令和2年度第2回沖縄県がん診療連携協議会
議事次第

日　時：令和２年８月７日（金）　　１４：００～

場　所：WEB開催

議事要旨等	資　料	備　考
１．令和２年度第２回沖縄県がん診療連携協議会幹事会議事要旨(7月13日開催)	資料１	Ｐ３
２．令和２年度第１回沖縄県がん診療連携協議会議事要旨(5月8日開催)	資料２	Ｐ６
３．令和２年度第１回沖縄県がん診療連携協議会議事録(5月8日開催)	資料３	Ｐ１０
４．協議会・幹事会・部会委員について	資料４	Ｐ３６
５．令和２年度の協議会・幹事会の開催の日時について	資料５	Ｐ４１
有識者報告		
１．埴岡委員報告	資料６	Ｐ４２
審議事項		
１．がんゲノム医療について	資料７	Ｐ１２０
２．がん患者さんの生殖機能温存について	資料８	Ｐ１２９
３．その他		
報告事項		
１．第３次沖縄県がん対策推進計画(2018～2023)の中間評価について	資料なし	
２．沖縄県におけるがん対策費について	資料９	Ｐ１４２
３．患者会よりの報告		
安里委員報告	資料１０-１	Ｐ１４３
島袋委員報告	資料１０-２	Ｐ１４６
真栄里委員報告	資料１０-３	Ｐ１４８
４．がん教育について	資料１１	Ｐ１４９
５．沖縄県院内がん登録報告書2018年症例について	資料１２	Ｐ１５０
６．沖縄県がん地域連携クリティカルパス適用状況について	資料１３	Ｐ４４６
７．沖縄県がん患者等支援事業の活動報告	資料１４	Ｐ４４７
８．沖縄県地域統括相談支援センターの活動報告について	資料１５	Ｐ４５４
９．その他		
部会報告事項		
１．医療部会	資料１６	Ｐ４６０
２．緩和ケア・在宅医療部会	資料１７	Ｐ４６２
３．小児・AYA部会	資料１８	Ｐ４６５
４．離島・へき地部会	資料１９	Ｐ４６８
５．情報提供・相談支援部会	資料２０	Ｐ４７０
６．ベンチマーク部会	報告なし	

令和２年度第２回沖縄県がん診療連携協議会　資料一覧

１．令和２年度第２回沖縄県がん診療連携協議会幹事会議事要旨(7 月 13 日開催)

２．令和２年度第１回沖縄県がん診療連携協議会議事要旨(5 月 8 日開催)

３．令和２年度第１回沖縄県がん診療連携協議会議事録(5 月 8 日開催)

４．協議会・幹事会・部会委員について

５．令和２年度の協議会・幹事会の開催の日時について

６．埴岡委員報告

７．がんゲノム医療について

８．がん患者さんの生殖機能温存について

９．沖縄県におけるがん対策費について

１０．患者会よりの報告

１１．がん教育について

１２．沖縄県院内がん登録報告書 2018 年症例について

１３．沖縄県がん地域連携クリティカルパス適用状況について

１４．沖縄県がん患者等支援事業の活動報告

１５．沖縄県地域統括相談支援センターの活動報告について

１６．医療部会

１７．緩和ケア・在宅医療部会

１８．小児・AYA 部会

１９．離島・へき地部会

２０．情報提供・相談支援部会

資料１

令和２年度 第２回沖縄県がん診療連携協議会幹事会議事要旨

日　　時　令和２年７月１３日（月）１４：００～１５：３０
場　　所　管理棟２階　小会議室
構 成 員　８名（出席者６名）

（幹事会委員）

１０号委員（がんセンター長）	増田 昌人
１４号委員（那覇市立病院）	友利 寛文（代理　足立　源樹）
１５号委員（沖縄県立八重山病院）	尾﨑 信弘
１５号委員（北部地区医師会病院）	柴山 順子
１８号委員（沖縄県立宮古病院）	松村 敏信
１８号委員（琉球大学上原キャンパス事務部総務課長）	金城 不二子

（欠席者）

１４号委員（沖縄県立中部病院）	朝倉 義崇
１８号委員（沖縄県保健医療部）	糸数　公

（陪席者）

沖縄県保健医療部健康長寿課がん対策班	仲里 可奈理
がんセンター	石川　千穂
上原キャンパス事務部総務課総務第二係	平良　英貴

議事要旨・委員一覧

１．令和２年度第１回沖縄県がん診療連携協議会幹事会議事要旨(4月13日開催)について

増田議長から資料１に基づき、令和２年度第１回幹事会議事要旨（令和２年４月 13 日開催）について説明及び確認があった。

２．令和２度第１回沖縄県がん診療連携協議会議事要旨(5 月 8 日開催)について

増田議長から資料２に基づき、令和２年度第１回協議会議事要旨（令和２年５月８日開催）について説明及び確認があった。

３．令和２度第１回沖縄県がん診療連携協議会議事録(5月8日開催)について

増田議長から資料３に基づき、令和２年度第１回協議会議事録（令和元年５月８日開催）について説明及び確認があった。

４．協議会・幹事会委員一覧について

増田議長から資料４に基づき、協議会・幹事会委員の確認があった。

５．令和２年度の協議会・幹事会の開催の日時について

増田議長から資料５に基づき、協議会・幹事会の開催の日時について確認があった。

審議事項

１．がんゲノム医療について

増田議長から資料６に基づき、がんゲノム医療の進捗について報告があった。

また、資料 6-3『琉球大学病院「がんゲノム医療外来」紹介のための事前チェックリスト（Ver. 2.0）』についての説明があり、変更・修正等を要する箇所があれば増田議長へ連絡することとなった。

２．がん患者さんの生殖機能温存について

増田議長から資料７に基づき、がん患者さんの生殖機能温存についての進捗状況について説明があった。

また、松村委員から、男性の年齢対象が無いことから、高齢又は認知症を患っている患者に対しても生殖機能温存について説明する必要があるかとの質問があり、増田議長から、主治医の判断で良いとの回答があった。

その他、足立委員から、該当患者が各検査・診療の都度、生殖機能温存についての説明や質問を受けることで、患者にとって迷惑になることについて危惧している旨の発言があり、増田議長から、基本は診療主科から説明を行うことが望ましい旨の回答があった。

３．令和２年度第２回沖縄県がん診療連携協議会議題調整について

増田議長から資料８に基づき、令和２年度第２回沖縄県がん診療連携協議会議題調整について説明があり、原案のとおり議題とすることとなった。

４．その他

特になし

報告事項

１．第３次沖縄県がん対策推進事業計画（2018～2023）の中間評価について

増田議長からの指名により、オブザーバー参加である県保健医療部健康長寿課がん対策班仲里氏から口頭で、第３次沖縄県がん対策推進計画（2018～2023）の中間評価について、医療計画の中間見直しに合わせ、がん対策推進計画の中間評価も今年度中に行う予定であるとの状況報告があった。

２．沖縄県におけるがん対策費について

増田議長から資料９に基づき、沖縄県におけるがん対策費の報告があった。

また、増田議長から、昨年度との予算額の違いについて質問があり、オブザーバー参加である県保健医療部健康長寿課がん対策班仲里氏から、前年度と今年度の予算はほぼ同一あるとの回答があった。

３．患者会等よりの報告

増田議長から資料１０に基づき、協議会において患者会３団体から報告予定である旨、報告があった。

４．がん教育について

増田議長から資料１１に基づき、沖縄県におけるがん教育の進捗状況について報告があった。

５．沖縄県院内がん登録報告書 2018 年症例について

増田議長から、沖縄県院内がん登録報告書 2018 年症例について、資料１２を各自確認いただきたい旨、発言があった。

６．沖縄県がん地域連携クリティカルパス適用状況について

増田議長から、沖縄県がん地域連携クリティカルパス適用状況について、資料１３を各自確認いただきたい旨、発言があった。

７．沖縄県がん患者等支援事業の活動報告について

増田議長から資料１４に基づき、沖縄県がん患者等支援事業の活動報告書を編集している旨の報告があった。

８．沖縄県地域統括相談支援センターの活動報告について

増田議長から資料１５に基づき、沖縄県地域統括相談支援センターの活動報告について報告があった。また、新型コロナウイルス感染症の影響による病棟訪問が困難となっていることから、外来での活動が中心となっているとの説明があった。

９．その他

特になし

部会報告事項

１．医療部会

増田議長から資料１６に基づき、医療部会について報告があった。

２．緩和ケア・在宅医療部会

増田議長から資料１７に基づき、緩和ケア・在宅医療部会について報告があった。

３．小児・AYA部会

増田議長から資料１８に基づき、小児・AYA 部会について報告があった。

４．情報共有・相談支援部会

増田議長から資料１９に基づき、情報共有・相談支援部会について報告があった。

以上

資料2

令和２年度 第１回 沖縄県がん診療連携協議会議事要旨

日　　時　　令和２年５月８日（金）　１４：００～１５：３０
場　　所　　ＷＥＢ会議／議長　琉球大学医学部 管理棟２階　小会議室
構 成 員　　２９名　（欠席者８名）

１号委員	（琉大病院長）	大屋　祐輔
２号委員	（県立中部病院長）	玉城　和光
	（那覇市立病院長）	外間　浩（代理）宮里　浩
３号委員	（県立宮古病院長）	本永　英治
	（県立八重山病院長）	篠﨑　裕子（欠席）
	（北部地区医師会病院長）	諸喜田　林（欠席）
４号委員	（沖縄県医師会長）	安里　哲好
５号委員	（沖縄県歯科医師会長）	真境名　勉（欠席）
６号委員	（沖縄県薬剤師会長）	亀谷　浩昌
７号委員	（沖縄県看護協会長）	仲座　明美（欠席）
８号委員	（沖縄県政策参与）	対象者なし（構成員外）
９号委員	（沖縄県保健医療部長）	大城　玲子（欠席）
１０号委員	（琉大がんセンター長）	増田　昌人
１１号委員	（琉大がんセンター運営委員会委員長）	青木　陽一
１２号委員	（琉大医療福祉支援センター長）	平田　哲生
１３号委員	（琉大薬剤部長）	中村　克徳
１４号委員	（琉大看護部長）	大嶺　千代美
１５号委員	（琉大事務部長）	鬼村　博幸
１６号委員	（県立中部病院副病院長）	照屋　洋子
	（県立中部病院血液腫瘍内科部長）	朝倉　義崇
	（那覇市立病院外科統括科部長）	宮里　浩（欠席）
	（那覇市立病院外科部長）	友利　寛文
	（県立宮古病院外科部長）	松村　敏信
	（県立宮古病院副院長）	中山　幸子
１７号委員	（県立八重山病院外科部長）	尾﨑　信弘
	（県立八重山病院副院長）	平良　美江
	（北部地区医師会病院副院長）	柴山　順子（欠席）
	（北部地区医師会病院看護部長）	我如古　春美
１８号委員	（沖縄県がん患者会連合会事務局長）	安里　香代子
	㈲ゆうかぎの会(離島圏におけるがん患者支援を考える会)会長)	真栄里　隆代（欠席）
	（サバイバーナースの会「ピアナース」代表）	上原　弘美
	（パンキャンジャパン沖縄アフィリエート）	島袋　百代（欠席）
１９号委員	（国際医療福祉大学大学院教授）	埴岡　健一
	（一般社団法人ｸﾞﾙｰﾌﾟ・ﾈｸｻｽ理事長）	天野　慎介
	（琉球新報編集局次長・報道本部長）	島　　洋子
２０号委員	（琉大病院病理部長）	加留部　謙之輔
	（琉大病院小児科講師）	百名　伸之
	（那覇市立病院放射線科部長）	足立　源樹

陪　席　者　緩和ケア・在宅医療部会　　笹良　剛史
（以下、Ｚｏｏｍ傍聴申込）
琉球新報社　社会部
沖縄タイム社
ハートライフ病院

会議に先立ち、大屋委員長から、新型コロナウイルス感染防止策として、ＷＥＢ会議での開催となったこと、報告事項については各自資料を確認いただくよう説明があった。また、増田委員（10号委員）から、当日配布資料について説明があった。

議事要旨・議事録・委員一覧

１．令和２年度第１回沖縄県がん診療連携協議会幹事会議事要旨（4月13日開催）

増田委員から、資料1の第1回幹事会議事要旨（令和2年4月13日開催）の確認があった。

２．令和元年度第４回沖縄県がん診療連携協議会議事要旨（2月7日開催）

増田委員から、資料2の第4回協議会議事要旨（令和2年2月7日開催）の確認があった。

３．令和元年度４回沖縄県がん診療連携協議会議事録（2月71日開催）

増田委員から、資料3の第4回協議会議事録（令和2年2月7日開催）の確認があった。訂正等が必要な場合は、事務局へ申し出ることとした。

４．協議会・幹事会委員一覧

増田委員から、資料4に基づき、部会委員の一部に変更について報告があった。また、大屋委員から、協議会の新委員の紹介があり、各委員（今回参加者）から挨拶があった。

有識者報告事項

１．埴岡委員報告

埴岡委員（18号委員）から資料5に基づき、沖縄県がん対策推進計画の中間評価と指標データについて、前回からの続編としての報告があった。また、沖縄県のがん対策の現状のデータは追加・更新されているデータの確認、前回の本協議会からデータの定点観測、本協議会ベンチマーク部会との連動を意識した資料を作成したとの説明があった。今回は、WEB会議ということもあり、以下の指標データに絞り提案等がなされた。

①部位別、都道府県別にまとめたデータ
例として、大腸がんの男性は特に重点チェック対象となる。また、罹患率が高い乳がんなどは今後、死亡率が高くなる恐れがある等、これらデータを定点観測して定期チェックし、必要に応じて対策を検討することが提案された。

②部位別の病期、ステージ別の５年生存率と施設別をまとめたデータ
地域・施設別で比較することで、地域の均てん化、最適化を目指すための指標なるのではないかとの提案があった。

③医療圏別の抗がん剤使用量と構成をまとめたデータ
NDB-SCRの抗がん剤使用量及び構成のデータについて、沖縄県の定点観測チェックに有効活用できるのではないかとの提案あった。併せて、本協議会委員である各専門家による観測方法を検討してはどうかとの提案もなされた。

④医療圏別の疼痛管理薬使用量と構成をまとめたデータ
全国平均と比べ、沖縄県は疼痛管理薬の使用料が少ないとのデータとなっているとの報告があった。

本報告について、安里委員（4号委員）から、沖縄県の大腸がんの対応・改善策について、どのような指標が有効かとの質問があり、埴岡委員から、他県との比較等により有効であろう指標があれば提供したいとの回答があった。

また、埴岡委員から 今回報告した資料のうち、例として緩和ケアについて、沖縄の緩和ケアの疼痛管理薬の使用方法について、現場の感覚として、どのように感じるかとの質問があり、笹羅氏（傍聴者・緩和ケア・在宅医療部会長） 及び増田委員から、以下のとおり発言があった。

笹良氏　:今回の資料で取り上げている薬剤が麻薬性鎮痛薬1種類のため、単純比較は困難である。しかし、薬剤の使用量が全国の50％程度ということは、何かしら理由があるのか、疑問に感じた。

増田委員:薬剤に関しては、偏重があること、全体的に抗がん剤の使用が少ないように見受けられた。今後、臓器の専門家と確認していきいたい。また、大腸がんについては、近日専門家会議を検討しているので、その際に構成員へ本資料を提供し、検討したい。

２．天野委員報告

天野委員から資料6に基づき、天野委員の所属する患者団体を通じた要望活動2件について以下のとおり報告がった。

①全国がん患者団体連合会として、令和2年3月に厚生労働省に対して、電話等による処方せんの発行について一部の地域・医療機関において、がん患者を対象外としていることがあったため、是正を求めた。

②神奈川県がん患者団体連合会として、神奈川県庁に対して国の取り組みとは別に、県として独自にマスク等を確保する取り組みを求める要望を提出したところ、要望から1週間後に、神奈川県において拠点的な大学病院等にはサージカルマスクについては供給が開始された。

次に、全国がん患者団体連合会に、新型コロナウイルスに関連した不安として、3月頃までは感染するのではないかという不安の声、4月頃からは診療や検査や経過観察が延期になった、手術が延期になったという声、最近は失業、休職になったことでがん治療の継続が難しくなりそうだという意見が寄せられ、以下のとおりWEBでの緊急セミナー3回開催し、今後1回開催予定であるとの報告があった。

①4月20日に神奈川県の北里大学のがん診療センター長で副病院長の佐々木治一郎氏にオンラインで講演いただいた。

②4月24日に、東京大学医科学研究所の武藤香織氏に講演いただいた。

③5月4日に、大阪大学の平井啓氏に講演いただいた。

④5月10日に、神戸にあるしんじょう医院所属の新城医師と訪問看護ステーションあおいそらの塩川氏から、在宅医療の現状について講演いただく予定。

その他、血液がんの患者団体関連として、長野県の佐久医療センターの森勇一氏に講演いただいたとの報告があった。

３．島委員報告

島委員（18号委員）から、報道機関としての医療現場の報道スタンス及び資料7に基づき、がんについて掲載した新聞記事の紹介があった。

４．その他

照屋委員（16号委員）から、新型コロナ感染対策におけるがん治療について、化学療法の際、優先的に採血するカードを作成し、血液検査データを待つ時間の特別待合室を用意し、一般の外来患者と化学療法を受けるがんの患者のエリアを分ける取り組みを行っているとの報告があった。

<u>審議事項</u>

１.沖縄県がん診療連携協議会 要綱の改正について
２.沖縄県がん診療連携協議会幹事会 運営に関する申し合わせの改正について
３.沖縄県がん診療連携協議会 部会申し合わせの改正について

増田委員から、資料8、資料9、資料10に基づき、琉球大学病院の名称変更及び県立宮古病院が地域がん診療病院となったことから、沖縄県がん診療連携協議会要項、沖縄県がん診療連携協議会幹事会 運営に関する申し合わせ、沖縄県がん診療連携協議会部会申し合わせの改正についての提案があり、審議の結果、原案どおり承認された。

４．「拠点病院等看護部長会議」の新設について

大嶺委員から資料１１に基づき、「拠点病院等看護部長会議」の新設について提案があり、審議の結果、原案どおり承認された。

５．がんゲノムについて

増田委員から資料１２に基づき、がんゲノム医療についての説明があった。

また、資料１２－２の以下３点について確認があり、審議の結果、３点とも原案通り承認された。

（１） 患者さんの集中を防ぐために段階的に紹介を受け入れる体制づくりをする。
（２） 紹介元の医療機関における紹介医師を一人に絞る（施設代表医師制度）
（３） がんゲノム医療とがん遺伝子パネル検査に関する院内研修会の開催を患者紹介前に行う。

６．がん患者さんの生殖機能温存について

百名委員（20 号委員）から資料１３に基づき、がん患者さんの生殖機能温存について説明があった。

また、資料１３－２の以下４点について確認があり、審議の結果、４点とも原案通り承認された。

（１）沖縄県の拠点病院および診療病院において、対象患者すべてに、生殖機能の温存に関する説明を行う。
（２）「がん患者さんのための妊孕性温存療法に関する説明書」を拠点病院および診療病院共用文書として承認し、基本的に本文書を用いて説明する。
（３）９月末までに「妊孕性温存に関する担当医」を各病院で決定し、琉大病院の『妊孕性温存療法についての専門外来』へ積極的に紹介する。
（４）がんに関わる全ての医師が、院内研修会を受けることを義務付ける。

７．令和２年度の協議会・幹事会の開催日時について

増田委員から資料１４に基づき、令和２年度の協議会・幹事会の開催日時について説明があり、多くの医師の参加する学会と日程が重複していることから、第３回協議会の開催日程を、11 月６日（金）から、11 月 13 日（金）へ変更したいとの提案があり、承認された。

報告事項

部会報告事項

ＷＥＢ会議のため、今回は割愛することとなった。

以上

資料3

令和２年度第１回沖縄県がん診療連携協議会議事録

日　　時　　令和２年５月８日（金）１４：００～

場　　所　　琉球大学病院　管理棟３階　大会議室

○大屋祐輔議長（琉球大学病院　病院長）

それでは、令和２年度第１回沖縄県がん診療連携協議会を開催したいと思います。今回は、新型コロナの影響でＷＥＢ開催になりました。私どもにとってもこれだけ多くの皆様に入っていただくＷＥＢ会議は初めてですのでうまくいくように頑張りますが、いろいろ問題点が出てくるかもしれません。その際はご容赦をよろしくお願いいたします。

それでは、まず議事要旨に沿って進めたいと思いますが、その前に資料の確認を増田委員からお願いいたします。

○増田昌人委員（琉球大学病院がんセンター　センター長）

本日は、議長よりありましたように、Zoomを用いたＷＥＢ会議のために委員の皆さんがお使いになる資料は、先にメールでお知らせしましたように、沖縄県がん診療連携協議会運営サイト、うちなーがんネットがんじゅう上に公開されている令和２年度第１回協議会資料一覧のページから順次閲覧、またはダウンロードをしていただければと思います。よろしくお願いいたします。

また、本日はメディア関係者の方々と医療関係者の方々も同様の方法でこの会議を傍聴していますのでお知らせいたします。

○大屋祐輔議長

今、ご説明がありましたように、後で議事進行についても申し上げますけれども、報告事項は基本的に紙面報告になりますので、今日は口頭での詳細な報告はございませんのでこの点についてはご了承をお願いいたします。

それでは、議事録と各種委員確認ということで、資料１～４について増田委員よりご説明をいただきます。

議事要旨・委員一覧

１.令和２年度第１回沖縄県がん診療連携協議会幹事会議事要旨(4月13日開催)

２.令和元年度第４回沖縄県がん診療連携協議会議事要旨(2月7日開催)

３.令和元年度第４回沖縄県がん診療連携協議会議事録(2月7日開催)

報告事項

１.協議会・幹事会・部会新委員について

○増田昌人委員

それでは、順番に説明いたします。まずは、ＷＥＢ上の資料１をご覧ください。こちらの画面上で委員一覧の資料４を提示させていただきます。本協議会に先立って４月13日に行われました本年度第１回幹事会の議事要旨が資料１となっております。資料４が映し出されているかと思いますが、資料１に関しては幹事会の議事要旨となっております。新型コロナウイルス感染拡大防止のために、幹事会におきましてはメールで事前に資料と論点及び賛否の質問をした上で、幹事長である私と各委員とで個別に電話で会議をいたしております。その上で本日の協議会の審議事項の議題調整を行っております。

次に資料２、３ですが、前回、２月７日に行われました協議会の議事要旨と議事録になります。前回協議会では、がんゲノム医療とがん患者の生殖機能温存につきまして委員の皆さんから貴重な意見を頂戴しました。そのご意見と４月の幹事会での議論を経て、本日の協議会では具体的な提案を幾つか行っておりますので、後ほど活発なご議論をよろしくお願いいたします。

最後に資料４なんですが、時間の関係上、協議会の委員の変更のみ確認させていただきます。那覇市立病院 外間浩院長、沖縄県保健医療部 大城玲子部長、県立中部病院 照屋洋子副院長、サバイバーナースの会「ぴあナース」 上原弘美代表、パンキャンジャパン沖縄アフィリエート 島袋百代支部長､琉球新報社 島洋子編集局次長･報道本部長､琉球大学 加留部謙之介病理部長の７名の方々が今回新たに委員となられていらっしゃいます。

また、玉城和光委員が中部病院院長として16号委員から２号委員へ、宮古病院が診療病院に復帰したことに伴いまして、本永英治委員が20号委員から３号委員へ、松村委員と中山委員が20号委員から17号委員へそれぞれ変更となっていることをご報告いたします。

以上、ご報告いたしましたが、幹事会議事要旨、協議会議事要旨及び議事録に関して修正等の必要がありましたら、事務局である琉球大学病院がんセンターまでメールかファクスでご連絡をいただければと思います。よろしくお願いいたします。

私からは以上です。

○大屋祐輔議長

これまでの議事要旨と協議会､幹事会､部会の委員についてご報告をいただきましたが、時間の関係上もございますので本来であれば全員ということになるのですが、今回から新しく入られた委員の皆様だけひと言ご挨拶をいただければと思いますのでよろしくお願いいたします。

一番上からだと、最初が玉城先生、よろしくお願いいたします。

○玉城和光委員（沖縄県立中部病院　病院長）

以前から委員として参加させてもらっていますが、今回は中部病院の院長として参加させていただきます。よろしくお願いいたします。

○大屋祐輔議長

次は、那覇市立病院の外間先生、よろしくお願いいたします。おられませんね。

次は、復帰された宮古病院の本永先生、お願いいたします。

○本永英治委員（沖縄県立宮古病院　病院長）

宮古病院の本永です。宮古病院もがん診療病院に無事に復帰できましたので、今後とも頑張って活動していきたいと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。

○大屋祐輔議長

次は、保健医療部の大城部長はご欠席ということで、中部病院の照屋洋子副院長、よろしくお願いいたします。

○照屋洋子委員（沖縄県立中部病院　副院長）

こんにちは。はじめまして、看護副院長、照屋です。がん拠点病院として玉城院長を支えながら、本当に地道にできるところを取り組みたいと思っています。よろしくお願いいたします。

○大屋祐輔議長

次は31番まで飛びまして、患者代表として上原弘美さん、よろしくお願いいたします。

○上原弘美委員（サバイバーナースの会「ぴあナース」　代表）

皆様、こんにちは。今年度より患者委員を拝命いたしましたサバイバーナースの会「ぴあナース」の上原弘美と申します。私自身ががん患者であり看護師という両方の立場を生かしてこの活動をやっております。今年で10年経ちました。また、沖縄のためにこの協議会を通していろいろ考えていけたらなと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

○大屋祐輔議長

次は島袋百代さんですが、今日はご欠席ということで、次は35番まで飛びまして、島洋子さん、琉球新報です。よろしくお願いいたします。

○島洋子委員（琉球新報社　次長・報道本部長）

こんにちは、皆様、琉球新報で報道全般をみております。報道本部長という肩書きの島洋子と申します。医療に関しては素人ですが、報道の現場から話を伺い、またお話もさせていただけたらなと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

○大屋祐輔議長

それでは、36番、琉球大学病理部の加留部教授、よろしくお願いいたします。

○加留部謙之介委員（琉球大学病院病理部　病理部長）

琉球大学病理部の加留部と申します。この会は２年ぶりの復帰になります。皆さん、よろしくお願いいたします。

○大屋祐輔議長

ありがとうございます。

ということでご挨拶をいただいたということで次へ進めさせていただきます。次は、有識者報告ということで､埴岡委員からご報告をいただきます｡よろしくお願いいたします。

有識者報告事項

１．埴岡委員報告

○埴岡健一委員（国際医療福祉大学大学院　教授）

画面はスライドに変わっていますでしょうか。これに基づいて説明をさせていただきます。お時間は15分ぐらいということでしたので、手短に縮めてお話をしたいと思います。

趣旨ですけれども、これまで沖縄県のがん対策の現状のデータを皆さんと見てまいりましたけれども、そのデータは随時更新されておりますので追加的なものを見ようということと、前回の会議から、この協議会としてデータを定点観測していこうと、またベンチマーク部会も動かしていこうというお話がございましたので、その流れでまたデータの確認をしていただければということでございます。

６つ用意しておりますが、４つを簡単にご説明したいと思います。

１つ目は、がんの部位別のデータセット、都道府県別にみたものです。２つ目が、部位別の病期、ステージ別の５年生存率を施設別にみたものです。３つ目が、抗がん剤の使用量と構成について、医療圏別にみたもの。４つ目が、疼痛管理薬の使用量と構成について、医療圏別にみたものとなります。

１つ目の部位別のアウトカムデータセットを地域別にみたものでございますが、肺がん、大腸がん、胃がん、乳がんについて指標を幾つかみておりますけれども、どういうものをみたかといいますと、死亡率、罹患率、早期発見率、治療成績になります。情報源は信頼できるがん登録のデータ等になります。

がんの部位別のロジックモデルに引き当てますと、この見慣れた図になってきていると思うんですが、右端の死亡率、死亡率が高い場合には罹患が多いか早期発見が良くないか、治療が良くないかということで、この３点をチェックするということで、この４点をデータでチェックしたものになります。

肺がんの男性に関してみますと、死亡率は低く、罹患率も低い。良い兆しもあるのですが、早期発見率が悪いことがみられます。

肺がんの女性に関してみますと、やはり早期発見率が悪いことがみられます。

そして大腸がんの男性、いつも話題となって、改善のためにモニターをしなければいけないテーマになっておりますけれども、死亡率が高く、罹患率が高く、早期発見率が悪く、治療成績が悪いということになっております。

大腸がんの女性に関しましては、やはり男性とは様相は異なりますけど、はかばかしくない数字がかなり多いということ。

胃がんに関しては、沖縄は罹患は少ないので死亡率が低いということになっておりますけど、その影で早期発見率が良くない、治療成績もあまり良くないという数字もございますので、確認が必要になる可能性があるということになります。

最後に乳がんですけれども、罹患率が非常に高くなっておりますので、将来のことを考えて対策及びモニタリングが必要かということになります。

なお、申し遅れましたけど、このうちの見方の関しましては、左から右にかけて先ほど紹介しました４つの指標が出ておりますけれども､いわゆる箱ひげ図になっておりまして、右のほうに注釈が書かれておりますけれども、真ん中に中央値、そして棒線のあるところが上限値と下限値になっており、それを外れると外れ値ということです。色のイメージとしては、赤っぽい色が良くない数値、緑っぽい色が比較的良い数値かなというものに書かれているところです。

ここまでのまとめになりますけれども、死亡率、罹患率、早期発見率、治療成績、全てに懸念があるようなもの､例えば大腸がんの男性は特に重点チェックが必要だと思います。また、罹患率が高くなくても治療成績に少し赤っぽい色が出ているところもございます。罹患率が高い乳がんなどは今後、死亡率が高くなる恐れがあるので注意深くモニターするようなことがあろうかと思います。

ということで、こういうデータを定点観測して定期チェック、そして必要とあれば対策を打つことに関して改めて確認をいただければというところでございます。

２番目には、部位別病期別５年生存率を今度は施設別単位でみたデータになります。これをみる意義はさまざまあると思いますが、先ほど地域単位でがんの種類別にステージ別に成績ががん登録から出ます｡もしそれが悪いとなった場合はどう考えるかといいますと、それを治療している治療施設の成績の合成、合わせたものが地域の成績になっていると、地域で良くないんだったら施設単位でみて、どこか問題がないかというような発想で探索することもできるかと思います。さまざまな見方があると思いますけれども、新たに公表されてきたようなデータもしっかりみる必要があるということでご提示するものです。

これは肺がんの１期５年生存率になります。がん種を絞り、ステージを絞り、５年生存率をみています。まず図の見方ですが、数字上、緑色のものは数字が良いもの、赤いものは好ましくない数字ということです。添えてあります数字は症例数になります。緑色のグラフの両端にグレーの範囲が出ていますが、これが95%信頼区間の上限と下限ということで、統計学的に灰色の範囲のどこかあたりに恐らく成績が収まっているのではないかとい

うことになります。日本全国のグラフを見ると煩雑になりますので、九州・沖縄地区で公表されているものだけをみているものです。

補助線の赤線は九州地区、福岡県で緑色で成績が一番良い数字が出ている。この場合ですと九州がんセンターの下限値に補助線を引いてありますので、ほかの施設の上限値がこれより左にきていると、この数字上は95％有意で数値が悪いというような見方になります。

ただ欄外注記に書いておりますように、高齢者が多い少ないなど施設別ごとに治療している患者さんの構成が異なりますので、これは病期だけをみております。患者背景をみておりませんので、単純にこの数値で施設の良し悪しを論じることはできないことを改めて申し上げておきます。

また、こうした病院のデータを見ますと、症例数と５年生存率の数値の組み合わせが出ますけれども、これを散布図に表しますとこのような姿になります。症例が多いほど生存率が高くなる傾向はありますけれども、同じ症例でも大きく生存率が異なるということで、数だけでは言えないということと、これにどのような傾向があるのかということをみていくことが求められるということでございます。

あとは、同様の趣向のものでございますので説明は省きますけれども、こちらのほうは大腸がん１期５年生存率になります。公表されている数値上では沖縄の施設、限定的な開示になりますけれども、病院数は少なくなりますが、赤色表示になるものもかなりあるということでございます。

こちらは大腸がん２期５年生存率になります。

こちらは大腸がん３期５年生存率になります。

次に、胃がん１期５年生存率、そして乳がん２期５年生存率という形になります。

これをどう考えるかですが、地域別でみるものと施設別でみるものを掛け合わせて地域の均てん化、最適になることを地域全体で考えていく。その材料になるのではないかということでございます。もちろんデータの足りないところなども含めて検討していかなければいけないということだと思います。

次に、２点、以前からご説明しておりますNDB-SCRを使ったデータを補充しておきたいと思います。内閣府の医療提供状況の地域差というホームページでデータが膨大な数でわかりやすく公表されております。治療の行為、医薬品の使用のされ方、それがまた疾病別に出てきているという形です。また、医療のくくりも大ぐくりなものから個別な医療行為のくくりの細分でも出ております。地域単位も県単位、医療圏単位、市町村単位というよう

な形で出ているわけです。

例えば項目はどういうものがあるかというと、いわゆる診療報酬と算定されるものに関しては全て、そして47都道府県、あるいは344医療圏、1,700ぐらいでしょうか、市町村別に出ております。項目的には7,000項目ぐらいのものが出ておりますので、患者さんが受けた医療、医療関係者がカルテに書いた行為全てが可視化されているような形になっている。また新たにがんの化学療法、がんの放射線治療といったような切り口までまとめたものも出てきているということです。

繰り返しになりますが、もう一度、NDB-SCRをみておきますと、National Data Base、レセプトをデータとして出たものをデータベースにしたもの、それがNational Data Base、NDBでございますが、SCR化してある。これは標準化レセプト出現比という形で加工しているので見やすいということでございます。

これはひと言でいいますと、全国の性・年齢階級別でこの人口及び年齢階級別だとこれぐらいの頻度でこのカルテが出てくるよねという想定数に比べて実際のものがどれぐらい出てきたかということで、100だと、全国100に対してこの地域の100は普通、80だと少なめ、60だとかなり少ない、120だと多め、140だとかなり多めと、そういう見方ができるものでございます。

さて、NDB-SCRで抗がん剤の使用量と構成という形で公表されているデータは沖縄県の定点観測チェックにも使えるのではないかと思います。地域の医療の実状が可視化できるようになったわけですから、この協議会のメンバー、それぞれの専門性、関心から実状をチェックすることが責務となっているかと思われます。ここでは抗がん剤の医療圏別の指標の組み合わせの状況をみたいということです。公表サイトはこちらのほうで可視化されており、この赤枠のところをクリックすると、こうしたデータが出てきます。

これは肺がんに対する化学療法、使用薬の地域別ポートフォリオ、地域における組み合わせです。縦に薬の名前が書いてあります。そして真ん中の青線が100、NDB-SCRの全国値です。それに対して左右にありますが、左にいくと使用量が少ない、そして緑色の帯が両端で95%有意といったような幅でございます。左のほうにあっても、かつ緑の幅から外れているとかなり少ない。右のほうにいっていると多いけれども、緑の帯より離れているとかなり多いということです。

このような形で地域別の薬の状況がみられるようになっている。これを活用できないかということになります。特に多い少ないもさることながら、標準治療薬や新しくエッセン

シャル、有用と言われているような薬が後れなく使われているかということに関心があります。こうしたことに関しましては、かなり専門家の見方が必要だと思いますが、定点観測をしていただく。それによって、この地域が最適な状態になっているかということです。それを多様なメンバーでチェックしていただくことが考えられるかと思います。

あと１分半になりましたけれども、最後の疼痛管理薬の使用量と構成をみておきたいと思います。同様のデータ開示からデータを取ることができます。がんの緩和は大きなテーマで、薬の使い方、使われ方は非常に大事かと思われますが、このデータを見ますと、数値表面上では、沖縄では疼痛管理薬の使用量が全国100に比べて50というラインを下回っているものが多く、全般的には量として使用量が少ないことと、全国100の値のものに関して、100近いものもあれば、０に近いものまであるということ。また、医療圏別にみておりますが、医療圏によってかなり違いもあることがわかります。

我々素人には解釈が難しい問題ではありますが、これは専門的な観点をお持ちの方がいれば、恐らくこういう形のこういう薬をこういう組み合わせでこれぐらいの量でやるのがベターなコントロールではないかと、それに近い形なのか、それとはかなり離れた形なのか、沖縄全体、あるいは沖縄の各地区をどういう形にもっていくのかというようなイメージでいくのではないかと思います。それに近ければいいのですが、もし外れているところがあれば検討していただくという形で使っていただくことができるのではないかと思います。

以上といたしまして、最後の結論のスライドだけめくりたいと思っています。前回も話題になっておりましたけれども、情報を活用して沖縄の医療をチェックしていくということで、ぜひその定点観測及びベンチマーク部会を活用していただいて、そのあたりを進めていただければということで追加情報を共有させていただきました。

以上、大体15分だったと思います。終わります。

○大屋祐輔議長

何かございましたら、どうぞ、安里会長。

○安里哲好委員（沖縄県医師会　会長）

埴岡先生、素晴らしいご報告をありがとうございました。私からの質問は、大腸がんの件でございますけれども、５年生存率等の報告もございまして、九州とか大分はいいなと

感じましたけれども、罹患率が低くて、それから早期発見率が高いという、この県をモデル地域にして沖縄の大腸がんの改善をする方向を模索するということをもしご存じでしたらお教えいただきたいし、今、そういう情報をお持ちでなかったら、また何かの形でお調べいただいてご指導いただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

○埴岡健一委員

今日お示ししたデータは、データベースができており、ボタンを押すことで沖縄のところをアップしております。あるいは全体を見ると、それらの指標で日本一良いところ、あるいは全体、４つの指標で、４つの組み合わせとしてベターな地域がわかりますので、ある意味、そこを追いつけ追い越せ的なことがわかると思います。そういうデータがありましたらご提供したいと思っております。

○安里哲好委員

ありがとうございます。

○大屋祐輔議長

ほかにいかがでしょうか。

○埴岡健一委員

例えば緩和ケアに関して、緩和ケアの専門の先生がそこに多分３～４人いらっしゃるんじゃないかと思うんですけど、まだ今は所見かもしれないんですけど、感じていらっしゃることで今、沖縄の緩和ケアの疼痛管理薬、使い方はベストに近いと思っていらっしゃるのか、まだまだ問題が多いと思っていらっしゃるのか、あるいは今日見たデータから、とりあえず何か見えるものがありそうなのか、なさそうなのか、そのあたりの感触を少し教えていただけるとありがたいです。

○大屋祐輔議長

笹良先生、よろしければコメントをお願いします。

○笹良剛史　緩和ケア・在宅医療部会長

どうもありがとうございます。ただ非常に貴重なデータではありますけど、薬品が本当に、今はオピオイドのデータを示していただいたんですけれども、たくさんの種類があって、多分、採用している薬が地域によって偏りがあるのでちょっと比較しづらいものがある。ただトータル量でいうと、全国に比べると低いのがどういうことなのか、全国平均は必ずしも量が多いほうがいいというわけでもないかもしれないですけど、50%を切るのはかなり少ない量でしか使われていない部分もあるので、何らかの解釈と一緒にある意味、その意味がどうなのかというのは何らかの調査をしないといけないのかもしれないなと感じております。

○埴岡健一委員

ありがとうございます。少ない量で患者さんのＱＯＬがコントロールされていると本当に素晴らしいんですけど、懸案としては最適なことが行われていない可能性もゼロではないと思うので、ぜひご確認いただきたいと思います。

お時間を急いでいるのを承知なんですけど、抗がん剤の指標に関しては、腫瘍内科専門医の増田先生、お二人の１人だと思うんですけど、何か感じることはございましたでしょうか。

○増田昌人委員

かなり偏りがあるのが１つと、あと全般的に少なめのような感じはあるんですよね。有意差はないにしても、プラスマイナス1SDの範囲から外れて低いほうに外れている抗がん剤が多かったように見受けられますので、これからそれぞれ臓器別の方々と相談して、１つ１つ確認はしていきたいと思います。

２つ目が大腸がんに関しましても、先ほど安里医師会長からもありましたように、今度、大腸がんプロジェクトをもう１回仕切り直して、６月ないしは７月に集まる予定でおりますので、その際にも今回のデータをメンバーで確認して評価をしていきたいと思います。

○大屋祐輔議長

埴岡委員、どうもありがとうございます。全国で、また沖縄の中でも地域的に検討していくことが非常に重要だと思いますし、がんや薬物使用にかかわらず、沖縄の社会データは全国一と全国最下位が入り乱れている感触があって、真ん中はあまりない位置ですよね。

そういうところも多少なりともいろいろな社会全体のカルチャーも含めていろいろ今後、そこまで踏み込んでがん対策をつくっていかないといけないかなと思います。

時間もないのにしゃべっていますけど、今日は触れられませんでしたけれども、いろいろなデータが全国色が多いということもなんとなくわからないでもないかなというところもあるのですが、これも今後、しっかり検討しないといけないのかなと思います。

それでは、次に天野委員よりご報告をいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

２．天野委員報告

○天野慎介委員（一般社団法人グループ・ネクサス・ジャパン　理事長）

私のほうで資料を共有いたします。報告でございます。私の患者団体を通じた要望活動並びに啓発活動についての新型コロナウイルスに関連した活動についてご報告を申し上げます。

まず要望活動の１件目ですが、令和２年３月に厚生労働省に対して要望書を提出しました。１個目の要望書の趣旨は、厚生労働省から２月に、特に慢性疾患等を有する定期受診患者が継続的な医療・投薬を必要とする場合に、電話や通信機器等を用いた診療によりファクシミリ等による処方せんの情報の送付が行えるという通知があったのですが、地域や医療機関によっては、この慢性疾患というものが糖尿病や高血圧といった疾病に限定されていると誤解されている地域が複数ありまして、がんの患者さんが慢性疾患に該当しているということが周知されていない現状がありましたので、それについて是正を求める、周知を求める要望書を３月に提出しております。これが１件目の要望活動で、全国がん患者団体連合会として提出をさせていただきました。

２点目の要望活動は、私が理事長を務めております神奈川県がん患者団体連合会でございますが、神奈川県に限らず、いわゆる医療機関におけるマスク等の確保は非常に厳しい状況がありまして、神奈川県においても４月のころは、いわゆるサージカルマスクも３日に１枚であるとか、それも近日中に在庫が尽きるという厳しい状況がありまして、このままでは医療現場の最前線でコロナウイルスと向き合う医療関係者の方々の命を守ることはできないのみならず、医療崩壊につながりますし、そもそもコロナだけではなく、がんやその他の疾病の治療も困難になることを意味しておりますので、神奈川県庁に対して国の取り組みとは別に、県として独自にマスク等を確保する取り組みを求める要望を提出いた

しました。

これについては、神奈川県庁も迅速に動いてくださりまして、この要望から１週間後に、神奈川県においては少なくとも拠点的な大学病院等にはサージカルマスクについては供給が開始されました。

以降は患者団体としての啓発活動になります。私が所属する全国がん患者団体連合会にも加盟団体を通じて多くの患者さんやご家族の方からさまざまな声が寄せられています。大別すると３月ぐらいまでは感染するのではないかという不安の声が主でしたが、４月ごろからは診療や検査や経過観察が延期になった、手術が延期になったという声もあり始めていますし、最近はお仕事を失ってしまったり、休職になったことでがん治療の継続が難しくなりそうだというご意見もいただいております。

そういった中でできる限り情報活動、情報提供を行っていくことを意義としまして、ＷＥＢでの緊急セミナーを幾つか開催しております。まず１件目は、４月20日に神奈川県の北里大学のがん診療センター長で副病院長の佐々木治一郎先生からオンラインでご講演をいただきまして、コロナウイルス感染症に対するがん患者のリスクや発熱時の対応、治療や検査等が延期になった場合にどのようにすればいいのかなどの質問についてご回答をいただいたことがあります。

佐々木先生は副病院長という立場で、いわゆるダイヤモンド・プリンセス号の対応にも当たられていた病院なので、そういったお立場からもお話をいただきまして、北里大学の場合は、手術を50％程度に絞っているということで、患者さんの対応に苦慮されている面もあると同時に、経営的にもかなり厳しい状況になりつつあることもおっしゃられていました。

２つ目の緊急セミナーは、４月24日に、政府の専門家会議の委員でもあります東京大学医科学研究所の武藤香織先生からご講演をいただきました。こちらは専門家会議での議論での内容やＳＮＳを通じた専門家会議の有識者のメンバーによる情報発信、特に診療制限に伴う倫理的な課題や偏見の防止などについてお話をいただいております。

３つ目のセミナーにつきましては、５月４日になります。つい先日ですが、大阪大学の平井啓先生からお話をいただきまして、がん患者さんの精神的な支援の部分についてお話をいただきました。いわゆる隔離状況下で恐怖や不安であるとか、抑うつ状態であるとか、怒り、スティグマ化、社会的弱者に対する差別や偏見などが広がっている中で、どういったストレスマネジメントができるのかについてお話をいただきました。

４つ目の緊急セミナーはこれから開催されるのですが、５月10日に神戸のしんじょう医院の在宅でかかわられている新城先生と訪問看護ステーションあおいそらの塩川先生から在宅医療の現状についてお話をいただく予定です。ご承知のとおり在宅医療、感染管理も非常に厳しい状況がある中で、特にがん患者さんに対するケアの面からお話をいただく予定になっております。

また、私の所属している血液がんの患者団体のほうでも特に血液がんの患者さんはリスクが高いのではないかという声が寄せられていることに鑑みまして、血液がん患者さんや造血幹細胞移植を受けた患者さんが感染した場合のリスクについての考え方であるとか、そういったことについてご講演をいただきました。演者の先生は長野県の佐久医療センターの森勇一先生となっております。

最後に、これは各地の患者団体等でface to faceでの交流の場ができなくなっている現状がございます。電話相談窓口などを設けているのですが、私たちの会にとどまらず、さまざまな会がやっていることですが、いわゆるZoomを用いたオンラインでの交流の場を設けることによりまして、患者さんやご家族の方の不安を少しでも和らげるような活動をということで展開しております。毎回、概ね10名程度の方々が参加されている現状がございます。

総括いたしますと、いわゆる地域差が非常に大きい現状があると感じていまして、沖縄県もかなり厳しい状況が一時期あったと承知しておりますが、私が在住する神奈川県や東京はまだまだ厳しい状況です。一方でそれ以外の地域では徐々に落ち着いてきている状況もある中で、今後はどのように患者さんを支えていくのか、がん診療を支えていくのかはなかなか難しい面があると感じている次第でございます。

私からは以上でございます。

○大屋祐輔議長

ありがとうございます。まさにコロナに関連した話題で、私どももがん患者さんの治療が遅れることがないようにと気遣いながらもなかなか難しいところに進んでいるところではございますが、ただいまのご報告にご質問やコメント等はございますでしょうか。

一番最初の資料６の最初でお見せいただいた慢性疾患等のところで、これにがんが含まれていないという解釈はどこからきたというのはおかしいのですが、厚労省も少しわかりづらい報告を出してしまったのは、なんでこうなったんだろうというのをある意味、不思

議に思ったのですが、そこら辺は患者団体でこういうことを出すにあたってどういうふうに議論されたんでしょうか。

○天野慎介委員

現実に複数の地域の医療機関の先生から、この取り扱いに基づいてファクシミリでの診療を行おうとしたところ、慢性疾患にがんは含まれていませんと却下されたという事例が寄せられていたことがありまして、患者団体のほうでなんとか動いてくれないかということがあったのが背景にあります。ただなぜこういったわかりづらい通知になったかは、厚生労働省に要望を出したのが３月で、今もそうですが、厚生労働省が非常に慌ただしいというか、ある意味、多忙を極めている時期だったのでその詳しい事情までは確認できていないということでございます。

○大屋祐輔議長

わかりました。通常であればがんも含まれるということなんでしょうけど、文字だけで慢性疾患と見てしまうと、そこが抜けてしまったというか、厚生労働省が通達を出すときにそこまで思いが及ばなかったのかもしれませんね。今は皆さん、とても多忙にされているところで、最後のチェックができていなかったのかもしれませんが、これが実際に１人１人の患者さんの不都合につながるわけなので、しっかり事に当たっていただきたいなと思う次第です。

皆さんのほうからほかにいかがでしょうか。意見やコメント等はございますでしょうか。よろしいですか。

ないようでしたら、次は島委員よりご報告をいただきます。よろしくお願いいたします。

３.島委員報告

○島洋子委員

手短に申しますと、私どもは報道機関として、がんも含めた闘病、それから病と闘っている方、それから今では本当にコロナウイルスの対応等が非常に重要なテーマになっているのはずっとそうなっております。それで、定期的にがんの方の問題であるとか、琉球大学さんに事務局がありますけれども、我々は最近、心臓病の方の支援をする基金の団体の報道をさせていただいたりしております。特に今はコロナ対策の取材をさせていただく中

で、中部病院さんに昨日、今日の状況等を取材させていただきましたけれども、本当は読者の皆さんにもっと医療現場の大変さであるとか、それから日本の、そして沖縄の医療に足りないものがあるのかということをもっともっと取材させていただきたいなと思っております。

加えて保健所さんがどこもすごく危機的な状況と伺っていますけれども、また我々が中に入れないような状況もあります。そして新聞記者は基本的には対面取材が基本ですけれども、なかなかそれもかなわないというような、今までになかった状況の中で、医療と県民、読者を結ぶ報道というのはどういうことをすればいいのかを非常に課題として持っております。委員の皆様にも今後、そういったことも我々にもご指導をいただきたいと思っております。

資料のほうは出ないのですが、過去のがんで闘病する方々、特に女性、乳がんの患者さんの声をいろいろと紹介させていただいた資料をお配りいたしました。

私のコメントは以上でございます。よろしくお願いいたします。

○大屋祐輔議長

ありがとうございました。資料の中にはマイストーリーという乳がんサバイバー体験記という形で幾つかの資料を出していただいているということです。今の沖縄県、今日も資料が幾つか出てきたように、沖縄県のがん対策には幾つかの特徴があるところを県民にうまく伝えていくことで、あるがんの撲滅のためにはここら辺をやっていったほうがいいとか、地域によっても対策が違ってくるとか、年齢によっても性別によっても変わってくるところを、そんな方にはぜひしっかりと上手に報告をいただいて、沖縄県のがん診療にも一緒に歩んでいただきたいと常日ごろ思っているところです。

今、お話があったように、今のコロナもアフターコロナなのか、ウィズコロナなのかわかりませんけれども、従来、私どもが社会でやってきたこと、医療もですし、多分、マスコミ、報道もそうだと思うんですけれども、新しい時代に対応した市民県民へのアプローチも出てくるのではないかということもあわせてご報告いただいたのではないかなと思います。

皆様のほうからご意見やご質問、ご要望も含めてお願いします。中部病院からお願いします。

○照屋洋子委員

照屋です。１つ報告です。コロナに伴って化学療法を受けているがんの患者さんが一般の患者さんたちに混じったときに、万が一にコロナが発症してしまうと非常に危機的状況になるのではないかと思いますので、４月当初から化学療法を受ける患者さんたちを少しでも滞在時間を短くする取り組みを中部病院はしました。化学療法の患者さんの利用者数が１日当たり20名ぐらいですが、それは全く減っていません。取り組みとしては、採血するときにあるカードさえ出せば優先的に採血すると、白血球や今日の血液検査データが出るまでの間、特別待合室をつくって、そこで待っていただいて、一般の外来の患者さんと化学療法を受けるがんの患者さんたちのエリアを分ける取り組みをして現在も続いております。ですので、コロナの中で化学療法を受けるがんの患者さんの中で何か工夫しているところがあれば教えていただけたらなというところです。

○大屋祐輔議長

ありがとうございます。今、お話があったように、がん患者さんの治療において、各病院はいろいろ工夫されていると思うんですが、その点についてはいかがでしょうか。

私どもの病院であれば、がんの化学療法の患者さんはしっかり来ていただきますけれども、そうでない患者さんはなるべく処方せん等を90日にして間隔を落としたりとか、約４割の患者さんを減らしましたけど、病院によってはもっと減らせるところも減らせないところもあると思うんですが、いろいろと苦労はされていると思います。もしよろしければ幾つかの病院でご報告をいただければと思いますが、いかがでしょうか。

○照屋洋子委員

中部病院でもファクス処方は積極的に取り入れていますので、一般の外来患者さんも本当に４割ぐらい減りましたね。

○大屋祐輔議長

先ほどの優先カードは非常にいいアイデアだと思いますので、一応、落ち着いてはいますので、それを使わなくていい状況になればいいのですが、その際にはまたアイデアを使わせていただきたいと思います。

それでは、次へいきたいと思います。審議事項に移りたいと思います。まとめて１号議

案から３号まで増田委員よりご提案をお願いいたします。

審議事項

１.沖縄県がん診療連携協議会 要綱の改正について

２.沖縄県がん診療連携協議会幹事会 運営に関する申し合わせの改正について

３.沖縄県がん診療連携協議会 部会申し合わせの改正について

○増田昌人委員

第１号議案、資料８が画面に出ているかと思いますが、第１号議案から第３号議案までまとめて提案いたします。

本協議会の要綱、幹事会の運営の申し合わせ、部会申し合わせの改正についてです。提案理由としましては、この画面の左上にもありますように、１番として、琉球大学医学部附属病院の名称が、４月１日から琉球大学病院となったこと、２番目に、それに伴いまして事務部が上原キャンパス事務部と名称変更になったこと、３つ目が、県立宮古病院が地域がん診療病院に復帰されたことから、それぞれの変更を行いたいと思います。

ただ資料８の左上の改正理由の箇所で、本来は「県立宮古病院」と記載するべきところを私のミスで「宮崎病院」としているところを深くお詫びいたします。訂正をさせていただきます。

○大屋祐輔議長

ご提案いただきましたように、私どもの病院の都合によりますが、それと宮古病院が復帰されたということ、それによって文章を修正させていただくということですが、これで皆さんもお認めいただいてよろしいでしょうか。

お認めいただいたということで、それでは次に審議事項４に移りたいと思います。資料11、拠点病院等看護部長会議の新設について、大嶺委員からお願いいたします。

４.「拠点病院等看護部長会議」の新設について

○大嶺千代美委員（琉球大学病院　看護部長）

資料11をご覧ください。うちのほうから看護部長会議を提案させていただいております。年４回、この会議は開催されており、各病院の看護部長、副病院長は参加していますけれども、看護に関しての情報交換は少ないこともありまして、同じ日に看護に関する情報交

換して、拠点病院等看護部長会議の開催を考えています。

○大屋祐輔議長

聞こえましたか。ちょっと声が遠かったかもしれないのですが、今、大嶺看護部長から当院にご提案がありましたように、幾つかの部会では頻繁に情報交換をしているということなんですが、看護部長、副看護部長の方はこの協議会におられるのですが、必ずしも頻繁な情報交換ができていないかもしれないということで、今回は拠点病院等の看護部長会議を申請することをご提案いただいたのですが、この件につきましていかがでしょうか。非常に良いことではないかなと思っているのですが、ご意見等がなければお認めいただいたということで、この会議をつくらせていただきたいと思います。ありがとうございます。

それでは、第５号議案に移ります。資料12、がんゲノム医療について、増田委員よりご提案をいただきます。

５.がんゲノム医療について

○増田昌人委員

資料が多くて恐縮なんですが、一番後ろの２枚だけお話をしたいと思います。資料12-2、前回の本協議会及び４月の幹事会でも議論したところで、少し論点整理をしまして、皆さんにお諮りしたいことが全部で３つありますのでご議論を後でお願いいたします。

１番が、昨年６月にがんゲノム医療に必要不可欠ながん遺伝子パネル検査、保険上はがんゲノムプロファイリング検査という記載なんですが、保険適用されておりまして、そのときに厚労省から保険を適用するにあたっての通知がありまして、それの(1)として、固形腫瘍の腫瘍細胞を検体とするということで、血液腫瘍は除くということ。

(2)の下線部は多職種による検討会、エキスパートパネルと通称呼んでいますが、この検討を経た上で文章を用いて患者さんに説明する。

(3)としては、全身状態及び臓器機能等から当該検査施行後に化学療法の適用となる可能性が高いと判断した患者さんに行うことになっております。

これを受けまして、２番として、がん遺伝子パネル検査についての現状と問題点なんですが、この検査をオーダーしてから主治医に結果が届き、エキスパートパネルが開催されるのは最短で５週間、多くは６～７週間かかっています。この間に患者さんの全身状態等の悪化により検査結果を参考にして行われるべき薬物療法が施行できない状況になってし

まうのは避けなくてはなりません。また、患者さんが死亡、または重篤な状態になってしまうことにより、検査結果の説明が直接患者さんにできないと、検査をオーダーした病院が経済的負担を負うことになります。

昨年６月にこの検査が保険適用となってからも検査への過度な期待からか、がんゲノム医療中核拠点病院やがんゲノム医療拠点病院へ受け入れ可能数を超えた患者さんの紹介があります。さらにその中には、前項の条件を逸脱した患者さんの紹介がかなり含まれており、不十分な事前説明も相まって、患者さんやそのご家族とのトラブルや病院間のトラブルになっているケースも出てきています。

このようなことを避けるために、我が国の多くの医療機関では現在、①検査提出日のＰＳ、状態がいい患者さん、ゼロがほぼ健常人と一緒なわけですが、０、１の症例。

②として、検査提出日から３か月以上の生存が予測され、検査結果により新たな薬物療法が可能であると主治医が判断できるような症例が目安とするようになってきています。しかし、今も関連学会等では条件を逸脱した患者さんの紹介が続いているとの報告があります。

次の160ページをお願いいたします。実際に昨年から始まった私どもの琉大病院でのがんゲノム医療相談外来に紹介された患者さんの多くは、前項の条件を満たさない患者さんでした。このため、紹介元の医療機関や医師への情報の周知徹底を行い、紹介前に患者さんやそのご家族への的確な説明を十分に行っていただく体制づくりが急務であると、これは全国的に言われていることであります。

３番として、幹事会で審議された方策、今回の協議会での審議事項なのですが、３点ありまして、⑴患者さんの集中を防ぐために段階的に紹介を受け入れる体制づくりをしたいと考えております。具体的には、７月に琉球大学病院にがんゲノム医療外来を開設し、まずは地域がん診療拠点病院からの患者さんの受け入れを開始したい。８月に診療病院からの患者さんの受け入れを開始する。10月には沖縄県が選定したがん診療の専門医療機関が、どうやらこのあたりで固定されるようなので、そこからの患者さんの受け入れ。11月は全ての医療機関からの患者さんの受け入れを開始したいと。このように段階的に紹介可能な医療機関を増やしていく体制としたいと考えております。

ただ例外事項として患者さんの病状によって急を要する場合は琉大病院がんセンターと私どもで直接相談していただいて、例外的に受け入れることにより患者さんの不利益にならないように図りたいと思っております。

(2)の提案が、紹介元の医療機関における紹介医師を１人に絞る。いわば施設代表医師制度をここで創設したいと考えております。患者さんに対して紹介前に十分な説明を行うために、紹介元の医療機関における紹介医師を１人に絞る。施設代表医師はその医療機関におけるがん医療をよく把握している医師で、例えばがん薬物療法専門医や日本がん治療認定医機構指導責任者ないしはがん治療認定医等を想定しています。それを各医療機関の長に任命していただく。

(3)として、がんゲノム医療とがん遺伝子パネル検査に関する院内研修会の開催を患者紹介前に行う。地域拠点病院と診療病院においては、前述の研修会を必須のものとしたい。また、それ以外の県内医療機関についても研修を受けることを推奨したいと考えています。研修会のやり方につきましては、当初は私どもが伺って研修会を主催することを考えておりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴いまして、別個に幹事会等で今後も検討していきたいと考えています。

４番として、ご意見をいただき、協議会として決定していただきたい論点としましては３つあります。先ほど１番目にお話しした患者さんの集中を防ぐために段階的に紹介を受け入れる体制づくりがよろしいかどうかということ。

２番目に、紹介元の医療機関における紹介医師を１人に絞る。その医師から直接琉大病院に紹介していく。その医師を通して紹介をしていただきたいということ。

３番目が、院内研修会をしていただくことになります。

以上、３点につきましては、それぞれご意見を頂戴していきたいと思っています。

○大屋祐輔議長

今、増田委員からご提案がありましたけど、この件についてご意見やご質問がありましたらぜひお願いしたいのですがいかがでしょうか。

この分野は全国的にマスコミ等でのご紹介がずっと行われているのですが、そこで語られている内容と実際の現場とのギャップがありまして、そこを埋めるためにもぜひ関連の先生方に状況をしっかり把握していただいた上でご紹介していただくような体制をつくっていこうということになりますがいかがでしょうか。

これに関して１つ１つ申し上げたいと思いますが、患者さんの集中を防ぐために段階的に紹介を受け入れる体制、もちろん患者さんの状態によって段階的なものは難しい場合があるかもしれません。個々の例については直接ご紹介いただいてご相談しましょうという

ことで、この１番についてご意見、ご質問等はございますでしょうか。

では、この形で賛成ということでご了承いただけますか。問題がある場合はチャットで書き込んでいただいても結構ですし、ご発言いただいても結構ですが。

ご賛成いただいたということで次へ進めさせてください。

紹介元の医療機関における紹介医師を１人に絞る。施設代表医師制度ということで、もちろんサブで入った先生と相談しながら、２人で相談したり、３人で相談したりということは当然いいんですけれども、直接私どものがんゲノム医療外来といろいろな交渉をしたり相談をするのはある一定の方に絞らせていただいてスタートする。しかし、軌道に乗ったらここら辺も少しずつ変わっていくということだと思います。

○増田昌人委員

今日の資料には書いておりませんが、予定としましては、来年４月からはこのことを外したいと考えております。

○大屋祐輔議長

段階的にということでよろしいでしょうか。よろしければ、これもご賛成いただいたということで３番目､がんゲノム医療とがん遺伝子パネル検査に関する院内研修会の開催を、実際にスタートして患者紹介していただく前に行っていくということなんですが、これについてはしっかりこちらのほうからちゃんと研修会の準備をしますが、このコロナの状況についても、場合によってはZoomを使ったものとか、ＤＶＤという形もあるということでさせていただきたいと思いますが、この件もよろしいでしょうか。

ありがとうございます。

それでは、この３つともご承認いただいたということで、さらに進めさせていただきたいと思います。

それでは、第６号議案です。がん患者さんの生殖機能温存についてということで、資料13、百名委員からご説明をお願いいたします。

６.がん患者さんの生殖機能温存について

○百名伸之委員（琉球大学病院小児科　講師）

資料13ですが、実際に審議していただきたい事項が資料13-2にございますので、そこを

中心に説明させていただきます。

前回から生殖機能温存については重要なテーマということでお話しさせていただいておりますけれども、沖縄県におけるがん患者の生殖機能温存を確実に提供するための方策ということでお話を進めております。これの基になるのががん診療連携拠点病院等の整備に関する指針において、Ⅱのサのところですね。拠点病院の指定要件について、生殖機能の温存に関しては、患者の希望を確認し、院内または地域の生殖医療に関する診療科についての情報を提供するとともに、当該診療科と治療に関する情報を共有する体制を整備することが義務付けられております。がん診療病院についても同様のことが義務付けられているということで、これはぜひ沖縄県でも実現しないといけないことになっております。

２のほうですけれども、現状はどういうことかということで、以前、小児・ＡＹＡ部会で調査したところ、やはりまだいろいろ問題点があるということで、特にがん及びがんの治療による生殖機能への影響についての主治医が患者への情報提供がまだ十分ではない。それから患者さんへ希望を確認することも十分されていない。それから専門外来がまだ十分整備されていない。それから連携体制も不十分であるということで、これらを改善していきましょうということで話を進めております。

それで３のほうですけれども、幹事会で提案しましてご審議いただいた内容が以下のことで、(1)沖縄県の拠点病院及び診療病院において、全ての男性患者及び０～50歳の女性患者のうち、がん及びがんの治療により生殖機能への影響が生じると予想される対象患者全てに温存に関する説明を行うことを実現したい。

それから(2)ですが、それを実現するために、拠点病院及び診療病院で共用できる「がん患者さんのための妊孕性温存療法に関する説明書」を作成いたしました。この説明書を用いて全ての拠点病院、診療病院で共用の文書として、沖縄県全体で同様の説明ができることを推奨したいということです。

それから(3)ですが、これは拠点病院、診療病院において妊孕性温存に関する担当医、主に産婦人科医になるかと思うんですけれども、あるいは泌尿器科医に担当医を決めていただいて、その方に診療病院の妊孕性温存に関して中心になっていただくと、そうすることで確実に連携もできていくことになりますので、そういう体制づくりをしていきたい。

それから(4)ですが、がん患者における生殖機能の温存に関して、拠点病院及び診療病院のがんにかかわる全ての医師が十分に知識を得るために院内研修会を受けることを義務付けることを提案いたしました。

それを受けまして、４のほうですが、協議会として決定していただきたい論点は４つに記載しております。(1)沖縄県の拠点病院及び診療病院において、対象患者全てに生殖機能の温存に関する説明を行ってよいでしょうか。

(2)我々が作成しました説明書を用いて共用文書としてそれを承認していただいて、基本的にはこの文書を用いて県内の全ての病院で説明していただくということでよろしいでしょうか。

(3) ９月末までに各病院で温存に関する担当医を指名して決定していただいて、琉大病院に現在、専門外来ができていますので、そこへ積極的に紹介していただくようにすることに関していかがでしょうか。

(4)がんにかかわる全ての医師が院内研修会を受けることを義務付けることでよろしいでしょうか。

以上の４つの論点についてご審議いただければと思います。よろしくお願いいたします。

○大屋祐輔議長

最終的には必要な患者さんに必要な生殖機能の温存の治療というか、対応をできるようにしていくということだろうと思います。(1)拠点病院及び診療病院において対象者全てに生殖機能温存に関する説明を行うと。これは病院長がやれと言うのか、がんに携わる全ての医者がこのことを義務として行っていくように働きかけを行うということですよね。何かスローガンのように書いてあるので具体的には説明を行う。スローガン的な感じですかね。いや、もちろん反対する人はいないと思うんですが。

○百名伸之委員

それに対しては指針で義務付けられておりますので。

○大屋祐輔議長

もう一度しっかりと各病院で取り上げてもらうように、ここの場でこのことを決議して働きかけていくことが一番ですがよろしいでしょうか。

ありがとうございます。

それでは(2)にいきます。これも共用の文書を承認して、それに基づいて説明していただくということで、これは上の説明を行うに当たって共通の文書があったほうが患者さんに

とってもわかりやすいし、紹介においてもうまくいくのではないかということで、これについてよろしいですか。

この件もご了承いただいたということで、次にいきます。妊孕性温存に関する担当医を９月末までに各病院で決定していただくということですね。その方の役割としては、妊孕性温存療法についての連携、紹介等の仕事を担っていただくということだろうと思いますが、この件に関してはいかがでしょうか。これは１人でもなくても、２人、３人でもいいということですか。

○百名伸之委員

できればお一人のほうが連絡はしやすいでしょうし、ある程度責任を持っていただくということでは１人のほうがいいかもしれないですが。

○大屋祐輔議長

担当医というか、連絡担当医みたいな、先ほどのがんゲノムのほうでは紹介医を１人に絞るということがありましたけど、今回も担当医ということで、基本的には１人の方になっていただくということですが、その形でよろしいですか。ご意見等がありましたらお願いいたします。

特別にないようでしたら、この形で進めさせていただきたいと思います。

では、(4)院内研修会、もちろんそれぞれの病院にはしっかりこういうことをやりながら、この温存療法を推進する役割はあるのですが、そのために院内研修会を受けることを義務付けると、これは年に１回とか２回とかの規約はあるんですか。そこまではないんですか。最低１回ということで、このことも含めてお認めいただければと思いますが、よろしいですか。

ありがとうございます。

それでは、この件もお認めいただいたということにして次へ移りたいと思います。

次が議題としては最後になります。資料14、令和２年度の協議会、幹事会の開催の日時について、増田委員のほうから提案をお願いいたします。

７.令和２年度の協議会・幹事会の開催の日時について

○増田昌人委員

資料14をご覧ください。次回の日程ですが、第２回協議会は予定どおり８月７日(金)で開催したいと考えております。第３回協議会は、前回の協議会でご意見がありましたので、かなりの委員が関係している日本消化器関連学会(ＪＤＤW)と重なることから１週間ずらして、11月13日(金)へ変更したいと考えております。第４回協議会は予定どおり来年２月５日ということで、以上、提案いたします。

○大屋祐輔議長

今、ご提案いただきましたように、一部は11月の第１週から２週に変えるということですが、それ以外の項目につきましては例年どおりの開催ということになりますが、この件につきましてご了承いただいてよろしいでしょうか。

ありがとうございます。

それでは、お認めいただいたということになります。以上が審議事項となっております。

今日の会議の冒頭に申し上げましたように、いろいろな報告事項等の資料も提出していただいているところではございますけれども、本日はＷＥＢ会議ということもあり、時間を短縮して開催させていただいておりますので、報告事項については各委員の皆様でチェックをしていただき、もしご意見やご質問等がありましたら改めて協議会事務局にご連絡いただければと思います。

今日の会議は以上で終わります。先ほどご紹介がありましたように、次は８月７日となっております。この時点で晴れて開催ができるのか、できることを願っておりますけれども、各委員のご事情等があれば、実際の会議を開きつつ、ＷＥＢでも参加できる形も今後、いろいろ探っていきたいと思っておりますので、今後ともご協力のほうをよろしくお願いいたします。

それでは、本日の協議会を終了させていただきたいと思います。お疲れさまでございました。ありがとうございます。

資料４

沖縄県がん診療連携協議会委員 令和2度名簿 （任期：令和2年4月1日～令和3年3月31日）

No.	要項条項	氏名	異動・変更	ふりがな	所属	役職	要項での位置づけ
1	1	大屋　祐輔	継続	おおや　ゆうすけ	琉球大学病院	病院長	琉大病院の病院長
2	2	玉城　和光	変更	たまき　かずみつ	沖縄県立中部病院	病院長	地域がん診療連携拠点病院の病院長
3	2	外間　浩	変更	ほかま　ひろし	那覇市立病院	病院長	地域がん診療連携拠点病院の病院長
4	3	本永　英治	継続	もとなが　えいじ	沖縄県立宮古病院	病院長	地域がん診療病院の病院長
5	3	篠﨑　裕子	新規	しのざき　ゆうこ	沖縄県立八重山病院	病院長	地域がん診療病院の病院長
6	3	諸喜田　林	継続	しょきた　はやし	北部地区医師会病院	病院長	地域がん診療病院の病院長
7	4	安里　哲好	継続	あさと　てつよし	沖縄県医師会	会長	沖縄県医師会長
8	5	真境名　勉	継続	まじきな　つとむ	沖縄県歯科医師会	会長	沖縄県歯科医師会長
9	6	亀谷　浩昌	継続	かめや　ひろまさ	沖縄県薬剤師会	会長	沖縄県薬剤師会長
10	7	仲座　明美	継続	なかざ　あけみ	沖縄県看護協会	会長	沖縄県看護協会長
11	8	（役職対象者なし）	継続（H31.4～役職対象者なし）		沖縄県	政策参与	沖縄県政策参与
12	9	大城　玲子	変更	おおしろ　れいこ	沖縄県保健医療部	保健医療部長	沖縄県保健医療部長
13	10	増田　昌人	継続	ますだ　まさと	琉球大学病院がんセンター	センター長	琉大病院のがんセンター長
14	11	青木　陽一	新規	あおき　よういち	琉球大学病院がんセンター運営委員会	委員長	琉大病院のがんセンター運営委員会委員長
15	12	平田　哲生	変更	ひらた　てつお	琉球大学病院医療福祉支援センター	センター長	琉大病院の医療福祉支援センター長
16	13	中村　克徳	継続	なかむら　かつのり	琉球大学病院薬剤部	薬剤部長	琉大病院の薬剤部長
17	14	大嶺　千代美	継続	おおみね　ちよみ	琉球大学病院看護部	看護部長	琉大病院の看護部長
18	15	鬼村　博幸	変更	おにむら　ひろゆき	琉球大学上原キャンパス事務部	事務部長	琉大病院の事務部長
19	16	照屋　洋子	変更	てるや　ようこ	沖縄県立中部病院	副院長	地域がん診療連携拠点病院より2名
20	16	朝倉　義崇	継続	あさくら　よしたか	沖縄県立中部病院	血液・腫瘍内科部長	地域がん診療連携拠点病院より2名
21	16	宮里　浩	継続	みやざと　ひろし	那覇市立病院	外科総括科部長	地域がん診療連携拠点病院より2名
22	16	友利　寛文	継続	ともり　ひろふみ	那覇市立病院	外科部長	地域がん診療連携拠点病院より2名
23	17	松村　敏信	継続	まつむら　としのぶ	沖縄県立宮古病院	外科部長	地域がん診療病院から2名
24	17	中山　幸子	変更	なかやま　ゆきこ	沖縄県立宮古病院	副院長	地域がん診療病院から2名
25	17	尾﨑　信弘	継続	おさき　のぶひろ	沖縄県立八重山病院	外科部長	地域がん診療病院から2名
26	17	平良　美江	継続	たいら　よしえ	沖縄県立八重山病院	副院長	地域がん診療病院から2名
27	17	柴山　順子	継続	しばやま　じゅんこ	北部地区医師会病院	副院長	地域がん診療病院から2名
28	17	我如古　春美	継続	がねこ　はるみ	北部地区医師会病院	看護部長	地域がん診療病院から2名
29	18	安里　香代子	継続	あさと　かよこ	沖縄県がん患者会連合会	事務局長	患者関係の立場の者
30	18	真栄里　隆代	継続	まえさと　たかよ	ゆうかぎの会（離島圏におけるがん患者支援を考える会	会長	患者関係の立場の者
31	18	上原　弘美	変更	うえはら　ひろみ	サバイバーナースの会「ぴあナース」	代表	患者関係の立場の者
32	18	島袋　百代	変更	しまぶくろ　ももよ	パンキャンジャパン沖縄アフィリエート	支部長	患者関係の立場の者
33	19	天野　慎介	継続	あまの　しんすけ	一般社団法人グループ・ネクサス・ジャパン	理事長	有識者
34	19	埴岡　健一	継続	はにおか　けんいち	国際医療福祉大学大学院	教授	有識者
35	19	島　洋子	変更	しま　ようこ	琉球新報社編集局	次長・報道本部長	有識者
36	20	加留部　謙之輔	変更	かるべ　けんのすけ	琉球大学病院病理部	病理部長	琉大の病院長が必要と認める者
37	20	百名　伸之	継続	ひゃくな　のぶゆき	琉球大学病院小児科	講師	琉大の病院長が必要と認める者
38	20	足立　源樹	継続	あだち　げんき	那覇市立病院	放射線科部長	琉大の病院長が必要と認める者

令和2年度 沖縄県がん診療連携協議会幹事会委員一覧

申合わせ条項	要項条項	氏名	所属	役職	備考
1	10	増田　昌人	琉球大学医学部附属病院がんｾﾝﾀｰ	センター長	琉大病院のがんセンター長
2	16	朝倉　義崇	県立中部病院	血液・腫瘍内科部長	地域がん診療連携拠点病院より1名
2	16	友利　寛文	那覇市立病院	外科部長	地域がん診療連携拠点病院より1名
3	17	松村　敏信	県立宮古病院	外科部長	地域がん診療病院から1名
3	17	尾﨑　信弘	県立八重山病院	外科部長	地域がん診療病院から1名
3	17	柴山　順子	北部地区医師会病院	副院長	地域がん診療病院から1名
4	その他協議会議長が必要と認めた者	糸数　公	沖縄県保健医療部	保健衛生統括監	その他琉大の病院長が必要と認める者
4	その他協議会議長が必要と認めた者	金城　不二子	琉球大学上原キャンパス事務部総務課	課長	その他琉大の病院長が必要と認める者

沖縄県がん診療連携協議会委員名簿（案）

2020/4月時点

※2020年4月以降の人事異動等に伴う委員の変更については決まり次第随時更新します。

医療部会

氏名	所属	役職	備考
宮里　浩	那覇市立病院	外科統括課部長	地域がん診療連携拠点病院
朝倉　義崇	沖縄県立中部病院	腫瘍・血液内科部長	地域がん診療連携拠点病院
照屋　淳	北部地区医師会病院	副院長・外科部長	地域がん診療病院
松茂良　力	沖縄県立八重山病院	副院長	地域がん診療病院
岸本　信三	沖縄県立宮古病院	副院長	**地域がん診療病院**
仲里　可奈理	沖縄県保健医療部健康長寿課	がん対策班　主任(技術)	沖縄県
又吉　賢弘	沖縄県友声会	理事	患者関係者
増田　昌人	琉球大学病院	がんセンター長	事務局
野村　寛徳	琉球大学病院	第一外科助教	都道府県がん診療連携拠点病院
	（琉球大学病院がんセンター）	（事務）	（事務担当（陪席））

医療部会　地域連携ワーキング

氏名	所属	役職	備考
金城　達也	琉球大学病院	第一外科講師	都道府県がん診療連携拠点病院
當山　美奈子	琉球大学病院	看護師	都道府県がん診療連携拠点病院
宮里　浩	那覇市立病院	外科総括科部長	地域がん診療連携拠点病院
新垣　千春	那覇市立病院	看護師	地域がん診療連携拠点病院
伊江　将史	沖縄県立中部病院	外科医長	地域がん診療連携拠点病院
本仲　寛美	沖縄県立中部病院	看護師	地域がん診療連携拠点病院
照屋　淳	北部地区医師会病院	副院長・外科部長	地域がん診療病院
砂川　綾子	沖縄県立八重山病院	地域連携室看護師長	地域がん診療病院
川満　博昭	沖縄県立宮古病院	外科副部長	**地域がん診療病院**
増田　昌人	琉球大学病院	がんセンター長	事務局
	（琉球大学病院がんセンター）	（事務）	（事務担当（陪席））

医療部会　薬物療法ワーキング

氏名	所属	役職	備考
石井　岳夫	琉球大学病院	がん専門薬剤師、外来がん治療認定薬剤師	都道府県がん診療連携拠点病院
鈴木　毅	琉球大学病院	がん専門薬剤師、がん薬物療法認定薬剤師	都道府県がん診療連携拠点病院
永井　賢作	那覇市立病院	薬剤師	地域がん診療連携拠点病院
朝倉　義崇	沖縄県立中部病院	血液・腫瘍内科部長	地域がん診療連携拠点病院
吉田　幸生	沖縄県立中部病院	血液・腫瘍内科	地域がん診療連携拠点病院
勝連　真人	沖縄県立中部病院	薬剤師	地域がん診療連携拠点病院
前森　里美	沖縄県立中部病院	看護師	地域がん診療連携拠点病院
與世平一起	沖縄県立八重山病院	薬剤師	地域がん診療病院
大益　渉子	沖縄県立八重山病院	看護師	地域がん診療病院
神里　敬子	沖縄県立宮古病院	看護師長	**地域がん診療病院**
比嘉　亜紀	北部地区医師会病院	看護師	地域がん診療病院
新井　麻紀子	北部地区医師会病院	薬剤師	地域がん診療病院
大城　真理奈	豊見城中央病院	薬剤師	豊見城中央病院
上原　政文	豊見城中央病院	薬剤師	豊見城中央病院
國吉　洋子	浦添総合病院	看護師	浦添総合病院
平良　智	中頭病院	薬剤師	中頭病院
増田　昌人	琉球大学病院	がんセンター長	事務局
	（琉球大学病院がんセンター）	（事務）	（事務担当（陪席））

緩和ケア・在宅医療部会

氏名	所属	役職	備考
中村　清哉	琉球大学病院	緩和ケアセンター副センター長	都道府県がん診療連携拠点病院
中島　信久	琉球大学病院	地域医療部　特命准教授	都道府県がん診療連携拠点病院
友利　あかね	琉球大学病院	緩和ケアセンタージェネラルマネージャー	都道府県がん診療連携拠点病院
足立　源樹	那覇市立病院	放射線科部長	地域がん診療連携拠点病院
三浦　耕子	沖縄県立中部病院	婦人科副部長	地域がん診療連携拠点病院
屋良　尚美	沖縄県立中部病院	外来師長	地域がん診療連携拠点病院
朝川　恵利	沖縄県立宮古病院	地域連携室 看護師	**地域がん診療病院**
酒井　達也	沖縄県立八重山病院	地域診療科医師	地域がん診療病院
野里　栄治	北部地区医師会病院	医局長/外科外来医長	地域がん診療病院
笹良　剛史	友愛会南部病院	診療部長	友愛会南部病院
伊波　善之	沖縄県保健医療部健康長寿課	がん対策班　主査	沖縄県
名嘉眞　久美	沖縄県がん患者会連合会	事務局	患者関係者
増田　昌人	琉球大学病院がんセンター	がんセンター長	事務局
	（琉球大学病院がんセンター）	（事務）	（事務担当（陪席））

緩和ケア・在宅医療部会　研修ワーキング

氏名	所属	役職	備考
中村　清哉	琉球大学病院	緩和ケアセンター副センター長	都道府県がん診療連携拠点病院
足立　源樹	那覇市立病院	放射線科部長	地域がん診療連携拠点病院
三浦　耕子	沖縄県立中部病院	婦人科副部長	地域がん診療連携拠点病院
新垣　亮太	沖縄県立宮古病院	がん専門看護師	**地域がん診療病院**
酒井　達也	沖縄県立八重山病院	地域診療科医師	地域がん診療病院
野里　栄治	北部地区医師会病院	医局長/外科外来医長	地域がん診療病院
久志　一朗	国立病院機構沖縄病院	緩和医療科医長	緩和ケア研修会開催予定病院
新里　誠一郎	浦添総合病院	緩和ケアセンター長	緩和ケア研修会開催予定病院
笹良　剛史	豊見城中央病院	診療部長	緩和ケア研修会開催予定病院
西原　実	ハートライフ病院	外科系統括部長	緩和ケア研修会開催予定病院
林　正樹	中頭病院	血液腫瘍内科部長	緩和ケア研修会開催予定病院
友利　健彦	沖縄赤十字病院	第二外科副部長	緩和ケア研修会開催予定病院
増田　昌人	琉球大学病院	がんセンター長	事務局
	（琉球大学病院がんセンター）	（事務）	（事務担当（陪席））

緩和ケア・在宅医療部会　在宅ワーキング

氏名	所属	役職	備考
金城　隆展	琉大病院地域医療部	臨床倫理士	都道府県がん診療連携拠点病院
長野　宏昭	沖縄県立中部病院	呼吸器内科医師	地域がん診療連携拠点病院
吉澤　龍太	那覇市立病院	看護師	地域がん診療連携拠点病院
朝川　恵利	沖縄県立宮古病院	地域連携室　看護師	**地域がん診療病院**
大上　永利子	沖縄県立八重山病院	緩和ケア認定看護師	地域がん診療病院
成田　奈緒子	北部地区医師会病院	緩和ケア専従師長	地域がん診療病院
荷川取　尚樹	花あかり合資会社	代表所長	花あかり合資会社
笹良　剛史	友愛会南部病院	診療部長	友愛会南部病院
喜納　美津男	きなクリニック	院長	きなクリニック
宮城　愛子	沖縄セントラル病院	看護師	訪問看護ステーションはえばる
徳盛　裕元	すまいるサポート株式会社	代表取締役	すまいるサポート株式会社
増田　昌人	琉球大学病院	がんセンター長	事務局
	（琉球大学病院がんセンター）	（事務）	（事務担当（陪席））

小児・AYA部会

氏名	所属	役職	備考
百名　伸之	琉球大学病院	小児科講師	都道府県がん診療連携拠点病院
浜田　聡	琉球大学病院	小児科助教	都道府県がん診療連携拠点病院
森島　聡子	琉球大学病院	第二内科准教授	都道府県がん診療連携拠点病院
國仲　弘一	琉球大学病院	消化器・腫瘍外科学講座助教	都道府県がん診療連携拠点病院
銘苅　桂子	琉球大学病院	周産母子センター講師	都道府県がん診療連携拠点病院
當銘　保則	琉球大学病院	整形学科学講座准教授	都道府県がん診療連携拠点病院
島袋　優子	琉球大学病院	小児科看護師長	都道府県がん診療連携拠点病院
朝倉　義崇	沖縄県立中部病院	血液・腫瘍内科部長	地域がん診療連携拠点病院
大城　一郁	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター	血液・腫瘍内科	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター
比嘉　猛	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター	小児科部長	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター
伊良波　史朗	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター	放射線科副部長	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター
佐久川　夏実	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター	チャイルド・ライフ・スペシャリスト	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター
調整中	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター		沖縄県立南部医療センター・こども医療センター
太田　守克	沖縄県教育庁保健体育課	課長	沖縄県教育庁
友利　敏博	森川特別支援学校	学校長	森川特別支援学校
仲里　可奈理	沖縄県保健医療部健康長寿課	がん対策班　主任(技術)	沖縄県
金城　敦子	がんの子どもを守る会　沖縄支部	幹事	患者関係者
調整中			患者関係者
増田　昌人	琉球大学病院がんセンター	がんセンター長	事務局
	（琉球大学病院がんセンター）	（事務）	（事務担当（陪席））

離島・へき地部会

氏名	所属	役職	備考
朝倉　義崇	沖縄県立中部病院	腫瘍・血液内科部長	地域がん診療連携拠点病院
戸板　孝文	沖縄県立中部病院	放射線科副部長	地域がん診療連携拠点病院
友利　寛文	那覇市立病院	外科部長	地域がん診療連携拠点病院
松村　敏信	沖縄県立宮古病院	外科部長	**地域がん診療病院**
中山　幸子	沖縄県立宮古病院	副院長	地域がん診療病院
尾﨑　信弘	沖縄県立八重山病院	外科部長	地域がん診療病院
平良　美江	沖縄県立八重山病院	副院長	地域がん診療病院
赤松　道成	北部地区医師会病院	外科科長	地域がん診療病院
我如古　春美	北部地区医師会病院	看護部長	地域がん診療病院
仲里　可奈理	沖縄県保健医療部健康長寿課	がん対策班　主任(技術)	沖縄県
真栄里　隆代	ゆうかぎの会（離島圏におけるがん患者支援を考える会）	会長	患者関係者（宮古医療圏）
田盛　亜紀子	やいまゆんたく会(八重山のがん患者を支援する会)	会長	患者関係者（八重山医療圏）
増田　昌人	琉球大学病院がんセンター	がんセンター長	事務局
	（琉球大学病院がんセンター）	（事務）	（事務担当（陪席））

情報提供・相談支援部会

氏名	所属	役職	備考
大久保　礼子	琉球大学病院がんセンター	医療ソーシャルワーカー	都道府県がん診療連携拠点病院
山田　綾美	琉球大学病院がんセンター	医療ソーシャルワーカー	都道府県がん診療連携拠点病院
傳道　聡子	沖縄県立中部病院	連携室副看護師長	地域がん診療連携拠点病院
仲宗根　恵美	那覇市立病院	医療ソーシャルワーカー	地域がん診療連携拠点病院
慶田　博子	沖縄県立宮古病院	地域連携室長	**地域がん診療病院**
金城　美奈子	沖縄県立八重山病院	地域連携室看護師	地域がん診療病院
宮城　郁美	北部地区医師会病院	医療ソーシャルワーカー	地域がん診療病院
伊波　善之	沖縄県保健医療部健康長寿課		沖縄県
島袋　百代	パンキャンジャパン沖縄アフェリエート	支部長	患者関係者
中山　富美	沖縄県地域統括支援センター	ピアサポーター	患者関係者
樋口　美智子	沖縄国際大学	総合文化学部人間福祉学科准教授	
増田　昌人	琉球大学病院がんセンター	がんセンター長	事務局
	（琉球大学病院がんセンター）	（事務）	（事務担当（陪席））

ベンチマーク部会

氏名	所属	役職	備考
伊佐　奈々	琉球大学病院がんセンター	診療情報管理士	都道府県がん診療連携拠点病院
友利　寛文	那覇市立病院	外科部長	地域がん診療連携拠点病院
朝倉　義崇	沖縄県立中部病院	血液・腫瘍内科部長	地域がん診療連携拠点病院
松村　敏信	沖縄県立宮古病院	外科部長	**地域がん診療病院**
尾﨑　信弘	沖縄県立八重山病院	外科部長	地域がん診療病院
柴山　順子	北部地区医師会病院	副院長	地域がん診療病院
仲里　可奈理	沖縄県保健医療部健康長寿課	がん対策班　主任(技術)	沖縄県
調整中			患者関係者
調整中			患者関係者
井岡　亜希子	まるレディースクリニック		
増田　昌人	琉球大学病院がんセンター	がんセンター長	事務局
	（琉球大学病院がんセンター）	（事務）	（事務担当（陪席））

ベンチマーク部会　がん登録ワーキング

氏名	所属	役職	備考
伊佐　奈々	琉球大学病院がんセンター	診療情報管理士	都道府県がん診療連携拠点病院
福岡　しのぶ	琉球大学病院がんセンター	診療情報管理士	都道府県がん診療連携拠点病院
新里　明美	沖縄県立中部病院　経営課	課長	地域がん診療連携拠点病院
仲嶺　八紀	沖縄県立中部病院　経営課		地域がん診療連携拠点病院
仲尾次　恭子	那覇市立病院		地域がん診療連携拠点病院
戸倉　さおり	沖縄県立宮古病院　診療情報管理室	診療情報管理士	**地域がん診療病院**
金城　有哉	沖縄県立八重山病院　医事課		地域がん診療病院
宮里　貴子	北部地区医師会病院　医事課		地域がん診療病院
安里　邦子	中部徳洲会病院　診療情報管理室	診療情報管理士	中部徳洲会病院
比知屋　春奈	国立病院機構沖縄病院　診療情報管理室	診療情報管理士	国立病院機構沖縄病院
古謝　由紀子	沖縄県衛生環境研究所　全国がん登録担当	全国がん登録	沖縄衛生環境研究所
増田　昌人	琉球大学病院がんセンター	がんセンター長	事務局
調整中	（琉球大学病院がんセンター）	（事務）	（事務担当（陪席））

資料５

●令和２年度の沖縄県がん診療連携協議会および幹事会の開催日時（案）

■令和２年度 協議会開催日程

回　数	日　時	場　所	備　考
第１回	令和２年５月８日（金）14:00～17:00	ＷＥＢ開催	
第２回	令和２年８月７日（金）14:00～17:00	大会議室	ＷＥＢの可能性有
第３回	~~令和２年11月６日（金）14:00～17:00~~ →令和２年11月13日(金)14:00～17:00	大会議室	ＷＥＢの可能性有
第４回	令和３年２月５日（金）14:00～17:00	大会議室	ＷＥＢの可能性有

■令和２年度 幹事会開催日程

回　数	日　時	場　所	備　考
第１回	令和２年４月13日（月）14:00～17:00	大会議室	
第２回	令和２年７月13日（月）14:00～17:00	小会議室	
第３回	令和２年10月12日（月）14:00～17:00	大会議室	ＷＥＢの可能性有
第４回	令和３年１月18日（月）14:00～17:00	大会議室	ＷＥＢの可能性有

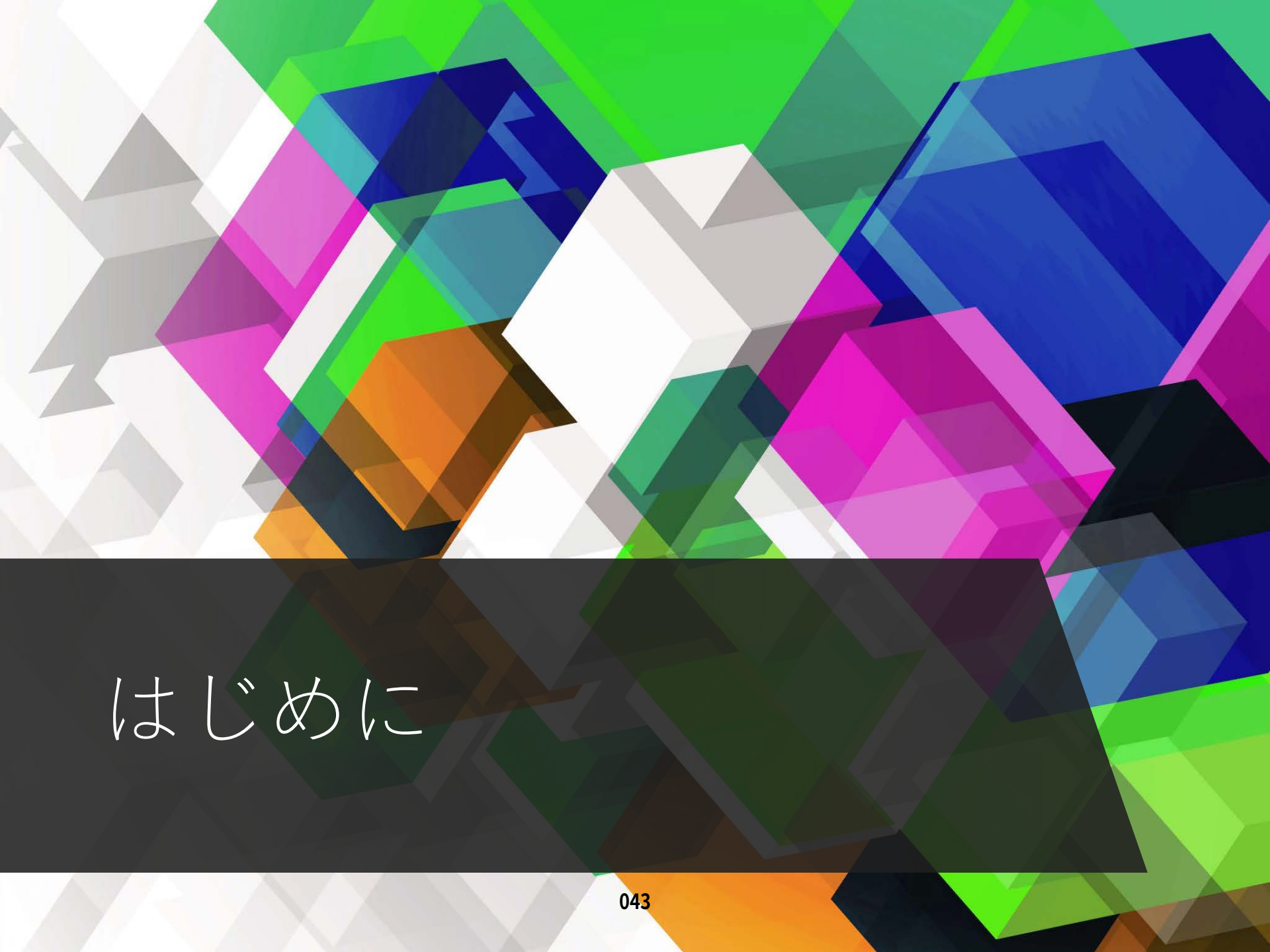
資料６

沖縄県がん診療連携協議会

沖縄県がん対策関連データアップデート

2020年8月7日

埴岡健一


はじめに

趣旨

○沖縄県では、がん対策のPDCAサイクルを回していく方針。

○がん対策の「ロジックモデルと評価指標」を使って評価を行う方針。

○そのための指標の一部でアップデートされているものをいくつかピックアップし、数値を確認する。

○沖縄県のがん対策の中間評価作業、定点観測指標集作成の一助となれば…。

目次

１．大腸がん関連データアップデート

ア：5年生存率（県）

イ：病期別5年生存率（県）

ウ：病期別生存率（施設）

エ：拠点病院カバー率（県）

オ：拠点病院カバー率（施設）

２．罹患率（子宮頸がん、乳がん、白血病…）

３．拠点病院カバー率（肺がん、乳がん…）

◯その他

・奈良県の患者向け医療機関選択参考情報提供

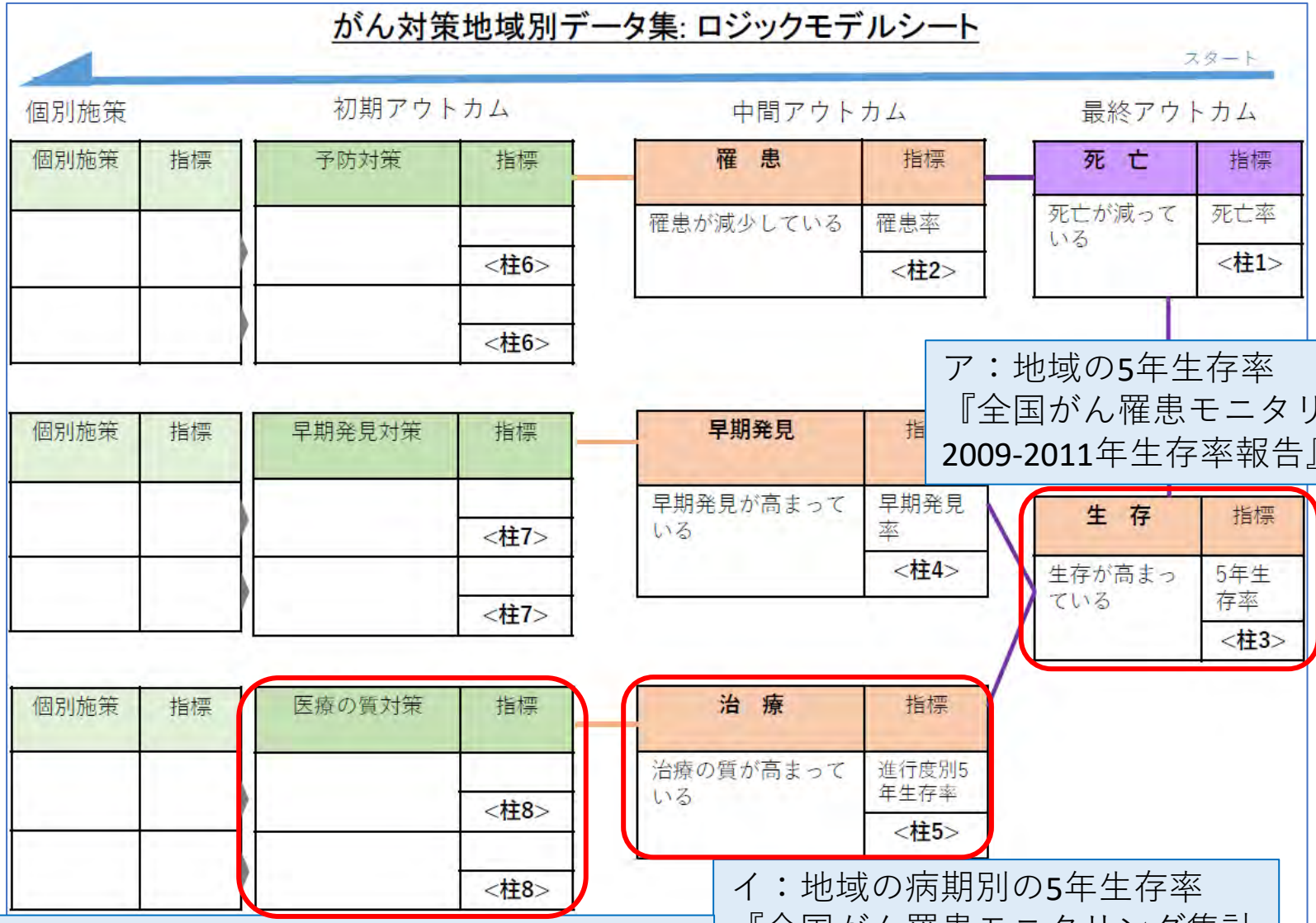
・奈良県の地域別がん対策向上プロジェクト

１．大腸がん
関連データアップデート

大腸がんの動向への関心

- 治療成績は向上しているのか？
  全国と比べてどうか？
  沖縄県データの経年変化は？
  全国との差の推移は？
- 診療提供体制は、高まっているのか？


データセットによって抽出された課題候補〔検証・検討が必要〕
スタート
個別施策
初期アウトカム
中間アウトカム
最終アウトカム
個別施策
指標
予防対策
指標
罹　患
指標
死　亡
指標
野菜摂取が少ない?
肥満度が高い、ハイリスク飲酒が多い
男の罹患率が高い（全国67.9、沖縄86.8）?
県がん登録データで医療圏分析ができないか?
男の死亡率が高い（全国13.2、沖縄16.2）。中部、南部、八重山でSMR高い?
個別施策
指標
早期発見対策
指標
早期発見
指標
生　存
指標
アセスメント/マネジメントに改善余地あり
受診率がやや低い。
精検受診率が低い。
対象年齢順守が低い。
再勧奨率が低い…?
低い市町村あり
遠隔比率が高い（全国16.6、沖縄21.1）?
男の5年相対生存率（全国72.2、沖縄66.7）が低い?
個別施策
指標
医療の質対策
指標
治　療
指標
ビッグプレーヤーが全て参加するカバー率の高いデータ必要
手術件数が少ない。
外科専門医が少ない?
施設単位でもO、P、S指標に懸念があるところがある
男の領域の治療成績が低い（全国72.1、沖縄61.1）?
詳細はバックデータを参照〔ページ数が赤文字に着目〕
048
5


がん対策地域別データ集: ロジックモデルシート
スタート
個別施策
初期アウトカム
中間アウトカム
最終アウトカム
個別施策
指標
予防対策
指標
罹　患
指標
死　亡
指標
罹患が減少している
罹患率
<柱2>
死亡が減っている
死亡率
<柱1>
<柱6>
<柱6>
個別施策
指標
早期発見対策
指標
早期発見
早期発見が高まっている
早期発見率
<柱4>
生　存
指標
生存が高まっている
5年生存率
<柱3>
<柱7>
<柱7>
個別施策
指標
医療の質対策
指標
治　療
指標
治療の質が高まっている
進行度別5年生存率
<柱5>
<柱8>
<柱8>
ア：地域の5年生存率
『全国がん罹患モニタリング集計 2009-2011年生存率報告』
イ：地域の病期別の5年生存率
『全国がん罹患モニタリング集計 2009-2011年生存率報告』
ウ：拠点病院カバー率
『2017年　院内がん登録におけるがん登録割合』
エ：拠点病院カバー率
『沖縄県院内がん登録集計報告書2018年症例』

ア：
地域の5年生存率

『全国がん罹患モニタリング集計2009-2011年生存率報告』

大腸がん　5年生存率　2009-2011年

		全国	沖縄県	**全国**	**沖縄県**	全国	沖縄県	全国	沖縄県	**全国**	**沖縄県**	全国	沖縄県
		男	男	**男**	**男**	男	男	女	女	**女**	**女**	女	女
	臨床進行度	対象者数	対象者数	**5年相対生存率**	**5年相対生存率**	標準誤差	標準誤差	対象者数	対象者数	**5年相対生存率**	**5年相対生存率**	標準誤差	標準誤差
大腸	限局	22,825	668	**97.1**	**96.0**	0.3	1.7	16,037	430	**97.5**	**94.4**	0.3	2.0
	領域	14,899	493	**75.7**	**75.2**	0.5	2.4	12,597	332	**74.8**	**73.1**	0.5	3.0
	遠隔	9,908	315	**18.2**	**14.8**	0.4	2.1	7,830	173	**16.2**	**14.6**	0.4	2.8
	不明	3,633	126	**52.3**	**50.5**	1.0	5.1	3,047	64	**45.1**	**28.9**	1.0	6.3
	合計	51,266	1,602	**72.4**	**70.2**	0.3	1.4	39,511	999	**70.1**	**69.5**	0.3	1.8
結腸	限局	13,840	425	**98.3**	**94.8**	0.4	2.3	11,147	312	**98.1**	**95.4**	0.4	2.4
	領域	8,679	313	**76.9**	**75.3**	0.6	3.1	8,892	256	**75.1**	**74.7**	0.6	3.5
	遠隔	6,127	199	**17.3**	**14.5**	0.5	2.7	5,802	128	**14.9**	**13.9**	0.5	3.2
	不明	2,116	62	**51.1**	**44.7**	1.3	7.2	2,050	46	**42.5**	**30.3**	1.3	7.5
	合計	30,763	999	**72.8**	**70.2**	0.3	1.8	27,891	742	**69.4**	**70.9**	0.3	2.1
直腸	限局	8,985	243	**95.3**	**95.1**	0.5	2.5	4,890	118	**96.4**	**88.7**	0.5	3.8
	領域	6,220	180	**74.0**	**75.1**	0.7	3.9	3,705	76	**73.9**	**68.2**	0.9	6.0
	遠隔	3,781	116	**19.7**	**15.3**	0.7	3.6	2,028	45	**19.8**	**16.5**	0.9	5.7
	不明	1,517	64	**53.9**	**56.2**	1.5	7.3	997	18	**50.3**	**25.4**	1.8	11.2
	合計	20,503	603	**71.7**	**70.3**	0.4	2.2	11,620	257	**71.9**	**65.7**	0.5	3.3

出典：全国がん罹患モニタリング集計2009-2011年生存率報告　＊全国値は21県データから算出

所見例

・合計5年生存率は、地域の生存状況を示している。ただし、“治療力”の他に、病期構成割合の影響も受ける。

・5年生存率（県）の数値

大腸がん・男が低い

結腸がん・男が低い

直腸がん・女が低い

大腸がん　5年生存率　前回報告書時

		全国	沖縄県	**全国**	**沖縄県**	全国	沖縄県	全国	沖縄県	**全国**	**沖縄県**	全国	沖縄県
		男	男	**男**	**男**	男	男	女	女	**女**	**女**	女	女
	臨床進行度	対象者数	対象者数	**5年相対生存率**	**5年相対生存率**	標準誤差	標準誤差	対象者数	対象者数	**5年相対生存率**	**5年相対生存率**	標準誤差	標準誤差
大腸	限局	24,443	335	**96.8**	**96.5**	0.3	2.4	16,949	207	**96.3**	**92.9**	0.3	1.9
	領域	15,515	182	**72.1**	**61.1**	0.5	4.2	12,675	123	**72.1**	**69.8**	0.5	3.3
	遠隔	9,571	174	**16.3**	**13.2**	0.4	2.8	7,531	89	**15.1**	**11.9**	0.4	2.2
	不明	9,120	85	**66.2**	**44.5**	0.6	6.3	6,802	50	**59.4**	**44.5**	0.7	5.0
	合計	58,744	776	**72.2**	**63.5**	0.2	2.1	44,020	469	**69.6**	**66.7**	0.3	1.6
結腸	限局	15,005	218	**98.2**	**96.1**	0.4	3.1	11,742	153	**96.5**	**90.6**	0.4	2.4
	領域	8,905	112	**74.5**	**57.8**	0.6	5.5	8,775	97	**73.0**	**71.2**	0.6	4.0
	遠隔	5,878	104	**15.5**	**10.8**	0.5	3.2	5,462	67	**14.6**	**11.6**	0.5	2.6
	不明	5,424	42	**69.1**	**43.7**	0.8	9.4	4,678	32	**58.6**	**39.6**	0.8	6.9
	合計	35,272	476	**73.8**	**63.3**	0.3	2.7	30,703	349	**69.3**	**66.0**	0.3	2.0
直腸	限局	9,438	117	**94.7**	**95.6**	0.5	3.7	5,207	54	**95.8**	**99.2**	0.5	2.9
	領域	6,610	70	**68.9**	**66.0**	0.7	6.5	3,900	26	**70.3**	**64.2**	0.9	5.5
	遠隔	3,693	70	**17.6**	**17.0**	0.7	4.9	2,069	22	**16.5**	**11.8**	0.9	4.2
	不明	3,696	43	**62.0**	**44.9**	1.0	8.5	2,124	18	**61.1**	**53.4**	1.2	7.4
	合計	23,472	300	**69.9**	**63.7**	0.4	3.3	13,317	120	**70.3**	**68.8**	0.5	2.7

出典：全国がん罹患モニタリング集計2006-2008年生存率報告

＊全国値は21県データから算出　＊沖縄県データは2007-2008年

大腸がん　5年生存率　2006-2008年→2009-2011年推移

		2007-2008	2009-2011	差	2007-2008	2009-2011	差
		沖縄県	沖縄県	沖縄県	沖縄県	沖縄県	沖縄県
		男	男	男	女	女	女
部位	臨床進行度	5年相対生存率	5年相対生存率	向上分	5年相対生存率	5年相対生存率	向上分
大腸	限局	96.5	96.0	**-0.5**	92.9	94.4	**1.5**
	領域	61.1	75.2	**14.1**	69.8	73.1	**3.3**
	遠隔	13.2	14.8	**1.6**	11.9	14.6	**2.7**
	不明	44.5	50.5	**6.0**	44.5	28.9	**-15.6**
	合計	63.5	70.2	**6.7**	66.7	69.5	**2.8**
結腸	限局	96.1	94.8	**-1.3**	90.6	95.4	**4.8**
	領域	57.8	75.3	**17.5**	71.2	74.7	**3.5**
	遠隔	10.8	14.5	**3.7**	11.6	13.9	**2.3**
	不明	43.7	44.7	**1.0**	39.6	30.3	**-9.3**
	合計	63.3	70.2	**6.9**	66.0	70.9	**4.9**
直腸	限局	95.6	95.1	**-0.5**	99.2	88.7	**-10.5**
	領域	66.0	75.1	**9.1**	64.2	68.2	**4.0**
	遠隔	17.0	15.3	**-1.7**	11.8	16.5	**4.7**
	不明	44.9	56.2	**11.3**	53.4	25.4	**-28.0**
	合計	63.7	70.3	**6.6**	68.8	65.7	**-3.1**

出典：全国がん罹患モニタリング集計2006-2008年生存率報告、2009-2011年生存率報告

＊全国値は21県データから算出　＊沖縄県データは2007-2008年

大腸がん　5年生存率　2006-2008年→2009-2011年推移　全国値との対比

		2006-2008	2007-2008		2009-2011	2009-2011		2006-2008	2007-2008		2009-2011	2009-2011	
		全国	沖縄県	沖縄県	全国	沖縄県	沖縄県	全国	沖縄県	沖縄県	全国	沖縄県	沖縄県
		男	男	男	男	男	男	女	女	女	女	女	女
部位	臨床進行度	5年相対生存率	5年相対生存率	差分	5年相対生存率	5年相対生存率	差分	5年相対生存率	5年相対生存率	差分	5年相対生存率	5年相対生存率	差分
大腸	限局	96.8	96.5	**0.3**	97.1	96.0	**1.1**	96.3	92.9	**3.4**	97.5	94.4	**3.1**
	領域	72.1	61.1	**11.0**	75.7	75.2	**0.5**	72.1	69.8	**2.3**	74.8	73.1	**1.7**
	遠隔	16.3	13.2	**3.1**	18.2	14.8	**3.4**	15.1	11.9	**3.2**	16.2	14.6	**1.6**
	不明	66.2	44.5	**21.7**	52.3	50.5	**1.8**	59.4	44.5	**14.9**	45.1	28.9	**16.2**
	合計	72.2	63.5	**8.7**	72.4	70.2	**2.2**	69.6	66.7	**2.9**	70.1	69.5	**0.6**
結腸	限局	98.2	96.1	**2.1**	98.3	94.8	**3.5**	96.5	90.6	**5.9**	98.1	95.4	**2.7**
	領域	74.5	57.8	**16.7**	76.9	75.3	**1.6**	73.0	71.2	**1.8**	75.1	74.7	**0.4**
	遠隔	15.5	10.8	**4.7**	17.3	14.5	**2.8**	14.6	11.6	**3.0**	14.9	13.9	**1.0**
	不明	69.1	43.7	**25.4**	51.1	44.7	**6.4**	58.6	39.6	**19.0**	42.5	30.3	**12.2**
	合計	73.8	63.3	**10.5**	72.8	70.2	**2.6**	69.3	66.0	**3.3**	69.4	70.9	**-1.5**
直腸	限局	94.7	95.6	**-0.9**	95.3	95.1	**0.2**	95.8	99.2	**-3.4**	96.4	88.7	**7.7**
	領域	68.9	66.0	**2.9**	74.0	75.1	**-1.1**	70.3	64.2	**6.1**	73.9	68.2	**5.7**
	遠隔	17.6	17.0	**0.6**	19.7	15.3	**4.4**	16.5	11.8	**4.7**	19.8	16.5	**3.3**
	不明	62.0	44.9	**17.1**	53.9	56.2	**-2.3**	61.1	53.4	**7.7**	50.3	25.4	**24.9**
	合計	69.9	63.7	**6.2**	71.7	70.3	**1.4**	70.3	68.8	**1.5**	71.9	65.7	**6.2**

出典：全国がん罹患モニタリング集計2006-2008年生存率報告、2009-2011年生存率報告

＊全国値は21県データから算出　＊沖縄県データは2007-2008年

所見例

- 経年推移にも、着目する必要がある。
- 前回調査から下がった項目は、直腸がん・女。
- 前回調査から全国値と比べて悪化した項目は、直腸がん・女。

イ：
地域の病期別の5年生存率

『全国がん罹患モニタリング集計2009-2011年生存率報告』

大腸がん　5年生存率　2009-2011年

		全国	沖縄県	**全国**	**沖縄県**	全国	沖縄県	全国	沖縄県	**全国**	**沖縄県**	全国	沖縄県
		男	男	**男**	**男**	男	男	女	女	**女**	**女**	女	女
	臨床進行度	対象者数	対象者数	**5年相対生存率**	**5年相対生存率**	標準誤差	標準誤差	対象者数	対象者数	**5年相対生存率**	**5年相対生存率**	標準誤差	標準誤差
大腸	限局	22,825	668	**97.1**	**96.0**	0.3	1.7	16,037	430	**97.5**	**94.4**	0.3	2.0
	領域	14,899	493	**75.7**	**75.2**	0.5	2.4	12,597	332	**74.8**	**73.1**	0.5	3.0
	遠隔	9,908	315	**18.2**	**14.8**	0.4	2.1	7,830	173	**16.2**	**14.6**	0.4	2.8
	不明	3,633	126	**52.3**	**50.5**	1.0	5.1	3,047	64	**45.1**	**28.9**	1.0	6.3
	合計	51,266	1,602	**72.4**	**70.2**	0.3	1.4	39,511	999	**70.1**	**69.5**	0.3	1.8
結腸	限局	13,840	425	**98.3**	**94.8**	0.4	2.3	11,147	312	**98.1**	**95.4**	0.4	2.4
	領域	8,679	313	**76.9**	**75.3**	0.6	3.1	8,892	256	**75.1**	**74.7**	0.6	3.5
	遠隔	6,127	199	**17.3**	**14.5**	0.5	2.7	5,802	128	**14.9**	**13.9**	0.5	3.2
	不明	2,116	62	**51.1**	**44.7**	1.3	7.2	2,050	46	**42.5**	**30.3**	1.3	7.5
	合計	30,763	999	**72.8**	**70.2**	0.3	1.8	27,891	742	**69.4**	**70.9**	0.3	2.1
直腸	限局	8,985	243	**95.3**	**95.1**	0.5	2.5	4,890	118	**96.4**	**88.7**	0.5	3.8
	領域	6,220	180	**74.0**	**75.1**	0.7	3.9	3,705	76	**73.9**	**68.2**	0.9	6.0
	遠隔	3,781	116	**19.7**	**15.3**	0.7	3.6	2,028	45	**19.8**	**16.5**	0.9	5.7
	不明	1,517	64	**53.9**	**56.2**	1.5	7.3	997	18	**50.3**	**25.4**	1.8	11.2
	合計	20,503	603	**71.7**	**70.3**	0.4	2.2	11,620	257	**71.9**	**65.7**	0.5	3.3

出典：全国がん罹患モニタリング集計2009-2011年生存率報告　＊全国値は21県データから算出

所見例

・病期別5年生存率は、地域の“治療力”を反映している可能性がある。
・病期別5年生存率（県）の数値
　大腸がん・男・遠隔が低い
　大腸がん・女・限局が低い
　結腸がん・男・限局が低い
　直腸がん・男・遠隔が低い
・数字が悪い項目は、確認が必要。

大腸がん　5年生存率　2006-2008年

		全国	沖縄県	**全国**	**沖縄県**	全国	沖縄県	全国	沖縄県	**全国**	**沖縄県**	全国	沖縄県
		男	男	**男**	**男**	男	男	女	女	**女**	**女**	女	女
	臨床進行度	対象者数	対象者数	**5年相対生存率**	**5年相対生存率**	標準誤差	標準誤差	対象者数	対象者数	**5年相対生存率**	**5年相対生存率**	標準誤差	標準誤差
大腸	限局	24,443	335	**96.8**	**96.5**	0.3	2.4	16,949	207	**96.3**	**92.9**	0.3	1.9
	領域	15,515	182	**72.1**	**61.1**	0.5	4.2	12,675	123	**72.1**	**69.8**	0.5	3.3
	遠隔	9,571	174	**16.3**	**13.2**	0.4	2.8	7,531	89	**15.1**	**11.9**	0.4	2.2
	不明	9,120	85	**66.2**	**44.5**	0.6	6.3	6,802	50	**59.4**	**44.5**	0.7	5.0
	合計	58,744	776	**72.2**	**63.5**	0.2	2.1	44,020	469	**69.6**	**66.7**	0.3	1.6
結腸	限局	15,005	218	**98.2**	**96.1**	0.4	3.1	11,742	153	**96.5**	**90.6**	0.4	2.4
	領域	8,905	112	**74.5**	**57.8**	0.6	5.5	8,775	97	**73.0**	**71.2**	0.6	4.0
	遠隔	5,878	104	**15.5**	**10.8**	0.5	3.2	5,462	67	**14.6**	**11.6**	0.5	2.6
	不明	5,424	42	**69.1**	**43.7**	0.8	9.4	4,678	32	**58.6**	**39.6**	0.8	6.9
	合計	35,272	476	**73.8**	**63.3**	0.3	2.7	30,703	349	**69.3**	**66.0**	0.3	2.0
直腸	限局	9,438	117	**94.7**	**95.6**	0.5	3.7	5,207	54	**95.8**	**99.2**	0.5	2.9
	領域	6,610	70	**68.9**	**66.0**	0.7	6.5	3,900	26	**70.3**	**64.2**	0.9	5.5
	遠隔	3,693	70	**17.6**	**17.0**	0.7	4.9	2,069	22	**16.5**	**11.8**	0.9	4.2
	不明	3,696	43	**62.0**	**44.9**	1.0	8.5	2,124	18	**61.1**	**53.4**	1.2	7.4
	合計	23,472	300	**69.9**	**63.7**	0.4	3.3	13,317	120	**70.3**	**68.8**	0.5	2.7

出典：全国がん罹患モニタリング集計2006-2008年生存率報告

＊全国値は21県データから算出　＊沖縄県データは2007-2008年

大腸がん　5年生存率　2006-2008年→2009-2011年推移

		2007-2008	2009-2011	差	2007-2008	2009-2011	差
		沖縄県	沖縄県	沖縄県	沖縄県	沖縄県	沖縄県
		男	男	男	女	女	女
部位	臨床進行度	5年相対生存率	5年相対生存率	向上分	5年相対生存率	5年相対生存率	向上分
大腸	限局	96.5	96.0	**-0.5**	92.9	94.4	**1.5**
	領域	61.1	75.2	**14.1**	69.8	73.1	**3.3**
	遠隔	13.2	14.8	**1.6**	11.9	14.6	**2.7**
	不明	44.5	50.5	**6.0**	44.5	28.9	**-15.6**
	合計	63.5	70.2	**6.7**	66.7	69.5	**2.8**
結腸	限局	96.1	94.8	**-1.3**	90.6	95.4	**4.8**
	領域	57.8	75.3	**17.5**	71.2	74.7	**3.5**
	遠隔	10.8	14.5	**3.7**	11.6	13.9	**2.3**
	不明	43.7	44.7	**1.0**	39.6	30.3	**-9.3**
	合計	63.3	70.2	**6.9**	66.0	70.9	**4.9**
直腸	限局	95.6	95.1	**-0.5**	99.2	88.7	**-10.5**
	領域	66.0	75.1	**9.1**	64.2	68.2	**4.0**
	遠隔	17.0	15.3	**-1.7**	11.8	16.5	**4.7**
	不明	44.9	56.2	**11.3**	53.4	25.4	**-28.0**
	合計	63.7	70.3	**6.6**	68.8	65.7	**-3.1**

出典：全国がん罹患モニタリング集計2006-2008年生存率報告、2009-2011年生存率報告

＊全国値は21県データから算出　＊沖縄県データは2007-2008年

大腸がん　5年生存率　2006-2008年→2009-2011年推移　全国値との対比

		2006-2008	2007-2008		2009-2011	2009-2011		2006-2008	2007-2008		2009-2011	2009-2011	
		全国	沖縄県	沖縄県	全国	沖縄県	沖縄県	全国	沖縄県	沖縄県	全国	沖縄県	沖縄県
		男	男	男	男	男	男	女	女	女	女	女	女
部位	臨床進行度	5年相対生存率	5年相対生存率	差分	5年相対生存率	5年相対生存率	差分	5年相対生存率	5年相対生存率	差分	5年相対生存率	5年相対生存率	差分
大腸	限局	96.8	96.5	0.3	97.1	96.0	1.1	96.3	92.9	3.4	97.5	94.4	3.1
	領域	72.1	61.1	11.0	75.7	75.2	0.5	72.1	69.8	2.3	74.8	73.1	1.7
	遠隔	16.3	13.2	3.1	18.2	14.8	3.4	15.1	11.9	3.2	16.2	14.6	1.6
	不明	66.2	44.5	21.7	52.3	50.5	1.8	59.4	44.5	14.9	45.1	28.9	16.2
	合計	72.2	63.5	8.7	72.4	70.2	2.2	69.6	66.7	2.9	70.1	69.5	0.6
結腸	限局	98.2	96.1	2.1	98.3	94.8	3.5	96.5	90.6	5.9	98.1	95.4	2.7
	領域	74.5	57.8	16.7	76.9	75.3	1.6	73.0	71.2	1.8	75.1	74.7	0.4
	遠隔	15.5	10.8	4.7	17.3	14.5	2.8	14.6	11.6	3.0	14.9	13.9	1.0
	不明	69.1	43.7	25.4	51.1	44.7	6.4	58.6	39.6	19.0	42.5	30.3	12.2
	合計	73.8	63.3	10.5	72.8	70.2	2.6	69.3	66.0	3.3	69.4	70.9	-1.5
直腸	限局	94.7	95.6	-0.9	95.3	95.1	0.2	95.8	99.2	-3.4	96.4	88.7	7.7
	領域	68.9	66.0	2.9	74.0	75.1	-1.1	70.3	64.2	6.1	73.9	68.2	5.7
	遠隔	17.6	17.0	0.6	19.7	15.3	4.4	16.5	11.8	4.7	19.8	16.5	3.3
	不明	62.0	44.9	17.1	53.9	56.2	-2.3	61.1	53.4	7.7	50.3	25.4	24.9
	合計	69.9	63.7	6.2	71.7	70.3	1.4	70.3	68.8	1.5	71.9	65.7	6.2

出典：全国がん罹患モニタリング集計2006-2008年生存率報告、2009-2011年生存率報告

＊全国値は21県データから算出　＊沖縄県データは2007-2008年

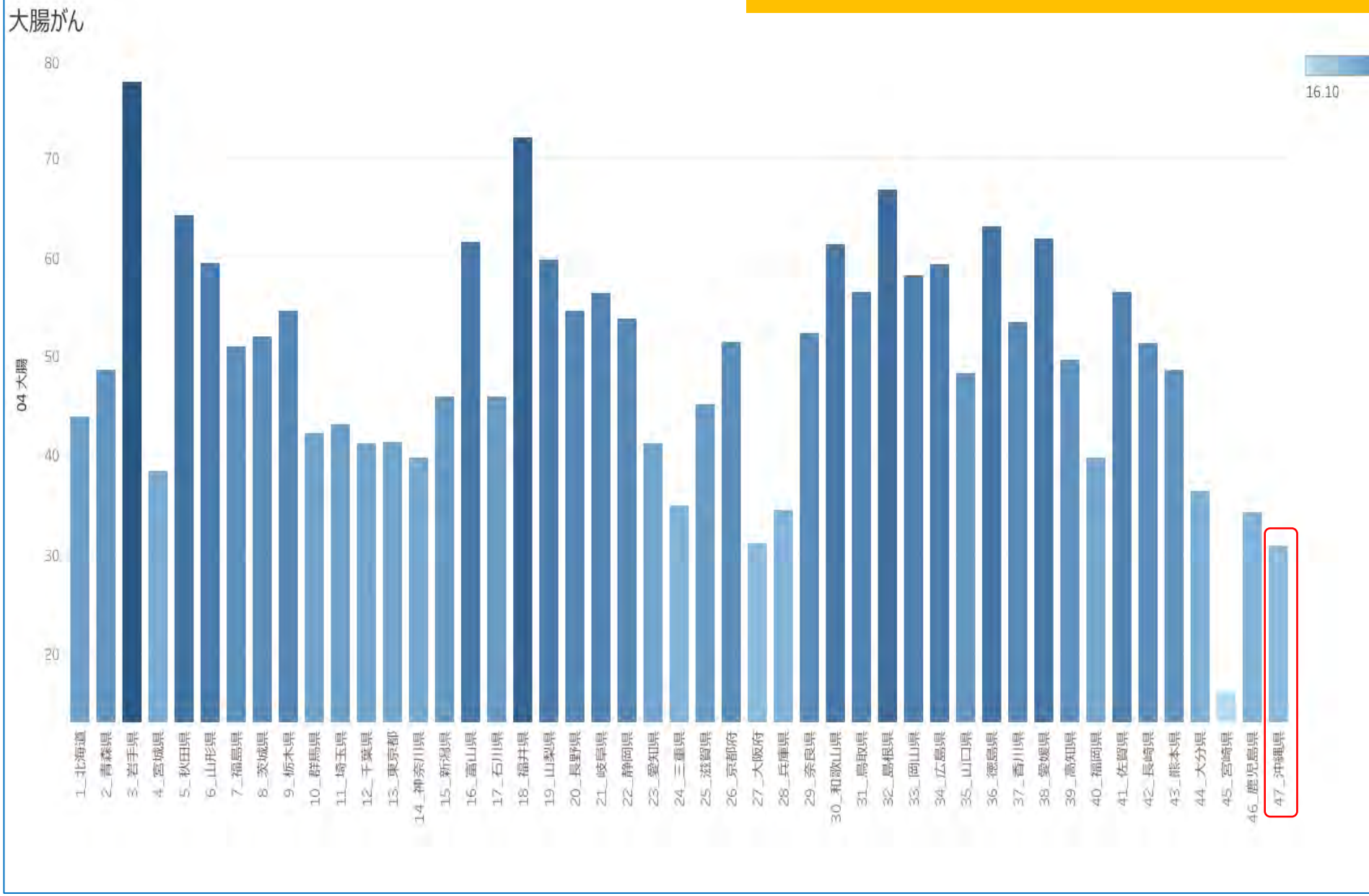
所見例

- 経年推移にも着目する必要がある。
- 前回調査から大きく下がった項目　直腸がん・女・限局。
- 前回調査から全国値と比べて悪化した項目　男大腸がん・男・限局、結腸がん・男・限局、直腸がん男・限局、直腸がん・女・限局。
- 数値上で悪化している項目については確認が必要。

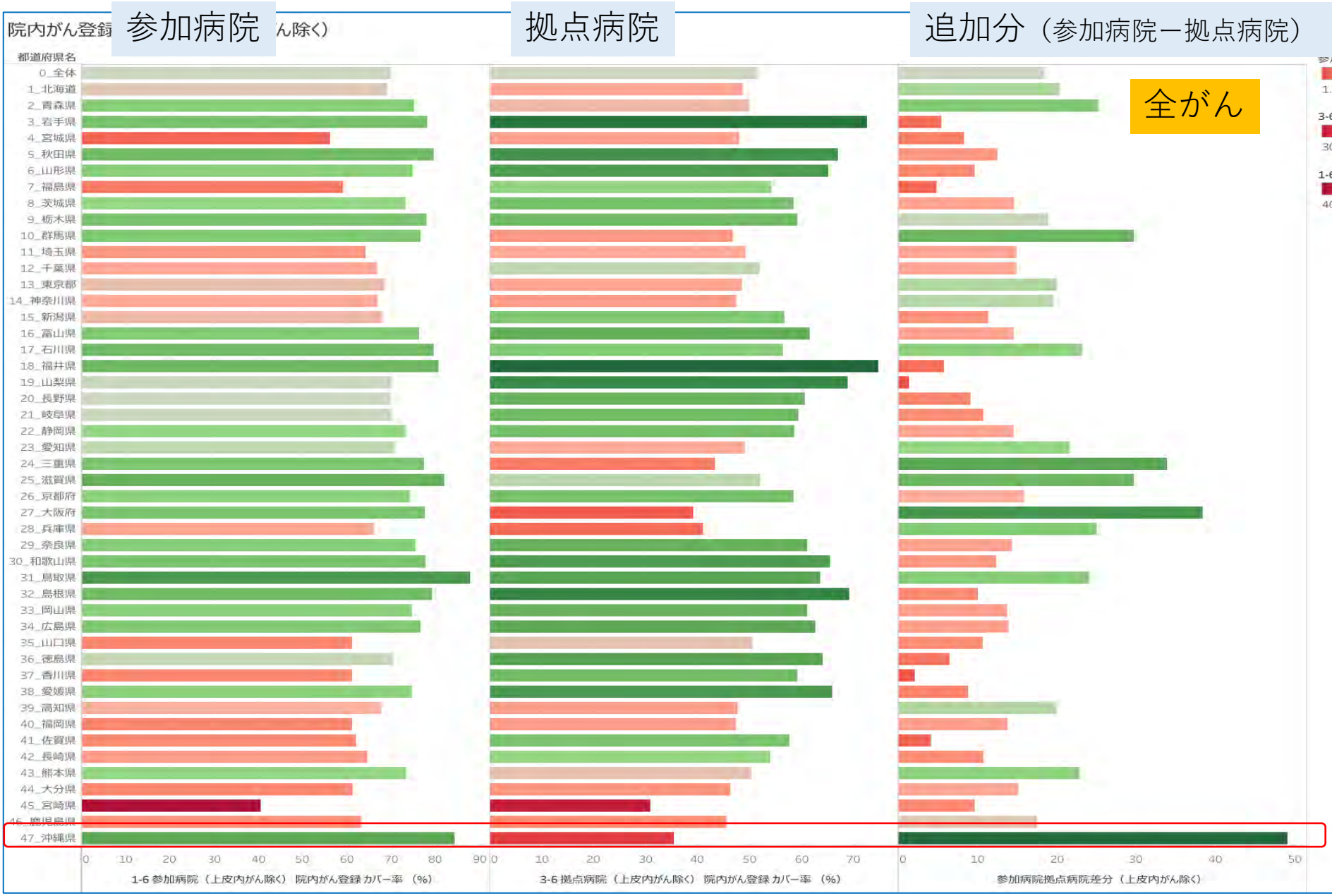
ウ：
拠点病院カバー率

『2017年　院内がん登録におけるがん登録割合』

拠点病院カバー率（推定）　大腸がん



出典：2017年院内がん登録におけるがんの登録割合、表11　都道府県別罹患数（2017）に占めるがん診療連携拠点病院等の登録割合（上皮内がん含）：診断時住所、部位別（国立がん研究センターがん対策情報センター）



出典：2017年院内がん登録におけるがんの登録割合、表7　都道府県別罹患数に占める院内がん登録全国集計参加病院登録割合、表9　都道府県罹患数に占めるがん診療連携拠点病院等の登録割合（上皮内がん除く、診断時住所別）（国立がん研究センターがん対策情報センター）から作成

所見例

- 沖縄県の大腸がんの拠点病院カバー率（推計）は、全国で2番目に低い
- 沖縄県の全がんの拠点病院カバー率は、全国で2番目に低いが、参加病院の拠点病院カバー率は全国で2番目に高く、拠点病院以外の追加分が全国で最も高い。
- 地域がん登録の拡大によってカバー率を高めてきた。
- このような特色があるため、拠点病院以外の病院も含めて、地域の機能分化と連携など役割分担体制を議論することが、依然として重要と考えられる。

工：
施設別カバー率（集積/分散度）

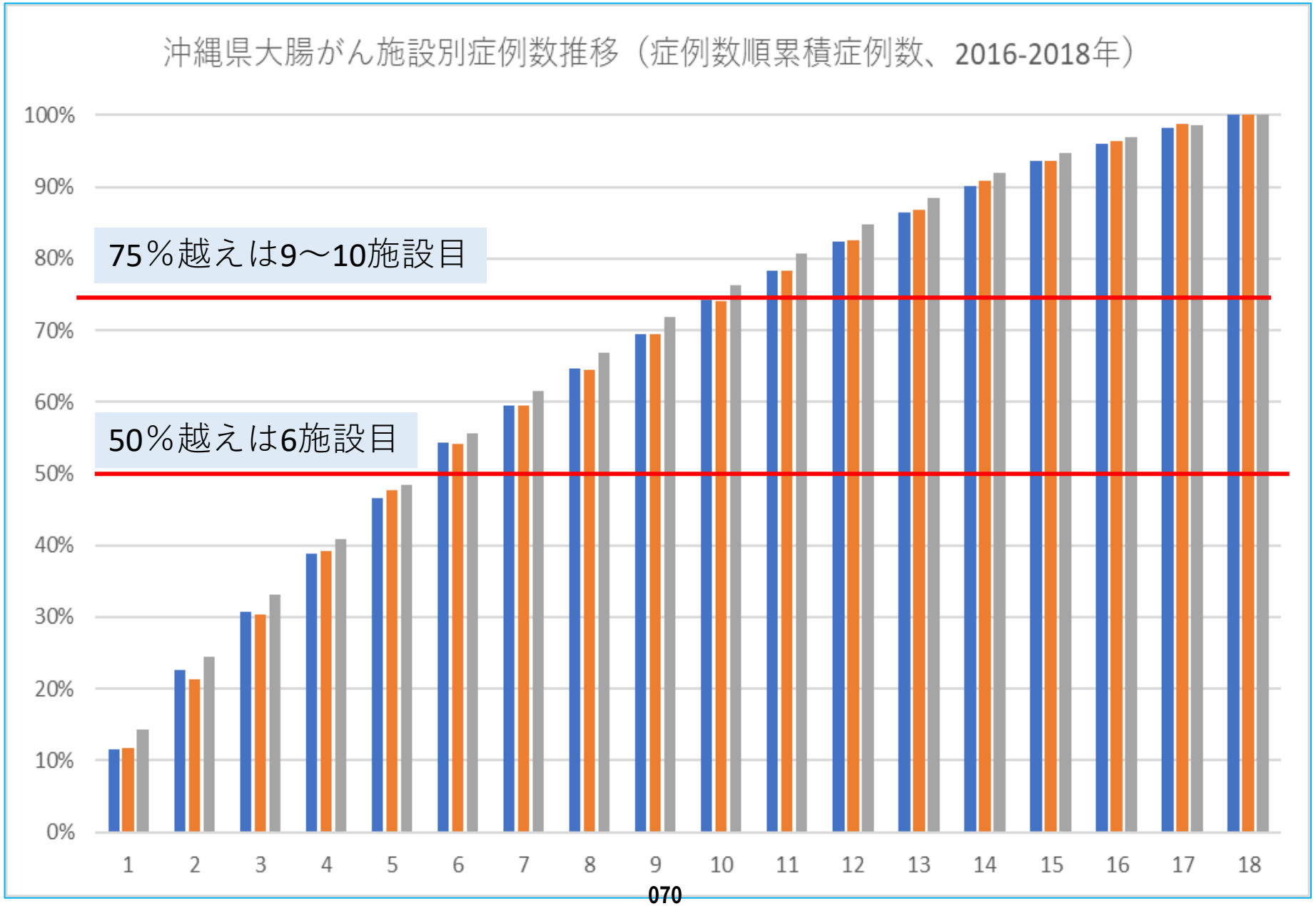
『沖縄県院内がん登録集計報告書2018年症例』

大腸がん　施設別　登録数の推移（表）

	施設名	2014年 件数	2014年 シェア	2015年 件数	2015年 シェア	2016年 件数	2016年 シェア	2017年 件数	2017 シェア	2018年 件数	2018年 シェア
0	沖縄県18施設合計	1,677	100.0%	1,803	100.0%	1,824	100.0%	1,925	100.0%	1,913	100.0%
1	北部地区医師会病院	96	5.7%	89	4.9%	88	4.8%	96	5.0%	82	4.3%
2	国立病院機構沖縄病院	40	2.4%	36	2.0%	39	2.1%	46	2.4%	33	1.7%
3	県立中部病院	138	8.2%	166	9.2%	142	7.8%	163	8.5%	166	8.7%
4	中頭病院	209	12.5%	240	13.3%	211	11.6%	227	11.8%	275	14.4%
5	中部徳洲会病院	117	7.0%	135	7.5%	147	8.1%	125	6.5%	137	7.2%
6	ハートライフ病院	110	6.6%	101	5.6%	91	5.0%	93	4.8%	87	4.5%
7	那覇市立病院	131	7.8%	130	7.2%	142	7.8%	172	8.9%	146	7.6%
8	沖縄赤十字病院	72	4.3%	82	4.5%	95	5.2%	103	5.4%	113	5.9%
9	大浜第一病院	--	--	--	--	43	2.4%	55	2.9%	52	2.7%
10	浦添総合病院	175	10.4%	158	8.8%	200	11.0%	173	9.0%	148	7.7%
11	琉球大学医学部附属病院	109	6.5%	87	4.8%	74	4.1%	80	4.2%	67	3.5%
12	県立南部医療センター・こども医療センター	63	3.8%	98	5.4%	68	3.7%	79	4.1%	102	5.3%
13	南部病院	31	1.8%	40	2.2%	33	1.8%	22	1.1%	26	1.4%
14	南部徳洲会病院	76	4.5%	78	4.3%	89	4.9%	81	4.2%	95	5.0%
15	沖縄協同病院	63	3.8%	74	4.1%	71	3.9%	91	4.7%	77	4.0%
16	豊見城中央病院	149	8.9%	166	9.2%	150	8.2%	184	9.6%	192	10.0%
17	県立宮古病院	64	3.8%	67	3.7%	75	4.1%	82	4.3%	72	3.8%
18	県立八重山病院	34	2.0%	56	3.1%	66	3.6%	53	2.8%	43	2.2%
	平均症例数	93		100		101		107		106	

出典：琉球大学医学部附属病院がんセンターがん登録室　『沖縄県院内がん登録集計報告書2018年症例』

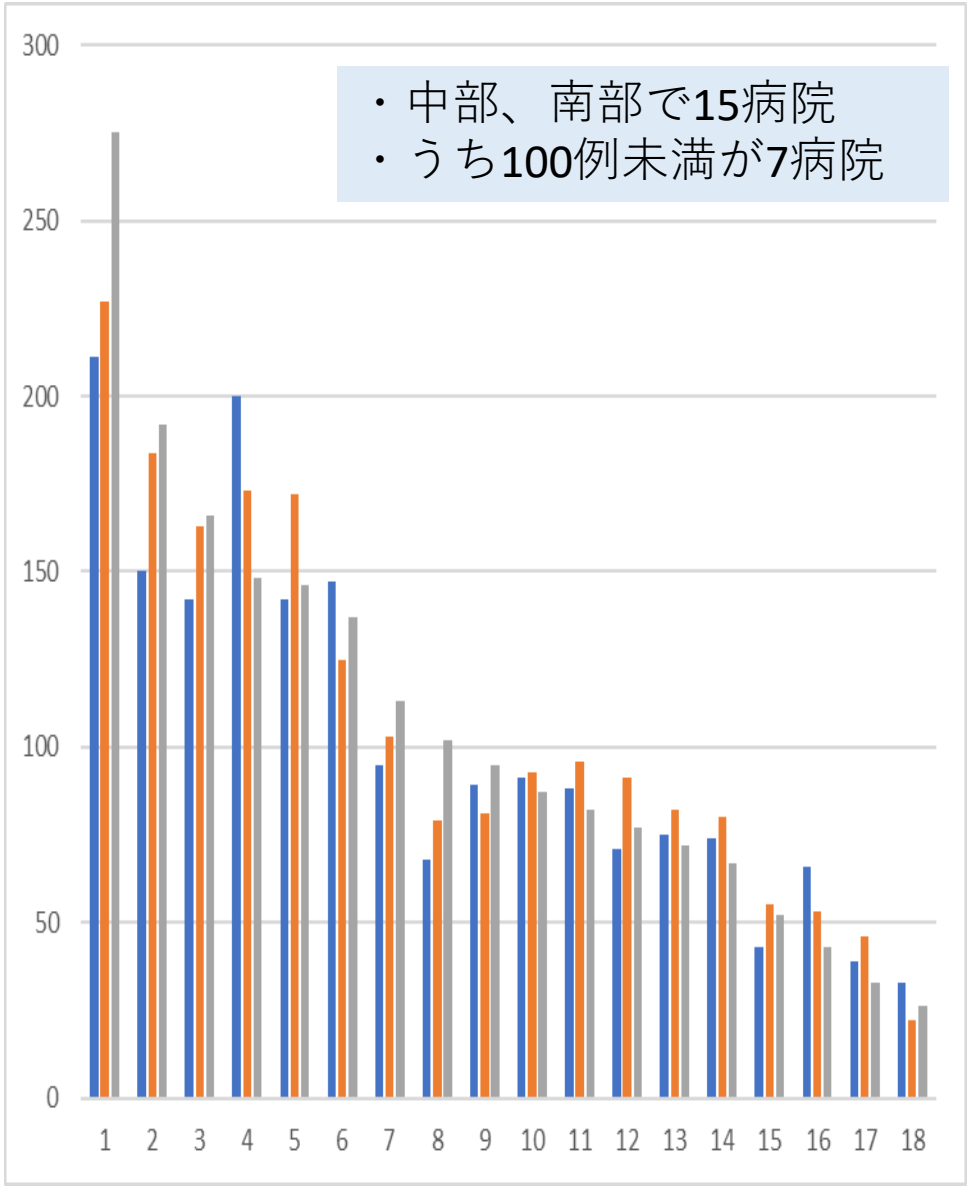
大腸がん　施設別　登録数の推移　グラフ　症例数順　累積症例数　2016-2018年



出典：『沖縄県院内がん登録集計報告書2018年症例』

大腸がん　施設別　登録数の推移　グラフ　2016-2018年

症例数順	施設名	2016年	2017年	2018年
1	中頭病院	211	227	275
2	豊見城中央病院	150	184	192
3	県立中部病院	142	163	166
4	浦添総合病院	200	173	148
5	那覇市立病院	142	172	146
6	中部徳洲会病院	147	125	137
7	沖縄赤十字病院	95	103	113
8	県立南部医療センター・こども医療センター	68	79	102
9	南部徳洲会病院	89	81	95
10	ハートライフ病院	91	93	87
11	北部地区医師会病院	88	96	82
12	沖縄協同病院	71	91	77
13	県立宮古病院	75	82	72
14	琉球大学医学部附属病院	74	80	67
15	大浜第一病院	43	55	52
16	県立八重山病院	66	53	43
17	国立病院機構沖縄病院	39	46	33
18	南部病院	33	22	26



出典：『沖縄県院内がん登録集計報告書2018年症例』

専門的施設に関する議論

4　大腸がん　新選定要件（案）

以下の２項目を同時にすべて満たす施設とする

1　以下の項目が組織上明確に位置付けられた上で整備され、機能していること

（1）　キャンサーボード
（2）　がん薬物療法のレジメン審査・登録・管理委員会
（3）　緩和ケアチーム
（4）　セカンドオピニオン
（5）　院内がん登録に関する委員会
（6）　医療安全管理に関する委員会

2019年5月13日、沖縄県がん診療連携協議会　資料12「沖縄県におけるがん診療に関する種別専門医療機関の選定条件について」から

2　以下の項目のどちらかをすべて満たしていること

A 認定基準

（1）　一般財団法人日本消化器病学会認定施設
（2）　一般社団法人日本消化器外科学会認定施設
（3）　結腸がんに対する手術が年 48 例以上ある施設
（4）　直腸がんに対する手術が年 24 例以上ある施設
（5）　大腸がんに対するに対する放射線治療が年 6 例以上ある施設。または適切に連携を取ることにより、必要な時期に適切に他の医療機関に紹介して放射線治療を実施していて、その放射線治療が年 6 例以上ある施設
（6）　大腸がんに対する薬物療法が年 36 例以上ある施設

B 認定基準

（１） 一般財団法人日本消化器病学会認定施設

（２） 一般社団法人日本消化器外科学会認定施設

（３） 結腸がんに対する手術が年 24 例以上ある施設

（４） 直腸がんに対する手術が年 12 例以上ある施設

（５） 大腸がんに対するに対する放射線治療が年 2 例以上ある施設。または適切に連携を取ることにより、必要な時期に適切に他の医療機関に紹介して放射線治療を実施していて、その放射線治療が年 2 例以上ある施設

（６） 大腸がんに対する薬物療法が年 24 例以上ある施設

補足事項

1 選定要件は、今回と同じような方法で、毎年見直すこととする

2 第１項を満たすことができない場合には、平成 31 年度内にその整備を確約でき、沖縄県が年度内にその整備を確認することを受け入れることを条件に認定することとする。その際には、琉球大学医学部附属病院がんセンターが技術供与等も含めた助言をすることとする

3 第２項は、沖縄県により毎年行われる医療機能調査、全国がん登録および院内がん登録等の結果等を用いて、毎年選定施設の更新を行う

4 第２項における例数の規定は、全て最近３年間の平均値とする

5 放射線治療の例数には、緩和的放射線治療を含む

6 選定施設名の公開の際には、A 認定基準による施設、B 認定基準による施設を区別はせず公開する

患者向け冊子での大腸がん専門医療機関の掲載。2013年当初版では13施設

第1部 病気や治療について

2. 納得して治療を受けたい

(1)がん診療を行っている専門医療機関

沖縄県保健医療計画では、国の指定を受けたがん診療連携拠点病院をはじめ、がん種別の専門医の配置や手術療法、化学療法又は放射療法を組み合わせた集学的治療等を実施する医療機関を、専門的がん診療機関として位置づけています。**連携拠点病院に関しては** P70

※2013年4月改訂により専門的がん診療機関の変更が見込まれます。
最新の情報は、沖縄県医務課ホームページでご確認ください。
http://www.pref.okinawa.jp/imu_kokuho
※左メニューの「沖縄県保険医療計画」をクリック

※放射線療法可能機関 (2013年2月現在)

施設名	肺がん	胃がん	肝がん	大腸がん	乳がん	子宮がん	※
県立北部病院	○	○	○	○	○	—	—
北部地区医師会病院	○	○	○	○	○	—	—
県立中部病院	○	○	○	○	○	○	○
中部徳洲会病院	—	—	○	—	—	—	—
中頭病院	○	○	○	○	○	○	—
名嘉病院	—	—	—	—	○	—	—
ハートライフ病院	○	○	○	○	○	○	—
琉球大学医学部附属病院	○	○	○	○	○	○	○
宜野湾記念病院	—	—	○	—	—	—	—
国立病院機構沖縄病院	○	○	○	○	○	—	○

※放射線療法可能機関 (2013年2月現在)

施設名	肺がん	胃がん	肝がん	大腸がん	乳がん	子宮がん	※
浦添総合病院	○	○	○	○	○	—	—
同仁病院	—	—	○	—	—	—	—
大浜第一病院	—	—	○	—	○	○	—
沖縄協同病院	—	—	○	○	○	—	—
沖縄赤十字病院	○	○	○	○	○	○	○
おもろまちメディカルセンター	—	—	○	—	—	—	—
那覇市立病院	○	○	○	○	○	○	○
県立南部医療センター・こども医療センター	○	○	○	○	○	○	○
豊見城中央病院	○	○	○	○	○	○	—
南部徳洲会病院	—	—	○	—	—	—	○
県立宮古病院	—	—	○	—	—	—	—
県立八重山病院	—	—	○	—	—	—	—
宮良クリニック	—	—	—	—	○	—	—
那覇西クリニック	—	—	—	—	○	—	—

その他のがん種の専門施設については、相談支援センターにお問合せください P28

メモ

出典：「おきなわがんサポートハンドブック」 (2013年当初版)

患者向け冊子での大腸がん専門医療機関の掲載。2013年改訂版では9施設

P18 （1） がん診療を行っている専門医療機関　（引用：http://www.pref.okinawa.jp/site/fukushi/imu/iryoukeikaku.html）

※沖縄県保健医療計画の改訂<第6次>に伴い、専門医療機関が下記のように変更になりました。（2013年4月現在）

施設名	肺がん	胃がん	肝がん	大腸がん	乳がん	子宮がん	放射線療法
北部地区医師会病院	—	○	—	○	○	—	—
県立中部病院	○	○	○	○	○	○	○
中部徳洲会病院	—	—	—	—	○	—	—
中頭病院	—	○	○	○	○	○	—
ちばなクリニック	—	—	—	—	○	—	—
ハートライフ病院	—	○	○	○	○	○	—
琉球大学医学部付属病院	○	○	○	○	○	○	○
沖縄病院	○	—	—	—	—	—	○
浦添総合病院	—	○	○	○	○	—	—
沖縄赤十字病院	○	○	—	○	○	○	○
那覇市立病院	—	○	○	○	○	○	○
南部医療センター・こども医療センター	—	○	—	—	○	○	○
豊見城中央病院	—	○	○	○	○	○	—
南部徳洲会病院	—	—	—	—	—	—	○
Dr久高のマンマ家クリニック	—	—	—	—	○	—	—
宮良クリニック	—	—	—	—	○	—	—
那覇西クリニック	—	—	—	—	○	—	—
那覇西クリニックまかび	—	—	—	—	○	—	—

出典：「おきなわがんサポートハンドブック」　(2013年改訂版)

患者向け冊子での大腸がん専門医療機関の掲載。2018年版では16施設

(4)がん診療を行っている沖縄県内の医療機関

病院名	肺がん	胃がん	肝がん	大腸がん	乳がん	子宮がん	小児がん	その他のがん	放射線療法
県がん診療連携拠点病院									
琉球大学医学部附属病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○
地域がん診療連携拠点病院									
沖縄県立中部病院	○	○	○	○	○	○	—	○	○
那覇市立病院	○	○	○	○	○	○	—	○	○
地域がん診療病院									
北部地区医師会病院	—	○	○	○	○	—	—	○	—
沖縄県立宮古病院	○	○	○	○	○	—	—	○	—
沖縄県立八重山病院	○	○	○	○	○	○	—	○	—
その他									
中部徳洲会病院	○	○	○	○	○	—	—	○	—
中頭病院	○	○	○	○	○	○	—	○	○
ハートライフ病院	—	○	○	○	○	○	—	○	—
沖縄病院	○	○	—	○	—	—	—	—	○
浦添総合病院	○	○	○	○	○	—	—	—	—
沖縄赤十字病院	○	○	○	○	○	○	—	—	○

病院名	肺がん	胃がん	肝がん	大腸がん	乳がん	子宮がん	小児がん	その他のがん	放射線療法
沖縄協同病院	○	○	○	○	○	○	—	○	—
南部医療センター・こども医療センター	○	○	○	○	○	○	○	—	○
豊見城中央病院	○	○	○	○	○	○	—	—	—
南部徳洲会病院	○	○	○	○	○	—	—	—	○
マンマ家クリニック	—	—	—	—	○	—	—	—	—
宮良クリニック	—	—	—	—	○	—	—	—	—
那覇西クリニック	—	—	—	—	○	—	—	—	—
KIN放射線治療・健診クリニック	—	—	—	—	—	—	—	—	○

出典：沖縄県医療計画
http://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/iryoseisaku/kikaku/iryoukeikaku.html

医師の異動等で対応できるがん種や治療の範囲が変わる可能性もあります。詳しくは各病院にお問い合わせください。ここに掲載されていない内容や最新情報は、沖縄県医療計画をご覧ください。

セカンドオピニオンおよび実施施設の連絡先 P24



出典：「おきなわがんサポートハンドブック」　(2018年版)

患者向け冊子での大腸がん専門医療機関の掲載。2020年版では22施設

(4)がん診療を行っている沖縄県内の医療機関

(2019年11月現在)

病院名	大腸がん	肺がん	胃がん	乳がん	子宮頸がん	肝がん	胆道がん	膵臓がん	食道がん	前立腺がん	甲状腺がん	血液腫瘍	放射線療法
県がん診療連携拠点病院													
琉球大学病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
地域がん診療連携拠点病院													
沖縄県立中部病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
那覇市立病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
地域がん診療病院													
北部地区医師会病院	○	—	○	○	—	○	○	○	○	—	○	—	—
沖縄県立八重山病院	○	○	○	—	○	○	○	○	○	—	○	○	—
その他の医療機関													
沖縄県立北部病院	○	—	○	—	—	—	○	○	○	—	○	—	—
たいら内科クリニック	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—
KIN放射線治療・健診クリニック	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○
中頭病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
中部徳洲会病院	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	—
ハートライフ病院	○	—	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	—
国立病院機構沖縄病院	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○
浦添総合病院	○	○	○	○	—	○	○	○	○	—	○	—	—
同仁病院	○	—	○	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—
宮良クリニック	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—
マンマ家クリニック	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—
おもろまちメディカルセンター	○	○	○	○	—	○	○	○	○	—	○	—	—
大浜第一病院	○	—	○	—	—	○	○	○	—	—	—	—	—
沖縄赤十字病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○
沖縄協同病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—
那覇西クリニック	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—
与那原中央病院	—	—	—	—	—	—	○	○	—	—	○	○	—
南部医療センター・こども医療センター	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○
沖縄第一病院	○	—	○	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—
南部徳洲会病院	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	—	—	○
豊見城中央病院	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	—	—	—
沖縄県立宮古病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
宮古島徳洲会病院	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—
石垣島徳洲会病院	○	—	○	○	—	—	—	—	—	—	○	—	—

出典：医療施設一覧（沖縄県保健医療部医療政策課ホームページ）
https://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/iryoseisaku/medicalfacilities3.html

医師の異動等で対応できるがん種や治療の範囲が変わる可能性もあります。詳しくは各病院にお問い合わせください。

セカンドオピニオンおよび実施施設の連絡先 P22
医療機関の連絡先 P94

出典：「おきなわがんサポートハンドブック」　(2020年版)

所見例①

- 大腸がん症例数の“集約”が起こっているとは数値上確認できない。
- 施策としては、「専門的施設の選定と公表」が方針となっている模様。
- 患者・住民への情報提供における施設数は、むしろ2013年の9施設から2020年の22施設に増えている。
- 現状の医療提供体制が最適配置と考えられるのか。

＊なお、部位ごとに最適配置は異なると考えられる。

所見例②

「専門的施設の選定と公表」施策についての評価例

①整合性（セオリー）評価：医療の質の向上のため専門的施設の選定と公表という施策は、整合的である可能性が高い

②実行評価（プロセス）評価：選定作業は実施された。最終決定と公表・広報は？

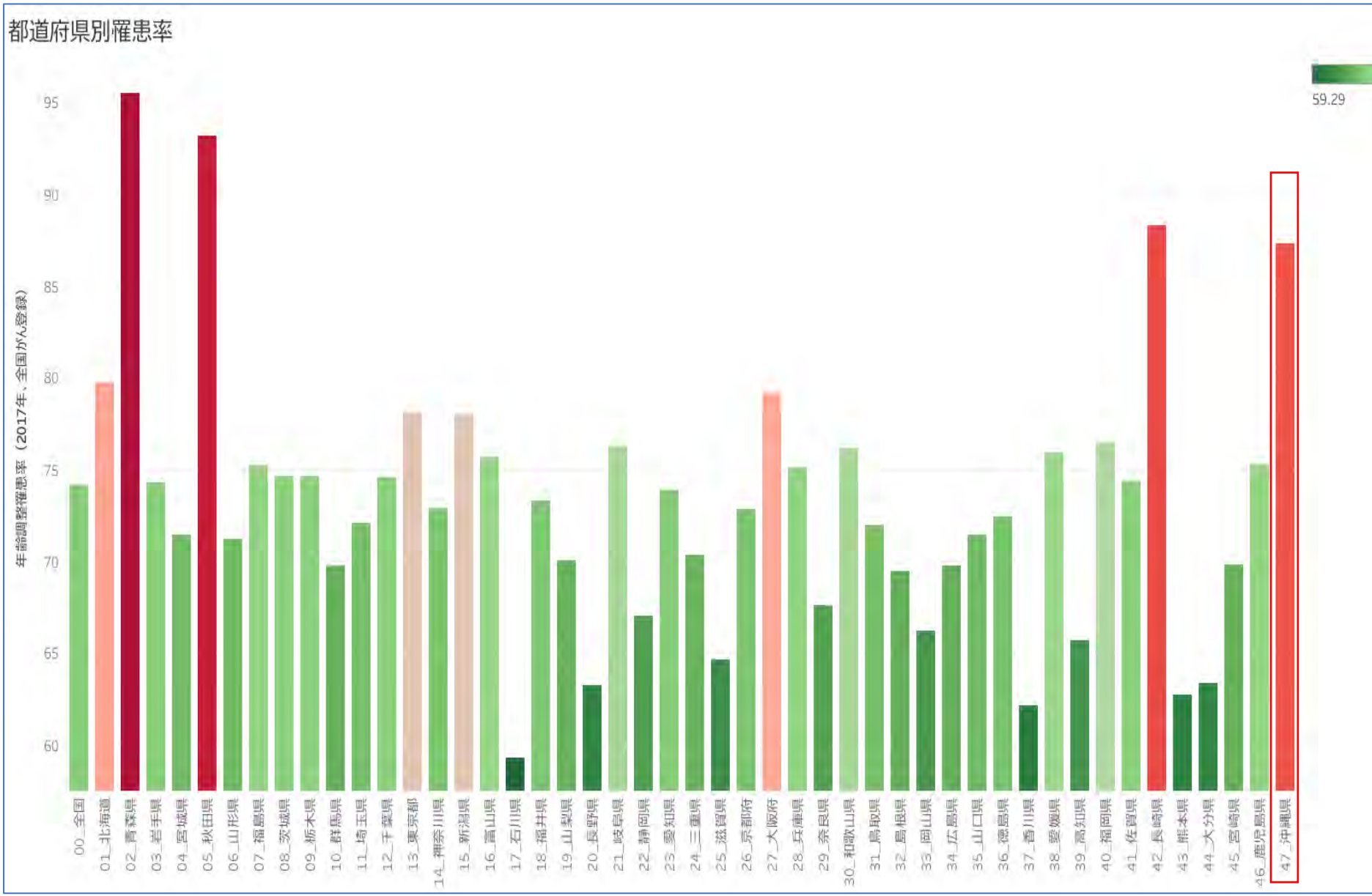
③効果評価（インパクト）評価：施策に対する初期アウトカムである症例数構成にはまだ表れていない。施策の実行が完了していないので評価できない。

〔総合評価〕：施策の整合性は想定できるが、実行が完了していないので、急ぎ実行をした上でインパクト評価を行い、施策の効果を判定する必要がある。

罹患率（大腸がん、子宮頸がん、乳がん、白血病…）

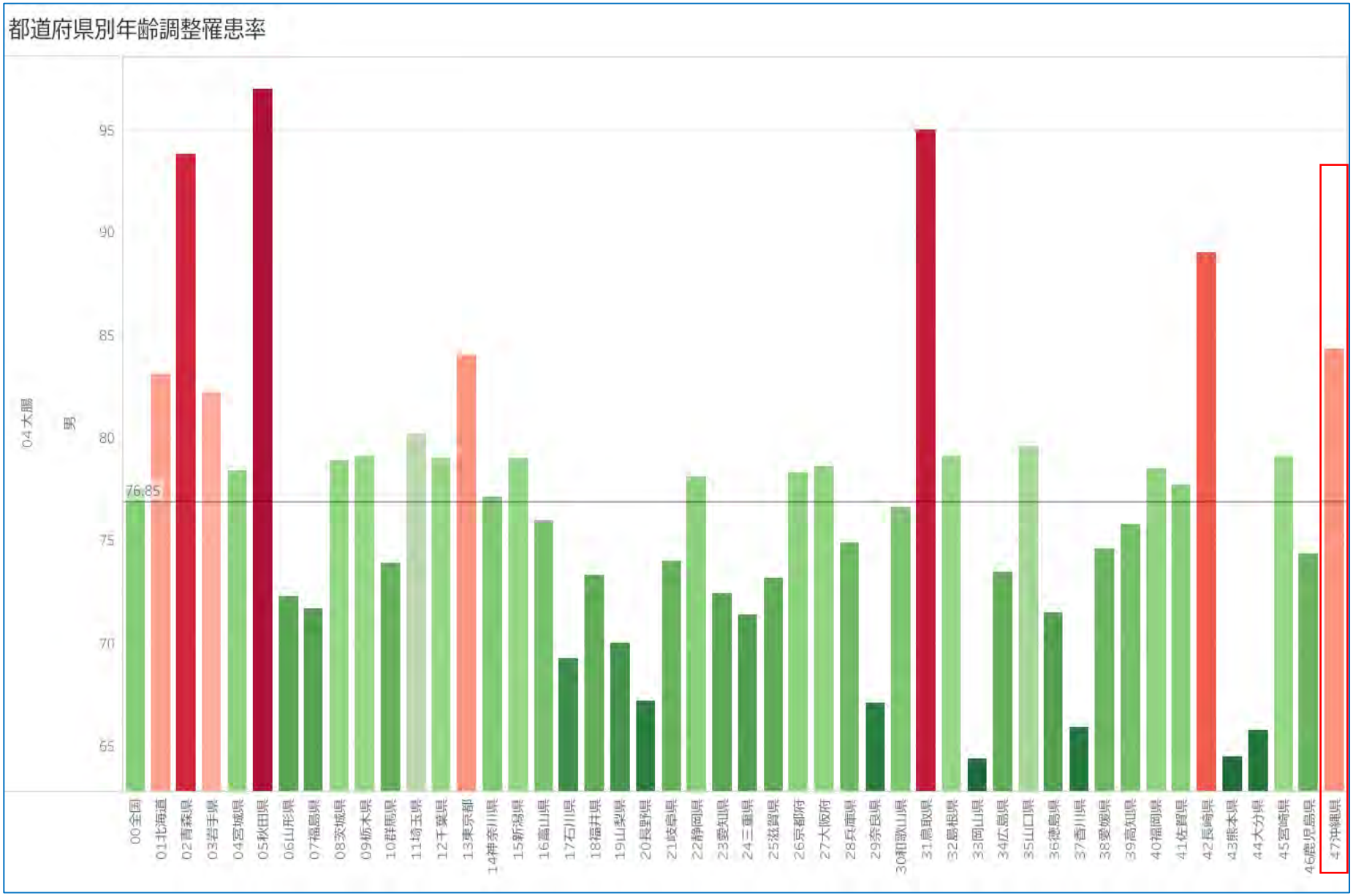
厚生労働省『全国がん登録罹患数・率報告2017』

2017年　大腸がん　男（ワースト4）



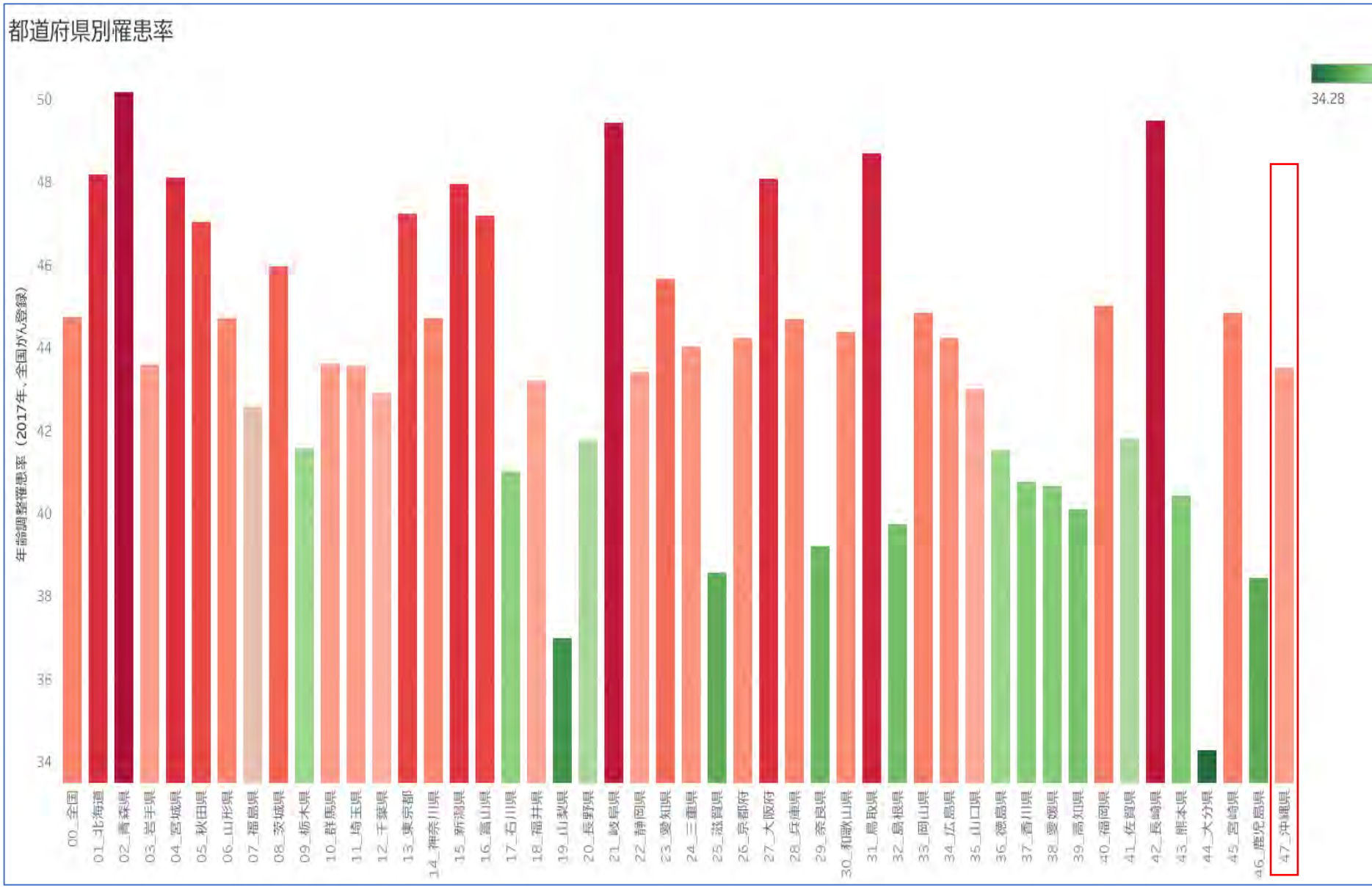
出典：厚生労働省『全国がん登録罹患数・率報告2017』

2016年　大腸がん　男（ワースト5）



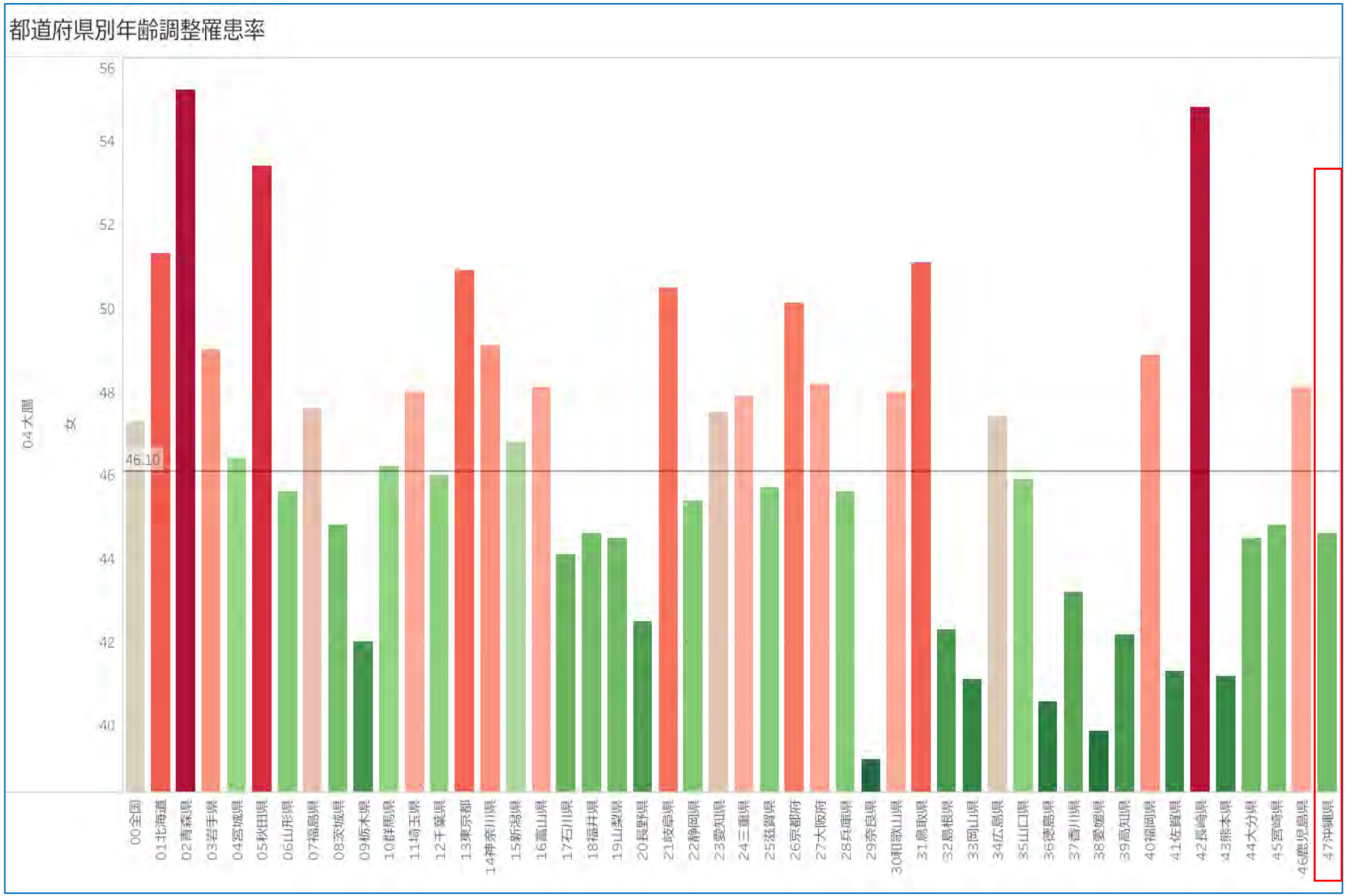
出典：厚生労働省『全国がん登録罹患数・率報告2016』

2017年　大腸がん　女



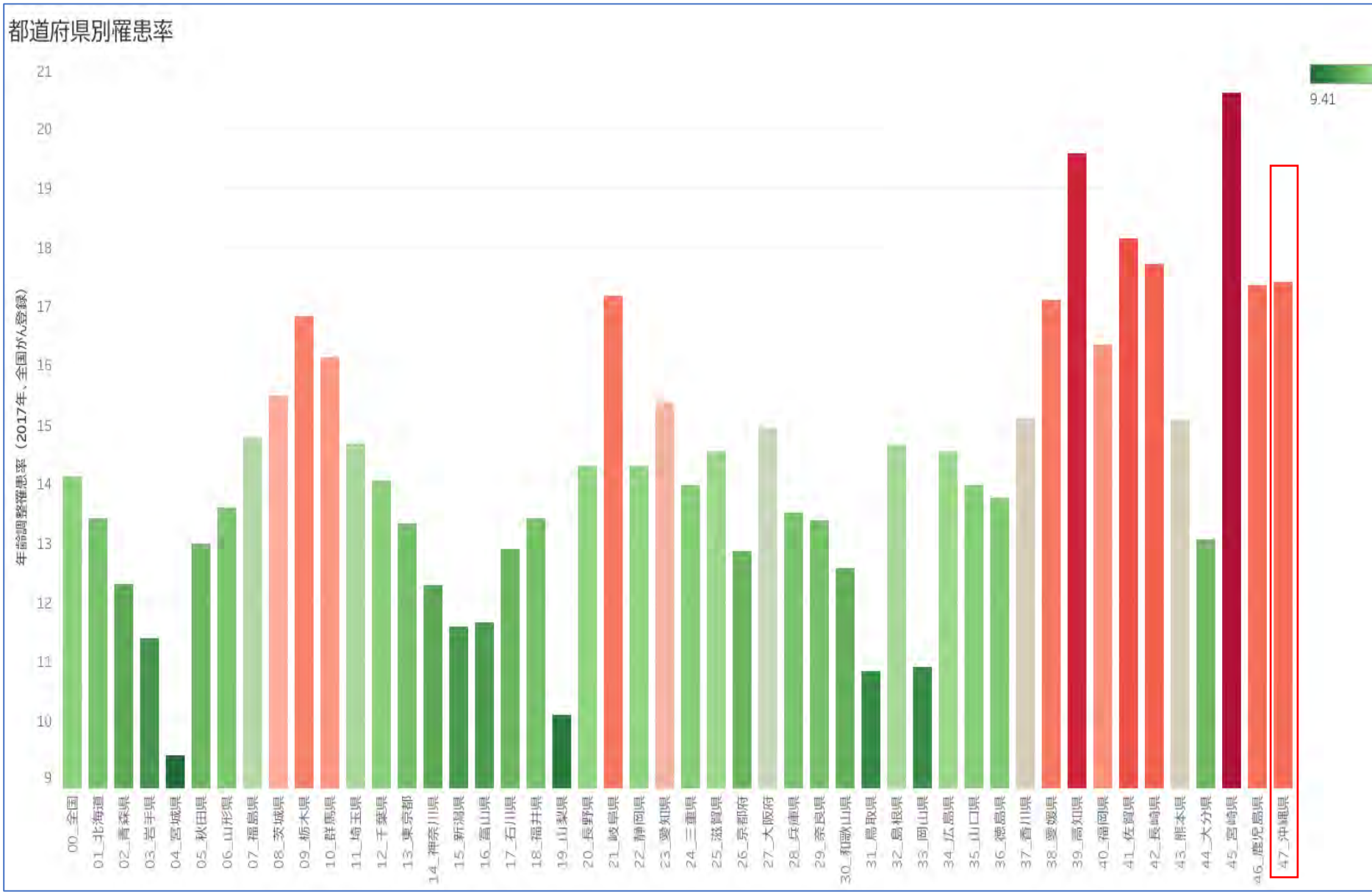
出典：厚生労働省『全国がん登録罹患数・率報告2017』

2016年　大腸がん　女



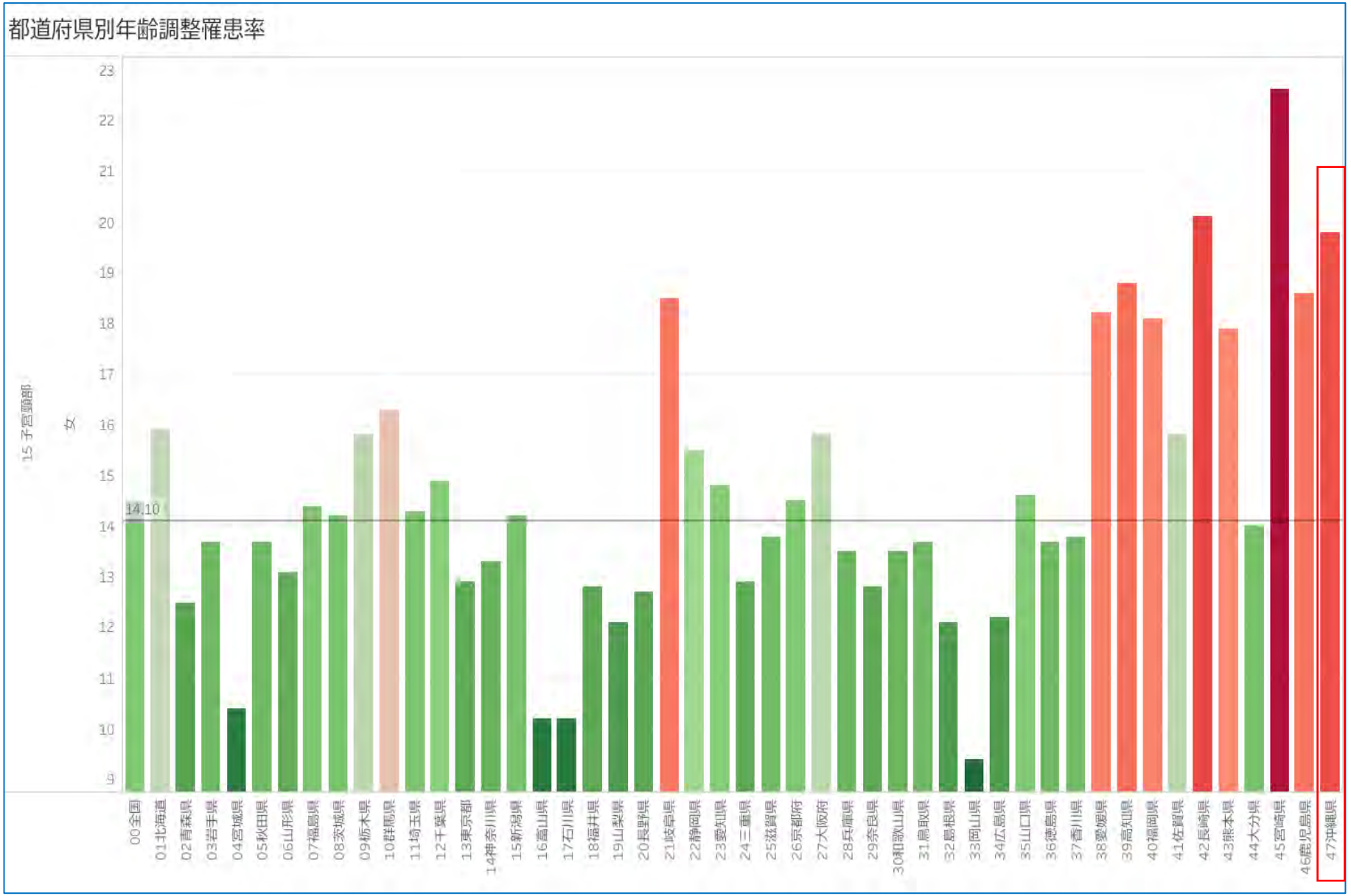
出典：厚生労働省『全国がん登録罹患数・率報告2016』

2017年　子宮頸がん（ワースト5）



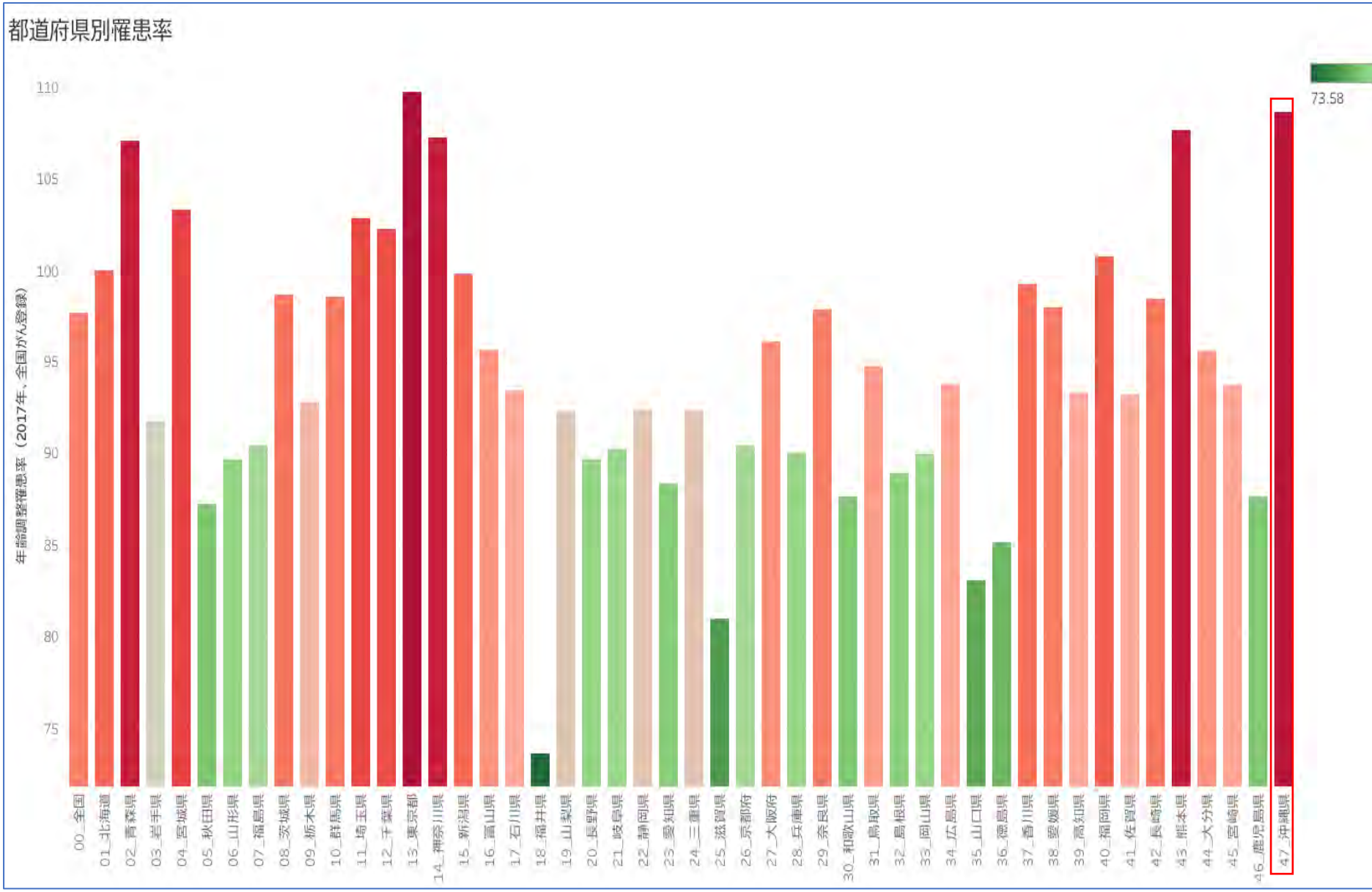
出典：厚生労働省『全国がん登録罹患数・率報告2017』

2016年　子宮頸がん（ワースト3）



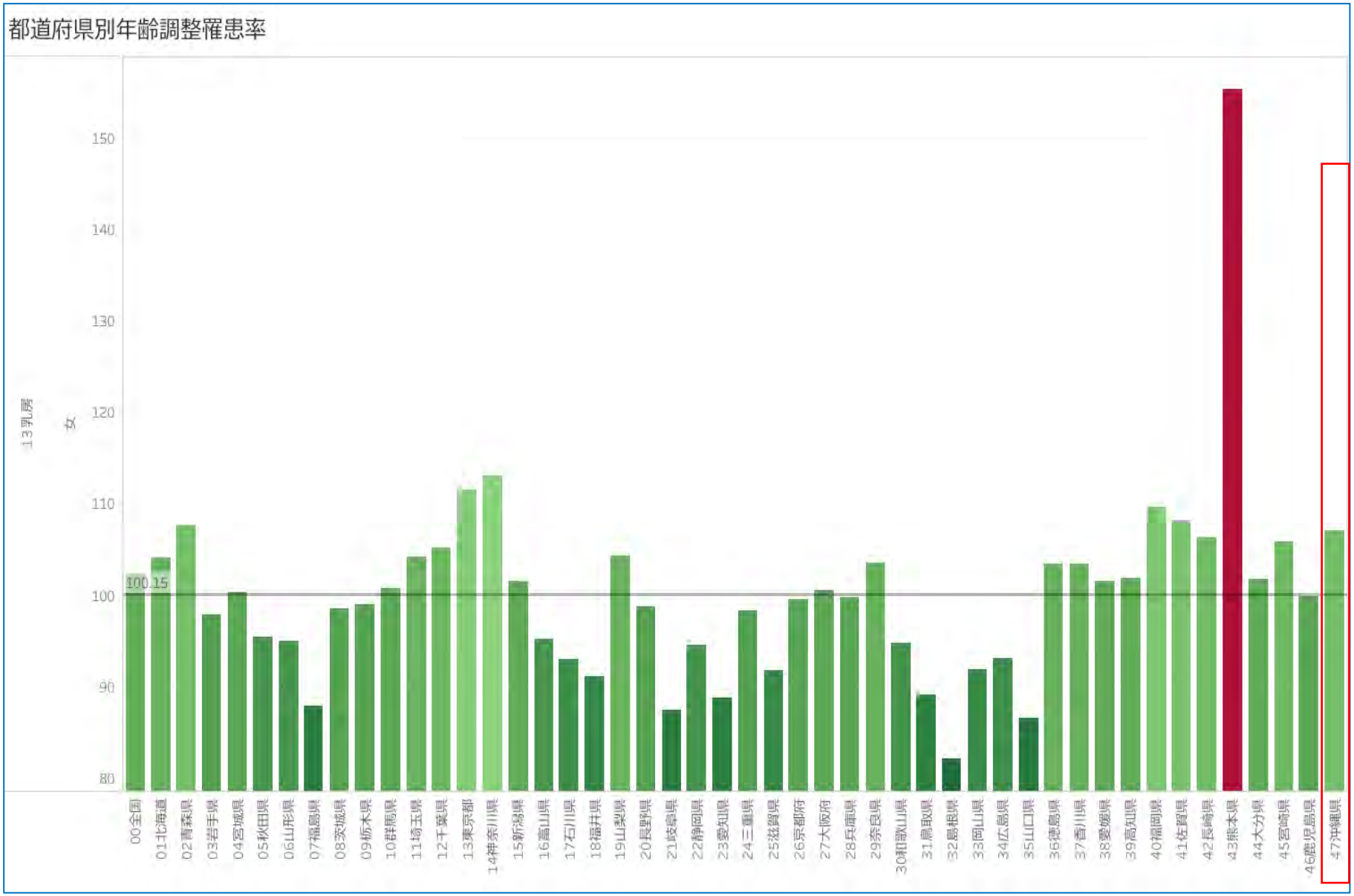
出典：厚生労働省『全国がん登録罹患数・率報告2016』

2017年　乳がん　女（ワースト2）



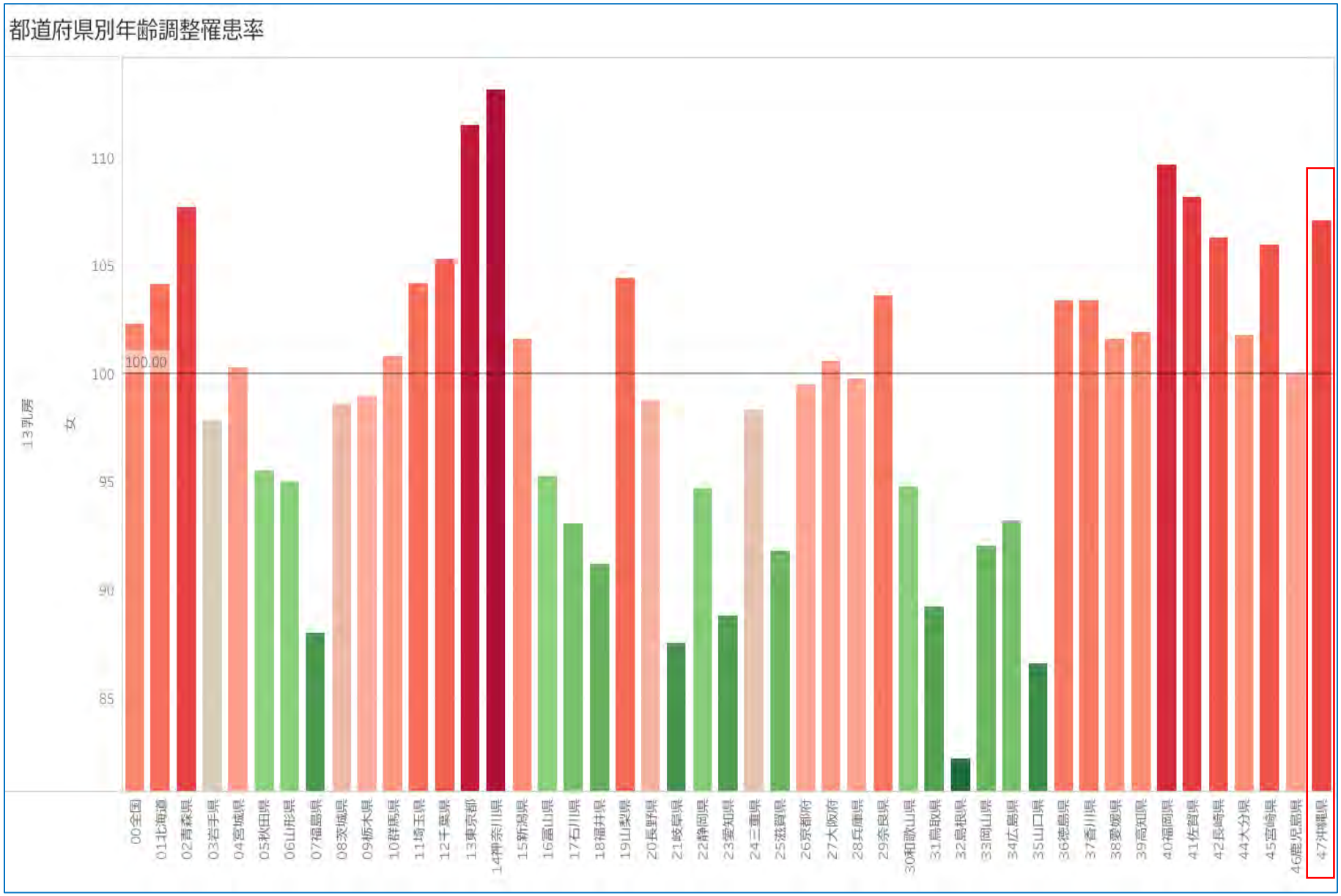
出典：厚生労働省『全国がん登録罹患数・率報告2017』

2016年　乳がん　女（ワースト7）



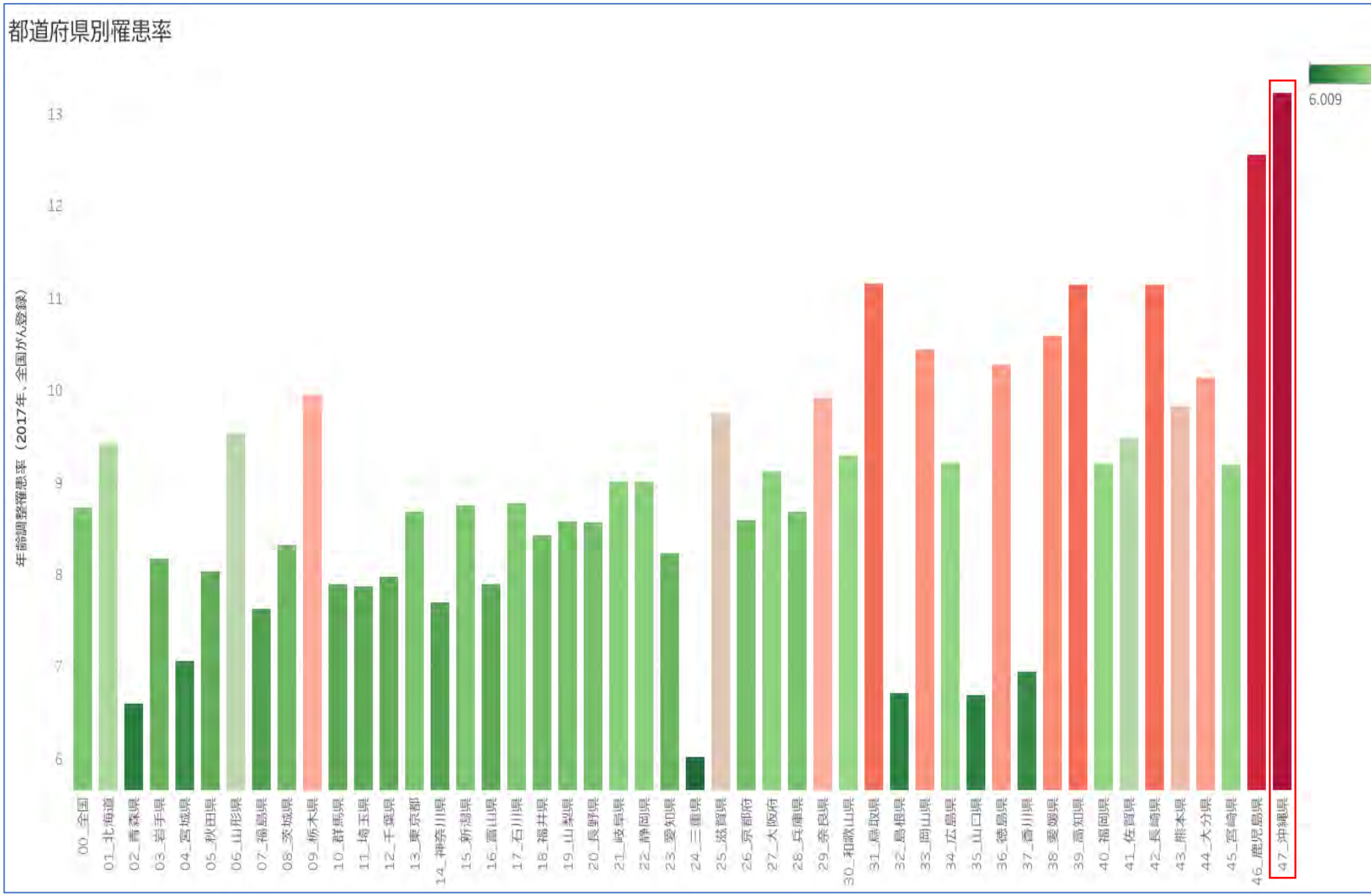
出典：厚生労働省『全国がん登録罹患数・率報告2016』

2016年　乳がん　女（熊本県除外）



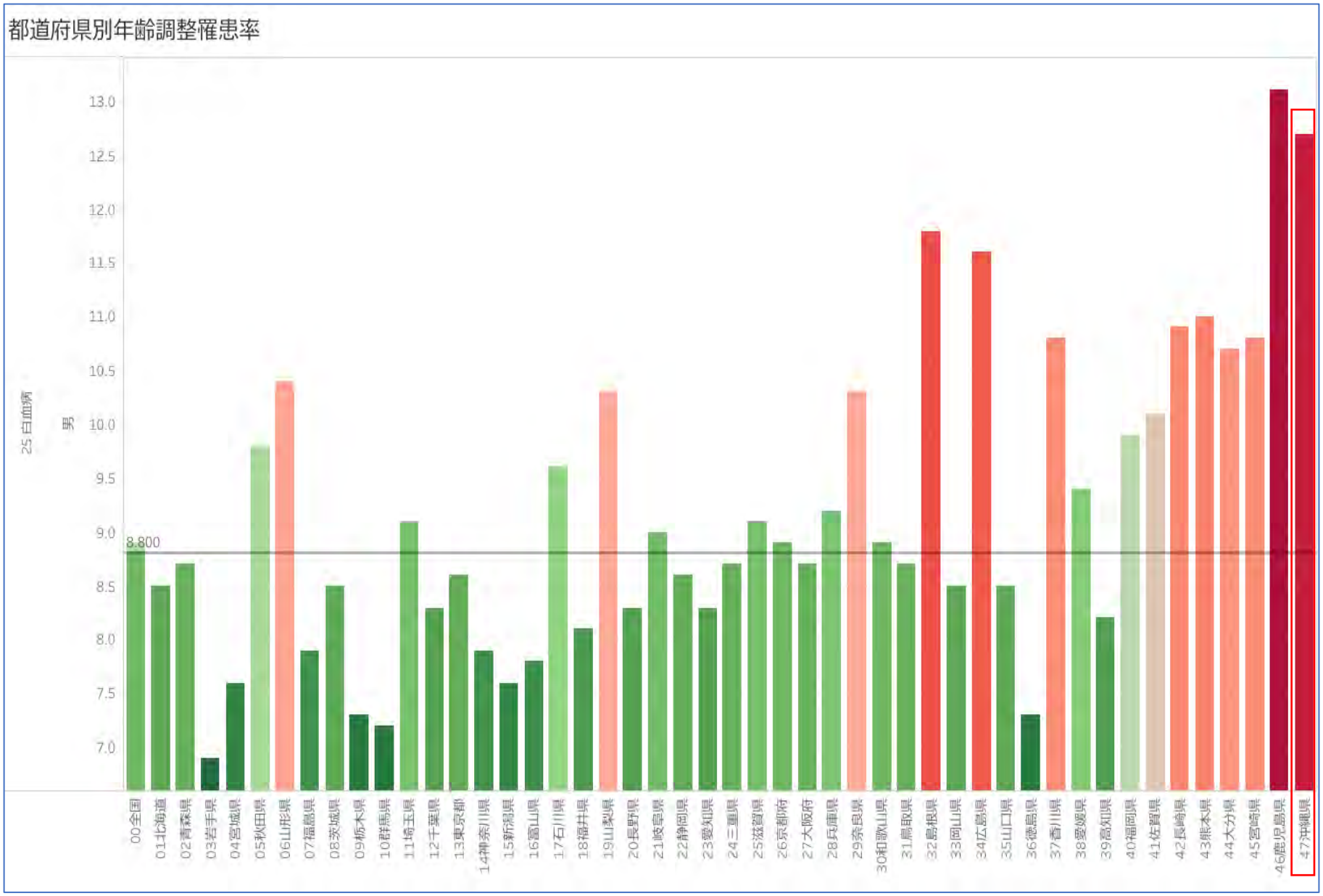
出典：厚生労働省『全国がん登録罹患数・率報告2016』

2017年　白血病　男（ワースト1）

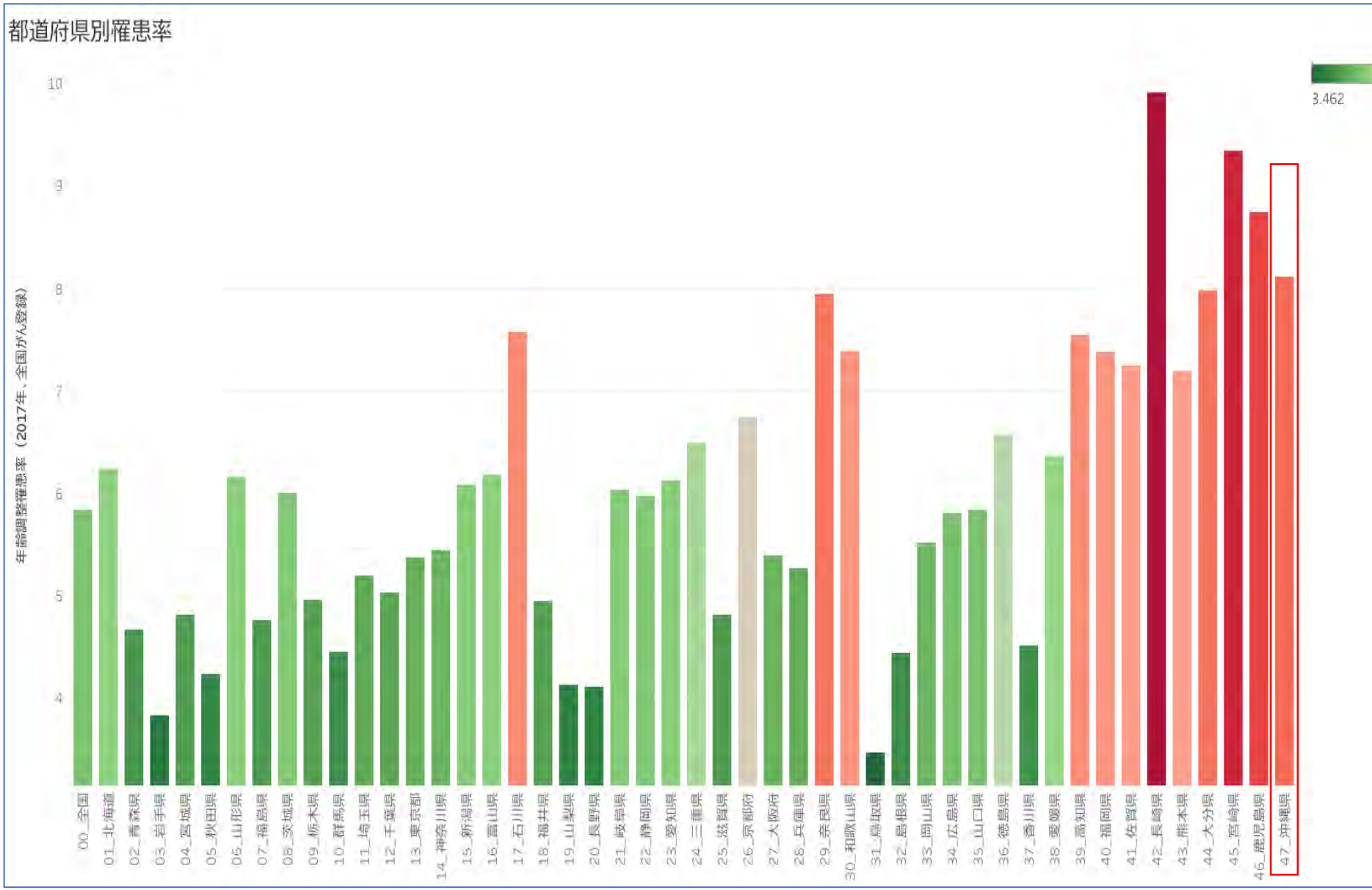


出典：厚生労働省『全国がん登録罹患数・率報告2017』

2016年　白血病　男（ワースト2）

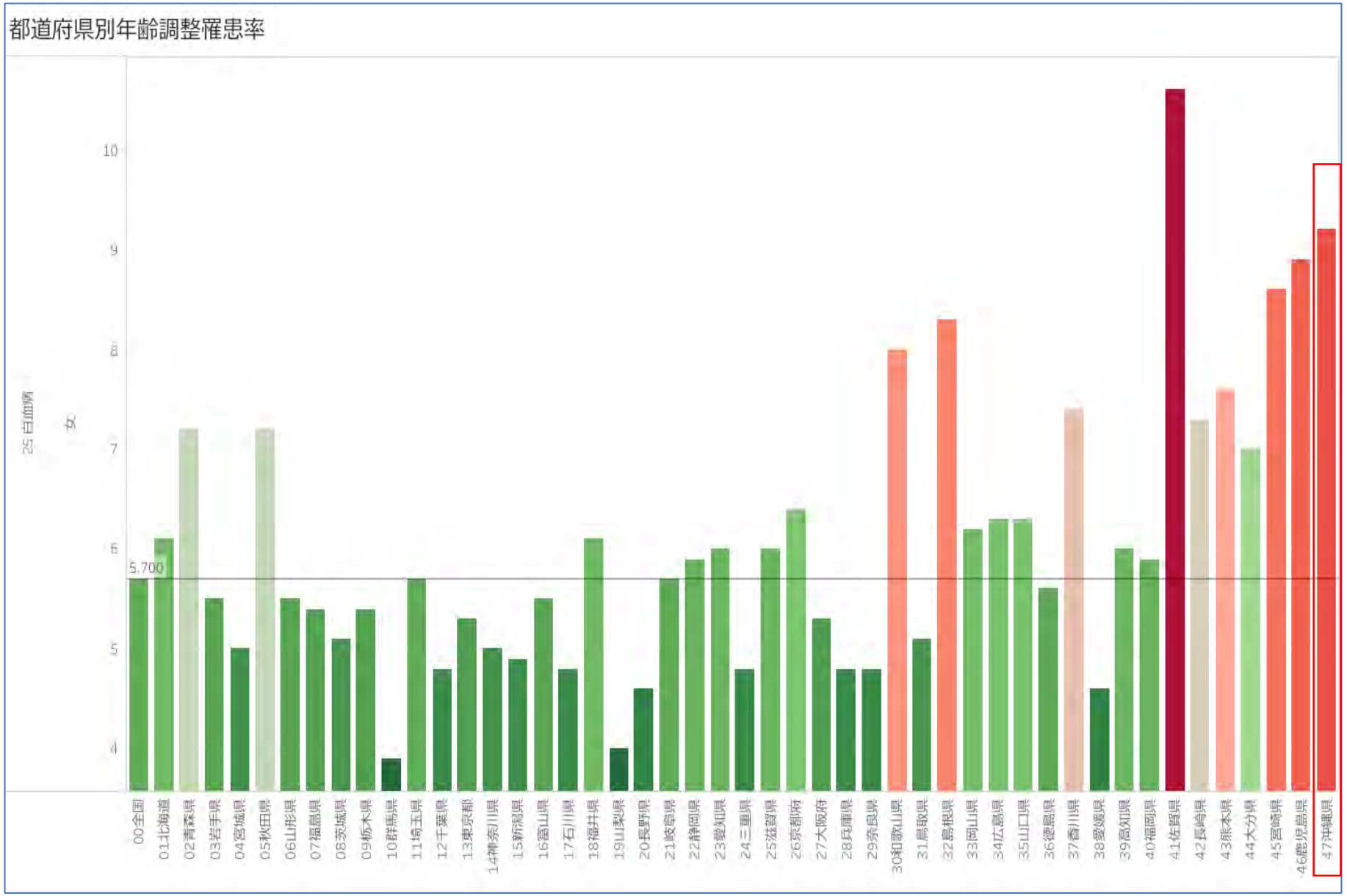


2017年　白血病　女（ワースト4）

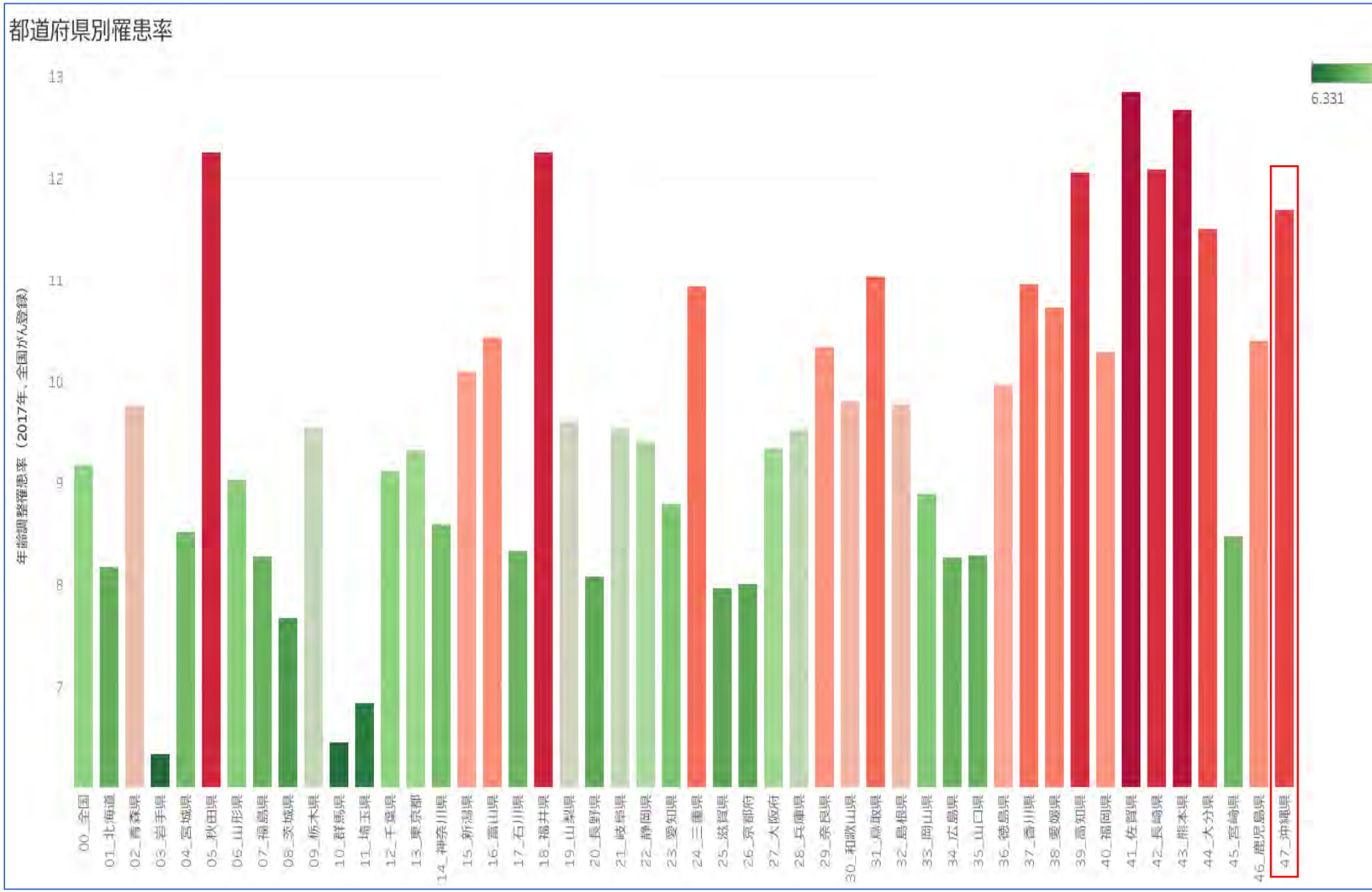


出典：厚生労働省『全国がん登録罹患数・率報告2017』

2016年　白血病　女（ワースト2）

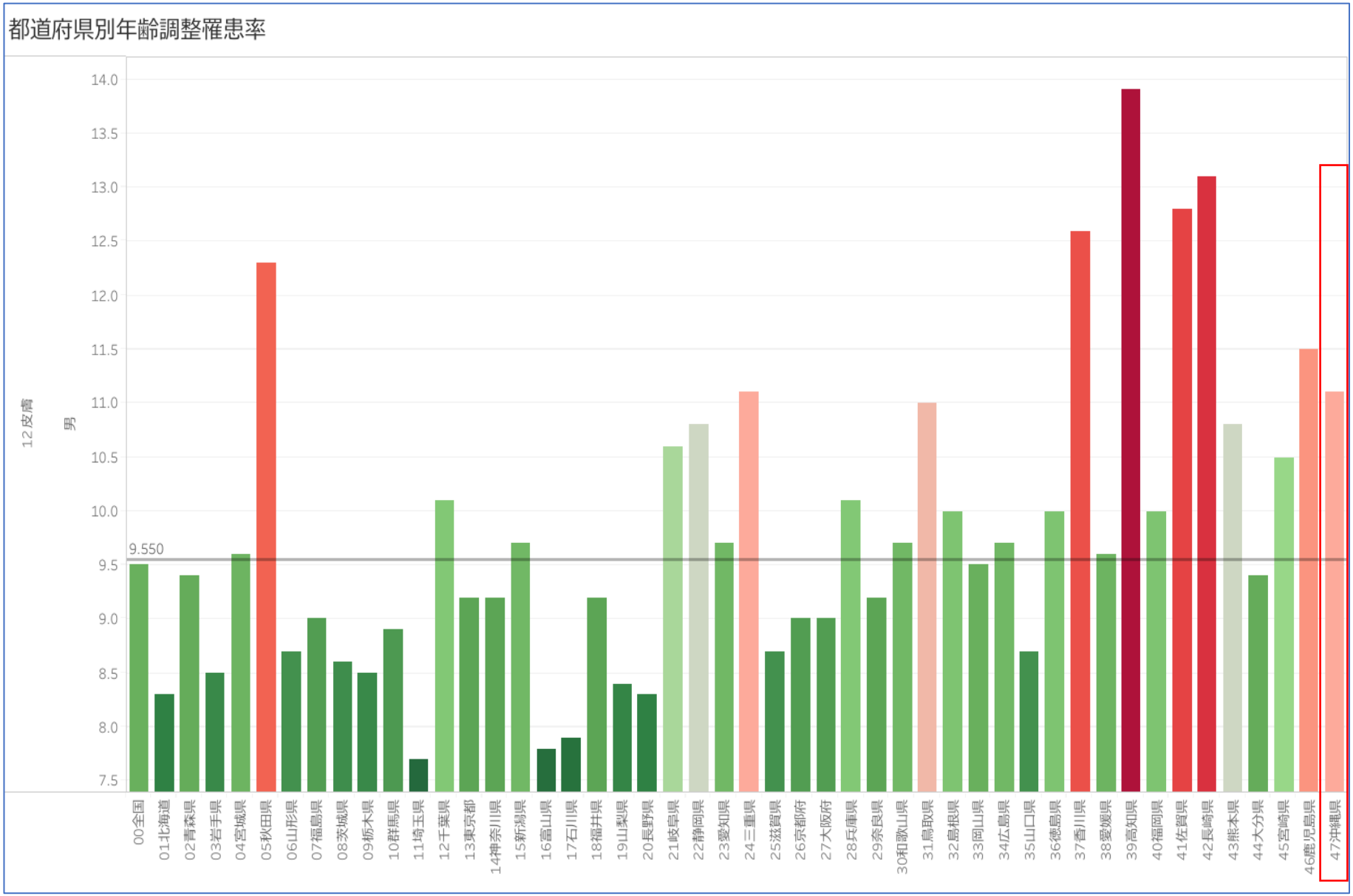


2017年　皮膚がん　男（ワースト7）



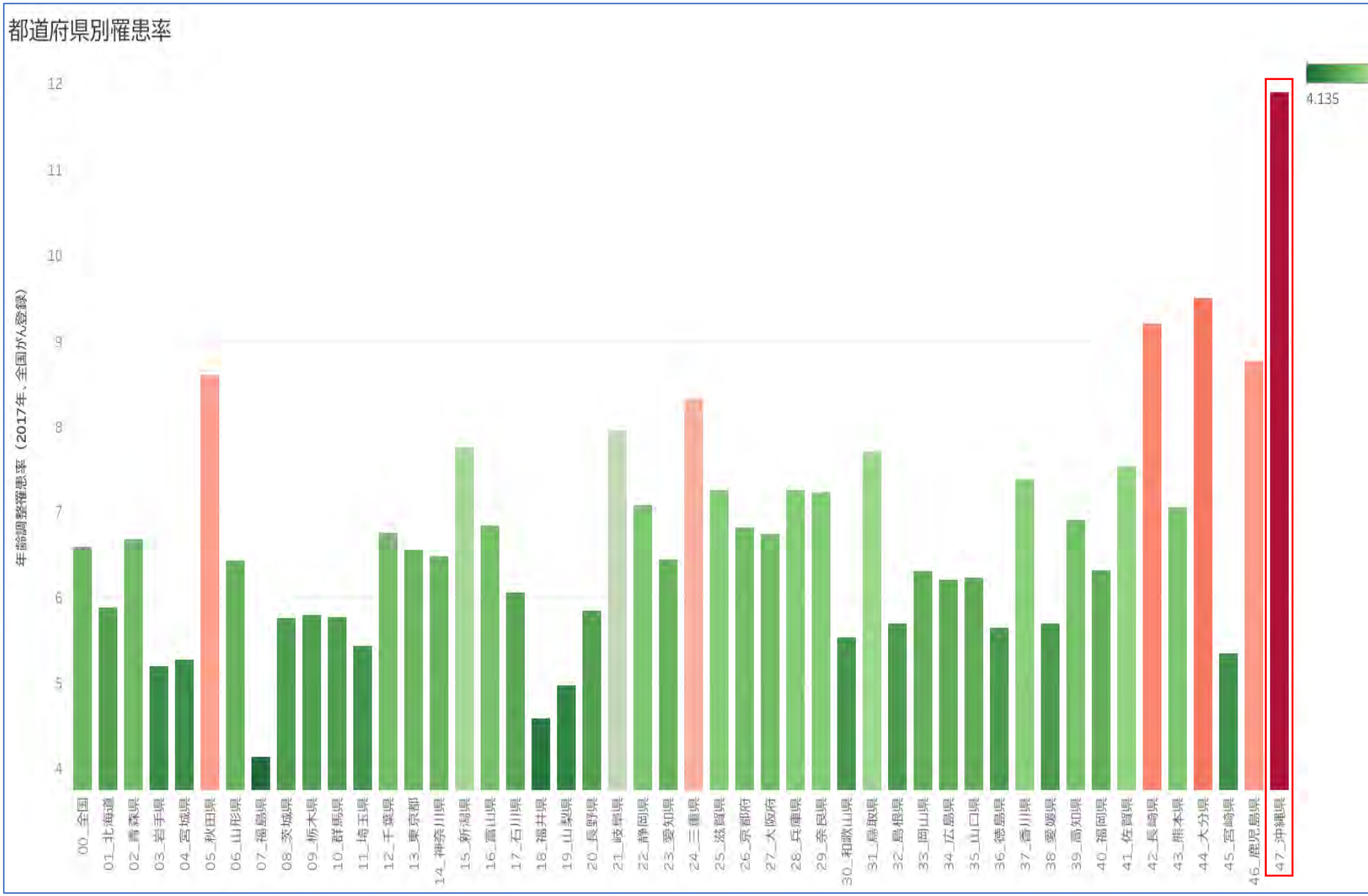
出典：厚生労働省『全国がん登録罹患数・率報告2017』

2016年　皮膚がん　男（ワースト7）



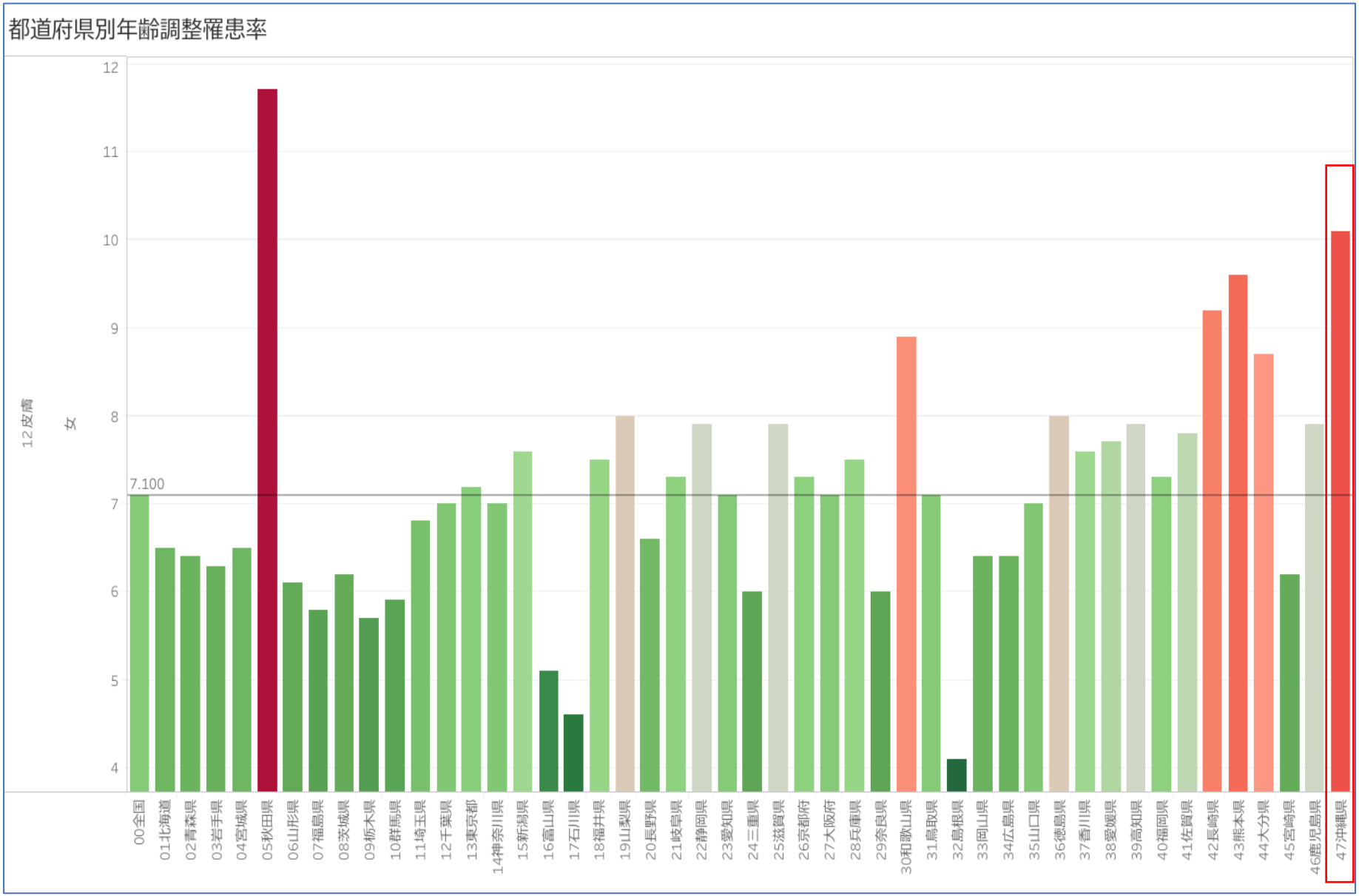
出典：厚生労働省『全国がん登録罹患数・率報告2016』

2017年　皮膚がん　女　（ワースト1）



出典：厚生労働省『全国がん登録罹患数・率報告2017』

2016年　皮膚がん　女　（ワースト2）



出典：厚生労働省『全国がん登録罹患数・率報告2016』

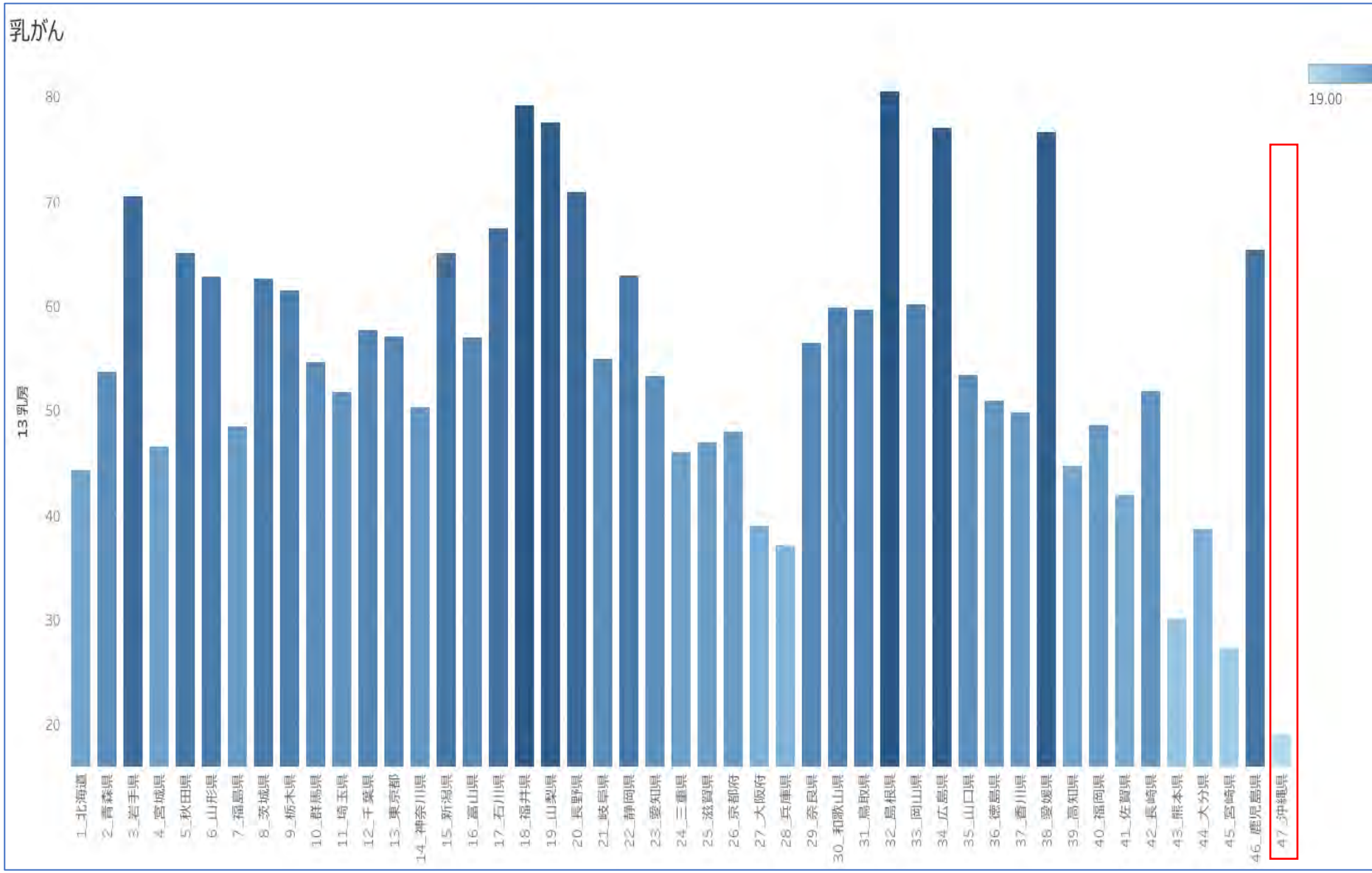
所見例

- 大腸がん・男　ワースト5→ワースト4
- 乳がん　ワースト7→ワースト2
- 白血病・男　ワースト2→ワースト1
- 皮膚がん・女　ワースト2→ワースト1
- 罹患率が高い部位は対策や注視が必要。
- 乳がんについて。今後の推移と波及が懸念される。罹患率についてどう考えるか、見解と方針をまとめることが必要。乳がん診療の医療の質と体制を、がん診療連携協議会でどうマネジメントしていくのか、アジェンダに上げて検討することが必要ではないか。

拠点病院カバー率（乳がん、肺がん…）

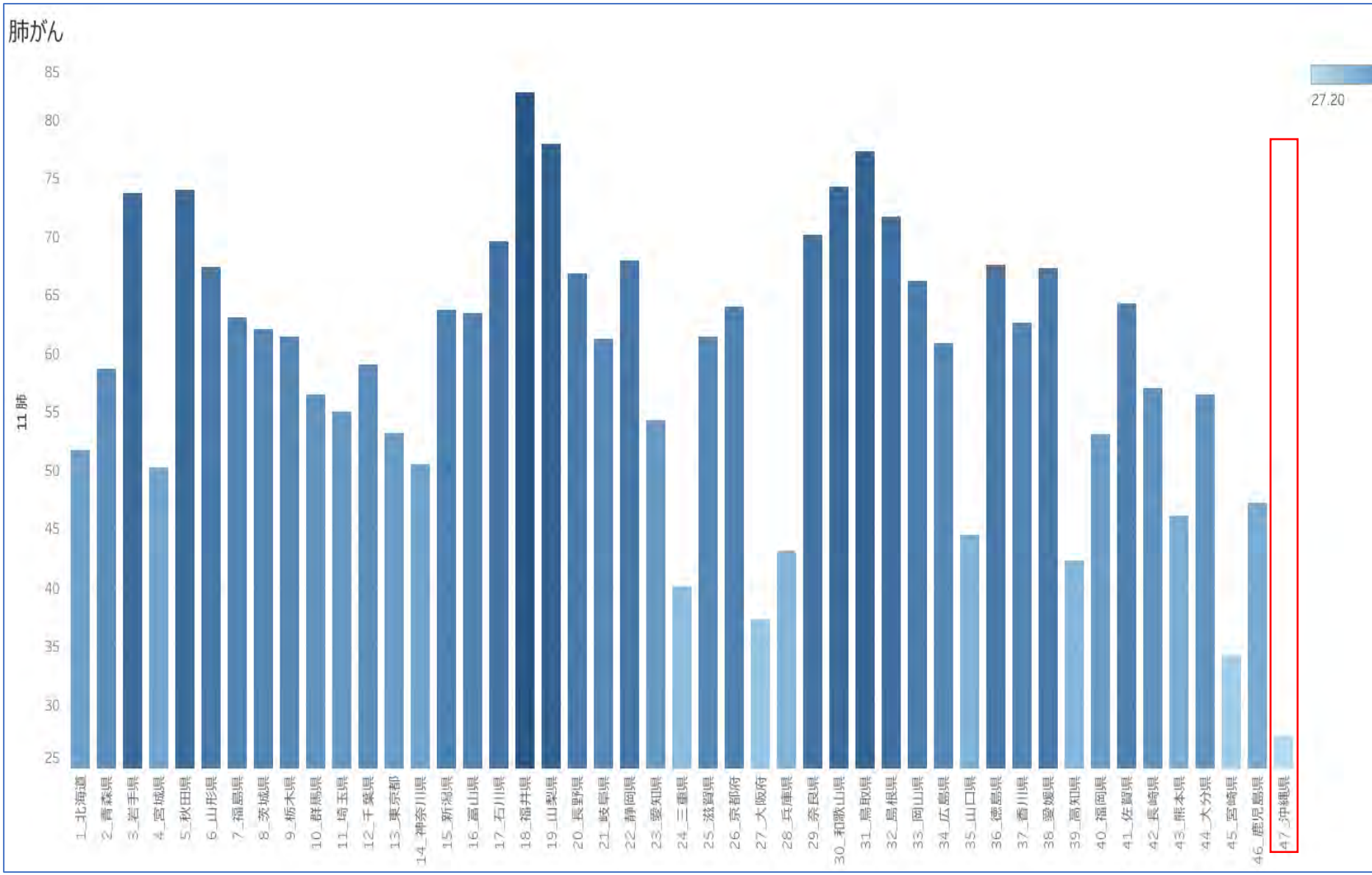
『2017年院内がん登録におけるがんの登録割合』

拠点病院カバー率推定値（乳がん）



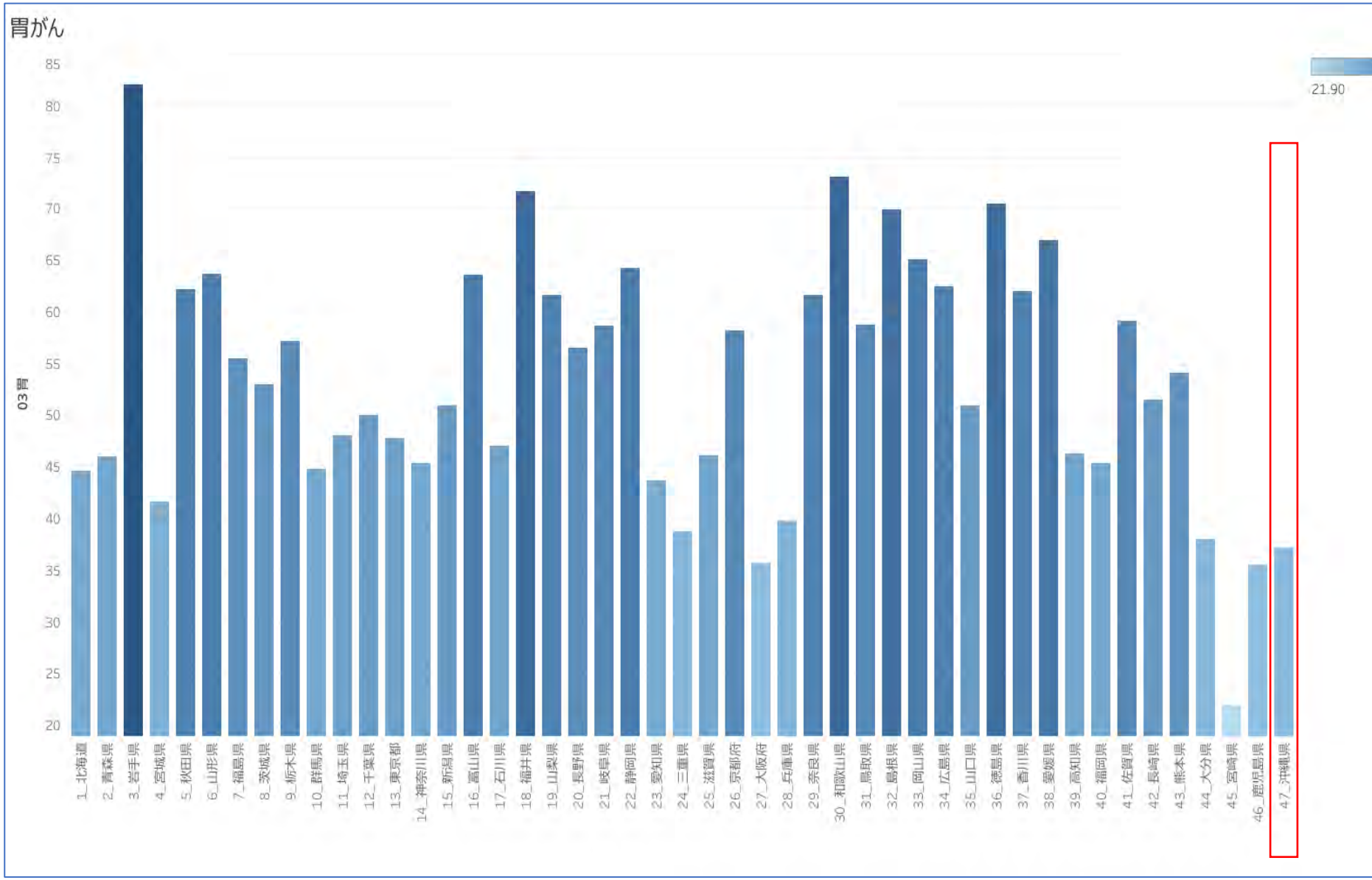
出典：2017年院内がん登録におけるがんの登録割合、表11　都道府県別罹患数（2017）に占めるがん診療連携拠点病院等の登録割合（上皮内がん含）：診断時住所、部位別（国立がん研究センターがん対策情報センター）

拠点病院カバー率推定値（肺がん）



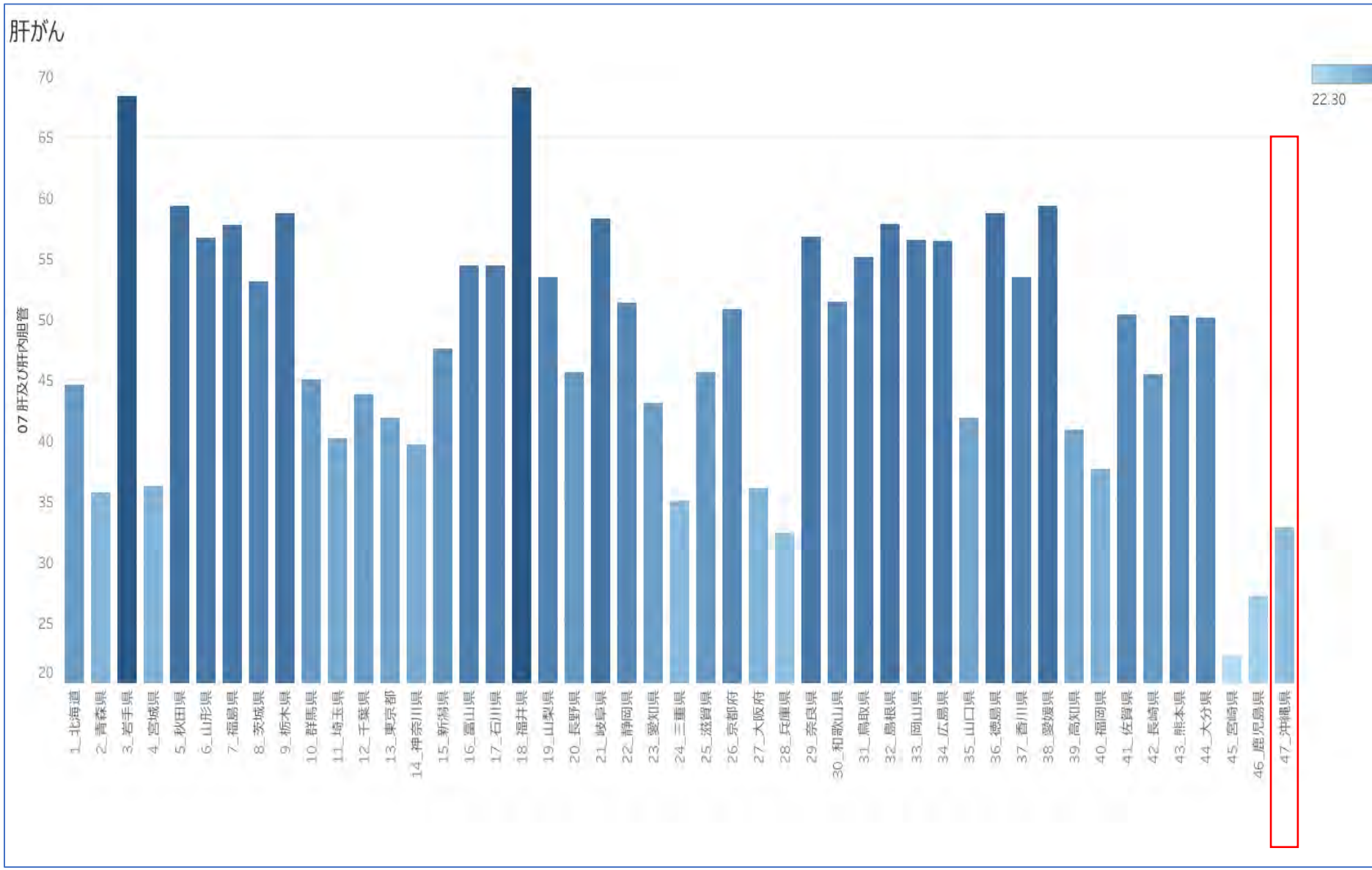
出典：2017年院内がん登録におけるがんの登録割合、表11　都道府県別罹患数（2017）に占めるがん診療連携拠点病院等の登録割合（上皮内がん含）：診断時住所、部位別（国立がん研究センターがん対策情報センター）

拠点病院カバー率推定値（胃がん）



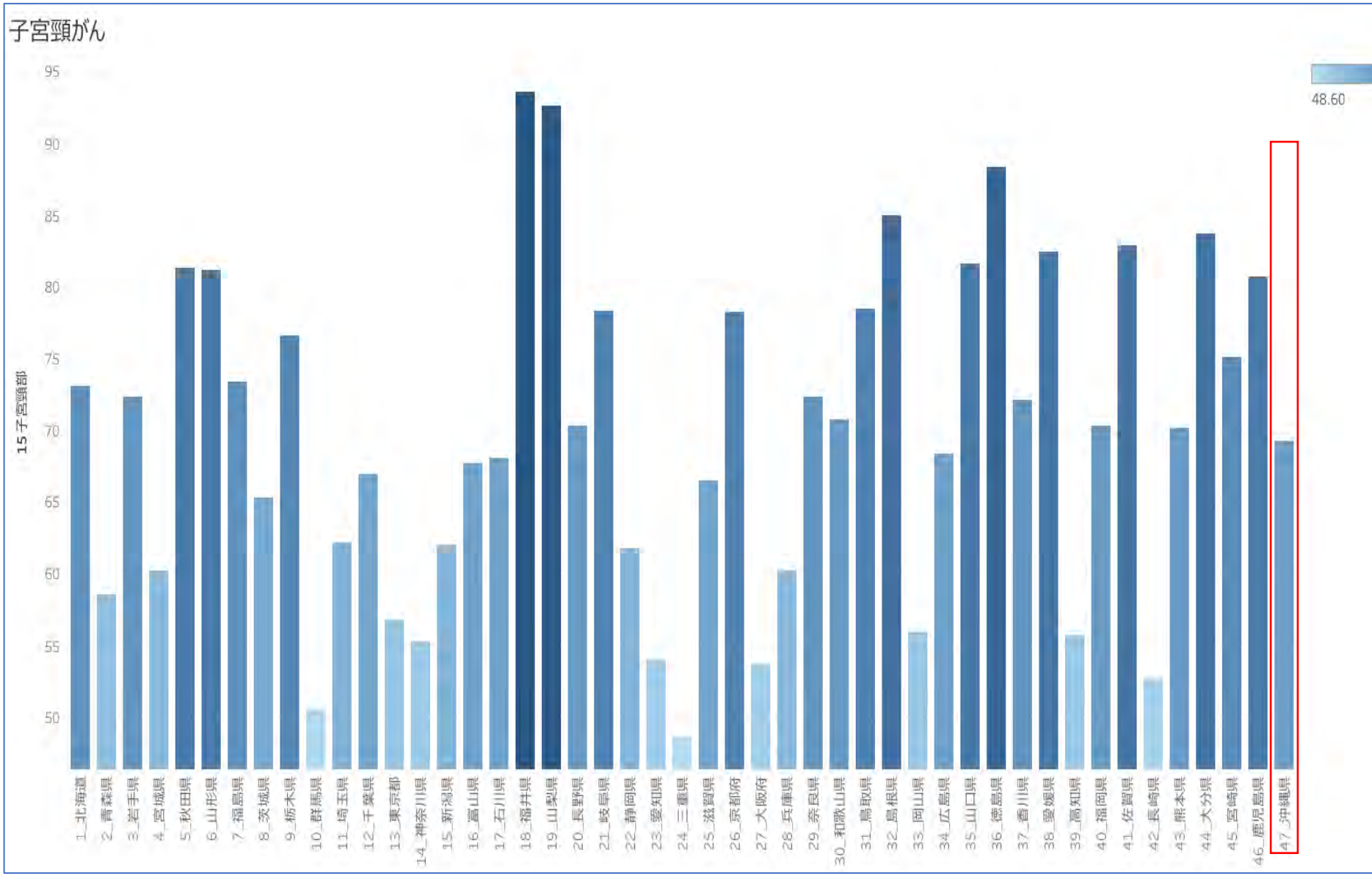
出典：2017年院内がん登録におけるがんの登録割合、表11　都道府県別罹患数（2017）に占めるがん診療連携拠点病院等の登録割合（上皮内がん含）：診断時住所、部位別（国立がん研究センターがん対策情報センター）

拠点病院カバー率推定値（肝がん）



出典：2017年院内がん登録におけるがんの登録割合、表11　都道府県別罹患数（2017）に占めるがん診療連携拠点病院等の登録割合（上皮内がん含）：診断時住所、部位別（国立がん研究センターがん対策情報センター）

拠点病院カバー率推定値（子宮頸がん）



出典：2017年院内がん登録におけるがんの登録割合、表11　都道府県別罹患数（2017）に占めるがん診療連携拠点病院等の登録割合（上皮内がん含）：診断時住所、部位別（国立がん研究センターがん対策情報センター）

所見例

- 部位別に見た沖縄県の拠点病院カバー率（推計）は、低い場合が多い
- 沖縄県の拠点病院カバー率は低いが、参加病院の拠点病院カバー率は高く、拠点病院以外の追加分が高いと見られ、これは、地域がん登録の拡大によってカバー率を高めてきた成果である。
- このような特性があるため、拠点病院以外の病院も含めて、地域の機能分化と連携など役割分担体制について、専門的医療機関の選定と公表と併せて、必要な対策を推進していくことが重要と考えられる。
- 特にカバー率が低い、乳がん、肺がんについての検討が必要ではないか。

参考

患者・住民向けの、施設選択参考情報の提供

患者向け施設情報の提供で時代を画した「みるん・しるん」



治療成績を公表（大腸がん1施設分の抜粋）

		2007年				2008年				2009年			
		対象者数	相対生存率	標準誤差	生死不明割合	対象者数	相対生存率	標準誤差	生死不明割合	対象者数	相対生存率	標準誤差	生死不明割合
地方独立行政法人　那覇市立病院	Ⅰ期	16	96.1	6.9	0	14	-	-	14.3	18	92	8.1	0
	Ⅱ期	29	82.4	9.4	0	14	-	-	14.3	14	86.9	13.1	0
	Ⅲ期	15	64.7	14.3	0	32	79.5	9.9	9.4	25	80.5	9.5	0
	Ⅳ期	25	8.6	5.9	0	14	0	0	7.1	12	18	11.8	0
	不明	2	51.1	39.3	0	6	85	16.2	0	11	67.3	15.7	9.1
	全体	87	62.5	6	0	80	67.1	6.5	10	80	76.3	5.8	1.3

手技の内訳も掲載（大腸がん）

施設名	大腸がんの開腹手術件数	大腸がんの腹腔鏡下手術	大腸がんの内視鏡手術	大腸がんの化学療法	大腸がんの放射線療法
琉球大学医学部附属病院	2	12	2		
那覇市立病院	28	12	26		可
沖縄県立中部病院	5	16	11	可	可
沖縄県立宮古病院	11	1	0	可	不可
沖縄県立八重山病院	2	0	0	可	不可

出典元:厚生労働省がん診療連携拠点病院「現況報告書」よりⅦ患者数・診療件数の状況

（平成27年4月1日～7月31日）．2015年10月提出

2017年01月31日集計

奈良県の患者向け病院探し情報提供



- 患者の視線に合った遷移画面
- 患者の関心に合った情報の一望性
- 比較可能なデータ表示
- 丁寧な解説とガイダンス
- 患者関係者へのヒアリング会によって大幅改訂して公開

治療成績（5年生存率）、治療内訳件数、専門医数などが一望に概況表示

	患者数・治療件数					5年生存率						専門医	専門とするがんの診療状況					
	新入院患者数（人）	手術件数			放射線治療（原発巣）（人）	5年実測生存率			5年相対生存率			消化器病専門医（人）	治療の実施			セカンドオピニオン		
		開腹手術（件）	腹腔鏡下手術（件）	内視鏡手術（件）		限局（早期がん）(%)	領域(%)	遠隔（進行がん）(%)	限局（早期がん）(%)	領域(%)	遠隔（進行がん）(%)		手術	放射線	薬物	手術	放射線	薬物
奈良県立医科大学附属病院	239	8	46	38	26	83.5	68.8	25	92.8	79.6	27.1	39.2	○	○	○	○	○	○
奈良県総合医療センター	210	53	70	83	16	92.3	66	-	98	72.7	-	5	○	○	○	○	○	○
天理よろづ相談所病院	243	16	97	63	9	87.5	77	17.3	97.8	85.7	18.8	7	○	○	○	x	○	○
近畿大学奈良病院	198	1	82	26	13	75.6	59.5	20	88.4	71.6	21.6	11	○	○	○	○	○	○
市立奈良病院	277	17	44	28	1	84.2	57.6	-	96.7	69.2	-	11	○	○	○	○	○	○
南奈良総合医療センター	83	※	※	※	※	-	-	-	-	-	-	7.1	○	△	○	○	△	○
国保中央病院	84	※	※	※	※	-	-	-	-	-	-	3.3	○	△	○	○	x	○
済生会中和病院	119	※	※	※	※	86.3	63.3	-	93.3	75.4	-	2	○	○	○	○	○	○
大和高田市立病院	104	※	※	※	※	84.3	74.5	-	94.8	84.6	-	3.1	○	○	○	○	○	○
対象期間、作成時点	2018年1月1日~12月31日（平成30年1月1日~12月31日）					2011年~2012年（平成23年~24年）						2019年9月1日時点（令和元年9月1日時点）						
出典	現況報告書					地域がん登録						現況報告書						
その他のデータ	治療件数などの詳しいデータ（直近）はコチラ（※出典：現況報告書） 生存率等のデータ（2011~2015年集計）はコチラ（※出典：地域がん登録）																	

詳細表示では、信頼区間なども表示される

進行度別	全体						限局(早期がん)					領域					遠隔(進行がん)				
	対象者数(人)	5年実測生存率(%)	5年相対生存率(%)	95％信頼区間	95％信頼区間	生死不明割合	対象者数(人)	5年実測生存率(%)	5年相対生存率(%)	95％信頼区間	95％信頼区間	対象者数(人)	5年実測生存率	5年相対生存率(%)	95％信頼区間	95％信頼区間	対象者数(人)	5年実測生存率	5年相対生存率(%)	95％信頼区間	95％信頼区間
8病院計	1,055	65	75.3	71.9	78.6	0.6	484	84.4	98	94.2	102	337	66.8	77.8	71.9	83.7	216	18.1	19.7	14.1	25.3
奈良県立医科大学附属病院	180	66.1	76.1	68.1	84.1	0	79	83.5	92.8	83.3	102	64	68.8	79.6	66.4	92.7	36	25	27.1	11.8	42.4
奈良県総合医療センター	128	65.6	75.6	66.1	85	0	52	92.3	98	89.3	107	47	66	72.7	57.4	87.9	28	-	-	-	-
天理よろづ相談所病院	219	67.7	77.2	70.1	84.3	0.9	104	87.5	97.8	90.4	105	63	77	85.7	73.7	97.7	52	17.3	18.8	7.6	30
近畿大学奈良病院	169	58.6	68.5	59.8	77.2	0	86	75.6	88.4	77.7	99.1	42	59.5	71.6	53.7	89.4	40	20	21.6	8.2	35
市立奈良病院	96	62.4	73.8	62.2	85.5	3.1	45	84.2	96.7	84	109	34	57.6	69.2	48.9	89.5	16	-	-	-	-
国保中央病院	32	50	66.6	43.4	89.9	0	15	-	-	-	-	10	-	-	-	-	7	-	-	-	-
済生会中和病院	109	66.7	77	66.7	87.4	0.9	52	86.3	93.3	82.4	104	30	63.3	75.4	54.9	95.9	19	-	-	-	-
大和高田市立病院	122	71.3	81.1	71.9	90.2	0	51	84.3	94.8	83.4	106	47	74.5	84.6	70.4	98.7	18	-	-	-	-
対象期間	2011年~2012年 (平成23年~24年)																				
出典	地域がん登録																				

参考

地域主導のがん対策PDCAサイクル管理の事例

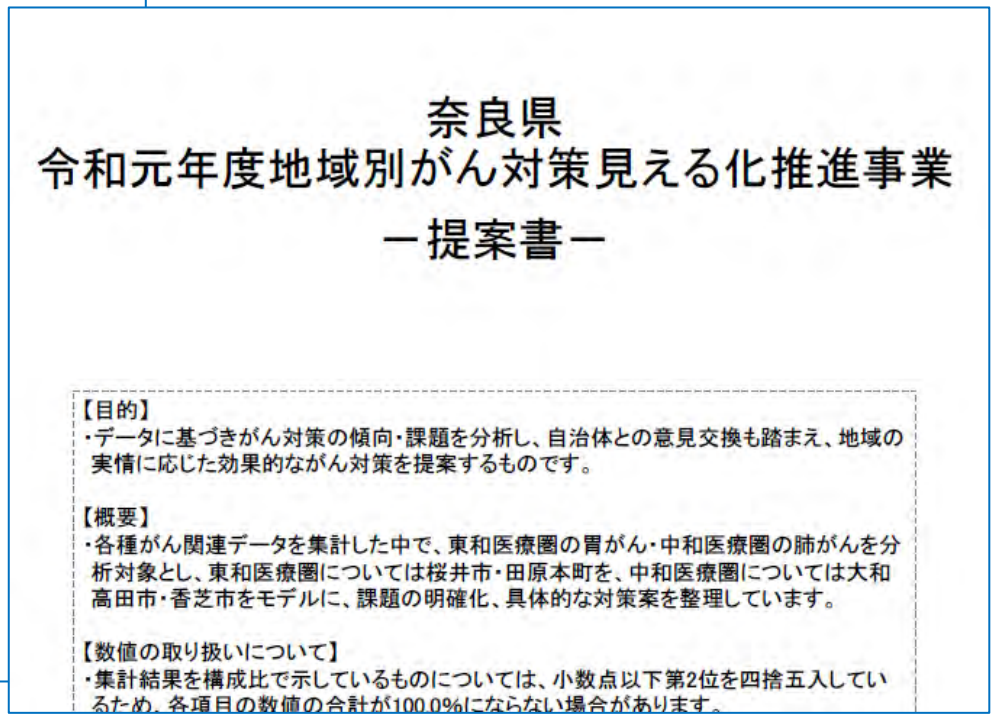
奈良県

地域別がん対策見える化推進事業

報告書

2020 年 3 月

ロジックモデルとデータを元に、地域の多様な立場が議論し、がん対策を振り返った上で、これから強化すべきことを自ら提案。地域主導のがん対策PDCAサイクルマネジメントの新しいかたち。



奈良県
令和元年度地域別がん対策見える化推進事業
－提案書－

【目的】
・データに基づきがん対策の傾向・課題を分析し、自治体との意見交換も踏まえ、地域の実情に応じた効果的ながん対策を提案するものです。

【概要】
・各種がん関連データを集計した中で、東和医療圏の胃がん・中和医療圏の肺がんを分析対象とし、東和医療圏については桜井市・田原本町を、中和医療圏については大和高田市・香芝市をモデルに、課題の明確化、具体的な対策案を整理しています。

【数値の取り扱いについて】
・集計結果を構成比で示しているものについては、小数点以下第2位を四捨五入しているため、各項目の数値の合計が100.0%にならない場合があります。

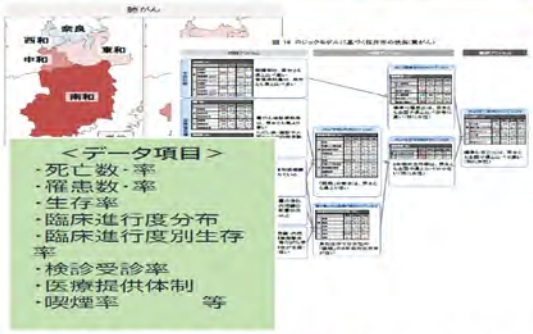
令和元年度　地域別がん対策見える化推進事業（概要）

◆目的

・各医療圏ごとに、各種がん関連データ（がん罹患率、死亡率、がん検診受診率、喫煙率、塩分摂取量等）を集計・分析し、地域の課題を明らかにするとともに、市町村に対し、効果的ながん対策の取組を提案する
・平成３０年度の南和医療圏に続き、令和元年度は東和医療圏、中和医療圏で実施

◆分析から提案までの流れ

医療圏別のデータを集計・分析
ロジックモデルを活用して課題整理
＋
モデル市町村において
データをもとに地域関係者と意見交換
→
効果的ながん対策
優先的に取り組む対策を提案







◆令和元年度明らかとなったこと（例）

医療圏	モデル市町村	医療圏ごとの最優先課題	要因となるデータの課題	課題についての地域の声	県からの効果的ながん対策の提案例
東和医療圏	桜井市 田原本町	胃がんの死亡・罹患が男女とも高い 標準化死亡比：男性116.5　女性116.0 標準化罹患比：男性120.0　女性123.6	＜早期発見＞ ・男性ではがんが進行してから発見されている割合が高い ・「病気で医師にかかっているから」とがん検診を受診しない割合が高い	・かかりつけ医に検査してもらっているから、がん検診もしてもらっていると思っていた	・医療機関と連携してがん検診の受診勧奨を行う ・ターゲットを絞った受診勧奨を行う
			＜生活習慣＞ ・高血圧症関連服薬者の割合が高い（国保被保険者）	・食生活や健康づくり等に関する地域ボランティア活動が根付いている	・地域ボランティアを活用し、食生活や健康づくり等に関する具体的な啓発活動を強化
中和医療圏	大和高田市 香芝市	肺がんの死亡・罹患が男女とも高い 標準化死亡比：男性112.5　女性107.7 標準化罹患比：男性110.0　女性105.1	＜早期発見＞ ・肺がん検診受診率が低い ・がんが進行してから発見されている割合が高い	・がん検診の申込みが面倒	・医療機関と連携してがん検診の受診勧奨を行う ・がん検診の受診勧奨を重点的に行うターゲットや検診体制を見直す
			＜生活習慣＞ ・喫煙率が男女とも高い	・頭ごなしに禁煙をすすめてもやめられないと思う	・禁煙外来を受診した人へのフォローアップ

◆令和２年度の予定

令和２年度は奈良・西和医療圏のがん対策を「見える化」し、効果的ながん対策の取組の提案を行う

出典：奈良県地域別がん対策見える化推進事業報告書概要

3.がん対策の課題と対策の方向性① 桜井市（胃がん）

初期アウトカム	中間アウトカム	最終アウトカム

がん予防対策が適切になされているか
（喫煙率）男性26.5% 女性6.0%
（食塩摂取量）男性12.7g/日 女性12.0g/日
喫煙率は男女とも県より高い（特に男性）
食塩摂取量は県よりも多い

早期発見の機会が提供されているか
（検診受診率）
男性7.8% 女性10.0%
胃がん検診受診率は男女とも県より高い

地域内での受療が可能か
（診断医療機関所在地）
東和73.9% 中和15.9%
約74%が東和医療圏で診断されている

医療資源が充実しているか
（消化器外科専門医） 8.6人/人口10万人
東和医療圏の消化器外科や内視鏡の専門医の配置状況は県平均以上であり充足している

適切な治療が提供されているか
化学・免疫・内分泌療法実施割合
男性17.8% 女性19.8%
外科・体腔鏡・内視鏡的治療実施割合は県と同程度だが、化学療法の割合が全国・県と比べ低い

早期発見されているか
（臨床進行度分布）
男性：限局55.5% 遠隔転移17.8%
女性：限局58.6% 遠隔転移11.7%

男性は、胃がん診断時に早期がんである割合は県より低く、遠隔転移となっている割合は県より高いため、早期発見できていない可能性がある

質の高いがん医療が提供されているか
（臨床進行度別5年相対生存率）
男性限局94.1% 女性限局91.3%

東和医療圏は「限局」の5年相対生存率が男女とも全国より低い

罹患率が抑えられているか
（標準化罹患比）
男性117.0 女性124.6

標準化罹患比が全国や県と比べて高い（特に女性）

生存率が維持されているか
（5年相対生存率）
男性60.2% 女性52.9%

5年相対生存率は、男女とも県より低い（特に女性）

死亡率が抑えられているか
（標準化死亡比）
男性109.9 女性114.0

標準化死亡比が全国や県と比べて高い

年齢階級別の傾向等

- 年齢階級別の喫煙率を見ると、男性では20～70歳代の値が県よりも高く、特に50歳代は県全体よりも10ポイントも高い。また、女性でも20～50歳代の値が県全体より高い。
- 国保被保険者における高血圧症関連服薬者の割合は、県全体よりも高い。年齢階級別に見ると、どの年代でも県より3ポイント以上高くなっている。
- 男性の胃がん罹患者は60歳代前半から増加し、70歳代前半にも大きく増加している。
- がん種を限定しない年齢階級別の検診受診率をみると、男女とも県全体よりも受診率が低く、特に男性60歳代、女性50歳代の値が低い。
- 国保被保険者のがん検診受診率も男女ともに県より低い。

出典：奈良県令和元年度地域別がん対策見える化推進事業　提案書

3.がん対策の課題と対策の方向性① 桜井市（胃がん）

地域からの意見

たばこ・生活習慣対策

- 特定保健指導対象者に対して禁煙指導や禁煙外来の紹介、減塩指導を実施している。また、総合健診受診者に対しても減塩メニューの配布等をしている。ただし、特定健診の受診率自体が低い。
- がん検診の啓発については商工会と連携した取組が実施できているが、たばこ対策については現在実施していない。
- 食生活に特化した「食生活改善推進員」と、駅前の「健康ステーション」の運営等に協力してもらうサポーターはいるが、がん対策に関する具体的な取組はまだなされていない。

早期発見対策

- 桜井市民は「重症化してからでないと受診しない傾向がある」という声がある。
- 未受診理由は、「病気で医師にかかっているから」（22.7%）、「面倒だから」（18.0%）の割合が高い。

対策の方向性

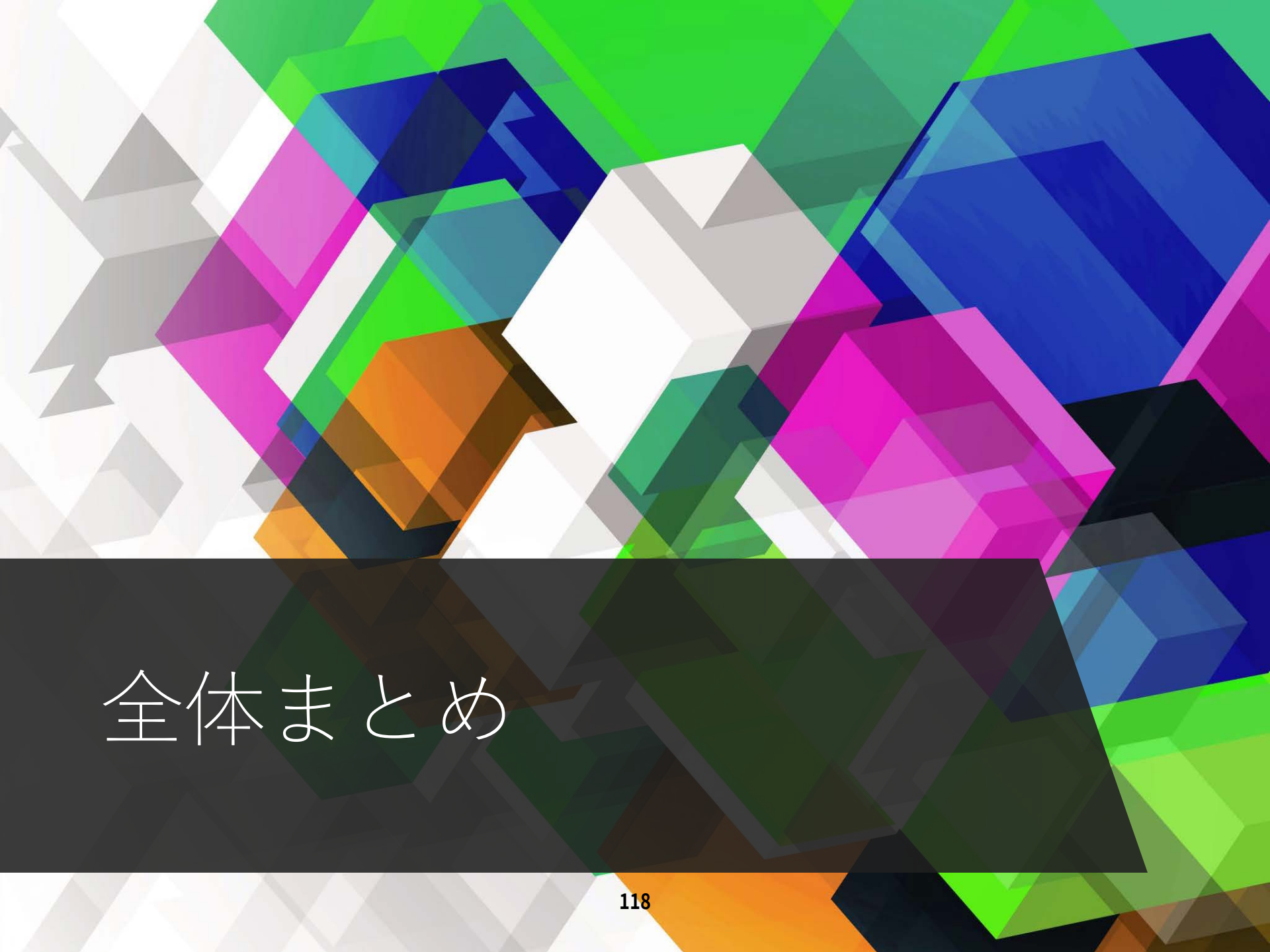
たばこ・生活習慣対策

- 青年期・壮年期の喫煙率や高血圧症関連服薬者の割合が高いことから、生活習慣改善の取組に関し、現役世代へのアプローチを強化する（特に男性の50歳代を重点ターゲットとする）。
- 国保部門と保健衛生部門との連携、市と商工会等市内の事業者や関連団体との連携により、現役世代の市民（国保被保険者に限らない）に対して禁煙外来紹介や禁煙指導・減塩指導等を行う機会を拡大する。
- また、女性の標準化死亡比・標準化罹患比が高いことから、女性に特化したたばこ・生活習慣対策（受動喫煙対策を含む）を強化する。
- 「食生活改善推進員」など住民ボランティアとのがん対策における連携を進める。

早期発見対策

- がんの早期発見に向けて、県全体の値と比べて特に検診受診率が低く、罹患者数も増加する層である男性の60歳代・女性の50歳代を重点ターゲットとして定め、がん検診の受診勧奨を積極的に行う。
- 重点ターゲット（特に複数年未受診である者を抽出）に対し、コール・リコールを行う。
- 未受診理由として「病気で医師にかかっているから」が多いことから、地区医師会を通じて、地域の医師に対して市の胃がん対策に関する現状・課題を説明し、患者（特に重点ターゲット）に対してがん検診の受診を推奨して頂くよう依頼する。
- 市広報における検診の案内にて、胃がん特集として、標準化死亡比・標準化罹患比、喫煙率、検診受診率等を掲載する。
- がん・高血圧のリスク要因である食塩の過剰摂取に対して、住民組織を活用した、食環境整備の働きかけを行う。

出典：奈良県令和元年度地域別がん対策見える化推進事業　提案書


全体まとめ

全体まとめ

- 沖縄県がん対策推進計画および沖縄県がん診療連携協議会（および部会）の過去の提言や運営方針等と照らし合わせながら、データや情報を収集、定点観測し、がん対策の改善にさらに活用していくことが重要ではないか。
- 沖縄県がん診療連携協議会において、がん対策の進捗管理および評価に力点の比重を移し、毎回アジェンダに入れ、データや資料に基づいて意見交換・検討することが、役割ではないか。

資料７-１

２０２０年７月７日

琉球大学病院がんセンター　増田昌人

琉球大学病院における「がんゲノム医療外来」開設について

１　開設期日

２０２０年７月１日（水）

但し、混乱を避ける意味で、県内の医療機関からの紹介を徐々に受け付けることとする（令和２年度第１回沖縄県がん診療連携協議会で審議済み)。

予定としては、

７月１日～　地域がん診療連携拠点病院；県立中部病院、那覇市立病院の２施設

８月１日～　地域がん診療病院；北部地区医師会病院、宮古病院、八重山病院の３施設

１１月１日～　県内すべての医療機関

＊第７次沖縄県医療計画に基づき沖縄県が選定した「がんに関する専門医療機関（仮称)」が１１月以前に発表されたときは、これらの医療機関からの受け入れを前倒しして行う

２　開設場所

琉球大学病院内科外来

３　担当者

琉球大学病院がんセンター　増田昌人（がん薬物療法専門医・指導医）

４　対象

県内の医療機関から、純粋に「がん遺伝子パネル検査」のみを目的として紹介された患者

＊従来の精査、診断、治療目的のがん患者の紹介は対象外（これまで通り、琉球大学病院の各診療科で対応）

５　補足

（１）様々な意味での混乱を避けるために、各医療機関の長により選定された「がんゲノム医療代表医師（仮称)」から、琉球大学病院に紹介していただく（令和２年度第１回沖縄県がん診療連携協議会で審議済み)。既に、「がんゲノム医療代表医師（仮称)」は地域がん診療連携拠点病院と地域がん診療病院では選定済み。また、その他の医療機関にも、同様の体制と仕組みをお願いする予定。

（２）昨年から開設していた「がんゲノム相談外来」は、本年６月３０日をもって終了。同外来で行っていた主治医からの相談（電話も含む)、がん患者の相談、がん患者家族からの相談業務は、一部をセカンドオピニオンに振り分けるほか、大部分はがんセンターが開設当初から行ってきた、がん医療にかかわるすべてのよろず相談の一つとして継続する。

資料７-２

2020 年 7 月 8 日

琉球大学病院「がんゲノム医療外来」への紹介方法について（Ver. 2.0）

１　「がんゲノム医療外来」の開始日

２０２０年７月１日（水）

２　開設場所

琉球大学病院内科外来（外来棟２階）

３　担当医

琉球大学病院がんセンター　増田昌人（がん薬物療法専門医・指導医）

４　対象患者

「がん遺伝子パネル検査」のみを目的として紹介された患者

具体的には、資料１の患者チェックリストをすべて満たしている患者

＊従来の精査、診断、治療目的のがん患者の紹介は対象外

５　外来の内容

（１）１回目の外来は、「がん遺伝子パネル検査」に関する説明と同意を行う。原則として水曜日の午後に、完全予約制で行う。その際には、患者さん（必須）とそのご家族（または信頼できるご友人等）2 名程度、合計 3～5 名程度に同席していただく。おおよそ１時間を想定している。

（２）２回目の外来は、琉球大学病院遺伝カウンセリング外来（毎週金曜日）にて、プレ遺伝カウンセリングを受けていただく。その際には、患者さん（必須）とそのご家族（または信頼できるご友人等）2 名程度、合計 3～5 名程度に同席していただく。おおよそ 30 分を想定している。

（３）３回目の外来は、初診から約 2 か月後に、「がん遺伝子パネル検査」の結果の説明を行う。原則として水曜日の午後に、完全予約制で行う。その際には、患者さん（必須）とそのご家族（または信頼できるご友人等）2 名程度、合計 3～5 名程度に同席していただく。おおよそ１時間を想定している。

６　紹介の具体的な手続き

通常の紹介患者と同様に、各医療機関の医療連携室等から、琉球大学病院医療福祉支援センターを通じて予約を取っていただく（資料２）

７　紹介時に準備していただくもの

資料３を参照

資料7-3

資料1

琉球大学病院「がんゲノム医療外来」紹介のための
事前チェックリスト（Ver. 2.0）

以下のいずれかを満たしている

□ 標準治療がない固形がん患者（希少がん、原発不明がんなど）

□ 局所進行若しくは転移が認められ、標準治療が終了となった固形がん患者

□ 局所進行若しくは転移が認められ、標準治療の終了が見込まれる固形がん患者

□ 関連学会の化学療法に関するガイドライン等に基づき、全身状態及び臓器機能等から、本検査施行後に化学療法の適応となる可能性が高いと主治医が判断している

□ 他院を含め、過去に「がん遺伝子パネル検査」を受けたことがない

□ 検査機関に提出できる既存の腫瘍組織検体がある。または、再生検することができる。

□ 経口摂取が可能である

□ Eastern Cooperative Oncology Group(ECOG)が定めている Performance Status(PS)が0～2 である

□ 生命予後が 3 か月以上あると推定される

□ 「がん遺伝子パネル検査」実施 2 か月後に、造血能や臓器機能が維持され、がん薬物療法が可能である

□ 治療を行う医療機関への外来通院が可能である

＊注　治療する場合は、本土の医療機関となる可能性が高いと思われます

□ 患者の死亡等の理由で医療費の請求ができなくなった場合、検査料金に関しては、琉球大学病院から自院へ請求があることを了解している

チェックした日　＿＿＿＿年＿＿＿＿月＿＿＿＿日

チェックした医師名　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿（自署）

資料7-4　資料2

申込日　　平成　　年　　月　　日

琉球大学医学部附属病院

医療福祉支援センター　シエント　　送信先（ＦＡＸ）　０９８－８９５－１４９８

紹介患者・予約　申込書（FAX 送信票）

以下の項目についてご記入の上、診療情報提供書と併せて送信して下さい。

紹介元	医療機関名	診療科
	担当医師	ＴＥＬ
	申込担当者名	ＦＡＸ

診療依頼	診療科（専門外来）	診療科［　　科（専門外来　　科）］
	担当医師	□指定なし　□医師指定（　　医師）
	受診希望日	□１週間以内 □１週間以降でも可〔特に希望のある日:　　月　　日　〕 ※外来表を参照して下さい。 ※医師や受診希望日については、ご希望に添えない場合がございます。
	紹介目的 疾患名 （必ずご記入ください）	

紹　介　患　者　基　本　デ　ー　タ

（保険証又はカルテのコピーを FAX していただける場合は、※印のみ記入して下さい。）

フリガナ		性別	被保険者氏名	続柄
患者氏名		男・女		
生年月日	明・大・昭・平　　年　　月　　日生　（　　歳）			
住所 電話番号	〒 TEL　（　　－　　－　　）			

保険情報	保険者番号		公費負担者番号	
	記号		公費負担医療の受給者番号	
	番号		公費負担者番号	
	開始日	昭・平　年　月　日	公費負担医療の受給者番号	
	終了日	平成　年　月　日		
	国民保険の場合の個人負担割合	割	老人保険の場合の個人負担割合	割

※　当院受診歴	□なし　□不明　□あり（診察券番号　　－　　－　　）

■ＦＡＸ受付時間　平日９：００～１５：００（土日・祝日・年末年始は除く）

□専用ＦＡＸ　**０９８－８９５－１４９８**

□専用ＴＥＬ　０９８－８９５－１３７１

琉球大学医学部附属病院　医療福祉支援センター　シエント

資料７-５

資料３

初診時に紹介元医療機関で用意していただくもの（Ver. 2.0）

１　事前チェックリスト（別紙資料１）

２　診療情報提供書（紹介元医療機関の書式で結構です）

３　資料（実施された画像検査や血液検査など）

４　診断に用いた病理標本（後日お返しします）

５　病理診断書のコピー

６　剥離防止スライドグラス未染 5μm　25 枚

７　エキスパートパネル開催前　臨床情報（別紙資料 4）

８　エキスパートパネル開催前　薬物療法詳細一覧と有害事象一覧（別紙資料 5）

資料 7 - 6

資料 4

エキスパートパネル開催前　臨床情報　（Ver.2.0）

1．エキスパートパネル(EP)の開催時に、以下の形式の臨床情報が必要となります。
　正確な記載をお願いします。
2．特に血縁者におけるがん発生の状況は確実に問診を行い、正確な記述をお願いします。
3．家族歴については、4 枚目以降も、この書式をコピーしてお使いください。

項目	内容
病理診断名	
診断日	(西暦) 2000/01/01
喫煙歴	□ 有　□ 無　□ 不明 喫煙年数　　年 1 日の本数　　本
アルコール多飲歴	□ 有　□ 無　□ 不明
ECOG PS	□ 0 □ 1 □ 2 □ 3 □ 4 □不明
重複がん	□ 有 (部位：　　, 活動性： □ 有　□ 無　□ 不明) □ 無 □ 不明
多発がん	□ 有 (活動性： □ 有　□ 無　□ 不明) □ 無 □ 不明
登録時転移	□ 有　(部位：転移①　転移②　転移③　転移④　転移⑤) □ 無 □ 不明
肺がん症例	EGFR　：□陰性□陽性□判定不能□不明または未検査
	EGFR-type:その他
	EGFR-検査方法:EGFR検査方法
	EGFR-TKI 耐性後 EGFR-T790M：□有　□無
	ALK 融合：□陰性□陽性□判定不能□不明または未検査
	ALK 検査方法：ALK検査方法
	ROS-1: □陰性□陽性□判定不能□不明または未検査
	BRAF(V600)：□陰性□陽性□判定不能□不明または未検査
	PD-L1(IHC)：IHC
	PD-L1(IHC)陽性率：　　%
	アスベスト暴露歴：□有　□無

乳がん症例	HER2(IHC)：IHC
	HER2(FISH)：FISH
	ER：□陰性□陽性□判定不能□不明または未検査
	PgR：□陰性□陽性□判定不能□不明または未検査
	gBRCA1：□陰性□陽性□判定不能□不明または未検査
	gBRCA2：□陰性□陽性□判定不能□不明または未検査
食道がん、胃がん、小腸がん、大腸がん症例	KRAS 変異：□陰性□陽性□判定不能□不明または未検査
	KRAS-type：Type
	KRAS 検査方法：□PCR-rSSO 法、□その他、□不明
	NRAS 変異：□陰性□陽性□判定不能□不明または未検査
	NRAS-type：Type
	NRAS 検査方法：□ PCR-rSSO 法□その他□不明
	HER2(IHC)：IHC強度
	EGFR(IHC)：IHC強度
	BRAF(V600)：□陰性□陽性□判定不能□不明または未検査
肝がん症例	HBsAg：□陰性□陽性□判定不能□不明または未検査
	HBs 抗体：□陰性□陽性□判定不能□不明または未検査
	HBV-DNA(コピー数　　)
	HCV 抗体：□陰性□陽性□判定不能□不明または未検査
	HCV-RNA（コピー数　　）
皮膚がん症例	BRAF(V600)：□陰性□陽性□判定不能□不明または未検査

家族歴（血縁者におけるがんの発生について）

□ 有　□ 無　□ 不明

家族歴詳細①：

続柄　続柄①

がん種　がん種①

その他の場合:

罹患年齢　罹患年齢①

家族歴詳細②：

続柄　続柄②

がん種　がん種②

その他の場合:

罹患年齢　罹患年齢②

家族歴詳細③：

続柄　続柄③

がん種　がん種③

その他の場合:

罹患年齢　罹患年齢③

家族歴詳細④：

続柄　続柄④

がん種　がん種④

その他の場合:

罹患年齢　罹患年齢④

家族歴詳細⑤：

続柄　続柄⑤

がん種　がん種⑤

その他の場合:

罹患年齢　罹患年齢⑤

家族歴詳細⑥：

続柄　続柄⑥

がん種　がん種⑥

その他の場合:

罹患年齢　罹患年齢⑥

家族歴詳細⑦：

続柄　続柄⑦

がん種　がん種⑦

その他の場合:

罹患年齢　罹患年齢⑦

家族歴詳細⑧：

続柄　続柄⑧

がん種　がん種⑧

その他の場合:

罹患年齢　罹患年齢⑧

資料7-7　資料5

エキスパートパネル開催前　薬物療法詳細一覧と有害事象一覧　（Ver.2.0）（　／　）

1．エキスパートパネル(EP)の開催時に薬物療法の情報が必要となります。
　これまでに投与したレジメンすべてについて、正確な記載をお願いします。
2．右上に○／△（総枚数）の形式で記入してください。
3．2 枚目以降も、この書式をコピーしてお使いください。

項目	内容
薬物療法 （EP 前）	治療ライン：ライン
	治療目的：目的
	実施施設：□自施設□他施設
	レジメン名：
	薬剤名：
	投与時の薬剤承認状況：□適応内□適応外□未承認（治験）
	レジメン内容変更情報: □有□無
	投与開始日：2000/01/01
	投与終了日：2000/01/01　　または □継続中
	終了理由：理由
	最良総合効果：□CR□PR□SD□PD□NE
有害事象（EP 前）	Grade3 以上有害事象の有無（非血液毒性）：□有□無
	有害事象①　CTCAEv5.0 名称　日本語：
	有害事象①　CTCAEv5.0 最悪　Grade：□3□4
	有害事象①　発現日 2000/01/01
	有害事象②　CTCAEv5.0 名称　日本語：
	有害事象②　CTCAEv5.0 最悪　Grade：□3□4
	有害事象②　発現日 2000/01/01
	有害事象③　CTCAEv5.0 名称　日本語：
	有害事象③　CTCAEv5.0 最悪　Grade：□3□4
	有害事象③　発現日 2000/01/01

資料８

沖縄県がん診療連携協議会　小児・AYA部会
がん患者さんがお子様をもつことを応援する医療
～妊孕性温存療法とがん治療後の生殖医療～WG
議事次第

日時　：　令和2年　7月15日（水）午後4時～5時

場所　：　WEB開催

	資料
≪報告事項≫	
1. 第1回　WG　議事要旨（6月10日）	資料1
2. 令和2年度第1回　小児・AYA部会　議事要旨　（6月18日）	資料2
3. その他	
≪協議事項≫	
1. 拠点病院および診療病院において、対象患者すべてに、生殖機能の温存に関する説明を共用文書を用いて行うにはどうしたらよいか	資料3-1 資料3-2 資料3-3
2. がんに関わる全ての医師に対する院内研修会の開催について	資料4
3. 琉大病院の『妊孕性温存療法についての専門外来』へ積極的に紹介するにはどうしたらよいか	資料5
4. 症例検討会について	資料なし
5. 「妊孕性温存療法」に対する医療補助について	資料なし
6. 次回WG開催日程について 8月12日（水）または8月26日（水）　時間は午後4時から5時予定	資料なし
7. その他	

資料１

令和２年度　第１回がん患者さんがお子様をもつことを応援する医療「妊孕性温存療法」と「がん治療後の生殖医療」ＷＧ
議事要旨

日　　時：令和２年６月 10 日（水）　16：00～17：00
場　　所：「Ｚｏｏｍ」を用いたＷＥＢ会議

出 席 者：７名
野里栄治(北部地区医師会病院　医局長・外科外来医長)、大畑尚子(県立中部病院　産婦人科副部長)、池宮城梢(那覇市立病院　産婦人科部長)、中上弘茂(県立八重山病院　産婦人科部長)、石川裕子(県立宮古病院　産婦人科医長)、銘苅桂子(琉大病院　周産母子センター教授)、増田昌人（琉大病院がんセンター長）

陪 席 者：１名
石川千穂(がんセンター事務)

＊冒頭　銘苅委員より「妊孕性温存療法」について説明があった

【報告事項】
１．担当医 WG　名簿
各病院担当医よりそれぞれ自己紹介が行われた。

２．「令和２年度第１回沖縄県がん診療連携協議会」の報告
増田委員より、「令和２年度第１回沖縄県がん診療連携協議会」での決議事項が報告された。

【協議事項】
１．拠点病院および診療病院において、対象患者すべてに、生殖機能の温存に関する説明を共用文書を用いて行うにはどうしたらよいか。
銘苅委員より資料 3-1 に基づき、「がん患者さんのための妊孕性温存療法に関する説明書」について説明があり、各病院でも共用文書をカルテに取り込んでもらうことは可能かの確認があり、承認された。周知については医局会や院内メールで行われる事となった。
各病院から琉大への紹介は、がん治療医から担当医へ相談・担当医から琉大生殖グループに紹介することとなった。
〇北部地区医師会病院　産婦人科医がいない等の事情から、野里委員を介すことなく状況を把握している治療担当医から直接琉大へ連絡
〇中部病院　血液に関しては直接琉大へ、それ以外のがんは大畑先生を介して琉大へ連絡
〇那覇市立・宮古病院・八重山病院　それぞれの病院の担当医から琉大へ連絡
〇連絡先は琉大生殖グループメンバーへ

＊上記のように決議したが、後日下記のように銘苅委員よりメールにて各委員へ変更提案

があった。

●紹介状に加えて、当科がほしい情報について簡単な「情報提供書」の書式を銘苅委員の方で作成するので、そちらの書式も同時に各病院の電子カルテに入れてもらい、癌治療医が「妊孕性温存療法説明書」と「情報提供書」を同時に使用できるようにご対応して頂く。

●担当医を通じての紹介ではなく、これまで通りシエントを通して、「がんと生殖医療外来」へ予約を入れてもらうことで紹介とする。

●各病院担当医から電話連絡は必要なし。必要時は当科から癌治療医へ電話連絡。

２．がんに関わる全ての医師に対する院内研修会の開催について

銘苅委員が各病院へ赴き、７月～９月に開催する。その為の日程調整をがんセンターの方で行うこととなった。

３.琉大病院の『妊孕性温存療法についての専門外来』へ積極的に紹介するにはどうしたらよいか。

資料 5-2 に基づき、琉大病院ホームページと、うちなーがんねっと「がんじゅう」に『妊孕性温存療法についての専門外来』について掲載があること、産婦人科の外来について説明があった。

４．症例検討会について

少し先になるが症例検討 WEB 開催も含めて検討することとなった。

５．「妊孕性温存療法」に対する医療補助について

次回、協議されることとなった。

６．次回 WG 開催日程について

令和２年７月１５日(水)　１６時から１７時開催と決定した。

資料２

令和２年度　第１回沖縄県がん診療連携協議会　小児・AYA 部会　議事要旨

日　　時：令和２年６月 18 日（木）　16：00～17：00
場　　所：ＷＥＢ会議
構 成 員：16 名

出 席 者：11 名
百名伸之(琉大病院小児科)、銘苅桂子(琉大病院産婦人科)、森島聡子(琉大病院第二内科)、島袋優子(琉大病院看護部)、太田守克・(代理　宮城班長　沖縄県教育庁健体育課)、當銘保則(琉大病院整形外科)、佐久川夏実(南部医療センター・こども医療センターＣＬＳ)、大城一郁(南部医療センター・こども医療センター血液・腫瘍内科)、金城敦子(がんの子どもを守る会　沖縄支部)、友利敏博(森川特別支援学校)、増田昌人（琉大病院がんセンター）

欠　　席：５名
朝倉義崇(中部病院血液・腫瘍内科)、比嘉猛(南部医療センター・こども医療センター小児科)、伊良波史朗(南部医療センター・こども医療センター放射線科)、仲里可奈理（沖縄県保健医療部健康長寿課）、浜田聡(琉大病院小児科)、

陪 席 者：２名
石川　千穂(がんセンター事務)
浦崎　美由貴(がんセンター事務)

【報告事項】
１．小児・ＡＹＡ部会　委員一覧
百名委員より、資料１に基づき委員の説明があった。

２．令和元年第４回小児・ＡＹＡ部会　議事要旨（３月２６日）
百名委員より、資料２に基づき、説明があった。

【協議事項】
１.部会委員の追加について
百名委員より、資料１に基づき、小児病棟看護師長の島袋委員が新委員として就任について説明され、承認された。

２がん患者さんがお子様をもつことを応援する医療
「妊孕性温存療法」と「がん治療後の生殖医療」について

（１）協議会の報告
増田委員より、資料３に基づき、「令和２年度第１回沖縄県がん診療連携協議会」での決議事項が報告された。

（２）各拠点病院窓口担当医の選任状況について

増田委員より、資料４に基づき、各拠点病院窓口担当医の選任状況の説明があった。

（３）担当医による会議について

銘苅委員より、資料５に基づき担当医による会議で話し合われた内容が報告された。

（４）沖縄県内の各医療機関での出張研修会について

銘苅委員より、拠点病院において、医師やメディカルスタッフ向けの妊孕性温存療法研修会が７月から９月に行われる旨、説明があった。またそれとは別に、血液内科、乳がん、脳外科などの研究会等を対象として妊孕性温存療法研修会を銘苅委員の方で行う案が出され、承認された。研修会について次回も引き続き協議されることとなった。

（５）今年度の院内医療者向け研修会の企画について

次回、協議されることとなった。

（６）沖縄県共通の妊孕性温存の説明文について

銘苅委員より、各拠点病院の妊孕性温存療法担当医による会議の中で、妊孕性温存療法の周知に関して、下記のように協議・決定された旨説明があった。

〇それぞれの病院の電子カルテに県内共通の説明文書をいれて頂き、すべての男性患者および０～５０歳の女性へ妊孕性温存療法についての説明がされること

〇共通紹介文を同じく電子カルテに入れて頂き、がん治療担当医から、琉大への紹介が積極的に、スムーズ行える環境を整えていくようになった

〇紹介後も、フィードバックとして症例検討会も開催される

３.ＡＹＡがんの集約化について

増田委員より、資料８に基づき、院内がん登録集計書(小児・ＡＹＡ世代のがん登録数とその推移)について説明があった。

また、増田委員より、進学や就職、結婚等、社会生活の観点からの集約化について意見が求められた。百名委員より、がん種も様々なので年齢によっての集約化は難しいだろうとの意見があった。次回、引き続き協議される。

４．病院・支援学校・在籍校との連携について

百名委員より、資料 9 に基づき、小児・ＡＹＡ世代のがん患者さんの学校生活の中での問題点・今後の課題が説明された。友利委員より、特別支援教育コーディネーター(施設によっては教育相談係)の存在が紹介された。コーディネーターは相談の内容によって、ピアサポーターや福祉サービス等、支援に関係する担当者へつなぐことができるので、相談がある場合、コーディネーターへ支援をお願いする流れが適当ではないかと提案があった。まずは学校の方へ声掛

け・情報共有し、支援の必要性を仰って頂き、そこから森川とも連携して頂ければ、との意見があった。百名委員から、システムはあるようなので連携していくことが課題。情報をきちんと患者さんへ伝え活用できればとの発言があった。増田委員より、外来の際や入院時に、復学後もサポートできるシステムがあることを紹介できるパンフレットなどはあるのか確認があり、琉大でも南部医療センター・こどもセンターでも無いので、支援案内の為のパンフレットを作成することが決議した。

８．今後の開催日程について

次回以降開催は下記のようになった

第２回：９月１７日(第３木曜)

第３回：１２月１７日(第３木曜)

第４回：令和３年３月１１日(第２木曜)

時間：全日程、午後４時から５時開催

場所：琉大病院がんセンター（新型コロナウイルスの状況によってはＷＥＢ開催）

資料3-2

「妊孕性温存療法」県内共通文書及びカウンセリングシート　電子カルテ掲載及び周知状況等について

	電子カルテ		院内周知		医局会への報告		院内メール		その他・備考
	共通文書	カウンセリングシート	共通文書	カウンセリングシート	共通文書	カウンセリングシート	共通文書	カウンセリングシート	
北部地区医師会病院									
県立中部病院									
那覇市立病院									
県立宮古病院									
県立八重山病院									
琉球大学病院									

がん患者さんのための妊孕性温存療法に関する説明書

～がん克服後に子供をもつことを考える～

医療の進歩によって、がんを克服できることが多くなってきました。この説明書では、がんを乗り越えて後に子供をもてるようにするにはどのような方法があるのか、がん治療前に知っておきたいことについて説明します。



1. 妊孕性とは

「妊孕性」とは、”妊娠のしやすさ“を指します。男女とも、加齢よって妊娠しにくくなります。これを妊孕性が低下する、といいます。男性は緩やかに低下しますが、女性は35歳ころから急激に低下します。

2. がん治療による妊孕性への影響

がん治療には、手術、抗がん剤治療（化学療法）、放射線治療、造血幹細胞移植などがあります。治療により将来、子供をもつことができなくなる可能性があります。これを「妊孕性の消失」といいます。

3. 妊孕性温存療法について知る

がん治療によって妊孕性に影響が予想される場合に、事前に卵子や精子、卵巣を凍結保存しておくことを「妊孕性温存療法」といいます。あなたが受ける予定のが

ん治療が、妊孕性に影響するのか、がん克服後に子供をもてるようにはどのような妊孕性温存療法が適切なのか、相談することが大切です。

4. 「がんと生殖医療カウンセリング」へご紹介します。

琉球大学病院の産婦人科では、妊孕性温存療法についての専門外来を開設しています。あなたが受ける予定のがん治療が、妊孕性に影響するのか、がん克服後に子供をもてるようにはどのような妊孕性温存療法が適切なのか、がん治療の主治医と連携をとりながら検討していきます。

5. 納得した治療をうけるために

がん告知と同時に抗がん剤治療や放射線治療､あるいは手術などの治療を目前にし、頭の中が真っ白になり、将来こどもをもつことなど考える余裕はないかもしれません。しかしながら、がんは克服できる治癒(ちゆ)する時代となり、がん克服後に子供をもつことも可能となってきました。がん治療前に妊孕性温存療法について知っていただき、そのことを知った上で、ご自分の判断で納得した治療をうけていただきたいと思います。

年　　月　　日

病院　　科

説明者　　印

同席者　　印

がんと生殖カウンセリング連携シート

患者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　年齢＿＿＿＿歳

疾患名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　進行期＿＿＿＿＿

組織型＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

・予後（生命予後、再発リスク；抽象表現可）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

・予後の告知した相手：　本人　　配偶者　　キーパーソン（　　）

・告知した内容：　すべて説明した　　予後については説明未＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

・現在までの治療経過（手術、使用された抗がん剤名と投与量、放射線療法については照射部位と照射量を記載ください）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

・今後予定される治療（手術、抗がん剤名、投与量、放射線治療、ホルモン療法などについて記載ください）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

・治療開始予定時期（現在予定されている開始時期）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

・治療開始遅延許容期間（妊孕性温存療法を行う場合でも、がん治療を開始しなければいけない時期など）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

・妊孕性温存・妊娠について

主治医から見た妊孕性温存の推奨程度：　推奨　　消極的　　どちらとも言えない

がん治療後の妊娠時の問題点＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

連絡先：琉球大学病院　産科婦人科 生殖内分泌グループ
〒 903-0215 沖縄県西原町字上原 207 番地
Tel 098-895-1177

資料4

沖縄県内の各医療機関での出張研修会について

	病院	日時
1	北部地区医師会病院	7月16日(木) 17:30～
2	県立中部病院	9月7日(火) 17:15～
3	那覇市立病院	8月17日(月) 18:00～
4	県立宮古病院	8月25日(火) 17:00～
5	県立八重山病院	9月15日(火) 17:15～

他医療機関(沖縄県院内がん登録集計報告書2017年　参照)

	病院	日時
1	中頭病院	9月30日(水)にて調整中
2	中部徳洲会病院	未定
3	国立病院機構沖縄病院	未定
4	ハートライフ病院	未定
5	浦添総合病院	未定
6	大浜第一病院	未定
7	沖縄赤十字病院	未定
8	沖縄県立南部医療センター・子ども医療センター	未定
9	沖縄協同病院	未定
10	南部徳洲会病院	未定
11	豊見城中央病院	未定

	がん種	日時
	乳房	未定
	脳・中枢神経系	未定
	血液腫瘍	未定
	小児がん	未定

講　師：周産母子センター教授　銘苅桂子先生

対　象：医師・メディカルスタッフ

主　催：各病院

共　催：沖縄県がん診療連携協議会　小児・AYA部会

後　援：琉球大学病院がんセンター

資料５

琉大病院の『妊孕性温存療法についての専門外来』へ積極的に紹介するにはどうしたらよいか

●紹介状に加えて、当科がほしい情報について簡単な「情報提供書」の書式を銘苅委員の方で作成するので、そちらの書式も同時に各病院の電子カルテに入れてもらい、癌治療医が「妊孕性温存療法説明書」と「情報提供書」を同時に使用できるようにご対応して頂く。

●担当医を通じての紹介ではなく、これまで通りシエントを通して、「がんと生殖医療外来」へ予約を入れてもらうことで紹介とする。

●各病院担当医から電話連絡は必要なし。必要時は当科から癌治療医へ電話連絡。

資料９

令和2年度　がん対策予算について

（単位：千円）

No.	事業名	令和元年度 決算額	令和2年度 当初予算
1	地域がん診療拠点病院機能強化事業	37,967	44,100
2	がん医療連携体制推進事業	26,049	26,560
3	がん診療連携拠点病院等の患者に対する歯科保健医療推進事業　※地域医療介護総合確保基金	3,002	4,594
4	離島患者等通院費支援事業 ※予算額にはがん以外の疾病等も含む	15,310	15,597
5	がん対策推進協議会運営事業費	66	2,260
6	肝炎治療促進事業費	46,685	44,722
7	がん検診充実強化促進事業	27,193	30,355
	計	156,272	168,188

※がん対策関係予算：がん対策を主な目的としている予算

資料１０-１

第8回離島がんフォーラムｉｎ宮古　　報告

（2020年7月4日）

場所・・・宮古島市中央公民館

一般社団法人　沖縄県がん患者会連合会

講 師

☆　当事者の立場から　　サバイバーナースの会「ぴあナース」　西垣みゆき氏

『命どう宝』というけれど　～あなたならどうしますか～

☆　教育者の立場から　　琉大教育学研究科　教職員大学准教授　村末勇介氏

『命の「土台」を豊かに育む』　～がんを学ぶ、がんに学ぶ子どもたち～

〇アンケート感想より

〇セカンドオピニオンで病院を紹介された後、主治医との関係が悪くなった。

〇まだまだ試練！！だと強く感じました。有難うございました。

〇西垣さんの講話に感心しました。自身の体験を話して下さって有難うございます。
生きるという事の大切さを大事にしていきたいと思いました。

※　予想以上にコロナ災渦への反響が大きく、参加者（特に患者会の参加）は従来のフォーラムの中で最も少なく、アンケートの回収も厳しい状況だった。

〇参加者は少なかったが地元両紙の記者が講演全ての取材をして下さり、講演内容を大きく取り上げて頂いた。

〇今回も沖縄県身体障碍者協会のご協力を得る事ができ、会場設営等、お力添え頂きました。





☜ *フォーラム案内・会場の様子*





金銭的問題で治療断念も

離島がんフォーラム 離島医療の現状訴える



▲（左から）西垣さん、村末准教授＝市中央公民館

第8回離島がんフォーラム（主催・県がん患者会連合会など）が4日、市中央公民館で行われた。フォーラムではサバイバーナースの会「ぴあナース」の西垣みゆきさん、琉球大学大学院教育学研究科の村末勇介准教授がそれぞれ講演を行った。

乳がん治療を始めて3年になる西垣さんは、患者の立場から離島医療の現状を訴えた。石垣島在住の西垣さんによると、医療設備が充実していない離島在住者ががんになった場合、検査や入院で本島の病院に頻繁に足を運ばなければならず、金銭的問題から治療継続を断念する人も多いという。西垣さんは「命どぅ宝と言うが、大切な命もお金がなくては守れない」と述べた。

西垣さんがんになって生活面以外で大変だったことは、無意識的に向けられる差別的な言葉だという。「周りにかわいそうと思ってほしいわけではないが、『大丈夫』と声を掛けてもらえるだけで前を向ける」と話した。

また全国各地でがんの啓発活動は盛んに行われているが、重要なのはその後のフォローであるとし、病院と行政機関が連携し、万全なサポート体制が整えば、患者は安心して治療に専念できると提案した。

村末准教授は今年から全国の小中高校で「がん教育」が段階的に始まることに触れ、「日本人の2人に1人ががんになる時代。がん教育が浸透すればがんのイメージも変わってくる。学力の前に命の大切さを考えさせる時間を作ることが大事」と強調した。

沖縄県友声会の田名勉会長は開会あいさつで「人は往々にして倒れている人の痛みを忘れてしまうことがある。相手の痛みに共感し、ともに生きる心を持ってほしい」と述べた。

離島がんフォーラム

患者や家族どう支える
当事者、教育者立場で提言

「支えあう大切なあなたと家族～地域で紡ぐぬちぐすい～」と題した第8回離島がんフォーラム（主催・県がん患者会連合会）が4日、市未来創造センター多目的ホールで開かれ、当事者や教育者の立場で、離島の患者や家族をどう支えていくのか、体験談やがん教育についての提言があった。

石垣市在住の当事者で看護師でもあるサバイバーナースの会「ぴあナース」の西垣みゆきさんは、乳がんになり沖縄本島での治療で金銭的、精神的、肉体的に追い込まれた離島の患者としての闘病記を話した。西垣さんは2016年に乳がんが見つかり、専門医の常駐がない石垣島ではなく、沖縄本島での治療を選択。左乳房部分切除手術を受け1カ月半の入院生活と放射線治療を体験した。治療費、入院費、渡航費など離島のがん患者の負担の重さを説明し、「命どぅ宝（ぬちどぅたから）」という言葉があるが、この大切な命もお金がなければ守れない」と話した。金銭的問題で離島からのがん患者は5年間の治療継続を断念する人が多いという。

また、がんの啓発活動について「検診拠点病院」と行政機関が連携して対象者のフォローができれば検診受診率も上がり、早期発見できることも多くなる」と話した。がん患者として感じたことは「患者に対して偏見がある。気持ちが落ち込んでいる時の周りのちょっとした言葉や態度が心に突き刺さる。自分でもどうしたいのか、何がしたいのか、何もかもが迷子になっている。そんな時はひと言『大丈夫？』と声を掛けてほしい。不思議なことに少しだけ前を向けるようになる」と明した。

琉球大教職大学院の村勇介准教授は今年度から学校で「がん教育」が始まることを紹介しながら「は大事だという言葉は何も聞いた言葉。死を通し命の大切さを考える材料与えることも教員の仕事と話した。村末准教授は「のちの授業」で、がん患を「ゲスト教員」としてき体験談を話してもらい学生に命の大切さを考えさせているという。


村末勇介准教授


がん闘病記を話す西垣みゆきさん＝4日、未来創造センター

あすから郵送申請可
市コロナ経済対策
観光事業者に10万円

観光関連事業者に一律10万円を給付する市の「事業者支援助成金交付事業」の郵送申請が6日から可能になる。実質的な給付作業は受付期間の13日から着手するが、事前に郵送申請を受け付ける。申請書は6日午前10時から市のホームページでダウンロードできるほか市役所平良第2庁舎1階でも入手可能となる。

新型コロナウイルス感染症に係る経済対策で、業績が悪化しているレンタカーや観光バス、運転代行、旅行業、イベント関連、小売業に助成金を配る。第1弾の経済対策で受給対象外だった事業所がメイン。

第1弾で対象だった飲食業については、電気を助成する。「古舘内で食を伴う」事業所に、月から7月までの3カ間における店舗電気料計額の3分の2を上限万円の範囲内で補塡（てん）する。店舗と住が一体の事業所は合計の2分の1給付。

交付対象は、法人の場は事業所の法人登記と代者の住民登録、個人事業





資料１０-２

第２回沖縄県がん診療連携協議会
NPO パンキャンジャパン沖縄支部　患者会開催　報告資料

開催日時：2020 年 6 月 27 日(土)　13:00～14:30
場所：沖縄赤十字病院２階レストラン「エムず」
参加者：７名（患者：３名　家族：４名）
　　ボランティア７名
内容：茶話会での開催（コロナウィルスの影響で、しばらく延期していたため、今回は患者・家族の悩み・相談を十分に傾聴していく目的）
体調不良やコロナウィルスの不安を持つ方を考慮し、参加方法を対面または ZOOM で選択できるようにしたが、全員が対面での参加を希望された

今回の開催は、新聞等での広報は行わず、これまでのサロン参加者および最近までに膵臓がんと診断され、パンキャン沖縄支部に電話相談をされた患者・家族の方へ連絡し、参加を呼びかけた（コロナウィルス影響のため、できるだけ密を避けるため）

サロンの様子



家族の方の相談にのるボランティア



できるだけ密にならないよう配慮しました



お互いの体験を話し、笑顔が増えていきます

サロン終了後の患者・家族の方からの声

＜患者の方＞

・患者同士の懇親会、大変楽しい会でした。次回も誘ってください。

・この会は楽しいので、続けていきましょう。

・沖縄支部の FACEBOOK を作りましょう！

＜家族の方＞

・参加させていただきありがとうございました。皆さんに会うことができて、嬉しかったです。これから母の想いに寄り添っていきます。

・今、本人（患者）は入院しています。家族の悩みを解消することができました。ありがとうございます。

コロナウィルスでサロン開催が延期となり、３月～６月までは患者会としての活動は、電話相談のみとなっていました。電話相談の内容から、他の患者・家族の方たちの体験談を聞きたいと思っている方が多いことを痛感しています。患者サロンの必要性を感じるとともに、今後の患者サロンの開催の仕方を、考えていかなければと思っています。

参考：サロンのチラシ（FACEBOOK での広報用）



資料１０-３

若年がん患者在宅支援について

課題　　40才に満たない若年者ががんで介護が必要な状態になったとき

介護保険の適応から外れるため在宅支援が受けられない。

先行事例　　鹿児島県などは、県や市町村で若年がん患者の在宅支援を行っている

患者会の各市町村への働きかけ

41市町村議会へ支援を求めて陳情書の提出をおこなった。

結果

	採択	取り組み開始		資料配布	継続審議	無回答
	1.　宮古島市	未		1.今帰仁村	1.　南城市	28市町村
	2.　嘉手納町	未		2.　西原町		
	3.　浦添市	未		3.　本部町		
	4.　豊見城市	未		4.　読谷村		
	5.　糸満市	未		5.　大宜味村		
	6.　中城村	未		6.　沖縄市		
	7.　南城市					
	8　沖縄県議会					

2020　4/22　議会で採択されたが実際にはどの市町村も動いてないことがわかった。

6/30づけで南城市から採択の知らせが届いた

沖縄県議会からも5/8付かで採択が届いた。県の採択で市町村の動きが良くなると期待する。

資料１１

文部科学省委託事業　令和２年度沖縄県「がん教育総合支援事業」

令和２年度　事業計画

沖縄県教育委員会

1　事業実施期間　　令和２年６月17日　～　令和３年２月２６日

2　事業の趣旨・目的等

学校におけるがん教育の充実を図るため、がんに関する正しい知識と正しい認識、命の大切さについて正しく理解させ、がん教育の普及・啓発を図る。

3　事業の内容

（１）令和２年度における実施計画

	実施時期　月日	曜日	実施内容
1	6月24日	水	第１回連絡協議会
2	7月28日	火	本島地区（八重山地区①）
3	7月29日	水	宮古地区（八重山地区②）
4	8月 5日	木	第１回外部講師養成プログラム策定委員会
5	8月26日	水	第１回がん教育教材委員会（教材検討）
6	9月～10月		第２・３回がん教育教材検討委員会
7	10月～1月		外部講師養成研修
8	10月（未定）		文科省主催　がん教育研修会（県外派遣）
9	11月～ 1月		モデル校公開授業
10	1月（予定）		がん教育シンポジウム（県外派遣）
11	1月20日（予定）	水	第２回連絡協議会

（２）沖縄県連絡協議会の構成員

全体１６人（内訳　医師２人　県保健医療部１人　県教育委員会４人
一般社団法人沖縄県がん患者会連合会１人
総合教育センター研究主事２人　モデル校担当教諭３人・校長３人

（３）がん教育教材等検討委員会

全体１２人（内訳）　医師１人　モデル校担当教諭３人
一般社団法人沖縄県がん患者会連合会１人　保健体育代表教諭３人
総合教育センター研究主事２人 県教育委員会２人

（４）外部講師養成プログラム策定委員会

全体７人（内訳）　一般社団法人全国がん患者団体連合会（全がん連）
理事長・副理事長・事務局各１人計３人　医師１人　県教育委員会１人
一般社団法人沖縄県がん患者会連合会副会長・事務局各１人計２人

（５）具体的な取組

１．教職員・関係者への地区別「がん研修会」の実施
２．効果的な教材及び指導方法の検討
３．外部講師養成プログラム策定と養成研修会の実施

資料１２

沖縄県院内がん登録集計報告書

2018年症例

～ 院内がん登録データからみる
沖縄県のがん診療の現状～



琉球大学医学部附属病院がんセンター

はじめに

「沖縄県では大腸がんに罹る人が多いです」
「2 人に 1 人はがんになります」

　このような情報を目にすることが増えてきています。

　毎年どれぐらいの人ががんと診断されているのか、どのがんが増えているのか、どの施設がどのような治療をしているのか、どれぐらい治りやすいのかといった、がんに関する多くの情報は病院が行っている「院内がん登録」という仕組みが情報源になっています。

　この冊子は、主に、沖縄県内で「院内がん登録」を実施している病院の集計結果をまとめて紹介しています。

　お一人でも多くの方が、沖縄県の各がんの現状や各病院のがんの現状を知ることができ、

（患者の立場の方は）　ご自身のがんに関わる現状を知り、納得できる治療を受けたり、よりよい療養生活を送る助けとして、

（医療従事者の立場の方は）　医療の質の向上に役立てたり、

（行政の立場の方は）　がん対策に寄与するデータ源として、

この冊子を利用していただけたら幸いです。

目　次

Ⅰ　情報ナビ（本報告書のみかた）　1

1．情報ナビ　2

2．がん診療連携拠点病院および地域がん診療病院（地図）　4

3．用語について　6

Ⅱ　2018年沖縄県院内がん登録実施施設集計 調査方法　10

1．収集の対象と方法　10

（1）収集の対象

（2）収集方法

（3）収集項目と定義

2．集計の対象と集計方法　13

（1）集計の対象

（2）集計項目の定義

（3）「症例区分８０：その他」の扱いについて

3．生存率の集計対象と集計方法　15

（1）集計の対象

（2）集計項目の定義

（3）生存率の集計方法

Ⅲ　2018年沖縄県院内がん登録実施施設　集計結果　19

1．登録対象の特性　20

2．部位別登録数とその推移　24

3．二次保健医療圏別の特性　28

4．小児・AYA 世代のがん登録数とその推移　34

5．　2007 − 2008 年、2009 − 2012 年診断例　５年相対生存率　集計結果　36

Ⅳ　2018年沖縄県院内がん登録実施施設　部位別　集計結果　45

1．口腔・咽頭　46

2．胃　52

3．大腸　58

4．肝臓　64

5．胆のう・胆管　70

6．膵臓　76

7．肺　82

8．骨・軟部組織　88

目　次

9．皮膚 …… 94
10．乳房 …… 100
11．子宮頸部 …… 106
12．子宮体部 …… 112
13．前立腺 …… 118
14．脳・中枢神経系 …… 124
15．血液腫瘍 …… 130

Ⅴ　2018年沖縄県院内がん登録実施施設　施設別　集計結果 …… 137
1．北部地区医師会病院 …… 139
2．国立病院機構沖縄病院 …… 147
3．沖縄県立中部病院 …… 155
4．中頭病院 …… 163
5．中部徳洲会病院 …… 171
6．ハートライフ病院 …… 179
7．那覇市立病院 …… 187
8．沖縄赤十字病院 …… 195
9．大浜第一病院 …… 203
10．浦添総合病院 …… 211
11．琉球大学医学部附属病院 …… 219
12．沖縄県立南部医療センター・こども医療センター …… 227
13．南部病院 …… 235
14．南部徳洲会病院 …… 243
15．沖縄協同病院 …… 251
16．豊見城中央病院 …… 259
17．沖縄県立宮古病院 …… 267
18．沖縄県立八重山病院 …… 275

Ⅵ　がん診療にかかわる情報 …… 284

Ⅷ　あとがき …… 285
1．2018年院内がん登録報告書 コメント協力者 …… 285
2．編集後記・編集協力団体・制作者一覧 …… 286

CD-R　集計表

情報ナビ

― 本報告書のみかた ―



情報ナビ

本報告書は、がんと診断された患者さんやそのご家族の方が、治療を選択する際の一助となる情報を提供しています。知りたい情報がさがせるよう、各情報についてご案内します。

院内がん登録とは

病院で診断や治療を受けた全ての患者さんのがん診療についての情報を、その病院（施設）全体で集め登録し、その病院のがん診療がどのように行われているかを明らかにする調査です。

この調査は全国の病院が同じ方法で行うことにより、その情報を県内また全国値で比べることができるようになり、病院ごとの特徴が明らかになるものと期待されています。

一人の患者さんの診断や治療が、複数の病院で行われることがありますが、それぞれの病院で院内がん登録を行うため、患者さんが重複している可能性があります。本報告書は、個人情報に配慮し、匿名化されたデータを用いて集計を行っているため、重複の整理は行っていません。

院内がん登録でわかること

病院ごとの特徴がわかります。他施設から紹介された患者さんが多いのか、がん検診や人間ドックで見つかった患者さんが多いのかなど、受診までの経過がわかります。

診療しているがんの種類（部位）別の登録数により、その施設で多くの症例を診療しているかそうでないかがわかります。また、同じ部位のがん治療でも、手術、放射線、化学療法など、登録数によりその施設の治療方法がわかります。



この冊子では大きく分けて３つの集計があります。

病院ごとの特徴を知るため、すべての病院を比較して見たい。

P19
（全施設 集計結果へ）

- 各病院がみているがんの数や種類、性別や年齢、治療施設などを掲載しています。
- 各病院の患者さんがどこの圏域から来院しているかがわかります。
- がんの種類ごとにどの圏域で治療をしているかがわかります。
- 小児がんや AYA 世代のがんの数やどの病院でみているかがわかります。
- がんの種類ごとの５年生存率を掲載しています。

自分のがん（がんの種類ごと）の治療の状況などが見たい。

P45
（部位別 集計結果へ）

- がんの種類ごとに、がんの数、性別や年齢などを掲載しています。
- がんの種類ごとに、がん患者さんがどのような経路によって、その施設を受診したのかがわかります。
- がんの種類ごとに、「がん」と診断されるきっかけとなった状況がわかります。
- がんの種類ごとに、がんの進行度（ステージ）の割合がわかります。
- がんの種類ごとに、施設ごとの主な治療の種類や数、治療の組み合わせがわかります。
- がんの種類ごとに、施設ごとの初回治療が終了した患者さんの受け入れ状況がわかります。
- がんの種類ごとに、専門医からのコメントが読めます。

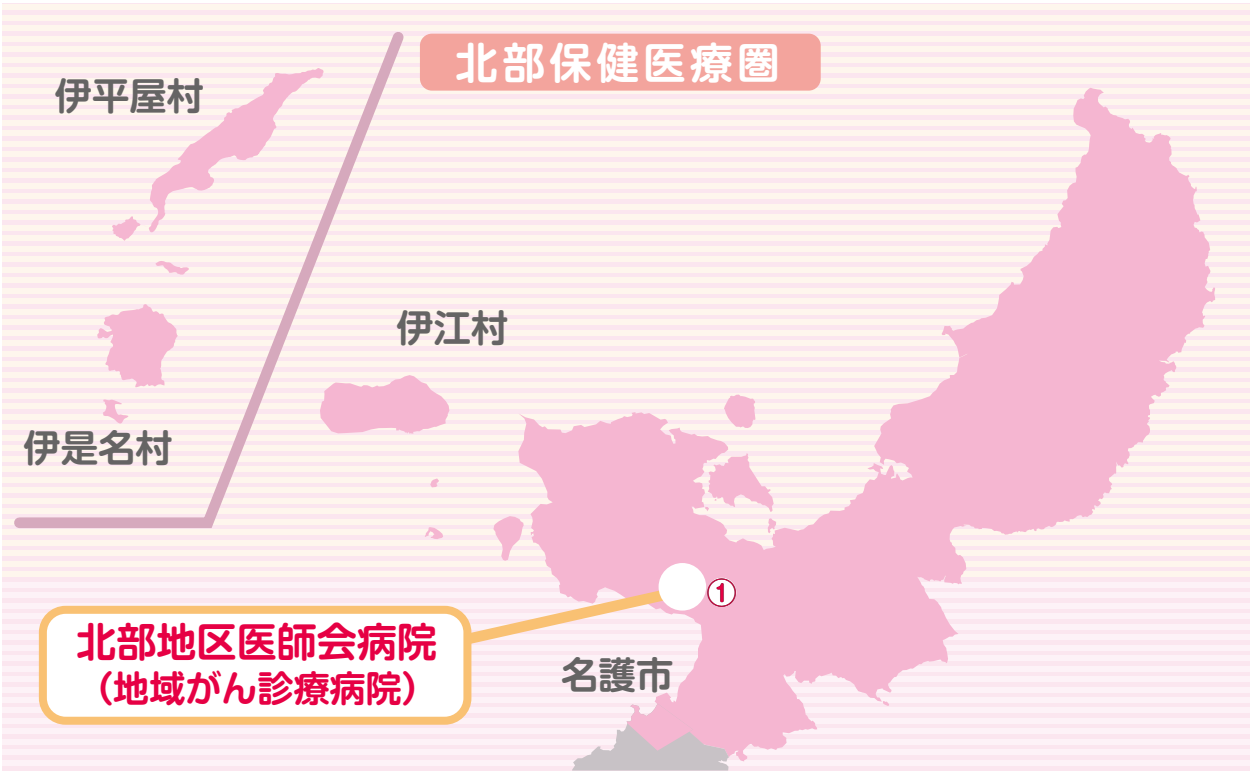
病院ごとの来院患者さんの特徴を見たい。

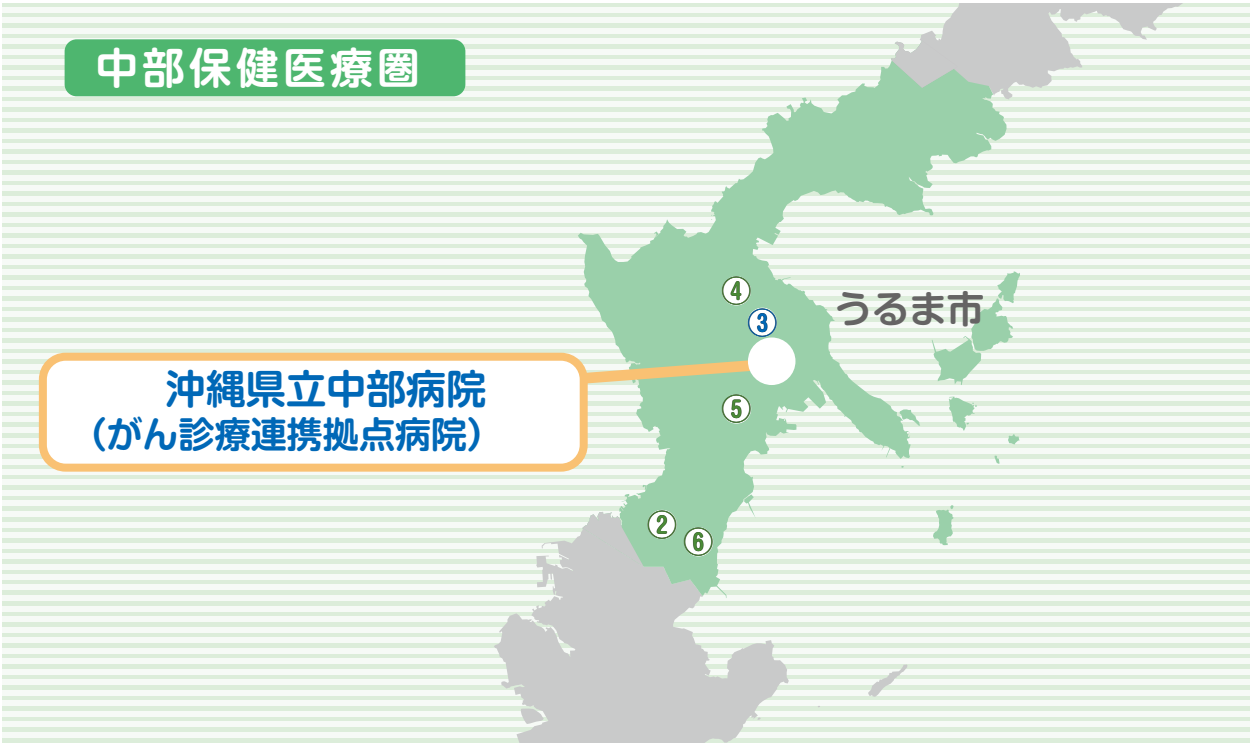
P137
（施設別 集計結果へ）

- 病院ごとに、がんの数、性別や年齢などを掲載しています。
- 病院ごとに、それぞれのがん患者さんがどのような経路によって、その施設を受診したのかがわかります。
- 病院ごとに、それぞれのがんと診断されるきっかけとなった状況がわかります。
- 病院ごとに、それぞれのがんがどの圏域で治療をしているかがわかります。
- 病院ごとに、それぞれのがんの初回治療が終了した患者さんの受け入れ状況がわかります。
- 病院ごとに、治療の体制や治療の取り組みについて、病院長のコメントが読めます。
- 病院ごとに、診療科、外来化学療法の実施、放射線治療の実施、緩和ケア外来やがん相談窓口について掲載しています。

用語などにつきましては **6 ページ** にくわしく記載されておりますので、そちらをご参照下さい。

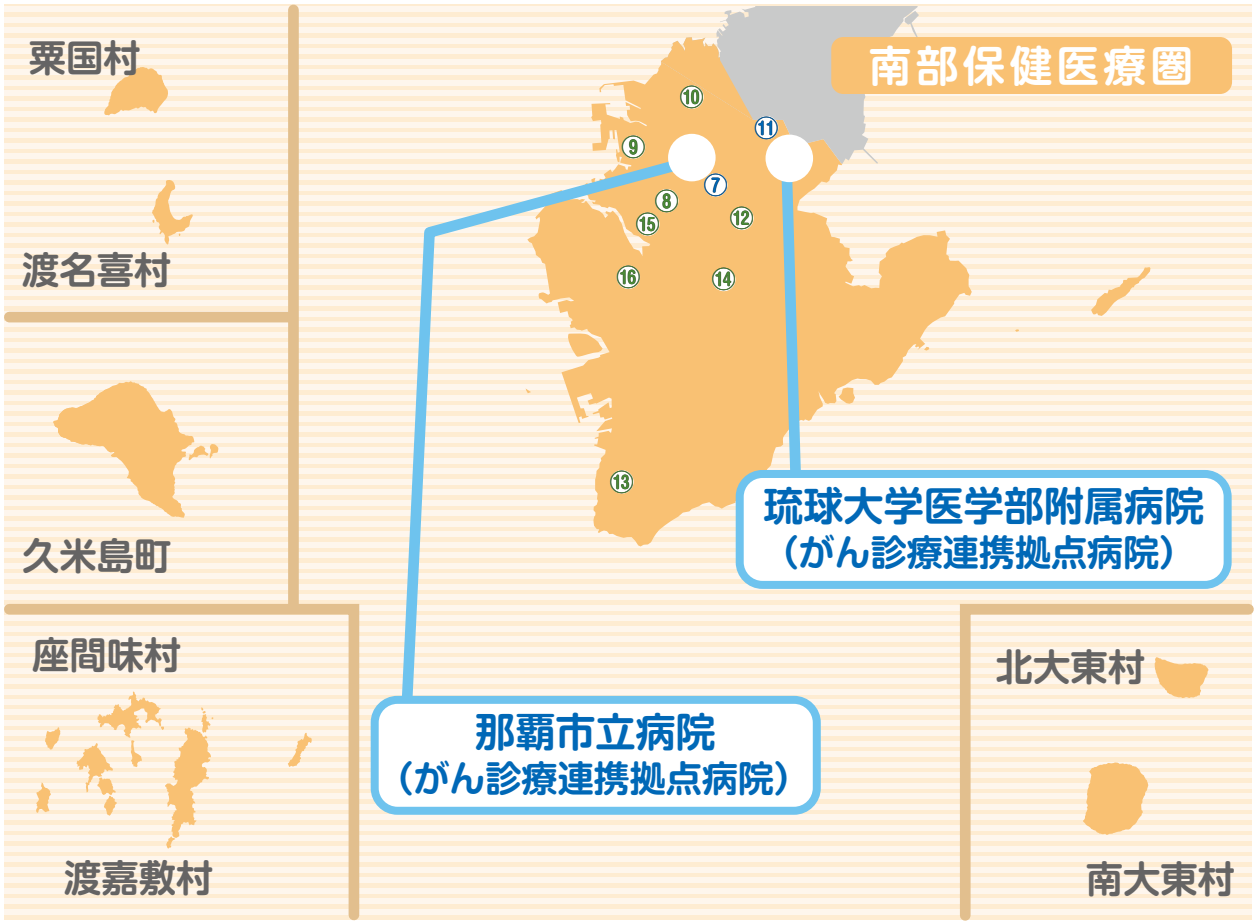
がん診療連携拠点病院および地域がん診療病院





国指定 がん診療連携拠点病院（3病院）　**国指定** 地域がん診療病院（2病院）

① 北部地区医師会病院
② 国立病院機構沖縄病院
③ 沖縄県立中部病院
④ 中頭病院
⑤ 中部徳洲会病院
⑥ ハートライフ病院
⑦ 那覇市立病院
⑧ 沖縄赤十字病院
⑨ 大浜第一病院
⑩ 浦添総合病院







沖縄県推薦がん診療病院（13病院）

⑪ 琉球大学医学部附属病院
⑫ 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター
⑬ 南部病院
⑭ 南部徳洲会病院
⑮ 沖縄協同病院
⑯ 豊見城中央病院
⑰ 沖縄県立宮古病院
⑱ 沖縄県立八重山病院

用語について

【腫瘍（新生物）】

腫瘍は、「良性」や「悪性」のほか、良性とも悪性ともわからない「良性又は悪性の別不詳」に分かれます。院内がん登録では、主に悪性腫瘍を登録していますが、卵巣や脳・中枢神経など、「悪性」に加え「良性」や「良性又は悪性の別不詳」の腫瘍を登録している部位もあります。

【部位】

身体の中でがんができた場所のことです。胃にできた悪性腫瘍のほとんどは、癌（上皮性の悪性腫瘍）ですが、悪性リンパ腫ができることもあります。その際の部位は、胃となりますが、悪性リンパ腫は血液腫瘍に分類することになります。悪性腫瘍の細胞の種類により、同じところにできても集計する部位が変わることがあります。

【初回治療】

初回治療とは、「がん組織の縮小あるいは消失を目的とした治療」のことを指します。がん治療計画のなかで、「経過観察」が計画された場合は、「経過観察」も初回治療とみなします。

【血液腫瘍】

血液腫瘍とは、「悪性リンパ腫」「多発性骨髄腫」「白血病」「他の造血器腫瘍」の便宜上の総称です。

【症例区分】

がん患者さんの診断および治療について、その施設がどのように関係したかを判断するための項目です。

- **診断のみ**・・・自施設で診断したが、治療の施行は他施設へ紹介・依頼した場合や治療の施行を希望されなかった場合です。
- **自施設診断・自施設初回治療開始**・・・自施設で診断および初回治療に関する決定をし、腫瘍そのものへの治療を開始した場合です（経過観察の決定および実行した場合も含みます）。
- **自施設診断・自施設初回治療継続**・・・自施設で診断した後、他施設で初回治療が開始され、その後、自施設で初回治療の一部を実施した場合です（自施設での経過観察の実行は含みません）。
- **他施設診断・自施設初回治療開始**・・・他施設で診断した後、自施設を受診し、自施設で腫瘍そのものへの治療を開始した場合です（経過観察の決定および実行した場合も含みます）。
- **他施設診断・自施設初回治療継続**・・・他施設で診断した後、他施設で初回治療が開始され、その後、自施設で初回治療の一部を実施した場合です（自施設での経過観察の実行は含みません）。
- **初回治療終了後**・・・他施設で初回治療終了後に自施設を受診した場合です。自施設受診後の治療の有無は問いません。
- **その他**・・・上記のいずれにも分類できない場合です。他施設診断症例で、治療目的に紹介されたが、自施設では治療は行わず、他施設へ紹介した場合も含まれます。

【来院経路】

がん患者さんがどのような経路によって、自施設を受診されたのかを把握するための項目です。「自主的受診」とは他施設からの紹介等ではなく、自主的に自施設を選択して、初診した場合

のことです。
「自施設での他疾患経過観察中」とは、自施設で他疾患の経過観察中に、がんと診断あるいはがんが疑われた場合のことです。

【発見経緯】

がん患者さんが「がん」と診断されるきっかけとなった状況を把握するための項目です。
「その他」は、患者さんがなんらかの症状があり医療機関を受診した際に、がんと診断あるいは疑われた場合、この項目に登録されます。

【UICC TNM 分類】

UICC TNM 分類とは、UICC（Union Internationalis Cancrum ＝国際対がん連合) が採用している悪性腫瘍（がん）の病期分類のことで、T（tumor）：原発腫瘍の進展範囲（拡がり）、N（nodes）：その臓器に所属するリンパ節転移の有無と進展範囲（拡がり）、M（metastasis）：遠隔転移の有無（他の臓器への転移）の３つの要素に付記されている数字によって、悪性腫瘍の進展範囲を分類します。
これにより示された進展範囲がステージ、あるいは病期と呼ばれ、臓器毎にＴ・Ｎ・Ｍの組み合わせによって０期からⅣ期に分類されます。

（1）治療前ステージ

患者さんががんと診断された際に、がんの拡がり、いわゆる「ステージ」がどの程度か確認し治療方法を決めるため、様々な検査を行います。このときに、診断されたステージが「治療前ステージ」となります。

（2）治療後ステージ

患者さんに手術（外科的治療、鏡視下治療、内視鏡治療等の切除術）を行った際に診断されるステージが「治療後ステージ」となります。治療後ステージは、手術を行った場合のみ、登録が行われるため、治療前ステージ別登録数より登録件数が減りますが、より正確に診断されたステージといえます。そのため、治療前ステージと治療後ステージが変わることもあります。(ステージⅡと診断されていたが、実際に手術を行ったらステージⅠだった等）「術前治療後」という項目は、手術を行う前にがんの縮小等を目的に化学療法や放射線療法などを行った場合、がんの進展範囲が変わるなど、状態が大きく変化するため、院内がん登録では「術前治療後」として登録します。

（3）総合ステージ

より正確に診断された「治療後ステージ」を第一優先とし、手術を行わなかった患者さんや術前治療を行った患者さん、またはステージ不明とされた患者さんは「治療前ステージ」を用いて、がんの治療開始時点でのステージを示す指標として集計されたものが、「総合ステージ」となります。

用語について

【保健医療圏】

保健医療圏とは、一次、二次、三次保健医療圏があります。

- **一次保健医療圏**は、日常の健康相談等の保健サービスと、かかりつけ医等による初期医療を提供していくための最も基礎的な単位であり、住民の日常生活に密着した保健医療サービスが提供される地域の範囲で、市町村　が一次保健医療圏とされています。
- **二次保健医療圏**は、医療機能を考慮した病院や救急医療体制の整備の他、一般的な入院医療への対応を図るとともに、保健・医療・福祉の総合的な取り組みを行うために、市町村を超えて設定する地域の範囲で、沖縄県では北部、中部、南部、宮古、八重山の５つの二次保健医療圏があります。
- **三次保健医療圏**は、一次、二次保健医療圏での医療提供体制と連携し、高度で特殊な専門医療を提供するとともに、広域的に実施することが必要な保健医療サービスを提供するための地域の範囲で、沖縄県全域が三次保健医療圏とされています。

【離島市町村在住患者】

離島市町村在住患者とは、沖縄本島に移動する手段として、航空機、船舶の利用が不可欠な市町村に在住しているがん患者さんのことを指します。

【小児がん】

小児がんとは、一般的に 0 歳から 15 歳までに発生する悪性腫瘍のことです。

【AYA 世代のがん】

AYA (Adolescerts and Young Aduits) 世代のがんとは､思春期･若年成人 (15 歳から 29 歳) に発生する悪性腫瘍のことです。

【5 年相対生存率】

５年相対生存率とは、あるがんと診断された場合に、治療でどのくらい生命を救えるかを示す指標です。

あるがんと診断された人のうち５年後に生存している人の割合が、日本人全体（※１）で５年後に生存している人の割合に比べてどのくらい低いかで表します。100%に近いほど治療で生命を救えるがん、0%に近いほど治療で生命を救い難いがんであることを意味します。

（※１）正確には、性別、生まれた年、および年齢の分布を同じくする日本人集団

1．収集の対象と方法

（1）収集の対象

沖縄県におけるがん診療連携拠点病院 3 施設と地域がん診療病院 2 施設、沖縄県推薦病院 13 施設において（令和元年 11 月現在）、平成 30（2018）年 1 月 1 日から 12 月 31 日までの 1 年間に登録対象となる腫瘍の種類 * に該当するもののうち、入院・外来を問わず、自施設において、当該腫瘍に対して初回の診断が行なわれた腫瘍である。初回の診断とは、自施設における、当該腫瘍に関して初めての、診断及び / 又は治療等の診療行為のことを指し、入院・外来を問わず、自施設において、当該腫瘍について初診し、診断及び / 又は治療等の対象となった腫瘍が登録対象となる。

＊登録対象となる腫瘍の種類

がん診療連携拠点病院等での院内がん登録においては、登録の対象を、全国がん登録と同様に、『国際疾病分類 - 腫瘍学第 3 版（一部改正 2012）』（ICD-O-3）における形態コードの性状コードが 2（上皮内癌）もしくは 3（悪性、原発部位）のものとする。ただし、以下の腫瘍においては、例外的に登録対象とする。

a）中枢神経系腫瘍

頭蓋内に原発した、いわゆる「脳腫瘍」のみならず、髄膜・脳・脊髄および中枢神経系に発生した腫瘍に関しては、原則的に良性であっても、登録対象とする。中枢神経系腫瘍での登録の対象となる部分は、ICD-O-3 の局在コードが以下のものである。C70.0, C70.1, C70.9, C71.0, C71.1, C71.2, C71.3,C71.4, C71.5, C71.6, C71.7, C71.8, C71.9, C72.0,C72.1, C72.2, C72.3, C72.4, C72.5, C72.8, C72.9,C75.1, C75.2, C75.3

b）消化管間質腫瘍（GIST）

ICD-O-3 の局在コードで 8936/1 となる性状不詳および 8936/0 となる良性の消化管間質腫瘍（GIST）は、原発部位にかかわらず、登録の対象とする。

c）境界悪性の卵巣腫瘍の一部

死因統計に用いられる「疾病、傷害および死因統計分類提要 ICD-10 準拠」に従い、ICD-O-3 の形態コードで 8440 ～ 8479 の範囲の性状不詳腫瘍で、卵巣に原発するものは、性状コードが「/1」であっても、登録の対象とする。具体的な卵巣に原発した登録対象の形態コードは下記のとおりとする。

8442/1（境界悪性漿液性のう胞腺腫 *）
8444/1（境界悪性明細胞のう胞腫瘍）
8451/1（境界悪性乳頭状のう胞腺腫 *）
8462/1（境界悪性漿液性乳頭状のう胞腺腫 *）
8463/1（境界悪性漿液性表在性乳頭腫瘍）
8472/1（境界悪性粘液性のう胞腺腫）
8473/1（境界悪性乳頭状粘液性のう胞腺腫）

＊　ICD-O-3 の表記は「漿液性のう胞腺腫、境界悪性」「乳頭状のう胞腺腫、境界悪性」

＊各施設における登録患者について

各施設における登録対象は、登録を実施する自施設での新規の診断患者または他施設で診断後に自施設を初診した患者であり、初発例、再発例を含む。また、治療を行わない経過観察例も含まれる。従来、1 入院 1 登録などの形であっても、集計などの際に 1 腫瘍 1 登録に変換できることを許容していたが、平成 29（2017）年 1 月 1 日以降の新規診断症例の登録からは、1 腫瘍 1 登録となるように登録することとする。1 腫瘍 1 登録の原則に基づき、同一患者に複数のがん病巣が存在し、それらが臨床的・病理学的に独立した “ がん ” と判断された場合、多重がんであるとする。多重がんの判断に際し、十分な情報が診療録・病理報告書に記載がない場合、あるいは症例の数え方に明白な問題が存在すると考えられる場合、主治医の判断または SEER2004、2007 の定義を参考に登録を行なう。登録済みの同じがんについて当該施設で治療中に再発した患者については登録対象ではないが、同じ患者が同じがんで複数のがん診療連携拠点病院を受診した場合は、異なる施設において同じ患者の同じがんが登録されている可能性がある。

本院内がん登録全国集計では、提供されたデータは匿名化後のデータであるため、重複の整理は行わない。。

（2）収集方法

院内がん登録集計の収集方法は、平成 30 年度に国立がん研究センター（以下「国がん」という。）へ、データ提供を行った、沖縄県におけるがん診療連携拠点病

院３施設と地域がん診療病院２施設、沖縄県推薦病院13施設の計18施設より、施設長の許可のもと、データの提供を受けた。なお、全国合計値については、「国立がん研究センターがん対策情報センター　がん診療連携拠点病院等院内がん登録 2017 年全国集計報告書」より引用した。
提出項目は、「がん診療連携拠点病院等院内がん登録標準登録様式 2016 年版」において定義された標準登録項目とした。

（３）収集項目と定義

主な項目の定義と注意について以下に記載する。このほかの項目の定義については、がん診療連携拠点病院等院内がん登録標準登録様式 2016 年版をご覧いただきたい。

i. 症例区分

院内がん登録の目的の一つとして、病院のがん医療の評価のための基礎的資料を提供することがあげられる。そのためには、病院のがん診療実態を他施設と比較する必要があり、どのがん症例を含めるのかを識別しておく必要がある。この症例区分の項目は、当該腫瘍の診断および初回治療の過程に、自施設でどのように関係したかを判断するための重要な項目である。本報告書のデータ収集対象は、症例区分に関わらず全症例としている。

ii. 治療前ステージ

国際比較のため、UICC（International Union Against Cancer）の定める病期分類方法に基づき、何らかの治療が行われる以前に診断されたステージを指す。わが国の一般的な臨床現場で使用されている癌取扱い規約に基づくステージとは若干異なる部分がある。肝臓については、取扱い規約のステージも合わせて標準項目として登録することとなっている。　なお、前医で治療がなされており治療前のステージが不明の場合などは「不明」に分類されるか、該当無のままで登録される。

iii. 術後病理学的ステージ

手術が行われた患者に関して、術後に検体が提出され病理学的に算出されたステージを登録する。手術が行われなかった場合には手術なしで、術前に化学療法や放射線療法などが行われた場合には、手術前の治療の影響が想定されるため、術後病理学的ステージは適応外として登録される。定義上は、原発巣に対する切除術が行われ、断片が陰性であるような治癒的な切除が行われた場合に本ステージが評価できるとされている。
この定義に従えば、現状の院内がん登録の項目と定義項目番号 730「外科的・鏡視下・内視鏡的治療の範囲」において、原発巣切除（腫瘍遺残なし）で本ステージを評価することが可能である。術後病理学的ステージは、腫瘍やリンパ節を顕微鏡的に観察して得られるステージであることから、治療前ステージと比較して、治療開始時点でのがんの状態をより正確に表しているといえる。

iv. 治療の有無

一般にがん治療とは、１）原発巣・転移巣のがん組織に対して行なわれた治療と、２）がん組織に対するものではなくても、がんによる症状の緩和・軽減のために行なわれた特異的な治療（吻合術などの外科手術）の両者を指す。ある治療が、１）がん組織に対して何らかの影響（がん組織の増大傾向を止めたり、切除したり、消失させたりする行為）、あるいは２）症状の軽減を及ぼすことを意図して行なわれた場合、たとえそれが、根治的ではない、もしくは期待する治療効果が得られなかったとしても、がん治療として定義される。しかし、院内がん登録におけるがん初回治療は、運用上の必要等から、1）の治療、すなわち、当該腫瘍の縮小・切除を意図したがん組織に対する治療のうち、当該腫瘍に関する最初の診断に引き続き行なわれた、腫瘍に対する治療とする。
最初の診断に引き続き行なわれた治療の範囲は、治療計画等に記載された治療とし、経過観察が計画された場合あるいは治療前に死亡された場合は経過観察という行為を初回治療としてみなして扱うこととする。なお、この範囲が不明確な場合は、病状が進行・再発したりするまでに施行されたか、あるいはおよそ５ヶ月以内に施行されたものを初回治療とする。

従来の院内がん登録標準登録様式では、がんに伴う症状の改善を意図して行なわれた治療も初回治療に含めることとされてきたが、2016 年版からは、がんそのものの縮小・切除を意図した治療のみが初回治療の対象となった。このため、従来、初回治療の対象となっていた症状の緩和等を意図して行なわれた特異的な症状緩和的な治療を含む症状緩和的な治療は、初回治療に準ずる形で計画され、かつ自施設で実施された場合に限って、データの継続性の担保と診断早期からの症状緩和的な治療の実施状況を把握する目的で、別途「790 症状緩和的な治療の有無（自施設）」において登録される。なお、症状緩和的な治療の有無は、従来の「特異的」症状緩和治療の範囲に限定されず、診療行為として緩和ケア加算が算定されている場合や投薬・処置等の医行為が対象となる。

① 外科的治療

肉眼的視野下の外科的手技による病巣切除術を「外科的治療」とする。子宮頸癌の円錐切除術（病巣がすべて切除できた場合）は、外科的治療に含めるが、前立腺癌の去勢術は内分泌療法として、胆嚢癌での腹腔鏡下胆嚢摘除術、肺癌での胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術は鏡視下治療として登録される。

② 鏡視下治療

皮膚切開を加えるなど、自然開口部（口唇、鼻孔、尿道口、肛門、膣口、乳管等）以外から挿入された光学機器の視野を用いて（光学機器の視野下で）行なわれる病巣切除術を「鏡視下治療」とする。また前立腺癌での TUR-P、胃癌・大腸癌での粘膜下層剥離（ESD）は内視鏡的治療として登録される。

③ 内視鏡治療

自然開口部（口腔、鼻孔、尿道口、肛門、膣口、乳管等）から挿入された光学機器による視野を用いた病巣の切除等の観血的治療が行なわれた場合を内視鏡的治療とする。膀胱癌の TUR-BT、胃癌・大腸癌での粘膜下層剥離術 ESD など。

④ 放射線療法

X 線や γ 線等の電磁放射線、あるいは陽電子線や重イオン線等の粒子放射線による腫瘍の縮小あるいは消失を目的とした治療を放射線療法とする。原発巣対する放射線治療だけではなく転移巣に対する放射線治療も含まれる。重粒子線・陽子線・中性子線などの荷電粒子線を利用した治療、イブリツモマブチウキセタンのように、分子標的薬と放射性同位元素の両方の作用を狙った治療 I-131 内容療法等の内照射療法、密封小線源による治療を含む

⑤ 化学療法

アルキル化薬をはじめとする狭義の抗がん剤の他、分子標的薬などの薬剤を用いた、腫瘍の縮小あるいは消失を目的とした治療をその投与経路は問わず、化学療法とする。イブリツモマブチウキセタンのように、分子標的薬と放射性同位元素の療法の作用を狙った治療、肝動脈化学塞栓療法のような血管塞栓術も併用した抗がん剤投与、ニボルマブなど、免疫療法薬とされる分子標的薬の薬物治療も含む。

⑥ 内分泌療法

特定のホルモン分泌を抑制することで腫瘍の増殖を阻止する目的で、薬剤投与あるいはホルモン分泌器官の切除により、腫瘍の縮小あるいは消失を目的とした治療を内分泌療法とする。前立腺癌における除睾術、ステロイド単剤での薬物治療も含む。

⑦ その他の治療

当該腫瘍の縮小・消失を目的に腫瘍に対して行なわれた初回治療のうち、外科的治療、鏡視下治療、内視鏡的治療、放射線療法、化学療法、内分泌療法のいずれにも該当しない治療をその他の治療とする。例えば、免疫療法、肝動脈化学塞栓療法のような血管塞栓術、レーザー等による腫瘍そのものを焼灼する光線焼灼術や光線力学的治療、ラジオ波などの電子波を用いた腫瘍焼灼術、腫瘍病巣にエタノール等の壊死性薬物を注入する PEIT などの治療がある。

2．集計の対象と集計方法

（1）集計の対象

提供された 18 施設分のデータを集計対象施設とした。本集計においては、悪性新生物＜腫瘍＞及び上皮内癌（性状コード 3，2)、また脳腫瘍の局在コードが、C70.0, C70.1, C70.9, C71.0, C71.1, C71.2, C71.3,C71.4, C71.5, C71.6, C71.7, C71.8, C71.9, C72.0,C72.1, C72.2, C72.3, C72.4, C72.5, C72.8, C72.9,C75.1, C75.2, C75.3 の良性及び良性又は悪性の別不詳、胃腸間質腫瘍、NOS（組織型 8936）の良性又は悪性の別不詳（性状コード 0，1）、および ICD-O-3 の形態コードで先の登録対象として述べた 8442，8444，8451，8462，8463，8472，8473 の範囲の性状不詳腫瘍で卵巣に原発するものを集計対象とした。

（2）集計項目の定義

● 診断日

[400] 診断施設が「1:自施設診断」の場合は、[370] 自施設診断日、「2：他施設診断」の場合は、[350] 当該腫瘍初診日を診断日（起算日）とする。

● 症例区分

当該腫瘍に対しての自施設の位置づけを総合的に判断する項目。

10：診断のみ→自施設で診断したが、治療の施行は他施設へ紹介・依頼した場合。

20：自施設診断・自施設初回治療開始→自施設で診断および初回治療に関する決定をし、腫瘍そのものへの治療を開始した場合（経過観察の決定および実行した場合も含む)。

21：自施設診断・自施設初回治療継続→自施設で診断した後、他施設で初回治療が開始され、その後、自施設で初回治療の一部を実施した場合（自施設での経過観察の実行は含まない）

30：他施設診断・自施設初回治療開始→他施設で診断された後、自施設を受診し、自施設で腫瘍そのものへの治療を開始した場合（経過観察の決定および実行した場合も含む）

31：他施設診断・自施設初回治療継続→他施設で診断した後、他施設で初回治療の一部を実施した場合（自施設での経過観察の実行は含まない）

40：初回治療終了後→他施設で初回治療終了後に自施設を受診した場合。自施設受診後の治療の有無は問わない。

80：その他→ 10 ～ 40 のいずれにも分類できない場合。他施設診断症例で、治療目的に紹介されたが、自施設では治療は行なわず、他施設へ紹介した場合も含まれる。

2018 年診断例について、症例区分 21:自施設診断・自施設初回治療継続例、31：他施設診断・自施設初回治療継続例であっても、その他治療無しで、かつ自施設における外科的治療、鏡視下治療、内視鏡的治療、放射線療法、化学療法、内分泌療法の施行日が実施有であるが、いずれの治療おいても診断から 5 ヶ月（155 日）を超えていた場合は、当該治療を実施していなかった、すなわち症例区分 21：自施設診断・自施設初回治療継続例は、10：診断のみへ、症例区分 31：他施設診断・自施設初回治療継続例は、80：その他へ変換して集計した。但し、造血器系腫瘍（院内がん登録部位分類における悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、白血病、他の造血器腫瘍）においては、経過観察が病院間で引き継がれることがあり、このような変換からは除外した。尚、診断日より 1 ヶ月以上（31 日）前に実施された治療は当該腫瘍に対する治療ではないとし、治療なしとした。

● 性別

半陰陽や性同一性障害による戸籍性別の変更等のため、性別で特有の臓器に発生した腫瘍と戸籍上の性別が矛盾する場合も、登録された性を用いて分類した。

● 年齢

年齢は、生年月日と診断日を用いて、下記の定義で求めた。生年月日と診断日の日付情報に不明が含まれない場合は、「(診断日（年月日）（日単位）－生年月日（日単位））÷ 365.25」とし、小数点以下は切り捨てとした。生年月日と診断日の日情報に不明が含まれる場合は、「診断年月の月 >= 生年月日の月のときは、診断年月の年－生年」「診断年月の月 < 生年月日の月のときは、診断年月の年－生年－ 1 」とした。

● 部位区分

表 1 部位分類コード対応に基づき、作成した。なお、上皮内癌等を含む、すなわち性状コード 2、3 及び頭蓋内腫瘍の性状 0、1 を持つ症例の合計を基本の集計単位としており、特に明記の無い場合は、上皮内癌等を含んでいる。上皮内癌等を含まない（悪性新生物＜腫瘍＞）と定義されている場合は、性状コード 3 の症例を対象としている。

● 臨床病期

治療前ステージ

本報告書では、胃、大腸、肝臓、肺、乳、口腔・咽頭、胆のう・胆管、膵臓、皮膚、子宮頸部、子宮体部、前立腺について集計した。本報告書において集計対象とした形態コードは表 2 のとおりである。

術後病理学的ステージ

主要 5 部位、口腔・咽頭、胆のう・胆管、膵臓、皮膚、子宮頸部、子宮体部、前立腺において、治療前ステージと同じ形態コードのみを集計対象とした。なお、「項目：外科的・体腔鏡的・内視鏡的治療」の結果の区分が原発巣切除の患者のみを集計対象とした。

総合ステージ

病期は患者の予後に影響する重要な要因である。そこで、治療開始時点でのがんの状態をより正確に表しているとされる術後病理学的ステージを第一優先とし、術前治療が行われた術後病理学的ステージの適用外及び術後病理学的ステージが不詳であった例、観血的治療を行っていない例では、治療前ステージを用いてがんの治療開始時点での病期を示す指標として総合ステージを算出した。

● 治療方法

手術

外科的治療と鏡視下治療のいずれか、または両方が実施された患者を合算して手術として集計した。

薬物療法

化学療法、内分泌療法のいずれかが実施された患者を合算して薬物療法として集計した。但し、内分泌療法には前立腺癌における除睾術等も含まれる。

その他の治療

肝動脈塞栓術、アルコール注入療法、温熱療法、ラジオ波焼灼を含むレーザー等焼灼療法、その他の治療のいずれかが実施された患者をその他の治療として集計した。集計用の治療方法の分類は、下記のとおり。

1. 手術のみ
2. 内視鏡のみ
3. 手術＋内視鏡
4. 放射線のみ
5. 薬物療法のみ
6. 放射線＋薬物
7. 薬物＋その他
8. 手術 / 内視鏡＋放射線
9. 手術 / 内視鏡＋薬物
10. 手術 / 内視鏡＋その他
11. 手術 / 内視鏡＋放射線＋薬物
12. 他の組み合わせ
13. 経過観察

但し、2016 年診断例より自施設での治療施行日が登録されている外科的治療、鏡視下治療、内視鏡的治療、放射線治療、化学療法、内分泌療法の自施設治療施行日が 5 ヶ月（155 日）を超えていた場合は、当該治療を実施しなかったとして集計した。また、診断日より 1 ヶ月（31 日）より前に行なわれた治療は当該腫瘍に対する治療ではなかったとし、治療実施なしとして集計した。

（3）「症例区分 80：その他」の扱いについて

症例区分 80（全登録様式 8）：その他 は、セカンドオピニオンのみの症例については、登録しなくてもよいこととなっているが、2015 年診断例までは任意で登録されていたため施設によっては、登録されている場合が考えられる。そこで、症例区分 80 を含む数を全登録数、症例区分 80 を除いた数を集計登録数と定義し、結果では、症例区分 80 を除いた集計を行なった。

3．生存率の集計対象と集計方法

（1）集計の対象

がん診療連携拠点病院３施設の予後情報付腫瘍データを集計対象とした。

● 生存状況把握割合算出のための集計対象

ⅰ．新生物（腫瘍）の性状コード

本集計では､原則として新生物（腫瘍）の性状コード３の「悪性、原発部位（悪性新生物＜腫瘍＞）」の例を集計した。

ⅱ．死亡日（項目番号：650）

「項目番号 660：予後調査結果」において、死亡と登録されているにも関わらず､「項目番号 650：死亡日」が登録されていなかった例（死亡日不詳例）については､「項目 640：生存最終確認日」を死亡日として用いた。死亡日及び生存最終確認日ともに不詳であった場合は、集計から除外した。

ⅲ．年齢と性別

相対生存率は、性別、年齢（診断時）、診断年からコホート生存率表を用いて算出する。そのため、年齢及び性別が不明であった例は集計対象から除外した。

ⅳ．生存状況把握割合

生存率の算出において、集計対象例の５年後の生存状況を把握していることは必須である。しかし、生存確認調査の実施においては障害も多く、生存状況把握割合が低い集計値が散見されたため、本集計では以下のとおり公表基準を設け、公表することとした。

＊生死不明割合 10% 以下、かつ症例数 30 症例以上のものは５年相対生存率と標準誤差を表記。

＊生死不明割合 10% 以下、かつ症例数１～29 症例のものは５年相対生存率と標準誤差を表記のうえ、網掛け。

＊生死不明割合 10% 以上の場合は、５相対生存率と標準誤差の値を伏せ､ハイフン（--）で表記した。

＊対象者数が「0」の場合は、５相対生存率と標準誤差、生死不明割合を、値なしのハイフン（--）で表記した。

（2）集計項目の定義

集計項目の定義は、院内がん登録集計項目の定義に準ずる。

（3）生存率の集計方法

生命表方式に基づき、患者の５年累積（実測）生存率を算出した。さらに、患者群と同じ性・年齢分布をもつ日本の一般人の集団での期待生存率を別に算出し、前者を後者で除して相対生存率とした。期待生存率の算出にあたっては、全国人口での暦年別・性別・各歳別死亡率から計算されたコホート生存率表を使用した。

期待生存率の計算方法については、観察開始時における性・年齢分布に基づく Ederer Ⅰ法ではなく、対象者による観察期間の違いを考慮した Ederer Ⅱ法を採用する。

表 1　部位分類コード

部位名	第 1 段階 ICD-O-3 形態コード	第 2 段階 ICD-O-3 部位コード
口腔・咽頭		C00-C14
食道		C15
胃		C16
結腸		C18
直腸		C19-C20
大腸		C18-C20
肝臓		C22
胆嚢・胆管		C23-C24
膵臓		C25
喉頭		C32
肺		C33-C34
骨・軟部		C40-C41、C47、C49
皮膚（黒色腫を含む）		C44
乳房		C50
子宮頸部		C53
子宮体部		C54
子宮 NOS		C55
卵巣		C56
前立腺		C61
膀胱		C67
腎・他の尿路		C64-C66、C68
脳・中枢神経系		C70、C71、C72、C751-C753
甲状腺		C73
悪性リンパ腫	959-972 974-975	
多発性骨髄腫	973、976	
白血病	980-994	
他の造血器腫瘍	995-998、999	C421
その他		第 1 段階、第 2 段階で変換された以外の症例

表 2　病期分類対象コード

	局在コード	形態コード							
胃癌	C160, C161-166, C168, C169	8000-8157 (但し、8153 を除く)	8160-8162	8170-8231	8244	8246-8247	8250-8551	8560-8576	8940-8941
大腸癌	C180, C182 C189, C199, C209	8000-8157 (但し、8153 を除く)	8160-8162	8170-8231		8246-8247	8250-8551	8560-8576	8940-8941
肝細胞癌	C220	8170-8175							
肝内胆管癌	C221	8013, 8041, 8148, 8160-8161, 8180, 8246, 8980							
肺癌	C340-343, C348, C349	8000-8157	8160-8162	8170-8231	8240-8245	8246-8247, 8249	8250-8551	8560-8576	8940-8941, 8972, 8980
乳癌	C500-509	8000-8157	8160-8162	8170-8231		8246-8247	8250-8551	8560-8576	8940-8941, 8982
膵臓癌	C250-253, C257, C259	8000-8157	8160-8162	8170-8231	8240-8245	8246-8247	8250-8551, 8552	8560-8576	8940-8941, 8971
前立腺癌	C619	8000-8157 (但し、8120-8131 を除く)	8160-8162	8170-8231	8240	8246-8247	8250-8551	8560-8576	8940-8941
子宮頸癌	C530-531, C538, C539	8000-8157	8160-8162	8170-8231	8240	8246-8247, 8249	8250-8551	8560-8576	8940-8941
子宮内膜癌	C540-543, C548, C549	8000-8157	8160-8162	8170-8231	8240	8246-8247	8250-8551	8560-8576	8940-8941, 8980

2018 年沖縄県
院内がん登録実施施設
集計結果



登録対象の特性

データを見ると

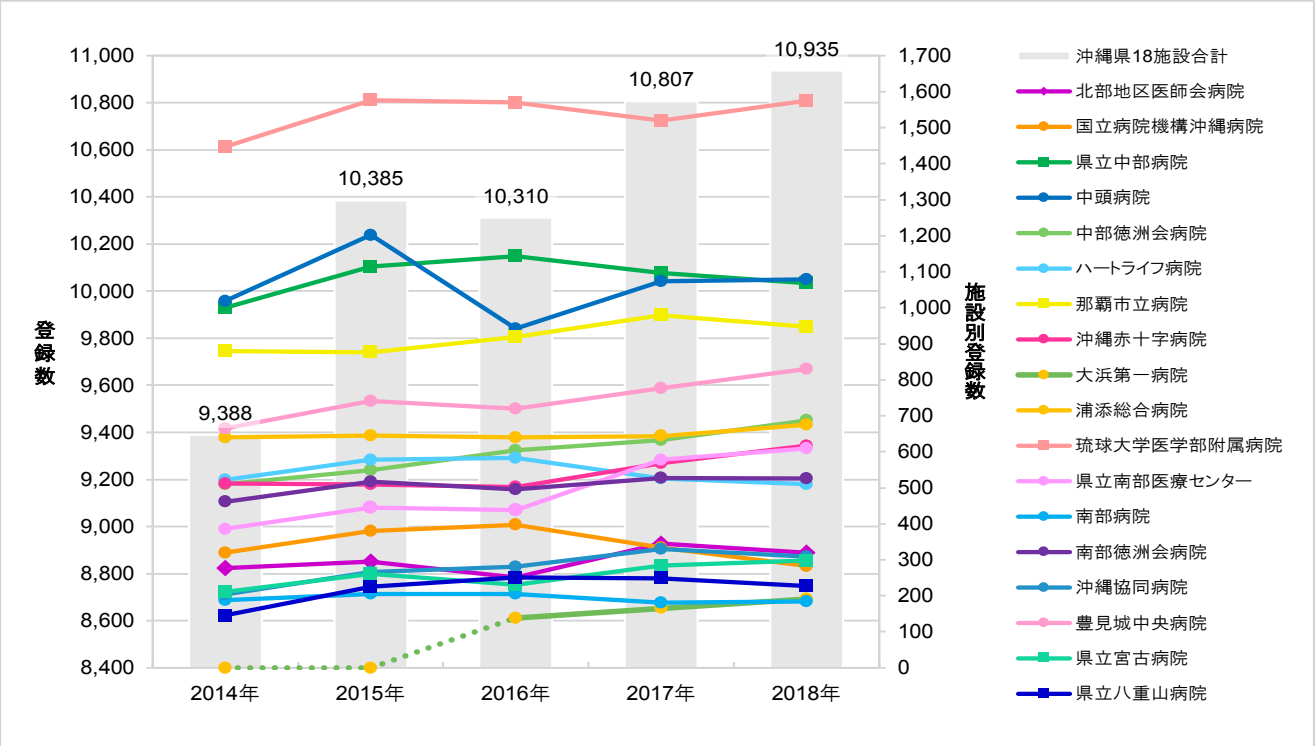
18 施設の症例区分「80：その他」を除いた登録数は計 10,935 件（2018 年）で、登録数は前年とほぼ同数でした。18 施設の登録において腫瘍の重複はありますが、院内がん登録の精度が年々向上していることを考慮すると、沖縄県で発生するがんを 18 施設でほぼカバーしていると推測されます。

施設別登録数は 184 件～ 1,575 件で、登録数を年齢階級別にみると、50 ～ 59 歳では 12.9％、60 歳～ 69 歳では 26.5％、70 歳～ 79 歳では 23.8％、80 歳以上では 23.2％で、全国と比べると、70 歳代で 7.4％下回り、80 歳以上で 3.6％上回っていました。

施設別症例区分別登録数は、「自施設診断･自施設治療開始」の割合が 9.8％～ 79.0％と、施設間でバラツキがみられました。「診断のみ」の割合は 3.3％ ～ 28.9％で、県立宮古病院 28.9％、北部地区医師会病院 15.4％。また、施設別発見経緯別登録数は、なんらかの症状があり医療機関を受診した際に、がんが発見された「その他」の占める割合 48.4％と高く、「がん検診･健康診断･人間ドック」は 15.0％と低いことから、がんを早期に発見することができていない可能性が考えられます。

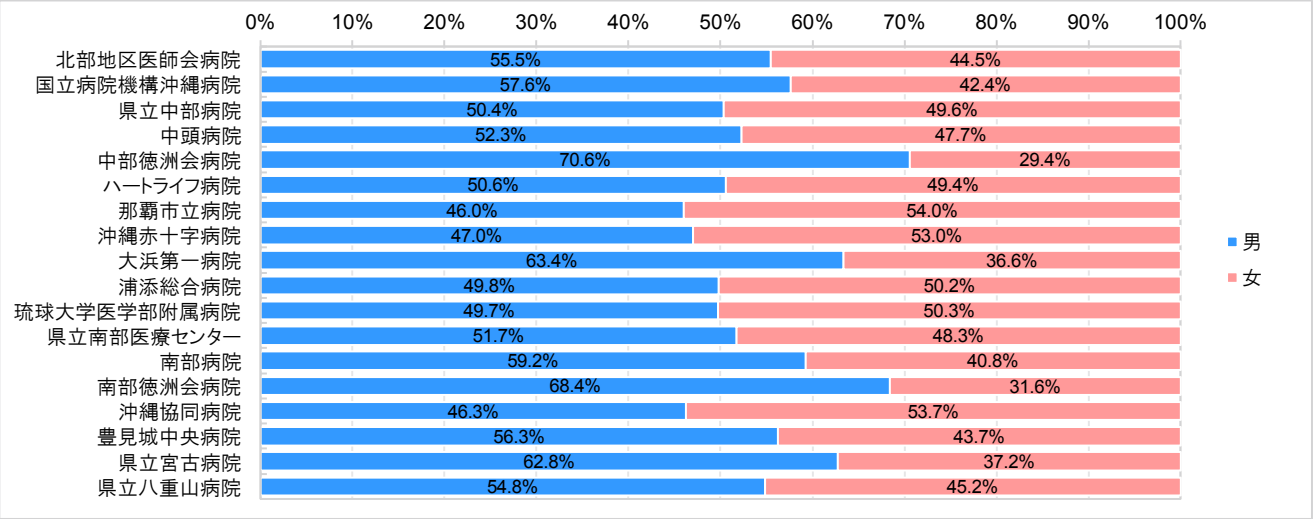
施設別　登録数の推移

		2014年		2015年		2016年		2017年		2018年	
二次保健医療圏	沖縄県18施設合計	9,388	(100.0%)	10,385	(100.0%)	10,310	(100.0%)	10,807	(100.0%)	10,935	(100.0%)
北部保健医療圏	北部地区医師会病院	277	(3.0%)	295	(2.8%)	251	(2.4%)	345	(3.2%)	319	(2.9%)
中部保健医療圏	国立病院機構沖縄病院	320	(3.4%)	380	(3.7%)	397	(3.9%)	334	(3.1%)	283	(2.6%)
	県立中部病院	1,000	(10.7%)	1,115	(10.7%)	1,143	(11.1%)	1,097	(10.2%)	1,068	(9.8%)
	中頭病院	1,019	(10.9%)	1,202	(11.6%)	942	(9.1%)	1,074	(9.9%)	1,079	(9.9%)
	中部徳洲会病院	510	(5.4%)	549	(5.3%)	604	(5.9%)	632	(5.8%)	687	(6.3%)
	ハートライフ病院	522	(5.6%)	578	(5.6%)	583	(5.7%)	526	(4.9%)	510	(4.7%)
南部保健医療圏	那覇市立病院	880	(9.4%)	876	(8.4%)	919	(8.9%)	979	(9.1%)	947	(8.7%)
	沖縄赤十字病院	512	(5.5%)	509	(4.9%)	502	(4.9%)	568	(5.3%)	617	(5.6%)
	大浜第一病院	--	--	--	--	139	(1.3%)	165	(1.5%)	191	(1.7%)
	浦添総合病院	640	(6.8%)	645	(6.2%)	640	(6.2%)	644	(6.0%)	675	(6.2%)
	琉球大学医学部附属病院	1,447	(15.4%)	1,576	(15.2%)	1,570	(15.2%)	1,519	(14.1%)	1,575	(14.4%)
	県立南部医療センター･こども医療センター	386	(4.1%)	445	(4.3%)	438	(4.2%)	578	(5.3%)	609	(5.6%)
	南部病院	188	(2.0%)	205	(2.0%)	205	(2.0%)	181	(1.7%)	184	(1.7%)
	南部徳洲会病院	461	(4.9%)	517	(5.0%)	495	(4.8%)	527	(4.9%)	526	(4.8%)
	沖縄協同病院	204	(2.2%)	266	(2.6%)	281	(2.7%)	330	(3.1%)	309	(2.8%)
	豊見城中央病院	665	(7.1%)	741	(7.1%)	720	(7.0%)	776	(7.2%)	830	(7.6%)
宮古保健医療圏	県立宮古病院	211	(2.2%)	261	(2.5%)	230	(2.2%)	284	(2.6%)	298	(2.7%)
八重山保健医療圏	県立八重山病院	146	(1.6%)	225	(2.2%)	251	(2.4%)	248	(2.3%)	228	(2.1%)



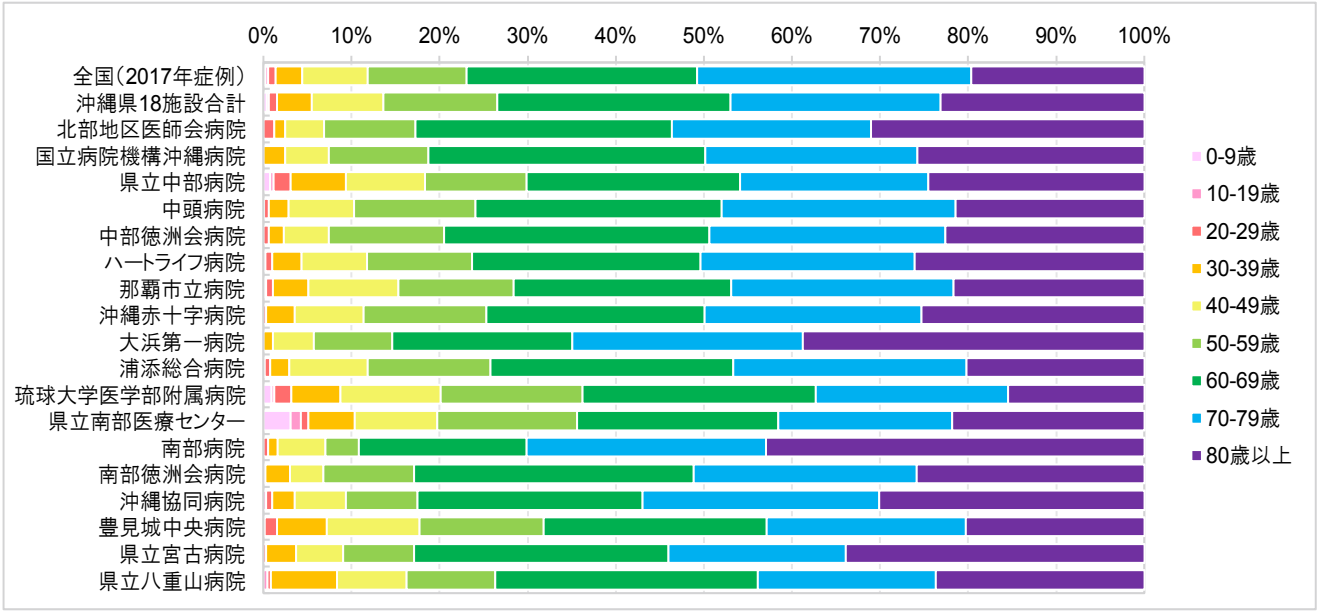
＊症例区分「80：その他」を除いて集計
＊県立南部医療センター・こども医療センターを便宜上、「県立南部医療センター」と表記

施設別　性別の登録割合



施設別　年齢階級別　登録数と登録割合

	0-9歳	10-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上	合計
全国(2017年症例)	1,705 (0.2%)	1,965 (0.3%)	6,471 (0.9%)	21,457 (3.0%)	52,941 (7.4%)	79,976 (11.2%)	186,117 (26.1%)	221,871 (31.2%)	139,698 (19.6%)	712,201 (100.0%)
沖縄県18施設合計	44 (0.4%)	23 (0.2%)	105 (1.0%)	425 (3.9%)	896 (8.2%)	1,410 (12.9%)	2,894 (26.5%)	2,606 (23.8%)	2,532 (23.2%)	10,935 (100.0%)
北部地区医師会病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (1.3%)	4 (1.3%)	14 (4.4%)	33 (10.3%)	93 (29.2%)	72 (22.6%)	99 (31.0%)	319 (100.0%)
国立病院機構沖縄病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7 (2.5%)	14 (4.9%)	32 (11.3%)	89 (31.4%)	68 (24.0%)	73 (25.8%)	283 (100.0%)
県立中部病院	8 (0.7%)	4 (0.4%)	21 (2.0%)	67 (6.3%)	96 (9.0%)	123 (11.5%)	259 (24.3%)	228 (21.3%)	262 (24.5%)	1,068 (100.0%)
中頭病院	1 (0.1%)	0 (0.0%)	6 (0.6%)	24 (2.2%)	80 (7.4%)	149 (13.8%)	301 (27.9%)	287 (26.6%)	231 (21.4%)	1,079 (100.0%)
中部徳洲会病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (0.6%)	12 (1.7%)	35 (5.1%)	90 (13.1%)	207 (30.1%)	184 (26.8%)	155 (22.6%)	687 (100.0%)
ハートライフ病院	0 (0.0%)	1 (0.2%)	4 (0.8%)	17 (3.3%)	38 (7.5%)	61 (12.0%)	132 (25.9%)	124 (24.3%)	133 (26.1%)	510 (100.0%)
那覇市立病院	2 (0.2%)	1 (0.1%)	7 (0.7%)	38 (4.0%)	97 (10.2%)	124 (13.1%)	234 (24.7%)	239 (25.2%)	205 (21.6%)	947 (100.0%)
沖縄赤十字病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (0.3%)	20 (3.2%)	48 (7.8%)	86 (13.9%)	153 (24.8%)	152 (24.6%)	156 (25.3%)	617 (100.0%)
大浜第一病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (1.0%)	9 (4.7%)	17 (8.9%)	39 (20.4%)	50 (26.2%)	74 (38.7%)	191 (100.0%)
浦添総合病院	0 (0.0%)	1 (0.1%)	4 (0.6%)	15 (2.2%)	60 (8.9%)	94 (13.9%)	186 (27.6%)	179 (26.5%)	136 (20.1%)	675 (100.0%)
琉球大学医学部附属病院	14 (0.9%)	6 (0.4%)	30 (1.9%)	88 (5.6%)	179 (11.4%)	254 (16.1%)	417 (26.5%)	343 (21.8%)	244 (15.5%)	1,575 (100.0%)
県立南部医療センター･こども医療センター	19 (3.1%)	7 (1.1%)	5 (0.8%)	32 (5.3%)	57 (9.4%)	97 (15.9%)	139 (22.8%)	120 (19.7%)	133 (21.8%)	609 (100.0%)
南部病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.5%)	2 (1.1%)	10 (5.4%)	7 (3.8%)	35 (19.0%)	50 (27.2%)	79 (42.9%)	184 (100.0%)
南部徳洲会病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.2%)	15 (2.9%)	20 (3.8%)	54 (10.3%)	167 (31.7%)	133 (25.3%)	136 (25.9%)	526 (100.0%)
沖縄協同病院	0 (0.0%)	1 (0.3%)	2 (0.6%)	8 (2.6%)	18 (5.8%)	25 (8.1%)	79 (25.6%)	83 (26.9%)	93 (30.1%)	309 (100.0%)
豊見城中央病院	0 (0.0%)	1 (0.1%)	12 (1.4%)	47 (5.7%)	87 (10.5%)	117 (14.1%)	210 (25.3%)	188 (22.7%)	168 (20.2%)	830 (100.0%)
県立宮古病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.3%)	10 (3.4%)	16 (5.4%)	24 (8.1%)	86 (28.9%)	60 (20.1%)	101 (33.9%)	298 (100.0%)
県立八重山病院	0 (0.0%)	1 (0.4%)	1 (0.4%)	17 (7.5%)	18 (7.9%)	23 (10.1%)	68 (29.8%)	46 (20.2%)	54 (23.7%)	228 (100.0%)



＊症例区分「８０：その他」を除いて集計
＊県立南部医療センター・こども医療センターを便宜上、「県立南部医療センター」と表記

施設別　症例区分別　登録数

	診断のみ	自施設診断・自施設初回治療開始	自施設診断・自施設初回治療継続	他施設診断・自施設初回治療開始	他施設診断・自施設初回治療継続	初回治療終了後	合計
全国(2017年症例)	42,302 (5.9%)	438,978 (61.6%)	1,124 (0.2%)	153,312 (21.5%)	23,838 (3.3%)	52,647 (7.4%)	712,201 (100.0%)
沖縄県18施設合計	856 (7.8%)	6,721 (61.5%)	33 (0.3%)	1,651 (15.1%)	626 (5.7%)	1,048 (9.6%)	10,935 (100.0%)
北部地区医師会病院	49 (15.4%)	191 (59.9%)	0 (0.0%)	22 (6.9%)	15 (4.7%)	42 (13.2%)	319 (100.0%)
国立病院機構沖縄病院	11 (3.9%)	91 (32.2%)	0 (0.0%)	43 (15.2%)	3 (1.1%)	135 (47.7%)	283 (100.0%)
県立中部病院	35 (3.3%)	783 (73.3%)	0 (0.0%)	141 (13.2%)	47 (4.4%)	62 (5.8%)	1,068 (100.0%)
中頭病院	57 (5.3%)	786 (72.8%)	3 (0.3%)	190 (17.6%)	25 (2.3%)	18 (1.7%)	1,079 (100.0%)
中部徳洲会病院	54 (7.9%)	513 (74.7%)	7 (1.0%)	86 (12.5%)	9 (1.3%)	18 (2.6%)	687 (100.0%)
ハートライフ病院	40 (7.8%)	392 (76.9%)	0 (0.0%)	24 (4.7%)	6 (1.2%)	48 (9.4%)	510 (100.0%)
那覇市立病院	50 (5.3%)	549 (58.0%)	0 (0.0%)	201 (21.2%)	91 (9.6%)	56 (5.9%)	947 (100.0%)
沖縄赤十字病院	46 (7.5%)	364 (59.0%)	0 (0.0%)	57 (9.2%)	76 (12.3%)	74 (12.0%)	617 (100.0%)
大浜第一病院	45 (23.6%)	125 (65.4%)	0 (0.0%)	7 (3.7%)	8 (4.2%)	6 (3.1%)	191 (100.0%)
浦添総合病院	71 (10.5%)	416 (61.6%)	8 (1.2%)	74 (11.0%)	70 (10.4%)	36 (5.3%)	675 (100.0%)
琉球大学医学部附属病院	71 (4.5%)	761 (48.3%)	1 (0.1%)	506 (32.1%)	93 (5.9%)	143 (9.1%)	1,575 (100.0%)
県立南部医療センター・こども医療センター	44 (7.2%)	317 (52.1%)	1 (0.2%)	98 (16.1%)	75 (12.3%)	74 (12.2%)	609 (100.0%)
南部病院	8 (4.3%)	18 (9.8%)	0 (0.0%)	1 (0.5%)	2 (1.1%)	155 (84.2%)	184 (100.0%)
南部徳洲会病院	25 (4.8%)	269 (51.1%)	0 (0.0%)	56 (10.6%)	77 (14.6%)	99 (18.8%)	526 (100.0%)
沖縄協同病院	33 (10.7%)	244 (79.0%)	0 (0.0%)	10 (3.2%)	3 (1.0%)	19 (6.1%)	309 (100.0%)
豊見城中央病院	98 (11.8%)	583 (70.2%)	1 (0.1%)	98 (11.8%)	14 (1.7%)	36 (4.3%)	830 (100.0%)
県立宮古病院	86 (28.9%)	187 (62.8%)	0 (0.0%)	21 (7.0%)	1 (0.3%)	3 (1.0%)	298 (100.0%)
県立八重山病院	33 (14.5%)	132 (57.9%)	12 (5.3%)	16 (7.0%)	11 (4.8%)	24 (10.5%)	228 (100.0%)

施設別　来院経路別　登録数

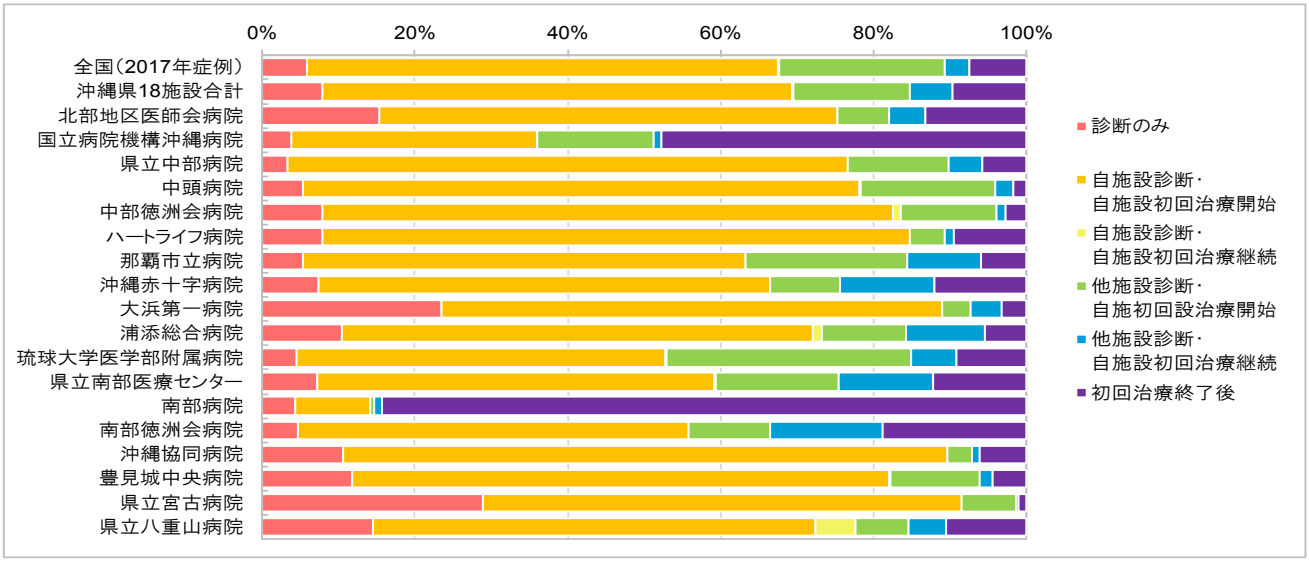
	自主的受診	他施設からの紹介	自施設での他疾患経過観察中	その他	不明	合計
全国(2017年症例)	55,803 (7.8%)	511,176 (71.8%)	136,118 (19.1%)	8,910 (1.3%)	194 (0.0%)	712,201 (100.0%)
沖縄県18施設合計	1,745 (16.0%)	6,838 (62.5%)	2,187 (20.0%)	162 (1.5%)	3 (0.0%)	10,935 (100.0%)
北部地区医師会病院	46 (14.4%)	186 (58.3%)	77 (24.1%)	9 (2.8%)	1 (0.3%)	319 (100.0%)
国立病院機構沖縄病院	7 (2.5%)	264 (93.3%)	12 (4.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	283 (100.0%)
県立中部病院	193 (18.1%)	572 (53.6%)	274 (25.7%)	29 (2.7%)	0 (0.0%)	1,068 (100.0%)
中頭病院	221 (20.5%)	616 (57.1%)	226 (20.9%)	16 (1.5%)	0 (0.0%)	1,079 (100.0%)
中部徳洲会病院	212 (30.9%)	282 (41.0%)	185 (26.9%)	8 (1.2%)	0 (0.0%)	687 (100.0%)
ハートライフ病院	107 (21.0%)	199 (39.0%)	187 (36.7%)	17 (3.3%)	0 (0.0%)	510 (100.0%)
那覇市立病院	92 (9.7%)	637 (67.3%)	206 (21.8%)	12 (1.3%)	0 (0.0%)	947 (100.0%)
沖縄赤十字病院	115 (18.6%)	415 (67.3%)	85 (13.8%)	2 (0.3%)	0 (0.0%)	617 (100.0%)
大浜第一病院	68 (35.6%)	69 (36.1%)	44 (23.0%)	10 (5.2%)	0 (0.0%)	191 (100.0%)
浦添総合病院	59 (8.7%)	420 (62.2%)	181 (26.8%)	13 (1.9%)	2 (0.3%)	675 (100.0%)
琉球大学医学部附属病院	9 (0.6%)	1,375 (87.3%)	188 (11.9%)	3 (0.2%)	0 (0.0%)	1,575 (100.0%)
県立南部医療センター・こども医療センター	43 (7.1%)	449 (73.7%)	100 (16.4%)	17 (2.8%)	0 (0.0%)	609 (100.0%)
南部病院	14 (7.6%)	150 (81.5%)	17 (9.2%)	3 (1.6%)	0 (0.0%)	184 (100.0%)
南部徳洲会病院	138 (26.2%)	320 (60.8%)	61 (11.6%)	7 (1.3%)	0 (0.0%)	526 (100.0%)
沖縄協同病院	142 (46.0%)	72 (23.3%)	93 (30.1%)	2 (0.6%)	0 (0.0%)	309 (100.0%)
豊見城中央病院	95 (11.4%)	561 (67.6%)	165 (19.9%)	9 (1.1%)	0 (0.0%)	830 (100.0%)
県立宮古病院	133 (44.6%)	123 (41.3%)	42 (14.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	298 (100.0%)
県立八重山病院	51 (22.4%)	128 (56.1%)	44 (19.3%)	5 (2.2%)	0 (0.0%)	228 (100.0%)

施設別　発見経緯別　登録数

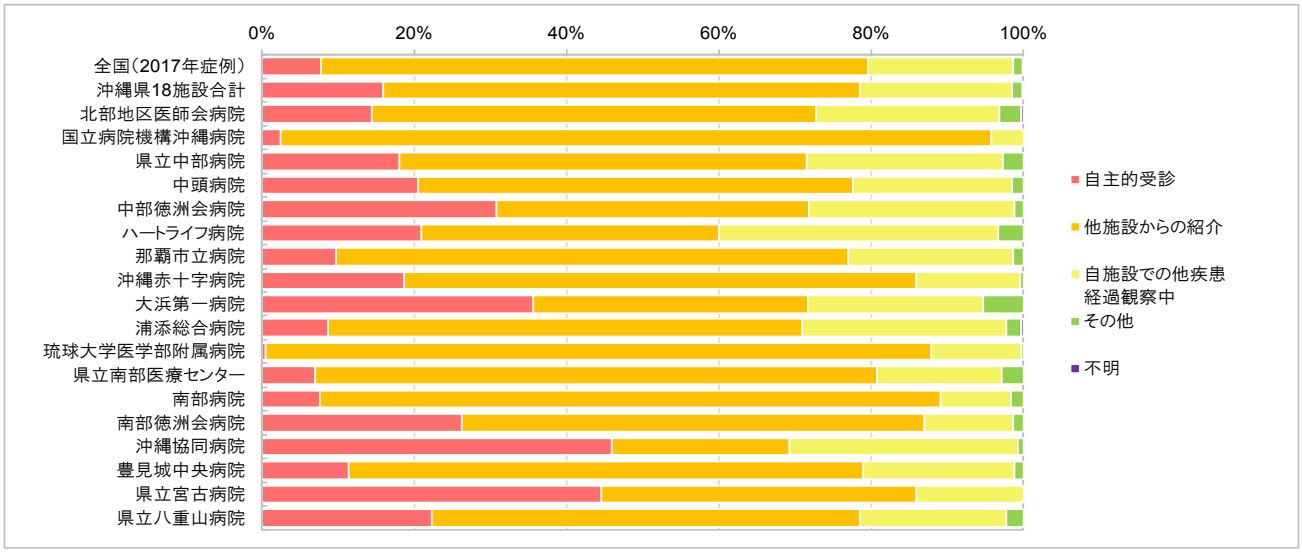
	がん検診・健康診断・人間ドック	他疾患経過観察中の偶然発見	剖検発見(Aiを含む)	その他	不明	合計
全国(2017年症例)	112,324 (15.8%)	235,862 (33.1%)	46 (0.0%)	331,376 (46.5%)	32,593 (4.6%)	712,201 (100.0%)
沖縄県18施設合計	1,636 (15.0%)	3,393 (31.0%)	2 (0.0%)	5,293 (48.4%)	611 (5.6%)	10,935 (100.0%)
北部地区医師会病院	66 (20.7%)	71 (22.3%)	0 (0.0%)	140 (43.9%)	42 (13.2%)	319 (100.0%)
国立病院機構沖縄病院	49 (17.3%)	59 (20.8%)	0 (0.0%)	104 (36.7%)	71 (25.1%)	283 (100.0%)
県立中部病院	156 (14.6%)	353 (33.1%)	0 (0.0%)	526 (49.3%)	33 (3.1%)	1,068 (100.0%)
中頭病院	211 (19.6%)	414 (38.4%)	0 (0.0%)	443 (41.1%)	11 (1.0%)	1,079 (100.0%)
中部徳洲会病院	120 (17.5%)	152 (22.1%)	0 (0.0%)	415 (60.4%)	0 (0.0%)	687 (100.0%)
ハートライフ病院	92 (18.0%)	188 (36.9%)	0 (0.0%)	210 (41.2%)	20 (3.9%)	510 (100.0%)
那覇市立病院	159 (16.8%)	351 (37.1%)	0 (0.0%)	343 (36.2%)	94 (9.9%)	947 (100.0%)
沖縄赤十字病院	76 (12.3%)	130 (21.1%)	2 (0.3%)	350 (56.7%)	59 (9.6%)	617 (100.0%)
大浜第一病院	23 (12.0%)	57 (29.8%)	0 (0.0%)	101 (52.9%)	10 (5.2%)	191 (100.0%)
浦添総合病院	115 (17.0%)	305 (45.2%)	0 (0.0%)	230 (34.1%)	25 (3.7%)	675 (100.0%)
琉球大学医学部附属病院	160 (10.2%)	368 (23.4%)	0 (0.0%)	958 (60.8%)	89 (5.7%)	1,575 (100.0%)
県立南部医療センター・こども医療センター	41 (6.7%)	336 (55.2%)	0 (0.0%)	164 (26.9%)	68 (11.2%)	609 (100.0%)
南部病院	10 (5.4%)	29 (15.8%)	0 (0.0%)	98 (53.3%)	47 (25.5%)	184 (100.0%)
南部徳洲会病院	67 (12.7%)	69 (13.1%)	0 (0.0%)	379 (72.1%)	11 (2.1%)	526 (100.0%)
沖縄協同病院	38 (12.3%)	104 (33.7%)	0 (0.0%)	159 (51.5%)	8 (2.6%)	309 (100.0%)
豊見城中央病院	198 (23.9%)	277 (33.4%)	0 (0.0%)	337 (40.6%)	18 (2.2%)	830 (100.0%)
県立宮古病院	23 (7.7%)	65 (21.8%)	0 (0.0%)	210 (70.5%)	0 (0.0%)	298 (100.0%)
県立八重山病院	32 (14.0%)	65 (28.5%)	0 (0.0%)	126 (55.3%)	5 (2.2%)	228 (100.0%)

＊症例区分「80：その他」を除いて集計

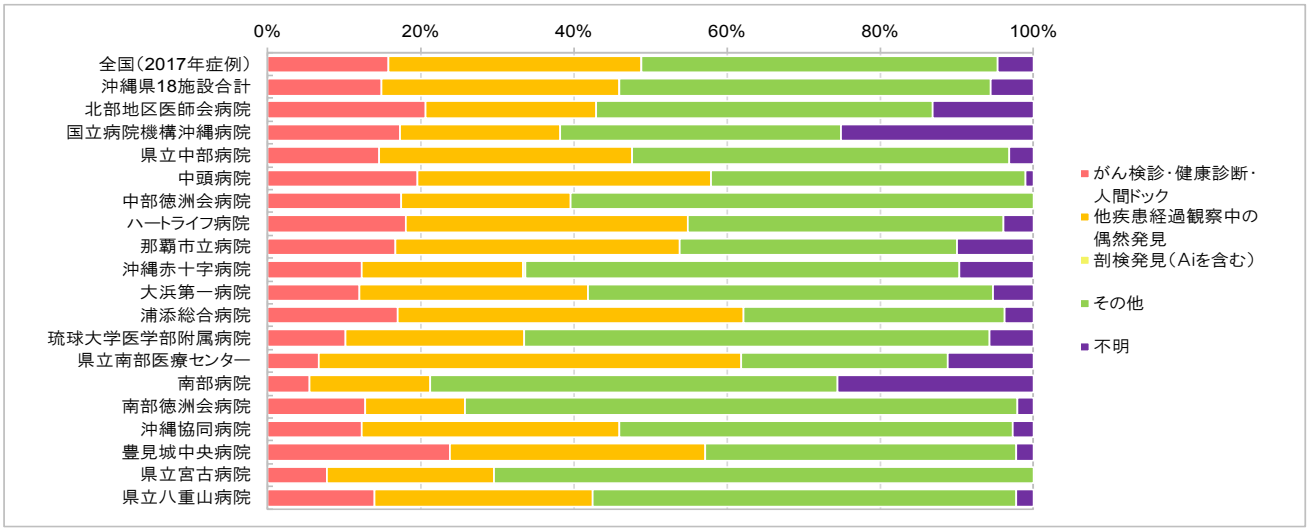
施設別　症例区分別　登録割合



施設別　来院経路別　登録割合



施設別　発見経緯別　登録割合



＊症例区分「80：その他」を除いて集計
＊県立南部医療センター・こども医療センターを便宜上、「県立南部医療センター」と表記

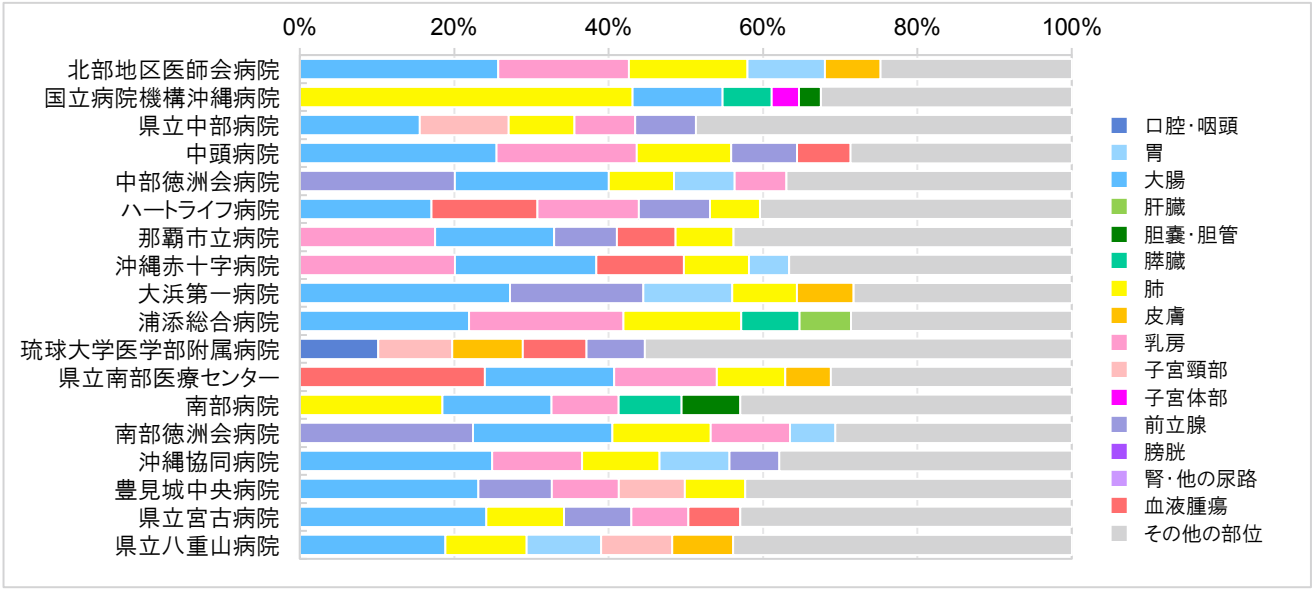
部位別登録数とその推移

データを見ると

登録数に占める割合の高い上位５部位を施設別に示しました。上位５部位に、我が国に多い５部位のがん（胃、大腸、肝、肺、乳がん）が含まれる施設が多いことが認められました。それ以外のがんでそれぞれの施設において上位５部位に含まれたのは、口腔・咽頭がん（琉球大学医学部附属病院）、膵臓がん（浦添総合病院、国立病院機構沖縄病院、南部病院）、皮膚がん（琉球大学医学部附属病院、県立南部医療センター・こども医療センター、北部地区医師会病院、県立八重山病院、大浜第一病院）、子宮頸がん（琉球大学医学部附属病院、県立中部病院、豊見城中央病院、県立八重山病院）、前立腺がん（中部徳洲会病院、琉球大学医学部附属病院、南部徳洲会病院、中頭病院、県立中部病院、豊見城中央病院、那覇市立病院、ハートライフ病院、大浜第一病院、県立宮古病院、沖縄協同病院）、血液腫瘍（県立南部医療センター・こども医療センター、琉球大学医学部附属病院、中頭病院、那覇市立病院、ハートライフ病院、沖縄赤十字病院、県立宮古病院）で、沖縄県のがん罹患の特徴と、各施設のがん診療の状況が反映されていました。また、上位５部位以外の「その他」の割合が５割以上だった施設は、琉球大学医学部附属病院でした。

施設別　上位５部位の登録数と登録割合

	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
北部地区医師会病院	大腸 82 (25.7%)	乳房 54 (16.9%)	肺 49 (15.4%)	胃 32 (10.0%)	皮膚 23 (7.2%)	79 (24.8%)	319 (100.0%)
国立病院機構沖縄病院	肺 122 (43.1%)	大腸 33 (11.7%)	膵臓 18 (6.4%)	子宮体部 10 (3.5%)	胆嚢・胆管 8 (2.8%)	92 (32.5%)	283 (100.0%)
県立中部病院	大腸 166 (15.5%)	子宮頸部 123 (11.5%)	肺 91 (8.5%)	乳房 84 (7.9%)	前立腺 84 (7.9%)	520 (48.7%)	1,068 (100.0%)
中頭病院	大腸 275 (25.5%)	乳房 196 (18.2%)	肺 132 (12.2%)	前立腺 92 (8.5%)	血液腫瘍 75 (7.0%)	309 (28.6%)	1,079 (100.0%)
中部徳洲会病院	前立腺 138 (20.1%)	大腸 137 (19.9%)	肺 58 (8.4%)	胃 54 (7.9%)	乳房 46 (6.7%)	254 (37.0%)	687 (100.0%)
ハートライフ病院	大腸 87 (17.1%)	血液腫瘍 70 (13.7%)	乳房 67 (13.1%)	前立腺 47 (9.2%)	肺 33 (6.5%)	206 (40.4%)	510 (100.0%)
那覇市立病院	乳房 166 (17.5%)	大腸 146 (15.4%)	前立腺 77 (8.1%)	血液腫瘍 72 (7.6%)	肺 71 (7.5%)	415 (43.8%)	947 (100.0%)
沖縄赤十字病院	乳房 124 (20.1%)	大腸 113 (18.3%)	血液腫瘍 70 (11.3%)	肺 52 (8.4%)	胃 32 (5.2%)	226 (36.6%)	617 (100.0%)
大浜第一病院	大腸 52 (27.2%)	前立腺 33 (17.3%)	胃 22 (11.5%)	肺 16 (8.4%)	皮膚 14 (7.3%)	54 (28.3%)	191 (100.0%)
浦添総合病院	大腸 148 (21.9%)	乳房 135 (20.0%)	肺 103 (15.3%)	膵臓 51 (7.6%)	肝臓 45 (6.7%)	193 (28.6%)	675 (100.0%)
琉球大学医学部附属病院	口腔・咽頭 160 (10.2%)	子宮頸部 151 (9.6%)	皮膚 144 (9.1%)	血液腫瘍 130 (8.3%)	前立腺 119 (7.6%)	871 (55.3%)	1,575 (100.0%)
県立南部医療センター・こども医療センター	血液腫瘍 146 (24.0%)	大腸 102 (16.7%)	乳房 81 (13.3%)	肺 54 (8.9%)	皮膚 36 (5.9%)	190 (31.2%)	609 (100.0%)
南部病院	肺 34 (18.5%)	大腸 26 (14.1%)	乳房 16 (8.7%)	膵臓 15 (8.2%)	胆嚢・胆管 14 (7.6%)	79 (42.9%)	184 (100.0%)
南部徳洲会病院	前立腺 118 (22.4%)	大腸 95 (18.1%)	肺 67 (12.7%)	乳房 54 (10.3%)	胃 31 (5.9%)	161 (30.6%)	526 (100.0%)
沖縄協同病院	大腸 77 (24.9%)	乳房 36 (11.7%)	肺 31 (10.0%)	胃 28 (9.1%)	前立腺 20 (6.5%)	117 (37.9%)	309 (100.0%)
豊見城中央病院	大腸 192 (23.1%)	前立腺 79 (9.5%)	乳房 72 (8.7%)	子宮頸部 71 (8.6%)	肺 65 (7.8%)	351 (42.3%)	830 (100.0%)
県立宮古病院	大腸 72 (24.2%)	肺 30 (10.1%)	前立腺 26 (8.7%)	乳房 22 (7.4%)	血液腫瘍 20 (6.7%)	128 (43.0%)	298 (100.0%)
県立八重山病院	大腸 43 (18.9%)	肺 24 (10.5%)	胃 22 (9.6%)	子宮頸部 21 (9.2%)	皮膚 18 (7.9%)	100 (43.9%)	228 (100.0%)



＊症例区分「８０：その他」を除いて集計
＊県立南部医療センター・こども医療センターを便宜上、「県立南部医療センター」と表記
＊登録数が同数の場合、部位コードが小さい順に表記

データを見ると

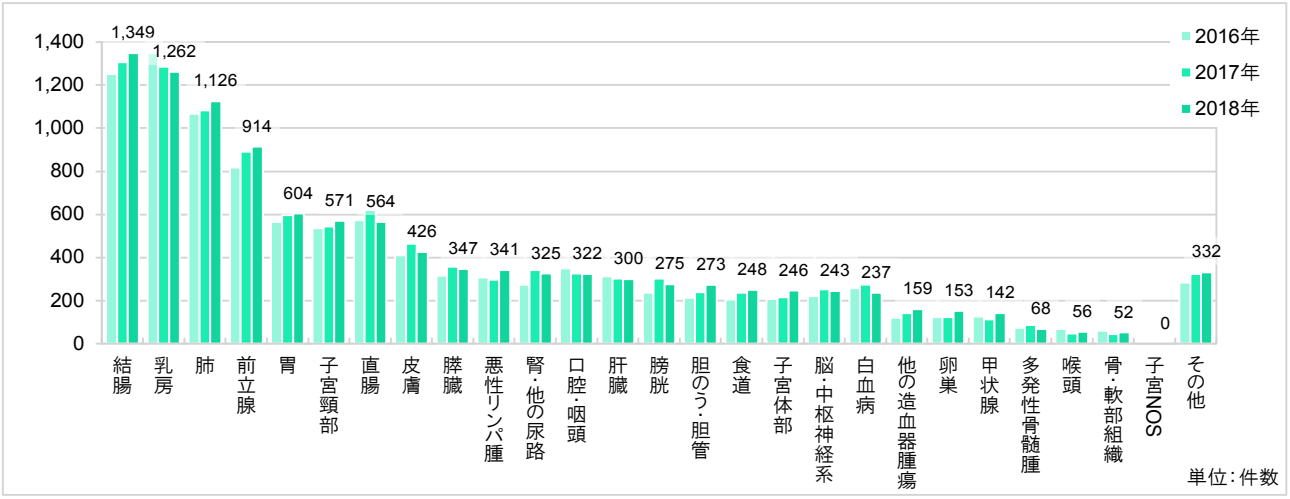
2018年の部位別登録数(男女計)の上位10部位は、大腸1,913件(結腸1,349件、直腸564件)、乳房1,262件、肺1,126件、前立腺914件、胃604件、子宮頸部571件、皮膚426件、膵臓347件、悪性リンパ腫341件、腎・他の尿路325件でした。2017年と比較しても上位10位のすべての順位に変化ありませんでした。

一方、国立がん研究センターがん対策情報センターが、全国のがん診療連携拠点病院等の院内がん登録データを集計している「がん診療連携拠点病院等院内がん登録2017年全国集計報告書」の集計結果では、全国の上位10部位は、大腸、肺、胃、乳房、前立腺、膀胱、子宮頸部、膵臓、悪性リンパ腫、肝臓でした。

沖縄県では乳がんが2位で、皮膚がんと腎・他の尿路がんが上位10部位に入っており、沖縄県のがん罹患の特徴が反映されています。

部位別　登録数の推移 － 男女計

	2016年		2017年		2018年	
全部位	10,310	(100.0%)	10,807	(100.0%)	10,935	(100.0%)
口腔・咽頭	350	(3.4%)	326	(3.0%)	322	(2.9%)
食道	205	(2.0%)	235	(2.2%)	248	(2.3%)
胃	564	(5.5%)	597	(5.5%)	604	(5.5%)
結腸	1,251	(12.1%)	1,306	(12.1%)	1,349	(12.3%)
直腸	573	(5.6%)	619	(5.7%)	564	(5.2%)
肝臓	312	(3.0%)	302	(2.8%)	300	(2.7%)
胆のう・胆管	212	(2.1%)	239	(2.2%)	273	(2.5%)
膵臓	315	(3.1%)	358	(3.3%)	347	(3.2%)
喉頭	69	(0.7%)	48	(0.4%)	56	(0.5%)
肺	1,067	(10.3%)	1,082	(10.0%)	1,126	(10.3%)
骨・軟部組織	60	(0.6%)	45	(0.4%)	52	(0.5%)
皮膚	409	(4.0%)	464	(4.3%)	426	(3.9%)
乳房	1,349	(13.1%)	1,286	(11.9%)	1,262	(11.5%)
子宮頸部	536	(5.2%)	544	(5.0%)	571	(5.2%)
子宮体部	206	(2.0%)	215	(2.0%)	246	(2.2%)
子宮NOS	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
卵巣	122	(1.2%)	124	(1.1%)	153	(1.4%)
前立腺	817	(7.9%)	890	(8.2%)	914	(8.4%)
膀胱	235	(2.3%)	302	(2.8%)	275	(2.5%)
腎・他の尿路	272	(2.6%)	341	(3.2%)	325	(3.0%)
脳・中枢神経系	221	(2.1%)	252	(2.3%)	243	(2.2%)
甲状腺	125	(1.2%)	112	(1.0%)	142	(1.3%)
悪性リンパ腫	306	(3.0%)	297	(2.7%)	341	(3.1%)
多発性骨髄腫	72	(0.7%)	85	(0.8%)	68	(0.6%)
白血病	258	(2.5%)	275	(2.5%)	237	(2.2%)
他の造血器腫瘍	120	(1.2%)	141	(1.3%)	159	(1.5%)
その他	284	(2.8%)	322	(3.0%)	332	(3.0%)



＊症例区分「80：その他」を除いて集計

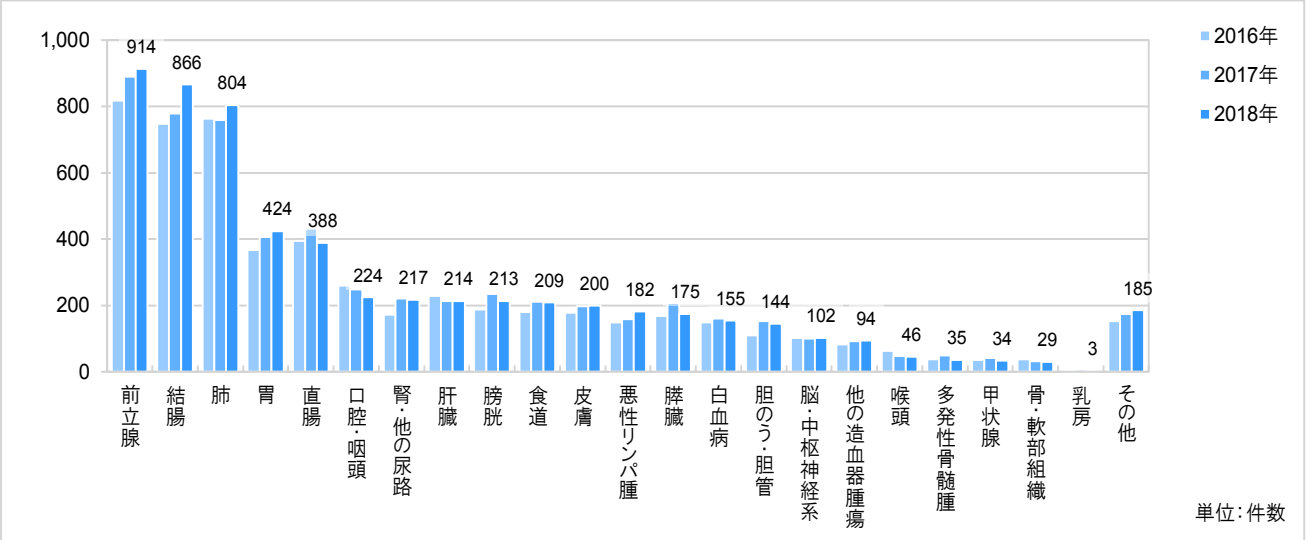
データを見ると

2018年の男性の部位別登録数の上位10部位は、大腸1,254件（結腸866件、直腸388件）、前立腺914件、肺804件、胃424件、口腔・咽頭224件、腎・他の尿路217件、肝臓214件、膀胱213件、食道209件、皮膚200件でした。

男性の上位10部位と男女計の上位10部位を比べると、男女計で上位10部位に入っていなかった膀胱と食道、肝臓の3部位が上位10部位に入っていることが特徴的でした。

部位別　登録数の推移 － 男

	2016年		2017年		2018年	
全部位	5,387	(100.0%)	5,818	(100.0%)	5,857	(100.0%)
口腔･咽頭	259	(4.8%)	249	(4.3%)	224	(3.8%)
食道	180	(3.3%)	211	(3.6%)	209	(3.6%)
胃	368	(6.8%)	406	(7.0%)	424	(7.2%)
結腸	748	(13.9%)	779	(13.4%)	866	(14.8%)
直腸	395	(7.3%)	432	(7.4%)	388	(6.6%)
肝臓	229	(4.3%)	213	(3.7%)	214	(3.7%)
胆のう･胆管	110	(2.0%)	153	(2.6%)	144	(2.5%)
膵臓	168	(3.1%)	208	(3.6%)	175	(3.0%)
喉頭	63	(1.2%)	47	(0.8%)	46	(0.8%)
肺	763	(14.2%)	760	(13.1%)	804	(13.7%)
骨･軟部組織	37	(0.7%)	32	(0.6%)	29	(0.5%)
皮膚	179	(3.3%)	197	(3.4%)	200	(3.4%)
乳房	4	(0.1%)	7	(0.1%)	3	(0.1%)
子宮頸部	--	--	--	--	--	--
子宮体部	--	--	--	--	--	--
子宮NOS	--	--	--	--	--	--
卵巣	--	--	--	--	--	--
前立腺	817	(15.2%)	890	(15.3%)	914	(15.6%)
膀胱	187	(3.5%)	235	(4.0%)	213	(3.6%)
腎･他の尿路	173	(3.2%)	220	(3.8%)	217	(3.7%)
脳･中枢神経系	102	(1.9%)	101	(1.7%)	102	(1.7%)
甲状腺	35	(0.6%)	41	(0.7%)	34	(0.6%)
悪性リンパ腫	149	(2.8%)	159	(2.7%)	182	(3.1%)
多発性骨髄腫	37	(0.7%)	50	(0.9%)	35	(0.6%)
白血病	149	(2.8%)	161	(2.8%)	155	(2.6%)
他の造血器腫瘍	83	(1.5%)	93	(1.6%)	94	(1.6%)
その他	152	(2.8%)	174	(3.0%)	185	(3.2%)



＊症例区分「80：その他」を除いて集計

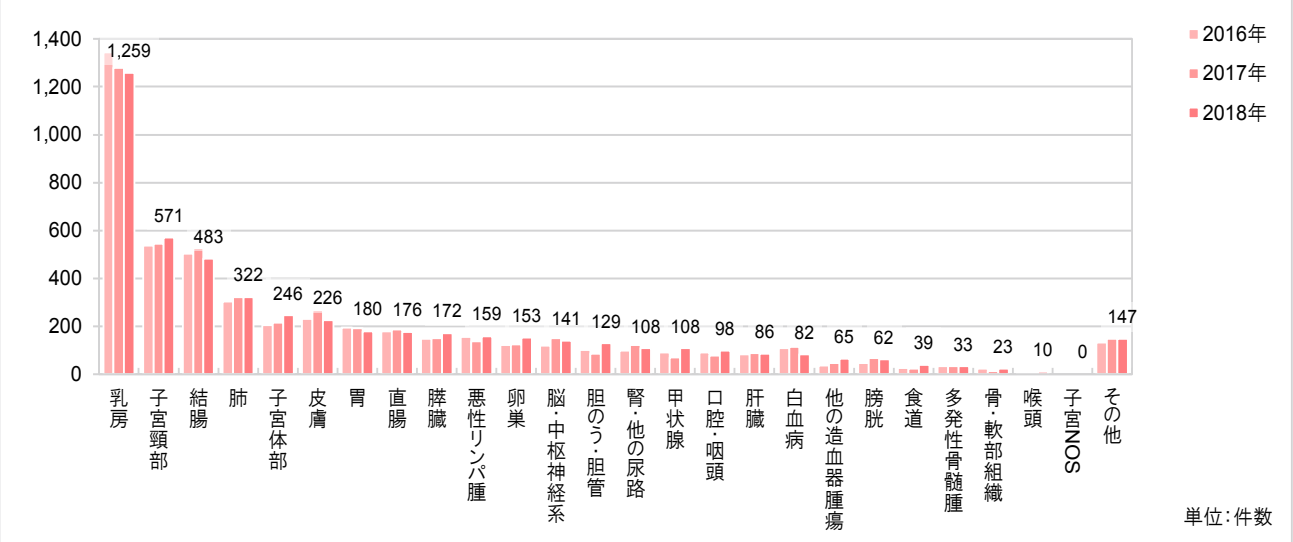
データを見ると

2018 年の女性の部位別登録数の上位 10 部位は、乳房 1,259 件、大腸 659 件（結腸 483 件、直腸 176 件）、子宮頸部 571 件、肺 322 件、子宮体部 246 件、皮膚 226 件、胃 180 件、膵臓 172 件、悪性リンパ腫 159 件、卵巣 153 件でした。

女性の上位 10 部位と男女計の上位 10 部位を比べると、男女計で上位 10 部位に入っていなかった子宮体部と膵臓、悪性リンパ腫、卵巣の３部位が上位となっていることが特徴的でした。

部位別　登録数の推移 － 女

	2016年		2017年		2018年	
全部位	4,923	(100.0%)	4,989	(100.0%)	5,078	(100.0%)
口腔･咽頭	91	(1.8%)	77	(1.5%)	98	(1.9%)
食道	25	(0.5%)	24	(0.5%)	39	(0.8%)
胃	196	(4.0%)	191	(3.8%)	180	(3.5%)
結腸	503	(10.2%)	527	(10.6%)	483	(9.5%)
直腸	178	(3.6%)	187	(3.7%)	176	(3.5%)
肝臓	83	(1.7%)	89	(1.8%)	86	(1.7%)
胆のう･胆管	102	(2.1%)	86	(1.7%)	129	(2.5%)
膵臓	147	(3.0%)	150	(3.0%)	172	(3.4%)
喉頭	6	(0.1%)	1	(0.0%)	10	(0.2%)
肺	304	(6.2%)	322	(6.5%)	322	(6.3%)
骨･軟部組織	23	(0.5%)	13	(0.3%)	23	(0.5%)
皮膚	230	(4.7%)	267	(5.4%)	226	(4.5%)
乳房	1,345	(27.3%)	1,279	(25.6%)	1,259	(24.8%)
子宮頸部	536	(10.9%)	544	(10.9%)	571	(11.2%)
子宮体部	206	(4.2%)	215	(4.3%)	246	(4.8%)
子宮NOS	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
卵巣	122	(2.5%)	124	(2.5%)	153	(3.0%)
前立腺	--	--	--	--	--	--
膀胱	48	(1.0%)	67	(1.3%)	62	(1.2%)
腎･他の尿路	99	(2.0%)	121	(2.4%)	108	(2.1%)
脳･中枢神経系	119	(2.4%)	151	(3.0%)	141	(2.8%)
甲状腺	90	(1.8%)	71	(1.4%)	108	(2.1%)
悪性リンパ腫	157	(3.2%)	138	(2.8%)	159	(3.1%)
多発性骨髄腫	35	(0.7%)	35	(0.7%)	33	(0.6%)
白血病	109	(2.2%)	114	(2.3%)	82	(1.6%)
他の造血器腫瘍	37	(0.8%)	48	(1.0%)	65	(1.3%)
その他	132	(2.7%)	148	(3.0%)	147	(2.9%)

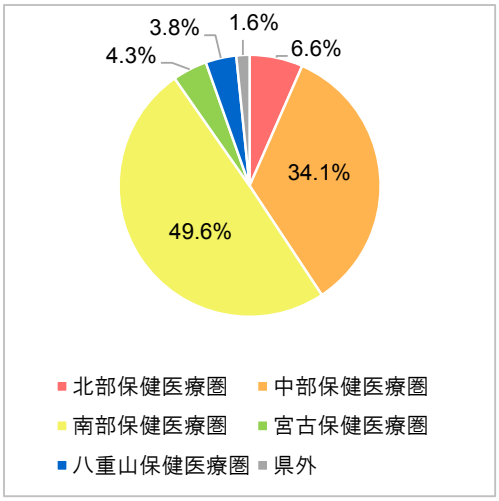


＊症例区分「８０：その他」を除いて集計

二次保健医療圏別の特性

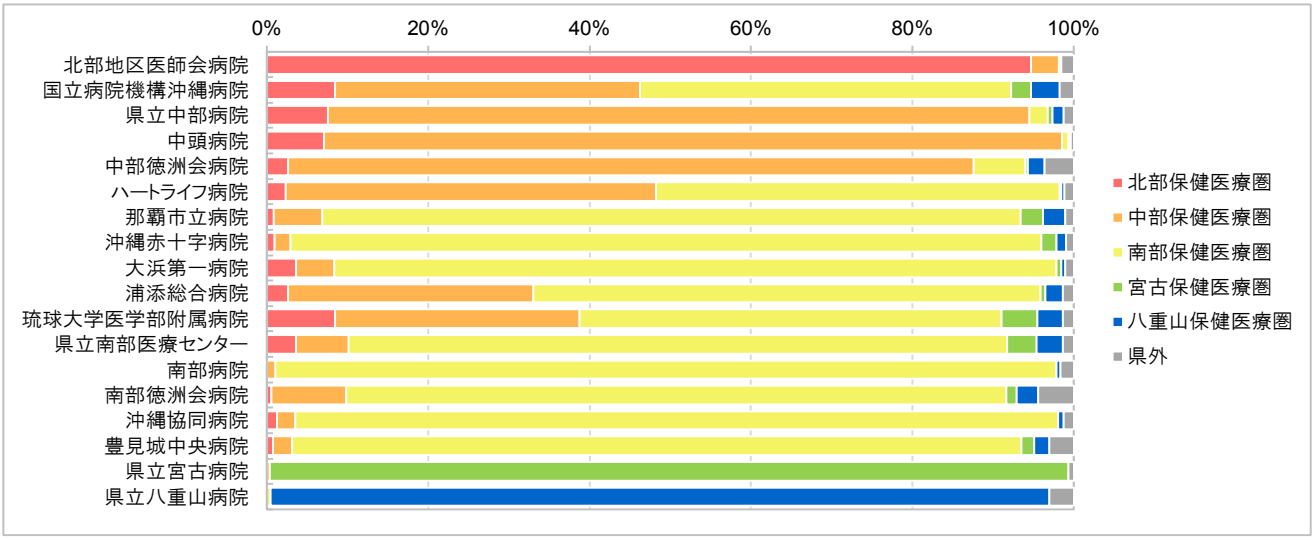
二次保健医療圏別　登録数と登録割合

圏域名	市町村名	18施設登録数	割合
北部保健医療圏	名護市　国頭村　大宜味村 東村　今帰仁村　本部町 伊江村　伊平屋村　伊是名村	720	6.6%
中部保健医療圏	宜野湾市　沖縄市　うるま市　恩納村 宜野座村　金武町　読谷村　嘉手納町 北谷町　北中城村　中城村	3,730	34.1%
南部保健医療圏	那覇市　浦添市　糸満市　豊見城市　南城市 西原町　与那原町　南風原町　渡嘉敷村 座間味村　粟国村　渡名喜村　南大東村 北大東村　久米島町　八重瀬町	5,425	49.6%
宮古保健医療圏	宮古島市　多良間村	467	4.3%
八重山保健医療圏	石垣市　竹富町　与那国町	415	3.8%
沖縄県外		178	1.6%
合計		10,935	100.0%



施設別　二次保健医療圏別　登録数と登録割合

施設名	北部保健医療圏		中部保健医療圏		南部保健医療圏		宮古保健医療圏		八重山保健医療圏		県外		合計	
沖縄県18施設合計	720	(6.6%)	3,730	(34.1%)	5,425	(49.6%)	467	(4.3%)	415	(3.8%)	178	(1.6%)	10,935	(100.0%)
北部地区医師会病院	302	(94.7%)	11	(3.4%)	1	(0.3%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	5	(1.6%)	319	(100.0%)
国立病院機構沖縄病院	24	(8.5%)	107	(37.8%)	130	(45.9%)	7	(2.5%)	10	(3.5%)	5	(1.8%)	283	(100.0%)
県立中部病院	81	(7.6%)	928	(86.9%)	25	(2.3%)	6	(0.6%)	15	(1.4%)	13	(1.2%)	1,068	(100.0%)
中頭病院	76	(7.0%)	987	(91.5%)	9	(0.8%)	1	(0.1%)	2	(0.2%)	4	(0.4%)	1,079	(100.0%)
中部徳洲会病院	18	(2.6%)	584	(85.0%)	44	(6.4%)	2	(0.3%)	14	(2.0%)	25	(3.6%)	687	(100.0%)
ハートライフ病院	12	(2.4%)	234	(45.9%)	255	(50.0%)	1	(0.2%)	2	(0.4%)	6	(1.2%)	510	(100.0%)
那覇市立病院	8	(0.8%)	57	(6.0%)	820	(86.6%)	26	(2.7%)	26	(2.7%)	10	(1.1%)	947	(100.0%)
沖縄赤十字病院	6	(1.0%)	12	(1.9%)	574	(93.0%)	12	(1.9%)	7	(1.1%)	6	(1.0%)	617	(100.0%)
大浜第一病院	7	(3.7%)	9	(4.7%)	171	(89.5%)	1	(0.5%)	1	(0.5%)	2	(1.0%)	191	(100.0%)
浦添総合病院	18	(2.7%)	205	(30.4%)	424	(62.8%)	4	(0.6%)	15	(2.2%)	9	(1.3%)	675	(100.0%)
琉球大学医学部附属病院	133	(8.4%)	477	(30.3%)	824	(52.3%)	70	(4.4%)	50	(3.2%)	21	(1.3%)	1,575	(100.0%)
県立南部医療センター・こども医療センター	22	(3.6%)	40	(6.6%)	497	(81.6%)	22	(3.6%)	20	(3.3%)	8	(1.3%)	609	(100.0%)
南部病院	0	(0.0%)	2	(1.1%)	178	(96.7%)	0	(0.0%)	1	(0.5%)	3	(1.6%)	184	(100.0%)
南部徳洲会病院	3	(0.6%)	49	(9.3%)	430	(81.7%)	7	(1.3%)	14	(2.7%)	23	(4.4%)	526	(100.0%)
沖縄協同病院	4	(1.3%)	7	(2.3%)	292	(94.5%)	0	(0.0%)	2	(0.6%)	4	(1.3%)	309	(100.0%)
豊見城中央病院	6	(0.7%)	20	(2.4%)	750	(90.4%)	13	(1.6%)	16	(1.9%)	25	(3.0%)	830	(100.0%)
県立宮古病院	0	(0.0%)	1	(0.3%)	0	(0.0%)	295	(99.0%)	0	(0.0%)	2	(0.7%)	298	(100.0%)
県立八重山病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(0.4%)	0	(0.0%)	220	(96.5%)	7	(3.1%)	228	(100.0%)



＊「保健医療圏」とは、一次、二次、三次保健医療圏があり、一次保健医療圏は、日常の健康相談等の保健サービスと、かかりつけ医等による初期医療を提供していくための最も基礎的な単位であり、住民の日常生活に密着した保健医療サービスが提供される地域の範囲で、市町村を一次保健医療圏とされています。二次保健医療圏は、医療機能を考慮した病院や救急医療体制の整備の他、一般的な入院医療への対応を図るとともに、保健・医療・福祉の総合的な取り組みを行うために、市町村を超えて設定する地域の範囲で、沖縄県では北部、中部、南部、宮古、八重山の５つの二次保健医療圏があります。三次保健医療圏は、一次、二次保健医療圏での医療提供体制と連携し、高度で特殊な専門医療を提供するとともに、広域的に実施することが必要な保健医療サービスを提供するための地域の範囲で、沖縄県全域を三次保健医療圏とされています。

＊症例区分「８０：その他」を除いて集計

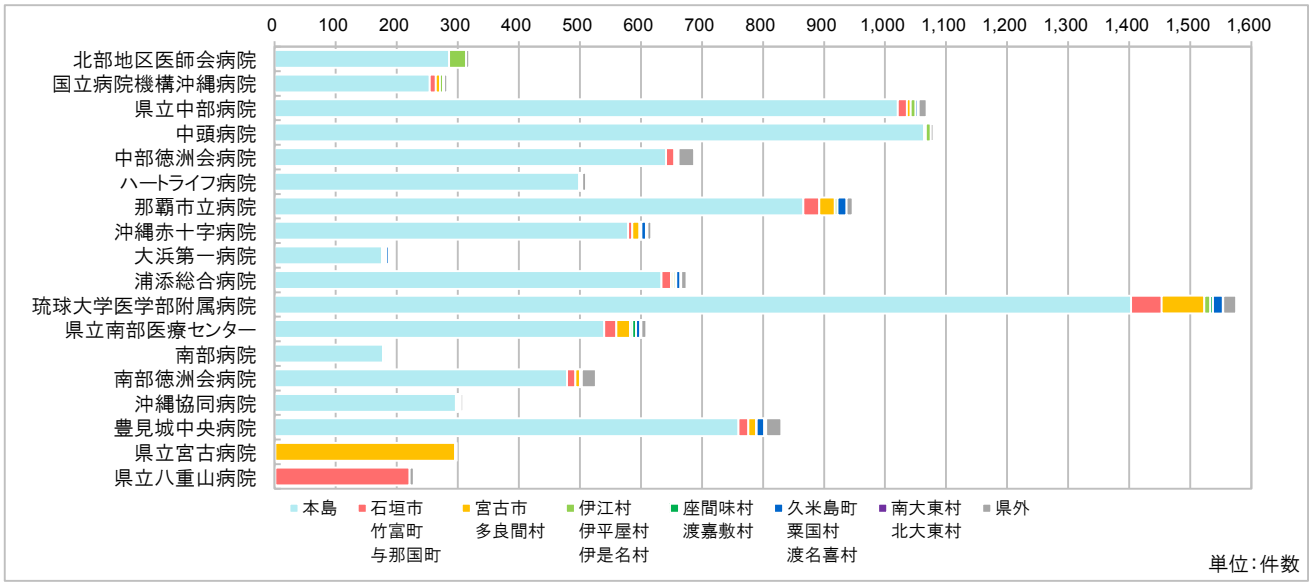
＊患者ががんと診断された時点の住所（診断時住所）をもとに市町村分類し集計

データを見ると

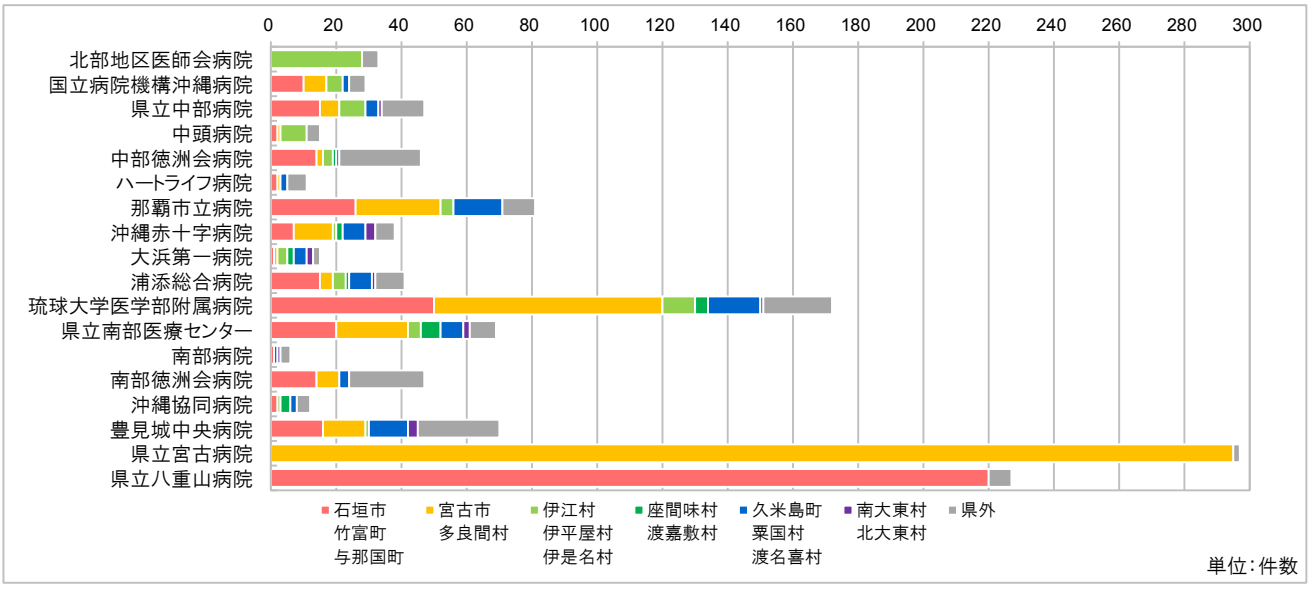
二次保健医療圏別に登録数を観察しました。施設別の二次保健医療圏別登録数では、いずれの医療機関においても、当該医療機関の所在する医療圏に在住する患者数の割合（37.8%～96.7%）と高く、おおむね「地元の医療機関」への通院傾向が認められました。ただし、国立病院機構沖縄病院とハートライフ病院は、所在保健医療圏である中部保健医療圏よりも、南部保健医療圏に在住する患者数の割合が上回っていました。これは、所在地が中部保健医療圏と南部保健医療圏の境に位置することが影響していると考えられます。

施設別の本島・離島市町村在住患者別登録数をみると、本島に所在する施設について、登録された離島市町村在住患者数は3人～151人で、その登録数に占める割合は、県立南部医療センター・こども医療センター、琉球大学医学部附属病院、北部医師会病院、国立病院機構沖縄病院、那覇市立病院、大浜第一病院、豊見城中央病院、沖縄赤十字病院で5%を超えていました。これは、離島市町村に在住する患者にとって交通の利便性が高いことと、対応可能な診療科および専門医の有無が影響していると考えられます。

施設別　本島・離島市町村在住患者*別　登録数



施設別　離島市町村在住患者*別　登録数



＊症例区分「80：その他」を除いて集計
＊患者ががんと診断された時点の住所（診断時住所）をもとに市町村分類し集計
＊離島市町村在住患者とは、沖縄本島に移動する手段として航空機、船舶の利用が不可欠な市町村に在住の患者のこと
＊県立南部医療センター・こども医療センターを便宜上、「県立南部医療センター」と表記

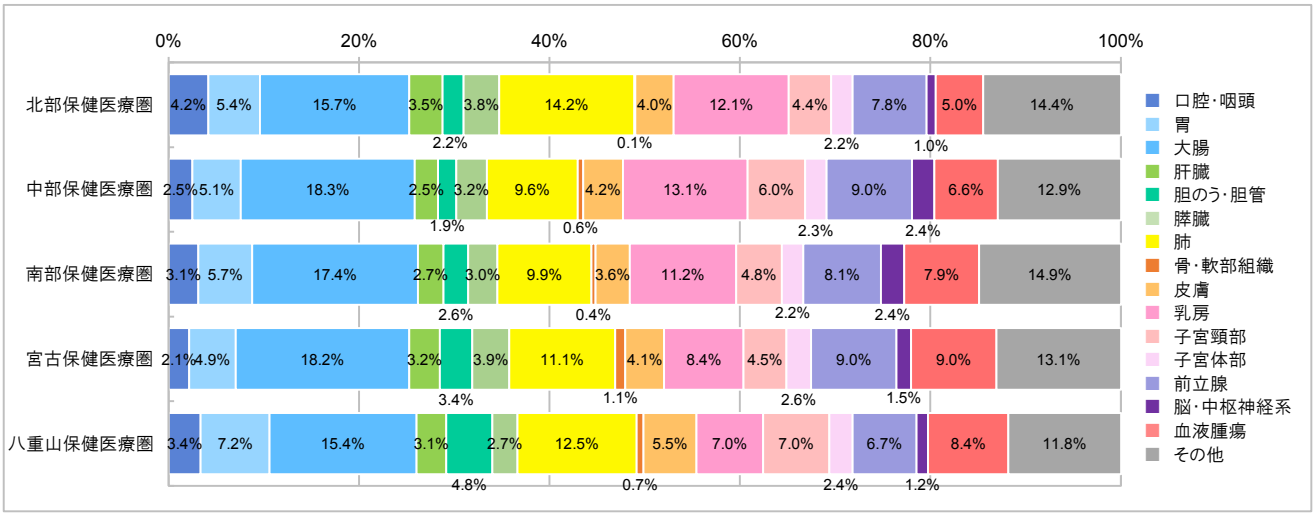
データを見ると

各二次保健医療圏の部位別登録数の割合は、北部保健医療圏では大腸（15.7%）、肺（14. 2 %）が、中部保健医療圏では大腸（18.3%）、乳房（13.1%）が、南部保健医療圏では大腸（17.4%）、乳房（11.2%）が、宮古保健医療圏では大腸（18.2%）、肺（11.1%）が、八重山保健医療圏では大腸（15.4%）、肺（12.5%）が高い傾向でした。また、宮古保健医療圏では骨・軟部腫瘍（1.1%）、脳・中枢神経系（1.5%）が、同様に八重山保健医療圏でも骨・軟部腫瘍（0.7%）、脳・中枢神経系（1.2%）が低い傾向でした。

部位別 UICC TNM 分類治療前ステージ別登録割合を、沖縄県で罹患の多いがんについて示しました。「がん検診」が実施されている「胃」「大腸」「肺」「乳房」「子宮頸部」の０期、Ⅰ期を早期がんと考えた場合、その割合は二次保健医療圏間でバラツキがみられました。また、Ⅳ期の割合も同様にバラツキがみられました。北部・宮古・八重山保健医療圏は、一部の部位で登録数が少ないことが影響していると考えられますが、八重山保健医療圏の肺でⅠ期の割合が 23.1％であるのに対し、宮古保健医療圏では 11.5%、八重山医療圏の大腸で０期の割合が 20.3％であるのに対し、宮古医療圏では 5.9％と、同じステージでも部位によってバラツキがあることから、今後も継続して観察する必要があると考えます。

二次保健医療圏別　部位別　登録数と登録割合

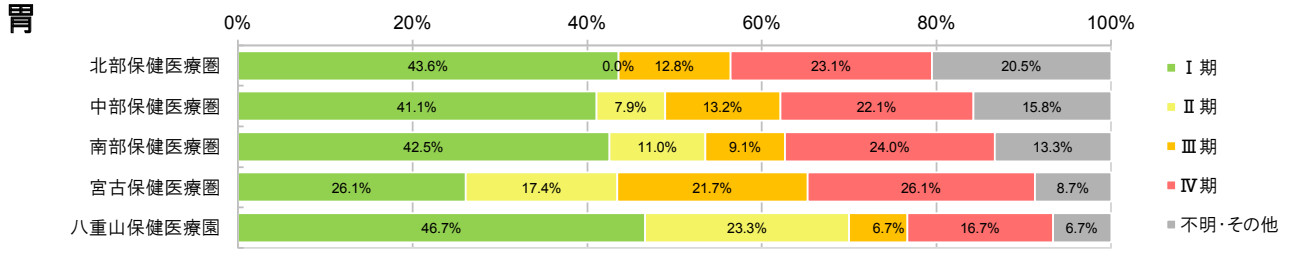
	北部保健医療圏	中部保健医療圏	南部保健医療圏	宮古保健医療圏	八重山保健医療圏	県外
医療圏別合計	720 (100.0%)	3,730 (100.0%)	5,425 (100.0%)	467 (100.0%)	415 (100.0%)	178 (100.0%)
口腔･咽頭	30 (4.2%)	93 (2.5%)	169 (3.1%)	10 (2.1%)	14 (3.4%)	6 (3.4%)
胃	39 (5.4%)	190 (5.1%)	308 (5.7%)	23 (4.9%)	30 (7.2%)	14 (7.9%)
大腸	113 (15.7%)	681 (18.3%)	943 (17.4%)	85 (18.2%)	64 (15.4%)	27 (15.2%)
肝臓	25 (3.5%)	92 (2.5%)	146 (2.7%)	15 (3.2%)	13 (3.1%)	9 (5.1%)
胆のう･胆管	16 (2.2%)	70 (1.9%)	141 (2.6%)	16 (3.4%)	20 (4.8%)	10 (5.6%)
膵臓	27 (3.8%)	120 (3.2%)	165 (3.0%)	18 (3.9%)	11 (2.7%)	6 (3.4%)
肺	102 (14.2%)	357 (9.6%)	538 (9.9%)	52 (11.1%)	52 (12.5%)	25 (14.0%)
骨･軟部組織	1 (0.1%)	21 (0.6%)	21 (0.4%)	5 (1.1%)	3 (0.7%)	1 (0.6%)
皮膚	29 (4.0%)	156 (4.2%)	196 (3.6%)	19 (4.1%)	23 (5.5%)	3 (1.7%)
乳房	87 (12.1%)	488 (13.1%)	606 (11.2%)	39 (8.4%)	29 (7.0%)	13 (7.3%)
子宮頸部	32 (4.4%)	225 (6.0%)	261 (4.8%)	21 (4.5%)	29 (7.0%)	3 (1.7%)
子宮体部	16 (2.2%)	84 (2.3%)	122 (2.2%)	12 (2.6%)	10 (2.4%)	2 (1.1%)
前立腺	56 (7.8%)	334 (9.0%)	442 (8.1%)	42 (9.0%)	28 (6.7%)	12 (6.7%)
脳･中枢神経系	7 (1.0%)	89 (2.4%)	132 (2.4%)	7 (1.5%)	5 (1.2%)	3 (1.7%)
血液腫瘍	36 (5.0%)	248 (6.6%)	427 (7.9%)	42 (9.0%)	35 (8.4%)	17 (9.6%)
その他	104 (14.4%)	482 (12.9%)	808 (14.9%)	61 (13.1%)	49 (11.8%)	27 (15.2%)



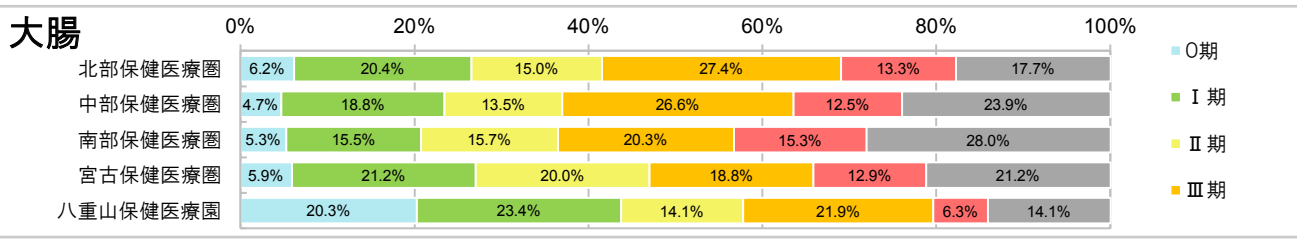
＊症例区分「８０：その他」を除いて集計
＊患者ががんと診断された時点の住所（診断時住所）をもとに市町村分類し、二次保健医療圏ごとに集計

二次保健医療圏別　部位別　UICC TNM 分類治療前ステージ別登録割合

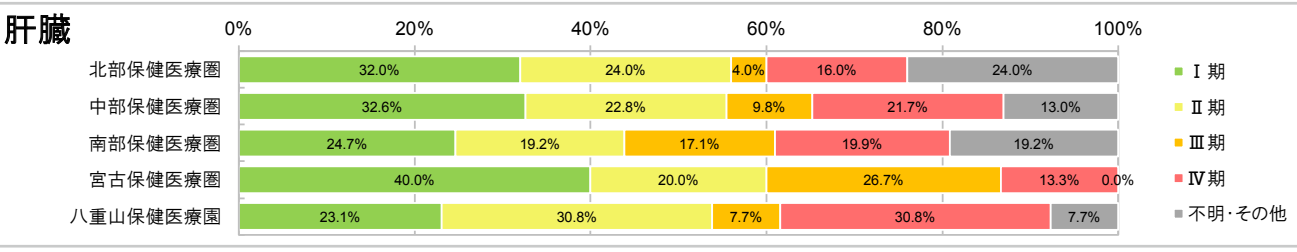
胃



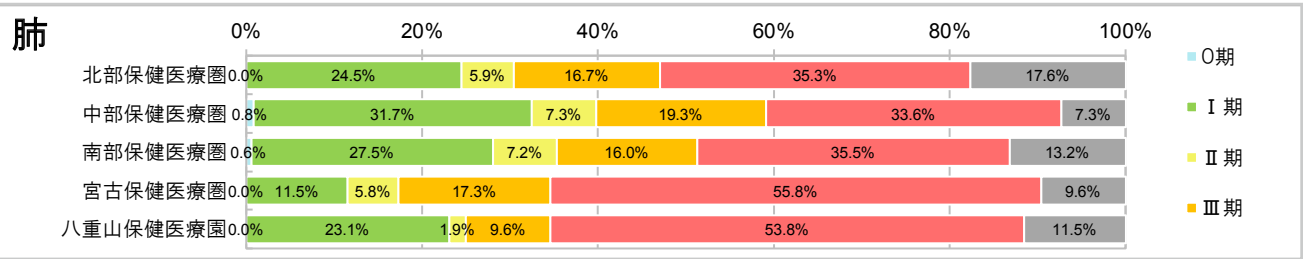
大腸



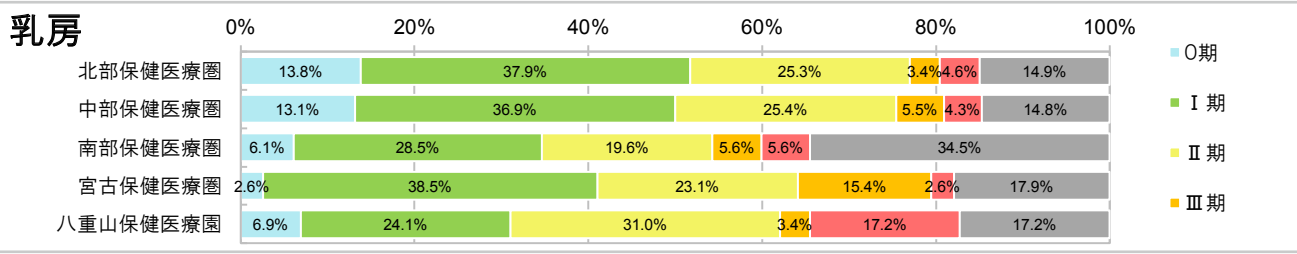
肝臓



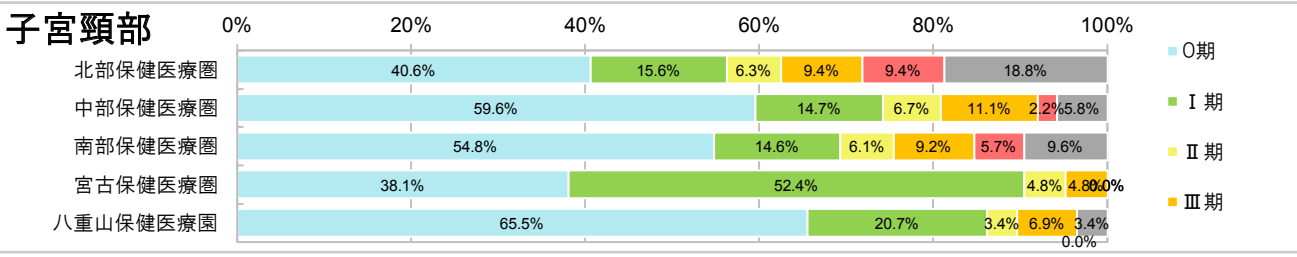
肺



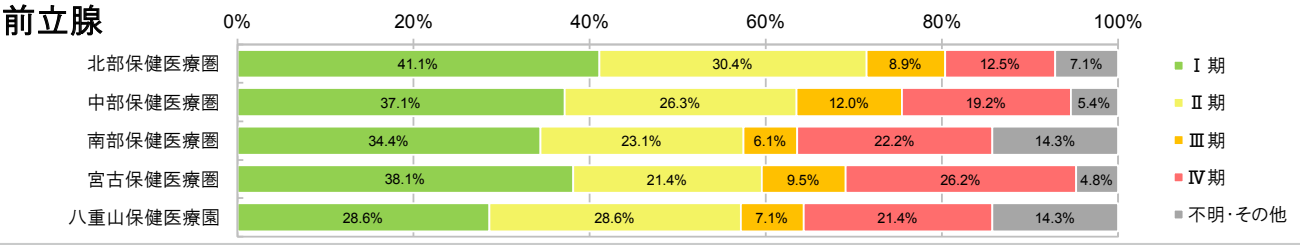
乳房



子宮頸部



前立腺

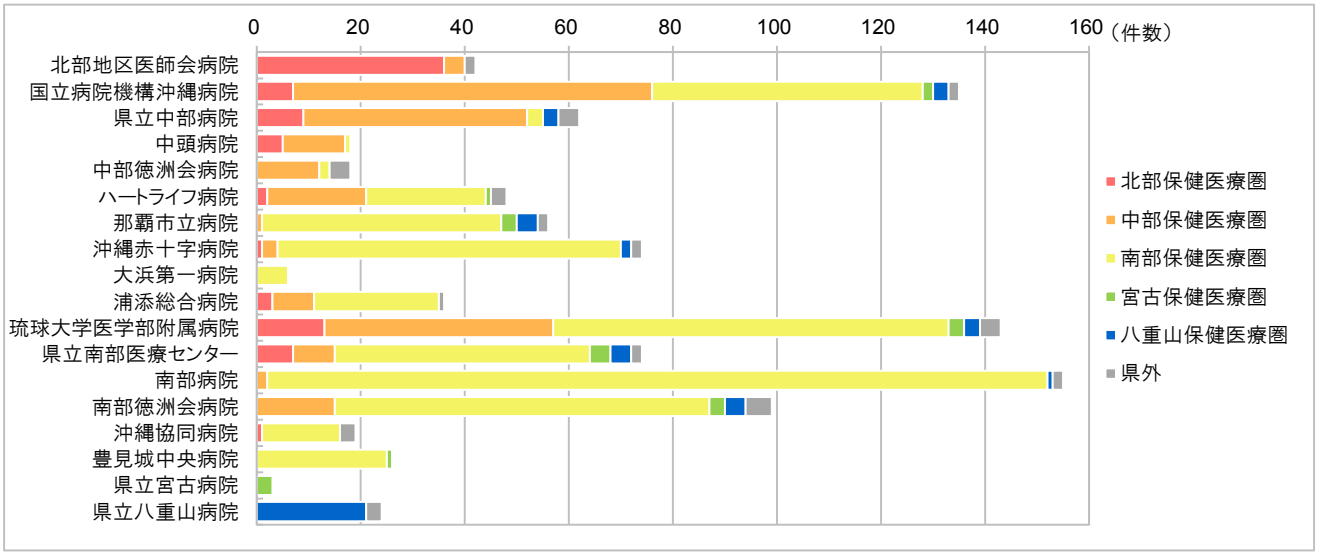


＊症例区分「８０：その他」を除いて集計
＊患者ががんと診断された時点の住所（診断時住所）をもとに市町村分類し、二次保健医療圏ごとに集計

二次保健医療圏別　部位別　当該医療圏在住患者に対する当該医療圏担当施設による初回治療実施数*とその割合

当該医療圏担当施設	北部地区医師会病院 ハートライフ病院 中部徳洲会病院 中頭病院 県立中部病院 国立病院機構沖縄病院 豊見城中央病院 沖縄協同病院 南部徳洲会病院 南部病院 県立南部医療センター 琉球大学医学部附属病院 浦添総合病院 大浜第一病院 沖縄赤十字病院 那覇市立病院 県立宮古病院 県立八重山病院									
圏域名	北部保健医療圏		中部保健医療圏		南部保健医療圏		宮古保健医療圏		八重山保健医療圏	
		初回治療件数		初回治療件数		初回治療件数		初回治療件数		初回治療件数
口腔･咽頭	22	0 (0.0%)	72	38 (52.8%)	114	112 (98.2%)	7	1 (14.3%)	8	1 (12.5%)
胃	34	29 (85.3%)	171	145 (84.8%)	254	225 (88.6%)	19	15 (78.9%)	26	17 (65.4%)
大腸	95	73 (76.8%)	643	567 (88.2%)	830	739 (89.0%)	78	68 (87.2%)	58	38 (65.5%)
肝臓	19	12 (63.2%)	73	58 (79.5%)	109	98 (89.9%)	13	9 (69.2%)	10	5 (50.0%)
胆のう･胆管	16	12 (75.0%)	59	48 (81.4%)	108	96 (88.9%)	15	13 (86.7%)	17	15 (88.2%)
膵臓	25	19 (76.0%)	106	81 (76.4%)	126	108 (85.7%)	15	13 (86.7%)	8	6 (75.0%)
肺	67	20 (29.9%)	305	257 (84.3%)	431	349 (81.0%)	36	20 (55.6%)	41	20 (48.8%)
骨･軟部組織	1	0 (0.0%)	14	10 (71.4%)	17	15 (88.2%)	2	0 (0.0%)	1	1 (0.0%)
皮膚	23	13 (56.5%)	146	69 (47.3%)	183	165 (90.2%)	12	4 (33.3%)	22	18 (81.8%)
乳房	65	33 (50.8%)	432	308 (71.3%)	502	458 (91.2%)	31	14 (45.2%)	22	4 (18.2%)
子宮頸部	28	0 (0.0%)	198	124 (62.6%)	197	189 (95.9%)	12	7 (58.3%)	20	13 (65.0%)
子宮体部	14	0 (0.0%)	72	49 (68.1%)	95	88 (92.6%)	8	1 (12.5%)	8	1 (12.5%)
前立腺	46	0 (0.0%)	287	248 (86.4%)	340	277 (81.5%)	27	14 (51.9%)	17	7 (41.2%)
脳･中枢神経系	6	0 (0.0%)	72	40 (55.6%)	102	98 (96.1%)	5	3 (60.0%)	4	2 (50.0%)
血液腫瘍	25	2 (8.0%)	210	174 (82.9%)	353	318 (90.1%)	24	7 (29.2%)	28	11 (39.3%)
その他	82	7 (8.5%)	422	314 (74.4%)	621	568 (91.5%)	51	19 (37.3%)	35	9 (25.7%)

施設別　二次保健医療圏別　初回治療終了後の受け入れ登録数*



＊初回治療実施件数は、症例区分「20：自施設診断・自施設初回治療開始」「21：自施設診断・自施設初回治療継続」「30：他施設診断・自施設初回治療開始」「31：他施設診断・自施設初回治療継続」のみ集計
＊受け入れ登録数は、症例区分「40：初回治療終了後」のみ集計
＊患者ががんと診断された時点の住所（診断時住所）をもとに市町村分類し、二次保健医療圏ごとに集計
＊県立南部医療センター・こども医療センターを便宜上、「県立南部医療センター」と表記

データを見ると

二次保健医療圏別の部位別当該医療圏担当施設による初回治療対象症例に対する初回治療実施件数をみると、胃、大腸、胆のう・胆管、膵臓は、どの医療圏も初回治療実施割合が 6.5 割以上であることから、均てん化が進んでいることが認められました。口腔・咽頭、骨・軟部組織、子宮頸部、子宮体部、血液腫瘍は、手術・化学療法・放射線治療などの集学的な診療が行える施設がある中部・南部保健医療圏に集約が進んでいると考えられます。

初回治療終了後の登録数をみると、当該医療機関の所在する医療圏以外に在住する患者の受け入れが行われていることが認められました。これは、化学療法や放射線療法、緩和ケアの受け入れ体制など、医療機関における役割分担の影響が考えられます。

二次保健医療圏別　部位別　当該医療圏在住患者に対する当該医療圏担当施設による初回治療実施割合*



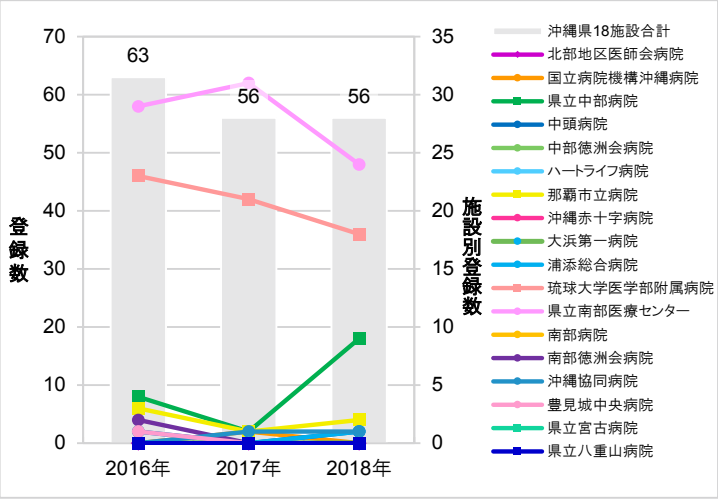
＊初回治療実施件数は、症例区分「20：自施設診断・自施設初回治療開始」「21：自施設診断・自施設初回治療継続」「30：他施設診断・自施設初回治療開始」「31：他施設診断・自施設初回治療継続」のみ集計
＊患者ががんと診断された時点の住所（診断時住所）をもとに市町村分類し、二次保健医療圏ごとに集計
＊初回治療実施割合：当該二次保健医療圏在住の初回治療実施数÷当該医療圏担当施設による初回治療実施数

小児・AYA 世代のがんの登録数とその推移

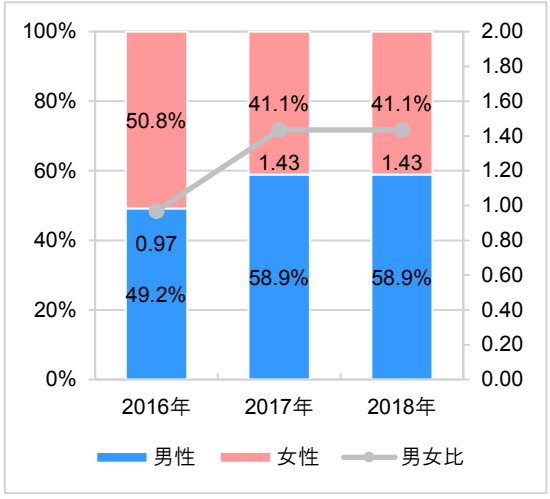
部位別　小児がんの登録数の推移 － 男女計

	2016年		2017年		2018年	
全部位	63	(100.0%)	56	(100.0%)	56	(100.0%)
口腔･咽頭	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
食道	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
胃	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
結腸	0	(0.0%)	1	(1.8%)	1	(1.8%)
直腸	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
肝臓	3	(4.8%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
胆のう･胆管	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
膵臓	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(1.8%)
喉頭	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
肺	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
骨･軟部組織	4	(6.3%)	3	(5.4%)	3	(5.4%)
皮膚	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
乳房	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
子宮頸部	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
子宮体部	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
子宮NOS	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
卵巣	3	(4.8%)	0	(0.0%)	1	(1.8%)
前立腺	0	(0.0%)	1	(1.8%)	0	(0.0%)
膀胱	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
腎･他の尿路	0	(0.0%)	1	(1.8%)	1	(1.8%)
脳･中枢神経系	18	(28.6%)	13	(23.2%)	9	(16.1%)
甲状腺	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
悪性リンパ腫	3	(4.8%)	2	(3.6%)	9	(16.1%)
多発性骨髄腫	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
白血病	21	(33.3%)	20	(35.7%)	21	(37.5%)
他の造血器腫瘍	3	(4.8%)	0	(0.0%)	1	(1.8%)
その他	8	(12.7%)	15	(26.8%)	9	(16.1%)

施設別　登録数の推移



男女別　登録割合の推移



＊症例区分「８０：その他」を除いて集計
＊小児がんとは、一般的に０歳から 14 歳までに発生する悪性腫瘍のこと
＊男女別登録割合の「男女比」は、女性を１としたときの男性の比率
＊県立南部医療センター・こども医療センターを便宜上、「県立南部医療センター」と表記

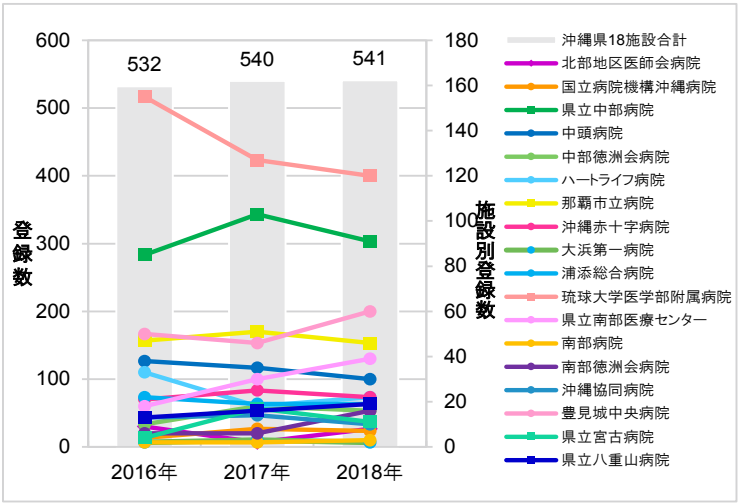
データを見ると

小児がんの部位別登録数（2018 年）を多い順にみると、白血病 21 件、脳・中枢神経系 9 件、悪性リンパ腫 9 件でした。AYA 世代のがんの部位別登録数（2018 年）を多い順にみると、子宮頸部 214 件、乳房 64 件でした。小児がんは琉球大学医学部附属病院と県立南部医療センター・こども医療センターに、AYA 世代のがんは県立中部病院と琉球大学医学部附属病院に集約が認められました。

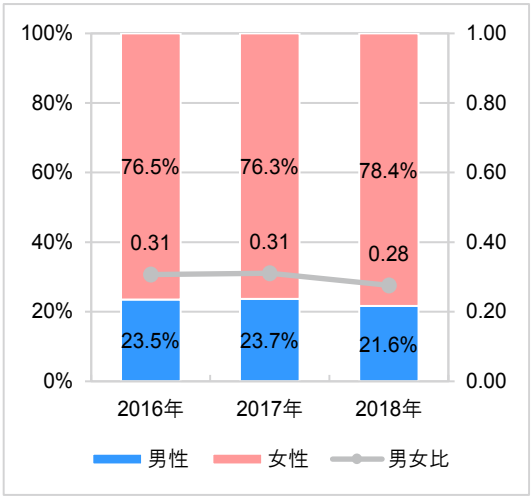
部位別　AYA 世代のがんの登録数の推移－男女計

	2016年		2017年		2018年	
全部位	532	(100.0%)	540	(100.0%)	541	(100.0%)
口腔･咽頭	13	(2.4%)	6	(1.1%)	6	(1.1%)
食道	1	(0.2%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
胃	11	(2.1%)	11	(2.0%)	13	(2.4%)
結腸	28	(5.3%)	27	(5.0%)	22	(4.1%)
直腸	9	(1.7%)	6	(1.1%)	10	(1.8%)
肝臓	4	(0.8%)	5	(0.9%)	2	(0.4%)
胆のう･胆管	1	(0.2%)	0	(0.0%)	1	(0.2%)
膵臓	1	(0.2%)	6	(1.1%)	2	(0.4%)
喉頭	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
肺	7	(1.3%)	6	(1.1%)	11	(2.0%)
骨･軟部組織	8	(1.5%)	7	(1.3%)	3	(0.6%)
皮膚	9	(1.7%)	14	(2.6%)	10	(1.8%)
乳房	60	(11.3%)	52	(9.6%)	64	(11.8%)
子宮頸部	196	(36.8%)	218	(40.4%)	214	(39.6%)
子宮体部	18	(3.4%)	13	(2.4%)	27	(5.0%)
子宮NOS	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
卵巣	22	(4.1%)	17	(3.1%)	28	(5.2%)
前立腺	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
膀胱	1	(0.2%)	1	(0.2%)	2	(0.4%)
腎･他の尿路	5	(0.9%)	6	(1.1%)	7	(1.3%)
脳･中枢神経系	34	(6.4%)	39	(7.2%)	25	(4.6%)
甲状腺	20	(3.8%)	29	(5.4%)	21	(3.9%)
悪性リンパ腫	24	(4.5%)	21	(3.9%)	19	(3.5%)
多発性骨髄腫	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
白血病	32	(6.0%)	26	(4.8%)	17	(3.1%)
他の造血器腫瘍	4	(0.8%)	4	(0.7%)	9	(1.7%)
その他	24	(4.5%)	26	(4.8%)	28	(5.2%)

施設別　登録数の推移



男女別　登録割合の推移



＊症例区分「80：その他」を除いて集計
＊ AYA（Adolescertsand Young Aduits）世代のがんとは、思春期・若年成人（15 歳から 39 歳）に発生する悪性腫瘍のこと
＊男女別登録割合の「男女比」は、女性を 1 としたときの男性の比率
＊県立南部医療センター・こども医療センターを便宜上、「県立南部医療センター」と表記

5年相対生存率（全国と沖縄県）

部位別　UICCTNM 分類　総合ステージ別　5年相対生存率

		院内がん登録（全国277施設）				沖縄県がん診療連携拠点病院（3施設）							
		2009-2010年				2007-2008年				2009-2012年			
		対象者数	相対生存率	95%信頼区間	生死不明割合	対象者数	相対生存率	標準誤差	生死不明割合	対象者数	相対生存率	標準誤差	生死不明割合
全がん	Ⅰ期	--	--	--	--	1,037	--	--	14.5	2,419	90.9	0.9	2.8
	Ⅱ期	--	--	--	--	583	84.5	2.1	9.4	1,313	81.6	1.5	2.1
	Ⅲ期	--	--	--	--	586	53.5	2.3	7.3	1,244	52.8	1.6	1.2
	Ⅳ期	--	--	--	--	728	23.0	1.7	7.0	1,711	23.0	1.1	1.4
	不明	--	--	--	--	100	--	--	15.0	134	29.0	4.8	3.7
	全体	568,005	66.1	66.0-66.3	2.7	3,034	--	--	10.3	6,821	64.0	0.7	2.0
口腔・咽頭	Ⅰ期	--	--	--	--	28	--	--	10.7	80	90.5	4.9	3.8
	Ⅱ期	--	--	--	--	53	69.3	7.8	9.4	118	87.5	4.5	1.7
	Ⅲ期	--	--	--	--	40	72.8	8.5	7.5	92	52.5	6.0	1.1
	Ⅳ期	--	--	--	--	100	40.8	5.7	10.0	266	47.9	3.4	2.6
	不明	--	--	--	--	6	--	--	16.7	1	0.0	0.0	0.0
	全体	--	--	--	--	227	60.0	3.8	9.7	557	64.1	2.4	2.3
胃	Ⅰ期	52,927	94.6	94.6-95.0	3.1	113	--	--	14.2	289	95.9	2.7	2.8
	Ⅱ期	6,209	68.5	67.1-69.9	1.8	12	67.5	18.0	8.3	52	71.1	7.5	1.9
	Ⅲ期	5,927	45.1	43.6-46.5	2.0	13	46.8	17.1	7.7	42	42.2	8.7	0.0
	Ⅳ期	16,166	9.0	8.5-9.5	2.1	62	7.5	3.6	1.6	117	2.8	1.6	0.0
	不明	--	--	--	--	5	0.0	0.0	0.0	6	0.0	0.0	0.0
	全体	83,171	71.6	71.2-72.0	2.7	205	64.2	4.1	9.3	506	66.6	2.6	1.8
大腸	Ⅰ期	16,987	95.4	94.8-96.1	2.8	93	--	--	15.1	181	92.7	3.4	3.3
	Ⅱ期	17,842	88.1	87.4-88.8	2.7	97	87.1	4.9	5.2	233	83.5	3.4	1.7
	Ⅲ期	17,477	76.5	75.7-77.3	2.3	109	73.9	5.1	3.7	269	75.4	3.3	1.1
	Ⅳ期	13,087	18.7	18.0-19.5	2.1	98	11.9	3.5	3.1	196	16.7	2.8	1.0
	不明	--	--	--	--	8	18.6	17.7	0.0	12	0.0	0.0	0.0
	全体	67,600	72.9	72.9-73.3	2.6	405	65.1	2.8	6.4	891	67.1	1.9	1.7
肝臓	Ⅰ期	10,595	60.4	59.3-61.5	2.7	26	48.3	11.2	7.7	73	50.9	6.6	0.0
	Ⅱ期	7,695	42.8	41.5-44.0	2.8	22	54.6	12.5	4.5	51	22.6	6.4	0.0
	Ⅲ期	5,693	14.5	13.5-15.5	2.3	29	17.3	8.1	6.9	57	3.9	2.8	0.0
	Ⅳ期	2,276	3.5	2.7-4.4	2.1	27	0.0	0.0	0.0	51	0.0	0.0	0.0
	不明	--	--	--	--	4	0.0	0.0	0.0	8	0.0	0.0	0.0
	全体	26,906	40.0	39.3-40.7	2.6	108	27.8	4.8	4.6	240	21.3	2.9	0.0
胆のう・胆管	Ⅰ期	--	--	--	--	12	78.8	17.9	0.0	31	38.5	10.1	3.2
	Ⅱ期	--	--	--	--	8	13.2	12.9	0.0	28	26.5	9.6	0.0
	Ⅲ期	--	--	--	--	9	--	--	33.3	24	0.0	0.0	0.0
	Ⅳ期	--	--	--	--	25	6.1	5.8	8.0	49	2.7	2.6	0.0
	不明	--	--	--	--	1	0.0	0.0	0.0	8	0.0	0.0	0.0
	全体	--	--	--	--	55	26.4	7.3	9.1	140	14.8	3.4	0.7
膵臓	Ⅰ期	1,067	43.3	39.6-46.6	1.8	3	0.0	0.0	0.0	7	91.3	17.3	0.0
	Ⅱ期	4,174	19.3	18.0-20.6	2.3	5	20.1	18.2	0.0	24	13.7	7.5	0.0
	Ⅲ期	3,266	5.7	4.9-6.6	2.4	13	16.0	10.5	0.0	27	11.8	6.4	0.0
	Ⅳ期	8,594	1.7	1.4-2.0	1.9	46	5.5	3.8	8.7	69	1.5	1.5	0.0
	不明	--	--	--	--	1	0.0	0.0	0.0	3	34.7	28.4	0.0
	全体	17,617	9.6	9.1-10.0	2.1	68	8.5	3.6	5.9	130	12.2	3.1	0.0
肺	Ⅰ期	26,274	81.2	80.6-81.9	2.0	42	89.4	7.6	4.8	148	71.5	4.7	0.7
	Ⅱ期	4,670	46.3	44.6-47.9	2.3	16	--	--	12.5	24	39.5	11.4	0.0
	Ⅲ期	17,664	22.3	21.6-22.9	1.9	68	4.0	2.7	1.5	144	11.4	2.9	0.0
	Ⅳ期	21,628	5.1	4.7-5.4	2.0	93	4.0	2.3	4.3	279	1.6	0.8	0.4
	不明	--	--	--	--	12	--	--	16.7	21	7.1	7.4	4.8
	全体	71,569	40.6	40.2-41.0	2.0	231	22.8	3.1	4.8	616	22.4	1.9	0.5
骨・軟部組織	全体	--	--	--	--	38	--	--	13.2	98	62.4	12.2	8.2
皮膚（悪性黒色腫含む）	Ⅰ期	--	--	--	--	117	--	--	23.1	194	98.5	4.3	5.2
	Ⅱ期	--	--	--	--	31	--	--	25.8	70	77.5	8.9	5.7
	Ⅲ期	--	--	--	--	7	--	--	28.6	15	40.0	15.2	0.0
	Ⅳ期	--	--	--	--	1	0.0	0.0	0.0	4	54.3	29.0	0.0
	不明	--	--	--	--	5	--	--	40.0	11	80.2	22.6	9.1
	全体	--	--	--	--	161	--	--	24.2	294	92.3	3.8	5.1
乳房（女性）	Ⅰ期	21,350	99.8	99.5-100.0	2.0	102	97.1	2.9	8.8	264	98.3	1.6	0.8
	Ⅱ期	19,046	95.9	95.5-96.3	2.3	86	--	--	10.5	132	96.8	2.3	2.3
	Ⅲ期	5,913	79.9	78.7-81.0	2.5	28	84.2	7.8	7.1	48	72.5	7.8	2.1
	Ⅳ期	2,482	37.2	35.7-39.2	2.1	17	30.1	11.3	5.9	62	31.0	6.2	0.0
	不明	--	--	--	--	0	--	--	--	4	51.3	27.7	0.0
	全体	49,310	92.5	92.2-92.8	2.2	233	89.7	2.5	9.0	510	87.7	1.8	1.2
子宮頸部	Ⅰ期	4,868	95.3	94.5-96.0	4.8	80	--	--	11.3	163	90.3	2.5	4.9
	Ⅱ期	1,851	78.7	76.5-80.8	3.2	33	82.9	7.0	9.1	55	78.2	6.5	0.0
	Ⅲ期	2,607	61.4	59.4-63.4	2.9	49	--	--	12.2	118	59.2	4.8	4.2
	Ⅳ期	1,326	25.2	22.8-27.7	2.8	22	22.7	9.8	9.1	43	18.8	6.1	2.3
	不明	--	--	--	--	3	0.0	0.0	0.0	5	23.9	21.5	0.0
	全体	10,805	75.3	74.4-76.1	3.8	187	--	--	10.7	384	70.5	2.5	3.6
子宮体部	Ⅰ期	6,580	96.8	96.1-97.4	2.2	97	95.1	3.1	8.2	204	93.1	2.1	1.5
	Ⅱ期	922	89.9	87.3-92.0	2.5	11	100.0	0.0	0.0	31	91.0	5.4	3.2
	Ⅲ期	1,936	74.0	71.9-76.0	1.6	24	64.2	10.2	8.3	34	57.1	8.8	0.0
	Ⅳ期	887	21.3	18.5-24.1	1.8	13	--	--	15.4	40	18.0	6.2	0.0
	不明	--	--	--	--	3	66.9	27.4	0.0	2	53.2	37.7	0.0
	全体	11,479	82.1	81.3-82.8	2.1	148	85.7	3.3	8.1	311	79.2	2.4	1.3
前立腺	Ⅰ期	757	100.0	97.4-100.0	3.7	25	--	--	28.0	87	98.3	4.3	0.0
	Ⅱ期	30,188	100.0	100.0-100.0	2.3	95	--	--	11.6	255	100.0	2.2	1.6
	Ⅲ期	6,828	100.0	100.0-100.0	1.9	36	--	--	22.2	52	97.1	5.7	1.9
	Ⅳ期	6,547	62.2	60.7-63.7	2.4	35	58.2	10.7	8.6	96	58.1	6.2	3.1
	不明	--	--	--	--	8	--	--	37.5	8	68.7	31.6	0.0
	全体	45,016	98.6	98.2-99.0	2.3	199	--	--	16.1	498	94.9	2.1	1.6
脳・中枢神経系	全体	--	--	--	--	2	50.4	35.7	0.0	4	50.4	26.0	0.0
悪性リンパ腫	全体	--	--	--	--	133	--	--	14.3	237	61.0	3.6	2.5
多発性骨髄腫	全体	--	--	--	--	6	--	--	33.3	6	74.5	25.9	0.0
白血病	全体	--	--	--	--	11	10.8	10.9	9.1	71	12.2	4.1	0.0

＊院内がん登録（全国 277 施設）：がん診療連携拠点病院院内がん登録 2009-2010 年生存率集計報告書．国立がん研究センターがん対策情報センター
＊沖縄県がん診療拠点病院３施設：琉球大学医学部附属病院、那覇市立病院、沖縄県立中部病院の３施設

データを見ると

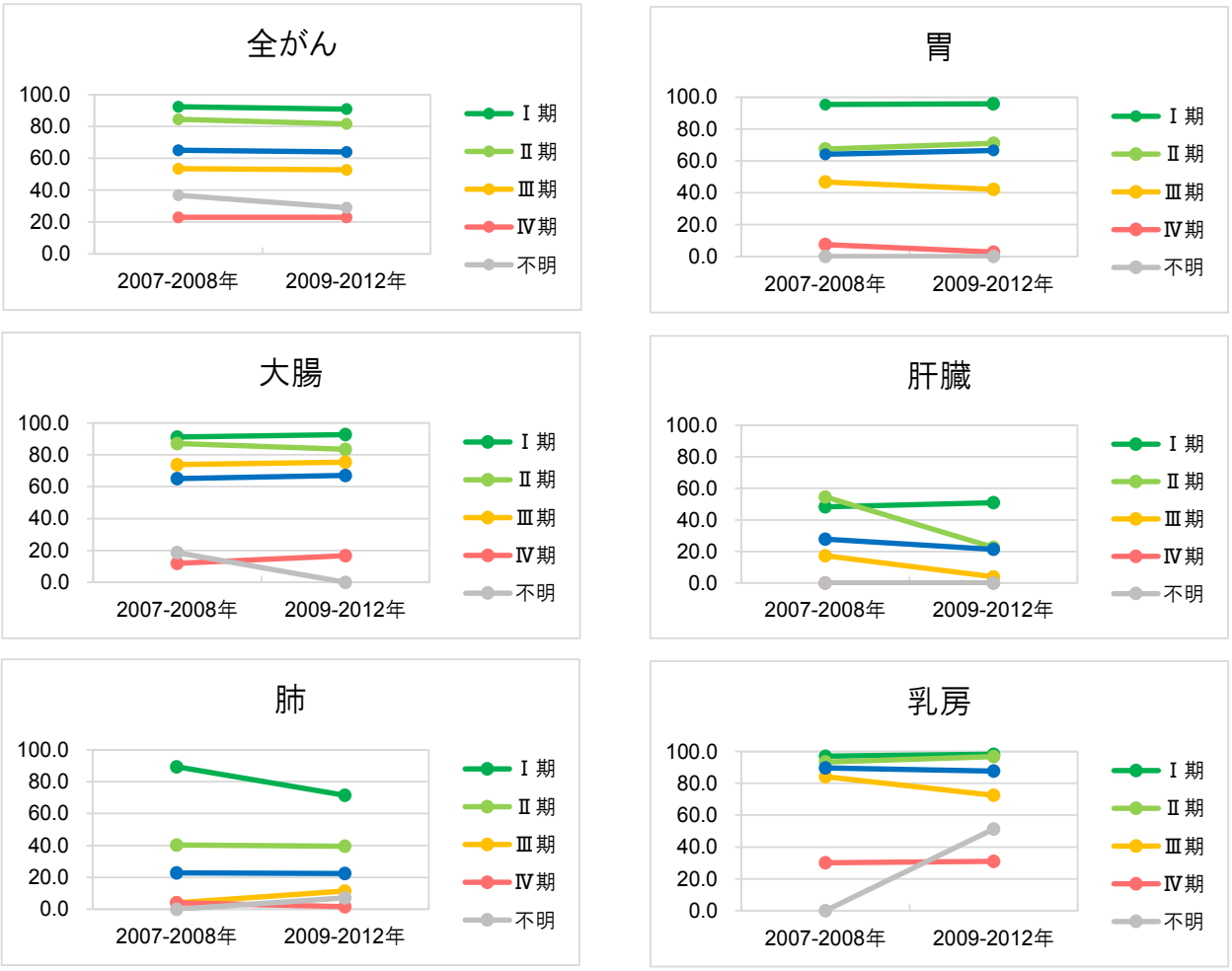
沖縄県がん診療連携拠点病院３施設(以下､沖縄県)の 2007-2008 年と 2009-2012 年の５年相対生存率をそれぞれ集計し､院内がん登録（2009-2010 年、全国がん診療連携拠点病院 277 施設）（以下、全国）の生存率と比較しました。

沖縄県（2009-2012 年）と全国（2009-2010 年）の各部位全体を比べると、沖縄県の全がん（64.0%）は全国（66.1%）と大きな差はありませんでした。沖縄県の肝臓（21.3%）は全国（40.0%）より 18.7%､沖縄県の肺（22.4%）は全国（40.6%）より 16.7%、それぞれ下回っていました。UICC TNM 分類総合ステージの進行期の割合が全国値に比べて沖縄県では高いことが、生存率低下に影響した原因の１つと考えられます。

沖縄県の 2007-2008 年生存率と 2009-2012 年生存率を経年で比べると、横ばい傾向あるいは 2007-2008 年より低下している部位が散見されました。これは母数である症例数の少なさから、数値が安定していないことが影響していると考えられます。また､生存状況の把握が不十分な場合（2007-2008 年生存率）には真の値よりも高い生存率知られています。そのため､解釈には十分ご注意ください。

※生存率に影響を与えることが想定される情報として、①性別、②年齢、③病期（がんの進行状況）、④観血的治療の有無（手術がされたか、されなかったか）、⑤組織型（肺がんの場合）などがあるが、今回の本報告書では考慮していないため、解釈には十分ご注意ください。

沖縄県がん診療連携拠点病院３施設　部位別 UICC TNM分類　総合ステージ別　５年相対生存率の推移



データ集計担当者から（集計方法と公表方法について）

部位別、UICCTNM 分類総合ステージ別に相対生存率を集計しているため母数となる症例数が少なくなっています。集計結果の解釈にはご注意ください。

① 生死不明割合が１０%以下、かつ対象者数が 30 件以上のものは、５年相対生存率と標準誤差を表記していますが、解釈にはご注意ください。
② 生死不明割合が１０%以下、かつ集計対象者数が１～29 件のものは、５年相対生存率と標準誤差を表記のうえ、網掛けしています。
③ 生死不明割合が１０%以上の場合は、５年相対生存率と標準誤差の値を伏せ、ハイフン（--）で表記のうえ、網掛けしています。
④ 対象者数が０件の場合は、５年相対生存率と標準誤差、生死不明割合を、値なしのハイフン（--）で表記のうえ、網掛けしています。
②と③について、これら網掛け部分は、解釈の対象外ですので、取り扱いにはご注意ください。

＊「５年相対生存率」とは、あるがんと診断された場合に、治療でどのくらい生命を救えるかを示す指標。あるがんと診断された人のうち５年後に生存している人の割合が､日本人全体（※１）で５年後に生存している人の割合に比べてどのくらい低いかで表します。100%に近いほど治療で生命を救えるがん、0%に近いほど治療で生命を救い難いがんであることを意味します。（※１）正確には、性別、生まれた年、および年齢の分布を同じくする日本人集団
＊症例区分「２：自施設診断・自施設治療」「３：他施設診断・自施設治療」のみ集計
＊ UICCTNM 分類の総合ステージ別に集計、ステージ０期は集計対象外

琉球大学医学部附属病院　部位別　UICC TNM 分類　総合ステージ別　５年相対生存率

		院内がん登録(全国277施設)				琉球大学医学部附属病院							
		2009-2010年				2007-2008年				2009-2012年			
		対象者数	相対生存率	95%信頼区間	生死不明割合	対象者数	相対生存率	標準誤差	生死不明割合	対象者数	相対生存率	標準誤差	生死不明割合
全がん	Ⅰ期	--	--	--	--	473	--	--	22.4	1,002	92.3	1.3	3.5
	Ⅱ期	--	--	--	--	253	--	--	15.4	560	87.5	2.0	2.3
	Ⅲ期	--	--	--	--	249	--	--	13.3	508	55.0	2.4	1.2
	Ⅳ期	--	--	--	--	295	--	--	14.9	635	31.2	2.0	1.7
	不明	--	--	--	--	57	--	--	22.8	67	46.8	7.5	6.0
	全体	568,005	66.1	66.0-66.3	2.7	1,327	--	--	17.7	2,772	69.4	1.0	2.5
口腔･咽頭	Ⅰ期	--	--	--	--	21	89.7	8.2	9.5	61	96.8	4.7	4.9
	Ⅱ期	--	--	--	--	46	73.9	8.2	8.7	92	86.0	5.1	2.2
	Ⅲ期	--	--	--	--	35	69.4	9.3	8.6	69	49.0	6.7	0.0
	Ⅳ期	--	--	--	--	68	--	--	13.2	198	53.2	3.9	3.5
	不明	--	--	--	--	5	--	--	20.0	1	0.0	0.0	0.0
	全体	--	--	--	--	175	--	--	10.9	421	67.1	2.7	2.9
胃	Ⅰ期	52,927	94.6	94.6-95.0	3.1	23	--	--	26.1	89	93.6	4.2	3.4
	Ⅱ期	6,209	68.5	67.1-69.9	1.8	3	--	--	33.3	14	59.6	14.1	0.0
	Ⅲ期	5,927	45.1	43.6-46.5	2.0	3	--	--	33.3	11	59.1	17.2	0.0
	Ⅳ期	16,166	9.0	8.5-9.5	2.1	17	6.2	6.0	0.0	32	3.3	3.2	0.0
	不明	--	--	--	--	1	0.0	0.0	0.0	0	--	--	--
	全体	83,171	71.6	71.2-72.0	2.7	47	--	--	17.0	146	69.4	4.6	2.1
大腸	Ⅰ期	16,987	95.4	94.8-96.1	2.8	45	--	--	26.7	37	98.4	5.1	5.4
	Ⅱ期	17,842	88.1	87.4-88.8	2.7	15	96.2	7.4	6.7	53	78.3	6.7	0.0
	Ⅲ期	17,477	76.5	75.7-77.3	2.3	25	67.3	10.8	8.0	58	85.4	6.0	0.0
	Ⅳ期	13,087	18.7	18.0-19.5	2.1	22	16.7	9.0	9.1	48	24.1	6.5	0.0
	不明	--	--	--	--	2	50.8	37.9	0.0	1	0.0	0.0	0.0
	全体	67,600	72.9	72.9-73.3	2.6	109	--	--	15.6	197	72.0	3.7	1.0
肝臓	Ⅰ期	10,595	60.4	59.3-61.5	2.7	7	--	--	28.6	19	61.8	12.3	0.0
	Ⅱ期	7,695	42.8	41.5-44.0	2.8	14	58.0	16.3	7.1	12	18.3	12.1	0.0
	Ⅲ期	5,693	14.5	13.5-15.5	2.3	11	--	--	18.2	24	9.2	6.4	0.0
	Ⅳ期	2,276	3.5	2.7-4.4	2.1	9	0.0	0.0	0.0	13	0.0	0.0	0.0
	不明	--	--	--	--	2	0.0	0.0	0.0	3	0.0	0.0	0.0
	全体	26,906	40.0	39.3-40.7	2.6	43	--	--	11.6	71	23.2	5.3	0.0
胆のう･胆管	Ⅰ期	--	--	--	--	1	100.0	0.0	0.0	7	30.6	18.6	0.0
	Ⅱ期	--	--	--	--	2	50.6	38.4	0.0	8	46.9	21.4	0.0
	Ⅲ期	--	--	--	--	6	--	--	50.0	5	0.0	0.0	0.0
	Ⅳ期	--	--	--	--	8	--	--	25.0	11	0.0	0.0	0.0
	不明	--	--	--	--	1	0.0	0.0	0.0	1	0.0	0.0	0.0
	全体	--	--	--	--	18	--	--	27.8	32	17.7	7.3	0.0
膵臓	Ⅰ期	1,067	43.3	39.6-46.6	1.8	1	0.0	0.0	0.0	1	100.0	0.0	0.0
	Ⅱ期	4,174	19.3	18.0-20.6	2.3	1	0.0	0.0	0.0	8	13.1	12.3	0.0
	Ⅲ期	3,266	5.7	4.9-6.6	2.4	5	40.9	22.8	0.0	9	0.0	0.0	0.0
	Ⅳ期	8,594	1.7	1.4-2.0	1.9	13	--	--	23.1	21	4.9	4.8	0.0
	不明	--	--	--	--	1	0.0	0.0	0.0	1	100.0	0.0	0.0
	全体	17,617	9.6	9.1-10.0	2.1	21	--	--	14.3	40	10.7	5.2	0.0
肺	Ⅰ期	26,274	81.2	80.6-81.9	2.0	13	--	--	15.4	68	77.2	6.4	1.5
	Ⅱ期	4,670	46.3	44.6-47.9	2.3	6	--	--	33.3	6	35.3	2.2	0.0
	Ⅲ期	17,664	22.3	21.6-22.9	1.9	10	32.0	17.0	10.0	24	31.5	10.2	0.0
	Ⅳ期	21,628	5.1	4.7-5.4	2.0	21	--	--	14.3	59	3.7	2.6	1.7
	不明	--	--	--	--	0	--	--	--	1	100.0	0.0	0.0
	全体	71,569	40.6	40.2-41.0	2.0	50	--	--	16.0	158	42.2	4.4	1.3
骨･軟部組織	全体	--	--	--	--	32	--	--	15.6	83	71.3	11.1	8.4
皮膚	Ⅰ期	--	--	--	--	52	--	--	38.5	84	96.0	6.1	4.8
（悪性黒色腫含む）	Ⅱ期	--	--	--	--	20	--	--	35.0	40	80.2	10.7	5.0
	Ⅲ期	--	--	--	--	5	--	--	40.0	14	34.7	15.3	0.0
	Ⅳ期	--	--	--	--	1	0.0	0.0	0.0	3	68.0	30.2	0.0
	不明	--	--	--	--	5	--	--	40.0	11	80.2	22.6	9.1
	全体	--	--	--	--	83	--	--	37.3	152	89.3	5.1	4.6
乳房(女性)	Ⅰ期	21,350	99.8	99.5-100.0	2.0	16	94.6	6.3	0.0	29	88.2	6.8	3.4
	Ⅱ期	19,046	95.9	95.5-96.3	2.3	19	--	--	21.1	31	97.4	3.4	3.2
	Ⅲ期	5,913	79.9	78.7-81.0	2.5	7	--	--	14.3	11	57.1	16.5	0.0
	Ⅳ期	2,482	37.2	35.7-39.2	2.1	2	--	--	50.0	14	7.3	7.1	0.0
	不明	--	--	--	--	0	--	--	--	3	34.1	30.0	0.0
	全体	49,310	92.5	92.2-92.8	2.2	44	--	--	13.6	88	75.2	5.1	2.3
子宮頸部	Ⅰ期	4,868	95.3	94.5-96.0	4.8	66	--	--	13.6	108	86.4	3.5	4.6
	Ⅱ期	1,851	78.7	76.5-80.8	3.2	30	87.6	6.6	10.0	42	86.8	6.5	0.0
	Ⅲ期	2,607	61.4	59.4-63.4	2.9	39	--	--	12.8	97	60.5	5.2	4.1
	Ⅳ期	1,326	25.2	22.8-27.7	2.8	18	--	--	11.1	27	26.4	8.6	3.7
	不明	--	--	--	--	2	0.0	0.0	0.0	2	53.0	37.8	0.0
	全体	10,805	75.3	74.4-76.1	3.8	155	--	--	12.3	276	71.5	2.9	3.6
子宮体部	Ⅰ期	6,580	96.8	96.1-97.4	2.2	56	--	--	12.5	121	95.7	2.3	0.8
	Ⅱ期	922	89.9	87.3-92.0	2.5	10	100.0	0.0	0.0	17	88.8	7.9	5.9
	Ⅲ期	1,936	74.0	71.9-76.0	1.6	15	--	--	13.3	21	53.5	11.2	0.0
	Ⅳ期	887	21.3	28.5-24.1	1.8	9	--	--	22.2	28	22.0	8.0	0.0
	不明	--	--	--	--	2	100.0	0.0	0.0	1	100.0	0.0	0.0
	全体	11,479	82.1	81.3-82.8	2.1	92	--	--	12.0	188	79.6	3.1	1.1
前立腺	Ⅰ期	757	100.0	97.4-100.0	3.7	23	--	--	30.4	58	96.9	5.1	0.0
	Ⅱ期	30,188	100.0	100.0-100.0	2.3	27	--	--	25.9	117	100.0	2.4	1.7
	Ⅲ期	6,828	100.0	100.0-100.0	1.9	15	--	--	40.0	20	98.1	6.1	5.0
	Ⅳ期	6,547	62.2	60.7-63.7	2.4	13	--	--	23.1	23	68.5	11.8	0.0
	不明	--	--	--	--	7	--	--	42.9	4	59.3	36.6	0.0
	全体	45,016	98.6	98.2-99.0	2.3	85	--	--	30.6	222	100.0	2.5	1.4
脳･中枢神経系	全体	--	--	--	--	2	50.4	35.7	0.0	4	50.4	26.0	0.0
悪性リンパ腫	全体	--	--	--	--	46	--	--	37.0	30	59.0	10.7	6.7
多発性骨髄腫	全体	--	--	--	--	4	--	--	50.0	4	80.9	32.1	0.0
白血病	全体	--	--	--	--	3	--	--	33.3	10	42.6	17.2	0.0

＊院内がん登録（全国 277 施設）：がん診療連携拠点病院院内がん登録 2009-2010 年生存率集計報告書．国立がん研究センターがん対策情報センター
＊沖縄県がん診療拠点病院３施設：琉球大学医学部附属病院、那覇市立病院、沖縄県立中部病院の３施設

データを見ると

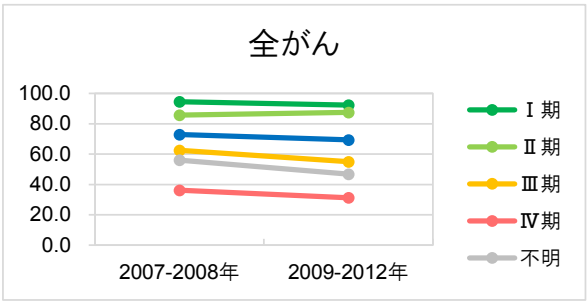
琉球大学医学部附属病院（以下、琉大病院）の 2007-2008 年と 2009-2012 年の 5 年相対生存率をそれぞれ集計し、院内がん登録（2009-2010 年、全国がん診療連携拠点病院 277 施設）（以下、全国）の生存率と比較しました。

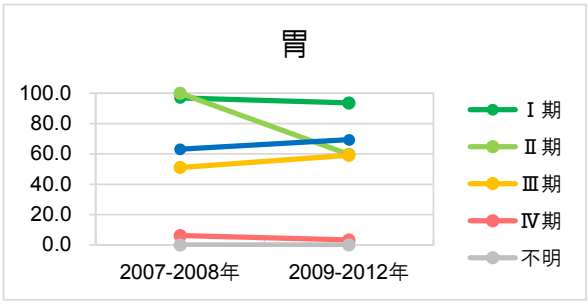
琉大病院（2009-2012 年）と全国（2009-2010 年）の各部位全体を比べると、全がんは琉大病院 69.4%、全国 66.1%、胃は琉大病院 69.4%、全国 71.6%、大腸は琉大病院 72.0%、全国 72.9%、肝臓は琉大病院 23.2%、全国 40.0%、肺は琉大病院 42.2%、全国 40.6%、乳房は琉大病院 75.2%、全国 92.5%でした。胃、肝臓、乳房、子宮頸部、子宮体部では約 2 ～ 17%下回っていました。

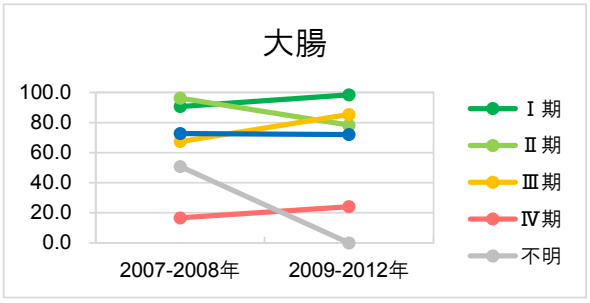
琉大病院の 2007-2008 年生存率と 2009-2012 年生存率を経年で比べると、横ばい傾向あるいは 2007-2008 年より低下している部位が散見されました。これは母数である症例数の少なさから、数値が安定していないことが影響していると考えられます。また、生存状況の把握が不十分な場合（2007-2008 年生存率）には真の値よりも高い生存率知られています。そのため、解釈には十分ご注意ください。

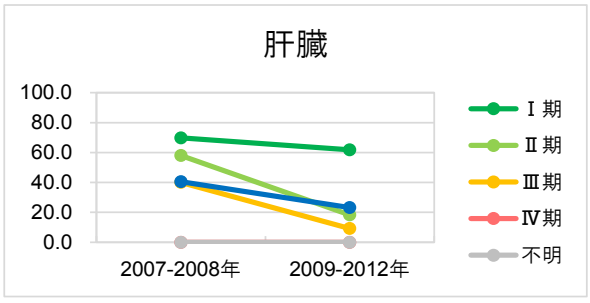
※生存率に影響を与えることが想定される情報として、①性別、②年齢、③病期（がんの進行状況）、④観血的治療の有無（手術がされたか、されなかったか）、⑤組織型（肺がんの場合）などがあるが、今回の本報告書では考慮していないため、解釈には十分ご注意ください。

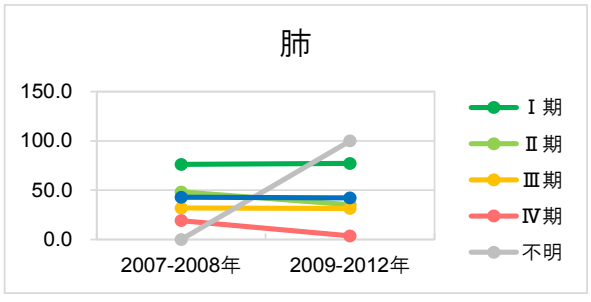
琉球大学医学部附属病院　部位別　UICC TNM 分類　総合ステージ別　5 年相対生存率の推移

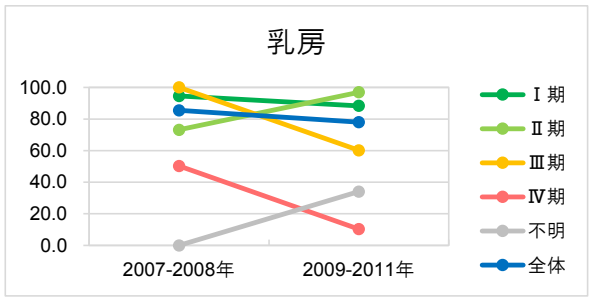












データ集計担当者から（集計方法と公表方法について）

部位別、UICCTNM 分類総合ステージ別に相対生存率を集計しているため母数となる症例数が少なくなっています。集計結果の解釈にはご注意ください。

① 生死不明割合が１０%以下、かつ対象者数が 30 件以上のものは、5 年相対生存率と標準誤差を表記していますが、解釈にはご注意ください。

② 生死不明割合が１０%以下、かつ集計対象者数が 1 ～ 29 件のものは、5 年相対生存率と標準誤差を表記のうえ、網掛けしています。

③ 生死不明割合が１０%以上の場合は、5 年相対生存率と標準誤差の値を伏せ、ハイフン（--）で表記のうえ、網掛けしています。

④ 対象者数が 0 件の場合は、5 年相対生存率と標準誤差、生死不明割合を、値なしのハイフン（--）で表記のうえ、網掛けしています。

②と③について、これら網掛け部分は、解釈の対象外ですので、取り扱いにはご注意ください。

＊「5 年相対生存率」とは、あるがんと診断された場合に、治療でどのくらい生命を救えるかを示す指標。あるがんと診断された人のうち 5 年後に生存している人の割合が、日本人全体（※１）で 5 年後に生存している人の割合に比べてどのくらい低いかで表します。100%に近いほど治療で生命を救えるがん、0%に近いほど治療で生命を救い難いがんであることを意味します。（※１）正確には、性別、生まれた年、および年齢の分布を同じくする日本人集団

＊症例区分「2：自施設診断・自施設治療」「3：他施設診断・自施設治療」のみ集計

＊ UICCTNM 分類の総合ステージ別に集計、ステージ 0 期は集計対象外

那覇市立病院　部位別　UICC TNM 分類　総合ステージ別　５年相対生存率

		院内がん登録(全国277施設)				那覇市立病院							
		2009-2010年				2007-2008年				2009-2012年			
		対象者数	相対生存率	95%信頼区間	生死不明割合	対象者数	相対生存率	標準誤差	生死不明割合	対象者数	相対生存率	標準誤差	生死不明割合
全がん	Ⅰ期	--	--	--	--	285	--	--	10.9	764	93.5	1.5	2.4
	Ⅱ期	--	--	--	--	184	87.9	3.5	6.0	415	82.0	2.6	1.9
	Ⅲ期	--	--	--	--	169	53.6	4.5	4.7	390	54.9	2.9	1.0
	Ⅳ期	--	--	--	--	190	14.6	2.8	2.1	505	22.4	2.0	2.0
	不明	--	--	--	--	6	0.0	0.0	0.0	16	8.8	11.2	6.3
	全体	568,005	66.1	66.0-66.3	2.7	834	65.2	2.0	6.5	2,090	66.5	1.2	2.0
口腔･咽頭	Ⅰ期	--	--	--	--	1	--	--	100.0	1	100.0	0.0	0.0
	Ⅱ期	--	--	--	--	1	0.0	0.0	0.0	3	71.2	46.6	0.0
	Ⅲ期	--	--	--	--	1	100.0	0.0	0.0	1	0.0	0.0	0.0
	Ⅳ期	--	--	--	--	6	--	--	16.7	5	0.0	0.0	0.0
	不明	--	--	--	--	0	--	--	--	0	--	--	--
	全体	--	--	--	--	9	--	--	22.2	10	34.3	22.1	0.0
胃	Ⅰ期	52,927	94.6	94.6-95.0	3.1	52	--	--	11.5	118	99.8	3.5	3.4
	Ⅱ期	6,209	68.5	67.1-69.9	1.8	6	39.5	22.9	0.0	20	73.4	12.5	0.0
	Ⅲ期	5,927	45.1	43.6-46.5	2.0	8	28.7	18.3	0.0	17	21.3	11.4	0.0
	Ⅳ期	16,166	9.0	8.5-9.5	2.1	19	5.8	5.7	5.3	50	2.1	2.2	0.0
	不明	--	--	--	--	1	0.0	0.0	0.0	3	0.0	0.0	0.0
	全体	83,171	71.6	71.2-72.0	2.7	86	65.8	6.4	8.1	208	67.8	4.1	1.9
大腸	Ⅰ期	16,987	95.4	94.8-96.1	2.8	26	90.5	9.2	7.7	79	91.8	5.3	3.8
	Ⅱ期	17,842	88.1	87.4-88.8	2.7	40	87.4	7.6	7.5	97	79.7	5.4	2.1
	Ⅲ期	17,477	76.5	75.7-77.3	2.3	51	76.2	7.6	3.9	116	74.0	5.0	1.7
	Ⅳ期	13,087	18.7	18.0-19.5	2.1	41	11.6	5.4	2.4	64	10.6	4.1	1.6
	不明	--	--	--	--	1	0.0	0.0	0.0	1	0.0	0.0	0.0
	全体	67,600	72.9	72.9-73.3	2.6	159	65.5	4.6	5.0	357	68.5	3.0	2.2
肝臓	Ⅰ期	10,595	60.4	59.3-61.5	2.7	7	30.1	18.1	0.0	26	39.5	10.7	0.0
	Ⅱ期	7,695	42.8	41.5-44.0	2.8	2	50.8	37.3	0.0	23	19.8	9.0	0.0
	Ⅲ期	5,693	14.5	13.5-15.5	2.3	7	0.0	0.0	0.0	19	0.0	0.0	0.0
	Ⅳ期	2,276	3.5	2.7-4.4	2.1	8	0.0	0.0	0.0	6	0.0	0.0	0.0
	不明	--	--	--	--	0	--	--	--	2	0.0	0.0	0.0
	全体	26,906	40.0	39.3-40.7	2.6	24	13.8	7.5	0.0	76	19.5	4.9	0.0
胆のう･胆管	Ⅰ期	--	--	--	--	6	81.1	30.1	0.0	13	36.5	15.9	7.7
	Ⅱ期	--	--	--	--	4	0.0	0.0	0.0	6	18.7	17.9	0.0
	Ⅲ期	--	--	--	--	2	0.0	0.0	0.0	13	0.0	0.0	0.0
	Ⅳ期	--	--	--	--	9	0.0	0.0	0.0	21	0.0	0.0	0.0
	不明	--	--	--	--	0	--	--	--	2	0.0	0.0	0.0
	全体	--	--	--	--	21	25.0	12.4	0.0	55	11.2	4.8	1.8
膵臓	Ⅰ期	1,067	43.3	39.6-46.6	1.8	1	0.0	0.0	0.0	4	81.0	27.9	0.0
	Ⅱ期	4,174	19.3	18.0-20.6	2.3	3	0.0	0.0	0.0	2	0.0	0.0	0.0
	Ⅲ期	3,266	5.7	4.9-6.6	2.4	5	0.0	0.0	0.0	8	25.9	16.0	0.0
	Ⅳ期	8,594	1.7	1.4-2.0	1.9	13	--	--	23.0	22	0.0	0.0	0.0
	不明	--	--	--	--	0	--	--	--	1	0.0	0.0	0.0
	全体	17,617	9.6	9.1-10.0	2.1	22	0.0	0.0	0.0	37	15.7	6.5	0.0
肺	Ⅰ期	26,274	81.2	80.6-81.9	2.0	11	79.2	15.5	0.0	31	69.3	11.3	0.0
	Ⅱ期	4,670	46.3	44.6-47.9	2.3	4	27.2	24.7	0.0	5	0.0	0.0	0.0
	Ⅲ期	17,664	22.3	21.6-22.9	1.9	17	0.0	0.0	0.0	53	7.0	3.9	0.0
	Ⅳ期	21,628	5.1	4.7-5.4	2.0	33	0.0	0.0	0.0	92	2.5	1.7	0.0
	不明	--	--	--	--	0	--	--	--	2	0.0	0.0	50.0
	全体	71,569	40.6	40.2-41.0	2.0	65	15.9	4.9	0.0	183	15.0	3.0	0.5
骨･軟部組織	全体	--	--	--	--	3	0.0	0.0	0.0	5	0.0	0.0	0.0
皮膚（悪性黒色腫含む）	Ⅰ期	--	--	--	--	10	--	--	30.0	30	95.1	10.9	3.3
	Ⅱ期	--	--	--	--	1	0.0	0.0	0.0	7	24.6	30.0	14.3
	Ⅲ期	--	--	--	--	0	--	--	--	0	--	--	--
	Ⅳ期	--	--	--	--	0	--	--	--	0	--	--	--
	不明	--	--	--	--	0	--	--	--	0	--	--	--
	全体	--	--	--	--	11	--	--	27.3	37	90.7	11.6	5.4
乳房(女性)	Ⅰ期	21,350	99.8	99.5-100.0	2.0	60	--	--	13.3	166	98.6	1.7	0.0
	Ⅱ期	19,046	95.9	95.5-96.3	2.3	45	95.4	4.0	8.9	64	99.2	1.6	3.1
	Ⅲ期	5,913	79.9	78.7-81.0	2.5	11	73.3	15.8	9.1	18	73.5	12.6	0.0
	Ⅳ期	2,482	37.2	35.7-39.2	2.1	6	17.0	15.6	0.0	19	48.7	12.0	0.0
	不明	--	--	--	--	0	--	--	--	0	--	--	--
	全体	49,310	92.5	92.2-92.8	2.2	122	--	--	10.7	267	95.0	1.9	0.7
子宮頸部	Ⅰ期	4,868	95.3	94.5-96.0	4.8	4	100.0	0.0	0.0	22	91.6	6.2	4.5
	Ⅱ期	1,851	78.7	76.5-80.8	3.2	0	--	--	--	3	0.0	0.0	0.0
	Ⅲ期	2,607	61.4	59.4-63.4	2.9	0	--	--	--	2	0.0	0.0	0.0
	Ⅳ期	1,326	25.2	22.8-27.7	2.8	1	0.0	0.0	0.0	4	0.0	0.0	0.0
	不明	--	--	--	--	0	--	--	--	1	0.0	0.0	0.0
	全体	10,805	75.3	74.4-76.1	3.8	5	80.7	18.1	0.0	32	65.2	9.2	3.1
子宮体部	Ⅰ期	6,580	96.8	96.1-97.4	2.2	15	88.2	9.2	0.0	25	81.7	8.4	4.0
	Ⅱ期	922	89.9	87.3-92.0	2.5	0	--	--	--	1	100.0	0.0	0.0
	Ⅲ期	1,936	74.0	71.9-76.0	1.6	1	100.0	0.0	0.0	5	61.5	23.4	0.0
	Ⅳ期	887	21.3	28.5-24.1	1.8	3	0.0	0.0	0.0	3	33.8	28.1	0.0
	不明	--	--	--	--	1	0.0	0.0	0.0	1	0.0	0.0	0.0
	全体	11,479	82.1	81.3-82.8	2.1	20	71.8	10.7	0.0	35	74.0	8.0	2.9
前立腺	Ⅰ期	757	100.0	97.4-100.0	3.7	1	100.0	0.0	0.0	25	97.3	7.8	0.0
	Ⅱ期	30,188	100.0	100.0-100.0	2.3	47	100.0	2.5	6.4	115	99.5	3.1	0.9
	Ⅲ期	6,828	100.0	100.0-100.0	1.9	16	91.5	9.6	6.3	30	98.6	8.0	0.0
	Ⅳ期	6,547	62.2	60.7-63.7	2.4	15	52.0	16.4	0.0	59	58.2	8.0	5.1
	不明	--	--	--	--	0	--	--	--	1	0.0	0.0	0.0
	全体	45,016	98.6	98.2-99.0	2.3	79	96.3	4.9	5.1	230	93.1	3.2	1.7
脳･中枢神経系	全体	--	--	--	--	0	--	--	--	0	--	--	--
悪性リンパ腫	全体	--	--	--	--	52	44.0	7.8	3.8	135	62.2	4.7	1.5
多発性骨髄腫	全体	--	--	--	--	0	--	--	--	0	--	--	--
白血病	全体	--	--	--	--	6	17.8	18.8	0.0	29	11.0	6.1	0.0

＊院内がん登録（全国 277 施設）：がん診療連携拠点病院院内がん登録 2009-2010 年生存率集計報告書．国立がん研究センターがん対策情報センター
＊沖縄県がん診療拠点病院３施設：琉球大学医学部附属病院、那覇市立病院、沖縄県立中部病院の３施設

データを見ると

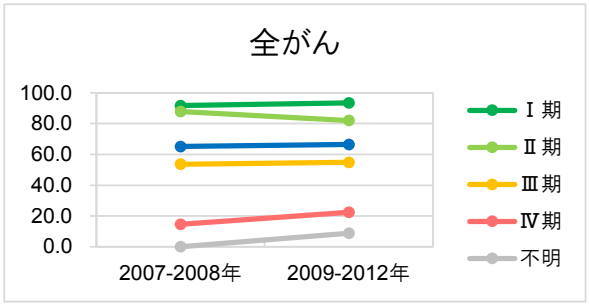
那覇市立病院（以下、那覇市立）の 2007-2008 年と 2009-2012 年の 5 年相対生存率をそれぞれ集計し、院内がん登録（2009-2010 年、全国がん診療連携拠点病院 277 施設）（以下、全国）の生存率と比較しました。

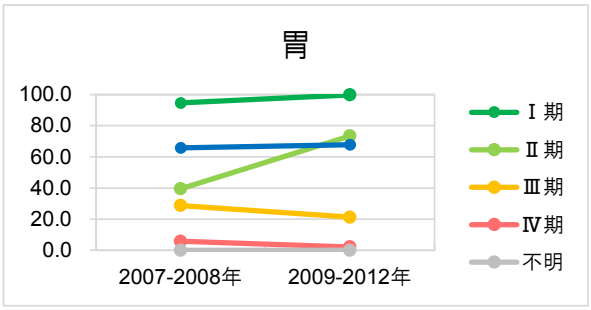
那覇市立（2009-2012 年）と全国（2009-2010 年）の各部位全体を比べると、全がんは那覇市立 66.5%、全国 66.1%、胃は那覇市立 67.8%、全国 71.6%、大腸は那覇市立 68.5%、全国 72.9%、肝臓は那覇市立 19.5%、全国 40.0%、肺は那覇市立 15.0%、全国 40.6%、乳房は那覇市立 95.0%、全国 92.5%でした。前がん、乳房の生存率は、那覇市立が全国を 0.4 ～ 2.5.%上回っていましたが、胃、大腸、肝臓、肺では 2.8 ～ 25.6%下回っていました。

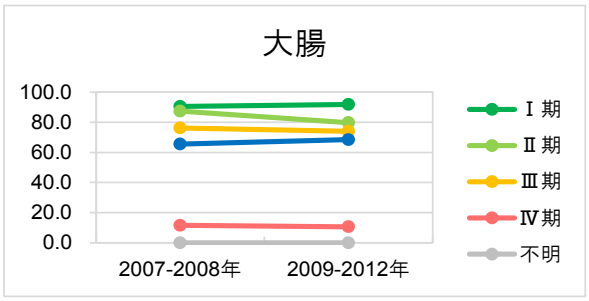
那覇市立の 2007-2008 年生存率と 2009-2012 年生存率を経年で比べると、2007-2008 年より数値が上昇している部位が散見されました。しかし、症例数が少なく数値が安定していないため、解釈には十分ご注意ください。

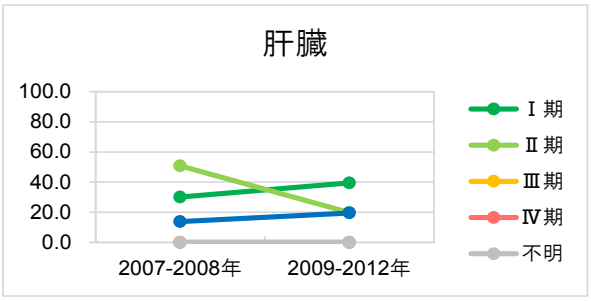
※生存率に影響を与えることが想定される情報として、①性別、②年齢、③病期（がんの進行状況）、④観血的治療の有無（手術がされたか、されなかったか）、⑤組織型（肺がんの場合）などがあるが、今回の本報告書では考慮していないため、解釈には十分ご注意ください。

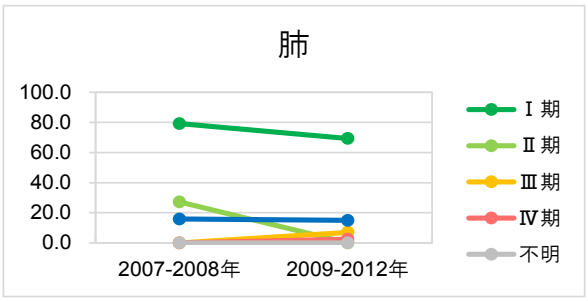
那覇市立病院　部位別　UICC TNM 分類　総合ステージ別　5 年相対生存率の推移

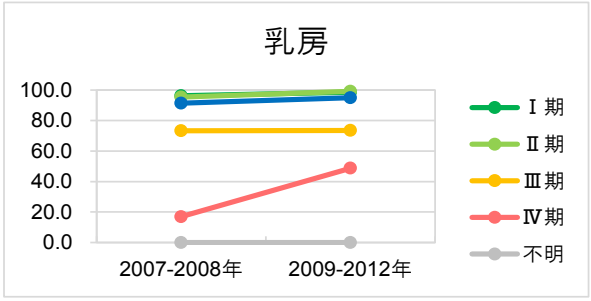












データ集計担当者から（集計方法と公表方法について）

部位別、UICCTNM 分類総合ステージ別に相対生存率を集計しているため母数となる症例数が少なくなっています。集計結果の解釈にはご注意ください。

① 生死不明割合が１０%以下、かつ対象者数が 30 件以上のものは、5 年相対生存率と標準誤差を表記していますが、解釈にはご注意ください。

② 生死不明割合が１０%以下、かつ集計対象者数が 1 ～ 29 件のものは、5 年相対生存率と標準誤差を表記のうえ、網掛けしています。

③ 生死不明割合が１０%以上の場合は、5 年相対生存率と標準誤差の値を伏せ、ハイフン（--）で表記のうえ、網掛けしています。

④ 対象者数が 0 件の場合は、5 年相対生存率と標準誤差、生死不明割合を、値なしのハイフン（--）で表記のうえ、網掛けしています。

②と③について、これら網掛け部分は、解釈の対象外ですので、取り扱いにはご注意ください。

＊「5 年相対生存率」とは、あるがんと診断された場合に、治療でどのくらい生命を救えるかを示す指標。あるがんと診断された人のうち 5 年後に生存している人の割合が､日本人全体（※１）で 5 年後に生存している人の割合に比べてどのくらい低いかで表します。100%に近いほど治療で生命を救えるがん、0%に近いほど治療で生命を救い難いがんであることを意味します。（※１）正確には、性別、生まれた年、および年齢の分布を同じくする日本人集団

＊症例区分「2：自施設診断・自施設治療」「3：他施設診断・自施設治療」のみ集計

＊ UICCTNM 分類の総合ステージ別に集計、ステージ 0 期は集計対象外

沖縄県立中部病院　部位別　UICC TNM 分類　総合ステージ別　５年相対生存率

		院内がん登録(全国277施設) 2009-2010年				沖縄県立中部病院 2007-2008年				沖縄県立中部病院 2009-2012年			
		対象者数	相対生存率	95%信頼区間	生死不明割合	対象者数	相対生存率	標準誤差	生死不明割合	対象者数	相対生存率	標準誤差	生死不明割合
全がん	Ⅰ期	--	--	--	--	279	89.5	2.9	4.7	653	85.7	2.0	2.1
	Ⅱ期	--	--	--	--	146	74.8	4.7	3.4	338	70.8	3.2	1.8
	Ⅲ期	--	--	--	--	168	40.6	4.1	1.2	346	47.1	3.0	1.4
	Ⅳ期	--	--	--	--	243	14.3	2.4	1.2	571	14.3	1.6	0.5
	不明	--	--	--	--	37	9.8	6.6	5.4	51	9.4	5.3	0.0
	全体	568,005	66.1	66.0-66.3	2.7	873	53.4	2.0	2.9	1,959	53.6	1.3	1.4
口腔･咽頭	Ⅰ期	--	--	--	--	6	51.5	22.5	0.0	18	65.6	12.9	0.0
	Ⅱ期	--	--	--	--	6	--	--	16.7	23	85.0	9.9	0.0
	Ⅲ期	--	--	--	--	4	76.3	23.3	0.0	22	66.5	12.9	4.5
	Ⅳ期	--	--	--	--	26	33.0	10.2	0.0	63	35.1	6.5	0.0
	不明	--	--	--	--	1	0.0	0.0	0.0	0	--	--	--
	全体	--	--	--	--	43	42.2	8.3	2.3	126	55.5	5.1	0.8
胃	Ⅰ期	52,927	94.6	94.6-95.0	3.1	38	--	--	10.5	82	82.8	6.2	1.2
	Ⅱ期	6,209	68.5	67.1-69.9	1.8	3	69.8	35.8	0.0	18	77.9	12.2	5.6
	Ⅲ期	5,927	45.1	43.6-46.5	2.0	2	100.0	0.0	0.0	14	46.9	15.2	0.0
	Ⅳ期	16,166	9.0	8.5-9.5	2.1	26	9.2	6.6	0.0	35	3.1	3.1	0.0
	不明	--	--	--	--	3	0.0	0.0	0.0	3	0.0	0.0	0.0
	全体	83,171	71.6	71.2-72.0	2.7	72	61.8	7.1	5.6	152	59.1	4.8	1.3
大腸	Ⅰ期	16,987	95.4	94.8-96.1	2.8	22	88.6	9.1	0.0	65	86.7	6.0	1.5
	Ⅱ期	17,842	88.1	87.4-88.8	2.7	42	76.4	8.0	2.4	83	86.6	5.8	2.4
	Ⅲ期	17,477	76.5	75.7-77.3	2.3	33	70.2	9.2	0.0	95	70.7	5.7	1.1
	Ⅳ期	13,087	18.7	18.0-19.5	2.1	35	9.1	5.0	0.0	84	16.8	4.3	1.2
	不明	--	--	--	--	5	0.0	0.0	0.0	10	0.0	0.0	0.0
	全体	67,600	72.9	72.9-73.3	2.6	137	58.5	4.8	0.7	337	62.5	3.1	1.5
肝臓	Ⅰ期	10,595	60.4	59.3-61.5	2.7	12	47.3	16.5	0.0	28	53.1	10.8	0.0
	Ⅱ期	7,695	42.8	41.5-44.0	2.8	6	35.7	21.1	0.0	16	28.1	12.9	0.0
	Ⅲ期	5,693	14.5	13.5-15.5	2.3	11	9.9	9.5	0.0	14	0.0	0.0	0.0
	Ⅳ期	2,276	3.5	2.7-4.4	2.1	10	0.0	0.0	0.0	32	0.0	0.0	0.0
	不明	--	--	--	--	2	0.0	0.0	0.0	3	0.0	0.0	0.0
	全体	26,906	40.0	39.3-40.7	2.6	41	22.3	7.1	0.0	93	21.2	4.7	0.0
胆のう･胆管	Ⅰ期	--	--	--	--	5	62.7	24.1	0.0	11	44.4	18.3	0.0
	Ⅱ期	--	--	--	--	2	0.0	0.0	0.0	14	16.5	11.4	0.0
	Ⅲ期	--	--	--	--	1	0.0	0.0	0.0	6	0.0	0.0	0.0
	Ⅳ期	--	--	--	--	8	0.0	0.0	0.0	17	8.4	8.2	0.0
	不明	--	--	--	--	0	--	--	--	5	0.0	0.0	0.0
	全体	--	--	--	--	16	20.5	10.9	0.0	53	17.2	6.1	0.0
膵臓	Ⅰ期	1,067	43.3	39.6-46.6	1.8	1	0.0	0.0	0.0	2	100.0	0.0	0.0
	Ⅱ期	4,174	19.3	18.0-20.6	2.3	1	100.0	0.0	0.0	14	15.3	10.5	0.0
	Ⅲ期	3,266	5.7	4.9-6.6	2.4	3	0.0	0.0	0.0	10	10.5	10.4	0.0
	Ⅳ期	8,594	1.7	1.4-2.0	1.9	20	5.7	5.6	5.0	26	0.0	0.0	0.0
	不明	--	--	--	--	0	--	--	--	1	0.0	0.0	0.0
	全体	17,617	9.6	9.1-10.0	2.1	25	8.9	6.1	4.0	53	10.4	4.6	0.0
肺	Ⅰ期	26,274	81.2	80.6-81.9	2.0	18	89.5	10.4	0.0	49	63.9	8.2	0.0
	Ⅱ期	4,670	46.3	44.6-47.9	2.3	6	34.8	20.8	0.0	13	52.5	15.7	0.0
	Ⅲ期	17,664	22.3	21.6-22.9	1.9	41	0.0	0.0	0.0	67	7.0	3.4	0.0
	Ⅳ期	21,628	5.1	4.7-5.4	2.0	39	0.0	0.0	2.6	128	0.0	0.0	0.0
	不明	--	--	--	--	12	--	--	16.7	18	0.0	0.0	0.0
	全体	71,569	40.6	40.2-41.0	2.0	116	18.3	4.0	2.6	275	15.7	2.4	0.0
骨･軟部組織	全体	--	--	--	--	3	33.4	0.0	0.0	10	--	--	10.0
皮膚	Ⅰ期	--	--	--	--	55	88.7	8.4	7.3	80	96.6	7.0	6.3
(悪性黒色腫含む)	Ⅱ期	--	--	--	--	10	51.2	25.7	10.0	23	67.2	16.2	4.3
	Ⅲ期	--	--	--	--	2	0.0	0.0	0.0	1	100.0	0.0	0.0
	Ⅳ期	--	--	--	--	0	--	--	--	1	0.0	0.0	0.0
	不明	--	--	--	--	0	--	--	--	0	--	--	--
	全体	--	--	--	--	67	82.6	8.2	7.5	105	93.3	6.6	5.7
乳房(女性)	Ⅰ期	21,350	99.8	99.5-100.0	2.0	26	95.3	5.8	3.8	69	97.1	3.1	1.4
	Ⅱ期	19,046	95.9	95.5-96.3	2.3	22	97.0	5.0	4.5	37	85.3	7.0	0.0
	Ⅲ期	5,913	79.9	78.7-81.0	2.5	10	80.9	13.0	0.0	19	72.6	12.5	5.3
	Ⅳ期	2,482	37.2	35.7-39.2	2.1	9	33.9	16.1	0.0	29	30.5	9.2	0.0
	不明	--	--	--	--	0	--	--	--	1	100.0	0.0	0.0
	全体	49,310	92.5	92.2-92.8	2.2	67	88.7	4.9	3.0	155	81.9	3.8	1.3
子宮頸部	Ⅰ期	4,868	95.3	94.5-96.0	4.8	10	90.2	9.6	0.0	33	100.0	0.0	6.1
	Ⅱ期	1,851	78.7	76.5-80.8	3.2	3	34.0	28.2	0.0	10	62.3	16.2	0.0
	Ⅲ期	2,607	61.4	59.4-63.4	2.9	10	34.0	16.2	10.0	19	56.6	12.3	5.3
	Ⅳ期	1,326	25.2	22.8-27.7	2.8	3	34.3	30.9	0.0	12	8.6	8.3	0.0
	不明	--	--	--	--	1	0.0	0.0	0.0	2	0.0	0.0	0.0
	全体	10,805	75.3	74.4-76.1	3.8	27	55.2	10.1	3.7	76	68.8	5.7	3.9
子宮体部	Ⅰ期	6,580	96.8	96.1-97.4	2.2	26	96.9	4.0	3.8	58	91.7	4.1	1.7
	Ⅱ期	922	89.9	87.3-92.0	2.5	1	100.0	0.0	0.0	13	92.5	7.5	0.0
	Ⅲ期	1,936	74.0	71.9-76.0	1.6	8	51.2	18.2	0.0	8	63.1	17.4	0.0
	Ⅳ期	887	21.3	28.5-24.1	1.8	1	0.0	0.0	0.0	9	0.0	0.0	0.0
	不明	--	--	--	--	0	--	--	--	0	--	--	--
	全体	11,479	82.1	81.3-82.8	2.1	36	86.1	6.5	2.8	88	80.4	4.5	1.1
前立腺	Ⅰ期	757	100.0	97.4-100.0	3.7	1	100.0	0.0	0.0	4	78.4	26.6	0.0
	Ⅱ期	30,188	100.0	100.0-100.0	2.3	21	99.6	10.2	4.8	23	82.8	14.2	4.3
	Ⅲ期	6,828	100.0	100.0-100.0	1.9	5	--	--	20.0	2	52.8	43.4	0.0
	Ⅳ期	6,547	62.2	60.7-63.7	2.4	7	0.0	0.0	0.0	14	35.8	15.1	0.0
	不明	--	--	--	--	1	0.0	0.0	0.0	3	73.8	62.6	0.0
	全体	45,016	98.6	98.2-99.0	2.3	35	79.7	10.8	5.7	46	71.2	10.1	2.2
脳･中枢神経系	全体	--	--	--	--	0	--	--	--	0	--	--	--
悪性リンパ腫	全体	--	--	--	--	35	44.5	9.2	0.0	72	58.5	6.4	2.8
多発性骨髄腫	全体	--	--	--	--	2	0.0	0.0	0.0	2	51.5	37.5	0.0
白血病	全体	--	--	--	--	2	0.0	0.0	0.0	32	3.3	3.5	0.0

＊院内がん登録（全国 277 施設）：がん診療連携拠点病院院内がん登録 2009-2010 年生存率集計報告書．国立がん研究センターがん対策情報センター
＊沖縄県がん診療拠点病院３施設：琉球大学医学部附属病院、那覇市立病院、沖縄県立中部病院の３施設

データを見ると

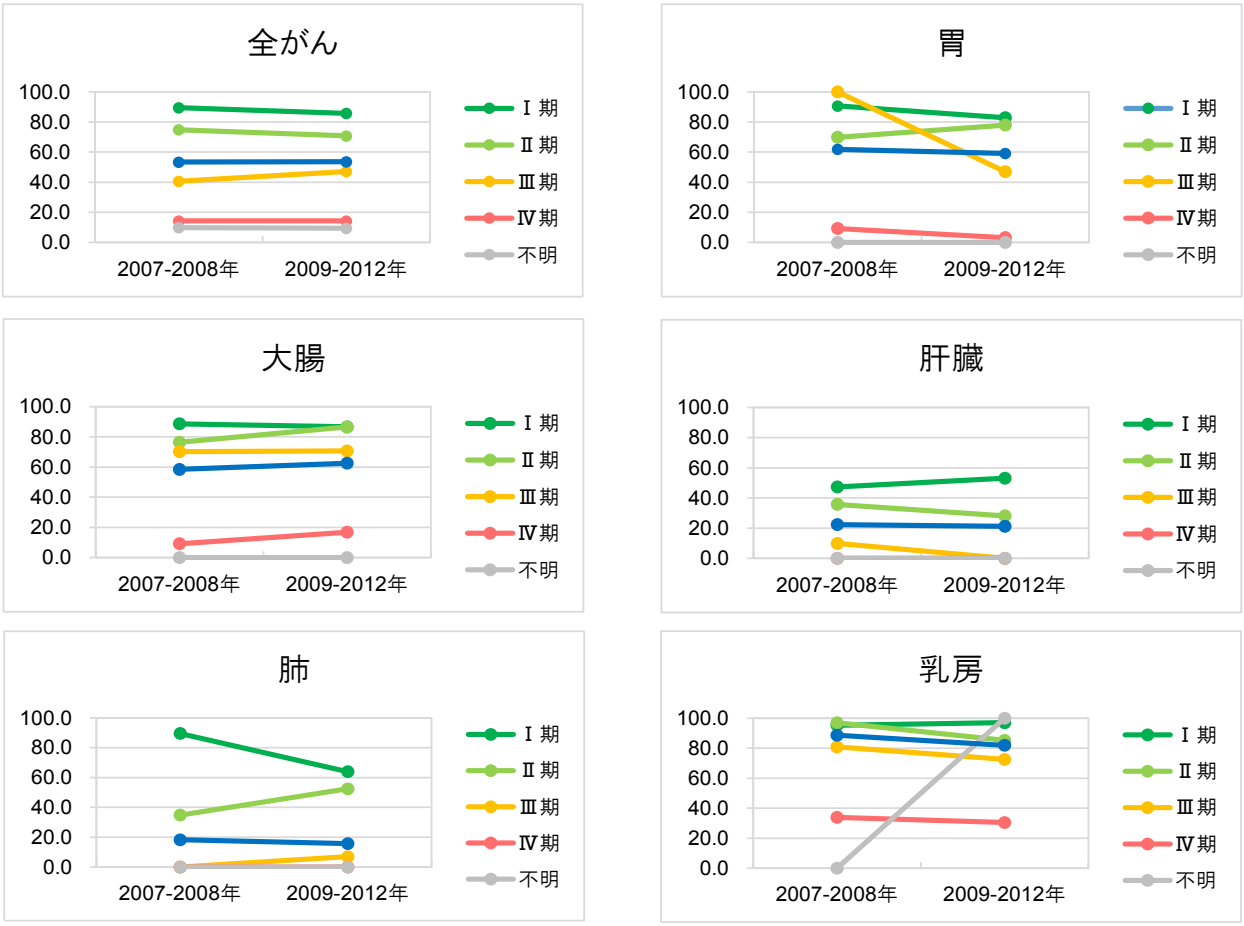
県立中部病院（以下、県立中部）の 2007-2008 年と 2009-2012 年の 5 年相対生存率をそれぞれ集計し、院内がん登録（2009-2010 年、全国がん診療連携拠点病院 277 施設）（以下、全国）の生存率と比較しました。

県立中部（2009-2012 年）と全国（2009-2010 年）の各部位全体を比べると、全がんは県立中部 53.6%、全国 66.1%、胃は県立中部 59.1%、全国 71.6%、大腸は県立中部 62.5%、全国 72.9%、肝臓は県立中部 21.2%、全国 40.0%、肺は県立中部 15.7%、全国 40.6%、乳房は県立中部 81.9%、全国 92.5%でした。全がん、胃、大腸、肝臓、肺、乳房の生存率は、県立中部が全国を 10.4 ～ 24.9%下回っていました。

県立中部の 2007-2008 年生存率と 2009-2012 年生存率を経年で比べると、横ばい傾向あるいは 2007-2008 年より低下している部位も散見されました。これは母数である症例数の少なさから、数値が安定していないことが影響していると考えられます。また、生存状況の把握が不十分な場合（2007-2008 年生存率）には真の値よりも高い生存率知られています。そのため、解釈には十分ご注意ください。

※生存率に影響を与えることが想定される情報として、①性別、②年齢、③病期（がんの進行状況）、④観血的治療の有無（手術がされたか、されなかったか）、⑤組織型（肺がんの場合）などがあるが、今回の本報告書では考慮していないため、解釈には十分ご注意ください。

沖縄県立中部病院　部位別　UICC TNM 分類　総合ステージ別　5 年相対生存率の推移



データ集計担当者から（集計方法と公表方法について）

部位別、UICCTNM 分類総合ステージ別に相対生存率を集計しているため母数となる症例数が少なくなっています。集計結果の解釈にはご注意ください。

① 生死不明割合が１０%以下、かつ対象者数が 30 件以上のものは、5 年相対生存率と標準誤差を表記していますが、解釈にはご注意ください。

② 生死不明割合が１０%以下、かつ集計対象者数が 1 ～ 29 件のものは、5 年相対生存率と標準誤差を表記のうえ、網掛けしています。

③ 生死不明割合が１０%以上の場合は、5 年相対生存率と標準誤差の値を伏せ、ハイフン（--）で表記のうえ、網掛けしています。

④ 対象者数が 0 件の場合は、5 年相対生存率と標準誤差、生死不明割合を、値なしのハイフン（--）で表記のうえ、網掛けしています。

②と③について、これら網掛け部分は、解釈の対象外ですので、取り扱いにはご注意ください。

＊「5 年相対生存率」とは、あるがんと診断された場合に、治療でどのくらい生命を救えるかを示す指標。あるがんと診断された人のうち 5 年後に生存している人の割合が､日本人全体（※1）で 5 年後に生存している人の割合に比べてどのくらい低いかで表します。100%に近いほど治療で生命を救えるがん、0%に近いほど治療で生命を救い難いがんであることを意味します。（※1）正確には、性別、生まれた年、および年齢の分布を同じくする日本人集団

＊症例区分「2：自施設診断・自施設治療」「3：他施設診断・自施設治療」のみ集計

＊ UICCTNM 分類の総合ステージ別に集計、ステージ 0 期は集計対象外

部位別
集計結果



200

口腔・咽頭（C00 − C14）

データを見ると

18 施設の口腔・咽頭がんの登録数は 322 件（2018 年）で、前年の登録数とほぼ同数でした。

男女別登録割合（2018 年）は、男性 69.6%、女性 30.4%で、女性は前年の 23.6%から 6.8%増加していました。年齢階級別登録割合（2018 年）をみると、いずれの年も 60 ～ 69 歳にピークを認め、全体の 9 割を 50 歳以上が占めていました。

登録数を施設別にみると、件数の多い上位 3 施設は、琉球大学医学部附属病院 160 件、県立中部病院 44 件、県立南部医療センター・こども医療センター 14 件でした。

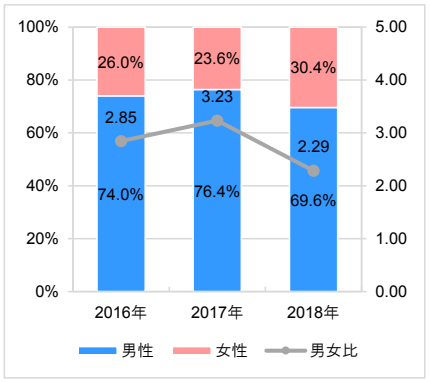
18 施設の治療前ステージ登録数のⅣ期の割合（38.2%）と、どの病期に比べても高く、Ⅲ期とⅣ期で約 5 割を占めていました。

施設別　登録数の推移

口腔･咽頭	2014年		2015年		2016年		2017年		2018年	
沖縄県18施設合計	300	(100.0%)	339	(100.0%)	350	(100.0%)	326	(100.0%)	322	(100.0%)
北部地区医師会病院	1	(0.3%)	3	(0.9%)	0	(0.0%)	5	(1.5%)	1	(0.3%)
国立病院機構沖縄病院	11	(3.7%)	8	(2.4%)	10	(2.9%)	13	(4.0%)	9	(2.8%)
県立中部病院	33	(11.0%)	44	(13.0%)	52	(14.9%)	56	(17.2%)	44	(13.7%)
中頭病院	19	(6.3%)	32	(9.4%)	16	(4.6%)	21	(6.4%)	12	(3.7%)
中部徳洲会病院	3	(1.0%)	1	(0.3%)	2	(0.6%)	7	(2.1%)	5	(1.6%)
ハートライフ病院	18	(6.0%)	21	(6.2%)	11	(3.1%)	9	(2.8%)	8	(2.5%)
那覇市立病院	8	(2.7%)	11	(3.2%)	11	(3.1%)	10	(3.1%)	9	(2.8%)
沖縄赤十字病院	10	(3.3%)	5	(1.5%)	12	(3.4%)	10	(3.1%)	10	(3.1%)
大浜第一病院	--	--	--	--	0	(0.0%)	1	(0.3%)	1	(0.3%)
浦添総合病院	12	(4.0%)	16	(4.7%)	16	(4.6%)	8	(2.5%)	13	(4.0%)
琉球大学医学部附属病院	143	(47.7%)	149	(44.0%)	157	(44.9%)	138	(42.3%)	160	(49.7%)
県立南部医療センター･こども医療センター	9	(3.0%)	10	(2.9%)	17	(4.9%)	15	(4.6%)	14	(4.3%)
南部病院	10	(3.3%)	5	(1.5%)	12	(3.4%)	7	(2.1%)	10	(3.1%)
南部徳洲会病院	7	(2.3%)	12	(3.5%)	9	(2.6%)	6	(1.8%)	7	(2.2%)
沖縄協同病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(0.6%)	0	(0.0%)	1	(0.3%)
豊見城中央病院	10	(3.3%)	13	(3.8%)	15	(4.3%)	6	(1.8%)	10	(3.1%)
県立宮古病院	4	(1.3%)	4	(1.2%)	4	(1.1%)	8	(2.5%)	3	(0.9%)
県立八重山病院	2	(0.7%)	5	(1.5%)	4	(1.1%)	6	(1.8%)	5	(1.6%)

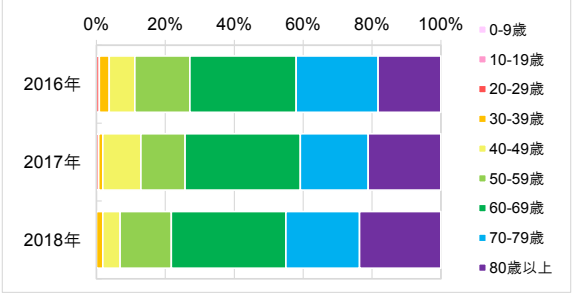
男女別　登録割合の推移

口腔･咽頭	2016年		2017年		2018年	
男性	259	(74.0%)	249	(76.4%)	224	(69.6%)
女性	91	(26.0%)	77	(23.6%)	98	(30.4%)
男女比		2.85		3.23		2.29
合計	350	(100.0%)	326	(100.0%)	322	(100.0%)



年齢階級別　登録数と登録割合の推移

口腔･咽頭	2016年		2017年		2018年	
合計	350	(100.0%)	326	(100.0%)	322	(100.0%)
0-9歳	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
10-19歳	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
20-29歳	3	(0.9%)	2	(0.6%)	0	(0.0%)
30-39歳	10	(2.9%)	4	(1.2%)	6	(1.9%)
40-49歳	26	(7.4%)	36	(11.0%)	16	(5.0%)
50-59歳	56	(16.0%)	42	(12.9%)	48	(14.9%)
60-69歳	108	(30.9%)	109	(33.4%)	107	(33.2%)
70-79歳	83	(23.7%)	64	(19.6%)	69	(21.4%)
80歳以上	64	(18.3%)	69	(21.2%)	76	(23.6%)

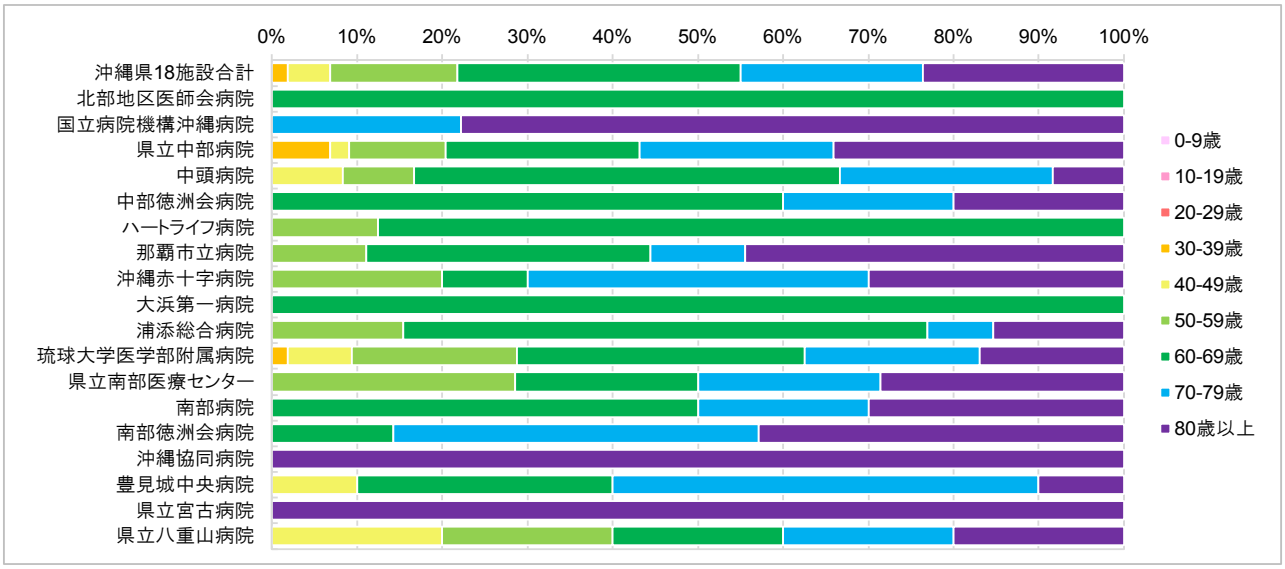


＊症例区分「80：その他」を除いて集計
＊男女別登録割合の「男女比」は、女性を 1 としたときの男性の比率

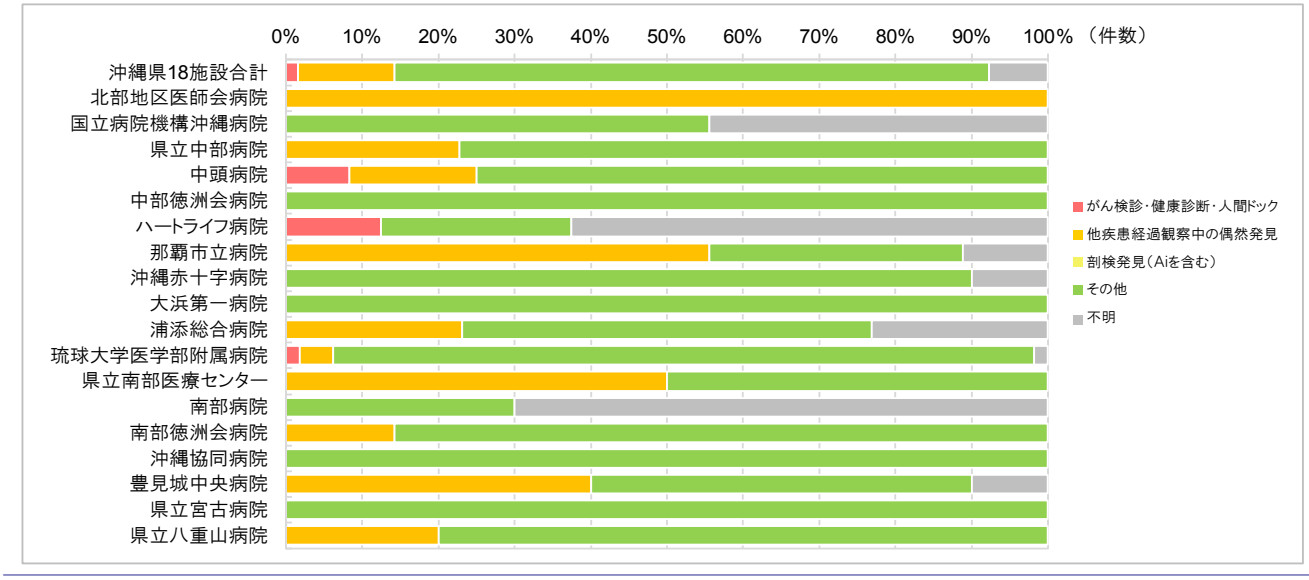
詳細部位別　登録数

	局在コード	部位名	件数	（%）
口唇	C00	口唇	3	(0.9%)
口腔	C02	その他および部位不明の舌（舌）	59	(18.3%)
	C03	歯肉	44	(13.7%)
	C04	口腔底	19	(5.9%)
	C050, C058, C059	硬口蓋、口蓋の境界部病巣、口蓋、NOS（口蓋）	4	(1.2%)
	C06	その他および部位不明の口腔（頬粘膜、口腔前庭、臼後部）	20	(6.2%)
唾液腺	C07	耳下腺	12	(3.7%)
	C08	その他および詳細部位不明の大唾液腺（顎下腺、舌下腺、大唾液腺）	5	(1.6%)
上咽頭	C11	鼻咽頭	11	(3.4%)
中咽頭	C01	舌根部	28	(8.7%)
	C051, C052	軟口蓋、NOS、口蓋垂	9	(2.8%)
	C09	扁桃	31	(9.6%)
	C10	中咽頭	17	(5.3%)
下咽頭	C12	梨状陥凹	37	(11.5%)
	C13	下咽頭（後輪状軟骨部、披裂喉頭蓋ひだの下咽頭面、下咽後壁）	23	(7.1%)
咽頭	C14	その他および部位不明確の口唇、口腔および咽頭（咽頭、NOS、ワルダイヤー輪）	0	(0.0%)
合計			322	(100.0%)

施設別　年齢階級別　登録割合



施設別　発見経緯別　登録割合



＊症例区分「８０：その他」を除いて集計
＊詳細部位別登録数の部位名について、一般の方向けにわかりやすい部位名をカッコ内に表記
＊県立南部医療センター・こども医療センターを便宜上、「県立南部医療センター」と表記

施設別　UICC TNM 分類　治療前ステージ別　登録数

口腔・咽頭	0期		Ⅰ期		Ⅱ期		Ⅲ期		Ⅳ期		不明・その他		合計	
沖縄県18施設合計	6	(2.7%)	52	(23.1%)	42	(18.7%)	31	(13.8%)	86	(38.2%)	8	(3.6%)	225	(100.0%)
北部地区医師会病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
国立病院機構沖縄病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(50.0%)	1	(50.0%)	2	(100.0%)
県立中部病院	4	(9.8%)	3	(7.3%)	8	(19.5%)	7	(17.1%)	19	(46.3%)	0	(0.0%)	41	(100.0%)
中頭病院	0	(0.0%)	1	(11.1%)	1	(11.1%)	2	(22.2%)	2	(22.2%)	3	(33.3%)	9	(100.0%)
中部徳洲会病院	0	(0.0%)	1	(50.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(50.0%)	0	(0.0%)	2	(100.0%)
ハートライフ病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
那覇市立病院	1	(14.3%)	1	(14.3%)	2	(28.6%)	1	(14.3%)	2	(28.6%)	0	(0.0%)	7	(100.0%)
沖縄赤十字病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(100.0%)	0	(0.0%)	1	(100.0%)
浦添総合病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
大浜第一病院	0	(0.0%)	1	(33.3%)	0	(0.0%)	1	(33.3%)	1	(33.3%)	0	(0.0%)	3	(100.0%)
琉球大学医学部附属病院	1	(0.7%)	41	(27.9%)	31	(21.1%)	17	(11.6%)	56	(38.1%)	1	(0.7%)	147	(100.0%)
県立南部医療センター・こども医療センター	0	(0.0%)	2	(25.0%)	0	(0.0%)	1	(12.5%)	2	(25.0%)	3	(37.5%)	8	(100.0%)
南部病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
南部徳洲会病院	0	(0.0%)	1	(100.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(100.0%)
沖縄協同病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
豊見城中央病院	0	(0.0%)	1	(33.3%)	0	(0.0%)	2	(66.7%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(100.0%)
県立宮古病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(100.0%)	0	(0.0%)	1	(100.0%)
県立八重山病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)

施設別　UICC TNM 分類　術後ステージ別　登録数

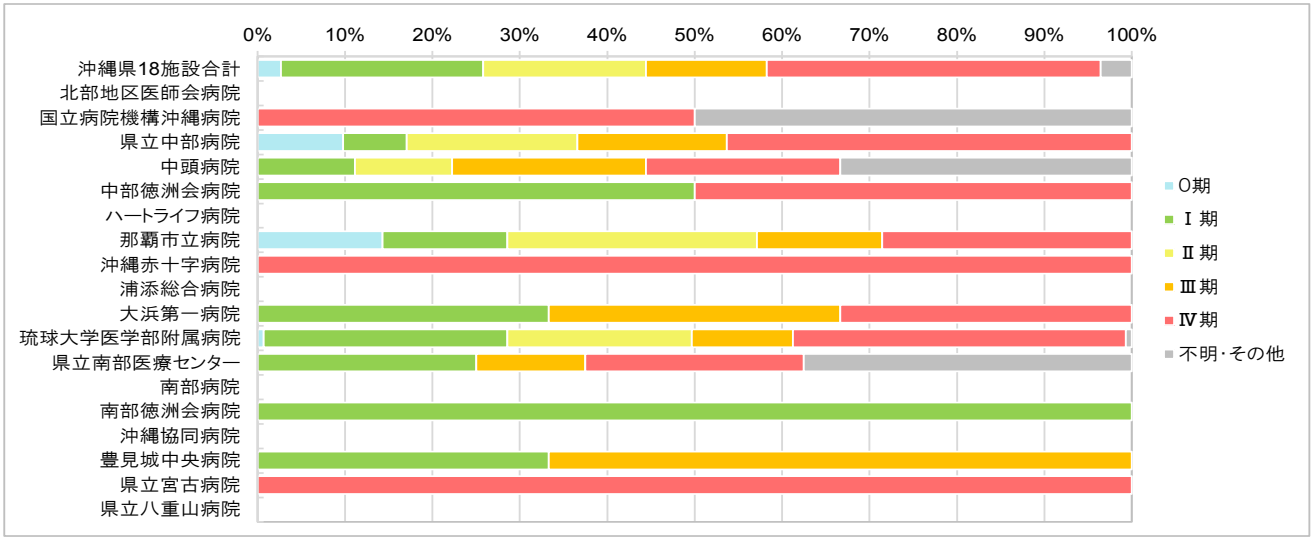
口腔・咽頭	0期		Ⅰ期		Ⅱ期		Ⅲ期		Ⅳ期		術前治療後		不明・その他		合計	
沖縄県18施設合計	7	(6.3%)	37	(33.0%)	23	(20.5%)	9	(8.0%)	19	(17.0%)	17	(15.2%)	0	(0.0%)	112	(100.0%)
北部地区医師会病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
国立病院機構沖縄病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
県立中部病院	3	(25.0%)	1	(8.3%)	4	(33.3%)	2	(16.7%)	2	(16.7%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	12	(100.0%)
中頭病院	0	(0.0%)	2	(40.0%)	0	(0.0%)	2	(40.0%)	1	(20.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	5	(100.0%)
中部徳洲会病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
ハートライフ病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
那覇市立病院	1	(25.0%)	1	(25.0%)	1	(25.0%)	1	(25.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	4	(100.0%)
沖縄赤十字病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
大浜第一病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
浦添総合病院	0	(0.0%)	1	(100.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(100.0%)
琉球大学医学部附属病院	3	(3.6%)	29	(34.5%)	17	(20.2%)	3	(3.6%)	15	(17.9%)	17	(20.2%)	0	(0.0%)	84	(100.0%)
県立南部医療センター・こども医療センター	0	(0.0%)	1	(33.3%)	1	(33.3%)	0	(0.0%)	1	(33.3%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(100.0%)
南部病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
南部徳洲会病院	0	(0.0%)	1	(100.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(100.0%)
沖縄協同病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
豊見城中央病院	0	(0.0%)	1	(50.0%)	0	(0.0%)	1	(50.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(100.0%)
県立宮古病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
県立八重山病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)

施設別　UICC TNM 分類　総合ステージ別　登録数

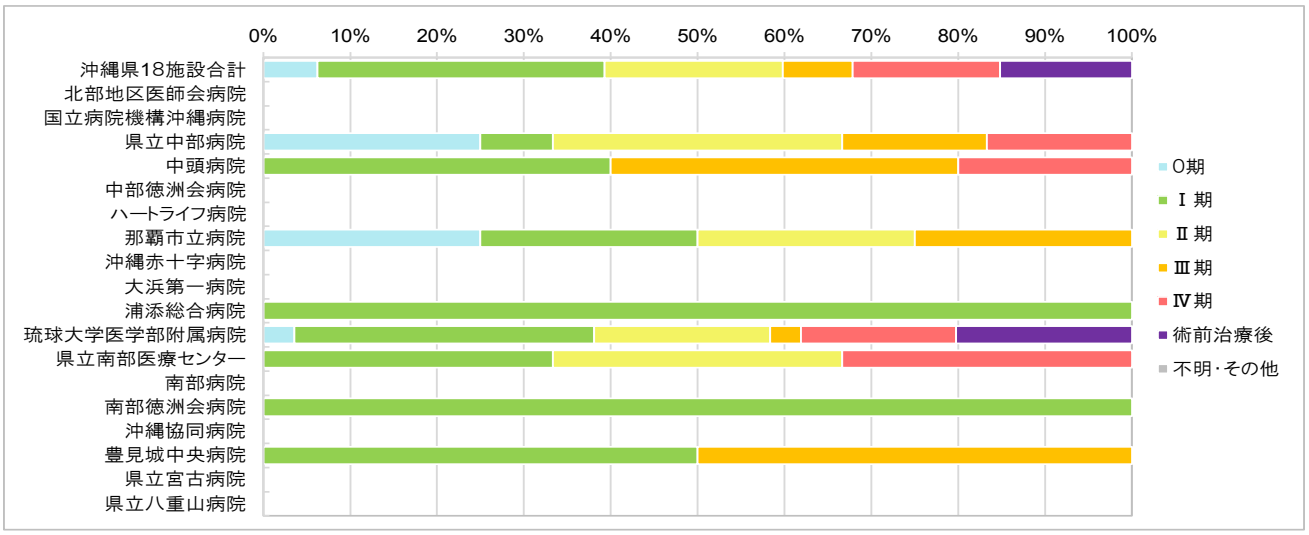
口腔・咽頭	0期		Ⅰ期		Ⅱ期		Ⅲ期		Ⅳ期		不明・その他		合計	
沖縄県18施設合計	8	(3.6%)	59	(26.2%)	41	(18.2%)	27	(12.0%)	86	(38.2%)	4	(1.8%)	225	(100.0%)
北部地区医師会病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
国立病院機構沖縄病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(50.0%)	1	(50.0%)	2	(100.0%)
県立中部病院	4	(9.8%)	5	(12.2%)	8	(19.5%)	6	(14.6%)	18	(43.9%)	0	(0.0%)	41	(100.0%)
中頭病院	0	(0.0%)	2	(22.2%)	1	(11.1%)	3	(33.3%)	2	(22.2%)	1	(11.1%)	9	(100.0%)
中部徳洲会病院	0	(0.0%)	1	(50.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(50.0%)	0	(0.0%)	2	(100.0%)
ハートライフ病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
那覇市立病院	1	(14.3%)	1	(14.3%)	1	(14.3%)	2	(28.6%)	2	(28.6%)	0	(0.0%)	7	(100.0%)
沖縄赤十字病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(100.0%)	0	(0.0%)	1	(100.0%)
大浜第一病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
浦添総合病院	0	(0.0%)	1	(33.3%)	0	(0.0%)	1	(33.3%)	1	(33.3%)	0	(0.0%)	3	(100.0%)
琉球大学医学部附属病院	3	(2.0%)	44	(29.9%)	30	(20.4%)	12	(8.2%)	57	(38.8%)	1	(0.7%)	147	(100.0%)
県立南部医療センター・こども医療センター	0	(0.0%)	3	(37.5%)	1	(12.5%)	1	(12.5%)	2	(25.0%)	1	(12.5%)	8	(100.0%)
南部病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
南部徳洲会病院	0	(0.0%)	1	(100.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(100.0%)
沖縄協同病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
豊見城中央病院	0	(0.0%)	1	(33.3%)	0	(0.0%)	2	(66.7%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(100.0%)
県立宮古病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(100.0%)	0	(0.0%)	1	(100.0%)
県立八重山病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)

こちらの集計対象は以下の条件を満たす登録である
1. 症例区分「20：自施設診断・自施設初回治療開始」「30：他施設診断・自施設初回治療開始」のみ集計
2.「癌腫」
3. 術後ステージの集計においては、上記「1」「2」に加えて「項目：外科的・鏡視下・内視鏡的治療の結果」の区分が原発巣切除例とする。

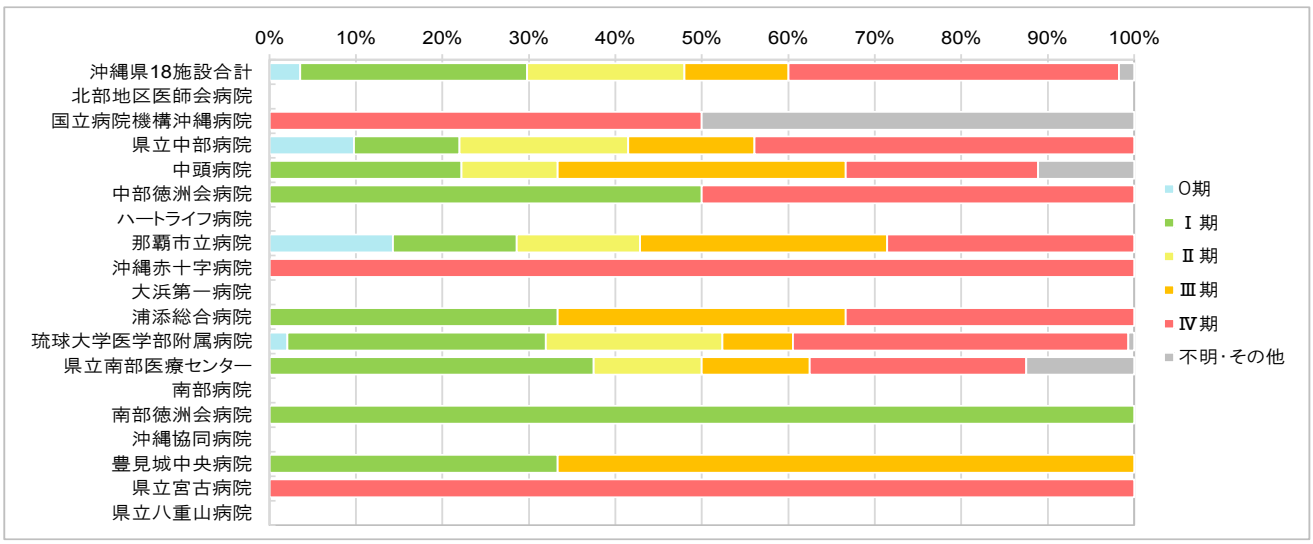
施設別　UICC TNM 分類　治療前ステージ別　登録割合



施設別　UICC TNM 分類　術後ステージ別　登録割合



施設別　UICC TNM 分類　総合ステージ別　登録割合



＊県立南部医療センター・こども医療センターを便宜上、「県立南部医療センター」と表記
こちらの集計対象は以下の条件を満たす登録である
1. 症例区分「20：自施設診断・自施設初回治療開始」「30：他施設診断・自施設初回治療開始」のみ集計
2.「癌腫」
3. 術後ステージの集計においては、上記「1」「2」に加えて「項目：外科的・鏡視下・内視鏡的治療の結果」の区分が原発巣切除例とする。

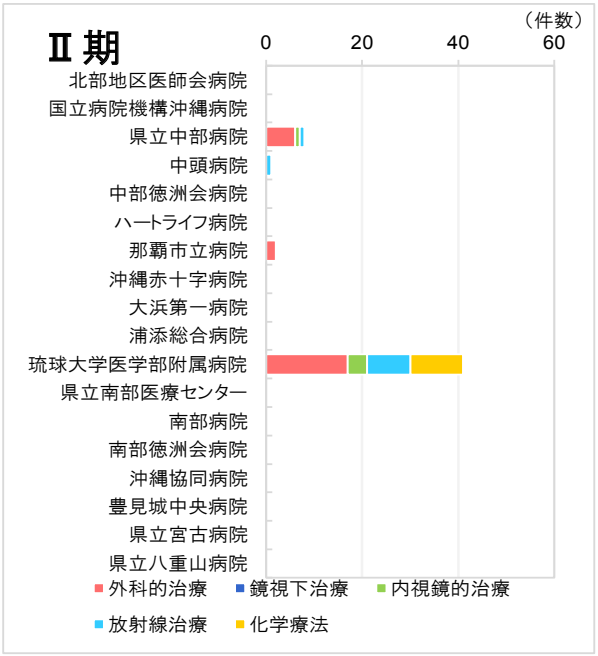
臨床医からのコメント

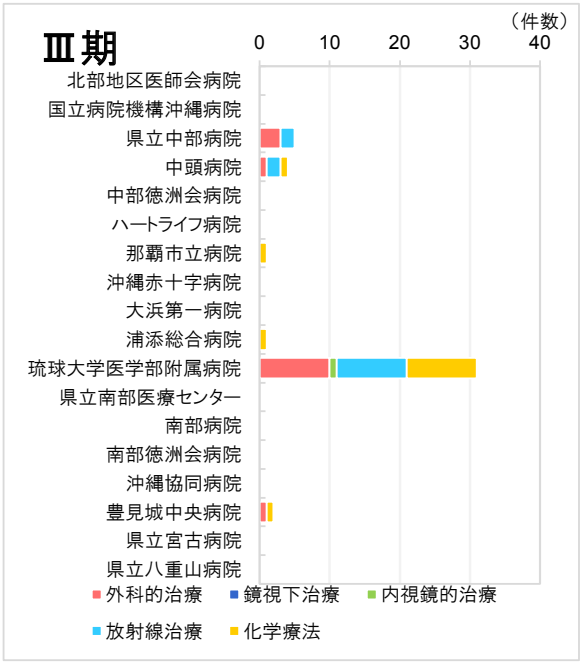
口腔癌と咽頭癌を同一の範疇で述べるのは困難なため各々について記す。
咽頭癌
　咽頭癌発生の男女比はおよそ 5:1 であり、50-70 歳台の中高年層に多いが、80 歳以上の高齢者の発生も年々増加傾向にある。これまで酒･タバコを原因とする下咽頭癌の占める割合が高かったが最近は中咽頭癌も増加傾向にあり、特にヒト乳頭腫ウイルス関連中咽頭癌の割合が激増している。沖縄県においてはステージⅠの早期例が多い一方でステージⅣの進行例も多い。治療は手術あるいは化学放射線療法が主体であり、形態・機能温存の観点から化学放射線療法を選択する患者が増加している。治療成績も全国に比して遜色のないものとなっているが、ウイルス関連中咽頭癌の予後は特に良好である。咽頭癌の治療については耳鼻咽喉・頭頸部外科がその役割を担っており、沖縄県における治療施設としては琉球大学医学部附属病院が大規模集約施設となっているほか、(次のページにつづく→)

施設別　UICC TNM 分類　治療前ステージ別　治療の件数－ 0 期～Ⅲ期









＊件数は延べ件数（手術と化学療法を組み合わせて行った場合は、どちらの項目でもカウントされる）
＊記載のない治療方法については巻末の集計表を参照
＊県立南部医療センター・こども医療センターを便宜上、「県立南部医療センター」と表記
こちらの集計対象は以下の条件を満たす登録である
1. 症例区分「20：自施設診断・自施設初回治療開始」「21：自施設診断・自施設初回治療継続」「30：他施設診断・自施設初回治療開始」「31：他施設診断・自施設初回治療継続」のみ集計
2.「癌腫」

臨床医からのコメント

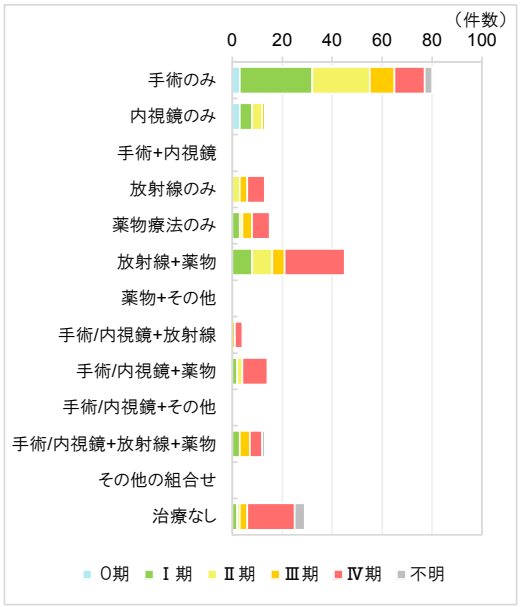
県立中部病院をはじめ大学の関連病院で治療が行われている。ただし治療医そのものは充足していない。
口腔癌
　口腔癌のうちでは舌癌の発生が最多で、女性また若年者にも多く発生する。男女比はおよそ 3:1 で本統計の数値は妥当なものと思われる。口腔癌についても沖縄県ではステージ IV の進行例が極端に多い傾向にある。治療は手術が第一選択であり、沖縄県においては耳鼻咽喉・頭頸部外科以外に歯科口腔外科がこれに加わっている。再建技術の進歩により形態・機能の温存が図られていると共に、長期予後も得られるようになってきている。県内では琉球大学医学部附属病院が大規模集約施設となっているほか、県立中部病院をはじめ関連病院で治療が行われている。

真栄田　裕行（琉球大学医学部附属病院　耳鼻咽喉科　准教授）

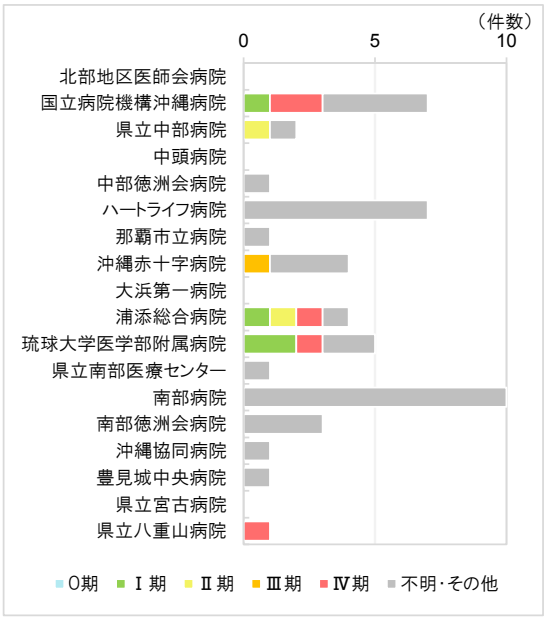
施設別　UICC TNM 分類　治療前ステージ別　治療の件数－Ⅳ期



UICC TNM 分類　治療前ステージ別　初回治療の組み合わせ別（他施設での治療を含む）登録数



施設別　UICC TNM 分類　治療前ステージ別　初回治療終了後の受け入れ登録数



＊県立南部医療センター・こども医療センターを便宜上、「県立南部医療センター」と表記
こちらの集計対象は以下の条件を満たす登録である
1. 症例区分「20：自施設診断・自施設初回治療開始」「21：自施設診断・自施設初回治療継続」「30：他施設診断・自施設初回治療開始」「31：他施設診断・自施設初回治療継続」のみ集計（初回治療終了後の受け入れ登録数は、症例区分「40：初回治療終了後」のみ集計）
2.「癌腫」

胃（C16）

データを見ると

18 施設の胃がん登録数は 604 件（2018 年）で、前年の登録数とほぼ同数でした。

男女別登録割合（2018 年）は、男性 70.2%、女性 29.8%で、男性は女性の 2.4 倍で、年次推移は横ばい傾向でした。年齢階級別登録割合をみると、いずれの年も 70 ～ 79 歳にピークを認め、全体の約 8 割を 60 歳代以上が占めており、その登録割合は微増傾向でした。

登録数を施設別にみると、件数の多い上位 3 施設は、中頭病院 58 件、那覇市立病院 57 件、中部徳洲会病院 54 件でした。

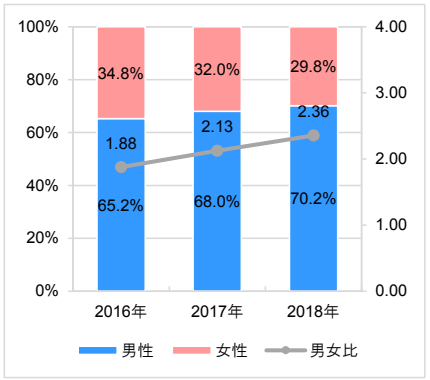
18 施設の治療前ステージ別登録数のⅠ期の割合（43.3%）は、全国の割合（62.1%）と比べて、18.8%下回っており、Ⅲ期＋Ⅳ期の割合（39.5%）は、全国の割合（21.9%）と比べて、17.6%上回っていました。

施設別　登録数の推移

胃	2014年		2015年		2016年		2017年		2018年	
沖縄県18施設合計	613	(100.0%)	634	(100.0%)	564	(100.0%)	597	(100.0%)	604	(100.0%)
北部地区医師会病院	24	(3.9%)	33	(5.2%)	22	(3.9%)	41	(6.9%)	32	(5.3%)
国立病院機構沖縄病院	11	(1.8%)	13	(2.1%)	12	(2.1%)	20	(3.4%)	5	(0.8%)
県立中部病院	44	(7.2%)	48	(7.6%)	61	(10.8%)	56	(9.4%)	38	(6.3%)
中頭病院	78	(12.7%)	78	(12.3%)	59	(10.5%)	49	(8.2%)	58	(9.6%)
中部徳洲会病院	46	(7.5%)	33	(5.2%)	30	(5.3%)	44	(7.4%)	54	(8.9%)
ハートライフ病院	33	(5.4%)	43	(6.8%)	37	(6.6%)	24	(4.0%)	32	(5.3%)
那覇市立病院	65	(10.6%)	72	(11.4%)	67	(11.9%)	62	(10.4%)	57	(9.4%)
沖縄赤十字病院	22	(3.6%)	29	(4.6%)	15	(2.7%)	26	(4.4%)	32	(5.3%)
大浜第一病院	--	--	--	--	10	(1.8%)	19	(3.2%)	22	(3.6%)
浦添総合病院	79	(12.9%)	47	(7.4%)	43	(7.6%)	37	(6.2%)	42	(7.0%)
琉球大学医学部附属病院	43	(7.0%)	40	(6.3%)	42	(7.4%)	34	(5.7%)	53	(8.8%)
県立南部医療センター・こども医療センター	19	(3.1%)	26	(4.1%)	26	(4.6%)	26	(4.4%)	20	(3.3%)
南部病院	14	(2.3%)	21	(3.3%)	17	(3.0%)	17	(2.8%)	10	(1.7%)
南部徳洲会病院	22	(3.6%)	26	(4.1%)	14	(2.5%)	26	(4.4%)	31	(5.1%)
沖縄協同病院	17	(2.8%)	30	(4.7%)	27	(4.8%)	23	(3.9%)	28	(4.6%)
豊見城中央病院	71	(11.6%)	56	(8.8%)	50	(8.9%)	50	(8.4%)	51	(8.4%)
県立宮古病院	15	(2.4%)	18	(2.8%)	14	(2.5%)	20	(3.4%)	17	(2.8%)
県立八重山病院	10	(1.6%)	21	(3.3%)	18	(3.2%)	23	(3.9%)	22	(3.6%)

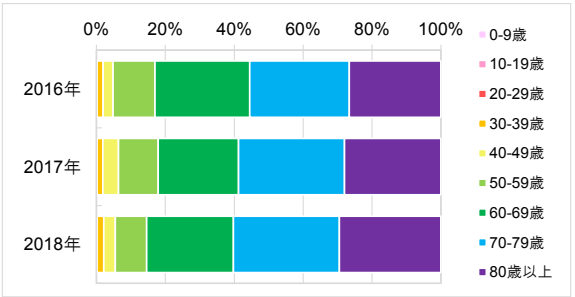
男女別　登録割合の推移

胃	2016年		2017年		2018年	
男性	368	(65.2%)	406	(68.0%)	424	(70.2%)
女性	196	(34.8%)	191	(32.0%)	180	(29.8%)
男女比		1.88		2.13		2.36
合計	564	(100.0%)	597	(100.0%)	604	(100.0%)



年齢階級別　登録数と登録割合の推移

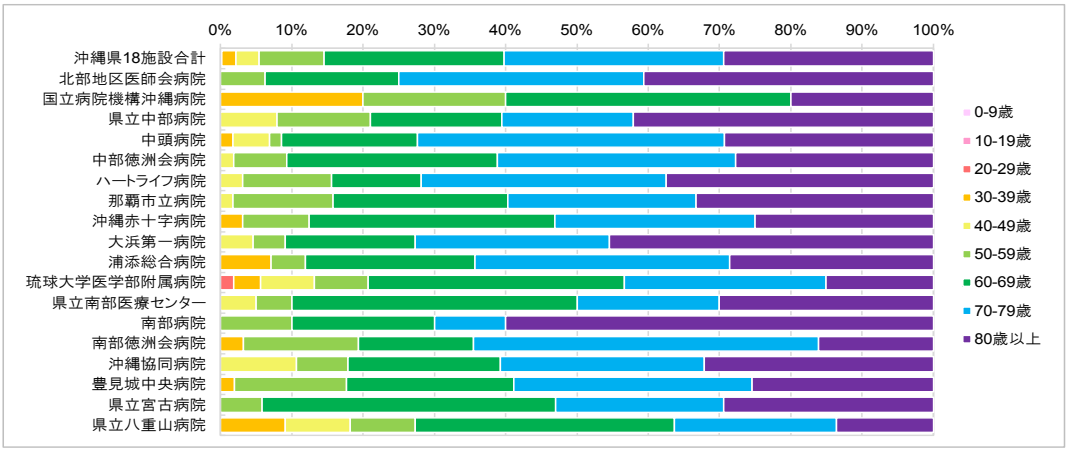
胃	2016年		2017年		2018年	
合計	564	(100.0%)	597	(100.0%)	604	(100.0%)
0-9歳	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
10-19歳	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
20-29歳	1	(0.2%)	1	(0.2%)	1	(0.2%)
30-39歳	10	(1.8%)	10	(1.7%)	12	(2.0%)
40-49歳	16	(2.8%)	27	(4.5%)	20	(3.3%)
50-59歳	69	(12.2%)	69	(11.6%)	55	(9.1%)
60-69歳	155	(27.5%)	139	(23.3%)	152	(25.2%)
70-79歳	163	(28.9%)	184	(30.8%)	186	(30.8%)
80歳以上	150	(26.6%)	167	(28.0%)	178	(29.5%)



＊症例区分「80：その他」を除いて集計
＊男女別登録割合の「男女比」は、女性を 1 としたときの男性の比率

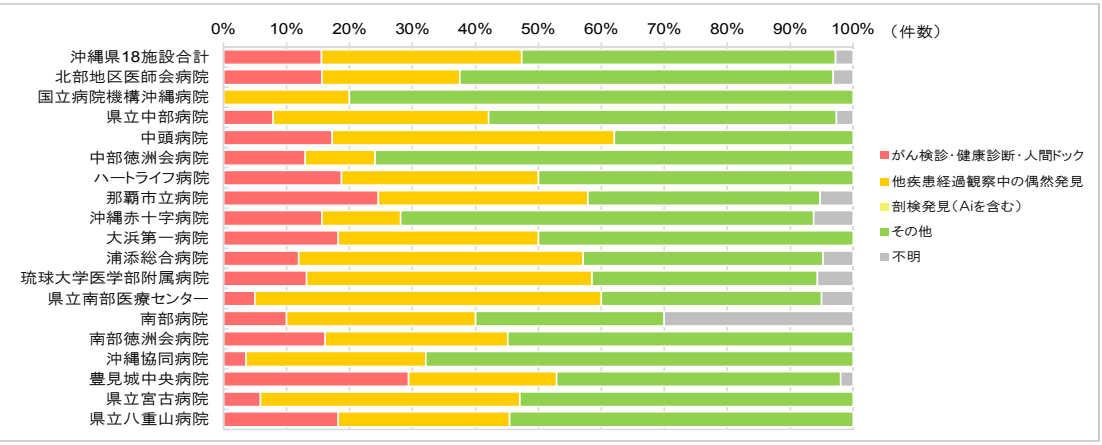
施設別　年齢階級別　登録数と登録割合

胃	0-9歳		10-19歳		20-29歳		30-39歳		40-49歳		50-59歳		60-69歳		70-79歳		80歳以上		合計	
沖縄県18施設合計	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(0.2%)	12	(2.0%)	20	(3.3%)	55	(9.1%)	152	(25.2%)	186	(30.8%)	178	(29.5%)	604	(100.0%)
北部地区医師会病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(6.3%)	6	(18.8%)	11	(34.4%)	13	(40.6%)	32	(100.0%)
国立病院機構沖縄病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(20.0%)	0	(0.0%)	1	(20.0%)	2	(40.0%)	0	(0.0%)	1	(20.0%)	5	(100.0%)
県立中部病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(7.9%)	5	(13.2%)	7	(18.4%)	7	(18.4%)	16	(42.1%)	38	(100.0%)
中頭病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(1.7%)	3	(5.2%)	1	(1.7%)	11	(19.0%)	25	(43.1%)	17	(29.3%)	58	(100.0%)
中部徳洲会病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(1.9%)	4	(7.4%)	16	(29.6%)	18	(33.3%)	15	(27.8%)	54	(100.0%)
ハートライフ病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(3.1%)	4	(12.5%)	4	(12.5%)	11	(34.4%)	12	(37.5%)	32	(100.0%)
那覇市立病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(1.8%)	8	(14.0%)	14	(24.6%)	15	(26.3%)	19	(33.3%)	57	(100.0%)
沖縄赤十字病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(3.1%)	0	(0.0%)	3	(9.4%)	11	(34.4%)	9	(28.1%)	8	(25.0%)	32	(100.0%)
大浜第一病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(4.5%)	1	(4.5%)	4	(18.2%)	6	(27.3%)	10	(45.5%)	22	(100.0%)
浦添総合病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(7.1%)	0	(0.0%)	2	(4.8%)	10	(23.8%)	15	(35.7%)	12	(28.6%)	42	(100.0%)
琉球大学医学部附属病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(1.9%)	2	(3.8%)	4	(7.5%)	4	(7.5%)	19	(35.8%)	15	(28.3%)	8	(15.1%)	53	(100.0%)
県立南部医療センター・こども医療センター	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(5.0%)	1	(5.0%)	8	(40.0%)	4	(20.0%)	6	(30.0%)	20	(100.0%)
南部病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(10.0%)	2	(20.0%)	1	(10.0%)	6	(60.0%)	10	(100.0%)
南部徳洲会病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(3.2%)	0	(0.0%)	5	(16.1%)	5	(16.1%)	15	(48.4%)	5	(16.1%)	31	(100.0%)
沖縄協同病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(10.7%)	2	(7.1%)	6	(21.4%)	8	(28.6%)	9	(32.1%)	28	(100.0%)
豊見城中央病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(2.0%)	0	(0.0%)	8	(15.7%)	12	(23.5%)	17	(33.3%)	13	(25.5%)	51	(100.0%)
県立宮古病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(5.9%)	7	(41.2%)	4	(23.5%)	5	(29.4%)	17	(100.0%)
県立八重山病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(9.1%)	2	(9.1%)	2	(9.1%)	8	(36.4%)	5	(22.7%)	3	(13.6%)	22	(100.0%)



施設別　発見経緯別　登録数と登録割合

胃	がん検診・健康診断・人間ドック		他疾患経過観察中の偶然発見		剖検発見（Aiを含む）		その他		不明		合計	
沖縄県18施設合計	94	(15.6%)	192	(31.8%)	0	(0.0%)	301	(49.8%)	17	(2.8%)	604	(100.0%)
北部地区医師会病院	5	(15.6%)	7	(21.9%)	0	(0.0%)	19	(59.4%)	1	(3.1%)	32	(100.0%)
国立病院機構沖縄病院	0	(0.0%)	1	(20.0%)	0	(0.0%)	4	(80.0%)	0	(0.0%)	5	(100.0%)
県立中部病院	3	(7.9%)	13	(34.2%)	0	(0.0%)	21	(55.3%)	1	(2.6%)	38	(100.0%)
中頭病院	10	(17.2%)	26	(44.8%)	0	(0.0%)	22	(37.9%)	0	(0.0%)	58	(100.0%)
中部徳洲会病院	7	(13.0%)	6	(11.1%)	0	(0.0%)	41	(75.9%)	0	(0.0%)	54	(100.0%)
ハートライフ病院	6	(18.8%)	10	(31.3%)	0	(0.0%)	16	(50.0%)	0	(0.0%)	32	(100.0%)
那覇市立病院	14	(24.6%)	19	(33.3%)	0	(0.0%)	21	(36.8%)	3	(5.3%)	57	(100.0%)
沖縄赤十字病院	5	(15.6%)	4	(12.5%)	0	(0.0%)	21	(65.6%)	2	(6.3%)	32	(100.0%)
大浜第一病院	4	(18.2%)	7	(31.8%)	0	(0.0%)	11	(50.0%)	0	(0.0%)	22	(100.0%)
浦添総合病院	5	(11.9%)	19	(45.2%)	0	(0.0%)	16	(38.1%)	2	(4.8%)	42	(100.0%)
琉球大学医学部附属病院	7	(13.2%)	24	(45.3%)	0	(0.0%)	19	(35.8%)	3	(5.7%)	53	(100.0%)
県立南部医療センター・こども医療センター	1	(5.0%)	11	(55.0%)	0	(0.0%)	7	(35.0%)	1	(5.0%)	20	(100.0%)
南部病院	1	(10.0%)	3	(30.0%)	0	(0.0%)	3	(30.0%)	3	(30.0%)	10	(100.0%)
南部徳洲会病院	5	(16.1%)	9	(29.0%)	0	(0.0%)	17	(54.8%)	0	(0.0%)	31	(100.0%)
沖縄協同病院	1	(3.6%)	8	(28.6%)	0	(0.0%)	19	(67.9%)	0	(0.0%)	28	(100.0%)
豊見城中央病院	15	(29.4%)	12	(23.5%)	0	(0.0%)	23	(45.1%)	1	(2.0%)	51	(100.0%)
県立宮古病院	1	(5.9%)	7	(41.2%)	0	(0.0%)	9	(52.9%)	0	(0.0%)	17	(100.0%)
県立八重山病院	4	(18.2%)	6	(27.3%)	0	(0.0%)	12	(54.5%)	0	(0.0%)	22	(100.0%)



＊症例区分「８０：その他」を除いて集計
＊県立南部医療センター・こども医療センターを便宜上、「県立南部医療センター」と表記

施設別　UICC TNM 分類　治療前ステージ別　登録数

胃	Ⅰ期		Ⅱ期		Ⅲ期		Ⅳ期		不明・その他		合計	
全国（2017年症例）	56,686	（62.1%）	10,029	（11.0%）	6,973	（7.6%）	13,097	（14.3%）	4,569	（5.0%）	91,354	（100.0%）
沖縄県18施設合計	202	（43.3%）	51	（10.9%）	63	（13.5%）	121	（26.0%）	29	（6.2%）	466	（100.0%）
北部地区医師会病院	12	（44.4%）	0	（0.0%）	6	（22.2%）	8	（29.6%）	1	（3.7%）	27	（100.0%）
国立病院機構沖縄病院	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	1	（100.0%）	0	（0.0%）	1	（100.0%）
県立中部病院	18	（58.1%）	1	（3.2%）	3	（9.7%）	8	（25.8%）	1	（3.2%）	31	（100.0%）
中頭病院	16	（33.3%）	4	（8.3%）	9	（18.8%）	8	（16.7%）	11	（22.9%）	48	（100.0%）
中部徳洲会病院	21	（42.9%）	4	（8.2%）	5	（10.2%）	18	（36.7%）	1	（2.0%）	49	（100.0%）
ハートライフ病院	12	（48.0%）	3	（12.0%）	5	（20.0%）	5	（20.0%）	0	（0.0%）	25	（100.0%）
那覇市立病院	27	（54.0%）	3	（6.0%）	6	（12.0%）	11	（22.0%）	3	（6.0%）	50	（100.0%）
沖縄赤十字病院	5	（21.7%）	3	（13.0%）	1	（4.3%）	11	（47.8%）	3	（13.0%）	23	（100.0%）
大浜第一病院	11	（91.7%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	1	（8.3%）	0	（0.0%）	12	（100.0%）
浦添総合病院	17	（53.1%）	2	（6.3%）	4	（12.5%）	7	（21.9%）	2	（6.3%）	32	（100.0%）
琉球大学医学部附属病院	14	（41.2%）	2	（5.9%）	7	（20.6%）	8	（23.5%）	3	（8.8%）	34	（100.0%）
県立南部医療センター・こども医療センター	6	（40.0%）	1	（6.7%）	3	（20.0%）	5	（33.3%）	0	（0.0%）	15	（100.0%）
南部病院	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	2	（100.0%）	0	（0.0%）	2	（100.0%）
南部徳洲会病院	4	（17.4%）	7	（30.4%）	2	（8.7%）	8	（34.8%）	2	（8.7%）	23	（100.0%）
沖縄協同病院	9	（36.0%）	8	（32.0%）	2	（8.0%）	5	（20.0%）	1	（4.0%）	25	（100.0%）
豊見城中央病院	18	（47.4%）	6	（15.8%）	6	（15.8%）	7	（18.4%）	1	（2.6%）	38	（100.0%）
県立宮古病院	4	（26.7%）	3	（20.0%）	4	（26.7%）	4	（26.7%）	0	（0.0%）	15	（100.0%）
県立八重山病院	8	（50.0%）	4	（25.0%）	0	（0.0%）	4	（25.0%）	0	（0.0%）	16	（100.0%）

施設別　UICC TNM 分類　術後ステージ別　登録数

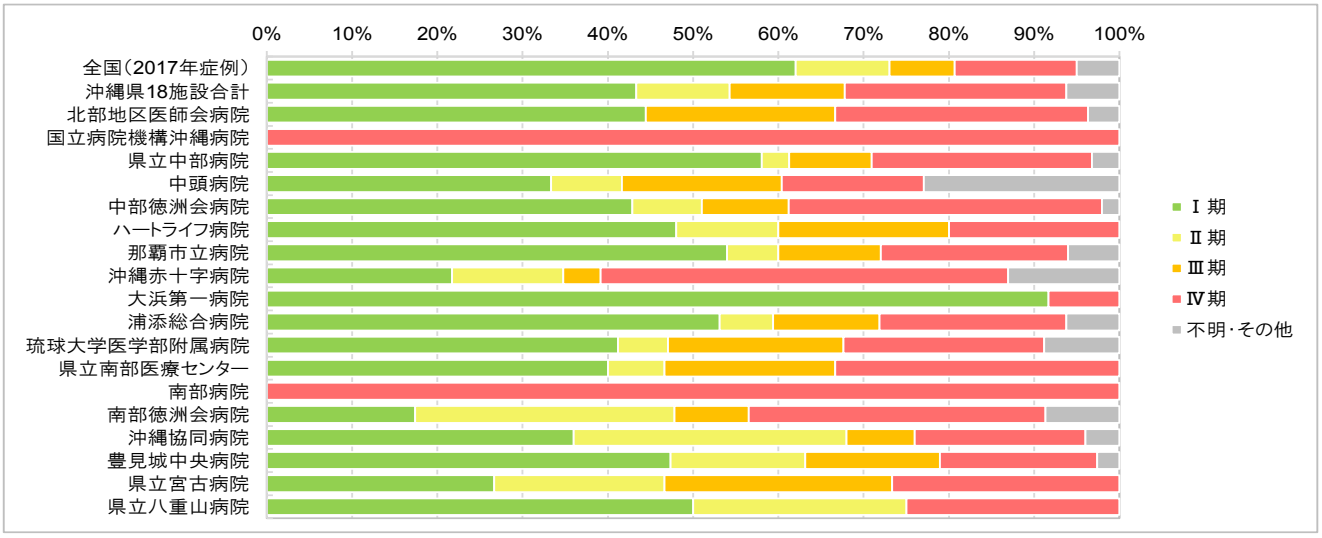
胃	Ⅰ期		Ⅱ期		Ⅲ期		Ⅳ期		術前治療後		不明・その他		合計	
全国（2017年症例）	53,620	（74.4%）	6,912	（9.6%）	6,862	（9.5%）	2,778	（3.9%）	1,615	（2.2%）	281	（0.4%）	72,068	（100.0%）
沖縄県18施設合計	184	（65.5%）	39	（13.9%）	35	（12.5%）	7	（2.5%）	15	（5.3%）	1	（0.4%）	281	（100.0%）
北部地区医師会病院	11	（57.9%）	2	（10.5%）	5	（26.3%）	1	（5.3%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	19	（100.0%）
国立病院機構沖縄病院	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）
県立中部病院	13	（76.5%）	2	（11.8%）	1	（5.9%）	1	（5.9%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	17	（100.0%）
中頭病院	23	（63.9%）	2	（5.6%）	8	（22.2%）	0	（0.0%）	3	（8.3%）	0	（0.0%）	36	（100.0%）
中部徳洲会病院	14	（60.9%）	5	（21.7%）	1	（4.3%）	0	（0.0%）	3	（13.0%）	0	（0.0%）	23	（100.0%）
ハートライフ病院	9	（50.0%）	4	（22.2%）	2	（11.1%）	1	（5.6%）	2	（11.1%）	0	（0.0%）	18	（100.0%）
那覇市立病院	28	（87.5%）	1	（3.1%）	3	（9.4%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	32	（100.0%）
沖縄赤十字病院	6	（60.0%）	1	（10.0%）	2	（20.0%）	1	（10.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	10	（100.0%）
大浜第一病院	5	（100.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	5	（100.0%）
浦添総合病院	13	（72.2%）	3	（16.7%）	1	（5.6%）	1	（5.6%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	18	（100.0%）
琉球大学医学部附属病院	15	（65.2%）	3	（13.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	5	（21.7%）	0	（0.0%）	23	（100.0%）
県立南部医療センター・こども医療センター	3	（37.5%）	4	（50.0%）	1	（12.5%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	8	（100.0%）
南部病院	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）
南部徳洲会病院	5	（41.7%）	4	（33.3%）	1	（8.3%）	1	（8.3%）	1	（8.3%）	0	（0.0%）	12	（100.0%）
沖縄協同病院	9	（64.3%）	0	（0.0%）	4	（28.6%）	0	（0.0%）	1	（7.1%）	0	（0.0%）	14	（100.0%）
豊見城中央病院	18	（66.7%）	6	（22.2%）	3	（11.1%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	27	（100.0%）
県立宮古病院	5	（45.5%）	2	（18.2%）	3	（27.3%）	1	（9.1%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	11	（100.0%）
県立八重山病院	7	（87.5%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	1	（12.5%）	8	（100.0%）

施設別　UICC TNM 分類　総合ステージ別　登録数

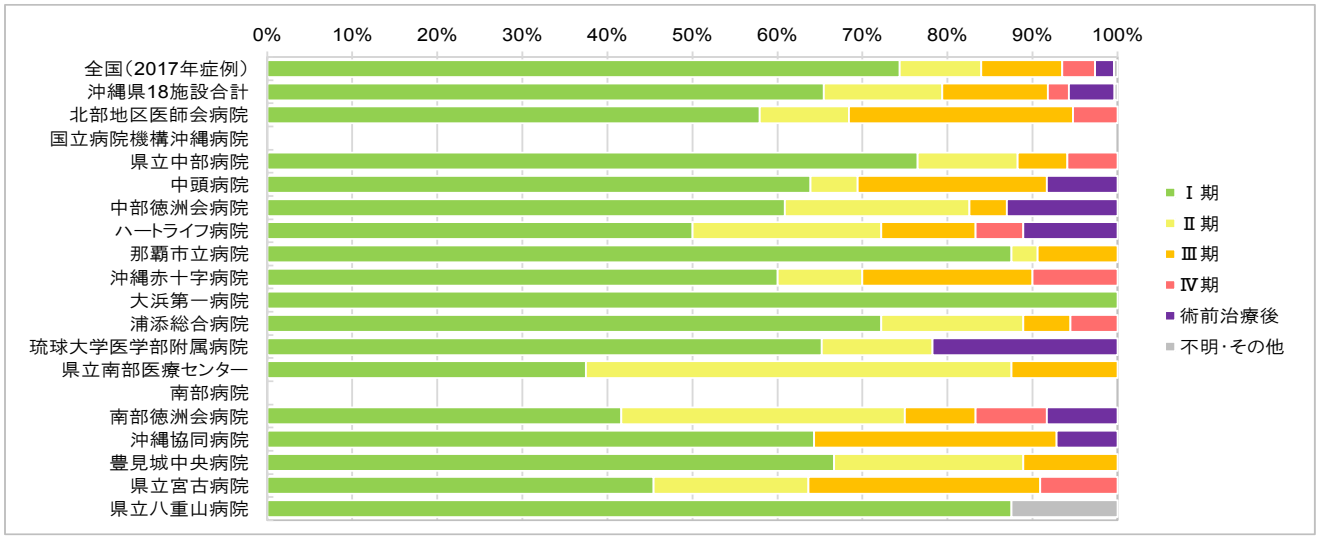
胃	Ⅰ期		Ⅱ期		Ⅲ期		Ⅳ期		不明・その他		合計	
沖縄県18施設合計	217	（46.6%）	53	（11.4%）	58	（12.4%）	127	（27.3%）	11	（2.4%）	466	（100.0%）
北部地区医師会病院	11	（40.7%）	2	（7.4%）	5	（18.5%）	8	（29.6%）	1	（3.7%）	27	（100.0%）
国立病院機構沖縄病院	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	1	（100.0%）	0	（0.0%）	1	（100.0%）
県立中部病院	18	（58.1%）	2	（6.5%）	3	（9.7%）	7	（22.6%）	1	（3.2%）	31	（100.0%）
中頭病院	25	（52.1%）	3	（6.3%）	11	（22.9%）	7	（14.6%）	2	（4.2%）	48	（100.0%）
中部徳洲会病院	19	（38.8%）	6	（12.2%）	3	（6.1%）	20	（40.8%）	1	（2.0%）	49	（100.0%）
ハートライフ病院	12	（48.0%）	5	（20.0%）	2	（8.0%）	6	（24.0%）	0	（0.0%）	25	（100.0%）
那覇市立病院	30	（60.0%）	3	（6.0%）	5	（10.0%）	12	（24.0%）	0	（0.0%）	50	（100.0%）
沖縄赤十字病院	6	（26.1%）	1	（4.3%）	3	（13.0%）	12	（52.2%）	1	（4.3%）	23	（100.0%）
大浜第一病院	11	（91.7%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	1	（8.3%）	0	（0.0%）	12	（100.0%）
浦添総合病院	17	（53.1%）	4	（12.5%）	2	（6.3%）	8	（25.0%）	1	（3.1%）	32	（100.0%）
琉球大学医学部附属病院	15	（44.1%）	4	（11.8%）	5	（14.7%）	8	（23.5%）	2	（5.9%）	34	（100.0%）
県立南部医療センター・こども医療センター	4	（26.7%）	5	（33.3%）	2	（13.3%）	4	（26.7%）	0	（0.0%）	15	（100.0%）
南部病院	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	2	（100.0%）	0	（0.0%）	2	（100.0%）
南部徳洲会病院	6	（26.1%）	4	（17.4%）	3	（13.0%）	9	（39.1%）	1	（4.3%）	23	（100.0%）
沖縄協同病院	10	（40.0%）	4	（16.0%）	5	（20.0%）	5	（20.0%）	1	（4.0%）	25	（100.0%）
豊見城中央病院	20	（52.6%）	6	（15.8%）	5	（13.2%）	7	（18.4%）	0	（0.0%）	38	（100.0%）
県立宮古病院	5	（33.3%）	2	（13.3%）	3	（20.0%）	5	（33.3%）	0	（0.0%）	15	（100.0%）
県立八重山病院	8	（50.0%）	2	（12.5%）	1	（6.3%）	5	（31.3%）	0	（0.0%）	16	（100.0%）

こちらの集計対象は以下の条件を満たす登録である
1. 症例区分「20：自施設診断・自施設初回治療開始」「30：他施設診断・自施設初回治療開始」のみ集計
2.「癌腫」
3. 術後ステージの集計においては、上記「1」「2」に加えて「項目：外科的・鏡視下・内視鏡的治療の結果」の区分が原発巣切除例とする。

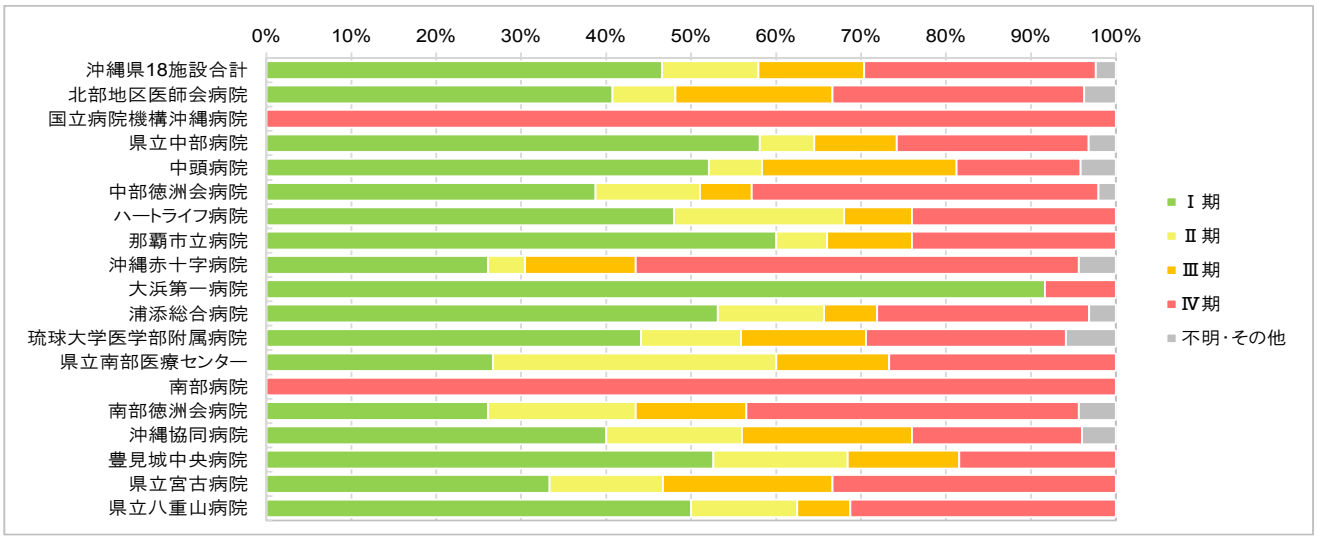
施設別　UICC TNM 分類　治療前ステージ別　登録割合



施設別　UICC TNM 分類　術後ステージ別　登録割合



施設別　UICC TNM 分類　総合ステージ別　登録割合



＊県立南部医療センター・こども医療センターを便宜上、「県立南部医療センター」と表記
こちらの集計対象は以下の条件を満たす登録である
1. 症例区分「20：自施設診断・自施設初回治療開始」「30：他施設診断・自施設初回治療開始」のみ集計
2.「癌腫」
3. 術後ステージの集計においては、上記「1」「2」に加えて「項目：外科的・鏡視下・内視鏡的治療の結果」の区分が原発巣切除例とする。

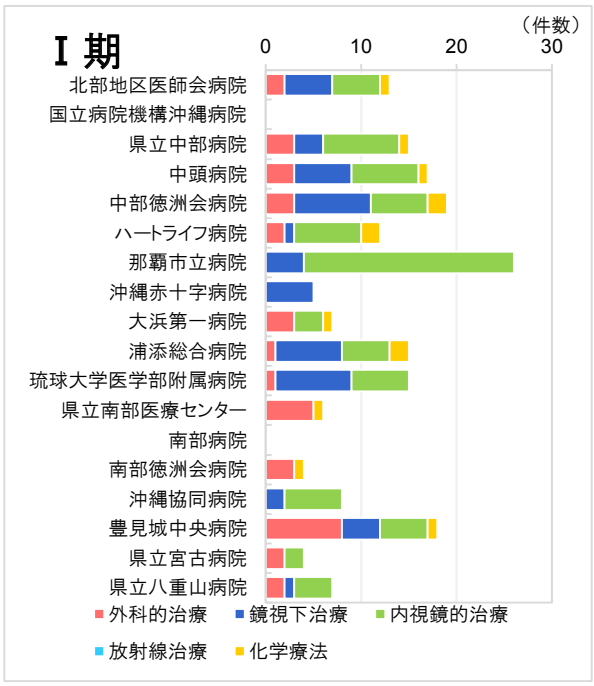
臨床医からのコメント

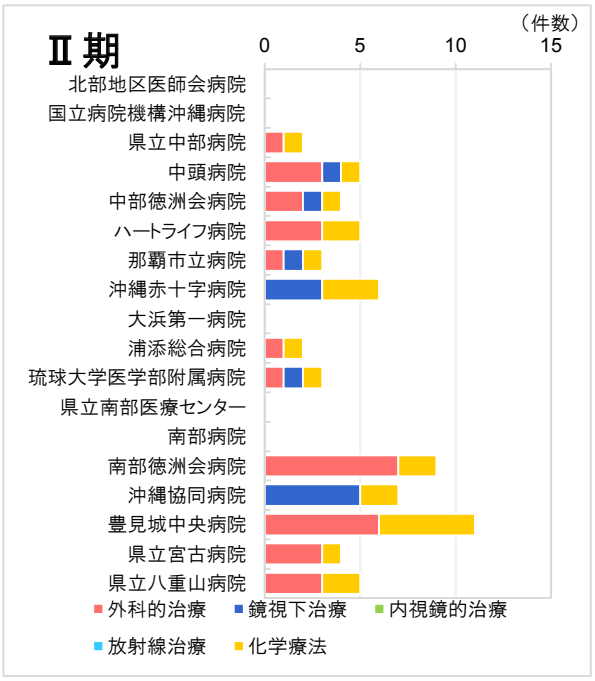
県内の胃癌は、登録施設は 18 施設と変わらず、症例数は 604 例で 2017 年の集計より 7 例増加しています。過去 5 年の平均は 602 例で、あまり変化はありませんが、全国的には減少傾向となっているため沖縄県も減少する可能性があります。病期別でみると、Ⅰ期は 43.3% で全国平均に比べ 18.8% 下回っており、Ⅲ期＋Ⅳ期は 39. 5 % で全国平均に比べ 17.6% 上回っていました。また、発見経緯別で見ると、人間ドックでの発見が 15.6% と低く、何らかの症状があり受診した割合が 49. 8 %と高い傾向が分かり、早期発見に向けた取り組みの強化が求められます。

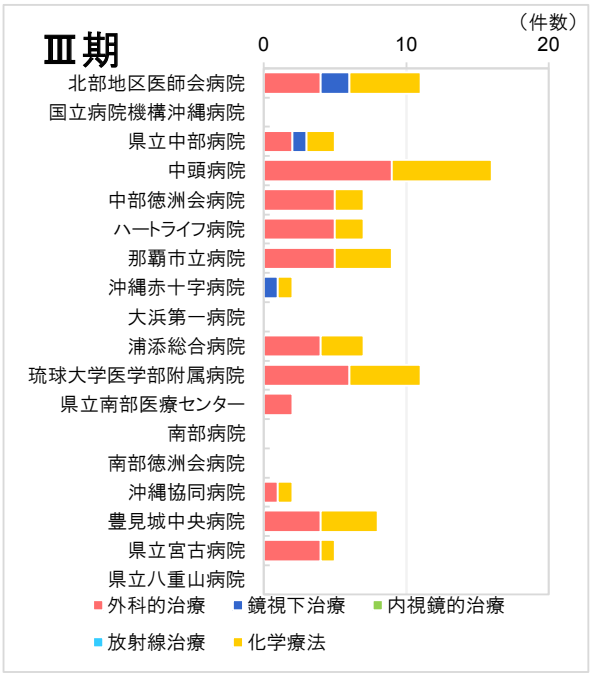
県内の胃癌に対する治療は、概ね「胃癌治療ガイドライン」に沿って行われているものと考えられ、cStage Ⅰに対し 12 施設が鏡視下手術を導入しています。しかし、各施設の症例数はばらつきがあり、全国に比べ症例は少なく若手医師の技術習得の弊害となっています。

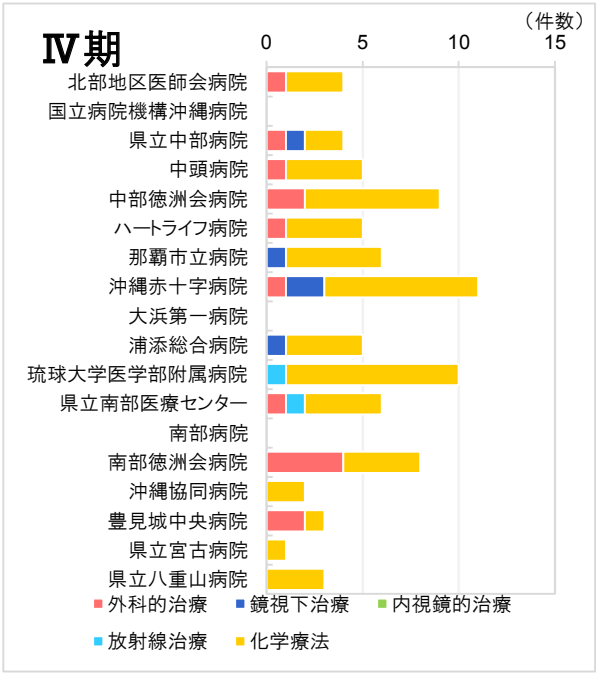
(次のページにつづく→)

施設別　UICC TNM 分類　治療前ステージ別　治療の件数－Ⅰ期～Ⅳ期









＊件数は延べ件数（手術と化学療法を組み合わせて行った場合は、どちらの項目でもカウントされる）
＊記載のない治療方法については巻末の集計表を参照
＊県立南部医療センター・こども医療センターを便宜上、「県立南部医療センター」と表記
こちらの集計対象は以下の条件を満たす登録である
1. 症例区分「20：自施設診断・自施設初回治療開始」「21：自施設診断・自施設初回治療継続」「30：他施設診断・自施設初回治療開始」「31：他施設診断・自施設初回治療継続」のみ集計
2.「癌腫」

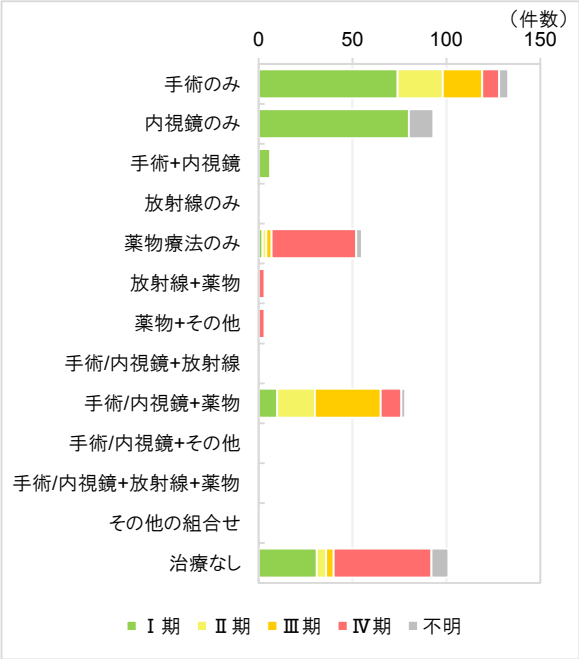
臨床医からのコメント

今後は他県施設での研修や、県内で十分な研修ができるシステムの構築などが課題となります。cStage Ⅱ / Ⅲの治療に関して、以前に比べ手術単独療法が増加した点が気になります。もちろん、その多くは術後化学療法の適応のない患者と考えますが、術後化学療法の有効性は示されており、S1 単独療法、SOX 療法、CapeOX 療法と選択肢も増えているため、積極的に検討する必要があると考えます。

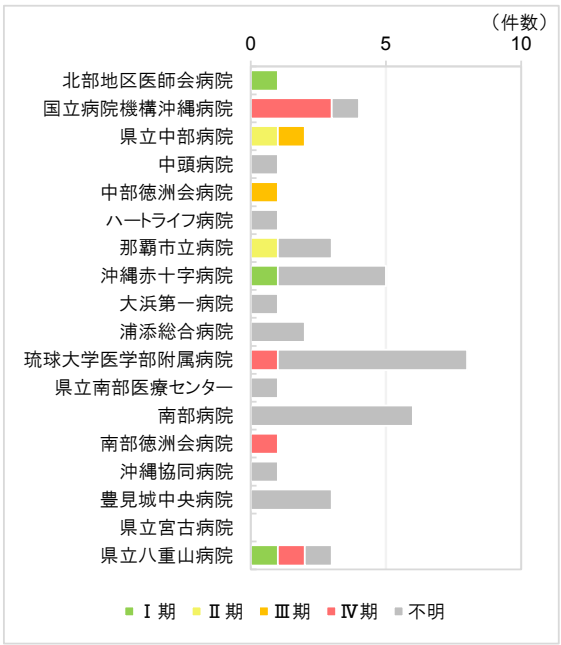
胃癌は早期発見により根治可能な癌腫となって来ました。しかし、無症状や非常に軽い症状である事が多く、早期に発見するためには、定期的な健康診断が必要不可欠と考えます。今後県内で早期癌の発見症例が増加することが望まれます。

木村　研吾（北部地区医師会病院　外科）

UICC TNM 分類　治療前ステージ別　初回治療の組み合わせ別（他施設での治療を含む）登録数



施設別　UICC TNM 分類　治療前ステージ別　初回治療終了後の受け入れ　登録数



＊県立南部医療センター・こども医療センターを便宜上、「県立南部医療センター」と表記
こちらの集計対象は以下の条件を満たす登録である
1. 症例区分「20：自施設診断・自施設初回治療開始」「21：自施設診断・自施設初回治療継続」「30：他施設診断・自施設初回治療開始」「31：他施設診断・自施設初回治療継続」のみ集計（初回治療終了後の受け入れ登録数は、症例区分「40：初回治療終了後」のみ集計）
2.「癌腫」

大腸（C18-C20）

データを見ると

18 施設の大腸がん登録数は 1,913 件（2018 年）で、前年の登録数とほぼ同数でした。

男女別登録割合（2018 年）は、男性 65.6%、女性 34.4%で、男性は女性の 1.9 倍で、年次推移は横ばい傾向でした。年齢階級別登録割合をみると、いずれの年も 60 ～ 69 歳にピークを認め、全体の約 8 割を 60 歳代以上が占めており、その登録割合は横ばい傾向でした。

登録数を施設別にみると、件数の多い上位 3 施設は、中頭病院 275 件、豊見城中央病院 192 件、県立中部病院 166 件でした。

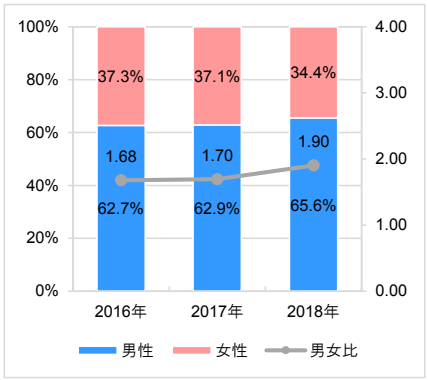
18 施設の治療前ステージ別登録数の 0 期の割合（6.5%）は、全国の割合（14.7%）と比べて、8.2%下回っており、Ⅲ期＋Ⅳ期の割合（39.0%）は、全国の割合（31.8%）と比べて、7.2%上回っていました。

施設別　登録数の推移

大腸	2014年		2015年		2016年		2017年		2018年	
沖縄県18施設合計	1,677	(100.0%)	1,803	(100.0%)	1,824	(100.0%)	1,925	(100.0%)	1,913	(100.0%)
北部地区医師会病院	96	(5.7%)	89	(4.9%)	88	(4.8%)	96	(5.0%)	82	(4.3%)
国立病院機構沖縄病院	40	(2.4%)	36	(2.0%)	39	(2.1%)	46	(2.4%)	33	(1.7%)
県立中部病院	138	(8.2%)	166	(9.2%)	142	(7.8%)	163	(8.5%)	166	(8.7%)
中頭病院	209	(12.5%)	240	(13.3%)	211	(11.6%)	227	(11.8%)	275	(14.4%)
中部徳洲会病院	117	(7.0%)	135	(7.5%)	147	(8.1%)	125	(6.5%)	137	(7.2%)
ハートライフ病院	110	(6.6%)	101	(5.6%)	91	(5.0%)	93	(4.8%)	87	(4.5%)
那覇市立病院	131	(7.8%)	130	(7.2%)	142	(7.8%)	172	(8.9%)	146	(7.6%)
沖縄赤十字病院	72	(4.3%)	82	(4.5%)	95	(5.2%)	103	(5.4%)	113	(5.9%)
大浜第一病院	--	--	--	--	43	(2.4%)	55	(2.9%)	52	(2.7%)
浦添総合病院	175	(10.4%)	158	(8.8%)	200	(11.0%)	173	(9.0%)	148	(7.7%)
琉球大学医学部附属病院	109	(6.5%)	87	(4.8%)	74	(4.1%)	80	(4.2%)	67	(3.5%)
県立南部医療センター・こども医療センター	63	(3.8%)	98	(5.4%)	68	(3.7%)	79	(4.1%)	102	(5.3%)
南部病院	31	(1.8%)	40	(2.2%)	33	(1.8%)	22	(1.1%)	26	(1.4%)
南部徳洲会病院	76	(4.5%)	78	(4.3%)	89	(4.9%)	81	(4.2%)	95	(5.0%)
沖縄協同病院	63	(3.8%)	74	(4.1%)	71	(3.9%)	91	(4.7%)	77	(4.0%)
豊見城中央病院	149	(8.9%)	166	(9.2%)	150	(8.2%)	184	(9.6%)	192	(10.0%)
県立宮古病院	64	(3.8%)	67	(3.7%)	75	(4.1%)	82	(4.3%)	72	(3.8%)
県立八重山病院	34	(2.0%)	56	(3.1%)	66	(3.6%)	53	(2.8%)	43	(2.2%)

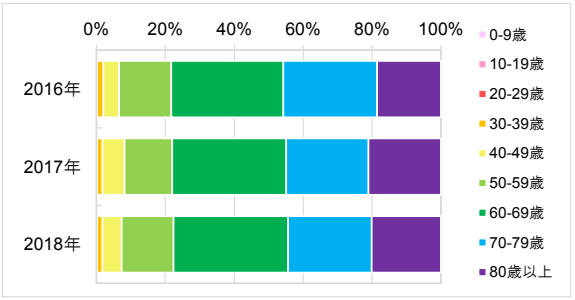
男女別　登録割合の推移

大腸	2016年		2017年		2018年	
男性	1,143	(62.7%)	1,211	(62.9%)	1,254	(65.6%)
女性	681	(37.3%)	714	(37.1%)	659	(34.4%)
男女比		1.68		1.70		1.90
合計	1,824	(100.0%)	1,925	(100.0%)	1,913	(100.0%)



年齢階級別　登録数と登録割合の推移

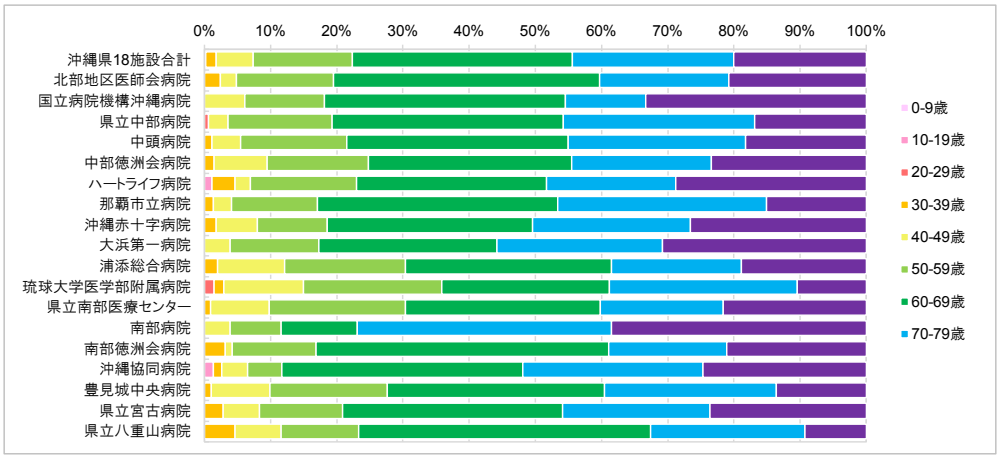
大腸	2016年		2017年		2018年	
合計	1,824	(100.0%)	1,925	(100.0%)	1,913	(100.0%)
0-9歳	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
10-19歳	0	(0.0%)	1	(0.1%)	2	(0.1%)
20-29歳	3	(0.2%)	2	(0.1%)	2	(0.1%)
30-39歳	34	(1.9%)	31	(1.6%)	29	(1.5%)
40-49歳	83	(4.6%)	123	(6.4%)	108	(5.6%)
50-59歳	277	(15.2%)	266	(13.8%)	287	(15.0%)
60-69歳	592	(32.5%)	637	(33.1%)	636	(33.2%)
70-79歳	498	(27.3%)	461	(23.9%)	465	(24.3%)
80歳以上	337	(18.5%)	404	(21.0%)	384	(20.1%)



＊症例区分「80：その他」を除いて集計
＊男女別登録割合の「男女比」は、女性を 1 としたときの男性の比率

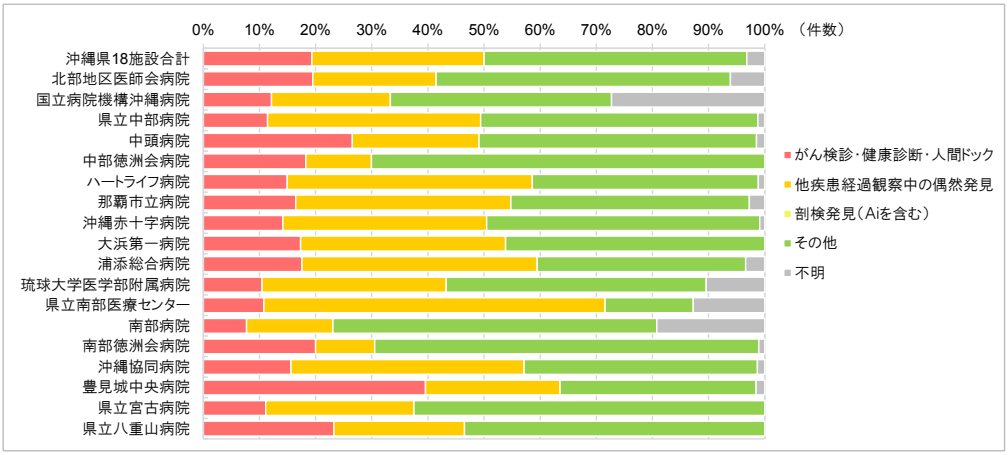
施設別　年齢階級別　登録数と登録割合

大腸	0-9歳		10-19歳		20-29歳		30-39歳		40-49歳		50-59歳		60-69歳		70-79歳		80歳以上		合計	
沖縄県18施設合計	0	(0.0%)	2	(0.1%)	2	(0.1%)	29	(1.5%)	108	(5.6%)	287	(15.0%)	636	(33.2%)	465	(24.3%)	384	(20.1%)	1,913	(100.0%)
北部地区医師会病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(2.4%)	2	(2.4%)	12	(14.6%)	33	(40.2%)	16	(19.5%)	17	(20.7%)	82	(100.0%)
国立病院機構沖縄病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(6.1%)	4	(12.1%)	12	(36.4%)	4	(12.1%)	11	(33.3%)	33	(100.0%)
県立中部病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(0.6%)	0	(0.0%)	5	(3.0%)	26	(15.7%)	58	(34.9%)	48	(28.9%)	28	(16.9%)	166	(100.0%)
中頭病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(1.1%)	12	(4.4%)	44	(16.0%)	92	(33.5%)	74	(26.9%)	50	(18.2%)	275	(100.0%)
中部徳洲会病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(1.5%)	11	(8.0%)	21	(15.3%)	42	(30.7%)	29	(21.2%)	32	(23.4%)	137	(100.0%)
ハートライフ病院	0	(0.0%)	1	(1.1%)	0	(0.0%)	3	(3.4%)	2	(2.3%)	14	(16.1%)	25	(28.7%)	17	(19.5%)	25	(28.7%)	87	(100.0%)
那覇市立病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(1.4%)	4	(2.7%)	19	(13.0%)	53	(36.3%)	46	(31.5%)	22	(15.1%)	146	(100.0%)
沖縄赤十字病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(1.8%)	7	(6.2%)	12	(10.6%)	35	(31.0%)	27	(23.9%)	30	(26.5%)	113	(100.0%)
大浜第一病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(3.8%)	7	(13.5%)	14	(26.9%)	13	(25.0%)	16	(30.8%)	52	(100.0%)
浦添総合病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(2.0%)	15	(10.1%)	27	(18.2%)	46	(31.1%)	29	(19.6%)	28	(18.9%)	148	(100.0%)
琉球大学医学部附属病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(1.5%)	1	(1.5%)	8	(11.9%)	14	(20.9%)	17	(25.4%)	19	(28.4%)	7	(10.4%)	67	(100.0%)
県立南部医療センター・こども医療センター	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(1.0%)	9	(8.8%)	21	(20.6%)	30	(29.4%)	19	(18.6%)	22	(21.6%)	102	(100.0%)
南部病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(3.8%)	2	(7.7%)	3	(11.5%)	10	(38.5%)	10	(38.5%)	26	(100.0%)
南部徳洲会病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(3.2%)	1	(1.1%)	12	(12.6%)	42	(44.2%)	17	(17.9%)	20	(21.1%)	95	(100.0%)
沖縄協同病院	0	(0.0%)	1	(1.3%)	0	(0.0%)	1	(1.3%)	3	(3.9%)	4	(5.2%)	28	(36.4%)	21	(27.3%)	19	(24.7%)	77	(100.0%)
豊見城中央病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(1.0%)	17	(8.9%)	34	(17.7%)	63	(32.8%)	50	(26.0%)	26	(13.5%)	192	(100.0%)
県立宮古病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(2.8%)	4	(5.6%)	9	(12.5%)	24	(33.3%)	16	(22.2%)	17	(23.6%)	72	(100.0%)
県立八重山病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(4.7%)	3	(7.0%)	5	(11.6%)	19	(44.2%)	10	(23.3%)	4	(9.3%)	43	(100.0%)



施設別　発見経緯別　登録数と登録割合

大腸	がん検診・健康診断・人間ドック		他疾患経過観察中の偶然発見		剖検発見（Aiを含む）		その他		不明		合計	
沖縄県18施設合計	370	(19.3%)	587	(30.7%)	0	(0.0%)	895	(46.8%)	61	(3.2%)	1,913	(100.0%)
北部地区医師会病院	16	(19.5%)	18	(22.0%)	0	(0.0%)	43	(52.4%)	5	(6.1%)	82	(100.0%)
国立病院機構沖縄病院	4	(12.1%)	7	(21.2%)	0	(0.0%)	13	(39.4%)	9	(27.3%)	33	(100.0%)
県立中部病院	19	(11.4%)	63	(38.0%)	0	(0.0%)	82	(49.4%)	2	(1.2%)	166	(100.0%)
中頭病院	73	(26.5%)	62	(22.5%)	0	(0.0%)	136	(49.5%)	4	(1.5%)	275	(100.0%)
中部徳洲会病院	25	(18.2%)	16	(11.7%)	0	(0.0%)	96	(70.1%)	0	(0.0%)	137	(100.0%)
ハートライフ病院	13	(14.9%)	38	(43.7%)	0	(0.0%)	35	(40.2%)	1	(1.1%)	87	(100.0%)
那覇市立病院	24	(16.4%)	56	(38.4%)	0	(0.0%)	62	(42.5%)	4	(2.7%)	146	(100.0%)
沖縄赤十字病院	16	(14.2%)	41	(36.3%)	0	(0.0%)	55	(48.7%)	1	(0.9%)	113	(100.0%)
大浜第一病院	9	(17.3%)	19	(36.5%)	0	(0.0%)	24	(46.2%)	0	(0.0%)	52	(100.0%)
浦添総合病院	26	(17.6%)	62	(41.9%)	0	(0.0%)	55	(37.2%)	5	(3.4%)	148	(100.0%)
琉球大学医学部附属病院	7	(10.4%)	22	(32.8%)	0	(0.0%)	31	(46.3%)	7	(10.4%)	67	(100.0%)
県立南部医療センター・こども医療センター	11	(10.8%)	62	(60.8%)	0	(0.0%)	16	(15.7%)	13	(12.7%)	102	(100.0%)
南部病院	2	(7.7%)	4	(15.4%)	0	(0.0%)	15	(57.7%)	5	(19.2%)	26	(100.0%)
南部徳洲会病院	19	(20.0%)	10	(10.5%)	0	(0.0%)	65	(68.4%)	1	(1.1%)	95	(100.0%)
沖縄協同病院	12	(15.6%)	32	(41.6%)	0	(0.0%)	32	(41.6%)	1	(1.3%)	77	(100.0%)
豊見城中央病院	76	(39.6%)	46	(24.0%)	0	(0.0%)	67	(34.9%)	3	(1.6%)	192	(100.0%)
県立宮古病院	8	(11.1%)	19	(26.4%)	0	(0.0%)	45	(62.5%)	0	(0.0%)	72	(100.0%)
県立八重山病院	10	(23.3%)	10	(23.3%)	0	(0.0%)	23	(53.5%)	0	(0.0%)	43	(100.0%)



＊症例区分「８０：その他」を除いて集計
＊県立南部医療センター・こども医療センターを便宜上、「県立南部医療センター」と表記

施設別　UICC TNM 分類　治療前ステージ別　登録数

大腸	0期		Ⅰ期		Ⅱ期		Ⅲ期		Ⅳ期		不明・その他		合計	
全国(2017年症例)	19,147	(14.7%)	25,875	(19.9%)	19,925	(15.3%)	24,305	(18.7%)	17,099	(13.1%)	23,773	(18.3%)	130,124	(100.0%)
沖縄県18施設合計	106	(6.5%)	288	(17.5%)	266	(16.2%)	409	(24.9%)	232	(14.1%)	341	(20.8%)	1,642	(100.0%)
北部地区医師会病院	7	(10.1%)	12	(17.4%)	13	(18.8%)	23	(33.3%)	12	(17.4%)	2	(2.9%)	69	(100.0%)
国立病院機構沖縄病院	3	(18.8%)	2	(12.5%)	2	(12.5%)	1	(6.3%)	6	(37.5%)	2	(12.5%)	16	(100.0%)
県立中部病院	10	(6.6%)	29	(19.2%)	16	(10.6%)	45	(29.8%)	19	(12.6%)	32	(21.2%)	151	(100.0%)
中頭病院	4	(1.6%)	50	(19.5%)	38	(14.8%)	72	(28.1%)	21	(8.2%)	71	(27.7%)	256	(100.0%)
中部徳洲会病院	15	(11.9%)	26	(20.6%)	19	(15.1%)	37	(29.4%)	20	(15.9%)	9	(7.1%)	126	(100.0%)
ハートライフ病院	4	(5.2%)	14	(18.2%)	12	(15.6%)	15	(19.5%)	16	(20.8%)	16	(20.8%)	77	(100.0%)
那覇市立病院	7	(5.3%)	28	(21.4%)	19	(14.5%)	40	(30.5%)	17	(13.0%)	20	(15.3%)	131	(100.0%)
沖縄赤十字病院	0	(0.0%)	15	(15.0%)	21	(21.0%)	19	(19.0%)	11	(11.0%)	34	(34.0%)	100	(100.0%)
大浜第一病院	0	(0.0%)	4	(11.8%)	6	(17.6%)	8	(23.5%)	10	(29.4%)	6	(17.6%)	34	(100.0%)
浦添総合病院	13	(10.2%)	15	(11.8%)	13	(10.2%)	46	(36.2%)	24	(18.9%)	16	(12.6%)	127	(100.0%)
琉球大学医学部附属病院	0	(0.0%)	9	(19.6%)	6	(13.0%)	13	(28.3%)	11	(23.9%)	7	(15.2%)	46	(100.0%)
県立南部医療センター・こども医療センター	3	(3.7%)	9	(11.1%)	8	(9.9%)	11	(13.6%)	13	(16.0%)	37	(45.7%)	81	(100.0%)
南部病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(100.0%)	2	(100.0%)
南部徳洲会病院	4	(4.8%)	14	(16.7%)	17	(20.2%)	20	(23.8%)	10	(11.9%)	19	(22.6%)	84	(100.0%)
沖縄協同病院	7	(10.3%)	11	(16.2%)	20	(29.4%)	20	(29.4%)	8	(11.8%)	2	(2.9%)	68	(100.0%)
豊見城中央病院	13	(7.5%)	30	(17.3%)	37	(21.4%)	24	(13.9%)	21	(12.1%)	48	(27.7%)	173	(100.0%)
県立宮古病院	4	(6.1%)	14	(21.2%)	14	(21.2%)	11	(16.7%)	10	(15.2%)	13	(19.7%)	66	(100.0%)
県立八重山病院	12	(34.3%)	6	(17.1%)	5	(14.3%)	4	(11.4%)	3	(8.6%)	5	(14.3%)	35	(100.0%)

施設別　UICC TNM 分類　術後ステージ別　登録数

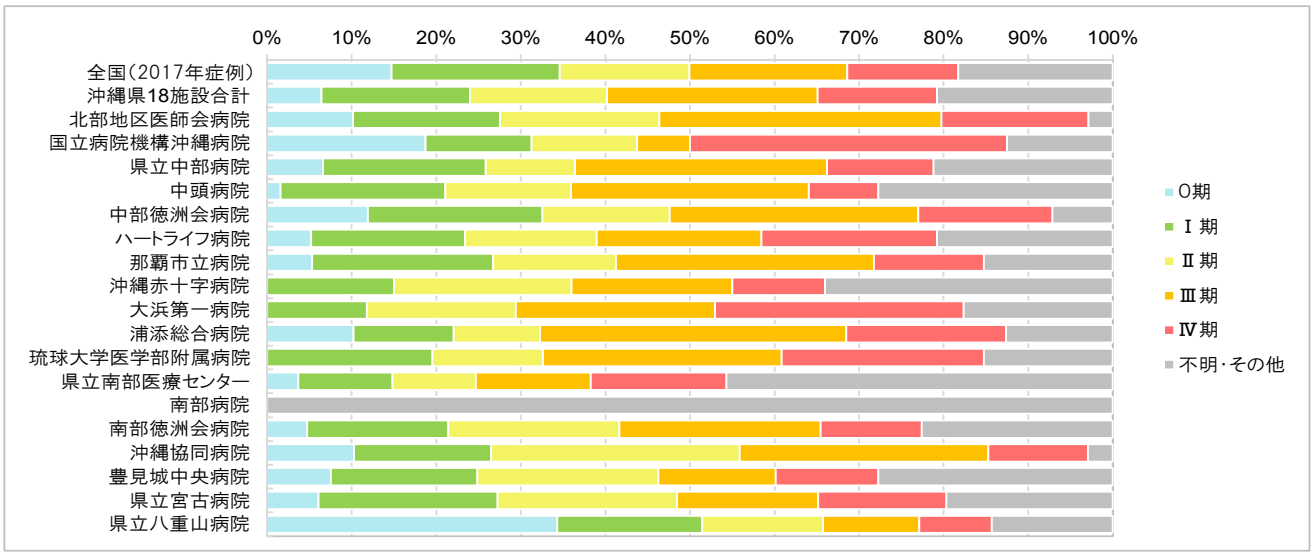
大腸	0期		Ⅰ期		Ⅱ期		Ⅲ期		Ⅳ期		術前治療後		不明・その他		合計	
全国(2017年症例)	35,853	(30.9%)	23,693	(20.4%)	22,779	(19.6%)	21,430	(18.4%)	9,099	(7.8%)	2,847	(2.5%)	458	(0.4%)	116,159	(100.0%)
沖縄県18施設合計	379	(28.7%)	271	(20.5%)	319	(24.2%)	274	(20.8%)	37	(2.8%)	39	(3.0%)	1	(0.1%)	1,320	(100.0%)
北部地区医師会病院	8	(14.0%)	11	(19.3%)	13	(22.8%)	20	(35.1%)	3	(5.3%)	2	(3.5%)	0	(0.0%)	57	(100.0%)
国立病院機構沖縄病院	4	(40.0%)	3	(30.0%)	0	(0.0%)	2	(20.0%)	1	(10.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	10	(100.0%)
県立中部病院	39	(33.6%)	26	(22.4%)	21	(18.1%)	22	(19.0%)	1	(0.9%)	7	(6.0%)	0	(0.0%)	116	(100.0%)
中頭病院	65	(29.3%)	47	(21.2%)	53	(23.9%)	48	(21.6%)	2	(0.9%)	7	(3.2%)	0	(0.0%)	222	(100.0%)
中部徳洲会病院	23	(22.5%)	27	(26.5%)	25	(24.5%)	22	(21.6%)	3	(2.9%)	2	(2.0%)	0	(0.0%)	102	(100.0%)
ハートライフ病院	17	(28.8%)	15	(25.4%)	9	(15.3%)	13	(22.0%)	4	(6.8%)	1	(1.7%)	0	(0.0%)	59	(100.0%)
那覇市立病院	28	(25.2%)	19	(17.1%)	36	(32.4%)	18	(16.2%)	3	(2.7%)	7	(6.3%)	0	(0.0%)	111	(100.0%)
沖縄赤十字病院	24	(32.0%)	15	(20.0%)	19	(25.3%)	15	(20.0%)	2	(2.7%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	75	(100.0%)
大浜第一病院	1	(4.5%)	8	(36.4%)	7	(31.8%)	5	(22.7%)	1	(4.5%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	22	(100.0%)
浦添総合病院	25	(24.5%)	12	(11.8%)	20	(19.6%)	32	(31.4%)	5	(4.9%)	8	(7.8%)	0	(0.0%)	102	(100.0%)
琉球大学医学部附属病院	3	(10.3%)	10	(34.5%)	8	(27.6%)	4	(13.8%)	2	(6.9%)	2	(6.9%)	0	(0.0%)	29	(100.0%)
県立南部医療センター・こども医療センター	35	(58.3%)	11	(18.3%)	9	(15.0%)	5	(8.3%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	60	(100.0%)
南部病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
南部徳洲会病院	15	(25.0%)	12	(20.0%)	18	(30.0%)	15	(25.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	60	(100.0%)
沖縄協同病院	8	(12.5%)	13	(20.3%)	19	(29.7%)	17	(26.6%)	5	(7.8%)	1	(1.6%)	1	(1.6%)	64	(100.0%)
豊見城中央病院	57	(39.9%)	24	(16.8%)	40	(28.0%)	22	(15.4%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	143	(100.0%)
県立宮古病院	15	(25.0%)	11	(18.3%)	19	(31.7%)	8	(13.3%)	5	(8.3%)	2	(3.3%)	0	(0.0%)	60	(100.0%)
県立八重山病院	12	(42.9%)	7	(25.0%)	3	(10.7%)	6	(21.4%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	28	(100.0%)

施設別　UICC TNM 分類　総合ステージ別　登録数

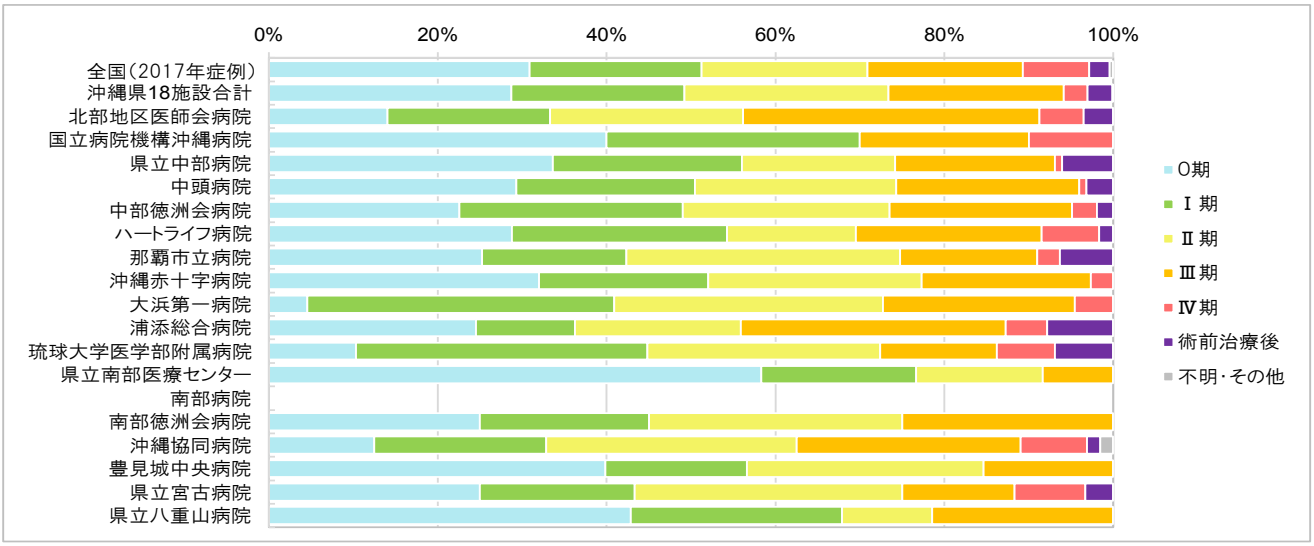
大腸	0期		Ⅰ期		Ⅱ期		Ⅲ期		Ⅳ期		不明・その他		合計	
沖縄県18施設合計	391	(23.8%)	300	(18.3%)	346	(21.1%)	340	(20.7%)	246	(15.0%)	19	(1.2%)	1,642	(100.0%)
北部地区医師会病院	9	(13.0%)	12	(17.4%)	13	(18.8%)	23	(33.3%)	12	(17.4%)	0	(0.0%)	69	(100.0%)
国立病院機構沖縄病院	4	(25.0%)	3	(18.8%)	1	(6.3%)	2	(12.5%)	6	(37.5%)	0	(0.0%)	16	(100.0%)
県立中部病院	39	(25.8%)	31	(20.5%)	26	(17.2%)	34	(22.5%)	21	(13.9%)	0	(0.0%)	151	(100.0%)
中頭病院	66	(25.8%)	51	(19.9%)	55	(21.5%)	58	(22.7%)	23	(9.0%)	3	(1.2%)	256	(100.0%)
中部徳洲会病院	23	(18.3%)	27	(21.4%)	27	(21.4%)	27	(21.4%)	21	(16.7%)	1	(0.8%)	126	(100.0%)
ハートライフ病院	17	(22.1%)	18	(23.4%)	9	(11.7%)	14	(18.2%)	19	(24.7%)	0	(0.0%)	77	(100.0%)
那覇市立病院	28	(21.4%)	22	(16.8%)	37	(28.2%)	27	(20.6%)	17	(13.0%)	0	(0.0%)	131	(100.0%)
沖縄赤十字病院	33	(33.0%)	16	(16.0%)	20	(20.0%)	16	(16.0%)	12	(12.0%)	3	(3.0%)	100	(100.0%)
大浜第一病院	1	(2.9%)	8	(23.5%)	7	(20.6%)	7	(20.6%)	11	(32.4%)	0	(0.0%)	34	(100.0%)
浦添総合病院	25	(19.7%)	13	(10.2%)	22	(17.3%)	39	(30.7%)	27	(21.3%)	1	(0.8%)	127	(100.0%)
琉球大学医学部附属病院	3	(6.5%)	14	(30.4%)	11	(23.9%)	8	(17.4%)	10	(21.7%)	0	(0.0%)	46	(100.0%)
県立南部医療センター・こども医療センター	35	(43.2%)	12	(14.8%)	12	(14.8%)	10	(12.3%)	12	(14.8%)	0	(0.0%)	81	(100.0%)
南部病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(100.0%)	2	(100.0%)
南部徳洲会病院	15	(17.9%)	13	(15.5%)	20	(23.8%)	19	(22.6%)	11	(13.1%)	6	(7.1%)	84	(100.0%)
沖縄協同病院	8	(11.8%)	14	(20.6%)	19	(27.9%)	18	(26.5%)	9	(13.2%)	0	(0.0%)	68	(100.0%)
豊見城中央病院	57	(32.9%)	27	(15.6%)	42	(24.3%)	24	(13.9%)	22	(12.7%)	1	(0.6%)	173	(100.0%)
県立宮古病院	15	(22.7%)	12	(18.2%)	21	(31.8%)	8	(12.1%)	10	(15.2%)	0	(0.0%)	66	(100.0%)
県立八重山病院	13	(37.1%)	7	(20.0%)	4	(11.4%)	6	(17.1%)	3	(8.6%)	2	(5.7%)	35	(100.0%)

こちらの集計対象は以下の条件を満たす登録である
1. 症例区分「20：自施設診断・自施設初回治療開始」「30：他施設診断・自施設初回治療開始」のみ集計
2.「癌腫」
3. 術後ステージの集計においては、上記「1」「2」に加えて「項目：外科的・鏡視下・内視鏡的治療の結果」の区分が原発巣切除例とする。

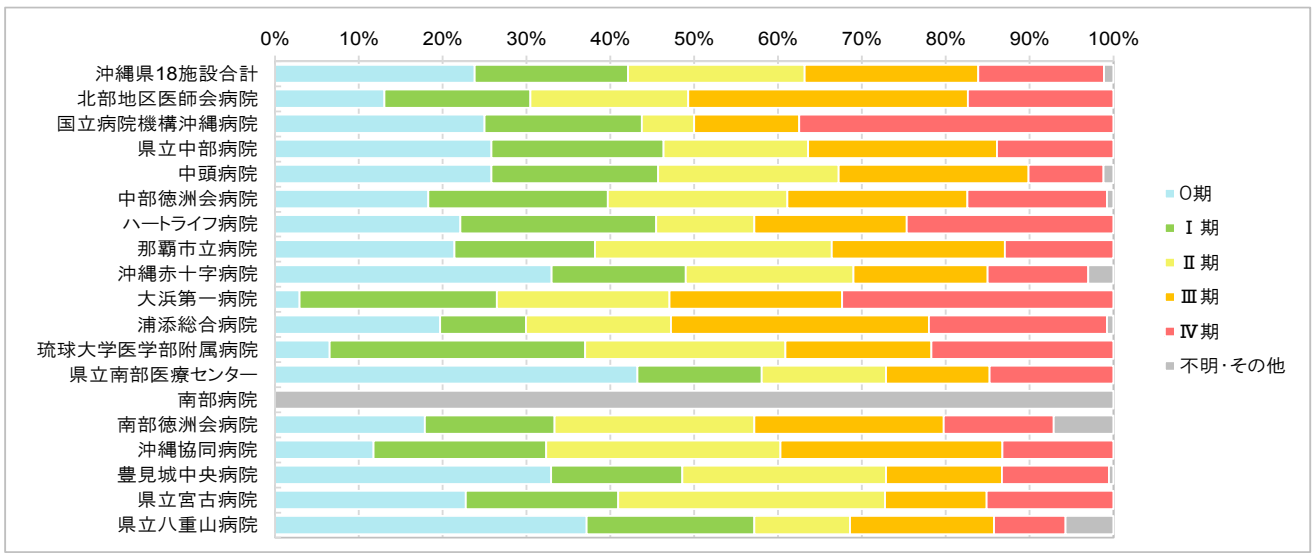
施設別　UICC TNM 分類　治療前ステージ別　登録割合



施設別　UICC TNM 分類　術後ステージ別　登録割合



施設別　UICC TNM 分類　総合ステージ別　登録割合



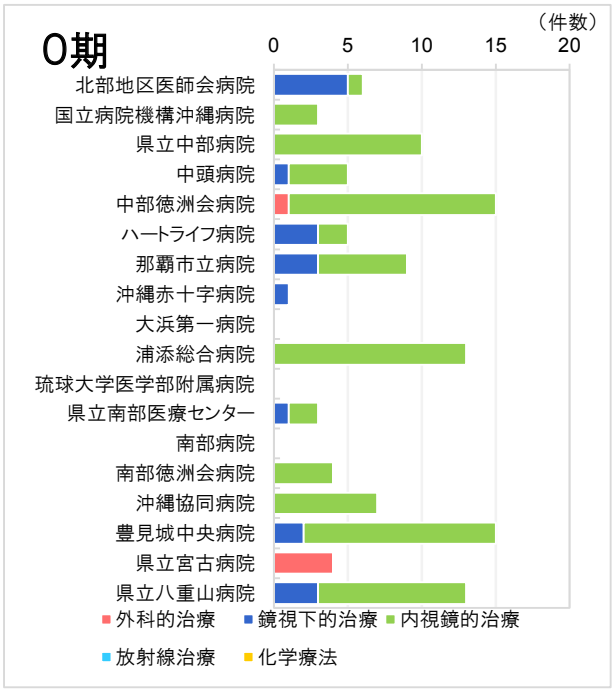
＊県立南部医療センター・こども医療センターを便宜上、「県立南部医療センター」と表記
こちらの集計対象は以下の条件を満たす登録である
1. 症例区分「20：自施設診断・自施設初回治療開始」「30：他施設診断・自施設初回治療開始」のみ集計
2.「癌腫」
3. 術後ステージの集計においては、上記「1」「2」に加えて「項目：外科的・鏡視下・内視鏡的治療の結果」の区分が原発巣切除例とする。

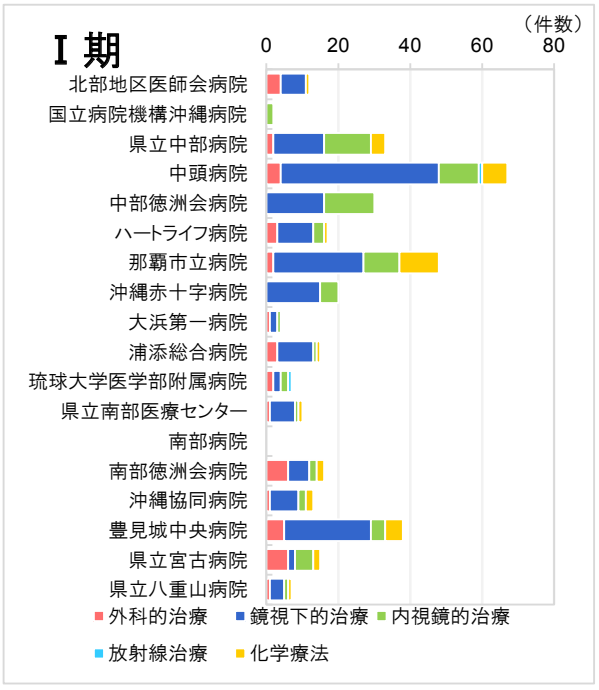
臨床医からのコメント

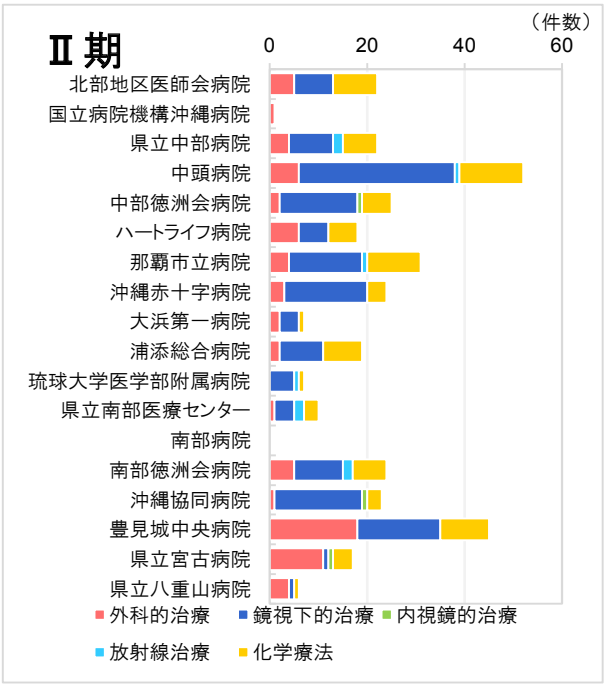
数年前より大腸癌登録数の増加傾向が持続していましたが、前年との比較ではほぼ同数であり、男女比・年齢階級や施設間の登録数の割合・発見経緯等にも大きな変化はみられませんでした。ステージ別登録数においては前年同様０期の割合が全国集計と比較して少なく、Ⅱ、Ⅲ期が多い傾向も持続しています。ステージ別の治療内容について、０期ではほとんどの施設で内視鏡的治療、Ⅰ期においても鏡視下的治療が行われています。Ⅱ、Ⅲ期については外科的治療と鏡視下的治療の割合が施設によって差がみられますが、化学療法の組み合わせによる集学的治療という治療方針はほとんどの施設で同様でした。Ⅳ期に対する治療内容では各施設での変化はありますが、ほとんどの施設で化学療法が主な治療の割合を占めております。

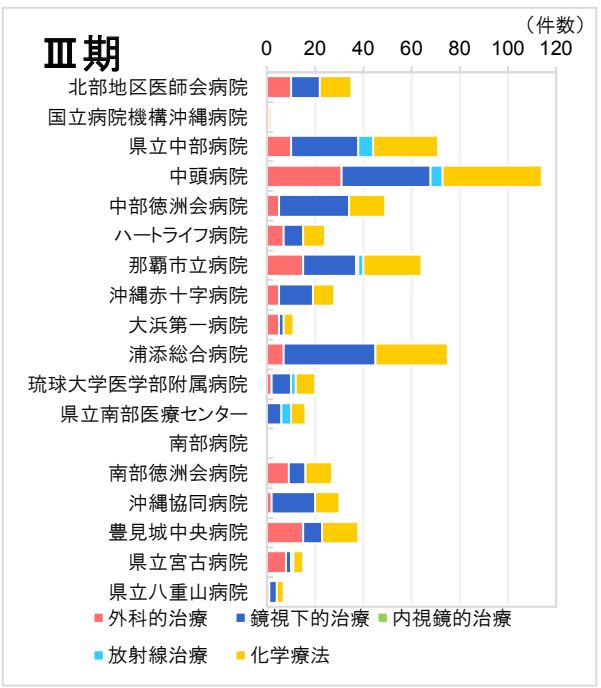
(次のページにつづく→)

施設別　UICC TNM 分類　治療前ステージ別　治療の件数－０期～Ⅲ期









＊件数は延べ件数（手術と化学療法を組み合わせて行った場合は、どちらの項目でもカウントされる）
＊記載のない治療方法については巻末の集計表を参照
＊県立南部医療センター・こども医療センターを便宜上、「県立南部医療センター」と表記
こちらの集計対象は以下の条件を満たす登録である
1. 症例区分「20：自施設診断・自施設初回治療開始」「21：自施設診断・自施設初回治療継続」「30：他施設診断・自施設初回治療開始」「31：他施設診断・自施設初回治療継続」のみ集計
2.「癌腫」

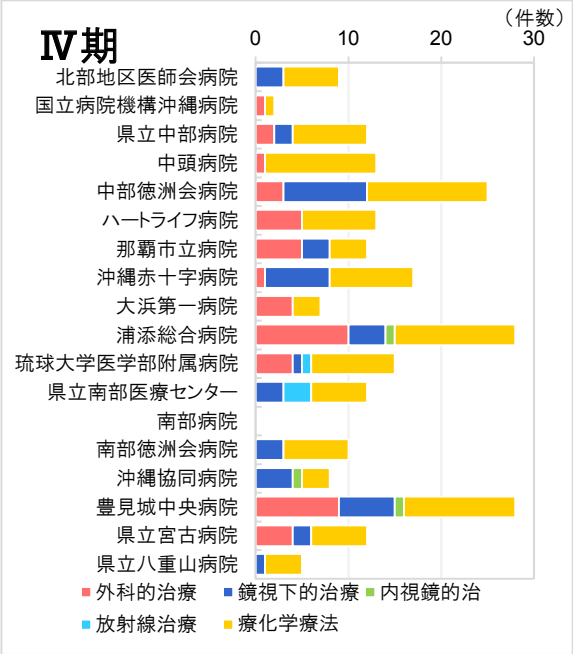
臨床医からのコメント

これらについては個々の症例によって治療方針が異なることは実臨床の現場においても経験することであるため、治療内容の均一化は困難であろうと推測されます。

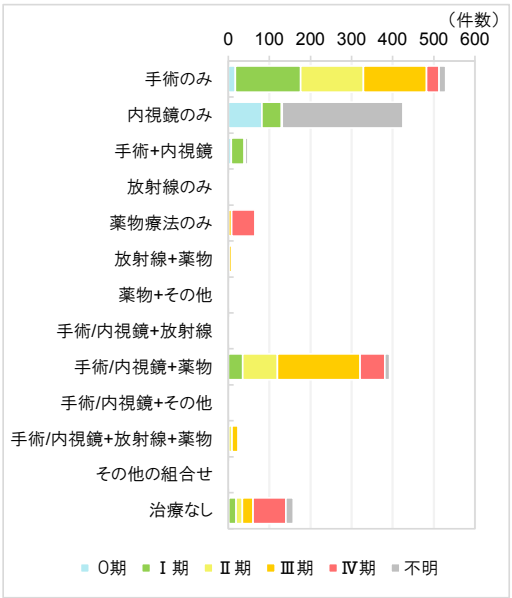
国立がん研究センターによる統計を参照すると、大腸癌による死亡率において沖縄県は他の都道府県と比較し全国的にも上位であることより、0 期または Ⅰ 期といった早期のがん患者の登録数の増加が望まれます。そのためにも検診の受診率向上や大腸癌についての啓蒙活動などが必要と思われます。

仲宗根　由幸（中部徳州会病院　消化器外科部長）

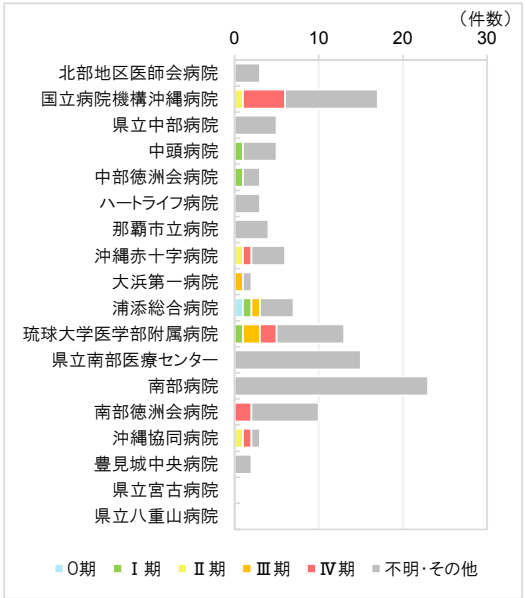
施設別　UICC TNM 分類　治療前ステージ別　治療の件数－Ⅳ期



UICC TNM 分類　治療前ステージ別　初回治療の組み合わせ別（他施設での治療を含む）　登録数



施設別　UICC TNM 分類　治療前ステージ別　初回治療終了後の受け入れ　登録数



＊県立南部医療センター・こども医療センターを便宜上、「県立南部医療センター」と表記
こちらの集計対象は以下の条件を満たす登録である
1. 症例区分「20：自施設診断・自施設初回治療開始」「21：自施設診断・自施設初回治療継続」「30：他施設診断・自施設初回治療開始」「31：他施設診断・自施設初回治療継続」のみ集計（初回治療終了後の受け入れ登録数は、症例区分「40：初回治療終了後」のみ集計）
2.「癌腫」

肝臓（C22）

データを見ると

18 施設の肝がん登録数は 300 件（2018 年）で、前年の登録数とほぼ同数でした。

男女別登録割合（2018 年）は、男性 71.3%、女性 28.7%で、男性は女性の 2.5 倍で、年次推移は横ばい傾向でした。年齢階級別登録割合（2018 年）をみると、60 ～ 69 歳、70 ～ 79 歳にピークを認め、全体の約 9 割を 60 歳代以上が占めていました。

登録数を施設別にみると、件数の多い上位 3 施設は、浦添総合病院 45 件、中頭病院 29 件、豊見城中央病院 29 件でした。

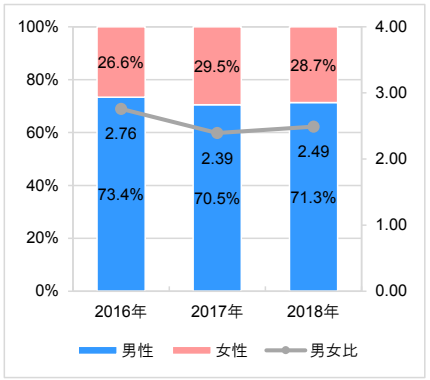
18 施設の治療前ステージ別登録数のⅠ期の割合（12.1%）は、全国の割合（19.7%）と比べて、7.6%下回っており、Ⅳ期の割合（27.2%）は、全国の割合（19.7%）と比べて、7.5%上回っていました。

施設別　登録数の推移

肝臓	2014年		2015年		2016年		2017年		2018年	
沖縄県18施設合計	293	(100.0%)	316	(100.0%)	312	(100.0%)	302	(100.0%)	300	(100.0%)
北部地区医師会病院	15	(5.1%)	18	(5.7%)	17	(5.4%)	13	(4.3%)	17	(5.7%)
国立病院機構沖縄病院	6	(2.0%)	7	(2.2%)	8	(2.6%)	5	(1.7%)	4	(1.3%)
県立中部病院	25	(8.5%)	41	(13.0%)	31	(9.9%)	30	(9.9%)	25	(8.3%)
中頭病院	36	(12.3%)	23	(7.3%)	19	(6.1%)	25	(8.3%)	29	(9.7%)
中部徳洲会病院	6	(2.0%)	19	(6.0%)	12	(3.8%)	15	(5.0%)	14	(4.7%)
ハートライフ病院	39	(13.3%)	41	(13.0%)	23	(7.4%)	33	(10.9%)	15	(5.0%)
那覇市立病院	22	(7.5%)	24	(7.6%)	24	(7.7%)	19	(6.3%)	14	(4.7%)
沖縄赤十字病院	14	(4.8%)	6	(1.9%)	17	(5.4%)	11	(3.6%)	13	(4.3%)
大浜第一病院	--	--	--	--	3	(1.0%)	10	(3.3%)	6	(2.0%)
浦添総合病院	25	(8.5%)	35	(11.1%)	31	(9.9%)	25	(8.3%)	45	(15.0%)
琉球大学医学部附属病院	19	(6.5%)	16	(5.1%)	29	(9.3%)	23	(7.6%)	23	(7.7%)
県立南部医療センター・こども医療センター	13	(4.4%)	15	(4.7%)	30	(9.6%)	19	(6.3%)	24	(8.0%)
南部病院	16	(5.5%)	7	(2.2%)	7	(2.2%)	6	(2.0%)	10	(3.3%)
南部徳洲会病院	12	(4.1%)	19	(6.0%)	10	(3.2%)	16	(5.3%)	12	(4.0%)
沖縄協同病院	12	(4.1%)	6	(1.9%)	11	(3.5%)	9	(3.0%)	2	(0.7%)
豊見城中央病院	25	(8.5%)	23	(7.3%)	21	(6.7%)	16	(5.3%)	29	(9.7%)
県立宮古病院	4	(1.4%)	7	(2.2%)	9	(2.9%)	15	(5.0%)	11	(3.7%)
県立八重山病院	4	(1.4%)	9	(2.8%)	10	(3.2%)	12	(4.0%)	7	(2.3%)

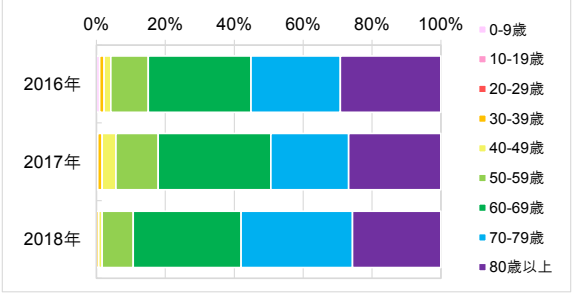
男女別　登録割合の推移

肝臓	2016年		2017年		2018年	
男性	229	(73.4%)	213	(70.5%)	214	(71.3%)
女性	83	(26.6%)	89	(29.5%)	86	(28.7%)
男女比		2.76		2.39		2.49
合計	312	(100.0%)	302	(100.0%)	300	(100.0%)



年齢階級別　登録数と登録割合

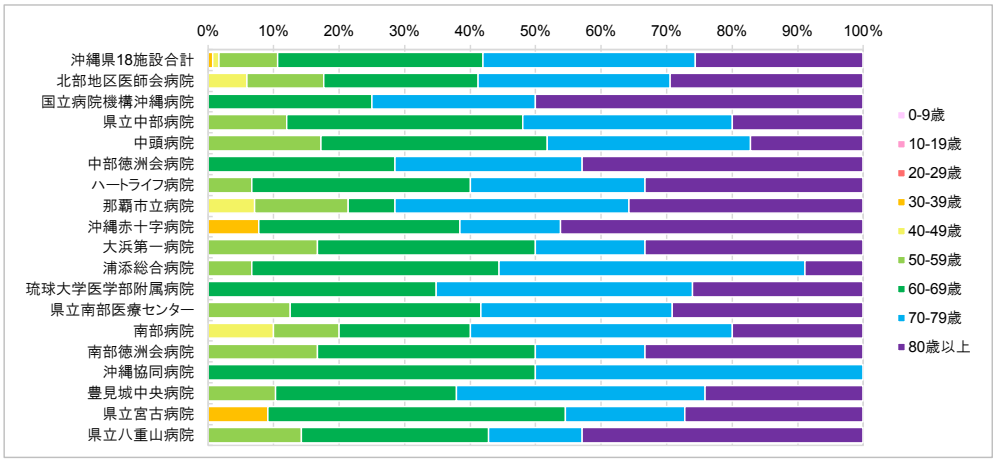
肝臓	2016年		2017年		2018年	
合計	312	(100.0%)	302	(100.0%)	300	(100.0%)
0-9歳	3	(1.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
10-19歳	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
20-29歳	0	(0.0%)	1	(0.3%)	0	(0.0%)
30-39歳	4	(1.3%)	4	(1.3%)	2	(0.7%)
40-49歳	6	(1.9%)	12	(4.0%)	3	(1.0%)
50-59歳	34	(10.9%)	37	(12.3%)	27	(9.0%)
60-69歳	93	(29.8%)	99	(32.8%)	94	(31.3%)
70-79歳	81	(26.0%)	68	(22.5%)	97	(32.3%)
80歳以上	91	(29.2%)	81	(26.8%)	77	(25.7%)



＊症例区分「80：その他」を除いて集計
＊男女別登録割合の「男女比」は、女性を 1 としたときの男性の比率

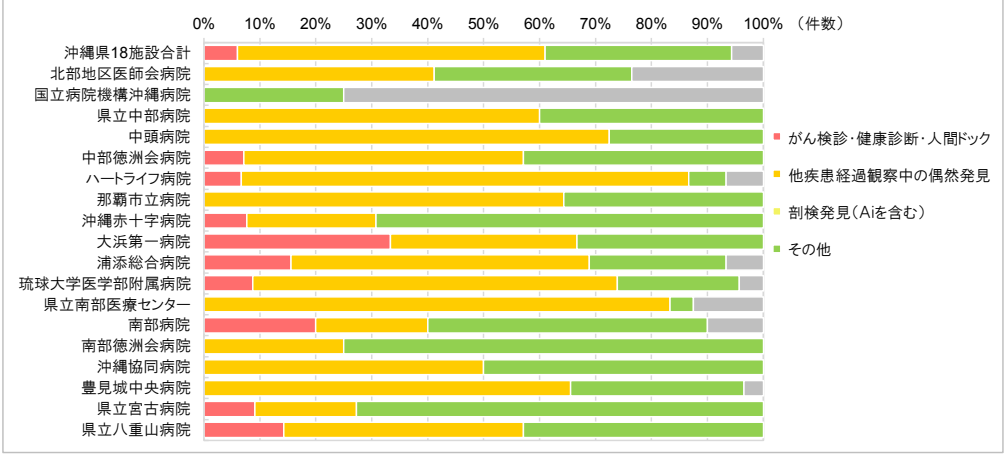
施設別　年齢階級別　登録数と登録割合

肝臓	0-9歳		10-19歳		20-29歳		30-39歳		40-49歳		50-59歳		60-69歳		70-79歳		80歳以上		合計	
沖縄県18施設合計	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(0.7%)	3	(1.0%)	27	(9.0%)	94	(31.3%)	97	(32.3%)	77	(25.7%)	300	(100.0%)
北部地区医師会病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(5.9%)	2	(11.8%)	4	(23.5%)	5	(29.4%)	5	(29.4%)	17	(100.0%)
国立病院機構沖縄病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(25.0%)	1	(25.0%)	2	(50.0%)	4	(100.0%)
県立中部病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(12.0%)	9	(36.0%)	8	(32.0%)	5	(20.0%)	25	(100.0%)
中頭病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	5	(17.2%)	10	(34.5%)	9	(31.0%)	5	(17.2%)	29	(100.0%)
中部徳洲会病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	4	(28.6%)	4	(28.6%)	6	(42.9%)	14	(100.0%)
ハートライフ病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(6.7%)	5	(33.3%)	4	(26.7%)	5	(33.3%)	15	(100.0%)
那覇市立病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(7.1%)	2	(14.3%)	1	(7.1%)	5	(35.7%)	5	(35.7%)	14	(100.0%)
沖縄赤十字病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(7.7%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	4	(30.8%)	2	(15.4%)	6	(46.2%)	13	(100.0%)
大浜第一病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(16.7%)	2	(33.3%)	1	(16.7%)	2	(33.3%)	6	(100.0%)
浦添総合病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(6.7%)	17	(37.8%)	21	(46.7%)	4	(8.9%)	45	(100.0%)
琉球大学医学部附属病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	8	(34.8%)	9	(39.1%)	6	(26.1%)	23	(100.0%)
県立南部医療センター・こども医療センター	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(12.5%)	7	(29.2%)	7	(29.2%)	7	(29.2%)	24	(100.0%)
南部病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(10.0%)	1	(10.0%)	2	(20.0%)	4	(40.0%)	2	(20.0%)	10	(100.0%)
南部徳洲会病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(16.7%)	4	(33.3%)	2	(16.7%)	4	(33.3%)	12	(100.0%)
沖縄協同病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(50.0%)	1	(50.0%)	0	(0.0%)	2	(100.0%)
豊見城中央病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(10.3%)	8	(27.6%)	11	(37.9%)	7	(24.1%)	29	(100.0%)
県立宮古病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(9.1%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	5	(45.5%)	2	(18.2%)	3	(27.3%)	11	(100.0%)
県立八重山病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(14.3%)	2	(28.6%)	1	(14.3%)	3	(42.9%)	7	(100.0%)



施設別　発見経緯別　登録数と登録割合

肝臓	がん検診・健康診断・人間ドック		他疾患経過観察中の偶然発見		剖検発見（Aiを含む）		その他		不明		合計	
沖縄県18施設合計	18	(6.0%)	165	(55.0%)	0	(0.0%)	100	(33.3%)	17	(5.7%)	300	(100.0%)
北部地区医師会病院	0	(0.0%)	7	(41.2%)	0	(0.0%)	6	(35.3%)	4	(23.5%)	17	(100.0%)
国立病院機構沖縄病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(25.0%)	3	(75.0%)	4	(100.0%)
県立中部病院	0	(0.0%)	15	(60.0%)	0	(0.0%)	10	(40.0%)	0	(0.0%)	25	(100.0%)
中頭病院	0	(0.0%)	21	(72.4%)	0	(0.0%)	8	(27.6%)	0	(0.0%)	29	(100.0%)
中部徳洲会病院	1	(7.1%)	7	(50.0%)	0	(0.0%)	6	(42.9%)	0	(0.0%)	14	(100.0%)
ハートライフ病院	1	(6.7%)	12	(80.0%)	0	(0.0%)	1	(6.7%)	1	(6.7%)	15	(100.0%)
那覇市立病院	0	(0.0%)	9	(64.3%)	0	(0.0%)	5	(35.7%)	0	(0.0%)	14	(100.0%)
沖縄赤十字病院	1	(7.7%)	3	(23.1%)	0	(0.0%)	9	(69.2%)	0	(0.0%)	13	(100.0%)
大浜第一病院	2	(33.3%)	2	(33.3%)	0	(0.0%)	2	(33.3%)	0	(0.0%)	6	(100.0%)
浦添総合病院	7	(15.6%)	24	(53.3%)	0	(0.0%)	11	(24.4%)	3	(6.7%)	45	(100.0%)
琉球大学医学部附属病院	2	(8.7%)	15	(65.2%)	0	(0.0%)	5	(21.7%)	1	(4.3%)	23	(100.0%)
県立南部医療センター・こども医療センター	0	(0.0%)	20	(83.3%)	0	(0.0%)	1	(4.2%)	3	(12.5%)	24	(100.0%)
南部病院	2	(20.0%)	2	(20.0%)	0	(0.0%)	5	(50.0%)	1	(10.0%)	10	(100.0%)
南部徳洲会病院	0	(0.0%)	3	(25.0%)	0	(0.0%)	9	(75.0%)	0	(0.0%)	12	(100.0%)
沖縄協同病院	0	(0.0%)	1	(50.0%)	0	(0.0%)	1	(50.0%)	0	(0.0%)	2	(100.0%)
豊見城中央病院	0	(0.0%)	19	(65.5%)	0	(0.0%)	9	(31.0%)	1	(3.4%)	29	(100.0%)
県立宮古病院	1	(9.1%)	2	(18.2%)	0	(0.0%)	8	(72.7%)	0	(0.0%)	11	(100.0%)
県立八重山病院	1	(14.3%)	3	(42.9%)	0	(0.0%)	3	(42.9%)	0	(0.0%)	7	(100.0%)



＊症例区分「８０：その他」を除いて集計
＊県立南部医療センター・こども医療センターを便宜上、「県立南部医療センター」と表記

施設別　肝癌取扱い規約分類　治療前ステージ別　登録数

肝臓	Ⅰ期		Ⅱ期		Ⅲ期		Ⅳ期		不明・その他		合計	
全国(2017年症例)	4,656	(19.7%)	8,207	(34.7%)	5,088	(21.5%)	4,656	(19.7%)	1,019	(4.3%)	23,626	(100.0%)
沖縄県18施設合計	27	(12.1%)	70	(31.3%)	54	(24.1%)	61	(27.2%)	12	(5.4%)	224	(100.0%)
北部地区医師会病院	3	(27.3%)	3	(27.3%)	4	(36.4%)	1	(9.1%)	0	(0.0%)	11	(100.0%)
国立病院機構沖縄病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
県立中部病院	4	(18.2%)	1	(4.5%)	5	(22.7%)	7	(31.8%)	5	(22.7%)	22	(100.0%)
中頭病院	2	(7.1%)	12	(42.9%)	7	(25.0%)	7	(25.0%)	0	(0.0%)	28	(100.0%)
中部徳洲会病院	0	(0.0%)	6	(75.0%)	1	(12.5%)	1	(12.5%)	0	(0.0%)	8	(100.0%)
ハートライフ病院	5	(41.7%)	3	(25.0%)	3	(25.0%)	1	(8.3%)	0	(0.0%)	12	(100.0%)
那覇市立病院	1	(8.3%)	3	(25.0%)	3	(25.0%)	5	(41.7%)	0	(0.0%)	12	(100.0%)
沖縄赤十字病院	2	(18.2%)	4	(36.4%)	1	(9.1%)	4	(36.4%)	0	(0.0%)	11	(100.0%)
大浜第一病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	5	(100.0%)	0	(0.0%)	5	(100.0%)
浦添総合病院	3	(7.7%)	10	(25.6%)	11	(28.2%)	13	(33.3%)	2	(5.1%)	39	(100.0%)
琉球大学医学部附属病院	1	(6.3%)	8	(50.0%)	3	(18.8%)	4	(25.0%)	0	(0.0%)	16	(100.0%)
県立南部医療センター・こども医療センター	2	(14.3%)	3	(21.4%)	5	(35.7%)	4	(28.6%)	0	(0.0%)	14	(100.0%)
南部病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(100.0%)	1	(100.0%)
南部徳洲会病院	0	(0.0%)	4	(57.1%)	1	(14.3%)	1	(14.3%)	1	(14.3%)	7	(100.0%)
沖縄協同病院	1	(50.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(50.0%)	0	(0.0%)	2	(100.0%)
豊見城中央病院	3	(13.6%)	8	(36.4%)	3	(13.6%)	5	(22.7%)	3	(13.6%)	22	(100.0%)
県立宮古病院	0	(0.0%)	5	(55.6%)	3	(33.3%)	1	(11.1%)	0	(0.0%)	9	(100.0%)
県立八重山病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	4	(80.0%)	1	(20.0%)	0	(0.0%)	5	(100.0%)

施設別　UICC TNM 分類　術後ステージ別　登録数

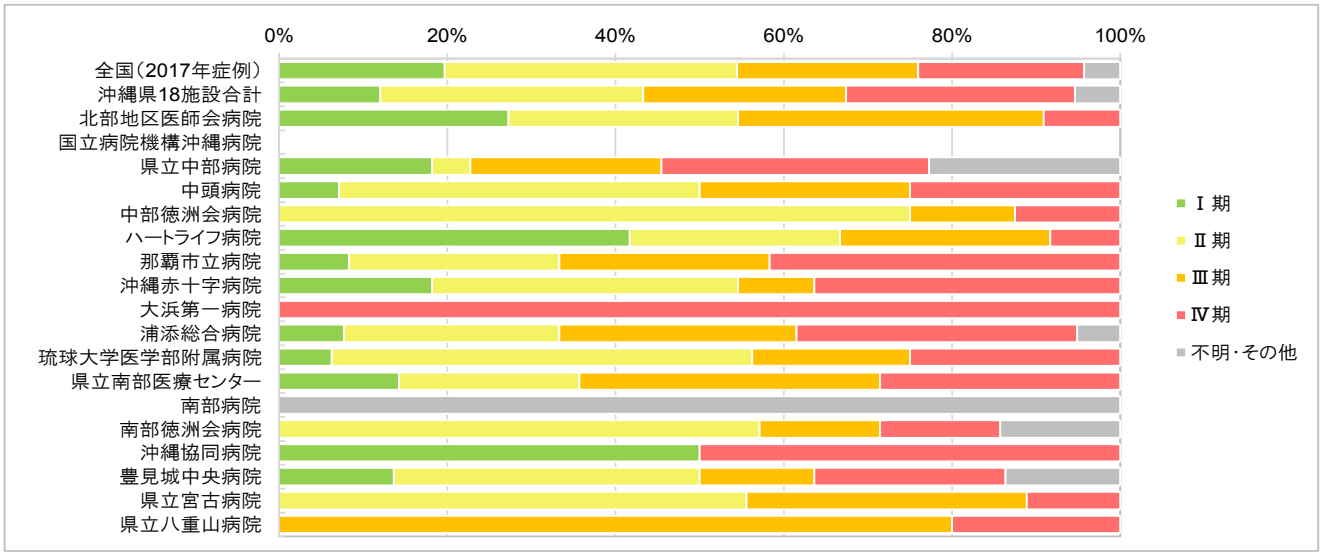
肝臓	Ⅰ期		Ⅱ期		Ⅲ期		Ⅳ期		術前治療後		不明・その他		合計	
全国(2017年症例)	3,341	(47.3%)	2,140	(30.3%)	711	(10.1%)	389	(5.5%)	426	(6.0%)	58	(0.8%)	7,065	(100.0%)
沖縄県18施設合計	34	(59.6%)	17	(29.8%)	5	(8.8%)	0	(0.0%)	1	(1.8%)	0	(0.0%)	57	(100.0%)
北部地区医師会病院	3	(50.0%)	3	(50.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	6	(100.0%)
国立病院機構沖縄病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
県立中部病院	3	(75.0%)	0	(0.0%)	1	(25.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	4	(100.0%)
中頭病院	5	(62.5%)	2	(25.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(12.5%)	0	(0.0%)	8	(100.0%)
中部徳洲会病院	2	(100.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(100.0%)
ハートライフ病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
那覇市立病院	1	(50.0%)	1	(50.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(100.0%)
沖縄赤十字病院	1	(33.3%)	2	(66.7%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(100.0%)
大浜第一病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
浦添総合病院	8	(57.1%)	4	(28.6%)	2	(14.3%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	14	(100.0%)
琉球大学医学部附属病院	2	(66.7%)	0	(0.0%)	1	(33.3%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(100.0%)
県立南部医療センター・こども医療センター	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
南部病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
南部徳洲会病院	1	(33.3%)	2	(66.7%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(100.0%)
沖縄協同病院	1	(100.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(100.0%)
豊見城中央病院	6	(60.0%)	3	(30.0%)	1	(10.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	10	(100.0%)
県立宮古病院	1	(100.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(100.0%)
県立八重山病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)

施設別　UICC TNM 分類　総合ステージ別　登録数

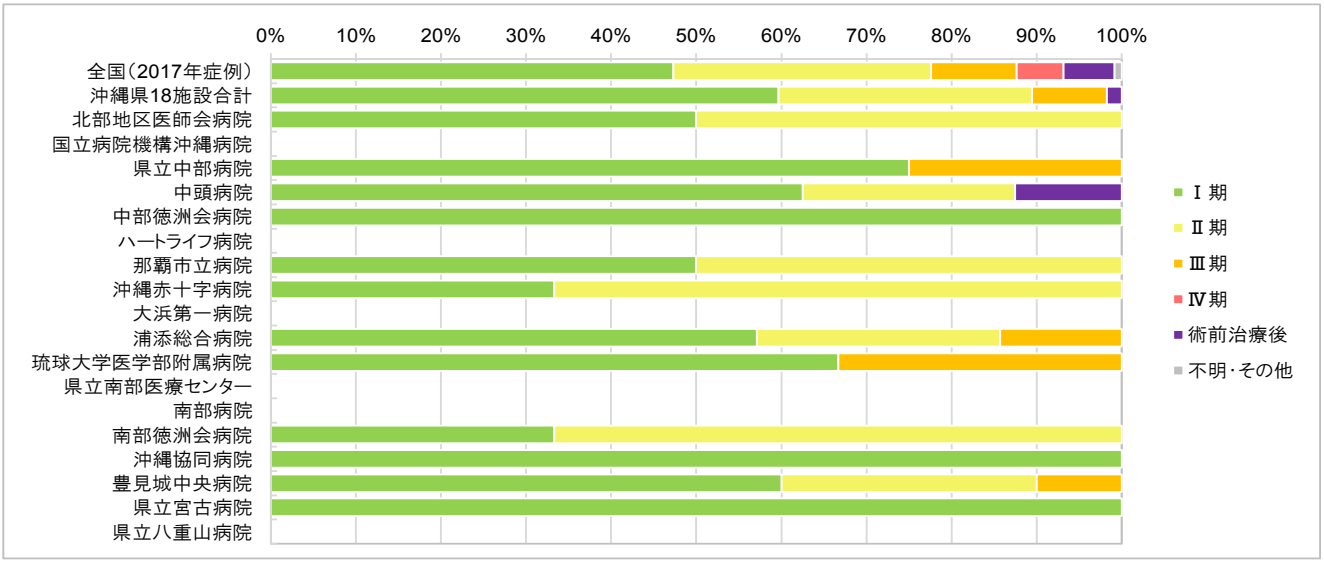
肝臓	Ⅰ期		Ⅱ期		Ⅲ期		Ⅳ期		不明・その他		合計	
沖縄県18施設合計	79	(35.3%)	57	(25.4%)	32	(14.3%)	51	(22.8%)	5	(2.2%)	224	(100.0%)
北部地区医師会病院	6	(54.5%)	4	(36.4%)	0	(0.0%)	1	(9.1%)	0	(0.0%)	11	(100.0%)
国立病院機構沖縄病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
県立中部病院	6	(27.3%)	4	(18.2%)	3	(13.6%)	7	(31.8%)	2	(9.1%)	22	(100.0%)
中頭病院	11	(39.3%)	9	(32.1%)	2	(7.1%)	6	(21.4%)	0	(0.0%)	28	(100.0%)
中部徳洲会病院	6	(75.0%)	0	(0.0%)	1	(12.5%)	1	(12.5%)	0	(0.0%)	8	(100.0%)
ハートライフ病院	8	(66.7%)	1	(8.3%)	3	(25.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	12	(100.0%)
那覇市立病院	3	(25.0%)	1	(8.3%)	3	(25.0%)	5	(41.7%)	0	(0.0%)	12	(100.0%)
沖縄赤十字病院	3	(27.3%)	3	(27.3%)	1	(9.1%)	4	(36.4%)	0	(0.0%)	11	(100.0%)
大浜第一病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(40.0%)	3	(60.0%)	0	(0.0%)	5	(100.0%)
浦添総合病院	10	(25.6%)	12	(30.8%)	8	(20.5%)	9	(23.1%)	0	(0.0%)	39	(100.0%)
琉球大学医学部附属病院	6	(37.5%)	5	(31.3%)	1	(6.3%)	4	(25.0%)	0	(0.0%)	16	(100.0%)
県立南部医療センター・こども医療センター	4	(28.6%)	5	(35.7%)	2	(14.3%)	3	(21.4%)	0	(0.0%)	14	(100.0%)
南部病院	0	(0.0%)	1	(100.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(100.0%)
南部徳洲会病院	2	(28.6%)	3	(42.9%)	0	(0.0%)	1	(14.3%)	1	(14.3%)	7	(100.0%)
沖縄協同病院	1	(50.0%)	0	(0.0%)	1	(50.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(100.0%)
豊見城中央病院	9	(40.9%)	4	(18.2%)	2	(9.1%)	5	(22.7%)	2	(9.1%)	22	(100.0%)
県立宮古病院	4	(44.4%)	2	(22.2%)	2	(22.2%)	1	(11.1%)	0	(0.0%)	9	(100.0%)
県立八重山病院	0	(0.0%)	3	(60.0%)	1	(20.0%)	1	(20.0%)	0	(0.0%)	5	(100.0%)

こちらの集計対象は以下の条件を満たす登録である
1. 症例区分「20：自施設診断・自施設初回治療開始」「30：他施設診断・自施設初回治療開始」のみ集計
2.「癌腫」
3. 術後ステージの集計においては、上記「1」「2」に加えて「項目：外科的・鏡視下・内視鏡的治療の結果」の区分が原発巣切除例とする。

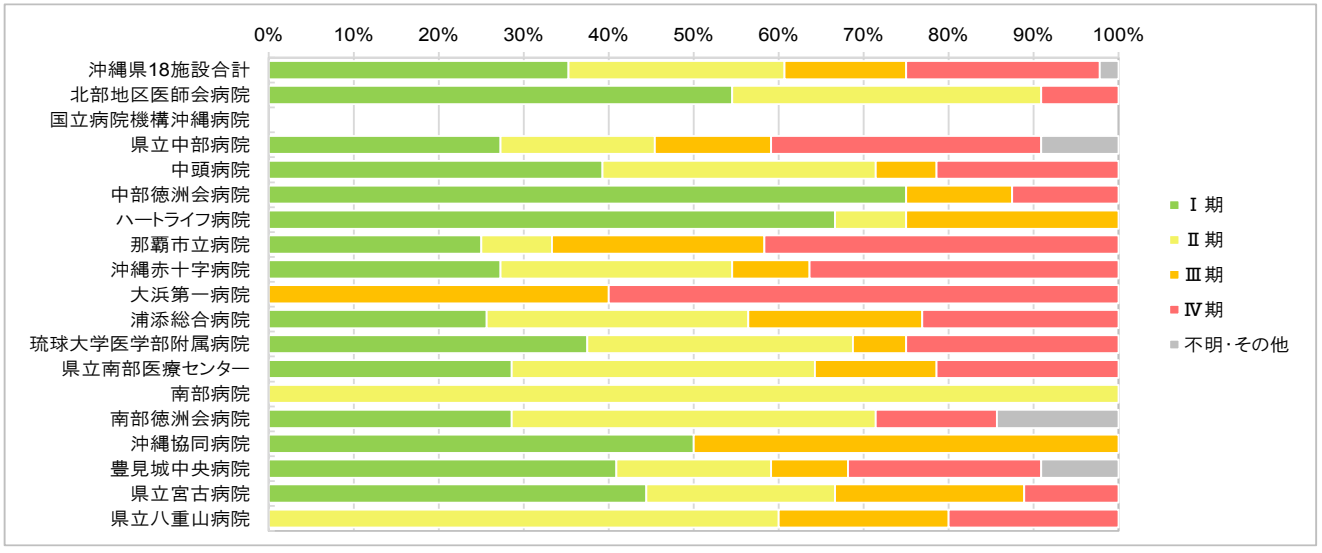
施設別　肝癌取扱い規約分類　治療前ステージ別　登録割合



施設別　UICC TNM 分類　術後ステージ別　登録割合



施設別　UICC TNM 分類　総合ステージ別　登録割合



＊県立南部医療センター・こども医療センターを便宜上、「県立南部医療センター」と表記
こちらの集計対象は以下の条件を満たす登録である
1. 症例区分「20：自施設診断・自施設初回治療開始」「30：他施設診断・自施設初回治療開始」のみ集計
2.「癌腫」
3. 術後ステージの集計においては、上記「1」「2」に加えて「項目：外科的・鏡視下・内視鏡的治療の結果」の区分が原発巣切除例とする。

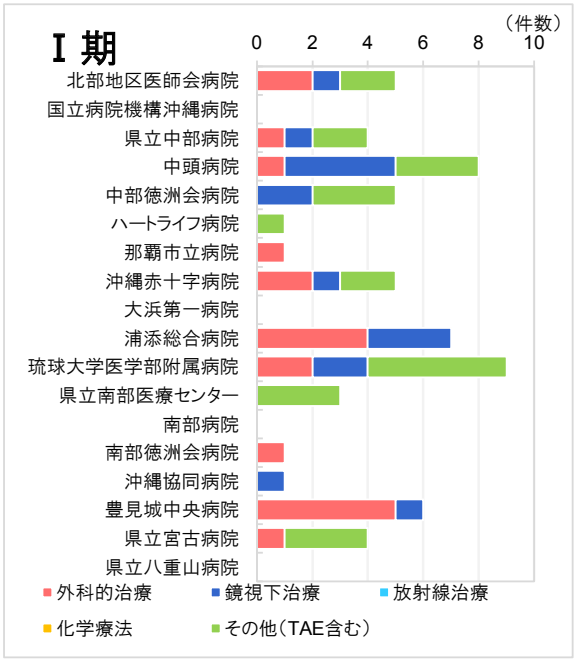
臨床医からのコメント

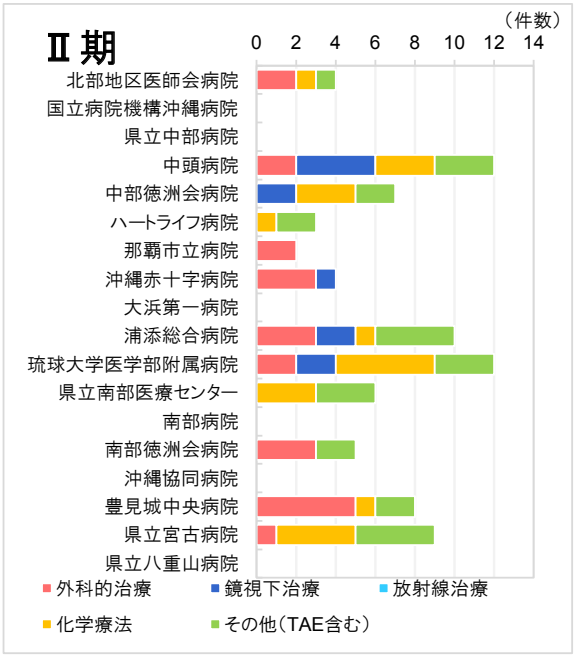
2018 年の肝癌登録件数は昨年とほぼ同様の 300 件でした。現在、抗ウイルス薬の進歩によりウイルス感染由来の肝がん発生数は減少してきております。それとともに高齢者での割合が高く、9 割が 60 歳以上となっております。

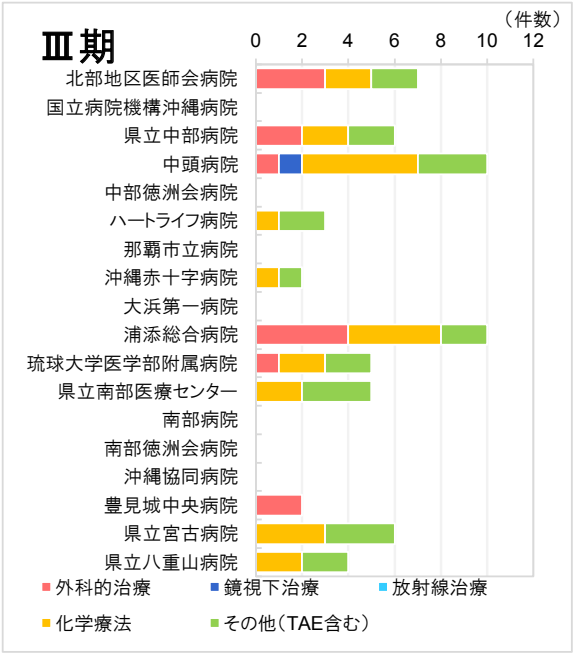
肝がんの発生数が減少しない原因としてアルコール性肝炎や非アルコール性肝炎（NASH）の発生件数が沖縄県の肝がんの背景肝とし高い割合をしめしております。沖縄県における肥満が問題になっていることと重要な関連があるものと思われます。

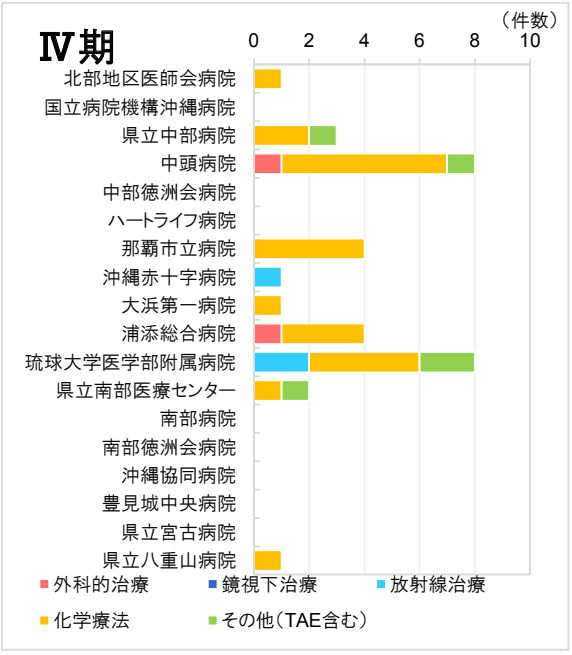
ステージ別の登録数は I 期の割合が 12.1% と全国の 19.7% より少なく、IV 期の割合が 27.2% と全国より 7.5% 上回っていました。つまり、全国登録に比べて進行がんでの発見割合が多く見られます。他疾患の治療中に偶然（意図的でない）発見されたものが多くみられた事との関連があるかもしれません。 （次のページにつづく→）

施設別　肝癌取扱い規約分類　治療前ステージ別　治療の件数－Ⅰ期～Ⅳ期









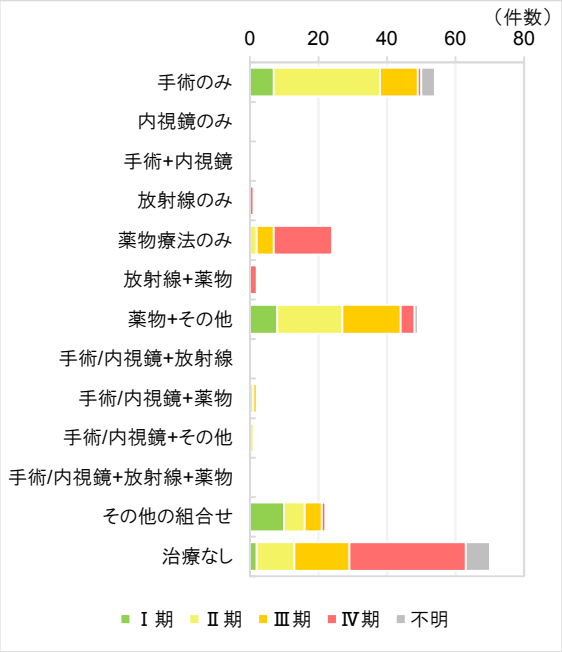
＊件数は延べ件数（手術と化学療法を組み合わせて行った場合は、どちらの項目でもカウントされる）
＊記載のない治療方法については巻末の集計表を参照
＊県立南部医療センター・こども医療センターを便宜上、「県立南部医療センター」と表記
こちらの集計対象は以下の条件を満たす登録である
1. 症例区分「20：自施設診断・自施設初回治療開始」「21：自施設診断・自施設初回治療継続」「30：他施設診断・自施設初回治療開始」「31：他施設診断・自施設初回治療継続」のみ集計
2.「癌腫」

臨床医からのコメント

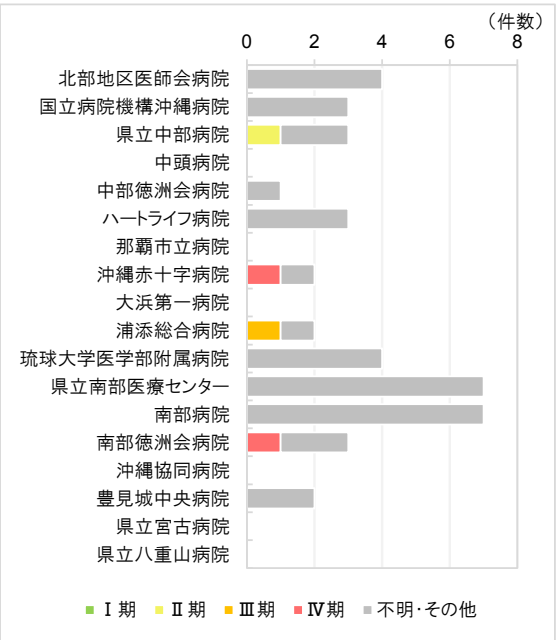
治療に関しては各施設で鏡視下治療が行われており、昨今の低侵襲治療も普及していることが伺われます。今後期待される取り組みとして、１．生活習慣を改善し、沖縄県内で問題となっている高血圧、肥満、糖尿病などの成人病の減少。２．節度ある適度な飲酒量。３．肝炎ウイルス以外からの肝がん発生も多い事より人間ドックの受診率を高め、早期発見に心がける。４．肝炎以外の発生や早期発見の必要性などの啓蒙活動。などの県全体での取り組みが必要だと思われました。

砂川　宏樹（中頭病院 消化器一般外科　主任部長）

肝癌取扱い規約分類　治療前ステージ別　初回治療の組み合わせ別（他施設での治療を含む）登録数



施設別　肝癌取扱い規約分類　治療前ステージ別初回治療終了後の受け入れ　登録数



＊県立南部医療センター・こども医療センターを便宜上、「県立南部医療センター」と表記
こちらの集計対象は以下の条件を満たす登録である
1. 症例区分「20：自施設診断・自施設初回治療開始」「21：自施設診断・自施設初回治療継続」「30：他施設診断・自施設初回治療開始」「31：他施設診断・自施設初回治療継続」のみ集計（初回治療終了後の受け入れ登録数は、症例区分「40：初回治療終了後」のみ集計）
2.「癌腫」

胆のう・胆管（C23 – C24）

データを見ると

18 施設の胆のう・胆管がん登録数は 273 件（2018 年）で、前年の登録数より 14.2％の増加を認めました。男女別登録割合（2018 年）は、男性 52.7％、女性 47.3％で、前年に比べて女性が 11.3％増加していました。。年齢階級別登録割合をみると、いずれの年も８０歳以上にピークを認め、全体の約５割を 80 歳代以上が占めていました。

登録数を施設別にみると、件数の多い上位 3 施設は、浦添総合病院 34 件、県立中部病院 29 件、豊見城中央病院 27 件でした。

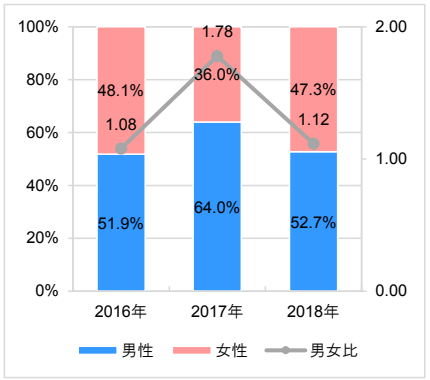
18 施設の治療前ステージ別登録数のⅣ期の割合（26.9％）と高く、次いでⅡ期の割合（19.0％）が高かった。

施設別　登録数の推移

胆のう･胆管	2014年		2015年		2016年		2017年		2018年	
沖縄県18施設合計	198	(100.0%)	186	(100.0%)	212	(100.0%)	239	(100.0%)	273	(100.0%)
北部地区医師会病院	10	(5.1%)	8	(4.3%)	9	(4.2%)	12	(5.0%)	12	(4.4%)
国立病院機構沖縄病院	6	(3.0%)	2	(1.1%)	4	(1.9%)	5	(2.1%)	8	(2.9%)
県立中部病院	11	(5.6%)	10	(5.4%)	15	(7.1%)	16	(6.7%)	29	(10.6%)
中頭病院	21	(10.6%)	20	(10.8%)	12	(5.7%)	27	(11.3%)	14	(5.1%)
中部徳洲会病院	11	(5.6%)	11	(5.9%)	14	(6.6%)	17	(7.1%)	12	(4.4%)
ハートライフ病院	18	(9.1%)	11	(5.9%)	18	(8.5%)	8	(3.3%)	12	(4.4%)
那覇市立病院	18	(9.1%)	11	(5.9%)	22	(10.4%)	16	(6.7%)	20	(7.3%)
沖縄赤十字病院	5	(2.5%)	9	(4.8%)	9	(4.2%)	14	(5.9%)	20	(7.3%)
大浜第一病院	--	--	--	--	3	(1.4%)	3	(1.3%)	6	(2.2%)
浦添総合病院	24	(12.1%)	28	(15.1%)	19	(9.0%)	27	(11.3%)	34	(12.5%)
琉球大学医学部附属病院	7	(3.5%)	7	(3.8%)	7	(3.3%)	6	(2.5%)	8	(2.9%)
県立南部医療センター･こども医療センター	7	(3.5%)	4	(2.2%)	9	(4.2%)	7	(2.9%)	7	(2.6%)
南部病院	7	(3.5%)	11	(5.9%)	8	(3.8%)	8	(3.3%)	14	(5.1%)
南部徳洲会病院	8	(4.0%)	15	(8.1%)	15	(7.1%)	15	(6.3%)	10	(3.7%)
沖縄協同病院	7	(3.5%)	7	(3.8%)	13	(6.1%)	13	(5.4%)	10	(3.7%)
豊見城中央病院	18	(9.1%)	13	(7.0%)	20	(9.4%)	25	(10.5%)	27	(9.9%)
県立宮古病院	14	(7.1%)	11	(5.9%)	12	(5.7%)	13	(5.4%)	13	(4.8%)
県立八重山病院	6	(3.0%)	8	(4.3%)	3	(1.4%)	7	(2.9%)	17	(6.2%)

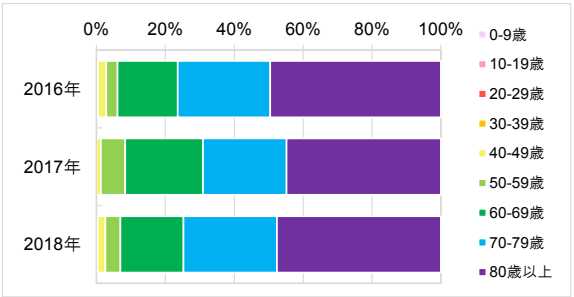
男女別　登録割合の推移

胆のう･胆管	2016年		2017年		2018年	
男性	110	(51.9%)	153	(64.0%)	144	(52.7%)
女性	102	(48.1%)	86	(36.0%)	129	(47.3%)
男女比		1.08		1.78		1.12
合計	212	(100.0%)	239	(100.0%)	273	(100.0%)



年齢階級別　登録数と登録割合の推移

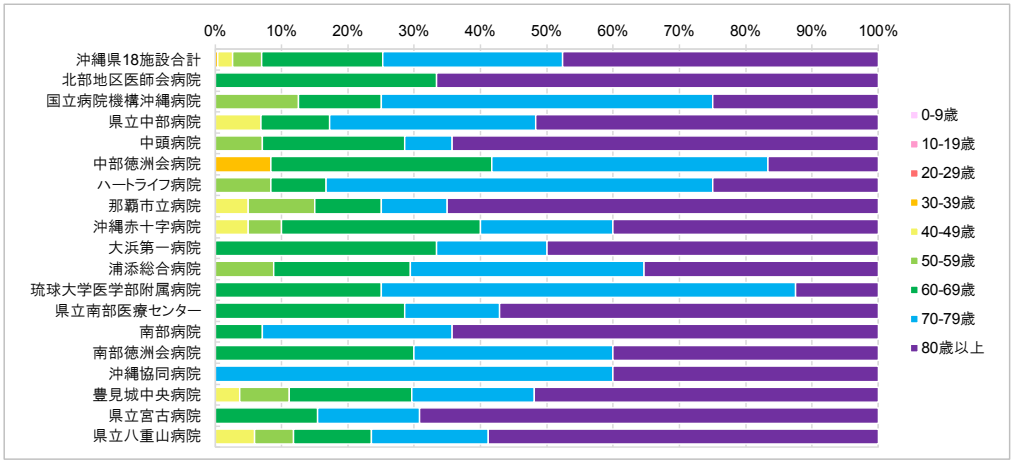
胆のう･胆管	2016年		2017年		2018年	
合計	212	(100.0%)	239	(100.0%)	273	(100.0%)
0-9歳	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
10-19歳	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
20-29歳	1	(0.5%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
30-39歳	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(0.4%)
40-49歳	5	(2.4%)	3	(1.3%)	6	(2.2%)
50-59歳	7	(3.3%)	17	(7.1%)	12	(4.4%)
60-69歳	37	(17.5%)	54	(22.6%)	50	(18.3%)
70-79歳	57	(26.9%)	58	(24.3%)	74	(27.1%)
80歳以上	105	(49.5%)	107	(44.8%)	130	(47.6%)



＊症例区分「８０：その他」を除いて集計
＊男女別登録割合の「男女比」は、女性を１としたときの男性の比率

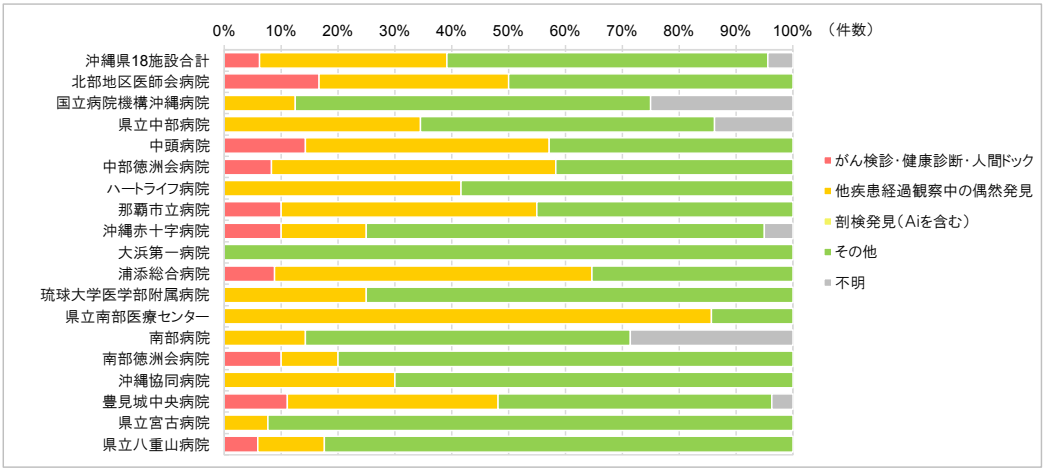
施設別　年齢階級別　登録数と登録割合

胆のう･胆管	0-9歳		10-19歳		20-29歳		30-39歳		40-49歳		50-59歳		60-69歳		70-79歳		80歳以上		合計	
沖縄県18施設合計	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(0.4%)	6	(2.2%)	12	(4.4%)	50	(18.3%)	74	(27.1%)	130	(47.6%)	273	(100.0%)
北部地区医師会病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	4	(33.3%)	0	(0.0%)	8	(66.7%)	12	(100.0%)
国立病院機構沖縄病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(12.5%)	1	(12.5%)	4	(50.0%)	2	(25.0%)	8	(100.0%)
県立中部病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(6.9%)	0	(0.0%)	3	(10.3%)	9	(31.0%)	15	(51.7%)	29	(100.0%)
中頭病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(7.1%)	3	(21.4%)	1	(7.1%)	9	(64.3%)	14	(100.0%)
中部徳洲会病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(8.3%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	4	(33.3%)	5	(41.7%)	2	(16.7%)	12	(100.0%)
ハートライフ病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(8.3%)	1	(8.3%)	7	(58.3%)	3	(25.0%)	12	(100.0%)
那覇市立病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(5.0%)	2	(10.0%)	2	(10.0%)	2	(10.0%)	13	(65.0%)	20	(100.0%)
沖縄赤十字病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(5.0%)	1	(5.0%)	6	(30.0%)	4	(20.0%)	8	(40.0%)	20	(100.0%)
大浜第一病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(33.3%)	1	(16.7%)	3	(50.0%)	6	(100.0%)
浦添総合病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(8.8%)	7	(20.6%)	12	(35.3%)	12	(35.3%)	34	(100.0%)
琉球大学医学部附属病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(25.0%)	5	(62.5%)	1	(12.5%)	8	(100.0%)
県立南部医療センター･こども医療センター	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(28.6%)	1	(14.3%)	4	(57.1%)	7	(100.0%)
南部病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(7.1%)	4	(28.6%)	9	(64.3%)	14	(100.0%)
南部徳洲会病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(30.0%)	3	(30.0%)	4	(40.0%)	10	(100.0%)
沖縄協同病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	6	(60.0%)	4	(40.0%)	10	(100.0%)
豊見城中央病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(3.7%)	2	(7.4%)	5	(18.5%)	5	(18.5%)	14	(51.9%)	27	(100.0%)
県立宮古病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(15.4%)	2	(15.4%)	9	(69.2%)	13	(100.0%)
県立八重山病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(5.9%)	1	(5.9%)	2	(11.8%)	3	(17.6%)	10	(58.8%)	17	(100.0%)



施設別　発見経緯別　登録数と登録割合

胆のう･胆管	がん検診･健康診断･人間ドック		他疾患経過観察中の偶然発見		剖検発見(Aiを含む)		その他		不明		合計	
沖縄県18施設合計	17	(6.2%)	90	(33.0%)	0	(0.0%)	154	(56.4%)	12	(4.4%)	273	(100.0%)
北部地区医師会病院	2	(16.7%)	4	(33.3%)	0	(0.0%)	6	(50.0%)	0	(0.0%)	12	(100.0%)
国立病院機構沖縄病院	0	(0.0%)	1	(12.5%)	0	(0.0%)	5	(62.5%)	2	(25.0%)	8	(100.0%)
県立中部病院	0	(0.0%)	10	(34.5%)	0	(0.0%)	15	(51.7%)	4	(13.8%)	29	(100.0%)
中頭病院	2	(14.3%)	6	(42.9%)	0	(0.0%)	6	(42.9%)	0	(0.0%)	14	(100.0%)
中部徳洲会病院	1	(8.3%)	6	(50.0%)	0	(0.0%)	5	(41.7%)	0	(0.0%)	12	(100.0%)
ハートライフ病院	0	(0.0%)	5	(41.7%)	0	(0.0%)	7	(58.3%)	0	(0.0%)	12	(100.0%)
那覇市立病院	2	(10.0%)	9	(45.0%)	0	(0.0%)	9	(45.0%)	0	(0.0%)	20	(100.0%)
沖縄赤十字病院	2	(10.0%)	3	(15.0%)	0	(0.0%)	14	(70.0%)	1	(5.0%)	20	(100.0%)
大浜第一病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	6	(100.0%)	0	(0.0%)	6	(100.0%)
浦添総合病院	3	(8.8%)	19	(55.9%)	0	(0.0%)	12	(35.3%)	0	(0.0%)	34	(100.0%)
琉球大学医学部附属病院	0	(0.0%)	2	(25.0%)	0	(0.0%)	6	(75.0%)	0	(0.0%)	8	(100.0%)
県立南部医療センター･こども医療センター	0	(0.0%)	6	(85.7%)	0	(0.0%)	1	(14.3%)	0	(0.0%)	7	(100.0%)
南部病院	0	(0.0%)	2	(14.3%)	0	(0.0%)	8	(57.1%)	4	(28.6%)	14	(100.0%)
南部徳洲会病院	1	(10.0%)	1	(10.0%)	0	(0.0%)	8	(80.0%)	0	(0.0%)	10	(100.0%)
沖縄協同病院	0	(0.0%)	3	(30.0%)	0	(0.0%)	7	(70.0%)	0	(0.0%)	10	(100.0%)
豊見城中央病院	3	(11.1%)	10	(37.0%)	0	(0.0%)	13	(48.1%)	1	(3.7%)	27	(100.0%)
県立宮古病院	0	(0.0%)	1	(7.7%)	0	(0.0%)	12	(92.3%)	0	(0.0%)	13	(100.0%)
県立八重山病院	1	(5.9%)	2	(11.8%)	0	(0.0%)	14	(82.4%)	0	(0.0%)	17	(100.0%)



＊症例区分「８０：その他」を除いて集計
＊県立南部医療センター・こども医療センターを便宜上、「県立南部医療センター」と表記

施設別　UICC TNM 分類　治療前ステージ別　登録数

胆のう・胆管	0期	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	不明・その他	合計
沖縄県18施設合計	3 (1.4%)	35 (16.2%)	41 (19.0%)	39 (18.1%)	58 (26.9%)	40 (18.5%)	216 (100.0%)
北部地区医師会病院	0 (0.0%)	2 (16.7%)	4 (33.3%)	2 (16.7%)	4 (33.3%)	0 (0.0%)	12 (100.0%)
国立病院機構沖縄病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)
県立中部病院	1 (4.2%)	2 (8.3%)	7 (29.2%)	6 (25.0%)	4 (16.7%)	4 (16.7%)	24 (100.0%)
中頭病院	0 (0.0%)	1 (7.7%)	6 (46.2%)	0 (0.0%)	5 (38.5%)	1 (7.7%)	13 (100.0%)
中部徳洲会病院	1 (9.1%)	0 (0.0%)	2 (18.2%)	2 (18.2%)	1 (9.1%)	5 (45.5%)	11 (100.0%)
ハートライフ病院	0 (0.0%)	2 (20.0%)	1 (10.0%)	1 (10.0%)	2 (20.0%)	4 (40.0%)	10 (100.0%)
那覇市立病院	0 (0.0%)	5 (27.8%)	2 (11.1%)	5 (27.8%)	6 (33.3%)	0 (0.0%)	18 (100.0%)
沖縄赤十字病院	0 (0.0%)	3 (17.6%)	1 (5.9%)	2 (11.8%)	4 (23.5%)	7 (41.2%)	17 (100.0%)
大浜第一病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)	3 (75.0%)	0 (0.0%)	4 (100.0%)
浦添総合病院	0 (0.0%)	5 (17.9%)	4 (14.3%)	4 (14.3%)	7 (25.0%)	8 (28.6%)	28 (100.0%)
琉球大学医学部附属病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (16.7%)	2 (33.3%)	1 (16.7%)	2 (33.3%)	6 (100.0%)
県立南部医療センター・こども医療センター	0 (0.0%)	2 (40.0%)	2 (40.0%)	1 (20.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (100.0%)
南部病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)
南部徳洲会病院	0 (0.0%)	1 (11.1%)	0 (0.0%)	2 (22.2%)	3 (33.3%)	3 (33.3%)	9 (100.0%)
沖縄協同病院	0 (0.0%)	2 (22.2%)	1 (11.1%)	3 (33.3%)	3 (33.3%)	0 (0.0%)	9 (100.0%)
豊見城中央病院	1 (4.8%)	3 (14.3%)	4 (19.0%)	4 (19.0%)	4 (19.0%)	5 (23.8%)	21 (100.0%)
県立宮古病院	0 (0.0%)	6 (46.2%)	2 (15.4%)	1 (7.7%)	3 (23.1%)	1 (7.7%)	13 (100.0%)
県立八重山病院	0 (0.0%)	1 (7.1%)	4 (28.6%)	3 (21.4%)	6 (42.9%)	0 (0.0%)	14 (100.0%)

施設別　UICC TNM 分類　術後ステージ別　登録数

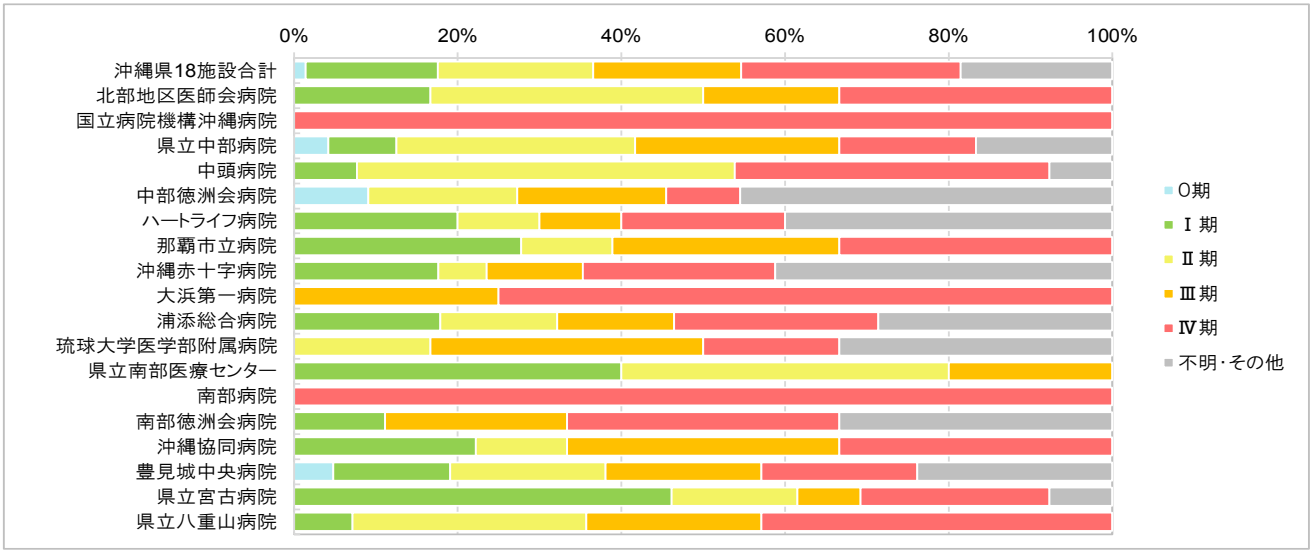
胆のう・胆管	0期	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	術前治療後	不明・その他	合計
沖縄県18施設合計	8 (9.8%)	26 (31.7%)	34 (41.5%)	10 (12.2%)	2 (2.4%)	1 (1.2%)	1 (1.2%)	82 (100.0%)
北部地区医師会病院	0 (0.0%)	1 (16.7%)	3 (50.0%)	1 (16.7%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (100.0%)
国立病院機構沖縄病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
県立中部病院	1 (14.3%)	3 (42.9%)	3 (42.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7 (100.0%)
中頭病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (83.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)	6 (100.0%)
中部徳洲会病院	3 (37.5%)	2 (25.0%)	3 (37.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	8 (100.0%)
ハートライフ病院	1 (33.3%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	3 (100.0%)
那覇市立病院	0 (0.0%)	2 (28.6%)	2 (28.6%)	3 (42.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7 (100.0%)
沖縄赤十字病院	0 (0.0%)	4 (80.0%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (100.0%)
大浜第一病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
浦添総合病院	3 (16.7%)	6 (33.3%)	5 (27.8%)	4 (22.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	18 (100.0%)
琉球大学医学部附属病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)
県立南部医療センター・こども医療センター	0 (0.0%)	1 (33.3%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (100.0%)
南部病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
南部徳洲会病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)
沖縄協同病院	0 (0.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (100.0%)
豊見城中央病院	0 (0.0%)	5 (55.6%)	3 (33.3%)	1 (11.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	9 (100.0%)
県立宮古病院	0 (0.0%)	1 (16.7%)	4 (66.7%)	0 (0.0%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (100.0%)
県立八重山病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

施設別　UICC TNM 分類　総合ステージ別　登録数

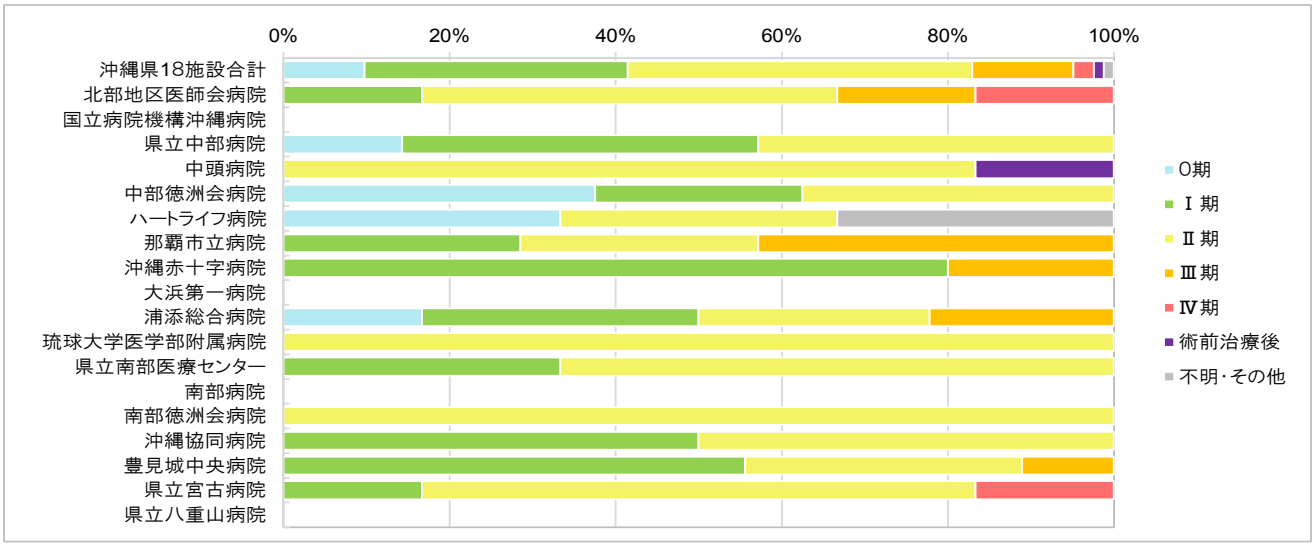
胆のう・胆管	0期	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	不明・その他	合計
沖縄県18施設合計	8 (3.7%)	39 (18.1%)	55 (25.5%)	40 (18.5%)	58 (26.9%)	16 (7.4%)	216 (100.0%)
北部地区医師会病院	0 (0.0%)	2 (16.7%)	4 (33.3%)	2 (16.7%)	4 (33.3%)	0 (0.0%)	12 (100.0%)
国立病院機構沖縄病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)
県立中部病院	1 (4.2%)	3 (12.5%)	8 (33.3%)	6 (25.0%)	3 (12.5%)	3 (12.5%)	24 (100.0%)
中頭病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7 (53.8%)	0 (0.0%)	5 (38.5%)	1 (7.7%)	13 (100.0%)
中部徳洲会病院	3 (27.3%)	2 (18.2%)	3 (27.3%)	2 (18.2%)	1 (9.1%)	0 (0.0%)	11 (100.0%)
ハートライフ病院	1 (10.0%)	1 (10.0%)	2 (20.0%)	1 (10.0%)	2 (20.0%)	3 (30.0%)	10 (100.0%)
那覇市立病院	0 (0.0%)	4 (22.2%)	3 (16.7%)	5 (27.8%)	6 (33.3%)	0 (0.0%)	18 (100.0%)
沖縄赤十字病院	0 (0.0%)	5 (29.4%)	1 (5.9%)	3 (17.6%)	4 (23.5%)	4 (23.5%)	17 (100.0%)
大浜第一病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)	3 (75.0%)	0 (0.0%)	4 (100.0%)
浦添総合病院	3 (10.7%)	7 (25.0%)	6 (21.4%)	6 (21.4%)	6 (21.4%)	0 (0.0%)	28 (100.0%)
琉球大学医学部附属病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (33.3%)	2 (33.3%)	1 (16.7%)	1 (16.7%)	6 (100.0%)
県立南部医療センター・こども医療センター	0 (0.0%)	3 (60.0%)	2 (40.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (100.0%)
南部病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)
南部徳洲会病院	0 (0.0%)	1 (11.1%)	1 (11.1%)	2 (22.2%)	3 (33.3%)	2 (22.2%)	9 (100.0%)
沖縄協同病院	0 (0.0%)	2 (22.2%)	1 (11.1%)	3 (33.3%)	3 (33.3%)	0 (0.0%)	9 (100.0%)
豊見城中央病院	0 (0.0%)	5 (23.8%)	6 (28.6%)	3 (14.3%)	5 (23.8%)	2 (9.5%)	21 (100.0%)
県立宮古病院	0 (0.0%)	3 (23.1%)	5 (38.5%)	1 (7.7%)	4 (30.8%)	0 (0.0%)	13 (100.0%)
県立八重山病院	0 (0.0%)	1 (7.1%)	4 (28.6%)	3 (21.4%)	6 (42.9%)	0 (0.0%)	14 (100.0%)

こちらの集計対象は以下の条件を満たす登録である
1. 症例区分「20：自施設診断・自施設初回治療開始」「30：他施設診断・自施設初回治療開始」のみ集計
2.「癌腫」
3. 術後ステージの集計においては、上記「1」「2」に加えて「項目：外科的・鏡視下・内視鏡的治療の結果」の区分が原発巣切除例とする。

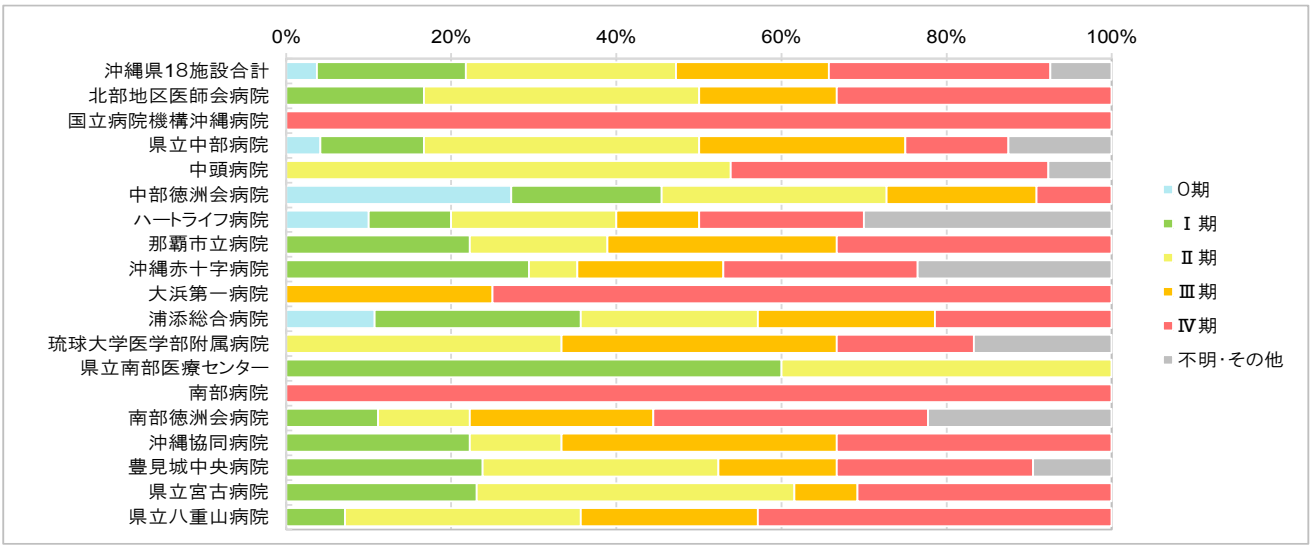
施設別　UICC TNM 分類　治療前ステージ別　登録割合



施設別　UICC TNM 分類　術後ステージ別　登録割合



施設別　UICC TNM 分類　総合ステージ別　登録割合



＊県立南部医療センター・こども医療センターを便宜上、「県立南部医療センター」と表記
こちらの集計対象は以下の条件を満たす登録である
1. 症例区分「20：自施設診断・自施設初回治療開始」「30：他施設診断・自施設初回治療開始」のみ集計
2.「癌腫」
3. 術後ステージの集計においては、上記「1」「2」に加えて「項目：外科的・鏡視下・内視鏡的治療の結果」の区分が原発巣切除例とする。

臨床医からのコメント

沖縄県内の胆嚢・胆管癌の登録施設は 18 施設と昨年とかわらず、登録数は 273 件（2018 年）で、2017 年の登録 239 件、2016 年の 212 件と年々増加しています。昨年の集計より 34 件増加しています。全国的にも胆嚢・胆管癌の発生数は増加傾向となっており、沖縄県も同様な傾向がみられます。2018 年の件数の増加は 70 歳以上に認められ高齢者の増加が特徴です。

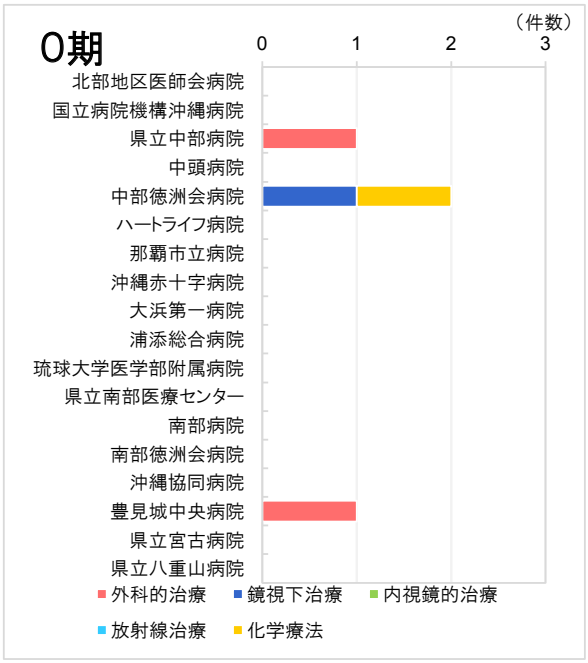
登録数は 273 件ですが、がんの広がりを知るための指標である病期を判断できたのは、2018 年は 200 件で 2017 年の 195 件より 5 件増加しています。また術後で病期を判断できたのは、2018 年は 80 件で 2017 年の 68 件より 12 件増加しています。登録数の増加に伴い手術治療を選択できた事がうかがえます。

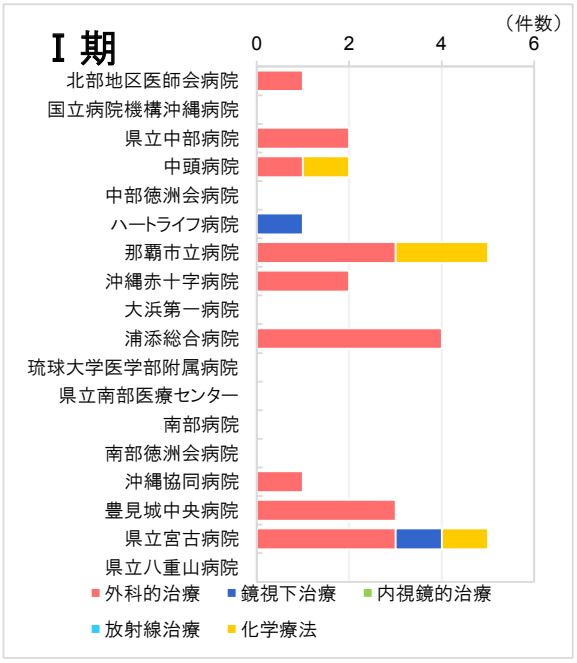
2018 年症例で手術治療や化学療法等の治療が選択されたのは、118 件で登録数の 43.2%でした。病期が判断できた中では 59%に治療が行われていました。

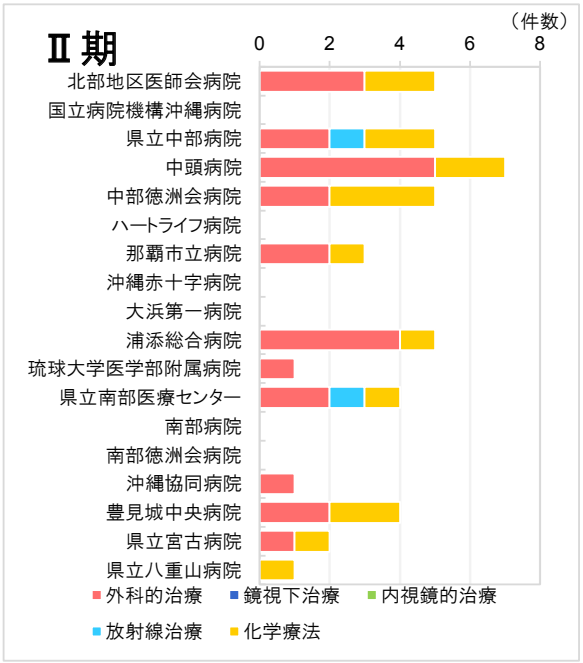
治療が行われていたのは、0 期で 50%、I 期で 66.7%、II 期で 78.2%、III 期で 62.5%、IV 期で 34.5%でした。

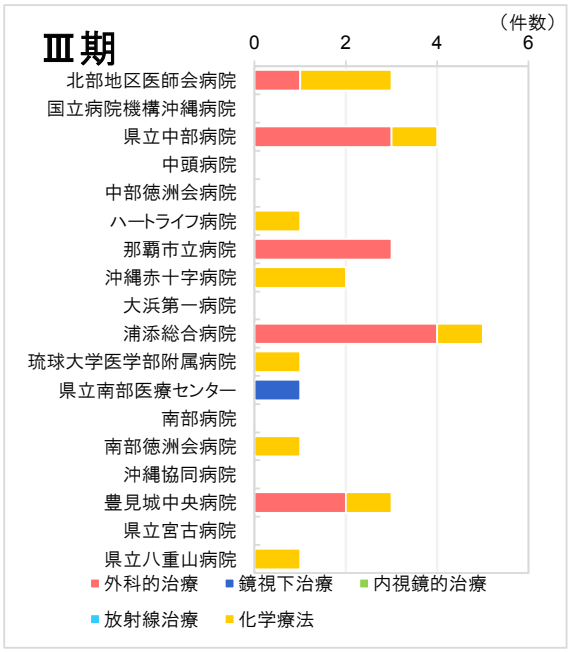
胆嚢癌・胆管癌の登録数のうち 70 歳台が 74 件、80 歳以上は 130 件と、70 歳以上が全体の 74.7%で、（次のページにつづく→）

施設別　UICC TNM 分類　治療前ステージ別　治療の件数－ 0 期～Ⅲ期









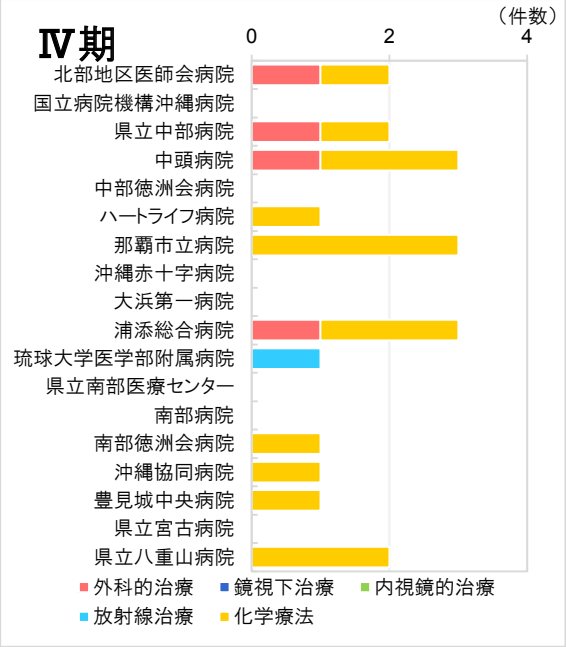
＊件数は延べ件数（手術と化学療法を組み合わせて行った場合は、どちらの項目でもカウントされる）
＊記載のない治療方法については巻末の集計表を参照
＊県立南部医療センター・こども医療センターを便宜上、「県立南部医療センター」と表記
こちらの集計対象は以下の条件を満たす登録である
1. 症例区分「20：自施設診断・自施設初回治療開始」「21：自施設診断・自施設初回治療継続」「30：他施設診断・自施設初回治療開始」「31：他施設診断・自施設初回治療継続」のみ集計
2.「癌腫」

臨床医からのコメント

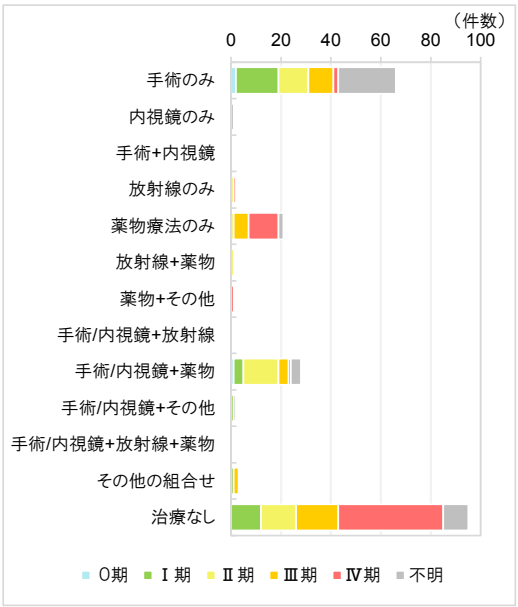
80 歳以上で 47.6%と他部位の癌と比べても高齢者の割合が高い癌です。そのため前述の治療選択が少なくなると考えられます。
　発見経緯では、癌検診・健康診断・人間ドックで発見されるのは 17 例（6.2%）と少なく、他疾患精査時や症状出現時に検査を受けて発見されています。しかし症状がでにくいため IV 期で発見されたのが 26.9%と比較的進行してから発見されることにつながると考えられます。
　胆嚢癌・胆管癌は、手術手技の難易度が高く、胆嚢癌では手術手技の標準化もないため施設毎・担当医毎に治療方針が異なることがあります。他の施設の意見を聞いてみたいと思われたら迷わずセカンドオピニオンを受けてください。
　大切なのは、胆嚢癌・胆管癌は手術以外では根治が期待できない癌腫 1 つのため、できるだけ手術が適用となる早い年齢での早期発見が必要ということです。早期発見のためには、癌検診・健康診断・人間ドック検診受診率を上げることも必要です。症状が出てからでは遅いこともあります。毎年検診を受けるようお勧めします。

友利　寛文（那覇市立病院　外科部長）

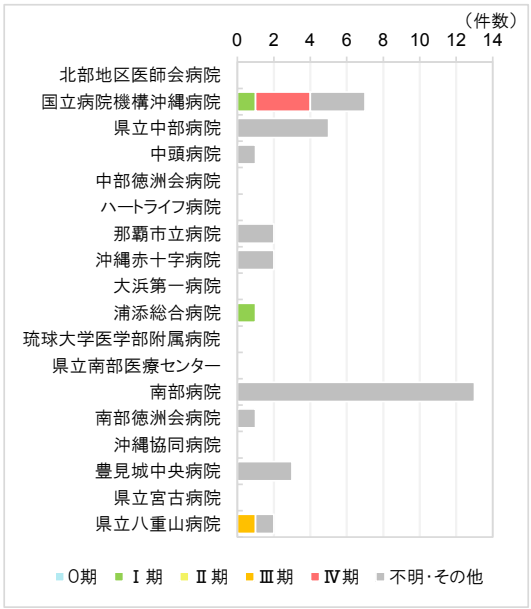
施設別　UICC TNM 分類　治療前ステージ別　治療の件数－Ⅳ期



UICC TNM 分類　治療前ステージ別 初回治療の組み合わせ別 （他施設での治療を含む）登録数



施設別　UICC TNM 分類　治療前ステージ別 初回治療終了後の受け入れ　登録数



＊県立南部医療センター・こども医療センターを便宜上、「県立南部医療センター」と表記
こちらの集計対象は以下の条件を満たす登録である
1. 症例区分「20：自施設診断・自施設初回治療開始」「21：自施設診断・自施設初回治療継続」「30：他施設診断・自施設初回治療開始」「31：他施設診断・自施設初回治療継続」のみ集計（初回治療終了後の受け入れ登録数は、症例区分「40：初回治療終了後」のみ集計）
2.「癌腫」

膵臓（C25）

データを見ると

18 施設の膵臓がん登録数は 347 件（2018 年）で、前年の登録数とほぼ同数でした。

男女別登録割合（2018 年）は、男性 50.4%、女性 49.6%で、年次推移は横ばい傾向でした。年齢階級別登録割合をみると、2017 年、2018 年は 60 歳代にピークを認め、全体の約 8 割を 60 歳代以上が占めていました。

登録数を施設別にみると、件数の多い上位 3 施設は、浦添総合病院 51 件、中頭病院 42 件、豊見城中央病院 29 件でした。

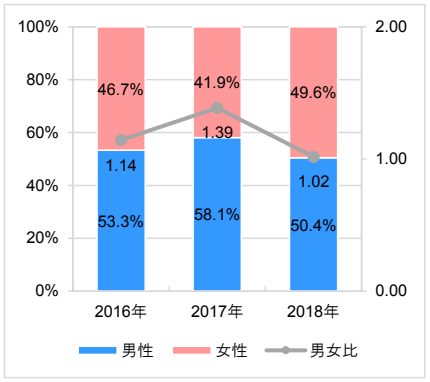
18 施設の治療前ステージ別登録数のⅡ期の割合（17.6%）は、全国の割合（26.6%）と比べて 9%下回っており、Ⅳ期の割合（50.5%）は、全国の割合（44.2%）と比べて、6.3%上回っていました。

施設別　登録数の推移

膵臓	2014年		2015年		2016年		2017年		2018年	
沖縄県18施設合計	267	(100.0%)	301	(100.0%)	315	(100.0%)	358	(100.0%)	347	(100.0%)
北部地区医師会病院	17	(6.4%)	9	(3.0%)	16	(5.1%)	19	(5.3%)	19	(5.5%)
国立病院機構沖縄病院	9	(3.4%)	15	(5.0%)	18	(5.7%)	13	(3.6%)	18	(5.2%)
県立中部病院	22	(8.2%)	21	(7.0%)	26	(8.3%)	20	(5.6%)	20	(5.8%)
中頭病院	33	(12.4%)	35	(11.6%)	25	(7.9%)	37	(10.3%)	42	(12.1%)
中部徳洲会病院	9	(3.4%)	14	(4.7%)	15	(4.8%)	17	(4.7%)	19	(5.5%)
ハートライフ病院	8	(3.0%)	8	(2.7%)	12	(3.8%)	19	(5.3%)	17	(4.9%)
那覇市立病院	17	(6.4%)	20	(6.6%)	17	(5.4%)	31	(8.7%)	14	(4.0%)
沖縄赤十字病院	11	(4.1%)	8	(2.7%)	10	(3.2%)	10	(2.8%)	16	(4.6%)
大浜第一病院	--	--	--	--	11	(3.5%)	9	(2.5%)	11	(3.2%)
浦添総合病院	34	(12.7%)	41	(13.6%)	46	(14.6%)	45	(12.6%)	51	(14.7%)
琉球大学医学部附属病院	19	(7.1%)	24	(8.0%)	33	(10.5%)	31	(8.7%)	19	(5.5%)
県立南部医療センター・こども医療センター	11	(4.1%)	11	(3.7%)	16	(5.1%)	18	(5.0%)	12	(3.5%)
南部病院	16	(6.0%)	18	(6.0%)	13	(4.1%)	16	(4.5%)	15	(4.3%)
南部徳洲会病院	18	(6.7%)	21	(7.0%)	14	(4.4%)	13	(3.6%)	6	(1.7%)
沖縄協同病院	8	(3.0%)	11	(3.7%)	7	(2.2%)	11	(3.1%)	14	(4.0%)
豊見城中央病院	26	(9.7%)	30	(10.0%)	23	(7.3%)	28	(7.8%)	29	(8.4%)
県立宮古病院	2	(0.7%)	10	(3.3%)	2	(0.6%)	11	(3.1%)	16	(4.6%)
県立八重山病院	7	(2.6%)	5	(1.7%)	11	(3.5%)	10	(2.8%)	9	(2.6%)

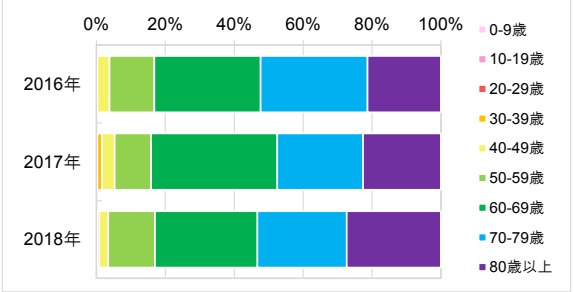
男女別　登録割合の推移

膵臓	2016年		2017年		2018年	
男性	168	(53.3%)	208	(58.1%)	175	(50.4%)
女性	147	(46.7%)	150	(41.9%)	172	(49.6%)
男女比		1.14		1.39		1.02
合計	315	(100.0%)	358	(100.0%)	347	(100.0%)



年齢階級別　登録数と登録割合の推移

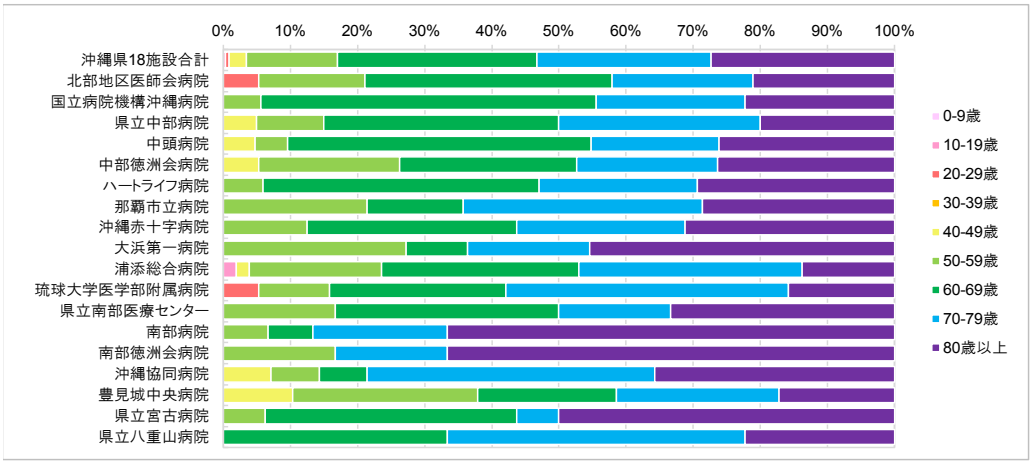
膵臓	2016年		2017年		2018年	
合計	315	(100.0%)	358	(100.0%)	347	(100.0%)
0-9歳	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
10-19歳	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(0.3%)
20-29歳	0	(0.0%)	1	(0.3%)	2	(0.6%)
30-39歳	1	(0.3%)	5	(1.4%)	0	(0.0%)
40-49歳	11	(3.5%)	13	(3.6%)	9	(2.6%)
50-59歳	41	(13.0%)	38	(10.6%)	47	(13.5%)
60-69歳	97	(30.8%)	131	(36.6%)	103	(29.7%)
70-79歳	98	(31.1%)	89	(24.9%)	90	(25.9%)
80歳以上	67	(21.3%)	81	(22.6%)	95	(27.4%)



＊症例区分「80：その他」を除いて集計
＊男女別登録割合の「男女比」は、女性を 1 としたときの男性の比率

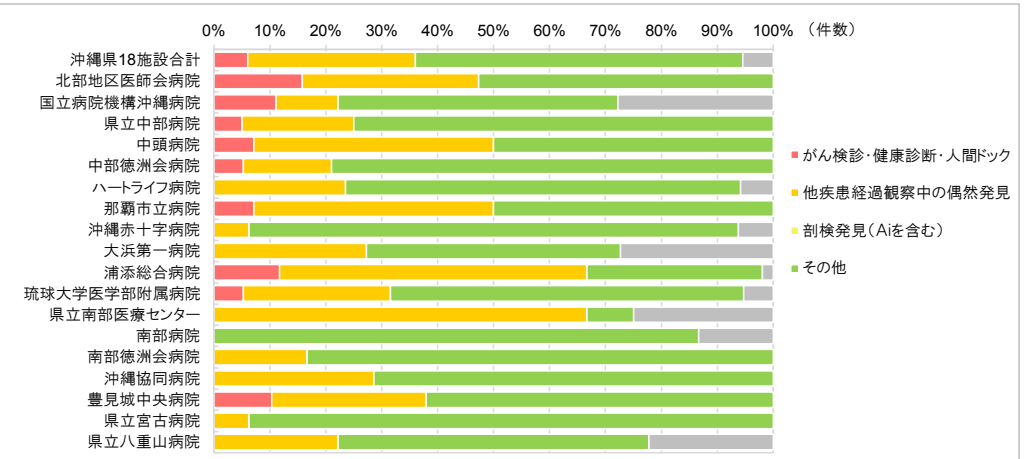
施設別　年齢階級別　登録数と登録割合

膵臓	0-9歳		10-19歳		20-29歳		30-39歳		40-49歳		50-59歳		60-69歳		70-79歳		80歳以上		合計	
沖縄県18施設合計	0	(0.0%)	1	(0.3%)	2	(0.6%)	0	(0.0%)	9	(2.6%)	47	(13.5%)	103	(29.7%)	90	(25.9%)	95	(27.4%)	347	(100.0%)
北部地区医師会病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(5.3%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(15.8%)	7	(36.8%)	4	(21.1%)	4	(21.1%)	19	(100.0%)
国立病院機構沖縄病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(5.6%)	9	(50.0%)	4	(22.2%)	4	(22.2%)	18	(100.0%)
県立中部病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(5.0%)	2	(10.0%)	7	(35.0%)	6	(30.0%)	4	(20.0%)	20	(100.0%)
中頭病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(4.8%)	2	(4.8%)	19	(45.2%)	8	(19.0%)	11	(26.2%)	42	(100.0%)
中部徳洲会病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(5.3%)	4	(21.1%)	5	(26.3%)	4	(21.1%)	5	(26.3%)	19	(100.0%)
ハートライフ病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(5.9%)	7	(41.2%)	4	(23.5%)	5	(29.4%)	17	(100.0%)
那覇市立病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(21.4%)	2	(14.3%)	5	(35.7%)	4	(28.6%)	14	(100.0%)
沖縄赤十字病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(12.5%)	5	(31.3%)	4	(25.0%)	5	(31.3%)	16	(100.0%)
大浜第一病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(27.3%)	1	(9.1%)	2	(18.2%)	5	(45.5%)	11	(100.0%)
浦添総合病院	0	(0.0%)	1	(2.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(2.0%)	10	(19.6%)	15	(29.4%)	17	(33.3%)	7	(13.7%)	51	(100.0%)
琉球大学医学部附属病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(5.3%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(10.5%)	5	(26.3%)	8	(42.1%)	3	(15.8%)	19	(100.0%)
県立南部医療センター・こども医療センター	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(16.7%)	4	(33.3%)	2	(16.7%)	4	(33.3%)	12	(100.0%)
南部病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(6.7%)	1	(6.7%)	3	(20.0%)	10	(66.7%)	15	(100.0%)
南部徳洲会病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(16.7%)	0	(0.0%)	1	(16.7%)	4	(66.7%)	6	(100.0%)
沖縄協同病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(7.1%)	1	(7.1%)	1	(7.1%)	6	(42.9%)	5	(35.7%)	14	(100.0%)
豊見城中央病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(10.3%)	8	(27.6%)	6	(20.7%)	7	(24.1%)	5	(17.2%)	29	(100.0%)
県立宮古病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(6.3%)	6	(37.5%)	1	(6.3%)	8	(50.0%)	16	(100.0%)
県立八重山病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(33.3%)	4	(44.4%)	2	(22.2%)	9	(100.0%)



施設別　発見経緯別　登録数と登録割合

膵臓	がん検診・健康診断・人間ドック		他疾患経過観察中の偶然発見		剖検発見（Aiを含む）		その他		不明		合計	
沖縄県18施設合計	21	(6.1%)	104	(30.0%)	0	(0.0%)	203	(58.5%)	19	(5.5%)	347	(100.0%)
北部地区医師会病院	3	(15.8%)	6	(31.6%)	0	(0.0%)	10	(52.6%)	0	(0.0%)	19	(100.0%)
国立病院機構沖縄病院	2	(11.1%)	2	(11.1%)	0	(0.0%)	9	(50.0%)	5	(27.8%)	18	(100.0%)
県立中部病院	1	(5.0%)	4	(20.0%)	0	(0.0%)	15	(75.0%)	0	(0.0%)	20	(100.0%)
中頭病院	3	(7.1%)	18	(42.9%)	0	(0.0%)	21	(50.0%)	0	(0.0%)	42	(100.0%)
中部徳洲会病院	1	(5.3%)	3	(15.8%)	0	(0.0%)	15	(78.9%)	0	(0.0%)	19	(100.0%)
ハートライフ病院	0	(0.0%)	4	(23.5%)	0	(0.0%)	12	(70.6%)	1	(5.9%)	17	(100.0%)
那覇市立病院	1	(7.1%)	6	(42.9%)	0	(0.0%)	7	(50.0%)	0	(0.0%)	14	(100.0%)
沖縄赤十字病院	0	(0.0%)	1	(6.3%)	0	(0.0%)	14	(87.5%)	1	(6.3%)	16	(100.0%)
大浜第一病院	0	(0.0%)	3	(27.3%)	0	(0.0%)	5	(45.5%)	3	(27.3%)	11	(100.0%)
浦添総合病院	6	(11.8%)	28	(54.9%)	0	(0.0%)	16	(31.4%)	1	(2.0%)	51	(100.0%)
琉球大学医学部附属病院	1	(5.3%)	5	(26.3%)	0	(0.0%)	12	(63.2%)	1	(5.3%)	19	(100.0%)
県立南部医療センター・こども医療センター	0	(0.0%)	8	(66.7%)	0	(0.0%)	1	(8.3%)	3	(25.0%)	12	(100.0%)
南部病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	13	(86.7%)	2	(13.3%)	15	(100.0%)
南部徳洲会病院	0	(0.0%)	1	(16.7%)	0	(0.0%)	5	(83.3%)	0	(0.0%)	6	(100.0%)
沖縄協同病院	0	(0.0%)	4	(28.6%)	0	(0.0%)	10	(71.4%)	0	(0.0%)	14	(100.0%)
豊見城中央病院	3	(10.3%)	8	(27.6%)	0	(0.0%)	18	(62.1%)	0	(0.0%)	29	(100.0%)
県立宮古病院	0	(0.0%)	1	(6.3%)	0	(0.0%)	15	(93.8%)	0	(0.0%)	16	(100.0%)
県立八重山病院	0	(0.0%)	2	(22.2%)	0	(0.0%)	5	(55.6%)	2	(22.2%)	9	(100.0%)



＊症例区分「８０：その他」を除いて集計
＊県立南部医療センター・こども医療センターを便宜上、「県立南部医療センター」と表記

施設別　UICC TNM 分類　治療前ステージ別　登録数

膵臓	0期		Ⅰ期		Ⅱ期		Ⅲ期		Ⅳ期		不明・その他		合計	
全国(2017年症例)	317	(1.1%)	3,469	(12.6%)	7,329	(26.6%)	3,020	(10.9%)	12,186	(44.2%)	1,264	(4.6%)	27,585	(100.0%)
沖縄県18施設合計	2	(0.7%)	41	(15.0%)	48	(17.6%)	37	(13.6%)	138	(50.5%)	7	(2.6%)	273	(100.0%)
北部地区医師会病院	0	(0.0%)	4	(21.1%)	6	(31.6%)	3	(15.8%)	6	(31.6%)	0	(0.0%)	19	(100.0%)
国立病院機構沖縄病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(25.0%)	0	(0.0%)	3	(75.0%)	0	(0.0%)	4	(100.0%)
県立中部病院	0	(0.0%)	3	(16.7%)	2	(11.1%)	3	(16.7%)	10	(55.6%)	0	(0.0%)	18	(100.0%)
中頭病院	0	(0.0%)	6	(15.8%)	5	(13.2%)	7	(18.4%)	19	(50.0%)	1	(2.6%)	38	(100.0%)
中部徳洲会病院	0	(0.0%)	1	(5.9%)	4	(23.5%)	2	(11.8%)	10	(58.8%)	0	(0.0%)	17	(100.0%)
ハートライフ病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(14.3%)	2	(14.3%)	9	(64.3%)	1	(7.1%)	14	(100.0%)
那覇市立病院	0	(0.0%)	3	(23.1%)	2	(15.4%)	1	(7.7%)	7	(53.8%)	0	(0.0%)	13	(100.0%)
沖縄赤十字病院	0	(0.0%)	1	(9.1%)	3	(27.3%)	1	(9.1%)	5	(45.5%)	1	(9.1%)	11	(100.0%)
大浜第一病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(11.1%)	8	(88.9%)	0	(0.0%)	9	(100.0%)
浦添総合病院	2	(4.3%)	11	(23.9%)	10	(21.7%)	6	(13.0%)	16	(34.8%)	1	(2.2%)	46	(100.0%)
琉球大学医学部附属病院	0	(0.0%)	1	(6.3%)	3	(18.8%)	5	(31.3%)	7	(43.8%)	0	(0.0%)	16	(100.0%)
県立南部医療センター・こども医療センター	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(14.3%)	5	(71.4%)	1	(14.3%)	7	(100.0%)
南部病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(100.0%)	0	(0.0%)	2	(100.0%)
南部徳洲会病院	0	(0.0%)	2	(33.3%)	1	(16.7%)	0	(0.0%)	2	(33.3%)	1	(16.7%)	6	(100.0%)
沖縄協同病院	0	(0.0%)	4	(33.3%)	2	(16.7%)	2	(16.7%)	3	(25.0%)	1	(8.3%)	12	(100.0%)
豊見城中央病院	0	(0.0%)	4	(17.4%)	4	(17.4%)	3	(13.0%)	12	(52.2%)	0	(0.0%)	23	(100.0%)
県立宮古病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(23.1%)	0	(0.0%)	10	(76.9%)	0	(0.0%)	13	(100.0%)
県立八重山病院	0	(0.0%)	1	(20.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	4	(80.0%)	0	(0.0%)	5	(100.0%)

施設別　UICC TNM 分類　術後ステージ別　登録数

膵臓	0期		Ⅰ期		Ⅱ期		Ⅲ期		Ⅳ期		術前治療後		不明・その他		合計	
全国(2017年症例)	631	(7.4%)	1,403	(16.4%)	4,901	(57.2%)	116	(1.4%)	543	(6.3%)	916	(10.7%)	59	(0.7%)	8,569	(100.0%)
沖縄県18施設合計	5	(8.3%)	19	(31.7%)	19	(31.7%)	14	(23.3%)	0	(0.0%)	3	(5.0%)	0	(0.0%)	60	(100.0%)
北部地区医師会病院	0	(0.0%)	3	(33.3%)	0	(0.0%)	6	(66.7%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	9	(100.0%)
国立病院機構沖縄病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
県立中部病院	0	(0.0%)	1	(50.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(50.0%)	0	(0.0%)	2	(100.0%)
中頭病院	1	(14.3%)	2	(28.6%)	2	(28.6%)	2	(28.6%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	7	(100.0%)
中部徳洲会病院	0	(0.0%)	1	(33.3%)	2	(66.7%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(100.0%)
ハートライフ病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(50.0%)	1	(50.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(100.0%)
那覇市立病院	0	(0.0%)	2	(66.7%)	1	(33.3%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(100.0%)
沖縄赤十字病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(100.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(100.0%)
大浜第一病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
浦添総合病院	3	(15.8%)	5	(26.3%)	7	(36.8%)	3	(15.8%)	0	(0.0%)	1	(5.3%)	0	(0.0%)	19	(100.0%)
琉球大学医学部附属病院	0	(0.0%)	1	(100.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(100.0%)
県立南部医療センター・こども医療センター	0	(0.0%)	1	(100.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(100.0%)
南部病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
南部徳洲会病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
沖縄協同病院	1	(25.0%)	0	(0.0%)	2	(50.0%)	1	(25.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	4	(100.0%)
豊見城中央病院	0	(0.0%)	3	(42.9%)	2	(28.6%)	1	(14.3%)	0	(0.0%)	1	(14.3%)	0	(0.0%)	7	(100.0%)
県立宮古病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
県立八重山病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)

施設別　UICC TNM 分類　総合ステージ別　登録数

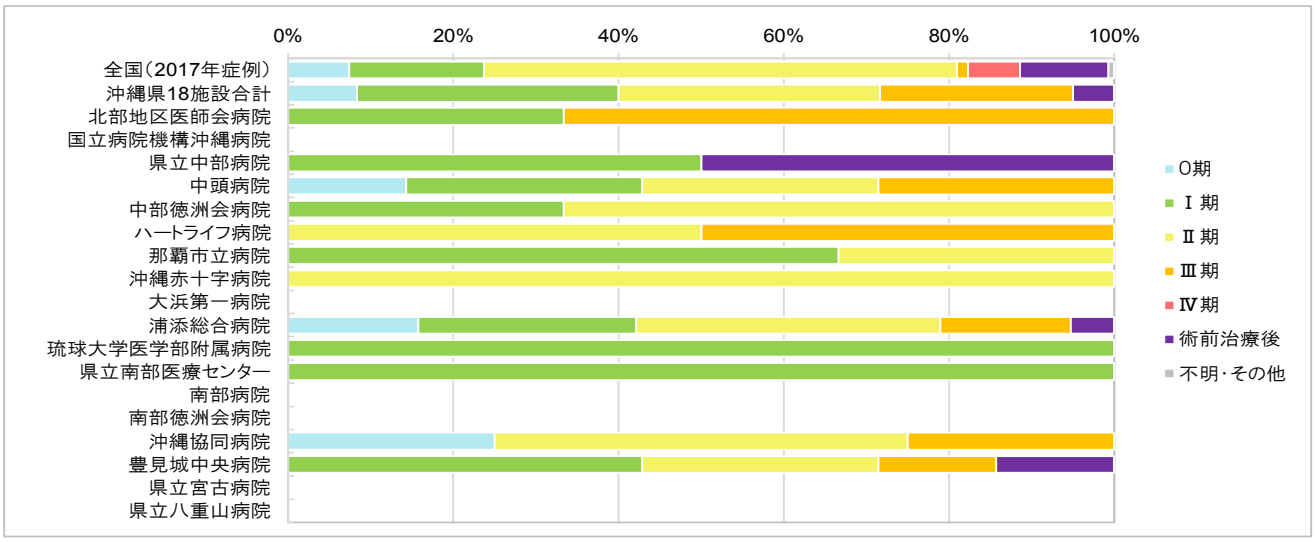
膵臓	0期		Ⅰ期		Ⅱ期		Ⅲ期		Ⅳ期		不明・空白		合計	
沖縄県18施設合計	5	(1.8%)	33	(12.1%)	45	(16.5%)	47	(17.2%)	140	(51.3%)	3	(1.1%)	273	(100.0%)
北部地区医師会病院	0	(0.0%)	4	(21.1%)	1	(5.3%)	8	(42.1%)	6	(31.6%)	0	(0.0%)	19	(100.0%)
国立病院機構沖縄病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(25.0%)	0	(0.0%)	3	(75.0%)	0	(0.0%)	4	(100.0%)
県立中部病院	0	(0.0%)	2	(11.1%)	2	(11.1%)	3	(16.7%)	11	(61.1%)	0	(0.0%)	18	(100.0%)
中頭病院	1	(2.6%)	5	(13.2%)	3	(7.9%)	9	(23.7%)	19	(50.0%)	1	(2.6%)	38	(100.0%)
中部徳洲会病院	0	(0.0%)	1	(5.9%)	4	(23.5%)	2	(11.8%)	10	(58.8%)	0	(0.0%)	17	(100.0%)
ハートライフ病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(14.3%)	3	(21.4%)	9	(64.3%)	0	(0.0%)	14	(100.0%)
那覇市立病院	0	(0.0%)	3	(23.1%)	2	(15.4%)	1	(7.7%)	7	(53.8%)	0	(0.0%)	13	(100.0%)
沖縄赤十字病院	0	(0.0%)	1	(9.1%)	4	(36.4%)	1	(9.1%)	5	(45.5%)	0	(0.0%)	11	(100.0%)
大浜第一病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(11.1%)	8	(88.9%)	0	(0.0%)	9	(100.0%)
浦添総合病院	3	(6.5%)	7	(15.2%)	12	(26.1%)	8	(17.4%)	16	(34.8%)	0	(0.0%)	46	(100.0%)
琉球大学医学部附属病院	0	(0.0%)	2	(12.5%)	3	(18.8%)	4	(25.0%)	7	(43.8%)	0	(0.0%)	16	(100.0%)
県立南部医療センター・こども医療センター	0	(0.0%)	1	(14.3%)	0	(0.0%)	1	(14.3%)	5	(71.4%)	0	(0.0%)	7	(100.0%)
南部病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(100.0%)	0	(0.0%)	2	(100.0%)
南部徳洲会病院	0	(0.0%)	2	(33.3%)	1	(16.7%)	0	(0.0%)	2	(33.3%)	1	(16.7%)	6	(100.0%)
沖縄協同病院	1	(8.3%)	1	(8.3%)	3	(25.0%)	3	(25.0%)	3	(25.0%)	1	(8.3%)	12	(100.0%)
豊見城中央病院	0	(0.0%)	3	(13.0%)	4	(17.4%)	3	(13.0%)	13	(56.5%)	0	(0.0%)	23	(100.0%)
県立宮古病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(23.1%)	0	(0.0%)	10	(76.9%)	0	(0.0%)	13	(100.0%)
県立八重山病院	0	(0.0%)	1	(20.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	4	(80.0%)	0	(0.0%)	5	(100.0%)

こちらの集計対象は以下の条件を満たす登録である
1. 症例区分「20：自施設診断・自施設初回治療開始」「30：他施設診断・自施設初回治療開始」のみ集計
2.「癌腫」
3. 術後ステージの集計においては、上記「1」「2」に加えて「項目：外科的・鏡視下・内視鏡的治療の結果」の区分が原発巣切除例とする。

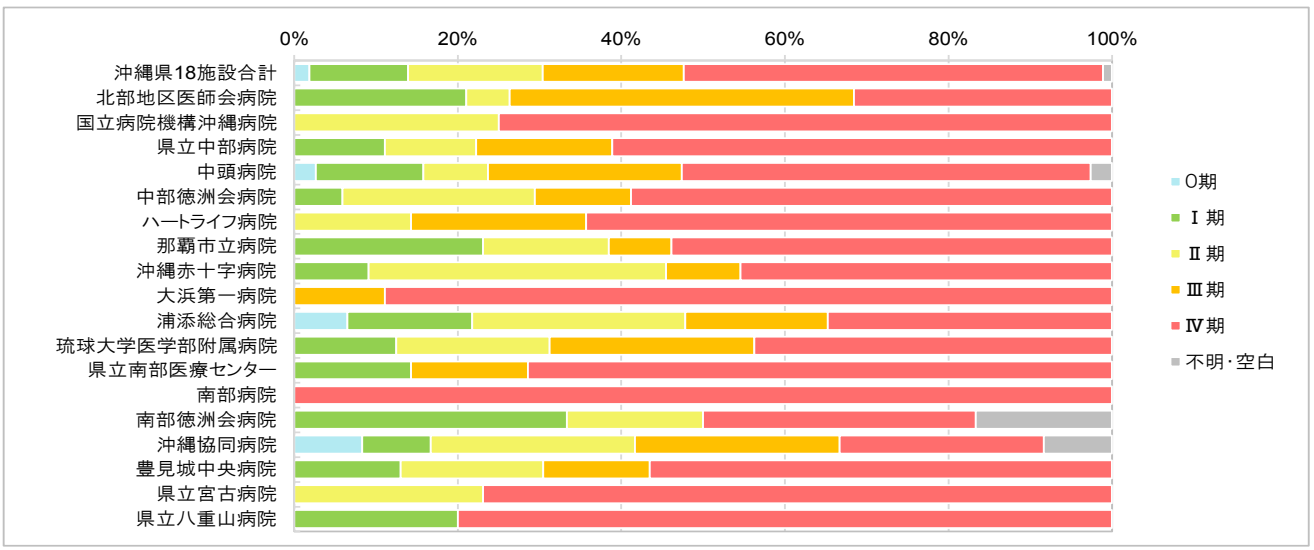
施設別　UICC TNM 分類　治療前ステージ別　登録割合



施設別　UICC TNM 分類　術後ステージ別　登録割合



施設別　UICC TNM 分類　総合ステージ別　登録割合



＊県立南部医療センター・こども医療センターを便宜上、「県立南部医療センター」と表記
こちらの集計対象は以下の条件を満たす登録である
1. 症例区分「20：自施設診断・自施設初回治療開始」「30：他施設診断・自施設初回治療開始」のみ集計
2.「癌腫」
3. 術後ステージの集計においては、上記「1」「2」に加えて「項目：外科的・鏡視下・内視鏡的治療の結果」の区分が原発巣切除例とする。

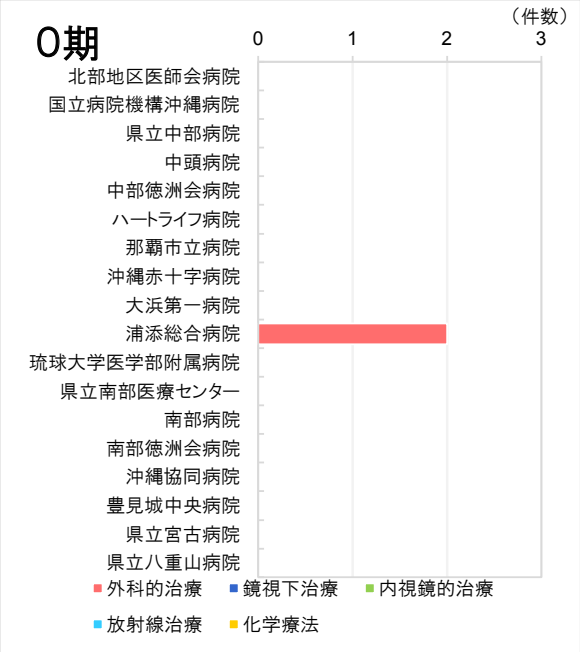
臨床医からのコメント

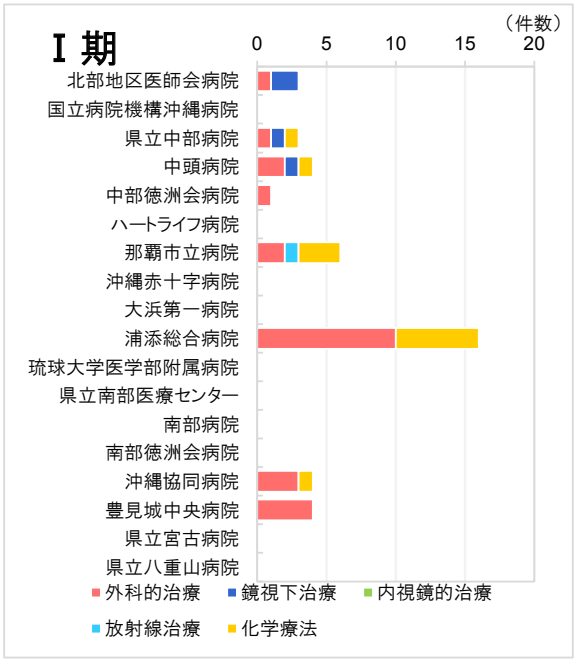
2017 年の全国統計では膵臓がんは、部位別死亡数で肺、大腸、胃に次いで 4 番目となっています。難治性がんの代表であり、罹患者数（膵臓がんになる人）と、膵臓がんで死亡する数があまり変わらず、5 年生存率は 9 %ほどです。治療成績が悪い最大の要因は、早期発見が難しく、診断時すでに転移を伴って進行している状態が多いことが挙げられます。唯一の根治治療である切除術ができるのは膵がん全体の 30-40%ほどしかありません。また手術そのものの難易度が高く侵襲も大きいため体力的に手術が難しい場合もあります。

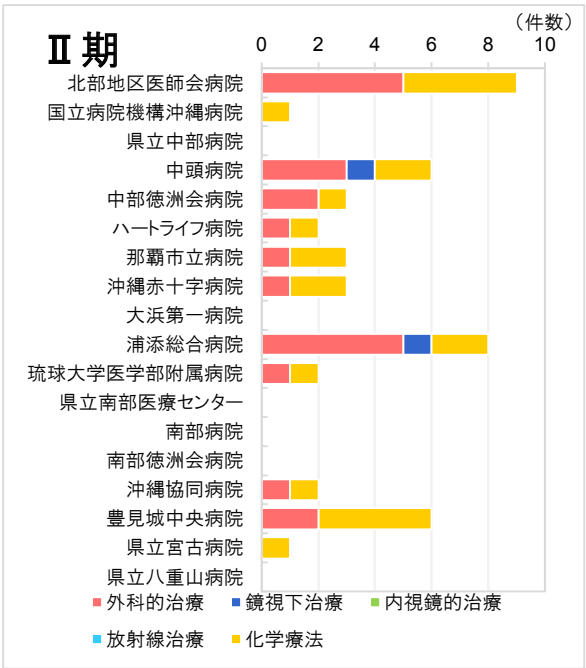
2018 年の沖縄県のデータを見ると、診断時ステージⅣの患者が約 50.5%いる一方で早期とされるステージ 0、Ⅰの患者は 15.7%ほどです。検診で発見された割は 6.1%しかありませんが、膵臓がんは血液検査やレントゲン検査では発見が困難で、ほとんどはエコーや CT 検査が必要になります。結果的に外科的治療が行われたのは全体の 22%ほどしかありません。

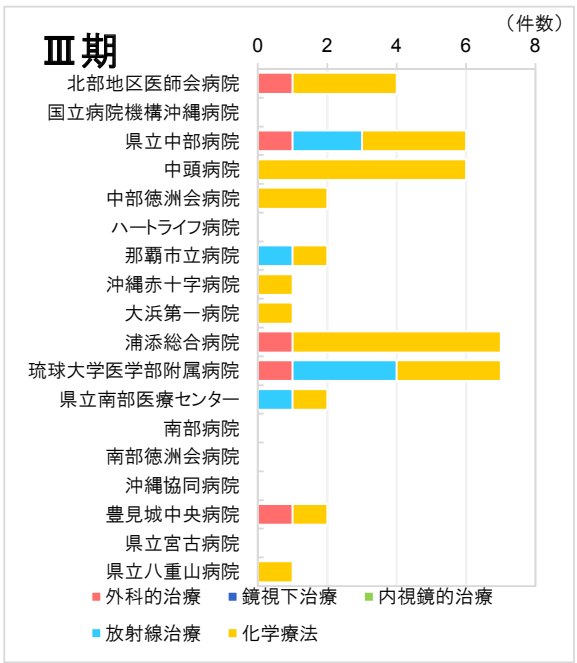
膵臓がんに有効な化学療法はあまりありませんでしたが、近年 TS-1 や FORFIRINOX、（次のページにつづく→）

施設別　UICC TNM 分類　治療前ステージ別　治療の件数－ 0 期～Ⅲ期









＊件数は延べ件数（手術と化学療法を組み合わせて行った場合は、どちらの項目でもカウントされる）
＊記載のない治療方法については巻末の集計表を参照
＊県立南部医療センター・こども医療センターを便宜上、「県立南部医療センター」と表記
こちらの集計対象は以下の条件を満たす登録である
1. 症例区分「20：自施設診断・自施設初回治療開始」「21：自施設診断・自施設初回治療継続」「30：他施設診断・自施設初回治療開始」「31：他施設診断・自施設初回治療継続」のみ集計
2.「癌腫」

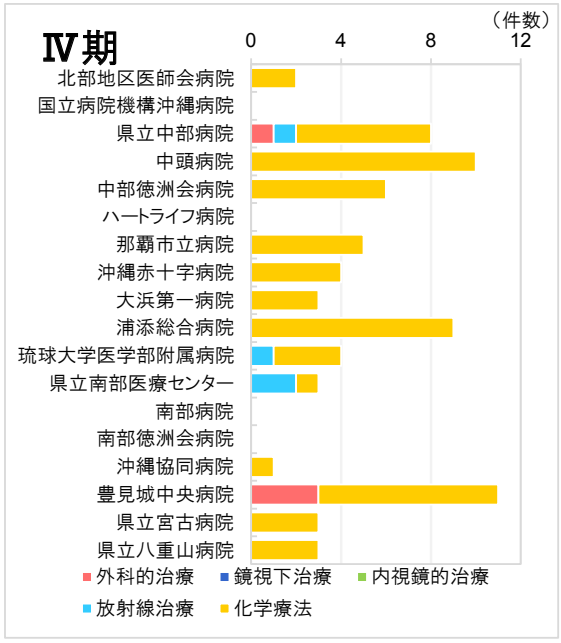
臨床医からのコメント

nabPTX+GEM 療法など効果が認められる治療法が開発されています。これらと手術治療あるいは放射線治療を組み合わせることで、以前より切除率や長期成績が向上しています。特に最近は術前治療を行ってから切除を行う方法が、予後向上に寄与するのではと期待されています。一方で膵臓がんの診断を受けても「治療なし」の患者も40%ほどいることから、治療ができなくなった場合、積極的に緩和ケアを導入して生活の質が保てるようにサポートすることも重要です。

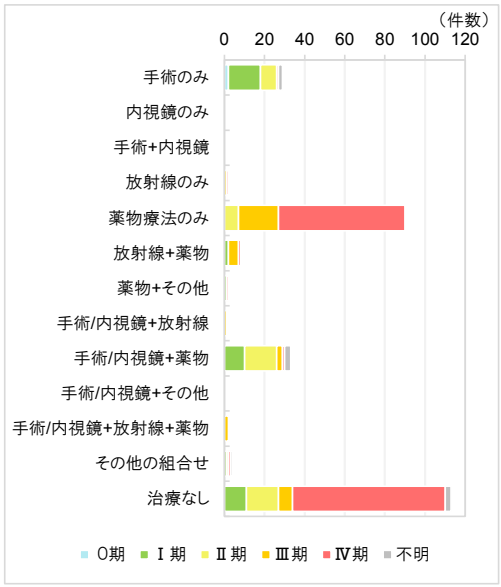
膵がんの治療には上記のような集学的治療が必要ですが、症例数の多い専門施設と連携して成績が悪いなりにも患者に満足してもらえる医療を提供できるよう心掛けることが肝要と思われます。

大田　守仁（豊見城中央病院　外科部長）

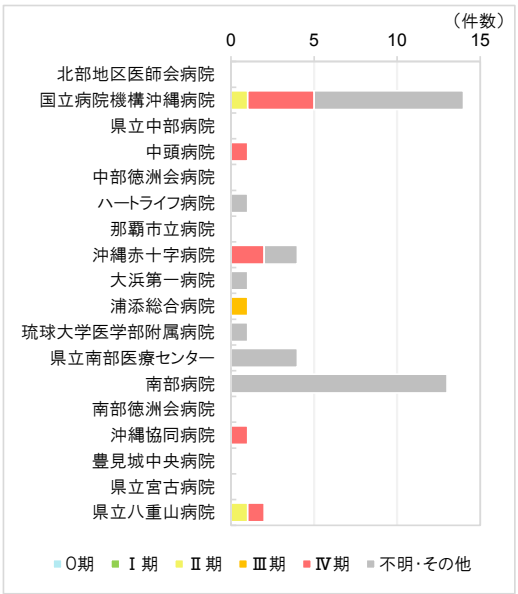
施設別　UICC TNM 分類　治療前ステージ別　治療の件数－Ⅳ期



UICC TNM 分類　治療前ステージ別 初回治療の組み合わせ別（他施設での治療を含む）登録数



施設別　UICC TNM 分類　治療前ステージ別 初回治療終了後の受け入れ　登録数



＊県立南部医療センター・こども医療センターを便宜上、「県立南部医療センター」と表記
こちらの集計対象は以下の条件を満たす登録である
1. 症例区分「20：自施設診断・自施設初回治療開始」「21：自施設診断・自施設初回治療継続」「30：他施設診断・自施設初回治療開始」「31：他施設診断・自施設初回治療継続」のみ集計（初回治療終了後の受け入れ登録数は、症例区分「40：初回治療終了後」のみ集計）
2.「癌腫」

肺（C33-C34）

データを見ると

18 施設の肺がん登録数は 1,126 件（2018 年）で、前年の登録数より 4%の増加を認めました。

男女別登録割合（2018 年）は、男性 71.4%、女性 28.6%で、男性は女性の 2.5 倍で、年次推移は横ばい傾向でした。年齢階級別登録割合（2018 年）をみると、８０歳以上にピークを認め、全体の約 9 割を 60 歳代以上が占めていました。

登録数を施設別にみると、件数の多い上位 3 施設は、中頭病院 132 件、国立病院機構沖縄病院 122 件、浦添総合病院 103 件でした。

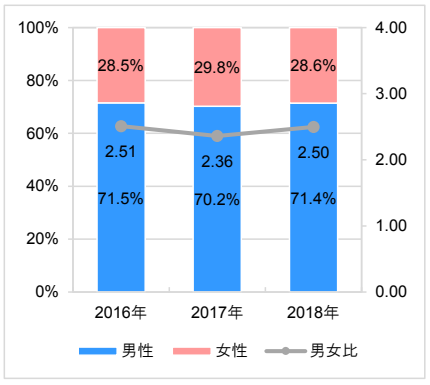
18 施設の治療前ステージ別登録数のⅠ期の割合（32.3%）は、全国の割合（41.2%）と比べて、8.9%下回っており、Ⅳ期の割合（38.7%）は、全国の割合（32.6%）と比べて、6.1%上回っていました。

施設別　登録数の推移

肺	2014年		2015年		2016年		2017年		2018年	
沖縄県18施設合計	943	(100.0%)	1,080	(100.0%)	1,067	(100.0%)	1,082	(100.0%)	1,126	(100.0%)
北部地区医師会病院	43	(4.6%)	40	(3.7%)	28	(2.6%)	44	(4.1%)	49	(4.4%)
国立病院機構沖縄病院	169	(17.9%)	182	(16.9%)	193	(18.1%)	143	(13.2%)	122	(10.8%)
県立中部病院	76	(8.1%)	108	(10.0%)	93	(8.7%)	101	(9.3%)	91	(8.1%)
中頭病院	101	(10.7%)	124	(11.5%)	98	(9.2%)	123	(11.4%)	132	(11.7%)
中部徳洲会病院	55	(5.8%)	45	(4.2%)	52	(4.9%)	64	(5.9%)	58	(5.2%)
ハートライフ病院	23	(2.4%)	26	(2.4%)	37	(3.5%)	34	(3.1%)	33	(2.9%)
那覇市立病院	60	(6.4%)	63	(5.8%)	75	(7.0%)	73	(6.7%)	71	(6.3%)
沖縄赤十字病院	45	(4.8%)	40	(3.7%)	42	(3.9%)	57	(5.3%)	52	(4.6%)
大浜第一病院	--	--	--	--	16	(1.5%)	25	(2.3%)	16	(1.4%)
浦添総合病院	49	(5.2%)	64	(5.9%)	68	(6.4%)	74	(6.8%)	103	(9.1%)
琉球大学医学部附属病院	75	(8.0%)	99	(9.2%)	117	(11.0%)	63	(5.8%)	94	(8.3%)
県立南部医療センター・こども医療センター	55	(5.8%)	54	(5.0%)	43	(4.0%)	45	(4.2%)	54	(4.8%)
南部病院	32	(3.4%)	31	(2.9%)	26	(2.4%)	33	(3.0%)	34	(3.0%)
南部徳洲会病院	39	(4.1%)	53	(4.9%)	49	(4.6%)	71	(6.6%)	67	(6.0%)
沖縄協同病院	20	(2.1%)	24	(2.2%)	22	(2.1%)	31	(2.9%)	31	(2.8%)
豊見城中央病院	55	(5.8%)	57	(5.3%)	63	(5.9%)	56	(5.2%)	65	(5.8%)
県立宮古病院	24	(2.5%)	31	(2.9%)	12	(1.1%)	20	(1.8%)	30	(2.7%)
県立八重山病院	22	(2.3%)	39	(3.6%)	33	(3.1%)	25	(2.3%)	24	(2.1%)

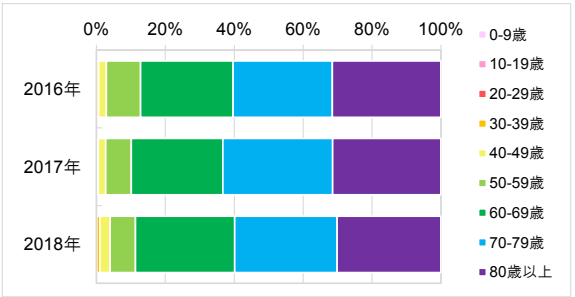
男女別　登録割合の推移

肺	2016年		2017年		2018年	
男性	763	(71.5%)	760	(70.2%)	804	(71.4%)
女性	304	(28.5%)	322	(29.8%)	322	(28.6%)
男女比		2.51		2.36		2.50
合計	1,067	(100.0%)	1,082	(100.0%)	1,126	(100.0%)



年齢階級別　登録数と登録割合の推移

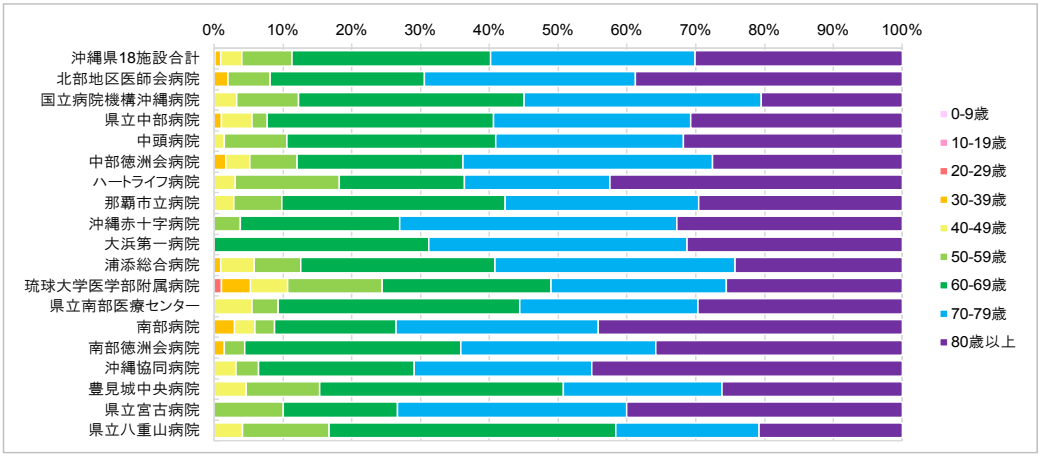
肺	2016年		2017年		2018年	
合計	1,067	(100.0%)	1,082	(100.0%)	1,126	(100.0%)
0-9歳	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
10-19歳	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
20-29歳	1	(0.1%)	1	(0.1%)	1	(0.1%)
30-39歳	6	(0.6%)	5	(0.5%)	10	(0.9%)
40-49歳	24	(2.2%)	23	(2.1%)	34	(3.0%)
50-59歳	106	(9.9%)	81	(7.5%)	83	(7.4%)
60-69歳	286	(26.8%)	287	(26.5%)	324	(28.8%)
70-79歳	308	(28.9%)	345	(31.9%)	335	(29.8%)
80歳以上	336	(31.5%)	340	(31.4%)	339	(30.1%)



＊症例区分「８０：その他」を除いて集計
＊男女別登録割合の「男女比」は、女性を１としたときの男性の比率

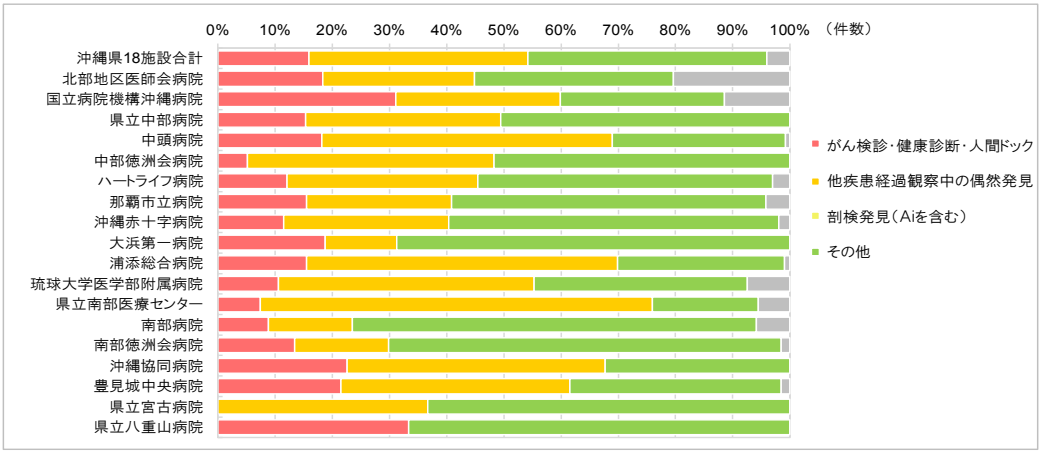
施設別　年齢階級別　登録数と登録割合

肺	0-9歳		10-19歳		20-29歳		30-39歳		40-49歳		50-59歳		60-69歳		70-79歳		80歳以上		合計	
沖縄県18施設合計	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(0.1%)	10	(0.9%)	34	(3.0%)	83	(7.4%)	324	(28.8%)	335	(29.8%)	339	(30.1%)	1,126	(100.0%)
北部地区医師会病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(2.0%)	0	(0.0%)	3	(6.1%)	11	(22.4%)	15	(30.6%)	19	(38.8%)	49	(100.0%)
国立病院機構沖縄病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	4	(3.3%)	11	(9.0%)	40	(32.8%)	42	(34.4%)	25	(20.5%)	122	(100.0%)
県立中部病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(1.1%)	4	(4.4%)	2	(2.2%)	30	(33.0%)	26	(28.6%)	28	(30.8%)	91	(100.0%)
中頭病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(1.5%)	12	(9.1%)	40	(30.3%)	36	(27.3%)	42	(31.8%)	132	(100.0%)
中部徳洲会病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(1.7%)	2	(3.4%)	4	(6.9%)	14	(24.1%)	21	(36.2%)	16	(27.6%)	58	(100.0%)
ハートライフ病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(3.0%)	5	(15.2%)	6	(18.2%)	7	(21.2%)	14	(42.4%)	33	(100.0%)
那覇市立病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(2.8%)	5	(7.0%)	23	(32.4%)	20	(28.2%)	21	(29.6%)	71	(100.0%)
沖縄赤十字病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(3.8%)	12	(23.1%)	21	(40.4%)	17	(32.7%)	52	(100.0%)
大浜第一病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	5	(31.3%)	6	(37.5%)	5	(31.3%)	16	(100.0%)
浦添総合病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(1.0%)	5	(4.9%)	7	(6.8%)	29	(28.2%)	36	(35.0%)	25	(24.3%)	103	(100.0%)
琉球大学医学部附属病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(1.1%)	4	(4.3%)	5	(5.3%)	13	(13.8%)	23	(24.5%)	24	(25.5%)	24	(25.5%)	94	(100.0%)
県立南部医療センター・こども医療センター	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(5.6%)	2	(3.7%)	19	(35.2%)	14	(25.9%)	16	(29.6%)	54	(100.0%)
南部病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(2.9%)	1	(2.9%)	1	(2.9%)	6	(17.6%)	10	(29.4%)	15	(44.1%)	34	(100.0%)
南部徳洲会病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(1.5%)	0	(0.0%)	2	(3.0%)	21	(31.3%)	19	(28.4%)	24	(35.8%)	67	(100.0%)
沖縄協同病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(3.2%)	1	(3.2%)	7	(22.6%)	8	(25.8%)	14	(45.2%)	31	(100.0%)
豊見城中央病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(4.6%)	7	(10.8%)	23	(35.4%)	15	(23.1%)	17	(26.2%)	65	(100.0%)
県立宮古病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(10.0%)	5	(16.7%)	10	(33.3%)	12	(40.0%)	30	(100.0%)
県立八重山病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(4.2%)	3	(12.5%)	10	(41.7%)	5	(20.8%)	5	(20.8%)	24	(100.0%)



施設別　発見経緯別　登録数と登録割合

肺	がん検診・健康診断・人間ドック		他疾患経過観察中の偶然発見		剖検発見（Aiを含む）		その他		不明		合計	
沖縄県18施設合計	179	(15.9%)	431	(38.3%)	0	(0.0%)	471	(41.8%)	45	(4.0%)	1,126	(100.0%)
北部地区医師会病院	9	(18.4%)	13	(26.5%)	0	(0.0%)	17	(34.7%)	10	(20.4%)	49	(100.0%)
国立病院機構沖縄病院	38	(31.1%)	35	(28.7%)	0	(0.0%)	35	(28.7%)	14	(11.5%)	122	(100.0%)
県立中部病院	14	(15.4%)	31	(34.1%)	0	(0.0%)	46	(50.5%)	0	(0.0%)	91	(100.0%)
中頭病院	24	(18.2%)	67	(50.8%)	0	(0.0%)	40	(30.3%)	1	(0.8%)	132	(100.0%)
中部徳洲会病院	3	(5.2%)	25	(43.1%)	0	(0.0%)	30	(51.7%)	0	(0.0%)	58	(100.0%)
ハートライフ病院	4	(12.1%)	11	(33.3%)	0	(0.0%)	17	(51.5%)	1	(3.0%)	33	(100.0%)
那覇市立病院	11	(15.5%)	18	(25.4%)	0	(0.0%)	39	(54.9%)	3	(4.2%)	71	(100.0%)
沖縄赤十字病院	6	(11.5%)	15	(28.8%)	0	(0.0%)	30	(57.7%)	1	(1.9%)	52	(100.0%)
大浜第一病院	3	(18.8%)	2	(12.5%)	0	(0.0%)	11	(68.8%)	0	(0.0%)	16	(100.0%)
浦添総合病院	16	(15.5%)	56	(54.4%)	0	(0.0%)	30	(29.1%)	1	(1.0%)	103	(100.0%)
琉球大学医学部附属病院	10	(10.6%)	42	(44.7%)	0	(0.0%)	35	(37.2%)	7	(7.4%)	94	(100.0%)
県立南部医療センター・こども医療センター	4	(7.4%)	37	(68.5%)	0	(0.0%)	10	(18.5%)	3	(5.6%)	54	(100.0%)
南部病院	3	(8.8%)	5	(14.7%)	0	(0.0%)	24	(70.6%)	2	(5.9%)	34	(100.0%)
南部徳洲会病院	9	(13.4%)	11	(16.4%)	0	(0.0%)	46	(68.7%)	1	(1.5%)	67	(100.0%)
沖縄協同病院	7	(22.6%)	14	(45.2%)	0	(0.0%)	10	(32.3%)	0	(0.0%)	31	(100.0%)
豊見城中央病院	14	(21.5%)	26	(40.0%)	0	(0.0%)	24	(36.9%)	1	(1.5%)	65	(100.0%)
県立宮古病院	0	(0.0%)	11	(36.7%)	0	(0.0%)	19	(63.3%)	0	(0.0%)	30	(100.0%)
県立八重山病院	4	(16.7%)	12	(50.0%)	0	(0.0%)	8	(33.3%)	0	(0.0%)	24	(100.0%)



＊症例区分「８０：その他」を除いて集計
＊県立南部医療センター・こども医療センターを便宜上、「県立南部医療センター」と表記

施設別　UICC TNM 分類　治療前ステージ別　登録数

肺	0期		Ⅰ期		Ⅱ期		Ⅲ期		Ⅳ期		不明・その他		合計	
全国(2017年症例)	228	(0.2%)	38,056	(41.2%)	6,626	(7.2%)	13,622	(14.8%)	30,084	(32.6%)	3,732	(4.0%)	92,348	(100.0%)
沖縄県18施設合計	6	(0.7%)	278	(32.3%)	64	(7.4%)	149	(17.3%)	334	(38.7%)	31	(3.6%)	862	(100.0%)
北部地区医師会病院	0	(0.0%)	1	(7.7%)	1	(7.7%)	4	(30.8%)	7	(53.8%)	0	(0.0%)	13	(100.0%)
国立病院機構沖縄病院	0	(0.0%)	45	(50.0%)	11	(12.2%)	14	(15.6%)	20	(22.2%)	0	(0.0%)	90	(100.0%)
県立中部病院	1	(1.2%)	21	(25.3%)	5	(6.0%)	19	(22.9%)	35	(42.2%)	2	(2.4%)	83	(100.0%)
中頭病院	0	(0.0%)	48	(38.7%)	7	(5.6%)	19	(15.3%)	42	(33.9%)	8	(6.5%)	124	(100.0%)
中部徳洲会病院	1	(2.2%)	14	(31.1%)	6	(13.3%)	6	(13.3%)	17	(37.8%)	1	(2.2%)	45	(100.0%)
ハートライフ病院	0	(0.0%)	1	(4.0%)	0	(0.0%)	8	(32.0%)	16	(64.0%)	0	(0.0%)	25	(100.0%)
那覇市立病院	1	(1.7%)	6	(10.0%)	5	(8.3%)	10	(16.7%)	38	(63.3%)	0	(0.0%)	60	(100.0%)
沖縄赤十字病院	0	(0.0%)	14	(31.8%)	7	(15.9%)	6	(13.6%)	14	(31.8%)	3	(6.8%)	44	(100.0%)
大浜第一病院	0	(0.0%)	2	(18.2%)	0	(0.0%)	2	(18.2%)	7	(63.6%)	0	(0.0%)	11	(100.0%)
浦添総合病院	2	(2.4%)	32	(38.1%)	4	(4.8%)	19	(22.6%)	24	(28.6%)	3	(3.6%)	84	(100.0%)
琉球大学医学部附属病院	0	(0.0%)	25	(36.8%)	3	(4.4%)	13	(19.1%)	21	(30.9%)	6	(8.8%)	68	(100.0%)
県立南部医療センター・こども医療センター	0	(0.0%)	13	(32.5%)	2	(5.0%)	4	(10.0%)	21	(52.5%)	0	(0.0%)	40	(100.0%)
南部病院	0	(0.0%)	3	(42.9%)	1	(14.3%)	1	(14.3%)	1	(14.3%)	1	(14.3%)	7	(100.0%)
南部徳洲会病院	1	(1.8%)	20	(36.4%)	7	(12.7%)	8	(14.5%)	18	(32.7%)	1	(1.8%)	55	(100.0%)
沖縄協同病院	0	(0.0%)	6	(22.2%)	2	(7.4%)	4	(14.8%)	13	(48.1%)	2	(7.4%)	27	(100.0%)
豊見城中央病院	0	(0.0%)	23	(45.1%)	3	(5.9%)	7	(13.7%)	15	(29.4%)	3	(5.9%)	51	(100.0%)
県立宮古病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(15.0%)	17	(85.0%)	0	(0.0%)	20	(100.0%)
県立八重山病院	0	(0.0%)	4	(26.7%)	0	(0.0%)	2	(13.3%)	8	(53.3%)	1	(6.7%)	15	(100.0%)

施設別　UICC TNM 分類　術後ステージ別　登録数

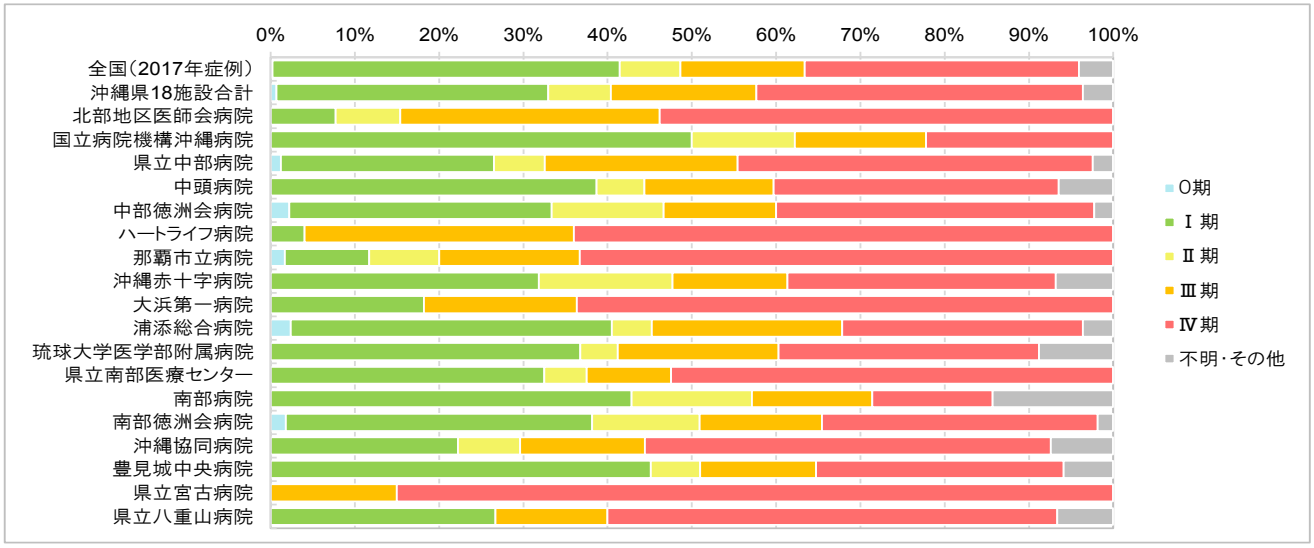
肺	0期		Ⅰ期		Ⅱ期		Ⅲ期		Ⅳ期		術前治療後		不明・その他		合計	
全国(2017年症例)	251	(0.6%)	30,608	(73.1%)	5,056	(12.1%)	3,765	(9.0%)	1,400	(3.3%)	683	(1.6%)	137	(0.3%)	41,900	(100.0%)
沖縄県18施設合計	6	(2.1%)	195	(69.4%)	38	(13.5%)	28	(10.0%)	4	(1.4%)	10	(3.6%)	0	(0.0%)	281	(100.0%)
北部地区医師会病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
国立病院機構沖縄病院	0	(0.0%)	37	(64.9%)	9	(15.8%)	4	(7.0%)	3	(5.3%)	4	(7.0%)	0	(0.0%)	57	(100.0%)
県立中部病院	1	(7.7%)	7	(53.8%)	4	(30.8%)	1	(7.7%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	13	(100.0%)
中頭病院	1	(2.0%)	36	(70.6%)	5	(9.8%)	9	(17.6%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	51	(100.0%)
中部徳洲会病院	1	(6.3%)	12	(75.0%)	2	(12.5%)	1	(6.3%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	16	(100.0%)
ハートライフ病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
那覇市立病院	0	(0.0%)	4	(50.0%)	2	(25.0%)	2	(25.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	8	(100.0%)
沖縄赤十字病院	0	(0.0%)	12	(70.6%)	4	(23.5%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(5.9%)	0	(0.0%)	17	(100.0%)
大浜第一病院	0	(0.0%)	2	(100.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(100.0%)
浦添総合病院	1	(2.4%)	28	(66.7%)	3	(7.1%)	6	(14.3%)	1	(2.4%)	3	(7.1%)	0	(0.0%)	42	(100.0%)
琉球大学医学部附属病院	1	(4.2%)	18	(75.0%)	3	(12.5%)	2	(8.3%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	24	(100.0%)
県立南部医療センター・こども医療センター	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
南部病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
南部徳洲会病院	1	(5.3%)	12	(63.2%)	3	(15.8%)	1	(5.3%)	0	(0.0%)	2	(10.5%)	0	(0.0%)	19	(100.0%)
沖縄協同病院	0	(0.0%)	5	(62.5%)	1	(12.5%)	2	(25.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	8	(100.0%)
豊見城中央病院	0	(0.0%)	19	(90.5%)	2	(9.5%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	21	(100.0%)
県立宮古病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
県立八重山病院	0	(0.0%)	3	(100.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(100.0%)

施設別　UICC TNM 分類　総合ステージ別　登録数

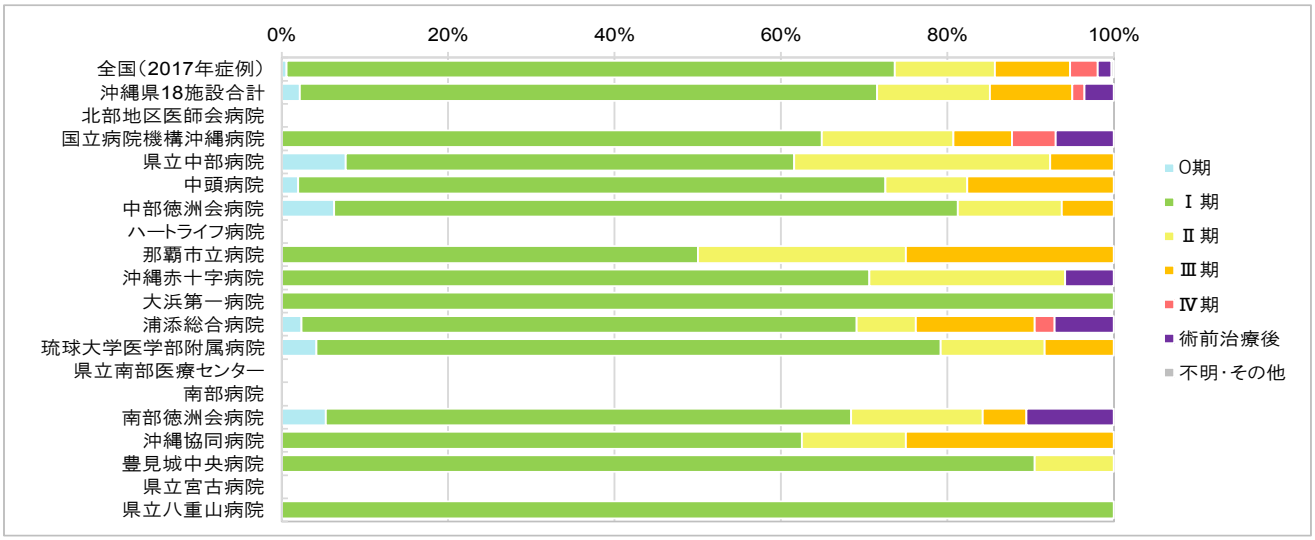
肺	0期		Ⅰ期		Ⅱ期		Ⅲ期		Ⅳ期		不明・その他		合計	
沖縄県18施設合計	7	(0.8%)	269	(31.2%)	66	(7.7%)	156	(18.1%)	340	(39.4%)	24	(2.8%)	862	(100.0%)
北部地区医師会病院	0	(0.0%)	1	(7.7%)	1	(7.7%)	4	(30.8%)	7	(53.8%)	0	(0.0%)	13	(100.0%)
国立病院機構沖縄病院	0	(0.0%)	43	(47.8%)	10	(11.1%)	15	(16.7%)	22	(24.4%)	0	(0.0%)	90	(100.0%)
県立中部病院	1	(1.2%)	19	(22.9%)	6	(7.2%)	19	(22.9%)	36	(43.4%)	2	(2.4%)	83	(100.0%)
中頭病院	1	(0.8%)	44	(35.5%)	8	(6.5%)	23	(18.5%)	42	(33.9%)	6	(4.8%)	124	(100.0%)
中部徳洲会病院	1	(2.2%)	14	(31.1%)	5	(11.1%)	7	(15.6%)	17	(37.8%)	1	(2.2%)	45	(100.0%)
ハートライフ病院	0	(0.0%)	1	(4.0%)	0	(0.0%)	8	(32.0%)	16	(64.0%)	0	(0.0%)	25	(100.0%)
那覇市立病院	0	(0.0%)	5	(8.3%)	6	(10.0%)	11	(18.3%)	38	(63.3%)	0	(0.0%)	60	(100.0%)
沖縄赤十字病院	0	(0.0%)	15	(34.1%)	7	(15.9%)	4	(9.1%)	15	(34.1%)	3	(6.8%)	44	(100.0%)
大浜第一病院	0	(0.0%)	2	(18.2%)	0	(0.0%)	2	(18.2%)	7	(63.6%)	0	(0.0%)	11	(100.0%)
浦添総合病院	2	(2.4%)	32	(38.1%)	4	(4.8%)	21	(25.0%)	25	(29.8%)	0	(0.0%)	84	(100.0%)
琉球大学医学部附属病院	1	(1.5%)	27	(39.7%)	4	(5.9%)	11	(16.2%)	21	(30.9%)	4	(5.9%)	68	(100.0%)
県立南部医療センター・こども医療センター	0	(0.0%)	13	(32.5%)	2	(5.0%)	4	(10.0%)	21	(52.5%)	0	(0.0%)	40	(100.0%)
南部病院	0	(0.0%)	3	(42.9%)	1	(14.3%)	1	(14.3%)	1	(14.3%)	1	(14.3%)	7	(100.0%)
南部徳洲会病院	1	(1.8%)	18	(32.7%)	7	(12.7%)	10	(18.2%)	18	(32.7%)	1	(1.8%)	55	(100.0%)
沖縄協同病院	0	(0.0%)	5	(18.5%)	2	(7.4%)	5	(18.5%)	13	(48.1%)	2	(7.4%)	27	(100.0%)
豊見城中央病院	0	(0.0%)	23	(45.1%)	3	(5.9%)	7	(13.7%)	15	(29.4%)	3	(5.9%)	51	(100.0%)
県立宮古病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(15.0%)	17	(85.0%)	0	(0.0%)	20	(100.0%)
県立八重山病院	0	(0.0%)	4	(26.7%)	0	(0.0%)	1	(6.7%)	9	(60.0%)	1	(6.7%)	15	(100.0%)

こちらの集計対象は以下の条件を満たす登録である
1. 症例区分「20：自施設診断・自施設初回治療開始」「30：他施設診断・自施設初回治療開始」のみ集計
2.「癌腫」
3. 術後ステージの集計においては、上記「1」「2」に加えて「項目：外科的・鏡視下・内視鏡的治療の結果」の区分が原発巣切除例とする。

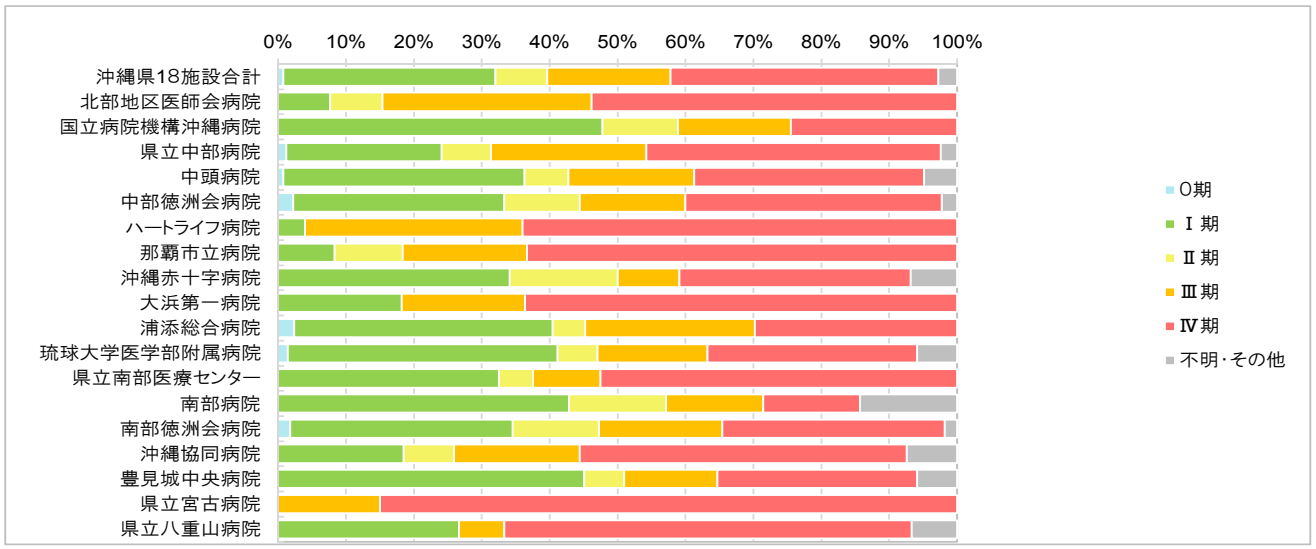
施設別　UICC TNM 分類　治療前ステージ別　登録割合



施設別　UICC TNM 分類　術後ステージ別　登録割合



施設別　UICC TNM 分類　総合ステージ別　登録割合



＊県立南部医療センター・こども医療センターを便宜上、「県立南部医療センター」と表記
こちらの集計対象は以下の条件を満たす登録である
1. 症例区分「20：自施設診断・自施設初回治療開始」「30：他施設診断・自施設初回治療開始」のみ集計
2.「癌腫」
3. 術後ステージの集計においては、上記「1」「2」に加えて「項目：外科的・鏡視下・内視鏡的治療の結果」の区分が原発巣切除例とする。

臨床医からのコメント

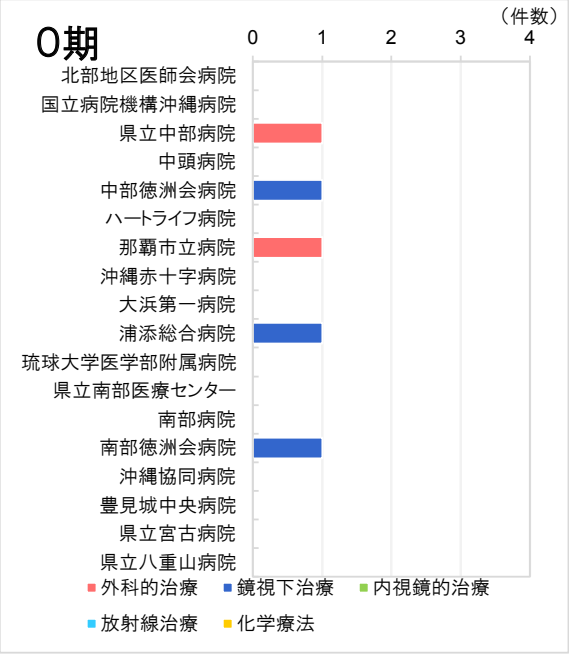
沖縄県でがんの部位別死亡数のトップは男性で 1978 年から、女性では (時折、大腸がんと入れ替わる年はあるものの) 概ね 1985 年から連続して肺がんであり、肺がんへの適切な予防対策や治療介入は県民への貢献度が高い領域となっています。

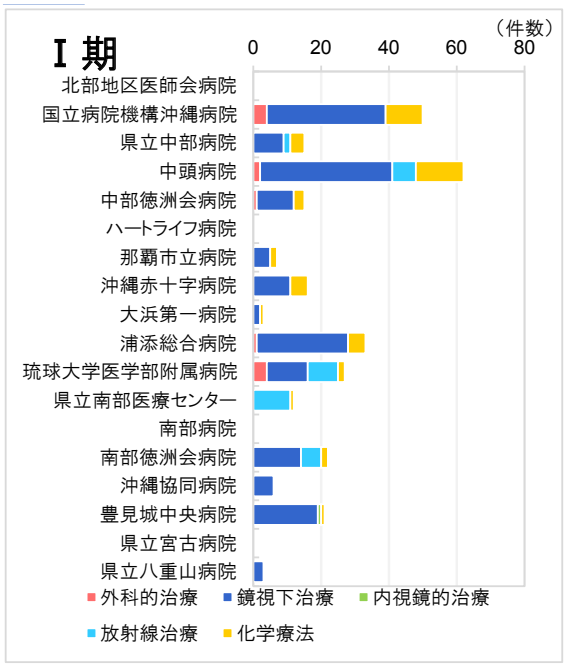
行政と一体となって死亡数 (率) 低下に向けた様々な取り組みがなされているところですが、本県の特徴の一つである喫煙開始年齢の低年齢化に関しては、歯止めをかけるべく、小・中・高校において啓蒙活動が積極的に行われています。

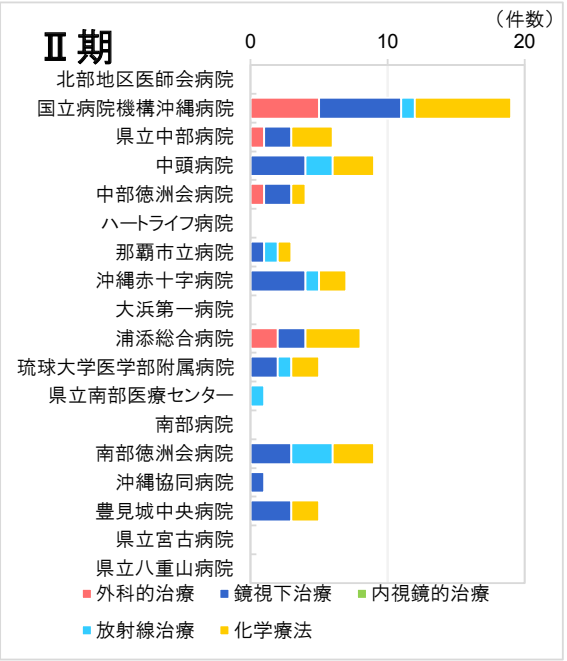
肺がん治療は手術、化学療法、放射線治療、もしくはそれらの組み合わせで行われます。2015 年沖縄県院内がん登録データの肺がん登録データによると、沖縄県では登録数 100 件以上が国立病院機構沖縄病院 (以下、国立沖縄病院) 182 件、中頭病院 124 件で、手術件数 50 件以上は国立沖縄病院 (70 件、切除率 38.5%) のみです。県内の他の医療機関の切除率は院内がん登録を行っている施設で平均 24.5%、沖縄県全体では平均 28.2% です。全県的に見ても 50-70% の肺がん症例は手術以外の方法で治療を受けています。

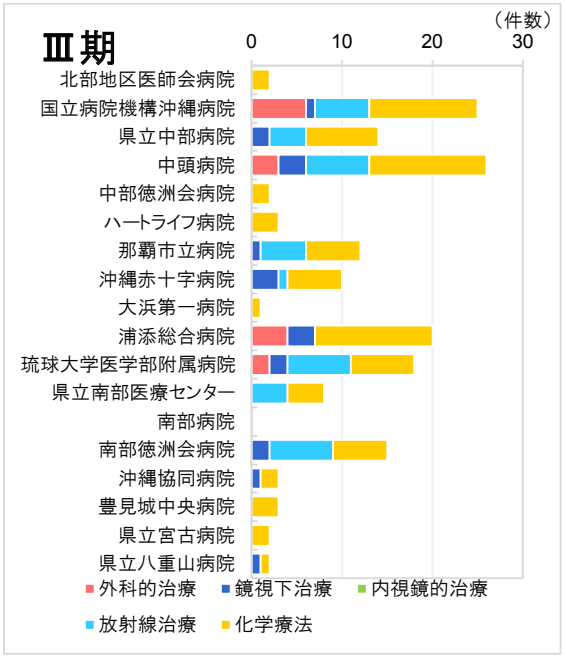
肺がんの分野でも治療法の進歩はめざましく、化学療法では分子標的治療に加えて免疫チェックポイント阻害薬の登場により OS(生存率)、PFS(無増悪生存期間) が改善されています。同薬剤使用の際は、がん診療の専門的知識をもった医療チームによる副作用モニタリングも重要となります。手術においても導入化学放射線療法の併用により、切除可能となる症例が存在します。(次のページにつづく→)

施設別　UICC TNM 分類　治療前ステージ別　治療の件数－ 0 期～Ⅲ期









＊件数は延べ件数（手術と化学療法を組み合わせて行った場合は、どちらの項目でもカウントされる）
＊記載のない治療方法については巻末の集計表を参照
＊県立南部医療センター・こども医療センターを便宜上、「県立南部医療センター」と表記
こちらの集計対象は以下の条件を満たす登録である
1. 症例区分「20：自施設診断・自施設初回治療開始」「21：自施設診断・自施設初回治療継続」「30：他施設診断・自施設初回治療開始」「31：他施設診断・自施設初回治療継続」のみ集計
2.「癌腫」

臨床医からのコメント

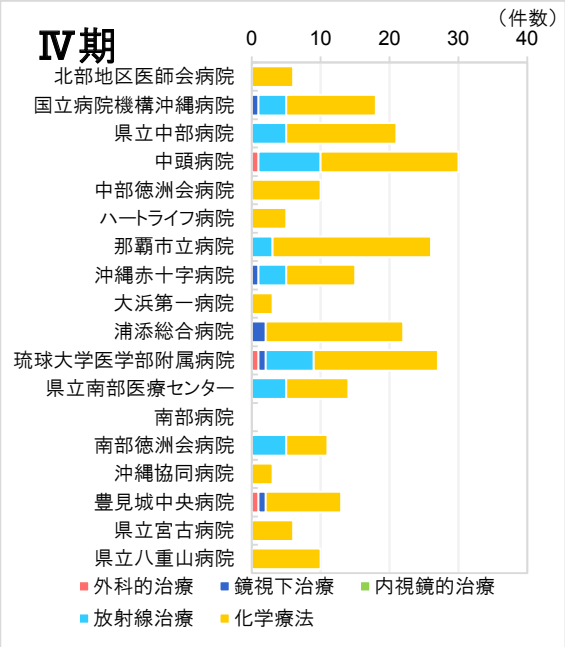
また、手術術式そのものも、これまでの標準術式である肺葉切除より切除範囲の小さい縮小手術（区域切除、部分切除）が選択されることが多くなってきており、現在、進行中の臨床試験（小型肺癌に対する肺葉切除と区域切除の第 III 相試験）の結果によっては（2020 年 8 月 10 日に観察期間終了予定）、小型肺癌における標準術式が肺葉切除から区域切除へと一部ガイドラインが変更になる可能性があります。

Disease control 技術の向上により長期生存が可能となった昨今においても沖縄県では早期で見つかる症例が少なく（III ～ IV 期で発見される頻度が高い）、生存率が他府県より低いという現状があります。また、進行期の肺がんが多いにも関わらず、2013 年に放射線治療が実施された件数は全症例の 13.8% であり、全国の 22.8% と比較して沖縄県での放射線治療実施率の低さは際立っています。

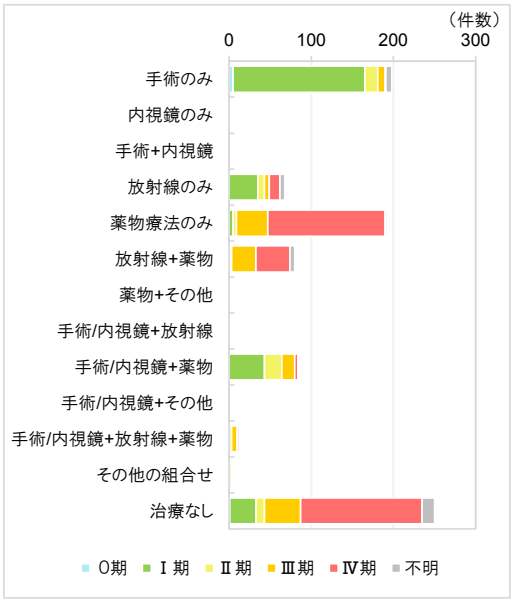
沖縄県では放射線治療・手術・化学療法の分野に専門性の高い人材を擁する施設への「集約化」が望まれます。具体的には縮小手術および拡大手術症例を多く扱い、免疫チェックポイント阻害薬などの使用経験があり、原発巣のみならず緩和照射にも幅広く対応できる施設が必要となります。このような施設で呼吸器専門医、呼吸器外科専門医、がん治療認定医、がん薬物療法専門医、放射線治療専門医、病理専門医が連携して治療に当たるようになれば、沖縄県の肺がんの治療成績は全国平均に近づくものと思われます。

饒平名　知史（国立病院機構沖縄病院　肺がんセンター長）

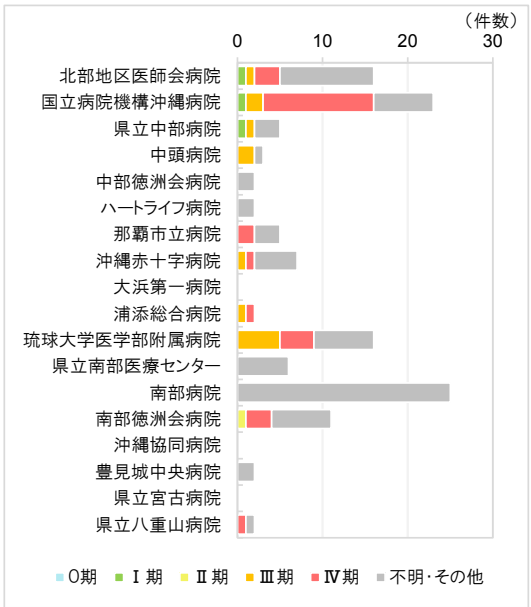
施設別　UICC TNM 分類　治療前ステージ別　治療の件数－Ⅳ期



UICC TNM 分類　治療前ステージ別　初回治療の組み合わせ別（他施設での治療を含む）　登録数



施設別　UICC TNM 分類　治療前ステージ別　初回治療終了後の受け入れ　登録数



＊県立南部医療センター・こども医療センターを便宜上、「県立南部医療センター」と表記
こちらの集計対象は以下の条件を満たす登録である
1. 症例区分「20：自施設診断・自施設初回治療開始」「21：自施設診断・自施設初回治療継続」「30：他施設診断・自施設初回治療開始」「31：他施設診断・自施設初回治療継続」のみ集計（初回治療終了後の受け入れ登録数は、症例区分「40：初回治療終了後」のみ集計）
2.「癌腫」

骨・軟部組織

データを見ると

18 施設の骨・軟部組織がんの登録数は 52 件（2018 年）で、5 年間の平均登録数は 51 件でした。

男女別の登録割合（2018 年）は、男性 55.8%、女性 44.2%で、女性は前年の 28.9%から 15.3%増加していました。年齢階級別登録割合の年次推移をみると、各年齢階級に幅広く症例があり、症例数の多い年齢階級についても年ごとに異なる傾向が見られました。

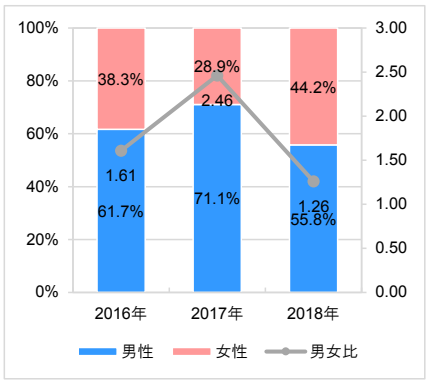
詳細部位別登録割合をみると、小児は「下肢の長骨及びその関節」が 55.6%と最も多く、成人は「下肢及び股関節の結合組織，皮下組織及びその他の軟部組織」が 33.8%と最も多い結果でした。腫瘍別では、小児は「ユーイング肉腫」が 44.4%、成人は「血管肉腫」が 12.2%で、小児と成人の違いによって発生部位と腫瘍の種類に違いがあることが認められた。

施設別　登録数の推移

骨･軟部組織	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
沖縄県18施設合計	40 (100.0%)	58 (100.0%)	60 (100.0%)	45 (100.0%)	52 (100.0%)
北部地区医師会病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
国立病院機構沖縄病院	4 (10.0%)	9 (15.5%)	12 (20.0%)	6 (13.3%)	5 (9.6%)
県立中部病院	3 (7.5%)	4 (6.9%)	1 (1.7%)	2 (4.4%)	8 (15.4%)
中頭病院	1 (2.5%)	0 (0.0%)	2 (3.3%)	3 (6.7%)	3 (5.8%)
中部徳洲会病院	1 (2.5%)	3 (5.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.9%)
ハートライフ病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (2.2%)	0 (0.0%)
那覇市立病院	0 (0.0%)	4 (6.9%)	1 (1.7%)	3 (6.7%)	2 (3.8%)
沖縄赤十字病院	0 (0.0%)	2 (3.4%)	1 (1.7%)	2 (4.4%)	0 (0.0%)
大浜第一病院	-- --	-- --	1 (1.7%)	0 (0.0%)	1 (1.9%)
浦添総合病院	3 (7.5%)	0 (0.0%)	3 (5.0%)	2 (4.4%)	0 (0.0%)
琉球大学医学部附属病院	23 (57.5%)	28 (48.3%)	31 (51.7%)	20 (44.4%)	25 (48.1%)
県立南部医療センター･こども医療センター	3 (7.5%)	1 (1.7%)	2 (3.3%)	2 (4.4%)	1 (1.9%)
南部病院	1 (2.5%)	2 (3.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
南部徳洲会病院	0 (0.0%)	2 (3.4%)	1 (1.7%)	0 (0.0%)	1 (1.9%)
沖縄協同病院	0 (0.0%)	1 (1.7%)	1 (1.7%)	2 (4.4%)	0 (0.0%)
豊見城中央病院	0 (0.0%)	2 (3.4%)	2 (3.3%)	2 (4.4%)	1 (1.9%)
県立宮古病院	1 (2.5%)	0 (0.0%)	1 (1.7%)	0 (0.0%)	1 (1.9%)
県立八重山病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (5.8%)

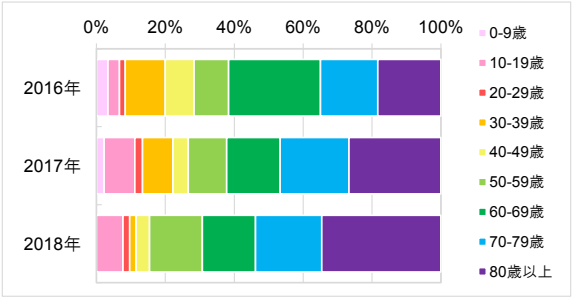
男女別　登録割合の推移

骨･軟部組織	2016年	2017年	2018年
男性	37 (61.7%)	32 (71.1%)	29 (55.8%)
女性	23 (38.3%)	13 (28.9%)	23 (44.2%)
男女比	1.61	2.46	1.26
合計	60 (100.0%)	45 (100.0%)	52 (100.0%)



年齢階級別　登録数と登録割合の推移

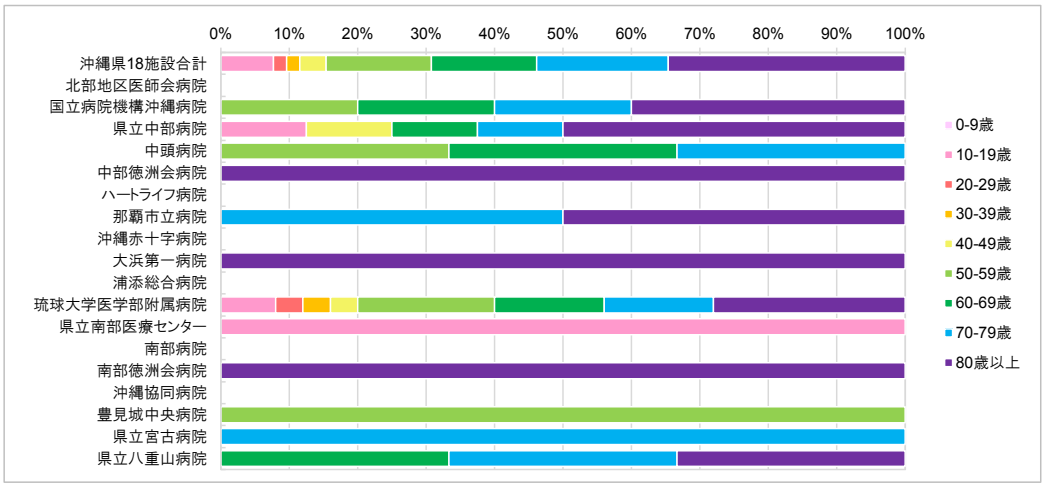
骨･軟部	2016年	2017年	2018年
合計	60 (100.0%)	45 (100.0%)	52 (100.0%)
0-9歳	2 (3.3%)	1 (2.2%)	0 (0.0%)
10-19歳	2 (3.3%)	4 (8.9%)	4 (7.7%)
20-29歳	1 (1.7%)	1 (2.2%)	1 (1.9%)
30-39歳	7 (11.7%)	4 (8.9%)	1 (1.9%)
40-49歳	5 (8.3%)	2 (4.4%)	2 (3.8%)
50-59歳	6 (10.0%)	5 (11.1%)	8 (15.4%)
60-69歳	16 (26.7%)	7 (15.6%)	8 (15.4%)
70-79歳	10 (16.7%)	9 (20.0%)	10 (19.2%)
80歳以上	11 (18.3%)	12 (26.7%)	18 (34.6%)



＊症例区分「80：その他」を除いて集計
＊男女別登録割合の「男女比」は、女性を 1 としたときの男性の比率

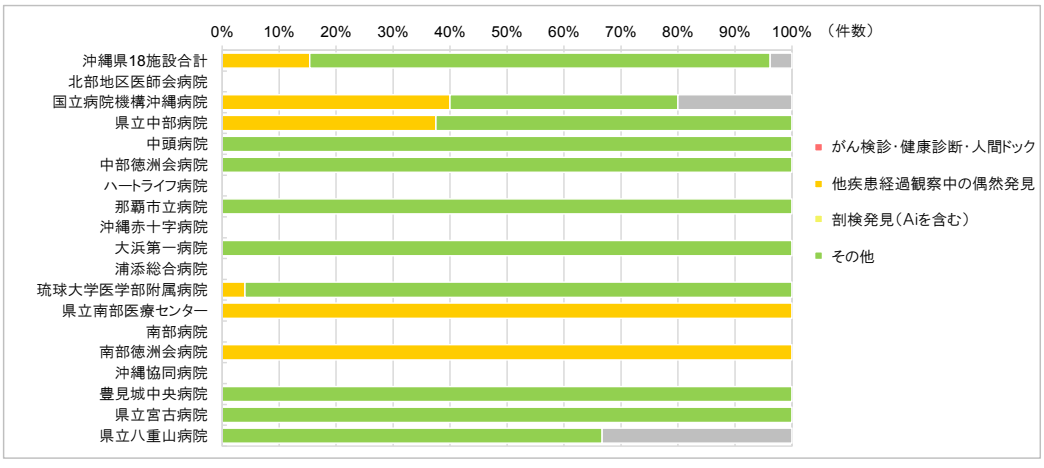
施設別　年齢階級別　登録数と登録割合

骨・軟部組織	0-9歳	10-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上	合計
沖縄県18施設合計	0 (0.0%)	4 (7.7%)	1 (1.9%)	1 (1.9%)	2 (3.8%)	8 (15.4%)	8 (15.4%)	10 (19.2%)	18 (34.6%)	52 (100.0%)
北部地区医師会病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
国立病院機構沖縄病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)	1 (20.0%)	1 (20.0%)	2 (40.0%)	5 (100.0%)
県立中部病院	0 (0.0%)	1 (12.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (12.5%)	0 (0.0%)	1 (12.5%)	1 (12.5%)	4 (50.0%)	8 (100.0%)
中頭病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	3 (100.0%)
中部徳洲会病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	1 (100.0%)
ハートライフ病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
那覇市立病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	2 (100.0%)
沖縄赤十字病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
大浜第一病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	1 (100.0%)
浦添総合病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
琉球大学医学部附属病院	0 (0.0%)	2 (8.0%)	1 (4.0%)	1 (4.0%)	1 (4.0%)	5 (20.0%)	4 (16.0%)	4 (16.0%)	7 (28.0%)	25 (100.0%)
県立南部医療センター・こども医療センター	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)
南部病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
南部徳洲会病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	1 (100.0%)
沖縄協同病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
豊見城中央病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)
県立宮古病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)
県立八重山病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)	3 (100.0%)



施設別　発見経緯別　登録数と登録割合

骨・軟部組織	がん検診・健康診断・人間ドック	他疾患経過観察中の偶然発見	剖検発見（Aiを含む）	その他	不明	合計
沖縄県18施設合計	0 (0.0%)	8 (15.4%)	0 (0.0%)	42 (80.8%)	2 (3.8%)	52 (100.0%)
北部地区医師会病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
国立病院機構沖縄病院	0 (0.0%)	2 (40.0%)	0 (0.0%)	2 (40.0%)	1 (20.0%)	5 (100.0%)
県立中部病院	0 (0.0%)	3 (37.5%)	0 (0.0%)	5 (62.5%)	0 (0.0%)	8 (100.0%)
中頭病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (100.0%)	0 (0.0%)	3 (100.0%)
中部徳洲会病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)
ハートライフ病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
那覇市立病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)	2 (100.0%)
沖縄赤十字病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
大浜第一病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)
浦添総合病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
琉球大学医学部附属病院	0 (0.0%)	1 (4.0%)	0 (0.0%)	24 (96.0%)	0 (0.0%)	25 (100.0%)
県立南部医療センター・こども医療センター	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)
南部病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
南部徳洲会病院	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)
沖縄協同病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
豊見城中央病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)
県立宮古病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)
県立八重山病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (66.7%)	1 (33.3%)	3 (100.0%)



＊症例区分「80：その他」を除いて集計
＊県立南部医療センター・こども医療センターを便宜上、「県立南部医療センター」と表記

小児の詳細部位別　登録数－2016年～2018年

局在コード	部位名	件数	（%）
C400	上肢の長骨，肩甲骨及びその関節	0	（0.0%）
C401	上肢の短骨及びその関節	0	（0.0%）
C402	下肢の長骨及びその関節	5	（55.6%）
C403	下肢の短骨及びその関節	0	（0.0%）
C408	四肢の骨，関節及び関節軟骨の境界部病巣	0	（0.0%）
C409	四肢の骨，NOS	0	（0.0%）
C410	頭蓋骨，顔面骨及びその関節	1	（11.1%）
C411	下顎	0	（0.0%）
C412	脊柱	0	（0.0%）
C413	肋骨，胸骨，鎖骨及びその関節	2	（22.2%）
C414	骨盤骨，仙骨，尾骨及びその関節	1	（11.1%）
C418	骨，関節及び関節軟骨の境界部病巣	0	（0.0%）
C419	骨，NOS	0	（0.0%）
C381	前縦隔	0	（0.0%）
C382	後縦隔	0	（0.0%）
C383	縦隔，NOS	0	（0.0%）
C470	頭部，顔面及び頸部の末梢神経及び自律神経系	0	（0.0%）
C471	上肢及び肩の末梢神経及び自律神経系	0	（0.0%）
C472	下肢及び股関節部の末梢神経及び自律神経系	0	（0.0%）
C473	胸郭の末梢神経及び自律神経系	0	（0.0%）
C474	腹部の末梢神経及び自律神経系	0	（0.0%）
C475	骨盤の末梢神経及び自律神経系	0	（0.0%）
C476	体幹の末梢神経及び自律神経系	0	（0.0%）
C478	末梢神経及び自律神経系の境界部病巣	0	（0.0%）
C479	自律神経，NOS	0	（0.0%）
C480	後腹膜	0	（0.0%）
C490	頭部，顔面及び頸部の結合組織，皮下組織及びその他の軟部組織	0	（0.0%）
C491	上肢及び肩の結合組織，皮下組織及びその他の軟部組織	0	（0.0%）
C492	下肢及び股関節部の結合組織，皮下組織及びその他の軟部組織	0	（0.0%）
C493	胸部郭の結合組織，皮下組織及びその他の軟部組織	0	（0.0%）
C494	腹部の結合組織，皮下組織及びその他の軟部組織	0	（0.0%）
C495	骨盤の結合組織，皮下組織及びその他の軟部組織	0	（0.0%）
C496	体幹の結合組織，皮下組織及びその他の軟部組織	0	（0.0%）
C498	結合組織，皮下組織及びその他の軟部組織の境界部病巣	0	（0.0%）
C499	結合組織，皮下組織及びその他の軟部組織，NOS	0	（0.0%）
		9	（100.0%）

成人の詳細部位別　登録数－2016年～2018年

局在コード	部位名	件数	（%）
C400	上肢の長骨，肩甲骨及びその関節	1	（0.7%）
C401	上肢の短骨及びその関節	0	（0.0%）
C402	下肢の長骨及びその関節	8	（5.4%）
C403	下肢の短骨及びその関節	1	（0.7%）
C408	四肢の骨，関節及び関節軟骨の境界部病巣	0	（0.0%）
C409	四肢の骨，NOS	0	（0.0%）
C410	頭蓋骨，顔面骨及びその関節	1	（0.7%）
C411	下顎	1	（0.7%）
C412	脊柱	3	（2.0%）
C413	肋骨，胸骨，鎖骨及びその関節	7	（4.7%）
C414	骨盤骨，仙骨，尾骨及びその関節	3	（2.0%）
C418	骨，関節及び関節軟骨の境界部病巣	0	（0.0%）
C419	骨，NOS	0	（0.0%）
C381	前縦隔	0	（0.0%）
C382	後縦隔	0	（0.0%）
C383	縦隔，NOS	0	（0.0%）
C470	頭部，顔面及び頸部の末梢神経及び自律神経系	1	（0.7%）
C471	上肢及び肩の末梢神経及び自律神経系	0	（0.0%）
C472	下肢及び股関節部の末梢神経及び自律神経系	1	（0.7%）
C473	胸郭の末梢神経及び自律神経系	1	（0.7%）
C474	腹部の末梢神経及び自律神経系	0	（0.0%）
C475	骨盤の末梢神経及び自律神経系	0	（0.0%）
C476	体幹の末梢神経及び自律神経系	1	（0.7%）
C478	末梢神経及び自律神経系の境界部病巣	0	（0.0%）
C479	自律神経，NOS	0	（0.0%）
C480	後腹膜	0	（0.0%）
C490	頭部，顔面及び頸部の結合組織，皮下組織及びその他の軟部組織	15	（10.1%）
C491	上肢及び肩の結合組織，皮下組織及びその他の軟部組織	13	（8.8%）
C492	下肢及び股関節部の結合組織，皮下組織及びその他の軟部組織	50	（33.8%）
C493	胸部郭の結合組織，皮下組織及びその他の軟部組織	14	（9.5%）
C494	腹部の結合組織，皮下組織及びその他の軟部組織	2	（1.4%）
C495	骨盤の結合組織，皮下組織及びその他の軟部組織	12	（8.1%）
C496	体幹の結合組織，皮下組織及びその他の軟部組織	9	（6.1%）
C498	結合組織，皮下組織及びその他の軟部組織の境界部病巣	1	（0.7%）
C499	結合組織，皮下組織及びその他の軟部組織，NOS	3	（2.0%）
		148	（100.0%）

＊症例区分「80：その他」を除いて集計
＊このページにおける「小児」とは、0歳から14歳までを指し、「成人」とは15歳以上を指す
＊骨・軟部組織のがんは症例数が少ないため、3年束で集計を行った

小児の腫瘍別（形態別）登録数－ 2016 年～ 2018 年

形態コード	形態	件数	（%）
8000/3	新生物，悪性	1	(11.1%)
8800/3	肉腫，NOS	1	(11.1%)
9180/3	骨肉腫，NOS	2	(22.2%)
9186/3	中心性骨肉腫	1	(11.1%)
9260/3	ユーイング肉腫	4	(44.4%)
合計		9	(100.0%)

成人の腫瘍別（形態別）登録数－ 2016 年～ 2018 年

形態コード	形態	件数	（%）
8000/3	新生物，悪性	5	(3.4%)
8140/3	腺癌，NOS	1	(0.7%)
8246/3	神経内分泌癌,NOS	2	(1.4%)
8680/3	傍神経節腫，悪性	1	(0.7%)
8800/3	肉腫，NOS	9	(6.1%)
8801/3	紡錘形細胞肉腫	3	(2.0%)
8802/3	巨細胞肉腫	1	(0.7%)
8804/3	類上皮肉腫	1	(0.7%)
8805/3	未分化肉腫	3	(2.0%)
8806/3	線維形成性小円形細胞腫瘍	2	(1.4%)
8810/3	線維肉腫	3	(2.0%)
8811/3	線維粘液肉腫	17	(11.5%)
8815/3	孤立性線維性腫瘍，悪性	2	(1.4%)
8830/3	悪性線維性組織球腫	5	(3.4%)
8832/3	皮膚線維肉腫	1	(0.7%)
8850/3	脂肪肉腫	11	(7.4%)
8851/3	脂肪肉腫，高分化	3	(2.0%)
8852/3	粘液様脂肪肉腫	2	(1.4%)
8858/3	脱分化型脂肪肉腫	5	(3.4%)
8890/3	平滑筋肉腫	13	(8.8%)
8936/3	胃腸間質肉腫	1	(0.7%)
9040/3	滑膜肉腫，NOS	5	(3.4%)
9051/3	線維性中皮腫，悪性	1	(0.7%)
9120/3	血管肉腫	18	(12.2%)
9140/3	カポジ肉腫	4	(2.7%)
9180/3	骨肉腫，NOS	4	(2.7%)
9187/3	骨内高分化型骨肉腫	1	(0.7%)
9192/3	傍骨性骨肉腫	2	(1.4%)
9194/3	高悪性度表在性骨肉腫	1	(0.7%)
9220/3	軟骨肉腫，NOS	2	(1.4%)
9231/3	粘液様軟骨肉腫	3	(2.0%)
9243/3	脱分化型軟骨肉腫	3	(2.0%)
9260/3	ユーイング肉腫	5	(3.4%)
9364/3	末梢性神経外胚葉腫瘍	1	(0.7%)
9540/3	悪性末梢神経鞘性腫瘍	7	(4.7%)
合計		148	(100.0%)

＊症例区分「80：その他」を除いて集計
＊このページにおける「小児」とは、0 歳から 14 歳までを指し、「成人」とは 15 歳以上を指す
＊骨・軟部組織のがんは症例数が少ないため、3 年束で集計を行った

臨床医からのコメント

沖縄県における悪性骨・軟部腫瘍の診療状況を評価すると、18 施設における院内がん登録データでは、琉球大学医学部附属病院（2016 ～ 2018 年症例）で外科的治療・放射線治療・化学療法などの治療を受けた割合が約 77%（119 例中 92 例）を占め、集約化が認められます。また登録数は少ないものの 2015 年は 58 例、2016 年は 60 例、2017 年は 45 例、2018 年は 52 例と 50 例前後で推移しています。

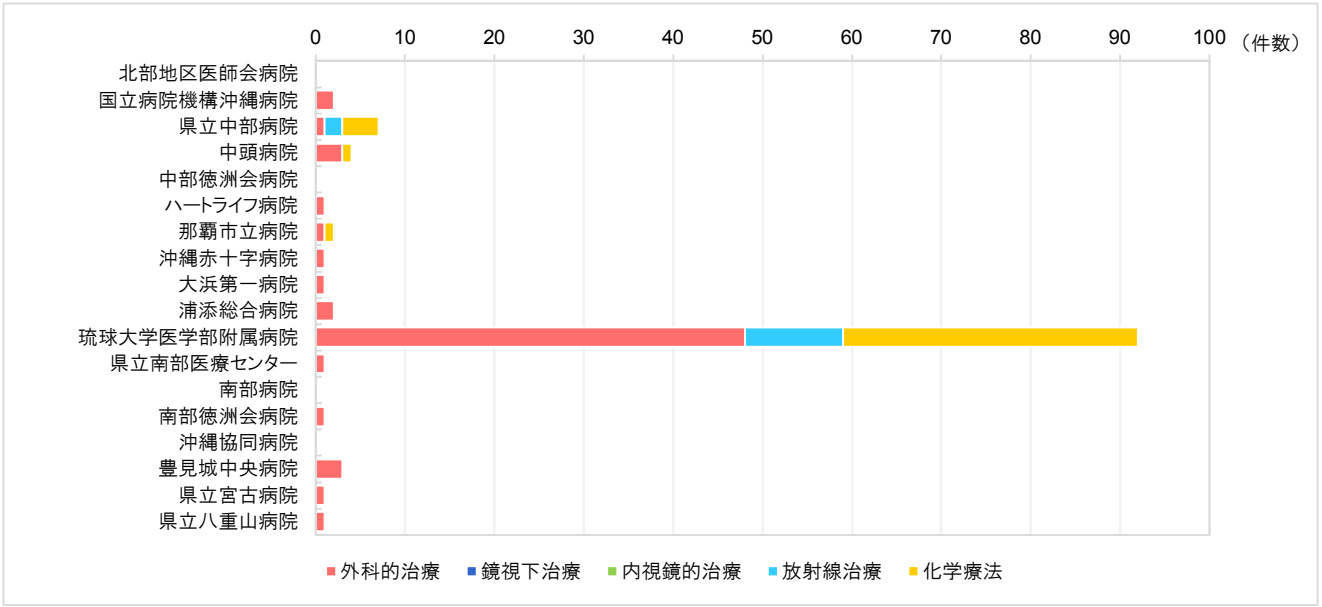
がんの骨転移を除く、悪性骨腫瘍は小学生から高校生にかけて大多数が発生します。その治療は化学療法・手術・放射線治療を含めた集学的な治療が標準的であり、高度な医療機関での治療が必要になります。

悪性軟部腫瘍は、沖縄県のがん登録でも非常に稀な疾患です。

（次のページにつづく→）

施設別　治療の件数－ 2016 年～ 2018 年

骨・軟部組織	外科的治療	体腔鏡的治療	内視鏡的治療	放射線治療	薬物療法	その他	治療なし	合計
沖縄県18施設合計	67 (49.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	13 (9.6%)	39 (28.9%)	0 (0.0%)	16 (11.9%)	135 (100.0%)
北部地区医師会病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
国立病院機構沖縄病院	2 (28.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (71.4%)	7 (100.0%)
県立中部病院	1 (11.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (22.2%)	4 (44.4%)	0 (0.0%)	2 (22.2%)	9 (100.0%)
中頭病院	3 (42.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)	3 (42.9%)	7 (100.0%)
中部徳洲会病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	1 (100.0%)
ハートライフ病院	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)
那覇市立病院	1 (25.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	2 (50.0%)	4 (100.0%)
沖縄赤十字病院	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)
大浜第一病院	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)
浦添総合病院	2 (66.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	3 (100.0%)
琉球大学医学部附属病院	48 (51.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	11 (11.8%)	33 (35.5%)	0 (0.0%)	1 (1.1%)	93 (100.0%)
県立南部医療センター･こども医療センター	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (50.0%)	2 (100.0%)
南部病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
南部徳洲会病院	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)
沖縄協同病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
豊見城中央病院	3 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (100.0%)
県立宮古病院	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)
県立八重山病院	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)



＊件数は延べ件数（手術と化学療法を組み合わせて行った場合は、どちらの項目でもカウントされる）
＊記載のない治療方法については巻末の集計表を参照
＊県立南部医療センター・こども医療センターを便宜上、「県立南部医療センター」と表記
こちらの集計対象は以下の条件を満たす登録である
1. 症例区分「20：自施設診断・自施設初回治療開始」「21：自施設診断・自施設初回治療継続」「30：他施設診断・自施設初回治療開始」「31：他施設診断・自施設初回治療継続」のみ集計

臨床医からのコメント

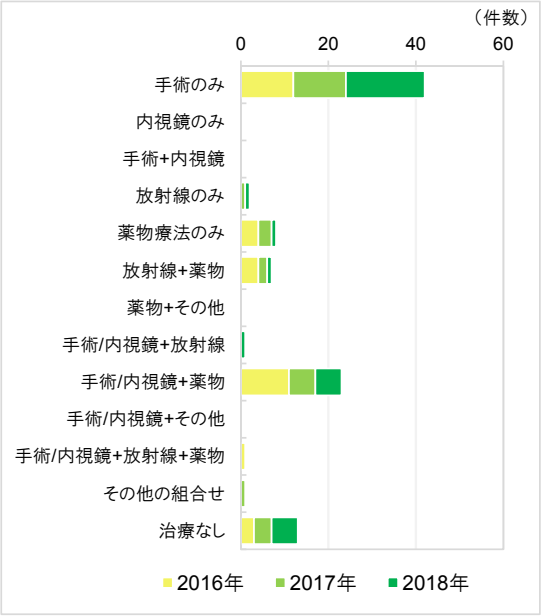
悪性軟部腫瘍においては中高年に多く発生しますが、近年では年齢や全身状態によっては手術療法に化学療法を組み合わせた集学的治療が必要になります。また、悪性軟部腫瘍の多くは疼痛などの自覚症状に乏しく、腫瘤に気づいたという受診理由が最も多いのが特徴です。腫瘍が巨大になり進行した状態で受診することも多いのが現状です。

非常に稀な疾患であるため、今後は社会的啓蒙だけでなく、腫瘤を自覚した場合の対応や専門医療機関などの情報提供も必要であると思われます。

當銘　保則（琉球大学医学部附属病院　整形外科准教授）

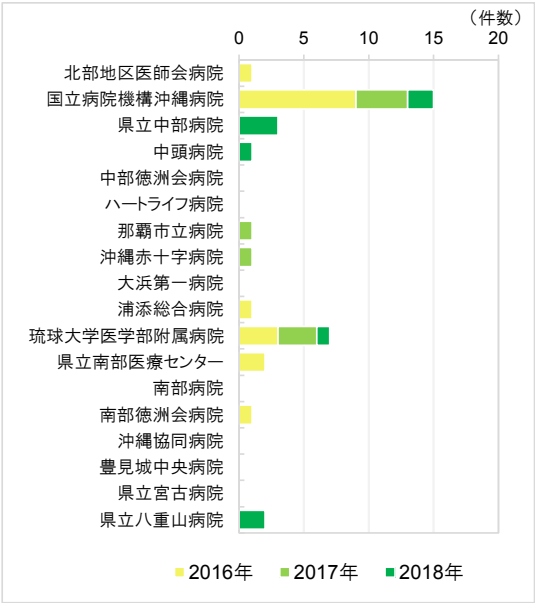
初回治療の組み合わせ別（他施設での治療を含む）　登録数－ 2016 年～ 2018 年

	2016年	2017年	2018年
合計	35 （100.0%）	29 （100.0%）	34 （100.0%）
手術のみ	12 （34.3%）	12 （41.4%）	18 （52.9%）
内視鏡のみ	0 （0.0%）	0 （0.0%）	0 （0.0%）
手術+内視鏡	0 （0.0%）	0 （0.0%）	0 （0.0%）
放射線のみ	0 （0.0%）	1 （3.4%）	1 （2.9%）
薬物療法のみ	4 （11.4%）	3 （10.3%）	1 （2.9%）
放射線+薬物	4 （11.4%）	2 （6.9%）	1 （2.9%）
薬物+その他	0 （0.0%）	0 （0.0%）	0 （0.0%）
手術/内視鏡+放射線	0 （0.0%）	0 （0.0%）	1 （2.9%）
手術/内視鏡+薬物	11 （31.4%）	6 （20.7%）	6 （17.6%）
手術/内視鏡+その他	0 （0.0%）	0 （0.0%）	0 （0.0%）
手術/内視鏡+放射線+薬物	1 （2.9%）	0 （0.0%）	0 （0.0%）
その他の組合せ	0 （0.0%）	1 （3.4%）	0 （0.0%）
治療なし	3 （8.6%）	4 （13.8%）	6 （17.6%）



施設別　初回治療終了後の受け入れ　登録数－ 2016 年～ 2018 年

	2016年	2017年	2018年
沖縄県18施設合計	17 （100.0%）	9 （52.9%）	9 （52.9%）
北部地区医師会病院	1 （5.9%）	0 （0.0%）	0 （0.0%）
国立病院機構沖縄病院	9 （52.9%）	4 （23.5%）	2 （11.8%）
県立中部病院	0 （0.0%）	0 （0.0%）	3 （17.6%）
中頭病院	0 （0.0%）	0 （0.0%）	1 （5.9%）
中部徳洲会病院	0 （0.0%）	0 （0.0%）	0 （0.0%）
ハートライフ病院	0 （0.0%）	0 （0.0%）	0 （0.0%）
那覇市立病院	0 （0.0%）	1 （5.9%）	0 （0.0%）
沖縄赤十字病院	0 （0.0%）	1 （5.9%）	0 （0.0%）
大浜第一病院	0 （0.0%）	0 （0.0%）	0 （0.0%）
浦添総合病院	1 （5.9%）	0 （0.0%）	0 （0.0%）
琉球大学医学部附属病院	3 （17.6%）	3 （17.6%）	1 （5.9%）
県立南部医療センター･こども医療センター	2 （11.8%）	0 （0.0%）	0 （0.0%）
南部病院	0 （0.0%）	0 （0.0%）	0 （0.0%）
南部徳洲会病院	1 （5.9%）	0 （0.0%）	0 （0.0%）
沖縄協同病院	0 （0.0%）	0 （0.0%）	0 （0.0%）
豊見城中央病院	0 （0.0%）	0 （0.0%）	0 （0.0%）
県立宮古病院	0 （0.0%）	0 （0.0%）	0 （0.0%）
県立八重山病院	0 （0.0%）	0 （0.0%）	2 （11.8%）



＊県立南部医療センター・こども医療センターを便宜上、「県立南部医療センター」と表記
こちらの集計対象は以下の条件を満たす登録である
1. 症例区分「20：自施設診断・自施設初回治療開始」「21：自施設診断・自施設初回治療継続」「30：他施設診断・自施設初回治療開始」「31：他施設診断・自施設初回治療継続」のみ集計（初回治療終了後の受け入れ登録数は、症例区分「40：初回治療終了後」のみ集計）

皮膚（C44，C63.2）※悪性黒色腫含む

データを見ると

18 施設の皮膚がんの登録数は 426 件（2018 年）で、前年の登録数より 8.2%の減少を認めました。

男女別登録割合（2018 年）は、男性 46.9%、女性 53.1％で、男性より女性が多く、年次推移は横ばい傾向でした。年齢階級別登録割合をみると、いずれの年も 80 歳以上にピーク認め、全体の約 9 割を 60 歳以上が占めていました。

登録数を施設別にみると、件数の多い上位 3 施設は、琉球大学医学部附属病院 144 件、県立中部病院 39 件、豊見城中央病院 38 件でした。

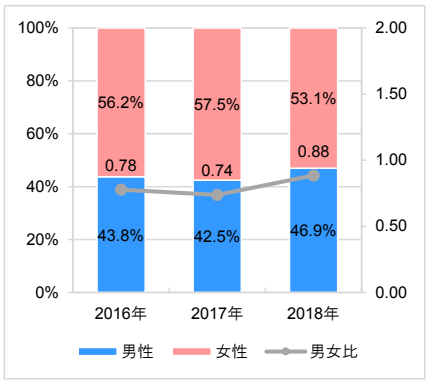
18 施設の治療前ステージ別登録数の０期の割合（16.6%）、Ⅰ期の割合（61.8%）と高く、０期とⅠ期で約８割を占めていました。

施設別　登録数の推移

皮膚（黒色腫含む）	2014年		2015年		2016年		2017年		2018年	
沖縄県18施設合計	378	(100.0%)	367	(100.0%)	409	(100.0%)	464	(100.0%)	426	(100.0%)
北部地区医師会病院	4	(1.1%)	8	(2.2%)	2	(0.5%)	30	(6.5%)	23	(5.4%)
国立病院機構沖縄病院	1	(0.3%)	2	(0.5%)	2	(0.5%)	2	(0.4%)	2	(0.5%)
県立中部病院	73	(19.3%)	42	(11.4%)	46	(11.2%)	57	(12.3%)	39	(9.2%)
中頭病院	12	(3.2%)	15	(4.1%)	11	(2.7%)	11	(2.4%)	9	(2.1%)
中部徳洲会病院	5	(1.3%)	5	(1.4%)	6	(1.5%)	10	(2.2%)	24	(5.6%)
ハートライフ病院	8	(2.1%)	18	(4.9%)	7	(1.7%)	17	(3.7%)	8	(1.9%)
那覇市立病院	18	(4.8%)	9	(2.5%)	30	(7.3%)	39	(8.4%)	28	(6.6%)
沖縄赤十字病院	11	(2.9%)	4	(1.1%)	16	(3.9%)	10	(2.2%)	5	(1.2%)
大浜第一病院	--	--	--	--	16	(3.9%)	14	(3.0%)	14	(3.3%)
浦添総合病院	15	(4.0%)	14	(3.8%)	5	(1.2%)	12	(2.6%)	10	(2.3%)
琉球大学医学部附属病院	129	(34.1%)	144	(39.2%)	136	(33.3%)	129	(27.8%)	144	(33.8%)
県立南部医療センター･こども医療センター	40	(10.6%)	37	(10.1%)	62	(15.2%)	52	(11.2%)	36	(8.5%)
南部病院	4	(1.1%)	1	(0.3%)	0	(0.0%)	3	(0.6%)	2	(0.5%)
南部徳洲会病院	4	(1.1%)	3	(0.8%)	1	(0.2%)	2	(0.4%)	1	(0.2%)
沖縄協同病院	2	(0.5%)	4	(1.1%)	14	(3.4%)	16	(3.4%)	14	(3.3%)
豊見城中央病院	42	(11.1%)	33	(9.0%)	32	(7.8%)	38	(8.2%)	38	(8.9%)
県立宮古病院	8	(2.1%)	11	(3.0%)	10	(2.4%)	5	(1.1%)	11	(2.6%)
県立八重山病院	2	(0.5%)	17	(4.6%)	13	(3.2%)	17	(3.7%)	18	(4.2%)

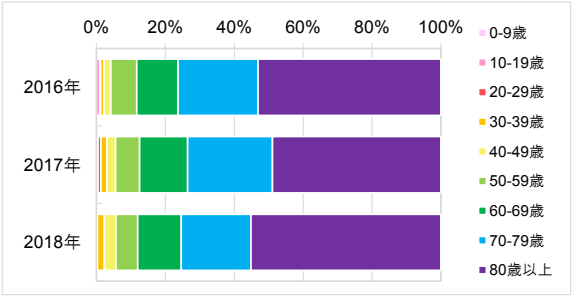
男女別　登録割合の推移

皮膚（黒色腫含む）	2016年		2017年		2018年	
男性	179	(43.8%)	197	(42.5%)	200	(46.9%)
女性	230	(56.2%)	267	(57.5%)	226	(53.1%)
男女比		0.78		0.74		0.88
合計	409	(100.0%)	464	(100.0%)	426	(100.0%)



年齢階級別　登録数と登録割合の推移

皮膚	2016年		2017年		2018年	
合計	409	(100.0%)	464	(100.0%)	426	(100.0%)
0-9歳	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
10-19歳	4	(1.0%)	2	(0.4%)	0	(0.0%)
20-29歳	1	(0.2%)	4	(0.9%)	1	(0.2%)
30-39歳	4	(1.0%)	8	(1.7%)	9	(2.1%)
40-49歳	8	(2.0%)	12	(2.6%)	14	(3.3%)
50-59歳	31	(7.6%)	32	(6.9%)	27	(6.3%)
60-69歳	49	(12.0%)	65	(14.0%)	54	(12.7%)
70-79歳	95	(23.2%)	114	(24.6%)	86	(20.2%)
80歳以上	217	(53.1%)	227	(48.9%)	235	(55.2%)



＊症例区分「８０：その他」を除いて集計
＊男女別登録割合の「男女比」は、女性を１としたときの男性の比率

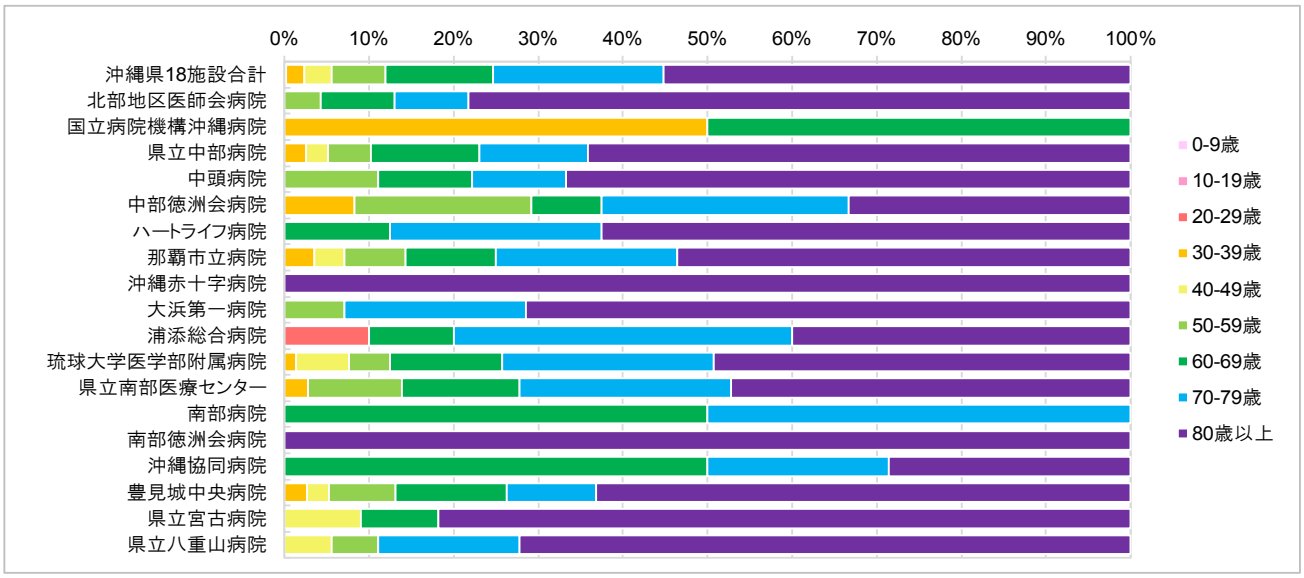
詳細部位別　登録数

局在コード	部位名	件数	（%）
C440	口唇の皮膚, NOS	10	(2.3%)
C441	眼瞼	39	(9.2%)
C442	外耳	19	(4.5%)
C443	その他及び部位不明の顔面の皮膚	192	(45.1%)
C444	頭皮及び頭の皮膚	26	(6.1%)
C445	体幹の皮膚	53	(12.4%)
C446	上肢及び肩の皮膚	45	(10.6%)
C447	下肢及び股関節の皮膚	41	(9.6%)
C448	皮膚の境界部病巣	0	(0.0%)
C449	皮膚, NOS	1	(0.2%)
C510	大陰唇	0	(0.0%)
C609	陰茎, NOS	0	(0.0%)
C632	陰嚢, NOS	0	(0.0%)
合計		426	(100.0%)

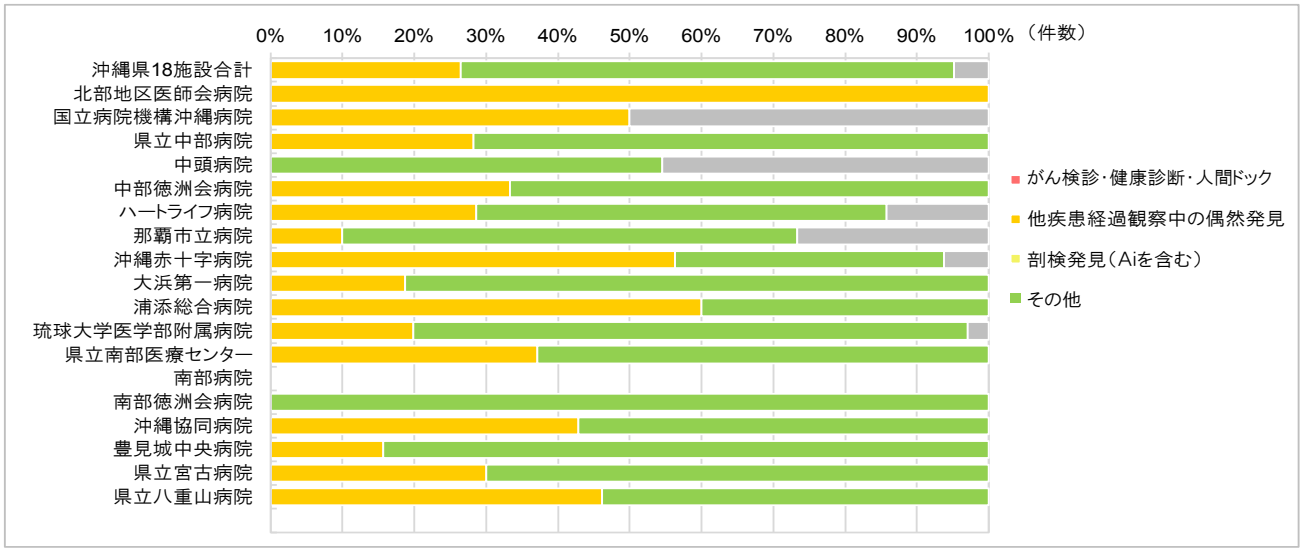
腫瘍別（形態別）　登録数

形態コード	形態	件数	（%）
8070/2	上皮内扁平上皮癌, NOS	8	(1.9%)
8070/3	扁平上皮癌, NOS	102	(23.9%)
8081/2	ボウエン病	50	(11.7%)
8090/3	基底細胞癌, NOS	130	(30.5%)
8720/3	悪性黒色腫, NOS	11	(2.6%)
	その他の形態	125	(29.3%)
合計		426	(100.0%)

施設別　年齢階級別　登録割合



施設別　発見経緯別　登録割合



＊症例区分「８０：その他」を除いて集計
＊県立南部医療センター・こども医療センターを便宜上、「県立南部医療センター」と表記

施設別　UICC TNM 分類　治療前ステージ別　登録数

皮膚(悪性黒色腫含む)	0期		Ⅰ期		Ⅱ期		Ⅲ期		Ⅳ期		不明・その他		合計	
沖縄県18施設合計	60	(16.6%)	223	(61.8%)	39	(10.8%)	7	(1.9%)	3	(0.8%)	29	(8.0%)	361	(100.0%)
北部地区医師会病院	0	(0.0%)	12	(85.7%)	2	(14.3%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	14	(100.0%)
国立病院機構沖縄病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
県立中部病院	3	(7.9%)	28	(73.7%)	2	(5.3%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	5	(13.2%)	38	(100.0%)
中頭病院	2	(25.0%)	3	(37.5%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(37.5%)	8	(100.0%)
中部徳洲会病院	9	(47.4%)	10	(52.6%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	19	(100.0%)
ハートライフ病院	0	(0.0%)	8	(100.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	8	(100.0%)
那覇市立病院	8	(34.8%)	9	(39.1%)	4	(17.4%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(8.7%)	23	(100.0%)
沖縄赤十字病院	2	(50.0%)	2	(50.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	4	(100.0%)
大浜第一病院	5	(35.7%)	3	(21.4%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	6	(42.9%)	14	(100.0%)
浦添総合病院	0	(0.0%)	4	(44.4%)	3	(33.3%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(22.2%)	9	(100.0%)
琉球大学医学部附属病院	15	(12.2%)	81	(65.9%)	19	(15.4%)	6	(4.9%)	2	(1.6%)	0	(0.0%)	123	(100.0%)
県立南部医療センター・こども医療センター	3	(9.7%)	18	(58.1%)	3	(9.7%)	0	(0.0%)	1	(3.2%)	6	(19.4%)	31	(100.0%)
南部病院	0	(0.0%)	1	(100.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(100.0%)
南部徳洲会病院	0	(0.0%)	1	(100.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(100.0%)
沖縄協同病院	2	(16.7%)	8	(66.7%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(16.7%)	12	(100.0%)
豊見城中央病院	3	(8.8%)	26	(76.5%)	1	(2.9%)	1	(2.9%)	0	(0.0%)	3	(8.8%)	34	(100.0%)
県立宮古病院	0	(0.0%)	2	(50.0%)	2	(50.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	4	(100.0%)
県立八重山病院	8	(44.4%)	7	(38.9%)	3	(16.7%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	18	(100.0%)

施設別　UICC TNM 分類　術後ステージ別　登録数

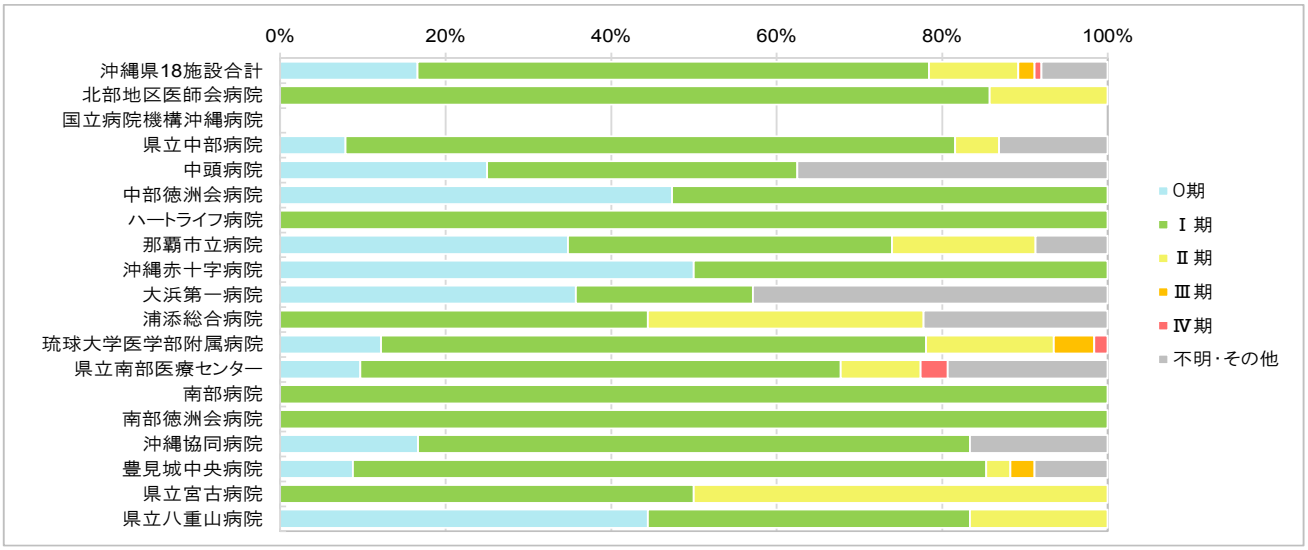
皮膚(悪性黒色腫含む)	0期		Ⅰ期		Ⅱ期		Ⅲ期		Ⅳ期		術前治療後		不明・その他		合計	
沖縄県18施設合計	55	(16.5%)	224	(67.3%)	40	(12.0%)	12	(3.6%)	1	(0.3%)	0	(0.0%)	1	(0.3%)	333	(100.0%)
北部地区医師会病院	0	(0.0%)	10	(83.3%)	2	(16.7%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	12	(100.0%)
国立病院機構沖縄病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
県立中部病院	3	(8.3%)	30	(83.3%)	3	(8.3%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	36	(100.0%)
中頭病院	2	(25.0%)	5	(62.5%)	1	(12.5%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	8	(100.0%)
中部徳洲会病院	6	(37.5%)	10	(62.5%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	16	(100.0%)
ハートライフ病院	0	(0.0%)	6	(100.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	6	(100.0%)
那覇市立病院	9	(39.1%)	10	(43.5%)	3	(13.0%)	1	(4.3%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	23	(100.0%)
沖縄赤十字病院	1	(33.3%)	2	(66.7%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(100.0%)
大浜第一病院	6	(42.9%)	7	(50.0%)	1	(7.1%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	14	(100.0%)
浦添総合病院	0	(0.0%)	7	(77.8%)	2	(22.2%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	9	(100.0%)
琉球大学医学部附属病院	15	(12.8%)	76	(65.0%)	17	(14.5%)	8	(6.8%)	1	(0.9%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	117	(100.0%)
県立南部医療センター・こども医療センター	1	(3.7%)	20	(74.1%)	6	(22.2%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	27	(100.0%)
南部病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
南部徳洲会病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
沖縄協同病院	1	(9.1%)	8	(72.7%)	1	(9.1%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(9.1%)	11	(100.0%)
豊見城中央病院	3	(9.4%)	28	(87.5%)	0	(0.0%)	1	(3.1%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	32	(100.0%)
県立宮古病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(50.0%)	1	(50.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(100.0%)
県立八重山病院	8	(47.1%)	5	(29.4%)	3	(17.6%)	1	(5.9%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	17	(100.0%)

施設別　UICC TNM 分類　総合ステージ別　登録数

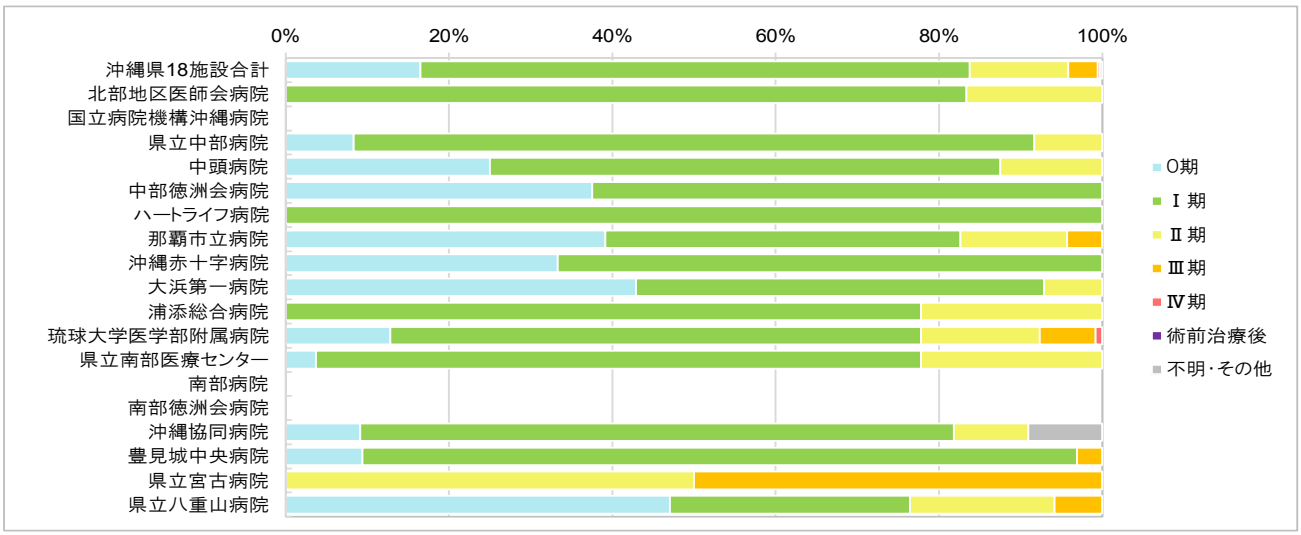
皮膚(悪性黒色腫含む)	0期		Ⅰ期		Ⅱ期		Ⅲ期		Ⅳ期		不明・その他		合計	
沖縄県18施設合計	60	(16.6%)	238	(65.9%)	42	(11.6%)	14	(3.9%)	4	(1.1%)	3	(0.8%)	361	(100.0%)
北部地区医師会病院	0	(0.0%)	12	(85.7%)	2	(14.3%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	14	(100.0%)
国立病院機構沖縄病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
県立中部病院	4	(10.5%)	31	(81.6%)	3	(7.9%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	38	(100.0%)
中頭病院	2	(25.0%)	5	(62.5%)	1	(12.5%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	8	(100.0%)
中部徳洲会病院	9	(47.4%)	10	(52.6%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	19	(100.0%)
ハートライフ病院	0	(0.0%)	8	(100.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	8	(100.0%)
那覇市立病院	9	(39.1%)	10	(43.5%)	3	(13.0%)	1	(4.3%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	23	(100.0%)
沖縄赤十字病院	2	(50.0%)	2	(50.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	4	(100.0%)
大浜第一病院	6	(42.9%)	7	(50.0%)	1	(7.1%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	14	(100.0%)
浦添総合病院	0	(0.0%)	7	(77.8%)	2	(22.2%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	9	(100.0%)
琉球大学医学部附属病院	15	(12.2%)	78	(63.4%)	17	(13.8%)	10	(8.1%)	3	(2.4%)	0	(0.0%)	123	(100.0%)
県立南部医療センター・こども医療センター	1	(3.2%)	22	(71.0%)	7	(22.6%)	0	(0.0%)	1	(3.2%)	0	(0.0%)	31	(100.0%)
南部病院	0	(0.0%)	1	(100.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(100.0%)
南部徳洲会病院	0	(0.0%)	1	(100.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(100.0%)
沖縄協同病院	1	(8.3%)	8	(66.7%)	1	(8.3%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(16.7%)	12	(100.0%)
豊見城中央病院	3	(8.8%)	28	(82.4%)	1	(2.9%)	1	(2.9%)	0	(0.0%)	1	(2.9%)	34	(100.0%)
県立宮古病院	0	(0.0%)	2	(50.0%)	1	(25.0%)	1	(25.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	4	(100.0%)
県立八重山病院	8	(44.4%)	6	(33.3%)	3	(16.7%)	1	(5.6%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	18	(100.0%)

こちらの集計対象は以下の条件を満たす登録である
1. 症例区分「20：自施設診断・自施設初回治療開始」「30：他施設診断・自施設初回治療開始」のみ集計
2.「癌腫」
3. 術後ステージの集計においては、上記「1」「2」に加えて「項目：体外的・鏡視下・内視鏡的治療の結果」の区分が原発巣切除例とする。

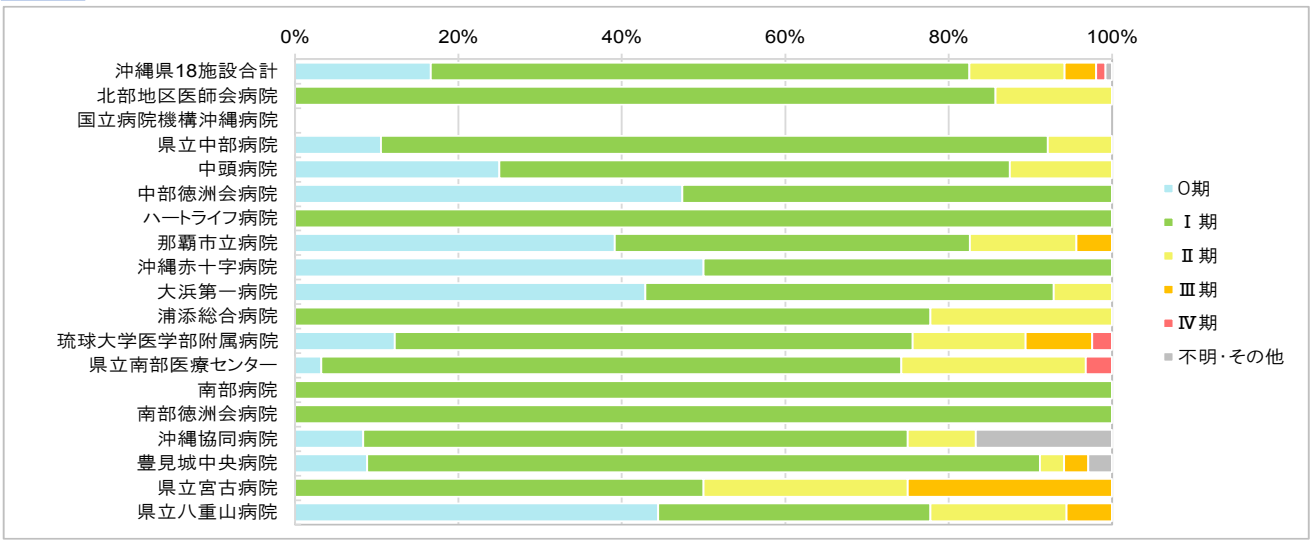
施設別　UICC TNM 分類　治療前ステージ別　登録割合



施設別　UICC TNM 分類　術後ステージ別　登録割合



施設別　UICC TNM 分類　総合ステージ別　登録割合



＊県立南部医療センター・こども医療センターを便宜上、「県立南部医療センター」と表記
こちらの集計対象は以下の条件を満たす登録である
1. 症例区分「20：自施設診断・自施設初回治療開始」「30：他施設診断・自施設初回治療開始」のみ集計
2.「癌腫」
3. 術後ステージの集計においては、上記「1」「2」に加えて「項目：外科的・鏡視下・内視鏡的治療の結果」の区分が原発巣切除例とする。

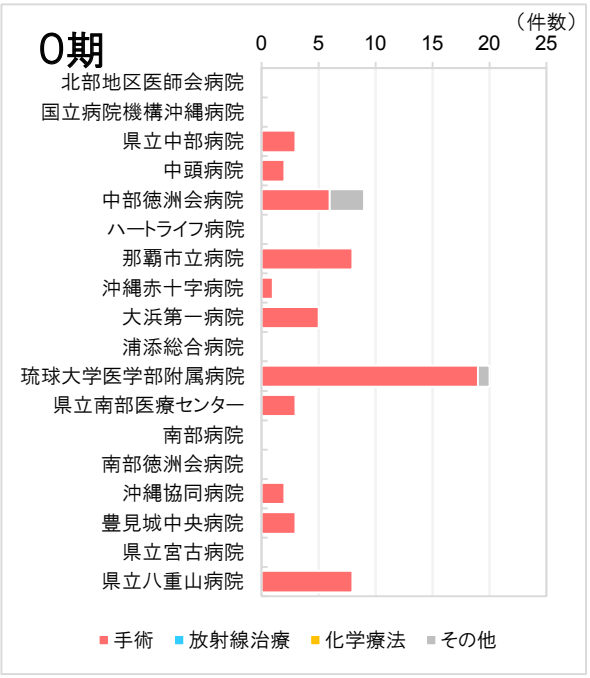
臨床医からのコメント

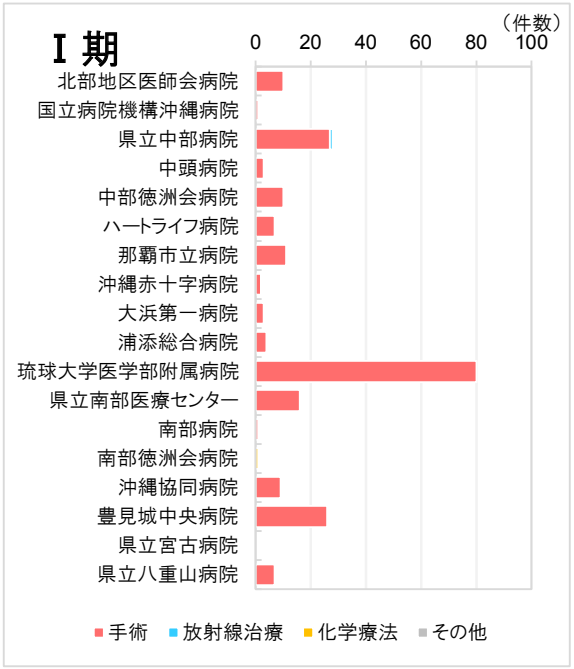
皮膚がんの中で多いものは基底細胞癌、有棘細胞癌である。どちらも紫外線への暴露が危険因子で、露出部に多く、紫外線の多い沖縄県は他県に比べてリスクが高い。

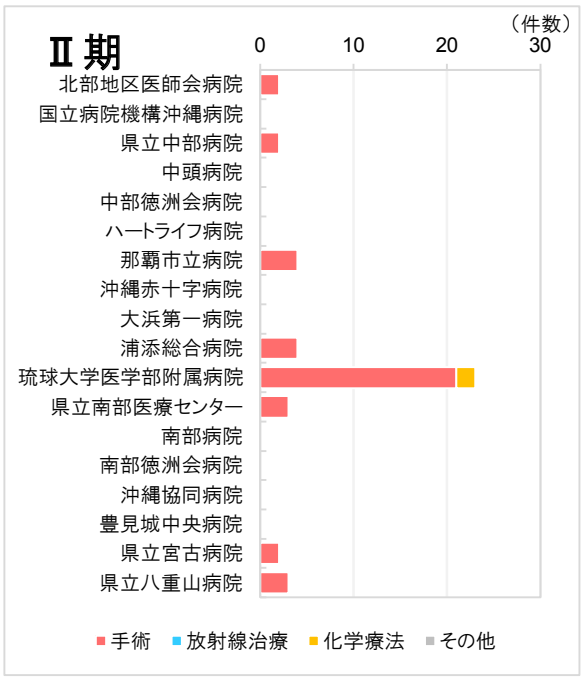
また他県と比較し沖縄県に多い皮膚がんとして血管肉腫とカポジ肉腫がある。比較的稀ながんで、悪性黒色腫などと比べ他科の医師では認知度が低く皮膚科医でなければ診断は難しい。

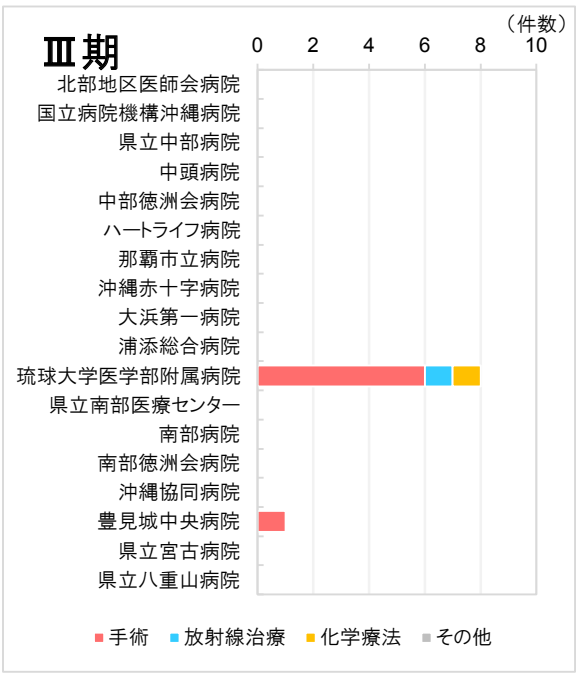
データからも読み取れるように、進行期のがんの治療は県内では琉球大学医学部附属病院などの限られた施設で行っている。これは悪性度の高い悪性黒色腫の病期分類にセンチネルリンパ節生検が必要であり、県内でセンチネルリンパ節生検が行える施設は琉大病院のみであることと、皮膚科専門医が常駐しており、(次のページにつづく→)

施設別　UICC TNM 分類　治療前ステージ別　治療の件数－０期～Ⅲ期









＊件数は延べ件数（手術と化学療法を組み合わせて行った場合は、どちらの項目でもカウントされる）
＊記載のない治療方法については巻末の集計表を参照
＊県立南部医療センター・こども医療センターを便宜上、「県立南部医療センター」と表記
こちらの集計対象は以下の条件を満たす登録である
1. 症例区分「20：自施設診断・自施設初回治療開始」「21：自施設診断・自施設初回治療継続」「30：他施設診断・自施設初回治療開始」「31：他施設診断・自施設初回治療継続」のみ集計
2.「癌腫」

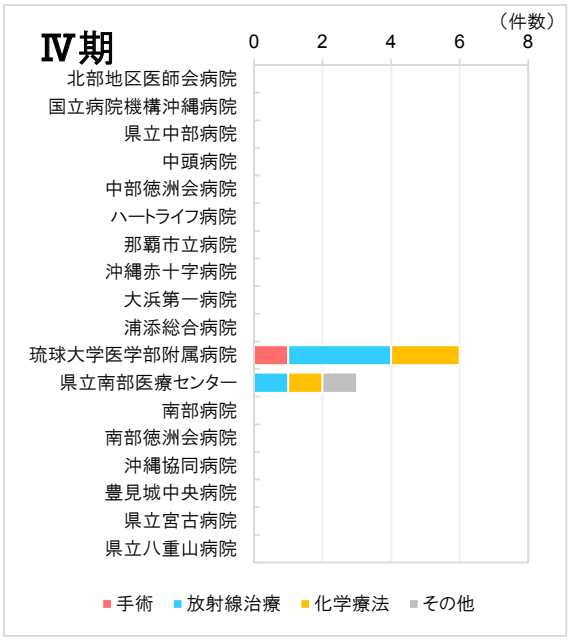
臨床医からのコメント

集学的治療が行える基幹施設が南部医療センター、那覇市立病院と限られているためである。沖縄県の皮膚がん診療は開業医などの皮膚科医の診察により皮膚がんが疑われたり、診断されれば、その治療が行える施設で治療を行うようになっている。

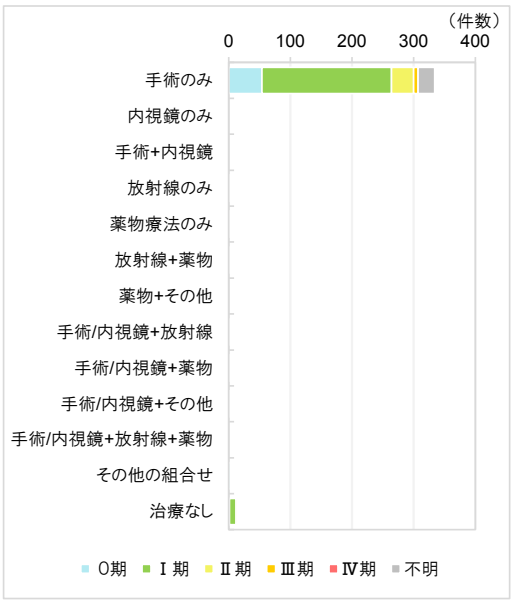
皮膚がんは露出部などみえるところに発生するので他のがんと比較して早期に発見しやすい。がんは早期ほど根治が可能であり、早期に皮膚科専門医を受診すれば診断、根治が期待できる。早めの皮膚科受診で早期発見に努めて欲しい。

新嘉喜　長（琉球大学医学部附属病院　皮膚科　助教）

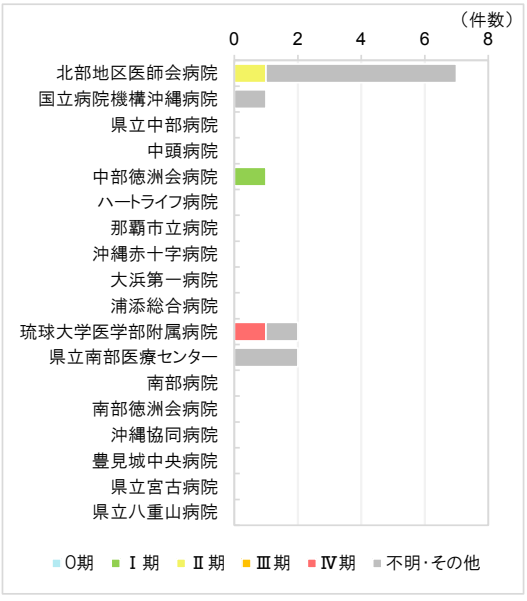
施設別　UICC TNM 分類　治療前ステージ別　治療の件数－Ⅳ期



UICC TNM 分類　治療前ステージ別 初回治療の組み合わせ別（他施設での治療を含む）　登録数



施設別　UICC TNM 分類　治療前ステージ別 初回治療終了後の受け入れ　登録数



＊県立南部医療センター・こども医療センターを便宜上、「県立南部医療センター」と表記
こちらの集計対象は以下の条件を満たす登録である
1. 症例区分「20：自施設診断・自施設初回治療開始」「21：自施設診断・自施設初回治療継続」「30：他施設診断・自施設初回治療開始」「31：他施設診断・自施設初回治療継続」のみ集計（初回治療終了後の受け入れ登録数は、症例区分「40：初回治療終了後」のみ集計）
2.「癌腫」

乳房 (C50)

データを見ると

18 施設の乳がん登録数は 1,262 件（2018 年）で、前年の登録数とほぼ同数でした。

男女別の登録割合（2018 年）は、男性 0.2%、女性 99.8%と、年次推移は横ばい傾向でした。

年齢階級別登録割合の年次推移をみると、いずれの年も 60 ～ 69 歳にピークを認め、40 ～ 49 歳の若年層も全体の約 2 割を占めていました。

登録数を施設別にみると、件数の多い上位 3 施設は、中頭病院 196 件、那覇市立病院 166 件、浦添総合病院 135 件でした。

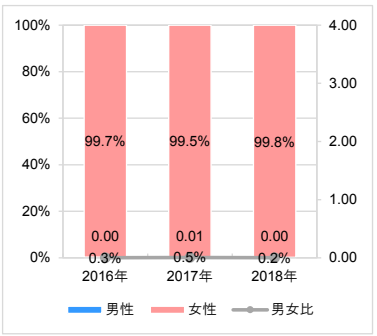
18 施設の治療前ステージ別登録数の 0 期＋Ⅰ期の割合（54.1%）は、全国の 0 期＋Ⅰ期の割合（56.3%）と比べ、2.2%下回っていました。また、Ⅲ期＋Ⅳ期の割合（14.6%）は、全国の割合（12.3%）と比べ、2.3%上回っていましたが、大きな違いはみられませんでした。

施設別　登録数の推移

乳房	2014年		2015年		2016年		2017年		2018年	
沖縄県18施設合計	1,140	(100.0%)	1,375	(100.0%)	1,349	(100.0%)	1,286	(100.0%)	1,262	(100.0%)
北部地区医師会病院	38	(3.3%)	58	(4.2%)	52	(3.9%)	56	(4.4%)	54	(4.3%)
国立病院機構沖縄病院	24	(2.1%)	38	(2.8%)	44	(3.3%)	21	(1.6%)	9	(0.7%)
県立中部病院	140	(12.3%)	158	(11.5%)	203	(15.0%)	90	(7.0%)	84	(6.7%)
中頭病院	180	(15.8%)	245	(17.8%)	199	(14.8%)	205	(15.9%)	196	(15.5%)
中部徳洲会病院	36	(3.2%)	38	(2.8%)	65	(4.8%)	54	(4.2%)	46	(3.6%)
ハートライフ病院	49	(4.3%)	61	(4.4%)	62	(4.6%)	60	(4.7%)	67	(5.3%)
那覇市立病院	178	(15.6%)	153	(11.1%)	185	(13.7%)	206	(16.0%)	166	(13.2%)
沖縄赤十字病院	114	(10.0%)	132	(9.6%)	102	(7.6%)	104	(8.1%)	124	(9.8%)
大浜第一病院	--	--	--	--	2	(0.1%)	0	(0.0%)	9	(0.7%)
浦添総合病院	122	(10.7%)	153	(11.1%)	123	(9.1%)	150	(11.7%)	135	(10.7%)
琉球大学医学部附属病院	70	(6.1%)	92	(6.7%)	104	(7.7%)	84	(6.5%)	84	(6.7%)
県立南部医療センター・こども医療センター	44	(3.9%)	23	(1.7%)	23	(1.7%)	75	(5.8%)	81	(6.4%)
南部病院	3	(0.3%)	17	(1.2%)	21	(1.6%)	16	(1.2%)	16	(1.3%)
南部徳洲会病院	32	(2.8%)	45	(3.3%)	52	(3.9%)	48	(3.7%)	54	(4.3%)
沖縄協同病院	36	(3.2%)	45	(3.3%)	25	(1.9%)	23	(1.8%)	36	(2.9%)
豊見城中央病院	49	(4.3%)	75	(5.5%)	61	(4.5%)	59	(4.6%)	72	(5.7%)
県立宮古病院	18	(1.6%)	29	(2.1%)	17	(1.3%)	18	(1.4%)	22	(1.7%)
県立八重山病院	7	(0.6%)	13	(0.9%)	9	(0.7%)	17	(1.3%)	7	(0.6%)

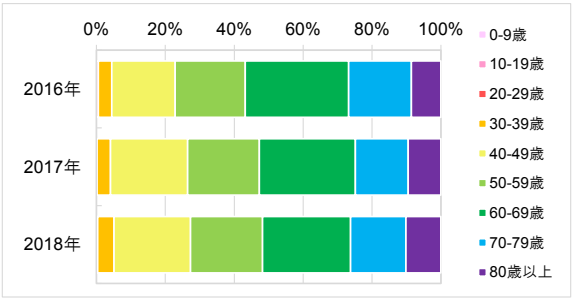
男女別　登録割合の推移

乳房	2016年		2017年		2018年	
男性	4	(0.3%)	7	(0.5%)	3	(0.2%)
女性	1,345	(99.7%)	1,279	(99.5%)	1,259	(99.8%)
男女比		0.00		0.01		0.00
合計	1,349	(100.0%)	1,286	(100.0%)	1,262	(100.0%)



年齢階級別　登録数と登録割合の推移

乳房	2016年		2017年		2018年	
合計	1,349	(100.0%)	1,286	(100.0%)	1,262	(100.0%)
0-9歳	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
10-19歳	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
20-29歳	8	(0.6%)	2	(0.2%)	5	(0.4%)
30-39歳	52	(3.9%)	50	(3.9%)	59	(4.7%)
40-49歳	248	(18.4%)	289	(22.5%)	281	(22.3%)
50-59歳	275	(20.4%)	267	(20.8%)	264	(20.9%)
60-69歳	405	(30.0%)	358	(27.8%)	322	(25.5%)
70-79歳	245	(18.2%)	198	(15.4%)	203	(16.1%)
80歳以上	116	(8.6%)	122	(9.5%)	128	(10.1%)

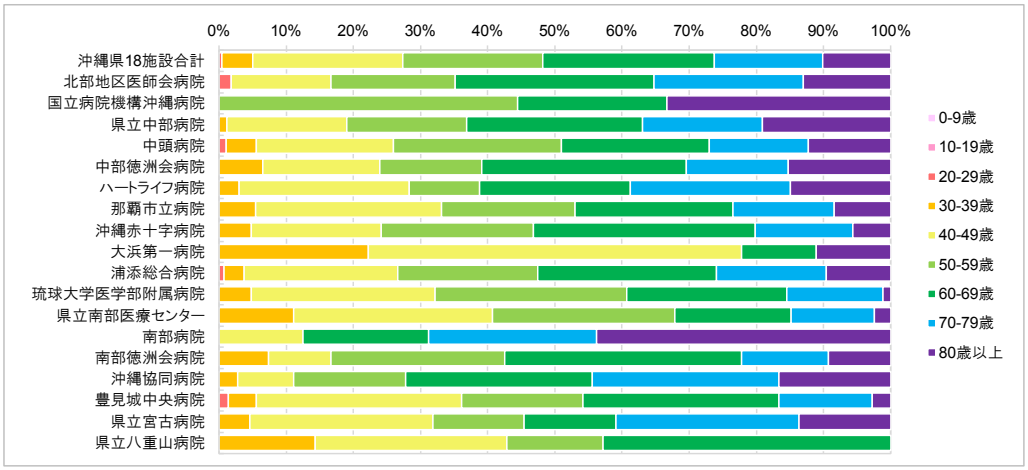


＊症例区分「80：その他」を除いて集計

＊男女別登録割合の「男女比」は、女性を 1 としたときの男性の比率

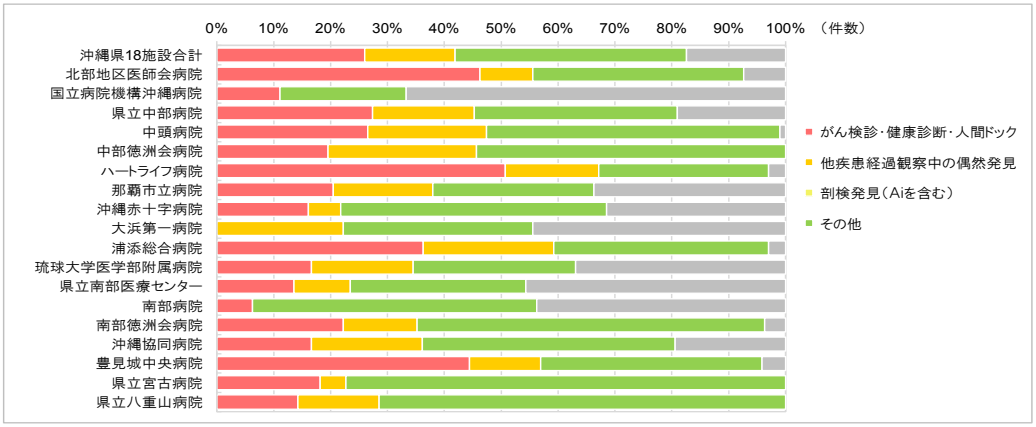
施設別　年齢階級別　登録数と登録割合

乳房	0-9歳		10-19歳		20-29歳		30-39歳		40-49歳		50-59歳		60-69歳		70-79歳		80歳以上		合計	
沖縄県18施設合計	0	(0.0%)	0	(0.0%)	5	(0.4%)	59	(4.7%)	281	(22.3%)	264	(20.9%)	322	(25.5%)	203	(16.1%)	128	(10.1%)	1,262	(100.0%)
北部地区医師会病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(1.9%)	0	(0.0%)	8	(14.8%)	10	(18.5%)	16	(29.6%)	12	(22.2%)	7	(13.0%)	54	(100.0%)
国立病院機構沖縄病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	4	(44.4%)	2	(22.2%)	0	(0.0%)	3	(33.3%)	9	(100.0%)
県立中部病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(1.2%)	15	(17.9%)	15	(17.9%)	22	(26.2%)	15	(17.9%)	16	(19.0%)	84	(100.0%)
中頭病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(1.0%)	9	(4.6%)	40	(20.4%)	49	(25.0%)	43	(21.9%)	29	(14.8%)	24	(12.2%)	196	(100.0%)
中部徳洲会病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(6.5%)	8	(17.4%)	7	(15.2%)	14	(30.4%)	7	(15.2%)	7	(15.2%)	46	(100.0%)
ハートライフ病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(3.0%)	17	(25.4%)	7	(10.4%)	15	(22.4%)	16	(23.9%)	10	(14.9%)	67	(100.0%)
那覇市立病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	9	(5.4%)	46	(27.7%)	33	(19.9%)	39	(23.5%)	25	(15.1%)	14	(8.4%)	166	(100.0%)
沖縄赤十字病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	6	(4.8%)	24	(19.4%)	28	(22.6%)	41	(33.1%)	18	(14.5%)	7	(5.6%)	124	(100.0%)
大浜第一病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(22.2%)	5	(55.6%)	0	(0.0%)	1	(11.1%)	0	(0.0%)	1	(11.1%)	9	(100.0%)
浦添総合病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(0.7%)	4	(3.0%)	31	(23.0%)	28	(20.7%)	36	(26.7%)	22	(16.3%)	13	(9.6%)	135	(100.0%)
琉球大学医学部附属病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	4	(4.8%)	23	(27.4%)	24	(28.6%)	20	(23.8%)	12	(14.3%)	1	(1.2%)	84	(100.0%)
県立南部医療センター・こども医療センター	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	9	(11.1%)	24	(29.6%)	22	(27.2%)	14	(17.3%)	10	(12.3%)	2	(2.5%)	81	(100.0%)
南部病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(12.5%)	0	(0.0%)	3	(18.8%)	4	(25.0%)	7	(43.8%)	16	(100.0%)
南部徳洲会病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	4	(7.4%)	5	(9.3%)	14	(25.9%)	19	(35.2%)	7	(13.0%)	5	(9.3%)	54	(100.0%)
沖縄協同病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(2.8%)	3	(8.3%)	6	(16.7%)	10	(27.8%)	10	(27.8%)	6	(16.7%)	36	(100.0%)
豊見城中央病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(1.4%)	3	(4.2%)	22	(30.6%)	13	(18.1%)	21	(29.2%)	10	(13.9%)	2	(2.8%)	72	(100.0%)
県立宮古病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(4.5%)	6	(27.3%)	3	(13.6%)	3	(13.6%)	6	(27.3%)	3	(13.6%)	22	(100.0%)
県立八重山病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(14.3%)	2	(28.6%)	1	(14.3%)	3	(42.9%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	7	(100.0%)



施設別　発見経緯別　登録数と登録割合

乳房	がん検診・健康診断・人間ドック		他疾患経過観察中の偶然発見		剖検発見（Aiを含む）		その他		不明		合計	
沖縄県18施設合計	328	(26.0%)	201	(15.9%)	0	(0.0%)	513	(40.6%)	220	(17.4%)	1,262	(100.0%)
北部地区医師会病院	25	(46.3%)	5	(9.3%)	0	(0.0%)	20	(37.0%)	4	(7.4%)	54	(100.0%)
国立病院機構沖縄病院	1	(11.1%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(22.2%)	6	(66.7%)	9	(100.0%)
県立中部病院	23	(27.4%)	15	(17.9%)	0	(0.0%)	30	(35.7%)	16	(19.0%)	84	(100.0%)
中頭病院	52	(26.5%)	41	(20.9%)	0	(0.0%)	101	(51.5%)	2	(1.0%)	196	(100.0%)
中部徳洲会病院	9	(19.6%)	12	(26.1%)	0	(0.0%)	25	(54.3%)	0	(0.0%)	46	(100.0%)
ハートライフ病院	34	(50.7%)	11	(16.4%)	0	(0.0%)	20	(29.9%)	2	(3.0%)	67	(100.0%)
那覇市立病院	34	(20.5%)	29	(17.5%)	0	(0.0%)	47	(28.3%)	56	(33.7%)	166	(100.0%)
沖縄赤十字病院	20	(16.1%)	7	(5.6%)	0	(0.0%)	58	(46.8%)	39	(31.5%)	124	(100.0%)
大浜第一病院	0	(0.0%)	2	(22.2%)	0	(0.0%)	3	(33.3%)	4	(44.4%)	9	(100.0%)
浦添総合病院	49	(36.3%)	31	(23.0%)	0	(0.0%)	51	(37.8%)	4	(3.0%)	135	(100.0%)
琉球大学医学部附属病院	14	(16.7%)	15	(17.9%)	0	(0.0%)	24	(28.6%)	31	(36.9%)	84	(100.0%)
県立南部医療センター・こども医療センター	11	(13.6%)	8	(9.9%)	0	(0.0%)	25	(30.9%)	37	(45.7%)	81	(100.0%)
南部病院	1	(6.3%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	8	(50.0%)	7	(43.8%)	16	(100.0%)
南部徳洲会病院	12	(22.2%)	7	(13.0%)	0	(0.0%)	33	(61.1%)	2	(3.7%)	54	(100.0%)
沖縄協同病院	6	(16.7%)	7	(19.4%)	0	(0.0%)	16	(44.4%)	7	(19.4%)	36	(100.0%)
豊見城中央病院	32	(44.4%)	9	(12.5%)	0	(0.0%)	28	(38.9%)	3	(4.2%)	72	(100.0%)
県立宮古病院	4	(18.2%)	1	(4.5%)	0	(0.0%)	17	(77.3%)	0	(0.0%)	22	(100.0%)
県立八重山病院	1	(14.3%)	1	(14.3%)	0	(0.0%)	5	(71.4%)	0	(0.0%)	7	(100.0%)



＊症例区分「80：その他」を除いて集計
＊県立南部医療センター・こども医療センターを便宜上、「県立南部医療センター」と表記

施設別　UICC TNM 分類　治療前ステージ別　登録数

乳房	0期		Ⅰ期		Ⅱ期		Ⅲ期		Ⅳ期		不明・その他		合計	
全国(2017年症例)	11,261	(15.2%)	30,490	(41.1%)	21,991	(29.6%)	5,238	(7.1%)	3,880	(5.2%)	1,329	(1.8%)	74,189	(100.0%)
沖縄県18施設合計	92	(13.5%)	277	(40.6%)	190	(27.9%)	50	(7.3%)	50	(7.3%)	23	(3.4%)	682	(100.0%)
北部地区医師会病院	4	(13.3%)	10	(33.3%)	12	(40.0%)	2	(6.7%)	2	(6.7%)	0	(0.0%)	30	(100.0%)
国立病院機構沖縄病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
県立中部病院	11	(22.9%)	11	(22.9%)	18	(37.5%)	6	(12.5%)	2	(4.2%)	0	(0.0%)	48	(100.0%)
中頭病院	26	(14.4%)	76	(42.2%)	50	(27.8%)	8	(4.4%)	9	(5.0%)	11	(6.1%)	180	(100.0%)
中部徳洲会病院	1	(2.7%)	18	(48.6%)	11	(29.7%)	4	(10.8%)	3	(8.1%)	0	(0.0%)	37	(100.0%)
ハートライフ病院	9	(14.5%)	30	(48.4%)	19	(30.6%)	0	(0.0%)	4	(6.5%)	0	(0.0%)	62	(100.0%)
那覇市立病院	10	(13.5%)	28	(37.8%)	19	(25.7%)	8	(10.8%)	7	(9.5%)	2	(2.7%)	74	(100.0%)
沖縄赤十字病院	3	(7.7%)	17	(43.6%)	10	(25.6%)	2	(5.1%)	3	(7.7%)	4	(10.3%)	39	(100.0%)
大浜第一病院	0	(0.0%)	1	(25.0%)	2	(50.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(25.0%)	4	(100.0%)
浦添総合病院	18	(30.5%)	17	(28.8%)	14	(23.7%)	5	(8.5%)	3	(5.1%)	2	(3.4%)	59	(100.0%)
琉球大学医学部附属病院	4	(11.1%)	12	(33.3%)	10	(27.8%)	6	(16.7%)	3	(8.3%)	1	(2.8%)	36	(100.0%)
県立南部医療センター・こども医療センター	0	(0.0%)	2	(16.7%)	6	(50.0%)	0	(0.0%)	3	(25.0%)	1	(8.3%)	12	(100.0%)
南部病院	1	(100.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(100.0%)
南部徳洲会病院	0	(0.0%)	2	(33.3%)	3	(50.0%)	0	(0.0%)	1	(16.7%)	0	(0.0%)	6	(100.0%)
沖縄協同病院	3	(11.5%)	14	(53.8%)	4	(15.4%)	3	(11.5%)	2	(7.7%)	0	(0.0%)	26	(100.0%)
豊見城中央病院	2	(3.7%)	33	(61.1%)	8	(14.8%)	3	(5.6%)	7	(13.0%)	1	(1.9%)	54	(100.0%)
県立宮古病院	0	(0.0%)	6	(42.9%)	4	(28.6%)	3	(21.4%)	1	(7.1%)	0	(0.0%)	14	(100.0%)
県立八重山病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)

施設別　UICC TNM 分類　術後ステージ別　登録数

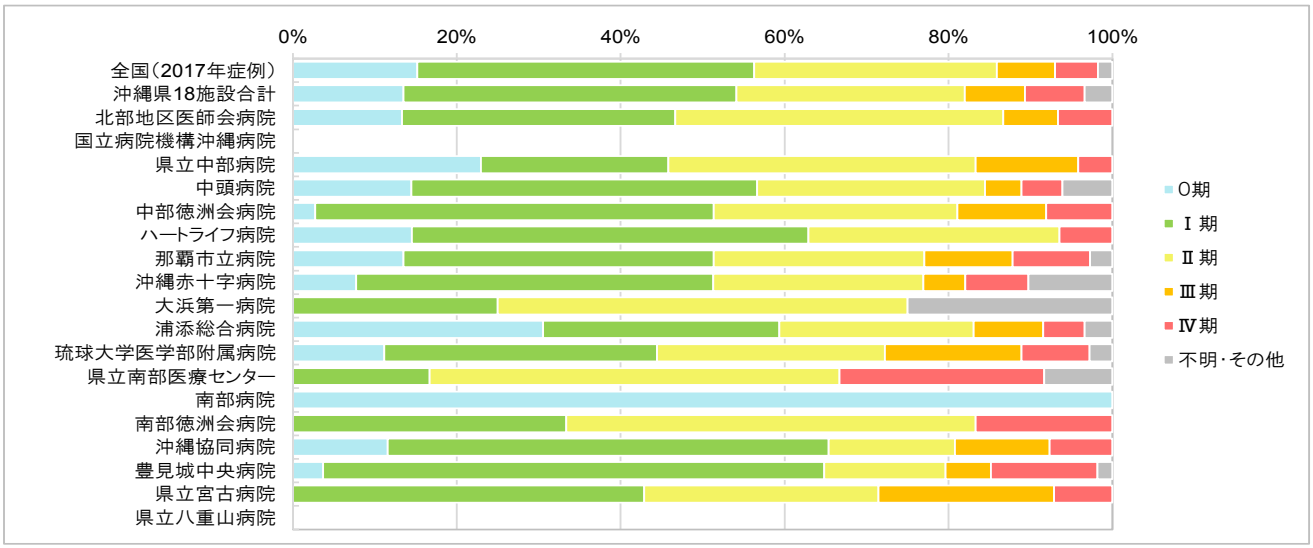
乳房	0期		Ⅰ期		Ⅱ期		Ⅲ期		Ⅳ期		術前治療後		不明・その他		合計	
全国(2017年症例)	9,604	(14.9%)	27,915	(43.3%)	15,687	(24.3%)	3,937	(6.1%)	251	(0.4%)	6,924	(10.7%)	178	(0.3%)	64,496	(100.0%)
沖縄県18施設合計	63	(11.7%)	191	(35.4%)	86	(15.9%)	25	(4.6%)	0	(0.0%)	175	(32.4%)	0	(0.0%)	540	(100.0%)
北部地区医師会病院	2	(8.7%)	10	(43.5%)	4	(17.4%)	2	(8.7%)	0	(0.0%)	5	(21.7%)	0	(0.0%)	23	(100.0%)
国立病院機構沖縄病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
県立中部病院	7	(21.9%)	9	(28.1%)	10	(31.3%)	3	(9.4%)	0	(0.0%)	3	(9.4%)	0	(0.0%)	32	(100.0%)
中頭病院	20	(12.8%)	27	(17.3%)	16	(10.3%)	2	(1.3%)	0	(0.0%)	91	(58.3%)	0	(0.0%)	156	(100.0%)
中部徳洲会病院	1	(3.2%)	17	(54.8%)	9	(29.0%)	4	(12.9%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	31	(100.0%)
ハートライフ病院	4	(7.3%)	20	(36.4%)	9	(16.4%)	1	(1.8%)	0	(0.0%)	21	(38.2%)	0	(0.0%)	55	(100.0%)
那覇市立病院	5	(9.8%)	25	(49.0%)	11	(21.6%)	3	(5.9%)	0	(0.0%)	7	(13.7%)	0	(0.0%)	51	(100.0%)
沖縄赤十字病院	6	(19.4%)	13	(41.9%)	6	(19.4%)	5	(16.1%)	0	(0.0%)	1	(3.2%)	0	(0.0%)	31	(100.0%)
大浜第一病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(100.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(100.0%)
浦添総合病院	14	(26.9%)	19	(36.5%)	2	(3.8%)	1	(1.9%)	0	(0.0%)	16	(30.8%)	0	(0.0%)	52	(100.0%)
琉球大学医学部附属病院	2	(6.7%)	10	(33.3%)	7	(23.3%)	1	(3.3%)	0	(0.0%)	10	(33.3%)	0	(0.0%)	30	(100.0%)
県立南部医療センター・こども医療センター	0	(0.0%)	4	(50.0%)	4	(50.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	8	(100.0%)
南部病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
南部徳洲会病院	0	(0.0%)	1	(50.0%)	1	(50.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(100.0%)
沖縄協同病院	2	(9.5%)	10	(47.6%)	5	(23.8%)	1	(4.8%)	0	(0.0%)	3	(14.3%)	0	(0.0%)	21	(100.0%)
豊見城中央病院	0	(0.0%)	20	(55.6%)	0	(0.0%)	1	(2.8%)	0	(0.0%)	15	(41.7%)	0	(0.0%)	36	(100.0%)
県立宮古病院	0	(0.0%)	6	(54.5%)	1	(9.1%)	1	(9.1%)	0	(0.0%)	3	(27.3%)	0	(0.0%)	11	(100.0%)
県立八重山病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)

施設別　UICC TNM 分類　総合ステージ別　登録数

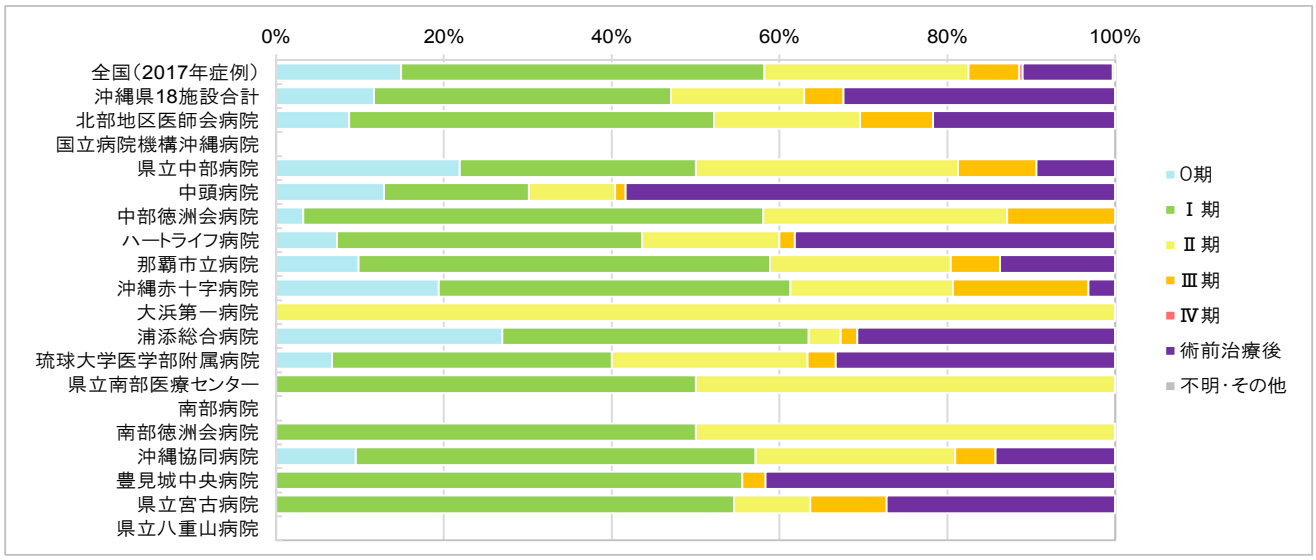
乳房	0期		Ⅰ期		Ⅱ期		Ⅲ期		Ⅳ期		不明・その他		合計	
沖縄県18施設合計	84	(12.3%)	291	(42.7%)	184	(27.0%)	65	(9.5%)	51	(7.5%)	7	(1.0%)	682	(100.0%)
北部地区医師会病院	4	(13.3%)	11	(36.7%)	10	(33.3%)	3	(10.0%)	2	(6.7%)	0	(0.0%)	30	(100.0%)
国立病院機構沖縄病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
県立中部病院	9	(18.8%)	12	(25.0%)	16	(33.3%)	8	(16.7%)	3	(6.3%)	0	(0.0%)	48	(100.0%)
中頭病院	24	(13.3%)	77	(42.8%)	57	(31.7%)	9	(5.0%)	9	(5.0%)	4	(2.2%)	180	(100.0%)
中部徳洲会病院	2	(5.4%)	18	(48.6%)	9	(24.3%)	5	(13.5%)	3	(8.1%)	0	(0.0%)	37	(100.0%)
ハートライフ病院	7	(11.3%)	30	(48.4%)	20	(32.3%)	1	(1.6%)	4	(6.5%)	0	(0.0%)	62	(100.0%)
那覇市立病院	10	(13.5%)	30	(40.5%)	16	(21.6%)	11	(14.9%)	7	(9.5%)	0	(0.0%)	74	(100.0%)
沖縄赤十字病院	7	(17.9%)	14	(35.9%)	8	(20.5%)	6	(15.4%)	3	(7.7%)	1	(2.6%)	39	(100.0%)
大浜第一病院	0	(0.0%)	1	(25.0%)	2	(50.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(25.0%)	4	(100.0%)
浦添総合病院	14	(23.7%)	24	(40.7%)	12	(20.3%)	6	(10.2%)	3	(5.1%)	0	(0.0%)	59	(100.0%)
琉球大学医学部附属病院	2	(5.6%)	16	(44.4%)	10	(27.8%)	5	(13.9%)	3	(8.3%)	0	(0.0%)	36	(100.0%)
県立南部医療センター・こども医療センター	0	(0.0%)	4	(33.3%)	5	(41.7%)	0	(0.0%)	3	(25.0%)	0	(0.0%)	12	(100.0%)
南部病院	1	(100.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(100.0%)
南部徳洲会病院	0	(0.0%)	2	(33.3%)	3	(50.0%)	0	(0.0%)	1	(16.7%)	0	(0.0%)	6	(100.0%)
沖縄協同病院	2	(7.7%)	11	(42.3%)	7	(26.9%)	4	(15.4%)	2	(7.7%)	0	(0.0%)	26	(100.0%)
豊見城中央病院	2	(3.7%)	34	(63.0%)	7	(13.0%)	3	(5.6%)	7	(13.0%)	1	(1.9%)	54	(100.0%)
県立宮古病院	0	(0.0%)	7	(50.0%)	2	(14.3%)	4	(28.6%)	1	(7.1%)	0	(0.0%)	14	(100.0%)
県立八重山病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)

こちらの集計対象は以下の条件を満たす登録である
1. 症例区分「20：自施設診断・自施設初回治療開始」「30：他施設診断・自施設初回治療開始」のみ集計
2.「癌腫」
3. 術後ステージの集計においては、上記「1」「2」に加えて「項目：外科的・鏡視下・内視鏡的治療の結果」の区分が原発巣切除例とする。

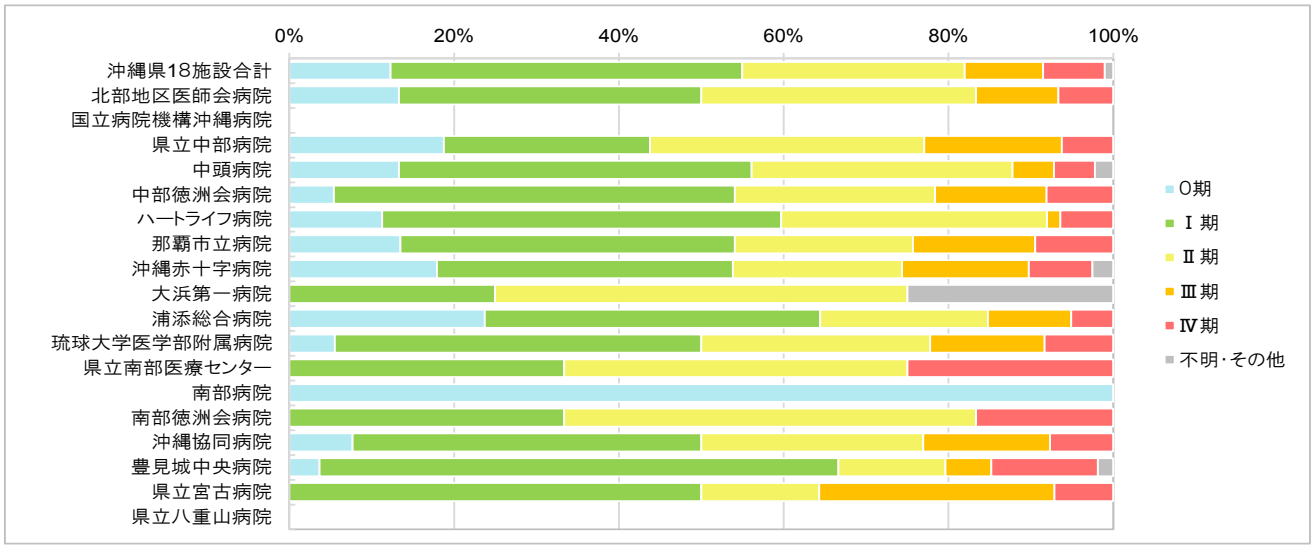
施設別　UICC TNM 分類　治療前ステージ別　登録割合



施設別　UICC TNM 分類　術後ステージ別　登録割合



施設別　UICC TNM 分類　総合ステージ別　登録割合



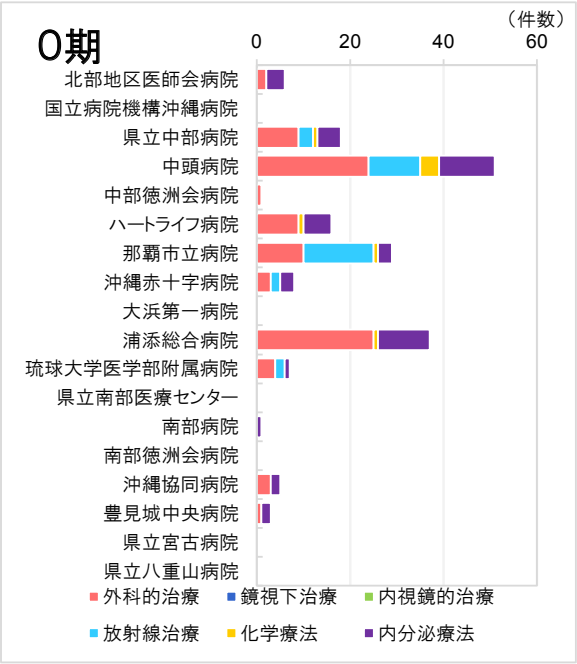
＊県立南部医療センター・こども医療センターを便宜上、「県立南部医療センター」と表記
こちらの集計対象は以下の条件を満たす登録である
1. 症例区分「20：自施設診断・自施設初回治療開始」「30：他施設診断・自施設初回治療開始」のみ集計
2.「癌腫」
3. 術後ステージの集計においては、上記「1」「2」に加えて「項目：外科的・鏡視下・内視鏡的治療の結果」の区分が原発巣切除例とする。

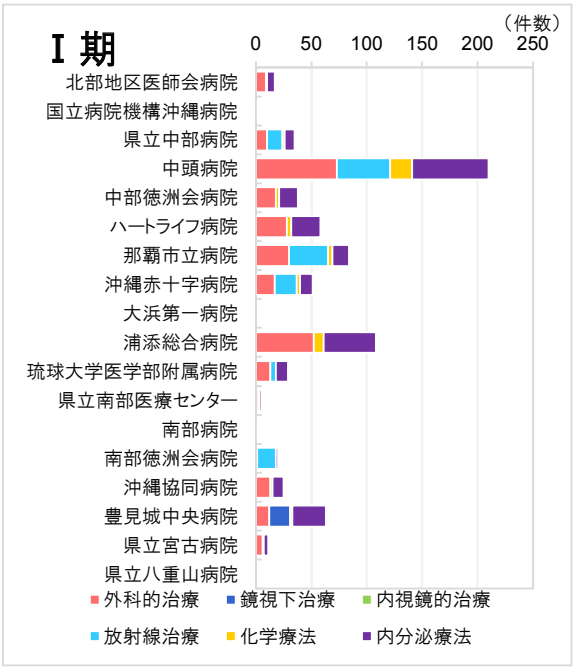
臨床医からのコメント

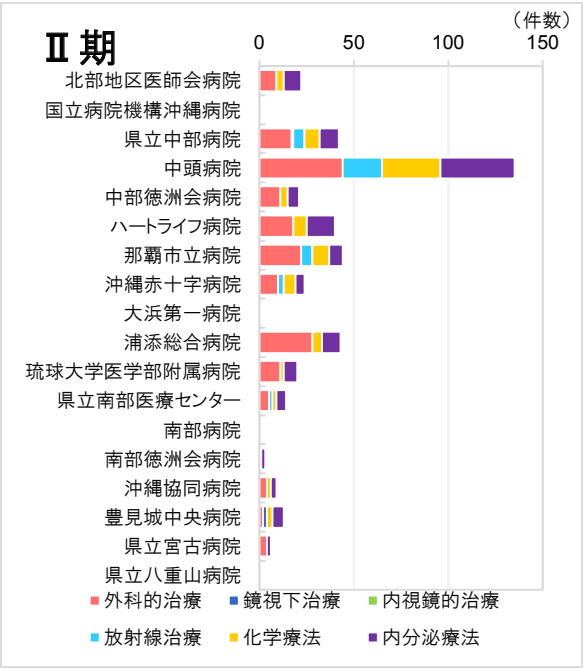
乳癌は日本人女性のがんの罹患率のトップを占め、2016 年の全国乳がん患者登録調査報告によると全国で年間約 9 万 5 千人余り、また県内では 1 千人余りの患者さんが罹患されており、将来予測は緩やかに増加からほぼ横ばいになることが見込まれています。

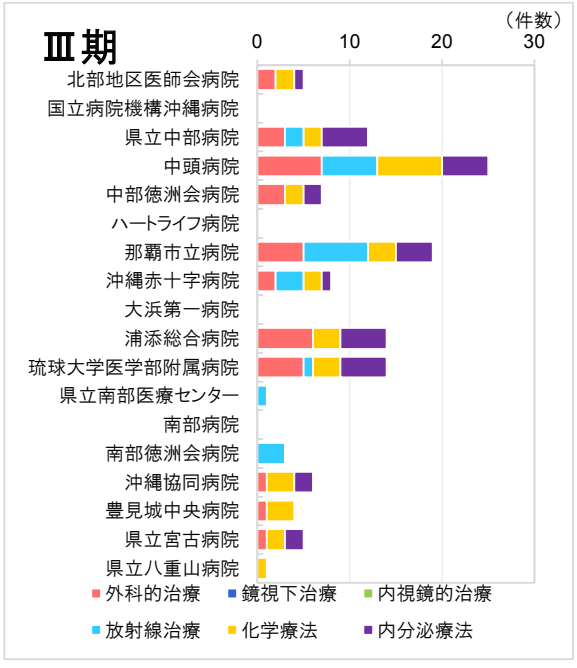
この沖縄県院内がん登録集計報告書は県内のがん治療の状況や推移の把握、将来予測を行うにあたって重要な資料となりますが、乳癌領域のデータを解釈するにあたっては、他の領域にはない問題点があります。1 つ目は県内で最も症例数の多い乳癌専門クリニックのデータが入っていないことです。全国がん登録（25 項目）は法律で義務化されていますが、院内がん登録（約 100 項目）は義務ではなく、また登録にかかる労力も大きいため人員的な問題も影響していると推察されます。2 つ目は乳癌の術式の多くを占める乳房温存手術を行った症例において、手術を行った施設と術後の温存乳房への放射線照射を行った施設が異なるケースが一定数存在し、（次のページにつづく→）こ

施設別　UICC TNM 分類　治療前ステージ別　治療の件数－ 0 期～Ⅲ期









＊件数は延べ件数（手術と化学療法を組み合わせて行った場合は、どちらの項目でもカウントされる）
＊記載のない治療方法については巻末の集計表を参照
＊県立南部医療センター・こども医療センターを便宜上、「県立南部医療センター」と表記
こちらの集計対象は以下の条件を満たす登録である
1. 症例区分「20：自施設診断・自施設初回治療開始」「21：自施設診断・自施設初回治療継続」「30：他施設診断・自施設初回治療開始」「31：他施設診断・自施設初回治療継続」のみ集計
2.「癌腫」

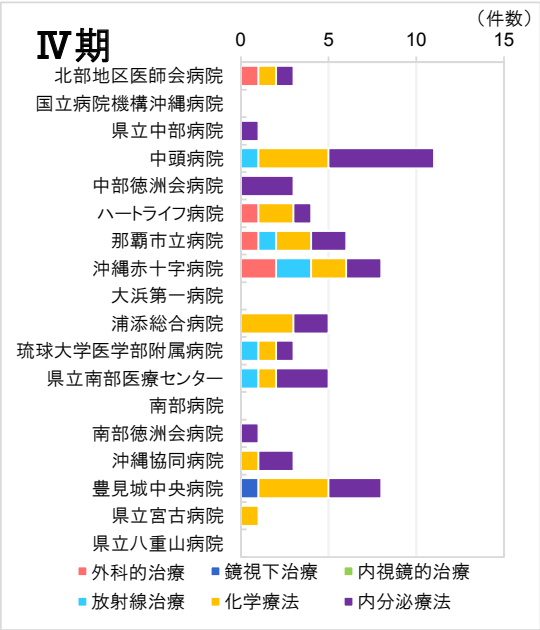
臨床医からのコメント

れがそれぞれの施設でダブルカウントされているという点です。「治療前ステージ別 初回治療の組み合わせ・・」のデータにもあるように乳がん治療は手術、薬物療法、放射線療法を複合的に行うケースが大半ですので、症例数の見せ方に多少工夫が必要と思われます。その様な中で「治療前ステージ別治療の件数―0 期～Ⅲ期」の項目の外科的治療のグラフで登録 18 施設の手術件数は把握できるようになりました。

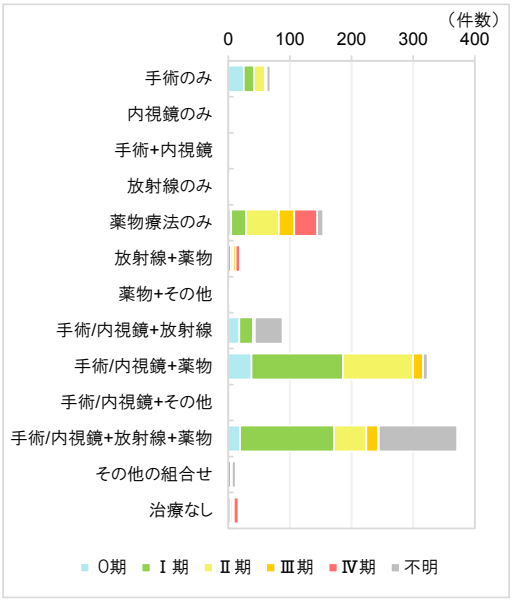
今後この報告書では是非この 2 つの問題に取り組んでいただき、患者さんには納得できる治療を受けるための医療機関選択の一助となる様に、また医療者には県内の乳癌診療の正確な現状把握と診療の質向上のための資料として、さらに行政にはがん対策の計画立案に生かせるデータ源として活用される様、更に信頼性の高いものにしていただけると幸いです。

藏下　要（浦添総合病院　副院長 / 乳腺センター長）

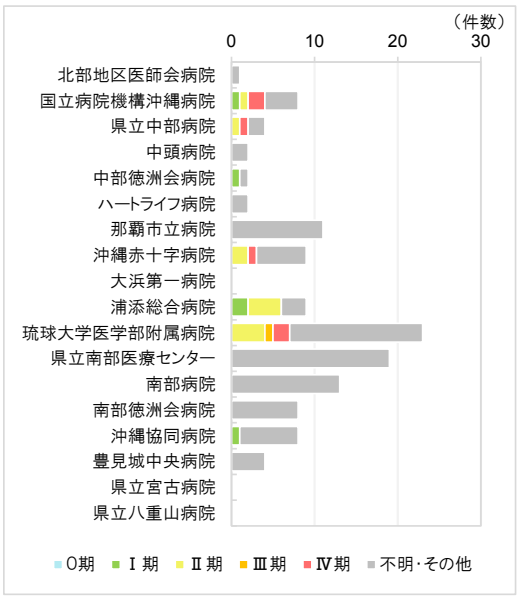
施設別　UICC TNM 分類　治療前ステージ別　治療の件数－Ⅳ期



UICC TNM 分類　治療前ステージ別 初回治療の組み合わせ別（他施設での治療を含む）　登録数



施設別　UICC TNM 分類　治療前ステージ別 初回治療終了後の受け入れ　登録数



＊県立南部医療センター・こども医療センターを便宜上、「県立南部医療センター」と表記
こちらの集計対象は以下の条件を満たす登録である
1. 症例区分「20：自施設診断・自施設初回治療開始」「21：自施設診断・自施設初回治療継続」「30：他施設診断・自施設初回治療開始」「31：他施設診断・自施設初回治療継続」のみ集計（初回治療終了後の受け入れ登録数は、症例区分「40：初回治療終了後」のみ集計）
2.「癌腫」

子宮頸部（C53）

データを見ると

18 施設の子宮頸がん登録数は 571 件（2018 年）で、前年の登録数より 5.0%の増加を認めました。

年齢階級別登録割合の年次推移（2018 年）をみると、30 ～ 39 歳にピークを認め、30 ～ 39 歳と 40 ～ 49 歳の若年層で全体の約 6 割を占めていました。

登録数を施設別にみると、件数の多い上位 3 施設は、琉球大学医学部附属病院 151 件、県立中部病院 123 件、豊見城中央病院 71 件でした。

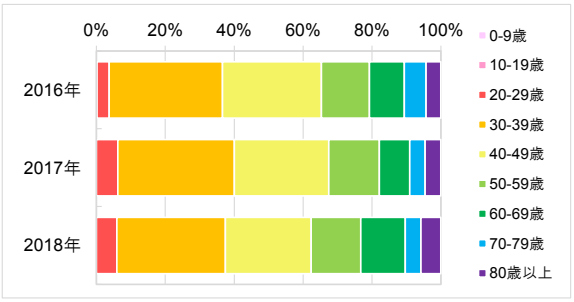
18 施設の治療前ステージ登録数のⅢ期の割合（10.2%）は、全国の割合（6.1%）と比べ、4.1%上回っていましたが、大きな違いはみられず、それは他のステージも同様でした。

施設別　登録数の推移

子宮頸部	2014年		2015年		2016年		2017年		2018年	
沖縄県18施設合計	483	(100.0%)	526	(100.0%)	536	(100.0%)	544	(100.0%)	571	(100.0%)
北部地区医師会病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(0.2%)	0	(0.0%)	2	(0.4%)
国立病院機構沖縄病院	3	(0.6%)	4	(0.8%)	5	(0.9%)	5	(0.9%)	9	(1.6%)
県立中部病院	123	(25.5%)	90	(17.1%)	108	(20.1%)	136	(25.0%)	123	(21.5%)
中頭病院	12	(2.5%)	41	(7.8%)	25	(4.7%)	21	(3.9%)	30	(5.3%)
中部徳洲会病院	1	(0.2%)	0	(0.0%)	7	(1.3%)	3	(0.6%)	1	(0.2%)
ハートライフ病院	25	(5.2%)	27	(5.1%)	26	(4.9%)	21	(3.9%)	21	(3.7%)
那覇市立病院	40	(8.3%)	39	(7.4%)	40	(7.5%)	52	(9.6%)	47	(8.2%)
沖縄赤十字病院	25	(5.2%)	24	(4.6%)	20	(3.7%)	22	(4.0%)	25	(4.4%)
大浜第一病院	--	--	--	--	5	(0.9%)	2	(0.4%)	1	(0.2%)
浦添総合病院	8	(1.7%)	1	(0.2%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
琉球大学医学部附属病院	183	(37.9%)	176	(33.5%)	180	(33.6%)	149	(27.4%)	151	(26.4%)
県立南部医療センター･こども医療センター	16	(3.3%)	22	(4.2%)	14	(2.6%)	15	(2.8%)	28	(4.9%)
南部病院	4	(0.8%)	7	(1.3%)	2	(0.4%)	8	(1.5%)	3	(0.5%)
南部徳洲会病院	5	(1.0%)	5	(1.0%)	7	(1.3%)	3	(0.6%)	6	(1.1%)
沖縄協同病院	8	(1.7%)	13	(2.5%)	20	(3.7%)	27	(5.0%)	16	(2.8%)
豊見城中央病院	19	(3.9%)	44	(8.4%)	53	(9.9%)	53	(9.7%)	71	(12.4%)
県立宮古病院	7	(1.4%)	15	(2.9%)	9	(1.7%)	15	(2.8%)	16	(2.8%)
県立八重山病院	4	(0.8%)	18	(3.4%)	14	(2.6%)	12	(2.2%)	21	(3.7%)

年齢階級別　登録数と登録割合の推移

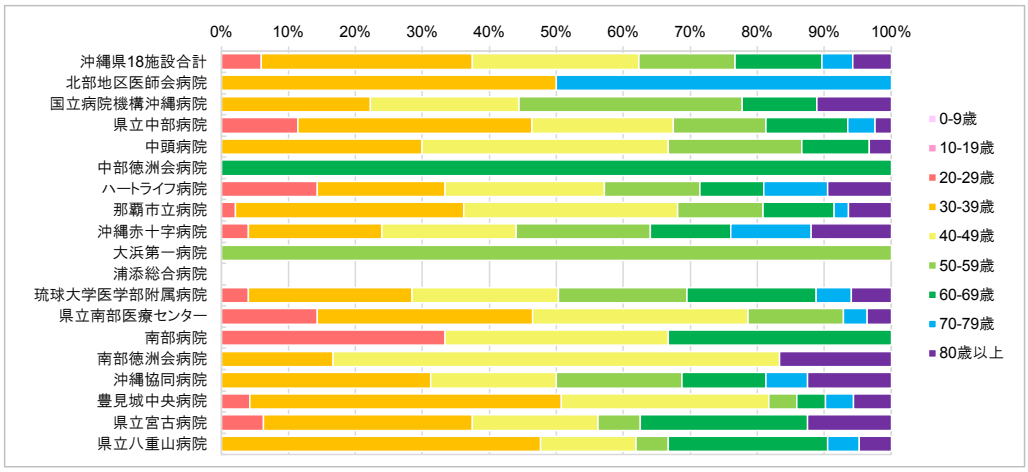
子宮頸部	2016年		2017年		2018年	
合計	536	(100.0%)	544	(100.0%)	571	(100.0%)
0-9歳	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
10-19歳	1	(0.2%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
20-29歳	19	(3.5%)	34	(6.3%)	34	(6.0%)
30-39歳	176	(32.8%)	184	(33.8%)	180	(31.5%)
40-49歳	154	(28.7%)	149	(27.4%)	142	(24.9%)
50-59歳	75	(14.0%)	80	(14.7%)	82	(14.4%)
60-69歳	54	(10.1%)	48	(8.8%)	74	(13.0%)
70-79歳	34	(6.3%)	24	(4.4%)	26	(4.6%)
80歳以上	23	(4.3%)	25	(4.6%)	33	(5.8%)



＊症例区分「80：その他」を除いて集計

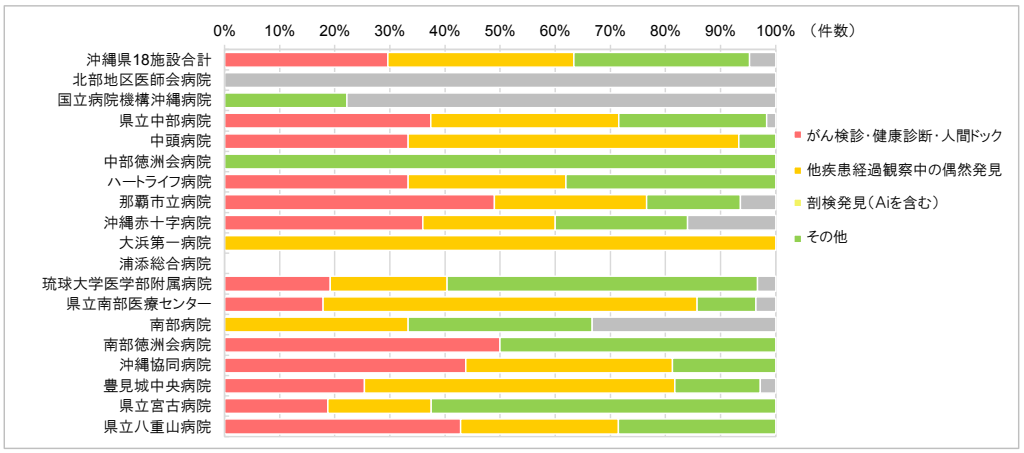
施設別　年齢階級別　登録数と登録割合

子宮頸部	0-9歳		10-19歳		20-29歳		30-39歳		40-49歳		50-59歳		60-69歳		70-79歳		80歳以上		合計	
沖縄県18施設合計	0	(0.0%)	0	(0.0%)	34	(6.0%)	180	(31.5%)	142	(24.9%)	82	(14.4%)	74	(13.0%)	26	(4.6%)	33	(5.8%)	571	(100.0%)
北部地区医師会病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(50.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(50.0%)	0	(0.0%)	2	(100.0%)
国立病院機構沖縄病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(22.2%)	2	(22.2%)	3	(33.3%)	1	(11.1%)	0	(0.0%)	1	(11.1%)	9	(100.0%)
県立中部病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	14	(11.4%)	43	(35.0%)	26	(21.1%)	17	(13.8%)	15	(12.2%)	5	(4.1%)	3	(2.4%)	123	(100.0%)
中頭病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	9	(30.0%)	11	(36.7%)	6	(20.0%)	3	(10.0%)	0	(0.0%)	1	(3.3%)	30	(100.0%)
中部徳洲会病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(100.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(100.0%)
ハートライフ病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(14.3%)	4	(19.0%)	5	(23.8%)	3	(14.3%)	2	(9.5%)	2	(9.5%)	2	(9.5%)	21	(100.0%)
那覇市立病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(2.1%)	16	(34.0%)	15	(31.9%)	6	(12.8%)	5	(10.6%)	1	(2.1%)	3	(6.4%)	47	(100.0%)
沖縄赤十字病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(4.0%)	5	(20.0%)	5	(20.0%)	5	(20.0%)	3	(12.0%)	3	(12.0%)	3	(12.0%)	25	(100.0%)
大浜第一病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(100.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(100.0%)
浦添総合病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
琉球大学医学部附属病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	6	(4.0%)	37	(24.5%)	33	(21.9%)	29	(19.2%)	29	(19.2%)	8	(5.3%)	9	(6.0%)	151	(100.0%)
県立南部医療センター・こども医療センター	0	(0.0%)	0	(0.0%)	4	(14.3%)	9	(32.1%)	9	(32.1%)	4	(14.3%)	0	(0.0%)	1	(3.6%)	1	(3.6%)	28	(100.0%)
南部病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(33.3%)	0	(0.0%)	1	(33.3%)	0	(0.0%)	1	(33.3%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(100.0%)
南部徳洲会病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(16.7%)	4	(66.7%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(16.7%)	6	(100.0%)
沖縄協同病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	5	(31.3%)	3	(18.8%)	3	(18.8%)	2	(12.5%)	1	(6.3%)	2	(12.5%)	16	(100.0%)
豊見城中央病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(4.2%)	33	(46.5%)	22	(31.0%)	3	(4.2%)	3	(4.2%)	3	(4.2%)	4	(5.6%)	71	(100.0%)
県立宮古病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(6.3%)	5	(31.3%)	3	(18.8%)	1	(6.3%)	4	(25.0%)	0	(0.0%)	2	(12.5%)	16	(100.0%)
県立八重山病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	10	(47.6%)	3	(14.3%)	1	(4.8%)	5	(23.8%)	1	(4.8%)	1	(4.8%)	21	(100.0%)



施設別　発見経緯別　登録数と登録割合

子宮頸部	がん検診・健康診断・人間ドック		他疾患経過観察中の偶然発見		剖検発見（Aiを含む）		その他		不明		合計	
沖縄県18施設合計	169	(29.6%)	193	(33.8%)	0	(0.0%)	182	(31.9%)	27	(4.7%)	571	(100.0%)
北部地区医師会病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(100.0%)	2	(100.0%)
国立病院機構沖縄病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(22.2%)	7	(77.8%)	9	(100.0%)
県立中部病院	46	(37.4%)	42	(34.1%)	0	(0.0%)	33	(26.8%)	2	(1.6%)	123	(100.0%)
中頭病院	10	(33.3%)	18	(60.0%)	0	(0.0%)	2	(6.7%)	0	(0.0%)	30	(100.0%)
中部徳洲会病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(100.0%)	0	(0.0%)	1	(100.0%)
ハートライフ病院	7	(33.3%)	6	(28.6%)	0	(0.0%)	8	(38.1%)	0	(0.0%)	21	(100.0%)
那覇市立病院	23	(48.9%)	13	(27.7%)	0	(0.0%)	8	(17.0%)	3	(6.4%)	47	(100.0%)
沖縄赤十字病院	9	(36.0%)	6	(24.0%)	0	(0.0%)	6	(24.0%)	4	(16.0%)	25	(100.0%)
大浜第一病院	0	(0.0%)	1	(100.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(100.0%)
浦添総合病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
琉球大学医学部附属病院	29	(19.2%)	32	(21.2%)	0	(0.0%)	85	(56.3%)	5	(3.3%)	151	(100.0%)
県立南部医療センター・こども医療センター	5	(17.9%)	19	(67.9%)	0	(0.0%)	3	(10.7%)	1	(3.6%)	28	(100.0%)
南部病院	0	(0.0%)	1	(33.3%)	0	(0.0%)	1	(33.3%)	1	(33.3%)	3	(100.0%)
南部徳洲会病院	3	(50.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(50.0%)	0	(0.0%)	6	(100.0%)
沖縄協同病院	7	(43.8%)	6	(37.5%)	0	(0.0%)	3	(18.8%)	0	(0.0%)	16	(100.0%)
豊見城中央病院	18	(25.4%)	40	(56.3%)	0	(0.0%)	11	(15.5%)	2	(2.8%)	71	(100.0%)
県立宮古病院	3	(18.8%)	3	(18.8%)	0	(0.0%)	10	(62.5%)	0	(0.0%)	16	(100.0%)
県立八重山病院	9	(42.9%)	6	(28.6%)	0	(0.0%)	6	(28.6%)	0	(0.0%)	21	(100.0%)



＊症例区分「80：その他」を除いて集計
＊県立南部医療センター・こども医療センターを便宜上、「県立南部医療センター」と表記

施設別　UICC TNM 分類　治療前ステージ別　登録数

子宮頸部	0期		Ⅰ期		Ⅱ期		Ⅲ期		Ⅳ期		不明・その他		合計	
全国(2017年症例)	18,973	(66.3%)	3,729	(13.0%)	1,465	(5.1%)	1,758	(6.1%)	1,383	(4.8%)	1,302	(4.6%)	28,610	(100.0%)
沖縄県18施設合計	281	(63.4%)	67	(15.1%)	18	(4.1%)	45	(10.2%)	17	(3.8%)	15	(3.4%)	443	(100.0%)
北部地区医師会病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
国立病院機構沖縄病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(100.0%)	0	(0.0%)	1	(100.0%)
県立中部病院	72	(64.3%)	11	(9.8%)	7	(6.3%)	13	(11.6%)	4	(3.6%)	5	(4.5%)	112	(100.0%)
中頭病院	17	(68.0%)	5	(20.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(4.0%)	2	(8.0%)	25	(100.0%)
中部徳洲会病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
ハートライフ病院	12	(80.0%)	1	(6.7%)	0	(0.0%)	1	(6.7%)	0	(0.0%)	1	(6.7%)	15	(100.0%)
那覇市立病院	30	(90.9%)	0	(0.0%)	1	(3.0%)	1	(3.0%)	0	(0.0%)	1	(3.0%)	33	(100.0%)
沖縄赤十字病院	10	(76.9%)	1	(7.7%)	2	(15.4%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	13	(100.0%)
大浜第一病院	1	(100.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(100.0%)
浦添総合病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
琉球大学医学部附属病院	38	(29.0%)	45	(34.4%)	8	(6.1%)	30	(22.9%)	10	(7.6%)	0	(0.0%)	131	(100.0%)
県立南部医療センター・こども医療センター	20	(95.2%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(4.8%)	21	(100.0%)
南部病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
南部徳洲会病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
沖縄協同病院	9	(90.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(10.0%)	0	(0.0%)	10	(100.0%)
豊見城中央病院	55	(88.7%)	2	(3.2%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	5	(8.1%)	62	(100.0%)
県立宮古病院	6	(85.7%)	1	(14.3%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	7	(100.0%)
県立八重山病院	11	(91.7%)	1	(8.3%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	12	(100.0%)

施設別　UICC TNM 分類　術後ステージ別　登録数

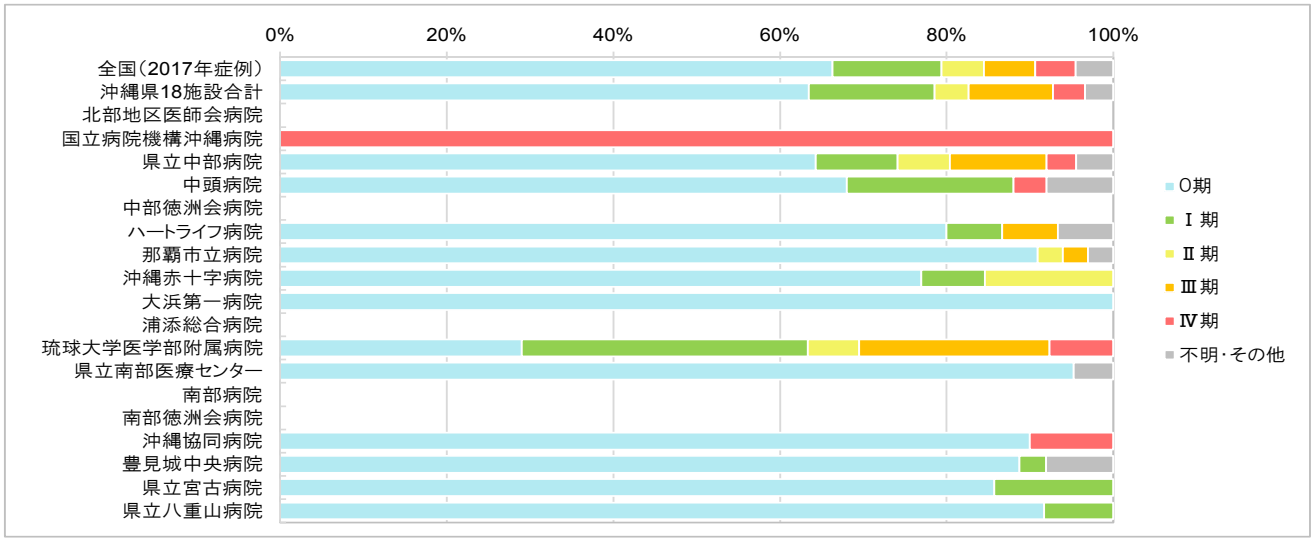
子宮頸部	0期		Ⅰ期		Ⅱ期		Ⅲ期		Ⅳ期		術前治療後		不明・その他		合計	
全国(2017年症例)	17,413	(77.0%)	3,393	(15.0%)	470	(2.1%)	710	(3.1%)	97	(0.4%)	410	(1.8%)	127	(0.6%)	22,620	(100.0%)
沖縄県18施設合計	212	(76.8%)	53	(19.2%)	1	(0.4%)	9	(3.3%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(0.4%)	276	(100.0%)
北部地区医師会病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
国立病院機構沖縄病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
県立中部病院	55	(80.9%)	12	(17.6%)	1	(1.5%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	68	(100.0%)
中頭病院	17	(77.3%)	5	(22.7%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	22	(100.0%)
中部徳洲会病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
ハートライフ病院	11	(100.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	11	(100.0%)
那覇市立病院	28	(100.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	28	(100.0%)
沖縄赤十字病院	7	(77.8%)	2	(22.2%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	9	(100.0%)
大浜第一病院	1	(100.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(100.0%)
浦添総合病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
琉球大学医学部附属病院	26	(41.9%)	27	(43.5%)	0	(0.0%)	9	(14.5%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	62	(100.0%)
県立南部医療センター・こども医療センター	19	(95.0%)	1	(5.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	20	(100.0%)
南部病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
南部徳洲会病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
沖縄協同病院	9	(100.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	9	(100.0%)
豊見城中央病院	29	(87.9%)	4	(12.1%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	33	(100.0%)
県立宮古病院	4	(80.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(20.0%)	5	(100.0%)
県立八重山病院	6	(75.0%)	2	(25.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	8	(100.0%)

施設別　UICC TNM 分類　総合ステージ別　登録数

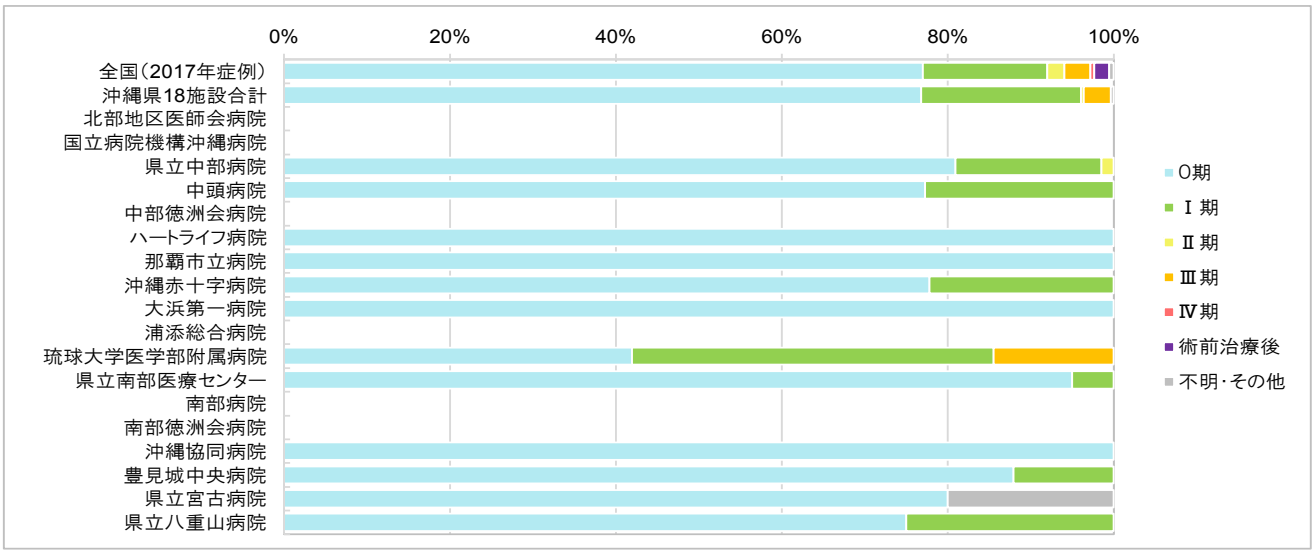
子宮頸部	0期		Ⅰ期		Ⅱ期		Ⅲ期		Ⅳ期		不明・その他		合計	
沖縄県18施設合計	280	(63.2%)	73	(16.5%)	22	(5.0%)	49	(11.1%)	17	(3.8%)	2	(0.5%)	443	(100.0%)
北部地区医師会病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
国立病院機構沖縄病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(100.0%)	0	(0.0%)	1	(100.0%)
県立中部病院	69	(61.6%)	15	(13.4%)	11	(9.8%)	13	(11.6%)	4	(3.6%)	0	(0.0%)	112	(100.0%)
中頭病院	18	(72.0%)	5	(20.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(4.0%)	1	(4.0%)	25	(100.0%)
中部徳洲会病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
ハートライフ病院	13	(86.7%)	1	(6.7%)	0	(0.0%)	1	(6.7%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	15	(100.0%)
那覇市立病院	31	(93.9%)	0	(0.0%)	1	(3.0%)	1	(3.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	33	(100.0%)
沖縄赤十字病院	9	(69.2%)	2	(15.4%)	2	(15.4%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	13	(100.0%)
大浜第一病院	1	(100.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(100.0%)
浦添総合病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
琉球大学医学部附属病院	37	(28.2%)	42	(32.1%)	8	(6.1%)	34	(26.0%)	10	(7.6%)	0	(0.0%)	131	(100.0%)
県立南部医療センター・こども医療センター	20	(95.2%)	1	(4.8%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	21	(100.0%)
南部病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
南部徳洲会病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
沖縄協同病院	9	(90.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(10.0%)	0	(0.0%)	10	(100.0%)
豊見城中央病院	57	(91.9%)	4	(6.5%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(1.6%)	62	(100.0%)
県立宮古病院	6	(85.7%)	1	(14.3%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	7	(100.0%)
県立八重山病院	10	(83.3%)	2	(16.7%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	12	(100.0%)

こちらの集計対象は以下の条件を満たす登録である
1. 症例区分「20：自施設診断・自施設初回治療開始」「30：他施設診断・自施設初回治療開始」のみ集計
2.「癌腫」
3. 術後ステージの集計においては、上記「1」「2」に加えて「項目：体腔的・鏡視下・内視鏡的治療の結果」の区分が原発巣切除例とする。

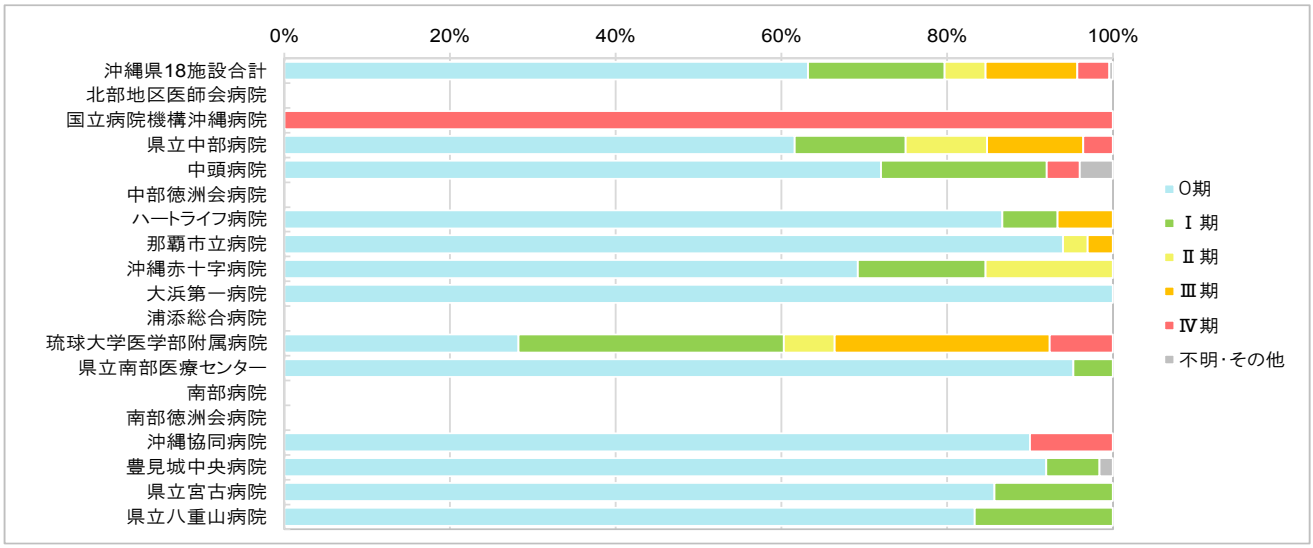
施設別　UICC TNM 分類　治療前ステージ別　登録割合



施設別　UICC TNM 分類　術後ステージ別　登録割合



施設別　UICC TNM 分類　総合ステージ別　登録割合



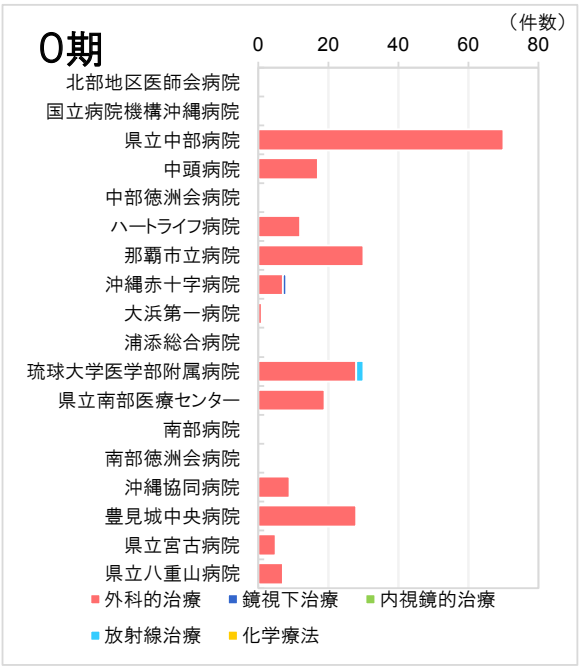
＊県立南部医療センター・こども医療センターを便宜上、「県立南部医療センター」と表記
こちらの集計対象は以下の条件を満たす登録である
1. 症例区分「20：自施設診断・自施設初回治療開始」「30：他施設診断・自施設初回治療開始」のみ集計
2.「癌腫」
3. 術後ステージの集計においては、上記「1」「2」に加えて「項目：外科的・鏡視下・内視鏡的治療の結果」の区分が原発巣切除例とする。

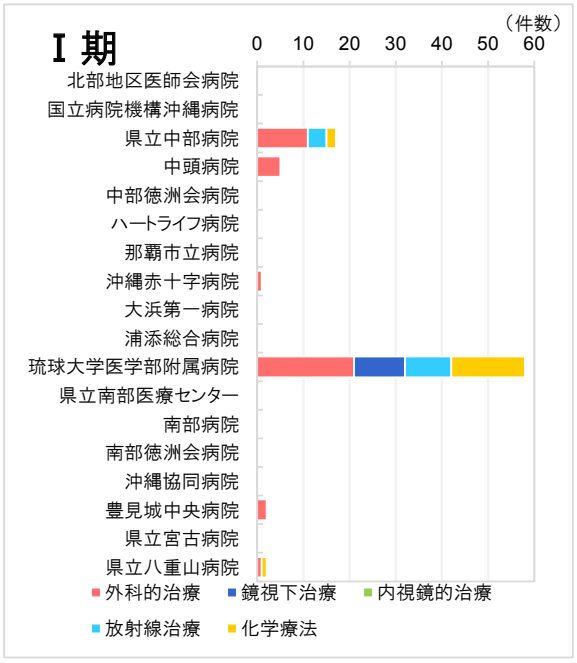
臨床医からのコメント

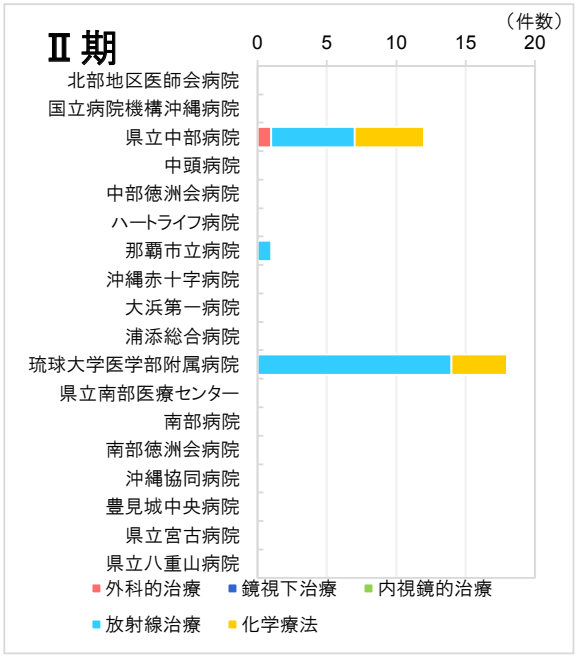
沖縄県 18 施設の子宮頸癌登録件数は 2018 年は 571 例でここ数年増加し続けている。登録数の多い施設は琉球大学医学部付属病院、県立中部病院、豊見城中央病院で、前年同様である。治療前ステージ別登録数では 0 期については県立中部病院 72 例、豊見城中央病院 55 例で多いがいろいろな施設で幅広く登録されている。I 期から IV 期の浸潤癌については琉球大学医学部付属病院で 93 例、県立中部病院で 40 例登録され比較的集約化されている。年齢階級別登録数ではこれまでどおり 30 代 40 代が多く治療は重要である。治療前ステージ別では全国 2017 年との比較で III 期の割合が沖縄県で多い傾向にあるが、概ね同様の割合である。

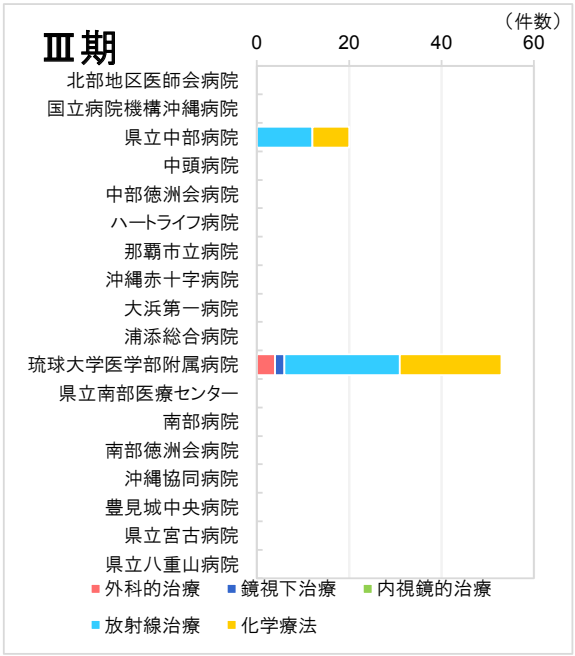
(次のページにつづく→)

施設別　UICC TNM 分類　治療前ステージ別　治療の件数－ 0 期～Ⅲ期









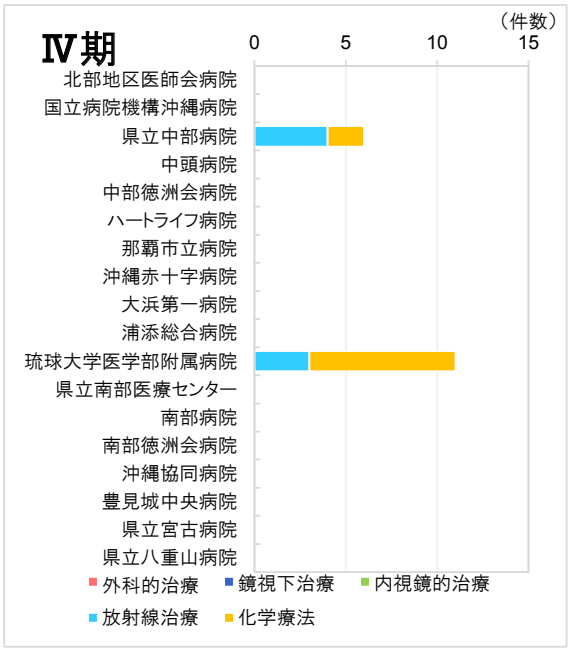
＊件数は延べ件数（手術と化学療法を組み合わせて行った場合は、どちらの項目でもカウントされる）
＊記載のない治療方法については巻末の集計表を参照
＊県立南部医療センター・こども医療センターを便宜上、「県立南部医療センター」と表記
こちらの集計対象は以下の条件を満たす登録である
1. 症例区分「20：自施設診断・自施設初回治療開始」「21：自施設診断・自施設初回治療継続」「30：他施設診断・自施設初回治療開始」「31：他施設診断・自施設初回治療継続」のみ集計
2.「癌腫」

臨床医からのコメント

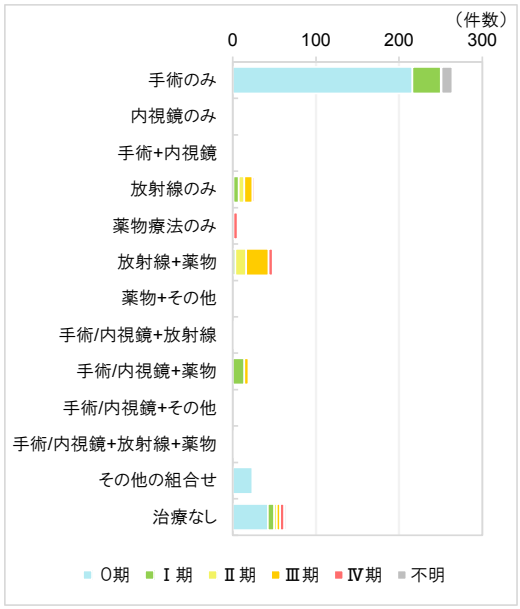
治療前ステージ別治療件数では０期は 12 施設で殆ど外科的治療が行われているが、Ⅰ期では６施設で外科的治療中心に放射線治療、化学療法が、Ⅱ期は３施設、III-IV 期は２施設で殆ど放射線治療または化学療法が行われている。沖縄県では子宮頸癌の登録数は増加し続けており、子宮頸癌ワクチン普及が滞っている現状より当分発生減少は見込めない。県内婦人科腫瘍専門医は 2019/ 5/ 1 時点で 11 名いるが、7 施設に勤務しており、また癌の治療法も年々高度化していることから、専門医の育成、治療施設の集約化、癌検診の推進などが重要な課題と考えられる。

高橋　慶行（沖縄県立中部病院　婦人科部長）

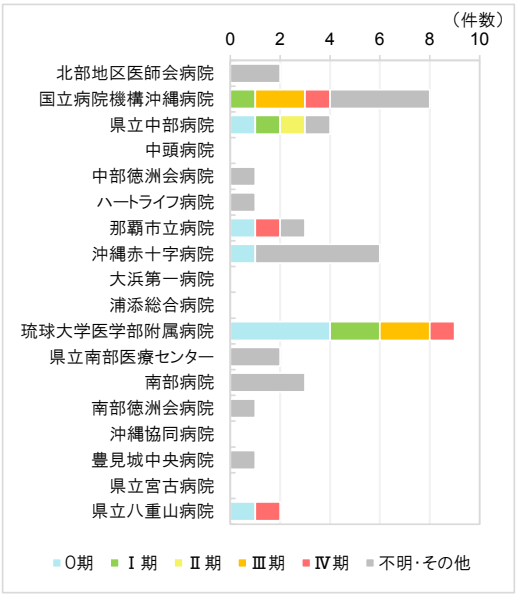
施設別　UICC TNM 分類　治療前ステージ別　治療の件数－Ⅳ期



UICC TNM 分類　治療前ステージ別　初回治療の組み合わせ別（他施設での治療を含む）　登録数



施設別　UICC TNM 分類　治療前ステージ別　初回治療終了後の受け入れ　登録数



＊県立南部医療センター・こども医療センターを便宜上、「県立南部医療センター」と表記
こちらの集計対象は以下の条件を満たす登録である
1. 症例区分「20：自施設診断・自施設初回治療開始」「21：自施設診断・自施設初回治療継続」「30：他施設診断・自施設初回治療開始」「31：他施設診断・自施設初回治療継続」のみ集計（初回治療終了後の受け入れ登録数は、症例区分「40：初回治療終了後」のみ集計）
2.「癌腫」

子宮体部（C54）

データを見ると

18 施設の子宮体がん登録数は 246 件（2018 年）で、前年の登録数より 14.4％の増加を認めました。

年齢階級別登録割合の年次推移（2018 年）をみると、50 ～ 59 歳にピークを認め、いずれの年も全体の約 7 割～ 8 割を 50 歳以上が占めていました。また 20 ～ 29 歳の割合も増加が見られました。

登録数を施設別にみると、件数の多い上位 3 施設は、琉球大学医学部附属病院 83 件、県立中部病院 49 件、那覇市立病院 26 件でした。

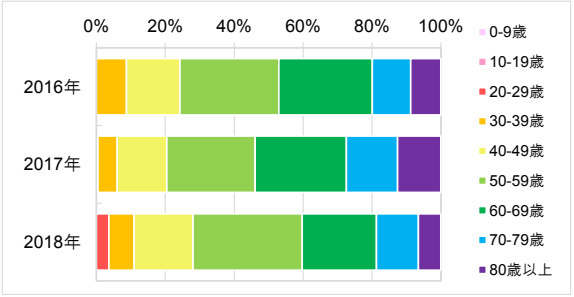
18 施設の治療前ステージ別登録数のⅠ期の割合（74.6％）は、全国の割合（70.9％）と比べて、3.7％上回っており、Ⅱ期の割合（2.2％）は、全国の割合（4.2％）と比べて、2.0％下回っていましたが、大きな違いはみられず、それはその他のステージも同様でした。

施設別　登録数の推移

子宮体部	2014年		2015年		2016年		2017年		2018年	
沖縄県18施設合計	204	(100.0%)	211	(100.0%)	206	(100.0%)	215	(100.0%)	246	(100.0%)
北部地区医師会病院	1	(0.5%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(0.4%)
国立病院機構沖縄病院	3	(1.5%)	6	(2.8%)	3	(1.5%)	2	(0.9%)	10	(4.1%)
県立中部病院	32	(15.7%)	33	(15.6%)	30	(14.6%)	31	(14.4%)	49	(19.9%)
中頭病院	15	(7.4%)	23	(10.9%)	12	(5.8%)	10	(4.7%)	5	(2.0%)
中部徳洲会病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	4	(1.9%)	6	(2.8%)	1	(0.4%)
ハートライフ病院	8	(3.9%)	9	(4.3%)	5	(2.4%)	7	(3.3%)	14	(5.7%)
那覇市立病院	17	(8.3%)	17	(8.1%)	18	(8.7%)	22	(10.2%)	26	(10.6%)
沖縄赤十字病院	8	(3.9%)	17	(8.1%)	14	(6.8%)	16	(7.4%)	18	(7.3%)
大浜第一病院	--	--	--	--	0	(0.0%)	1	(0.5%)	1	(0.4%)
浦添総合病院	4	(2.0%)	1	(0.5%)	1	(0.5%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
琉球大学医学部附属病院	85	(41.7%)	67	(31.8%)	72	(35.0%)	76	(35.3%)	83	(33.7%)
県立南部医療センター･こども医療センター	4	(2.0%)	1	(0.5%)	5	(2.4%)	8	(3.7%)	8	(3.3%)
南部病院	4	(2.0%)	3	(1.4%)	6	(2.9%)	3	(1.4%)	1	(0.4%)
南部徳洲会病院	4	(2.0%)	4	(1.9%)	5	(2.4%)	1	(0.5%)	2	(0.8%)
沖縄協同病院	2	(1.0%)	3	(1.4%)	4	(1.9%)	7	(3.3%)	3	(1.2%)
豊見城中央病院	12	(5.9%)	21	(10.0%)	23	(11.2%)	20	(9.3%)	17	(6.9%)
県立宮古病院	2	(1.0%)	6	(2.8%)	0	(0.0%)	2	(0.9%)	5	(2.0%)
県立八重山病院	3	(1.5%)	0	(0.0%)	4	(1.9%)	3	(1.4%)	2	(0.8%)

年齢階級別　登録数と登録割合の推移

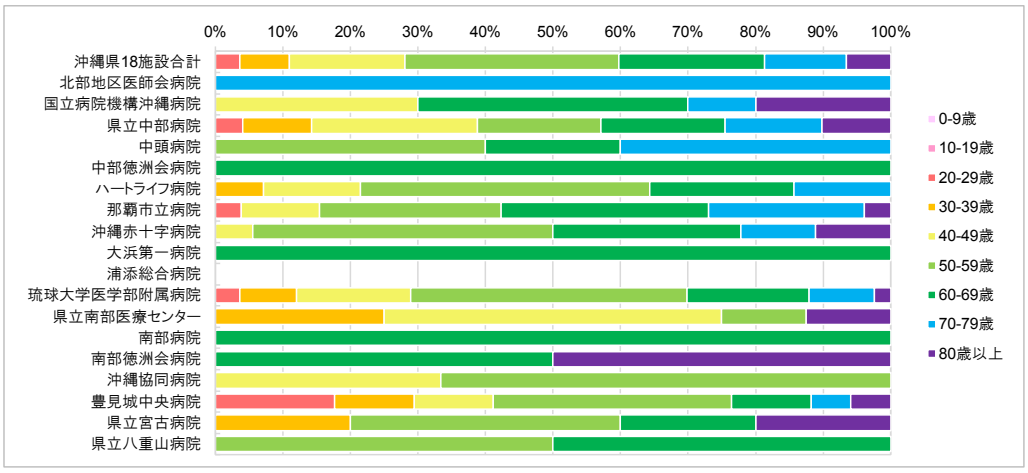
子宮体部	2016年		2017年		2018年	
合計	206	(100.0%)	215	(100.0%)	246	(100.0%)
0-9歳	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
10-19歳	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
20-29歳	0	(0.0%)	1	(0.5%)	9	(3.7%)
30-39歳	18	(8.7%)	12	(5.6%)	18	(7.3%)
40-49歳	32	(15.5%)	31	(14.4%)	42	(17.1%)
50-59歳	59	(28.6%)	55	(25.6%)	78	(31.7%)
60-69歳	56	(27.2%)	57	(26.5%)	53	(21.5%)
70-79歳	23	(11.2%)	32	(14.9%)	30	(12.2%)
80歳以上	18	(8.7%)	27	(12.6%)	16	(6.5%)



＊症例区分「80：その他」を除いて集計

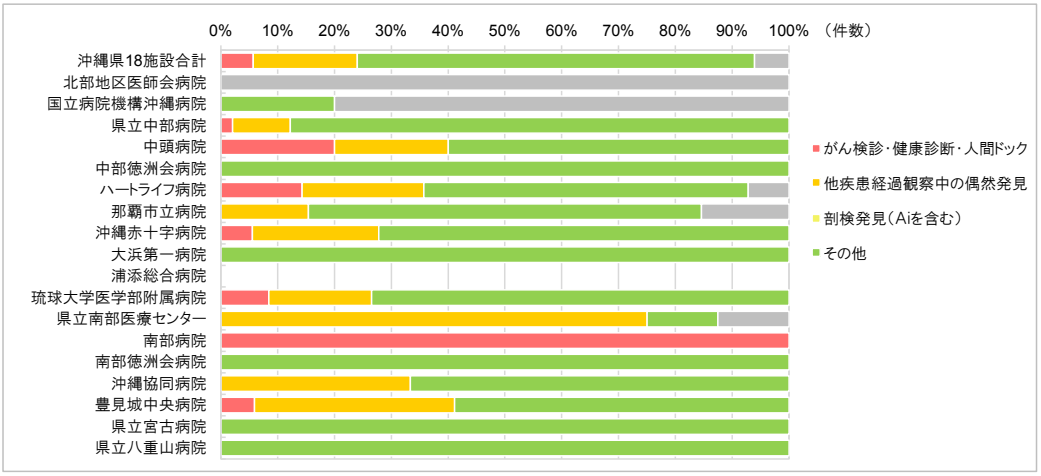
施設別　年齢階級別　登録数と登録割合

子宮体部	0-9歳	10-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上	合計
沖縄県18施設合計	0 (0.0%)	0 (0.0%)	9 (3.7%)	18 (7.3%)	42 (17.1%)	78 (31.7%)	53 (21.5%)	30 (12.2%)	16 (6.5%)	246 (100.0%)
北部地区医師会病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)
国立病院機構沖縄病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (30.0%)	0 (0.0%)	4 (40.0%)	1 (10.0%)	2 (20.0%)	10 (100.0%)
県立中部病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (4.1%)	5 (10.2%)	12 (24.5%)	9 (18.4%)	9 (18.4%)	7 (14.3%)	5 (10.2%)	49 (100.0%)
中頭病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (40.0%)	1 (20.0%)	2 (40.0%)	0 (0.0%)	5 (100.0%)
中部徳洲会病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)
ハートライフ病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (7.1%)	2 (14.3%)	6 (42.9%)	3 (21.4%)	2 (14.3%)	0 (0.0%)	14 (100.0%)
那覇市立病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (3.8%)	0 (0.0%)	3 (11.5%)	7 (26.9%)	8 (30.8%)	6 (23.1%)	1 (3.8%)	26 (100.0%)
沖縄赤十字病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (5.6%)	8 (44.4%)	5 (27.8%)	2 (11.1%)	2 (11.1%)	18 (100.0%)
大浜第一病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)
浦添総合病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
琉球大学医学部附属病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (3.6%)	7 (8.4%)	14 (16.9%)	34 (41.0%)	15 (18.1%)	8 (9.6%)	2 (2.4%)	83 (100.0%)
県立南部医療センター・こども医療センター	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (25.0%)	4 (50.0%)	1 (12.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (12.5%)	8 (100.0%)
南部病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)
南部徳洲会病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	1 (50.0%)	2 (100.0%)
沖縄協同病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (100.0%)
豊見城中央病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (17.6%)	2 (11.8%)	2 (11.8%)	6 (35.3%)	2 (11.8%)	1 (5.9%)	1 (5.9%)	17 (100.0%)
県立宮古病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)	0 (0.0%)	2 (40.0%)	1 (20.0%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)	5 (100.0%)
県立八重山病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (100.0%)



施設別　発見経緯別　登録数と登録割合

子宮体部	がん検診・健康診断・人間ドック	他疾患経過観察中の偶然発見	剖検発見（Aiを含む）	その他	不明	合計
沖縄県18施設合計	14 (5.7%)	45 (18.3%)	0 (0.0%)	172 (69.9%)	15 (6.1%)	246 (100.0%)
北部地区医師会病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	1 (100.0%)
国立病院機構沖縄病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (20.0%)	8 (80.0%)	10 (100.0%)
県立中部病院	1 (2.0%)	5 (10.2%)	0 (0.0%)	43 (87.8%)	0 (0.0%)	49 (100.0%)
中頭病院	1 (20.0%)	1 (20.0%)	0 (0.0%)	3 (60.0%)	0 (0.0%)	5 (100.0%)
中部徳洲会病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)
ハートライフ病院	2 (14.3%)	3 (21.4%)	0 (0.0%)	8 (57.1%)	1 (7.1%)	14 (100.0%)
那覇市立病院	0 (0.0%)	4 (15.4%)	0 (0.0%)	18 (69.2%)	4 (15.4%)	26 (100.0%)
沖縄赤十字病院	1 (5.6%)	4 (22.2%)	0 (0.0%)	13 (72.2%)	0 (0.0%)	18 (100.0%)
大浜第一病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)
浦添総合病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
琉球大学医学部附属病院	7 (8.4%)	15 (18.1%)	0 (0.0%)	61 (73.5%)	0 (0.0%)	83 (100.0%)
県立南部医療センター・こども医療センター	0 (0.0%)	6 (75.0%)	0 (0.0%)	1 (12.5%)	1 (12.5%)	8 (100.0%)
南部病院	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)
南部徳洲会病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)	2 (100.0%)
沖縄協同病院	0 (0.0%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)	3 (100.0%)
豊見城中央病院	1 (5.9%)	6 (35.3%)	0 (0.0%)	10 (58.8%)	0 (0.0%)	17 (100.0%)
県立宮古病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (100.0%)	0 (0.0%)	5 (100.0%)
県立八重山病院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)	2 (100.0%)



＊症例区分「８０：その他」を除いて集計
＊県立南部医療センター・こども医療センターを便宜上、「県立南部医療センター」と表記

施設別　UICC TNM 分類　治療前ステージ別　登録数

子宮体部	0期		Ⅰ期		Ⅱ期		Ⅲ期		Ⅳ期		不明・その他		合計	
全国(2017年症例)	45	(0.3%)	9,609	(70.9%)	565	(4.2%)	1,244	(9.2%)	1,038	(7.7%)	1,061	(7.8%)	13,562	(100.0%)
沖縄県18施設合計	0	(0.0%)	138	(74.6%)	4	(2.2%)	18	(9.7%)	17	(9.2%)	8	(4.3%)	185	(100.0%)
北部地区医師会病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
国立病院機構沖縄病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(100.0%)	0	(0.0%)	1	(100.0%)
県立中部病院	0	(0.0%)	31	(72.1%)	2	(4.7%)	6	(14.0%)	3	(7.0%)	1	(2.3%)	43	(100.0%)
中頭病院	0	(0.0%)	2	(40.0%)	0	(0.0%)	1	(20.0%)	1	(20.0%)	1	(20.0%)	5	(100.0%)
中部徳洲会病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
ハートライフ病院	0	(0.0%)	11	(100.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	11	(100.0%)
那覇市立病院	0	(0.0%)	12	(70.6%)	1	(5.9%)	1	(5.9%)	2	(11.8%)	1	(5.9%)	17	(100.0%)
沖縄赤十字病院	0	(0.0%)	14	(93.3%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(6.7%)	0	(0.0%)	15	(100.0%)
大浜第一病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
浦添総合病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
琉球大学医学部附属病院	0	(0.0%)	52	(73.2%)	1	(1.4%)	9	(12.7%)	9	(12.7%)	0	(0.0%)	71	(100.0%)
県立南部医療センター・こども医療センター	0	(0.0%)	4	(57.1%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(42.9%)	7	(100.0%)
南部病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
南部徳洲会病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(100.0%)	1	(100.0%)
沖縄協同病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
豊見城中央病院	0	(0.0%)	12	(92.3%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(7.7%)	13	(100.0%)
県立宮古病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(100.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(100.0%)
県立八重山病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)

施設別　UICC TNM 分類　術後ステージ別　登録数

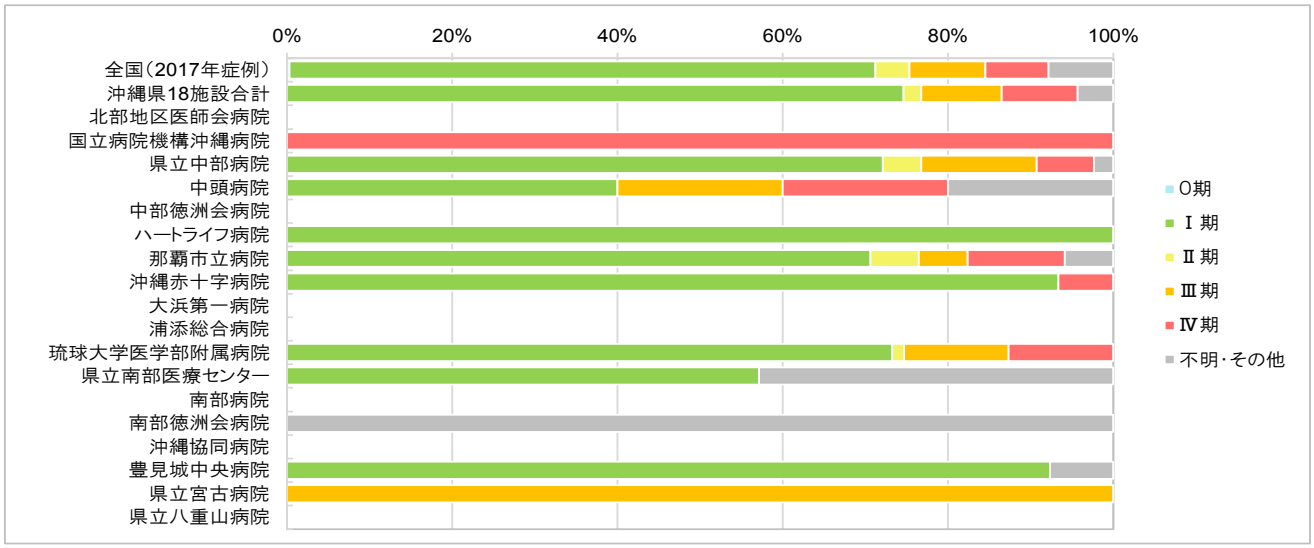
子宮体部	0期		Ⅰ期		Ⅱ期		Ⅲ期		Ⅳ期		術前治療後		不明・その他		合計	
全国(2017年症例)	64	(0.5%)	9,076	(73.5%)	718	(5.8%)	1,625	(13.2%)	562	(4.5%)	232	(1.9%)	75	(0.6%)	12,352	(100.0%)
沖縄県18施設合計	0	(0.0%)	111	(82.2%)	6	(4.4%)	12	(8.9%)	2	(1.5%)	4	(3.0%)	0	(0.0%)	135	(100.0%)
北部地区医師会病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
国立病院機構沖縄病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
県立中部病院	0	(0.0%)	22	(73.3%)	1	(3.3%)	4	(13.3%)	0	(0.0%)	3	(10.0%)	0	(0.0%)	30	(100.0%)
中頭病院	0	(0.0%)	2	(66.7%)	0	(0.0%)	1	(33.3%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(100.0%)
中部徳洲会病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
ハートライフ病院	0	(0.0%)	9	(90.0%)	0	(0.0%)	1	(10.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	10	(100.0%)
那覇市立病院	0	(0.0%)	9	(75.0%)	2	(16.7%)	1	(8.3%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	12	(100.0%)
沖縄赤十字病院	0	(0.0%)	11	(84.6%)	0	(0.0%)	1	(7.7%)	1	(7.7%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	13	(100.0%)
大浜第一病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
浦添総合病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
琉球大学医学部附属病院	0	(0.0%)	43	(82.7%)	3	(5.8%)	4	(7.7%)	1	(1.9%)	1	(1.9%)	0	(0.0%)	52	(100.0%)
県立南部医療センター・こども医療センター	0	(0.0%)	6	(100.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	6	(100.0%)
南部病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
南部徳洲会病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
沖縄協同病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
豊見城中央病院	0	(0.0%)	9	(100.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	9	(100.0%)
県立宮古病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
県立八重山病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)

施設別　UICC TNM 分類　総合ステージ別　登録数

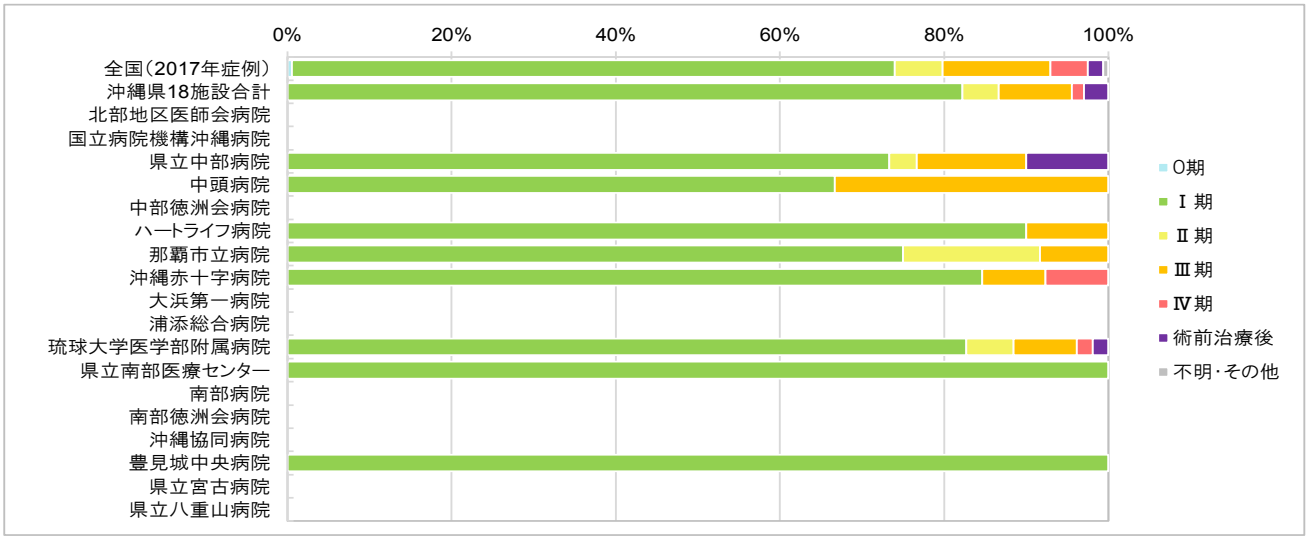
子宮体部	0期		Ⅰ期		Ⅱ期		Ⅲ期		Ⅳ期		不明・その他		合計	
沖縄県18施設合計	0	(0.0%)	132	(71.4%)	6	(3.2%)	24	(13.0%)	20	(10.8%)	3	(1.6%)	185	(100.0%)
北部地区医師会病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
国立病院機構沖縄病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(100.0%)	0	(0.0%)	1	(100.0%)
県立中部病院	0	(0.0%)	29	(67.4%)	1	(2.3%)	9	(20.9%)	4	(9.3%)	0	(0.0%)	43	(100.0%)
中頭病院	0	(0.0%)	2	(40.0%)	0	(0.0%)	1	(20.0%)	1	(20.0%)	1	(20.0%)	5	(100.0%)
中部徳洲会病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
ハートライフ病院	0	(0.0%)	10	(90.9%)	0	(0.0%)	1	(9.1%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	11	(100.0%)
那覇市立病院	0	(0.0%)	11	(64.7%)	2	(11.8%)	2	(11.8%)	2	(11.8%)	0	(0.0%)	17	(100.0%)
沖縄赤十字病院	0	(0.0%)	11	(73.3%)	0	(0.0%)	2	(13.3%)	2	(13.3%)	0	(0.0%)	15	(100.0%)
大浜第一病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
浦添総合病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
琉球大学医学部附属病院	0	(0.0%)	50	(70.4%)	3	(4.2%)	8	(11.3%)	10	(14.1%)	0	(0.0%)	71	(100.0%)
県立南部医療センター・こども医療センター	0	(0.0%)	7	(100.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	7	(100.0%)
南部病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
南部徳洲会病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(100.0%)	1	(100.0%)
沖縄協同病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
豊見城中央病院	0	(0.0%)	12	(92.3%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(7.7%)	13	(100.0%)
県立宮古病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(100.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(100.0%)
県立八重山病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)

こちらの集計対象は以下の条件を満たす登録である
1. 症例区分「20：自施設診断・自施設初回治療開始」「30：他施設診断・自施設初回治療開始」のみ集計
2.「癌腫」
3. 術後ステージの集計においては、上記「1」「2」に加えて「項目：体腔的・鏡視下・内視鏡的治療の結果」の区分が原発巣切除例とする。

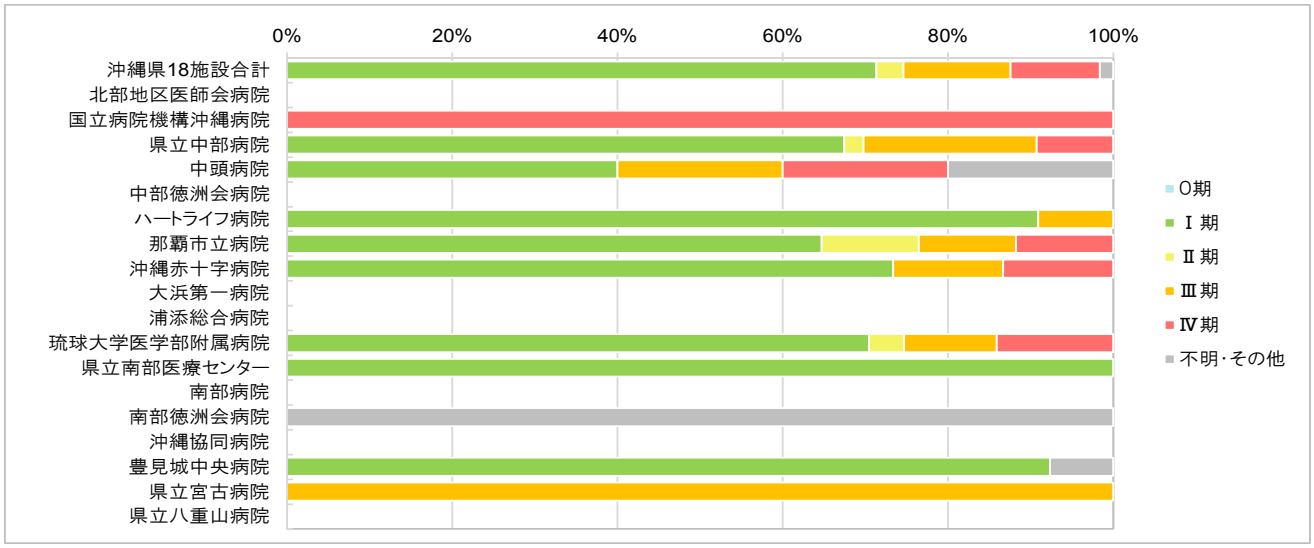
施設別　UICC TNM 分類　治療前ステージ別　登録割合



施設別　UICC TNM 分類　術後ステージ別　登録割合



施設別　UICC TNM 分類　総合ステージ別　登録割合



＊県立南部医療センター・こども医療センターを便宜上、「県立南部医療センター」と表記
こちらの集計対象は以下の条件を満たす登録である
1. 症例区分「20：自施設診断・自施設初回治療開始」「30：他施設診断・自施設初回治療開始」のみ集計
2.「癌腫」
3. 術後ステージの集計においては、上記「1」「2」に加えて「項目：外科的・鏡視下・内視鏡的治療の結果」の区分が原発巣切除例とする。

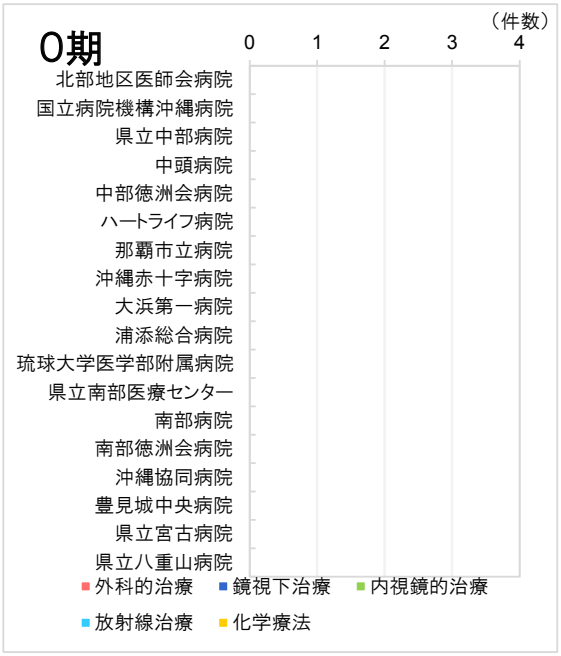
臨床医からのコメント

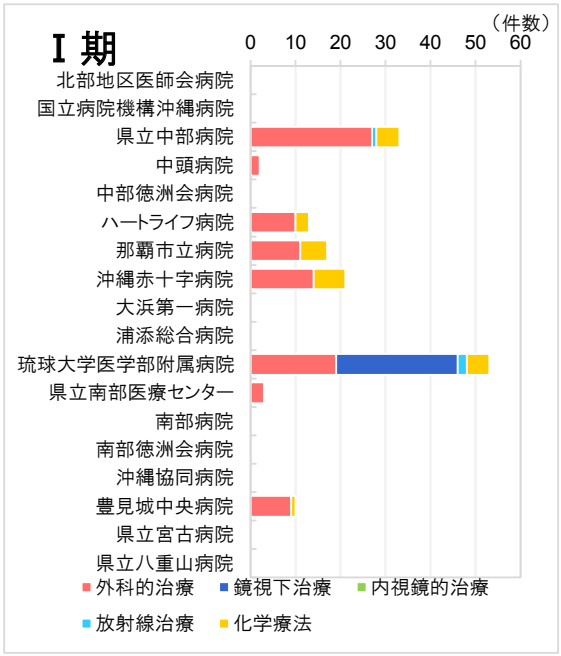
全国的な傾向と同様、沖縄県でも子宮体がんの症例数は近年増加の一途をたどっています。2018 年の県内 18 施設の登録数は 246 例 (前年比 12.6% 増) で、原因は不明ですが例年になく増加していました。年齢別では 50 代がピークであることは変わりありませんが 39 歳以下の症例が 27 例 (11.0%) と初めて 10% と超えており若年化が進んできた印象があります。発見経緯別ではがん検診などのスクリーニングを契機としたものは 5.7% に過ぎません。そういったことからも、閉経後の不正性器出血などの症状があれば速やかに婦人科受診を心がけて頂きたいと思います。また乳癌の患者さんでは同様なホルモン環境を背景として発生することがあるため婦人科受診について担当医と相談してもよいでしょう。

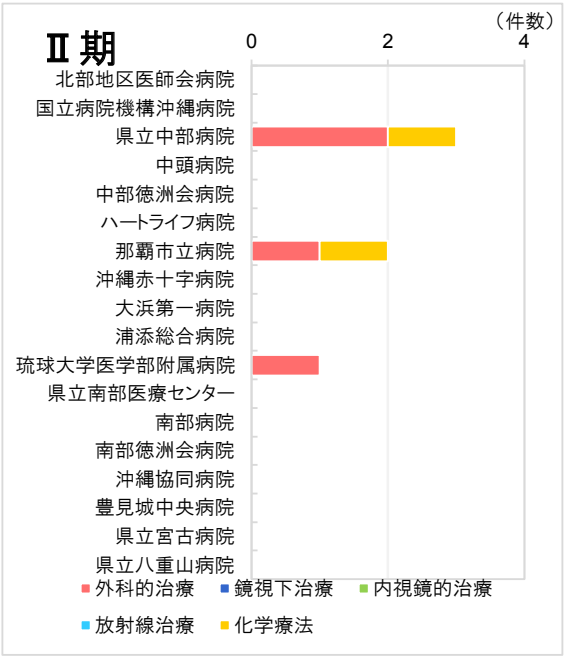
進行期別の割合は比較的早期の I 期が 70% と大部分を占め III、IV 期といった進行した病態が 20% 強と全国的な比率と同様でした。治療は手術療法がメインで化学療法 (抗がん剤治療) が組み合わされることがあります。特殊な治療設備等を要さないため婦人科専門医の勤務する施設であれば治療が可能ですが、

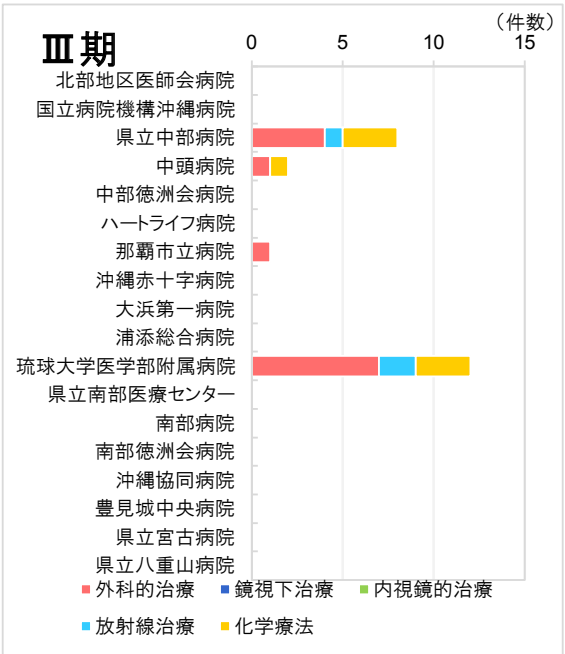
(次のページにつづく→)

施設別　UICC TNM 分類　治療前ステージ別　治療の件数－ 0 期～Ⅲ期









＊件数は延べ件数（手術と化学療法を組み合わせて行った場合は、どちらの項目でもカウントされる）
＊記載のない治療方法については巻末の集計表を参照
＊県立南部医療センター・こども医療センターを便宜上、「県立南部医療センター」と表記
こちらの集計対象は以下の条件を満たす登録である
1. 症例区分「20：自施設診断・自施設初回治療開始」「21：自施設診断・自施設初回治療継続」「30：他施設診断・自施設初回治療開始」「31：他施設診断・自施設初回治療継続」のみ集計
2.「癌腫」

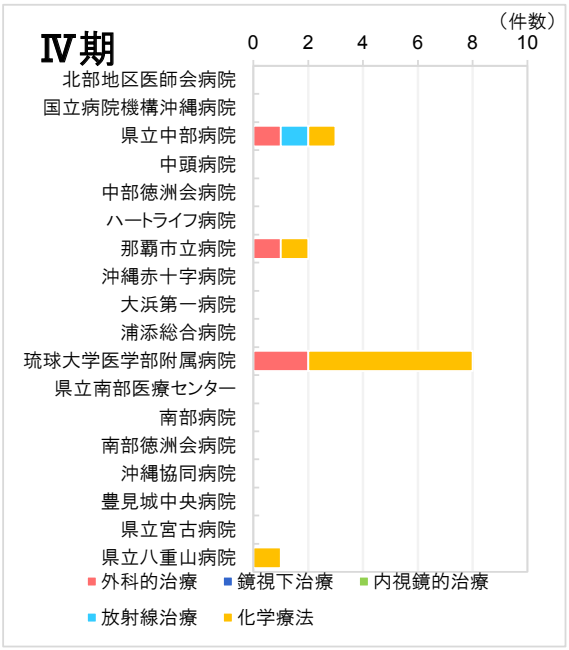
臨床医からのコメント

肥満や内科疾患を合併する症例も少なくないため琉球大学病院や県立中部病院などの大病院に若干症例が集まっているようです。また離島地域においては専門医の不在によりほとんどが本島の施設で治療が行われているのが現状です。従来、進行例や再発例では緩和医療に特化した施設で診療が継続されることが多かったのですが、今年度の集計では大学病院や那覇市立病院などの施設でも進行・再発例の受け入れがみられています。個々の患者さんの病態や社会的背景などに応じ、最適な診療連携が行われていることがみてとれます。

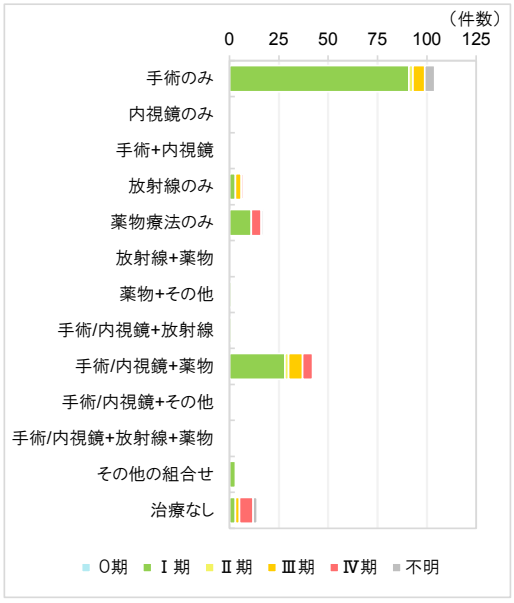
子宮体がんの症例数はさらに増加していくものと思われますが、離島の症例も含めてスムースな医療施設連携を通じ、個々の症例に応じた適切な治療が行われていくことを期待します。

稲嶺　盛彦（沖縄赤十字病院　第二産婦人科部長）

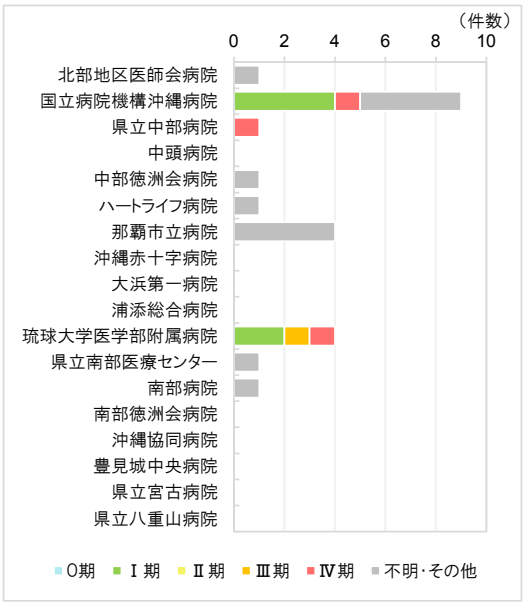
施設別　UICC TNM 分類　治療前ステージ別　治療の件数－Ⅳ期



UICC TNM 分類　治療前ステージ別　初回治療の組み合わせ別（他施設での治療を含む）　登録数



施設別　UICC TNM 分類　治療前ステージ別　初回治療終了後の受け入れ　登録数



＊県立南部医療センター・こども医療センターを便宜上、「県立南部医療センター」と表記
こちらの集計対象は以下の条件を満たす登録である
1. 症例区分「20：自施設診断・自施設初回治療開始」「21：自施設診断・自施設初回治療継続」「30：他施設診断・自施設初回治療開始」「31：他施設診断・自施設初回治療継続」のみ集計（初回治療終了後の受け入れ登録数は、症例区分「40：初回治療終了後」のみ集計）
2.「癌腫」

前立腺（C61）

データを見ると

18 施設の前立腺がん登録数は 914 件（2018 年）で、前年の登録数より 2.7%の増加を認めました。

年齢階級別登録割合の年次推移をみると、いずれの年も 70 ～ 79 歳にピークを認め、全体の約 4 割を占めており、その登録割合は横ばい傾向でした。

登録数を施設別にみると、件数の多い上位 3 施設は、中部徳洲会病院 138 件、琉球大学医学部附属病院 119 件、南部徳洲会病院 118 件でした。

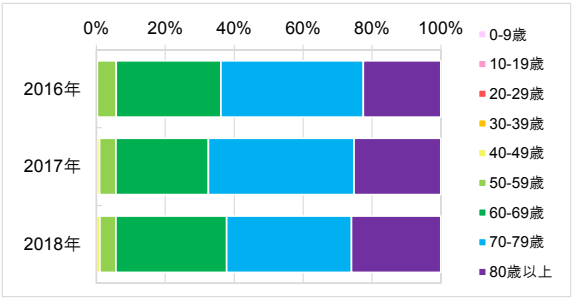
18 施設の治療前ステージ別登録数Ⅰ期の割合（39.1%）は、全国の割合（48.9%）に比べ、9.8% 下回っていました。また、Ⅳ期の割合（23.2%）は、全国の割合（17.0%）に比べ、6.2%上回っていました。

施設別　登録数の推移

前立腺	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
沖縄県18施設合計	722 (100.0%)	786 (100.0%)	817 (100.0%)	890 (100.0%)	914 (100.0%)
北部地区医師会病院	3 (0.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (0.2%)
国立病院機構沖縄病院	3 (0.4%)	7 (0.9%)	7 (0.9%)	10 (1.1%)	5 (0.5%)
県立中部病院	46 (6.4%)	52 (6.6%)	67 (8.2%)	67 (7.5%)	82 (9.0%)
中頭病院	80 (11.1%)	82 (10.4%)	60 (7.3%)	84 (9.4%)	92 (10.1%)
中部徳洲会病院	107 (14.8%)	137 (17.4%)	149 (18.2%)	118 (13.3%)	138 (15.1%)
ハートライフ病院	39 (5.4%)	31 (3.9%)	58 (7.1%)	42 (4.7%)	47 (5.1%)
那覇市立病院	60 (8.3%)	60 (7.6%)	55 (6.7%)	52 (5.8%)	77 (8.4%)
沖縄赤十字病院	16 (2.2%)	24 (3.1%)	35 (4.3%)	48 (5.4%)	30 (3.3%)
大浜第一病院	-- --	-- --	12 (1.5%)	16 (1.8%)	33 (3.6%)
浦添総合病院	20 (2.8%)	3 (0.4%)	6 (0.7%)	6 (0.7%)	6 (0.7%)
琉球大学医学部附属病院	93 (12.9%)	104 (13.2%)	99 (12.1%)	137 (15.4%)	119 (13.0%)
県立南部医療センター・こども医療センター	16 (2.2%)	6 (0.8%)	4 (0.5%)	14 (1.6%)	17 (1.9%)
南部病院	10 (1.4%)	11 (1.4%)	11 (1.3%)	10 (1.1%)	13 (1.4%)
南部徳洲会病院	127 (17.6%)	145 (18.4%)	117 (14.3%)	148 (16.6%)	118 (12.9%)
沖縄協同病院	1 (0.1%)	11 (1.4%)	22 (2.7%)	25 (2.8%)	20 (2.2%)
豊見城中央病院	66 (9.1%)	83 (10.6%)	70 (8.6%)	83 (9.3%)	79 (8.6%)
県立宮古病院	22 (3.0%)	22 (2.8%)	23 (2.8%)	16 (1.8%)	26 (2.8%)
県立八重山病院	13 (1.8%)	8 (1.0%)	22 (2.7%)	14 (1.6%)	10 (1.1%)

年齢階級別　登録数と登録割合の推移

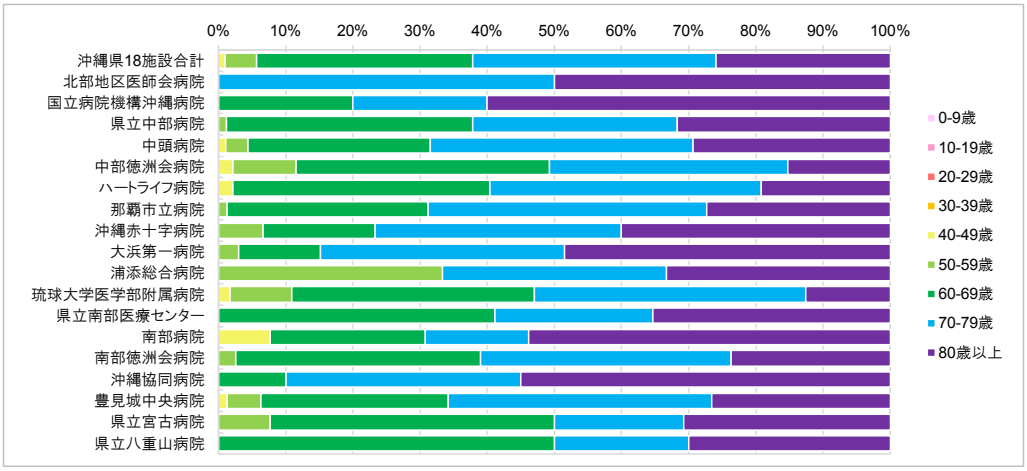
前立腺	2016年	2017年	2018年
合計	817 (100.0%)	890 (100.0%)	914 (100.0%)
0-9歳	0 (0.0%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)
10-19歳	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
20-29歳	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
30-39歳	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
40-49歳	2 (0.2%)	7 (0.8%)	9 (1.0%)
50-59歳	45 (5.5%)	42 (4.7%)	43 (4.7%)
60-69歳	248 (30.4%)	239 (26.9%)	294 (32.2%)
70-79歳	338 (41.4%)	377 (42.4%)	331 (36.2%)
80歳以上	184 (22.5%)	224 (25.2%)	237 (25.9%)



＊症例区分「80：その他」を除いて集計

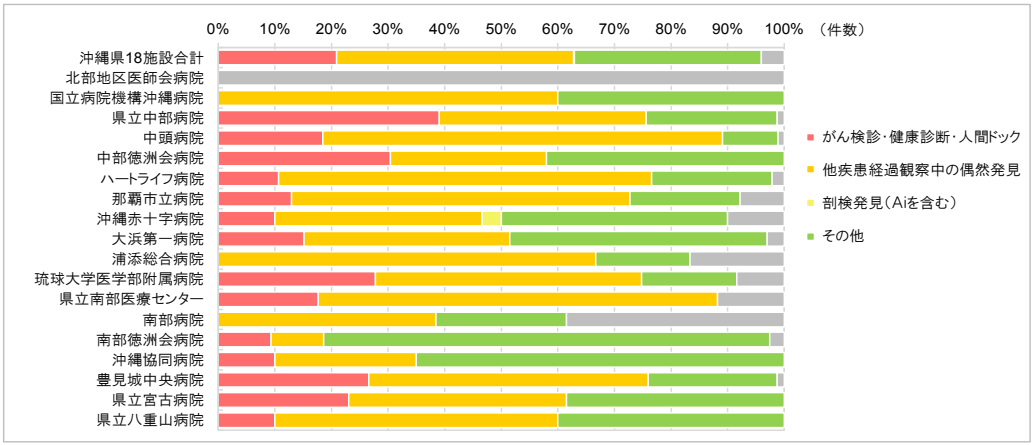
施設別　年齢階級別　登録数と登録割合

前立腺	0-9歳		10-19歳		20-29歳		30-39歳		40-49歳		50-59歳		60-69歳		70-79歳		80歳以上		合計	
沖縄県18施設合計	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	9	(1.0%)	43	(4.7%)	294	(32.2%)	331	(36.2%)	237	(25.9%)	914	(100.0%)
北部地区医師会病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(50.0%)	1	(50.0%)	2	(100.0%)
国立病院機構沖縄病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(20.0%)	1	(20.0%)	3	(60.0%)	5	(100.0%)
県立中部病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(1.2%)	30	(36.6%)	25	(30.5%)	26	(31.7%)	82	(100.0%)
中頭病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(1.1%)	3	(3.3%)	25	(27.2%)	36	(39.1%)	27	(29.3%)	92	(100.0%)
中部徳洲会病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(2.2%)	13	(9.4%)	52	(37.7%)	49	(35.5%)	21	(15.2%)	138	(100.0%)
ハートライフ病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(2.1%)	0	(0.0%)	18	(38.3%)	19	(40.4%)	9	(19.1%)	47	(100.0%)
那覇市立病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(1.3%)	23	(29.9%)	32	(41.6%)	21	(27.3%)	77	(100.0%)
沖縄赤十字病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(6.7%)	5	(16.7%)	11	(36.7%)	12	(40.0%)	30	(100.0%)
大浜第一病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(3.0%)	4	(12.1%)	12	(36.4%)	16	(48.5%)	33	(100.0%)
浦添総合病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(33.3%)	0	(0.0%)	2	(33.3%)	2	(33.3%)	6	(100.0%)
琉球大学医学部附属病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(1.7%)	11	(9.2%)	43	(36.1%)	48	(40.3%)	15	(12.6%)	119	(100.0%)
県立南部医療センター・こども医療センター	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	7	(41.2%)	4	(23.5%)	6	(35.3%)	17	(100.0%)
南部病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(7.7%)	0	(0.0%)	3	(23.1%)	2	(15.4%)	7	(53.8%)	13	(100.0%)
南部徳洲会病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(2.5%)	43	(36.4%)	44	(37.3%)	28	(23.7%)	118	(100.0%)
沖縄協同病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(10.0%)	7	(35.0%)	11	(55.0%)	20	(100.0%)
豊見城中央病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(1.3%)	4	(5.1%)	22	(27.8%)	31	(39.2%)	21	(26.6%)	79	(100.0%)
県立宮古病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(7.7%)	11	(42.3%)	5	(19.2%)	8	(30.8%)	26	(100.0%)
県立八重山病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	5	(50.0%)	2	(20.0%)	3	(30.0%)	10	(100.0%)



発見経緯別　登録数と登録割合

前立腺	がん検診・健康診断・人間ドック		他疾患経過観察中の偶然発見		剖検発見（Aiを含む）		その他		不明		合計	
沖縄県18施設合計	191	(20.9%)	383	(41.9%)	1	(0.1%)	302	(33.0%)	37	(4.0%)	914	(100.0%)
北部地区医師会病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(100.0%)	2	(100.0%)
国立病院機構沖縄病院	0	(0.0%)	3	(60.0%)	0	(0.0%)	2	(40.0%)	0	(0.0%)	5	(100.0%)
県立中部病院	32	(39.0%)	30	(36.6%)	0	(0.0%)	19	(23.2%)	1	(1.2%)	82	(100.0%)
中頭病院	17	(18.5%)	65	(70.7%)	0	(0.0%)	9	(9.8%)	1	(1.1%)	92	(100.0%)
中部徳洲会病院	42	(30.4%)	38	(27.5%)	0	(0.0%)	58	(42.0%)	0	(0.0%)	138	(100.0%)
ハートライフ病院	5	(10.6%)	31	(66.0%)	0	(0.0%)	10	(21.3%)	1	(2.1%)	47	(100.0%)
那覇市立病院	10	(13.0%)	46	(59.7%)	0	(0.0%)	15	(19.5%)	6	(7.8%)	77	(100.0%)
沖縄赤十字病院	3	(10.0%)	11	(36.7%)	1	(3.3%)	12	(40.0%)	3	(10.0%)	30	(100.0%)
大浜第一病院	5	(15.2%)	12	(36.4%)	0	(0.0%)	15	(45.5%)	1	(3.0%)	33	(100.0%)
浦添総合病院	0	(0.0%)	4	(66.7%)	0	(0.0%)	1	(16.7%)	1	(16.7%)	6	(100.0%)
琉球大学医学部附属病院	33	(27.7%)	56	(47.1%)	0	(0.0%)	20	(16.8%)	10	(8.4%)	119	(100.0%)
県立南部医療センター・こども医療センター	3	(17.6%)	12	(70.6%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(11.8%)	17	(100.0%)
南部病院	0	(0.0%)	5	(38.5%)	0	(0.0%)	3	(23.1%)	5	(38.5%)	13	(100.0%)
南部徳洲会病院	11	(9.3%)	11	(9.3%)	0	(0.0%)	93	(78.8%)	3	(2.5%)	118	(100.0%)
沖縄協同病院	2	(10.0%)	5	(25.0%)	0	(0.0%)	13	(65.0%)	0	(0.0%)	20	(100.0%)
豊見城中央病院	21	(26.6%)	39	(49.4%)	0	(0.0%)	18	(22.8%)	1	(1.3%)	79	(100.0%)
県立宮古病院	6	(23.1%)	10	(38.5%)	0	(0.0%)	10	(38.5%)	0	(0.0%)	26	(100.0%)
県立八重山病院	1	(10.0%)	5	(50.0%)	0	(0.0%)	4	(40.0%)	0	(0.0%)	10	(100.0%)



＊症例区分「８０：その他」を除いて集計
＊県立南部医療センター・こども医療センターを便宜上、「県立南部医療センター」と表記

施設別　UICC TNM 分類　治療前ステージ別　登録数

前立腺	Ⅰ期		Ⅱ期		Ⅲ期		Ⅳ期		不明・その他		合計	
全国（2017年症例）	29,250	（48.9%）	12,563	（21.0%）	6,158	（10.3%）	10,141	（17.0%）	1,664	（2.8%）	59,776	（100.0%）
沖縄県18施設合計	245	（39.1%）	161	（25.7%）	55	（8.8%）	145	（23.2%）	20	（3.2%）	626	（100.0%）
北部地区医師会病院	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）
国立病院機構沖縄病院	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）
県立中部病院	13	（20.6%）	10	（15.9%）	11	（17.5%）	21	（33.3%）	8	（12.7%）	63	（100.0%）
中頭病院	31	（48.4%）	21	（32.8%）	6	（9.4%）	6	（9.4%）	0	（0.0%）	64	（100.0%）
中部徳洲会病院	60	（48.8%）	24	（19.5%）	15	（12.2%）	21	（17.1%）	3	（2.4%）	123	（100.0%）
ハートライフ病院	7	（19.4%）	15	（41.7%）	1	（2.8%）	13	（36.1%）	0	（0.0%）	36	（100.0%）
那覇市立病院	24	（40.7%）	21	（35.6%）	0	（0.0%）	14	（23.7%）	0	（0.0%）	59	（100.0%）
沖縄赤十字病院	4	（23.5%）	0	（0.0%）	1	（5.9%）	9	（52.9%）	3	（17.6%）	17	（100.0%）
大浜第一病院	7	（25.9%）	1	（3.7%）	8	（29.6%）	11	（40.7%）	0	（0.0%）	27	（100.0%）
浦添総合病院	1	（100.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	1	（100.0%）
琉球大学医学部附属病院	37	（42.5%）	32	（36.8%）	5	（5.7%）	12	（13.8%）	1	（1.1%）	87	（100.0%）
県立南部医療センター・こども医療センター	2	（100.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	2	（100.0%）
南部病院	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）
南部徳洲会病院	15	（35.7%）	7	（16.7%）	3	（7.1%）	16	（38.1%）	1	（2.4%）	42	（100.0%）
沖縄協同病院	3	（18.8%）	2	（12.5%）	4	（25.0%）	5	（31.3%）	2	（12.5%）	16	（100.0%）
豊見城中央病院	36	（52.9%）	22	（32.4%）	1	（1.5%）	8	（11.8%）	1	（1.5%）	68	（100.0%）
県立宮古病院	4	（28.6%）	2	（14.3%）	0	（0.0%）	8	（57.1%）	0	（0.0%）	14	（100.0%）
県立八重山病院	1	（14.3%）	4	（57.1%）	0	（0.0%）	1	（14.3%）	1	（14.3%）	7	（100.0%）

施設別　UICC TNM 分類　術後ステージ別　登録数

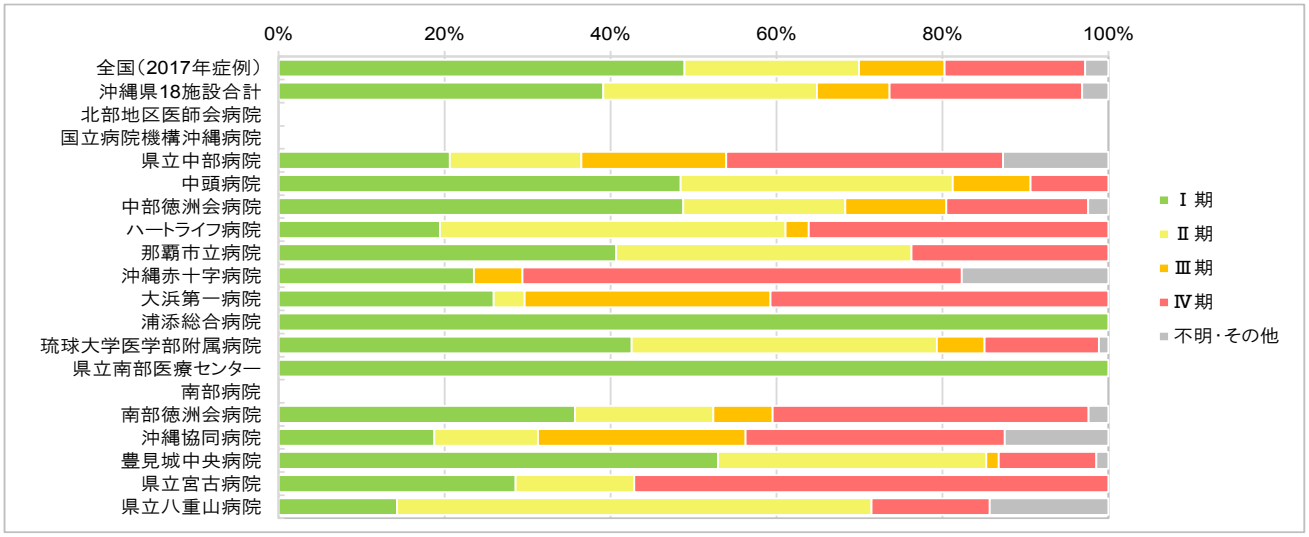
前立腺	Ⅰ期		Ⅱ期		Ⅲ期		Ⅳ期		術前治療後		不明・その他		合計	
全国（2017年症例）	3,580	（19.2%）	8,846	（47.3%）	3,657	（19.6%）	656	（3.5%）	1,675	（9.0%）	275	（1.5%）	18,689	（100.0%）
沖縄県18施設合計	35	（28.0%）	63	（50.4%）	7	（5.6%）	1	（0.8%）	19	（15.2%）	0	（0.0%）	125	（100.0%）
北部地区医師会病院	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）
国立病院機構沖縄病院	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）
県立中部病院	9	（64.3%）	5	（35.7%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	14	（100.0%）
中頭病院	3	（15.0%）	14	（70.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	3	（15.0%）	0	（0.0%）	20	（100.0%）
中部徳洲会病院	15	（32.6%）	24	（52.2%）	1	（2.2%）	0	（0.0%）	6	（13.0%）	0	（0.0%）	46	（100.0%）
ハートライフ病院	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）
那覇市立病院	1	（25.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	3	（75.0%）	0	（0.0%）	4	（100.0%）
沖縄赤十字病院	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）
大浜第一病院	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）
浦添総合病院	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）
琉球大学医学部附属病院	5	（20.0%）	17	（68.0%）	2	（8.0%）	0	（0.0%）	1	（4.0%）	0	（0.0%）	25	（100.0%）
県立南部医療センター・こども医療センター	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）
南部病院	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）
南部徳洲会病院	1	（25.0%）	0	（0.0%）	2	（50.0%）	1	（25.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	4	（100.0%）
沖縄協同病院	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）
豊見城中央病院	1	（8.3%）	3	（25.0%）	2	（16.7%）	0	（0.0%）	6	（50.0%）	0	（0.0%）	12	（100.0%）
県立宮古病院	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）
県立八重山病院	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）

施設別　UICC TNM 分類　総合ステージ別　登録数

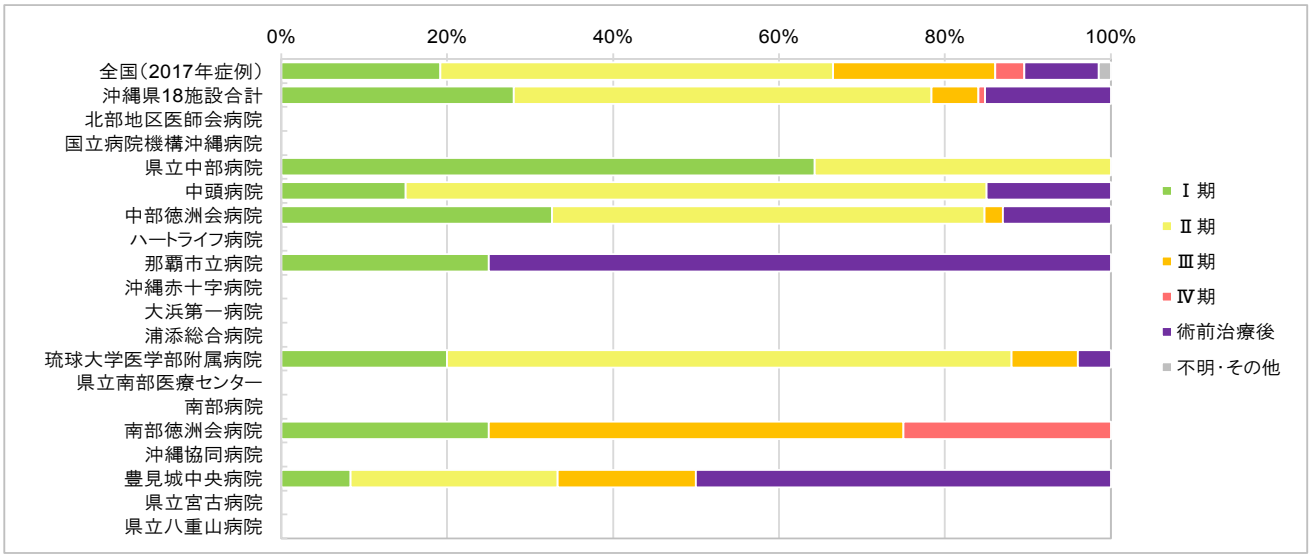
前立腺	Ⅰ期		Ⅱ期		Ⅲ期		Ⅳ期		不明・その他		合計	
沖縄県18施設合計	214	（34.2%）	191	（30.5%）	64	（10.2%）	146	（23.3%）	11	（1.8%）	626	（100.0%）
北部地区医師会病院	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）
国立病院機構沖縄病院	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）
県立中部病院	18	（28.6%）	13	（20.6%）	11	（17.5%）	21	（33.3%）	0	（0.0%）	63	（100.0%）
中頭病院	25	（39.1%）	25	（39.1%）	8	（12.5%）	6	（9.4%）	0	（0.0%）	64	（100.0%）
中部徳洲会病院	41	（33.3%）	43	（35.0%）	15	（12.2%）	21	（17.1%）	3	（2.4%）	123	（100.0%）
ハートライフ病院	7	（19.4%）	15	（41.7%）	1	（2.8%）	13	（36.1%）	0	（0.0%）	36	（100.0%）
那覇市立病院	24	（40.7%）	20	（33.9%）	1	（1.7%）	14	（23.7%）	0	（0.0%）	59	（100.0%）
沖縄赤十字病院	4	（23.5%）	0	（0.0%）	1	（5.9%）	9	（52.9%）	3	（17.6%）	17	（100.0%）
大浜第一病院	7	（25.9%）	1	（3.7%）	8	（29.6%）	11	（40.7%）	0	（0.0%）	27	（100.0%）
浦添総合病院	1	（100.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	1	（100.0%）
琉球大学医学部附属病院	29	（33.3%）	36	（41.4%）	8	（9.2%）	13	（14.9%）	1	（1.1%）	87	（100.0%）
県立南部医療センター・こども医療センター	2	（100.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	2	（100.0%）
南部病院	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）	0	（0.0%）
南部徳洲会病院	16	（38.1%）	6	（14.3%）	4	（9.5%）	16	（38.1%）	0	（0.0%）	42	（100.0%）
沖縄協同病院	3	（18.8%）	2	（12.5%）	4	（25.0%）	5	（31.3%）	2	（12.5%）	16	（100.0%）
豊見城中央病院	32	（47.1%）	24	（35.3%）	3	（4.4%）	8	（11.8%）	1	（1.5%）	68	（100.0%）
県立宮古病院	4	（28.6%）	2	（14.3%）	0	（0.0%）	8	（57.1%）	0	（0.0%）	14	（100.0%）
県立八重山病院	1	（14.3%）	4	（57.1%）	0	（0.0%）	1	（14.3%）	1	（14.3%）	7	（100.0%）

こちらの集計対象は以下の条件を満たす登録である
1. 症例区分「20：自施設診断・自施設初回治療開始」「30：他施設診断・自施設初回治療開始」のみ集計
2.「癌腫」
3. 術後ステージの集計においては、上記「1」「2」に加えて「項目：外科的・鏡視下・内視鏡的治療の結果」の区分が原発巣切除例とする。

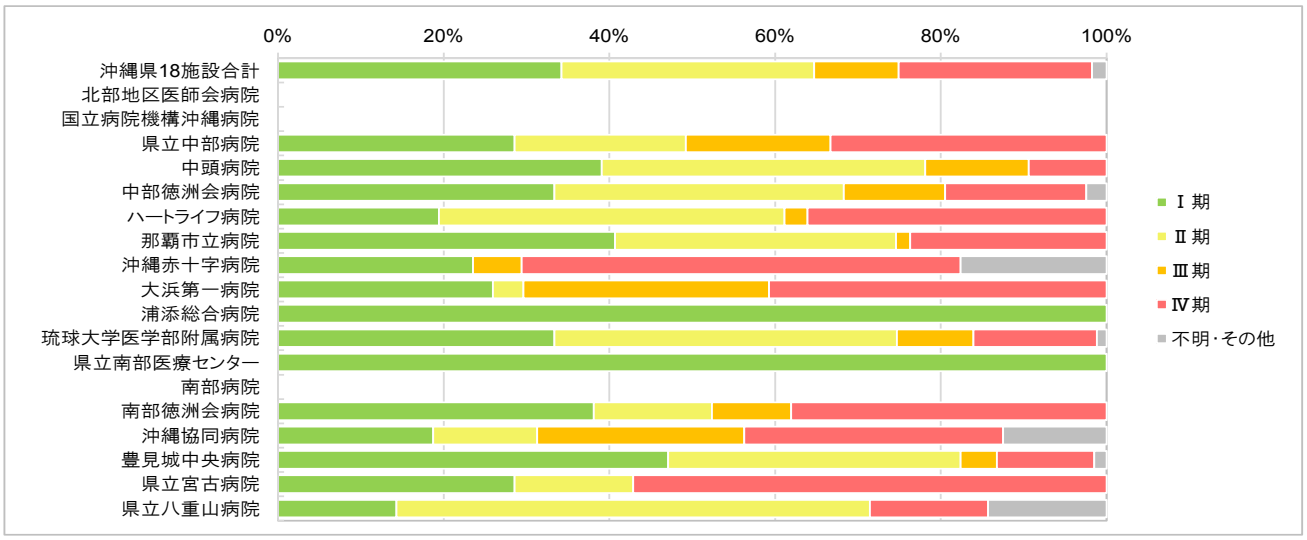
施設別　UICC TNM 分類　治療前ステージ別　登録割合



施設別　UICC TNM 分類　術後ステージ別　登録割合



施設別　UICC TNM 分類　総合ステージ別　登録割合



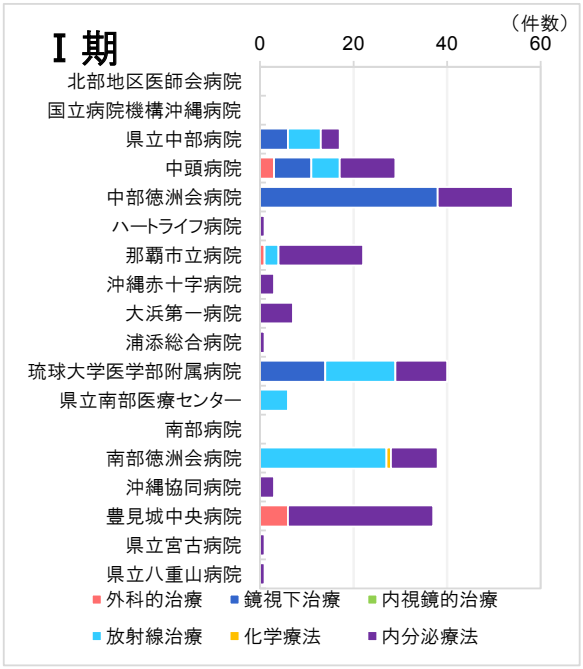
＊県立南部医療センター・こども医療センターを便宜上、「県立南部医療センター」と表記
こちらの集計対象は以下の条件を満たす登録である
1. 症例区分「20：自施設診断・自施設初回治療開始」「30：他施設診断・自施設初回治療開始」のみ集計
2.「癌腫」
3. 術後ステージの集計においては、上記「1」「2」に加えて「項目：外科的・鏡視下・内視鏡的治療の結果」の区分が原発巣切除例とする。

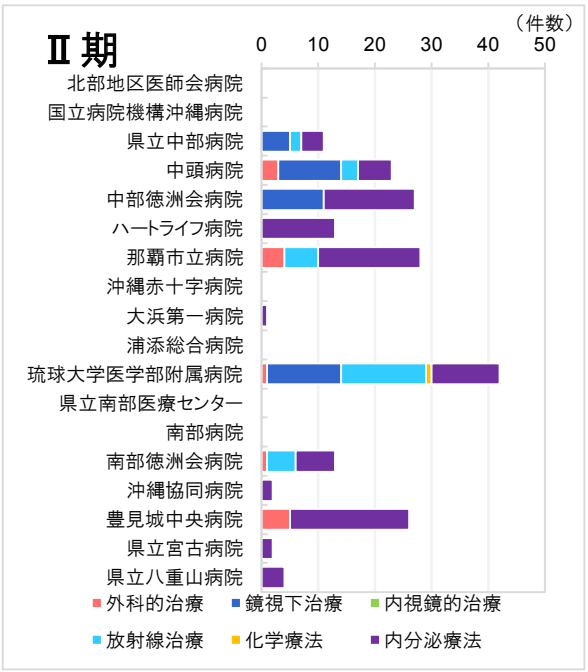
臨床医からのコメント

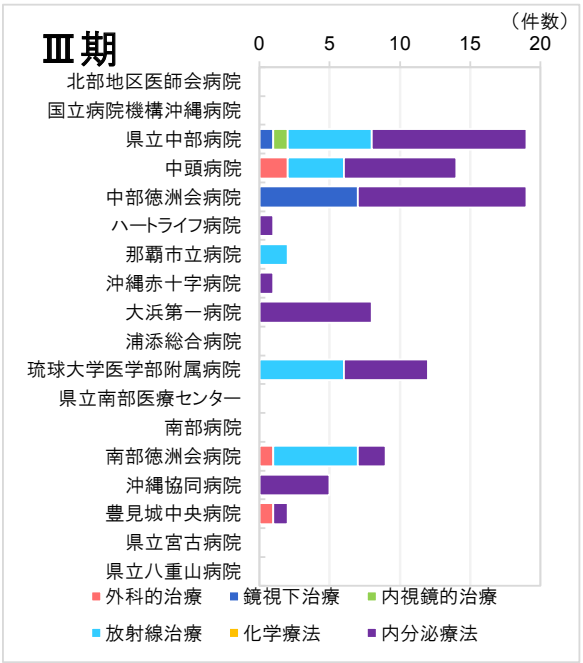
前立腺癌は予後良好な悪性新生物のひとつで、国立がん研究センターの 2019 年の報告では「がん 5 年生存率」において 98.8%と最も生存率が高い悪性新生物でした。ただし同研究センターの 2014 年の部位別のがん罹患率では男性の第 4 位。さらに全国推計値データに基づく、がんに罹患するリスクでは男性の 11 人にひとりが罹患することが予想される罹患率の高い悪性新生物でもあります。つまり死因とはなりにくい悪性新生物ではありますが、患者数が多いために前立腺癌で死亡する患者数は少なくないと言えます。加えて同じく同研究センターの県別の罹患率に関する調査では沖縄県は最も罹患率は低かったのですが、これは沖縄県の男性が前立腺癌に罹患しにくいとは考えにくく、いまだ前立腺腫瘍マーカー (PSA) による健診が沖縄県で十分に普及していないことが一因であると推測されます。この PSA 健診が普及していないことが全国のデータと比較しても Ⅳ 期で診断される患者が多い理由と考えられます。

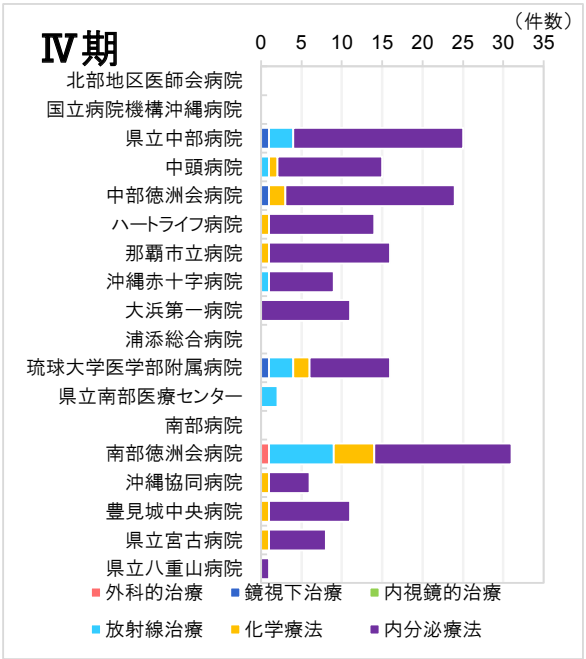
(次のページにつづく→)

施設別　UICC TNM 分類　治療前ステージ別　治療の件数－Ⅰ期～Ⅳ期









＊件数は延べ件数（手術と化学療法を組み合わせて行った場合は、どちらの項目でもカウントされる）
＊記載のない治療方法については巻末の集計表を参照
＊県立南部医療センター・こども医療センターを便宜上、「県立南部医療センター」と表記
こちらの集計対象は以下の条件を満たす登録である
1. 症例区分「20：自施設診断・自施設初回治療開始」「21：自施設診断・自施設初回治療継続」「30：他施設診断・自施設初回治療開始」「31：他施設診断・自施設初回治療継続」のみ集計
2.「癌腫」

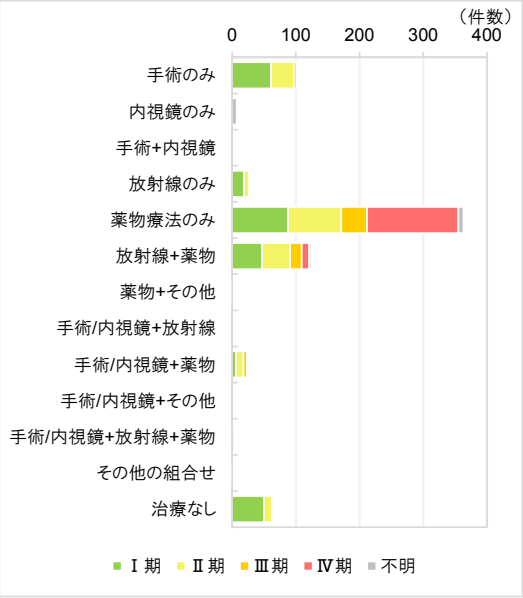
臨床医からのコメント

前立腺癌の治療は原則早期癌であれば、手術療法、放射線療法、内分泌療法が標準的な治療となります。手術療法では現在はロボット支援手術が主流であり、県内では中部徳洲会病院、琉大附属病院、中頭病院に導入されています。放射線治療に関しては、中頭病院、県立中部病院、琉大附属病院、那覇市立病院、南部医療センター、そして南部徳洲会病院に導入されており、このことが施設別前立腺癌の治療件数にも反映されています。また治療前初回治療の組み合わせで薬物療法が多いのは、放射線治療前に内分泌療法を行うことが多いことが反映されていると考えられます。

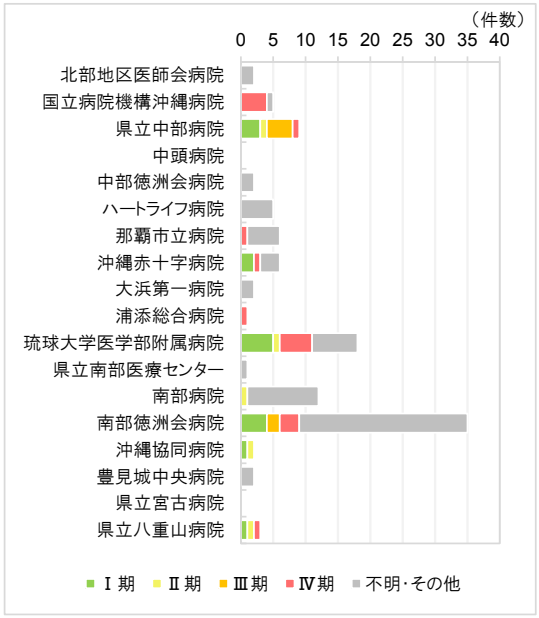
泌尿器科医を目指す後期専攻医は東京・大阪等の都市部では多いのですが、沖縄を含めたその他の地域では不足しているのが現状です。泌尿器科医を沖縄県で育成していく必要があると考えられます。

向山　秀樹（南部徳洲会病院　泌尿器科部長）

UICC TNM 分類　治療前ステージ別 初回治療の組み合わせ別 （他施設での治療を含む） 登録数



施設別　UICC TNM 分類　治療前ステージ別 初回治療終了後の受け入れ　登録数



＊県立南部医療センター・こども医療センターを便宜上、「県立南部医療センター」と表記
こちらの集計対象は以下の条件を満たす登録である
1. 症例区分「20：自施設診断・自施設初回治療開始」「21：自施設診断・自施設初回治療継続」「30：他施設診断・自施設初回治療開始」「31：他施設診断・自施設初回治療継続」のみ集計（初回治療終了後の受け入れ登録数は、症例区分「40：初回治療終了後」のみ集計）
2.「癌腫」

脳・中枢神経系

データを見ると

18 施設の脳・中枢神経系がん登録数は 243 件（2018 年）で、前年の登録数とほぼ同数でした。

男女別の登録割合（2018 年）は、男性 42.0%、女性 58.0%で、年次推移は横ばい傾向でした。年齢階級別登録割合の年次推移をみると、各年齢階級に幅広く症例があり、症例数の多い年齢階級についても年ごとに異なる傾向が見られました。

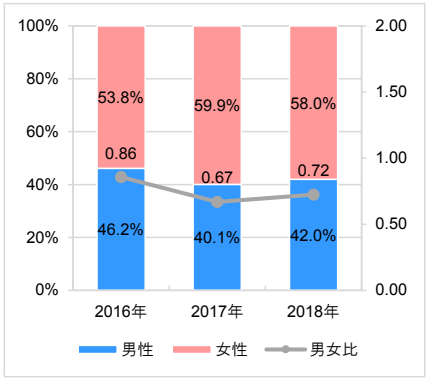
詳細部位別登録割合をみると、小児は「小脳」22.5%、「側頭葉」15.0%で、成人は「脳髄膜」28.3%、「下垂体」16.0%でした。腫瘍別では、小児は「髄芽腫」10.0%、「グリオーマ，悪性」7.5%で、成人では「髄膜腫」22.0%、「下垂体腺腫」12.3%で、年齢によって発生部位と腫瘍の種類に違いがあることが認められた。

施設別　登録数の推移

脳・中枢神経系	2014年		2015年		2016年		2017年		2018年	
沖縄県18施設合計	213	(100.0%)	228	(100.0%)	221	(100.0%)	252	(100.0%)	243	(100.0%)
北部地区医師会病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
国立病院機構沖縄病院	2	(0.9%)	3	(1.3%)	3	(1.4%)	2	(0.8%)	1	(0.4%)
県立中部病院	25	(11.7%)	26	(11.4%)	29	(13.1%)	35	(13.9%)	26	(10.7%)
中頭病院	8	(3.8%)	5	(2.2%)	10	(4.5%)	6	(2.4%)	3	(1.2%)
中部徳洲会病院	23	(10.8%)	4	(1.8%)	5	(2.3%)	17	(6.7%)	26	(10.7%)
ハートライフ病院	13	(6.1%)	6	(2.6%)	10	(4.5%)	7	(2.8%)	9	(3.7%)
那覇市立病院	22	(10.3%)	14	(6.1%)	19	(8.6%)	14	(5.6%)	17	(7.0%)
沖縄赤十字病院	7	(3.3%)	10	(4.4%)	6	(2.7%)	11	(4.4%)	13	(5.3%)
大浜第一病院	--	--	--	--	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
浦添総合病院	15	(7.0%)	29	(12.7%)	20	(9.0%)	23	(9.1%)	15	(6.2%)
琉球大学医学部附属病院	57	(26.8%)	91	(39.9%)	65	(29.4%)	79	(31.3%)	74	(30.5%)
県立南部医療センター・こども医療センター	13	(6.1%)	21	(9.2%)	21	(9.5%)	25	(9.9%)	22	(9.1%)
南部病院	4	(1.9%)	0	(0.0%)	1	(0.5%)	4	(1.6%)	6	(2.5%)
南部徳洲会病院	4	(1.9%)	4	(1.8%)	7	(3.2%)	2	(0.8%)	6	(2.5%)
沖縄協同病院	5	(2.3%)	6	(2.6%)	3	(1.4%)	8	(3.2%)	6	(2.5%)
豊見城中央病院	13	(6.1%)	7	(3.1%)	19	(8.6%)	18	(7.1%)	11	(4.5%)
県立宮古病院	2	(0.9%)	2	(0.9%)	3	(1.4%)	1	(0.4%)	5	(2.1%)
県立八重山病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(1.2%)

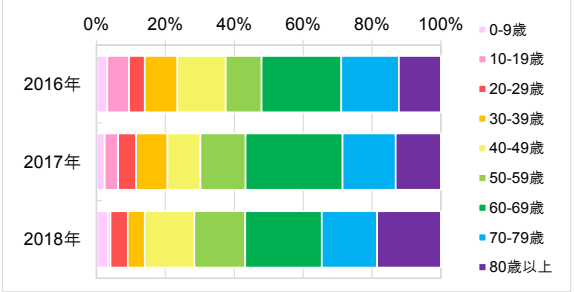
男女別　登録割合の推移

脳・中枢神経系	2016年		2017年		2018年	
男性	102	(46.2%)	101	(40.1%)	102	(42.0%)
女性	119	(53.8%)	151	(59.9%)	141	(58.0%)
男女比		0.86		0.67		0.72
合計	221	(100.0%)	252	(100.0%)	243	(100.0%)



年齢階級別　登録数と登録割合の推移

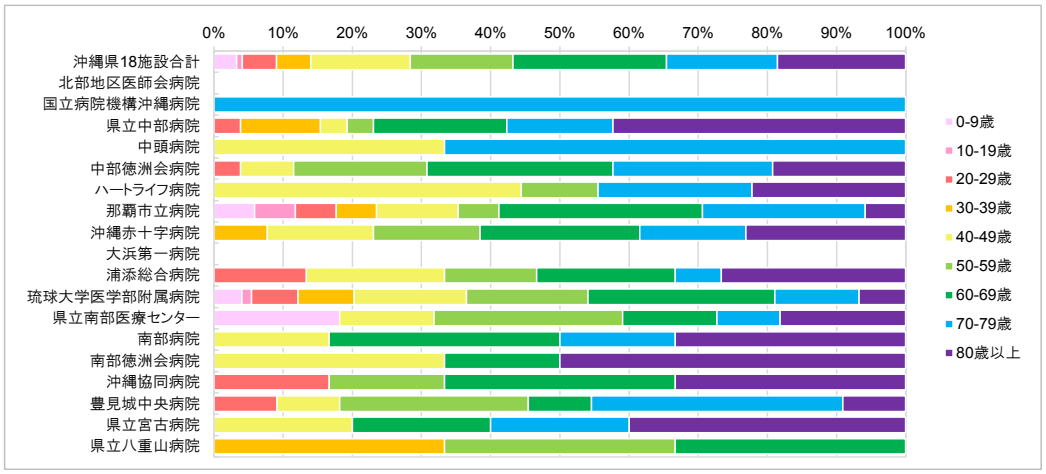
脳	2016年		2017年		2018年	
合計	221	(100.0%)	252	(100.0%)	243	(100.0%)
0-9歳	7	(3.2%)	6	(2.4%)	8	(3.3%)
10-19歳	14	(6.3%)	10	(4.0%)	2	(0.8%)
20-29歳	10	(4.5%)	13	(5.2%)	12	(4.9%)
30-39歳	21	(9.5%)	23	(9.1%)	12	(4.9%)
40-49歳	31	(14.0%)	24	(9.5%)	35	(14.4%)
50-59歳	23	(10.4%)	33	(13.1%)	36	(14.8%)
60-69歳	51	(23.1%)	71	(28.2%)	54	(22.2%)
70-79歳	37	(16.7%)	39	(15.5%)	39	(16.0%)
80歳以上	27	(12.2%)	33	(13.1%)	45	(18.5%)



＊症例区分「80：その他」を除いて集計
＊男女別登録割合の「男女比」は、女性を１としたときの男性の比率

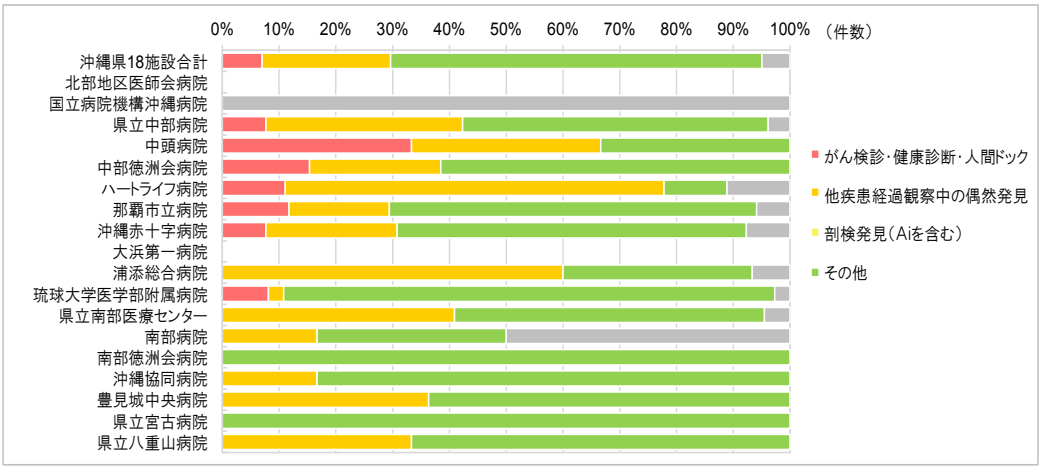
施設別　年齢階級別　登録数と登録割合

脳・中枢神経系	0-9歳		10-19歳		20-29歳		30-39歳		40-49歳		50-59歳		60-69歳		70-79歳		80歳以上		合計	
沖縄県18施設合計	8	(3.3%)	2	(0.8%)	12	(4.9%)	12	(4.9%)	35	(14.4%)	36	(14.8%)	54	(22.2%)	39	(16.0%)	45	(18.5%)	243	(100.0%)
北部地区医師会病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
国立病院機構沖縄病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(100.0%)	0	(0.0%)	1	(100.0%)
県立中部病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(3.8%)	3	(11.5%)	1	(3.8%)	1	(3.8%)	5	(19.2%)	4	(15.4%)	11	(42.3%)	26	(100.0%)
中頭病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(33.3%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(66.7%)	0	(0.0%)	3	(100.0%)
中部徳洲会病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(3.8%)	0	(0.0%)	2	(7.7%)	5	(19.2%)	7	(26.9%)	6	(23.1%)	5	(19.2%)	26	(100.0%)
ハートライフ病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	4	(44.4%)	1	(11.1%)	0	(0.0%)	2	(22.2%)	2	(22.2%)	9	(100.0%)
那覇市立病院	1	(5.9%)	1	(5.9%)	1	(5.9%)	1	(5.9%)	2	(11.8%)	1	(5.9%)	5	(29.4%)	4	(23.5%)	1	(5.9%)	17	(100.0%)
沖縄赤十字病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(7.7%)	2	(15.4%)	2	(15.4%)	3	(23.1%)	2	(15.4%)	3	(23.1%)	13	(100.0%)
大浜第一病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
浦添総合病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(13.3%)	0	(0.0%)	3	(20.0%)	2	(13.3%)	3	(20.0%)	1	(6.7%)	4	(26.7%)	15	(100.0%)
琉球大学医学部附属病院	3	(4.1%)	1	(1.4%)	5	(6.8%)	6	(8.1%)	12	(16.2%)	13	(17.6%)	20	(27.0%)	9	(12.2%)	5	(6.8%)	74	(100.0%)
県立南部医療センター・こども医療センター	4	(18.2%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(13.6%)	6	(27.3%)	3	(13.6%)	2	(9.1%)	4	(18.2%)	22	(100.0%)
南部病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(16.7%)	0	(0.0%)	2	(33.3%)	1	(16.7%)	2	(33.3%)	6	(100.0%)
南部徳洲会病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(33.3%)	0	(0.0%)	1	(16.7%)	0	(0.0%)	3	(50.0%)	6	(100.0%)
沖縄協同病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(16.7%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(16.7%)	2	(33.3%)	0	(0.0%)	2	(33.3%)	6	(100.0%)
豊見城中央病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(9.1%)	0	(0.0%)	1	(9.1%)	3	(27.3%)	1	(9.1%)	4	(36.4%)	1	(9.1%)	11	(100.0%)
県立宮古病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(20.0%)	0	(0.0%)	1	(20.0%)	1	(20.0%)	2	(40.0%)	5	(100.0%)
県立八重山病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(33.3%)	0	(0.0%)	1	(33.3%)	1	(33.3%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(100.0%)



施設別　発見経緯別　登録数と登録割合

脳・中枢神経系	がん検診・健康診断・人間ドック		他疾患経過観察中の偶然発見		剖検発見（Aiを含む）		その他		不明		合計	
沖縄県18施設合計	17	(7.0%)	55	(22.6%)	0	(0.0%)	159	(65.4%)	12	(4.9%)	243	(100.0%)
北部地区医師会病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
国立病院機構沖縄病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(100.0%)	1	(100.0%)
県立中部病院	2	(7.7%)	9	(34.6%)	0	(0.0%)	14	(53.8%)	1	(3.8%)	26	(100.0%)
中頭病院	1	(33.3%)	1	(33.3%)	0	(0.0%)	1	(33.3%)	0	(0.0%)	3	(100.0%)
中部徳洲会病院	4	(15.4%)	6	(23.1%)	0	(0.0%)	16	(61.5%)	0	(0.0%)	26	(100.0%)
ハートライフ病院	1	(11.1%)	6	(66.7%)	0	(0.0%)	1	(11.1%)	1	(11.1%)	9	(100.0%)
那覇市立病院	2	(11.8%)	3	(17.6%)	0	(0.0%)	11	(64.7%)	1	(5.9%)	17	(100.0%)
沖縄赤十字病院	1	(7.7%)	3	(23.1%)	0	(0.0%)	8	(61.5%)	1	(7.7%)	13	(100.0%)
大浜第一病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
浦添総合病院	0	(0.0%)	9	(60.0%)	0	(0.0%)	5	(33.3%)	1	(6.7%)	15	(100.0%)
琉球大学医学部附属病院	6	(8.1%)	2	(2.7%)	0	(0.0%)	64	(86.5%)	2	(2.7%)	74	(100.0%)
県立南部医療センター・こども医療センター	0	(0.0%)	9	(40.9%)	0	(0.0%)	12	(54.5%)	1	(4.5%)	22	(100.0%)
南部病院	0	(0.0%)	1	(16.7%)	0	(0.0%)	2	(33.3%)	3	(50.0%)	6	(100.0%)
南部徳洲会病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	6	(100.0%)	0	(0.0%)	6	(100.0%)
沖縄協同病院	0	(0.0%)	1	(16.7%)	0	(0.0%)	5	(83.3%)	0	(0.0%)	6	(100.0%)
豊見城中央病院	0	(0.0%)	4	(36.4%)	0	(0.0%)	7	(63.6%)	0	(0.0%)	11	(100.0%)
県立宮古病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	5	(100.0%)	0	(0.0%)	5	(100.0%)
県立八重山病院	0	(0.0%)	1	(33.3%)	0	(0.0%)	2	(66.7%)	0	(0.0%)	3	(100.0%)



＊症例区分「80：その他」を除いて集計
＊県立南部医療センター・こども医療センターを便宜上、「県立南部医療センター」と表記

小児の詳細部位別　登録数－2016年～2018年

局在コード	部位名	件数	（%）
C700	脳髄膜	0	(0.0%)
C709	髄膜, NOS	0	(0.0%)
C710	大脳	2	(5.0%)
C711	前頭葉	3	(7.5%)
C712	側頭葉	6	(15.0%)
C713	頭頂葉	0	(0.0%)
C714	後頭葉	0	(0.0%)
C715	脳室, NOS	1	(2.5%)
C716	小脳, NOS	9	(22.5%)
C717	脳幹	3	(7.5%)
C718	脳の境界部病巣	0	(0.0%)
C719	脳, NOS	4	(10.0%)
C722	嗅神経	0	(0.0%)
C723	視神経	1	(2.5%)
C724	聴神経	1	(2.5%)
C725	脳神経	0	(0.0%)
C728	脳及び中枢神経系の境界部病巣	0	(0.0%)
C729	神経系, NOS	0	(0.0%)
C751	下垂体	5	(12.5%)
C752	頭蓋咽頭管	1	(2.5%)
C753	松果体	4	(10.0%)
		40	(100.0%)

成人の詳細部位別　登録数－2016年～2018年

局在コード	部位名	件数	（%）
C700	脳髄膜	191	(28.3%)
C709	髄膜, NOS	0	(0.0%)
C710	大脳	37	(5.5%)
C711	前頭葉	84	(12.4%)
C712	側頭葉	53	(7.8%)
C713	頭頂葉	24	(3.6%)
C714	後頭葉	11	(1.6%)
C715	脳室, NOS	12	(1.8%)
C716	小脳, NOS	68	(10.1%)
C717	脳幹	22	(3.3%)
C718	脳の境界部病巣	0	(0.0%)
C719	脳, NOS	15	(2.2%)
C722	嗅神経	1	(0.1%)
C723	視神経	2	(0.3%)
C724	聴神経	35	(5.2%)
C725	脳神経	8	(1.2%)
C728	脳及び中枢神経系の境界部病巣	0	(0.0%)
C729	神経系, NOS	0	(0.0%)
C751	下垂体	108	(16.0%)
C752	頭蓋咽頭管	2	(0.3%)
C753	松果体	3	(0.4%)
		676	(100.0%)

＊症例区分「80：その他」を除いて集計
＊このページにおける「小児」とは0歳から14歳までを指し、「成人」とは15歳以上を指す
＊脳・中枢神経系のがんは症例数が少ないため、3年束で集計を行った

小児の腫瘍別（形態別）登録数－2016年～2018年

形態コード	形態	件数	（%）
8000/0	新生物，良性	7	（17.5%）
8000/1	新生物，良性又は悪性の別不詳	3	（7.5%）
8272/0	下垂体腺腫，NOS	1	（2.5%）
8800/3	肉腫，NOS	1	（2.5%）
8805/3	未分化肉腫	1	（2.5%）
9064/3	胚腫	3	（7.5%）
9080/3	奇形腫，悪性	1	（2.5%）
9084/0	皮様のう胞，NOS	1	（2.5%）
9085/3	混合性胚細胞腫瘍	2	（5.0%）
9350/1	頭蓋咽頭腫	2	（5.0%）
9351/1	頭蓋咽頭腫,エナメル上皮腫様	2	（5.0%）
9362/3	松果体芽腫	1	（2.5%）
9380/3	グリオーマ，悪性	3	（7.5%）
9401/3	アストロサイトーマ，退形成性	1	（2.5%）
9421/1	毛細胞性アストロサイトーマ	2	（5.0%）
9440/3	膠芽腫，NOS	2	（5.0%）
9470/3	髄芽腫，NOS	4	（10.0%）
9492/0	神経節細胞腫	1	（2.5%）
9505/1	神経節膠腫，NOS	1	（2.5%）
9508/3	神経節膠腫，NOS	1	（2.5%）
合計		40	（100.0%）

成人の腫瘍別（形態別）登録数－2016年～2018年

形態コード	形態	件数	（%）
8000/0	新生物，良性	56	（8.3%）
8000/1	新生物，良性又は悪性の別不詳	33	（4.9%）
8000/3	新生物，悪性	34	（5.0%）
8011/0	上皮腫，良性	1	（0.1%）
8070/3	扁平上皮癌，NOS	1	（0.1%）
8140/0	腺腫，NOS	3	（0.4%）
8200/3	腺様のう胞癌	2	（0.3%）
8271/0	プロラクチノーマ	9	（1.3%）
8272/0	下垂体腺腫，NOS	83	（12.3%）
9064/3	胚腫	1	（0.1%）
9065/3	胚細胞腫瘍，非セミナーマ性	1	（0.1%）
9080/3	奇形腫，悪性，NOS	1	（0.1%）
9084/0	皮様のう胞，NOS	1	（0.1%）
9120/0	血管腫，NOS	1	（0.1%）
9120/3	血管肉腫	1	（0.1%）
9121/0	海綿状血管腫	2	（0.3%）
9150/1	血管外皮腫，NOS	1	（0.1%）
9161/1	血管芽腫	16	（2.4%）
9170/0	リンパ管腫，NOS	1	（0.1%）
9350/1	頭蓋咽頭腫	5	（0.7%）
9351/1	頭蓋咽頭腫，エナメル上皮腫様	3	（0.4%）
9360/1	松果体腫	1	（0.1%）
9370/3	脊索腫，NOS	1	（0.1%）
9371/3	軟骨様脊索腫	2	（0.3%）
9380/3	グリオーマ，悪性	33	（4.9%）
9381/3	脳膠腫症	1	（0.1%）
9382/3	混合グリオーマ	1	（0.1%）
9383/1	上衣下腫	1	（0.1%）
9391/3	上衣腫，NOS	2	（0.3%）
9392/3	上衣腫，退形成性	2	（0.3%）
9400/3	アストロサイトーマ，NOS	10	（1.5%）
9401/3	アストロサイトーマ，退形成性	15	（2.2%）
9410/3	原形質性アストロサイトーマ	1	（0.1%）
9421/1	毛細胞性アストロサイトーマ	2	（0.3%）
9424/3	多形性黄色アストロサイトーマ	4	（0.6%）
9430/3	星芽腫	1	（0.1%）
9440/3	膠芽腫，NOS	65	（9.6%）
9441/3	巨細胞膠芽腫	1	（0.1%）
9451/3	希突起膠腫，退形成性	3	（0.4%）
9506/1	中枢神経細胞腫	1	（0.1%）
9530/0	髄膜腫，NOS	149	（22.0%）
9530/1	髄膜腫症，NOS	11	（1.6%）
9530/3	髄膜腫，悪性	5	（0.7%）
9531/0	髄膜性髄膜腫	33	（4.9%）
9532/0	線維性髄膜腫	13	（1.9%）
9533/0	砂粒腫性髄膜腫	1	（0.1%）
9534/0	血管腫性髄膜腫	3	（0.4%）
9537/0	移行型髄膜腫	16	（2.4%）
9539/1	異型髄膜腫	7	（1.0%）
9560/0	神経鞘腫，NOS	35	（5.2%）
合計		676	（100.0%）

＊症例区分「80：その他」を除いて集計
＊このページにおける「小児」とは0歳から14歳までを指し、「成人」とは15歳以上を指す
＊脳・中枢神経系のがんは症例数が少ないため、3年束で集計を行った

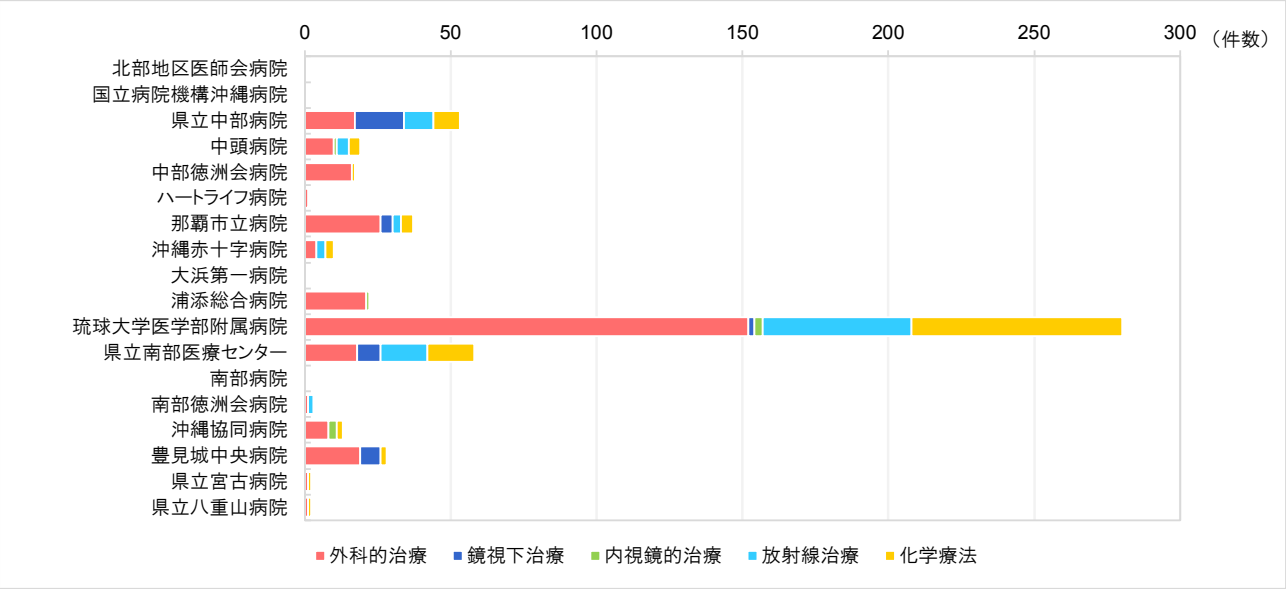
臨床医からのコメント

沖縄県における脳・中枢神経系がん登録件数は 243 件 (2018 年) でこの数は過去 2 年の 221 件 (2016 年)、252 件 (2017 年) とほぼ横並びである。人口 10 万当たりの本県の脳腫瘍の発生頻度は 15.4 人で熊本県の 14.0 人と同等である。過去 3 年間 (2016 ～ 2018 年) での腫瘍別頻度は成人では髄膜腫 149 件 (22.0%) が多く、次いで下垂体腺腫 83 件 (12.3%)、神経膠芽腫 65 件 (9.6%)、神経鞘腫 35 件 (5.2%) の順である。小児では胚細胞性腫瘍 7 件 (17.5%)、髄芽腫 4 件 (10.0%)、悪性グリオーマ 3 件 (7.5%) の順であった。これらの結果は成人、小児とも全国の脳腫瘍発生頻度に類似した傾向といえるだろう。

中枢神経系腫瘍の新 WHO 分類 (改訂版第 4 版、WHO2016) では組織学的分類名と遺伝子異常が併記される integrated diagnosis (統括的組織診断) が一般的となった。遺伝子解析が実施されない場合は NOS と表記される。がん登録では ICD-O3 が用いられているが詳細な組織診断がなされていないものに NOS が記載されている点やがん登録疾病分類 (腫瘍学) においては (次のページにつづく→)

施設別　治療の件数－ 2016 年～ 2018 年

脳・中枢神経系	外科的治療		鏡視下治療		内視鏡的治療		放射線治療		薬物療法		その他		治療なし		合計	
沖縄県18施設合計	295	(38.8%)	38	(5.0%)	8	(1.1%)	89	(11.7%)	115	(15.1%)	11	(1.4%)	205	(26.9%)	761	(100.0%)
北部地区医師会病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
国立病院機構沖縄病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(100.0%)	1	(100.0%)
県立中部病院	17	(20.0%)	17	(20.0%)	0	(0.0%)	10	(11.8%)	9	(10.6%)	0	(0.0%)	32	(37.6%)	85	(100.0%)
中頭病院	10	(40.0%)	0	(0.0%)	1	(4.0%)	4	(16.0%)	4	(16.0%)	0	(0.0%)	6	(24.0%)	25	(100.0%)
中部徳洲会病院	16	(41.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(2.6%)	0	(0.0%)	22	(56.4%)	39	(100.0%)
ハートライフ病院	1	(8.3%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	11	(91.7%)	12	(100.0%)
那覇市立病院	26	(52.0%)	4	(8.0%)	0	(0.0%)	3	(6.0%)	4	(8.0%)	0	(0.0%)	13	(26.0%)	50	(100.0%)
沖縄赤十字病院	4	(16.7%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(12.5%)	3	(12.5%)	0	(0.0%)	14	(58.3%)	24	(100.0%)
大浜第一病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
浦添総合病院	21	(44.7%)	0	(0.0%)	1	(2.1%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	25	(53.2%)	47	(100.0%)
琉球大学医学部附属病院	152	(47.4%)	2	(0.6%)	3	(0.9%)	51	(15.9%)	72	(22.4%)	3	(0.9%)	38	(11.8%)	321	(100.0%)
県立南部医療センター・こども医療センター	18	(22.8%)	8	(10.1%)	0	(0.0%)	16	(20.3%)	16	(20.3%)	5	(6.3%)	16	(20.3%)	79	(100.0%)
南部病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(100.0%)	1	(100.0%)
南部徳洲会病院	1	(9.1%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(18.2%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	8	(72.7%)	11	(100.0%)
沖縄協同病院	8	(44.4%)	0	(0.0%)	3	(16.7%)	0	(0.0%)	2	(11.1%)	2	(11.1%)	3	(16.7%)	18	(100.0%)
豊見城中央病院	19	(46.3%)	7	(17.1%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(4.9%)	0	(0.0%)	13	(31.7%)	41	(100.0%)
県立宮古病院	1	(20.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(20.0%)	1	(20.0%)	2	(40.0%)	5	(100.0%)
県立八重山病院	1	(50.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(50.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(100.0%)



＊件数は延べ件数（手術と化学療法を組み合わせて行った場合は、どちらの項目でもカウントされる）
＊記載のない治療方法については巻末の集計表を参照
＊県立南部医療センター・こども医療センターを便宜上、「県立南部医療センター」と表記
こちらの集計対象は以下の条件を満たす登録である
1. 症例区分「20：自施設診断・自施設初回治療開始」「21：自施設診断・自施設初回治療継続」「30：他施設診断・自施設初回治療開始」「31：他施設診断・自施設初回治療継続」のみ集計

臨床医からのコメント

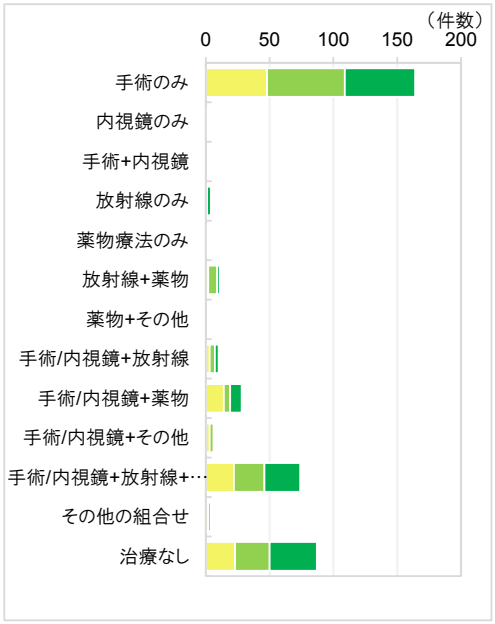
脳・中枢神経系に頭蓋内原発悪性リンパ腫の記載がないなど WHO2016 と違った分類方式である点に注意の必要があるだろう。

統括的組織診断が必須となった現状では悪性グリオーマに関しては遺伝子変化の詳細を解析しないと確定診断に至らない。IDH 変異や 1p19q co-deletion の有無は診断に必須でありさらに小児の脳幹、視床、脊髄に発症するものは Diffuse midline glioma と定義され、H3 K27M の変異を伴い悪性度は WHO grade IV であるため治療方針確定のためには DNA シーケンスによる変異の確認が求められている。本県では 18 施設中 11 施設で治療が行われているが年を追うごとに集約化が更に進んでいくものと思われる。今後は転移性脳腫瘍においては、すでに導入されているチェックポイント阻害剤の原発性脳腫瘍への導入も含めて遺伝子表現型により細分化された統括診断に基づく遺伝子治療や抗体療法、新規治療剤の開発が待たれる。

石内　勝吾（琉球大学医学部附属病院　脳神経外科　教授）

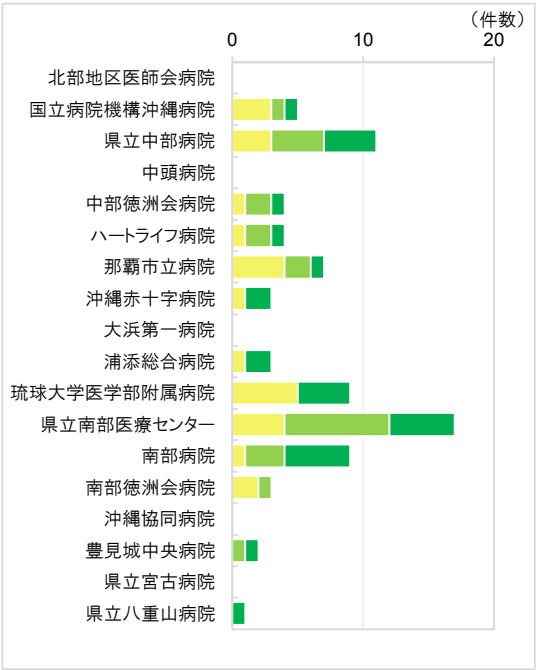
初回治療の組み合わせ別（他施設での治療を含む）　登録数－ 2016 年～ 2018 年

脳･中枢神経系	2016年	2017年	2018年
合計	119 （100.0%）	134 （100.0%）	140 （100.0%）
手術のみ	48 （40.3%）	61 （45.5%）	55 （39.3%）
内視鏡のみ	1 （0.8%）	0 （0.0%）	1 （0.7%）
手術+内視鏡	0 （0.0%）	0 （0.0%）	0 （0.0%）
放射線のみ	1 （0.8%）	0 （0.0%）	3 （2.1%）
薬物療法のみ	0 （0.0%）	1 （0.7%）	1 （0.7%）
放射線+薬物	2 （1.7%）	7 （5.2%）	2 （1.4%）
薬物+その他	0 （0.0%）	0 （0.0%）	0 （0.0%）
手術/内視鏡+放射線	3 （2.5%）	4 （3.0%）	3 （2.1%）
手術/内視鏡+薬物	14 （11.8%）	5 （3.7%）	9 （6.4%）
手術/内視鏡+その他	3 （2.5%）	3 （2.2%）	0 （0.0%）
手術/内視鏡+放射線+薬物	22 （18.5%）	24 （17.9%）	28 （20.0%）
その他の組合せ	2 （1.7%）	2 （1.5%）	1 （0.7%）
治療なし	23 （19.3%）	27 （20.1%）	37 （26.4%）



施設別初回治療終了後の受け入れ　登録数－ 2016 年～ 2018 年

脳･中枢神経系	2016年	2017年	2018年
沖縄県18施設合計	26 （100.0%）	24 （92.3%）	28 （107.7%）
北部地区医師会病院	0 （0.0%）	0 （0.0%）	0 （0.0%）
国立病院機構沖縄病院	3 （11.5%）	1 （3.8%）	1 （3.8%）
県立中部病院	3 （11.5%）	4 （15.4%）	4 （15.4%）
中頭病院	0 （0.0%）	0 （0.0%）	0 （0.0%）
中部徳洲会病院	1 （3.8%）	2 （7.7%）	1 （3.8%）
ハートライフ病院	1 （3.8%）	2 （7.7%）	1 （3.8%）
那覇市立病院	4 （15.4%）	2 （7.7%）	1 （3.8%）
沖縄赤十字病院	1 （3.8%）	0 （0.0%）	2 （7.7%）
大浜第一病院	0 （0.0%）	0 （0.0%）	0 （0.0%）
浦添総合病院	1 （3.8%）	0 （0.0%）	2 （7.7%）
琉球大学医学部附属病院	5 （19.2%）	0 （0.0%）	4 （15.4%）
県立南部医療センター･こども医療センター	4 （15.4%）	8 （30.8%）	5 （19.2%）
南部病院	1 （3.8%）	3 （11.5%）	5 （19.2%）
南部徳洲会病院	2 （7.7%）	1 （3.8%）	0 （0.0%）
沖縄協同病院	0 （0.0%）	0 （0.0%）	0 （0.0%）
豊見城中央病院	0 （0.0%）	1 （3.8%）	1 （3.8%）
県立宮古病院	0 （0.0%）	0 （0.0%）	0 （0.0%）
県立八重山病院	0 （0.0%）	0 （0.0%）	1 （3.8%）



＊県立南部医療センター・こども医療センターを便宜上、「県立南部医療センター」と表記
こちらの集計対象は以下の条件を満たす登録である
1. 症例区分「20：自施設診断・自施設初回治療開始」「21：自施設診断・自施設初回治療継続」「30：他施設診断・自施設初回治療開始」「31：他施設診断・自施設初回治療継続」のみ集計（初回治療終了後の受け入れ登録数は、症例区分「40：初回治療終了後」のみ集計）」

血液腫瘍（悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、白血病、他の造血器腫瘍）

データを見ると

18 施設の血液腫瘍登録数は 805 件（2018 年）で、前年の登録数とほぼ同数でした。

男女別の登録割合（2018 年）は、男性 57.9%、女性 42.1%と、男性がわずかに多く、年次推移は横ばい傾向でした。年齢階級別登録割合をみると、いずれの年も 0 ～ 39 歳の若年層が全体の約 1 割を占めていました。

登録数を施設別にみると、件数の多い上位 3 施設は、県立南部医療センター・こども医療センター 146 件、琉球大学医学部附属病院 130 件、中頭病院 75 件、県立中部病院 72 件、那覇市立病院 72 件、ハートライフ病院 70 件、沖縄赤十字病院 70 件でした。

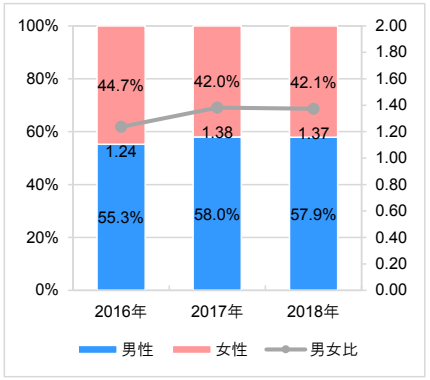
腫瘍別（形態別）登録数をみると、「びまん性大細胞性 B 細胞性リンパ腫」152 件（18.9%）と最も多く、次いで「成人 T 細胞性白血病／リンパ腫」100 件（12.4%）でした。

施設別　登録数の推移

血液腫瘍	2014年		2015年		2016年		2017年		2018年	
沖縄県18施設合計	680	(100.0%)	791	(100.0%)	756	(100.0%)	798	(100.0%)	805	(100.0%)
北部地区医師会病院	3	(0.4%)	7	(0.9%)	3	(0.4%)	9	(1.1%)	8	(1.0%)
国立病院機構沖縄病院	2	(0.3%)	5	(0.6%)	10	(1.3%)	11	(1.4%)	8	(1.0%)
県立中部病院	79	(11.6%)	118	(14.9%)	89	(11.8%)	81	(10.2%)	72	(8.9%)
中頭病院	105	(15.4%)	106	(13.4%)	88	(11.6%)	105	(13.2%)	75	(9.3%)
中部徳洲会病院	17	(2.5%)	23	(2.9%)	22	(2.9%)	43	(5.4%)	43	(5.3%)
ハートライフ病院	77	(11.3%)	98	(12.4%)	115	(15.2%)	75	(9.4%)	70	(8.7%)
那覇市立病院	83	(12.2%)	90	(11.4%)	80	(10.6%)	53	(6.6%)	72	(8.9%)
沖縄赤十字病院	91	(13.4%)	61	(7.7%)	62	(8.2%)	65	(8.1%)	70	(8.7%)
大浜第一病院	--	--	--	--	7	(0.9%)	2	(0.3%)	4	(0.5%)
浦添総合病院	12	(1.8%)	17	(2.1%)	14	(1.9%)	16	(2.0%)	15	(1.9%)
琉球大学医学部附属病院	110	(16.2%)	140	(17.7%)	132	(17.5%)	131	(16.4%)	130	(16.1%)
県立南部医療センター・こども医療センター	49	(7.2%)	72	(9.1%)	68	(9.0%)	124	(15.5%)	146	(18.1%)
南部病院	7	(1.0%)	8	(1.0%)	11	(1.5%)	8	(1.0%)	6	(0.7%)
南部徳洲会病院	21	(3.1%)	11	(1.4%)	21	(2.8%)	17	(2.1%)	17	(2.1%)
沖縄協同病院	2	(0.3%)	4	(0.5%)	3	(0.4%)	9	(1.1%)	15	(1.9%)
豊見城中央病院	9	(1.3%)	15	(1.9%)	7	(0.9%)	14	(1.8%)	17	(2.1%)
県立宮古病院	8	(1.2%)	5	(0.6%)	8	(1.1%)	16	(2.0%)	20	(2.5%)
県立八重山病院	5	(0.7%)	11	(1.4%)	16	(2.1%)	19	(2.4%)	17	(2.1%)

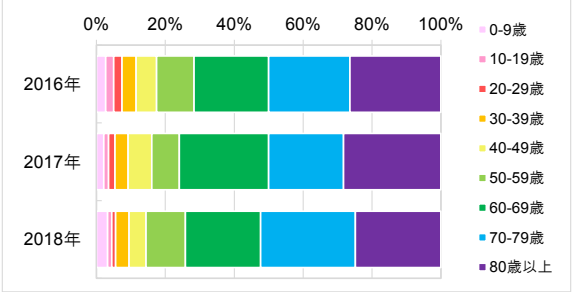
男女別　登録割合の推移

血液腫瘍	2016年		2017年		2018年	
男性	418	(55.3%)	463	(58.0%)	466	(57.9%)
女性	338	(44.7%)	335	(42.0%)	339	(42.1%)
男女比		1.24		1.38		1.37
合計	756	(100.0%)	798	(100.0%)	805	(100.0%)



年齢階級別　登録数と登録割合の推移

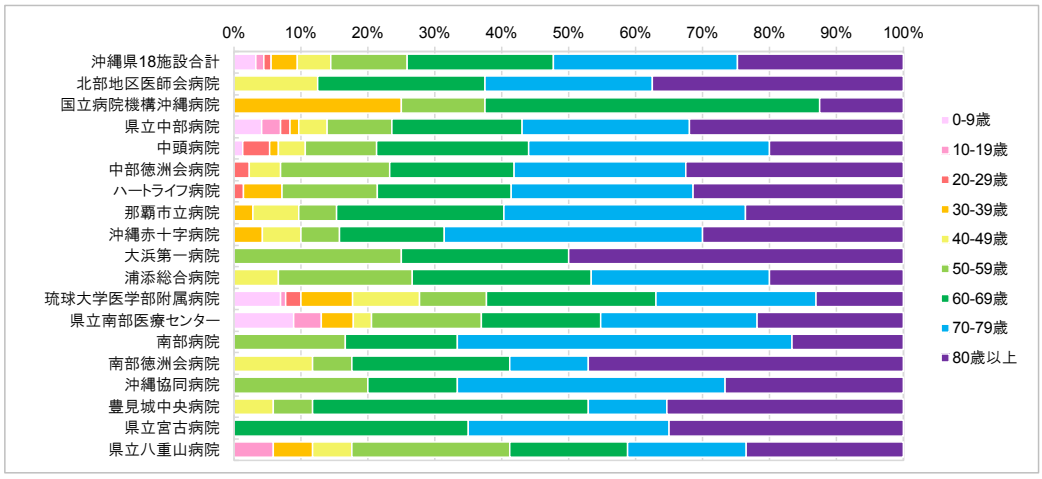
血液腫瘍	2016年		2017年		2018年	
合計	756	(100.0%)	798	(100.0%)	805	(100.0%)
0-9歳	20	(2.6%)	17	(2.1%)	26	(3.2%)
10-19歳	18	(2.4%)	11	(1.4%)	10	(1.2%)
20-29歳	18	(2.4%)	15	(1.9%)	9	(1.1%)
30-39歳	31	(4.1%)	30	(3.8%)	31	(3.9%)
40-49歳	45	(6.0%)	55	(6.9%)	40	(5.0%)
50-59歳	82	(10.8%)	64	(8.0%)	92	(11.4%)
60-69歳	164	(21.7%)	207	(25.9%)	176	(21.9%)
70-79歳	178	(23.5%)	173	(21.7%)	221	(27.5%)
80歳以上	200	(26.5%)	226	(28.3%)	200	(24.8%)



＊症例区分「80：その他」を除いて集計
＊男女別登録割合の「男女比」は、女性を 1 としたときの男性の比率

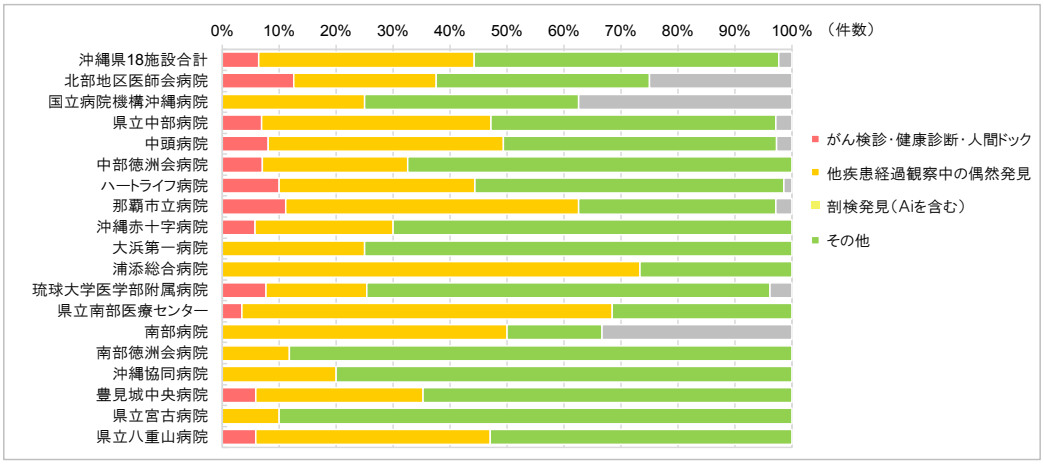
施設別　年齢階級別　登録数と登録割合

血液腫瘍	0-9歳		10-19歳		20-29歳		30-39歳		40-49歳		50-59歳		60-69歳		70-79歳		80歳以上		合計	
沖縄県18施設合計	26	(3.2%)	10	(1.2%)	9	(1.1%)	31	(3.9%)	40	(5.0%)	92	(11.4%)	176	(21.9%)	221	(27.5%)	200	(24.8%)	805	(100.0%)
北部地区医師会病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(12.5%)	0	(0.0%)	2	(25.0%)	2	(25.0%)	3	(37.5%)	8	(100.0%)
国立病院機構沖縄病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(25.0%)	0	(0.0%)	1	(12.5%)	4	(50.0%)	0	(0.0%)	1	(12.5%)	8	(100.0%)
県立中部病院	3	(4.2%)	2	(2.8%)	1	(1.4%)	1	(1.4%)	3	(4.2%)	7	(9.7%)	14	(19.4%)	18	(25.0%)	23	(31.9%)	72	(100.0%)
中頭病院	1	(1.3%)	0	(0.0%)	3	(4.0%)	1	(1.3%)	3	(4.0%)	8	(10.7%)	17	(22.7%)	27	(36.0%)	15	(20.0%)	75	(100.0%)
中部徳洲会病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(2.3%)	0	(0.0%)	2	(4.7%)	7	(16.3%)	8	(18.6%)	11	(25.6%)	14	(32.6%)	43	(100.0%)
ハートライフ病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(1.4%)	4	(5.7%)	0	(0.0%)	10	(14.3%)	14	(20.0%)	19	(27.1%)	22	(31.4%)	70	(100.0%)
那覇市立病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(2.8%)	5	(6.9%)	4	(5.6%)	18	(25.0%)	26	(36.1%)	17	(23.6%)	72	(100.0%)
沖縄赤十字病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(4.3%)	4	(5.7%)	4	(5.7%)	11	(15.7%)	27	(38.6%)	21	(30.0%)	70	(100.0%)
大浜第一病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(25.0%)	1	(25.0%)	0	(0.0%)	2	(50.0%)	4	(100.0%)
浦添総合病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(6.7%)	3	(20.0%)	4	(26.7%)	4	(26.7%)	3	(20.0%)	15	(100.0%)
琉球大学医学部附属病院	9	(6.9%)	1	(0.8%)	3	(2.3%)	10	(7.7%)	13	(10.0%)	13	(10.0%)	33	(25.4%)	31	(23.8%)	17	(13.1%)	130	(100.0%)
県立南部医療センター・こども医療センター	13	(8.9%)	6	(4.1%)	0	(0.0%)	7	(4.8%)	4	(2.7%)	24	(16.4%)	26	(17.8%)	34	(23.3%)	32	(21.9%)	146	(100.0%)
南部病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(16.7%)	1	(16.7%)	3	(50.0%)	1	(16.7%)	6	(100.0%)
南部徳洲会病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(11.8%)	1	(5.9%)	4	(23.5%)	2	(11.8%)	8	(47.1%)	17	(100.0%)
沖縄協同病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(20.0%)	2	(13.3%)	6	(40.0%)	4	(26.7%)	15	(100.0%)
豊見城中央病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(5.9%)	1	(5.9%)	7	(41.2%)	2	(11.8%)	6	(35.3%)	17	(100.0%)
県立宮古病院	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	7	(35.0%)	6	(30.0%)	7	(35.0%)	20	(100.0%)
県立八重山病院	0	(0.0%)	1	(5.9%)	0	(0.0%)	1	(5.9%)	1	(5.9%)	4	(23.5%)	3	(17.6%)	3	(17.6%)	4	(23.5%)	17	(100.0%)



施設別　発見経緯別　登録数と登録割合

血液腫瘍	がん検診・健康診断・人間ドック		他疾患経過観察中の偶然発見		剖検発見（Aiを含む）		その他		不明		合計	
沖縄県18施設合計	51	(6.3%)	305	(37.9%)	0	(0.0%)	430	(53.4%)	19	(2.4%)	805	(100.0%)
北部地区医師会病院	1	(12.5%)	2	(25.0%)	0	(0.0%)	3	(37.5%)	2	(25.0%)	8	(100.0%)
国立病院機構沖縄病院	0	(0.0%)	2	(25.0%)	0	(0.0%)	3	(37.5%)	3	(37.5%)	8	(100.0%)
県立中部病院	5	(6.9%)	29	(40.3%)	0	(0.0%)	36	(50.0%)	2	(2.8%)	72	(100.0%)
中頭病院	6	(8.0%)	31	(41.3%)	0	(0.0%)	36	(48.0%)	2	(2.7%)	75	(100.0%)
中部徳洲会病院	3	(7.0%)	11	(25.6%)	0	(0.0%)	29	(67.4%)	0	(0.0%)	43	(100.0%)
ハートライフ病院	7	(10.0%)	24	(34.3%)	0	(0.0%)	38	(54.3%)	1	(1.4%)	70	(100.0%)
那覇市立病院	8	(11.1%)	37	(51.4%)	0	(0.0%)	25	(34.7%)	2	(2.8%)	72	(100.0%)
沖縄赤十字病院	4	(5.7%)	17	(24.3%)	0	(0.0%)	49	(70.0%)	0	(0.0%)	70	(100.0%)
大浜第一病院	0	(0.0%)	1	(25.0%)	0	(0.0%)	3	(75.0%)	0	(0.0%)	4	(100.0%)
浦添総合病院	0	(0.0%)	11	(73.3%)	0	(0.0%)	4	(26.7%)	0	(0.0%)	15	(100.0%)
琉球大学医学部附属病院	10	(7.7%)	23	(17.7%)	0	(0.0%)	92	(70.8%)	5	(3.8%)	130	(100.0%)
県立南部医療センター・こども医療センター	5	(3.4%)	95	(65.1%)	0	(0.0%)	46	(31.5%)	0	(0.0%)	146	(100.0%)
南部病院	0	(0.0%)	3	(50.0%)	0	(0.0%)	1	(16.7%)	2	(33.3%)	6	(100.0%)
南部徳洲会病院	0	(0.0%)	2	(11.8%)	0	(0.0%)	15	(88.2%)	0	(0.0%)	17	(100.0%)
沖縄協同病院	0	(0.0%)	3	(20.0%)	0	(0.0%)	12	(80.0%)	0	(0.0%)	15	(100.0%)
豊見城中央病院	1	(5.9%)	5	(29.4%)	0	(0.0%)	11	(64.7%)	0	(0.0%)	17	(100.0%)
県立宮古病院	0	(0.0%)	2	(10.0%)	0	(0.0%)	18	(90.0%)	0	(0.0%)	20	(100.0%)
県立八重山病院	1	(5.9%)	7	(41.2%)	0	(0.0%)	9	(52.9%)	0	(0.0%)	17	(100.0%)



＊症例区分「80：その他」を除いて集計

腫瘍別（形態別） 登録数

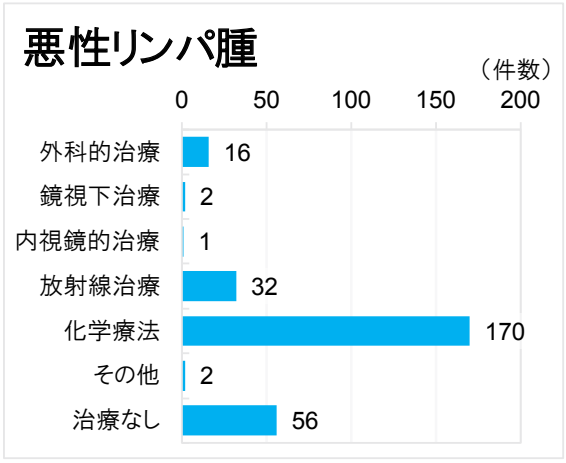
			節性	節外性	件数	（%）
悪性リンパ腫	成熟B細胞リンパ腫	びまん性大細胞性B細胞型リンパ腫	74	78	152	(18.9%)
		ろ胞性リンパ腫	25	9	34	(4.2%)
		辺縁帯B細胞リンパ腫（MALT含む）	4	22	26	(3.2%)
		マントル細胞リンパ腫	4	4	8	(1.0%)
		成熟B細胞リンパ腫　他	6	4	10	(1.2%)
	成熟T細胞及びNK細胞リンパ腫		16	22	38	(4.7%)
	ホジキンリンパ腫		22	3	25	(3.1%)
	悪性リンパ腫　他		21	18	39	(4.8%)
成人T細胞性白血病/リンパ腫			27	73	100	(12.4%)
多発性骨髄腫			66			(8.2%)
白血病		慢性骨髄性白血病	36			(4.5%)
		急性骨髄性白血病	39			(4.8%)
		慢性リンパ性白血病	13			(1.6%)
		急性リンパ性白血病	23			(2.9%)
		白血病　他	18			(2.2%)
その他の造血器腫瘍	骨髄増殖性疾患	真性赤血球増加症	10			(1.2%)
		本態性血小板血症	26			(3.2%)
		骨髄線維症	14			(1.7%)
		骨髄増殖性疾患　他	10			(1.2%)
	骨髄異形成症候群		79			(9.8%)
	他の造血器腫瘍　他		39			(4.8%)
合計			805			(100.0%)

＊症例区分「80：その他」を除いて集計
＊腫瘍別詳細疾患別（形態別）登録数の「節性」とは、リンパ節（リンパ組織）に発生した悪性リンパ腫のことで、「節外性」とは、リンパ節以外の臓器（節外臓器：例として、脳や胃）に発生した悪性リンパ腫のこと

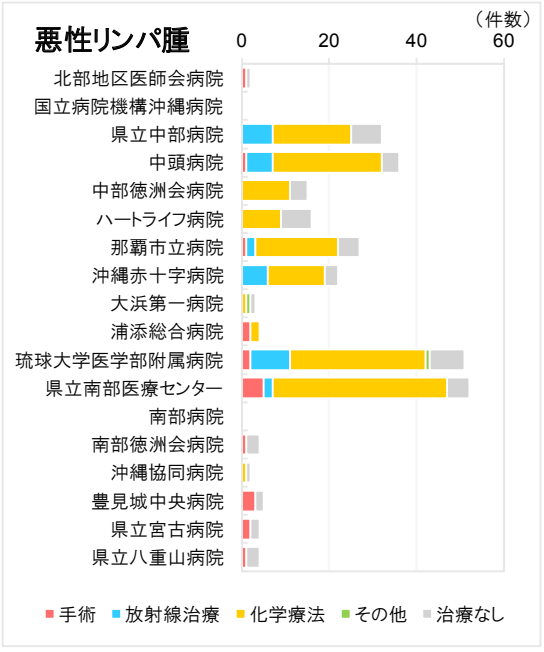
臨床医からのコメント

新規登録の血液腫瘍 805 件は同年の沖縄県の総人口の約 0.06% にあたります。前述の 18 施設で登録されていますが、そのなかの 75.5% が専門医のいる 8 施設で診断・治療が行われています。それ以外の施設で登録された患者の大部分は専門医のいる施設へ紹介され診療が開始、一部は紹介元で継続治療がなされていると思われます (これは腫瘍別初回治療の件数、の項目でも見て取れます)。年齢階級別登録数をみると、60 歳以上の高齢者が全体の 74.2%、中でも 80 歳以上の超高齢者が全体の 1/4 を占めており、しかも年々増加傾向にあります。高齢者は同一疾患でも患者毎に異なる対応 (治療適応の可否、内容など) が求められているのが現状です。年齢階級別登録数をみると、県立南部医療センター・こども医療センター及び琉球大学医学部付属病院、 (次のページにつづく→)

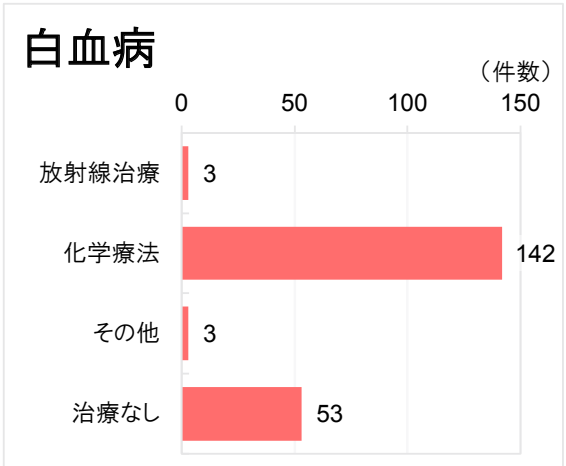
腫瘍別　初回治療の件数（悪性リンパ腫）



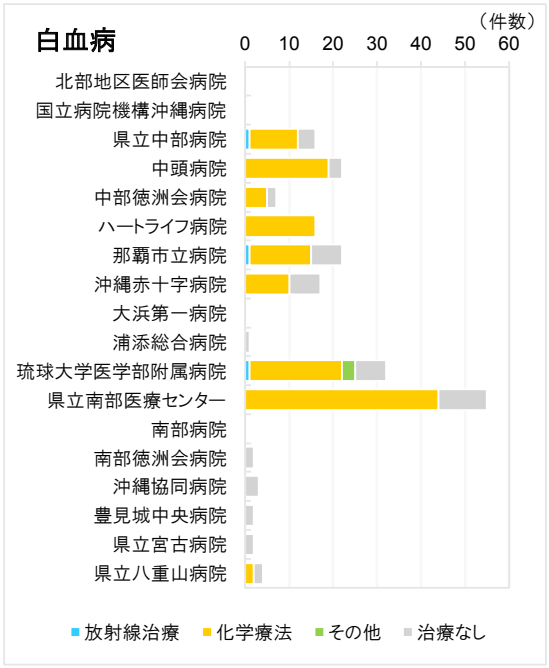
施設別　初回治療の件数（悪性リンパ腫）



腫瘍別　初回治療の件数（白血病）



施設別　初回治療の件数（白血病）



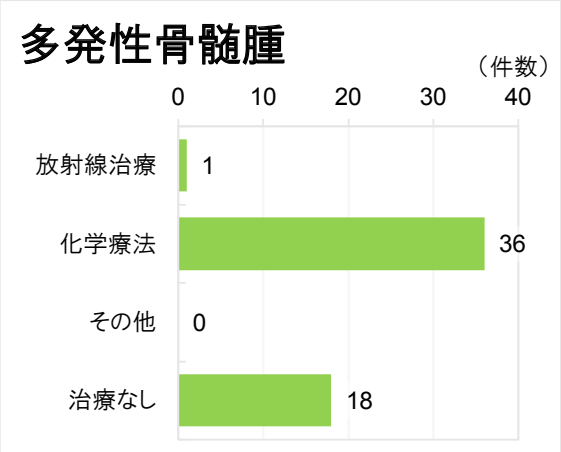
＊件数は延べ件数（手術と化学療法を組み合わせて行った場合は、どちらの項目でもカウントされる）
＊「その他」の治療には「造血幹細胞移植（輸血）」が含まれる
＊記載のない治療方法については巻末の集計表を参照
＊県立南部医療センター・こども医療センターを便宜上、「県立南部医療センター」と表記
こちらの集計対象は以下の条件を満たす登録である
1. 症例区分「20：自施設診断・自施設初回治療開始」「21：自施設診断・自施設初回治療継続」「30：他施設診断・自施設初回治療開始」「31：他施設診断・自施設初回治療継続」のみ集計

臨床医からのコメント

次いで県立中部病院、この 3 施設で殆どの小児悪性腫瘍の診療がなされているのがわかります。腫瘍別登録数では、悪性リンパ腫全体で 41.4%、白血病全体で 16% となっています。疾患単位ではびまん性大細胞性 B 細胞リンパ腫が最も多く 18.9% で、次いで成人 T 細胞白血病・リンパ腫が 12.4% となり、後者が多いのが沖縄県の特徴となっています。以上を担う血液内科医ですが、専門医の数で言えば沖縄県も年々増加し 2019/12/23 現在 31 人となっています。しかし人口 10 万人に対する専門医数でみると、沖縄県は 2.1 人と、全国平均の 3.4 人より依然と少ないのが現状です。血液内科を志望する若い医師の発掘育成が、今後の沖縄県の血液内科の診療維持及びその向上のために最重要な課題と考えます。

大城　一郁（沖縄県立南部医療センター・こども医療センター　血液腫瘍内科部長）

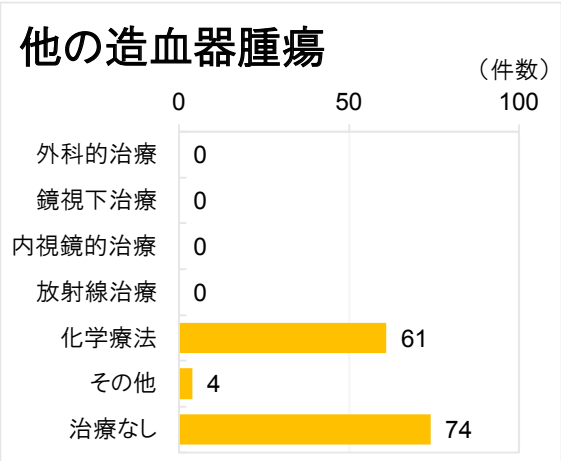
腫瘍別　初回治療の件数（多発性骨髄腫）



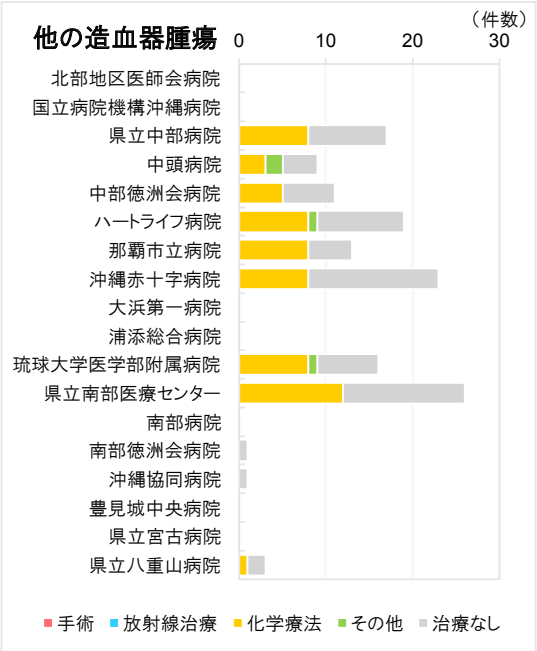
施設別　初回治療の件数（多発性骨髄腫）



腫瘍別　初回治療の件数（他の造血器腫瘍）



施設別　初回治療の件数（他の造血器腫瘍）



＊件数は延べ件数（手術と化学療法を組み合わせて行った場合は、どちらの項目でもカウントされる）
＊「その他」の治療には「造血幹細胞移植（輸血）」が含まれる
＊記載のない治療方法については巻末の集計表を参照
＊県立南部医療センター・こども医療センターを便宜上、「県立南部医療センター」と表記
こちらの集計対象は以下の条件を満たす登録である
1. 症例区分「20：自施設診断・自施設初回治療開始」「21：自施設診断・自施設初回治療継続」「30：他施設診断・自施設初回治療開始」「31：他施設診断・自施設初回治療継続」のみ集計

施設別
集計結果



292

北部地区医師会病院



294

基本情報	
病院名	公益社団法人　北部地区医師会　北部地区医師会病院
所在地	〒 905-8611　沖縄県名護市字宇茂佐 1712-3
電話（代表）	0980-54-1111
ホームページ	http://hokubuishikai.com/

診療案内			
診療科	内科・外科・消化器外科・整形外科・リウマチ科・皮膚科・麻酔科・リハビリテーション科・放射線科・病理診断科・診療内科・精神科 循環器内科・心臓血管外科 合計　14 診療科		
病床数	236 床	平均在院日数	13.4 日
入院患者のべ数	75,146 人	外来患者のべ数	73,384 人
外来化学療法の実施	○	放射線治療の実施	×
緩和ケア外来	○	緩和ケアチーム	○
緩和ケア病棟	×	緩和ケア病床数	0 床
院内がん登録実務者数 （実務者のうち研修修了者数）	実務者数 1 名（中級者 1 名）		

がん相談	
名称	北部地区医師会病院医療相談室
電話番号	代表　0980-54-111
対応時間	月～金曜日 8：30 ～ 17：30　　土曜日 8：30 ～ 12：30

患者さん・ご家族用の設備	
交流の場 （がん患者サロンなど）	○
院内図書館 （図書等を設置している場所）	○



北部地区医師会病院は、沖縄本島北部名護市にあり、急性期病床、地域包括ケア病床、回復期リハ病床を有する病院です。それに加え健康管理センターを併設していることより、がん検診や人間ドック、職域健診などを通して、がんの早期発見に力を入れています。現在、消化器･呼吸器･乳腺･甲状腺・皮膚の領域を中心にがん診療を行っています。放射線治療装置を有していないこともあり、治療は内視鏡や手術による切除、化学療法が中心です。当院で治療が難しい領域に関しては、琉球大学医学部附属病院・県立中部病院・那覇市立病院等の拠点病院などに治療を依頼しています。そして、産婦人科や耳鼻科を有していないため、その領域のがんは、同じ医療圏である県立北部病院と連携し対応しています。

当院における 2018 年のがん登録件数は 319 件であり、昨年と同様に 300 人を超えています。年齢階級別で見ると 60 歳以上が約 82.8％を占めており、高齢者のがん登録患者が増加しています。部位別では、大腸、乳房、肺の順に多いのは例年同様です。男女別で見ると、男性が大腸、肺、胃の順で、女性が乳房、大腸、皮膚の順でした。その他の部位では、肝胆膵領域の登録が増加傾向でした。

「症例区分別」の登録では自施設で診断・治療を行っている割合が高く、当院は診療科が少ないながらも、診断と治療が一貫してできる専門性の高さを示していると思います。

「来院経路別」では他施設からの紹介患者が全国・沖縄県と同様に多く、地域の診療所の貢献度は大きいと思います。また、全国、沖縄と比較し、自施設での多疾患経過観察中の発見比率が高い傾向でした。

当院の健康管理センターでは沖縄本島北部地域の住民検診・企業検診・人間ドックの多くを担っています。「発見経緯別」では、がん検診や一般健診で発見される方は 20.7％と全国、沖縄県と比較して高い傾向にありました。

そして、北部医療圏における「部位別治療件数」を見ると、対応可能ながん種の多くは圏域内で治療されています。

少ない医療資源の地域ではありますが、病院と診療所の連携で地域の不利性をカバーできればと思います。また当院では、がん専門薬剤師１名、がん化学療法認定看護師１名、緩和ケア認定看護師２名を配置しています。それにより、がんの専門性強化と緩和ケアや看取りを始めとする様々なニーズに対応していくための体制整備を進めています。病院内だけではなく、地域のがんに関わる様々な施設、機関の支援・協力も継続していきます。

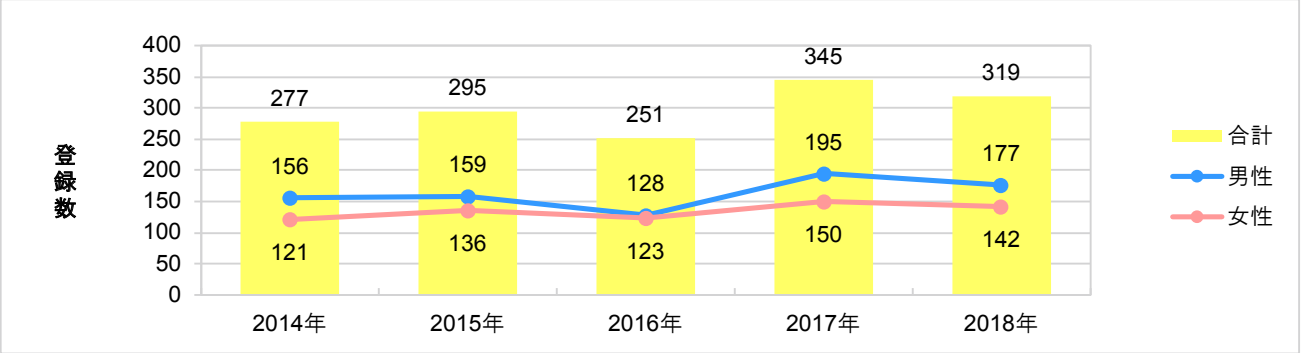
それにより、地域の保健医療に関わる方々、病院・診療所と連携し、地域のがん診療のネットワークを構築することで、地域の患者さん・ご家族のご期待に応える所存です。



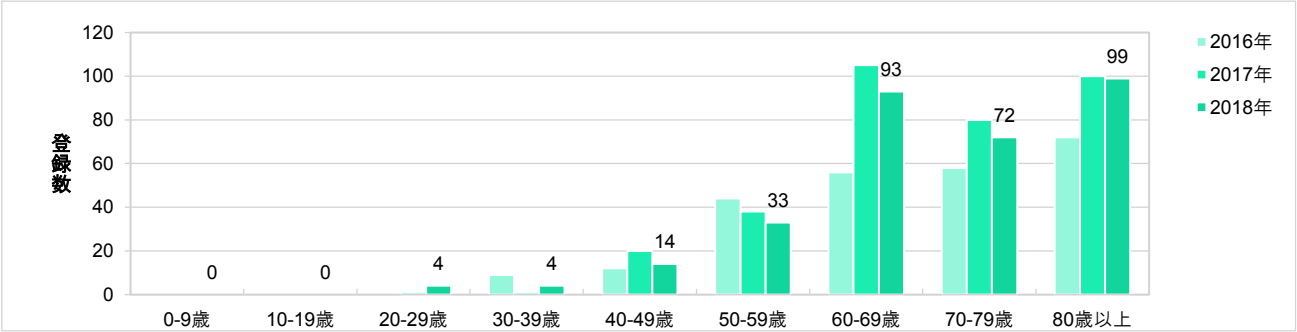
公益社団法人北部地区医師会　北部地区医師会病院
病院長　諸喜田　林

院内がん登録の概要

登録数の推移

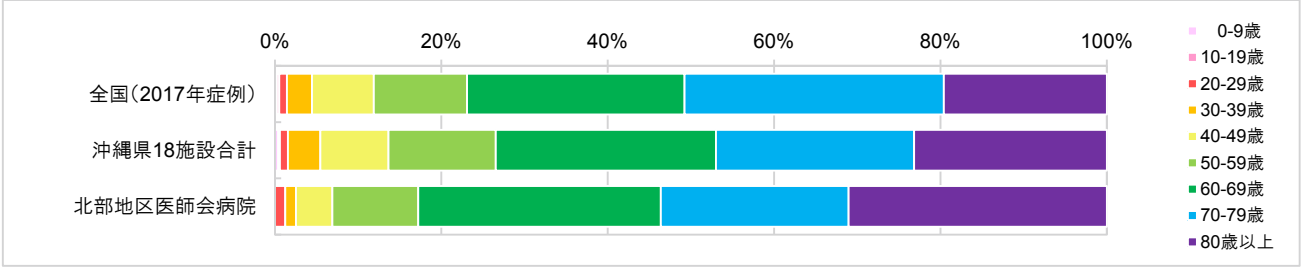


年齢階級別　登録数の推移



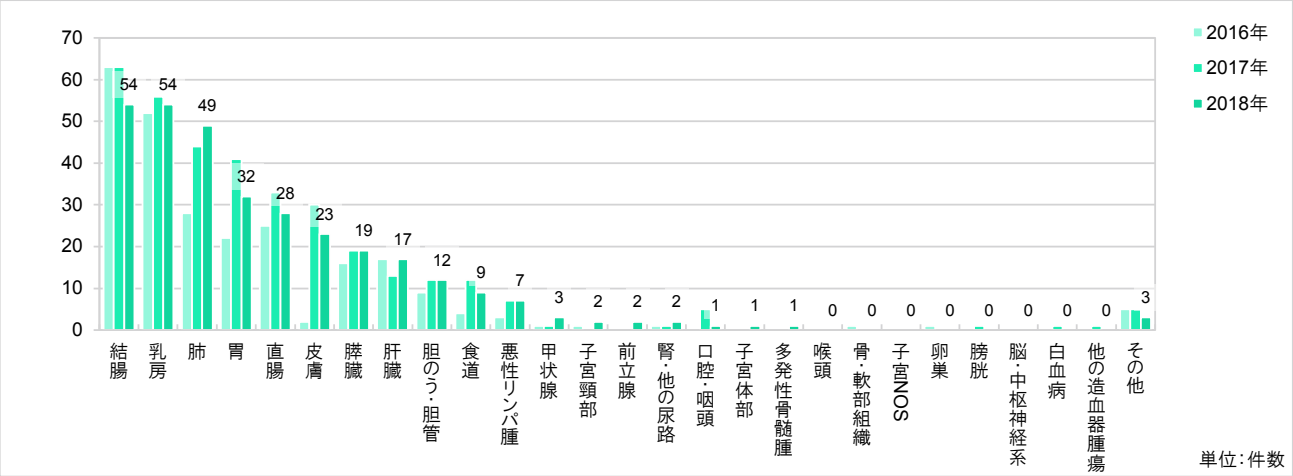
年齢階級別　登録数と登録割合

	全国(2017年症例)		沖縄県18施設合計		北部地区医師会病院	
0-9歳	1,705	(0.2%)	44	(0.4%)	0	(0.0%)
10-19歳	1,965	(0.3%)	23	(0.2%)	0	(0.0%)
20-29歳	6,471	(0.9%)	105	(1.0%)	4	(1.3%)
30-39歳	21,457	(3.0%)	425	(3.9%)	4	(1.3%)
40-49歳	52,941	(7.4%)	896	(8.2%)	14	(4.4%)
50-59歳	79,976	(11.2%)	1,410	(12.9%)	33	(10.3%)
60-69歳	186,117	(26.1%)	2,894	(26.5%)	93	(29.2%)
70-79歳	221,871	(31.2%)	2,606	(23.8%)	72	(22.6%)
80歳以上	139,698	(19.6%)	2,532	(23.2%)	99	(31.0%)
合計	712,201	(100.0%)	10,935	(100.0%)	319	(100.0%)

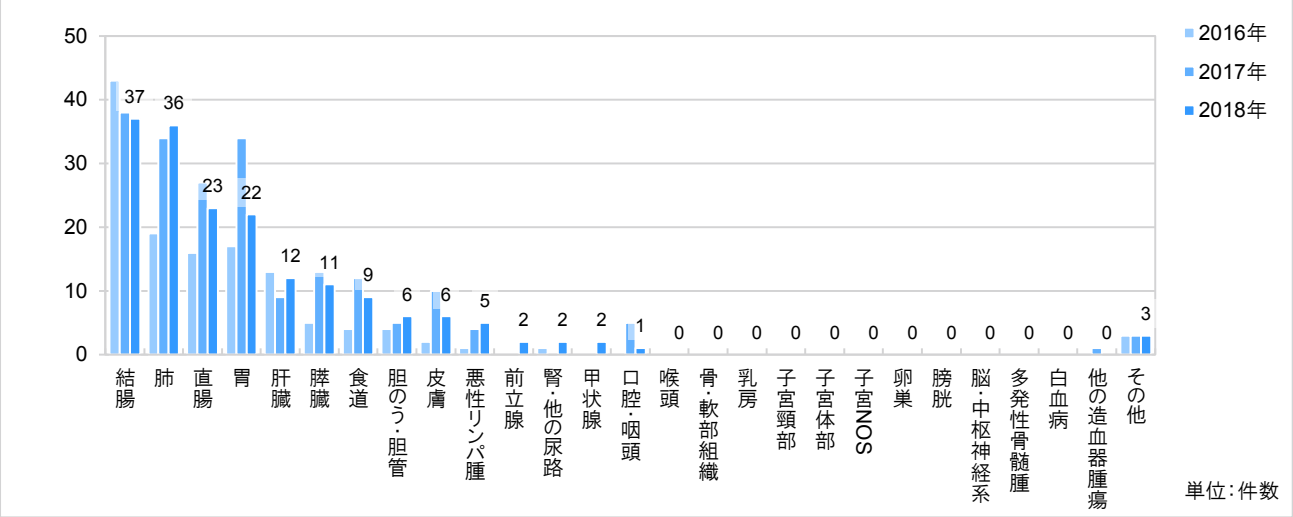


＊症例区分「80：その他」を除いて集計

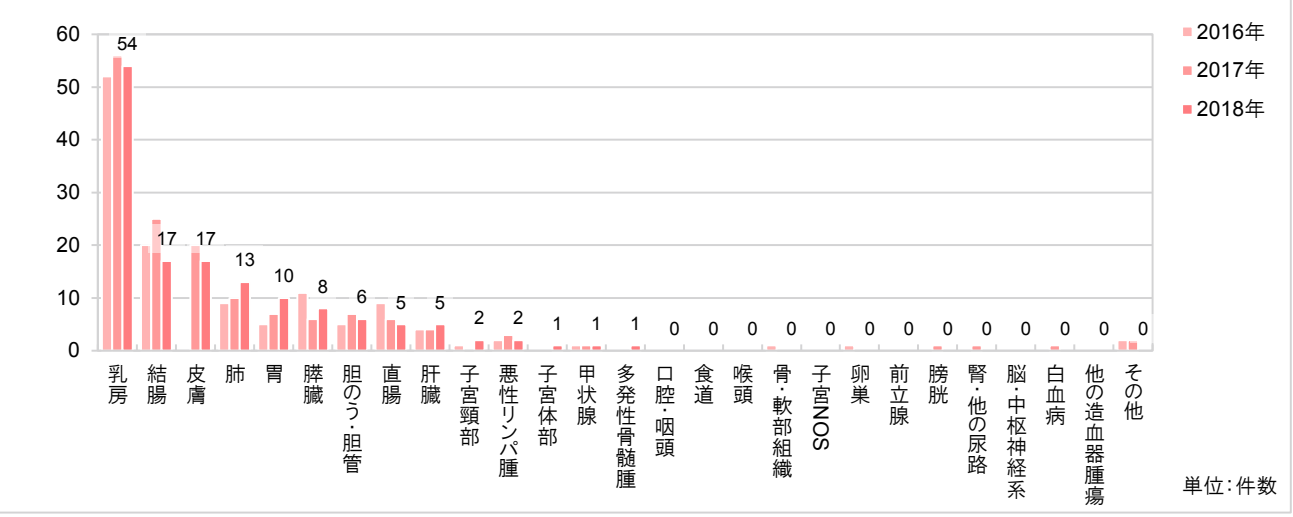
部位別　登録数の推移 — 男女計



部位別　登録数の推移 — 男



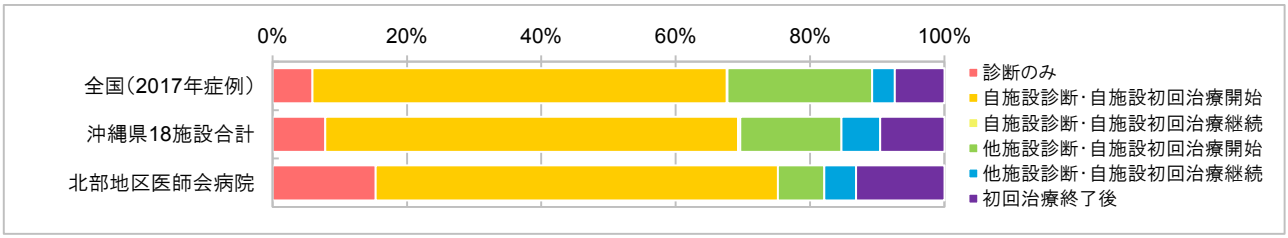
部位別　登録数の推移 — 女



＊症例区分「80：その他」を除いて集計

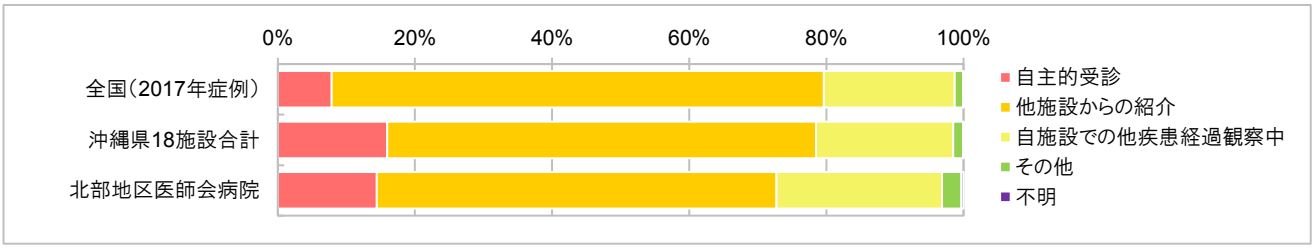
症例区分別　登録数と登録割合

	全国(2017年症例)		沖縄県18施設合計		北部地区医師会病院	
診断のみ	42,302	(5.9%)	856	(7.8%)	49	(15.4%)
自施設診断･自施設初回治療開始	438,978	(61.6%)	6,721	(61.5%)	191	(59.9%)
自施設診断･自施設初回治療継続	1,124	(0.2%)	33	(0.3%)	0	(0.0%)
他施設診断･自施設初回治療開始	153,312	(21.5%)	1,651	(15.1%)	22	(6.9%)
他施設診断･自施設初回治療継続	23,838	(3.3%)	626	(5.7%)	15	(4.7%)
初回治療終了後	52,647	(7.4%)	1,048	(9.6%)	42	(13.2%)
合計	712,201	(100.0%)	10,935	(100.0%)	319	(100.0%)



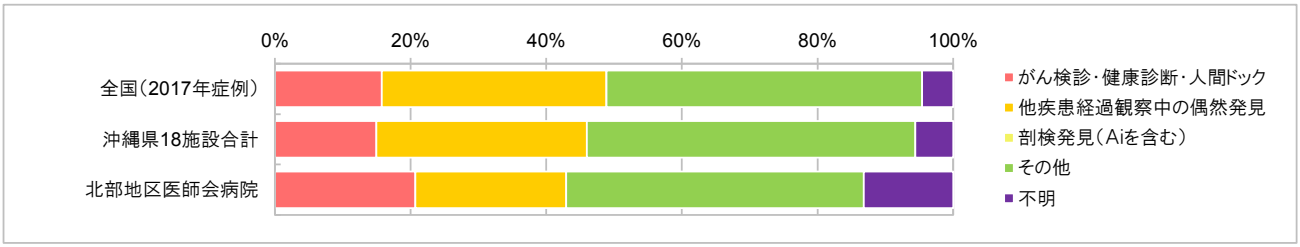
来院経路別　登録数と登録割合

	全国(2017年症例)		沖縄県18施設合計		北部地区医師会病院	
自主的受診	55,803	(7.8%)	1,745	(16.0%)	46	(14.4%)
他施設からの紹介	511,176	(71.8%)	6,838	(62.5%)	186	(58.3%)
自施設での他疾患経過観察中	136,118	(19.1%)	2,187	(20.0%)	77	(24.1%)
その他	8,910	(1.3%)	162	(1.5%)	9	(2.8%)
不明	194	(0.0%)	3	(0.0%)	1	(0.3%)
合計	712,201	(100.0%)	10,935	(100.0%)	319	(100.0%)



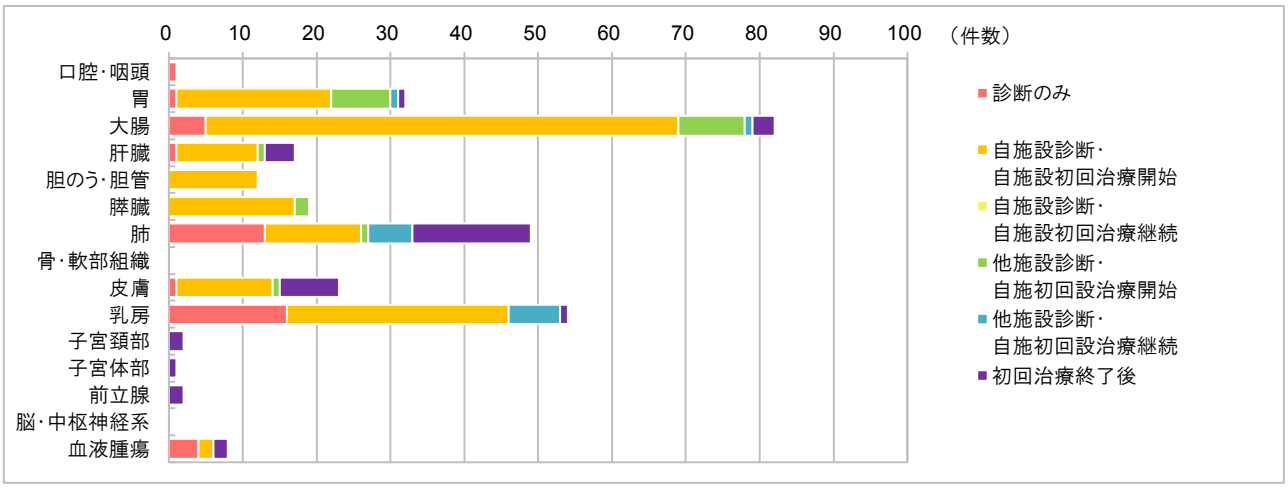
発見経緯別　登録数と登録割合

	全国(2017年症例)		沖縄県18施設合計		北部地区医師会病院	
がん検診･健康診断･人間ドック	112,324	(15.8%)	1,636	(15.0%)	66	(20.7%)
他疾患経過観察中の偶然発見	235,862	(33.1%)	3,393	(31.0%)	71	(22.3%)
剖検発見(Aiを含む)	46	(0.0%)	2	(0.0%)	0	(0.0%)
その他	331,376	(46.5%)	5,293	(48.4%)	140	(43.9%)
不明	32,593	(4.6%)	611	(5.6%)	42	(13.2%)
合計	712,201	(100.0%)	10,935	(100.0%)	319	(100.0%)

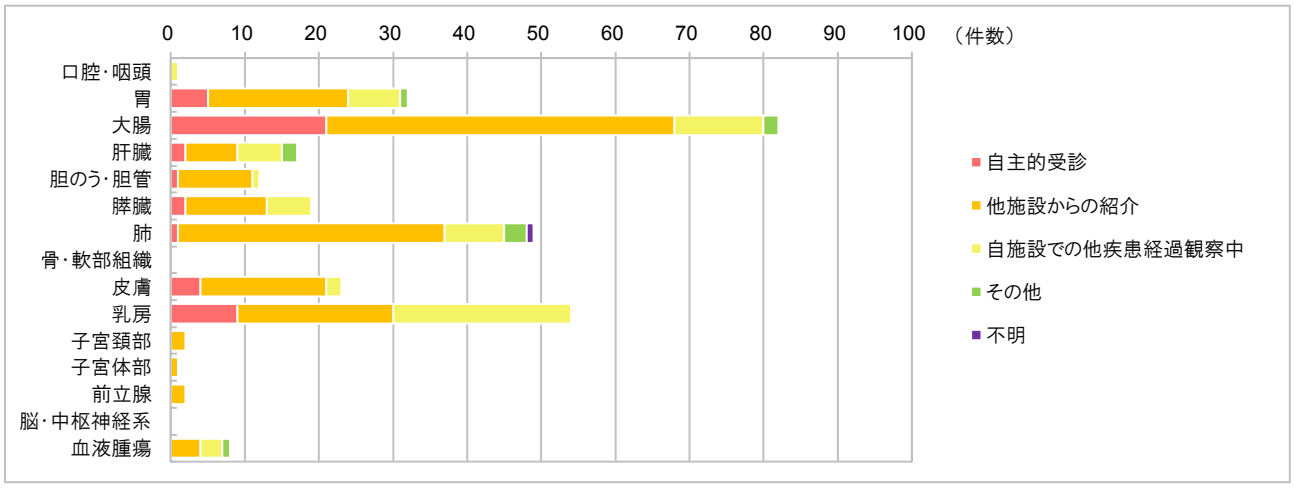


＊症例区分「８０：その他」を除いて集計

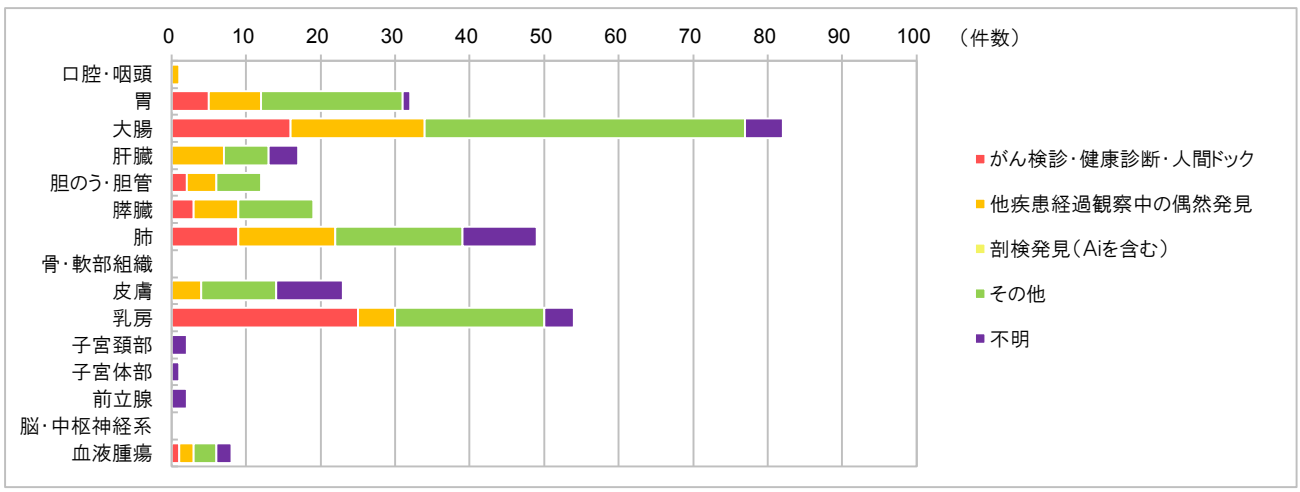
部位別　症例区分別　登録数



部位別　来院経路別　登録数



部位別　発見経緯別　登録数

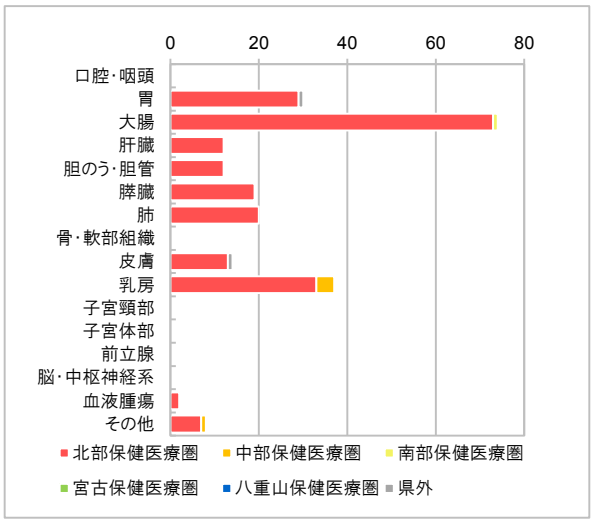


＊症例区分「８０：その他」を除いて集計

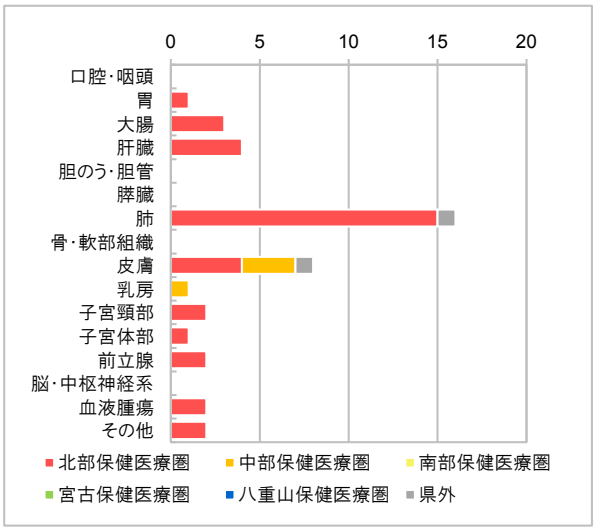
二次保健医療圏別　登録数と登録割合

圏域名	市町村名	登録数	割合	登録割合上位3部位	
北部保健医療圏	名護市　国頭村　大宜味村 東村　今帰仁村　本部町 伊江村　伊平屋村　伊是名村	302	94.7%	大腸	26.5%
				乳房	15.9%
				肺	15.6%
中部保健医療圏	宜野湾市　沖縄市　うるま市　恩納村 宜野座村　金武町　読谷村　嘉手納町 北谷町　北中城村　中城村	11	3.4%	乳房	54.5%
				皮膚	27.3%
				肺	9.1%
南部保健医療圏	那覇市　浦添市　糸満市　豊見城市 南城市　西原町　与那原町 南風原町　渡嘉敷村　座間味村 粟国村　渡名喜村　南大東村 北大東村　久米島町　八重瀬町	1	0.3%	大腸	100.0%
				--	--
				--	--
宮古保健医療圏	宮古島市　多良間村	0	0.0%	--	--
				--	--
				--	--
八重山保健医療圏	石垣市　竹富町　与那国町	0	0.0%	--	--
				--	--
				--	--
沖縄県外		5	1.6%	--	--
合計		319	100.0%	大腸	25.4%
				乳房	16.9%
				肺	15.0%

二次保健医療圏別　部位別　治療件数*



二次保健医療圏別部位別　初回治療終了後の受け入れ登録数*



＊症例区分「80：その他」を除いて集計
＊二次保健医療圏別集計は、当該施設を受診したときの患者さんの住所（診断時住所）をもとに集計
＊登録割合上位３部位において、登録割合が同数の場合、部位コードが小さい順に表記
＊二次保健医療圏別部位別治療件数は、症例区分「20：自施設診断・自施設初回治療開始」「21：自施設診断・自施設初回治療継続」「30：他施設診断・自施設初回治療開始」「31：他施設診断・自施設初回治療継続」のみ集計
＊二次保健医療圏別部位別初回治療終了後の受け入れ登録数は、症例区分「40：初回治療終了後」のみ集計

国立病院機構
沖縄病院



302

基本情報	
病院名	独立行政法人国立病院機構　沖縄病院
所在地	〒901-2214　沖縄県宜野湾市我如古３－20－14
電話（代表）	098－898-2121
ホームページ	http://www.okinawa-hosp.jp

診療案内			
診療科	内科、脳神経内科、呼吸器科、外科、整形外科、呼吸器外科、 リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、病理診断科 合計１０診療科		
病床数	300 床	平均在院日数	34.4 日
入院患者のべ数	82,272 人	外来患者のべ数	26,496 人
外来化学療法の実施	○	放射線治療の実施	○
緩和ケア外来	○	緩和ケアチーム	○
緩和ケア病棟	○	緩和ケア病床数	25 床
院内がん登録実務者数 （実務者のうち研修修了者数）	実務者数４名（中級者１名，初級者３名）		

がん相談	
名称	がん相談支援センター
電話番号	代表　098－898-2121（地域医療連携室：内線２３５）
対応時間	月～金（土日・祝日除く）　8：30～17：15

患者さん・ご家族用の設備	
交流の場 （がん患者サロンなど）	○
院内図書館 （図書等を設置している場所）	○



国立病院機構沖縄病院は 2018 年 3 月、創立 70 年という節目の年に病棟建て替えに伴う新病棟での運用とともに『**肺がんセンター**』を開設いたしました。ご存知の通り、我が国の肺癌死亡数は減少傾向にあるとはいえず、2019 年の肺癌死亡数予測においても全悪性腫瘍の中で男性が 1 位、女性が 2 位、男女合計で 1 位であり、未だ予後不良のがんであると言えます。こと沖縄県においては本集計報告の 5 年相対生存率を見る限りにおいては全国に後れを取っていることは否めません。しかしながら、ここ数年の肺癌診療における治療の進歩は目覚ましく、当院も特に切除不能や再発、進行肺がんにおいて癌遺伝子変異（Driver mutation)、耐性遺伝子、PD-L1 発現から治療戦略を立てて治療を進めてきました。その印象ですが、複合免疫療法と高難度手術の確立により今まさに『**肺がん治療に革命**』が起こりつつあると実感しています。2013 年度登録症例だけでみますと全国の癌拠点病院の 5 年生存率を大幅に上回っています。

当院は日本呼吸器外科学会認定新専門医修練基幹施設、日本がん治療認定機構認定施設として肺がんに特化した医療機能の推進を図ると同時に緩和医療学会認定研修施設として緩和ケア医療のさらなる充実も推し進めています。当院における 2018 年の院内がん登録数のうち肺がんは 122 件（43.1%）であり、他の施設と比較して悪性腫瘍に占める割合、登録数とも多いのが特徴です。新規の肺癌化学療法数は 43 例でした。

当院の肺がんセンターには､内科 6 名､外科 4 名､放射線科 1 名､病理診断科 1 名､緩和医療科 1 名､総勢 13 名（重複含まず）の常勤医師が在籍しています。日本呼吸器内視鏡学会専門医 4 名（うち指導医 3 名)、日本癌治療認定機構がん治療認定医 5 名（指導責任者 4 名)、日本呼吸器学会専門医 6 名（うち指導医 4 名)、呼吸器外科専門医 3 名、認定登録医 1 名（うち指導医 3 名)、日本緩和医療学会認定医 1 名、放射線専門医 1 名、病理診断専門医 1 名のそれぞれのエキスパートが常に最新の知見を取り入れて診療に取り組むとともに肺がん診療の**専門医育成**に心血を注いでいます。治療についてはキャンサーボードを開催し、それぞれの専門医の立場から意見を出し合い、治療方針を決定しています。

当院は低肺機能、心疾患合併、超高齢者の増加等といった患者層の多様化の中で、常に最良の治療を提供することを心がけています。

一方で、局所進行肺がんに対しては術前化学（放射線）療法の導入や血管形成・気管支形成術を多用し、肺機能温存を図りながら治療成績のさらなる向上を目指しています。

緩和医療科においては疼痛や精神的不安に対するメンタルサポートを 2 名の医師と 2 名の認定看護師を含むチームで早期から治療とケアに取り組んでいます。骨移転の疼痛緩和においては薬物療法や放射線治療を併用しながら、骨軟部腫瘍専門医師（非常勤）と連携し、治療することによって効果を上げています。

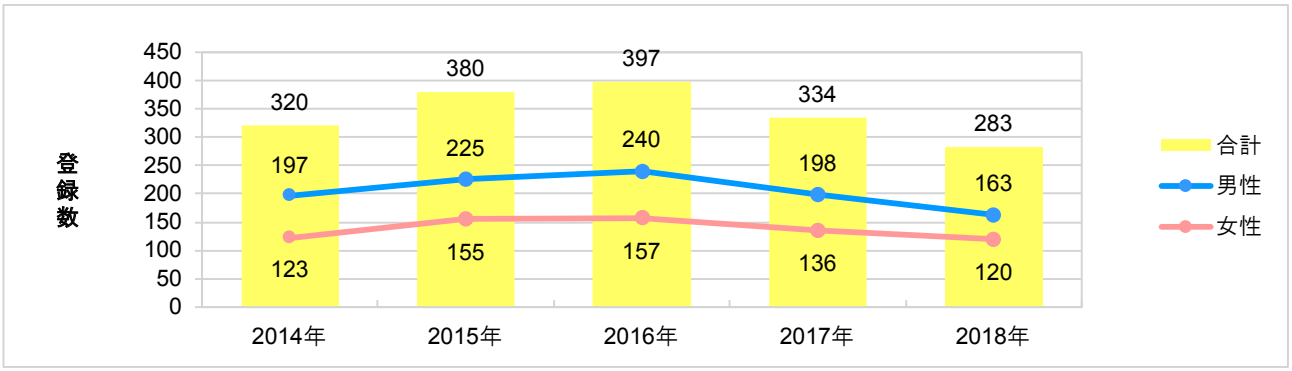
国立病院機構沖縄病院は呼吸器内科、呼吸器外科、放射線治療専門医が連携して治療に当たる肺がん診療の核となる専門施設として地域の医療機関と連携し、沖縄県の肺がん治療成績のさらなる向上と肺がん治療の専門医育成に努めます。



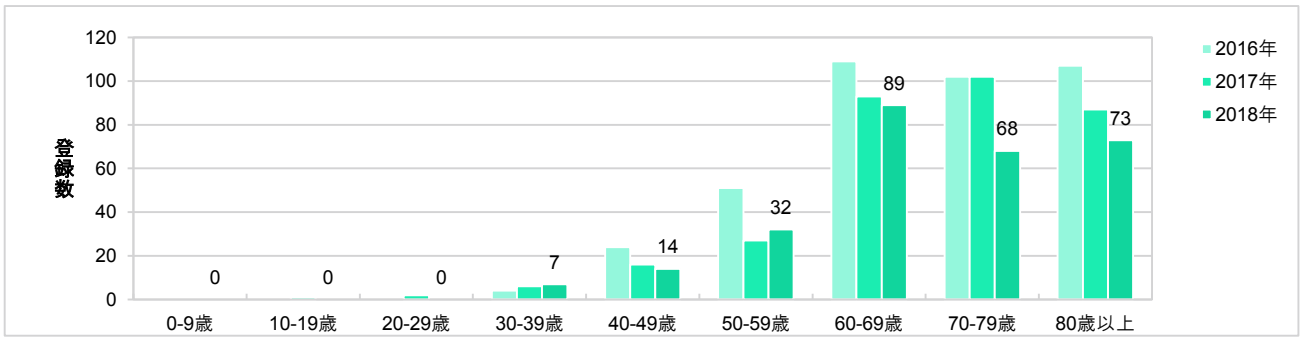
独立行政法人国立病院機構沖縄病院
病院長　川畑　勉

院内がん登録の概要

登録数の推移

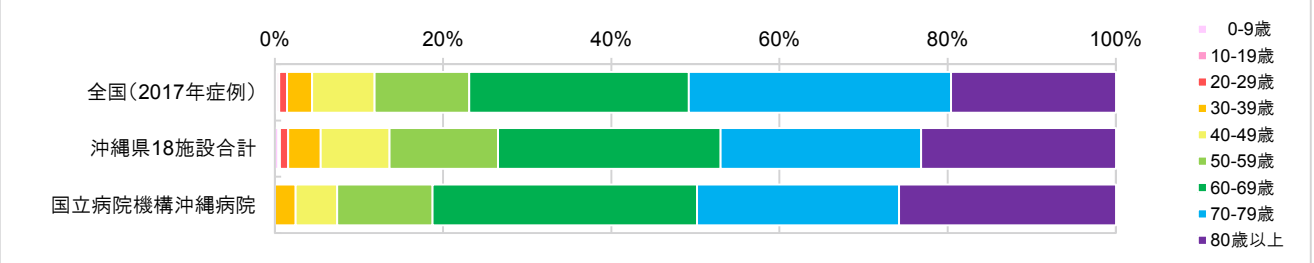


年齢階級別　登録数の推移



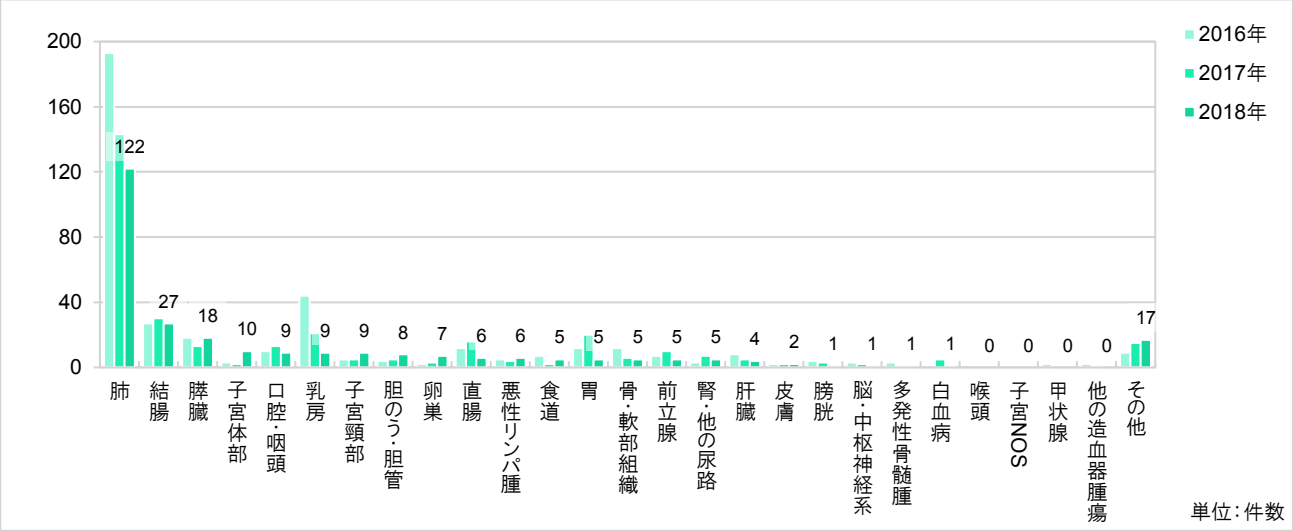
年齢階級別　登録数と登録割合

	全国(2017年症例)		沖縄県18施設合計		国立病院機構沖縄病院	
0-9歳	1,705	(0.2%)	44	(0.4%)	0	(0.0%)
10-19歳	1,965	(0.3%)	23	(0.2%)	0	(0.0%)
20-29歳	6,471	(0.9%)	105	(1.0%)	0	(0.0%)
30-39歳	21,457	(3.0%)	425	(3.9%)	7	(2.5%)
40-49歳	52,941	(7.4%)	896	(8.2%)	14	(4.9%)
50-59歳	79,976	(11.2%)	1,410	(12.9%)	32	(11.3%)
60-69歳	186,117	(26.1%)	2,894	(26.5%)	89	(31.4%)
70-79歳	221,871	(31.2%)	2,606	(23.8%)	68	(24.0%)
80歳以上	139,698	(19.6%)	2,532	(23.2%)	73	(25.8%)
合計	712,201	(100.0%)	10,935	(100.0%)	283	(100.0%)

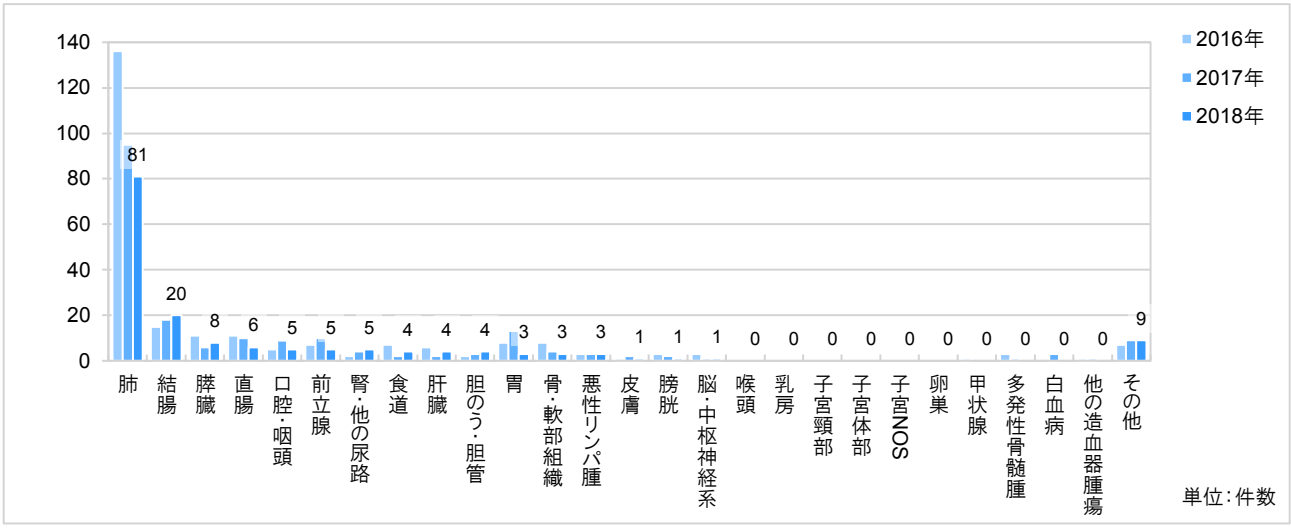


＊症例区分「80：その他」を除いて集計

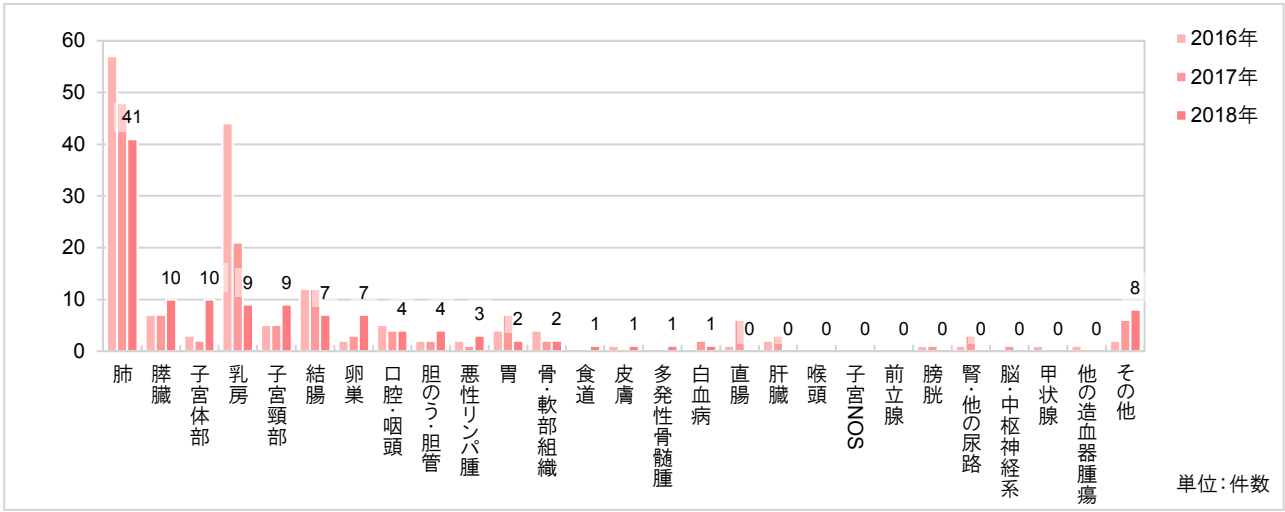
部位別　登録数の推移 — 男女計



部位別　登録数の推移 — 男



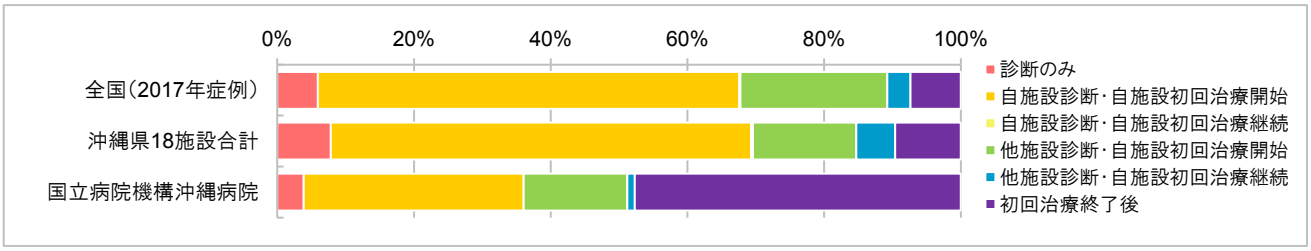
部位別　登録数の推移 — 女



＊症例区分「８０：その他」を除いて集計

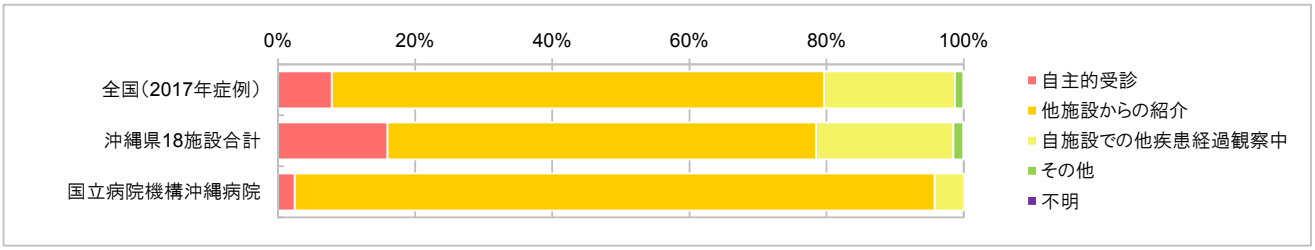
症例区分別　登録数と登録割合

	全国(2017年症例)		沖縄県18施設合計		国立病院機構沖縄病院	
診断のみ	42,302	(5.9%)	856	(7.8%)	11	(3.9%)
自施設診断･自施設初回治療開始	438,978	(61.6%)	6,721	(61.5%)	91	(32.2%)
自施設診断･自施設初回治療継続	1,124	(0.2%)	33	(0.3%)	0	(0.0%)
他施設診断･自施設初回治療開始	153,312	(21.5%)	1,651	(15.1%)	43	(15.2%)
他施設診断･自施設初回治療継続	23,838	(3.3%)	626	(5.7%)	3	(1.1%)
初回治療終了後	52,647	(7.4%)	1,048	(9.6%)	135	(47.7%)
合計	712,201	(100.0%)	10,935	(100.0%)	283	(100.0%)



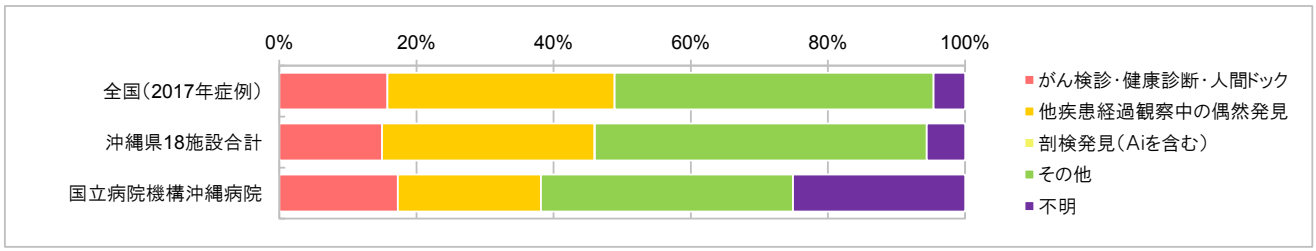
来院経路別　登録数と登録割合

	全国(2017年症例)		沖縄県18施設合計		国立病院機構沖縄病院	
自主的受診	55,803	(7.8%)	1,745	(16.0%)	7	(2.5%)
他施設からの紹介	511,176	(71.8%)	6,838	(62.5%)	264	(93.3%)
自施設での他疾患経過観察中	136,118	(19.1%)	2,187	(20.0%)	12	(4.2%)
その他	8,910	(1.3%)	162	(1.5%)	0	(0.0%)
不明	194	(0.0%)	3	(0.0%)	0	(0.0%)
合計	712,201	(100.0%)	10,935	(100.0%)	283	(100.0%)



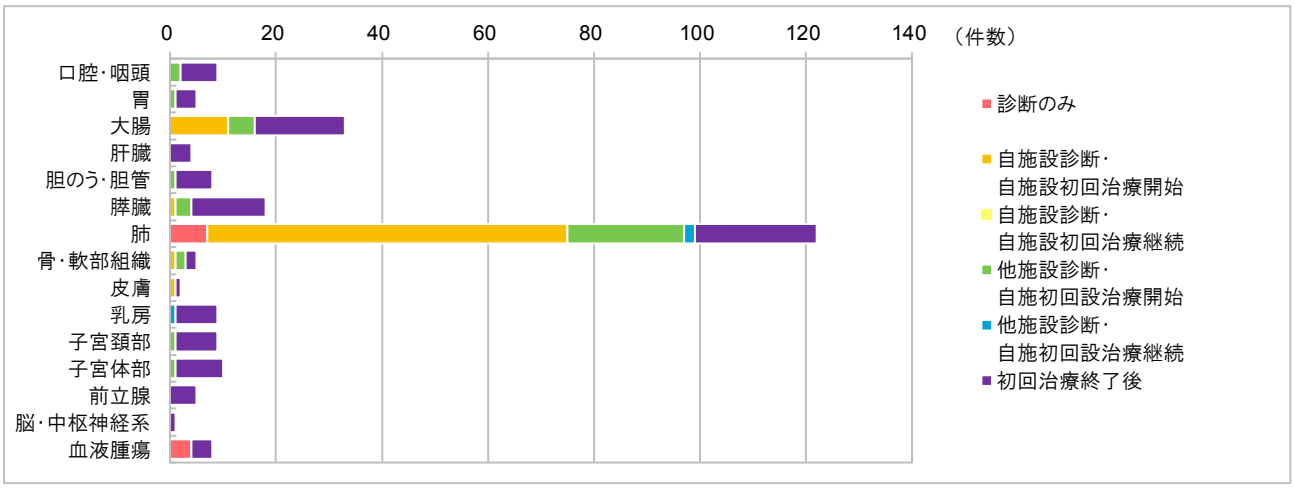
発見経緯別　登録数と登録割合

	全国(2017年症例)		沖縄県18施設合計		国立病院機構沖縄病院	
がん検診･健康診断･人間ドック	112,324	(15.8%)	1,636	(15.0%)	49	(17.3%)
他疾患経過観察中の偶然発見	235,862	(33.1%)	3,393	(31.0%)	59	(20.8%)
剖検発見(Aiを含む)	46	(0.0%)	2	(0.0%)	0	(0.0%)
その他	331,376	(46.5%)	5,293	(48.4%)	104	(36.7%)
不明	32,593	(4.6%)	611	(5.6%)	71	(25.1%)
合計	712,201	(100.0%)	10,935	(100.0%)	283	(100.0%)

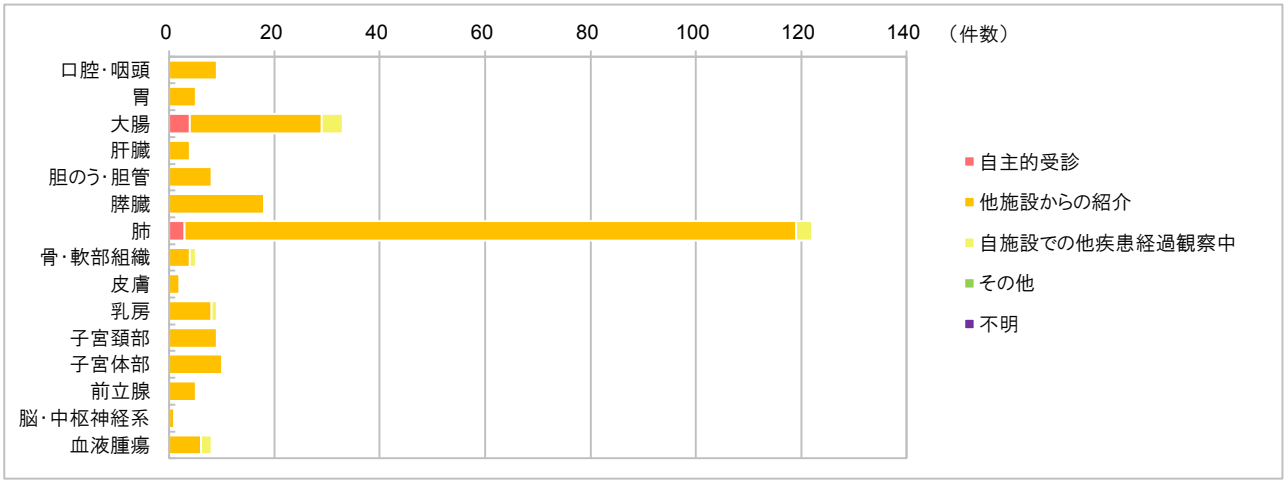


＊症例区分「80：その他」を除いて集計

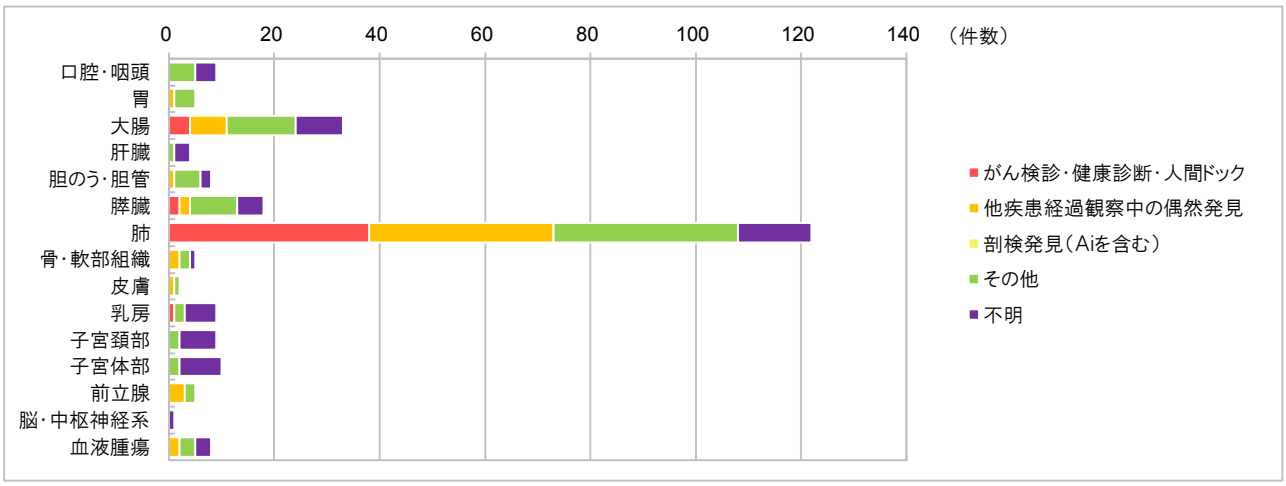
部位別　症例区分別　登録数



部位別　来院経路別　登録数



部位別　発見経緯別　登録数

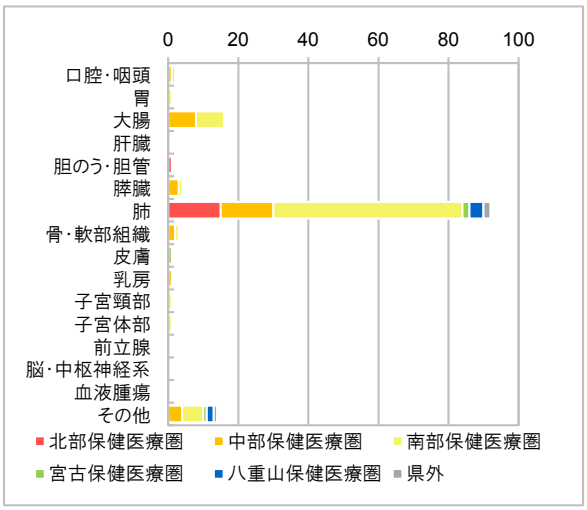


＊症例区分「８０：その他」を除いて集計

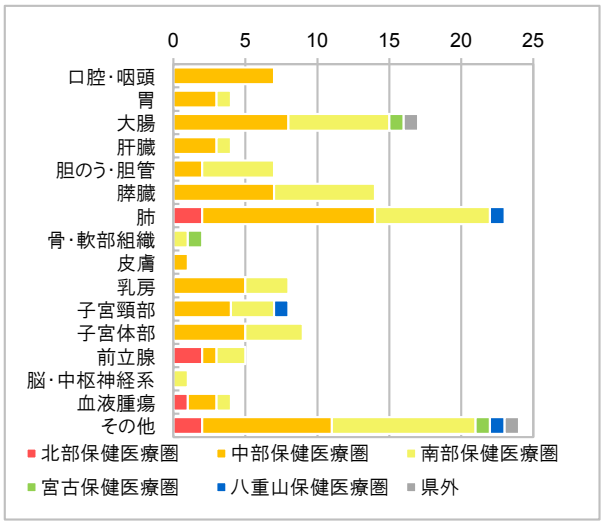
二次保健医療圏別　登録数と登録割合

圏域名	市町村名	登録数	割合	登録割合上位3部位	
北部保健医療圏	名護市　国頭村　大宜味村 東村　今帰仁村　本部町 伊江村　伊平屋村　伊是名村	24	8.5%	肺	70.8%
				前立腺	8.3%
				血液腫瘍	8.3%
中部保健医療圏	宜野湾市　沖縄市　うるま市　恩納村 宜野座村　金武町　読谷村　嘉手納町 北谷町　北中城村　中城村	107	37.8%	肺	28.0%
				大腸	15.0%
				膵臓	9.3%
南部保健医療圏	那覇市　浦添市　糸満市　豊見城市 南城市　西原町　与那原町 南風原町　渡嘉敷村　座間味村 粟国村　渡名喜村　南大東村 北大東村　久米島町　八重瀬町	130	45.9%	肺	49.2%
				大腸	11.5%
				その他	7.7%
宮古保健医療圏	宮古島市　多良間村	7	2.5%	肺	42.9%
				大腸	14.3%
				骨･軟部組織	14.3%
八重山保健医療圏	石垣市　竹富町　与那国町	10	3.5%	肺	60.0%
				食道	10.0%
				子宮頚部	10.0%
沖縄県外		5	1.8%	--	--
合計		283	100.0%	肺	42.4%
				大腸	11.3%
				膵臓	6.4%

二次保健医療圏別　部位別　治療件数*

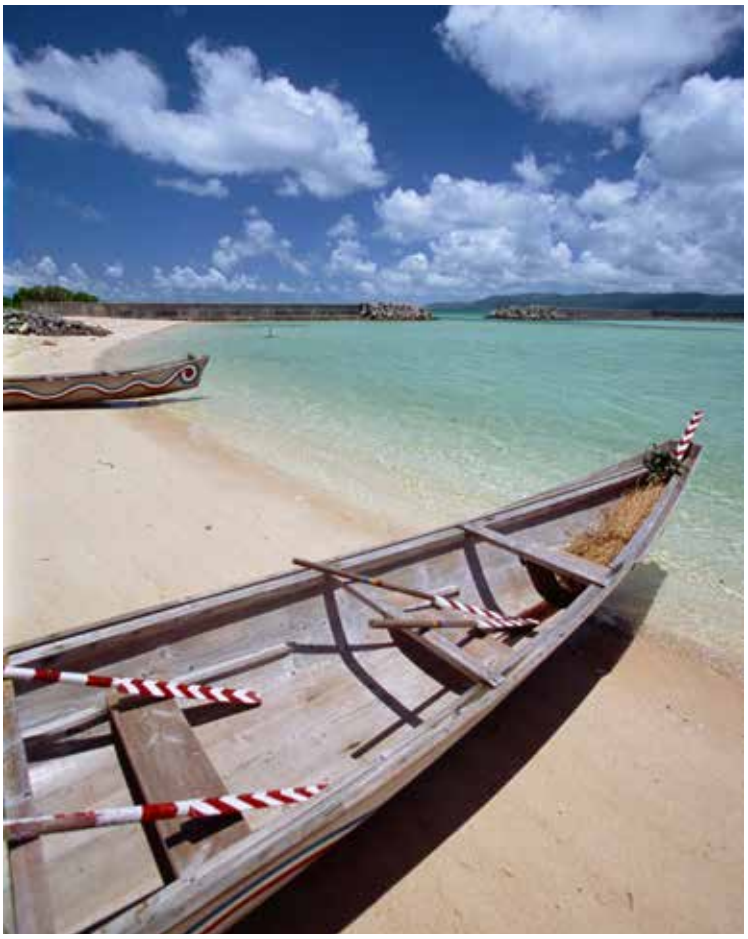


二次保健医療圏別部位別　初回治療終了後の受け入れ登録数*



＊症例区分「80：その他」を除いて集計
＊二次保健医療圏別集計は、当該施設を受診したときの患者さんの住所（診断時住所）をもとに集計
＊二次保健医療圏別部位別治療件数は、症例区分「20：自施設診断・自施設初回治療開始」「21：自施設診断・自施設初回治療継続」「30：他施設診断・自施設初回治療開始」「31：他施設診断・自施設初回治療継続」のみ集計
＊二次保健医療圏別部位別初回治療終了後の受け入れ登録数は、症例区分「40：初回治療終了後」のみ集計

沖縄県立中部病院



310

基本情報	
病院名	**沖縄県立中部病院**
所在地	沖縄県うるま市字宮里２８１番地
電話（代表）	098-973-4111
ホームページ	http://www.hosp.pref.okinawa.jp/chubu/

診療案内			
診療科	内科　呼吸器内科　消化器内科　循環器内科　腎臓内科　神経内科　血液・腫瘍内科　感染症内科　糖尿病・代謝内科　内分泌内科　心療内科　外科　呼吸器外科　消化器外科　気管食道外科　肛門外科　心臓血管外科　脳神経外科　乳腺外科　小児外科　整形外科　形成外科　精神科　アレルギー科　リウマチ科　小児科　皮膚科　泌尿器科　産科　婦人科　眼科　耳鼻咽喉科　耳鼻咽喉・頭頸部外科　リハビリテーション科　放射線科　病理診断科　救急科　新生児内科　歯科口腔外科　麻酔科　地域医療科　（４１診療科）		
病床数	559 床	**平均在院日数**	12.4 日
入院患者のべ数	191,400 人	**外来患者のべ数**	214,350 人
外来化学療法の実施	○	**放射線治療の実施**	○
緩和ケア外来	○	**緩和ケアチーム**	○
緩和ケア病棟	×	**緩和ケア病床数**	0 床
院内がん登録実務者数（実務者のうち研修修了者数）	実務者数 4 名（中級者 2 名，初級者 2 名）		

がん相談	
名称	がん相談支援センター
電話番号	代表　098-973-4111　（内線 3232）
対応時間	月～金曜日　9：00 ～ 17：00 （国民の祝日、県慰霊の日、12/29 ～ 1/3 を除く）

患者さん・ご家族用の設備	
交流の場（がん患者サロンなど）	○
院内図書館（図書等を設置している場所）	○



311

当院のがん登録者数は昨年より若干減少したものの、この数年間 1000 件から 1100 件で推移している。登録数の推移は、中部保健医療圏の他の施設もほぼ同様である。当院の男女別ではほぼ同等であった。年齢階層別では 20 代から 30 代で全国平均、沖縄県平均を上回っているが、特に中部圏内での婦人科系のがんを多く扱っている影響が考えられる。

部位別では男性で結腸がん、前立腺がん、直腸がんが前年より増加している。女性では子宮頸部、乳がん、子宮体部がん、卵巣がんが上位を占め、年度比較ではほぼ横ばいである。前立腺がんは年々増加傾向に有り、中部保健医療圏の約 25％を当院で診療している。泌尿器科医師の増加と診療技術の向上が寄与していると考えられる。症例区分別登録数を見ると、自施設診断・自施設初回治療開始が 783 例（73.3％）で全国平均、沖縄県 18 施設合計よりも上回っている。来院経緯別では自主的受診、自施設での他疾患経過中が全国平均、沖縄県の他の施設平均より高いのが特徴である。発見経路別では他施設との差は無い。

二次保健医療圏別登録割合を見ると、中部保健医療圏が約 87％と最も多い。北部医療圏からの割合登録の上位は子宮頸部がん、口腔・咽頭がん、腎・他の尿路がんが占める。宮古保健医療圏、八重山保健医療圏からは口腔・咽頭がん、血液腫瘍が上位を占めているがそれぞれの医療圏でこれらのがんを取り扱う施設が少ないことが影響していると思われる。

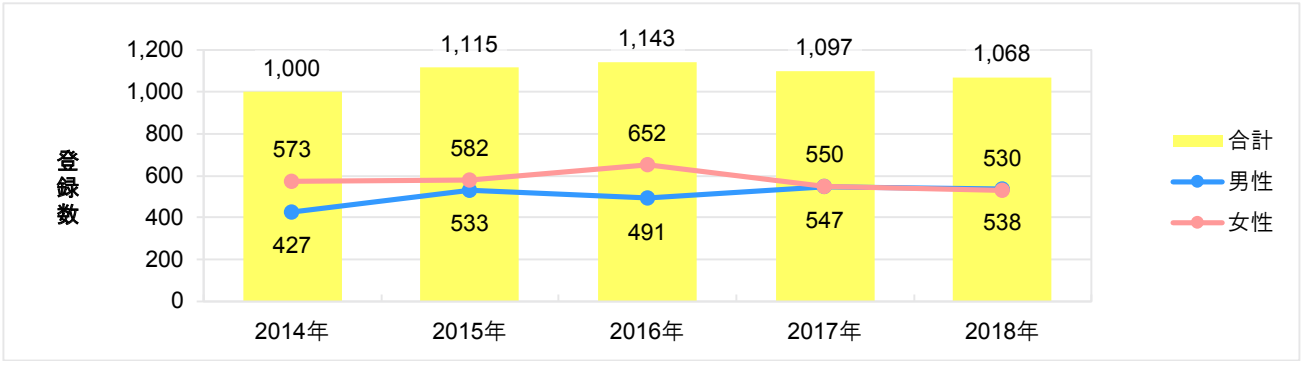
治療前ステージ別登録割合を見ると、全がんにおいてⅠ期、Ⅳ期は 2007 － 2008 と 2009 － 2012 ではあまり差が見られなかった。がん種別で見ると大腸がんステージⅠの 5 年相対生存率は全国平均よりも 9 ポイント悪いが、ステージⅣでは全国平均並みに改善が見られる。肺がんでは全体の 5 年相対生存率がかなり悪い。これはステージⅠの割合が全国平均と比べると 37％対 18％と低いのが影響していると思われる。2007 － 2008 と 2009 － 2012 のステージの比較ではステージⅠでは悪化傾向、ステージⅡでは改善している。これらの要因としては性別、年齢、手術の有無、組織型などの違いなど考慮されていないことなどが考えられる。また、高齢で治療が継続できない、併存疾患のために治療が継続できない、経済的に治療が継続できないなど考慮すべき要因があり、一概には比較できない。しかし、早期診断、早期治療、集学的治療の中では放射線治療が全国平均より劣っていることなどから早期に改善する必要があると考える。

沖縄県立中部病院
病院長　本竹　秀光

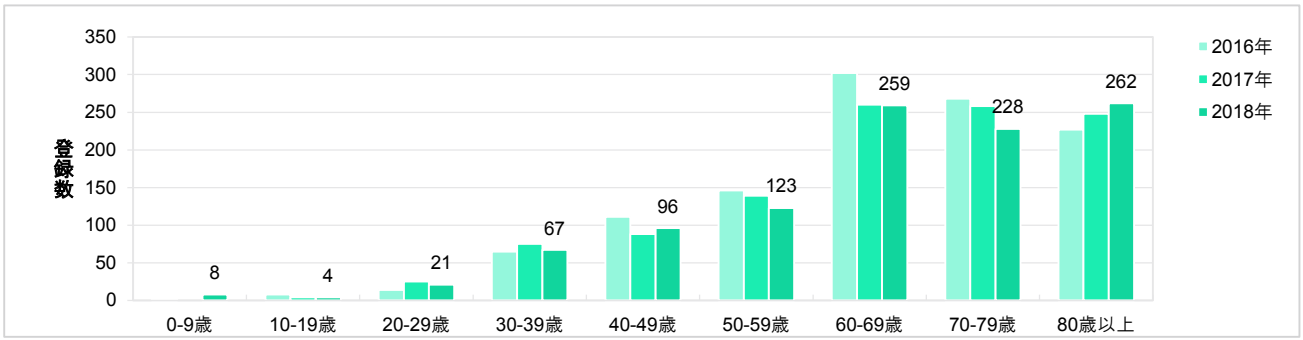


院内がん登録の概要

登録数の推移

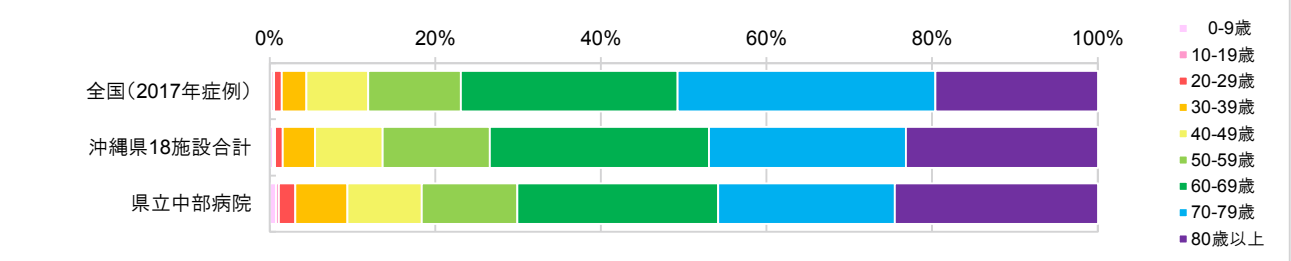


年齢階級別　登録数の推移



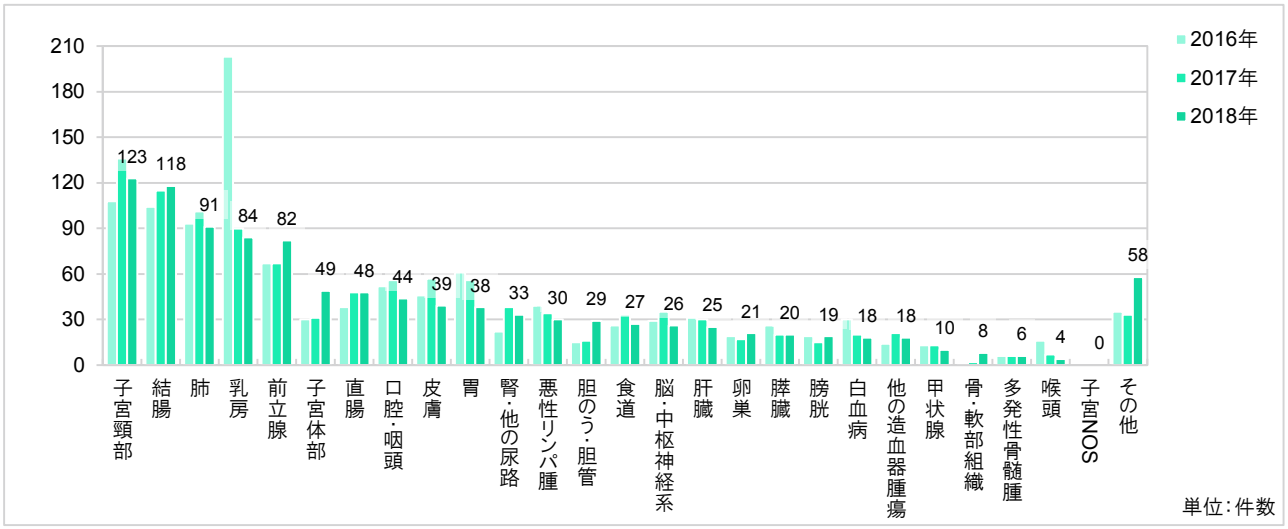
年齢階級別　登録数と登録割合

	全国(2017年症例)		沖縄県18施設合計		県立中部病院	
0-9歳	1,705	(0.2%)	44	(0.4%)	8	(0.7%)
10-19歳	1,965	(0.3%)	23	(0.2%)	4	(0.4%)
20-29歳	6,471	(0.9%)	105	(1.0%)	21	(2.0%)
30-39歳	21,457	(3.0%)	425	(3.9%)	67	(6.3%)
40-49歳	52,941	(7.4%)	896	(8.2%)	96	(9.0%)
50-59歳	79,976	(11.2%)	1,410	(12.9%)	123	(11.5%)
60-69歳	186,117	(26.1%)	2,894	(26.5%)	259	(24.3%)
70-79歳	221,871	(31.2%)	2,606	(23.8%)	228	(21.3%)
80歳以上	139,698	(19.6%)	2,532	(23.2%)	262	(24.5%)
合計	712,201	(100.0%)	10,935	(100.0%)	1,068	(100.0%)

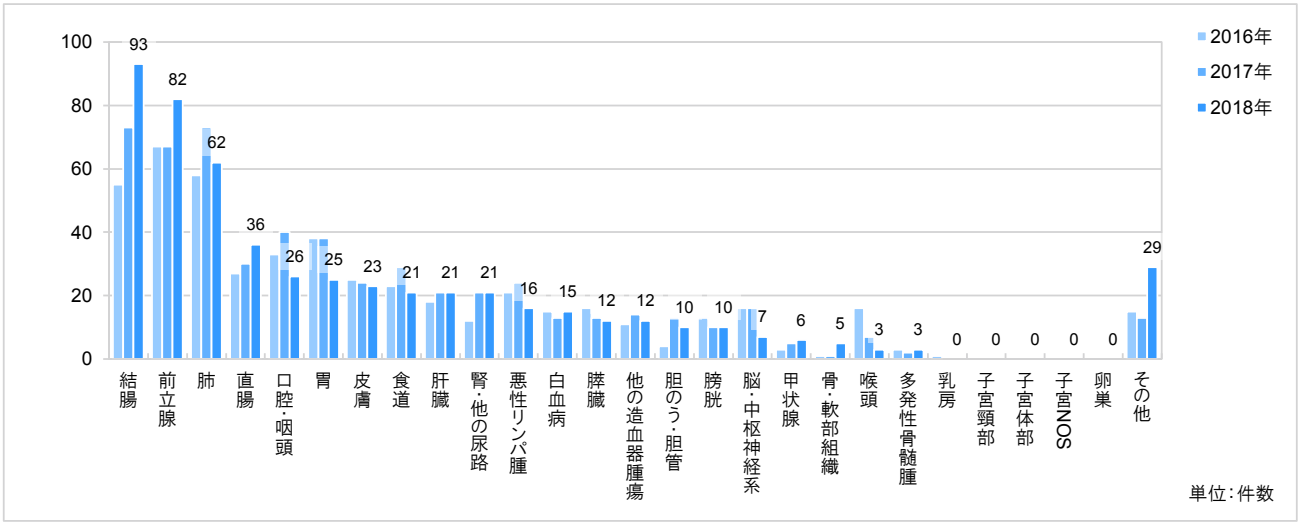


＊症例区分「80：その他」を除いて集計

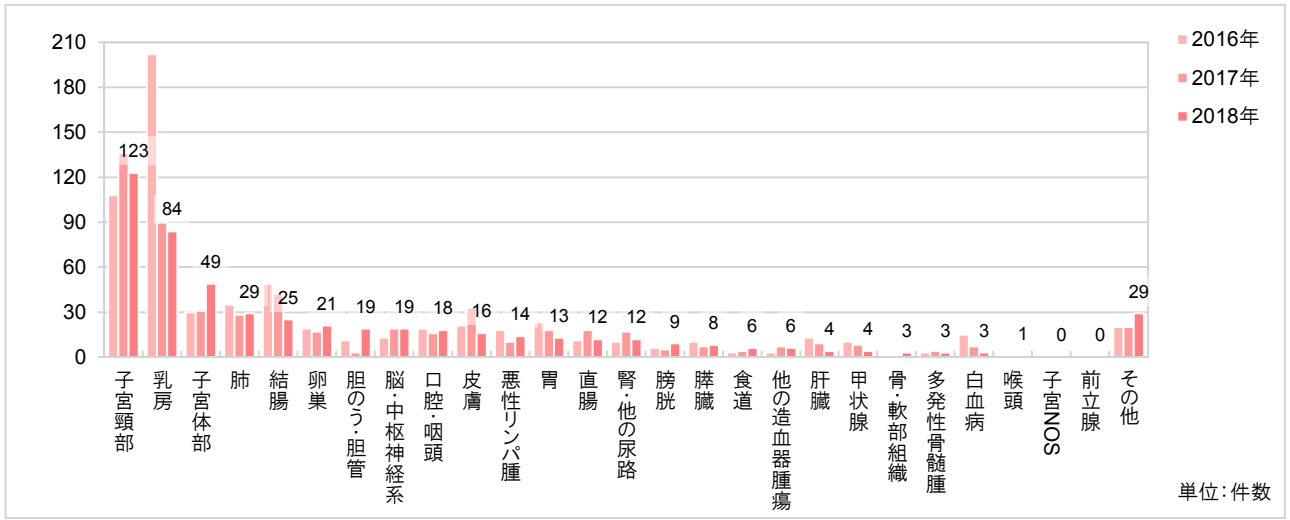
部位別　登録数の推移 — 男女計



部位別　登録数の推移 — 男



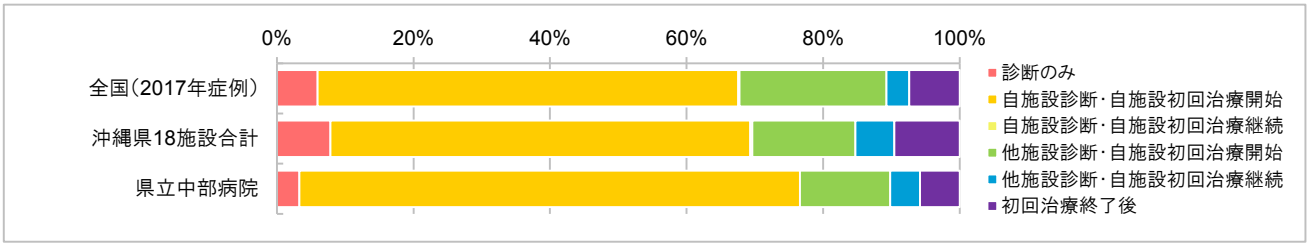
部位別　登録数の推移 — 女



＊症例区分「80：その他」を除いて集計

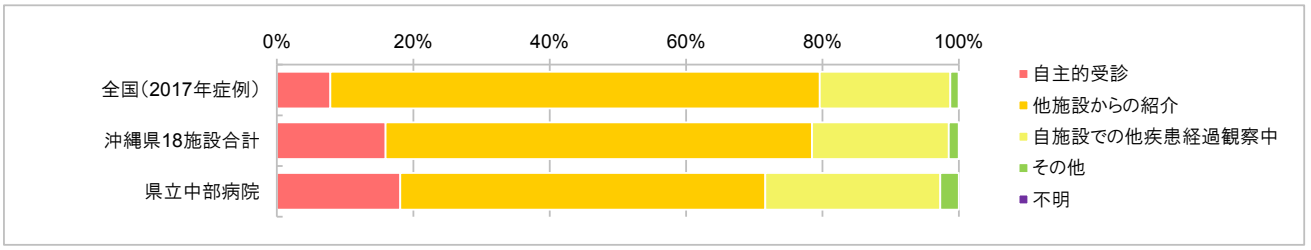
症例区分別　登録数と登録割合

	全国(2017年症例)		沖縄県18施設合計		県立中部病院	
診断のみ	42,302	(5.9%)	856	(7.8%)	35	(3.3%)
自施設診断･自施設初回治療開始	438,978	(61.6%)	6,721	(61.5%)	783	(73.3%)
自施設診断･自施設初回治療継続	1,124	(0.2%)	33	(0.3%)	0	(0.0%)
他施設診断･自施設初回治療開始	153,312	(21.5%)	1,651	(15.1%)	141	(13.2%)
他施設診断･自施設初回治療継続	23,838	(3.3%)	626	(5.7%)	47	(4.4%)
初回治療終了後	52,647	(7.4%)	1,048	(9.6%)	62	(5.8%)
合計	712,201	(100.0%)	10,935	(100.0%)	1,068	(100.0%)



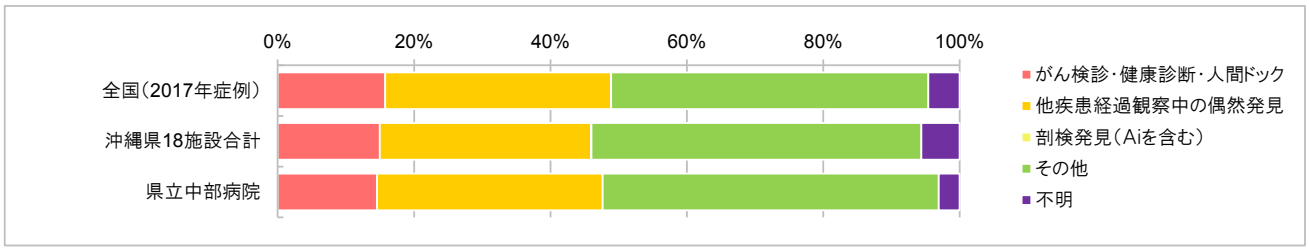
来院経路別　登録数と登録割合

	全国(2017年症例)		沖縄県18施設合計		県立中部病院	
自主的受診	55,803	(7.8%)	1,745	(16.0%)	193	(18.1%)
他施設からの紹介	511,176	(71.8%)	6,838	(62.5%)	572	(53.6%)
自施設での他疾患経過観察中	136,118	(19.1%)	2,187	(20.0%)	274	(25.7%)
その他	8,910	(1.3%)	162	(1.5%)	29	(2.7%)
不明	194	(0.0%)	3	(0.0%)	0	(0.0%)
合計	712,201	(100.0%)	10,935	(100.0%)	1,068	(100.0%)



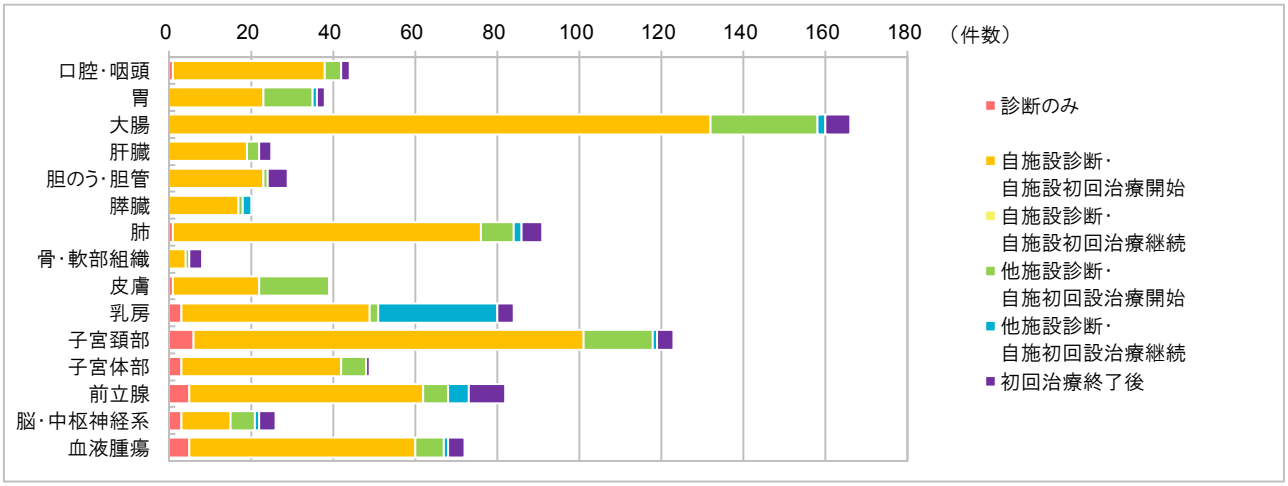
発見経緯別　登録数と登録割合

	全国(2017年症例)		沖縄県18施設合計		県立中部病院	
がん検診･健康診断･人間ドック	112,324	(15.8%)	1,636	(15.0%)	156	(14.6%)
他疾患経過観察中の偶然発見	235,862	(33.1%)	3,393	(31.0%)	353	(33.1%)
剖検発見(Aiを含む)	46	(0.0%)	2	(0.0%)	0	(0.0%)
その他	331,376	(46.5%)	5,293	(48.4%)	526	(49.3%)
不明	32,593	(4.6%)	611	(5.6%)	33	(3.1%)
合計	712,201	(100.0%)	10,935	(100.0%)	1,068	(100.0%)

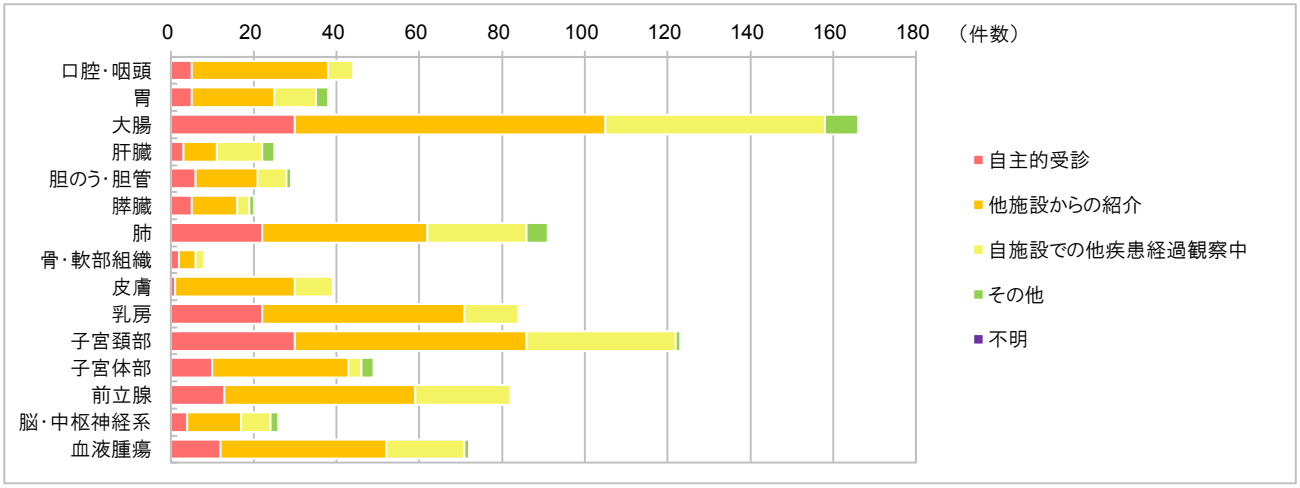


＊症例区分「80：その他」を除いて集計

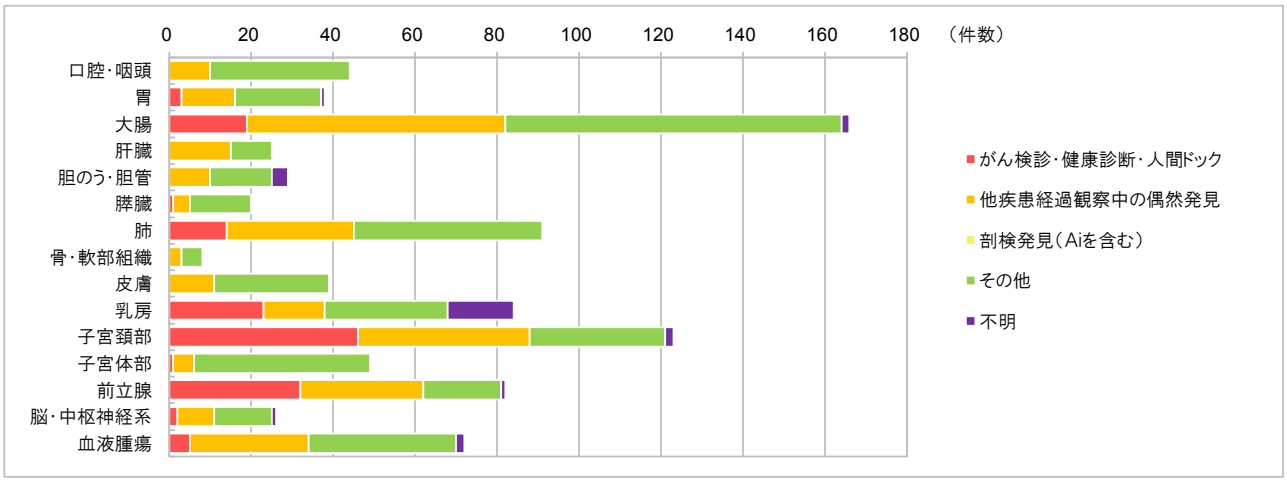
部位別　症例区分別　登録数



部位別　来院経路別　登録数



部位別　発見経緯別　登録数

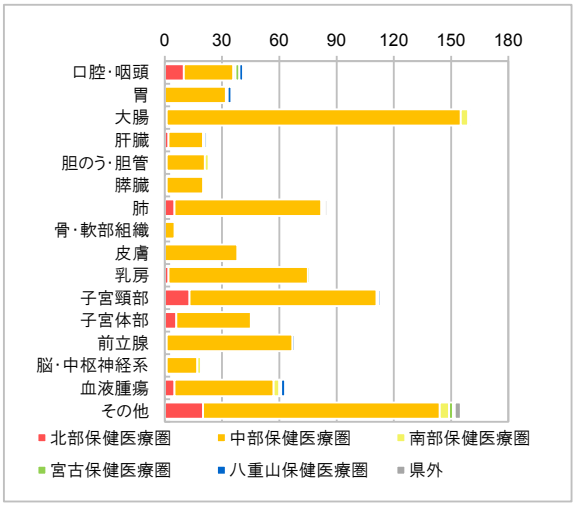


＊症例区分「８０：その他」を除いて集計

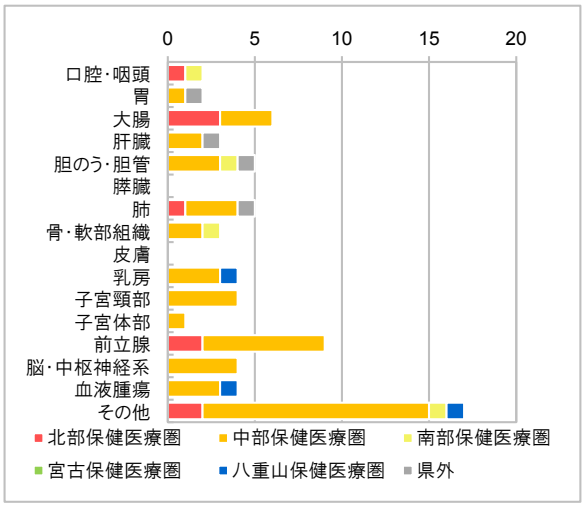
二次保健医療圏別　登録数と登録割合

圏域名	市町村名	登録数	割合	登録割合上位3部位	
北部保健医療圏	名護市　国頭村　大宜味村 東村　今帰仁村　本部町 伊江村　伊平屋村　伊是名村	81	7.6%	子宮頚部	17.3%
				口腔･咽頭	13.6%
				腎･他の尿路	9.9%
中部保健医療圏	宜野湾市　沖縄市　うるま市　恩納村 宜野座村　金武町　読谷村　嘉手納町 北谷町　北中城村　中城村	928	86.9%	大腸	16.9%
				子宮頚部	11.4%
				肺	8.6%
南部保健医療圏	那覇市　浦添市　糸満市　豊見城市 南城市　西原町　与那原町 南風原町　渡嘉敷村　座間味村 粟国村　渡名喜村　南大東村 北大東村　久米島町　八重瀬町	25	2.3%	大腸	16.0%
				血液腫瘍	16.0%
				胆嚢･胆管	12.0%
宮古保健医療圏	宮古島市　多良間村	6	0.6%	口腔･咽頭	33.3%
				食道	16.7%
				乳房	16.7%
八重山保健医療圏	石垣市　竹富町　与那国町	15	1.4%	血液腫瘍	20.0%
				口腔･咽頭	13.3%
				胃	13.3%
沖縄県外		13	1.2%	--	--
合計		1,068	100.0%	大腸	15.4%
				子宮頚部	11.5%
				肺	8.3%

二次保健医療圏別　部位別　治療件数*



二次保健医療圏別部位別　初回治療終了後の受け入れ登録数*



＊症例区分「80：その他」を除いて集計
＊二次保健医療圏別集計は、当該施設を受診したときの患者さんの住所（診断時住所）をもとに集計
＊登録割合上位３部位において、登録割合が同数の場合、部位コードが小さい順に表記
＊二次保健医療圏別部位別治療件数は、症例区分「20：自施設診断・自施設初回治療開始」「21：自施設診断・自施設初回治療継続」「30：他施設診断・自施設初回治療開始」「31：他施設診断・自施設初回治療継続」のみ集計
＊二次保健医療圏別部位別初回治療終了後の受け入れ登録数は、症例区分「40：初回治療終了後」のみ集計

中頭病院



318

基本情報	
病院名	社会医療法人敬愛会　中頭病院
所在地	〒 904-2195　沖縄県沖縄市字登川６１０番地
電話（代表）	098-939-1300
ホームページ	http://www.nakagami.or.jp/

診療案内			
診療科	内科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、感染症内科、血液腫瘍内科、内分泌・代謝内科（糖尿病）、腎臓内科（人工透析）、神経内科、外科、消化器外科、肛門外科、呼吸器外科、乳腺外科、心臓血管外科、血管外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、産婦人科、小児科、小児外科、泌尿器科、眼科、耳鼻いんこう科・頭頸部外科、麻酔科（上川務恵）、病理診断科、放射線科、救急科、リハビリテーション科、皮膚科　合計３１診療科		
病床数	355 床	平均在院日数	10.4 日
入院患者のべ数	131,571 人	外来患者のべ数	190,207 人
外来化学療法の実施	○	放射線治療の実施	○
緩和ケア外来	○	緩和ケアチーム	○
緩和ケア病棟	×	緩和ケア病床数	0 床
院内がん登録実務者数（実務者のうち研修修了者数）	実務者数３名（初級者１名）		

がん相談	
名称	医療相談室
電話番号	（代表）098-939-1300
対応時間	月曜～金曜日 8：30 ～ 17：30　土曜日 8：30 ～ 12：30

患者さん・ご家族用の設備	
交流の場（がん患者サロンなど）	○
院内図書館（図書等を設置している場所）	×



当院の院内がん登録は 2007 年より開始し、2012 年以降は毎年約 1,000 例の登録数を推移しています。当院における部位別登録数の推移 - 男女計での上位 5 部位は、大腸（結腸･直腸）、乳房、肺、前立腺、胃となっており、女性計においては全体の約 40% を乳房が占めています。

症例区分別登録数と登録割合をみると、がん治療を各施設で実施した割合の合計が全国で 86.6%、沖縄県 18 施設では 82.6%、当院は 93% であり、当院における集学的がん治療の実績となって表れております。

集学的がん治療の取り組みとしまして、2017 年に放射線治療システム（バリアン社製 True Beam）による放射線治療を開始、2018 年に低侵襲手術支援ロボット（ダ・ヴィンチ Xi）を導入、泌尿器科領域（前立腺癌）に加え、呼吸器外科領域（縦隔腫瘍、肺癌）を開始しました。2019 年 4 月に腹腔鏡・ロボット支援下手術センターを開設、肝胆膵センターを新設し、2019 年 10 月より消化器領域（胃癌）のロボット手術も開始しております。消化器内科、消化器外科、看護師、薬剤師など、経験を積み知識・技術を兼備する各専門職が、部門・診療科を横断し、患者さんとともにチーム全体・全力で取り組みます。

また、消化器領域の癌の早期発見や検診受診率の向上を目指し、2019 年 12 月より消化器内科・消化器外科合同主催の市民公開講座も行っております。

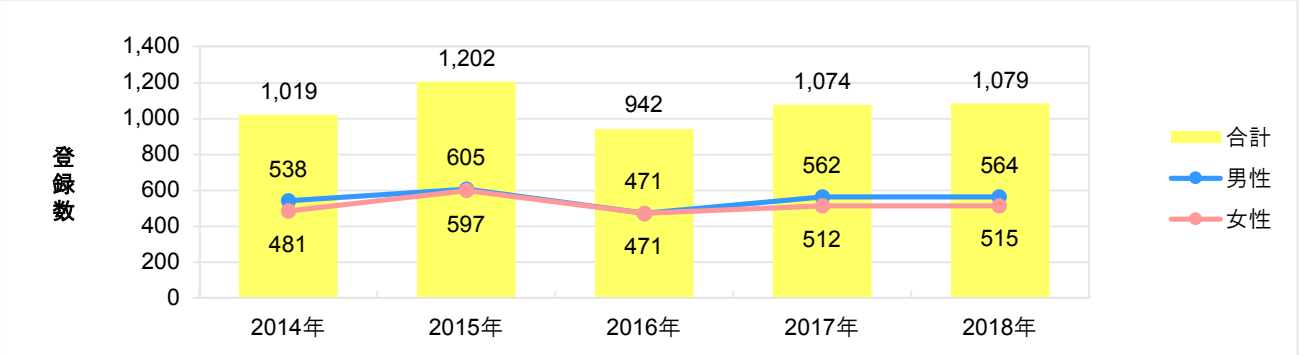
その他、緩和ケアへの取り組み強化として引き続き、緩和医療専門医・緩和ケア認定看護師・がん認定薬剤師を中心とした緩和ケアチームによる病棟ラウンドやケースカンファレンスを実施して参ります。

社会医療法人敬愛会　中頭病院
病院長　下地　勉

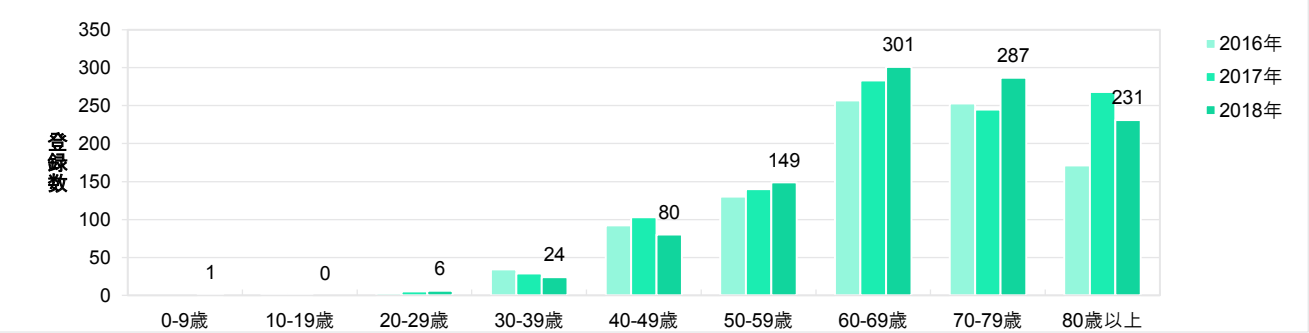


院内がん登録の概要

登録数の推移

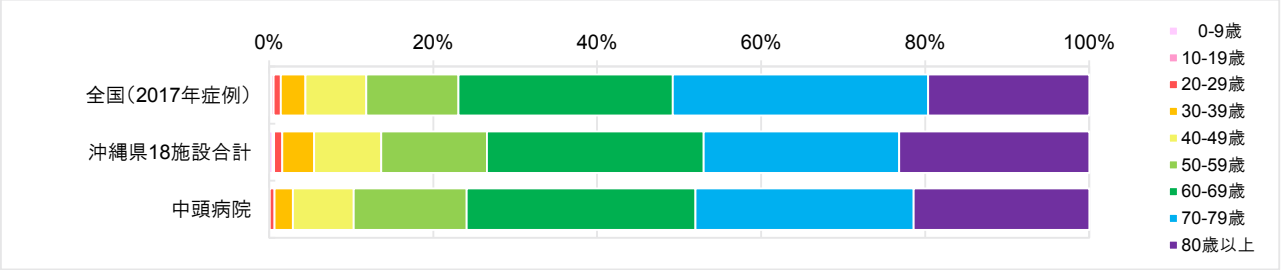


年齢階級別　登録数の推移



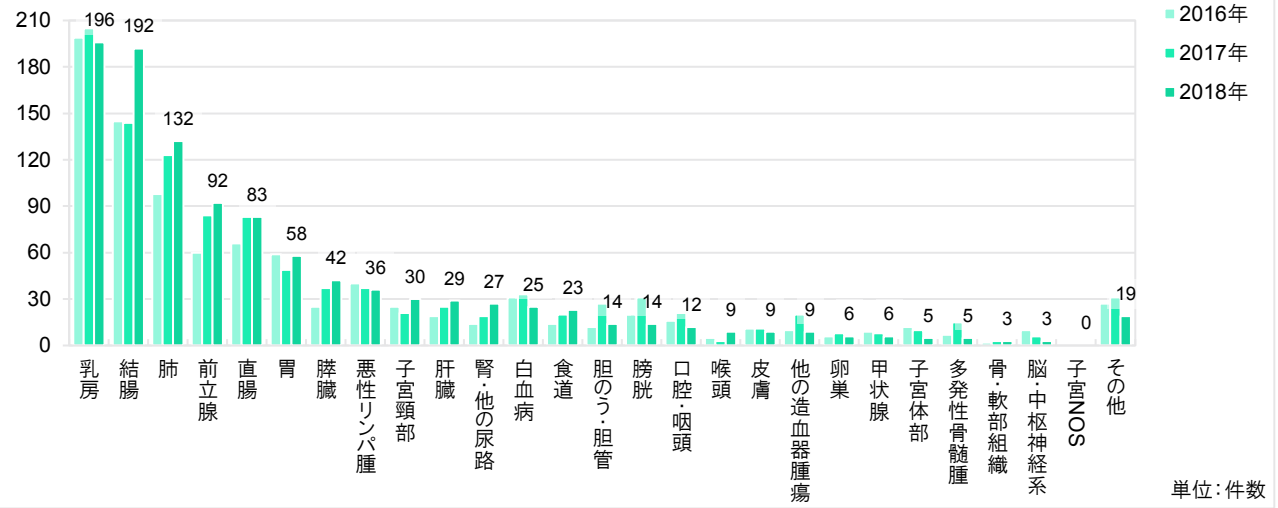
年齢階級別　登録数と登録割合

	全国(2017年症例)		沖縄県18施設合計		中頭病院	
0-9歳	1,705	(0.2%)	44	(0.4%)	1	(0.1%)
10-19歳	1,965	(0.3%)	23	(0.2%)	0	(0.0%)
20-29歳	6,471	(0.9%)	105	(1.0%)	6	(0.6%)
30-39歳	21,457	(3.0%)	425	(3.9%)	24	(2.2%)
40-49歳	52,941	(7.4%)	896	(8.2%)	80	(7.4%)
50-59歳	79,976	(11.2%)	1,410	(12.9%)	149	(13.8%)
60-69歳	186,117	(26.1%)	2,894	(26.5%)	301	(27.9%)
70-79歳	221,871	(31.2%)	2,606	(23.8%)	287	(26.6%)
80歳以上	139,698	(19.6%)	2,532	(23.2%)	231	(21.4%)
合計	712,201	(100.0%)	10,935	(100.0%)	1,079	(100.0%)

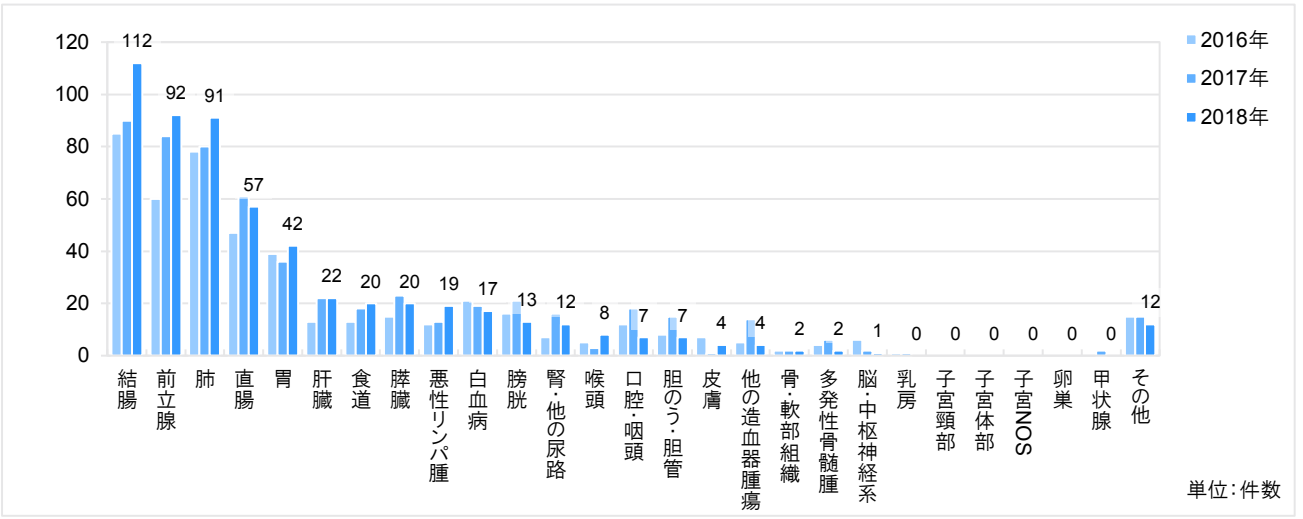


＊症例区分「80：その他」を除いて集計

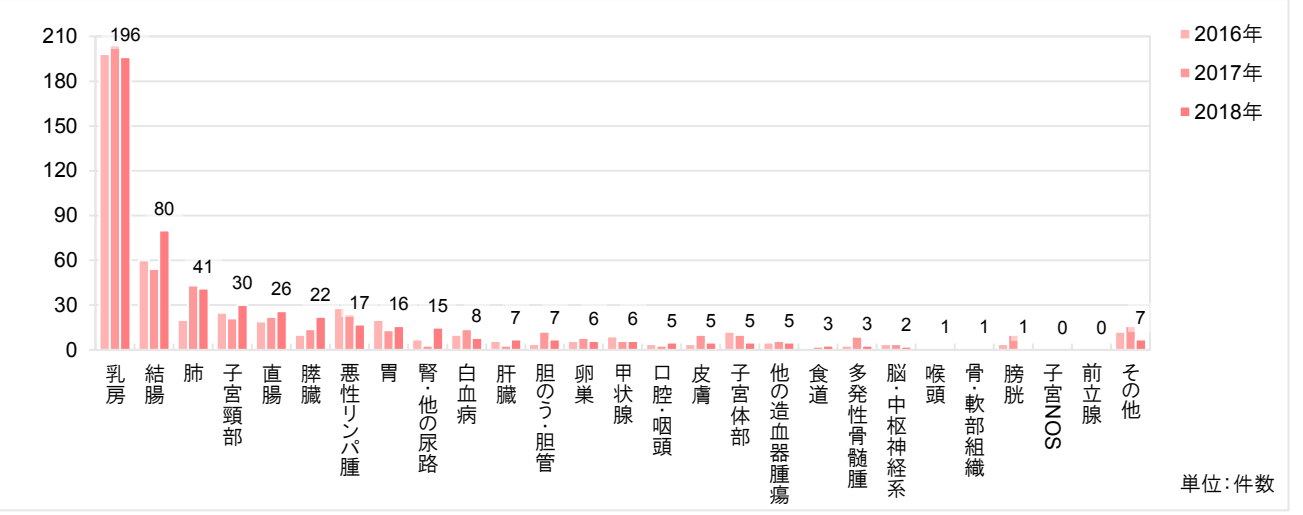
部位別　登録数の推移 — 男女計



部位別　登録数の推移 — 男



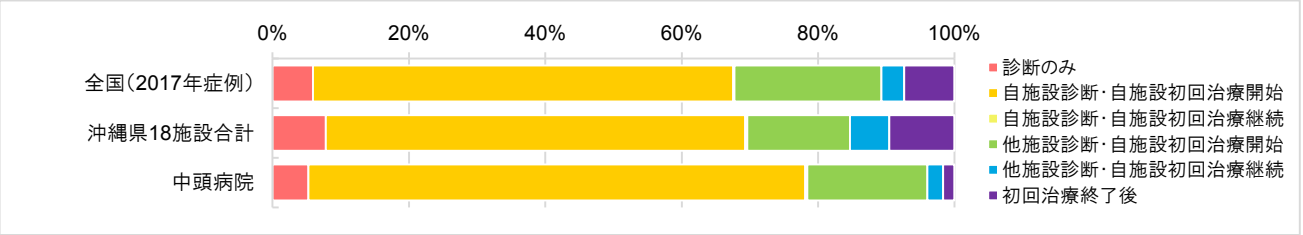
部位別　登録数の推移 — 女



＊症例区分「80：その他」を除いて集計

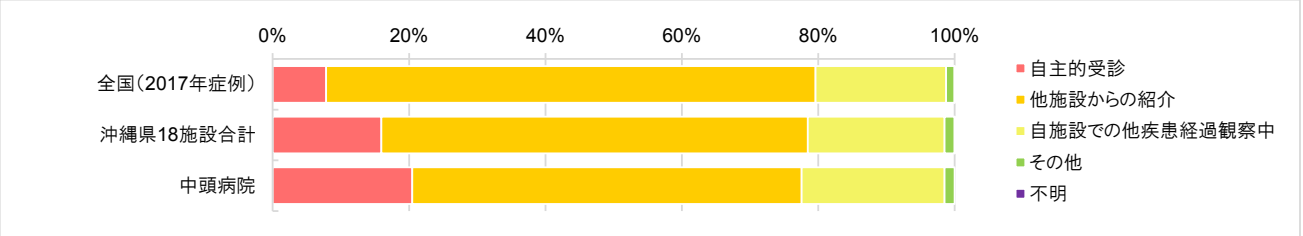
症例区分別　登録数と登録割合

	全国(2017年症例)		沖縄県18施設合計		中頭病院	
診断のみ	42,302	(5.9%)	856	(7.8%)	57	(5.3%)
自施設診断･自施設初回治療開始	438,978	(61.6%)	6,721	(61.5%)	786	(72.8%)
自施設診断･自施設初回治療継続	1,124	(0.2%)	33	(0.3%)	3	(0.3%)
他施設診断･自施設初回治療開始	153,312	(21.5%)	1,651	(15.1%)	190	(17.6%)
他施設診断･自施設初回治療継続	23,838	(3.3%)	626	(5.7%)	25	(2.3%)
初回治療終了後	52,647	(7.4%)	1,048	(9.6%)	18	(1.7%)
合計	712,201	(100.0%)	10,935	(100.0%)	1,079	(100.0%)



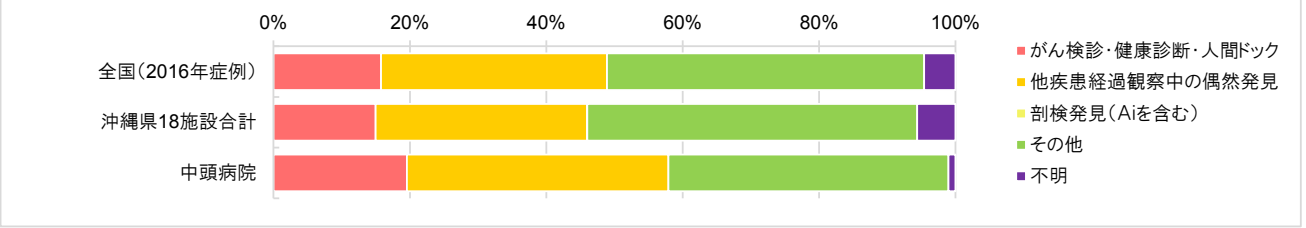
来院経路別　登録数と登録割合

	全国(2017年症例)		沖縄県18施設合計		中頭病院	
自主的受診	55,803	(7.8%)	1,745	(16.0%)	221	(20.5%)
他施設からの紹介	511,176	(71.8%)	6,838	(62.5%)	616	(57.1%)
自施設での他疾患経過観察中	136,118	(19.1%)	2,187	(20.0%)	226	(20.9%)
その他	8,910	(1.3%)	162	(1.5%)	16	(1.5%)
不明	194	(0.0%)	3	(0.0%)	0	(0.0%)
合計	712,201	(100.0%)	10,935	(100.0%)	1,079	(100.0%)



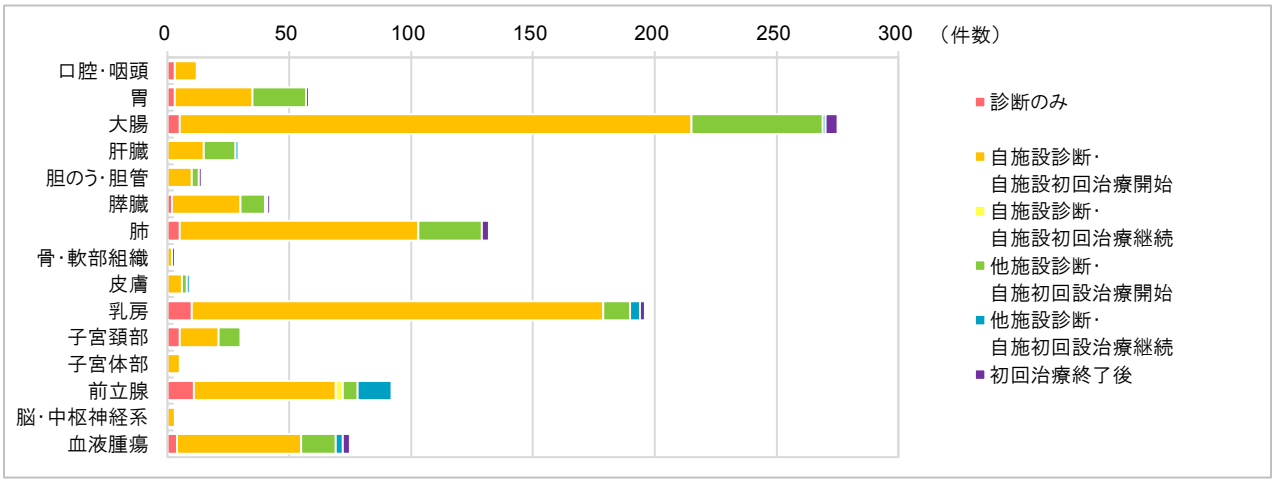
発見経緯別　登録数と登録割合

	全国(2016年症例)		沖縄県18施設合計		中頭病院	
がん検診･健康診断･人間ドック	112,324	(15.8%)	1,636	(15.0%)	211	(19.6%)
他疾患経過観察中の偶然発見	235,862	(33.1%)	3,393	(31.0%)	414	(38.4%)
剖検発見(Aiを含む)	46	(0.0%)	2	(0.0%)	0	(0.0%)
その他	331,376	(46.5%)	5,293	(48.4%)	443	(41.1%)
不明	32,593	(4.6%)	611	(5.6%)	11	(1.0%)
合計	712,201	(100.0%)	10,935	(100.0%)	1,079	(100.0%)

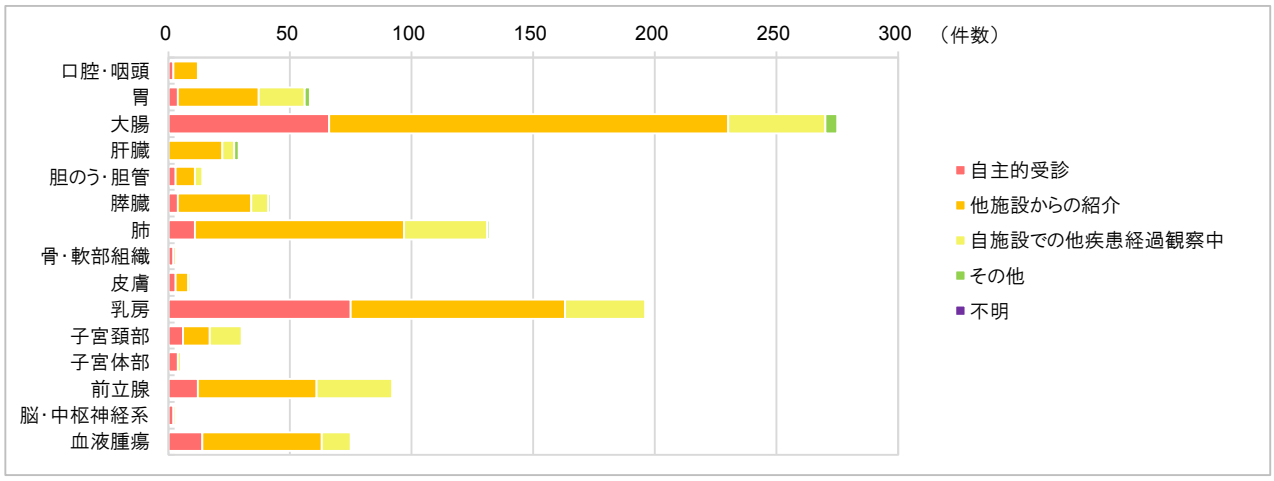


＊症例区分「80：その他」を除いて集計

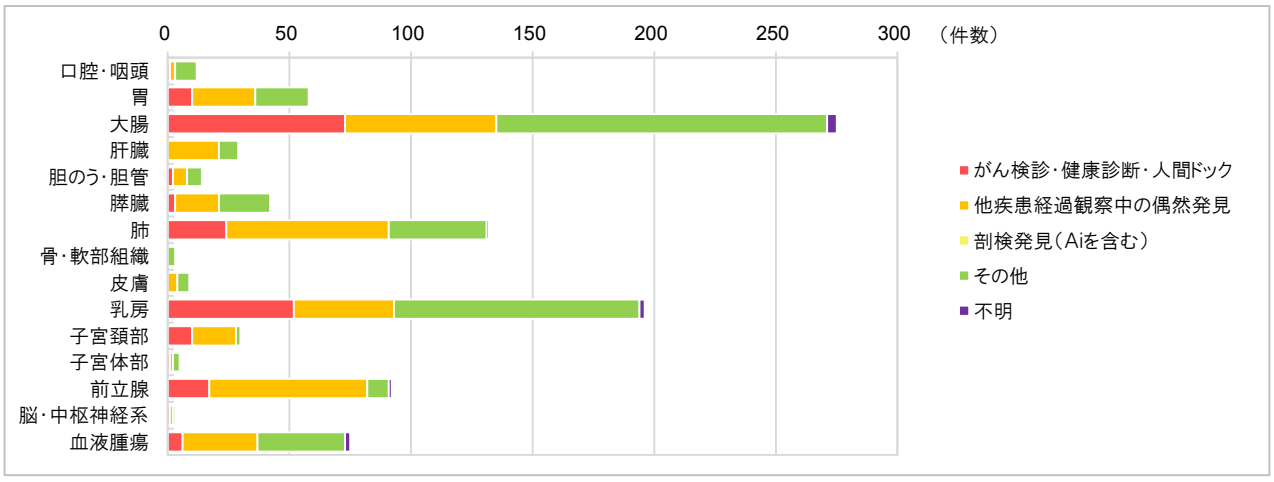
部位別　症例区分別　登録数



部位別　来院経路別　登録数



部位別　発見経緯別　登録数

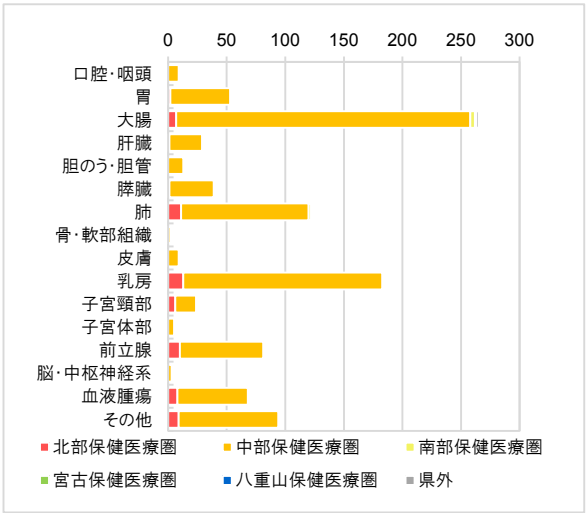


＊症例区分「８０：その他」を除いて集計

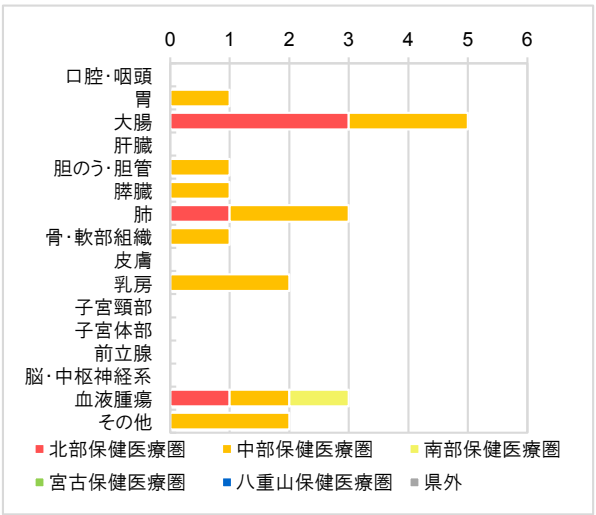
二次保健医療圏別　登録数と登録割合

圏域名	市町村名	登録数	割合	登録割合上位3部位	
北部保健医療圏	名護市　国頭村　大宜味村 東村　今帰仁村　本部町 伊江村　伊平屋村　伊是名村	76	7.0%	乳房	17.1%
				肺	15.8%
				前立腺	14.5%
中部保健医療圏	宜野湾市　沖縄市　うるま市　恩納村 宜野座村　金武町　読谷村　嘉手納町 北谷町　北中城村　中城村	987	91.5%	大腸	26.1%
				乳房	18.3%
				肺	11.8%
南部保健医療圏	那覇市　浦添市　糸満市　豊見城市 南城市　西原町　与那原町 南風原町　渡嘉敷村　座間味村 粟国村　渡名喜村　南大東村 北大東村　久米島町　八重瀬町	9	0.8%	大腸	44.4%
				肺	22.2%
				乳房	11.1%
宮古保健医療圏	宮古島市　多良間村	1	0.1%	大腸	100.0%
				--	--
				--	--
八重山保健医療圏	石垣市　竹富町　与那国町	2	0.2%	肺	50.0%
				乳房	50.0%
				--	--
沖縄県外		4	0.4%	--	--
合計		1,079	100.0%	大腸	25.3%
				乳房	18.2%
				肺	12.1%

二次保健医療圏別　部位別　治療件数*



二次保健医療圏別部位別　初回治療終了後の受け入れ登録数*



*症例区分「80：その他」を除いて集計
*二次保健医療圏別集計は、当該施設を受診したときの患者さんの住所（診断時住所）をもとに集計
*登録割合上位３部位において、登録割合が同数の場合、部位コードが小さい順に表記
*二次保健医療圏別部位別治療件数は、症例区分「20：自施設診断・自施設初回治療開始」「21：自施設診断・自施設初回治療継続」「30：他施設診断・自施設初回治療開始」「31：他施設診断・自施設初回治療継続」のみ集計
*二次保健医療圏別部位別初回治療終了後の受け入れ登録数は、症例区分「40：初回治療終了後」のみ集計

中部徳洲会病院



326

基本情報	
病院名	医療法人沖縄徳洲会　中部徳洲会病院
所在地	〒 901-2393　沖縄県中頭郡北中城村字比嘉 801 番地
電話（代表）	098-932-1110
ホームページ	http://www.cyutoku.or.jp/

診療案内			
診療科	内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、血液内科、腎臓内科、ペインクリニック内科、外科、呼吸器外科、心臓血管外科、消化器外科、乳腺外科、小児外科、気管食道外科、肛門外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、膵臓外科、リウマチ科、ペインクリニック外科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、病理診断科、臨床検査科、救急科、泌尿器科（人工透析）、麻酔科、歯科口腔外科　　合計 36 診療科		
病床数	347 床	平均在院日数	10.6 日
入院患者のべ数	129,772 人	外来患者のべ数	307,498 人
外来化学療法の実施	○	放射線治療の実施	×
緩和ケア外来	×	緩和ケアチーム	○
緩和ケア病棟	×	緩和ケア病床数	0 床
院内がん登録実務者数（実務者のうち研修修了者数）	実務者数　3 名（中級者 2 名		

がん相談	
名称	地域連携室
電話番号	代表 098-932-1110（内線 1380） 直通 098-931-1070
対応時間	月～金曜日 8：30 ～ 17：00　土曜日 8：30 ～ 12：00

患者さん・ご家族用の設備	
交流の場（がん患者サロンなど）	○
院内図書館（図書等を設置している場所）	○



中部徳洲会病院は、北中城村に移転して 5 年目になります。その間に 2017 年 2 月に国際的な病院機能評価（JCI）を、10 月には外国人患者受入れ医療機関認証（JMIP）を取得し、今年は、日本病院機能評価を含め更新審査の年になります。

当院のがん登録件数は、2017 年は 632 件、2018 年は 687 件と約 50 件増加しています。
登録件数を部位別でみると、男性では前立腺、結腸、胃、女性では乳房、結腸、肺の順となっており、性別を比べると男性が 485 件、女性が 202 件で 7:3 の割合で圧倒的に男性が多い事が分かります。

手術に関しては、手術支援ロボット Da Vinci（ダヴィンチ）手術の需要が多く、前立腺癌だけではなく、2017 年からは腎癌の適応も増えています。

来院経路別でみると、何らかの症状があり来院する「自主的受診」が 30.9%で、全国や沖縄県の平均に比べ多く、それに対し「紹介」による来院は、全国・沖縄県と比較すると少ない結果となっています。今後は徳洲会グループ病院のメリットを生かし、宮古保健医療圏、八重山保健医療圏や沖縄県外からの紹介を増やし、また近隣病院との連携の強化も図っていきたいと考えています。

当院は、骨髄移植を含めた血液疾患の治療の充実や、緩和ケアチームの発足、疼痛治療科医師による癌疼痛コントロールを行い、各診療科との連携を密にし、がんに対する診療体制の構築に力を入れています。

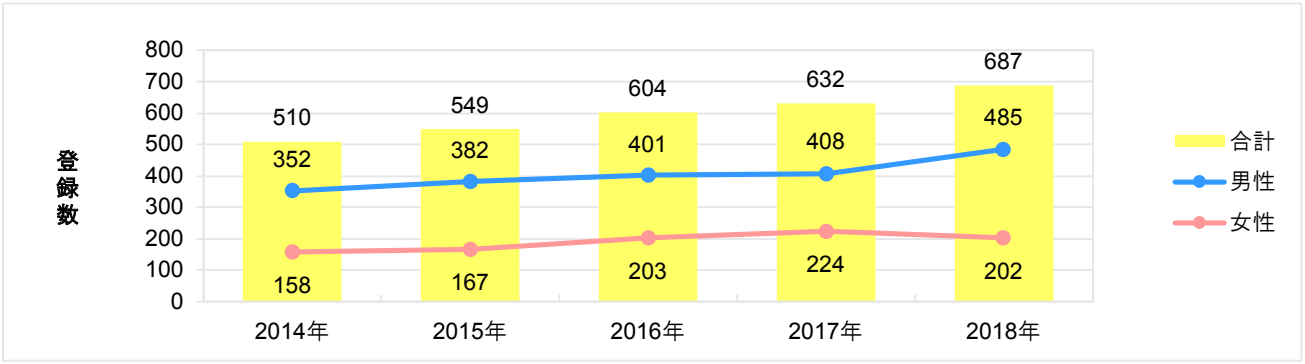
今後も引き続き、「生命を安心して預けられる病院」「健康と生活を守る病院」の理念に基づき、地域医療の充実と向上、がん治療の総合力を高めていけるように頑張ってまいります。

医療法人沖縄徳洲会　中部徳洲会病院
病院長　伊波　潔

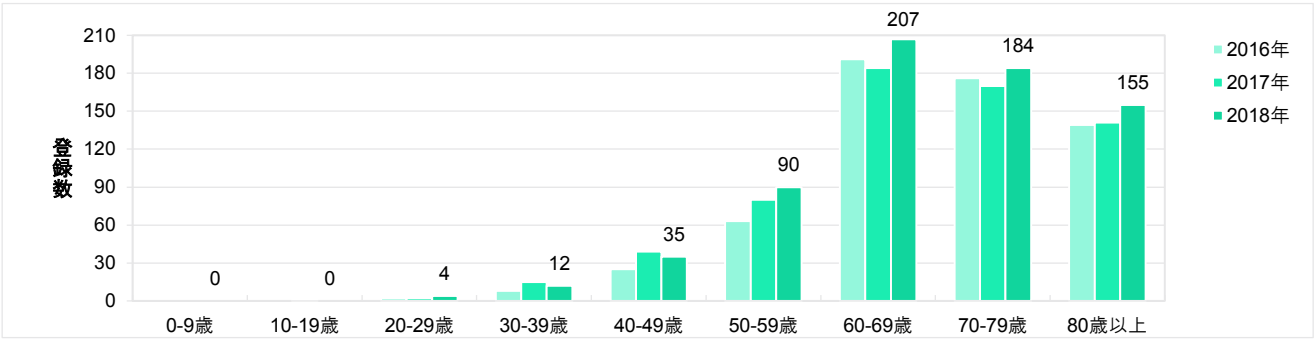


院内がん登録の概要

登録数の推移

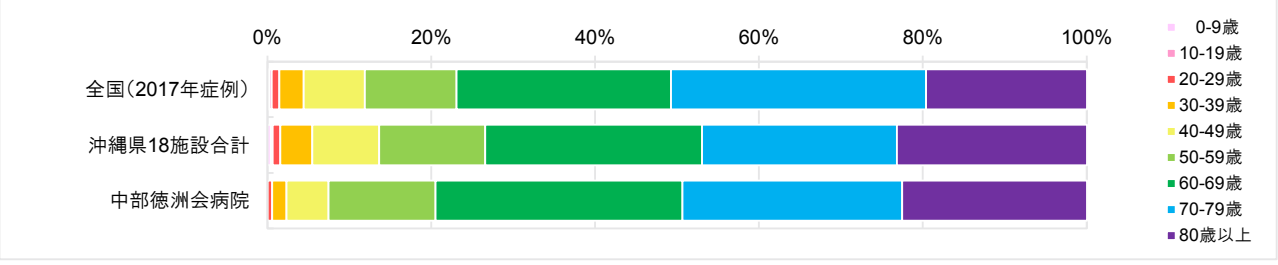


年齢階級別　登録数の推移



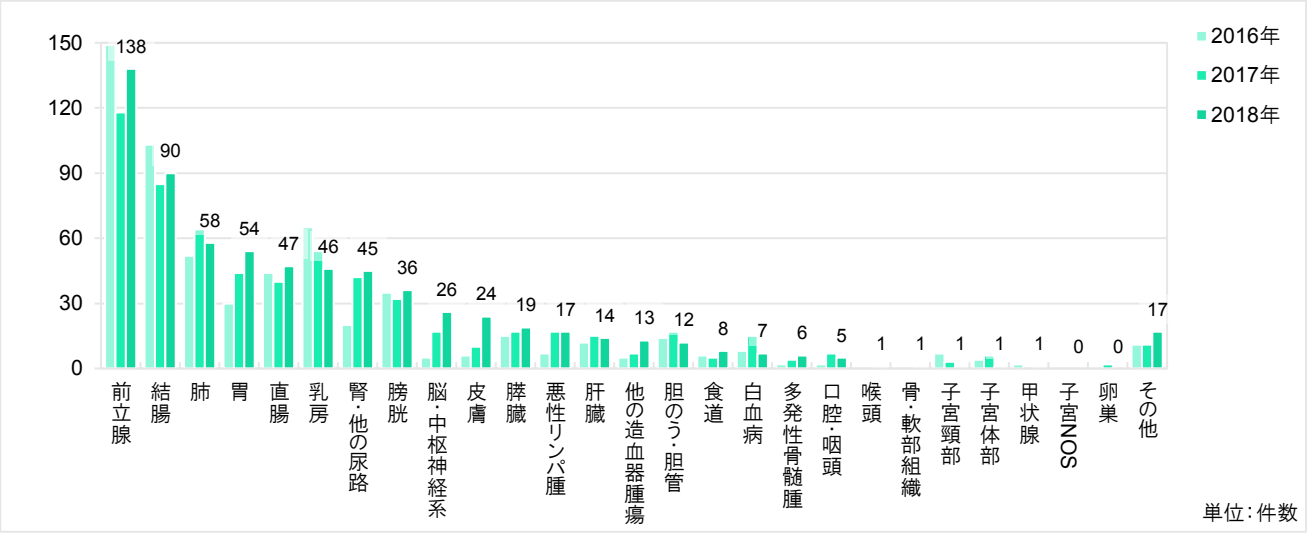
年齢階級別　登録数と登録割合

	全国(2017年症例)		沖縄県18施設合計		中部徳洲会病院	
0-9歳	1,705	(0.2%)	44	(0.4%)	0	(0.0%)
10-19歳	1,965	(0.3%)	23	(0.2%)	0	(0.0%)
20-29歳	6,471	(0.9%)	105	(1.0%)	4	(0.6%)
30-39歳	21,457	(3.0%)	425	(3.9%)	12	(1.7%)
40-49歳	52,941	(7.4%)	896	(8.2%)	35	(5.1%)
50-59歳	79,976	(11.2%)	1,410	(12.9%)	90	(13.1%)
60-69歳	186,117	(26.1%)	2,894	(26.5%)	207	(30.1%)
70-79歳	221,871	(31.2%)	2,606	(23.8%)	184	(26.8%)
80歳以上	139,698	(19.6%)	2,532	(23.2%)	155	(22.6%)
合計	712,201	(100.0%)	10,935	(100.0%)	687	(100.0%)

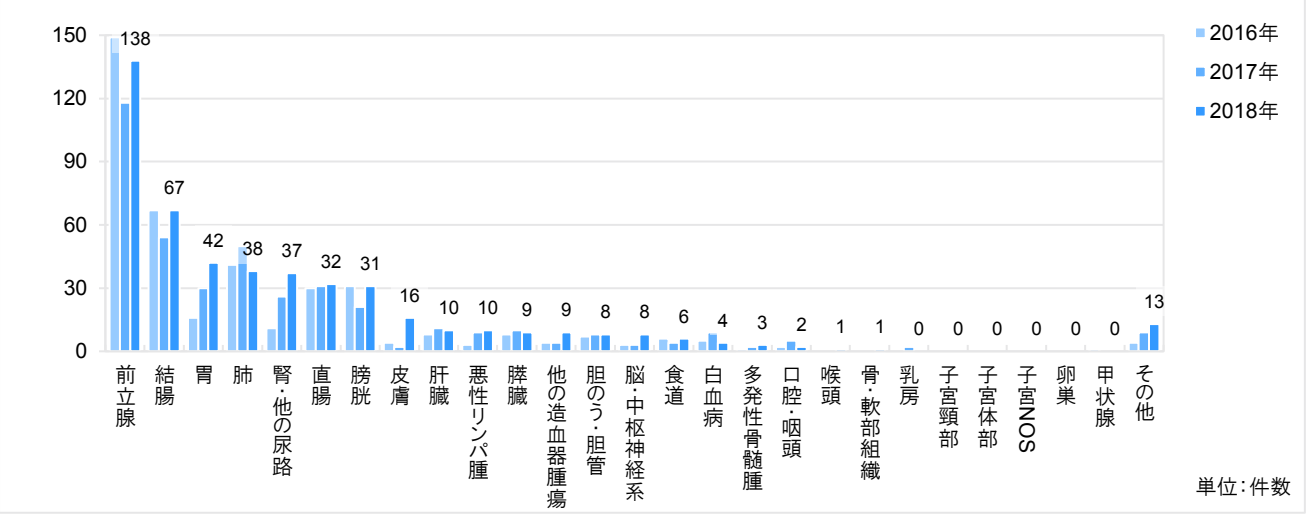


＊症例区分「80：その他」を除いて集計

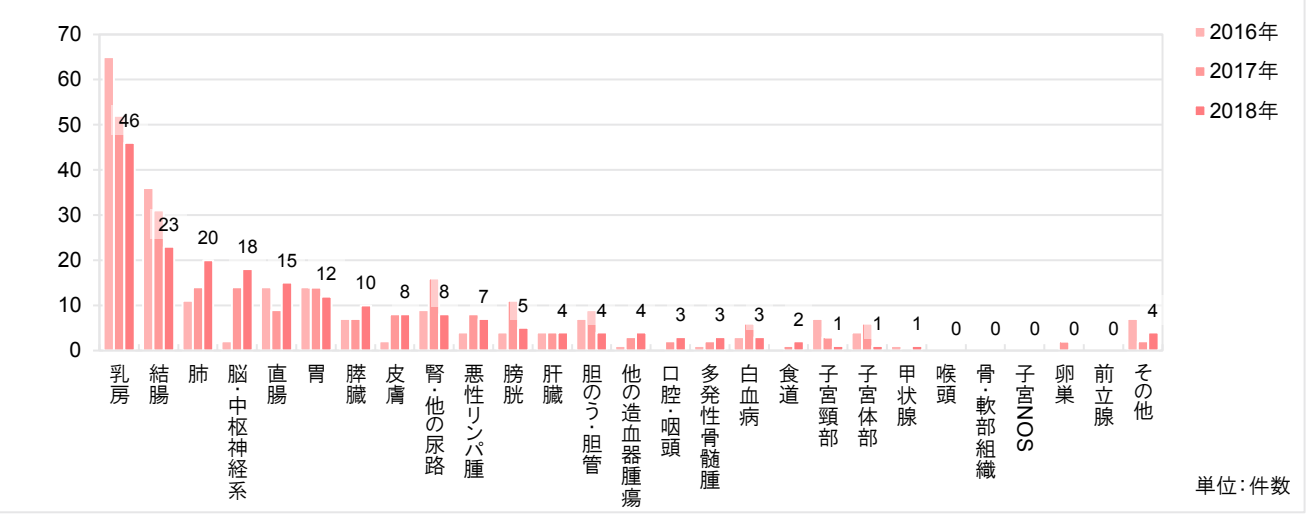
部位別　登録数の推移 — 男女計



部位別　登録数の推移 — 男



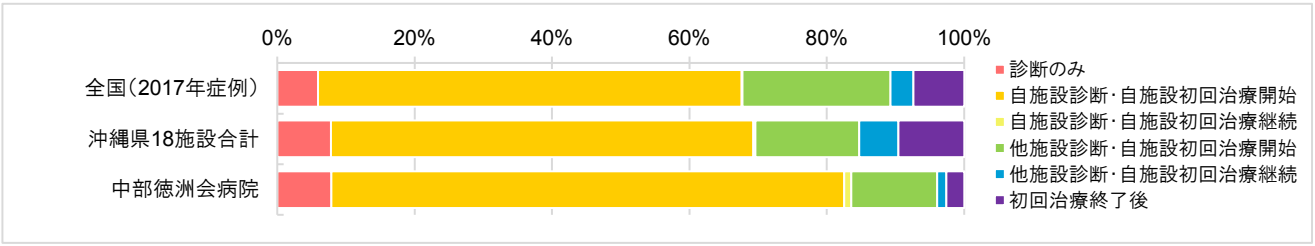
部位別　登録数の推移 — 女



＊症例区分「80：その他」を除いて集計

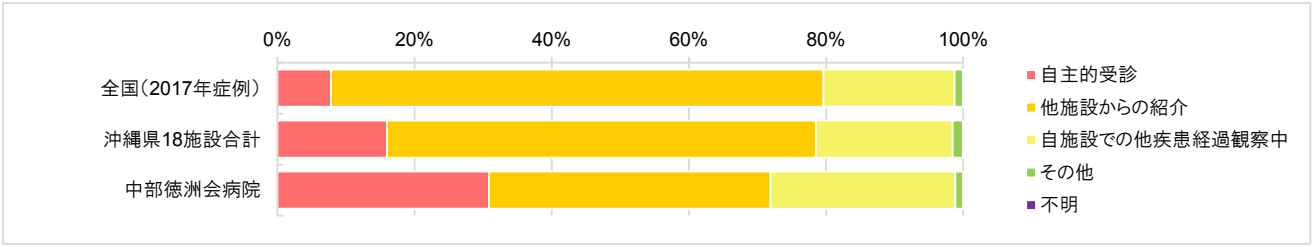
症例区分別　登録数と登録割合

	全国(2017年症例)		沖縄県18施設合計		中部徳洲会病院	
診断のみ	42,302	(5.9%)	856	(7.8%)	54	(7.9%)
自施設診断･自施設初回治療開始	438,978	(61.6%)	6,721	(61.5%)	513	(74.7%)
自施設診断･自施設初回治療継続	1,124	(0.2%)	33	(0.3%)	7	(1.0%)
他施設診断･自施設初回治療開始	153,312	(21.5%)	1,651	(15.1%)	86	(12.5%)
他施設診断･自施設初回治療継続	23,838	(3.3%)	626	(5.7%)	9	(1.3%)
初回治療終了後	52,647	(7.4%)	1,048	(9.6%)	18	(2.6%)
合計	712,201	(100.0%)	10,935	(100.0%)	687	(100.0%)



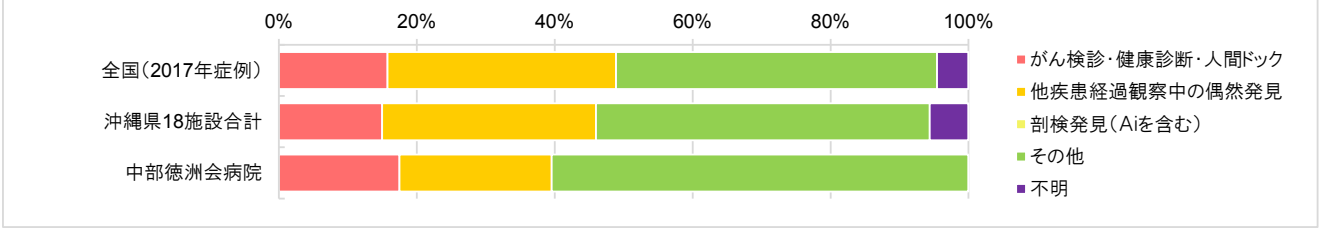
来院経路別　登録数と登録割合

	全国(2017年症例)		沖縄県18施設合計		中部徳洲会病院	
自主的受診	55,803	(7.8%)	1,745	(16.0%)	212	(30.9%)
他施設からの紹介	511,176	(71.8%)	6,838	(62.5%)	282	(41.0%)
自施設での他疾患経過観察中	136,118	(19.1%)	2,187	(20.0%)	185	(26.9%)
その他	8,910	(1.3%)	162	(1.5%)	8	(1.2%)
不明	194	(0.0%)	3	(0.0%)	0	(0.0%)
合計	712,201	(100.0%)	10,935	(100.0%)	687	(100.0%)



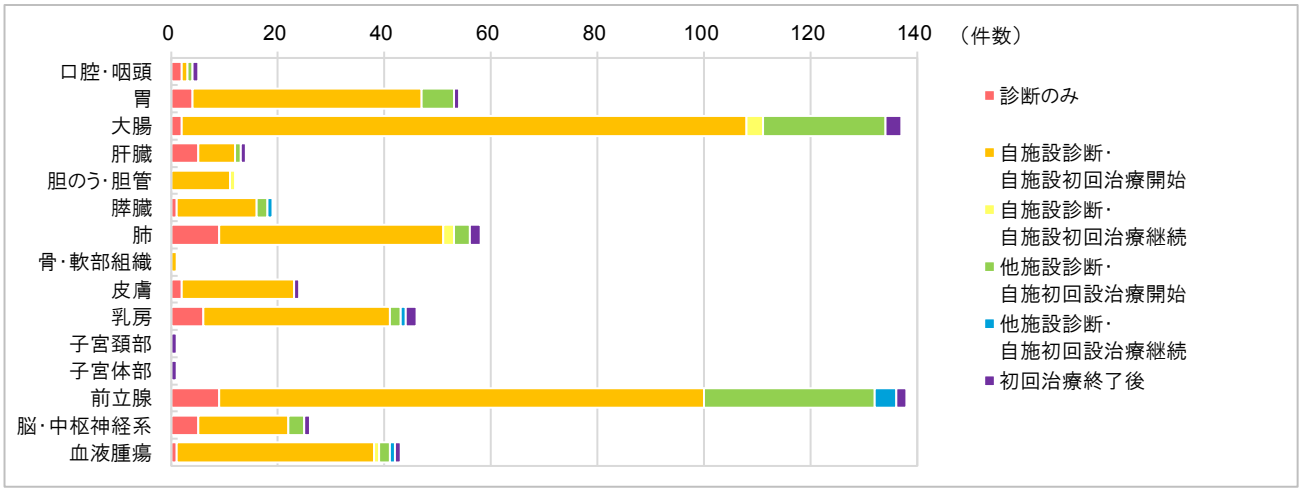
発見経緯別　登録数と登録割合

	全国(2017年症例)		沖縄県18施設合計		中部徳洲会病院	
がん検診･健康診断･人間ドック	112,324	(15.8%)	1,636	(15.0%)	120	(17.5%)
他疾患経過観察中の偶然発見	235,862	(33.1%)	3,393	(31.0%)	152	(22.1%)
剖検発見(Aiを含む)	46	(0.0%)	2	(0.0%)	0	(0.0%)
その他	331,376	(46.5%)	5,293	(48.4%)	415	(60.4%)
不明	32,593	(4.6%)	611	(5.6%)	0	(0.0%)
合計	712,201	(100.0%)	10,935	(100.0%)	687	(100.0%)

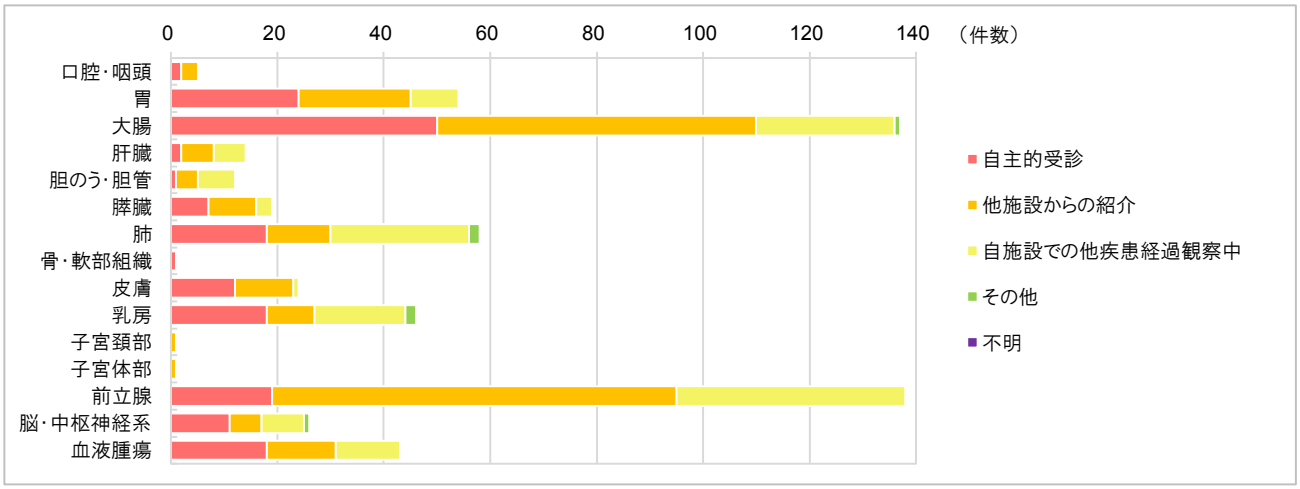


＊症例区分「80：その他」を除いて集計

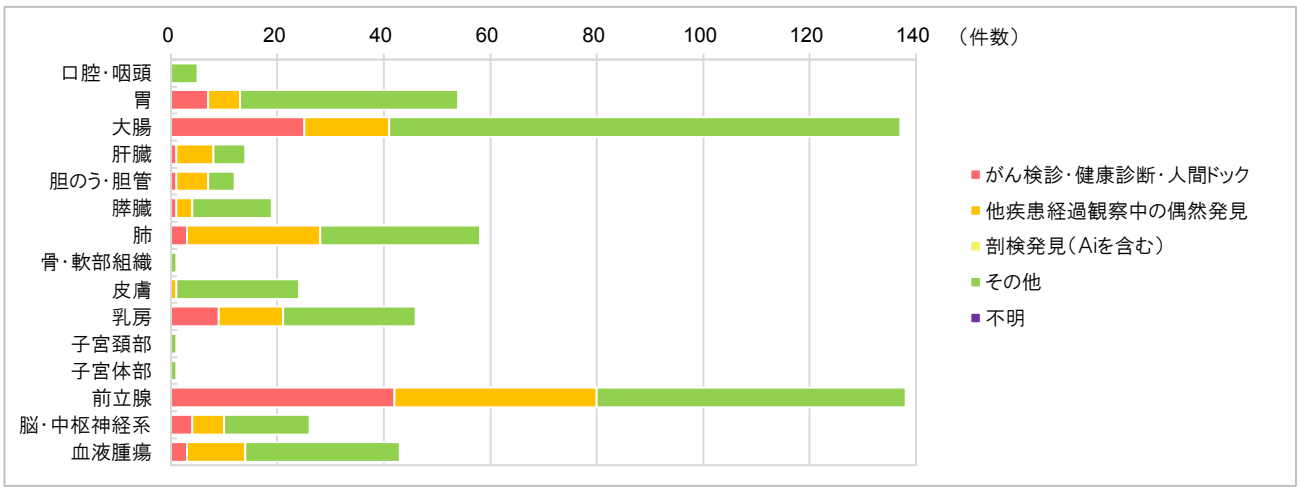
部位別　症例区分別　登録数



部位別　来院経路別　登録数



部位別　発見経緯別　登録数

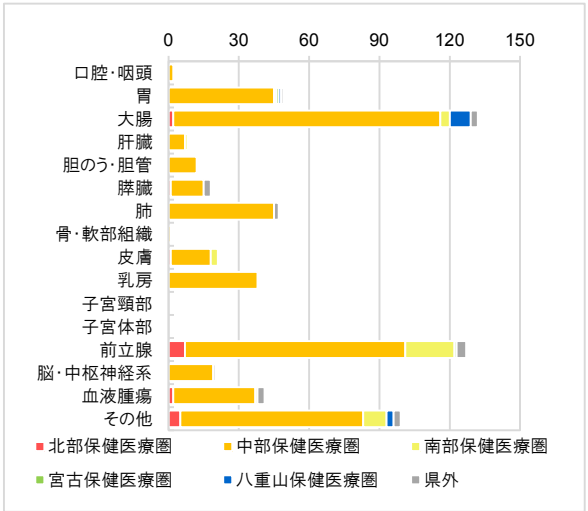


＊症例区分「８０：その他」を除いて集計

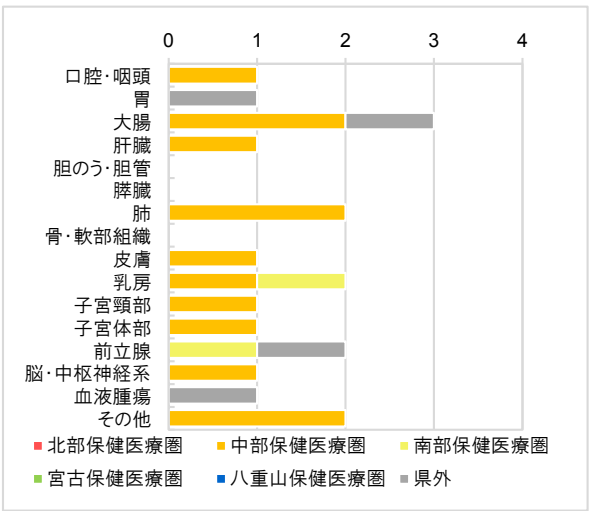
二次保健医療圏別　登録数と登録割合

圏域名	市町村名	登録数	割合	登録割合上位3部位	
北部保健医療圏	名護市　国頭村　大宜味村 東村　今帰仁村　本部町 伊江村　伊平屋村　伊是名村	18	2.6%	前立腺	38.9%
				腎･他の尿路	16.7%
				大腸	11.1%
中部保健医療圏	宜野湾市　沖縄市　うるま市　恩納村 宜野座村　金武町　読谷村　嘉手納町 北谷町　北中城村　中城村	584	85.0%	大腸	20.2%
				前立腺	17.5%
				肺	9.4%
南部保健医療圏	那覇市　浦添市　糸満市　豊見城市 南城市　西原町　与那原町 南風原町　渡嘉敷村　座間味村 粟国村　渡名喜村　南大東村 北大東村　久米島町　八重瀬町	44	6.4%	前立腺	50.0%
				腎･他の尿路	15.9%
				大腸	9.1%
宮古保健医療圏	宮古島市　多良間村	2	0.3%	胃	50.0%
				前立腺	50.0%
				--	--
八重山保健医療圏	石垣市　竹富町　与那国町	14	2.0%	大腸	64.3%
				食道	7.1%
				胃	7.1%
沖縄県外		25	3.6%	--	--
合計		687	100.0%	大腸	19.4%
				前立腺	19.4%
				肺	8.0%

二次保健医療圏別　部位別　治療件数*



二次保健医療圏別部位別　初回治療終了後の受け入れ登録数*



＊症例区分「80：その他」を除いて集計
＊二次保健医療圏別集計は、当該施設を受診したときの患者さんの住所（診断時住所）をもとに集計
＊登録割合上位３部位において、登録割合が同数の場合、部位コードが小さい順に表記
＊二次保健医療圏別部位別治療件数は、症例区分「20：自施設診断・自施設初回治療開始」「21：自施設診断・自施設初回治療継続」「30：他施設診断・自施設初回治療開始」「31：他施設診断・自施設初回治療継続」のみ集計
＊二次保健医療圏別部位別初回治療終了後の受け入れ登録数は、症例区分「40：初回治療終了後」のみ集計

ハートライフ病院



334

基本情報	
病院名	社会医療法人　かりゆし会　ハートライフ病院
所在地	〒 901-2417　沖縄県中頭郡中城村字伊集 208 番地
電話（代表）	098-895-3255
ホームページ	https://www.heartlife.or.jp/hospital/

診療案内			
診療科	内科、総合内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、肝臓内科、血液内科、人工透析内科、リウマチ科、小児科、心療内科、外科、乳腺外科、食道外科、膵臓外科、血管外科、大腸・肛門外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、耳鼻咽喉科、産婦人科、放射線科、麻酔科、泌尿器科、皮膚科、眼科、リハビリテーション科、救急科、病理診断科、歯科、口腔ケア科　32 診療科		
病床数	308 床	平均在院日数	11.9 日
入院患者のべ数	100,260 人	外来患者のべ数	165,197 人
外来化学療法の実施	○	放射線治療の実施	×
緩和ケア外来	×	緩和ケアチーム	○
緩和ケア病棟	×	緩和ケア病床数	0 床
院内がん登録実務者数 （実務者のうち研修修了者数）	実務者数　3 名（中級者　3 名，初級者　0 名）		

がん相談	
名称	がん相談支援室（患者総合支援センター内）
電話番号	代表 098-895-3255
対応時間	月～金曜日 9：00 ～ 17：00

患者さん・ご家族用の設備	
交流の場 （がん患者サロンなど）	○
院内図書館 （図書等を設置している場所）	×



ハートライフ病院は沖縄県中南部東海岸の中核病院として急性期医療を実践しております。2007年に沖縄県から地域医療支援病院に認定され、2017年に急性期病床8床の増床が認められ、308床になりました。これまで、がんの予防、診断、治療にも力を入れ、日本がん治療認定機構の認定研修病院として消化器、血液、乳腺、子宮、前立腺などのがんの診断と治療に多くの実績をあげてきました。

2011年より当院も「院内がん登録全国集計」に参加し、登録数が年々増加しておりましたが、2016年の583件をピークに減少傾向にあり、2018年は510件の登録になりました。登録された症例の中の92件（18.0%）が人間ドックやがん検診で発見されています。また、188件（36.9%）が他疾患経過観察中に偶然発見されています。多くのがんは特有の症状がなく、偶然の機会に発見されていることが分かります。また、登録症例の来院経路をみますと、199件（39.0%）が他施設からの紹介で受診しています。当院での登録症例を部位別に検討しますと、1位が大腸がん（結腸がん＋直腸がん）：87件（17.1%）、2位が血液腫瘍：70件（13.7%）、3位が乳がん：67件（13.1%）、4位が前立腺がん：47件（9.2%）、5位が肺がん：33件（6.5%）で、以下、胃がん：32件、子宮頸がん：21件、膵がん：17件、食道がん：17件、膀胱がん：16件、肝がん：15件でした。県内18施設全体の部位別の割合と比較しますと、血液腫瘍、肝がん、食道がん、膀胱がん、膵がんの占める割合が高くなっています。血液内科はクラス100の最高度の無菌室10床を使って骨髄移植、幹細胞移植などを行っています。また、肝がんは肝動脈化学塞栓療法やラジオ波焼灼術を、食道がんはESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）を積極的に行っています。しかしながら、がん患者全体でみると他施設からの紹介割合が低く、当院で行っている治療をもっと積極的にPRする必要があると思います。

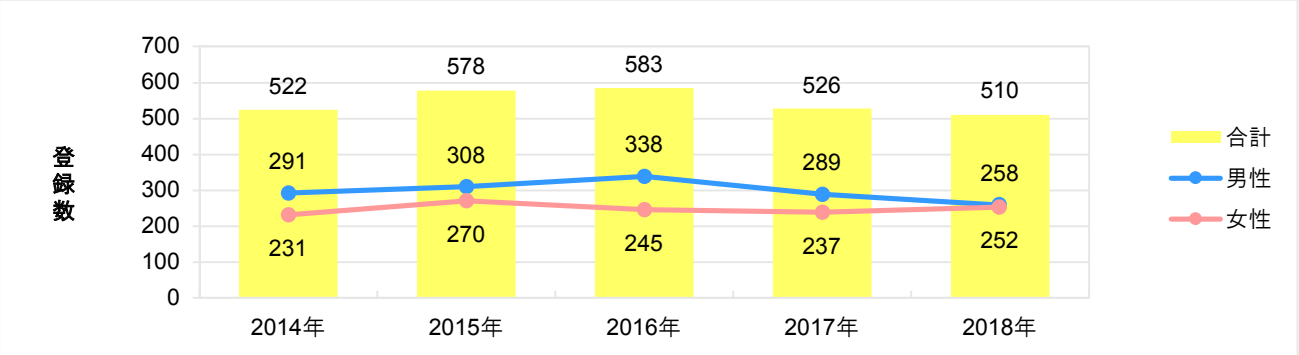
高齢化社会になり、約半数が生涯一度はがんに罹患すると言われています。当院もあらゆる機会を通してがんに対する啓蒙活動を行い、地域住民の検診受診勧奨に努めて行きます。また、がんの早期発見の技術を高め、がんの根治につなげたいと思います。

社会医療法人かりゆし会　ハートライフ病院
病院長　佐久川　廣

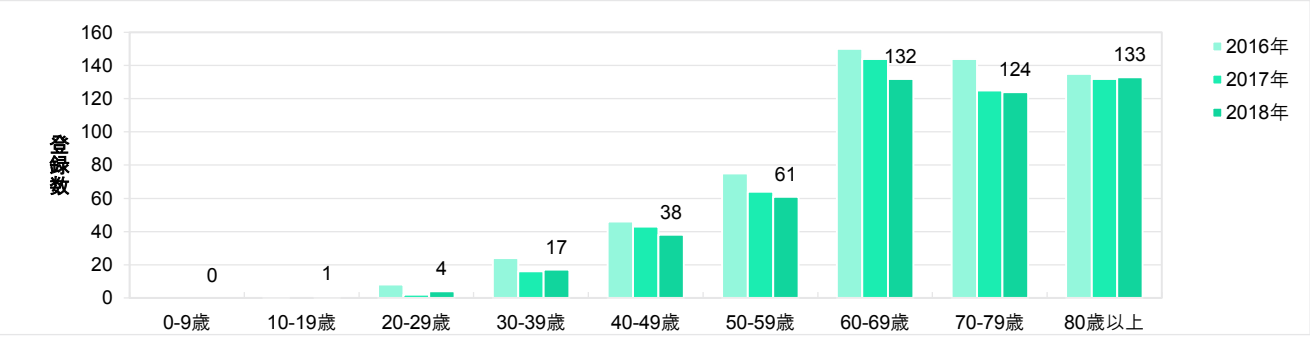


院内がん登録の概要

登録数の推移

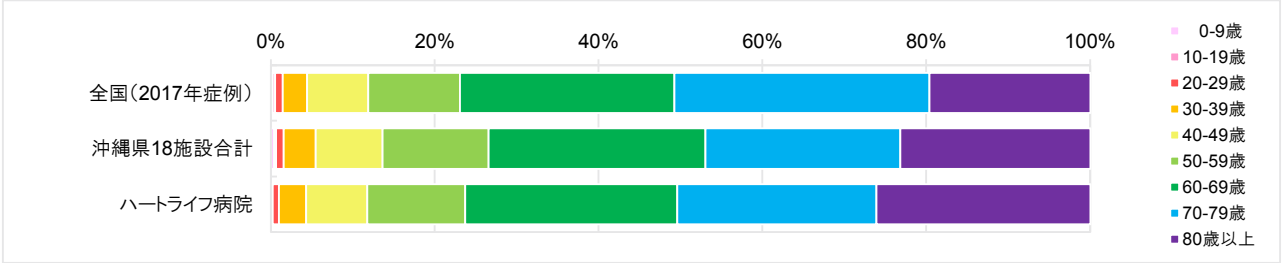


年齢階級別　登録数の推移



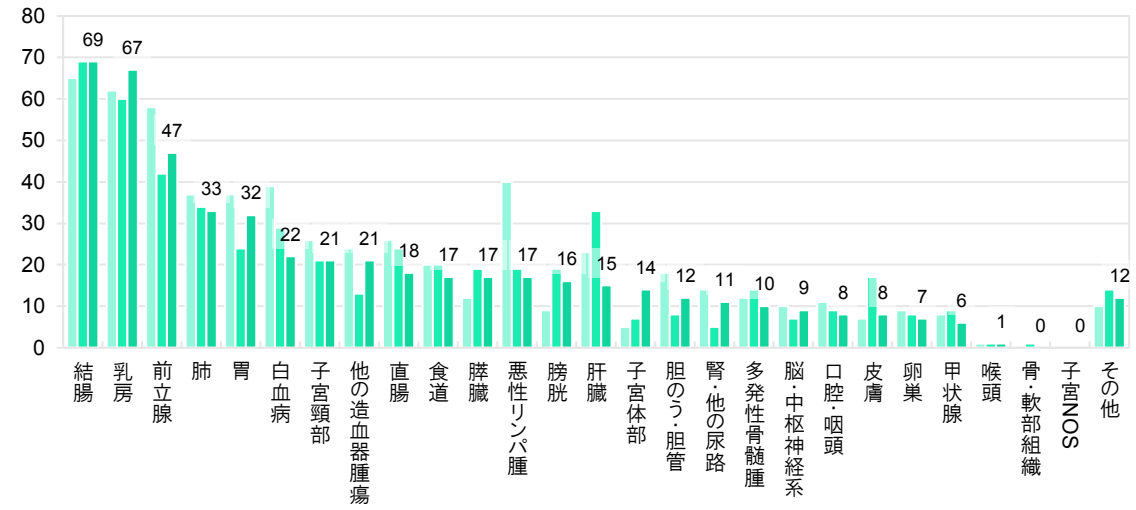
年齢階級別　登録数と登録割合

	全国（2017年症例）		沖縄県18施設合計		ハートライフ病院	
0-9歳	1,705	(0.2%)	44	(0.4%)	0	(0.0%)
10-19歳	1,965	(0.3%)	23	(0.2%)	1	(0.2%)
20-29歳	6,471	(0.9%)	105	(1.0%)	4	(0.8%)
30-39歳	21,457	(3.0%)	425	(3.9%)	17	(3.3%)
40-49歳	52,941	(7.4%)	896	(8.2%)	38	(7.5%)
50-59歳	79,976	(11.2%)	1,410	(12.9%)	61	(12.0%)
60-69歳	186,117	(26.1%)	2,894	(26.5%)	132	(25.9%)
70-79歳	221,871	(31.2%)	2,606	(23.8%)	124	(24.3%)
80歳以上	139,698	(19.6%)	2,532	(23.2%)	133	(26.1%)
合計	712,201	(100.0%)	10,935	(100.0%)	510	(100.0%)



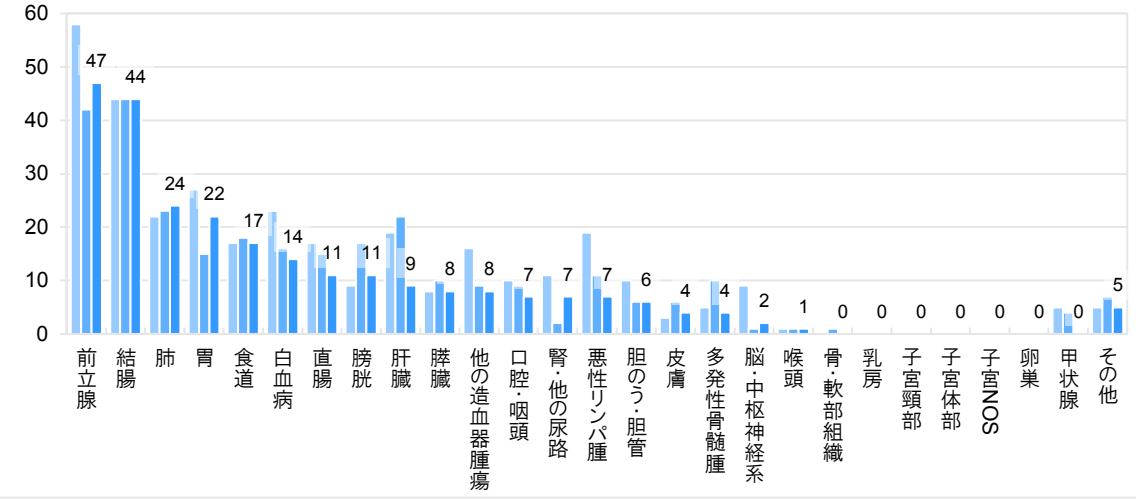
＊症例区分「80：その他」を除いて集計

部位別　登録数の推移 — 男女計



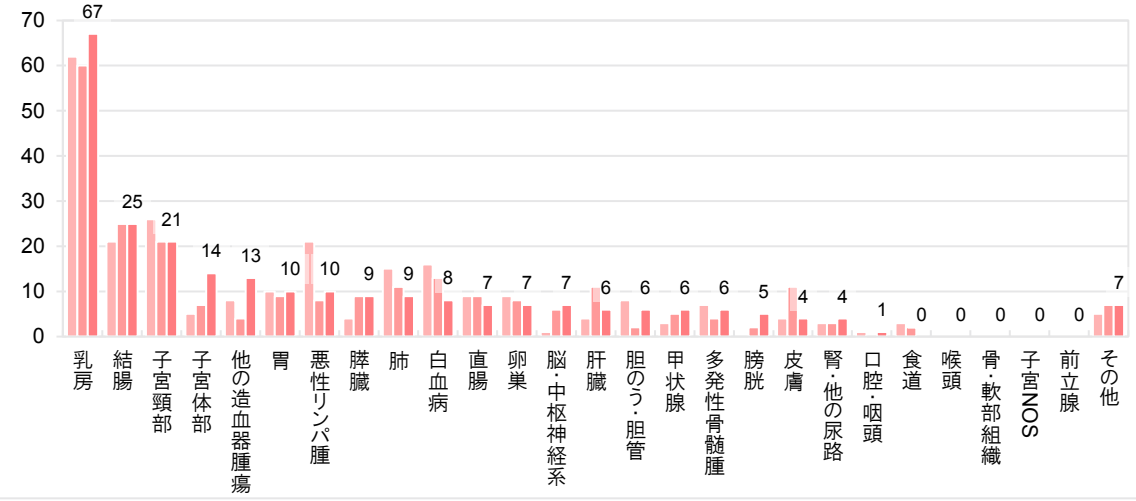
単位：件数

部位別　登録数の推移 — 男



単位：件数

部位別　登録数の推移 — 女

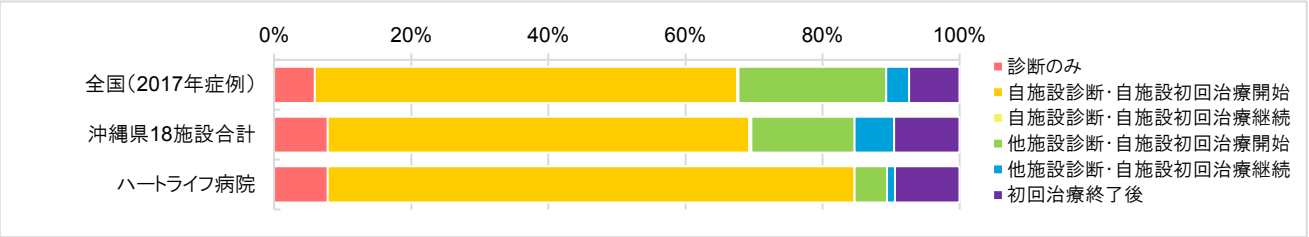


単位：件数

＊症例区分「80：その他」を除いて集計

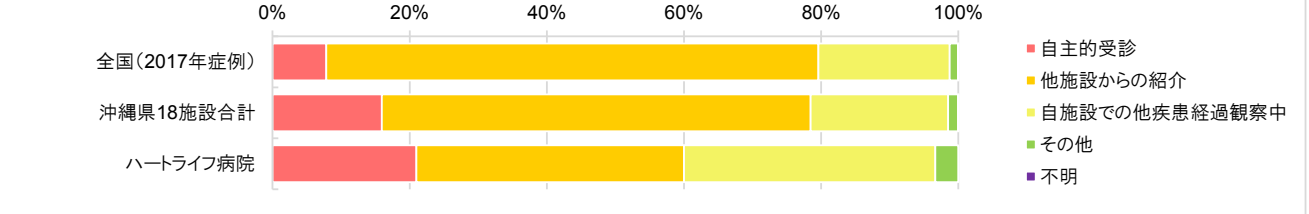
症例区分別　登録数と登録割合

	全国（2017年症例）		沖縄県18施設合計		ハートライフ病院	
診断のみ	42,302	(5.9%)	856	(7.8%)	40	(7.8%)
自施設診断・自施設初回治療開始	438,978	(61.6%)	6,721	(61.5%)	392	(76.9%)
自施設診断・自施設初回治療継続	1,124	(0.2%)	33	(0.3%)	0	(0.0%)
他施設診断・自施設初回治療開始	153,312	(21.5%)	1,651	(15.1%)	24	(4.7%)
他施設診断・自施設初回治療継続	23,838	(3.3%)	626	(5.7%)	6	(1.2%)
初回治療終了後	52,647	(7.4%)	1,048	(9.6%)	48	(9.4%)
合計	712,201	(100.0%)	10,935	(100.0%)	510	(100.0%)



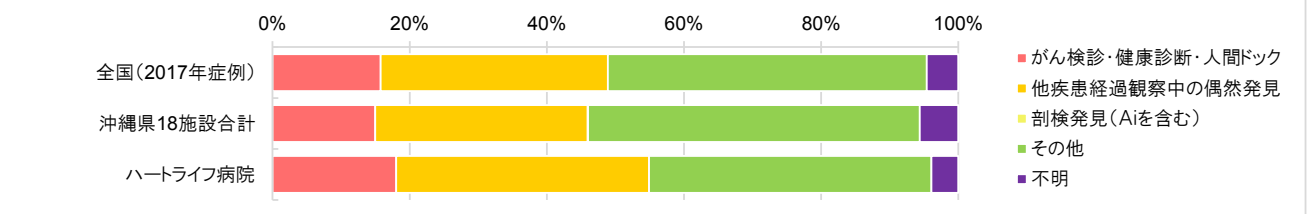
来院経路別　登録数と登録割合

	全国（2017年症例）		沖縄県18施設合計		ハートライフ病院	
自主的受診	55,803	(7.8%)	1,745	(16.0%)	107	(21.0%)
他施設からの紹介	511,176	(71.8%)	6,838	(62.5%)	199	(39.0%)
自施設での他疾患経過観察中	136,118	(19.1%)	2,187	(20.0%)	187	(36.7%)
その他	8,910	(1.3%)	162	(1.5%)	17	(3.3%)
不明	194	(0.0%)	3	(0.0%)	0	(0.0%)
合計	712,201	(100.0%)	10,935	(100.0%)	510	(100.0%)



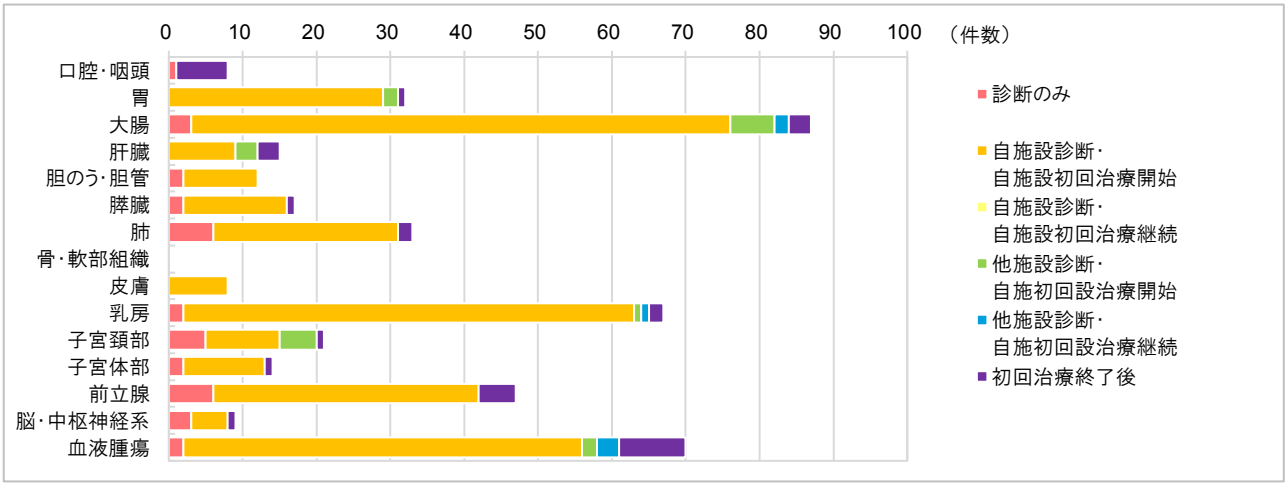
発見経緯別　登録数と登録割合

	全国（2017年症例）		沖縄県18施設合計		ハートライフ病院	
がん検診・健康診断・人間ドック	112,324	(15.8%)	1,636	(15.0%)	92	(18.0%)
他疾患経過観察中の偶然発見	235,862	(33.1%)	3,393	(31.0%)	188	(36.9%)
剖検発見（Aiを含む）	46	(0.0%)	2	(0.0%)	0	(0.0%)
その他	331,376	(46.5%)	5,293	(48.4%)	210	(41.2%)
不明	32,593	(4.6%)	611	(5.6%)	20	(3.9%)
合計	712,201	(100.0%)	10,935	(100.0%)	510	(100.0%)

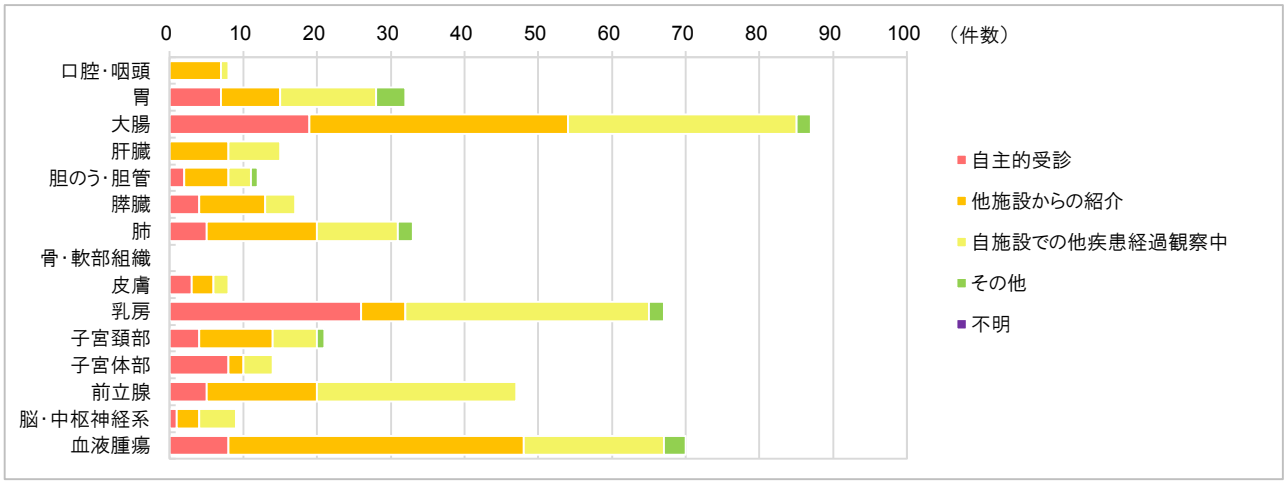


＊症例区分「８０：その他」を除いて集計

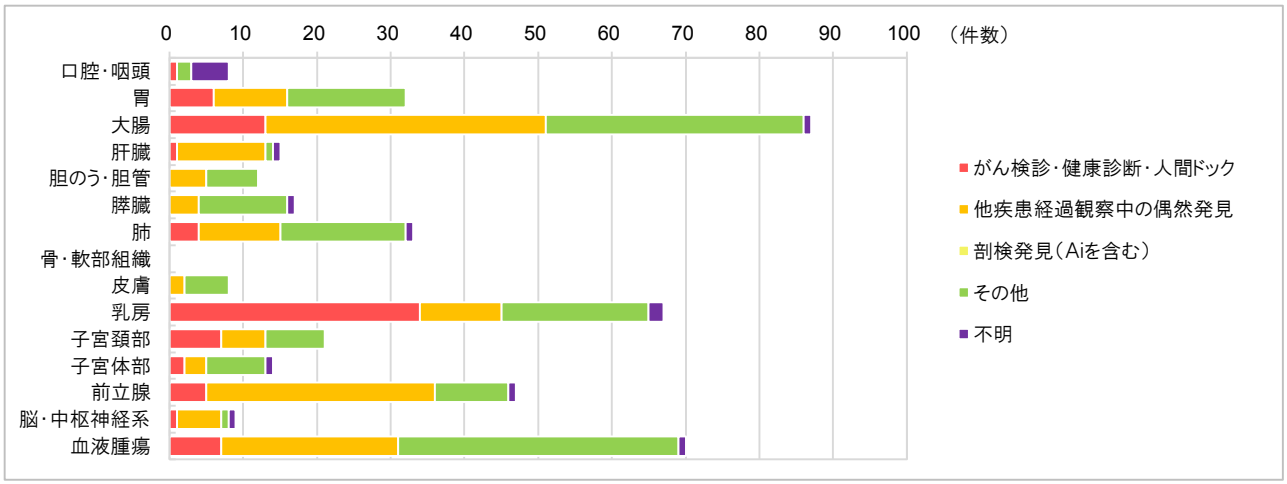
部位別　症例区分別　登録数



部位別　来院経路別　登録数



部位別　発見経緯別　登録数

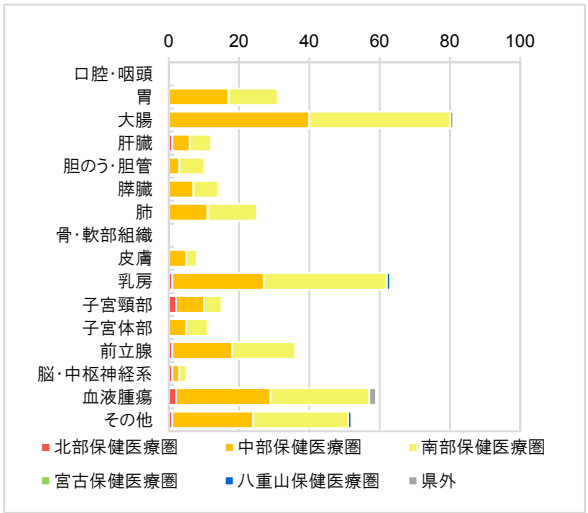


＊症例区分「８０：その他」を除いて集計

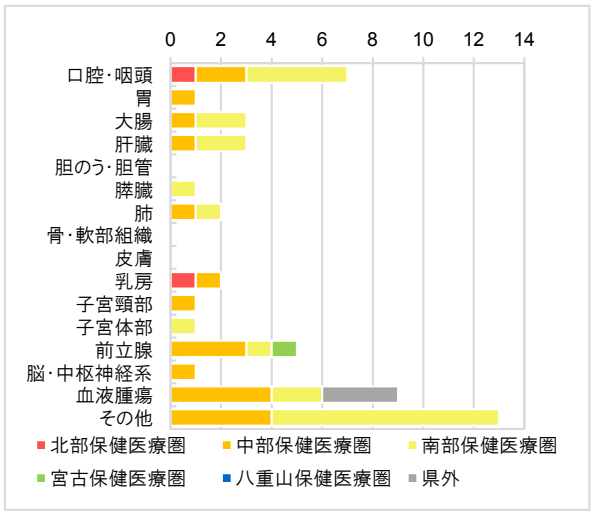
二次保健医療圏別　登録数と登録割合

圏域名	市町村名	登録数	割合	登録割合上位3部位	
北部保健医療圏	名護市　国頭村　大宜味村 東村　今帰仁村　本部町 伊江村　伊平屋村　伊是名村	12	2.4%	乳房	25.0%
				子宮頚部	16.7%
				血液腫瘍	16.7%
中部保健医療圏	宜野湾市　沖縄市　うるま市　恩納村 宜野座村　金武町　読谷村　嘉手納町 北谷町　北中城村　中城村	234	45.9%	大腸	18.4%
				血液腫瘍	13.2%
				乳房	11.5%
南部保健医療圏	那覇市　浦添市　糸満市　豊見城市 南城市　西原町　与那原町 南風原町　渡嘉敷村　座間味村 粟国村　渡名喜村　南大東村 北大東村　久米島町　八重瀬町	255	50.0%	大腸	16.9%
				乳房	14.1%
				血液腫瘍	12.5%
宮古保健医療圏	宮古島市　多良間村	1	0.2%	前立腺	100.0%
				--	--
				--	--
八重山保健医療圏	石垣市　竹富町　与那国町	2	0.4%	食道	50.0%
				乳房	50.0%
				--	--
沖縄県外		6	1.2%	--	--
合計		510	100.0%	大腸	16.9%
				乳房	13.1%
				血液腫瘍	12.7%

二次保健医療圏別　部位別　治療件数*



二次保健医療圏別部位別　初回治療終了後の受け入れ登録数*



*症例区分「80：その他」を除いて集計
*二次保健医療圏別集計は、当該施設を受診したときの患者さんの住所（診断時住所）をもとに集計
*登録割合上位３部位において、登録割合が同数の場合、部位コードが小さい順に表記
*二次保健医療圏別部位別治療件数は、症例区分「20：自施設診断・自施設初回治療開始」「21：自施設診断・自施設初回治療継続」「30：他施設診断・自施設初回治療開始」「31：他施設診断・自施設初回治療継続」のみ集計
*二次保健医療圏別部位別初回治療終了後の受け入れ登録数は、症例区分「40：初回治療終了後」のみ集計

那覇市立病院



342

基本情報	
病院名	地方独立行政法人　那覇市立病院
所在地	〒 902-8511　沖縄県那覇市古島 2-31-1
電話（代表）	098-884-5111
ホームページ	http://www.nch.naha.okinawa.jp/

診療案内			
診療科	内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、神経内科、血液内科、腎臓内科、糖尿病内科、内分泌内科、リウマチ科、小児科、精神科、外科、呼吸器外科、消化器外科、小児外科、内視鏡外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、救急科、リハビリテーション科、病理診断科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、歯科口腔外科、歯科　　33 診療科		
病床数	470 床	平均在院日数	11.4 日
入院患者のべ数	163,319 人	外来患者のべ数	196,927 人
外来化学療法の実施	○	放射線治療の実施	○
緩和ケア外来	○	緩和ケアチーム	○
緩和ケア病棟	×	緩和ケア病床数	0 床
院内がん登録実務者数 （実務者のうち研修修了者数）	実務者数３名（中級者２名，初級者１名）		

がん相談	
名称	那覇市立病院　がん相談支援センター
電話番号	098-884-5111　（内線 127・283）
対応時間	月～金（祝日除く）　午前９時～午後５時

患者さん・ご家族用の設備	
交流の場 （がん患者サロンなど）	○
院内図書館 （図書等を設置している場所）	○



那覇市立病院は、1980 年に開設された、現在一般病床 470 床の総合病院です。以来、地域の中核的な急性期病院としてその役割を担ってきました。今年度から、2025 年の開院に向けて病院建て替え基本設計（現地建て替え）が始まりました。

がん診療においては、2005 年に南部保健医療圏における地域がん診療連携拠点病院の指定を受けました。以降、各科がん専門医師はもとより、がん関連専門･認定専門看護師（2020 年 1 月現在：がん看護専門看護師 3 名、がん化学療法認定 1 名、がん放射線療法認定 1 名、緩和ケア認定 1 名等）の充実を計り、さらに MSW、薬剤師、栄養士等の多職種の協働連携を得ながら、より良質のがん診療を目指しています。

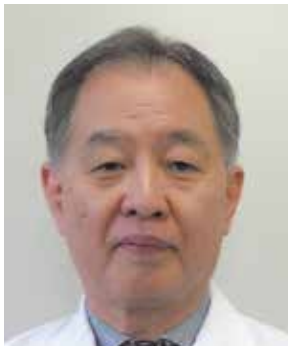
当院の 2018 年のがん登録数は 946 件（979 件 ; 2017 年）で、若干減少しています。県全体登録数のうち、8.7%（9.1%;2017 年）が当院の登録頻度でした。登録数の推移を部位別に見ると、全体では、乳房 166 件 (17.5%)、大腸 146 件 (15.4%)、前立腺 77 件 (8.1%)、血液腫瘍 72 件 (7.6%)、肺 71(7.5%) の頻度でした。前立腺が増加していましたが、他は例年通りでした。年齢階級別に見ると、70 歳台が 239 件 (25.2%) と最も多く、ついで 60 歳台が 234 件（24.7%)、80 歳以降 205 件 (21.6%) で、60 歳以上で 7 割以上を占めています。例年と同様の結果でした。

二次医療圏別の登録数割合は、86.6% とほとんどが南部医療圏の登録でした。また八重山医療圏 26 例、宮古医療圏 26 例の登録があり、主に血液腫瘍疾患でした。血液疾患については複数専門医を配置しており、離島の患者さんも積極的に受け入れています。来院経路としては、他施設からの紹介 637(67.3%) が最も多く、次いで当院で他疾患経過中に見つかった患者 206(21.8%) でした。多くは当院で診断し治療を開始されていますが 549 件 (58%)、他施設で診断され初回治療継続中 (21.2%) ～継続後 (9.6%) に紹介される症例が多い傾向にありました。がん検診等で発見され紹介された頻度は 16.8% で県内施設平均 15% に比較するとわずかに高い頻度でした。当院健診センターからの紹介増加も一因だと思われます。これらの症例を区分別にみると治療も当院で完結しています。乳房に関しては、他院での治療開始後（手術・化学療法）の紹介症例が多くなっています。当院において引き続き放射線治療を施行することが、その要因になっているかと思います。

当院（2009 ～ 2012 年登録患者）のがん 5 年相対生存率は、全がん全体が 66.5% であり、（2007 ～ 2008 年登録患者）の 65.2% に比較して改善していました。県内連携拠点病院 3 病院（2009 ～ 2012 年登録患者）64% との比較においてもわずかながら良好な生存率でした。全国がん診療連携拠点病院 277 施設（2009 ～ 2010 年登録患者）66.1% との比較では、わずかに下回っていました。部位別における 5 年生存率は、前回（2007 ～ 2008 年登録患者）に比較して、胃、大腸、肝臓、膵臓、乳房、悪性リンパ腫で上回り、肺で横ばい、胆嚢・胆管、子宮頸部、前立腺においては下回っていました。

がん診療連携拠点病院として、引き続き各専門医師の充実を図り、がん関連専門・認定看護師、多関連職種の育成にも一層力を注いでいきたいと考えています。がん患者さんの就労支援についても、当院の社会福祉士を中心に、社会保険労務士およびハローワークからの出張支援を得ながら、がん患者さんに寄り添う医療を提供したいと思います。

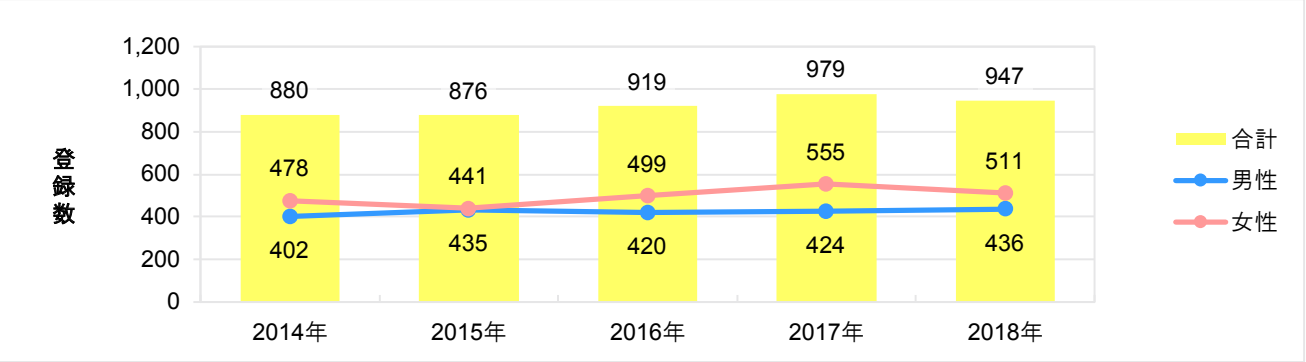
今後も医療提供体制（手術・化学療法・放射線治療・緩和ケア・就労支援・生活支援）を充実させて、他の医療機関との連携を推し進め、地域そして沖縄県のがん診療・対策に寄与したいと考えています。



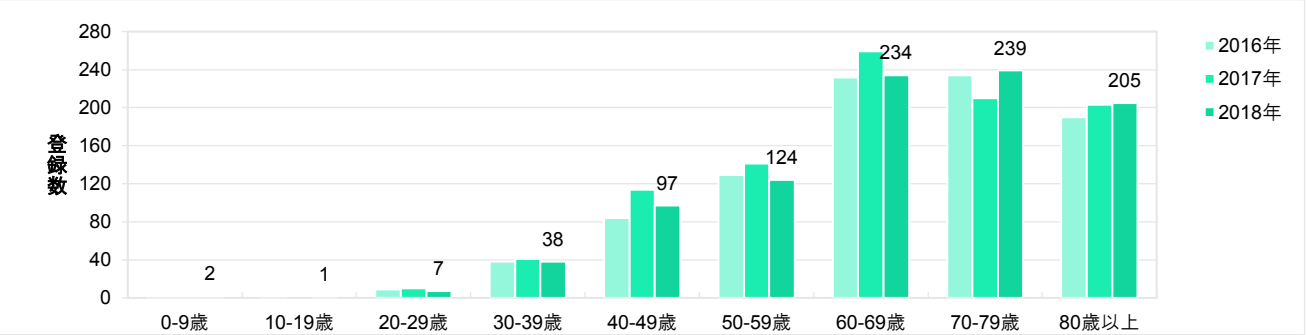
地方独立行政法人　那覇市立病院
病院長　屋良　朝雄

院内がん登録の概要

登録数の推移

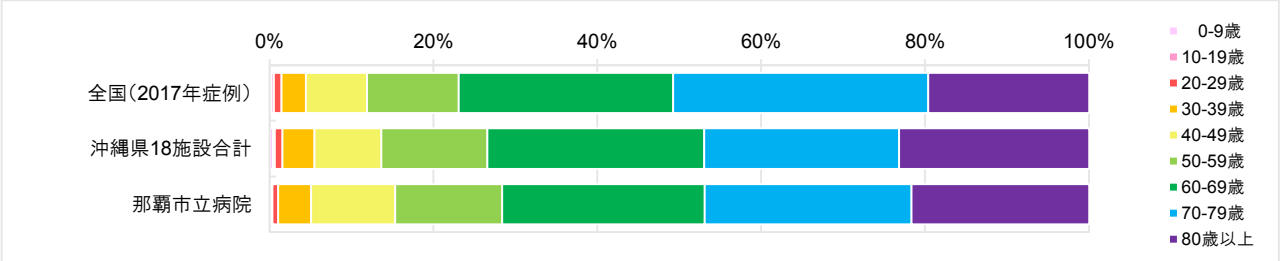


年齢階級別　登録数の推移



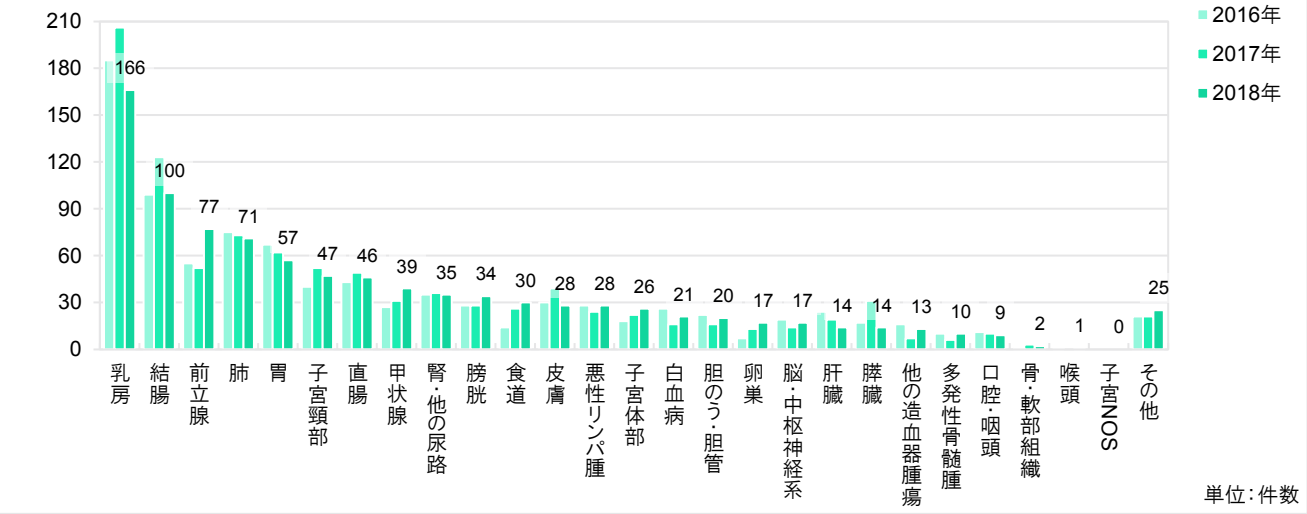
年齢階級別　登録数と登録割合

	全国（2017年症例）		沖縄県18施設合計		那覇市立病院	
0-9歳	1,705	(0.2%)	44	(0.4%)	2	(0.2%)
10-19歳	1,965	(0.3%)	23	(0.2%)	1	(0.1%)
20-29歳	6,471	(0.9%)	105	(1.0%)	7	(0.7%)
30-39歳	21,457	(3.0%)	425	(3.9%)	38	(4.0%)
40-49歳	52,941	(7.4%)	896	(8.2%)	97	(10.2%)
50-59歳	79,976	(11.2%)	1,410	(12.9%)	124	(13.1%)
60-69歳	186,117	(26.1%)	2,894	(26.5%)	234	(24.7%)
70-79歳	221,871	(31.2%)	2,606	(23.8%)	239	(25.2%)
80歳以上	139,698	(19.6%)	2,532	(23.2%)	205	(21.6%)
合計	712,201	(100.0%)	10,935	(100.0%)	947	(100.0%)

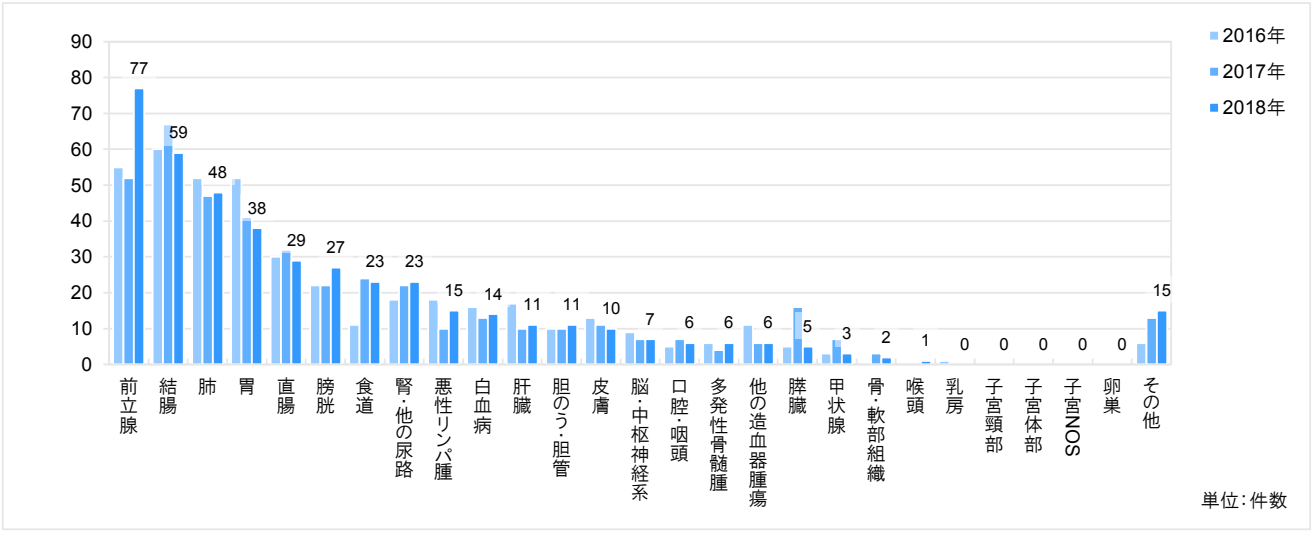


＊症例区分「８０：その他」を除いて集計

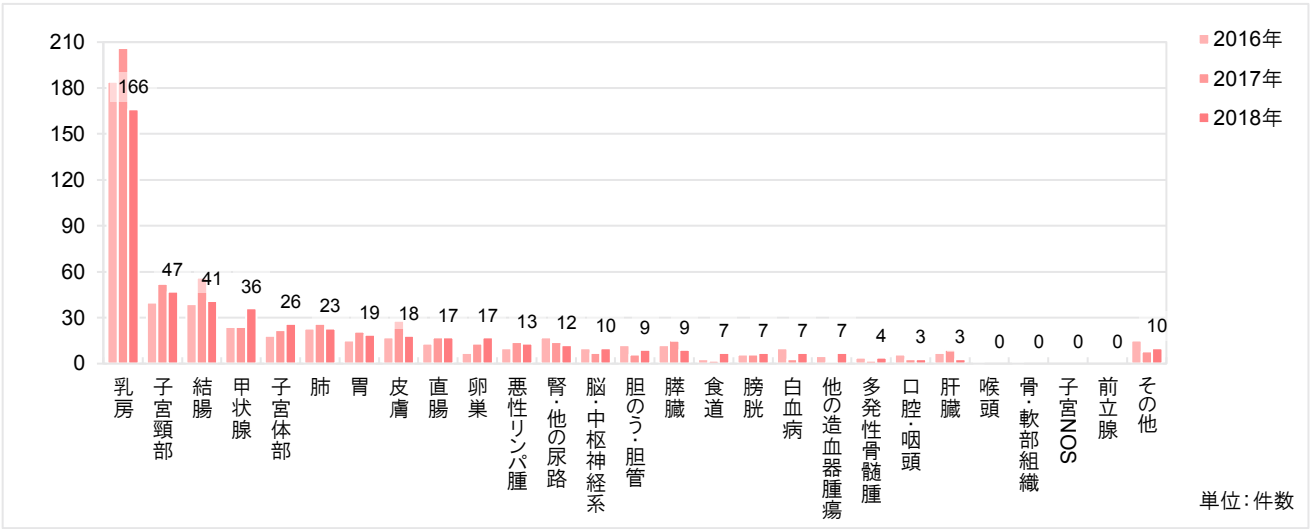
部位別　登録数の推移 — 男女計



部位別　登録数の推移 — 男



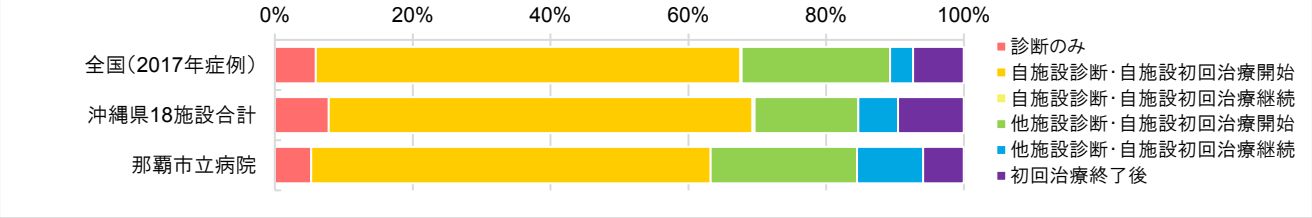
部位別　登録数の推移 — 女



＊症例区分「８０：その他」を除いて集計

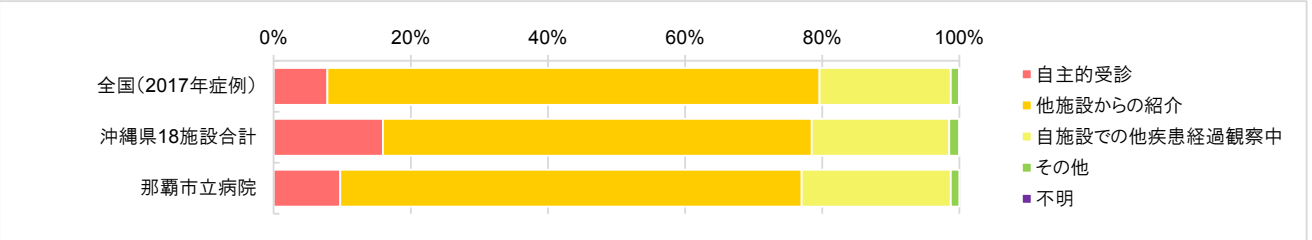
症例区分別　登録数と登録割合

	全国(2017年症例)		沖縄県18施設合計		那覇市立病院	
診断のみ	42,302	(5.9%)	856	(7.8%)	50	(5.3%)
自施設診断･自施設初回治療開始	438,978	(61.6%)	6,721	(61.5%)	549	(58.0%)
自施設診断･自施設初回治療継続	1,124	(0.2%)	33	(0.3%)	0	(0.0%)
他施設診断･自施設初回治療開始	153,312	(21.5%)	1,651	(15.1%)	201	(21.2%)
他施設診断･自施設初回治療継続	23,838	(3.3%)	626	(5.7%)	91	(9.6%)
初回治療終了後	52,647	(7.4%)	1,048	(9.6%)	56	(5.9%)
合計	712,201	(100.0%)	10,935	(100.0%)	947	(100.0%)



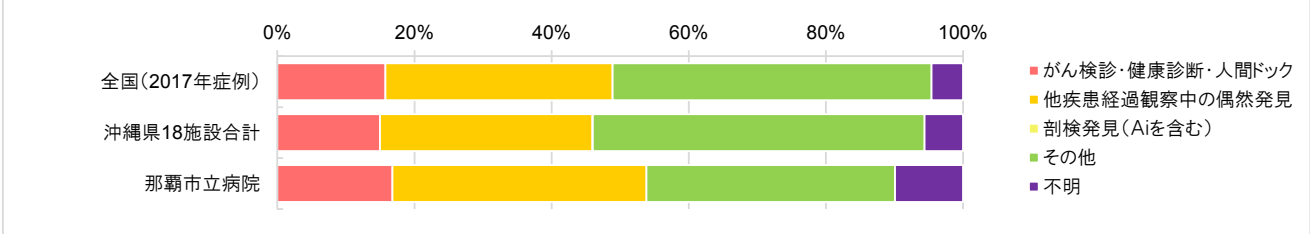
来院経路別　登録数と登録割合

	全国(2017年症例)		沖縄県18施設合計		那覇市立病院	
自主的受診	55,803	(7.8%)	1,745	(16.0%)	92	(9.7%)
他施設からの紹介	511,176	(71.8%)	6,838	(62.5%)	637	(67.3%)
自施設での他疾患経過観察中	136,118	(19.1%)	2,187	(20.0%)	206	(21.8%)
その他	8,910	(1.3%)	162	(1.5%)	12	(1.3%)
不明	194	(0.0%)	3	(0.0%)	0	(0.0%)
合計	712,201	(100.0%)	10,935	(100.0%)	947	(100.0%)



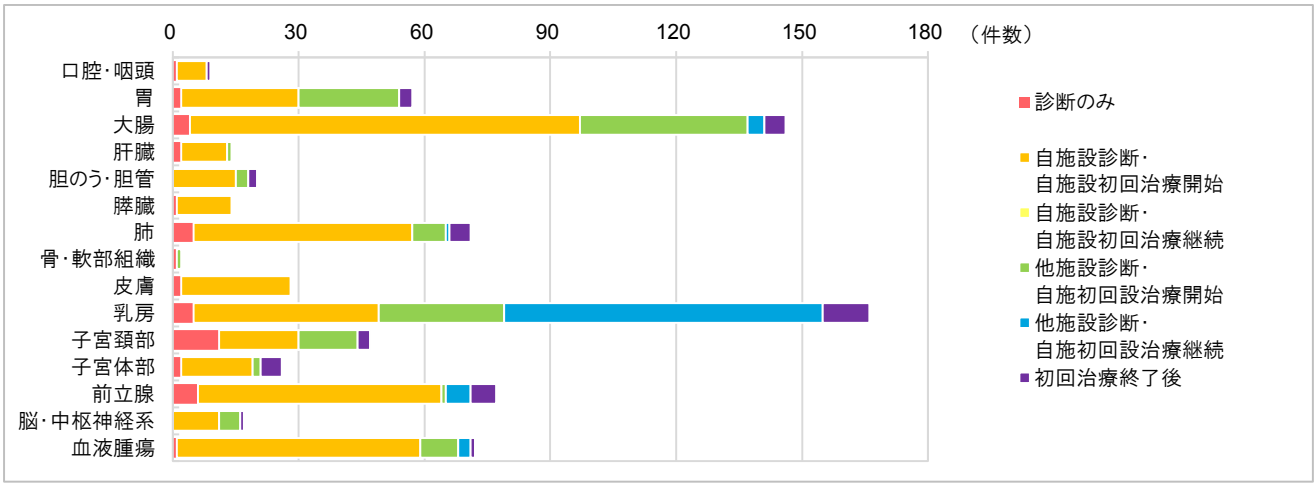
発見経緯別　登録数と登録割合

	全国(2017年症例)		沖縄県18施設合計		那覇市立病院	
がん検診･健康診断･人間ドック	112,324	(15.8%)	1,636	(15.0%)	159	(16.8%)
他疾患経過観察中の偶然発見	235,862	(33.1%)	3,393	(31.0%)	351	(37.1%)
剖検発見(Aiを含む)	46	(0.0%)	2	(0.0%)	0	(0.0%)
その他	331,376	(46.5%)	5,293	(48.4%)	343	(36.2%)
不明	32,593	(4.6%)	611	(5.6%)	94	(9.9%)
合計	712,201	(100.0%)	10,935	(100.0%)	947	(100.0%)

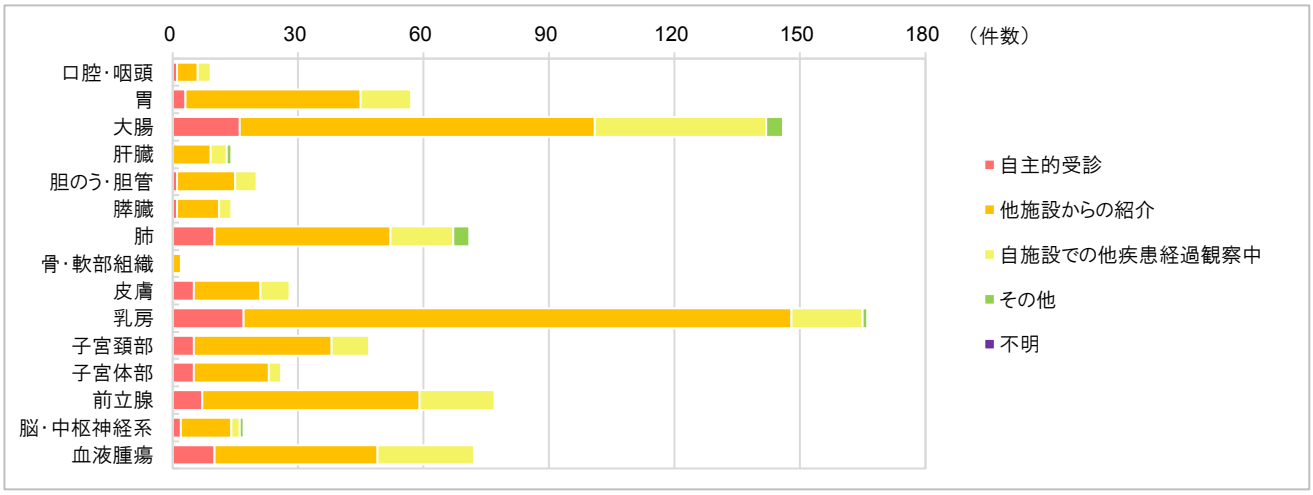


＊症例区分「80：その他」を除いて集計

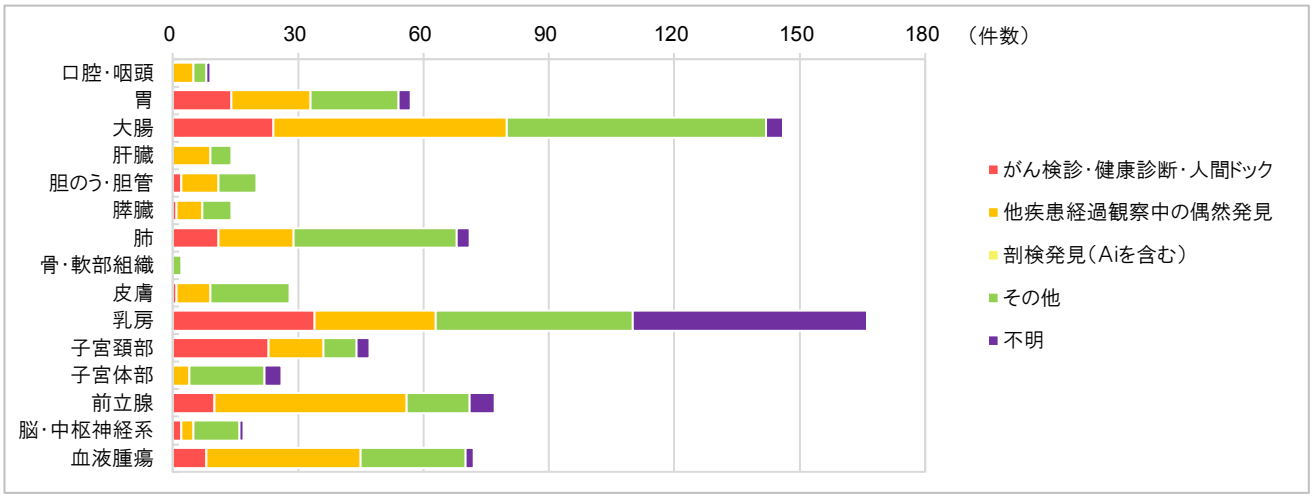
部位別　症例区分別　登録数



部位別　来院経路別　登録数



部位別　発見経緯別　登録数

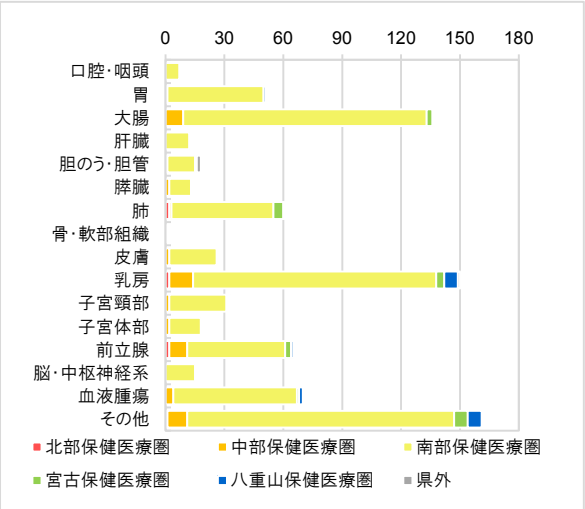


＊症例区分「８０：その他」を除いて集計

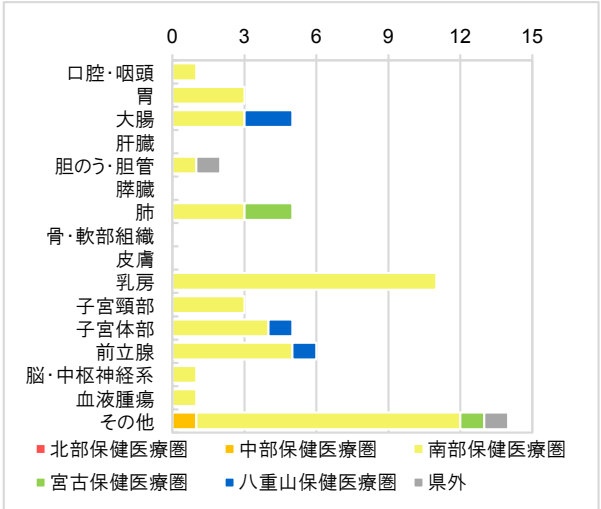
二次保健医療圏別　登録数と登録割合

圏域名	市町村名	登録数	割合	登録割合上位3部位	
北部保健医療圏	名護市　国頭村　大宜味村 東村　今帰仁村　本部町 伊江村　伊平屋村　伊是名村	8	0.8%	肺	25.0%
				乳房	25.0%
				前立腺	25.0%
中部保健医療圏	宜野湾市　沖縄市　うるま市　恩納村 宜野座村　金武町　読谷村　嘉手納町 北谷町　北中城村　中城村	57	6.0%	乳房	21.1%
				大腸	15.8%
				前立腺	15.8%
南部保健医療圏	那覇市　浦添市　糸満市　豊見城市 南城市　西原町　与那原町 南風原町　渡嘉敷村　座間味村 粟国村　渡名喜村　南大東村 北大東村　久米島町　八重瀬町	820	86.6%	乳房	17.1%
				大腸	16.0%
				血液腫瘍	7.9%
宮古保健医療圏	宮古島市　多良間村	26	2.7%	肺	26.9%
				乳房	15.4%
				大腸	11.5%
八重山保健医療圏	石垣市　竹富町　与那国町	26	2.7%	乳房	26.9%
				大腸	11.5%
				前立腺	11.5%
沖縄県外		10	1.1%	--	--
合計		947	100.0%	乳房	17.4%
				大腸	15.4%
				前立腺	8.1%

二次保健医療圏別　部位別　治療件数*



二次保健医療圏別部位別　初回治療終了後の受け入れ登録数*



＊症例区分「80：その他」を除いて集計
＊二次保健医療圏別集計は、当該施設を受診したときの患者さんの住所（診断時住所）をもとに集計
＊登録割合上位３部位において、登録割合が同数の場合、部位コードが小さい順に表記
＊二次保健医療圏別部位別治療件数は、症例区分「20：自施設診断・自施設初回治療開始」「21：自施設診断・自施設初回治療継続」「30：他施設診断・自施設初回治療開始」「31：他施設診断・自施設初回治療継続」のみ集計
＊二次保健医療圏別部位別初回治療終了後の受け入れ登録数は、症例区分「40：初回治療終了後」のみ集計

沖縄赤十字病院



350

基本情報	
病院名	沖縄赤十字病院
所在地	〒902-8588　沖縄県那覇市与儀1丁目3番1号
電話（代表）	098-853-3134
ホームページ	http://www.okinawa-med.jrc.or.jp/

診療案内			
診療科	内科、消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、血液内科、神経内科、腎臓内科、外科、消化器外科、呼吸器外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、産婦人科、小児科、耳鼻咽喉科、眼科、泌尿器科、皮膚科、歯科口腔外科、病理診断科、放射線科、麻酔科、緩和ケア外来、リハビリテーション科、救急部、健康管理センター　27診療科		
病床数	302床	平均在院日数	13.5日
入院患者のべ数	98,405人	外来患者のべ数	129,082人
外来化学療法の実施	○	放射線治療の実施	○
緩和ケア外来	○	緩和ケアチーム	○
緩和ケア病棟	○	緩和ケア病床数	26床
院内がん登録実務者数 （実務者のうち研修修了者数）	実務者数2名（初級者2名）		

がん相談	
名称	地域医療連携室
電話番号	代表　098-853-3134
対応時間	月～金曜日　9：00～12：00　13：00～17：00

患者さん・ご家族用の設備	
交流の場 （がん患者サロンなど）	×
院内図書館 （図書等を設置している場所）	○



地域の中核病院として、がん診療の充実に努めています。登録者数は年々増加しています。2018年の部位別登録数でみると当院で多いがん疾患は乳房、大腸、血液腫瘍、肺、胃の順となっています。他施設と比較すると、やはり血液腫瘍の割合が高いことが特徴と言えます。来院別経路では、他施設からの紹介の割合がこれまで同様高い傾向にあり、地域の医療機関との協力体制の重要性を改めて認識する結果となっています。地域医療支援病院としてさらなる連携の充実を図っていくつもりです。

部位別生存率の比較では、沖縄県の肝臓、肺は全国より大きく下回っていることが示されました。ステージの進行期の割合が全国値に比べ高いことが、生存率低下に影響した原因の一つと報告されています。いかにして早い段階で発見して治療に繋げるかが課題と考えます。各医療機関がそれぞれで取り組むことも大事ですが、県全体でのどうするか対策を講じる必要があると考えます。

今後、高齢者が増えるため、がん患者もさらに増加することが予想されています。治すことが第一ですが、特に高齢者においては治療後の QOL を保つことも大切で、治療前と同じ日常生活を送ることができるよう支援していかなければならないでしょう。今以上に治療法の選択が重要になると考えます。もちろん患者さんの要望や状態を踏まえた上でのことです。一方、残念ながら治癒に至らない患者さんに対しても必要な医療やケアを提供し、本人が望む生活を続けるための手助けをしていくつもりです。

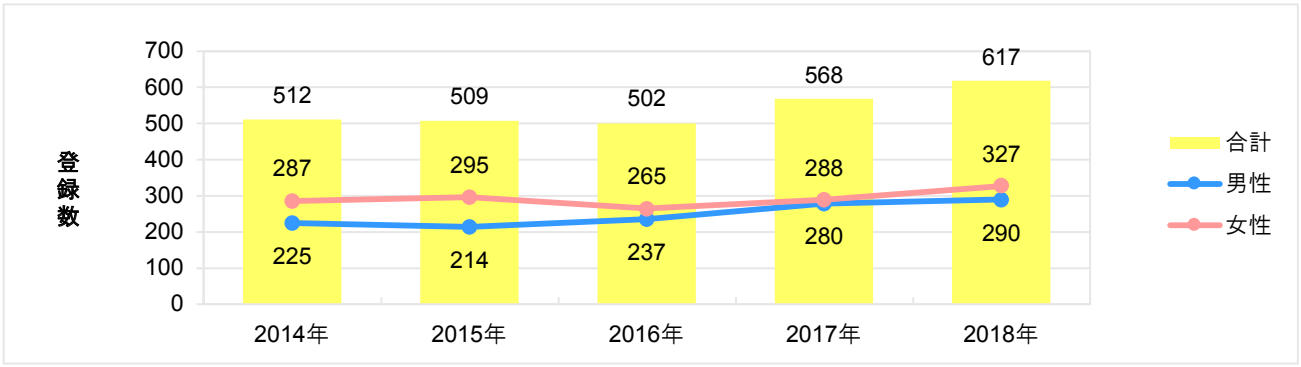
「院内がん登録データからみる沖縄県のがん診療の現状」を通じて県内のがん診療に携わる医療機関はがん情報を共有していることになります。「質の高い医療」を提供するために医療機関同士の協力体制は必要不可欠です。これを充実発展させていくことは論じるまでもありません。これからも地域および沖縄県のがん診療の一端を担う医療機関として責任をもって診療にあたります。

日本赤十字社　沖縄赤十字病院
病院長　大嶺　靖

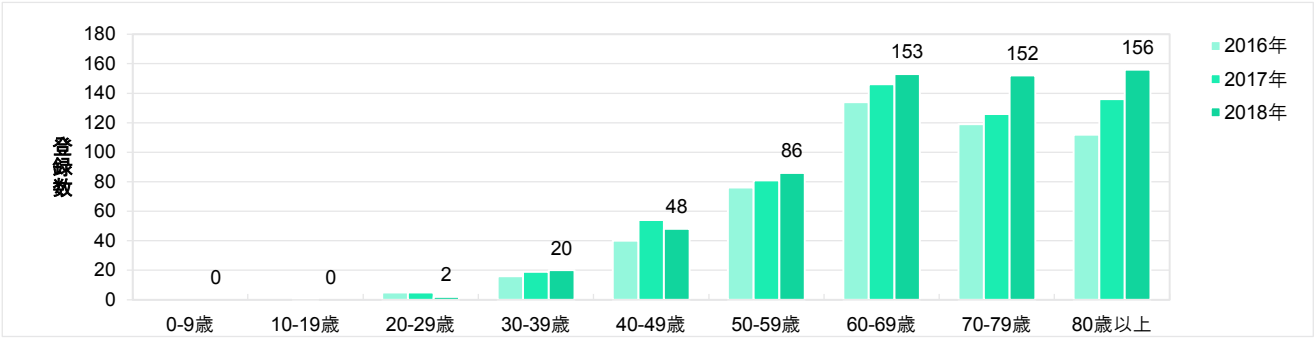


院内がん登録の概要

登録数の推移

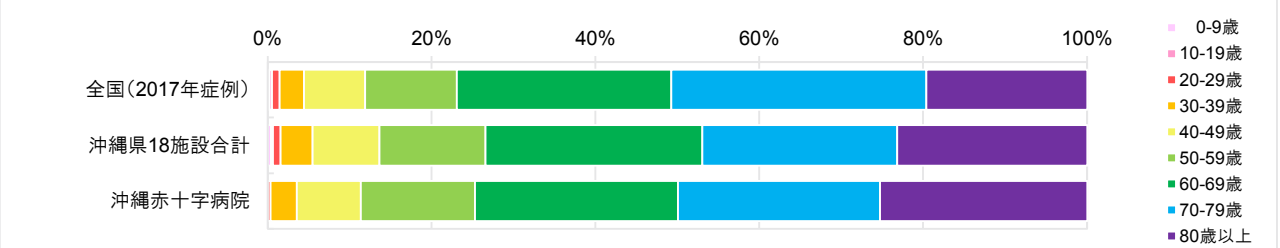


年齢階級別　登録数の推移



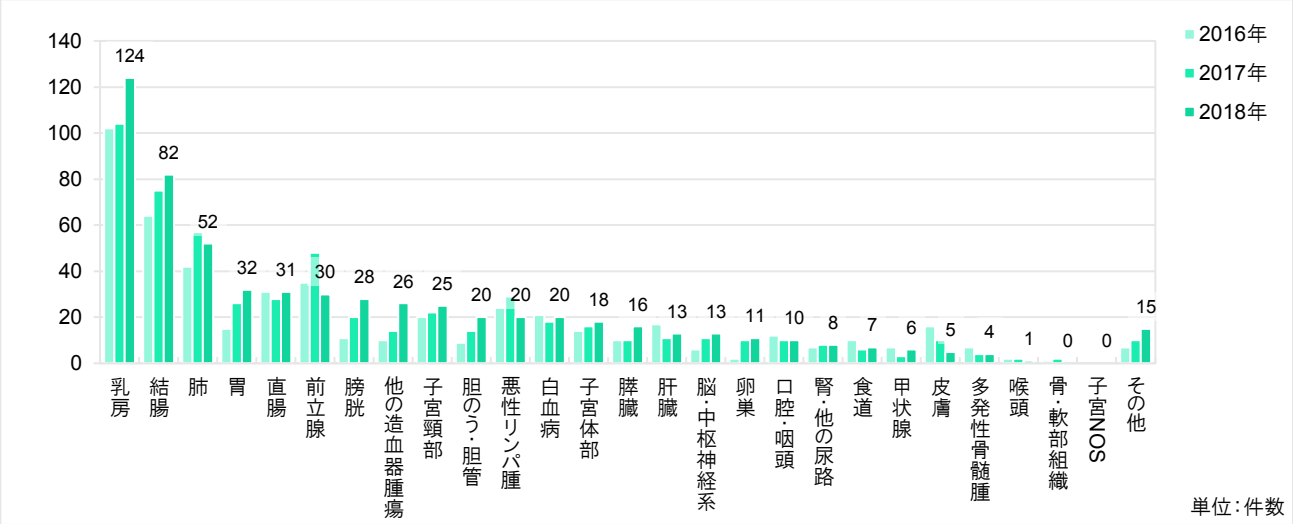
年齢階級別　登録数と登録割合

	全国(2017年症例)		沖縄県18施設合計		沖縄赤十字病院	
0-9歳	1,705	(0.2%)	44	(0.4%)	0	(0.0%)
10-19歳	1,965	(0.3%)	23	(0.2%)	0	(0.0%)
20-29歳	6,471	(0.9%)	105	(1.0%)	2	(0.3%)
30-39歳	21,457	(3.0%)	425	(3.9%)	20	(3.2%)
40-49歳	52,941	(7.4%)	896	(8.2%)	48	(7.8%)
50-59歳	79,976	(11.2%)	1,410	(12.9%)	86	(13.9%)
60-69歳	186,117	(26.1%)	2,894	(26.5%)	153	(24.8%)
70-79歳	221,871	(31.2%)	2,606	(23.8%)	152	(24.6%)
80歳以上	139,698	(19.6%)	2,532	(23.2%)	156	(25.3%)
合計	712,201	(100.0%)	10,935	(100.0%)	617	(100.0%)

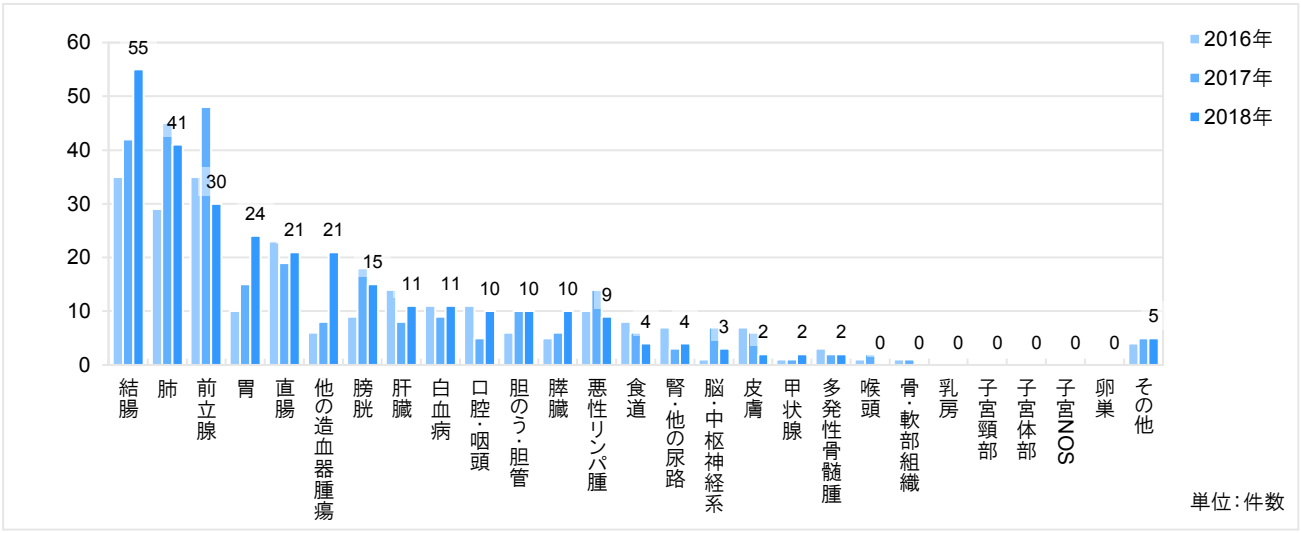


＊症例区分「80：その他」を除いて集計

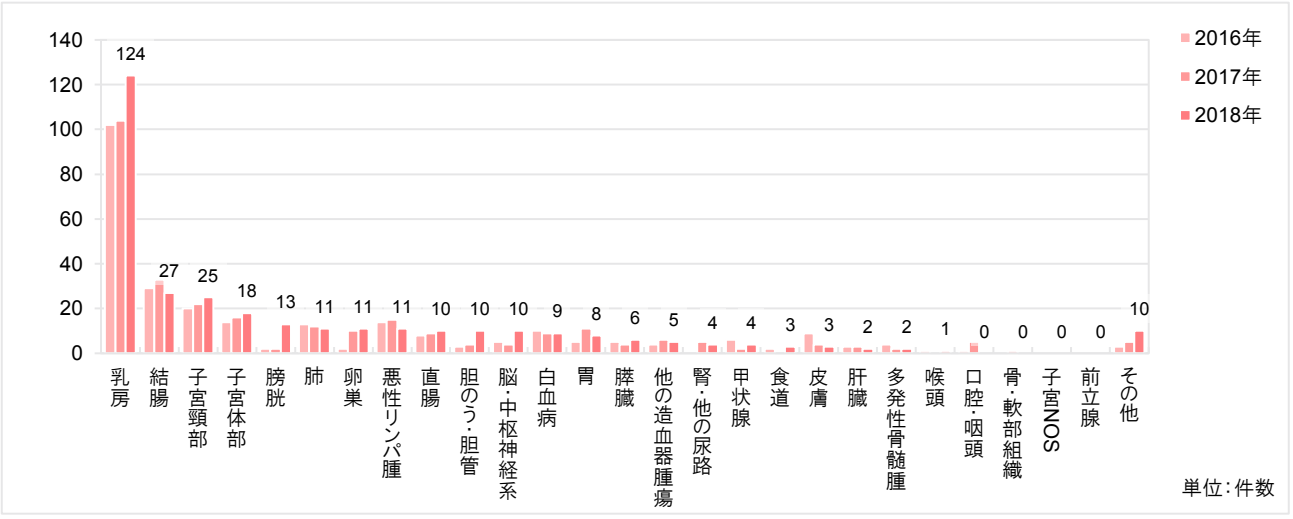
部位別　登録数の推移 — 男女計



部位別　登録数の推移 — 男



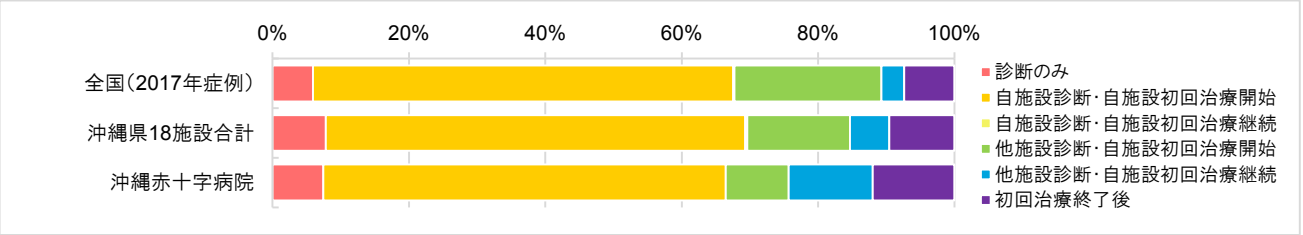
部位別　登録数の推移 — 女



＊症例区分「80：その他」を除いて集計

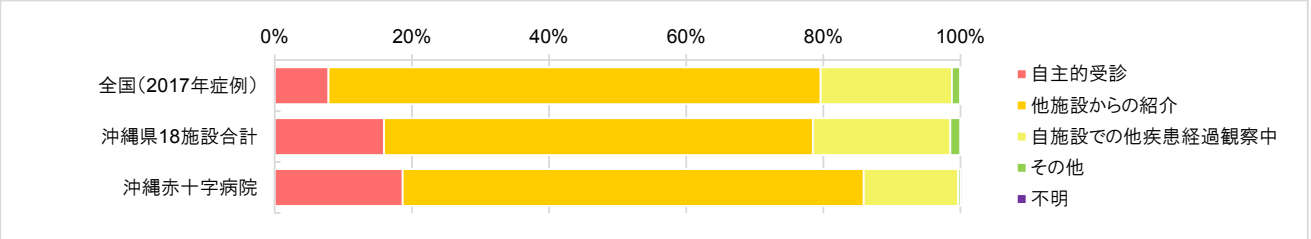
症例区分別　登録数と登録割合

	全国(2017年症例)		沖縄県18施設合計		沖縄赤十字病院	
診断のみ	42,302	(5.9%)	856	(7.8%)	46	(7.5%)
自施設診断･自施設初回治療開始	438,978	(61.6%)	6,721	(61.5%)	364	(59.0%)
自施設診断･自施設初回治療継続	1,124	(0.2%)	33	(0.3%)	0	(0.0%)
他施設診断･自施設初回治療開始	153,312	(21.5%)	1,651	(15.1%)	57	(9.2%)
他施設診断･自施設初回治療継続	23,838	(3.3%)	626	(5.7%)	76	(12.3%)
初回治療終了後	52,647	(7.4%)	1,048	(9.6%)	74	(12.0%)
合計	712,201	(100.0%)	10,935	(100.0%)	617	(100.0%)



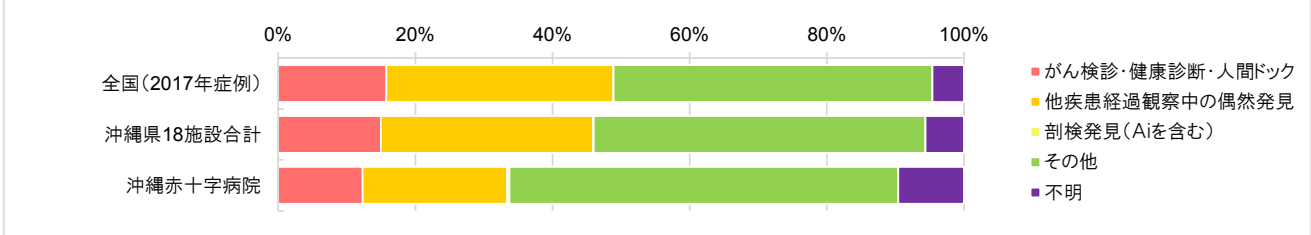
来院経路別　登録数と登録割合

	全国(2017年症例)		沖縄県18施設合計		沖縄赤十字病院	
自主的受診	55,803	(7.8%)	1,745	(16.0%)	115	(18.6%)
他施設からの紹介	511,176	(71.8%)	6,838	(62.5%)	415	(67.3%)
自施設での他疾患経過観察中	136,118	(19.1%)	2,187	(20.0%)	85	(13.8%)
その他	8,910	(1.3%)	162	(1.5%)	2	(0.3%)
不明	194	(0.0%)	3	(0.0%)	0	(0.0%)
合計	712,201	(100.0%)	10,935	(100.0%)	617	(100.0%)



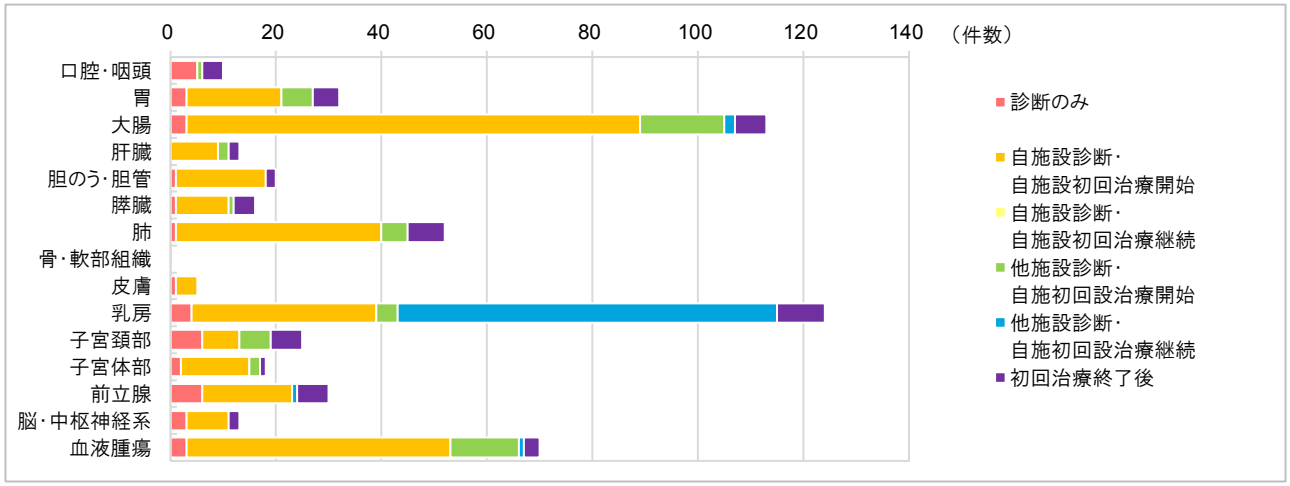
発見経緯別　登録数と登録割合

	全国(2017年症例)		沖縄県18施設合計		沖縄赤十字病院	
がん検診･健康診断･人間ドック	112,324	(15.8%)	1,636	(15.0%)	76	(12.3%)
他疾患経過観察中の偶然発見	235,862	(33.1%)	3,393	(31.0%)	130	(21.1%)
剖検発見(Aiを含む)	46	(0.0%)	2	(0.0%)	2	(0.3%)
その他	331,376	(46.5%)	5,293	(48.4%)	350	(56.7%)
不明	32,593	(4.6%)	611	(5.6%)	59	(9.6%)
合計	712,201	(100.0%)	10,935	(100.0%)	617	(100.0%)

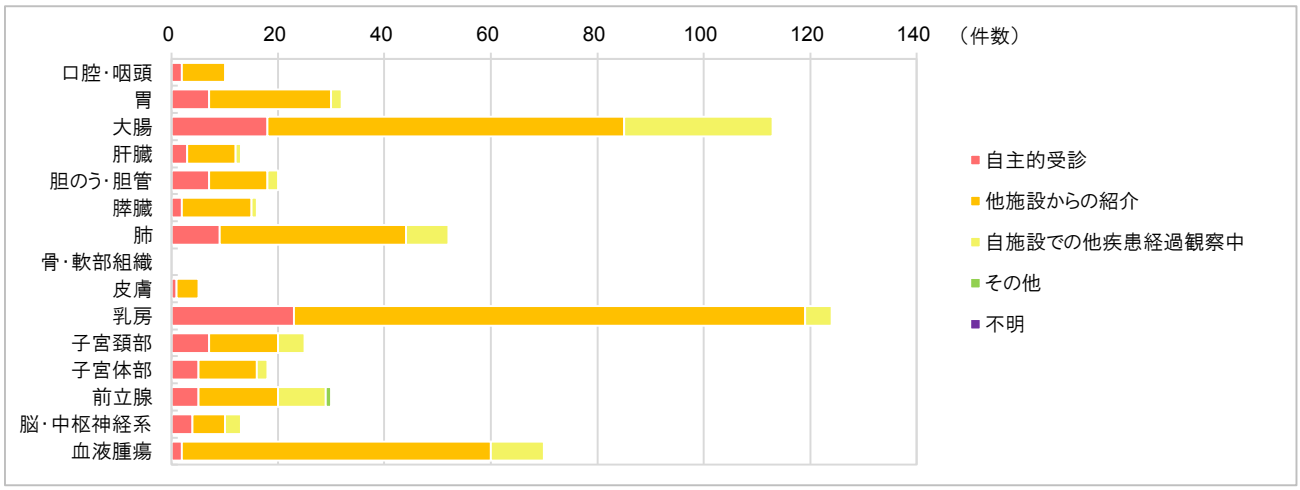


＊症例区分「80：その他」を除いて集計

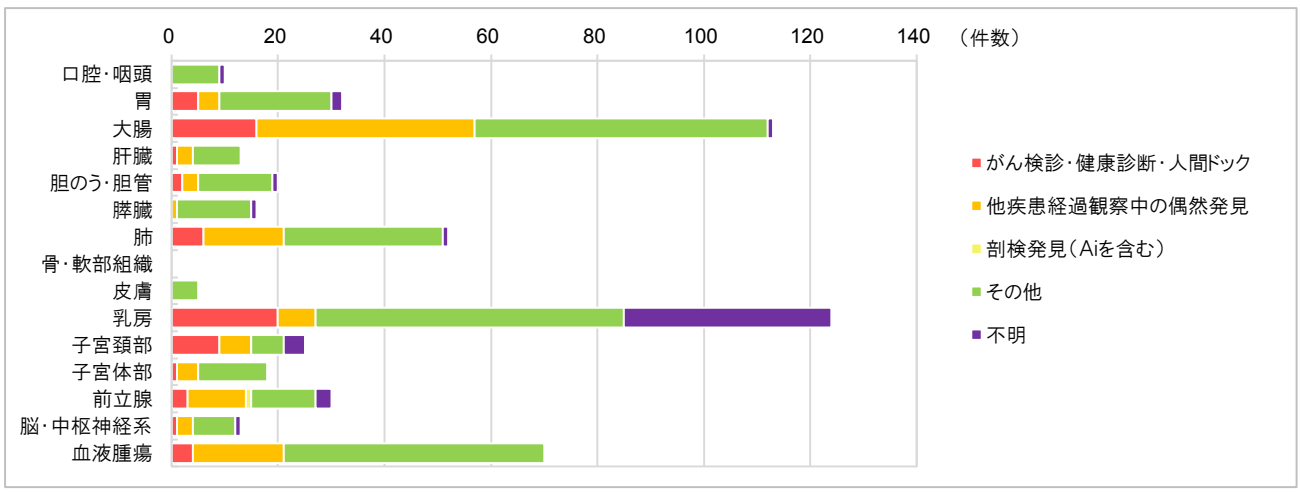
部位別　症例区分別　登録数



部位別　来院経路別　登録数



部位別　発見経緯別　登録数

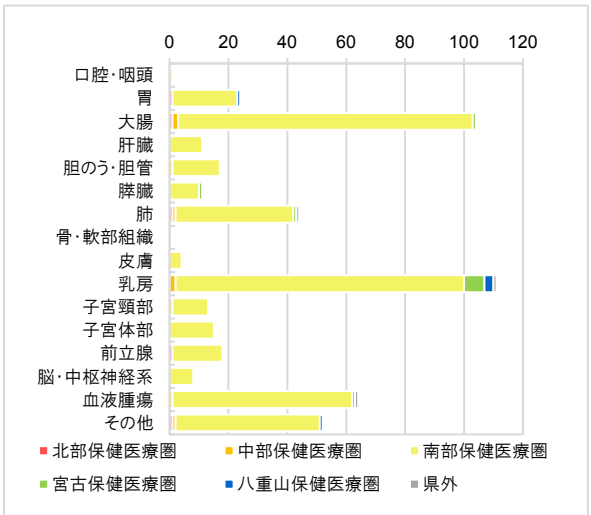


＊症例区分「８０：その他」を除いて集計

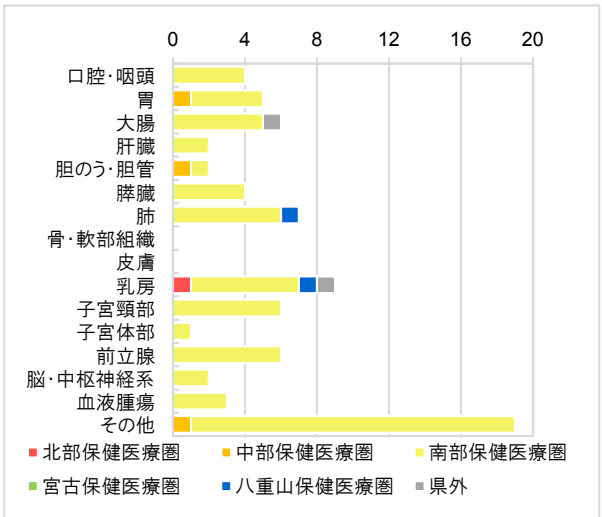
二次保健医療圏別　登録数と登録割合

圏域名	市町村名	登録数	割合	登録割合上位3部位	
北部保健医療圏	名護市　国頭村　大宜味村 東村　今帰仁村　本部町 伊江村　伊平屋村　伊是名村	6	1.0%	胃	16.7%
				大腸	16.7%
				肺	16.7%
中部保健医療圏	宜野湾市　沖縄市　うるま市　恩納村 宜野座村　金武町　読谷村　嘉手納町 北谷町　北中城村　中城村	12	1.9%	大腸	16.7%
				胆嚢･胆管	16.7%
				乳房	16.7%
南部保健医療圏	那覇市　浦添市　糸満市　豊見城市 南城市　西原町　与那原町 南風原町　渡嘉敷村　座間味村 粟国村　渡名喜村　南大東村 北大東村　久米島町　八重瀬町	574	93.0%	大腸	18.8%
				乳房	18.8%
				血液腫瘍	11.5%
宮古保健医療圏	宮古島市　多良間村	12	1.9%	乳房	58.3%
				血液腫瘍	16.7%
				大腸	8.3%
八重山保健医療圏	石垣市　竹富町　与那国町	7	1.1%	乳房	57.1%
				胃	14.3%
				肺	14.3%
沖縄県外		6	1.0%	--	--
合計		617	100.0%	乳房	19.8%
				大腸	18.2%
				血液腫瘍	11.2%

二次保健医療圏別　部位別　治療件数*



二次保健医療圏別部位別　初回治療終了後の受け入れ登録数*



＊症例区分「80：その他」を除いて集計
＊二次保健医療圏別集計は、当該施設を受診したときの患者さんの住所（診断時住所）をもとに集計
＊登録割合上位３部位において、登録割合が同数の場合、部位コードが小さい順に表記
＊二次保健医療圏別部位別治療件数は、症例区分「20：自施設診断・自施設初回治療開始」「21：自施設診断・自施設初回治療継続」「30：他施設診断・自施設初回治療開始」「31：他施設診断・自施設初回治療継続」のみ集計
＊二次保健医療圏別部位別初回治療終了後の受け入れ登録数は、症例区分「40：初回治療終了後」のみ集計

大浜第一病院



358

基本情報	
病院名	医療法人おもと会　大浜第一病院
所在地	〒 900-0005　沖縄県那覇市天久 1000 番地
電話（代表）	098-866-5171
ホームページ	http://www.omotokai.or.jp/ohama1/

診療案内			
診療科	内科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、神経内科、糖尿病科、腎臓内科、外科、心臓血管外科、大腸・肛門外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、婦人科、眼科、眼形成眼窩外科、救急科、リハビリテーション科、放射線科、ペインクリニック、麻酔科、歯科・歯科口腔外科　　合計 24 診療科		
病床数	214 床	平均在院日数	11.7 日
入院患者のべ数	79,459 人	外来患者のべ数	138,474 人
外来化学療法の実施	○	放射線治療の実施	×
緩和ケア外来	×	緩和ケアチーム	○
緩和ケア病棟	×	緩和ケア病床数	0 床
院内がん登録実務者数 （実務者のうち研修修了者数）	実務者数　2 名（初級者　2 名）		

がん相談	
名称	地域連携室
電話番号	098-866-5171（代表）
対応時間	月～金曜日　8：30 ～ 17：30　土曜日　8：30 ～ 12：30

患者さん・ご家族用の設備	
交流の場 （がん患者サロンなど）	×
院内図書館 （図書等を設置している場所）	○



大浜第一病院は、214 床の急性期病院として、設立 50 周年を節目に 2009 年に那覇市天久に新築移転し、地域の中核病院として、救急医療・急性期医療から慢性期医療まで幅広く診療を行い、さまざまな症状の患者様に寄り添う医療を提供しています。

当院は、2010 年より地域がん登録を開始しておりましたが、院内がん登録の実施までに至っておらず、2016 年より、届出が義務化となった全国がん登録の実施を機に「院内がん登録全国集計」および「沖縄県院内がん登録集計報告書」への参加を行っております。

当院の 2018 年のがん登録件数は 191 件で、2017 年は 165 件、2016 年は 139 件と年々増加傾向にあります。部位別では、大腸（結腸、直腸）が全体数の約 4 分の 1 を占め、次に前立腺、・胃と続きますが、前年に比べると前立腺の件数が 2 倍ほど増加しています。これは県内で前立腺がん早期発見のため、50 代以上に PSA 検査を組み入れた検診が推奨されていることや、当院に高齢の患者さんが多いことが件数に反映されたと考えられます。

性別でみると、男性・女性とも件数は増加傾向でした。男性の部位別登録件数の上位は、前立腺、大腸、胃の順となっており、女性の部位別登録件数の上位は、大腸、膵臓、乳腺の順でした。女性の件数が増えた理由として、近隣施設より、乳がんの患者さん紹介が多かったことがあげられます。

年齢階級別では、全国・沖縄県他施設は 60・70 歳代が多くなっておりますが、当院は前年同様 80 歳以上が 38.7%と、高齢者が多く占めております。

症例区分別では、全国や沖縄県他施設と同様に「自施設診断・自施設初回治療開始」の割合が多く 65.4%と漸増傾向で、「診断のみ」は 23.6%と減少傾向にあります。これは今まで、治療のため他施設へ紹介していたのが、当院で診断から治療まで完結している患者さんが増えたと考えられます。また、「他施設診断・自施設初回治療継続」が増えていることから、他施設との病病連携や病診連携が進んでいると思われます。

当院は、院内がん登録実施している県内他施設と比べると、病床数（急性期 170 床、回復期 40 床）が少ないため、登録件数も少ない状況ですが、件数は年々増加傾向にあります。

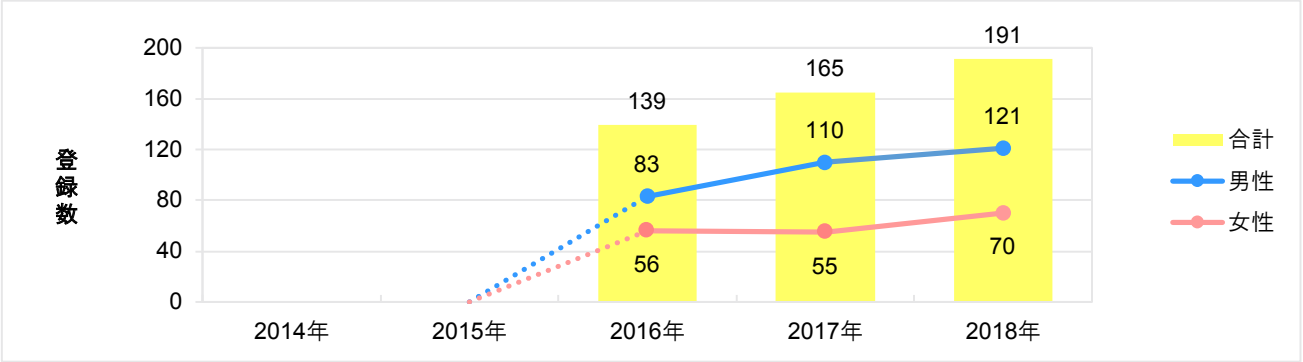
「沖縄県院内がん登録集計報告書」へ参加したことにより、県内他施設との比較や当院の特徴を可視化することが出来ました。今後もこの資料を当院でのがん診療に活かし、他施設とも連携を図り、地域医療に貢献できるよう取り組んで行きたいと思います。

医療法人おもと会　大浜第一病院
病院長　大城　康一

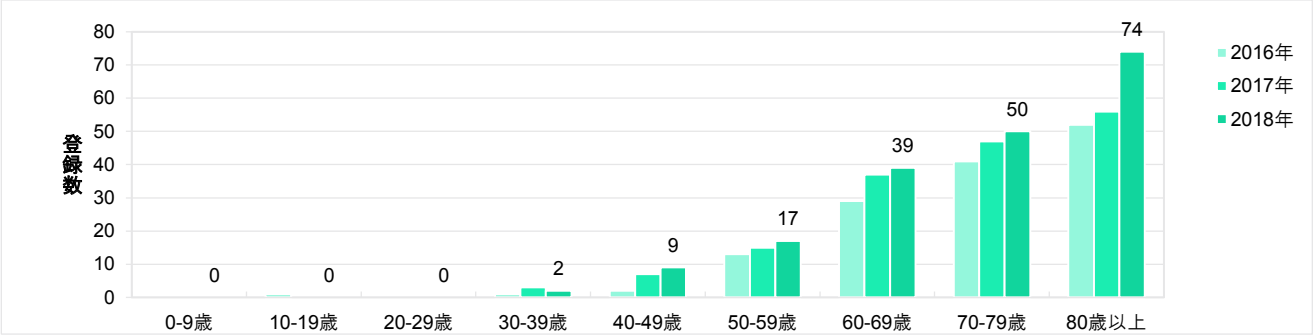


院内がん登録の概要

登録数の推移

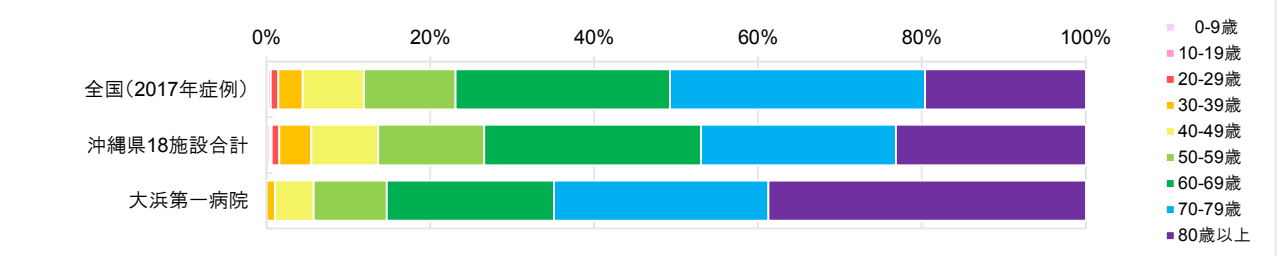


年齢階級別　登録数の推移



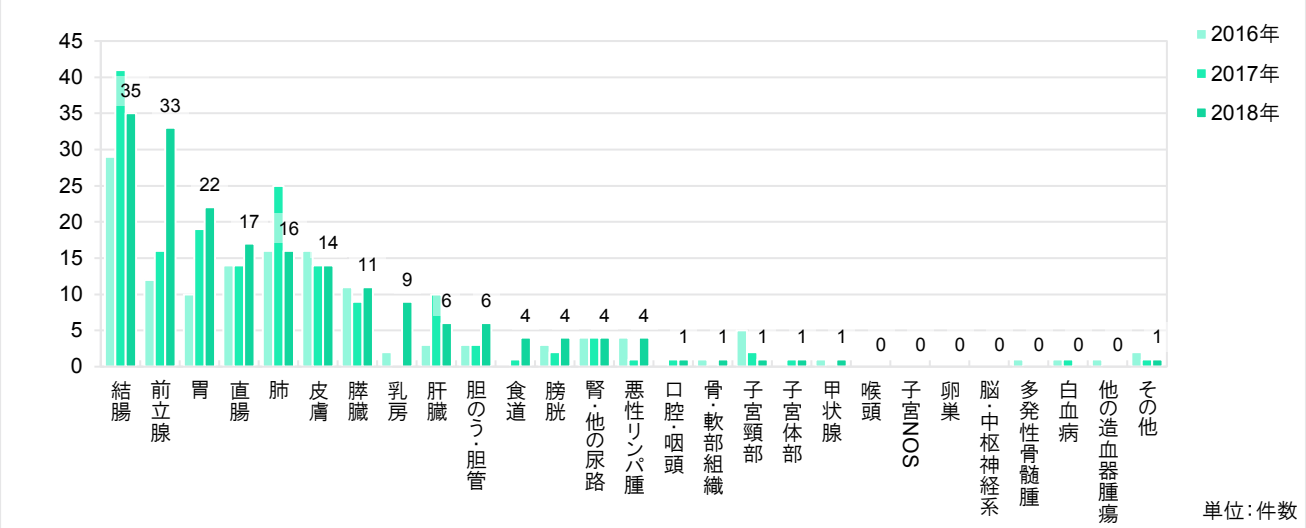
年齢階級別　登録数と登録割合

	全国(2017年症例)		沖縄県18施設合計		大浜第一病院	
0-9歳	1,705	(0.2%)	44	(0.4%)	0	(0.0%)
10-19歳	1,965	(0.3%)	23	(0.2%)	0	(0.0%)
20-29歳	6,471	(0.9%)	105	(1.0%)	0	(0.0%)
30-39歳	21,457	(3.0%)	425	(3.9%)	2	(1.0%)
40-49歳	52,941	(7.4%)	896	(8.2%)	9	(4.7%)
50-59歳	79,976	(11.2%)	1,410	(12.9%)	17	(8.9%)
60-69歳	186,117	(26.1%)	2,894	(26.5%)	39	(20.4%)
70-79歳	221,871	(31.2%)	2,606	(23.8%)	50	(26.2%)
80歳以上	139,698	(19.6%)	2,532	(23.2%)	74	(38.7%)
合計	712,201	(100.0%)	10,935	(100.0%)	191	(100.0%)

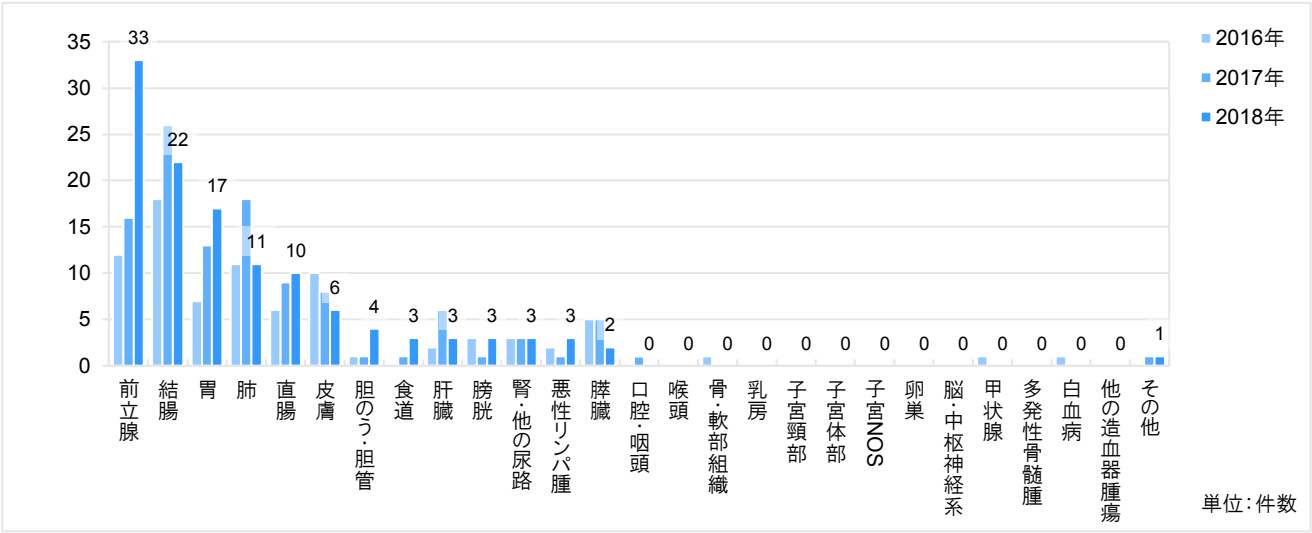


＊症例区分「80：その他」を除いて集計
＊国立がん研究センターへ院内がん登録データの提供を行った年症例から表示

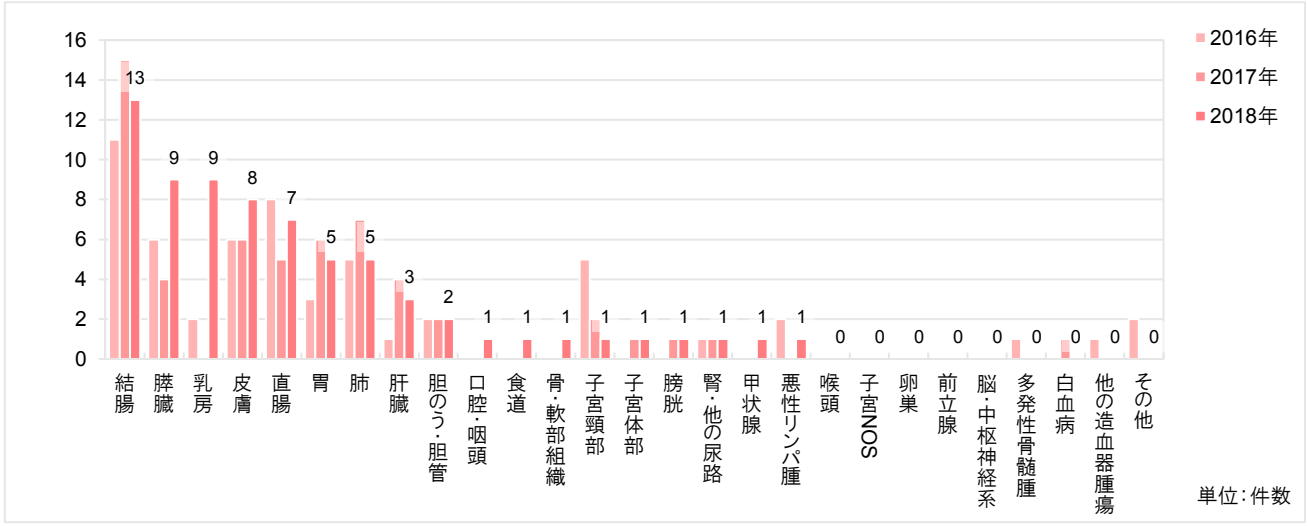
部位別　登録数の推移 — 男女計



部位別　登録数の推移 — 男



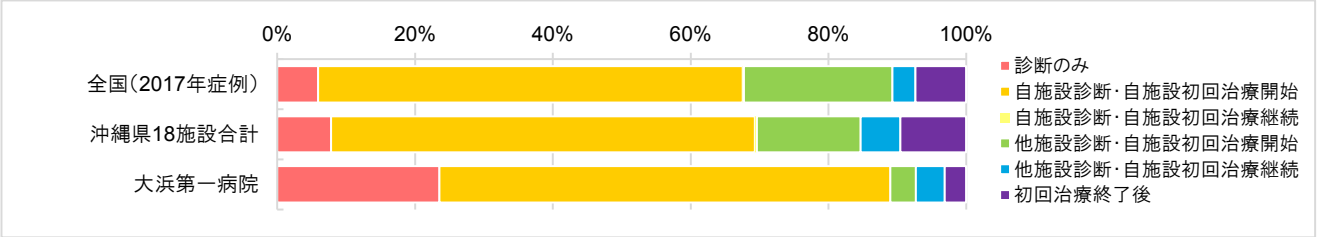
部位別　登録数の推移 — 女



＊症例区分「80：その他」を除いて集計

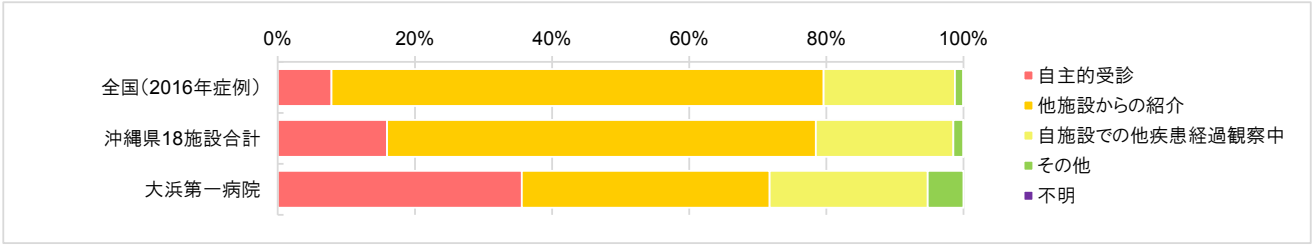
症例区分別　登録数と登録割合

	全国(2017年症例)		沖縄県18施設合計		大浜第一病院	
診断のみ	42,302	(5.9%)	856	(7.8%)	45	(23.6%)
自施設診断･自施設初回治療開始	438,978	(61.6%)	6,721	(61.5%)	125	(65.4%)
自施設診断･自施設初回治療継続	1,124	(0.2%)	33	(0.3%)	0	(0.0%)
他施設診断･自施設初回治療開始	153,312	(21.5%)	1,651	(15.1%)	7	(3.7%)
他施設診断･自施設初回治療継続	23,838	(3.3%)	626	(5.7%)	8	(4.2%)
初回治療終了後	52,647	(7.4%)	1,048	(9.6%)	6	(3.1%)
合計	712,201	(100.0%)	10,935	(100.0%)	191	(100.0%)



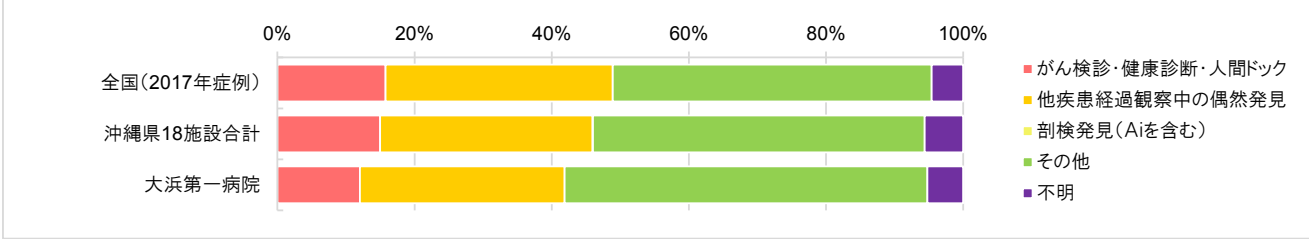
来院経路別　登録数と登録割合

	全国(2016年症例)		沖縄県18施設合計		大浜第一病院	
自主的受診	55,803	(7.8%)	1,745	(16.0%)	68	(35.6%)
他施設からの紹介	511,176	(71.8%)	6,838	(62.5%)	69	(36.1%)
自施設での他疾患経過観察中	136,118	(19.1%)	2,187	(20.0%)	44	(23.0%)
その他	8,910	(1.3%)	162	(1.5%)	10	(5.2%)
不明	194	(0.0%)	3	(0.0%)	0	(0.0%)
合計	712,201	(100.0%)	10,935	(100.0%)	191	(100.0%)



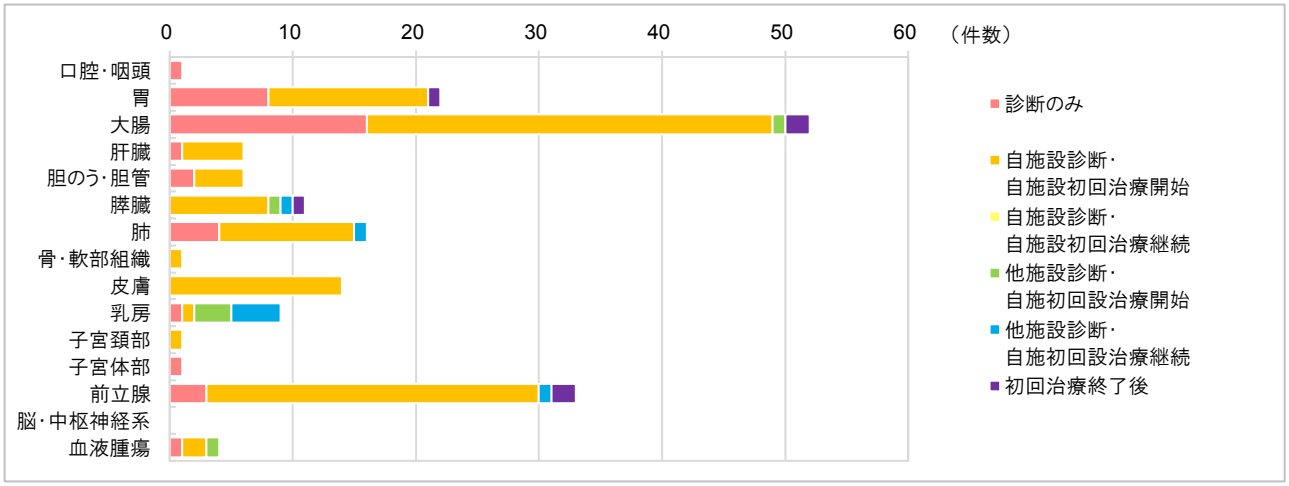
発見経緯別　登録数と登録割合

	全国(2017年症例)		沖縄県18施設合計		大浜第一病院	
がん検診･健康診断･人間ドック	112,324	(15.8%)	1,636	(15.0%)	23	(12.0%)
他疾患経過観察中の偶然発見	235,862	(33.1%)	3,393	(31.0%)	57	(29.8%)
剖検発見(Aiを含む)	46	(0.0%)	2	(0.0%)	0	(0.0%)
その他	331,376	(46.5%)	5,293	(48.4%)	101	(52.9%)
不明	32,593	(4.6%)	611	(5.6%)	10	(5.2%)
合計	712,201	(100.0%)	10,935	(100.0%)	191	(100.0%)

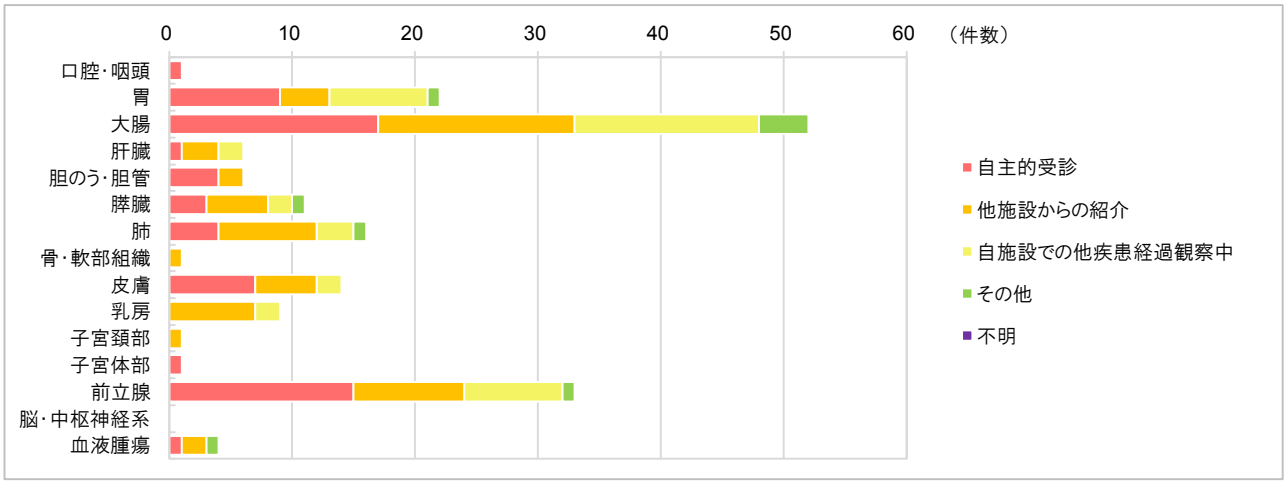


＊症例区分「８０：その他」を除いて集計

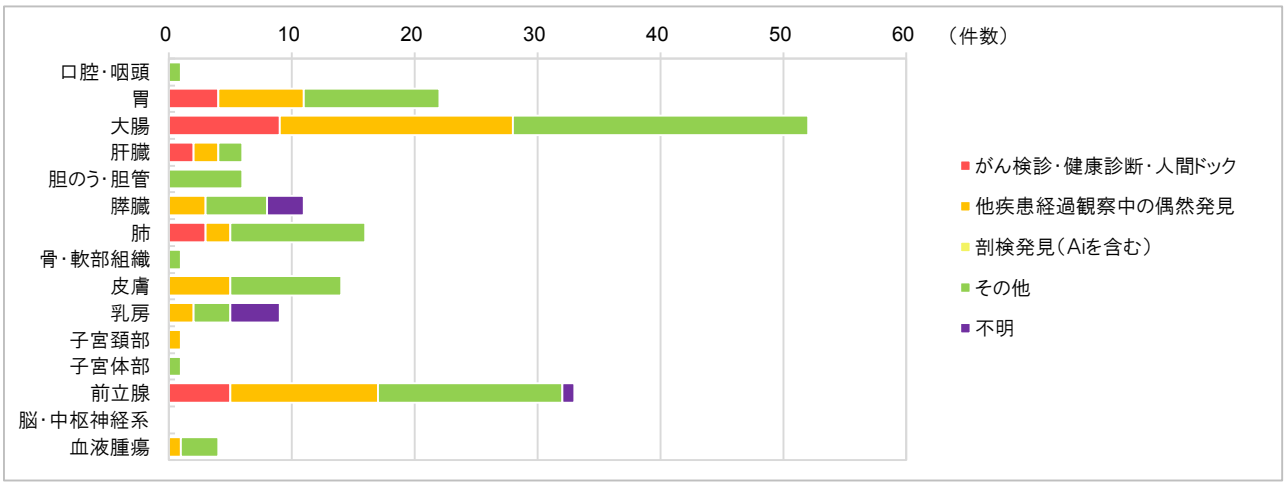
部位別　症例区分別　登録数



部位別　来院経路別　登録数



部位別　発見経緯別　登録数

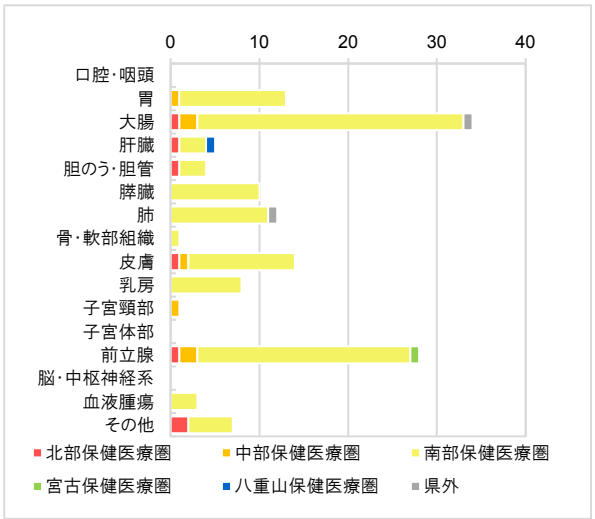


＊症例区分「８０：その他」を除いて集計

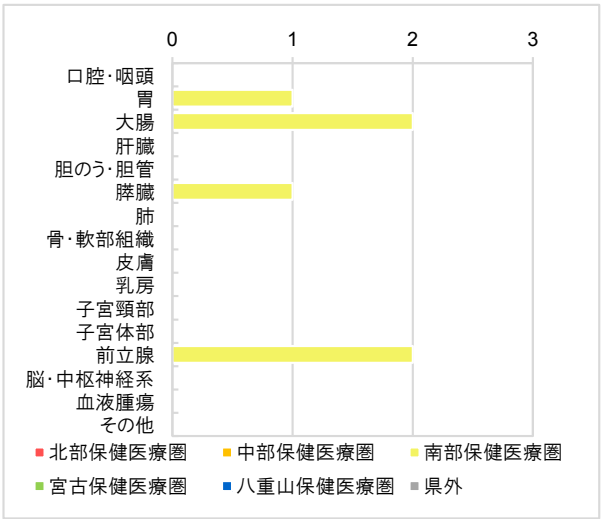
二次保健医療圏別　登録数と登録割合

圏域名	市町村名	登録数	割合	登録割合上位3部位	
北部保健医療圏	名護市　国頭村　大宜味村 東村　今帰仁村　本部町 伊江村　伊平屋村　伊是名村	7	3.7%	食道	14.3%
				大腸	14.3%
				肝臓	14.3%
中部保健医療圏	宜野湾市　沖縄市　うるま市　恩納村 宜野座村　金武町　読谷村　嘉手納町 北谷町　北中城村　中城村	9	4.7%	大腸	44.4%
				前立腺	22.2%
				胃	11.1%
南部保健医療圏	那覇市　浦添市　糸満市　豊見城市 南城市　西原町　与那原町 南風原町　渡嘉敷村　座間味村 粟国村　渡名喜村　南大東村 北大東村　久米島町　八重瀬町	171	89.5%	大腸	26.9%
				前立腺	17.0%
				胃	12.3%
宮古保健医療圏	宮古島市　多良間村	1	0.5%	前立腺	100.0%
				--	--
				--	--
八重山保健医療圏	石垣市　竹富町　与那国町	1	0.5%	肝臓	100.0%
				--	--
				--	--
沖縄県外		2	1.0%	--	--
合計		191	100.0%	大腸	26.7%
				前立腺	17.3%
				胃	11.5%

二次保健医療圏別　部位別　治療件数*



二次保健医療圏別部位別　初回治療終了後の受け入れ登録数*



*症例区分「80：その他」を除いて集計
*二次保健医療圏別集計は、当該施設を受診したときの患者さんの住所（診断時住所）をもとに集計
*登録割合上位３部位において、登録割合が同数の場合、部位コードが小さい順に表記
*二次保健医療圏別部位別治療件数は、症例区分「20：自施設診断・自施設初回治療開始」「21：自施設診断・自施設初回治療継続」「30：他施設診断・自施設初回治療開始」「31：他施設診断・自施設初回治療継続」のみ集計
*二次保健医療圏別部位別初回治療終了後の受け入れ登録数は、症例区分「40：初回治療終了後」のみ集計

浦添総合病院



366

基本情報	
病院名	社会医療法人仁愛会　浦添総合病院
所在地	〒 901-2132　沖縄県浦添市伊祖四丁目 16 番 1 号
電話（代表）	098-878-0231
ホームページ	http://www.jin-aikai.com/

診療案内			
診療科	内科、循環器内科、心臓血管外科、腎臓内科、呼吸器内科、呼吸器外科、食道外科、消化器内科、消化器外科、外科、乳腺外科、肛門外科、整形外科、眼科、耳鼻咽喉科、アレルギー科、形成外科、脳神経外科、麻酔科、放射線科、神経内科、リハビリテーション科、歯科、歯科口腔外科　合計 24 診療科		
病床数	334 床	平均在院日数	12.4 日
入院患者のべ数	121,472 人	外来患者のべ数	115,822 人
外来化学療法の実施	○	放射線治療の実施	×
緩和ケア外来	○	緩和ケアチーム	○
緩和ケア病棟	×	緩和ケア病床数	×
院内がん登録実務者数（実務者のうち研修修了者数）	実務者数５名（中級者３名，初級者２名）		

がん相談	
名称	がん相談支援室
電話番号	代表 098-878-0231 直通 098-879-0630
対応時間	月～金曜日　9：00 ～ 12：00　　13：00 ～ 15：00

患者さん・ご家族用の設備	
交流の場（がん患者サロンなど）	×
院内図書館（図書等を設置している場所）	×



浦添総合病院は昭和 56 年 4 月に開院し、「信頼と人間性豊かな保健・医療・福祉」、「地域住民のニーズを満たす保健・医療・福祉」の理念のもと、地域における中核病院として救急医療やがん診療及び高度専門診療を中心に診療を行っています。

当院の特徴として、南部保健医療圏と中部保健医療圏の圏境に位置しているため、医療圏別登録数においては南部保健医療圏が 62.8%、中部保健医療圏が 30.4%となっており、隣接する宜野湾市（中部保健医療圏）からの患者さんも多く来院しています。その多くが他院からの紹介患者であり、地域医療支援病院としての役割を担っています。

当院の年間院内がん登録数は年間 600 件を超えており、2018 年は 675 件となりました。部位別では、大腸、乳房、肺、膵臓の順で登録数が多く、大腸がん、胃がんは腹腔鏡・内視鏡下手術が盛んに行われ、大腸がんの登録数については 148 件、乳がんの登録数については 135 件となっており、膵臓の登録数については 51 件と増加しております。

乳がんについては欧米化傾向から、若い女性の乳がんの罹患も年々増えているため、手術も毎年増加しています。また、当院はシリコンインプラントによる乳房再建術の実施が可能な施設として認定を受けており、乳腺専門医・形成外科専門医がチームを組み、安全に乳房再建が行える施設となっています。

肺がん治療は、従来の手術・放射線治療・化学療法に加えて、分子標的治療や免疫治療が重要になってきております。当院では、組織診断を積極的に行い、遺伝子診断に基づいた、患者さん個人に最も適した治療を提供しています。呼吸器外科手術は、がんの進行度や組織型を考慮し、予後が比較的良好な早期がんには呼吸機能温存を目指した区分切除、進行がんには気管支形成や血管形成を含めた拡大手術を行っております。また、一部の進行がんを除き、体への負担を軽減できる完全鏡視下手術を行っております。

また、当院は肝・胆・膵において、高度技能修練施設として琉球大学医学部附属病院と共に認定されており、肝胆膵における高難度手術を安全に実施できる施設であると同時に、高度技能医を育成するための教育にも力を注いでいます。

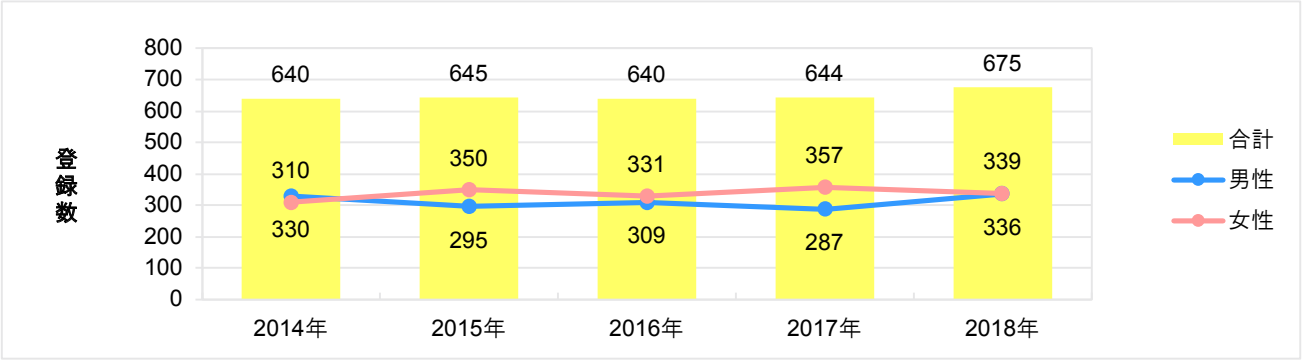
今後もさらに診療体制を強化し、地域において専門的ながん診療が受けられる病院として、地域におけるがん診療提供体制の充実に、より一層邁進して参りたいと考えております。

社会医療法人仁愛会　浦添総合病院
病院長　福本　泰三

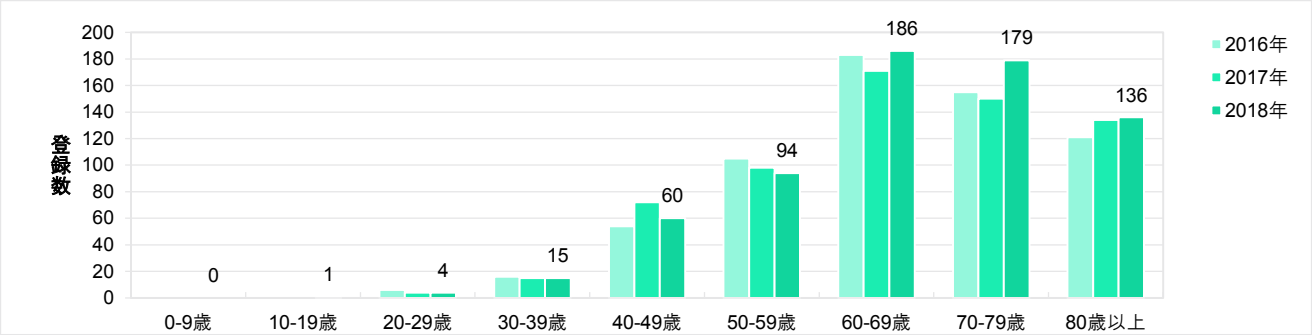


院内がん登録の概要

登録数の推移

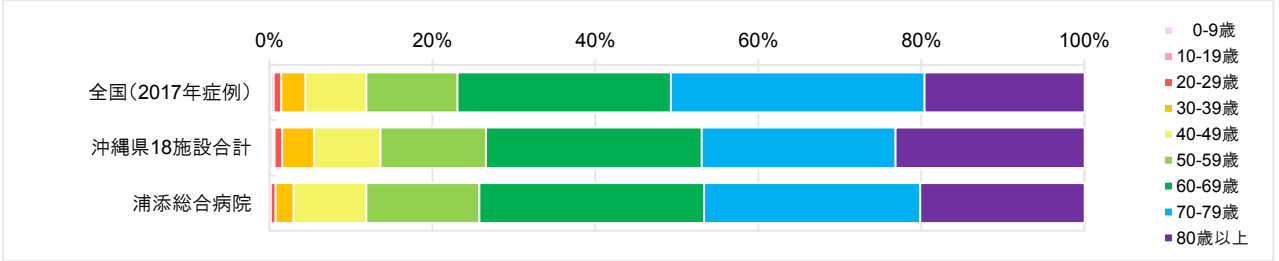


年齢階級別　登録数の推移



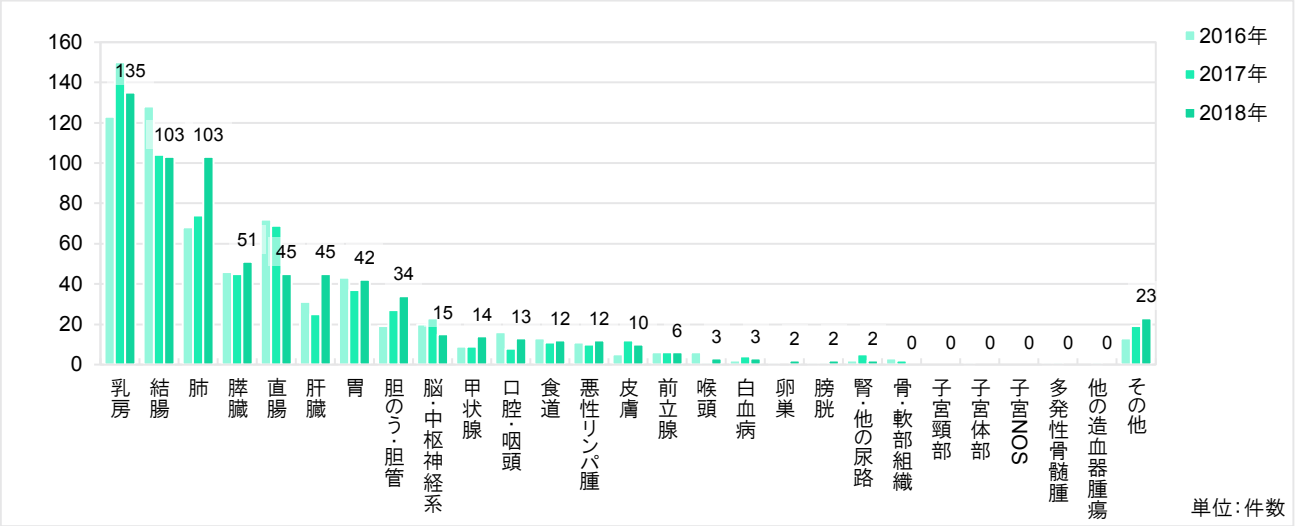
年齢階級別　登録数と登録割合

	全国(2017年症例)		沖縄県18施設合計		浦添総合病院	
0-9歳	1,705	(0.2%)	44	(0.4%)	0	(0.0%)
10-19歳	1,965	(0.3%)	23	(0.2%)	1	(0.1%)
20-29歳	6,471	(0.9%)	105	(1.0%)	4	(0.6%)
30-39歳	21,457	(3.0%)	425	(3.9%)	15	(2.2%)
40-49歳	52,941	(7.4%)	896	(8.2%)	60	(8.9%)
50-59歳	79,976	(11.2%)	1,410	(12.9%)	94	(13.9%)
60-69歳	186,117	(26.1%)	2,894	(26.5%)	186	(27.6%)
70-79歳	221,871	(31.2%)	2,606	(23.8%)	179	(26.5%)
80歳以上	139,698	(19.6%)	2,532	(23.2%)	136	(20.1%)
合計	712,201	(100.0%)	10,935	(100.0%)	675	(100.0%)

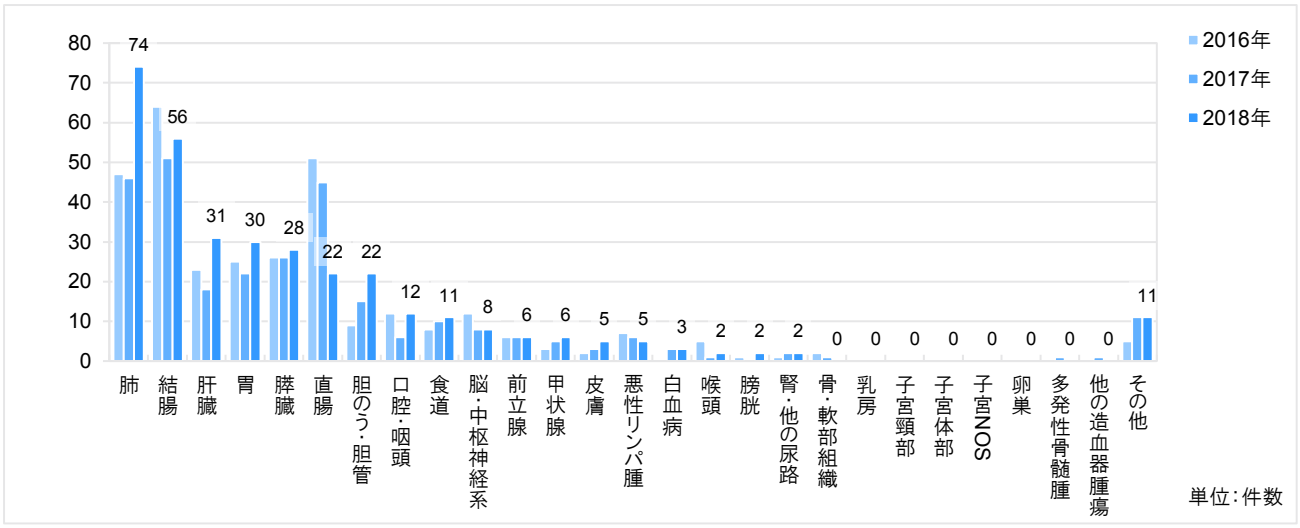


＊症例区分「８０：その他」を除いて集計

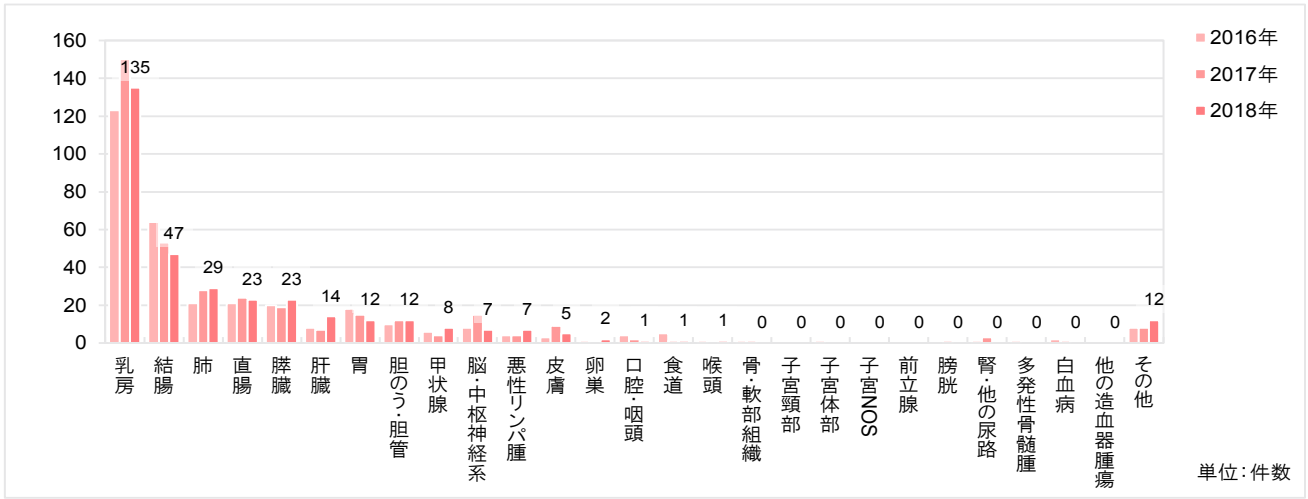
部位別　登録数の推移 — 男女計



部位別　登録数の推移 — 男



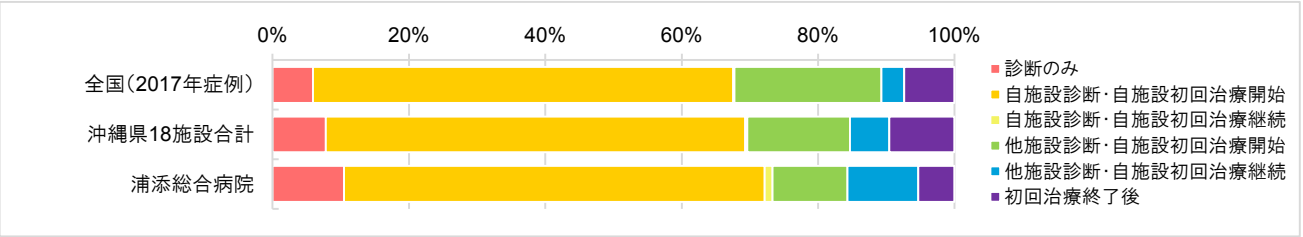
部位別　登録数の推移 — 女



＊症例区分「80：その他」を除いて集計

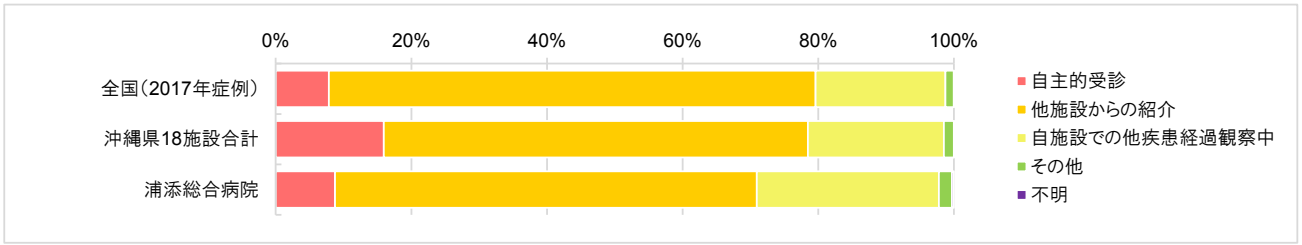
症例区分別　登録数と登録割合

	全国(2017年症例)		沖縄県18施設合計		浦添総合病院	
診断のみ	42,302	(5.9%)	856	(7.8%)	71	(10.5%)
自施設診断･自施設初回治療開始	438,978	(61.6%)	6,721	(61.5%)	416	(61.6%)
自施設診断･自施設初回治療継続	1,124	(0.2%)	33	(0.3%)	8	(1.2%)
他施設診断･自施設初回治療開始	153,312	(21.5%)	1,651	(15.1%)	74	(11.0%)
他施設診断･自施設初回治療継続	23,838	(3.3%)	626	(5.7%)	70	(10.4%)
初回治療終了後	52,647	(7.4%)	1,048	(9.6%)	36	(5.3%)
合計	712,201	(100.0%)	10,935	(100.0%)	675	(100.0%)



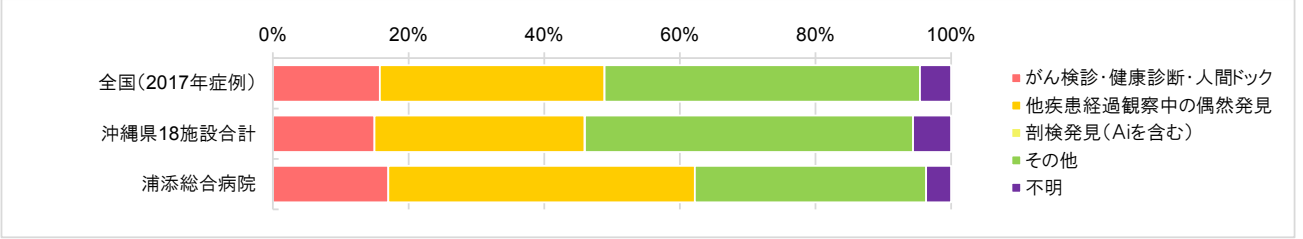
来院経路別　登録数と登録割合

	全国(2017年症例)		沖縄県18施設合計		浦添総合病院	
自主的受診	55,803	(7.8%)	1,745	(16.0%)	59	(8.7%)
他施設からの紹介	511,176	(71.8%)	6,838	(62.5%)	420	(62.2%)
自施設での他疾患経過観察中	136,118	(19.1%)	2,187	(20.0%)	181	(26.8%)
その他	8,910	(1.3%)	162	(1.5%)	13	(1.9%)
不明	194	(0.0%)	3	(0.0%)	2	(0.3%)
合計	712,201	(100.0%)	10,935	(100.0%)	675	(100.0%)



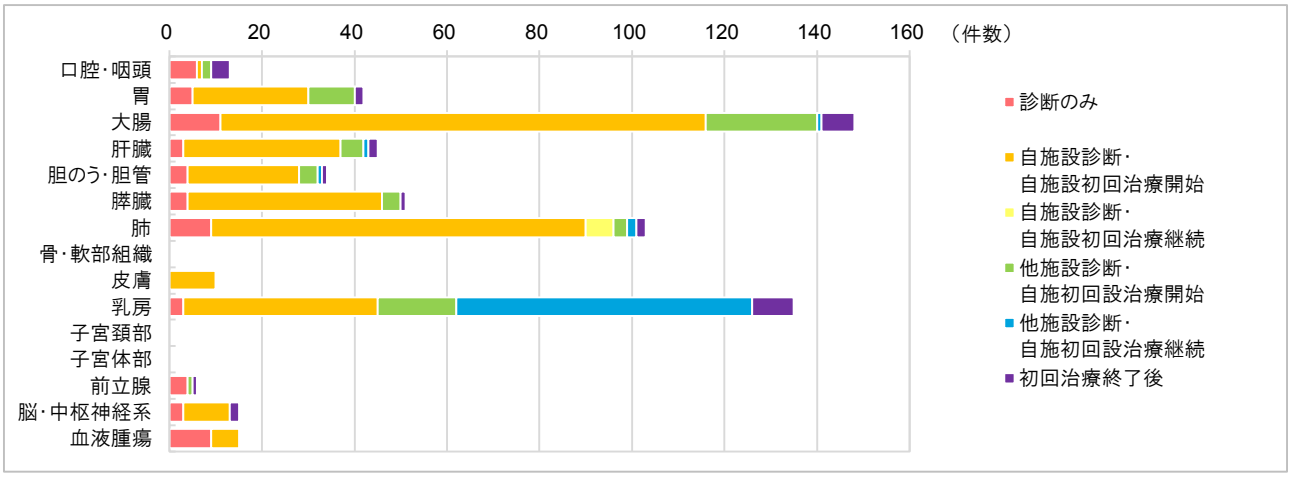
発見経緯別　登録数と登録割合

	全国(2017年症例)		沖縄県18施設合計		浦添総合病院	
がん検診･健康診断･人間ドック	112,324	(15.8%)	1,636	(15.0%)	115	(17.0%)
他疾患経過観察中の偶然発見	235,862	(33.1%)	3,393	(31.0%)	305	(45.2%)
剖検発見(Aiを含む)	46	(0.0%)	2	(0.0%)	0	(0.0%)
その他	331,376	(46.5%)	5,293	(48.4%)	230	(34.1%)
不明	32,593	(4.6%)	611	(5.6%)	25	(3.7%)
合計	712,201	(100.0%)	10,935	(100.0%)	675	(100.0%)

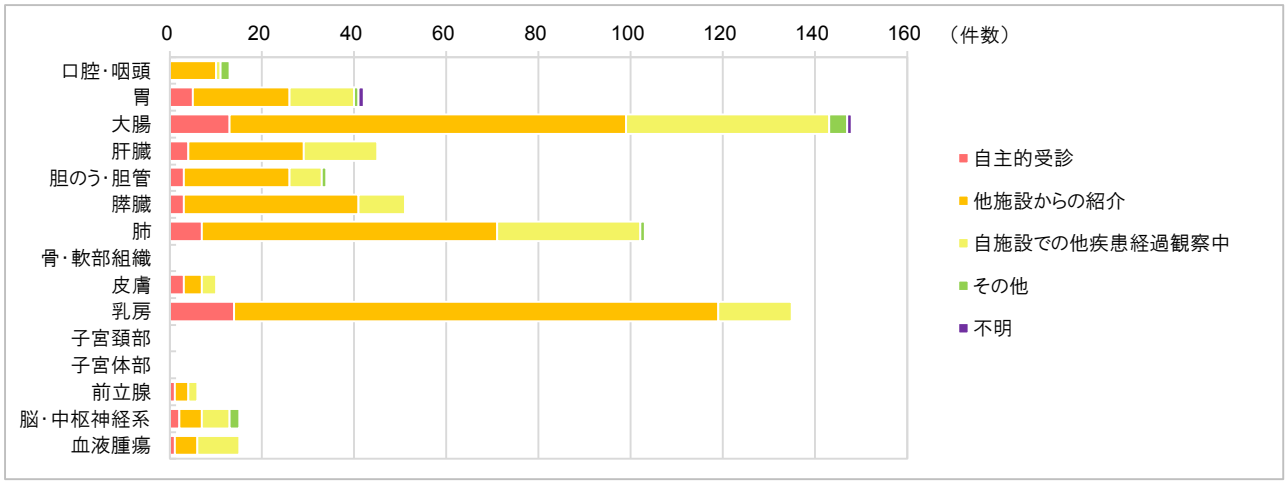


＊症例区分「80：その他」を除いて集計

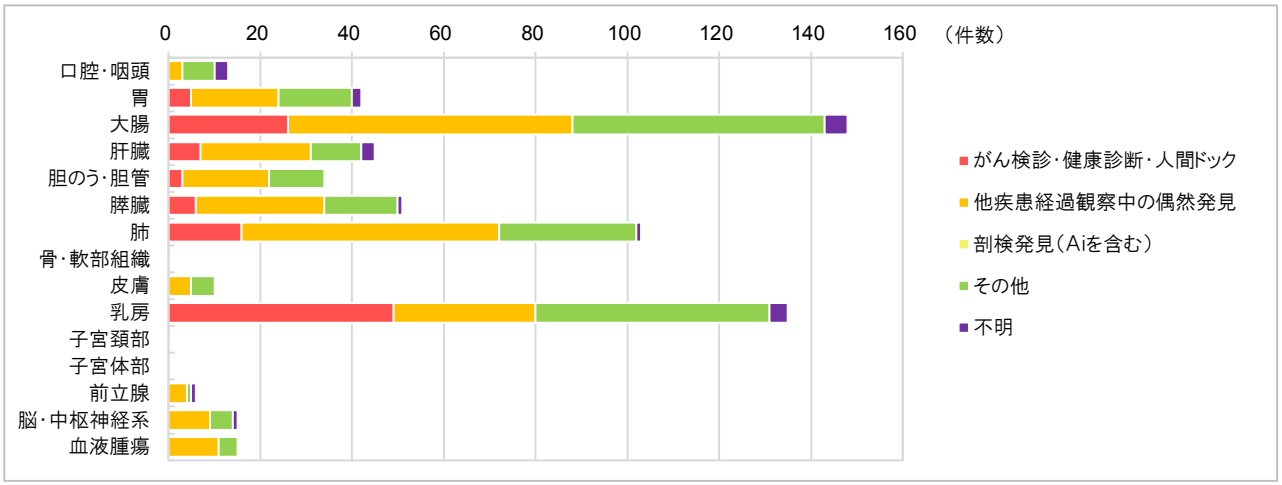
部位別　症例区分別　登録数



部位別　来院経路別　登録数



部位別　発見経緯別　登録数

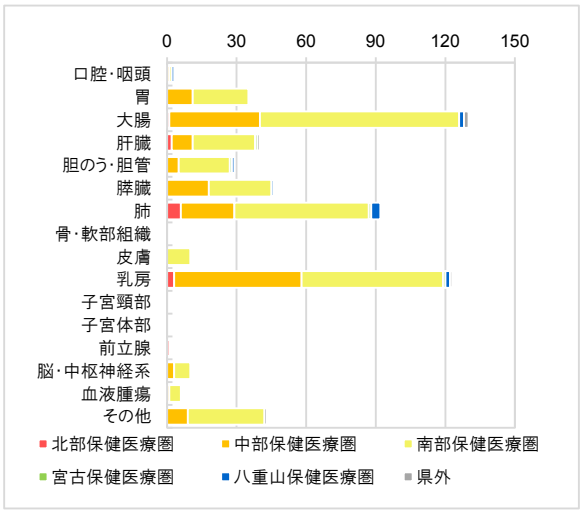


＊症例区分「８０：その他」を除いて集計

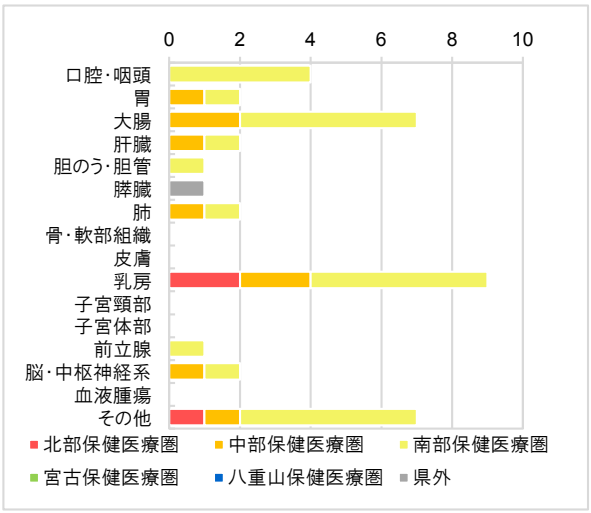
二次保健医療圏別　登録数と登録割合

圏域名	市町村名	登録数	割合	登録割合上位3部位	
北部保健医療圏	名護市　国頭村　大宜味村 東村　今帰仁村　本部町 伊江村　伊平屋村　伊是名村	18	2.7%	肺	33.3%
				乳房	27.8%
				肝臓	11.1%
中部保健医療圏	宜野湾市　沖縄市　うるま市　恩納村 宜野座村　金武町　読谷村　嘉手納町 北谷町　北中城村　中城村	205	30.4%	乳房	28.3%
				大腸	21.0%
				肺	12.7%
南部保健医療圏	那覇市　浦添市　糸満市　豊見城市 南城市　西原町　与那原町 南風原町　渡嘉敷村　座間味村 粟国村　渡名喜村　南大東村 北大東村　久米島町　八重瀬町	424	62.8%	大腸	23.3%
				乳房	16.0%
				肺	15.1%
宮古保健医療圏	宮古島市　多良間村	4	0.6%	肝臓	25.0%
				胆嚢･胆管	25.0%
				肺	25.0%
八重山保健医療圏	石垣市　竹富町　与那国町	15	2.2%	肺	40.0%
				大腸	13.3%
				胆嚢･胆管	13.3%
沖縄県外		9	1.3%	--	--
合計		675	100.0%	大腸	21.5%
				乳房	19.9%
				肺	15.3%

二次保健医療圏別　部位別　治療件数*



二次保健医療圏別部位別　初回治療終了後の受け入れ登録数*



＊症例区分「80：その他」を除いて集計
＊二次保健医療圏別集計は、当該施設を受診したときの患者さんの住所（診断時住所）をもとに集計
＊登録割合上位３部位において、登録割合が同数の場合、部位コードが小さい順に表記
＊二次保健医療圏別部位別治療件数は、症例区分「20：自施設診断・自施設初回治療開始」「21：自施設診断・自施設初回治療継続」「30：他施設診断・自施設初回治療開始」「31：他施設診断・自施設初回治療継続」のみ集計
＊二次保健医療圏別部位別初回治療終了後の受け入れ登録数は、症例区分「40：初回治療終了後」のみ集計

琉球大学
医学部附属病院



374

基本情報	
病院名	国立大学法人　琉球大学医学部附属病院
所在地	〒 903-0215　沖縄県中頭郡西原町字上原 207
電話（代表）	098-895-3331
ホームページ	http://www.hosp.u-ryukyu.ac.jp/

診療案内			
診療科	内科（感染症内科、呼吸器内科、消化器内科、血液内科、糖尿病・代謝内科、内分泌内科、膠原病・リウマチ内科、膠原病内科、神経内科、高血圧・腎臓内科、高齢内科、循環器内科）、外科（上部消化管外科、下部消化管外科、肝胆膵外科、乳腺・甲状腺外科、小児外科、呼吸器外科、心臓血管外科、血管外科）、脳神経外科、整形外科、形成外科、産科婦人科、小児科、皮膚科、腎泌尿器科、耳鼻咽喉科、眼科、精神科神経科、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科、病理診断科、救急科、リハビリテーション科　合計 36 診療科		
病床数	600 床	平均在院日数	12.8 日
入院患者のべ数	189,784 人	外来患者のべ数	291,166 人
外来化学療法の実施	○	放射線治療の実施	○
緩和ケア外来	○	緩和ケアチーム	○
緩和ケア病棟	×	緩和ケア病床数	1 床
院内がん登録実務者数 （実務者のうち研修修了者数）	実務者数１名（初級者０名、中級者１名）		

がん相談	
名称	がん相談支援センター
電話番号	代表 098-895-3331（内線 1507） 直通 098-895-1507
対応時間	月～金曜日　9：00 ～ 16：30

患者さん・ご家族用の設備	
交流の場 （がん患者サロンなど）	○
院内図書館 （図書等を設置している場所）	○



平成 31 年 4 月 1 日より琉球大学医学部附属病院長を拝命いたしました第三内科の大屋です。琉球大学医学部附属病院は、沖縄県唯一の特定機能病院として、また、がん診療における沖縄県の最後の砦として、全てのがん種の診療を行っています。一昨年から外来化学療法室専従医師、緩和ケア専従医師を雇用するなど、がんセンター機能の強化を図りつつあり、外来化学療法室を 4 床増床しました。また 2018 年 10 月には、がんゲノム医療連携病院（九州大学病院との連携）の認定を受け、2019 年 2 月にがんゲノム相談外来を開設しました。さらに現在、小児がん拠点病院の取得を目指しています。さて当院の 2018 年院内がん登録の特徴を以下に箇条書きで示します。

1. 2018 年の当院の登録数は、1,575 件で前年とほぼ同数でした。当院の登録割合は、沖縄県 18 施設全登録件数の 14.4% にあたり、その年次推移は横ばい傾向でした。
2. 年齢階級別登録割合をみると、当院は 40 歳代以下が全体の 20%と、沖縄県の 18 施設と比較して最も高い割合を占めていました。また、80 歳以上が全体の 14%と、沖縄県の 18 施設と比較して最も低い割合を占めていました。
3. 来院経路別登録数をみると、「他施設からの紹介」が 87.3%と、沖縄県 18 施設平均 62.5%と比較して約 25%高く、沖縄県がん診療連携拠点病院として、診療所や他の病院から紹介を受け、がん診療を行っていることがわかります。
4. 部位別登録数の推移をみると、口腔・咽頭 160 件、子宮頸部 151 件、皮膚 144 件、前立腺 119 件、肺 94 件が上位であることが特徴です。
5. 口腔・咽頭がんの集計データをみると、放射線治療設備があり、集学的治療が可能な当院に集約されています。また、皮膚がんにおいても皮膚科専門医によるがん治療が可能な当院に集約されています。
6. 二次保健医療圏別の集計をみると、本島に所在する施設の中で、一番多く離島市町村在住の患者を診ていることからも、沖縄県がん診療連携拠点病院として、診療所や他の病院と連携し、がん診療を行っていることがわかります。
7. 小児がんは、県立南部医療センター・こども医療センターと当院に集約されていることがデータからわかります。当院では主に骨・軟部腫瘍と脳・中枢神経系腫瘍を診ています。
8. AYA 世代のがんは、県立中部病院と当院に集約されていることがデータからわかります。当院では、主に子宮頸がんと脳腫瘍、希少がんを診ています。
9. 部位別の詳細集計データをみると、先に述べたように口腔・咽頭がんはもちろん、骨・軟部腫瘍、皮膚がん、子宮頸がん、子宮体がん、脳・中枢神経系腫瘍おいては、当院は沖縄県内で一番多く患者さんを診ています。
10. 当院の 5 年相対生存率について、2007-2008 年は生死不明割合が 10% 以上となり、生存率の公表に至らないデータが多いものの、2009-2012 年は生死不明割合が改善し、多くのデータが公表できるようになりました。

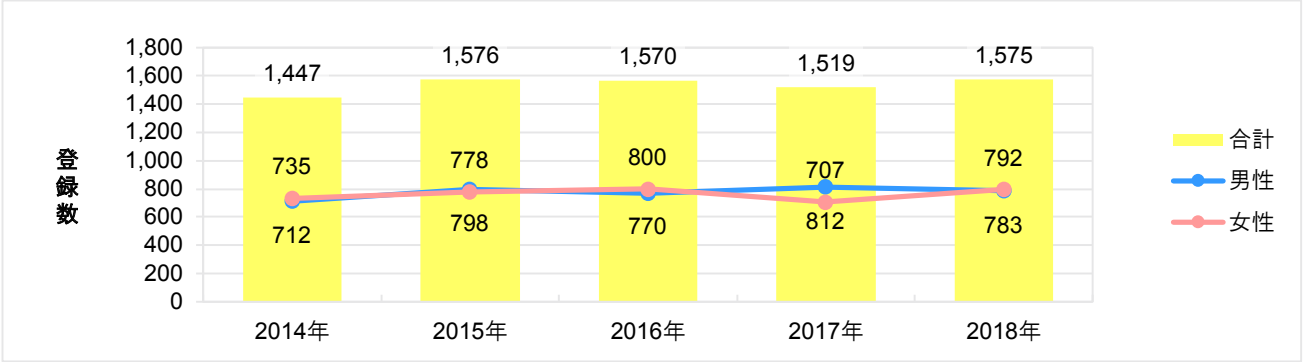
琉球大学医学部・同附属病院は、約 6 年後に西普天間に移転する予定になっています。琉球大学医学部附属病院のがんセンターの機能を強化することで、沖縄県全体のがん診療の質の向上を図ることを目指したいと考えています。



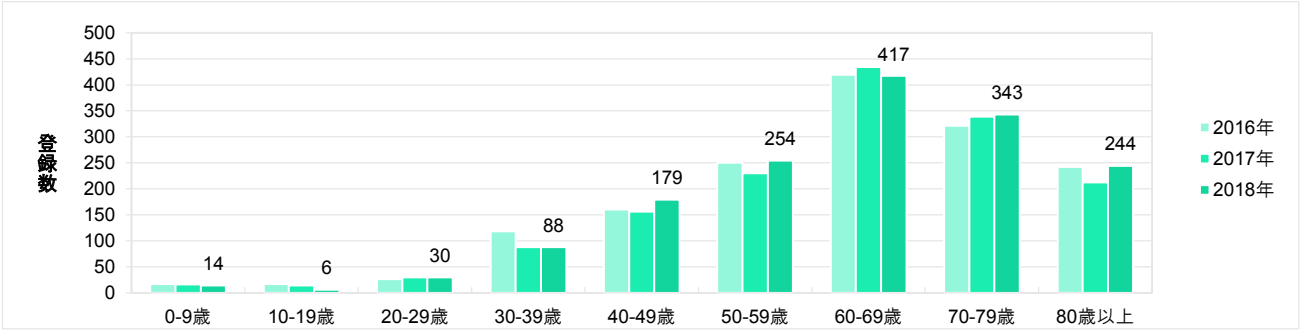
国立大学法人　琉球大学医学部附属病院
病院長　大屋　祐輔

院内がん登録の概要

登録数の推移

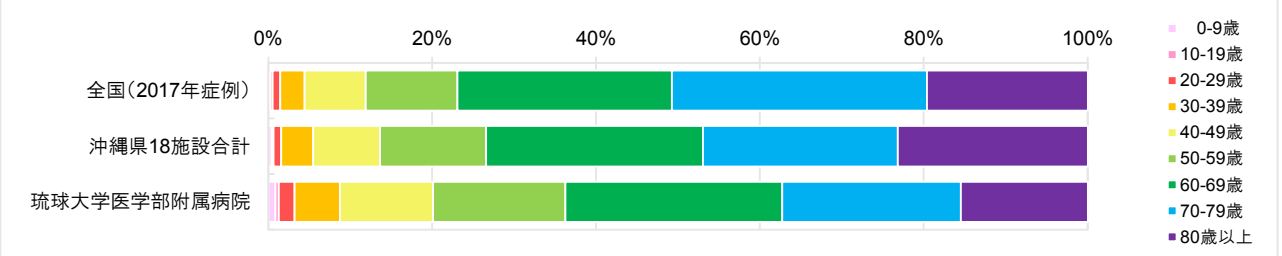


年齢階級別　登録数の推移



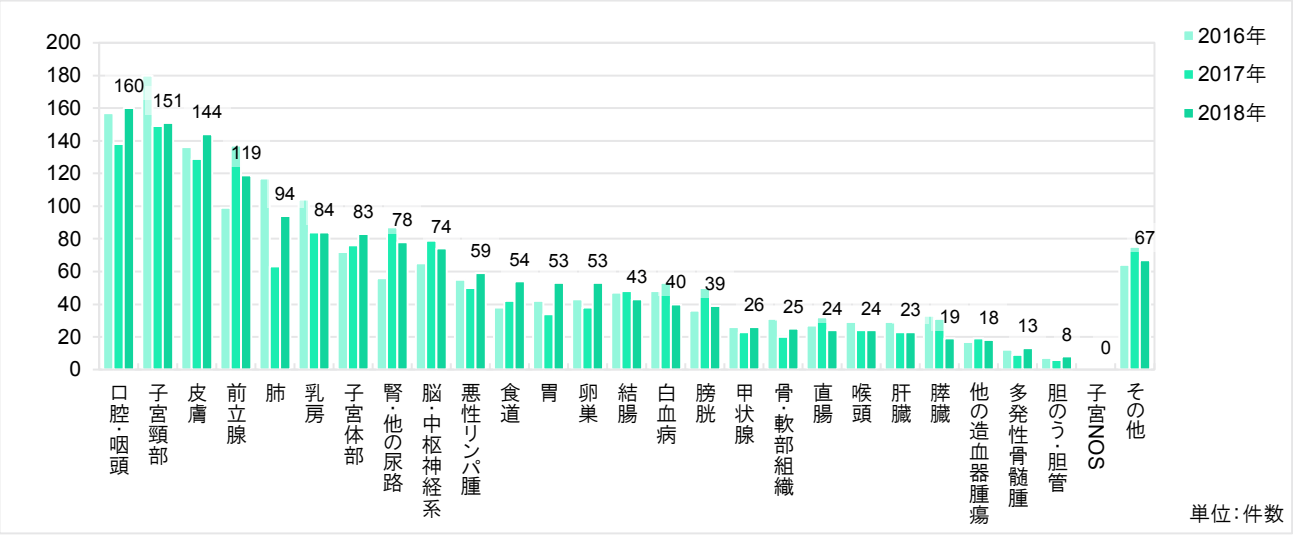
年齢階級別　登録数と登録割合

	全国(2017年症例)		沖縄県18施設合計		琉球大学医学部附属病院	
0-9歳	1,705	(0.2%)	44	(0.4%)	14	(0.9%)
10-19歳	1,965	(0.3%)	23	(0.2%)	6	(0.4%)
20-29歳	6,471	(0.9%)	105	(1.0%)	30	(1.9%)
30-39歳	21,457	(3.0%)	425	(3.9%)	88	(5.6%)
40-49歳	52,941	(7.4%)	896	(8.2%)	179	(11.4%)
50-59歳	79,976	(11.2%)	1,410	(12.9%)	254	(16.1%)
60-69歳	186,117	(26.1%)	2,894	(26.5%)	417	(26.5%)
70-79歳	221,871	(31.2%)	2,606	(23.8%)	343	(21.8%)
80歳以上	139,698	(19.6%)	2,532	(23.2%)	244	(15.5%)
合計	712,201	(100.0%)	10,935	(100.0%)	1,575	(100.0%)

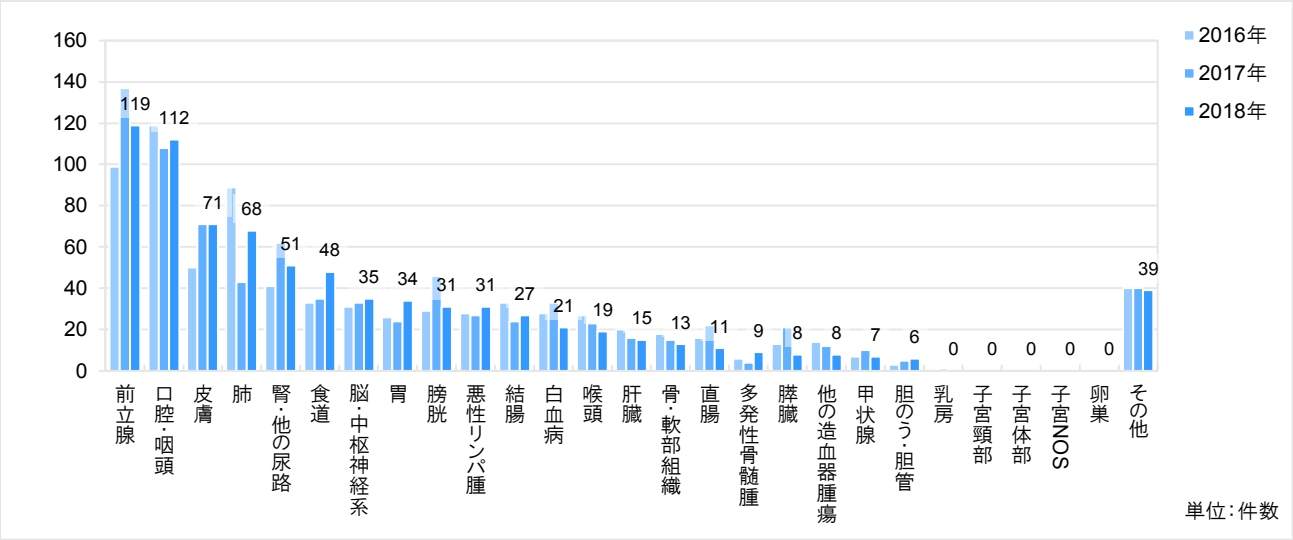


＊症例区分「80：その他」を除いて集計

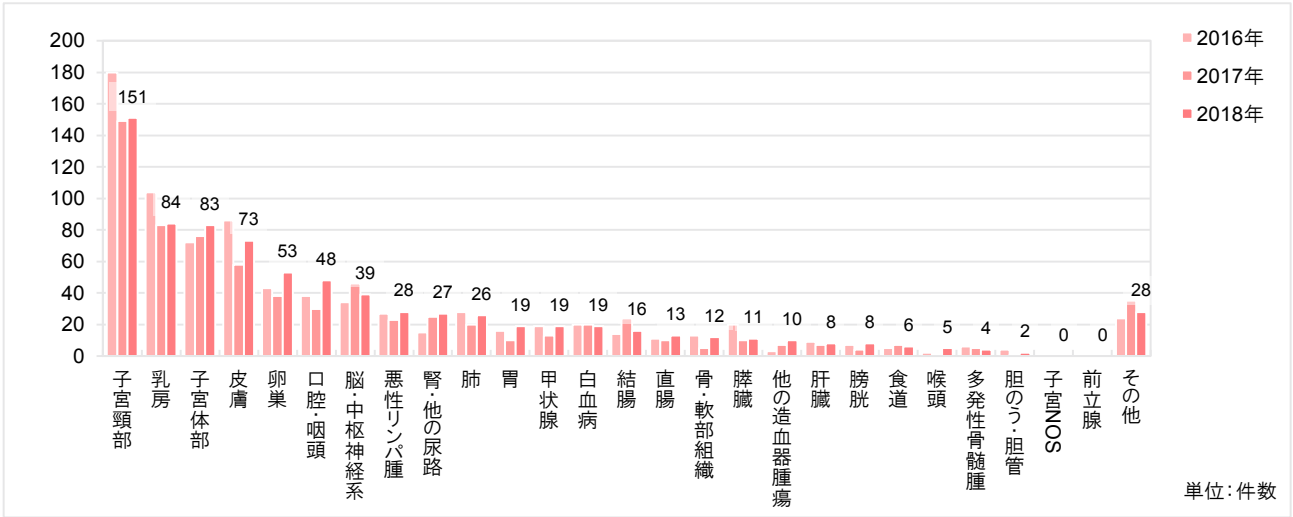
部位別　登録数の推移 — 男女計



部位別　登録数の推移 — 男



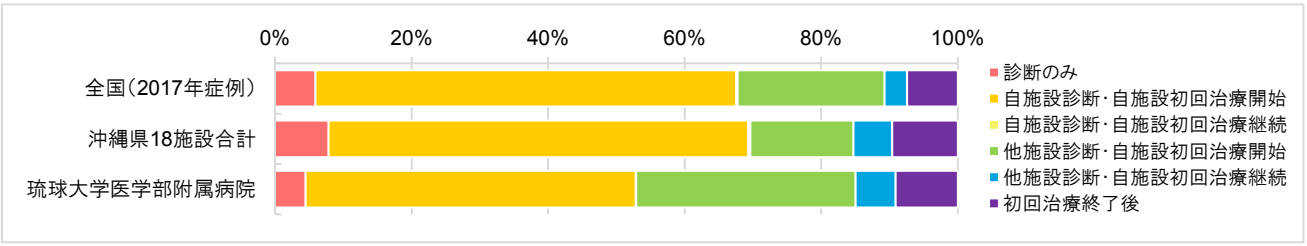
部位別　登録数の推移 — 女



＊症例区分「80：その他」を除いて集計

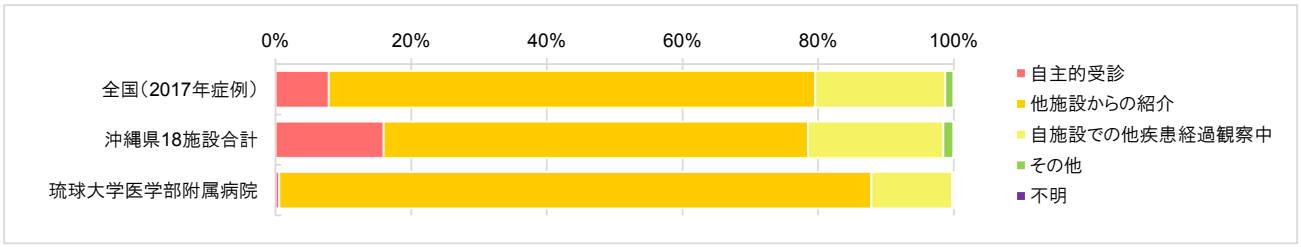
症例区分別　登録数と登録割合

	全国(2017年症例)		沖縄県18施設合計		琉球大学医学部附属病院	
診断のみ	42,302	(5.9%)	856	(7.8%)	71	(4.5%)
自施設診断･自施設初回治療開始	438,978	(61.6%)	6,721	(61.5%)	761	(48.3%)
自施設診断･自施設初回治療継続	1,124	(0.2%)	33	(0.3%)	1	(0.1%)
他施設診断･自施設初回治療開始	153,312	(21.5%)	1,651	(15.1%)	506	(32.1%)
他施設診断･自施設初回治療継続	23,838	(3.3%)	626	(5.7%)	93	(5.9%)
初回治療終了後	52,647	(7.4%)	1,048	(9.6%)	143	(9.1%)
合計	712,201	(100.0%)	10,935	(100.0%)	1,575	(100.0%)



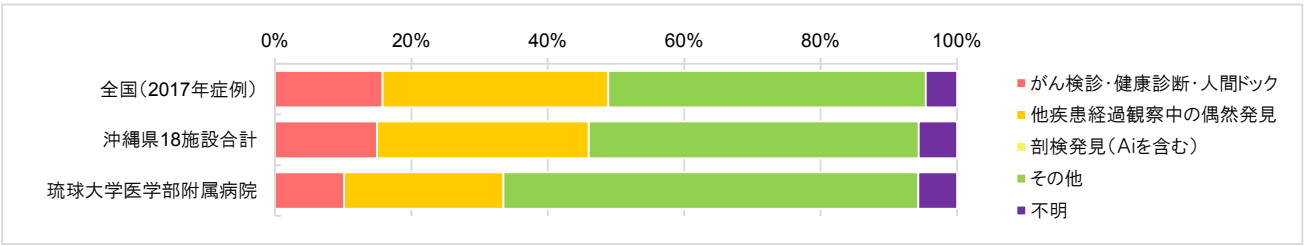
来院経路別　登録数と登録割合

	全国(2017年症例)		沖縄県18施設合計		琉球大学医学部附属病院	
自主的受診	55,803	(7.8%)	1,745	(16.0%)	9	(0.6%)
他施設からの紹介	511,176	(71.8%)	6,838	(62.5%)	1,375	(87.3%)
自施設での他疾患経過観察中	136,118	(19.1%)	2,187	(20.0%)	188	(11.9%)
その他	8,910	(1.3%)	162	(1.5%)	3	(0.2%)
不明	194	(0.0%)	3	(0.0%)	0	(0.0%)
合計	712,201	(100.0%)	10,935	(100.0%)	1,575	(100.0%)



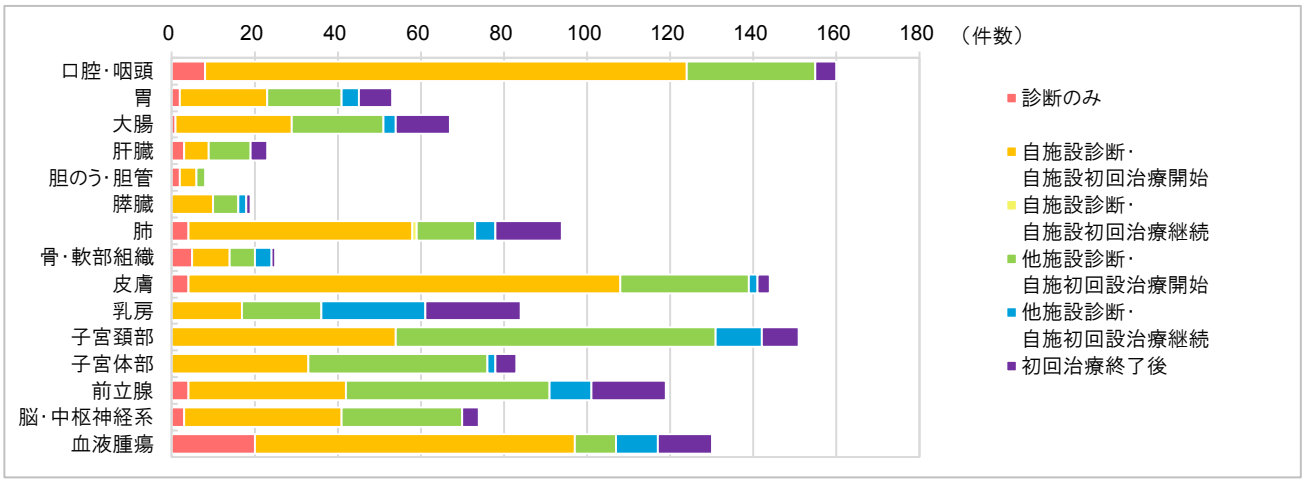
発見経緯別　登録数と登録割合

	全国(2017年症例)		沖縄県18施設合計		琉球大学医学部附属病院	
がん検診･健康診断･人間ドック	112,324	(15.8%)	1,636	(15.0%)	160	(10.2%)
他疾患経過観察中の偶然発見	235,862	(33.1%)	3,393	(31.0%)	368	(23.4%)
剖検発見(Aiを含む)	46	(0.0%)	2	(0.0%)	0	(0.0%)
その他	331,376	(46.5%)	5,293	(48.4%)	958	(60.8%)
不明	32,593	(4.6%)	611	(5.6%)	89	(5.7%)
合計	712,201	(100.0%)	10,935	(100.0%)	1,575	(100.0%)

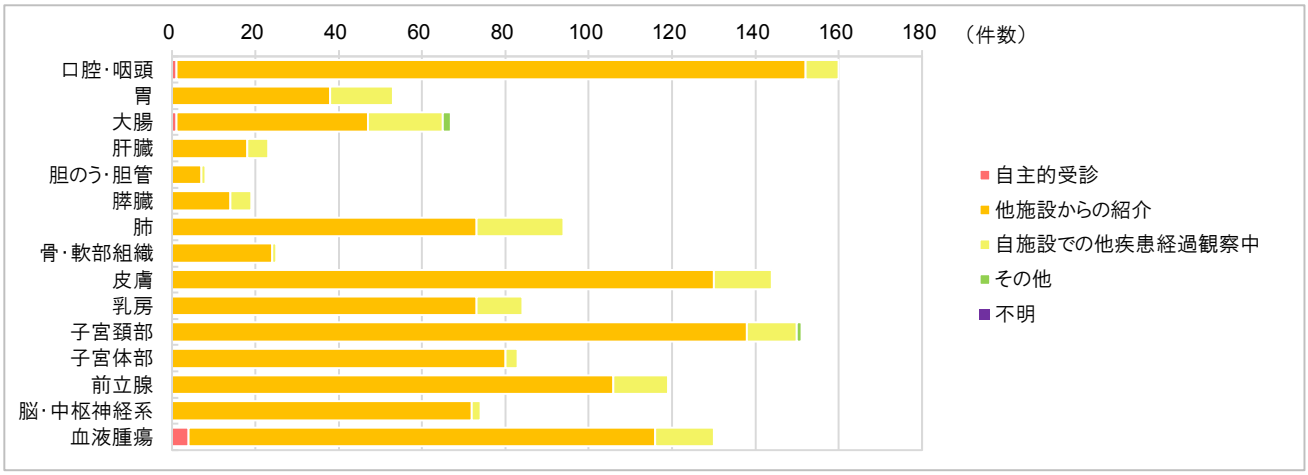


＊症例区分「80：その他」を除いて集計

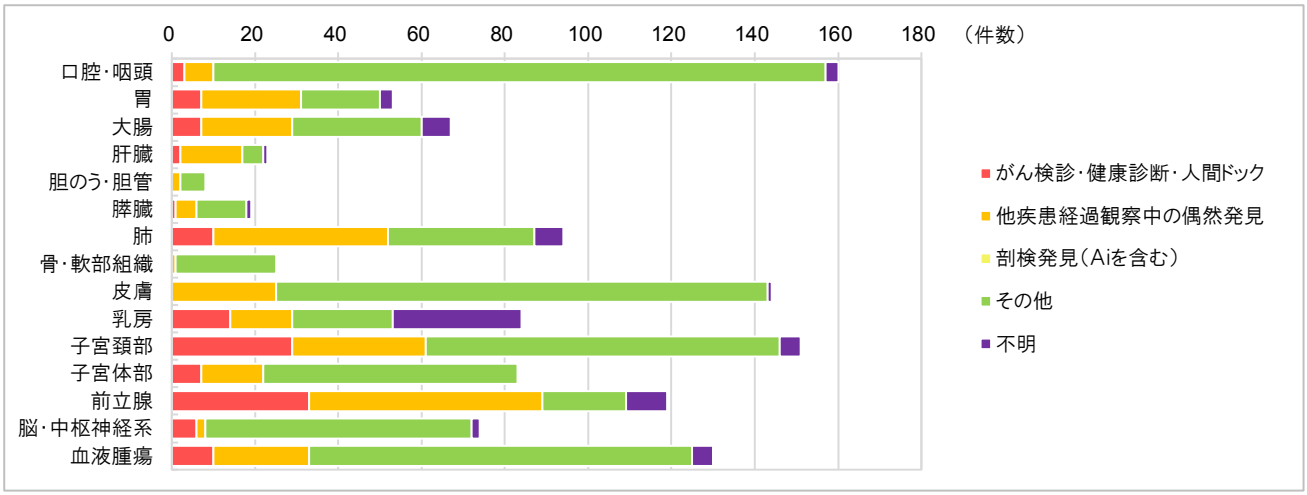
部位別　症例区分別　登録数



部位別　来院経路別　登録数



部位別　発見経緯別　登録数

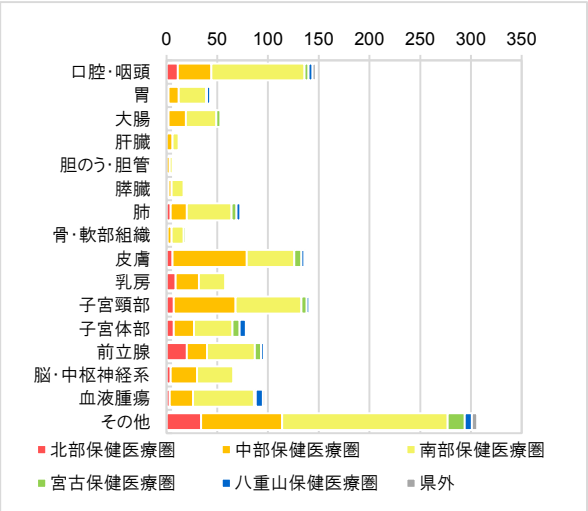


＊症例区分「８０：その他」を除いて集計

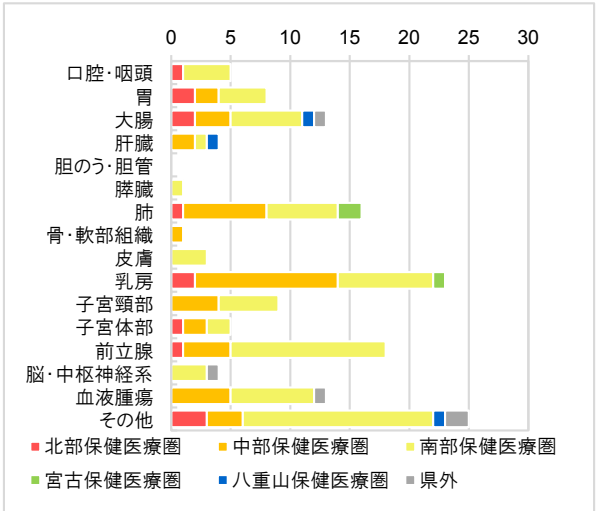
二次保健医療圏別　登録数と登録割合

圏域名	市町村名	登録数	割合	登録割合上位3部位	
北部保健医療圏	名護市　国頭村　大宜味村 東村　今帰仁村　本部町 伊江村　伊平屋村　伊是名村	133	8.4%	前立腺	17.3%
				口腔･咽頭	10.5%
				乳房	8.3%
中部保健医療圏	宜野湾市　沖縄市　うるま市　恩納村 宜野座村　金武町　読谷村　嘉手納町 北谷町　北中城村　中城村	477	30.3%	皮膚	15.7%
				子宮頚部	13.6%
				乳房	7.3%
南部保健医療圏	那覇市　浦添市　糸満市　豊見城市 南城市　西原町　与那原町 南風原町　渡嘉敷村　座間味村 粟国村　渡名喜村　南大東村 北大東村　久米島町　八重瀬町	824	52.3%	口腔･咽頭	12.1%
				血液腫瘍	9.7%
				子宮頚部	8.5%
宮古保健医療圏	宮古島市　多良間村	70	4.4%	肺	10.0%
				皮膚	10.0%
				子宮体部	10.0%
八重山保健医療圏	石垣市　竹富町　与那国町	50	3.2%	血液腫瘍	14.0%
				子宮体部	12.0%
				口腔･咽頭	10.0%
沖縄県外		21	1.3%	--	--
合計		1,575	100.0%	口腔･咽頭	10.0%
				子宮頚部	9.5%
				皮膚	9.1%

二次保健医療圏別　部位別　治療件数*



二次保健医療圏別部位別　初回治療終了後の受け入れ登録数*



*症例区分「80：その他」を除いて集計
*二次保健医療圏別集計は、当該施設を受診したときの患者さんの住所（診断時住所）をもとに集計
*登録割合上位３部位において、登録割合が同数の場合、部位コードが小さい順に表記
*二次保健医療圏別部位別治療件数は、症例区分「20：自施設診断・自施設初回治療開始」「21：自施設診断・自施設初回治療継続」「30：他施設診断・自施設初回治療開始」「31：他施設診断・自施設初回治療継続」のみ集計
*二次保健医療圏別部位別初回治療終了後の受け入れ登録数は、症例区分「40：初回治療終了後」のみ集計

沖縄県立
南部医療センター・
こども医療センター



382

基本情報	
病院名	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター
所在地	〒 901-1193　沖縄県島尻郡南風原町字新川 118-1
電話（代表）	098-888-0123
ホームページ	http://www.hosp.pref.okinawa.jp/nanbu/

診療案内			
診療科	内科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腎ﾘｳﾏﾁ科、血液腫瘍内科、糖尿病代謝内科、感染症内科、精神科、一般外科、呼吸器外科、消化器外科、心臓血管外科、気管食道外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、泌尿器科、小児外科、小児総合、小児内分泌代謝科、新生児科、小児整形外科、小児形成外科、小児神経科、小児循環器科、小児腎臓科、小児脳神経外科、小児血液腫瘍科、小児心臓血管外科、小児耳鼻咽喉科、小児泌尿器科、小児眼科、小児麻酔科、小児放射線科、小児精神科、皮膚科、産科、婦人科、耳鼻咽喉科、麻酔科、放射線科、ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ科、眼科、歯科口腔外科、病理診断科、救急科、腎臓内科、乳腺外科　合計 50 診療科		
病床数	434 床	平均在院日数	12.43 日
入院患者のべ数	149,581 人	外来患者のべ数	162,129 人
外来化学療法の実施	○	放射線治療の実施	○
緩和ケア外来	×	緩和ケアチーム	○
緩和ケア病棟	×	緩和ケア病床数	0 床
院内がん登録実務者数 （実務者のうち研修修了者数）	実務者数１名（初級者０名、中級者１名		

がん相談	
名称	地域連携室・患者サポート
電話番号	代表 098 － 888 － 0123
対応時間	月～金曜日　9：00 ～ 16：00

患者さん・ご家族用の設備	
交流の場 （がん患者サロンなど）	×
院内図書館 （図書等を設置している場所）	○



沖縄県立南部医療センター・こども医療センターは、こども部門と成人部門の両方の機能を併せ持つ病院として平成 18(2006) 年 4 月に開院しました。病院の理念として、『こどもから大人まで「大切な命を守り、県民に貢献する」病院』を目指し、高度急性期、小児、周産期、救命救急、離島医療など、幅広い分野で県民への医療サービスを提供しています。

当院は成人部門 32 診療科、小児部門 28 診療科の 50 診療科を開設しています。血液腫瘍内科においては各種白血病、悪性リンパ腫、多発性骨腫瘍などの造血器悪性腫瘍を中心に悪性から良性までの血液疾患の治療に当たっています。

平成 29(2017) 年度から血液内科専門医が 2 名になり体制を強化し、令和 2(2020) 年度からは 3 名体制となる予定です。小児血液・腫瘍内科は、小児がん白血病研究グループ (CCLSG)、日本小児白血病リンパ腫研究グループ (JPLSG) 等の全国規模の研究組織に参加し、最新の治療を実践しています。琉球大学医学部附属病院小児科と強く連携し、小児がん患者への最善の治療を目指しています。また、ソーシャルワーカー、保育士、心理士、チャイルドライフスペシャリスト、ボランティアなどが協力し、病児のトータルケアを目指して、病児と家族を含めた支援体制をとっています。平成 28(2016) 年 10 月に新しい放射線治療装置 (エレクタ社製バーサ HD) を導入しました。放射線治療の精度が高くなり、肺がん、乳がん、食道がん、直腸がんなどの放射線治療に加えて、肺腫瘍や肝腫瘍に対する体幹部定位照射 (ピンポイント照射)、前立腺がん、原発性脳腫瘍、頭頸部がん等に対する強度変調放射線治療 (IMRT) などの高精度の放射線治療を行っています。

当院の院内がん登録は平成 22(2010) 年より開始され、平成 30(2018) 年は登録数が 609 件と漸増で推移しています。2018 年の登録数を年齢階級別の割合で見ると、こども医療センターを有する当院は、0 ～ 9 歳までが 3.1% であり、全国の 0.2%(2017 年) と比較しても小児の割合が高くなっています。10 ～ 19 歳についても 1.1%(全国 0.3%) と高率になっています。

部位別登録件数では男性が肺、結腸、白血病の順で多く、女性では乳房、結腸、子宮頸部となっています。男性では肺がん、女性では乳がんの登録数が特に増加しています。

患者の居住別では、南部保健医療圏が全体の 81.6% を占め、次いで中部保健医療圏の 6.6%、北部保健医療圏と宮古保健医療圏がそれぞれ 3.6% となっています。

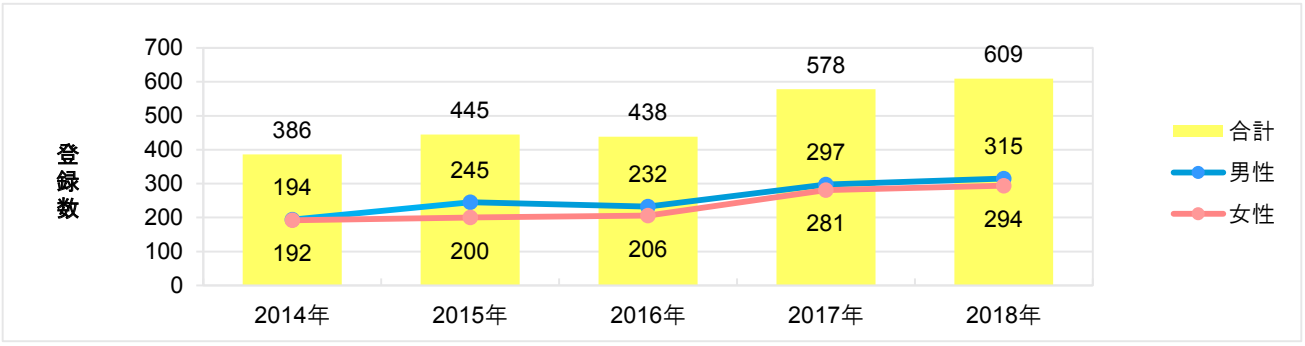
当院はがん診療拠点病院の指定は受けておりませんが、成人部門の悪性腫瘍全般に渡って診療を行っており、平成 29(2017) 年 4 月には婦人科腫瘍専門医も赴任し、対応しています。また、小児がんについては琉球大学医学部附属病院と連携し、小児がん治療の中心的な役割を果たしていきたいと考えています。

沖縄県立南部医療センター・こども医療センター
病院長　小濱　守安

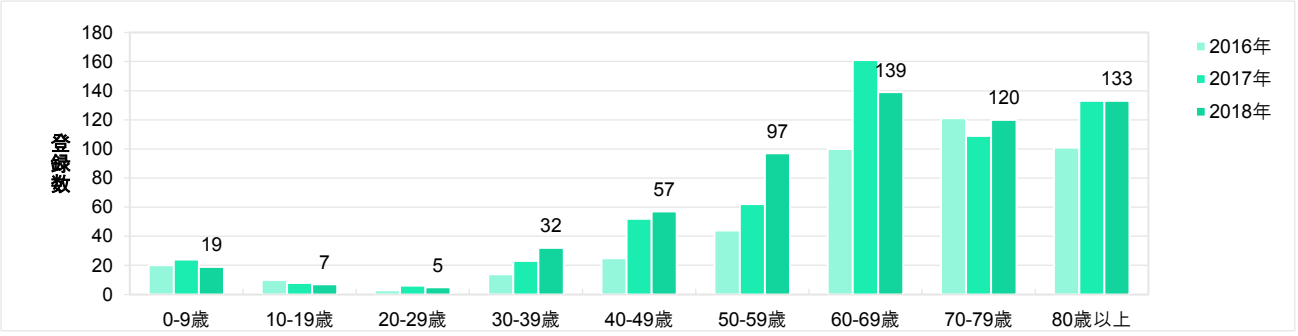


院内がん登録の概要

登録数の推移

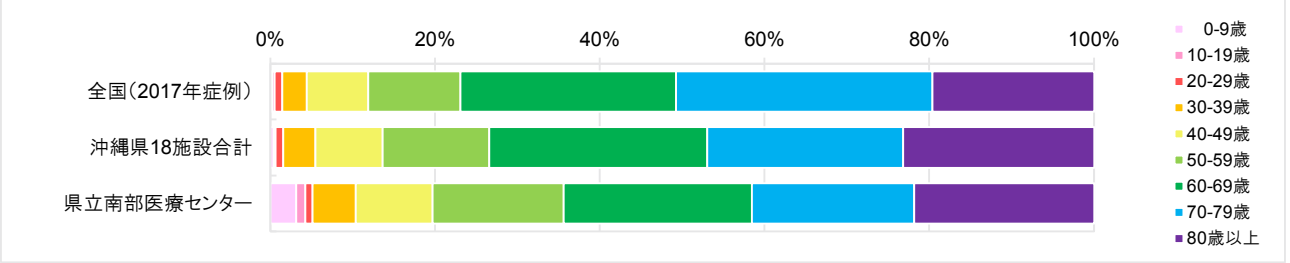


年齢階級別　登録数の推移



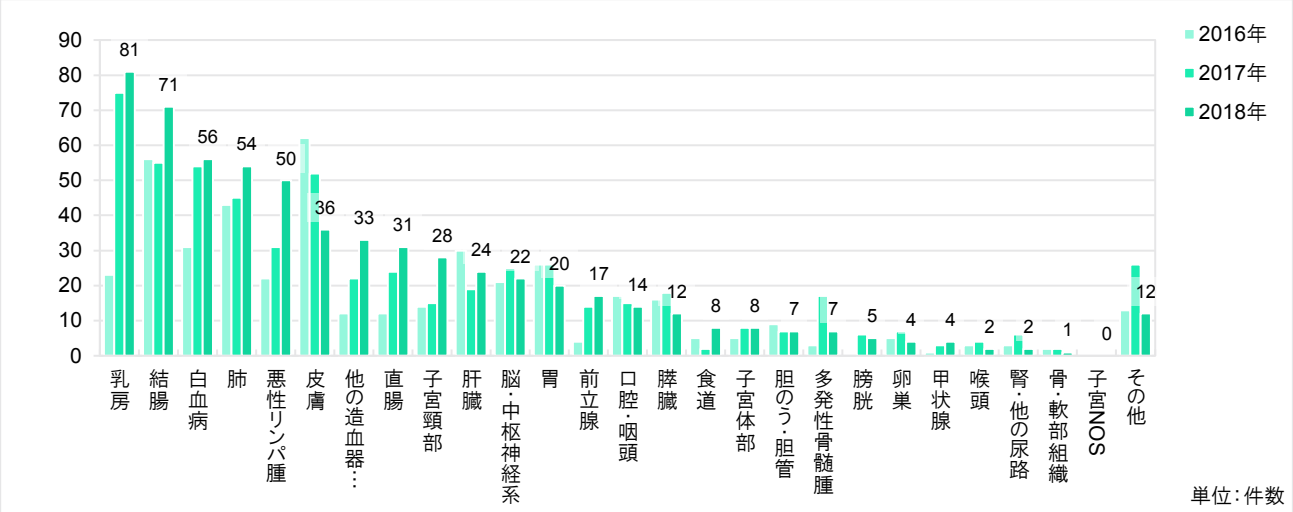
年齢階級別　登録数と登録割合

	全国(2017年症例)		沖縄県18施設合計		県立南部医療センター	
0-9歳	1,705	(0.2%)	44	(0.4%)	19	(3.1%)
10-19歳	1,965	(0.3%)	23	(0.2%)	7	(1.1%)
20-29歳	6,471	(0.9%)	105	(1.0%)	5	(0.8%)
30-39歳	21,457	(3.0%)	425	(3.9%)	32	(5.3%)
40-49歳	52,941	(7.4%)	896	(8.2%)	57	(9.4%)
50-59歳	79,976	(11.2%)	1,410	(12.9%)	97	(15.9%)
60-69歳	186,117	(26.1%)	2,894	(26.5%)	139	(22.8%)
70-79歳	221,871	(31.2%)	2,606	(23.8%)	120	(19.7%)
80歳以上	139,698	(19.6%)	2,532	(23.2%)	133	(21.8%)
合計	712,201	(100.0%)	10,935	(100.0%)	609	(100.0%)

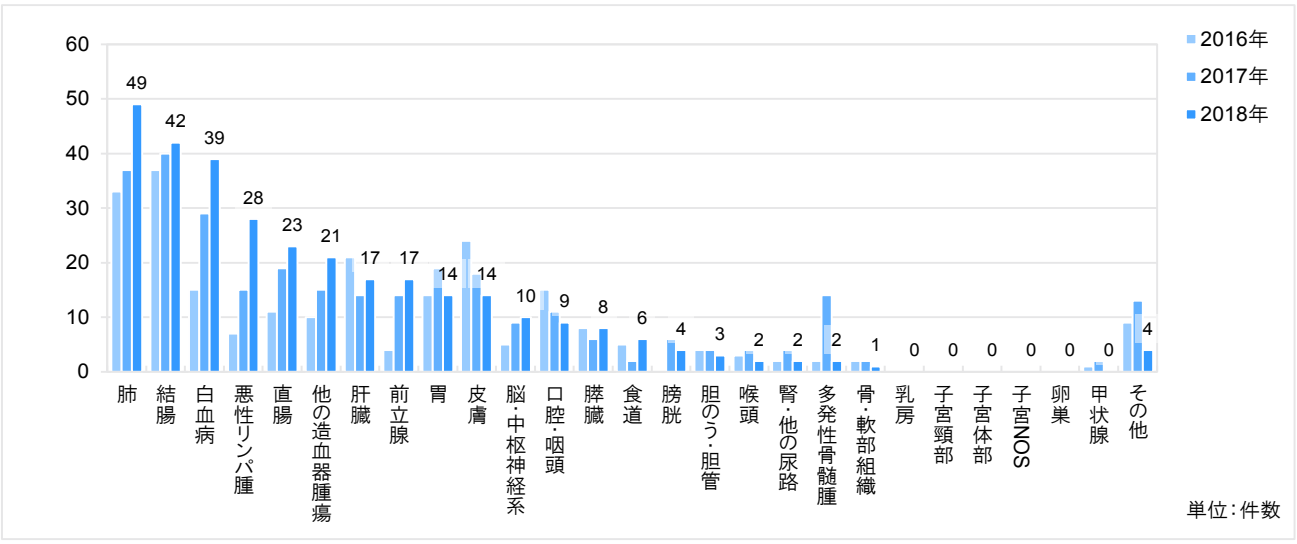


＊症例区分「80：その他」を除いて集計
＊国立がん研究センターへ院内がん登録データの提供を行った年症例から表示

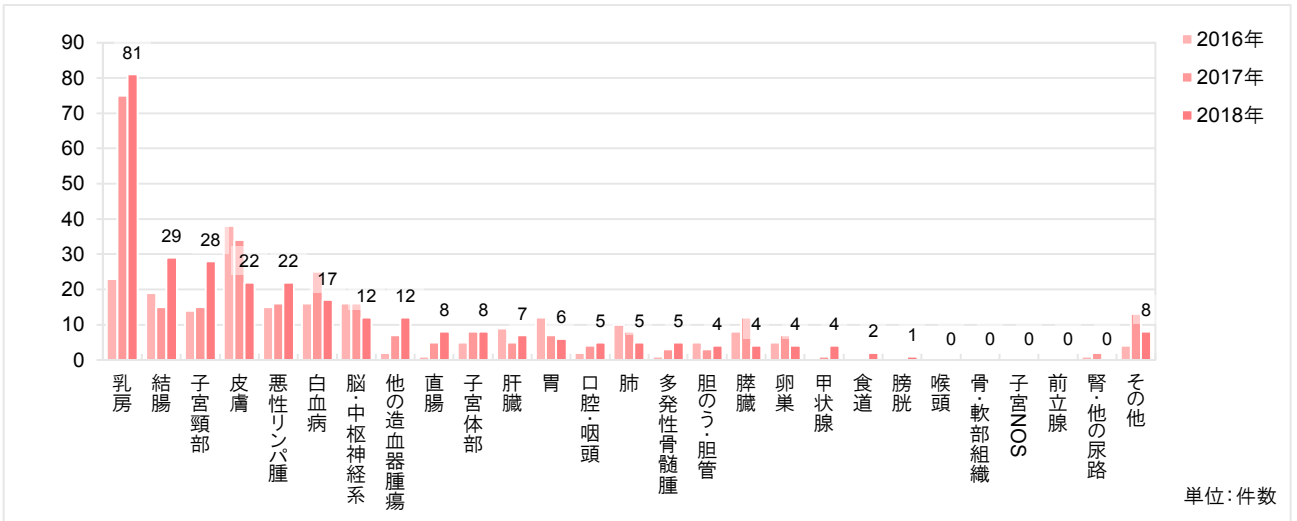
部位別　登録数の推移 — 男女計



部位別　登録数の推移 — 男



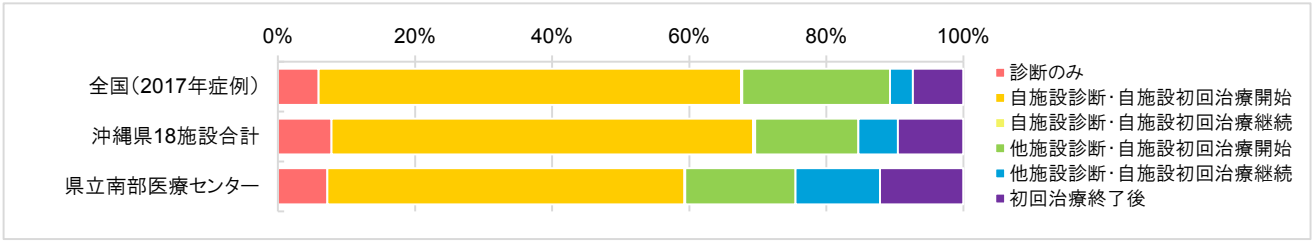
部位別　登録数の推移 — 女



＊症例区分「80：その他」を除いて集計

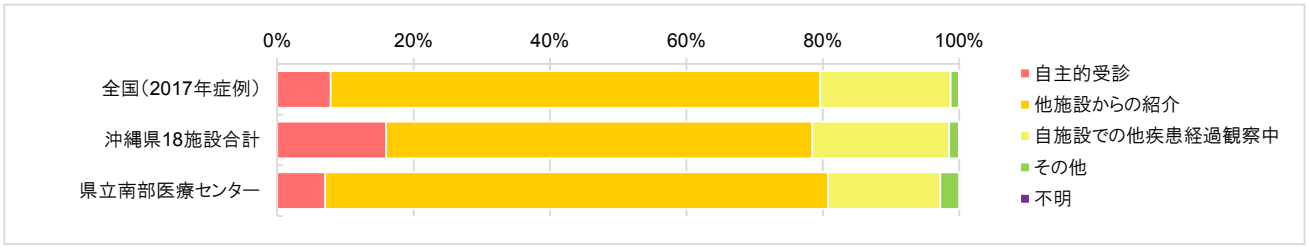
症例区分別　登録数と登録割合

	全国(2017年症例)		沖縄県18施設合計		県立南部医療センター	
診断のみ	42,302	(5.9%)	856	(7.8%)	44	(7.2%)
自施設診断･自施設初回治療開始	438,978	(61.6%)	6,721	(61.5%)	317	(52.1%)
自施設診断･自施設初回治療継続	1,124	(0.2%)	33	(0.3%)	1	(0.2%)
他施設診断･自施設初回治療開始	153,312	(21.5%)	1,651	(15.1%)	98	(16.1%)
他施設診断･自施設初回治療継続	23,838	(3.3%)	626	(5.7%)	75	(12.3%)
初回治療終了後	52,647	(7.4%)	1,048	(9.6%)	74	(12.2%)
合計	712,201	(100.0%)	10,935	(100.0%)	609	(100.0%)



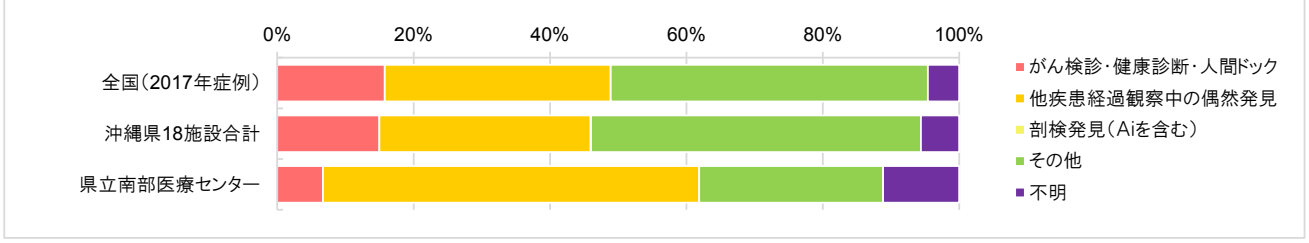
来院経路別　登録数と登録割合

	全国(2017年症例)		沖縄県18施設合計		県立南部医療センター	
自主的受診	55,803	(7.8%)	1,745	(16.0%)	43	(7.1%)
他施設からの紹介	511,176	(71.8%)	6,838	(62.5%)	449	(73.7%)
自施設での他疾患経過観察中	136,118	(19.1%)	2,187	(20.0%)	100	(16.4%)
その他	8,910	(1.3%)	162	(1.5%)	17	(2.8%)
不明	194	(0.0%)	3	(0.0%)	0	(0.0%)
合計	712,201	(100.0%)	10,935	(100.0%)	609	(100.0%)



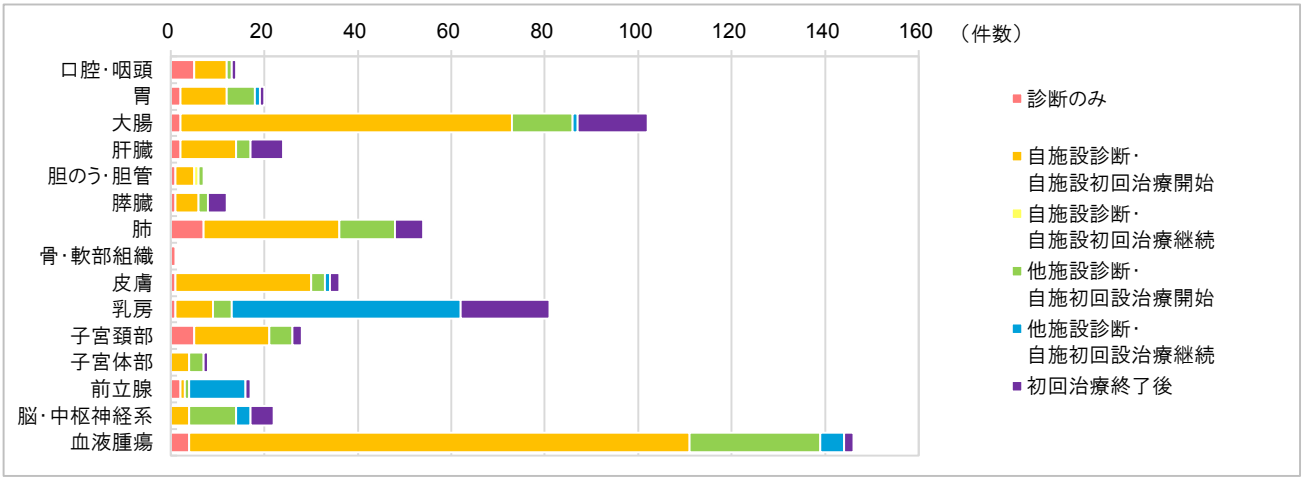
発見経緯別　登録数と登録割合

	全国(2017年症例)		沖縄県18施設合計		県立南部医療センター	
がん検診･健康診断･人間ドック	112,324	(15.8%)	1,636	(15.0%)	41	(6.7%)
他疾患経過観察中の偶然発見	235,862	(33.1%)	3,393	(31.0%)	336	(55.2%)
剖検発見(Aiを含む)	46	(0.0%)	2	(0.0%)	0	(0.0%)
その他	331,376	(46.5%)	5,293	(48.4%)	164	(26.9%)
不明	32,593	(4.6%)	611	(5.6%)	68	(11.2%)
合計	712,201	(100.0%)	10,935	(100.0%)	609	(100.0%)

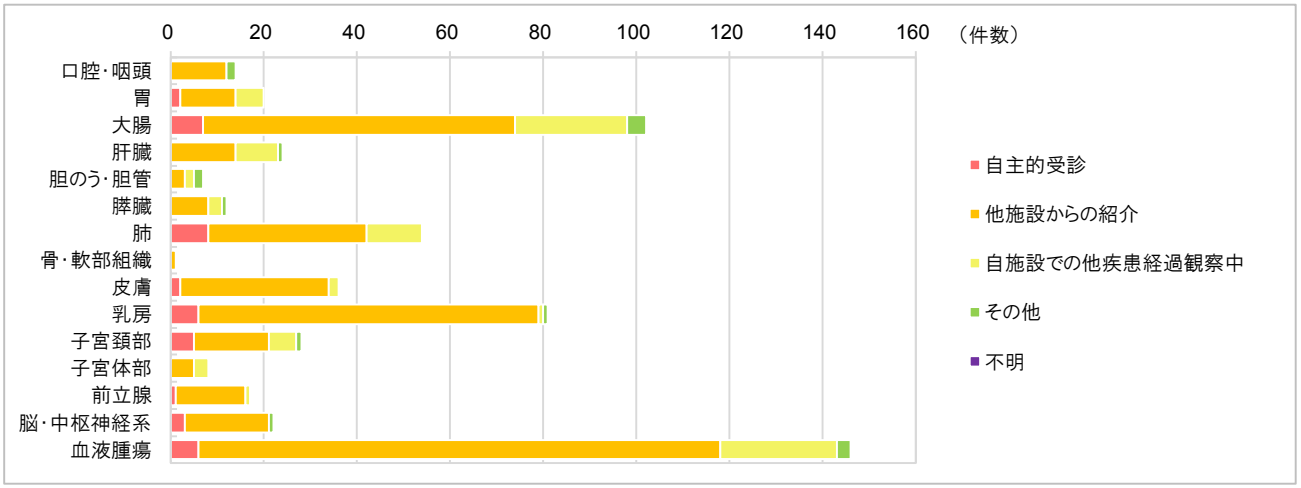


＊症例区分「80：その他」を除いて集計

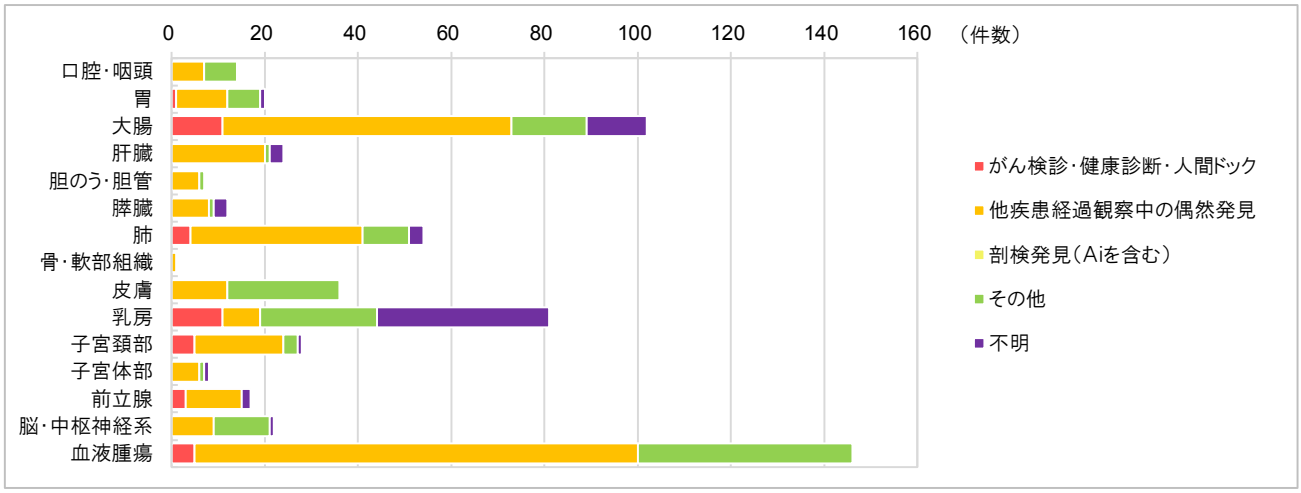
部位別　症例区分別　登録数



部位別　来院経路別　登録数



部位別　発見経緯別　登録数

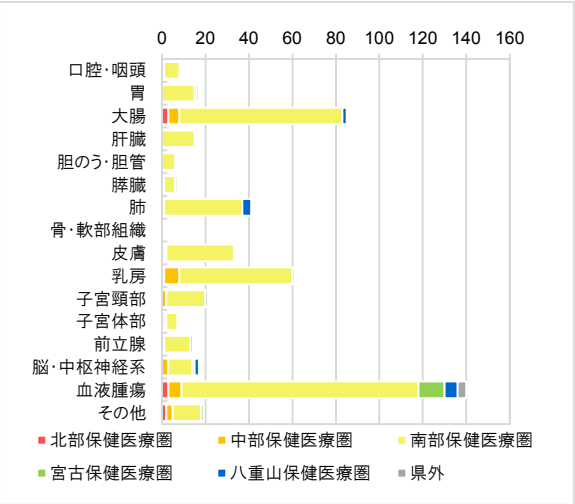


＊症例区分「８０：その他」を除いて集計

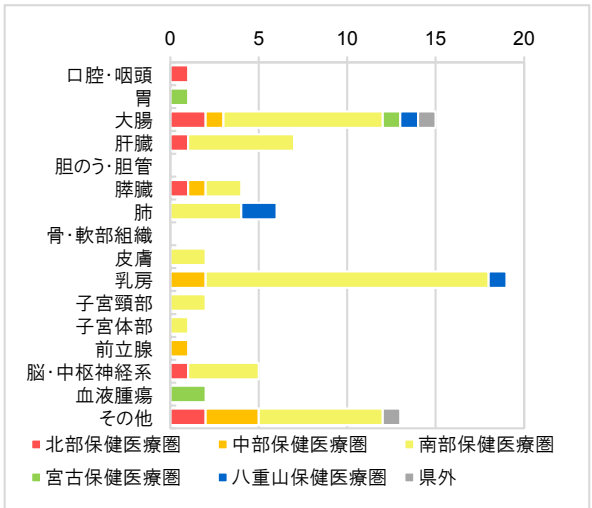
二次保健医療圏別　登録数と登録割合

圏域名	市町村名	登録数	割合	登録割合上位3部位	
北部保健医療圏	名護市　国頭村　大宜味村 東村　今帰仁村　本部町 伊江村　伊平屋村　伊是名村	22	3.6%	大腸	22.7%
				血液腫瘍	13.6%
				口腔･咽頭	9.1%
中部保健医療圏	宜野湾市　沖縄市　うるま市　恩納村 宜野座村　金武町　読谷村　嘉手納町 北谷町　北中城村　中城村	40	6.6%	乳房	25.0%
				大腸	17.5%
				血液腫瘍	15.0%
南部保健医療圏	那覇市　浦添市　糸満市　豊見城市 南城市　西原町　与那原町 南風原町　渡嘉敷村　座間味村 粟国村　渡名喜村　南大東村 北大東村　久米島町　八重瀬町	497	81.6%	血液腫瘍	22.5%
				大腸	17.1%
				乳房	13.7%
宮古保健医療圏	宮古島市　多良間村	22	3.6%	血液腫瘍	68.2%
				胃	13.6%
				大腸	4.5%
八重山保健医療圏	石垣市　竹富町　与那国町	20	3.3%	肺	30.0%
				血液腫瘍	30.0%
				大腸	15.0%
沖縄県外		8	1.3%	--	--
合計		609	100.0%	血液腫瘍	23.3%
				大腸	16.6%
				乳房	13.1%

二次保健医療圏別　部位別　治療件数*



二次保健医療圏別部位別 初回治療終了後の受け入れ登録数*



＊症例区分「80：その他」を除いて集計
＊二次保健医療圏別集計は、当該施設を受診したときの患者さんの住所（診断時住所）をもとに集計
＊登録割合上位３部位において、登録割合が同数の場合、部位コードが小さい順に表記
＊二次保健医療圏別部位別治療件数は、症例区分「20：自施設診断・自施設初回治療開始」「21：自施設診断・自施設初回治療継続」「30：他施設診断・自施設初回治療開始」「31：他施設診断・自施設初回治療継続」のみ集計
＊二次保健医療圏別部位別初回治療終了後の受け入れ登録数は、症例区分「40：初回治療終了後」のみ集計

南部病院



390

基本情報	
病院名	社会医療法人　友愛会　南部病院
所在地	〒 901-0362　沖縄県糸満市字真栄里 870 番地
電話（代表）	098-994-0501
ホームページ	http://www.yuuai.or.jp/

診療案内			
診療科	内科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、神経内科、脳神経外科、外科、整形外科、泌尿器科、麻酔科、リハビリテーション科、皮膚科、耳鼻咽喉科、放射線科、精神科、歯科、緩和ケア内科 合計 17 診療科		
病床数	188 床	平均在院日数	34.9 日
入院患者のべ数	67,891 人	外来患者のべ数	65,830 人
外来化学療法の実施	○	放射線治療の実施	×
緩和ケア外来	○	緩和ケアチーム	○
緩和ケア病棟	○	緩和ケア病床数	21 床
院内がん登録実務者数 （実務者のうち研修修了者数）	実務者数　4 名（初級者　4 名）		

がん相談	
名称	緩和ケア相談室
電話番号	代表 098-994-0501
対応時間	月～金曜日　9：00 ～ 16：00

患者さん・ご家族用の設備	
交流の場 （がん患者サロンなど）	×
院内図書館 （図書等を設置している場所）	○



南部病院は、リハビリテーション機能、緩和ケア医療、生活習慣病を中心とした地域のかかり付け医制度の充実、医療と介護の在宅サービス事業を４本柱とした、国が進める地域医療計画の中でいわゆる回復期の領域を担う病院として機能しております。
がん治療に関しては、友愛会として健診、急性期治療から緩和ケアまでのトータル医療を目指しています。その中で南部病院は、本人の希望に寄り添ったケアが提供できるよう、緩和ケア病棟と訪問診療部門の連携に努めた緩和ケアを担っています。そのため、がん登録のほとんどが緩和ケアの症例だと考えられ、その結果が反映されていると感じます。

南部病院の 2018 年症例の登録数は 184 件で、昨年に比べ３件増加。沖縄県 18 施設の登録数に占める南部病院の割合は１．７％でした。年齢階級別の登録数における割合をみてみると、沖縄県 18 施設合計では、60 － 69 歳が２６．５％と最も高くなっているのに対し、南部病院では、80 歳以上の症例が４２．９％と最も高くなっていました。18 施設合計の 80 歳以上の割合は２３．２％ですので、80 歳以上の症例が多いことが南部病院の特徴だといえます。

南部病院の上位５部位は、肺がんが昨年より１件増加し 34 件と最も多く、大腸がん 26 件、乳がん 16 件、膵臓がん 15 件、胆嚢・胆管がん 14 件の結果となっています。

南部病院の症例区分別の登録数と登録割合は、「初回治療終了後」が 155 件で登録割合８４．２％でした。また、来院経路別の登録数と登録割合は、「他施設からの紹介」が 150 件で８１．５％でした。他施設にて治療後、南部病院の緩和ケア病棟へ紹介されている症例がほとんどだと考えられます。
南部病院の発見経緯のうち「がん検診・健康診断」の割合が 10 件で５．４％と低いことは、検診での早期発見の重要性を裏付ける結果と言えるかもしれません。

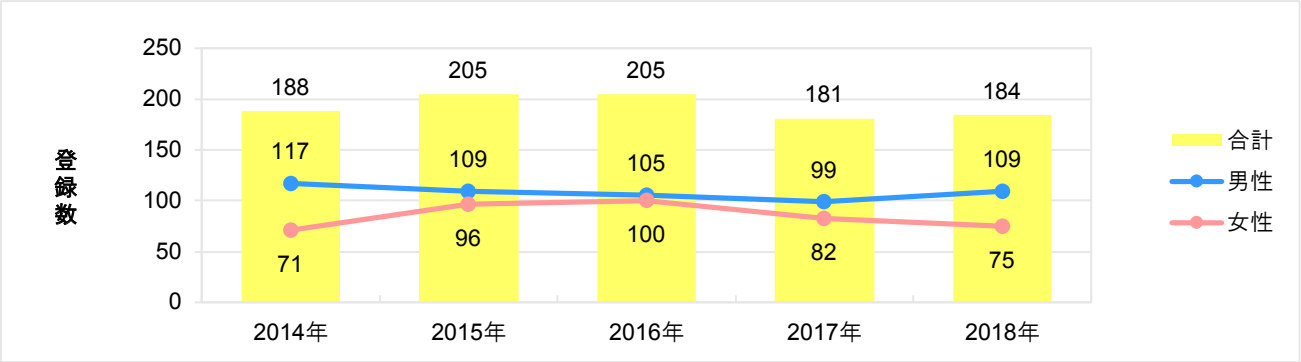
友愛会では機能分化を推し進めているところであり、その一環として、南部病院は豊見城中央病院跡地に移転する予定となっております。地域に根ざした包括ケア病院として、豊見城中央病院との親密でより機能的な関係を作り上げていくことを基本に、他の急性期病院、地域の開業医の先生方、行政とも連携を取り、地域への貢献につなげていきたいと存じます。

社会医療法人友愛会　南部病院
病院長　外間　力人

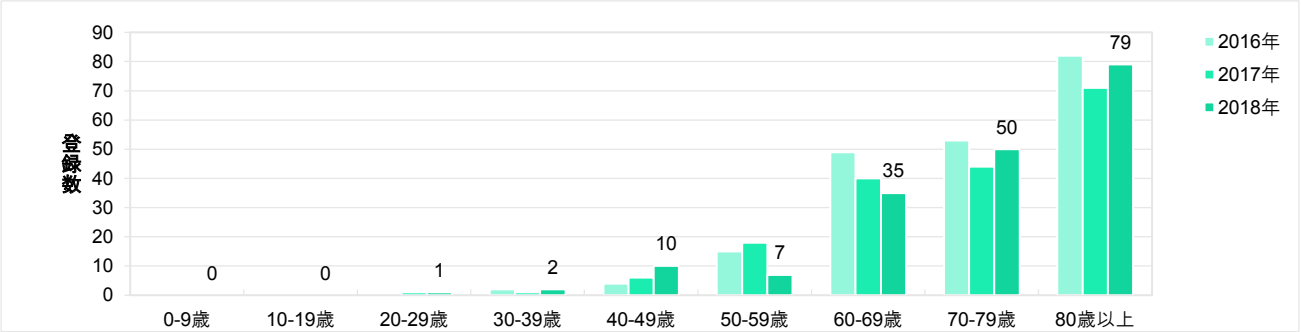


院内がん登録の概要

登録数の推移

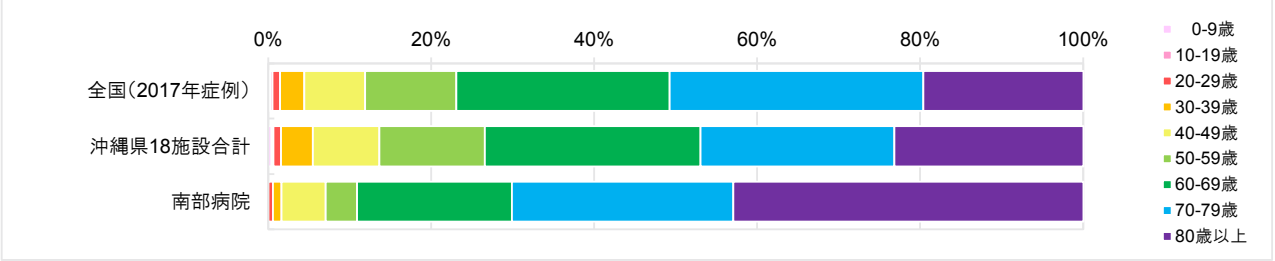


年齢階級別　登録数の推移



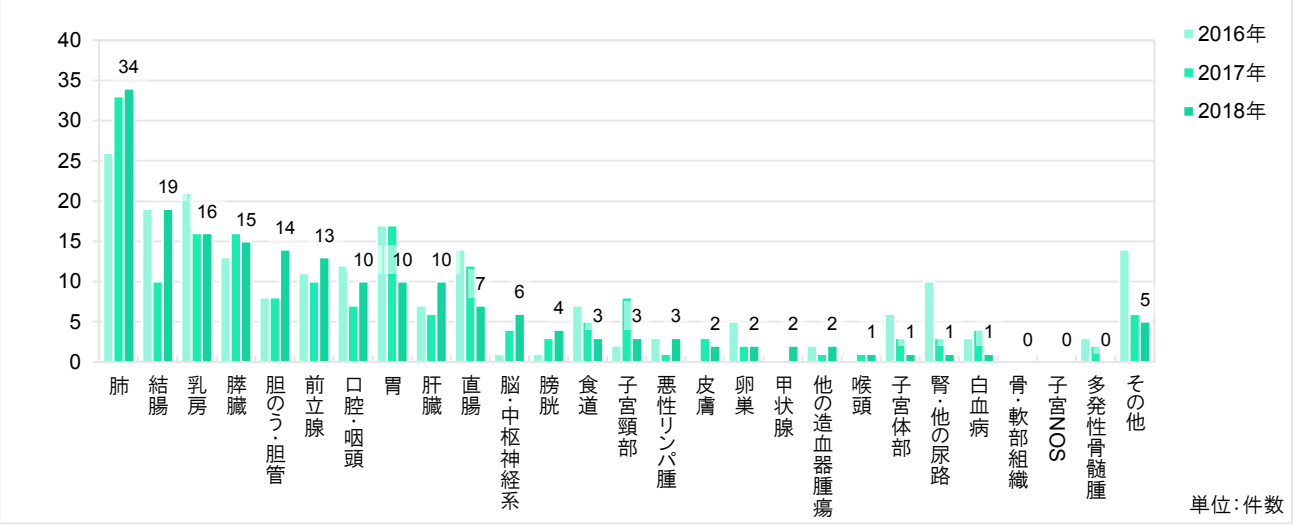
年齢階級別　登録数と登録割合

	全国(2017年症例)		沖縄県18施設合計		南部病院	
0-9歳	1,705	(0.2%)	44	(0.4%)	0	(0.0%)
10-19歳	1,965	(0.3%)	23	(0.2%)	0	(0.0%)
20-29歳	6,471	(0.9%)	105	(1.0%)	1	(0.5%)
30-39歳	21,457	(3.0%)	425	(3.9%)	2	(1.1%)
40-49歳	52,941	(7.4%)	896	(8.2%)	10	(5.4%)
50-59歳	79,976	(11.2%)	1,410	(12.9%)	7	(3.8%)
60-69歳	186,117	(26.1%)	2,894	(26.5%)	35	(19.0%)
70-79歳	221,871	(31.2%)	2,606	(23.8%)	50	(27.2%)
80歳以上	139,698	(19.6%)	2,532	(23.2%)	79	(42.9%)
合計	712,201	(100.0%)	10,935	(100.0%)	184	(100.0%)

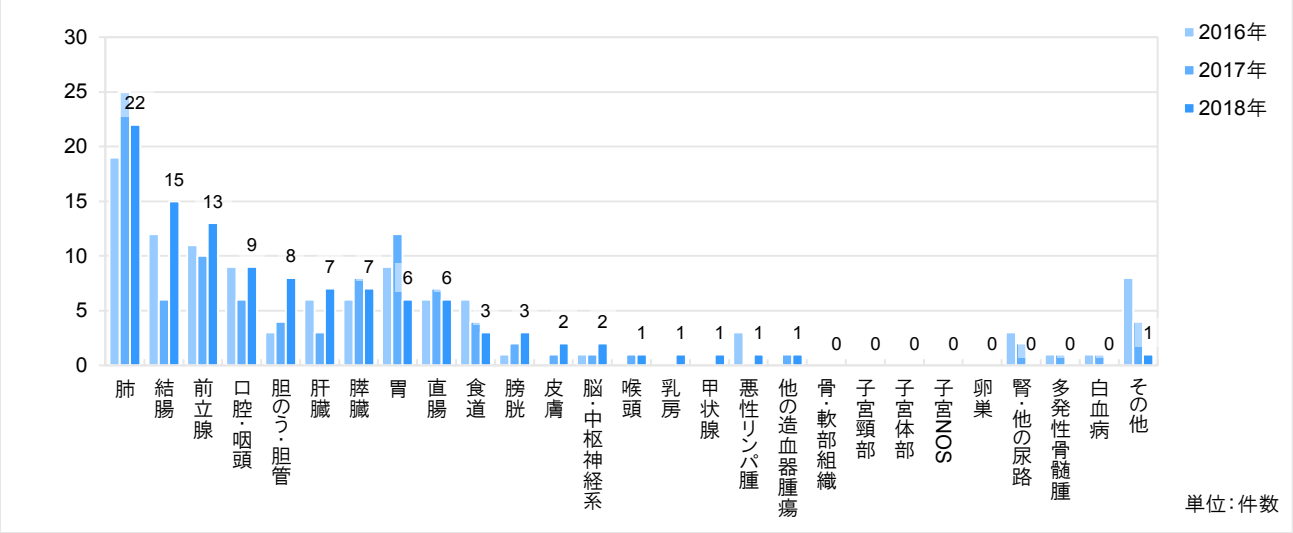


＊症例区分「80：その他」を除いて集計

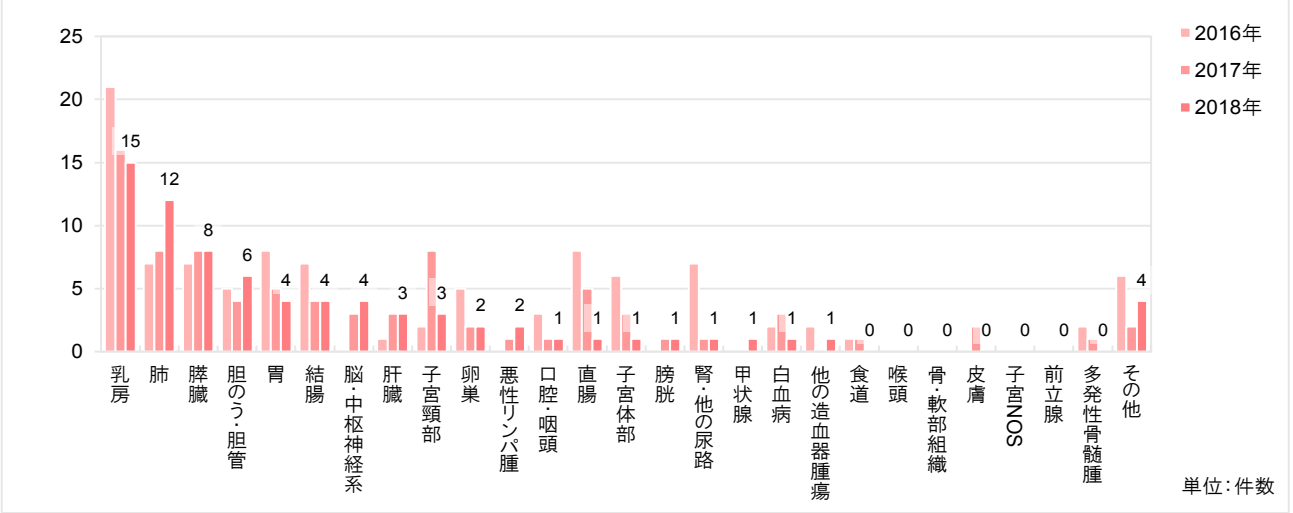
部位別　登録数の推移 — 男女計



部位別　登録数の推移 — 男



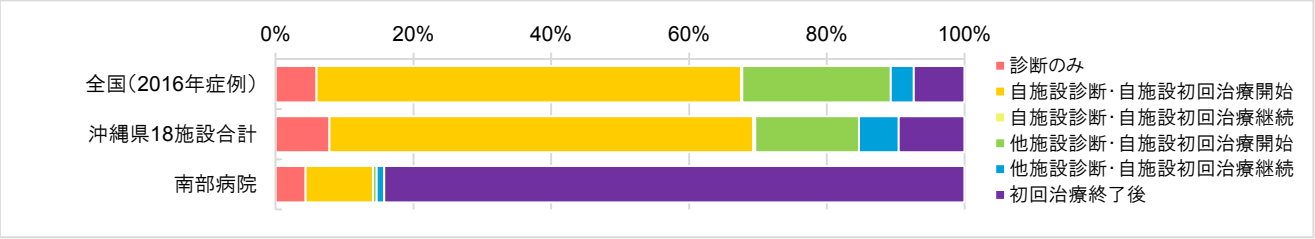
部位別　登録数の推移 — 女



＊症例区分「80：その他」を除いて集計

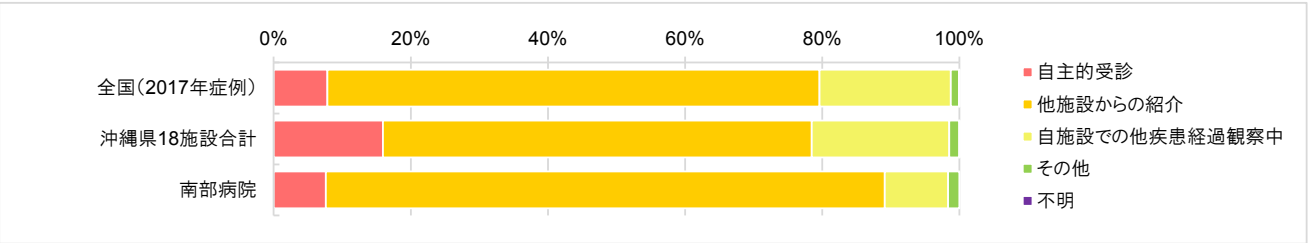
症例区分別　登録数と登録割合

	全国(2016年症例)		沖縄県18施設合計		南部病院	
診断のみ	42,302	(5.9%)	856	(7.8%)	8	(4.3%)
自施設診断･自施設初回治療開始	438,978	(61.6%)	6,721	(61.5%)	18	(9.8%)
自施設診断･自施設初回治療継続	1,124	(0.2%)	33	(0.3%)	0	(0.0%)
他施設診断･自施設初回治療開始	153,312	(21.5%)	1,651	(15.1%)	1	(0.5%)
他施設診断･自施設初回治療継続	23,838	(3.3%)	626	(5.7%)	2	(1.1%)
初回治療終了後	52,647	(7.4%)	1,048	(9.6%)	155	(84.2%)
合計	712,201	(100.0%)	10,935	(100.0%)	184	(100.0%)



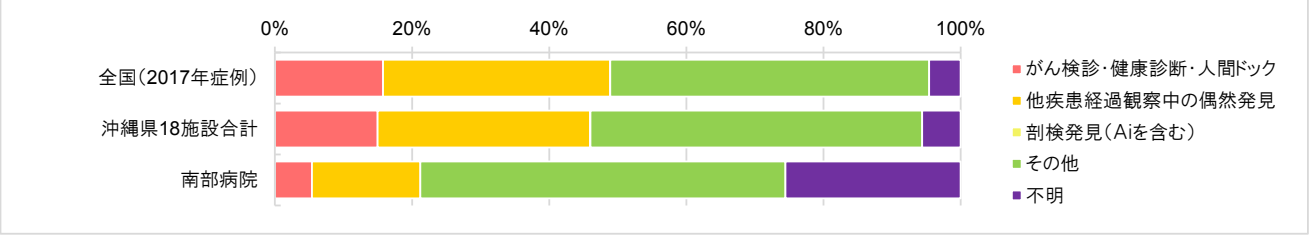
来院経路別　登録数と登録割合

	全国(2017年症例)		沖縄県18施設合計		南部病院	
自主的受診	55,803	(7.8%)	1,745	(16.0%)	14	(7.6%)
他施設からの紹介	511,176	(71.8%)	6,838	(62.5%)	150	(81.5%)
自施設での他疾患経過観察中	136,118	(19.1%)	2,187	(20.0%)	17	(9.2%)
その他	8,910	(1.3%)	162	(1.5%)	3	(1.6%)
不明	194	(0.0%)	3	(0.0%)	0	(0.0%)
合計	712,201	(100.0%)	10,935	(100.0%)	184	(100.0%)



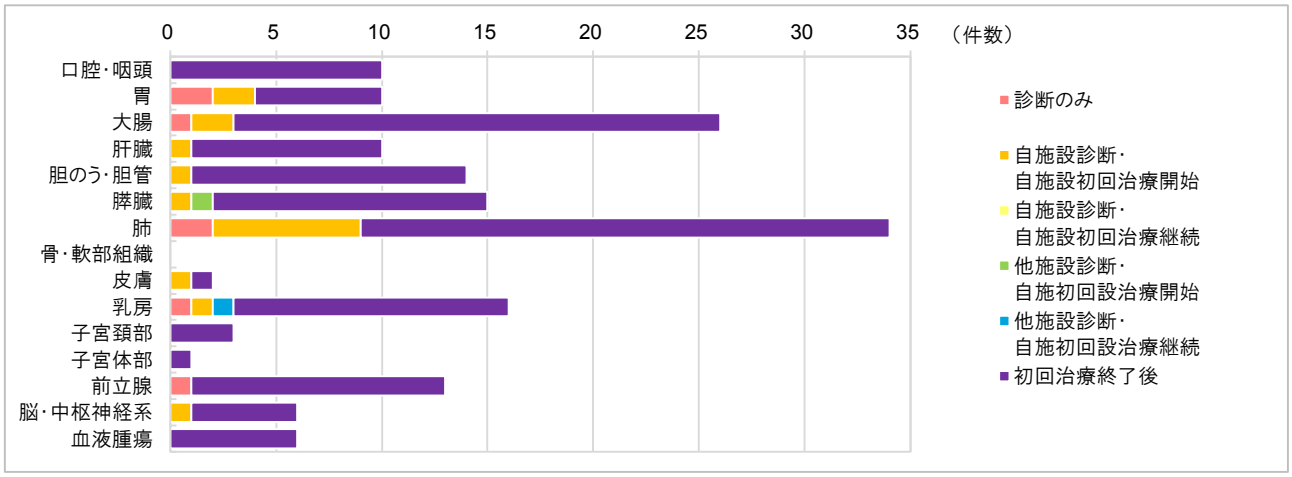
発見経緯別　登録数と登録割合

	全国(2017年症例)		沖縄県18施設合計		南部病院	
がん検診･健康診断･人間ドック	112,324	(15.8%)	1,636	(15.0%)	10	(5.4%)
他疾患経過観察中の偶然発見	235,862	(33.1%)	3,393	(31.0%)	29	(15.8%)
剖検発見(Aiを含む)	46	(0.0%)	2	(0.0%)	0	(0.0%)
その他	331,376	(46.5%)	5,293	(48.4%)	98	(53.3%)
不明	32,593	(4.6%)	611	(5.6%)	47	(25.5%)
合計	712,201	(100.0%)	10,935	(100.0%)	184	(100.0%)

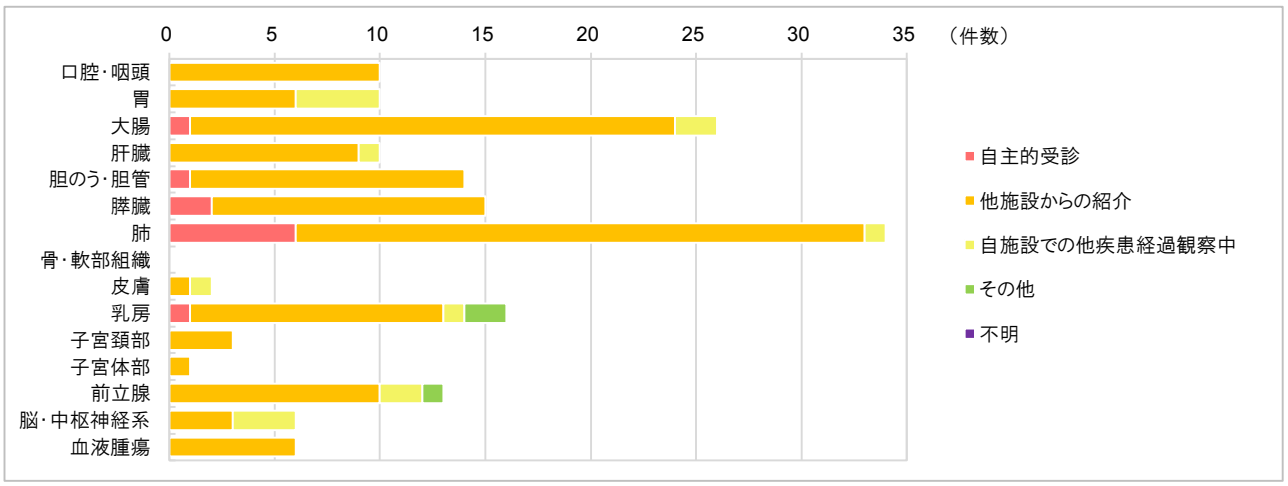


＊症例区分「８０：その他」を除いて集計

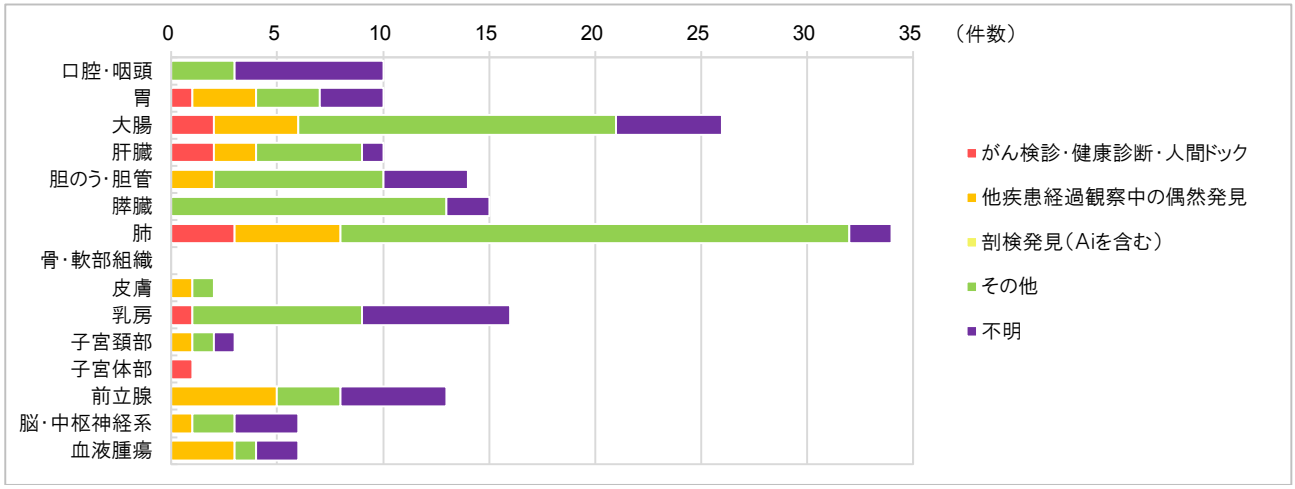
部位別　症例区分別　登録数



部位別　来院経路別　登録数



部位別　発見経緯別　登録数

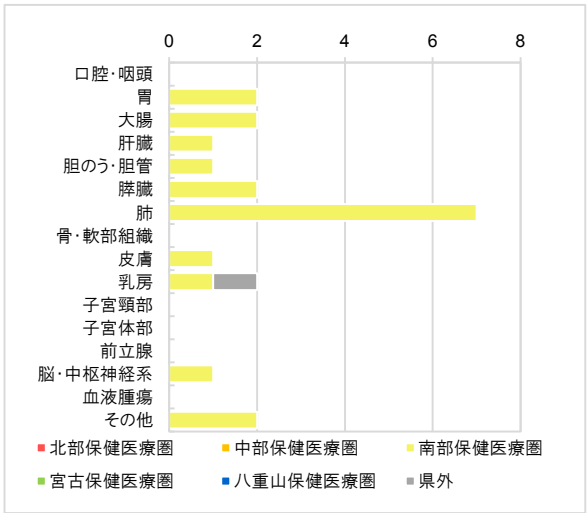


＊症例区分「８０：その他」を除いて集計

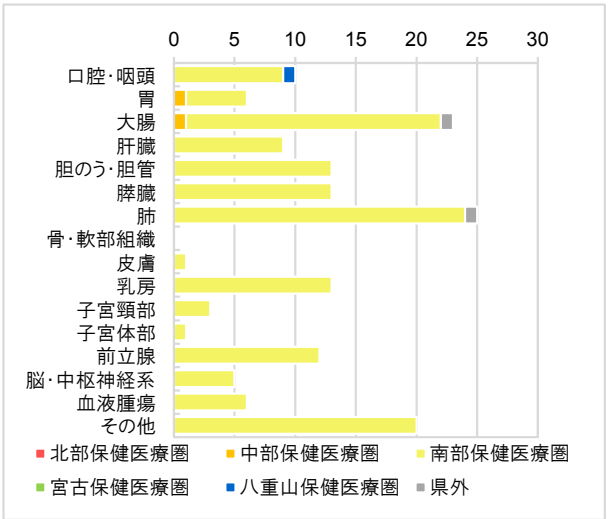
二次保健医療圏別　登録数と登録割合

圏域名	市町村名	登録数	割合	登録割合上位3部位	
北部保健医療圏	名護市　国頭村　大宜味村 東村　今帰仁村　本部町 伊江村　伊平屋村　伊是名村	0	0.0%	--	--
				--	--
				--	--
中部保健医療圏	宜野湾市　沖縄市　うるま市　恩納村 宜野座村　金武町　読谷村　嘉手納町 北谷町　北中城村　中城村	2	1.1%	胃	50.0%
				大腸	50.0%
				--	--
南部保健医療圏	那覇市　浦添市　糸満市　豊見城市 南城市　西原町　与那原町 南風原町　渡嘉敷村　座間味村 粟国村　渡名喜村　南大東村 北大東村　久米島町　八重瀬町	178	96.7%	肺	18.5%
				大腸	13.5%
				膵臓	8.4%
宮古保健医療圏	宮古島市　多良間村	0	0.0%	--	--
				--	--
				--	--
八重山保健医療圏	石垣市　竹富町　与那国町	1	0.5%	口腔・咽頭	100.0%
				--	--
				--	--
沖縄県外		3	1.6%	--	--
合計		184	100.0%	肺	17.9%
				大腸	13.6%
				膵臓	8.2%

二次保健医療圏別　部位別　治療件数*



二次保健医療圏別部位別　初回治療終了後の受け入れ登録数*



＊症例区分「80：その他」を除いて集計
＊二次保健医療圏別集計は、当該施設を受診したときの患者さんの住所（診断時住所）をもとに集計
＊登録割合上位３部位において、登録割合が同数の場合、部位コードが小さい順に表記
＊二次保健医療圏別部位別治療件数は、症例区分「20：自施設診断・自施設初回治療開始」「21：自施設診断・自施設初回治療継続」「30：他施設診断・自施設初回治療開始」「31：他施設診断・自施設初回治療継続」のみ集計
＊二次保健医療圏別部位別初回治療終了後の受け入れ登録数は、症例区分「40：初回治療終了後」のみ集計

南部徳洲会病院



398

基本情報	
病院名	医療法人沖縄徳洲会　南部徳洲会病院
所在地	〒 901-0493　沖縄県島尻郡八重瀬町字外間 171 番地 1
電話（代表）	098-998-3221
ホームページ	https://www.nantoku.org

診療案内			
診療科	内科、総合診療部、外科、歯科口腔外科、整形外科、循環器科、呼吸器内科、小児科、眼科、耳鼻咽喉科、心臓血管外科、脳神経外科、泌尿器科、産婦人科、放射線科、放射線治療部、皮膚科、肛門外科、高気圧酸素治療部、リハビリテーション科、救急診療科、麻酔科、健診科、糖尿病診療科、緩和ケア　合計 25 診療科		
病床数	345 床	平均在院日数	13.2 日
入院患者のべ数	115,369 人	外来患者のべ数	207,217 人
外来化学療法の実施	○	放射線治療の実施	○
緩和ケア外来	○	緩和ケアチーム	○
緩和ケア病棟	×	緩和ケア病床数	0 床
院内がん登録実務者数 （実務者のうち研修修了者数）	実務者数２名（中級者１名，初級者１名）		

がん相談	
名称	地域医療連携室
電話番号	098-998-3221（代表）
対応時間	月～金曜日　９：００～１７：００　土曜日　９：３０～１２：００

患者さん・ご家族用の設備	
交流の場 （がん患者サロンなど）	×
院内図書館 （図書等を設置している場所）	×



南部徳洲会病院の 2018 年のがん登録件数は 526 件で沖縄県 18 施設合計の 4.8% でした。当院のがん登録の特徴は、前立腺がんの割合が他施設に比べて高く、男女比でも男性が 68.4% を占めています。

年齢階級別では、60-69 歳の登録件数が最も多いのは例年通りですが、80 歳以上の件数が右肩上がりに増えてきています。この傾向は今後も続くものと思われます。

来院経路別で自主的受診の割合を見ますと、当院は 2017 年 20.9%、2018 年 26.2% と増加傾向にあり、沖縄県 18 施設合計の 16.0%、全国の 7.8%（2017 年）に比べかなり高く、何らかの症状が出現してから病院を受診する患者が多いと思われます。発見経路別では、当院は 2017 年 16.0%、2018 年 12.7% であり若干増加していますが、全国の 15.8%（2017 年）、沖縄県の 15.0% に比し、まだ低い状態です。2017 年のコメントでも述べましたが、人間ドックや各健診・検診をさらに拡充し、また地域の皆様への啓発活動を促進することの必要性を感じています。

当院は、2012 年に当時県内初の強度変調型放射線治療（IMRT）装置「トモセラピー」を導入し、がんに対する放射線治療を開始しました。2020 年には、新たな放射線治療装置「サイバーナイフ」を導入します。これも県内初の導入になります。「トモセラピー」とは異なる強みを持つ「サイバーナイフ」により、がん放射線治療の幅がさらに大きく広がります。がん治療を受ける患者さんへ大きな貢献になると期待しています。放射線治療に加え、手術治療、化学療法、がんリハビリテーション、そして緩和ケア、あらゆる側面から、がんを抱える患者さんに最善の医療とケアを提供できるよう取り組んでいきます。

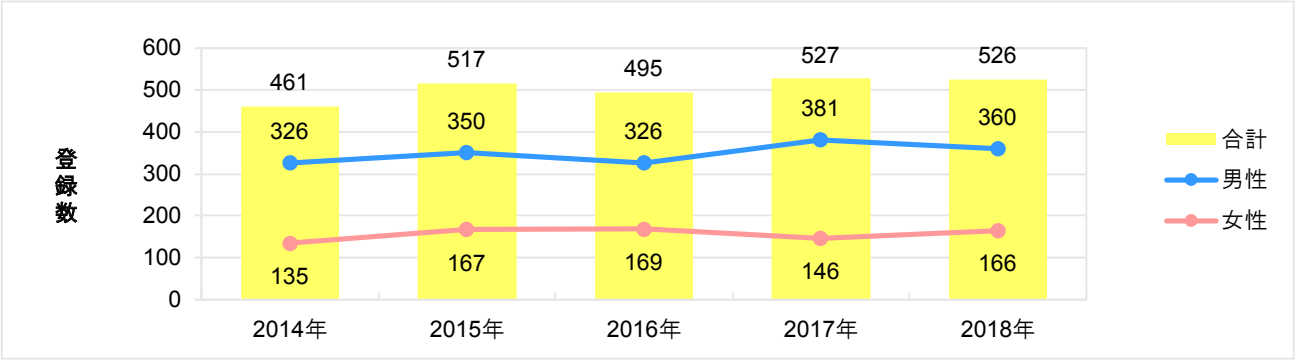
各医療機関と協力し、沖縄県のがん治療の発展に寄与できるよう努力します。琉球大学医学部付属病院がんセンターのスタッフの皆様のご尽力に感謝します。

医療法人沖縄徳洲会　南部徳洲会病院
病院長　赤崎　満

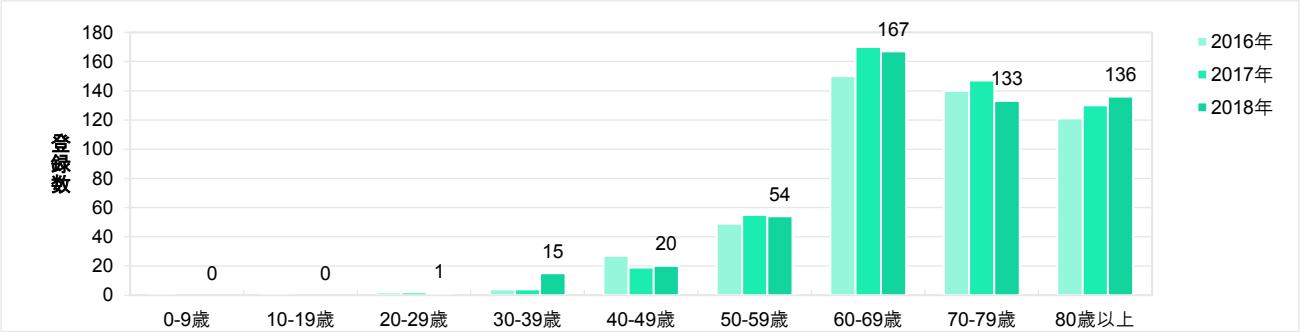


院内がん登録の概要

登録数の推移

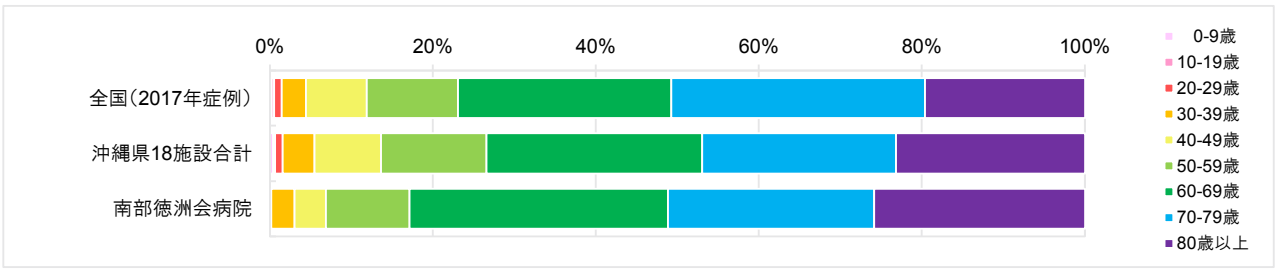


年齢階級別　登録数の推移



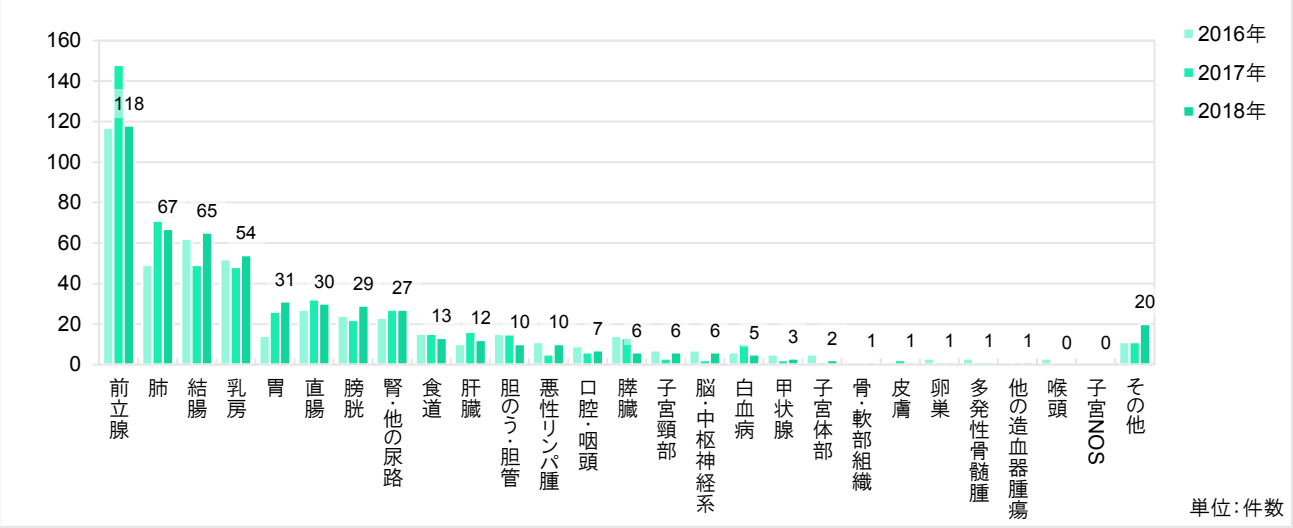
年齢階級別　登録数と登録割合

	全国(2017年症例)		沖縄県18施設合計		南部徳洲会病院	
0-9歳	1,705	(0.2%)	44	(0.4%)	0	(0.0%)
10-19歳	1,965	(0.3%)	23	(0.2%)	0	(0.0%)
20-29歳	6,471	(0.9%)	105	(1.0%)	1	(0.2%)
30-39歳	21,457	(3.0%)	425	(3.9%)	15	(2.9%)
40-49歳	52,941	(7.4%)	896	(8.2%)	20	(3.8%)
50-59歳	79,976	(11.2%)	1,410	(12.9%)	54	(10.3%)
60-69歳	186,117	(26.1%)	2,894	(26.5%)	167	(31.7%)
70-79歳	221,871	(31.2%)	2,606	(23.8%)	133	(25.3%)
80歳以上	139,698	(19.6%)	2,532	(23.2%)	136	(25.9%)
合計	712,201	(100.0%)	10,935	(100.0%)	526	(100.0%)

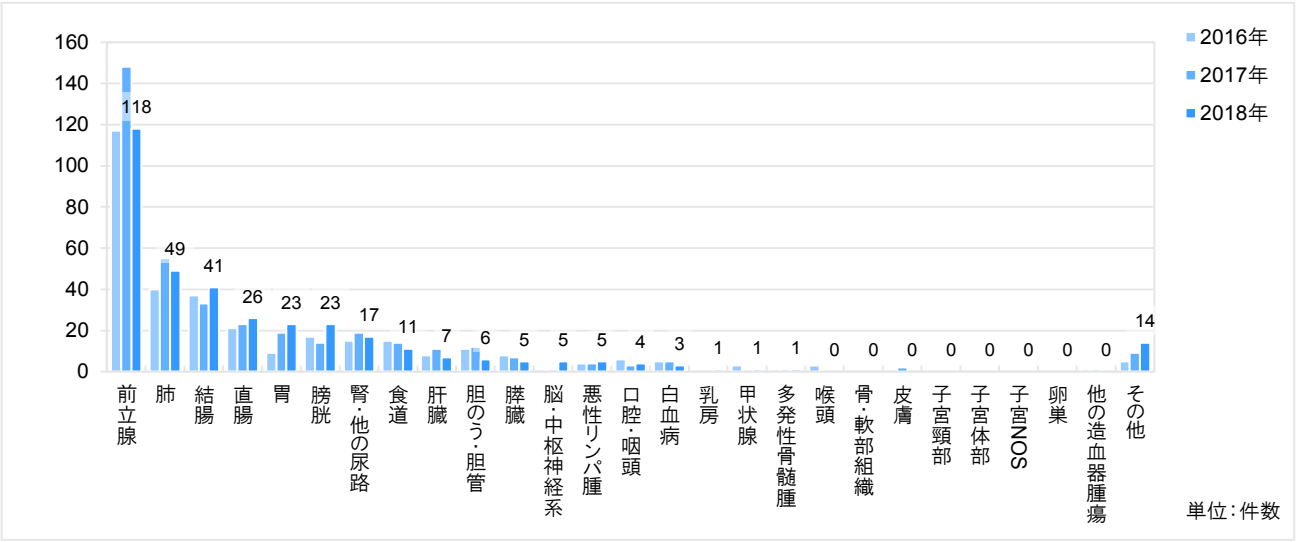


＊症例区分「80：その他」を除いて集計

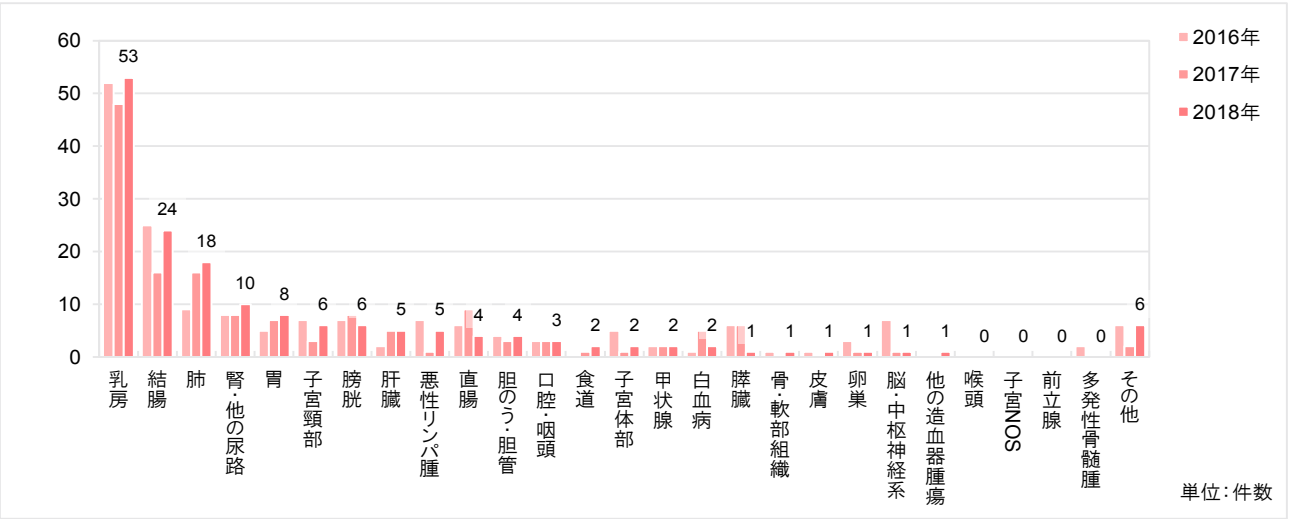
部位別　登録数の推移 — 男女計



部位別　登録数の推移 — 男



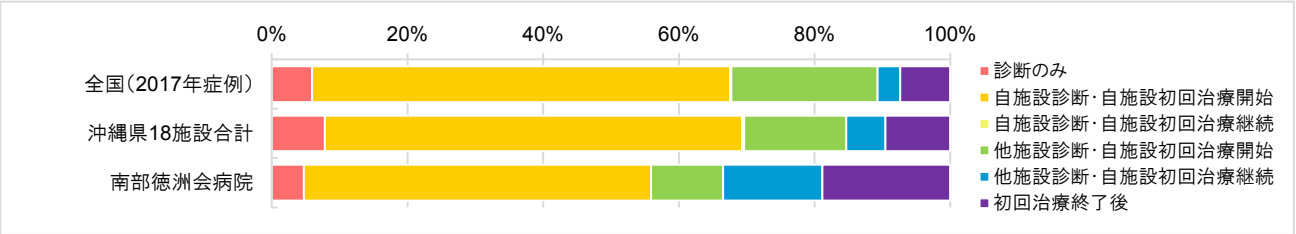
部位別　登録数の推移 — 女



＊症例区分「８０：その他」を除いて集計

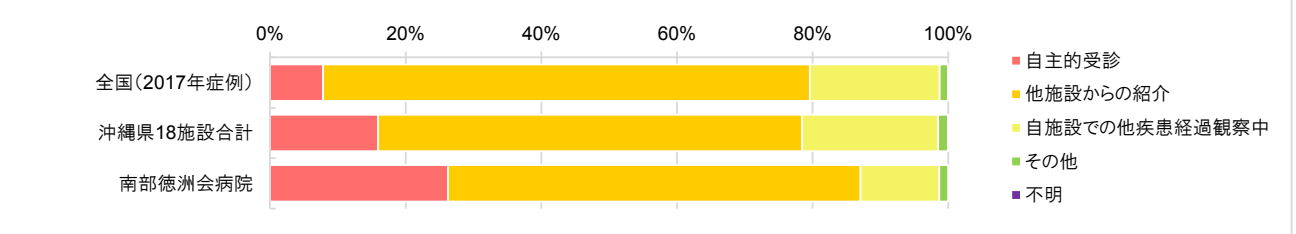
症例区分別　登録数と登録割合

	全国(2017年症例)		沖縄県18施設合計		南部徳洲会病院	
診断のみ	42,302	(5.9%)	856	(7.8%)	25	(4.8%)
自施設診断･自施設初回治療開始	438,978	(61.6%)	6,721	(61.5%)	269	(51.1%)
自施設診断･自施設初回治療継続	1,124	(0.2%)	33	(0.3%)	0	(0.0%)
他施設診断･自施設初回治療開始	153,312	(21.5%)	1,651	(15.1%)	56	(10.6%)
他施設診断･自施設初回治療継続	23,838	(3.3%)	626	(5.7%)	77	(14.6%)
初回治療終了後	52,647	(7.4%)	1,048	(9.6%)	99	(18.8%)
合計	712,201	(100.0%)	10,935	(100.0%)	526	(100.0%)



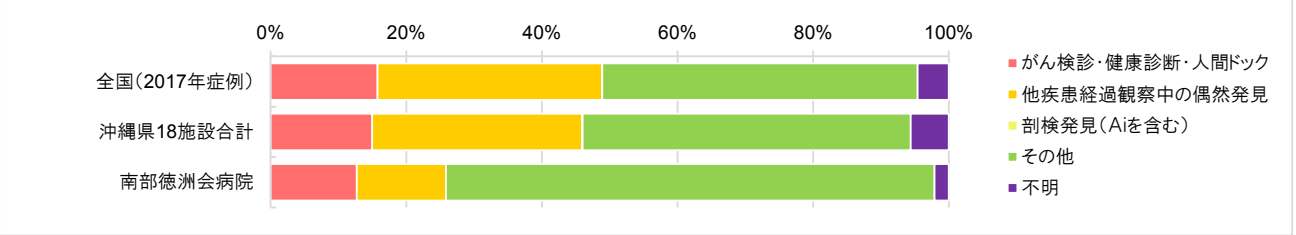
来院経路別　登録数と登録割合

	全国(2017年症例)		沖縄県18施設合計		南部徳洲会病院	
自主的受診	55,803	(7.8%)	1,745	(16.0%)	138	(26.2%)
他施設からの紹介	511,176	(71.8%)	6,838	(62.5%)	320	(60.8%)
自施設での他疾患経過観察中	136,118	(19.1%)	2,187	(20.0%)	61	(11.6%)
その他	8,910	(1.3%)	162	(1.5%)	7	(1.3%)
不明	194	(0.0%)	3	(0.0%)	0	(0.0%)
合計	712,201	(100.0%)	10,935	(100.0%)	526	(100.0%)



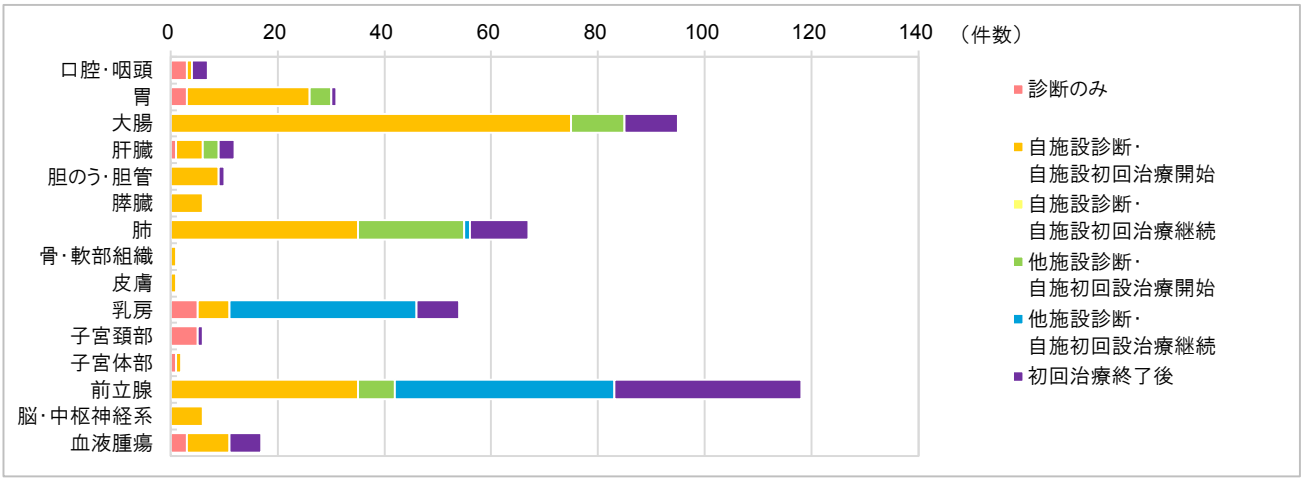
発見経緯別　登録数と登録割合

	全国(2017年症例)		沖縄県18施設合計		南部徳洲会病院	
がん検診･健康診断･人間ドック	112,324	(15.8%)	1,636	(15.0%)	67	(12.7%)
他疾患経過観察中の偶然発見	235,862	(33.1%)	3,393	(31.0%)	69	(13.1%)
剖検発見(Aiを含む)	46	(0.0%)	2	(0.0%)	0	(0.0%)
その他	331,376	(46.5%)	5,293	(48.4%)	379	(72.1%)
不明	32,593	(4.6%)	611	(5.6%)	11	(2.1%)
合計	712,201	(100.0%)	10,935	(100.0%)	526	(100.0%)

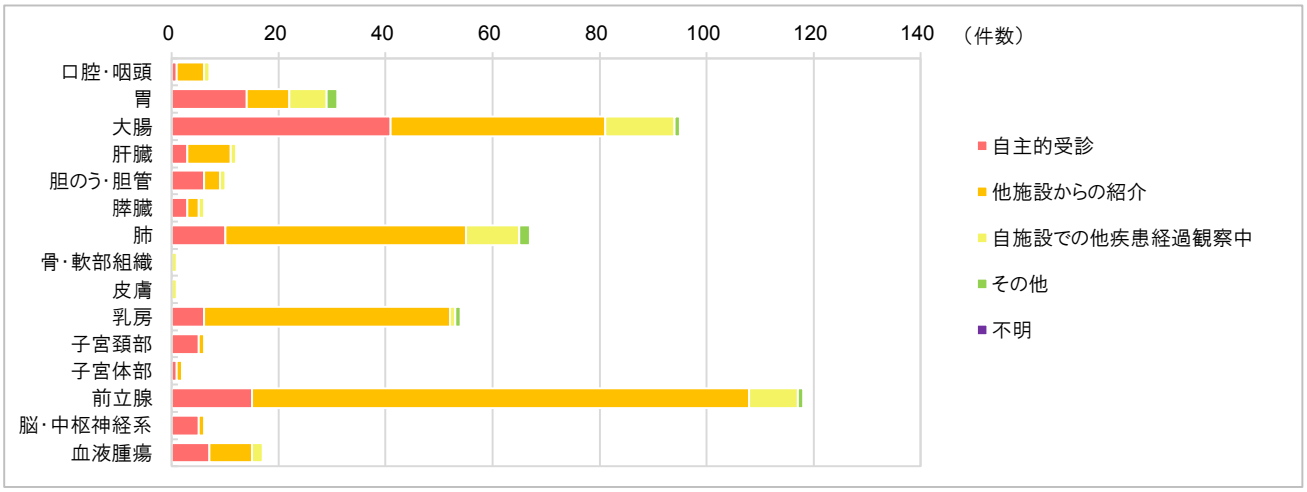


＊症例区分「80：その他」を除いて集計

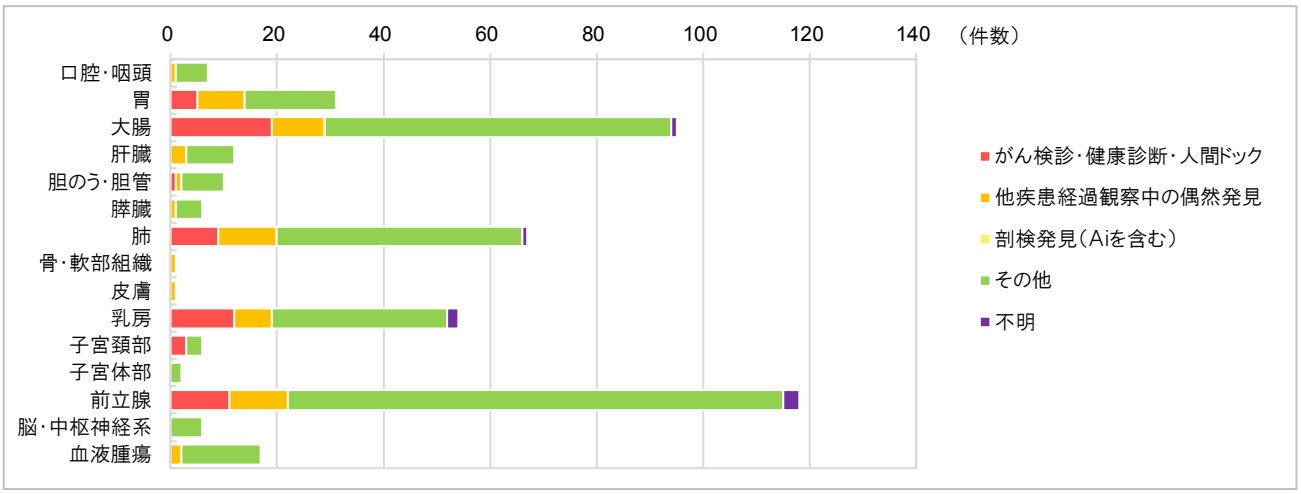
部位別　症例区分別　登録数



部位別　来院経路別　登録数



部位別　発見経緯別　登録数

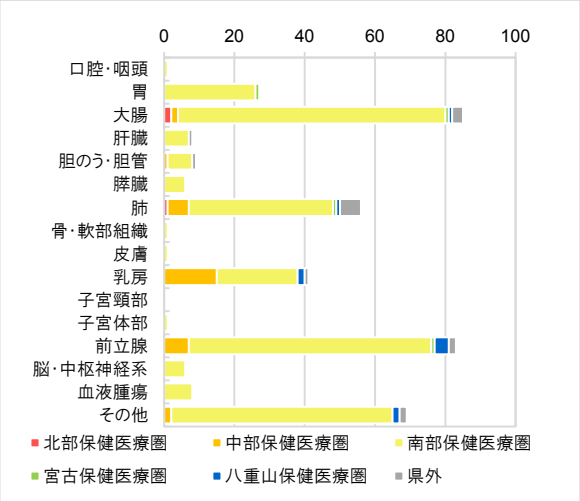


＊症例区分「８０：その他」を除いて集計

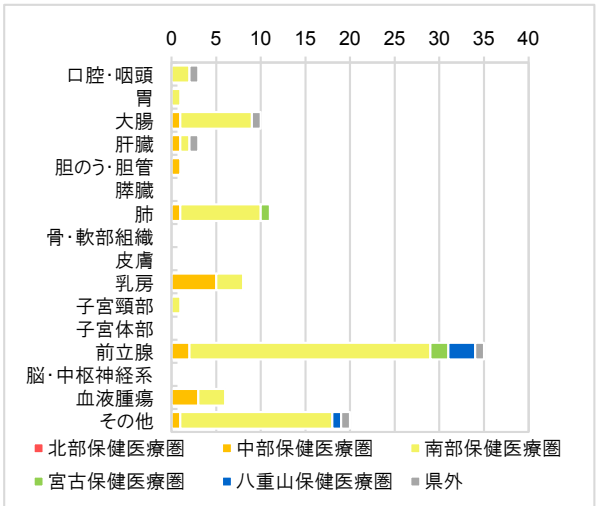
二次保健医療圏別　登録数と登録割合

圏域名	市町村名	登録数	割合	登録割合上位3部位	
北部保健医療圏	名護市　国頭村　大宜味村 東村　今帰仁村　本部町 伊江村　伊平屋村　伊是名村	3	0.6%	大腸	66.7%
				肺	33.3%
				--	--
中部保健医療圏	宜野湾市　沖縄市　うるま市　恩納村 宜野座村　金武町　読谷村　嘉手納町 北谷町　北中城村　中城村	49	9.3%	乳房	40.8%
				前立腺	18.4%
				肺	14.3%
南部保健医療圏	那覇市　浦添市　糸満市　豊見城市 南城市　西原町　与那原町 南風原町　渡嘉敷村　座間味村 粟国村　渡名喜村　南大東村 北大東村　久米島町　八重瀬町	430	81.7%	前立腺	22.3%
				大腸	19.5%
				肺	11.6%
宮古保健医療圏	宮古島市　多良間村	7	1.3%	前立腺	42.9%
				肺	28.6%
				胃	14.3%
八重山保健医療圏	石垣市　竹富町　与那国町	14	2.7%	前立腺	50.0%
				膀胱	21.4%
				乳房	14.3%
沖縄県外		23	4.4%	--	--
合計		526	100.0%	前立腺	21.9%
				大腸	17.3%
				肺	11.6%

二次保健医療圏別　部位別　治療件数*

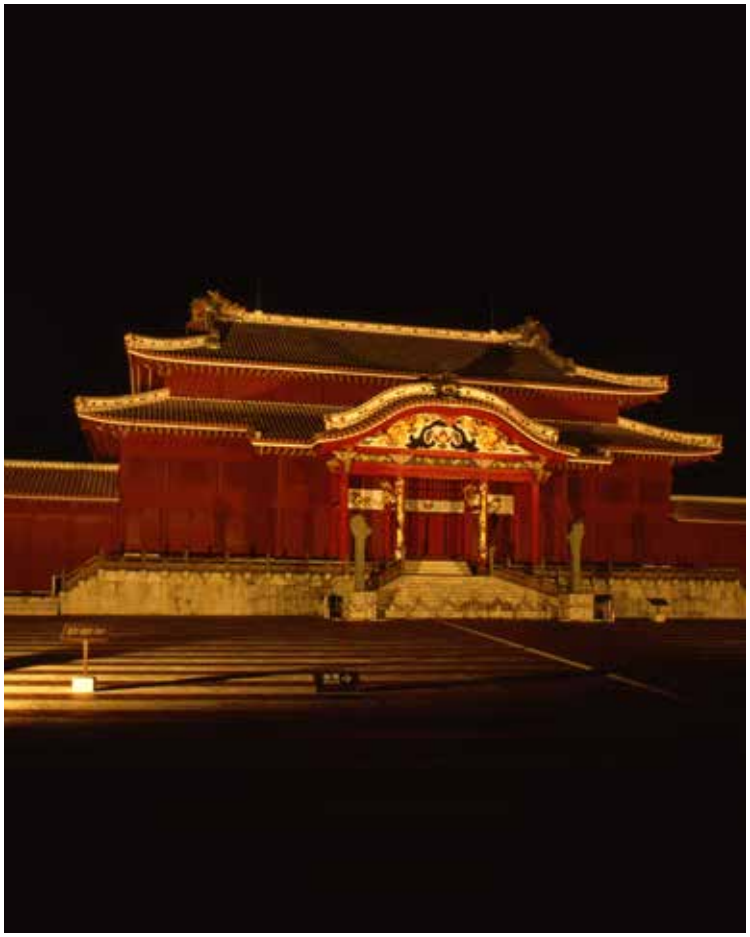


二次保健医療圏別部位別　初回治療終了後の受け入れ登録数*



＊症例区分「80：その他」を除いて集計
＊二次保健医療圏別集計は、当該施設を受診したときの患者さんの住所（診断時住所）をもとに集計
＊登録割合上位３部位において、登録割合が同数の場合、部位コードが小さい順に表記
＊二次保健医療圏別部位別治療件数は、症例区分「20：自施設診断・自施設初回治療開始」「21：自施設診断・自施設初回治療継続」「30：他施設診断・自施設初回治療開始」「31：他施設診断・自施設初回治療継続」のみ集計
＊二次保健医療圏別部位別初回治療終了後の受け入れ登録数は、症例区分「40：初回治療終了後」のみ集計

沖縄協同病院



406

基本情報	
病院名	沖縄医療生活協同組合　沖縄協同病院
所在地	〒 900-8558　沖縄県那覇市古波蔵４丁目１０番５５号
電話（代表）	098-853-1200
ホームページ	http://www.oki-kyo.jp

診療案内			
診療科	内科、呼吸器内科、循環器内科、気管食道内科、消化器内科、脳卒中内科、神経内科、心療内科、外科、呼吸器外科、消化器外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、精神科、リウマチ科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、病理診断科、救急科、臨床検査科 合計 28 診療科		
病床数	280 床	平均在院日数	12.8 日
入院患者のべ数	107,643 人	外来患者のべ数	139,776 人
外来化学療法の実施	○	放射線治療の実施	×
緩和ケア外来	×	緩和ケアチーム	○
緩和ケア病棟	×	緩和ケア病床数	0 床
院内がん登録実務者数 （実務者のうち研修修了者数）	実務者数 3 名（初級者 3 名）		

がん相談	
名称	地域連携室
電話番号	098-853-1200（代表）　098-853-1201（直通）
対応時間	月～金曜日　9：00 ～ 12：30　13：30 ～ 16：00

患者さん・ご家族用の設備	
交流の場 （がん患者サロンなど）	×
院内図書館 （図書等を設置している場所）	×



沖縄協同病院は、慢性期医療を分離し急性期病院として、2009 年 6 月に豊見城市から那覇市へ新築移転しました。現在､那覇南部地域の中核病院の一つとして地域住民の健康維持を担っています。

2017 年の国立がん研究センターの統計によると、日本人の２人に１人はがんに罹り、男性が 4 人に 1 人、女性が 6 人に 1 人はがんで命を落とす時代となりました。がんは早期発見・早期治療が必要でありますが、他の慢性疾患と同様、長期的なフォーローも患者さんの予後や QOL をよくするために必要なことであると考えております。

沖縄協同病院では「院内がん登録」は 2011 年より開始しています。2018 年の登録数は年間 309 件で、部位別では結腸 55 件、乳房 36 件、肺 31 件、胃 28 件、直腸 22 件、前立腺 20 件、子宮頸部 16 件、その他の順になっています。

沖縄県院内がん登録集計報告書から見る当院の特徴として、沖縄県全体の登録数からみると 2.8% と少ない状況でありますので、ケースファインディングの精度を上げて登録者数を増やしていく必要があると考えます。

医療圏別登録割合では南部保健医療圏が 94.5%でほぼ全ての症例が自医療圏内であり、地域密着型の医療機関といえます。

年齢階級別登録割合では 70 歳以上が 57.0%、男女別では男性 46.3%、女性 53.7% となっています。

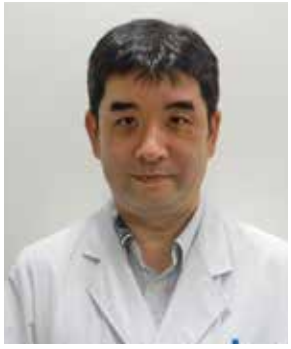
来院経路別では「自主的来院」が 46.0%、「他施設からの紹介」が 23.3%、「自施設での他疾患経過観察中」30.1%となっており、症例区分では「自施設診断・自施設治療」が 79.0%と依然として高い傾向にあります。

全国との比較では「他施設紹介」の割合が低く、地域医療機関との連携についてまだまだ改善の余地があります。

現在当院では、腫瘍内科専門医の専従配置のため、専門研修に医師を派遣しているところです。診療では緩和ケアチームの関わりも重視し、全人的ながんに対する診療体制の構築に力を入れています。また易感染状態となったがん患者さんの感染症に対して予防から治療まで感染症専門医と連携し迅速な対応をこころがけています。

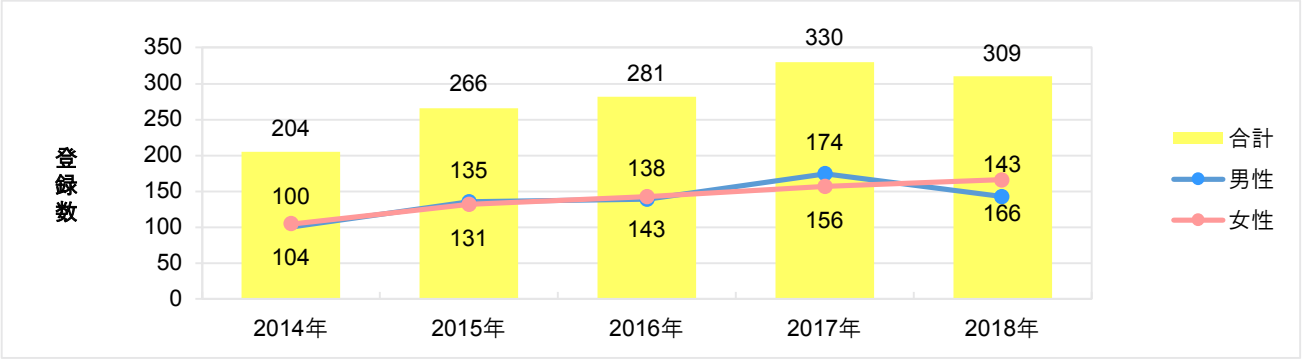
この度、2018 年院内がん登録集計報告書が発表されることにより、自院のがん治療の実態が明らかになること、また他病院の取組状況を把握できることで、地域医療機関との連携の更なる充実を図り、がん治療の質向上、地域のがん対策に大いに活用できると期待しております。また今後、当院においては、より一層地域医療機関との連携を深め、自院だけで完結できない検査や治療について御協力、御指導を頂きながら、がん患者さんにとって、満足度の高いがん医療の提供を行ってゆきたいと考えています。

沖縄医療生活協同組合　沖縄協同病院
病院長　伊泊　広二

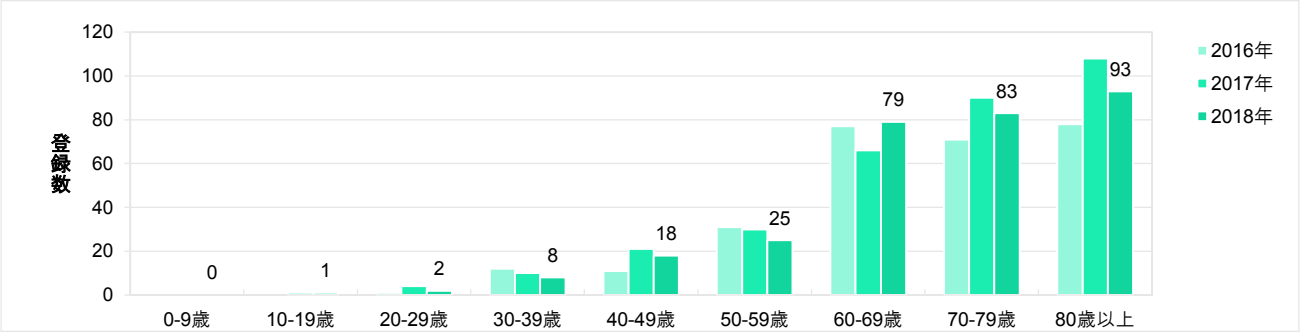


院内がん登録の概要

登録数の推移

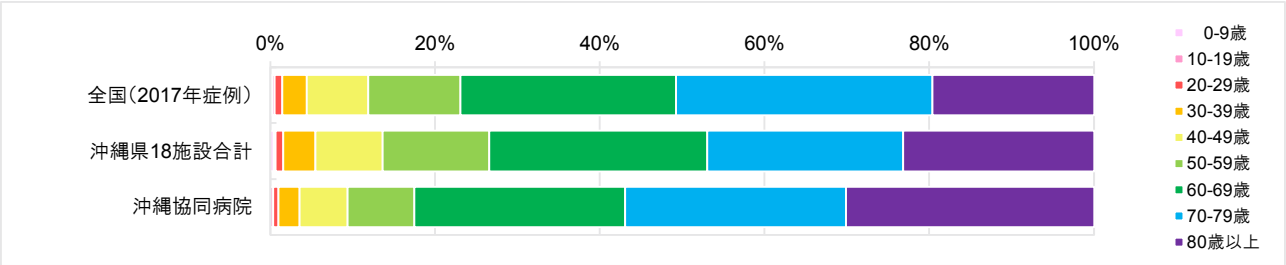


年齢階級別　登録数の推移



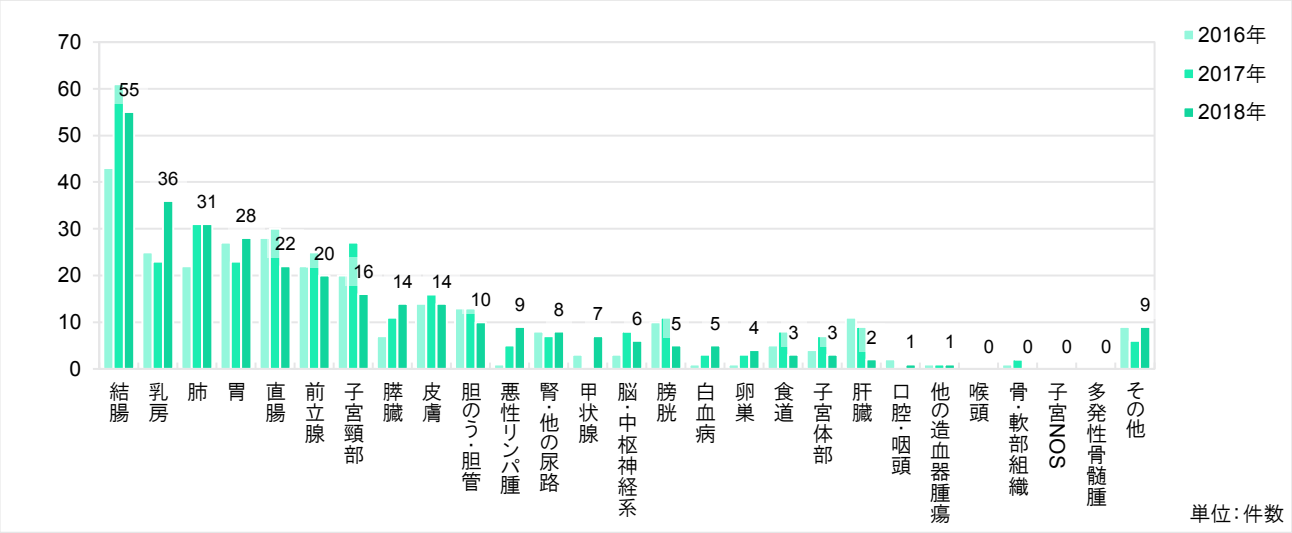
年齢階級別　登録数と登録割合

	全国(2017年症例)		沖縄県18施設合計		沖縄協同病院	
0-9歳	1,705	(0.2%)	44	(0.4%)	0	(0.0%)
10-19歳	1,965	(0.3%)	23	(0.2%)	1	(0.3%)
20-29歳	6,471	(0.9%)	105	(1.0%)	2	(0.6%)
30-39歳	21,457	(3.0%)	425	(3.9%)	8	(2.6%)
40-49歳	52,941	(7.4%)	896	(8.2%)	18	(5.8%)
50-59歳	79,976	(11.2%)	1,410	(12.9%)	25	(8.1%)
60-69歳	186,117	(26.1%)	2,894	(26.5%)	79	(25.6%)
70-79歳	221,871	(31.2%)	2,606	(23.8%)	83	(26.9%)
80歳以上	139,698	(19.6%)	2,532	(23.2%)	93	(30.1%)
合計	712,201	(100.0%)	10,935	(100.0%)	309	(100.0%)

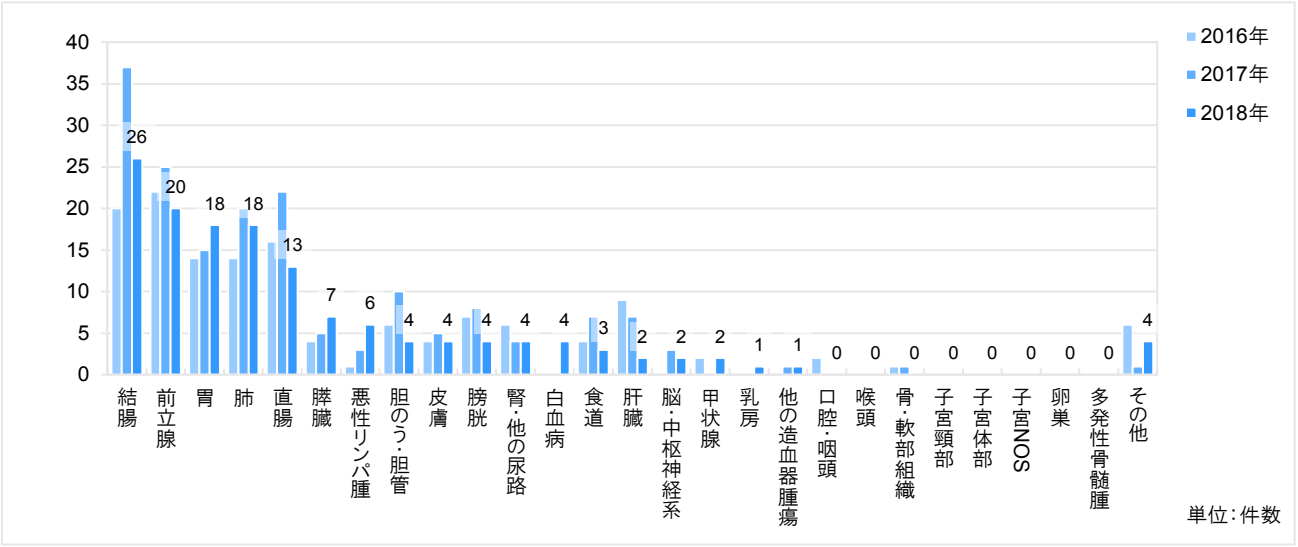


＊症例区分「80：その他」を除いて集計

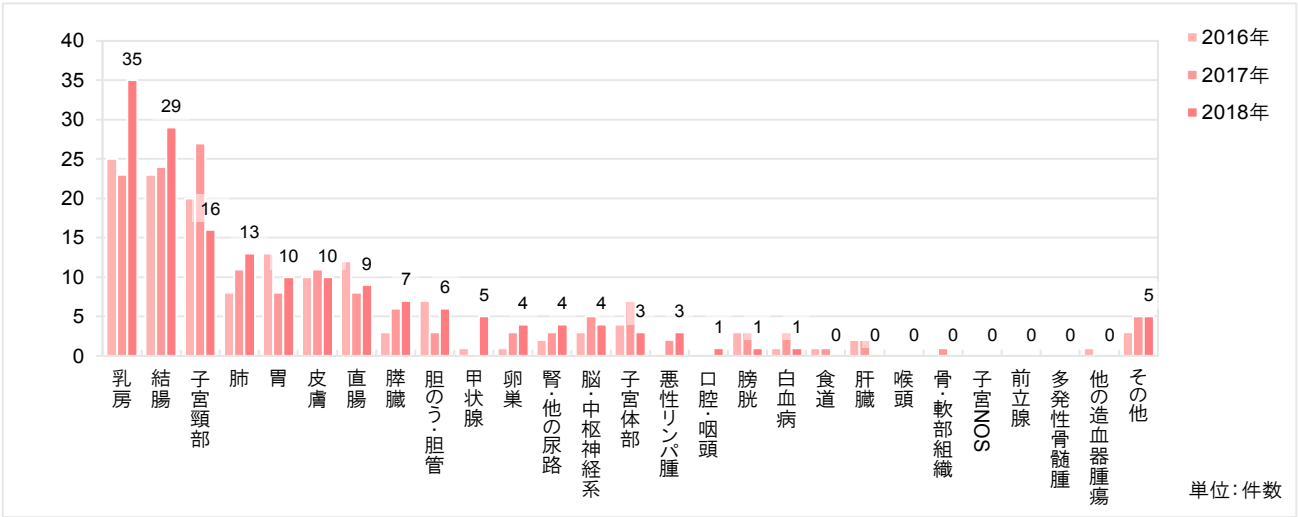
部位別　登録数の推移 — 男女計



部位別　登録数の推移 — 男



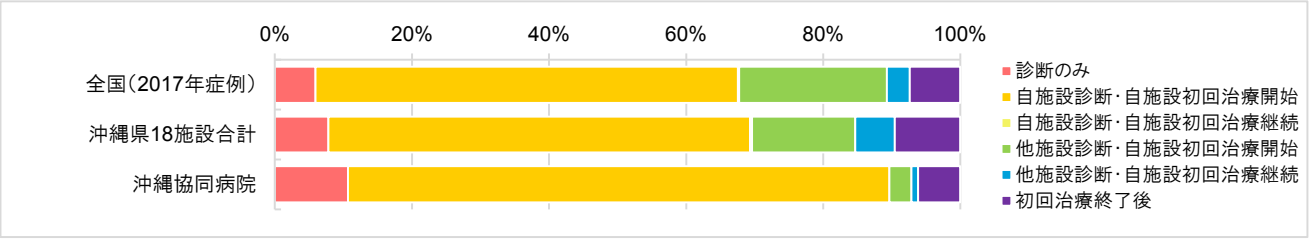
部位別　登録数の推移 — 女



＊症例区分「80：その他」を除いて集計

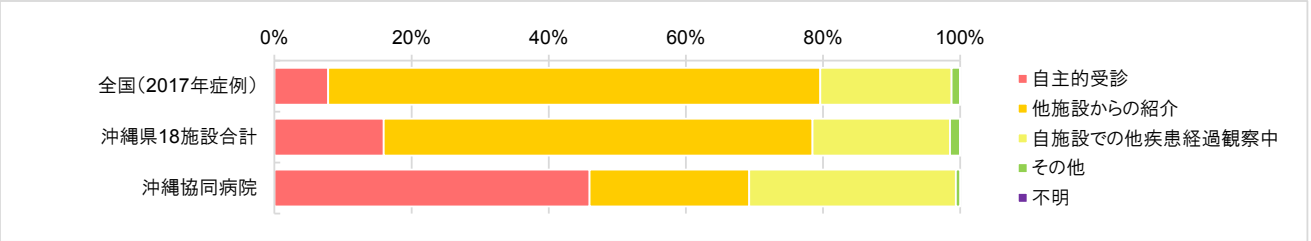
症例区分別　登録数と登録割合

	全国(2017年症例)		沖縄県18施設合計		沖縄協同病院	
診断のみ	42,302	(5.9%)	856	(7.8%)	33	(10.7%)
自施設診断･自施設初回治療開始	438,978	(61.6%)	6,721	(61.5%)	244	(79.0%)
自施設診断･自施設初回治療継続	1,124	(0.2%)	33	(0.3%)	0	(0.0%)
他施設診断･自施設初回治療開始	153,312	(21.5%)	1,651	(15.1%)	10	(3.2%)
他施設診断･自施設初回治療継続	23,838	(3.3%)	626	(5.7%)	3	(1.0%)
初回治療終了後	52,647	(7.4%)	1,048	(9.6%)	19	(6.1%)
合計	712,201	(100.0%)	10,935	(100.0%)	309	(100.0%)



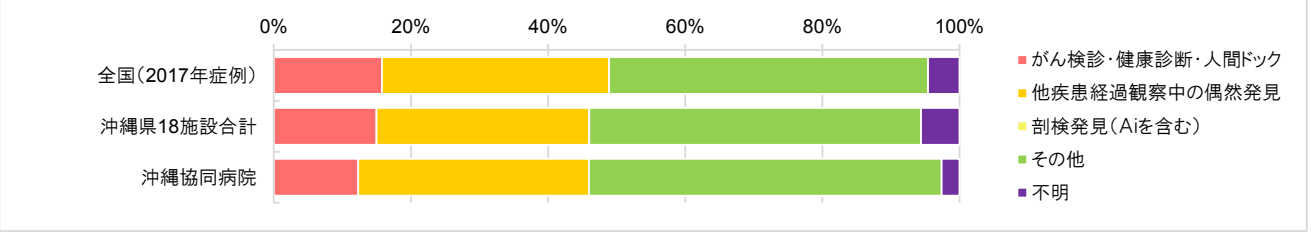
来院経路別　登録数と登録割合

	全国(2017年症例)		沖縄県18施設合計		沖縄協同病院	
自主的受診	55,803	(7.8%)	1,745	(16.0%)	142	(46.0%)
他施設からの紹介	511,176	(71.8%)	6,838	(62.5%)	72	(23.3%)
自施設での他疾患経過観察中	136,118	(19.1%)	2,187	(20.0%)	93	(30.1%)
その他	8,910	(1.3%)	162	(1.5%)	2	(0.6%)
不明	194	(0.0%)	3	(0.0%)	0	(0.0%)
合計	712,201	(100.0%)	10,935	(100.0%)	309	(100.0%)



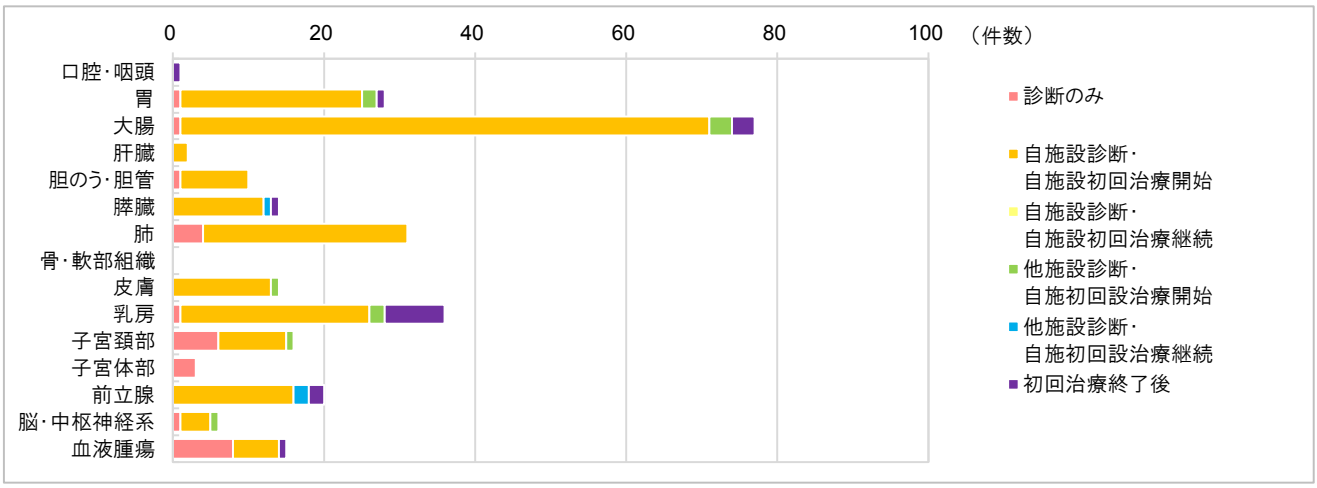
発見経緯別　登録数と登録割合

	全国(2017年症例)		沖縄県18施設合計		沖縄協同病院	
がん検診･健康診断･人間ドック	112,324	(15.8%)	1,636	(15.0%)	38	(12.3%)
他疾患経過観察中の偶然発見	235,862	(33.1%)	3,393	(31.0%)	104	(33.7%)
剖検発見(Aiを含む)	46	(0.0%)	2	(0.0%)	0	(0.0%)
その他	331,376	(46.5%)	5,293	(48.4%)	159	(51.5%)
不明	32,593	(4.6%)	611	(5.6%)	8	(2.6%)
合計	712,201	(100.0%)	10,935	(100.0%)	309	(100.0%)

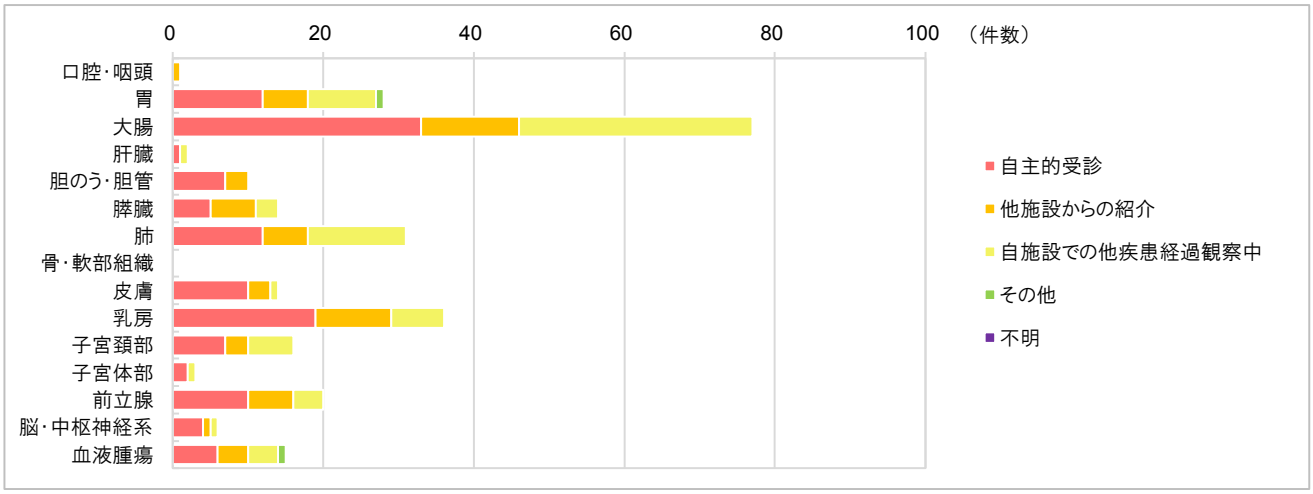


＊症例区分「80：その他」を除いて集計

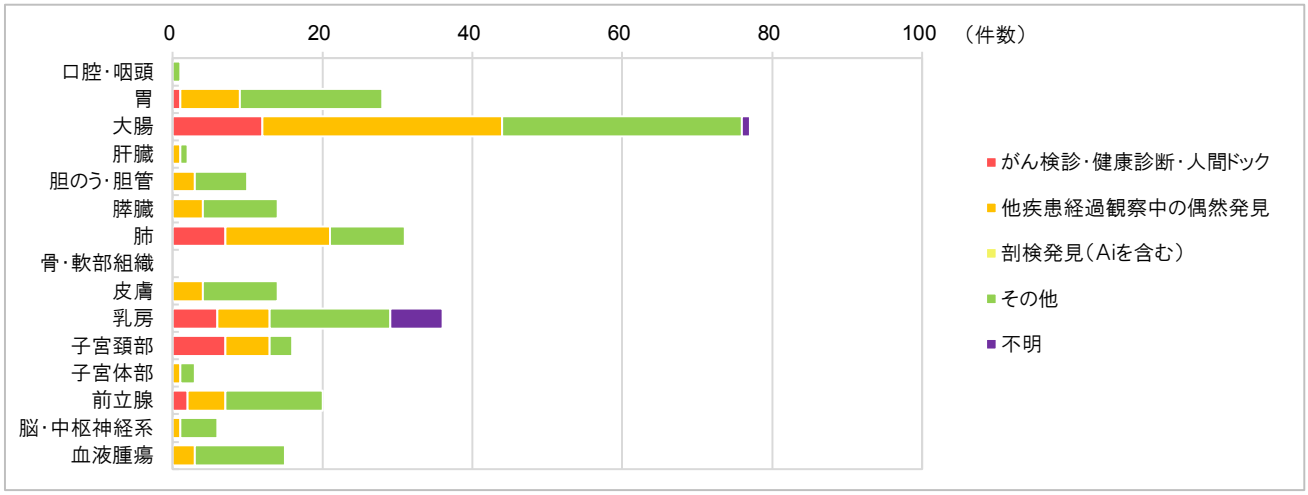
部位別　症例区分別　登録数



部位別　来院経路別　登録数



部位別　発見経緯別　登録数

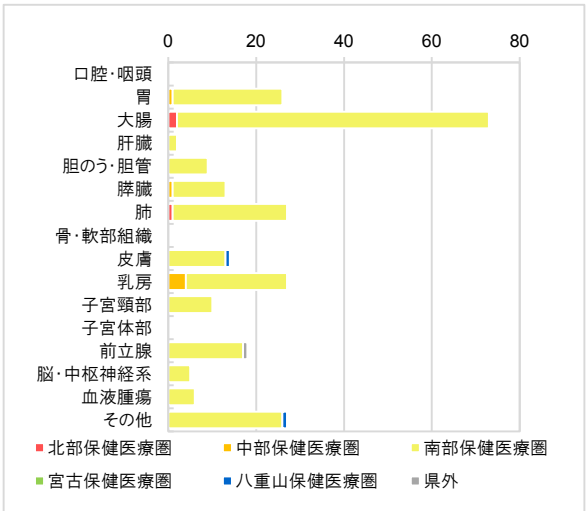


＊症例区分「８０：その他」を除いて集計

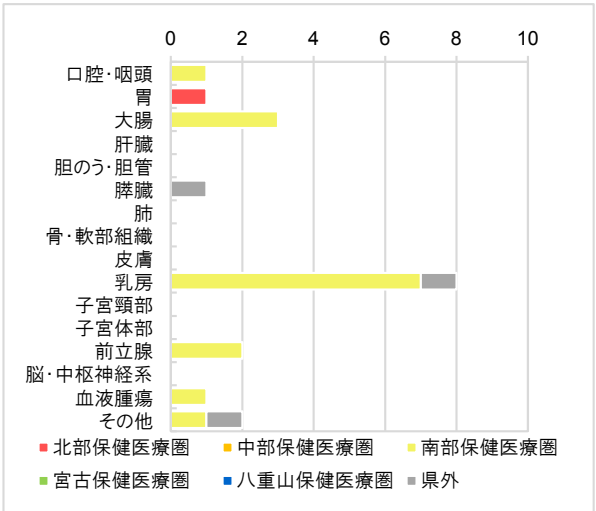
二次保健医療圏別　登録数と登録割合

圏域名	市町村名	登録数	割合	登録割合上位3部位	
北部保健医療圏	名護市　国頭村　大宜味村 東村　今帰仁村　本部町 伊江村　伊平屋村　伊是名村	4	1.3%	大腸	50.0%
				胃	25.0%
				肺	25.0%
中部保健医療圏	宜野湾市　沖縄市　うるま市　恩納村 宜野座村　金武町　読谷村　嘉手納町 北谷町　北中城村　中城村	7	2.3%	乳房	57.1%
				胃	14.3%
				胆嚢･胆管	14.3%
南部保健医療圏	那覇市　浦添市　糸満市　豊見城市 南城市　西原町　与那原町 南風原町　渡嘉敷村　座間味村 粟国村　渡名喜村　南大東村 北大東村　久米島町　八重瀬町	292	94.5%	大腸	25.7%
				乳房	10.6%
				肺	10.3%
宮古保健医療圏	宮古島市　多良間村	0	0.0%	--	--
				--	--
				--	--
八重山保健医療圏	石垣市　竹富町　与那国町	2	0.6%	皮膚	50.0%
				その他	50.0%
				--	--
沖縄県外		4	1.3%	--	--
合計		309	100.0%	大腸	24.9%
				乳房	11.3%
				肺	10.0%

二次保健医療圏別　部位別　治療件数*



二次保健医療圏別部位別　初回治療終了後の受け入れ登録数*



＊症例区分「80：その他」を除いて集計
＊二次保健医療圏別集計は、当該施設を受診したときの患者さんの住所（診断時住所）をもとに集計
＊登録割合上位３部位において、登録割合が同数の場合、部位コードが小さい順に表記
＊二次保健医療圏別部位別治療件数は、症例区分「20：自施設診断・自施設初回治療開始」「21：自施設診断・自施設初回治療継続」「30：他施設診断・自施設初回治療開始」「31：他施設診断・自施設初回治療継続」のみ集計
＊二次保健医療圏別部位別初回治療終了後の受け入れ登録数は、症例区分「40：初回治療終了後」のみ集計

豊見城中央病院



414

基本情報	
病院名	社会医療法人　友愛会　豊見城中央病院
所在地	〒 901-0243　沖縄県豊見城市字上田 25 番地
電話（代表）	098-850-3811
ホームページ	http://www.yuuai.or.jp

診療案内			
診療科	内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、神経内科、膠原病内科、糖尿病・代謝内科、小児科、外科、呼吸器外科、消火器外科、乳腺外科、内視鏡外科、血管外科、心臓血管外科、移植外科、整形外科、緩和ケア外科、産婦人科、産婦人科（不妊治療）、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、泌尿器科、脳神経外科、形成外科、美容外科、美容皮膚科、顎顔面外科、麻酔科、放射線科、リハビリテーション科、リウマチ科、救急科、病理診断科、歯科、精神科 合計 38 診療科		
病床数	378 床	平均在院日数	9.6 日
入院患者のべ数	140,659 人	外来患者のべ数	253,670 人
外来化学療法の実施	○	放射線治療の実施	×
緩和ケア外来	×	緩和ケアチーム	×
緩和ケア病棟	×	緩和ケア病床数	0 床
院内がん登録実務者数 （実務者のうち研修修了者数）	実務者数 4 名（初級者 4 名）		

がん相談	
名称	地域医療部
電話番号	代表 098-850-3811
対応時間	月～金曜日 8：30 ～ 17：00　土曜日 8：30 ～ 12：00

患者さん・ご家族用の設備	
交流の場 （がん患者サロンなど）	○
院内図書館 （図書等を設置している場所）	○



豊見城中央病院は南部医療圏に位置する地域医療支援病院であり、2018 年の二次保健医療圏別がん登録割合でも90.4%が南部医療圏の患者様です。

当院のがん登録件数は 2014 年からの概要で示しますようほぼ毎年増加しており、2018 年には 830 件となっています。男性 467 件、女性 363 件と男性が多く、年齢分布では 60-69 歳：210 件が最も多くなり、次いで 70-79 歳：188 名、80 歳以上：168 名となっています。2016 年から 2018 年にかけての推移をみますと 70-79 歳の年齢層で2017-18 年にかけて僅かに減少をしていますが、それ以外の年齢では一貫して増加傾向を示しています。また、全国や県内 18 施設の合計との比較にて、20 ～ 59 歳までの働き盛りの割合が高いのも特徴です。

部位別登録数では、大腸がんが 192 件（結腸：143 件、直腸：49 件）、前立腺がん：79 件、乳がん：72 件、子宮頸がん：71 件、肺がん：65 件、胃がん：51 件と続きます。食道がん：14 件も含めると自覚症状に乏しいと言われる消化管のがんが合計 257 件であり、早期発見・早期治療のためには上部・下部の内視鏡検査の必要性を改めて感じます。特に大腸検査は患者様の羞恥心の影響もあり躊躇われる方も多いのですが、検査による早期発見のメリットは大きく、地域の方々に検査の重要性の啓蒙を図り、しっかり取り組んでいきたいと考えています。

また、腎・泌尿器系のがんに関しては前述の前立腺がんに加えて、膀胱がん：22 件、腎・他の尿路のがん：30 件と合わせて 131 件に上り、肝胆膵では肝臓がん：29 件、膵臓がん：29 件、胆のう・胆管がん：27 件となり計 85 件でした。腎・泌尿器系がんや肝胆膵がんでは、腹部超音波検査による早期発見も可能な疾患であるため、当院ではエコー検査精度の向上・強化を図っています。

女性特有のがん疾患の登録数では、前述の乳がん・子宮頸がんが 2017-18 年にかけて明らかに増加していますが、子宮体癌は徐々に減少してきています。婦人科疾患は、受診を戸惑うことで病状が進行している場合も多く、それが予後を悪化させているのはよく知られていることです。そこで、当院の取り組みとして紹介したいのは子宮頸部上皮内腫瘍（前癌病変）に対するフェノール療法やトリクロル酢酸療法（薬物塗布治療）です。前癌病変に対する非外科的治療として積極的に行っており、これまでの合計 300 症例に対する治療成績は良好であり、外科的治療と同等の結果が得られています。早期に受診していただければその治療効果は大きいことを周知していき、子宮頸がんの発症を減らせるよう取り組んでいきます。

また、これはがんに限った事ではありませんが、沖縄県全体で住民検診等での異常指摘時にも２次検診を受診しない場合や受療行動が遅いことが問題となっています。当院ではその受療行動の改善を目指し、自覚症状出現時の早期受診と２次検診の重要性を住民に理解してもらうべく「市民健康公開講座」と称して、豊見城市役所内にて啓蒙活動に取り組んでいます。

当院でのがん発見経緯別登録割合をみますと、自覚症状などを訴えての受診が 40.6%、他疾患経過観察中の偶然発見が 33.4%、がん検診・健康診断・人間ドックによる発見が 23.9%で、来院経路別での割合をみますと他施設からの紹介が 67.6%となっています。関連施設である友愛会健康管理センターをさらに充実させ、がんの早期発見への取り組みを強化するとともに、地域のクリニック・診療所から信頼して紹介していただける体制づくりを目指していきます。

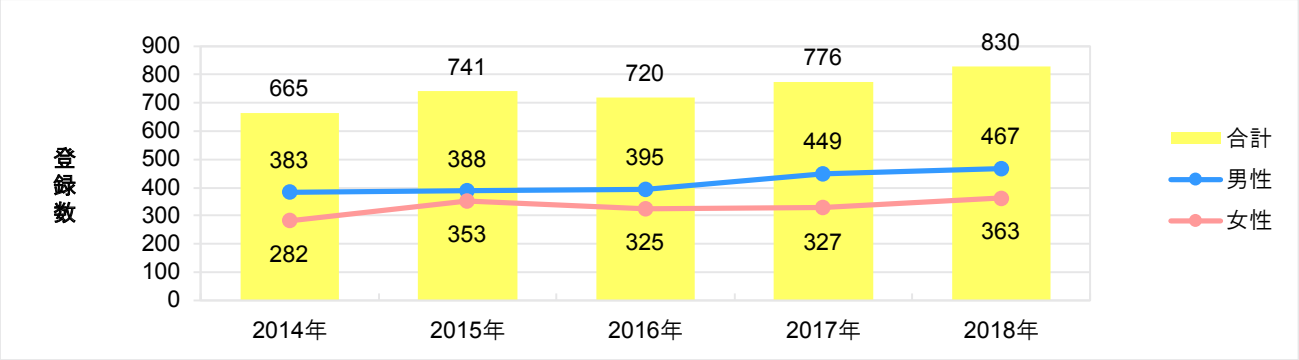
これまで社会医療法人友愛会は、上記した健康管理センターでのがん早期発見、豊見城中央病院での手術・内視鏡治療・化学療法、豊崎クリニック PET 画像センターでの転移検索、南部病院での緩和ケアなど各施設で実績を積み上げており、南部医療圏におけるがん診療の充実を図ってきました。現在、豊見城市与根において建設中の新病院：友愛医療センターでは、【がん診療の強化】を目標の一つに挙げて放射線治療機器の導入と、ゆったりとした化学療法室を整備し、専門的集学的がん診療体制を確立すべく 2020 年 6 月 1 日に開院予定です。加えて与根の友愛医療センターにおける院内緩和ケアチーム活動はもちろん、上田に残る豊見城中央病院の集学的なペインクリニックでは、精神科･心療内科･臨床心理士の方々の力も借りて「つらさを和らげる」「患者様が安心して自分らしく過ごせる」ことを目標に支援を行っていきます。今後はこれまでの各病院や各施設でのがん診療に留まらず、在宅での看取りへの積極的な取り組みを国は推進しており、地域を挙げてのがん診療体制づくりが急務となってきます。これまで述べてきました我々の長所を生かして南部医療圏に安心できる最良の医療を提供することを目標に掲げ、周辺医療機関や周辺施設、そして在宅での訪問診療・看護を担っている方々とも協力し相互理解を深め、一貫した継続性のあるがん診療を展開していけるよう取り組んでいきます。



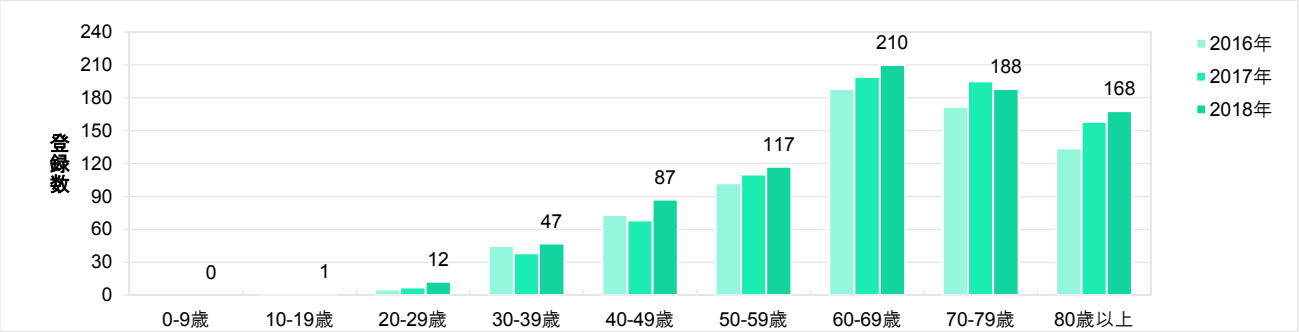
社会医療法人友愛会　豊見城中央病院
病院長　新崎　修

院内がん登録の概要

登録数の推移

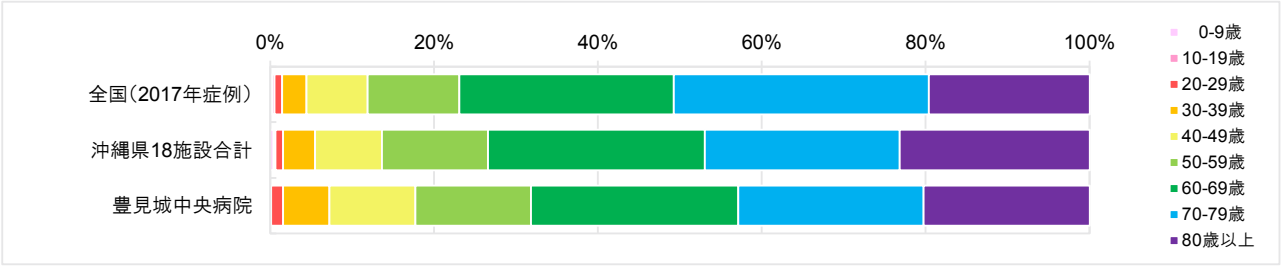


年齢階級別　登録数の推移



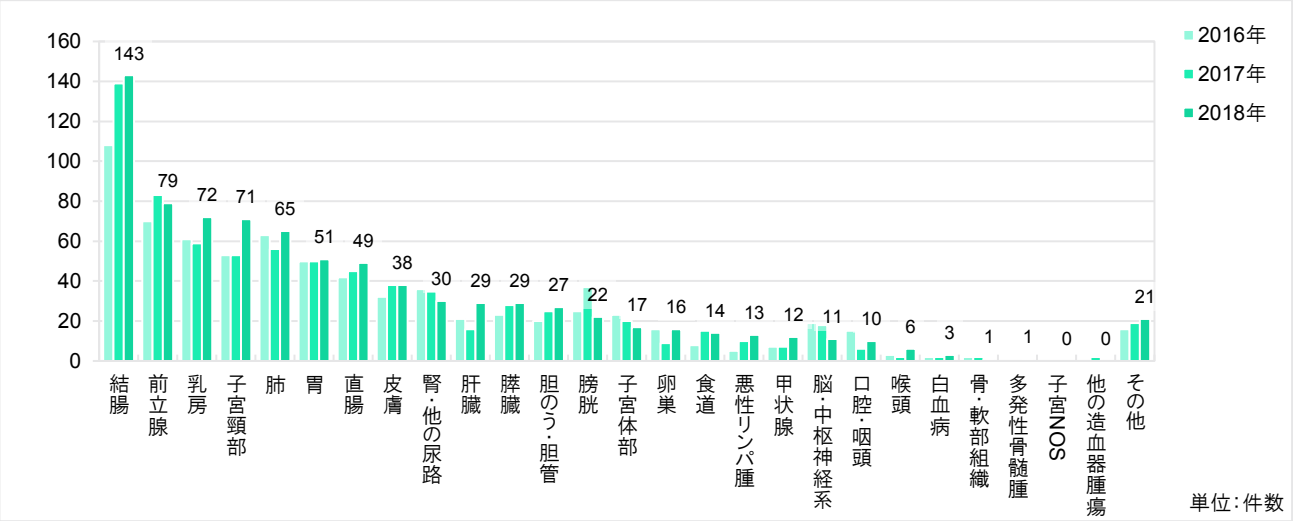
年齢階級別　登録数と登録割合

	全国(2017年症例)		沖縄県18施設合計		豊見城中央病院	
0-9歳	1,705	(0.2%)	44	(0.4%)	0	(0.0%)
10-19歳	1,965	(0.3%)	23	(0.2%)	1	(0.1%)
20-29歳	6,471	(0.9%)	105	(1.0%)	12	(1.4%)
30-39歳	21,457	(3.0%)	425	(3.9%)	47	(5.7%)
40-49歳	52,941	(7.4%)	896	(8.2%)	87	(10.5%)
50-59歳	79,976	(11.2%)	1,410	(12.9%)	117	(14.1%)
60-69歳	186,117	(26.1%)	2,894	(26.5%)	210	(25.3%)
70-79歳	221,871	(31.2%)	2,606	(23.8%)	188	(22.7%)
80歳以上	139,698	(19.6%)	2,532	(23.2%)	168	(20.2%)
合計	712,201	(100.0%)	10,935	(100.0%)	830	(100.0%)

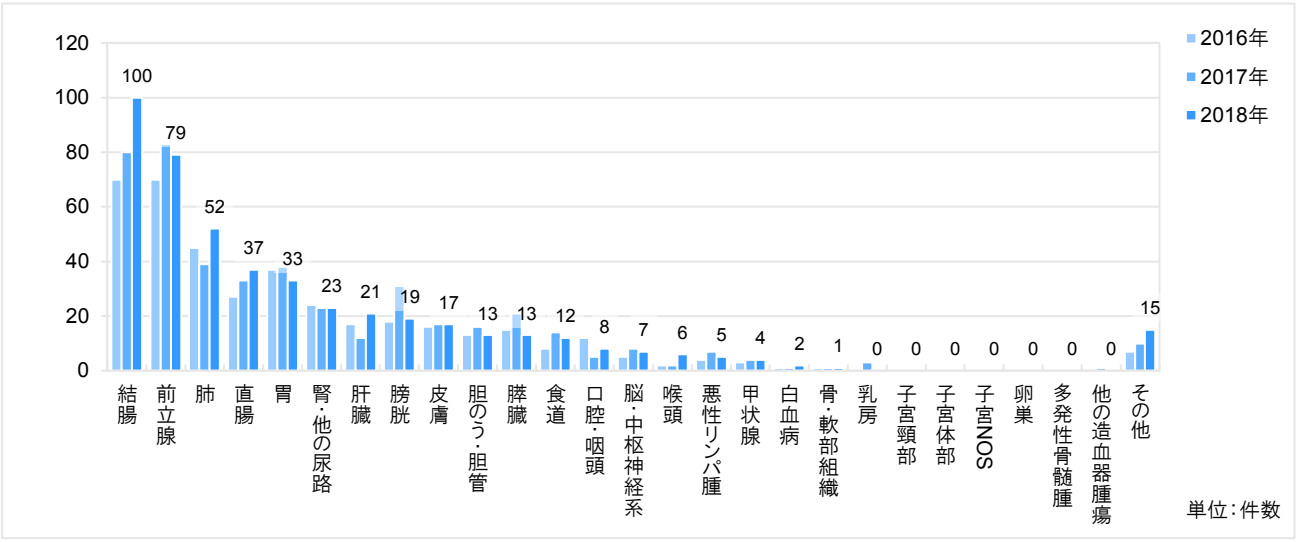


＊症例区分「80：その他」を除いて集計

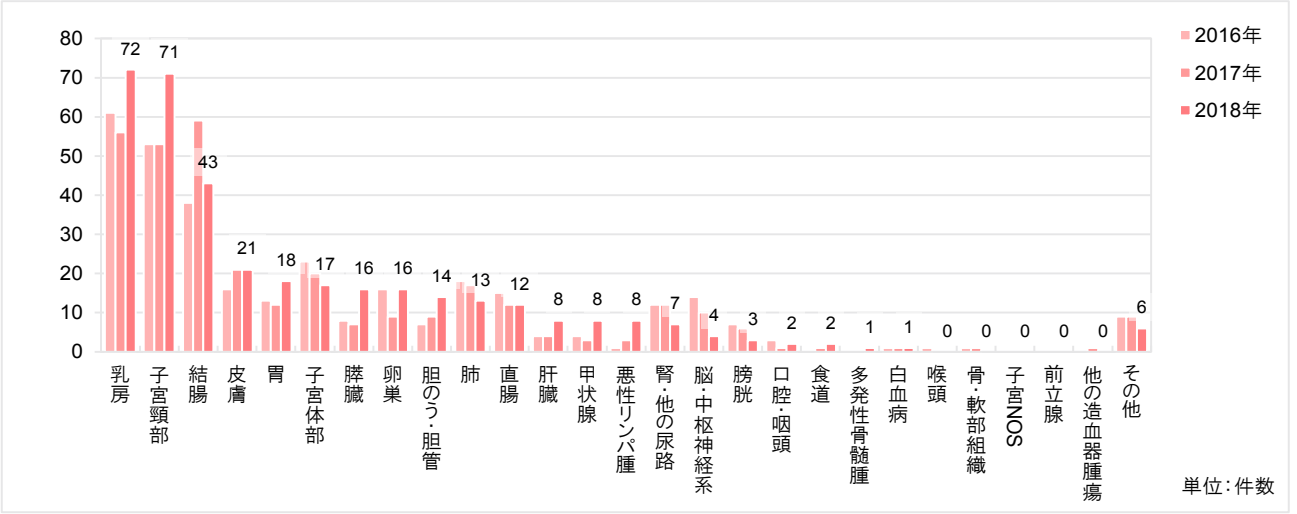
部位別　登録数の推移 — 男女計



部位別　登録数の推移 — 男



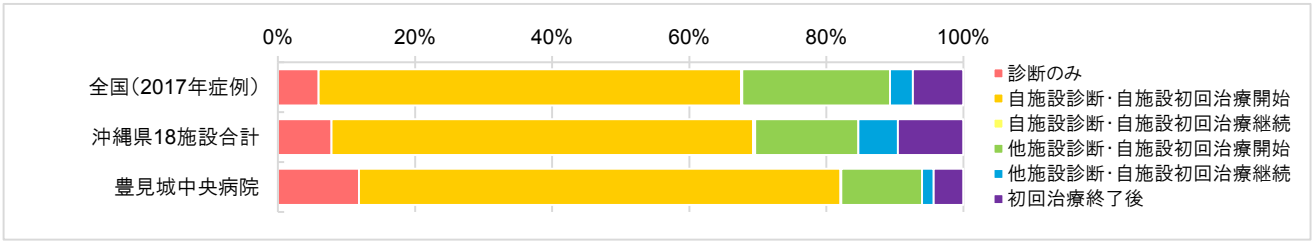
部位別　登録数の推移 — 女



＊症例区分「80：その他」を除いて集計

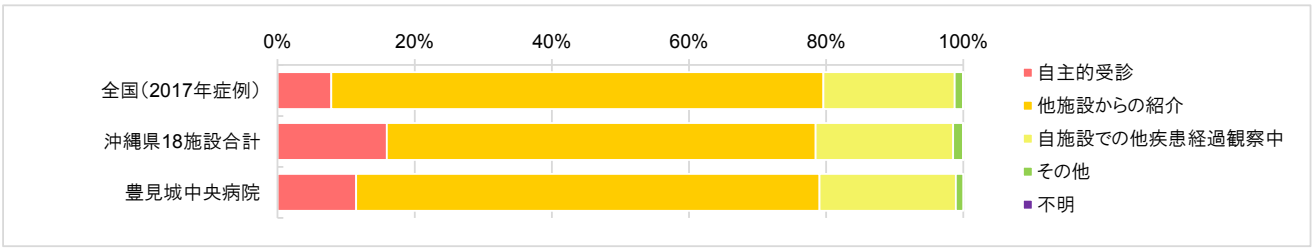
症例区分別　登録数と登録割合

	全国(2017年症例)		沖縄県18施設合計		豊見城中央病院	
診断のみ	42,302	(5.9%)	856	(7.8%)	98	(11.8%)
自施設診断･自施設初回治療開始	438,978	(61.6%)	6,721	(61.5%)	583	(70.2%)
自施設診断･自施設初回治療継続	1,124	(0.2%)	33	(0.3%)	1	(0.1%)
他施設診断･自施設初回治療開始	153,312	(21.5%)	1,651	(15.1%)	98	(11.8%)
他施設診断･自施設初回治療継続	23,838	(3.3%)	626	(5.7%)	14	(1.7%)
初回治療終了後	52,647	(7.4%)	1,048	(9.6%)	36	(4.3%)
合計	712,201	(100.0%)	10,935	(100.0%)	830	(100.0%)



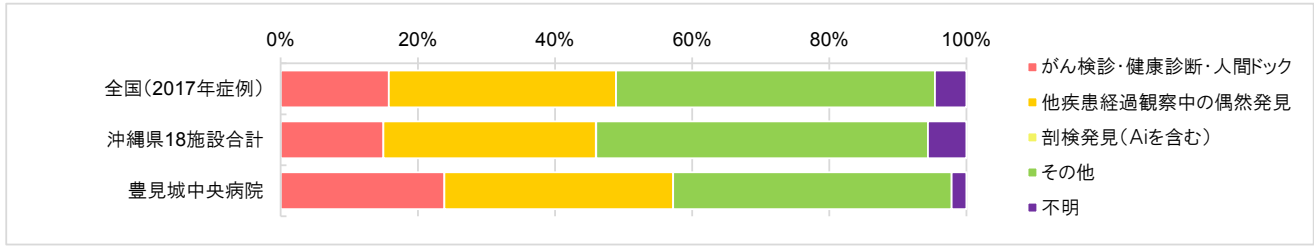
来院経路別　登録数と登録割合

	全国(2017年症例)		沖縄県18施設合計		豊見城中央病院	
自主的受診	55,803	(7.8%)	1,745	(16.0%)	95	(11.4%)
他施設からの紹介	511,176	(71.8%)	6,838	(62.5%)	561	(67.6%)
自施設での他疾患経過観察中	136,118	(19.1%)	2,187	(20.0%)	165	(19.9%)
その他	8,910	(1.3%)	162	(1.5%)	9	(1.1%)
不明	194	(0.0%)	3	(0.0%)	0	(0.0%)
合計	712,201	(100.0%)	10,935	(100.0%)	830	(100.0%)



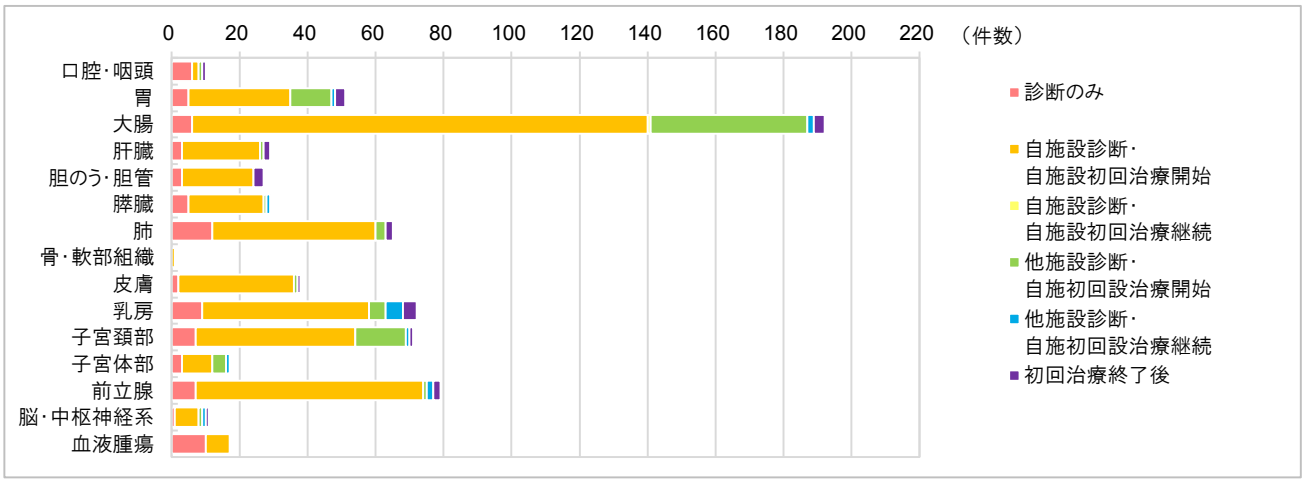
発見経緯別　登録数と登録割合

	全国(2017年症例)		沖縄県18施設合計		豊見城中央病院	
がん検診･健康診断･人間ドック	112,324	(15.8%)	1,636	(15.0%)	198	(23.9%)
他疾患経過観察中の偶然発見	235,862	(33.1%)	3,393	(31.0%)	277	(33.4%)
剖検発見(Aiを含む)	46	(0.0%)	2	(0.0%)	0	(0.0%)
その他	331,376	(46.5%)	5,293	(48.4%)	337	(40.6%)
不明	32,593	(4.6%)	611	(5.6%)	18	(2.2%)
合計	712,201	(100.0%)	10,935	(100.0%)	830	(100.0%)

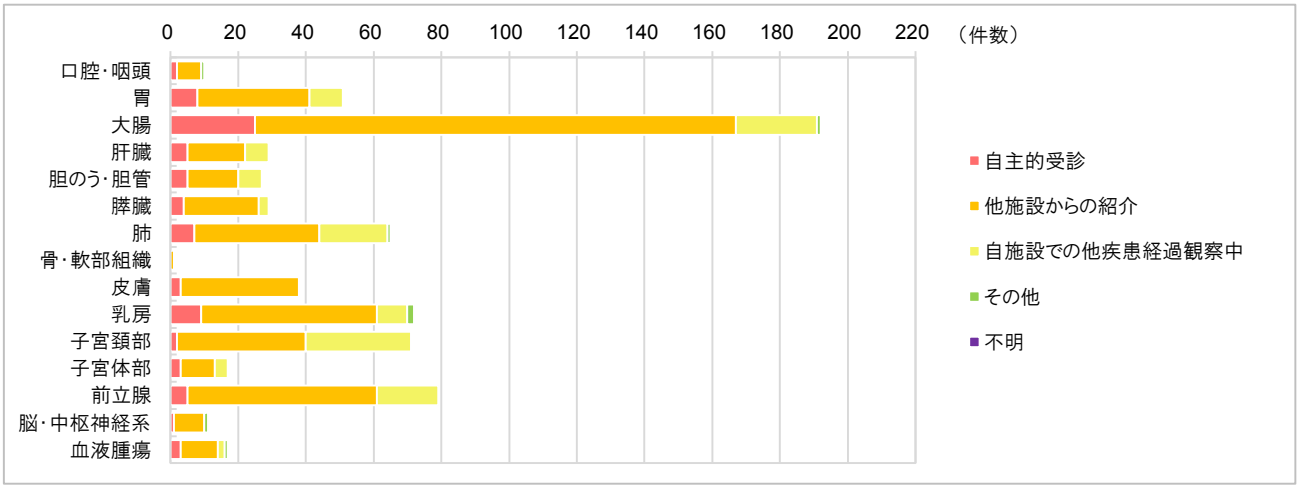


＊症例区分「80：その他」を除いて集計

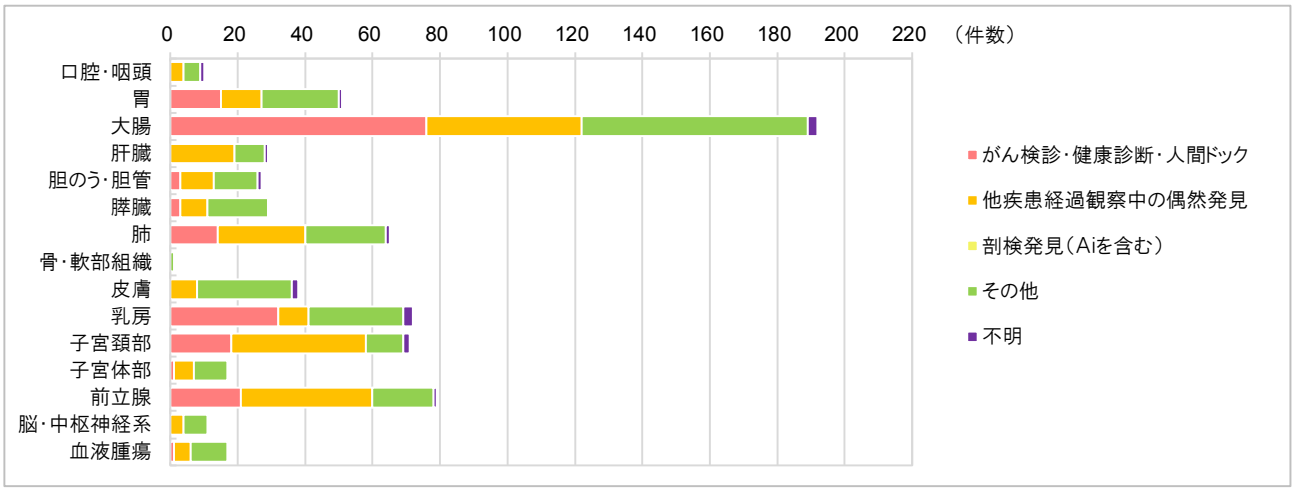
部位別　症例区分別　登録数



部位別　来院経路別　登録数



部位別　発見経緯別　登録数

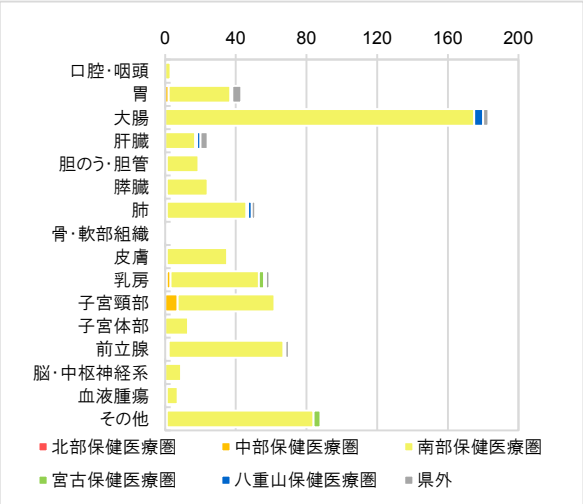


＊症例区分「８０：その他」を除いて集計

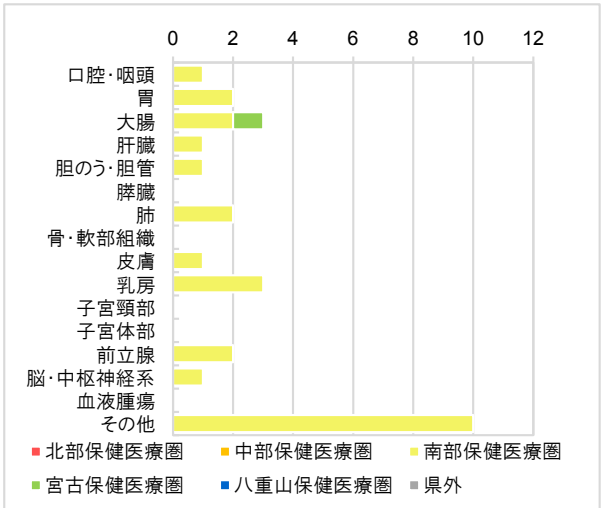
二次保健医療圏別　登録数と登録割合

圏域名	市町村名	登録数	割合	登録割合上位3部位	
北部保健医療圏	名護市　国頭村　大宜味村 東村　今帰仁村　本部町 伊江村　伊平屋村　伊是名村	6	0.7%	大腸	16.7%
				膵臓	16.7%
				皮膚	16.7%
中部保健医療圏	宜野湾市　沖縄市　うるま市　恩納村 宜野座村　金武町　読谷村　嘉手納町 北谷町　北中城村　中城村	20	2.4%	子宮頚部	35.0%
				乳房	20.0%
				胃	10.0%
南部保健医療圏	那覇市　浦添市　糸満市　豊見城市 南城市　西原町　与那原町 南風原町　渡嘉敷村　座間味村 粟国村　渡名喜村　南大東村 北大東村　久米島町　八重瀬町	750	90.4%	大腸	24.3%
				前立腺	9.7%
				子宮頚部	8.3%
宮古保健医療圏	宮古島市　多良間村	13	1.6%	乳房	23.1%
				腎･他の尿路	23.1%
				胆嚢･胆管	15.4%
八重山保健医療圏	石垣市　竹富町　与那国町	16	1.9%	大腸	31.3%
				肝臓	12.5%
				肺	12.5%
沖縄県外		25	3.0%	--	--
合計		830	100.0%	大腸	22.8%
				前立腺	9.3%
				子宮頚部	8.6%

二次保健医療圏別　部位別　治療件数*



二次保健医療圏別部位別　初回治療終了後の受け入れ登録数*



*症例区分「80：その他」を除いて集計
*二次保健医療圏別集計は、当該施設を受診したときの患者さんの住所（診断時住所）をもとに集計
*登録割合上位３部位において、登録割合が同数の場合、部位コードが小さい順に表記
*二次保健医療圏別部位別治療件数は、症例区分「20：自施設診断・自施設初回治療開始」「21：自施設診断・自施設初回治療継続」「30：他施設診断・自施設初回治療開始」「31：他施設診断・自施設初回治療継続」のみ集計
*二次保健医療圏別部位別初回治療終了後の受け入れ登録数は、症例区分「40：初回治療終了後」のみ集計

沖縄県立宮古病院



422

基本情報	
病院名	沖縄県立宮古病院
所在地	〒 906-0013　沖縄県宮古島市平良字下里 427 番地 1
電話（代表）	0980-72-3151
ホームページ	http://www.hosp.pref.okinawa.jp/miyako/

診療案内			
診療科	内科、外科、小児科、整形外科、脳神経外科、産婦人科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、皮膚科、精神科、リハビリテーション科、麻酔科、歯科口腔外科、放射線科技術科 合計 14 診療科		
病床数	276 床	平均在院日数	15.64 日
入院患者のべ数	8,7312 人	外来患者のべ数	121,183 人
外来化学療法の実施	○	放射線治療の実施	×
緩和ケア外来	○	緩和ケアチーム	○
緩和ケア病棟	×	緩和ケア病床数	0 床
院内がん登録実務者数 （実務者のうち研修修了者数）	実務者数 1 名（中級者 1 名）		

がん相談	
名称	がん相談支援
電話番号	代表 0980-72-3151（内線 1511） 直通 0980-72-1352
対応時間	月～金曜日　8：30 ～ 12：00　13：00 ～ 16：30

患者さん・ご家族用の設備	
交流の場 （がん患者サロンなど）	○
院内図書館 （図書等を設置している場所）	×



現在、沖縄県立宮古病院は地域がん診療病院の機能を有する病院として位置付けられています。宮古島の高齢者の人口割合が年々増加していく中で、高齢者の各種がん患者の増加などもみられ、今後さらにがん患者の発生予防、がん患者の早期診断と治療も地域のニーズとして高まっていることが理解できます。当院としてはがん患者に対して高品質の良い医療の提供をしこのニーズに応えていかねばなりません。

2018 年度は、院内がん登録数は 298 名となっています。その中でも 60 歳以上が８２．９％を占めております。がん患者の５名のうち４名が高齢者がん患者ということになります。今後も高齢化が進んでいくことが予想されています。

高齢者がん患者の多くはがんという疾患以外にも多臓器にわたる疾患を合併し、また一人暮らしの高齢者や高齢者夫婦世帯という背景から生じる特有の家族内、地域社会での問題を含んでおり、多くの方面から多職種による協働での対応などが求められてきます。高齢者がん患者に対してはそういった統合的アプローチが今後重要となってくることでしょう。

宮古管内では、大腸がん、直腸がん、胃がんなどの消化器がんが多く、その次に肺がん、前立腺がんと続いています。また各種がん患者がいる中で、血液がん患者の登録も 20 名ほどいます。地域がん診療病院の機能を持つ病院としては、このように多くの臓器にわたって、患者数は多くはないが少数名発病してくるがん患者への対応もニーズとして高く、特に血液がんや放射線治療を必要とする患者らに対しては今後も専門病院への紹介を含めどのようにがん専門病院と連携していくか、喫緊の課題と考えています。

男女での特徴は、前立腺がんは男性に、乳がんや子宮がんなどは女性に、といった生殖器臓器特有の特徴があり、当院ではそれらのがん患者に対する基本的対応をしていますが、基本的に放射線療法などを希望する場合には専門病院への紹介を行っています。

宮古医療圏内での他の特徴として、宮古医療圏内での初回治療の割合も多いのが特徴的です。自前で初期から積極的に関わっていることがわかります。特に、胃がん、肝臓がん、胆のう･胆管がん、膵がん、などの消化管がんはほぼ当院外科において手術療法と化学療法で対応されておることが如実に示されております。他、子宮頸がん、肺がん、脳・中枢神経系がん、前立腺がんなどの対応も宮古島の施設内で 50%以上の患者が対応されていることが示されています。しかしながら、乳がん、血液腫瘍、子宮体がん、口腔・咽頭のがん、皮膚がん、口腔・咽頭がんの多くは島外の専門施設で初期治療が行われております。

がん患者の発見の契機になっているのは、『他の疾患の経過観察中』あるいは『その他』が多く、がん検診や人間ドックからの紹介は割合的に少なくなっています。このことも予防と保健を考える意味で重要なことだと考えます。

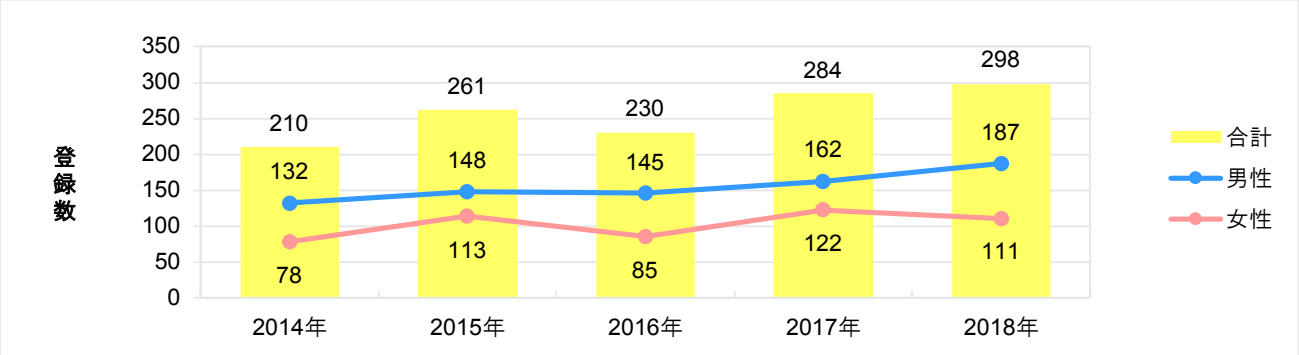
他、アルコール飲酒の問題やたばこの問題など、生活習慣を改善することでがん患者の発生を予防していくことが、つまりがんに対する地域ヘルスケアシステムの構築も大きな地域課題として挙げられます。ひとつひとつ地域医療機関と連携しながら地道に取り組んでいきたいものです。



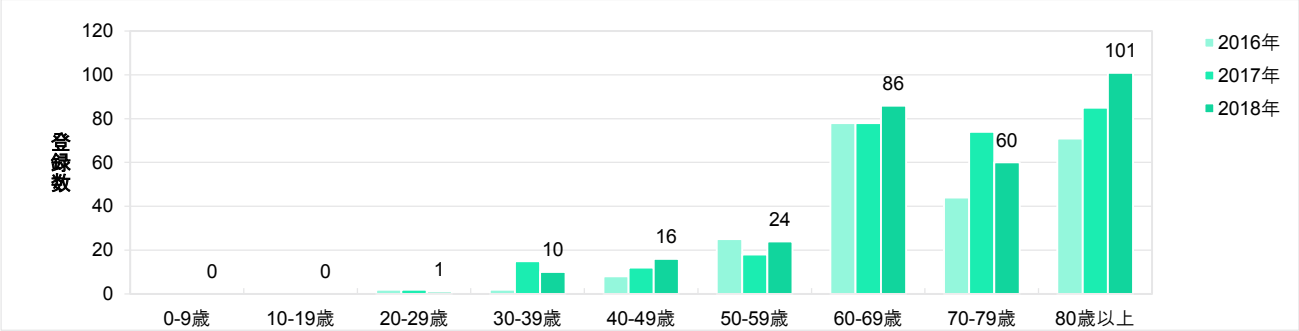
沖縄県立宮古病院
病院長　本永　英治

院内がん登録の概要

登録数の推移

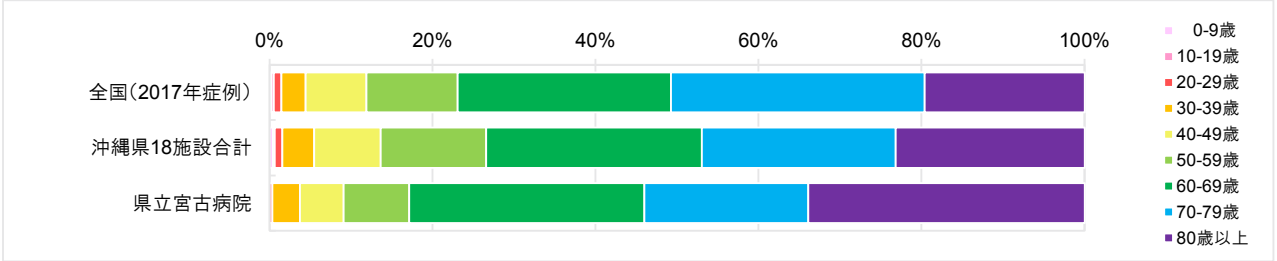


年齢階級別　登録数の推移



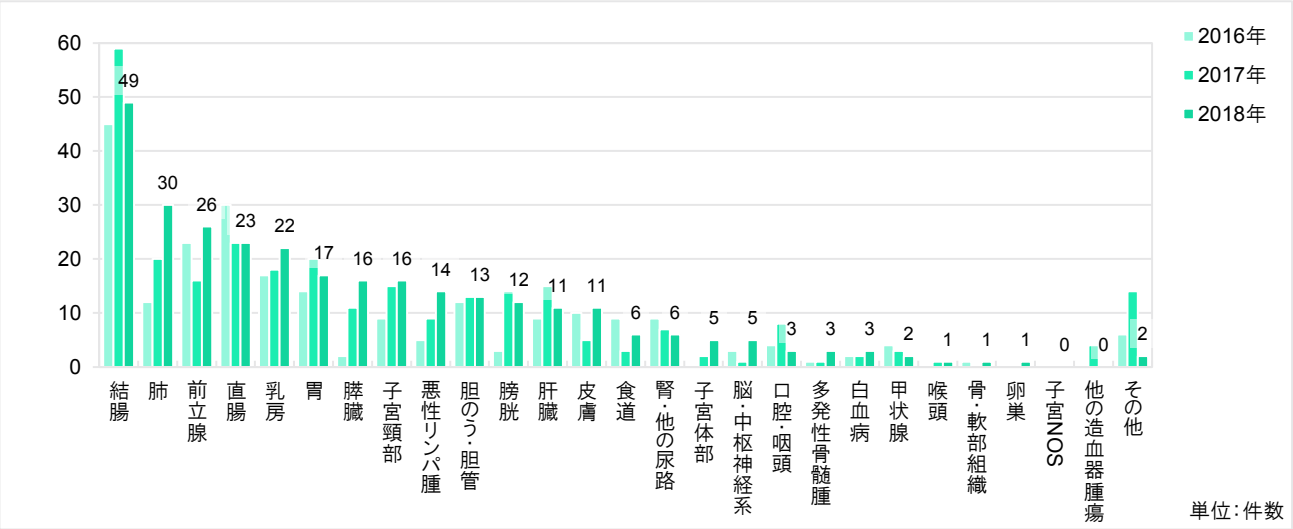
年齢階級別　登録数と登録割合

	全国(2017年症例)		沖縄県18施設合計		県立宮古病院	
0-9歳	1,705	(0.2%)	44	(0.4%)	0	(0.0%)
10-19歳	1,965	(0.3%)	23	(0.2%)	0	(0.0%)
20-29歳	6,471	(0.9%)	105	(1.0%)	1	(0.3%)
30-39歳	21,457	(3.0%)	425	(3.9%)	10	(3.4%)
40-49歳	52,941	(7.4%)	896	(8.2%)	16	(5.4%)
50-59歳	79,976	(11.2%)	1,410	(12.9%)	24	(8.1%)
60-69歳	186,117	(26.1%)	2,894	(26.5%)	86	(28.9%)
70-79歳	221,871	(31.2%)	2,606	(23.8%)	60	(20.1%)
80歳以上	139,698	(19.6%)	2,532	(23.2%)	101	(33.9%)
合計	712,201	(100.0%)	10,935	(100.0%)	298	(100.0%)

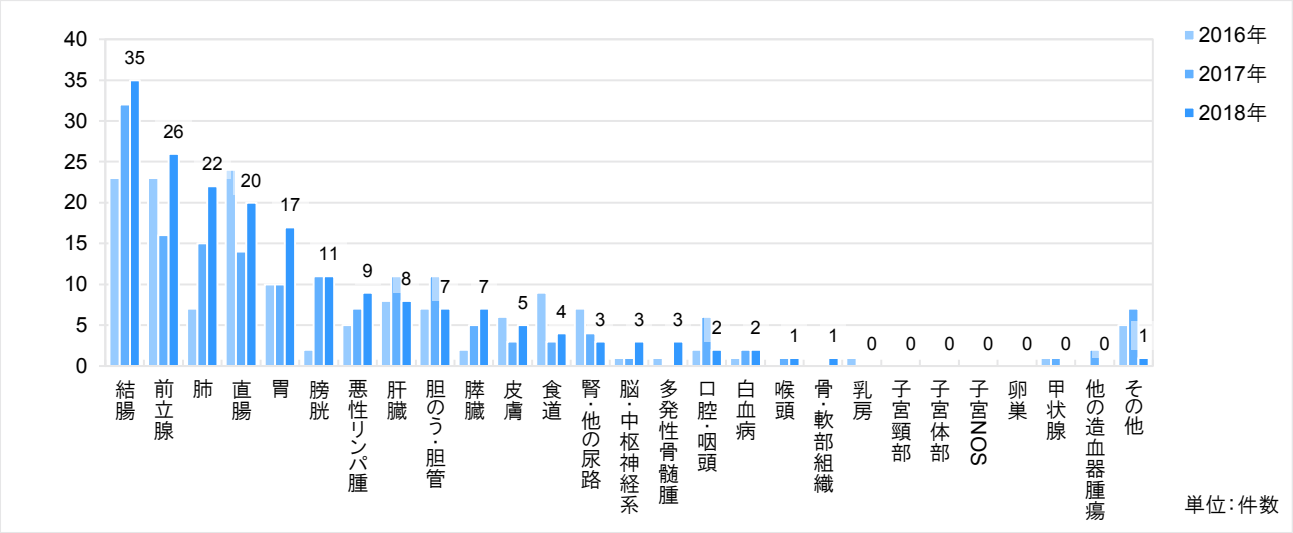


＊症例区分「80：その他」を除いて集計

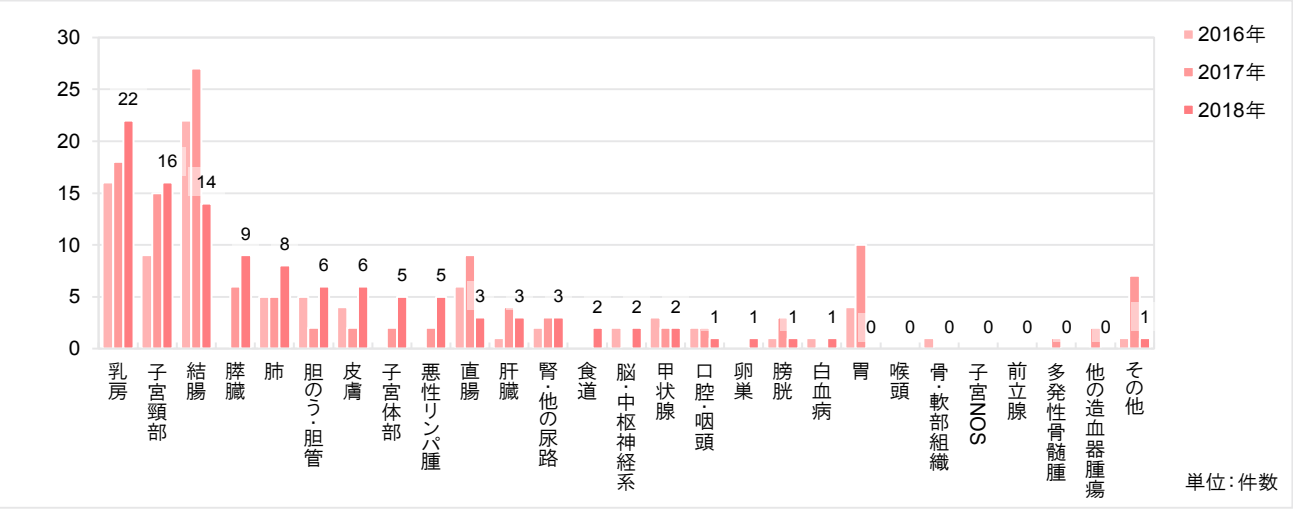
部位別　登録数の推移 — 男女計



部位別　登録数の推移 — 男



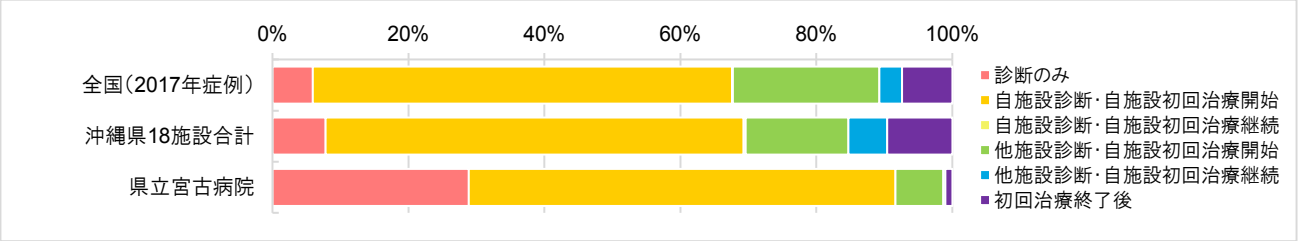
部位別　登録数の推移 — 女



＊症例区分「80：その他」を除いて集計

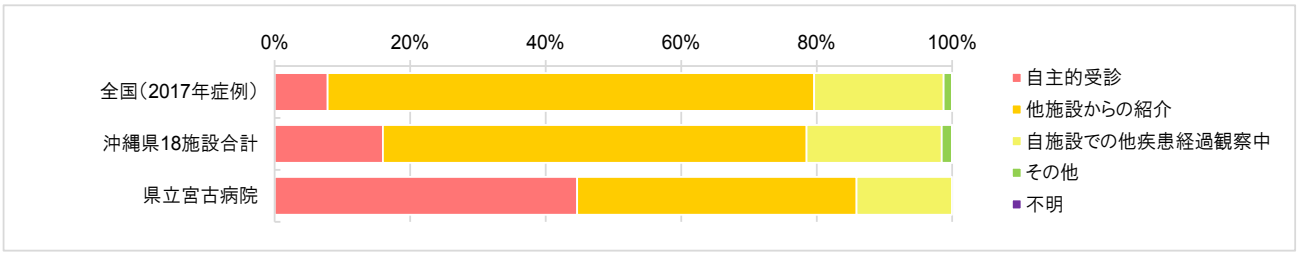
症例区分別　登録数と登録割合

	全国(2017年症例)		沖縄県18施設合計		県立宮古病院	
診断のみ	42,302	(5.9%)	856	(7.8%)	86	(28.9%)
自施設診断･自施設初回治療開始	438,978	(61.6%)	6,721	(61.5%)	187	(62.8%)
自施設診断･自施設初回治療継続	1,124	(0.2%)	33	(0.3%)	0	(0.0%)
他施設診断･自施設初回治療開始	153,312	(21.5%)	1,651	(15.1%)	21	(7.0%)
他施設診断･自施設初回治療継続	23,838	(3.3%)	626	(5.7%)	1	(0.3%)
初回治療終了後	52,647	(7.4%)	1,048	(9.6%)	3	(1.0%)
合計	712,201	(100.0%)	10,935	(100.0%)	298	(100.0%)



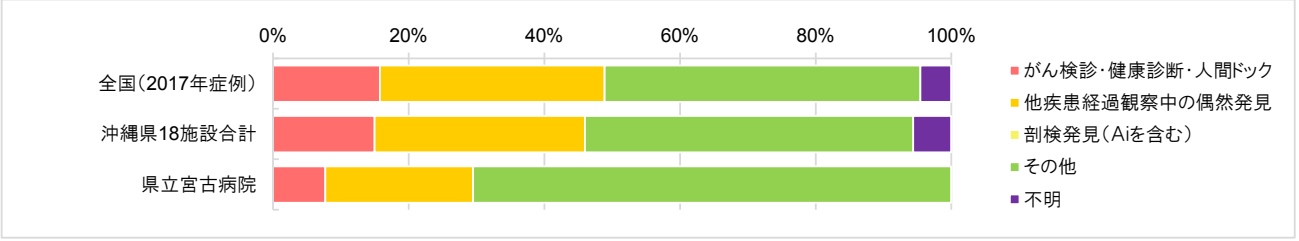
来院経路別　登録数と登録割合

	全国(2017年症例)		沖縄県18施設合計		県立宮古病院	
自主的受診	55,803	(7.8%)	1,745	(16.0%)	133	(44.6%)
他施設からの紹介	511,176	(71.8%)	6,838	(62.5%)	123	(41.3%)
自施設での他疾患経過観察中	136,118	(19.1%)	2,187	(20.0%)	42	(14.1%)
その他	8,910	(1.3%)	162	(1.5%)	0	(0.0%)
不明	194	(0.0%)	3	(0.0%)	0	(0.0%)
合計	712,201	(100.0%)	10,935	(100.0%)	298	(100.0%)



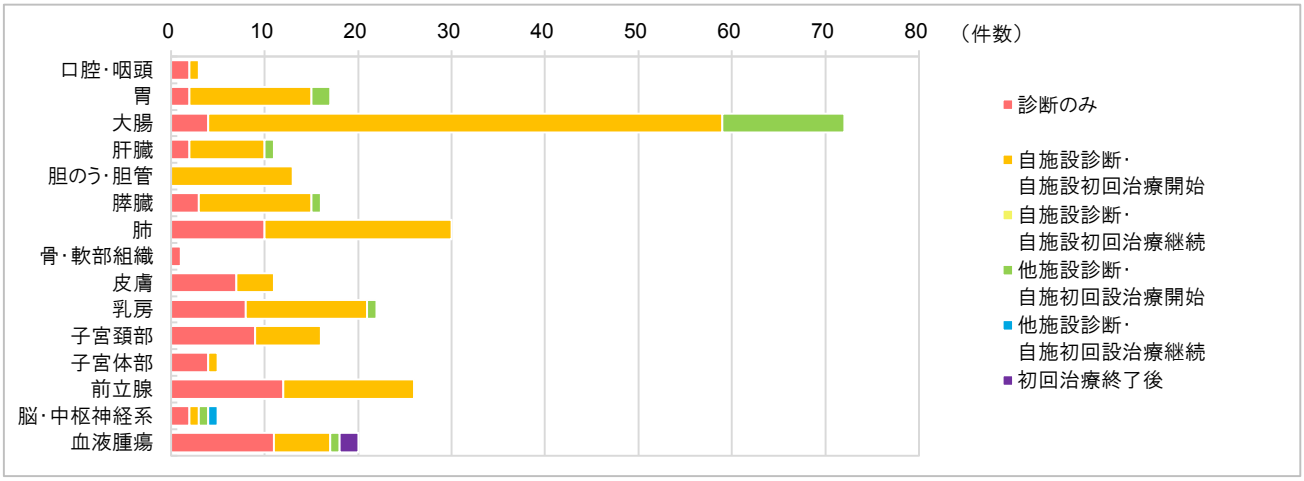
発見経緯別　登録数と登録割合

	全国(2017年症例)		沖縄県18施設合計		県立宮古病院	
がん検診･健康診断･人間ドック	112,324	(15.8%)	1,636	(15.0%)	23	(7.7%)
他疾患経過観察中の偶然発見	235,862	(33.1%)	3,393	(31.0%)	65	(21.8%)
剖検発見(Aiを含む)	46	(0.0%)	2	(0.0%)	0	(0.0%)
その他	331,376	(46.5%)	5,293	(48.4%)	210	(70.5%)
不明	32,593	(4.6%)	611	(5.6%)	0	(0.0%)
合計	712,201	(100.0%)	10,935	(100.0%)	298	(100.0%)

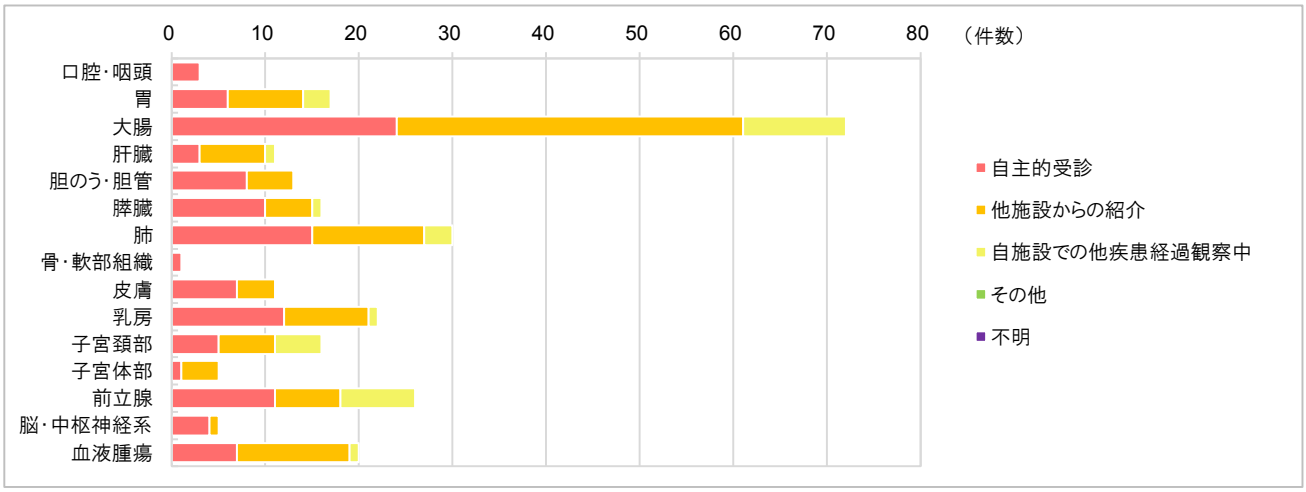


＊症例区分「80：その他」を除いて集計

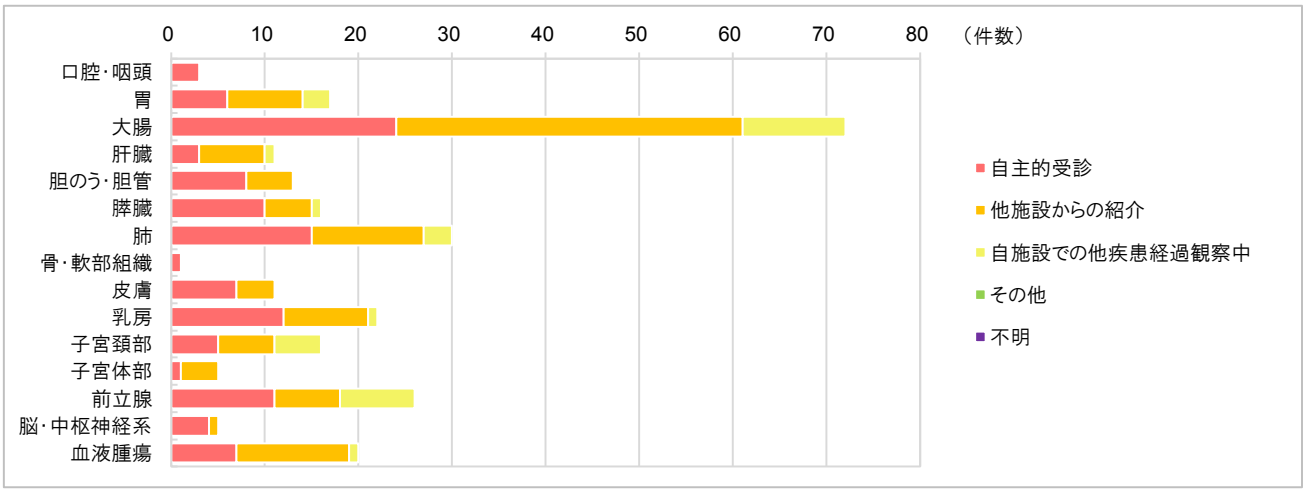
部位別　症例区分別　登録数



部位別　来院経路別　登録数



部位別　発見経緯別　登録数

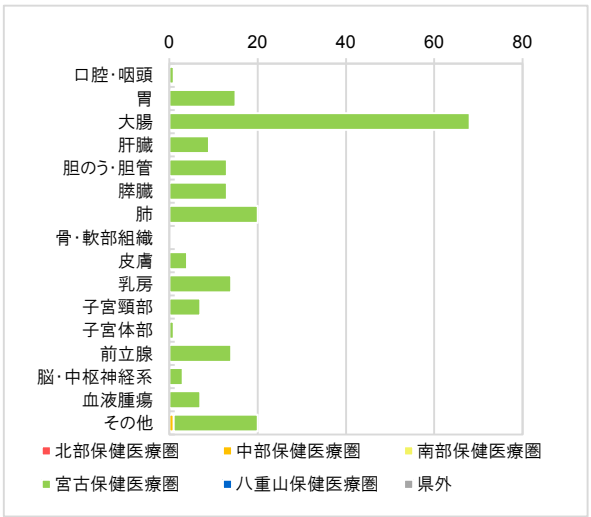


＊症例区分「８０：その他」を除いて集計

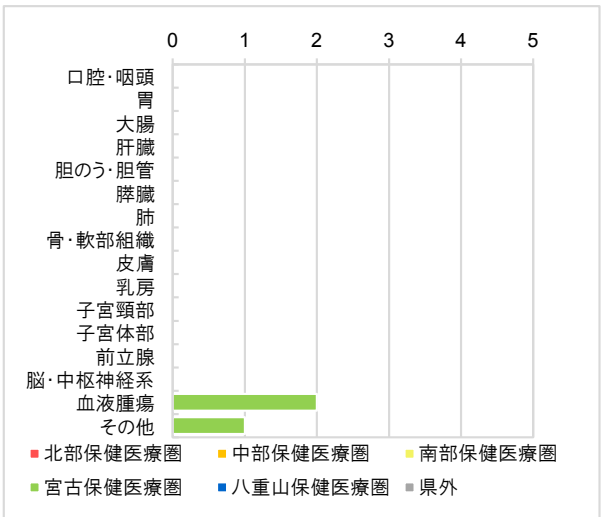
二次保健医療圏別　登録数と登録割合

圏域名	市町村名	登録数	割合	登録割合上位3部位	
北部保健医療圏	名護市　国頭村　大宜味村 東村　今帰仁村　本部町 伊江村　伊平屋村　伊是名村	0	0.0%	--	--
				--	--
				--	--
中部保健医療圏	宜野湾市　沖縄市　うるま市　恩納村 宜野座村　金武町　読谷村　嘉手納町 北谷町　北中城村　中城村	1	0.3%	甲状腺	100.0%
				--	--
				--	--
南部保健医療圏	那覇市　浦添市　糸満市　豊見城市 南城市　西原町　与那原町 南風原町　渡嘉敷村　座間味村 粟国村　渡名喜村　南大東村 北大東村　久米島町　八重瀬町	0	0.0%	--	--
				--	--
				--	--
宮古保健医療圏	宮古島市　多良間村	295	99.0%	大腸	24.4%
				肺	10.2%
				前立腺	8.8%
八重山保健医療圏	石垣市　竹富町　与那国町	0	0.0%	--	--
				--	--
				--	--
沖縄県外		2	0.7%	--	--
合計		298	100.0%	大腸	24.2%
				肺	10.1%
				前立腺	8.7%

二次保健医療圏別　部位別　治療件数*



二次保健医療圏別部位別　初回治療終了後の受け入れ登録数*



*症例区分「80：その他」を除いて集計
*二次保健医療圏別集計は、当該施設を受診したときの患者さんの住所（診断時住所）をもとに集計
*登録割合上位３部位において、登録割合が同数の場合、部位コードが小さい順に表記
*二次保健医療圏別部位別治療件数は、症例区分「20：自施設診断・自施設初回治療開始」「21：自施設診断・自施設初回治療継続」「30：他施設診断・自施設初回治療開始」「31：他施設診断・自施設初回治療継続」のみ集計
*二次保健医療圏別部位別初回治療終了後の受け入れ登録数は、症例区分「40：初回治療終了後」のみ集計

沖縄県立八重山病院



430

基本情報	
病院名	沖縄県立八重山病院
所在地	石垣市真栄里 584 番地 1
電話（代表）	0980-87-5557
ホームページ	https://yaeyamaweb.hosp.pref.okinawa.jp/

診療案内			
診療科	内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科、外科、呼吸器外科、消化器外科、脳神経外科、整形外科、精神科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、救急科、麻酔科、腎臓内科、歯科口腔外科 合計 24 診療科		
病床数	302 床	平均在院日数	13 日
入院患者のべ数	77,828 人	外来患者のべ数	113,328 人
外来化学療法の実施	○	放射線治療の実施	×
緩和ケア外来	○	緩和ケアチーム	○
緩和ケア病棟	×	緩和ケア病床数	0 床
院内がん登録実務者数 （実務者のうち研修修了者数）	実務者数 1 名（初級者 1 名）		

がん相談	
名称	がん相談支援センター
電話番号	0980-87-5278
対応時間	月～金曜日（土・日曜、祝日を除く） 9：00 ～ 16：00

患者さん・ご家族用の設備	
交流の場 （がん患者サロンなど）	○
院内図書館 （図書等を設置している場所）	×



県立八重山病院は、那覇から約 410㎞離れた大小 32 に島からなる八重山諸島の中で、西表島に次いで２番目に大きい石垣島にあります。この距離は、東京から大阪までの距離に匹敵します。

築 38 年経過し老朽化が激しかった石垣市大川の旧病院から、平成 30 年 10 月、石垣市真栄里の旧石垣空港跡地に新県立八重山病院として新築移転しました。

八重山圏域で唯一の総合病院として救急医療、小児医療、周産期医療、精神医療などの政策医療を担っているだけでなく、竹富町の島々に４つに離島附属診療所も運営も行っています。日本領土の最西南端の国境に位置している中核病院として、災害医療拠点病院、第二種感染症指定医療機関、そして地域がん診療病院としての重要な役割も担っております。

新県立八重山病院として新たに外来化学療法室も５床から 15 床と大幅に拡充して、地域のがん診療の拠点となるべく、外来化学療法に関しても期待できると思います。

2018 年の院内がん登録集計結果から言えることは、当院における男女別がん登録の割合はほぼ半々であり、年齢別のがん登録に関しては 60 ～ 69 歳の 29.8％が最も多く、次に 80 歳以上が 23.7％、70 ～ 79 歳が 20.2％となっています。

同じ離島地域の宮古病院と比較して、働き盛りの年齢である 40 歳～ 49 歳の 7.9％、30 歳～ 39 歳の 7.5％にがん登録数がやや多いのが特徴的です。

県立八重山病院での部位別のがん登録の上位５部位としては、１位は大腸、２位は肺、３位は胃で、2017 年の集計結果と上位３位まではほぼ変わりありませんが、４位が血液腫瘍から子宮頸部、５位が乳房から皮膚となっています。部位別がん登録に変化が出てきていますが、今後、部位別に関して注視していく必要があるかと思われます。

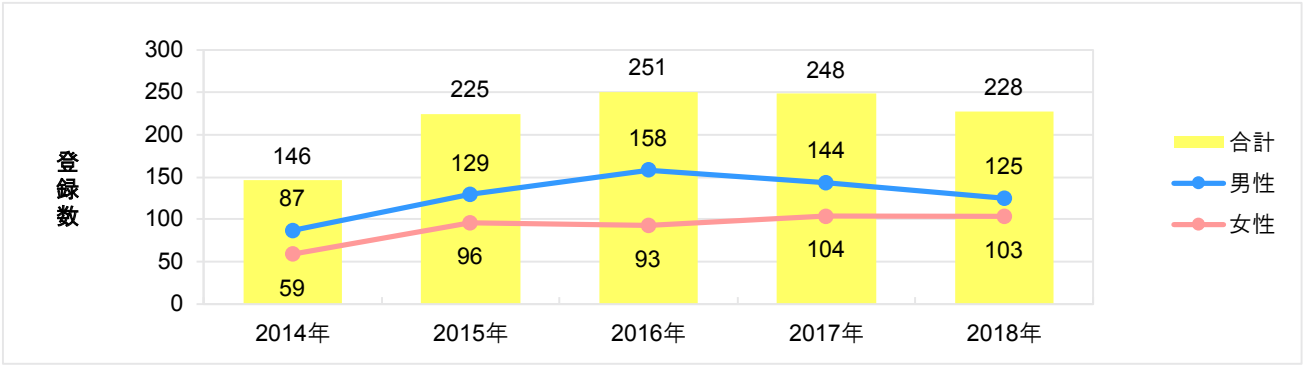
また、がんの発見経緯においても「がん検診・健康診断・人間ドック」の割合が低く、「他疾患経過観察中の偶然発見」の割合が依然と多く、今後の検診の重要性を啓蒙しつつ早期発見・早期治療につなげていけるよう八重山圏域の唯一の地域がん診療病院としての役割を果たしていけるように頑張っていきたいと思います。

沖縄県立八重山病院
病院長 篠﨑 裕子

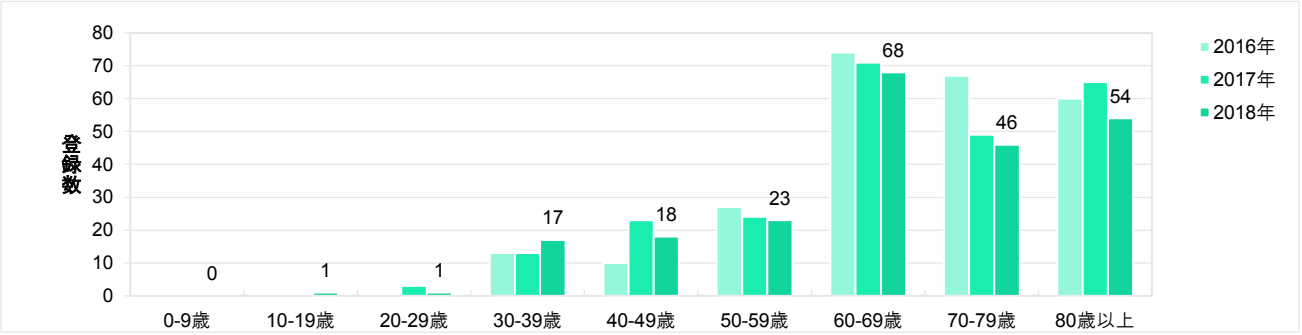


院内がん登録の概要

登録数の推移

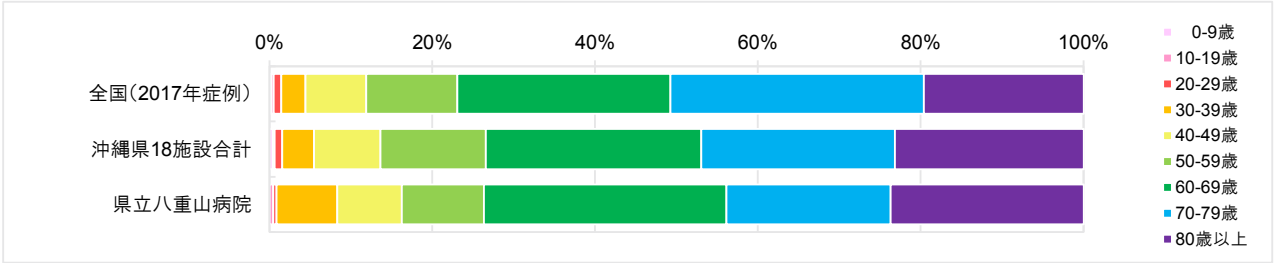


年齢階級別　登録数の推移



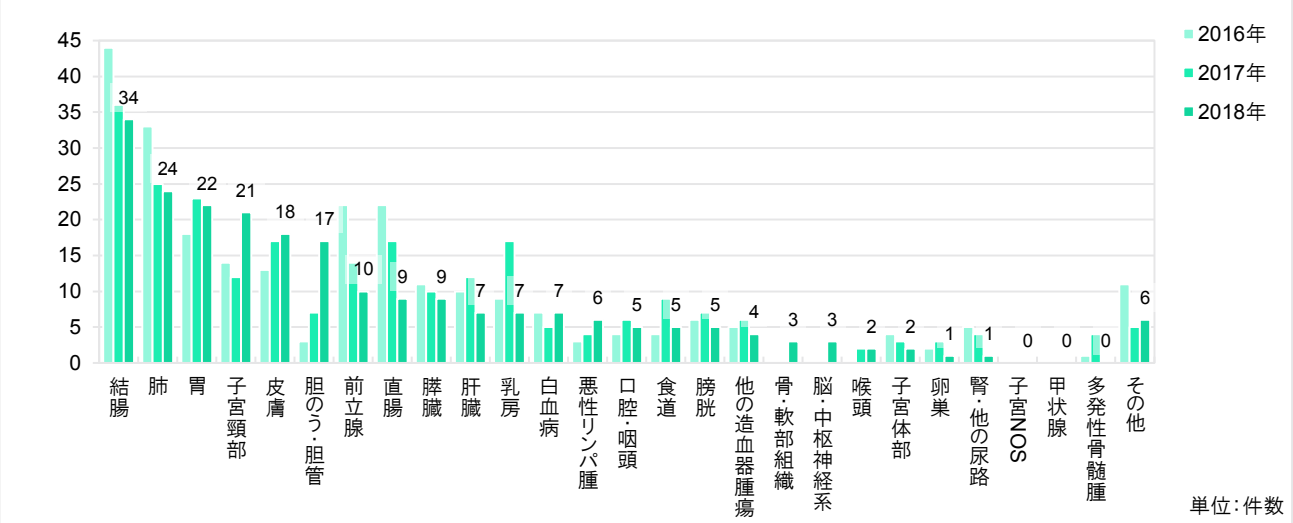
年齢階級別　登録数と登録割合

	全国(2017年症例)		沖縄県18施設合計		県立八重山病院	
0-9歳	1,705	(0.2%)	44	(0.4%)	0	(0.0%)
10-19歳	1,965	(0.3%)	23	(0.2%)	1	(0.4%)
20-29歳	6,471	(0.9%)	105	(1.0%)	1	(0.4%)
30-39歳	21,457	(3.0%)	425	(3.9%)	17	(7.5%)
40-49歳	52,941	(7.4%)	896	(8.2%)	18	(7.9%)
50-59歳	79,976	(11.2%)	1,410	(12.9%)	23	(10.1%)
60-69歳	186,117	(26.1%)	2,894	(26.5%)	68	(29.8%)
70-79歳	221,871	(31.2%)	2,606	(23.8%)	46	(20.2%)
80歳以上	139,698	(19.6%)	2,532	(23.2%)	54	(23.7%)
合計	712,201	(100.0%)	10,935	(100.0%)	228	(100.0%)

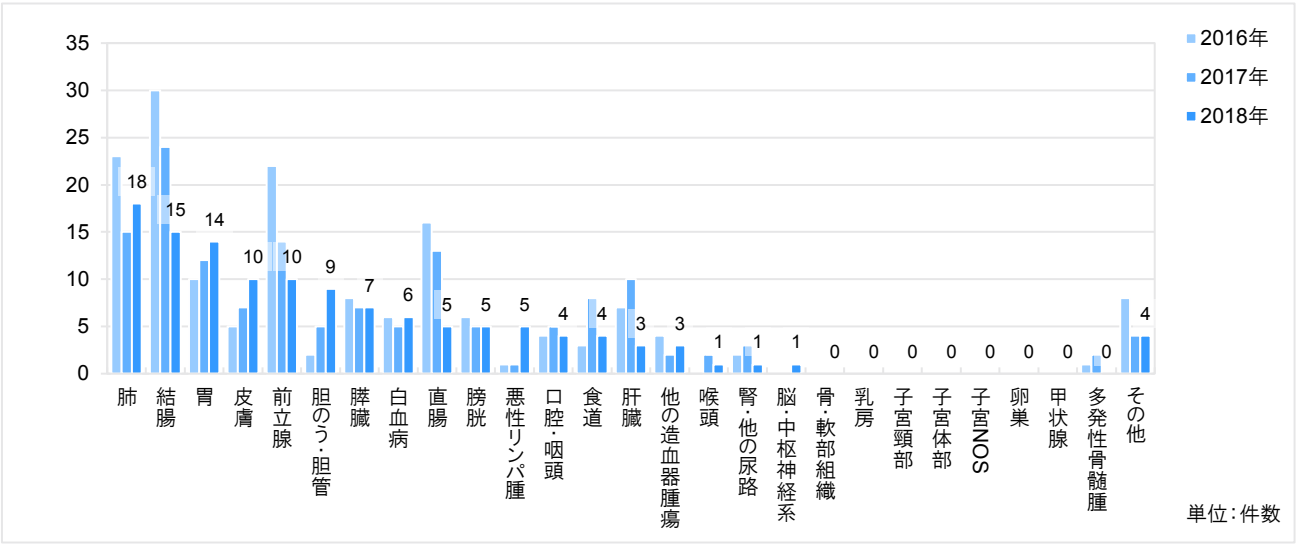


＊症例区分「80：その他」を除いて集計

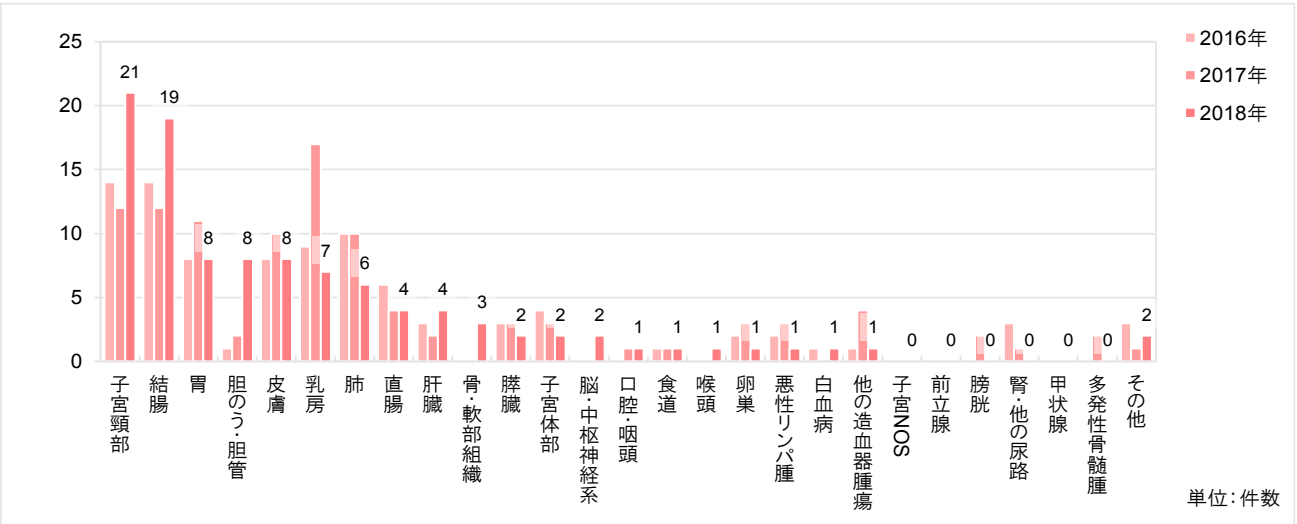
部位別　登録数の推移 — 男女計



部位別　登録数の推移 — 男



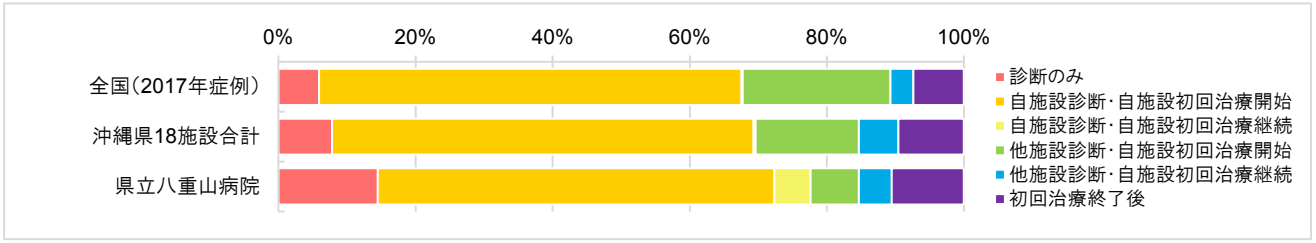
部位別　登録数の推移 — 女



＊症例区分「80：その他」を除いて集計

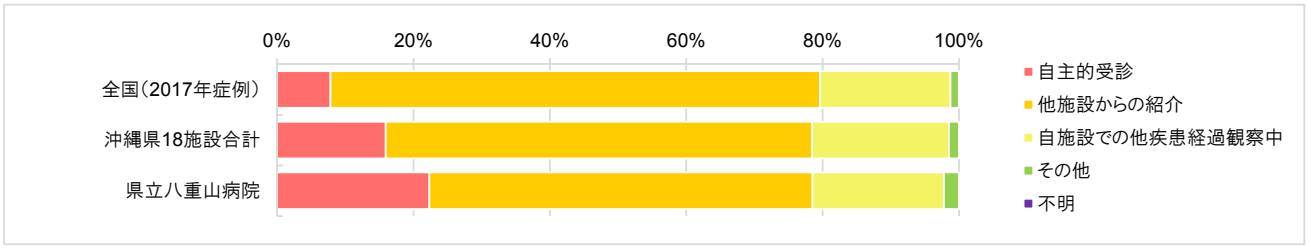
症例区分別　登録数と登録割合

	全国(2017年症例)		沖縄県18施設合計		県立八重山病院	
診断のみ	42,302	(5.9%)	856	(7.8%)	33	(14.5%)
自施設診断･自施設初回治療開始	438,978	(61.6%)	6,721	(61.5%)	132	(57.9%)
自施設診断･自施設初回治療継続	1,124	(0.2%)	33	(0.3%)	12	(5.3%)
他施設診断･自施設初回治療開始	153,312	(21.5%)	1,651	(15.1%)	16	(7.0%)
他施設診断･自施設初回治療継続	23,838	(3.3%)	626	(5.7%)	11	(4.8%)
初回治療終了後	52,647	(7.4%)	1,048	(9.6%)	24	(10.5%)
合計	712,201	(100.0%)	10,935	(100.0%)	228	(100.0%)



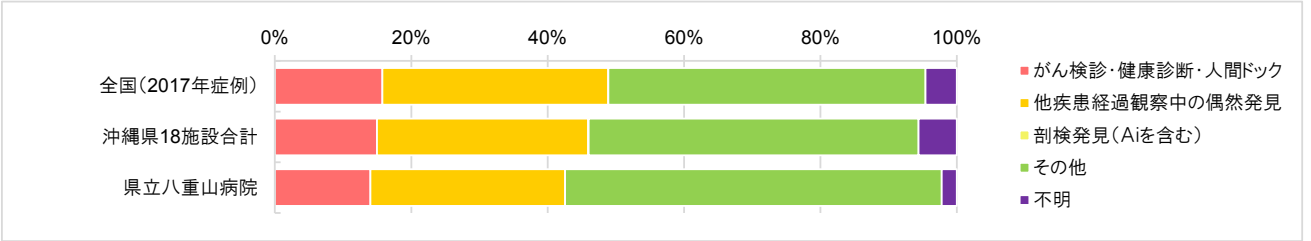
来院経路別　登録数と登録割合

	全国(2017年症例)		沖縄県18施設合計		県立八重山病院	
自主的受診	55,803	(7.8%)	1,745	(16.0%)	51	(22.4%)
他施設からの紹介	511,176	(71.8%)	6,838	(62.5%)	128	(56.1%)
自施設での他疾患経過観察中	136,118	(19.1%)	2,187	(20.0%)	44	(19.3%)
その他	8,910	(1.3%)	162	(1.5%)	5	(2.2%)
不明	194	(0.0%)	3	(0.0%)	0	(0.0%)
合計	712,201	(100.0%)	10,935	(100.0%)	228	(100.0%)



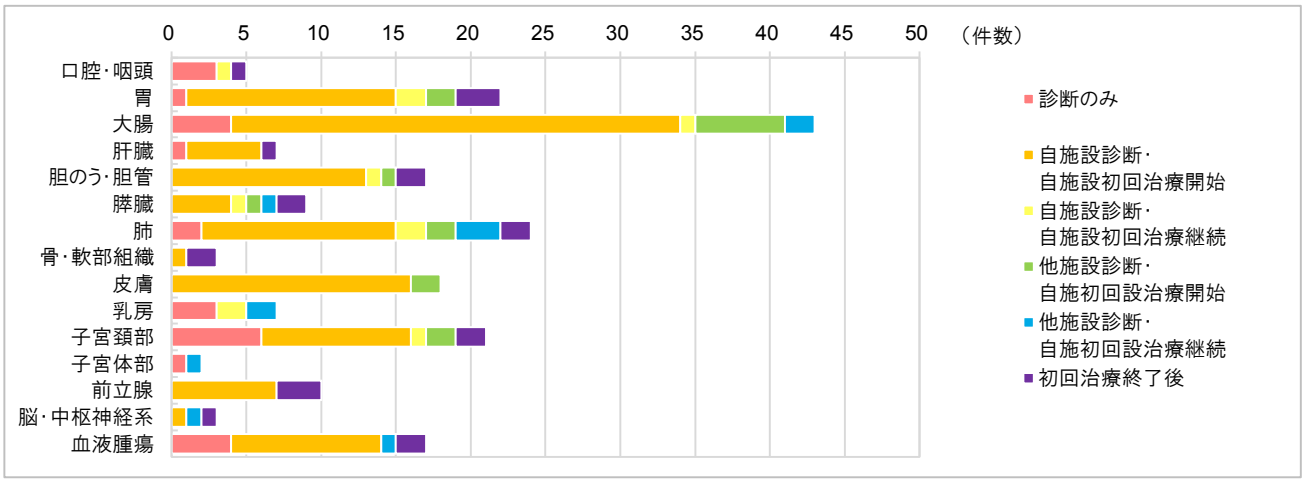
発見経緯別　登録数と登録割合

	全国(2017年症例)		沖縄県18施設合計		県立八重山病院	
がん検診･健康診断･人間ドック	112,324	(15.8%)	1,636	(15.0%)	32	(14.0%)
他疾患経過観察中の偶然発見	235,862	(33.1%)	3,393	(31.0%)	65	(28.5%)
剖検発見(Aiを含む)	46	(0.0%)	2	(0.0%)	0	(0.0%)
その他	331,376	(46.5%)	5,293	(48.4%)	126	(55.3%)
不明	32,593	(4.6%)	611	(5.6%)	5	(2.2%)
合計	712,201	(100.0%)	10,935	(100.0%)	228	(100.0%)

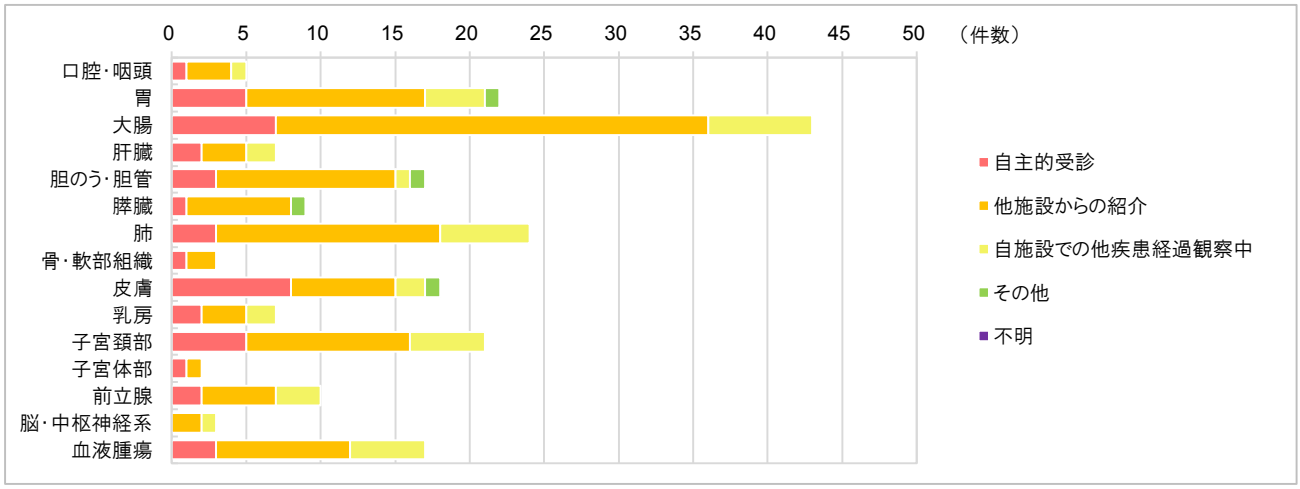


＊症例区分「８０：その他」を除いて集計

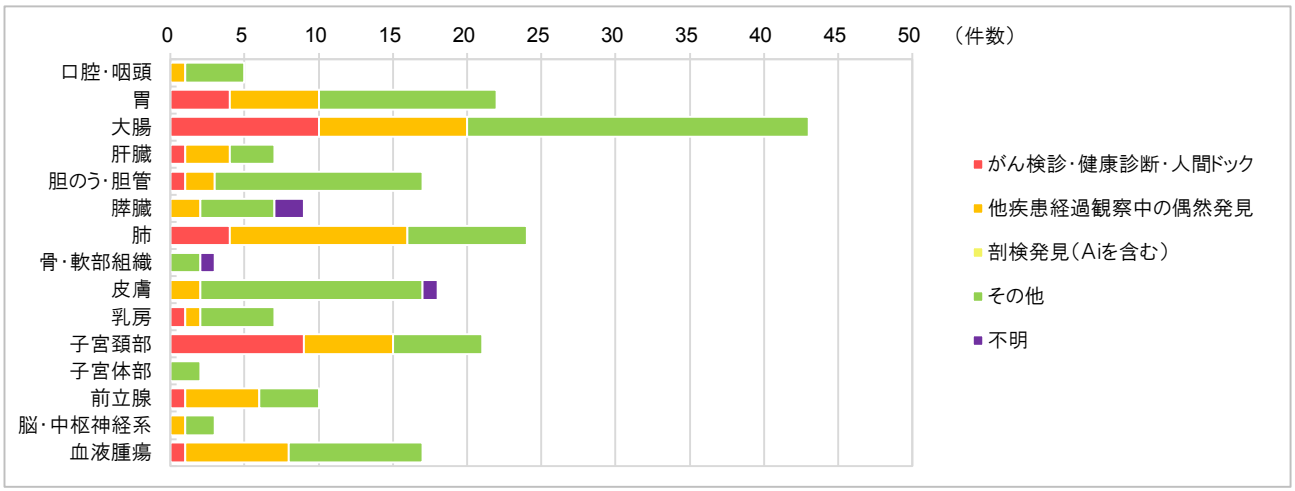
部位別　症例区分別　登録数



部位別　来院経路別　登録数



部位別　発見経緯別　登録数

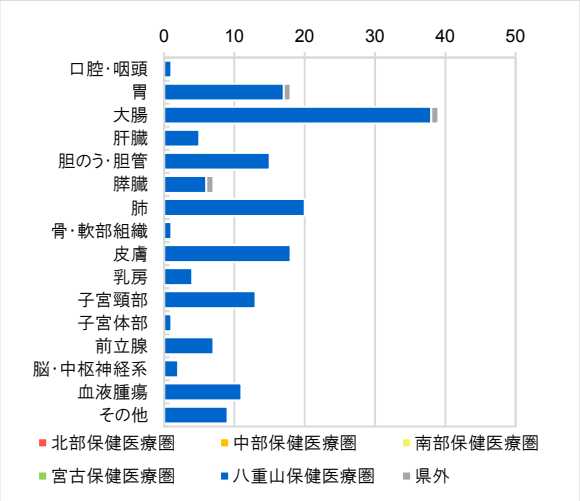


＊症例区分「８０：その他」を除いて集計

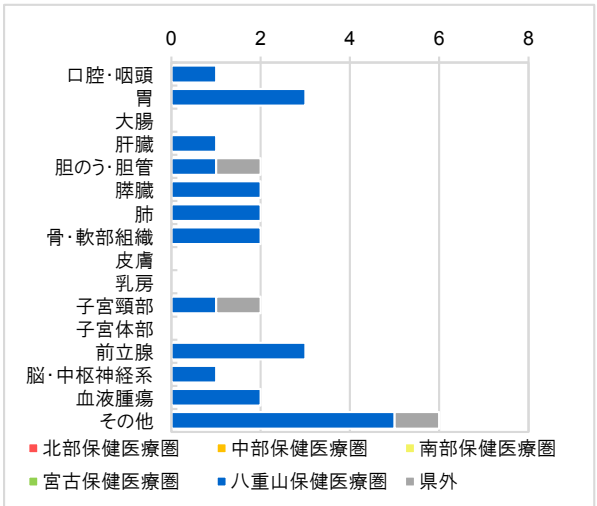
二次保健医療圏別　登録数と登録割合

圏域名	市町村名	登録数	割合	登録割合上位3部位	
北部保健医療圏	名護市　国頭村　大宜味村 東村　今帰仁村　本部町 伊江村　伊平屋村　伊是名村	0	0.0%	--	--
				--	--
				--	--
中部保健医療圏	宜野湾市　沖縄市　うるま市　恩納村 宜野座村　金武町　読谷村　嘉手納町 北谷町　北中城村　中城村	0	0.0%	--	--
				--	--
				--	--
南部保健医療圏	那覇市　浦添市　糸満市　豊見城市 南城市　西原町　与那原町 南風原町　渡嘉敷村　座間味村 粟国村　渡名喜村　南大東村 北大東村　久米島町　八重瀬町	1	0.4%	大腸	100.0%
				--	--
				--	--
宮古保健医療圏	宮古島市　多良間村	0	0.0%	--	--
				--	--
				--	--
八重山保健医療圏	石垣市　竹富町　与那国町	220	96.5%	大腸	18.2%
				肺	10.9%
				胃	9.5%
沖縄県外		7	3.1%	--	--
合計		228	100.0%	大腸	18.0%
				肺	10.5%
				胃	9.2%

二次保健医療圏別　部位別　治療件数*



二次保健医療圏別部位別　初回治療終了後の受け入れ登録数*



＊症例区分「80：その他」を除いて集計
＊二次保健医療圏別集計は、当該施設を受診したときの患者さんの住所（診断時住所）をもとに集計
＊登録割合上位３部位において、登録割合が同数の場合、部位コードが小さい順に表記
＊二次保健医療圏別部位別治療件数は、症例区分「20：自施設診断・自施設初回治療開始」「21：自施設診断・自施設初回治療継続」「30：他施設診断・自施設初回治療開始」「31：他施設診断・自施設初回治療継続」のみ集計
＊二次保健医療圏別部位別初回治療終了後の受け入れ登録数は、症例区分「40：初回治療終了後」のみ集計

がん診療にかかわる情報

がんや療養生活について詳しく知るには



『がんになったら手にとるガイド普及新版』
（2013 年発行 880 円(税別)）

がんとの向き合い方やがんの基礎知識、各種がんの療養に役立つヒントをまとめた冊子です。



『おきなわがんサポートハンドブック 2019 年版』

がんと診断されて間もない患者さんの思いに寄り添い、支える事の助けとなることを目指して、「信頼できる情報で、わかりやすく、役にたつもの」をまとめた冊子です。

沖縄県のがん診療、がん対策、がん登録集計に関するサイト



『沖縄県がん診療連携協議会うちなーがんネットがんじゅう』
http://www.okican.jp
沖縄県内の患者さんやご家族向けの情報（患者会の紹介やがんサポートハンドブックの閲覧、がんについての講演会のお知らせなど）を掲載しています。さらに、国立がん研究センターや沖縄県などのリンク先も多く、幅広いがん情報を得ることができます。

<おしらせ>
現在「院内がん登録集計報告書」をよりご活用しやすいように WEB サイトを構築中です。立ち上がり次第、「沖縄県がん診療連携協議会うちなーがんネットがんじゅう」にてご報告致します。



『沖縄県地域がん登録事業報告書』
http://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/eiken/kikaku/gantouroku/gantouroku.html
沖縄県では、沖縄県に発生したがんをひとつのがんごとにまとめて、がんの実態、治療成績を把握する目的に、医療機関から提供されたデータを分析・評価し、毎年、報告書を作成しています。

沖縄県内のがん相談支援センター（がんの治療や療養生活全般の相談窓口）

ご相談は、看護師やソーシャルワーカー（社会福祉士）などのがん相談の専門スタッフがお受けしています。患者さんやご家族のがんの治療や療養生活全般に関して心配や困ったことなどについて、一緒に考え、情報を探すお手伝いをします。がんの患者さんやご家族がその病院に通院していなくても、がんに関する相談はどなたでもご利用することができます、電話または面談での対応になります。相談は無料です。

琉球大学医学部附属病院
☎ 098-895-1507 対応日時：月～金・９時 ～ 16 時半

県立中部病院
☎ 098-973-4111（内線 3232）対応日時：月～金・９時 ～ 17 時

那覇市立病院
☎ 098-884-5111（内線 127、283）対応日時：月～金・９時 ～ 17 時

北部地区医師会病院
☎ 0980-54-1111 対応日時：月～金・９時 ～ 17 時

県立宮古病院
☎ 0980-72-1352 対応日時：月～金・９時 ～ 17 時

県立八重山病院
☎ 0980-87-5278 対応日時：月～金・９時～１６時

2018年症例院内がん登録集計報告書コメント協力者

臨床医からのコメント

口腔・咽頭	真栄田　裕行	(琉球大学医学部附属病院　耳鼻咽喉科准教授)
胃	木村　研吾	(北部地区医師会病院　外科)
大腸	仲宗根　由幸	(中部徳州会病院 消化器外科部長)
肝臓	砂川　宏樹	(中頭病院 消化器一般外科主任部長、 肝胆膵センター長、腹腔鏡ロボット支援手術センター長)
胆のう・胆管	友利　寛文	(那覇市立病院　外科部長)
膵臓	大田　守仁	(豊見城中央病院　外科部長)
肺	饒平名　知史	(国立病院機構沖縄病院　肺がんセンター長)
骨・軟部組織	當銘　保則	(琉球大学医学部附属病院　整形外科准教授)
皮膚	新嘉喜　長	(琉球大学医学部附属病院　皮膚科助教)
乳房	藏下　要	(浦添総合病院　副院長 / 乳腺センター長)
子宮頸部	高橋　慶行	(沖縄県立中部病院　婦人科部長)
子宮体部	稲嶺　盛彦	(沖縄赤十字病院　第二産婦人科部長)
前立腺	向山　秀樹	(南部徳洲会病院 泌尿器科部長)
脳・中枢神経系	石内　勝吾	(琉球大学医学部附属病院　脳神経外科教授)
血液腫瘍	大城　一郁	(沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 血液腫瘍内科部長)

●編集後記

2013 年 12 月に制定された「がん登録等の推進に関する法律」第 44 条第 1 項の規定に基づき、2015 年 12 月に『院内がん登録の実施に係る指針』（厚生労働省告示第 470 号）が定められ、2016 年 1 月から適用されています。この指針では、病院においては「診療が行われたがんの罹患、診療、転帰等の状況を適確に把握し、治療の結果等を評価すること及び他の病院における評価と比較することにより、がん医療の質の向上が図られること」と、「院内がん情報等を適切に公表することにより、がん患者及びその家族等の医療機関の選択等に資すること」が謳われています。琉球大学医学部附属病院がんセンターでは、前述の指針の内容に基づいて本報告書を制作しています。

2016 年症例より院内がん登録の項目の大幅な改定がありました。改定の主なものは、病名の告知の有無に関する項目の追加や、他施設で行われた初回治療内容の追加などです。特に、他施設で行われた初回治療内容も含めて集計することによって、診療実態に関するデータがより正確に出るようになりました。

2007-2008 年、2009-2012 年診断例のがん診療連携拠点病院 3 施設（那覇市立病院、沖縄県立中部病院、琉球大学医学部附属病院）の施設別、部位別、病期別の 5 年相対生存率を掲載しました。各施設とも 2009-2011 年は生死判明率が改善されています。まだ症例数が少ないがん種も多いのですが、がん患者さんのご意見や、がん疫学等の専門家の助言および沖縄県がん診療連携協議会での議論を踏まえて、誤解を生まないことに配慮しながら、最大限に情報を公開することに努めました。

本報告書は､沖縄県内のがん診療施設 18 施設（がん診療連携拠点病院等 5 施設､院内がん登録実施施設 13 施設）の院内がん登録データを用いて集計しています。このため、より沖縄県の実情に近い集計データを公表することができるようになりました。今後は、乳がんを特に多く治療している診療所の参加が可能となるように進めていきたいと思います。

最後になりましたが、本報告書の発刊にあたり、ご協力いただいた各医療機関の院長や院内がん登録実務担当者をはじめとする関係者の皆様に、この場を借りてお礼を申し上げます。

琉球大学医学部附属病院がんセンター長　増田　昌人

●事務局・集計担当より

私たちは、2010 年症例から「市民目線でわかりやすい院内がん登録情報の発信」を目指し、毎年、院内がん登録集計報告書を発行してきました。内容については、沖縄県がん診療連携協議会（患者会など）から意見を聞きながら、要望に応えるように努力をしています。本書の集計にご参加いただいた 18 施設の関係者の皆さま、制作に携わっていただきました皆さまに感謝申し上げます。

まだ実現できていない要望もあり発展途上ではありますが、今後も関係者の皆さま方からご教示いただき、より「市民目線」に立った報告書作成と情報発信を行い、がんに関わる全ての方々にデータの還元を行っていきたいと考えております。本書が、がん対策の関係者の皆さまに有用な基礎データとして活用されること、がん患者さまとそのご家族のお役に立てることを、編集員一同祈念しております。

琉球大学医学部附属病院がんセンター（集計担当）
伊佐　奈々

編集協力

沖縄県がん診療連携協議会
琉球大学医学部附属病院がん登録室連絡委員会

制作者一覧

伊佐　奈々　（琉球大学医学部附属病院がんセンター）
新垣　萌未　（琉球大学医学部附属病院がんセンター）
増田　昌人　（琉球大学医学部附属病院がんセンター）

本報告書に関する問い合わせ先

琉球大学医学部附属病院がんセンター内がん登録室
〒 903-0215 沖縄県中頭郡西原町上原 207
電話（098）895-1369（直通）

沖縄県院内がん登録集計報告書
2018 年症例
～ 院内がん登録データからみる沖縄県のがん診療の現状～

発　行　日	2020 年 3 月 31 日　発行
編　　著	琉球大学医学部附属病院 がんセンターがん登録室
発　行　所	琉球大学医学部附属病院 がんセンターがん登録室 〒 903-0215 沖縄県中頭郡西原町字上原 207
編集・印刷 製本	丸正印刷株式会社 〒 903-0211 沖縄県中頭郡西原町字小那覇 1215

MEMO

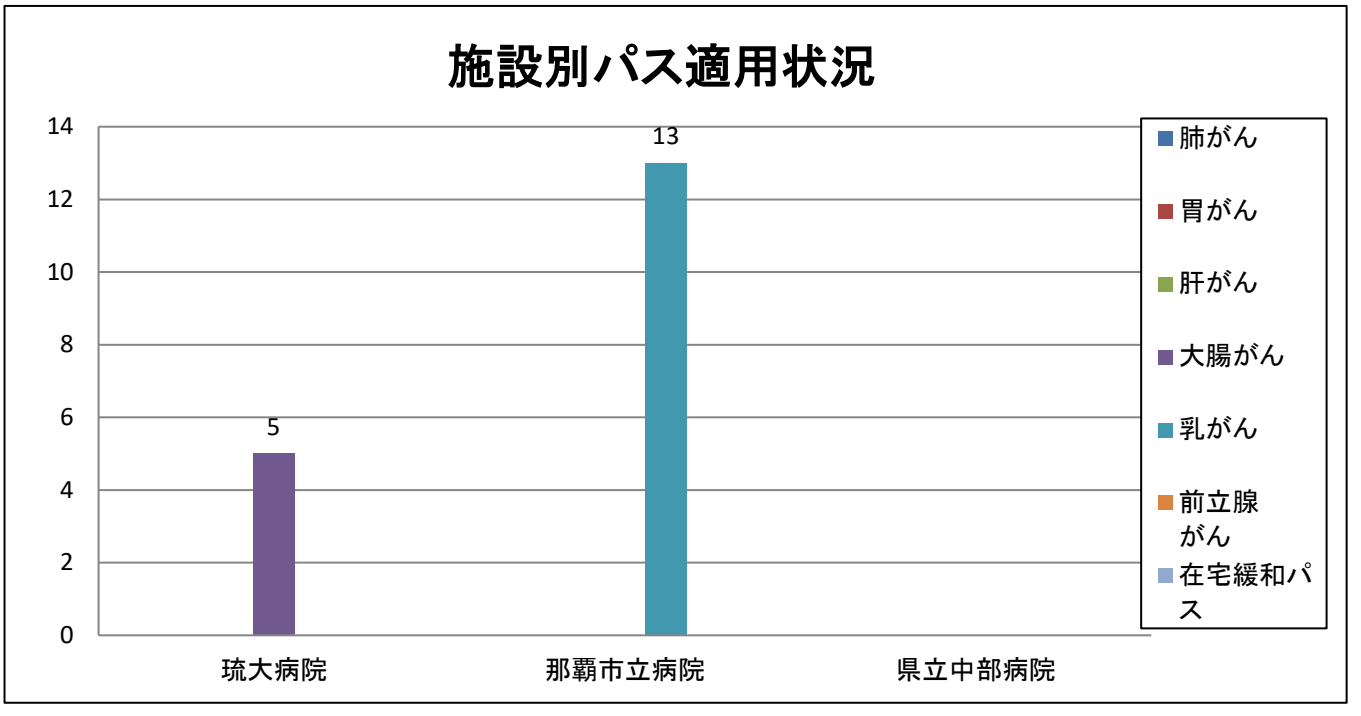
沖縄県院内がん登録集計報告書　2018年症例

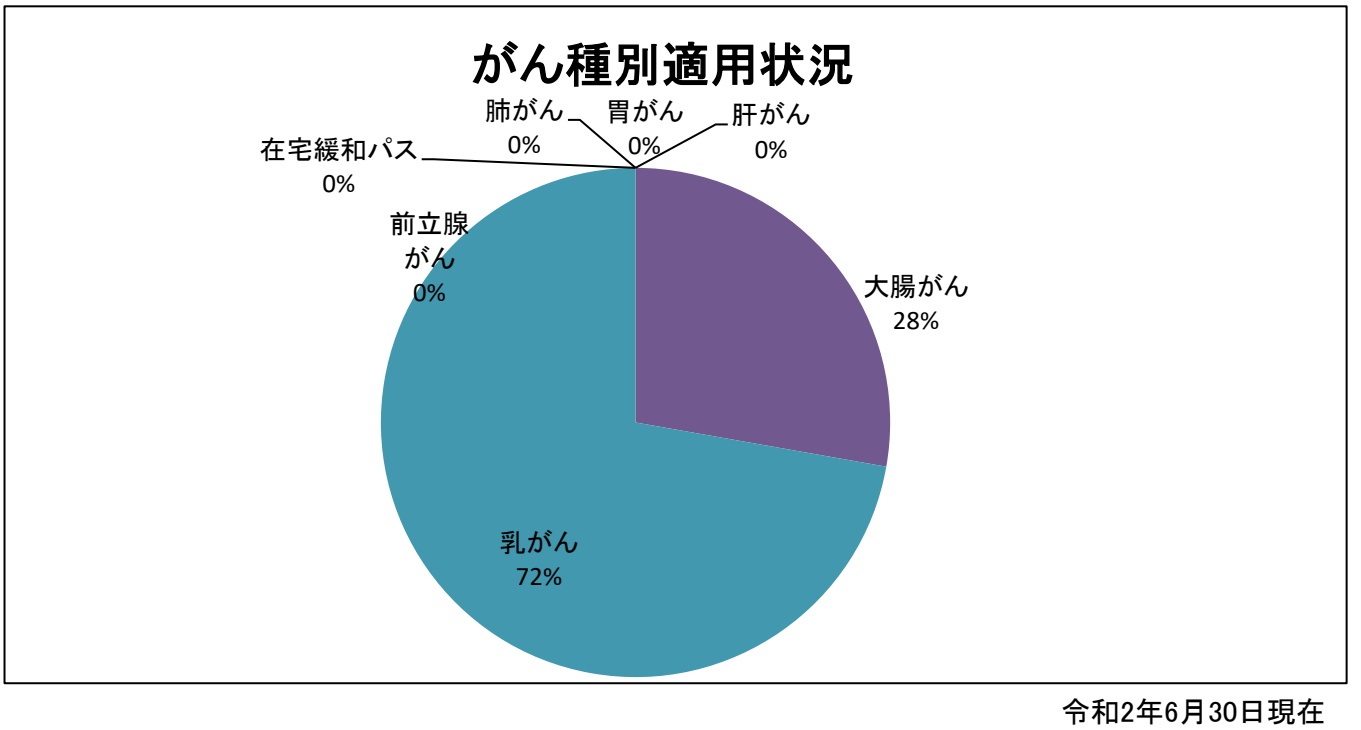
琉球大学医学部附属病院がんセンター

資料１３

令和2年度沖縄県がん地域連携クリティカルパス適用状況について
（令和2年4月1日～6月末まで）

施設名	肺がん	胃がん	肝がん	大腸がん	乳がん	前立腺がん	在宅緩和パス	合計
琉大病院				5				5
那覇市立病院					13			13
県立中部病院								0
合計	0	0	0	5	13	0	0	18





令和2年6月30日現在

資料１４

がん情報提供資材 2021 年版　編集作業委員会　議事要旨

日　時：令和 2 年 6 月 11 日 15 時～16 時

場　所：zoom による WEB 会議

編集員：12 名、（敬称略）

患者の立場	田盛 亜紀子(患者会・やいまゆんたく会副会長)
患者の立場	片倉　政人（がんの子どもを守る会沖縄支部）
患者の立場	島袋　百代（ﾊﾟﾝｷｬﾝｼﾞｬﾊﾟﾝ沖縄支部）
	※当日都合つかず、事前意見提出・メール対応
がんピササポーター	大湾　盛治　※事前意見提出・お電話にて対応
がんピアサポーター･地域統括相談員	中山 富美
社会保険労務士	金城 由紀子(人財マネジメントオフィス･PDCA)
社会保険労務士	中島 隆史(オフコース障害年金プラーザ)
ﾁｬｲﾙﾄﾞ･ﾗｲﾌ･ｽﾍﾟｼｬﾘｽﾄ	佐久川 夏実　※事前面会にて対応
	（沖縄県立南部医療センター・こども医療センター）
訪問看護認定看護師･所長	宮城 愛子(訪問看護ステーションアレグリア)
医療ソーシャルワーカー	山田 綾美(琉大病院 がん相談支援センター)
血液・腫瘍内科医師	増田昌人(琉大病院 がんセンター センター長)
事務	東 啓子(琉大病院 がんセンター)

当日の様子：WEB 画面



※2 名は都合により、当日の WEB 会議には参加できなかったが、事前アンケートにより意見を頂戴して、後日返答する形をとった。また、zoom 会議は初めての方もおり、事前に接続試し等したが、一名音声不良があった。

内容：

１．編集委員メンバー紹介

２．資料確認・スケジュールの説明

３．事前アンケートに基づき見直し案意見交換

アンケートのまとめの送付が会議直前であったため、検討課題を読み上げて意見を交える形とした。また、会議時間短縮のため、前年版での良かった点については、資料を再確認してもらい追加意見や修正があれば後日頂く形をとった。
さらに、意見が想定される事項を先に検討し、文章修正案等の可否は他に修正意見があれば後日メール等を頂戴し、なければ案の通りに進めていく形とした。

４．2020 年度版への検討事項

今年度は、事前に 2019 年度版への感想と変更等の意見募集アンケートを編集委員の方へお願いし、課題に対して審議していく形で会議の進行を進めた。また、電子書籍化も進めることから、昨年度より編集期間が短く、新規情報の確認と更新を主な変更予定とした。

５．がんセンター長あいさつ

最後になったが、センター長より今年度の編集委員へ挨拶があった。

【改善要望事項に対する意見とまとめ】

(1) 相談先や今後のこと、お金のことなど、がん以外でも役立情報もあるので、表紙に記載されている「地域の療養情報」という文字をもっと強調してもよいのでは。

→ がん以外にもみて役立つ情報もあるので、「地域の療養情報」ということは目立たせたほうがよい。その方向で編集と相談して進める。

(2) 見開きを後ろの方に持っていったらどうでしょう。

→ 前の方が見やすいので、このままがよいという意見が多かったので、そのまま。

(3) 文字が多いので、表などに変更できるものがあれば、もっとわかりやすくなるのではないか。
患者さんに必要な情報はまとめられているので活用しやすいが、長文での説明だとパッと見た時に読みにくい部分もあると思う。伝わる範囲で、箇条書き等での起債を検討していただけたら良いと思う。

→ 2019 は院内患者会、2020 は患者サロンを変更している、他具体箇所は？

患者会は情報量の違いがありすぎて難しい。
（その場では保留で、後でメール意見）患者会でも意見伺う予定。

→ P47 の「以下の症状が現れた時」の以下の症状を箇条書きではなく、P36 の緩和ケアのイラストのイメージで吹き出しや丸の中に記載したら見やすいのでは。

(4) 移行医療について検討お願いしたい。(小児→ AYA → 小児・一般)

→ 小児・AYA は昨年度も課題であったが、どのような内容が考えられるか？
昨年度は、小児がんの本人と親の立場よりそれぞれの体験談を依頼と
小児用介護用品のレンタル案内を教えて頂き掲載に至っている。
持ちこし課題で、患者支援団体？「マギーズ東京」と「STUND UP」の掲載案内がある。

→ 小児で発病した人と AYA 世代で発病した人は、大人になっていく過程において小児で係わることと大人の一般へ移行する医療に課題がある。子どものうちは親が看ているが、大人になり自分で医療を受けるにあたり様々な問題がある。それらについて追記検討してほしい。
琉大のがんセンターで、自分の病気を本にして作成し、将来に備えるというのをあると聞いたことがあるが？ → 情報なく、まだ調査中。
近いうちに国立のフローチャートがでるかもしれないので、今後片倉様、佐久川様と情情報確認しながら検討する。

→ 追加で下記所法提供あり。
・小児がん医療相談ホットライン → 掲載許可を確認する。
・小児がん経験者（CCS）のための内分泌フォローアップガイド（医療者向け）サイト
・小児がん治療後の長期フォローアップガイドライン（医療者向け）
・他県フォローアップ手帳の試作品
がんサポへ記載して分かりやすい程度の内容とスペースが今後の課題である。
増田先生と調整：“第 2 部 4. こどもの医療を支える”の箇所に「長期フォローアップ」として項目を追加、文章化して説明を加えるのはどうか。小児科百名先生へ文章を依頼方向で進めてみる。

(5) 難治性がんの患者会として、治験の情報をもう少し記載していただければ、大変助かる。
主治医に相談しても分かる方は少ないように思います。治験に関して教えてくれる場所、医療機関等。リンパ浮腫外来のある病院についての情報もあれば、非常に助かります。

→　増田先生と調整：がんサポには、原則「治療」については記載しないものである。直接治験に役立つことは「手にとるガイド」を読んでもらう前提で巻頭に紹介している。がんサポだけで完結する内容にしてしまっては、情報量として不足にもなる。
ただし、要望があり、“第 1 部 2. 治療について知る”を年々修正・追記しているので、(5) 臨床試験へ追記するか、項目を追記するかで検討し、琉大と国がんのサイトを案内するなどは進めたい。その場合、他の箇所で縮小や削除も検討必要。
→　他、編集委員の方で具体例などのご提案があればお願いいたします。

(6)ページいっぱいに文字とイラストが詰め込まれている。その人なりの「メモ」を書き込めるスペースにもなるので、イラストは大きくしすぎないほうがよい。
参考：がんになったら手にとるガイドの P286、P300、P321（見本版）
→　見本版は 464 ページだが、販売本では 224 ページに圧縮されるにあたりイラストやスペースはかなり無くなっている。
→　2020 年版でイラストの縮小希望ページは P12、P83。他あれば適宜。

(7) 冊子内のページ案内で、項目の先頭ページを案内しているが、該当ページを案内してほしい。
例）がん相談支援センター　P10　→　P11（問い合わせ先は P11 にある）
セカンドオピニオン　P22　→　P22・23
役所・役場一覧　P96　→　P96・97
→　P11 は問い合わせ先がそこで、P96・97 も同様。P22・23 では問い合わせは P23 だが、どう統一したほうがよいか。
→　議論の結果、初めて見る方には冒頭の説明も必要なので、該当ページと共に両ページを案内記載する方向。編集と今後調整。

(8) ウェブサイト版 PDF もくじの間違い
4. 子どもの療養を支える (2) 誤：訪問看護　正：ファミリーハウス
→　がんセンターにて修正対応。

(9) 2021 年版においては、就労支援の具体的事例の紹介、または Q&A による具体的質問事例の紹介を希望。
→　今後、金城先生を中心に紹介事例を調整してみる。

(10) 体験談の差し替え

白血病を乗り越えたお母さんがいます。10 ケ月くらい入院し双子のいる方で、移植も経験されているので、体験談に推薦したい。佐久川様よりも昨年希望があったが･･･

→　どちらも話を進めてみる。

→　後日、佐久川様より小児がんの高校生の執筆希望があり調整中。

(11) P22　県外にセカンドオピニオンを希望する人も多いので、県内との比較のために県外での費用も掲載してもよいのでは。

→　県内の療養情報としての冊子なので、掲載可能か確認して検討課題である。
昨年も重粒子線治療についての希望があったが、掲載には至らなかった。

→　セカンドオピニオンに限らず、県外での治療を希望する人の窓口の記載だけでもあると助かる。自分で調べて県外へ行く人もいるが、がん相談支援センターを通して仲介する場合もあるので、少なくとも、県内での相談先として、がん相談支援センターは記載したほうが良い。

→　他、相談先情報があれば情報提供お願いしたい。

→　増田先生と調整：セカンドオピニオンは、国立がん研究センター、がん研有明病院、東大病院、慶應病院などの料金を調べて目安として掲載方向でよい。
また、希少がんや県外の相談先として、がん相談支援センターがあることを P11 へ追記する。

(12) P30・31　情報追記

療養ガイドはどこで手に入るのか記載してはどうか。

例）県立宮古病院・八重山病院・各島の診療所・市町村役場等

→　がん相談支援センターや記載病院などで配布していることを追記する。

(13) P37　アドバンスケアプランニング　文言修正

下から 2 行目

難しい決断をしなければいけない家族等の負担も軽くしてあげられることができます。

↓

難しい決断をしなければいけない家族等の負担を軽くすることができます。

(14) P46　外見ケア　情報追記

アピアランスケアのグッズに関して、具体的に連絡先等の記載はできないか。

すぐに連絡したいと患者様・ご家族様に言われます。化学療法室がある病院は看護師がすぐに対応できるかと思いますが、ない病院もあるかと思っています。ページ数の問題もあるかと思いますが検討してほしい。

→　扱い業者名を記載することは、公平性で難しいので、問い合わせ先にがん相談支援センターを目立つようにする方向で。

(15) P62　情報追記　緩和ケア外来を行っている病院を記号等で示す。

→　2018 年版までは記載していたが、各病院によって受け入れの基準が様々なので 2019 年版より削除しているが･･･

→　緩和ケア外来があり、病棟のある病院を掲載していたが、今後を考慮して病棟のある病院に外来で通いたいという相談がある。それで、逆に病棟のある病院で外来のある病院を記載する方向で検討してみる。

外来があって、自宅で通いながらできることも表現してほしい要望もあり。

(16) P62　文言修正　2 行目

残された時間の苦痛をなくし、･･･

↓

残された時間の苦痛をできるだけ軽減し、･･･

残された時間の苦痛を和らげることにより、･･･

→　どちらがよいか？他の案があるかご意見お願いします。

(17) P63　文言追記

○1 項目　「主治医へ相談する」と「紹介状の作成」の間に「病院を選ぶ」という項目の追加はどうか。※各施設の見学は無料　等

→　緩和ケア病院は見開きのとなりページにあるが、さらに「病院を選ぶ」という項目や施設見学を入れることは必要か？もしくは、↓横に小文字での記載ではどうか？今後、提案の山田様を中心に検討。

○3 項目　**修正追記**

相談：受診・症状コントロールに関する相談

↓

面談：症状コントロールや今後の療養に関する面談

※面談料は税込 3300 円（自己負担）

→　文言修正は状況の応じてよい。

金額を記載するのに問題はないか？県内は一律料金だが全国は？
山田さんと検討予定。

(18) P68～　文言修正　高額療養制度

患者さんより「同月に入院と外来がある場合、それぞれで限度額分の請求をされたがなぜか。合算はできないのか」等、質問が多いため患者さんが理解しやすい文言の追加・修正を検討できないか。

→　後日、提案者の山田さんに中島様や金城様へ説明してもらい検討予定。

(19) P80　情報修正　産保出張相談

沖縄赤十字病院の対応日時変更

→　11 月を目途に他修正があれば、随時対応予定とする。

(20) P87　文言修正　下方問い合わせ先

放射腺治療を行っている本島内の病院

↓

放射腺治療を行っている沖縄県内の医療機関

→　県の規定の文言なので、修正は難しいが･･･

→　県担当者と調整予定とする。

(21) P90、P91　イラストの変更

しゃぼん玉は「死」を連想する方もいるので、

希望につながるもの、あたたかいイメージのものへイラストを変更してほしい。

例）ボール遊びやなわとびなど

→　編集へ調整依頼。

あとがき：

追記内容の方向性を上記のように進める予定である。情報量は増えるがページ数は増やすと読みづらくなる。削除・修正する箇所が必要とされる。複数年掲載の体験談を予定しているが、内容的に他にも可能なものがあれば、提案してほしい。

その後の意見として、一冊ですべてを盛り込むのは難しく、この冊子は他の情報へつながる案内冊子として立ち位置を示す方向がよいともあった。

資料１５

がん相談業務
（院内におけるピアサポート）

相談記録シート集計報告

実施期間：令和2年4月1日～令和2年6月30日

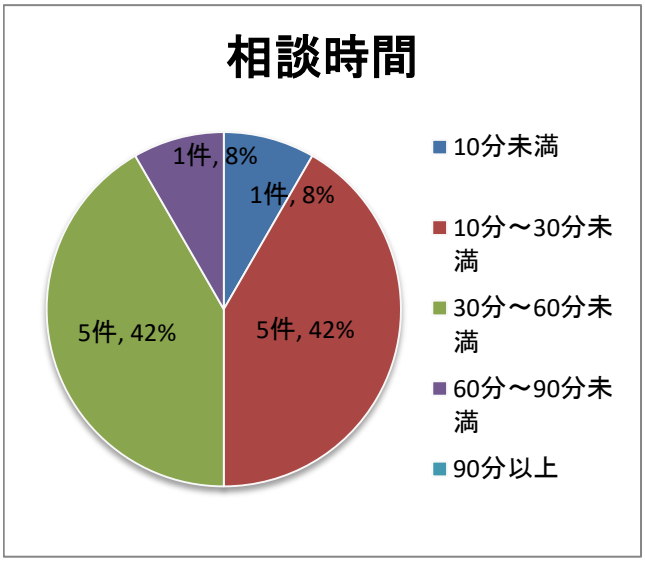
沖縄県地域統括相談支援センター

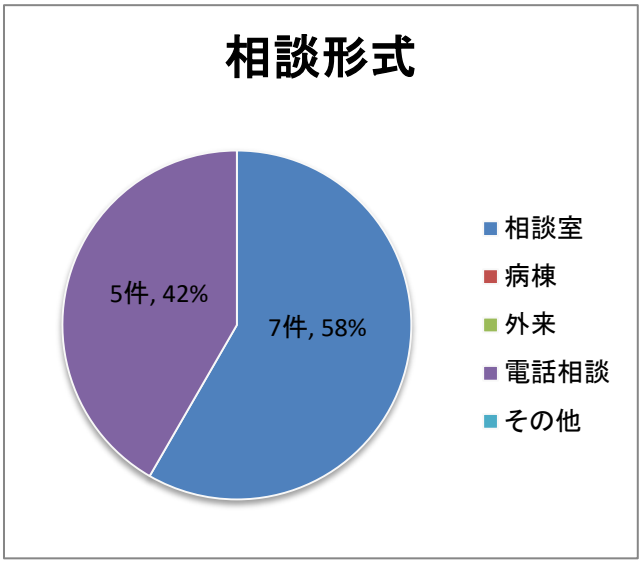
がん相談業務（院内におけるピアサポート）集計結果

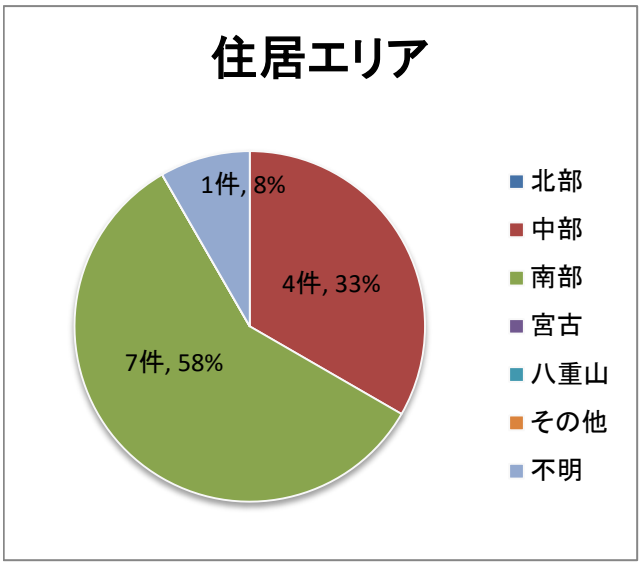
■ 調査対象期間　令和2年4月1日～令和2年6月30日
■ 調査件数　12　件

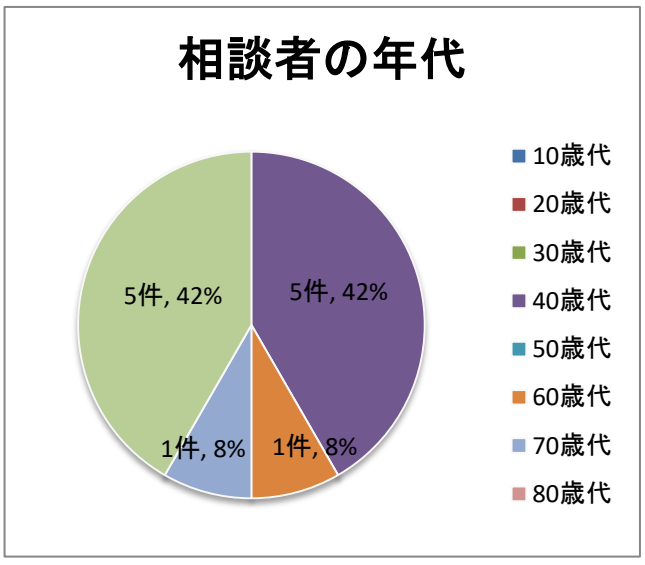
相談月	件　数
4月	3
5月	0
6月	9
合　計	12

＊４月～５月にかけ、新型肺炎拡大防止のため、
面会制限あり。また４月20日～5月31日まで
非常事態宣言のため用務自粛。

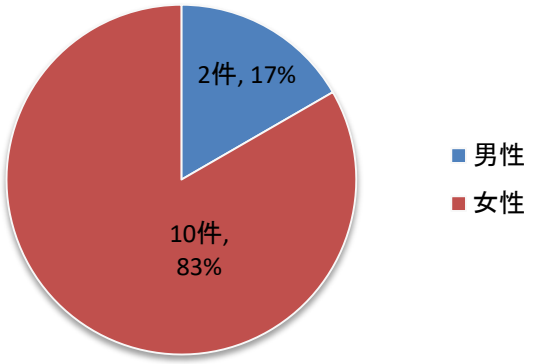




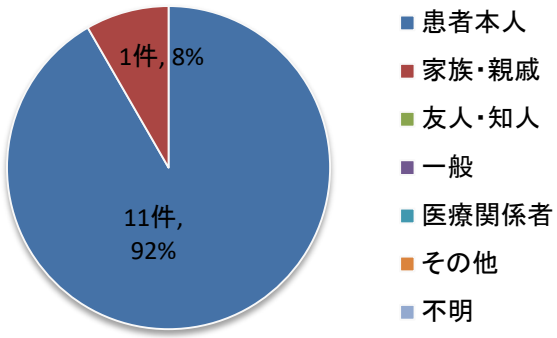




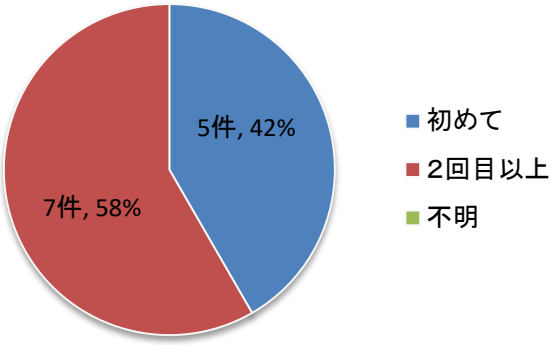
相談者の性別



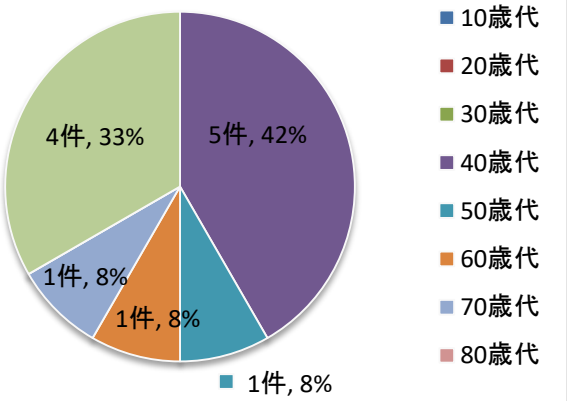
相談者のカテゴリー



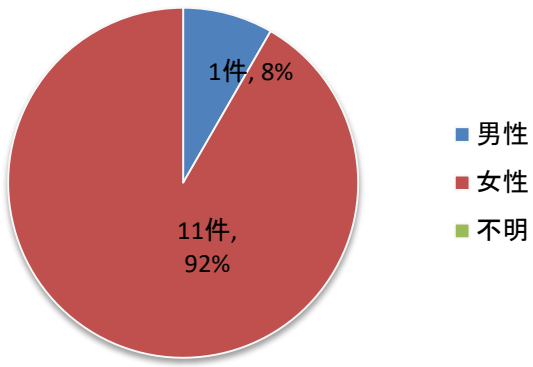
相談者の利用回数



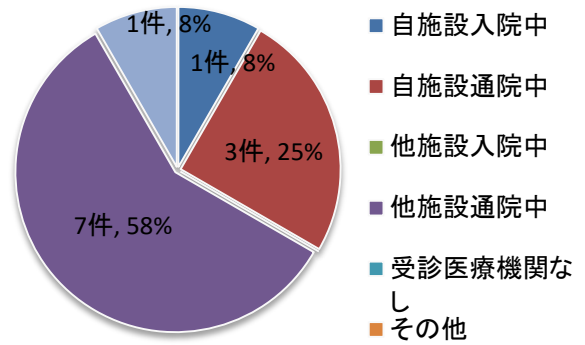
患者本人の年代

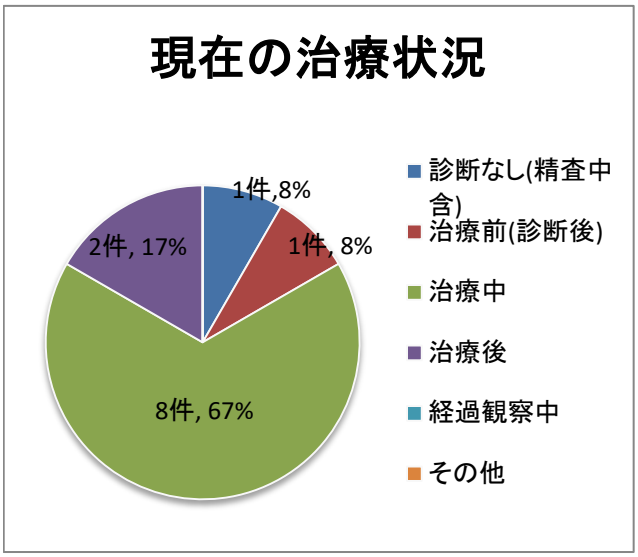


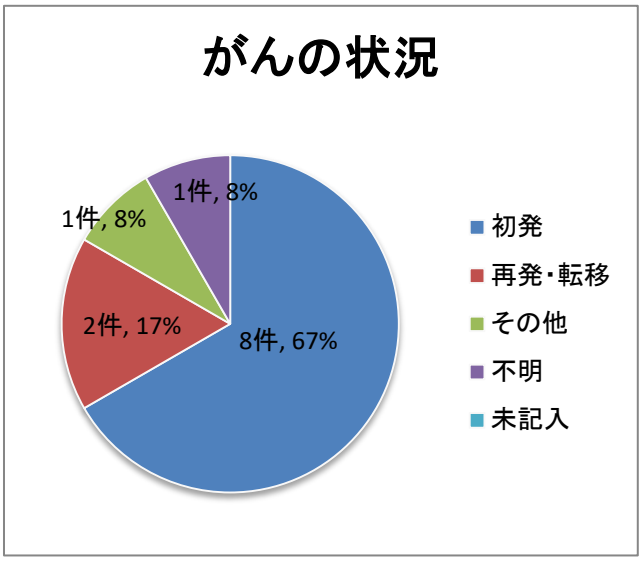
患者本人の性別

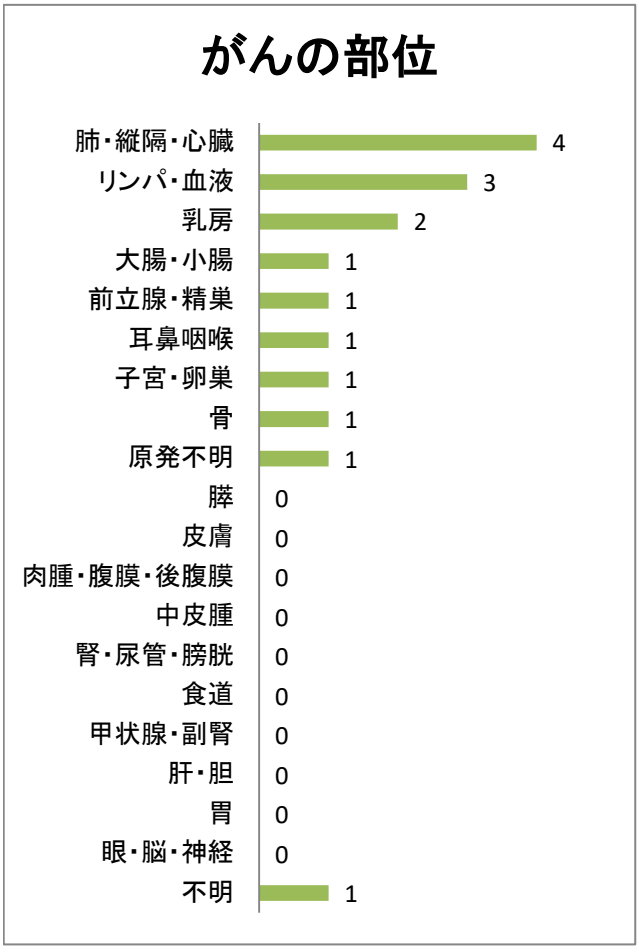


受診状況

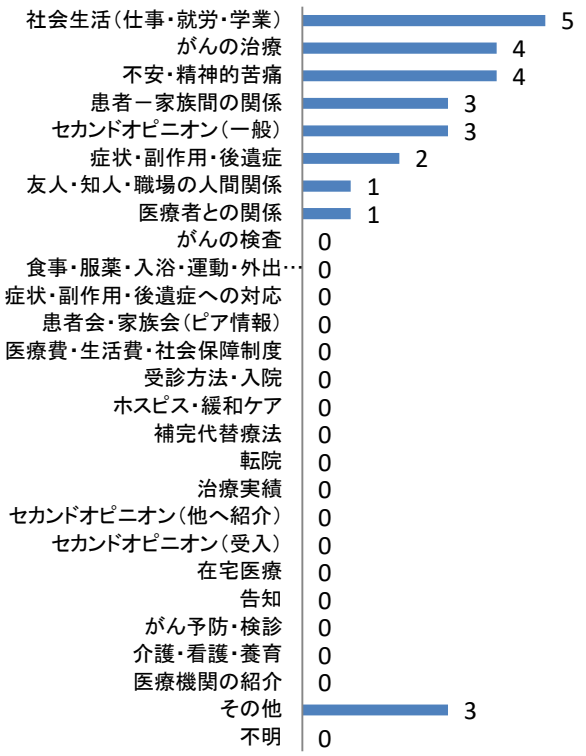



現在の治療状況
1件,8%
1件, 8%
2件, 17%
8件, 67%
診断なし(精査中含)
治療前(診断後)
治療中
治療後
経過観察中
その他

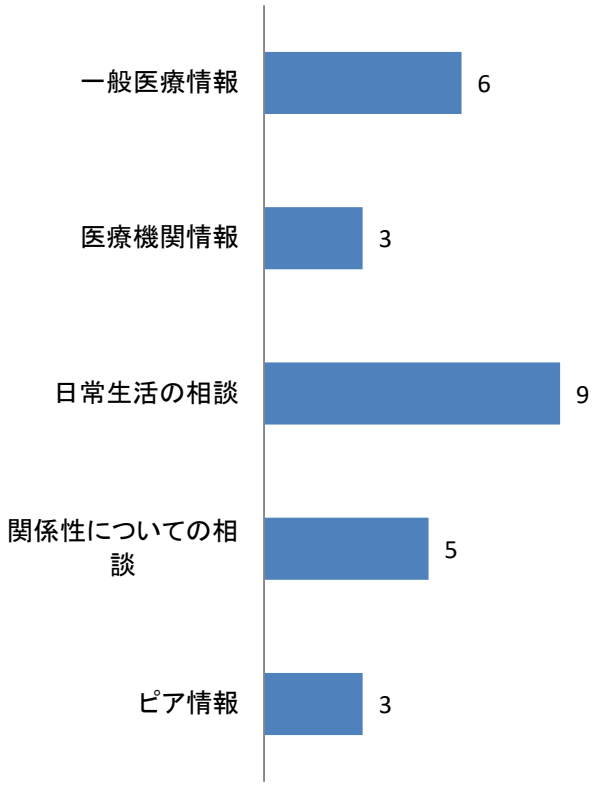

がんの状況
1件, 8%
1件, 8%
2件, 17%
8件, 67%
初発
再発・転移
その他
不明
未記入


がんの部位
肺・縦隔・心臓 4
リンパ・血液 3
乳房 2
大腸・小腸 1
前立腺・精巣 1
耳鼻咽喉 1
子宮・卵巣 1
骨 1
原発不明 1
膵 0
皮膚 0
肉腫・腹膜・後腹膜 0
中皮腫 0
腎・尿管・膀胱 0
食道 0
甲状腺・副腎 0
肝・胆 0
胃 0
眼・脳・神経 0
不明 1

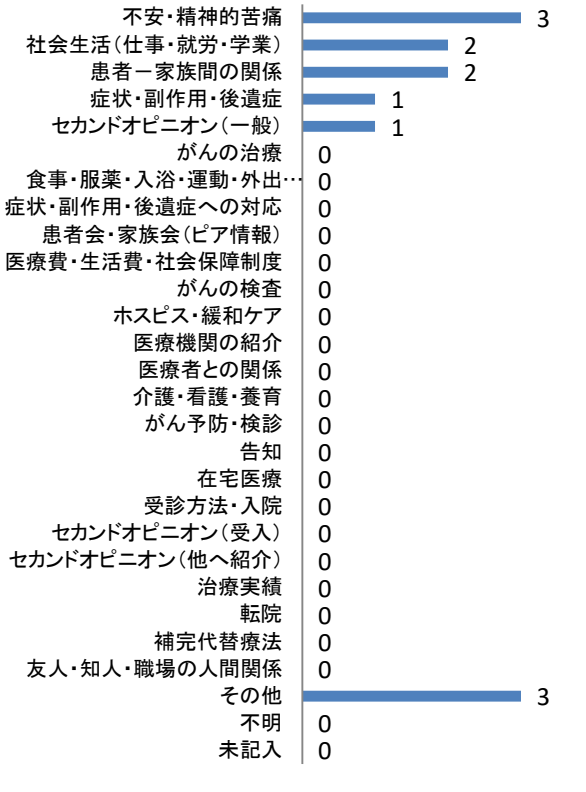
相談内容
（実施したものすべて）



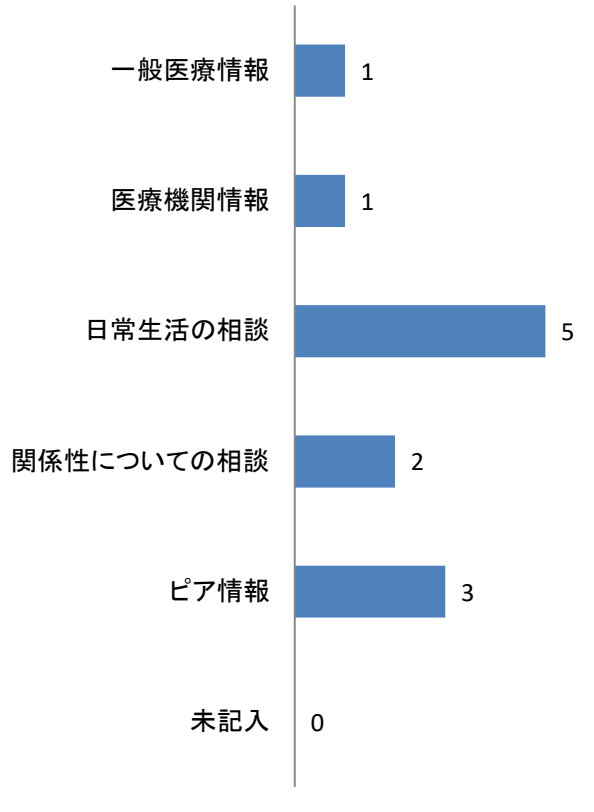
相談内容
（実施したものすべて・大項目別）



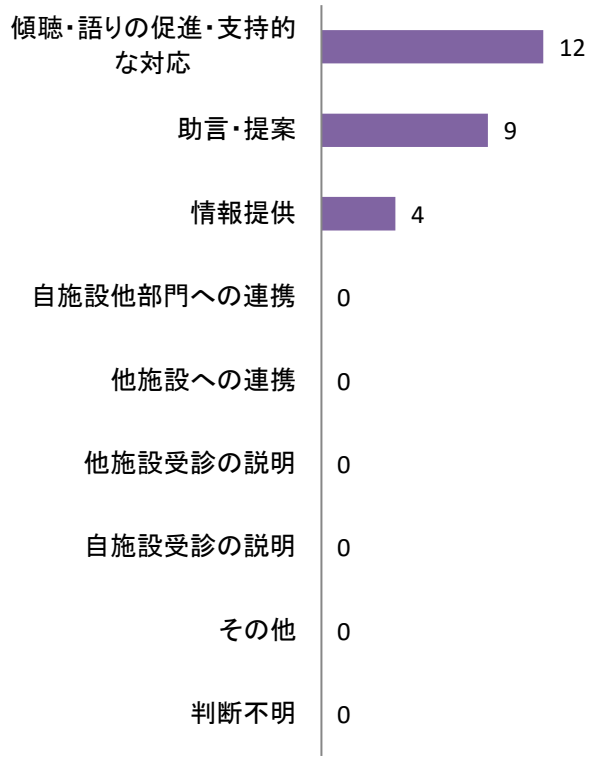
相談内容
（最も比重の高いもの）



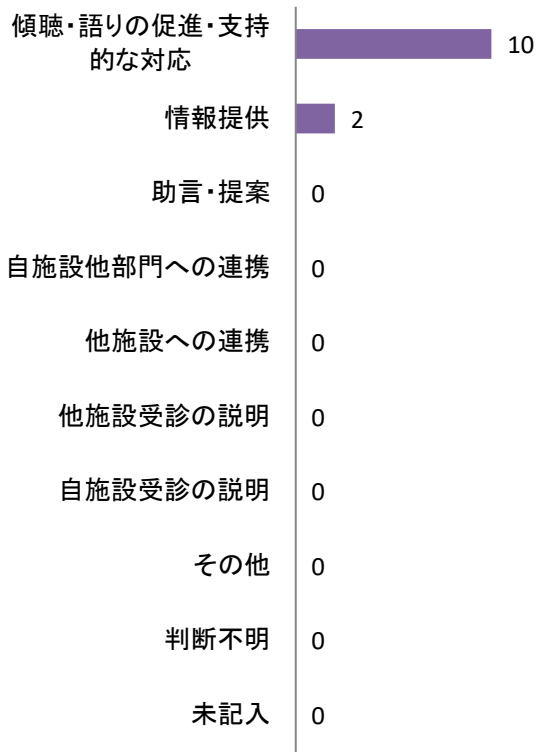
相談内容
（最も比重の高いもの・大項目別）



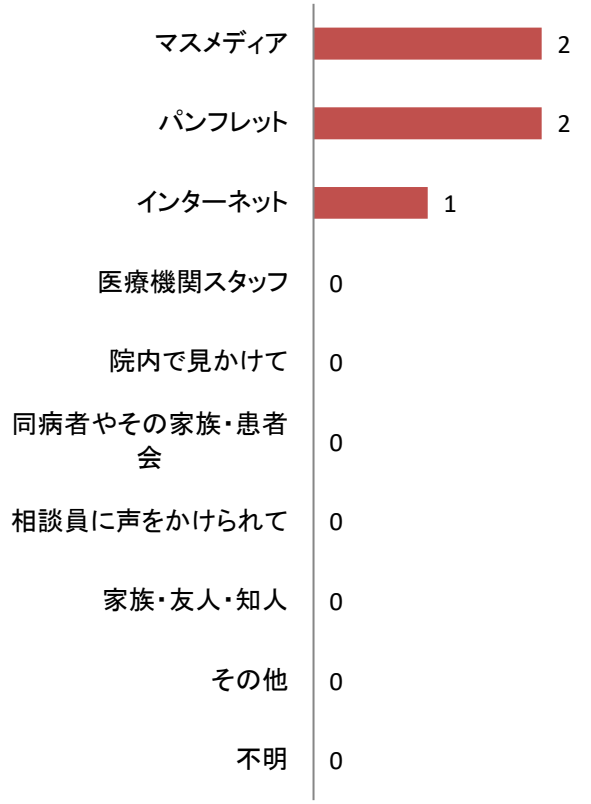
対応内容
（実施したものすべて）



対応内容
（最も比重の高いもの）



認知経路



資料１６

令和２年度　第１回沖縄県がん診療連携協議会　医療部会　議事要旨

日　　時：令和２年６月 11 日（木）　16：30～17：30
場　　所：ZOOM を利用した Web 会議
構 成 員：９名
出 席 者：〈ZOOM〉５名
照屋淳（北部地区医師会病院）、又吉賢弘（沖縄県友声会）、朝倉義崇（中部病院）、岸本信三（宮古病院）、増田昌人（琉球大学病院がんセンター）

欠　　席：４名
宮里浩（那覇市立病院）、仲里可奈理（沖縄県保健医療部健康長寿課）、松茂良力（八重山病院）、野村寛徳（琉球大学病院第一外科）
陪 席 者：２名
伊佐奈々（琉球大学病院がんセンター）、野底尚子（琉球大学病院がんセンター）

【報告事項】
１．医療部会　委員一覧について
増田副部会長より、資料１に基づき医療部会委員について説明があった。おおむね昨年と同様であるが、琉球大学病院から第一外科の野村先生が追加になったことが報告された。

２．令和元年度 第１回沖縄県診療連携協議会 医療部会議事要旨について
増田副部会長より、資料２に基づき令和元年度第１回議事要旨について説明があった。確認をしていただき、疑義があれば事務局まで連絡するよう説明があった。

３．その他
特になし。

【協議事項】
１．部会長及び副部会長の選出について
本来であれば委員の任期は一年であるが、昨年は１回のみの開催であるため、同メンバーで今年度末までお願いしたいとの意見があり、承認された。
また部会長と副部会長においても、部会長 宮里先生、副部会長 照屋先生、副部会長 増田先生にお願いすることとなった。

２．沖縄県におけるがんゲノム医療について
増田副部会長より、資料３に基づき沖縄県におけるがんゲノム医療について説明があった。紹介医師を各施設１人に絞る件について、那覇市立病院 宮里先生、中部病院 吉田先生、北部地区医師会病院 照屋先生、宮古病院 松村先生、八重山病院 斎藤先生に決まったことが報告された。

院内研修会について、中部病院の吉田先生より「紹介状のフォーマットや病理検体の取り決めはいつ頃決まるのか」と質問があり、増田副部会長よりフォーマットははやめに用意する旨が伝えられた。琉球大学病院へ紹介するときは①家族歴をきちんと確認しておくこと、②症例がきちんと適格症例か、③病理検体の状態（何年前のものか）が要点になると説明があった。吉田先生より「スライドの枚数等は指定があるのか」と質問があり、増田副部会長より「提出枚数は SRL と調整中」と回答があった。

研修会の日程について、中部病院は 6 月 24 日（水）に予定、北部地区医師会病院は中外製薬が研修会を開いてくれることになったが具体的な日にちは未定、宮古病院からは未定との報告があった。

又吉委員から事前にもらっていた質問（「がん遺伝子パネル検査に関する同意書」より、がんに関する遺伝の情報が伝えられない家族が発生することについて、どのような対応が良いか）について、増田副部会長より「がん遺伝子パネル検査に関する同意書」に基づき説明があった。現在同意書の結果を伝えたい方の連絡先には 1 名分しか欄がないので、増やした方が良いという意見で一致した。又吉委員より「変更申出書があるが、増田先生の面談の段階で踏み込んで聞くのか、検査をスタートした後に担当医が追加で説明をするのか」と質問があった。増田副部会長より「増田が初診時に一通り説明をし、別日に専門医によるプレ遺伝カウンセリングを受けてもらうが、その際に情報を誰に話すかを決めてもらう」と説明があった。「患者本人の混乱を避けるため、検査結果が出る前に決めていた方が良い」との意見もあった。

照屋副部会長より「検査の結果説明は主治医からか」と質問があり、増田副部会長より「結果返しは増田より行うが、治療は原則元の病院で行うことになる。この検査で有効と出る薬物療法は本土の病院でしかできない場合もあると想定される」と説明があった。岸本委員より「本土へ治療に行く件は増田先生から説明か」と質問があり、増田副部会長より「増田より説明する」と回答があった。

3．今年度の開催日程について

議事次第のとおり説明があり、提案の日程で承認された。

4．その他

朝倉委員より「他院からの受け入れは何件を予定しているか」と質問があり、増田副部会長より「1 日 1 ～ 2 人、週 5 名ほどで考えているが、今のところ制限をかける予定はない」と回答があった。岸本委員より「離島の人が本島で化学治療をしていて、遺伝子パネル検査を受けたいと宮古病院へ相談してきたら、どのような対応をしたら良いか」と質問があり、増田副部会長より「主たる治療を受けている病院より琉球大学病院へ紹介状を出すのが良い」と回答があった。

資料１７

令和２年度　第１回緩和ケア・在宅医療部会 議事要旨

日　時：令和２年６月 15 日(月)16：00～17：20
場　所：琉球大学病院がんセンター(ZOOM 会議)

出席者 10 名：笹良剛史（友愛会南部病院麻酔科部長)、中村清哉（琉大病院緩和ケアセンター副センター長)、野里栄治（北部地区医師会病院外科外来医長)、友利あかね（琉大病院緩和ケアセンター副看護師長)、足立源樹（那覇市立病院放射線科部長)、三浦耕子（県立中部病院産婦人科副部長)、屋良尚美（県立中部病院がん相談支援センター師長)、朝川恵利（県立宮古病院地域連携室看護師)、名嘉眞久美（沖縄県がん患者会連合会)、増田昌人（琉大病院がんセンター長）
欠席者３名：中島信久（琉大病院緩和ケアセンター副センター長)、酒井達也（県立八重山病院地域診療科）伊波善之（沖縄県保健医療部健康長寿課）
陪席者２名：吉澤龍太（那覇市立病院がん専門看護師）、内間みなみ（琉大病院がんセンター）

報告事項

1. 令和２年度緩和ケア・在宅医療部会、在宅ワーキング、研修ワーキング委員名簿一覧
資料１に基づき、令和２年度緩和ケア・在宅医療部会、在宅ワーキング、研修ワーキング委員名簿一覧が確認された。

2. 令和元年度　第１回緩和ケア・在宅医療部会　議事要旨
資料２に基づき、令和元年度第１回緩和ケア・在宅医療部会議事要旨が承認された。

3. 令和元年度緩和ケア・在宅医療部会　在宅ワーキング第１回～第４回議事要旨
朝川委員から資料３に基づき説明があり、令和元年度緩和ケア・在宅医療部会在宅ワーキング第１回～第４回議事要旨が承認された。

4. 令和元年度緩和ケア・在宅医療部会　研修ワーキング第１回、２回、令和２年度第１回議事要旨
三浦委員から資料４に基づき説明があり、令和元年度緩和ケア・在宅医療部会　研修ワーキング第１回、２回、令和２年度第１回議事要旨が承認された。

5.令和２年度　緩和ケア研修会開催日程一覧表
資料５に基づき、令和２年度の緩和ケア研修会開催日程一覧が確認された。
三浦委員から、今年はどうなるのかというのが一番問題。拠点病院の琉球大学病院、那覇市立病院、県立中部病院は 10 月から 12 月にかけて順次開催していく予定となっているが、未だ厚生労働省からの方針がはっきり出ていないため、見通しが定かでないと説明があった。

6.その他

足立委員より、緩和ケアチーム実地研修の開催についてはどうなったのか、琉大病院だけが実施するのか、それとも拠点病院が実施するのかという質問があり、増田委員より現段階では未定なので分かり次第、委員へメーリングにて周知すると回答があった。

協議事項

1.令和2年度　緩和ケア・在宅医療部会　部会長・副部会長の選任について

部会長は前年度に引き続き笹良委員となった。副部会長に関しては、足立委員より新部会長（笹良委員）が指名してはどうかという提案があり、笹良新部会長の指名により野里委員と屋良委員が副部会長となった。

2.痛みのスクリーニングと結果のフィードバック及び主治医（チーム）の行動変容について

（1）琉球大学病院

友利委員より、資料7に基づき報告があった。

（2）那覇市立病院

吉澤在宅WG委員から、資料8に基づき説明があり、笹良部会長より全患者におけるスクリーニングの割合について質問があり、入院患者は日々、8割以上は出来ている印象がある。外来もがんの疾患があれば、ほぼ全員にスクリーニングをお渡ししているので高確率で対応していると回答があった。

（3）県立中部病院

屋良委員より、資料9に基づき報告があった。

（4）南部病院及び豊見城中央病院

笹良部会長より、豊見城中央病院では外科病棟の入院患者を中心にほぼ全員スクリーニングを行っていると報告があった。

3.拠点病院におけるPDCAサイクル体制強化について

増田委員から、資料11に基づき、がん拠点病院のPDCAサイクルについて情報共有がされた。
増田委員から、拠点病院はピアレビューを行わなければいけないと昨年度、義務化されたが、新型コロナの影響で推進しようという動きが止まっていると思われる。
緩和だけでなく、すべての領域に関して、県内の拠点病院の総合訪問をして、ピアレビューすることが恐らく数年以内に義務化されると思う。だが、ピアレビューの良い方法が今のところ定かではないという説明があった。

4.日本緩和医療学会　第3回九州支部学術大会（沖縄県）について

笹良部会長から、資料12に基づき、今年度はコロナウィルス感染拡大に伴い、開催中止になった説明があった。九州支部代議委員会でのメール稟議で、来年度に沖縄県で2021年11月20日（土）、21日（日）沖縄コンベンションセンターにて開催予定となっており、正式決定は

2020年6月20日（土）に日本医療部会の理事会及び代議委員会で決定することになるので、順次報告すると説明があった。

増田委員より、学会としてはタイトなスケジュールとなっているため、実行委員を立ちあげ、骨格のところだけは決めてもう始めた方がいいのではないか。11月～3月は新型コロナの影響で身動きをとれなくなる恐れがあるため、なるべく6月中にはメンバーを決め、今年の10月までに9割型決めておいた方が問題ない気がする。決まり次第、部会のメンバーにも途中経過など報告して頂きたいと意見があがった。

笹良部会長より学会としての方針が正式に決まり次第、すぐに実行委員会を立ちあげて、なるべく早い段階で情報を共有すると説明があった。

5.緩和ケア情報シート改定について

増田委員から、資料13に基づき説明があり、笹良部会長より緩和ケア情報シートを書く方は大変かと質問があり、友利委員より特に改定後、書き難いなどの意見は出てきていないのでそのままでも問題ないのではないかと回答があった。

増田委員より、定期的にバージョンアップしていくことによって、確認していることが一般病院にアピールしやすいので、ホスピス協議会で議論して頂いて、もし問題がなければ、ver2.1などにして日付を改めてバージョンアップしていくという提案があった。

足立委員より、緩和ケア情報シートを書く側と受ける側それぞれの人達にインタビューしてみることでいろんな意見が聞けるのではないかという意見があがり、増田委員より、琉大病院の中で実施してみると説明があった。

6.次回令和2年度第2回緩和ケア・在宅医療部会の日程について

候補日：令和2年9月頃　　15：00～17：00の間で概ね1時間予定

場所：ZOOMによるWeb会議を予定（状況によっては琉大病院がんセンターで開催）

後日、調整さんにて日程調整をすることとなった。

7.その他

名嘉眞委員から与勝病院で改訂版の緩和ケア情報シートを見たことがなく、情報が行き届いていないのではないかという意見があがった。

資料１８

令和２年度　第１回沖縄県がん診療連携協議会　小児・AYA 部会　議事要旨

日　　時：令和２年６月 18 日（木）　16：00～17：00
場　　所：ＷＥＢ会議
構 成 員：16 名

出 席 者：11 名
百名伸之(琉大病院小児科)、銘苅桂子(琉大病院産婦人科)、森島聡子(琉大病院第二内科)、島袋優子(琉大病院看護部)、太田守克・(代理　宮城班長　沖縄県教育庁健体育課)、當銘保則(琉大病院整形外科)、佐久川夏実(南部医療センター・こども医療センターＣＬＳ)、大城一郁(南部医療センター・こども医療センター血液・腫瘍内科)、金城敦子(がんの子どもを守る会　沖縄支部)、友利敏博(森川特別支援学校)、増田昌人（琉大病院がんセンター）

欠　　席：５名
朝倉義崇(中部病院血液・腫瘍内科)、比嘉猛(南部医療センター・こども医療センター小児科)、伊良波史朗(南部医療センター・こども医療センター放射線科)、仲里可奈理（沖縄県保健医療部健康長寿課）、浜田聡(琉大病院小児科)、

陪 席 者：２名
石川　千穂(がんセンター事務)
浦崎　美由貴(がんセンター事務)

【報告事項】
１．小児・ＡＹＡ部会　委員一覧
百名委員より、資料１に基づき委員の説明があった。

２．令和元年第４回小児・ＡＹＡ部会　議事要旨（３月２６日）
百名委員より、資料２に基づき、説明があった。

【協議事項】
１.部会委員の追加について
百名委員より、資料１に基づき、小児病棟看護師長の島袋委員が新委員として就任について説明され、承認された。

２がん患者さんがお子様をもつことを応援する医療
「妊孕性温存療法」と「がん治療後の生殖医療」について

（１）協議会の報告
増田委員より、資料３に基づき、「令和２年度第１回沖縄県がん診療連携協議会」での決議事項が報告された。

（２）各拠点病院窓口担当医の選任状況について

増田委員より、資料４に基づき、各拠点病院窓口担当医の選任状況の説明があった。

（３）担当医による会議について

銘苅委員より、資料５に基づき担当医による会議で話し合われた内容が報告された。

（４）沖縄県内の各医療機関での出張研修会について

銘苅委員より、拠点病院において、医師やメディカルスタッフ向けの妊孕性温存療法研修会が７月から９月に行われる旨、説明があった。またそれとは別に、血液内科、乳がん、脳外科などの研究会等を対象として妊孕性温存療法研修会を銘苅委員の方で行う案が出され、承認された。研修会について次回も引き続き協議されることとなった。

（５）今年度の院内医療者向け研修会の企画について

次回、協議されることとなった。

（６）沖縄県共通の妊孕性温存の説明文について

銘苅委員より、各拠点病院の妊孕性温存療法担当医による会議の中で、妊孕性温存療法の周知に関して、下記のように協議・決定された旨説明があった。

〇それぞれの病院の電子カルテに県内共通の説明文書をいれて頂き、すべての男性患者および０～５０歳の女性へ妊孕性温存療法についての説明がされること

〇共通紹介文を同じく電子カルテに入れて頂き、がん治療担当医から、琉大への紹介が積極的に、スムーズ行える環境を整えていくようになった

〇紹介後も、フィードバックとして症例検討会も開催される

３.ＡＹＡがんの集約化について

増田委員より、資料８に基づき、院内がん登録集計書(小児・ＡＹＡ世代のがん登録数とその推移)について説明があった。

また、増田委員より、進学や就職、結婚等、社会生活の観点からの集約化について意見が求められた。百名委員より、がん種も様々なので年齢によっての集約化は難しいだろうとの意見があった。次回、引き続き協議される。

４．病院・支援学校・在籍校との連携について

百名委員より、資料 9 に基づき、小児・ＡＹＡ世代のがん患者さんの学校生活の中での問題点・今後の課題が説明された。友利委員より、特別支援教育コーディネーター(施設によっては教育相談係)の存在が紹介された。コーディネーターは相談の内容によって、ピアサポーターや福祉サービス等、支援に関係する担当者へつなぐことができるので、相談がある場合、コーディネーターへ支援をお願いする流れが適当ではないかと提案があった。まずは学校の方へ声掛

け・情報共有し、支援の必要性を仰って頂き、そこから森川とも連携して頂ければ、との意見があった。百名委員から、システムはあるようなので連携していくことが課題。情報をきちんと患者さんへ伝え活用できればとの発言があった。増田委員より、外来の際や入院時に、復学後もサポートできるシステムがあることを紹介できるパンフレットなどはあるのか確認があり、琉大でも南部医療センター・こどもセンターでも無いので、支援案内の為のパンフレットを作成することが決議した。

８．今後の開催日程について

次回以降開催は下記のようになった

第２回：９月１７日(第３木曜)

第３回：１２月１７日(第３木曜)

第４回：令和３年３月１１日(第２木曜)

時間：全日程、午後４時から５時開催

場所：琉大病院がんセンター（新型コロナウイルスの状況によってはＷＥＢ開催）

資料１９

令和２年度 第１回沖縄県がん診療連携協議会 離島・へき地部会　議事要旨

日　　時：令和２年７月 14 日（火）　15：00～15：45
場　　所：ZOOM を利用した Web 会議
構 成 員：13 名
出 席 者：10 名
　尾崎信弘（八重山病院）、赤松道成（北部地区医師会病院）、我如古春美（北部地区医師会病院）、朝倉義崇（中部病院）、戸板孝文（中部病院）、友利寛文（那覇市立病院）、中山幸子（宮古病院）、真栄里隆代（ゆうかぎの会）、平良美江（八重山病院）、増田昌人（琉球大学病院がんセンター）
欠　　席：3 名
　松村敏信（宮古病院）、仲里可奈理（沖縄県保健医療部健康長寿課）、田盛亜紀子（やいまゆんたく会）
陪 席 者：２名
　伊佐奈々（琉球大学病院がんセンター）、野底尚子（琉球大学病院がんセンター）

【報告事項】
１．離島・へき地部会 委員一覧
　尾﨑部会長より、資料 1 に基づき離島・へき地部会委員に変更がない旨の報告があった。

２．令和元年度 第３回離島・へき地部会議事要旨について
　尾﨑部会長より、資料 2 に基づき令和元年度第３回離島・へき地部会議事要旨について説明があった。変更等があれば事務局まで連絡するよう説明があった。

３．その他
　特になし。

【協議事項】
１．今年度の離島・へき地部会長、副部会長の選考について
　前年度と同様に部会長に八重山病院 尾﨑先生、副部会長に北部地区医師会病院 赤松先生、副部会長に宮古病院の松村先生にお願いすることとなった。

２．「要望書」の取り扱いについて
　増田委員より次回の部会までに進める旨の説明があった。

３．離島・へき地から本島内の放射線治療施設への紹介手順等について
　戸板委員より資料４に基づき説明があった。
　増田委員より放射線治療についての現状確認など、事務作業に関しては本部会で進め

てはどうかとの意見があり、本部会も関わりながら進めていくこととなった。
離島から転院して治療を行う患者のチェックリストに関しても、戸板委員により原案を作成し、事務局でまとめていくこととなった。
宮古病院と八重山病院に関しては放射線治療外来の開設は、現状月１回であるが、隔週が理想的であるとの意見があり、戸板委員より今後検討していきたいとの回答があった。北部地区医師会病院に関しては放射線治療外来の開設というよりも困ったときの相談先があると良いとの意見があった。

4.今年度の開催日程について

尾﨑部会長より議事次第のとおり説明があり、提案の日程で承認された。

5.その他

特になし。

資料２０

令和２年度第１回沖縄県がん診療連携協議会情報提供・相談支援部会議事要旨

日　　時：令和２年５月 14 日（木）14：00～15：30
場　　所：WEB 会議（Zoom）のため各施設にて
出 席 者：10 名
傳道聡子（県立中部病院）、仲宗根恵美（那覇市立病院）、宮城郁美（北部地区医師会病院）、金城美奈子（県立八重山病院）、慶田博子（県立宮古病院）、島袋百代（ﾊﾟﾝｷｬﾝｼﾞｬﾊﾟﾝ沖縄ｱﾌｪﾘｴｰﾄ）、樋口美智子（沖縄国際大学）、増田昌人（琉球大学病院）、大久保礼子（琉球大学病院）、山田綾美（琉球大学病院）
欠 席 者：２名
中山富美（沖縄県地域統括支援センター）、伊波善之（沖縄県健康長寿課）

【報告事項】

1. 令和元年度第４回沖縄県がん診療連携協議会情報提供・相談支援部会議事要旨
資料１に基づき、令和元年度第４回沖縄県がん診療連携協議会情報提供・相談支援部会議事要旨が承認された。

2. がん患者ゆんたく会（1 月～3 月）
資料 2-1～2-3 に基づき、令和２年１月～3 月に各拠点病院で開催されたがん患者ゆんたく会について報告があった。
県立中部病院では、患者会を立ち上げたいという方やピアサポーター2 名の参加があり情報交換ができたと報告があった。2 月、3 月は新型コロナウイルスの影響で中止。沖縄県の動向をみて再開を検討する予定。
那覇市立病院では、1 月は薬剤師を招いて講演を行い、直接医師へ聞けないことも薬剤師には聞きやすい雰囲気だったと報告があった。インターネットの普及で様々な情報があふれているので、正しい情報をとりましょうという話題もあった。2 月、3 月は新型コロナウイルスの影響で中止。院外向け研修会の許可が出る頃を目処に再開を検討しているが正式には未定、今年度から開催場所が院内になるとのことだった。
琉大病院では、1 月はフリートークにて次年度の開催テーマについて話し合い、AYA 世代への情報提供方法やゆんたく会の案内方法など意見があった。2 月はピアサポーター3 名の派遣があり、それぞれの体験談を自由に話され、新規参加者も先輩サバイバーの話を聞き前向きになっていた。次回もまたお会いしましょうと笑顔で解散したと報告があった。3 月は新型コロナウイルスの影響で中止、院内の動向を確認しながら再開を検討する予定。

パンキャンジャパン沖縄は、3 月に開催を予定していたが新型コロナウイルスの影響で中止になったと報告があった。

北部地区医師会病院は、3 月 26 日に院内でサロンを開催し、現在は乳がん患者のみを対象としており 2 名の参加があった。新型コロナウイルスの影響で継続開催はできていないが、今後は対象を拡大していきながら継続していきたいと報告があった。

3. がん相談件数（1 月～3 月）

資料 3-1～3-7 に基づき、令和 2 年 1 月～3 月の各拠点病院のがん相談件数につい手報告があった。

北部地区医師会病院では、麻薬管理や点滴管理を要する在宅調整が多く、院内外の連携、外部とのやりとりが課題としてあがったと報告があった。

県立中部病院では、今回は院外からの相談はなく、在宅医療やゲノム医療に関する相談が多い傾向にあったと報告があった。

那覇市立病院では、少しずつ院外からの相談が増えてきており、院外は電話相談で家族や友人からの相談が多い傾向だった。相談内容は介護や在宅ケア、ホスピス調整が上位を占めていると報告があった。

県立宮古病院では、2 月後半ごろから新型コロナウイルスの影響で本島へ治療に行けない等、治療継続に関する不安についての相談があったと報告があった。

県立八重山病院では、1 月・3 月に社労士との面談も行われ、継続相談もあり社労士が相談後の経過追跡ができ、フィードバックもできたと報告があった。4 月は電話相談も行われたとのことだった。

琉大病院では、各月 2 割弱が他院の患者さんからの相談になっており、経済的な面から介入することが多いため仕事相談も多い傾向にあるが、在宅医療やホスピス調整件数も多く占めていると報告があった。

地域統括支援センターより紙面報告があり、3 月より病棟への出入り困難もありピアサポート件数は減っており、4 月・5 月は活動停止していると報告があった。

4. がん相談件数集計

資料 4、当日資料に基づき、山田委員より令和元年度沖縄県がん相談件数集計について報告があった。1 月～3 月分においては、ほとんど昨年同様だが、仕事に関する相談が減少傾向にあると報告があった。全体集計より、介入時期において「緩和ケアのみ」が減少し、「治療前」「治療中」が増加した。パンフレット等での周知で早期介入が出来てきているとの意見もあった。

5. がん相談支援センターの広報

資料 5 に基づき、山田委員よりがん相談支援センターの広報について報告があった。前年度は全 24 回投函し、18 回掲載があり今年度も引き続き広報活動を行っていくとのことだった。

6. PDCA チェックリスト

資料 6 に基づき、大久保委員より PDCA チェックリストについて報告があった。「相談対応後の評価・モニタリング」や「外部評価を受ける」の項目が低評価となっているため、今後の課題として取り上げ、部会でも取り組んでいきたいとのことだった。

【協議事項】

1. 部会委員の選定について

資料 7 に基づき、部会委員の選定について協議が行われた。委員の変更・追加について、地区医師会病院の宮城郁美委員、沖縄県地域統括支援センターの中山富美委員が承認された。また、部会長・副部会長は前年度より引き続き任命された。

部会長　琉球大学病院　大久保礼子

副部会長　那覇市立病院　仲宗根恵美、　県立中部病院　傳道聡子

2. 令和 2 年度部会計画（各施策）

資料 8 に基づき、大久保委員より令和 2 年度部会計画（各施策）について提案があり、協議が行われた。

〈施策 1〉患者アンケート（周知について）の実施

事務局にてアンケートのたたき台を作成し、各病院にて実施し回収する予定。

各 10～50 件程度、実施量については未定。

〈施策 2〉①院内周知体制の見直しを行う

各病院にて院内周知体制を見直し、共通項目があればまとめる。

〈施策 3〉①がん相談研修の実施

2 病院ずつペアで年 3 回開催しているが、10 月以降の開催予定。開催方法については、ロールプレイではなく講義スタイルで行うのであればオンデマンド等活用しながら、ロールプレイを要する場合は下半期での開催予定にする。引き続き検討する。

〈施策 3〉②がん相談員マニュアルの運用

前年度作成したマニュアルを活用し、各施設にて適時改訂していく。

〈施策 3〉③相談支援センター満足度調査の実施

施策 1 の患者アンケートと併せて実施する方針で検討する。

〈施策 4〉①がんサロンネットワーク会

下半期の開催を予定

〈施策 5〉就労支援の充実

強化事業のメニューも改訂があり、1 つは専門家を相談センターに配置し対応する、2 つ目は資材を用いて週 5 日、専門のコーディネーターを配置し対応するという項目が追加されている。大久保委員よりメーリングリストにて共有し、次回引き続き検討することとなった。

3. その他

(1) 次回開催について

令和 2 年 7 月 9 日（木）に開催することとなった。

また、次回も Zoom を用いた WEB 会議で開催予定となった。

(2) 新型コロナウイルスでの対応

那覇市立病院より、本島で治療を終え宮古へ帰りたいが、コロナの影響で帰省後 2 週間同居家族が通学不可となり帰省時の対応が難しいケースがあると事例共有があった。宮古の小学校別の独自規制となっており、学校側の判断を確認しながら検討するとのことだった。他、離島や本島でも渡航歴 2 週間がある方の立ち入りは不可など規制がある。

また 6 拠点病院において、新型コロナウイルスに関連したがん相談は落ち着いている様子である。